大内町公報

大内町広報

創刊号（昭和30年）～第93号（昭和38年）

大内町広報

創刊号
昭和30年 8月11日発行
発行者 渡辺敏雄
編輯者 坂倉正義
印刷所 山口市茶畑 大同印刷舎

総額一億一千五百万

本予算できる

七月二十八日より四日間、連日の炎暑にもめげず、町会の審議は熱心に続けられ、遂に本年度予算一一四九五三〇九〇円（過年度支出三千万を含む）が決定した。総額からすれば可成りな額であるが、重要町有財産たる山林立木の値下りが大きな影響を与え、財源の関係上、合併に伴う建設計画どおりを予算に盛ることが出来なかつたのは残念なことであつた。これも健全財政を立前としたからであり如何に建設計画を尊重しつゝ、財源を求めるかに払われた苦心は大きなものがあつたが、遂に出来なかつた。地方財政の極端な赤字が指摘され、その処理が問題化しつゝある今日、健全財政の趣旨を尊重しつゝ、涙をのむに至つた。

各課、係に於て作成された予算案は、各委員会にかけて練り直されつゝ、結局は財源の関係上大巾な削減を余議なくされた。そのため予算は少い経費で如何に最大の効果をあげるかに集注され、消費的な経費をどし〳〵削減しつゝ良心的な編成を終つた。本予算成立前後における各委員会の集会度数は次のとおりで

土木委員会　七回
経済　五〃
（実地調査を含む）
総務　六〃
文厚　四〃
教育　四〃
（内一回文厚と合同会議）

相当激しく検討と論議がねられた。

才入才出の款毎の金額は別項のとおりであり、役場費、土木費、教育費、産業経済費に大巾な予算が組んであるが可及的経費削減によつて土木、教育、産業面の有効投資を大きくしようとするねらいを示している。諸支出金三三〇〇万余は、いぶかしいが、過年度支出として旧三村分過年度支出が約三千万入つているためである。

一日付で機構改革
新に二課をふやす

合併当初の機構のまゝ三課制で七月迄を経過したが八月一日付で、大内町役場機構は新に民生、産業の二課を加え、各課も若干改まつて、総務、民生、税務、産業の五課になつた。これに伴う人員の移動もあり、仕事の内容と、町政上の重点を指向する面とに人員の適正配置を終り、本予算成立と加えて、多面的な地方自治行政処理の体制を整えた各課の責任者及係名次のとおり

（農地分合係新設）

総務課	森軍	庶務係
	鉄雄	行政〃
		戸籍〃
民生課	岡本	社会係
	利雄	衛生〃
税務課	大島	試課係
	慶太	徴収〃
施設課	松田	土木係
	政一	施設〃
産業課	鯨田	産業係
	豊	林務〃
教委事務局		総務係
教育長	熊野	学校教育〃
	彌作	社会教育〃
仁保支所	井上	富緒

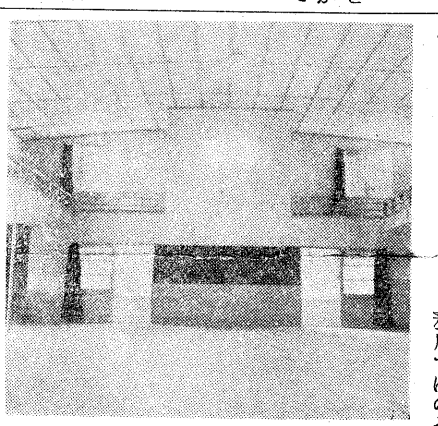
昭和三十年度大内町才入才出予算

才入

町税	35.465.440
地方交付税	5.500.000
公營企業及財産收入	12.807.702
分擔金及負擔金	1.222.495
使用料及手数料	1.380.130
国庫支出金	18.224.120
縣支出金	2.674.599
寄附金	2
繰入金	2
繰越金	865.302
雜收入	32.713.300
町債	4.100.000
才入合計	114.953.090圓

才出

議會費	1.142.316
役場費	18.053.004
警察消防費	1.279.543
土本費	10.714.050
教育費	17.242.000
社會及勞働施設費	1.770.135
保健衛生費	1.449.440
産業経濟費	21.834.492
財産費	4.512.224
統計調査費	92.480
選擧費	425.233
公債費	2.832.984
諸支出金	33.747.002
予備費	530.482
才出合計	114.953.090圓



高温続きで
馬流脳に赤信号上る

馬の流脳に御注意あれ。現在の気温では危険性が多く患つた場合たゞちに獣医師、役場、家畜衛生保険所のいづれかえ連絡して下さい。注意は畜舎の風の流通をよくすること、蚊を成る可くいない様にしてやる等既に各地区二回の予防注射をを実施いたが、大内六〇頭小鯖一一〇頭、仁保九七頭がうけている。仁保地区では希望の方は爪丈獣医師に申出て頂きます。

大富小講堂落成

【仁保】大富小講堂兼公民館は二五万をかけてこの程竣工、七月二十二日、時を同じくして出来上つた仁保中工作室と兼ねて落成式を行つた。

（写真は大富小講堂）

仁保＝国保便り

△七月一日から往診料が改められ療養の給付費としてつまり半額になつた。

△八月中旬大掃除用一戸当一〇〇円程度の薬品を配布の予定。青年団、婦人会等で共同防除が効果的だし、労力も簡単だと事務局ではのぞんでいる。

託児所は便利だと
仲々の好評

農繁期に幼児をかかえた母親の苦労は並大抵ではない農繁期実験託児所として町は大内三、仁保、小鯖各一計五つの託児所を指定し、それ〴〵補助金交付を平均六〇〇〇円宛おこなつた。大内地区は氷上、上矢田、管内、仁保は井開田信行寺小鯖は下鯖山禅昌寺にて開いた。今回は実験託児所として仁保、小鯖各一ヶ所しか開けなかつた。附近の方々は大変幸せだとの好評だが極く部分的に限られた点が惜しまれている

農委で特産品を企畫す

【小鯖】八月一日農委会議を開き、三十年産米予約売渡を主題に協議、農地問題二件を議した他、従来小鯖の一部にあつた茶業を振興し、成功の見透しと共に、大内町全域に普及を計る旨の協議を行い具体的方法を議した。因みに小鯖茶は約四十年の歴史を持ち、嘗つては共同加工作業による相当の実績を持つていたが、量産少きため次第に衰微していつたものである。

東鯖……バス路線
建設緒につく

ヒステリツクな喘ぎをあげて自動車が登る山合いのうねり〳〵道、この道を登りきつて平坦地を奥えゆくと小鯖検畑に達する。隔絶されて、先祖以来交通機関に恵まれない苦しみを味い続けた検畑地区の住民の方々もこの頃ほつと胸をなで降している。具体的には、月光橋の設計図も出来上つて近く架橋工事にかゝる。又延々五、六キロに及ぶ道路中過日の水害で傷んだところも三、四ヶ所あり、設計も終つている。広島国鉄からは十五日前後に安全委員が来町、路線の実状につき詳しく検査する予定で、東鯖地区バス路線は九月新学期を前にして、急に明るい希望がさし初めた。

交換文合進む

（仁保）スライドを使つて連夜交換分合趣旨説明に努力を続けていたが、下郷実施区域内の五部落の同意署名簿（実施するには½以上の同意が要る）も一、二部落を残すのみで大体完了した。

ブルトーザー
防災に一役

大内地区は永代橋の上流、ブルトーザーがうなり声をあげて河原の小石を押し上げたのは、七月五日の豪雨前のこと。お蔭で水は順調に流れ、心配された被害も少く、地区住民から感謝の的になつたんだから、この話一寸すまい。

廣報發刊に際し

町長　須子勝平

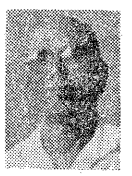
御待ち兼ねであつた大内町広報が、いよ〳〵発刊を見ることになりました町長立候補の際も申上げたとおり私の信ずる民主々義に徹した町政を施行いたしたいのであります。

その為民意が何辺にあるかということを把握し、あらゆる機能を活用して民意に添いたく存じますお互は更もすると個人的感情とか一部利害に左右され勝ちで、この様なことでは決してよい町造りが出来ないのは勿論で特にこの点に心がけます。町執行部はもとより町議会におかれても関係諸団体等も町政に関するものはこの公平な観点の上に立つて愛郷精神にもえた町造りがなされることを切望いたします。

この真摯な町造りの姿を写し出すのが町広報のあり方でありこれによつて益せらるゝことが町広報の使命であると思います。

この広報を通し皆様方の建設的批判も承り町の発展と共にこの広報が皆様に愛せられるに至ることを期待して居ります。

必ず努力する



議長　清川忠雄

皆様の推挙で議員となりまして最早や三ヶ月を経過五月十四日に大内町議会が成立致して、爾来数度集まりましたが、旧三村の寄合世帯の統一や、過年度収支の精算などで四ヶ月間を暫定予算で過しましたが、過る七月二十八日から三十一日に至る四日間の議会で大内町条令や、規約、三十年度予算特別会計国保予算等町行政の幹根となる事柄を議決は致しましたものの、その予算たるや、愈々切りつめた数字で、三つがあつまりましても従来外から見ていた程の盛福はなく、旧藩公の訓へである三矢結束の強さに迄は程遠いもので、申訳ないことを痛感して居ります。

昔から仕組をしての発足は、必ずやきりつめた行き方によつて始めて、家計を盛りかへすことが出来るので、放漫なやり方では再建は覚束ないことは皆様も御同感のことと存じます。

この点から現議員は、旧村を一選挙区としての選出ではありますが、各区の障壁を除き全町の発展と、住民皆様の福祉の為めに研鑽努力することを議会を代表して誓い、此上の御鞭撻を御願いします。

八月映寫会

視聴覚教育で巡回する映画は八月を、二六、七、八と行い廿六日仁保大富廿七日下郷東園廿八日上小鯖と予定している。新東宝の美しい人、文化映画のまこと君の家他一本。新開でも報導されたとおり、常設館から二里以内のところで五社製品の劇映画を上映することは問題化して居り、八月は大内地区を文化映画に切り換える。

本年災害復舊に
施設課晝夜兼行

本年度災害復旧国庫補助指定設計を十日迄に完成しなければならぬので、施設課では昼夜兼行で馬力をかけた。耕地十三ヶ所土木九ヶ所で総額八〇〇万

畜産の
お知らせ

△十月末畜力利用技術交換競技会を大内町自動車学校で、県と共催の下に開催される。大内は開催地でもあるし、多数参加されるよう期待している。

△県家畜共進会、十月上旬開催決る。場所は未定。奮つて出品して下さい。希望者は今から準備を。

△明年一月、郡肥牛共進会場所は小郡。

よい先生を迎えるため
趣旨徹底に
推進委近く動く

県下小中学校の教職員は主として山口大学教育学部で養成されるが、本年山口県教職員養成八十周年に当るため、この機会に設備不完全な教育学部の内容充実の声が強く叫ばれている。八十周年事業では広く県下に呼びかけ、大内町推進委員会でも近く趣旨徹底と、各戸の厚意あふるゝ浄財を献金して頂く運動を起すという。一人当十円を目標にしている。

社教委公民館運審

九日大内中にて社会教育委員及び公民館運営審議委員の初集会を行い今後の対策を協議した

お断り

【大内】六月十一日小学にて開催の中国新聞主催映写会は故障のため中断入場料金十円を返す方法もなく同新聞社より大内町役場え九五〇円寄託されたが、有効な使途を謹ずるとの条件で大内小学えその金はリレーされた。当日の観覧者の皆さん御了承下さい。

少い予算で最大限の効果を
三十年度計畫を
各課に聞く

公共土木では 約六〇〇万

三十年度の公共土木施設を施設課に聞き、次の内容を得た。

二五年災害　上小鯖川　小鯖
二六〃　叶木線二件　〃
二八〃　小野橋　大内
並山川　仁保
下市場　大内
渡瀬川　小鯖
管内川　大内
永下護岸　〃
阿部　〃
吉本　〃
江良川　小鯖
江良　〃
長谷線　仁保
二八年〃　市ヶ谷水路　小鯖
秋彌頭首工　仁保
安楽橋樂　〃
中井手頭首工　〃
石田　〃　大内
楠　〃　〃
二九年〃　街道畑　橋樂　小鯖
九門　〃　大内
千坊　農地　〃
三〇年災害も若干被害あったが近く指定がある筈で、決定次第掲載する。

環境衛生のモデル地区を作る

（民生）

三地区に一ケづゝ五〇戸程度を一群落としてモデル地区に指定し、実験的な方法により効果を眺め、それを参考にして漸時普及を図るという特に国民健康保険を未組織の小鯖、大内地区に普及する様努力し、出来れば明年四月から発足することを考えている。

隔離病舎出來れば 町営住宅え

（民生）

現在ある伝染病棟は、山口市との間に共立病院の設立が成立すれば、正式の町営住宅として経営の意図を持つている。

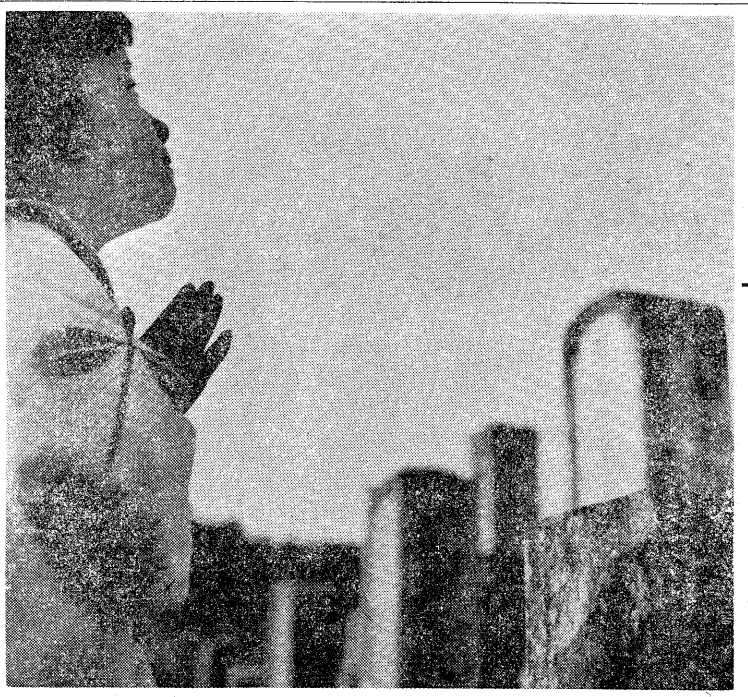
近く共同で防除 炭暑續きで被害は少い

三地区全部の防除を終つたのは七月上旬であつた。農薬の1/3程度補助が決定されたが、第二回目の共同防除を実施すると、産業課では語つている。時期は八月下旬、全町一斉にやり、二化めい虫二化期及秋うんかの初期を効果的にねらつたもの。反当使用料は約四キロで補助額は1/2確保出来る見込であるが確定しない。

作況は、例年に較べて良好であるが稻熱病は大内地区では全般的に少ない。仁保地区は一化期の防除を六月中旬から下旬にかけて行つたが、金坪には稻熱病が少々発生の程度で、こゝも七月から八月にかけての高温が、被害の発生を喰いとめているようだ。小鯖地区も大体同様で豊作型の稻作信号はあるが

◎特に注意して頂きたいことは

二化期の防除は必ずやつて頂きたいこと。でなければうんかとかめい虫の被害で相当量の減収を来すから、充分見廻つて、発生して居れば防除を実施して下さい。防除方法については、地区農業振興対策委員に相談して、役場に申出て下さい



墓參り

墓参りに来た童女が、可愛いゝ紅葉の手を合せて、一心に冥福を祈つている。亡くなつた祖母か、幼い弟妹か、それは知る由もないが、盆が来れば誰しもが逝つた人々の嘗つてを色々と想い起す。

線香の煙と共に嘗つての先祖を偲び、故人え追憶の涙を手向ける。盆来れば、生命のもろさをみせつけられて誰もがこの童女ならずとも、祈りの中にちらと自分を振り返るだろう。

（写真は大内御堀墓地にて写す梅本義明氏提供）

小中生五〇名に アデノイド手術

（小鯖）第一病院小鯖診療所、学校当局の話合いの下に、小鯖小中学校生徒五〇名は、七日小鯖診療所でアデノイド及扁桃腺てき出手術を行つた。当日は診療所の廊下、医師の居間に至る迄、休憩生徒で一杯であつたが、混雑にも拘わらず、出血の多い者二名を出した程度で、あつけなく終つた。

又小鯖小中生六十名は、防府市の歯科医え集団的に治療に通つたが、児童生徒の体位向上に関係者は力を払つている。

わしや牛の足らん 人工受精設備を急ぐ

町役場産業課内に、家畜精液貯蔵所が九月中旬に完成する。これで小郡迄ゆかなくても済む訳で乳牛、黒牛山羊等、全部貯蔵してゆく小郡から三日に一日宛精液を持つて帰るから常に新鮮で貯蔵用電気冷蔵庫は約十三万かけている。

野球すゝればよ、暑さ何のその 部落對抗戰近づく

八月一杯に各地区で部落対抗野球戦がくりひろげられる。

九月初め各地区から二チーム宛選抜、大内町野球王座決定戦を開く。小鯖体育振興会は三十一日会議を開き運営協議の後野球大会開催にふれ八月十三、十四両日小鯖小、中グラウンドで行う決定をした。仁保地区は同じく十三、十四両日、中学グラウンドで行う。栄冠はどの部落に？暑さを犯して気の早いチームは練習を始めた。

名物の赤痢 ごつぽう少い

仁保の名物赤痢が、どんな風の吹き廻しか、殆んど出ない。一名出たが疑似赤痢で、病人はピン〳〵している。

昨年に較べると嘘の様な話それは仁保地区国保関係者の行届いた注意と町民生課の衛生管理が成功したと言えばハテ、少々手前味噌か？

松柄部落で映寫会開く

【仁保】井開田から八坂に向けて一本道を、松柄峠をあえぎあえぎ登つたところがこの部落で、町教委社教係では、七月廿六日夜視聴覚映画の会を催した。戸数十七戸の部落中が殆んど集り、何年振りかの映画に、楽しい一夕を過した。

貫野にバス開通す

（仁保）待望のバスが七月十五日一貫野地区に開通した。何分僻地のことなので道路補修に費した地元民の苦労は大変なものであつた。

早くも野猪の被害

（小鯖）上郷地区で甘藷二町歩が荒され、早くも野猪の被害が出た。

産米 予約売渡 三農協とも順調に進む

政府は今年産米の集荷予定数量を七月十二日全国集荷団体に指示した。県は山口県経済農協連に対し三十七万石以上を要請、大内町に於ても地区農業委員会が推進母胎になつて米穀売渡推進協議会が結成された。今までの供出制度と異り民主的にはなつたが、依然として食管法は生きて居り、農民は額に汗して創り上げた米の価格を一方的な決定でうのみしなければならい矛盾を感じつゝも、国際情勢に、平和的希望が強まるにつれて、輸入米価ともにらみ合せて、このところ表情は複雑である。

講師は生活改良普及員友沢女史。又女子の集いを今日迄三回位い平均二〇名が出席、男性に伍して負けない女子になるため、大いに赤い気焔を挙げた。

公民館に 優秀職員を配置

【仁保】従来専属の公民館職員を持たなかつた仁保地区に機構改革により新に優秀職員岡秀夫君を配置した住民の生活の実態にふれて大いに考え又実行したいと同君は抱負を語つて居り、スライドを携えてどんな僻地もいとわぬから子供会の申込はないかと、幻灯器を片手に待機している。

三地区青年団 競技大會

七日、好天に恵まれて、各地区で開催された青年団競技会は甚だ盛況、好記録が続出した。この競技会は、山口県連合青年団体育大会の予選を兼ねたもので、優勝者は郡体出場資格を獲得した。

貸切バスで 縣種畜場見學

（小鯖）貞永町議等の斡旋で上小鯖河原、江良地区の有志四十名は八月五日国鉄バスを貸切つて、美禰市河原の種畜場見学を行つた。

造林下刈に 老いも若きも

【仁保】学校造林の手入れを、小中学校生徒が八月上旬から始めた。約二町歩の予定。婦人会造林は八月上旬坂本に於て全員出動して行われる。又青年団も町有林中刈作業を十六、十七、二〇、二四延九〇の人役で木戸山地区にて行う。

死亡と出生

【小鯖】死亡
小塚　タミ
杉　鳴滝　渡辺　秋夫
鵜ノ口　山本　喬松
【仁保】死亡
土井　岡　宗一
一ノ瀬　池田　武士
東園　長富　定一
【大内】死亡
上矢田　竹重　卯一
高芝（東）　柳　トミ
上矢田　小田久太郎
氷上（上）　砂井　ナツ
上千坊　有村　美子
【小鯖】出生
石畠　古谷　健　利津子
【仁保】
岡部　一昭　義
土井　岡　多生　宏
高畠　須藤治助　靖子
【大内】
御堀（東）原田要次　敬子
小野　岡本繁美　英雄
氷上（下）筒井　明敏　夫
氷上（下）松田敏子　徹也
茅町神田上田　忠和　明

子供の不良化 防止に御注意

夏休みで学窓より解放された子供などにとつて、夏祭り、盆踊り、映画、夜の盛場などは大きな魅力で、夜ふかし、夜遊びをするようになり、自然、生活も不規則になりやすく心にもゆるみができて、ふとしたことから間違いを起しやすいのです。

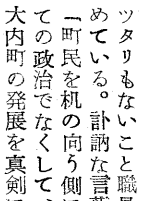
子供の不良化は、この夏休み中に原因することが非常に多いのです。

規則正しい生活を習慣づけさせるようにして、誤つた道に踏み込まないよう充分に注意しましよう。

職業補導所に 熔接科を開設

去る四月より三〇名が入所して基本応用の実習にいそしんでいる。

希望者で詳しく知りたい方は町民生課え



渡邊助役 三分間インタビュー

凡そこれくらいの善人は少いと友人が保証する。成程ウソもヘツタリもないこと職員が認めている。計訥な言葉で、「町民を机の向う側においての政治でなくして、共に大内町の発展を真剣に話し合う二人三脚の形で歩きたい。悪いところは共に見付け、いゝところも共に見付け、いゝ大内町になれる様お世話申したい…」と語るところ、威張らない、小才を弄しない誠実さをちよつぴりのぞかせている。然しこれ程腰の低い助役もないと職員は言うが、そのつもりで押し強く出ると、ヅバリ反撃を喰う。正直だからだ。誠実さがこの助役を強い人にしている感じだ。

熊野教育長

教職員歴三十六年のベテラン、旧仁保村教育長になるまで防府華浦校長だつた。仕事をしてゆく上に信じ、信じられ、頼まれ合う気持が通じなければ楽しい仕事は出来ぬ…と痛感している由。教育という父兄が教師を信じ生徒が教師を信頼することにより成立つ仕事であるだけに、ですねーと拳を握つて力説するあたり矢張り教育者である。

町民税 二期分

納期は8月31日まで

どうぞ早目にお納め下さい

大内野広報

第2号
昭和30年9月1日発行
発行者 渡辺敏雄
編輯者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 大同印刷舎

こゝ二週間が関ヶ原

近年稀な豊作か

単独町費六〇〇万を投じて、共同防除体制の確立に町は全力を挙げた。そして第一化期の防除以来、各部落の農業対策振興委員と、町産業課農業委員会職員と農業改良普及員の三位一体的な献身の賜によつて偉大な効果を彰した。

幸い記録破りの晴天続きに恵まれて、今年稲作は豊穣だと謳われた。然し台風シーズンを前にして楽観は許されない。また病虫害も予断を許さない部落の共同防除体勢の確立と農家の生産技術の向上、及び今年の好天候の総決算期は、じり〳〵とせまつている。もはや人為の最善を尽したが片唾を呑んで見ずるこゝ二週間は、稲作をやるもののみが理解できる不安と緊張の明け暮れであろう。そして豊作だとて、それが特別農家経済にプラスしないところに、今日の大なる問題があるのだ。―その底の浅さにこそ問題がある。

異常を認めたら

直ちに発生の都度個人毎に支所又は本庁産業課え報せてください。うんかを始めとして、色々の病虫害が待ち構えているから、田の見まわりを充分やつてください。でないと今までの苦心が水の泡になるから。

防除は一応終つた

八月中旬から月末まで三地区一斉の共同防除で、最後の仕上げを行つた。ホリドール粉剤、又はセレサンを七月末までに使用された分に対して½を補助し、ちかく農協苑支出する。だから差引いた残りの½になる。各個人の負担は価格の½を一八月一日以降使用された二化期防除用パラチオン剤、穂首いもちに対する水銀製剤に対して½を補助の予定である。動力散粉機を使用しての防除は、機動性と、能力を充分に発揮したが、大内中矢田地区に於ける廿三、四日夜の様に十時頃まで電灯をつけての夜間作業を実施した例もそこ〳〵にあつた。

全面防除にはまだ〳〵

八月末までの防除実績は

大内	一九〇町	三四%
小鯖	三〇八	六四
仁保	四〇〇	六〇

全作付面積からすると五五%の実施率しか持つていない。こゝに今後の問題が残されている。そして一防除をやつた田とやらない田の比較は、今各地区で観察しているが、十一月中旬頃には結果の判定ができると産業課では語つている。

試作圃は好調

従来の慣行技術の悪い処を施肥に於ても、品種に於ても、また栽培方法でも改善された設計に基く圃場（即ち試作圃）を各地区に設定しているが、これによつて栽培結果を実質的に学び取つて貰うこと、技術導入を容易にするねらいがある。試作圃に於ける水稲の生育状況はすこぶる好調でそれ〴〵立札が立てゝあるから是非立寄つて御覧願いたい。内訳は次の通り。

小鯖 鳴滝 渡辺 得舟
八反田 古屋 駒一
大内 永上 筒井 真一
千坊 久保田正夫
光田 悦助
営内 仁保 桝谷 藤屋 重満
〃 岡 幾之
高畠 須藤 忠勇
一ノ瀬 岡田 悟
東園 栗林 正枝

豊作だとて足しにはならぬ

作況予想は昨年より一割五分の増収と見ているが、これが約一千万円。それ程悦んでも居られない。農協の七月末試算表を拾うと、大内の預金総額二九七五万となつている。仁保農協は、総額六九六五万、小鯖は総額三七四〇万、俸給生活者が他の金融機関を利用していることも想像されるが、米予約の概算支払いがそれ〴〵七割から八割五分まで八月廿八日現在で支払いされていることは、その大部分が肥料代にまわつたにせよ、今日の農村経済の底の浅さを示している。豊作を悦ぶ前に農村経済の深刻さに今一度眼を開く必要があるというべきだろうか。

自農資金等の償還なるべく早めに

おすゝめする訳は本年が一応豊作と予想されているからで、自作農創設維持資金又は農地売渡対価の年賦契約中のものは、繰上償還して将来に備えて頂きたいと農変では希望している。

御希望の方は二〇日迄に、各農委事務局迄相談頂きたいと。

間田川改修捗る

柊ぐんと広くなる

間田川は柊地区で大きく曲つているが、大内側の拡張工事が県の手で日夜進められ従来から水害に悩まされた関係住民は深い関心を持つて工事を見守つている。又この下流大内地区でも一部改修が始つているが、逐次下流から改修される見込で、町当局も力を入れている。小鯖地区上小鯖川でも改修えの強い意欲が最近起つて居り、これに対し、町としては大内、小鯖地区を通じて小鯖川、間田川の根本的河川改修について運動を続行中である。

（写真は柊地区の改修工事現場）

土地改良

今年計画成る

三〇年度計画次の通り

（小鯖）

農道 石畠 二〇〇米
毛割 五〇〇米

水路 一六〇米
樋ノ口 一五五米
八反田 四九〇米
二反田

いづれもコンクリート施工

前年度に引続き客土事業を行い目下のところ三町歩だか決定していない。

（大内）

農道 高芝―管内線（完成） 二三〇〇米
中矢田―茅野 三二〇米
良君城 一五〇米
姫山―岩鼻 一二〇〇米

水路 五〇〇米
大廻 （コンクリート施工）
客土 二〇町歩、改良区一円

（仁保）

水路 井開田―中郷排水六〇〇米
伊賀瀧滅排水 五〇〇米

国民健康保険のはなし

国保とは何か

一口に言うと「全国民の健康を保障し、生活の安定をはかる制度」と言える。制度として、国民健康保険法が昭和十三年七月より施行されている。国保は相互共済の精神を基にして作られた社会保障制度の一つで、私達の生活の中で不時の出費として負担の重い「医療費」を、保険の仕組で軽くする方法だ。平素その人の能力に応じて保険料（税）を出しておいて、病気や怪我をした時気軽に治療出来る制度である。この制度を維持するため政府は重要な社会政策として年々かなりな額の補助を出して、その普及に力を入れている。

保険を運営するものは

さてこの国民健康保険（国保）を保険の形で行うには、保険する者と、保険されるものとが当然あつて、保険する者を保険者、保険される者を被保険者と呼ぶ。国保の保険者は原則として市町村であり、経営主体になつて、条例を決めたり、保険料を集めたり、保険の給付をし、医者と契約を結び、その他この事務に必要な一切の事務を行つてゆく。

国保を行うには議会が住民の意志を汲んで決定する必要がある。この議会の意志決定即ち議決を経た上で、知事の認可を受けることになつている。この場合議決される国民健康保険条例には、保険料のとりたて方、保険給付の出し方等詳しく規定してあり、これに基いて行う事務は、大内町の普通の事務とすこしもかわらない。唯違つている点は、この事務に必要な一切の費用は特別会計で行われ運営には国民健康保険運営審議会が置かれる点である。

この国保運営は、被保険者、業者、公益それ〴〵を代表する委員で構成され、市町村長と被保険者（住民）の間に立つて相談を受けたり、又被保険者の利益を保護することになつている。

保険に加入する者はだれか

国保の被保険者はその自治体の住民全部である。（希望者だけで組織しない。）例外として法令に定めた共済組合、船員保険の被保険者、地方税の免除を受けているものなどは除外される。

こゝで必要なことは、一度国保が施行されると。区域内の住民全部が被保険者になり、自由意志で左右できない。つまり加入義務制が法律で定められている。

どんな給付が受けられるか

財源は何か

病気になつた場合治療費の約半額が給付される。それで度々病気する人はこの制度を利用すると大変助かる訳であるが、病気、怪我は何時起るか解らぬものの健康な人に対して、不公平を防ぐため保険施設費を組んで一般的な健康増進と環境衛生にも努力することになつている。

財源は、事務費はほとんど国からの補助でまかない、給付費の二割～三割保険婦の施設費の½を国庫から補助される。県費補助は保健婦施設費の¼程、勿論町からの繰入金と保険料とが財源の重要なものである。

◎保険料単価は十一円五十銭であるから一般の医療単価よりうんと割安だ。

説解

町は明年四月から未設置の六内、小鯖地区を含め、全町を国保の区域にするため、目下準備を進めている。既に昨年九月以来実施している仁保地区では好評をもつてむかえられており、ちかく民生課から大内、小鯖地区に調査票が配布されるが、これは重要な調査資料になるから、もれなく提出して下さい。

慰霊祭は十一日、大内小で

十時から正午まで仏式により式典、午後は四時まで余興。記念品とパンは町が用意している。仁保、小鯖は貸切バスを当日運行する。

住宅増築に資金が借りられる

一戸当り二坪～七坪で増築部分の建設費の½が年五分五厘で借られる。くわしくは民生課まで

在外公舘借入金請求は年末迄

在外公舘等の借入金を未請求のものが多いが、六月末日締切りを、今回十二月末と法律改正された。詳しくは民生課まで。

温い同情を募金に

町の割当十五万円程度で一戸当り五〇円平均。廿三年以来引続き完遂して来たが今年も温かい温情を

栄冠をかけて野球大会は四日

二十八日雨天で中止、各地区選抜の六チームが農試グラウンドで四日朝から栄冠を争う

危い！

まむしには抗毒素を

まむしの被害が案外多い。山口市今市の山口保健所には血清液を備えている。電話は四二二番、六一七番。五時以後は六一七番または山口県庁（九五〇番）宿直室へ。血清は一本二千二百円位。

本年度植林申込は十日まで

本年度植林は今回追加分の割当があつたので、希望の方は、十日までに各森林組合宛

農産物品評會

十一月中旬各地区で開催。さあ、秋蔬菜の腕自慢、よりをかけて今から準備を。

暑さきびしゆうて脳炎の危機さり申さず

患者数は昨年の四倍で、可成り患者が出る予想だ。子供のかゝる率が多く、直射日光に長くさらされたり、過労や睡眠不足などが間接の原因になり易い。四〇度前後の熱が出て頭痛やけき気をもよおしたり、下痢腹痛をともなつたら脳炎と見てよい。三〇%が死し、一〇%が不具になるという恐ろしい病気だが媒介する蚊の駆除が大切だ。異々も御用心なされませー

三十年度耕地査定終る

査定の結果決定したものは豊地二件二六万四千公共災害復旧八件二九一万九千円で合計三〇八万三千円。

地券 農地仁保下梅ケ峠
〃 〃 仁保間公共
〃 〃 刈沖の郷
〃 〃 神田頭首工 大内
舟ケ頭 〃 小鯖
下格庵 〃 〃
尾曾越水路 〃 〃
上河内橋梁 大内
舟ケ頭 〃 小鯖

敬老会中旬に開く

大内十五、仁保十六、小鯖十八日と決定、公民館、青年団、婦人会の共催

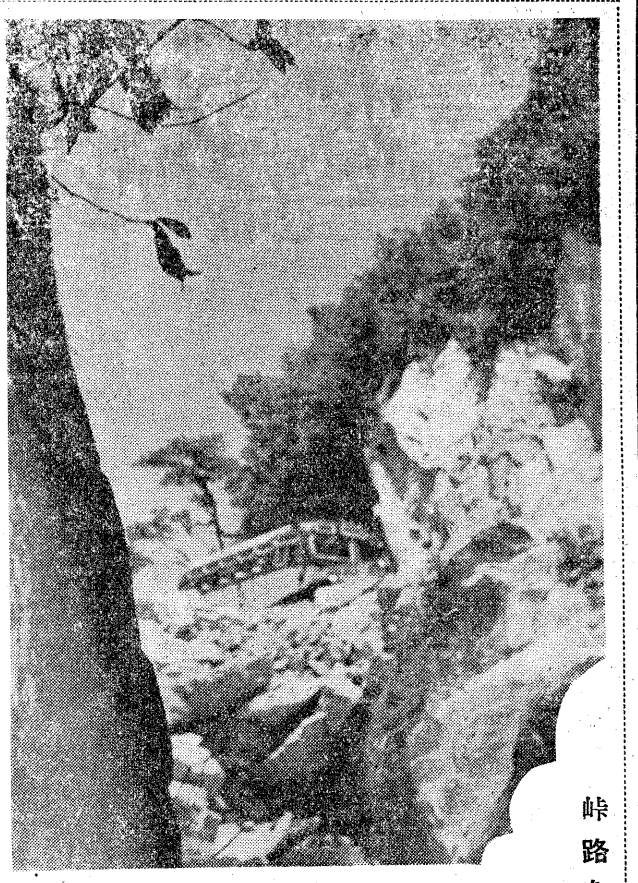
悪い苗木は駄目申込は森林組合

仁保高野苗圃組合には杉、檜併せて七〇万の苗木があるが、内三〇万を大内町内に配布する計画になつている。晴天続きにも拘らず苗の生育は良好である。

苗圃組合に言わせると、今夏の天候位で枯れる苗なら山に植えても育だゝないと自慢している。値段は杉、檜とも三円五〇銭の予定で正確な価格は県造林課と県苗圃と種苗組合とで相談して決定される。九月下旬には各森林組合に逐附するが明年植林の方は、今からの申こみでもよい。苗圃では土質、環境に合つた苗木で一本も枯れず、且つ生育良好にするため、是非一度下検分をと希望している。

（写真、僕はこんなに丈夫だと苗圃の杉）

米豫約一〇〇% 二七日夕刻締切で小鯖地区も目標に達し全地区一〇〇%になつた。



峠路をバスはゆく

その昔、平家の落人が、幾辛酸の末土着したと伝えられる小鯖稔畑は、峻険な峠の奥又奥だ。今昔を偲ぶものは天性みめ形よい若い女性が多い位のもの。だがこの僻遠の地も、あと数日でバスが通ふ。祖先以来、運命とは言いながらなめて来た苦汁が、やつと解消する。七百の住民が夢にも見て待ち望んだバスを迎える日のことを想うと、ついホロリとさせられる。

バスは此の地区に対して、正しく文化の使徒なのだ。（Q）

当らなかつたら御免ネ

ふし穴から見れば

郷土を想い、農村を考えて、貴重な意見を持つている人も多い。何ものにもとらわれないで、自由に自分の意見を述べて見たい希望も編輯者宛数々聞いた。

思うこと言わぬは腹ふくるゝわざで郷土を想う気持が切々と語られるときこの広報も亦住民に親しまれるもの

◇のになつてゆくであろうし、やがて「声」欄の新設に移行してゆく予感がある。見当晩れの見方をした場合、お前の眼はボラ眼かふし穴かという。農業改良普及事務所長重見氏は自ら謙尊してふし穴という。然し語られていることは現実である。題して、〃当らなかつたら御免ネ〃

土地改良はなぜ進まぬか

農家の経営を発展させるには色々と条件があるが大別すると、経営主の人の問題経済力及び土地の問題の三つである。

この内土地について考えると土地の自然的要素が大部分である。が自然的要因が悪いからと言つてどうにもならんということはない。人為的に努力すれば、相当補うことができる。今迄赤土の客土を行つたところでは、一年目より二年、二年より三年と次第に生産が向上している。大内地区大道の下野定一氏、上矢田の竹重和典氏等は反当一～一、五俵の増産は間違いないと言つている。この結果が得られるにも関わらず、お互いは仲々客土事業を行わない。若し行つても補助金あればやるというのが多い。補助金があればよいにはよいが、農業以外に個人の収益をあげ得る事業に於て補助金の出る事業が一体幾らあるだろうか。

こゝで私達が考えなければならないのは、政治的に補助金を獲得するのは熱意の問題でこの方は別に大いにやる必要があろうが、農民自体として補助金がなければ客土事業ができないものか、又採算の合わないものかということだ。

採算は合うではないか。なれば、自分である程度やるべきだろう。他力本願では何時迄たつてもできない。

他人事ではない

現在大内町の三つの土地改良区により色々耕土培養事業が進められているが、農家としては、これを土壌改良区の仕事〃として考えるのには疑問がある。何処迄も農家自体と土地改良区との共同の事業と考えて、共に事業を進めてゆかれるが

寄生虫いませんか

九月より無料検査

寄生虫には、蛔虫、十二指腸虫、蟯虫、べん虫、東洋毛線虫、条虫、外数種ある。

生食の野菜、汚れた手、あくた等により、口→胃→腸にゆくものと、皮膚より入るものとある。どちらも体に入つたら、腸壁を破り、肝臓―肺臓―気管支―喉頭―食道―胃―腸に戻つて成虫となり、約十日しかからぬから育ちの速いことにびつくり。

成虫の一回の産卵量は一億というから。これまたびつくり。

腸の中で産卵したときは糞便と一緒に逃出し、適当な温度と湿度の下に人体浸入の機をねらつている。

人糞肥料を使用する我国は、寄生虫の天国で対策より入るものとある。どちらも体に入つたら、腸壁を破り、肝臓―肺臓―気管支―喉頭―食道―胃―腸に戻つて成虫となり、約十日しかからぬから育ちの速いことにびつくり。

成虫の一回の産卵量は一億というから。これまたびつくり。

として駆虫も必要だが、予防をした方が却つて効果的。

1、糞便は別な便槽に入れ三月以上たつて使用する

2、家畜の堆肥を作る時糞便をかけると、肥料価値も上り、熱で卵が死滅する。

3、生食の野菜は糞をかけず、金肥又は尿で育てる。勿論調理の前はよく水洗する。

4、食前に必ず手をよく洗う。

体内に寄生虫がいると、

1 食欲がない 2 吐気 3 時々腸が痛む 4 頭痛、めまいがする 5 偏食 6 十二指腸虫のときは特に貧血を起す

検査日程は各地の駐在員を通じて報らせします

多数御利用下さい。

手続きを取つて頂きたい。

実施の要領

老衰地帯に於ては反当千五六百貫程度が経済的。

実施時期は、夏の間から稲の刈取期迄に田圃の近くにはこんでおき、稲を刈ると同時に土を拡げ、すき起して麦を播種するのが一番いゝと考えられる。それができない場合は、稲刈後でもいゝから、麦の遅播栽培をやつて、その前に土を入れる。（播種は十二月迄ならかなり収穫が得られる。反当播種量五升、肥料は元肥に重点的にもつてゆく。播種した上に堆肥を覆う事が大切だ。遅播は小麦がよく農村六十一号が適当であろう。）

客土した場合とかく地力が低下する。従つて堆厩は重点的にしなければならない。堆厩肥材料が少いときは材料作物として燕麦、イタリヤンライグラスとかを栽培したらよいだろう。

何故やらないか、出來ないか

秋落水田に対して必要な客土を何故やらないか。大内町内でも必要な水田が今尚相当量残されている。土を運搬する農道の不備が理由だ。大内地区長野部落では車の通る道はなく、土はおろか堆厩の運搬もできない状態であつた。最近部落の青壮年達が力を合わせて着々自力で農道をつける計画を進めている。こうして農道が完備すれば、客土事業も案外近道になるだろう。他人の成功をまねてやゝ、自分から手を下さないーこれが農民の心理だ。これでは何時迄たつても人並の生活はし難いだろう。

刈拂い今が適期

町有林既に六〇町歩を完了した。

山林は、生育の盛んな時期に刈払いするのが最も効果的。それで、九月中旬迄が一番の適期デスゾ。

有林も三十一日で六〇町

杉はすく〳〵各地で造林下刈

八月廿一日仁保地区丸山から木戸山迄テク〳〵と五十名。部落の部分林中刈作業だ。二七年に植えた杉のすく〳〵背丈以上も伸びたのにびつくりしながら、予想外にはかどつて、お土産は手のひらの豆。同じく深野部落は廿二日長谷、木戸山部分林を八十名で下刈。

小鯖でも石畠部落が卅名西太平部分林を廿六日に行つた。小鯖四区五区の大平部分林下刈は四日の予定。又消防団が、団造林下刈を上旬に行う。

大内地区では、上矢田、茅野神田地区が八十名参加して、廿八日午後から、管内奥山の今年春植造林を下刈した。

九月の姙婦検診

田中医師の診察で検尿、検血、血圧等の検査に供せて衛生相談を行います。日程は大内地区七日、小鯖支所九日、仁保支所二十七日、いづれも正午から三時迄

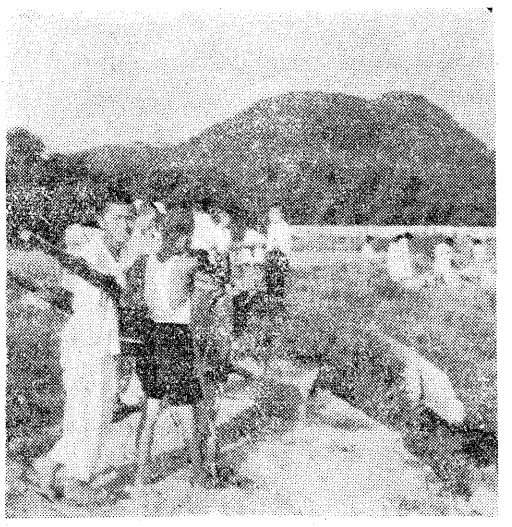
郡体に二位

仁保青頑張る

七三点を獲得して仁保青年団惜しくも二位。一位の小郡に九点負けた。二十一日日曜は、全郡から集つた青年により仁保中グラウンドで華々しく郡青年団体育大会が開かれ、町関係入賞者主なるもの次の通り

種目	等	地区	氏名
一五〇米	2	小荒瀬	寿子
五千米	1	仁堀山	文雄
走巾跳	2	吉野	昭天
走高跳	1	北川	正人
〃	1	岡村	正子
砲丸	1	小栗林	寿人
四百リレー	2	仁保女チーム	
八百リレー	2	仁保女チーム	
相撲	2	小鯖チーム	

大人が頭を下げた



よい子の夏休み

（大内）問田地区中学生男女五〇名に大人が頭を下げた。

部落学年会長たる山根君の発起で、約三〇〇米の道路を四日間で砂持ち地慣らし道作りとケリをつけ、過日の災害でいたんだ自転車も通らぬ道路が見事補修された。部落のおぢさんおばさん達は、おしるこを作つて感謝を示したが、近く町からも表彰を受ける模様。よい子達に聞くと、おしるこは大変おいしかつたーとは大変おいしかつたーと

（写真は作業の実況）

月光橋來月竣工

（小鯖）二十二日、矢田石山組八十万で落札。竣工は来月三日の予定。

赤痢發生の最盛期

是非これだけは！

今年は昨年に比べ少いが、それでも二月三名、四月六名五月五名、七月五名、八月は十五日迄で八名出ている、手洗いを厳重に、食物はよく洗つてから!!

川水で食器を洗つては危険です。幼児の川遊も絶対に止めましよう。

交換分合の耕地図完成す

（仁保）三十一日遂に耕地図完成。これを部落に廻して耕作者別色分けをして貰い、それからいよ〳〵計画に入る訳。

県母親大会

九〇名が參加

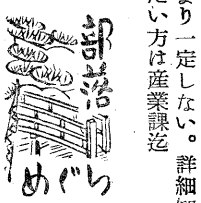
去る二十一日山口市白石小中学校での大会に、町から六十三名の婦人が参加、切々たる訴えや叫びを熱心に聴いた。会場で小鯖の一婦人は政治以前の問題で、私達が真剣に取組まなければならぬ色々の盲点を認識することが出来たと語つた。

運動場改修に PTAが奉仕

（小鯖）二十九日は小雨の中を運動場改修が行われた小学PTAが二九、三十日作業し、中学PTAは二十七日だつた。

これは珍案―猪おつぱらい機

（仁保）新案野猪おつぱらい機が出現した。上郷は桝谷、毎年猪被害になやんだ挙句、苦心の結果お見得えしたものは、桝谷耕作組合の考案で自動車のバッテリーにより水車を廻し、その発電で、はつてある電線に猪がかゝつたら、グ、グ、グーと衝撃が来る仕掛。毋日にやつと完成したが、おの〳〵方何とオモロイ趣好ではごらぬか経費は七町歩を実施するのに一万一千円、但し地形により一定しない。詳細知りたい方は産業課迄



菅内（大内）

大内地区でも鋳銭司寄り山々にかこまれたヘンピな処戸数七八戸四〇〇人足らずの人口をもつ菅内部落がそれだ。此の部落に昔から伝承の風習には仲々味がある曰く―葬式の時部落内一般は茶菓子だけ。これで酒は勿論相当の倹約になる。婚礼は、何処にもあるアノこんがり焼けた鯛の浜焼は使わない。色盃（三ツ組、五ツ組のあの大きな盃デスソ）がない。膳物を膳巻ない者も四種に限る。

以上でかなり質素な婚礼になる。又葬式で言い落したが部落の人は忌中の家にいかず、隣の家など一定のひかえ所を決めて、そこにいる。喪主はそこ迄出向いて悔みを受ける訳だ。これはむかしからのしきたりで、今に始つたことではないが勤倹節約の風習によつて、この部落は概して経済的に恵まれた家が多い。嘗つては、線香田といつて、田毎に水当の時間を線香で決めて、その時間だけ水当を保証した。だから水は節約されつゝも、全部の田に当り、水喧嘩は皆無だつたという。

高木寛左氏

当年七十一歳の御老人で保護司と民生委員を兼ね、今尚社会福祉に余念がない。年を取つたし今更としよりが出なくてもーその言葉通り他にどんな肩書をのぞけても、まず駄目。矢張り年のせいか。山に登り、樹木の成長を眺めるのが無性に好きだそうでその人格の清らかさ、永く陰徳を積んで来た人柄を慕う人も多い。仁保の産

小野正寛氏

両親妻と共に二町五反を耕作するというから、仲々の重労働で、畑も一反五畝ある。鶏三〇羽、桃五畝とならべれば大変だ。

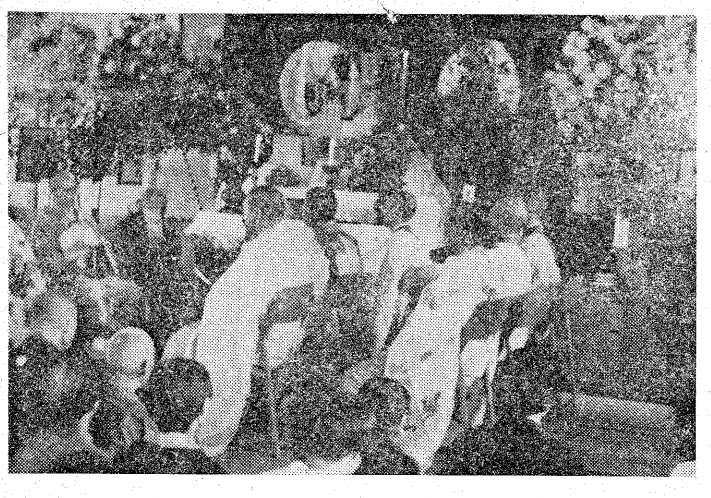
小鯖の農事研究団体耕友会の世話人として努力して来た。書男の世代として農家の主婦たる奥さんをいたわるためどんな方針ですかと水を向ければ、どの田にも馬車が入る様に耕作道を改善した。品種も操作の簡単なものを選び、労働の生産性から主婦を助けようという正攻法だ。来年は電気洗濯機もミキサーも入れる予定だと。好漢三十三歳。

大内町公報

第三号
（昭三〇、九、一六発行）
発行者　渡邊敏雄
編輯者　坂倉正義

追憶の涙も新に
慰霊祭おごそかに行わる

◇荘厳に花輪をしつらえた祭壇には、ローソクが赤々と照りはえて◇十三人の僧侶の読経の声は低く長く、祭場を覆った。こんな勿体ぶった言い方をしなくても、何時になつても逝った人の追憶は忘れようとして忘れられない。親が兄弟が、子供が、毎年めぐり来る慰霊祭に、今年も又追憶の涙を新にしたのであつた。◇



この日十一日、午前十時十五分に祭典を始め、さしも広い会場、大内小講堂をびつしりうずめ尽して、その数約六百、来賓も議会議員教育委員、学校長、各種団体長多数の顔が見られた。遺族代表として、清水町議立つて、遺族に対する町からの数々の援助好意を心から感謝し、今後益々団結して慰め合い助け合う旨の挨拶があつた。

満堂にみちたす、りなき

声なき英霊から、この日遺族は夫の愛情を、父親の声を或いは亡き子の叫びを聴いた気がしたに違いない。満堂しめやかにすゝり泣いて、追憶も新に、亡き人の昔を偲んだのであつた。仏教和讃の歌声につれて慰霊祭の幕はとじられ、かくて十一時五十分。午後は余興の浪曲にしばし時を忘れ、仁保　小鯖地区は貸切のバスで帰途についた。

公民館長決る

町公民館長は教育長兼務。副館長として、坂倉道義（小鯖公民館長）原田三雄（大内〃）潮　安（仁保〃）三氏に決定

国体に出す藝術品
県予選は來月始め

第十回国民体育大会に出品する芸術作品を募集している。内容は絵画、彫刻、工芸、建築、写真の五種で、スポーツに関係ある題材を扱つたものに限る。申込方法及び、詳細は教委社教係まで

教育施設を借るには―順序知ればやさしい

学校などを借るのに、方法を知らない方は、何て又七面倒臭いと不平をこぼす。然し順序を知れば何でもない。以下手続きの手引き。

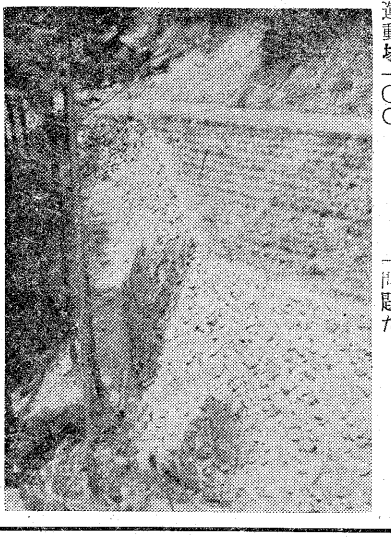
許可される使用時間は、一、平日午後五時～後十時　二、土曜午後一時～〃　三、休日前八、三〇～〃が原則である。

△手続きの方法　順序を知れば何でもないがまづ学校にゆき、学校の行事とタブツタリ、支障のないことを確かめ、許可願に学校長の意見を記入して貰い、教委事務局に申出て頂くと、教育長が許可するかどうかを決定する。仁保、小鯖地区は支所長が代行する。

△使用料　言う迄もないが、何か器具を使用して破つたときは弁償するとか、使用終つたときは清掃してもとの状態にして置くとか、指定外の喫煙をしないとか、許可以外の室に立入らぬとか、これは各人の公徳心の問題だ。

講堂　昼　四〇〇円　夜　六〇〇円
教室　一〇〇　三〇〇
〃（畳）二〇〇　三〇〇
公民館二〇〇　三〇〇
運動場一〇〇

営利を目的としたり、公安秩序に害ありと認められた時など許可されないが、これはそう難しいことはないどし〳〵責任を持つて利用して頂きたい。使用料は、前納になつて居り



これは見事！
検査官犬鳴林道を激賞

会計検査院の検査官が工事現場で施工をほめるということは、下関のふぐに当つた位珍らしいが、それが去る九月五日大内町で起つたその日、犬鳴林道の検査が現地で行われ、激賞された関係者一同大いに面目をほどこした。当初計画は改修延長五四〇米、補助一三〇万山の計画の下に、指令前着工をやり仁保時代二月末日に完成したものであつたこの工事は、海抜二百七十米の高所であるため、資材の運搬に困難をなめ、特に岩盤地帯は、石垣ののり面を減じて平均八〇センチメートル切り込んで強いものにしてある。（写真最も難行を極めた個所、今は整然と石垣が並んでいる。）

自衛官
第二次募集

受付期間は今月十二日から来十月十一日迄で募集人員は

陸上自衛官（二等陸士）一一、三〇〇名
海上　〃（二等海士）四〇〇
航空　〃（二等空士）八〇〇

△応募資格は昭和六年一月二日～十三年一月一日までに出生したもので、中等学校卒業以上の学力を有する者

△試験は筆記、身体検査及び口述試験を行う。

△入隊予定は陸士卅一年一月中旬海士一月上旬空士二月上旬

△試験期間及び場所　十月廿一日～十一月六日で四ケ所乃至五ケ所の予定（場所未定）

来春高校卒業予定の在学生が受験して合格した場合、卒業後入隊できる。

詳細は総務課庶務係又は仁保支所、小鯖支所まで

広報が一刻も早く
お手許に届かぬと

広報が部落によつてお手許に用く時間が大分まちまちな様です。駐在員の方にも日頃大変御無理をお願して御多忙と存じますが何とかして早く届く方法をこれから研究してゆきます。

と申上げる訳は、町からの通達も、出来るだけ短かくしてこの広報に多くのせ、事務を簡素にしたいと考えているからです。

従つて、特別に回答を必要とするものを除き、広報を活用し通達を極力少くする体制を整えていますので、お手許に届く時刻が遅れると、それだけ町民の皆さんが御不便な訳です。

広報は発行の前日迄取材し夜から朝にかけて印刷して居ります。

年毎に杉はすく〳〵

注目をあびる婦人会造林

婦人会林造!!二六年災害の復旧に仁保地区婦人会が団結して投じた一石が年と共に大きくなつて、今や全国的な注視をあびるに至つた。林野庁は特異なケースとして注目している。現地坂本を訪えば、既に背丈以上もすく〳〵と伸びた杉が、無言の中に団結した婦人の力の偉大さと、その純粋に無欲な奉仕の姿を物語るかの様に立つていた。

かくて婦人は團結した

仁保地区に限らず二六年災害は大きかつたが、至るところ土砂の崩壊した仁保では特にみじめであつた。約六十年前、同じ様な災害に会つた際は、全村一致して復旧した事例があるのを考えて、何とかして挙村的な体制が出来るようにこの頃が幹部の頭にあつた。役の費用弁償が払われていたが、その金額も馬鹿にならない。何とかして純粋に奉仕の形で、愛する郷土の復興に力を尽したい気持を伝えたところ、賛成の声は日と共に高く工事の必要上仁保川の水をせきとめる仕事をやつたとき、たかく〳〵つた人達も驚いたが、婦人会員自身も団結の力の大いさに眼を見張つた。水は見事にせきとめられたのだ。こゝで婦人会員は大きな自信を得た。

かくて婦人会造林へ

時の村長須子勝平氏（現町長）は婦人会の申出を感激を以つて快諾し廿七年岡山から入れた杉苗を三町歩が廿八年地元高野苗圃の杉苗二町歩を植えた。

成積は地元苗の方がうんとよかつた。

以後下刈は毎年続行して居り、全地区の婦人会員が参加している。当時の佐々木林業普及員も植林には随分と力を入れて呉れた。

造林地坂本水尻は土地柄はよくないけれど丁寧に植えたので、成育は非常に良好である。

この輝くもの

七十を過ぎて腰が二つに折れる程のお年寄迄、自ら進んで参加している。

今年はオートバイを使つたが、昨年迄は、坂本迄全員が歩いた。丸山部落からは朝四時に起きて参加したという。一切の報いを捨て純粋な奉仕の姿、この気持は仁保地区婦人会、否お母さん方に永却に伝えられてゆくだろう。

そして、若い母親達は、お子様が大きく成長したときあのお山は、お母さん達がー生懸命に植えたんだよと心から誇りと喜びを持つて教えることだろう。

（写真は、これからの植林を語り合う会長副会長）

郡青女子協議会

廿四、五仁保中で

四十名位が参加の予定だが近くで開催されることで、多数参加を郡青事務局では希望。

廿四日十時～廿五日三時閉会。

内容は、時事問題、家庭生活に直結したもの、保健衛生

動散の修理工具

紛失して係が大弱り

（小鯖）修理工具が相当量紛失したから、産業係は大弱り。納屋の中などもう一度念を入れて調べて頂けませぬか。あつたら、直ぐに支所産業係りまで持参して下さい。

修理工具のみでなく、散粉機が部落に貸したまゝになつて居り、いもち防除を現在各地でやつているため、設備不足で、これ又係が大弱り。

女對審議會

六日に発足

大内町女性問題対策審議会は六日に発足し、規則も決定した。会長に吉富好子女子がなり、婦人の立場から町政に大いに婦人の声を反影させようと終日審議に華をさかせた。当日の議題となつたものは、

△家族制度の復活が叫ばれているが婦人としてこれをどう考えるか。

△農家経済のこれからにどう考え且つ対策していくか、

△教育費を県や町で見る度合を多くしないと、家庭の負担が多すぎはしないか、

△適当な副業で収入をはかりたい。

△結婚改善の推進はどうするか、

△幼稚園や保育園の設置が必要にせまられているが、どう対策するか。

畜、農産品評会

合併祝賀に開催

の予定

合併祝賀について、委員会が構成され、近く審議される模様だが、祝賀に併せて農、畜産の品評会が開催される予定だが詳細未定。農産は秋蔬菜全般で、畜産は緬羊、育牛、乳牛、山羊、鶏、役馬等全般。自信のある方は、今から準備おさおさ……がよくはございませんか。

電気料金の名儀變更は

散宿所まで

【仁保】お祖父さんの名儀で電気料の請求がこようものならうつかりそんな人はいませんといゝかねない。カビの生えた名前で金を払うと、どうも電燈迄線香臭くていかんという御仁はあるまいが、名儀変最は、最近の領収証と印鑑を持つて散宿所迄御出掛下さると、簡単にチヨン。つまりケリがつく。

大富小の同窓会

五〇〇名が参加

（仁保）もう四十年位続いている大富小学校の同窓会は、八月三十日開かれ、約五〇〇名が参加した。当日は卒業生が、その家族全員をつれてやつて来るので、生徒数も少いこの学校の同窓会が勢い五〇〇人にもなる。部落別に演芸を競い、年寄も出て踊り狂い、一日を談笑の渦の中に過した。

土地改良

十四日に臨総

（小鯖）二九年度決算と、三十年予算追加更正で十四日公民館で臨時総会を開いた。

このとき、明年度事業計画も議して、盛会。

町長杯

大内チームへ

A、Bチームとも町長杯争奪野球戦は大内の手に渡つた。四日好天に恵まれて、農試グランドで応援の声華やかに、各チームとも敢闘したが、決勝戦は地元大内同志となり、Aチームが四対一で勝。大内Bチームのセンターとして出場した安富町議は活躍のあまり、骨のふし〳〵が痛んだと。

五時半終了

各地区で運動会

小鯖小、中　十七日

東園小　廿三日

大富小　廿五日

仁保小　十月二日

中　十八日

大内小、中　十八日

交換分合

経営調査にかかる

（仁保）耕地図が卅一日で完成したことは、九月一日号で御報した通り。その後耕地図を各実施部落に配布して、只今のところ、各戸の経営を調査している。この次に本格的な〃計画〃に入る訳。

國民たすけあい

共同募金をお願いします

毎年稔の秋になると赤い羽根の共同募金運動が展開されます。

この募金の使途は民間社会事業費に充てられるもので我国では昭和二十三年から引続いて行はれこれによつて一般の民間社会事業が維持される。

募金金額についてはその年度に大体必要とする額を市町村に割当られて本町の本年度目標額は約十五万円です。

大内町共同募金委員会

商工会設立

機運高まる

大内町商工会を作る機運が少しづゝ高まつている。去る八日町役場内議事堂に集つた関係者は約二〇名にすぎなかつたが、一応大内の商工会を作り、その後、山口商工会との合流について、よく検討してみることで意見一致し、散会、午後、国民金融公庫より資金借りる手続方法など説明があつた。

大内町広報

第四号
昭和30年10月7日
山口県吉敷郡大内町
発行者　渡辺敏雄
編集者　坂倉正義
印刷所　山口市道場門前印刷所
大同印刷舎

目標
よみやすい広報、ユーモアのある広報、いつも町民の実生活がにじみ出ている広報

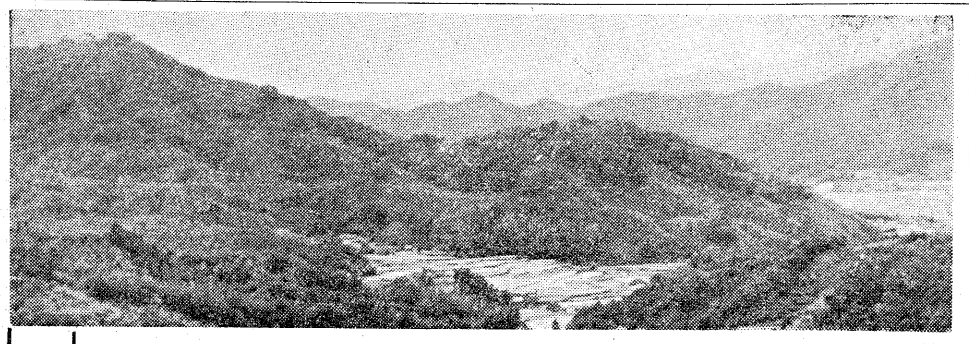
町民税、縣民税（第三期分）納期限は
十月末日まで

台風のため発行をおそくしました。刷り終りは六日午後十一時、上の方の余白でおとじ下さい。

育てれば前途は明るい
いぜん多い無償値林

〃豊かな大内町〃と、鳴物入りの合併熱は、美しい夢をえがかせたが、現実はやはり簡単でない。山林立木の値下りもこたえた。然しありあまる程の面積に、そう沢山もない立木を、売急いでは、先がつまる。そこで一豊かな町は治山からとかゝげはしたが、つまるところ山を愛して大きく育てましようといつたたぐい。たゞし、全町の住民が営々として汗と脂で育てるなら、四〇六八町歩の公有山林は町財政の前途に、大きな希望を固く約束する。民有林と同じだ。荒れた山林は至るところにある。自然が育てたものを奪うのみで、返す感謝を知らないものに、報いは何時の日か必ず来るであろう。

公有山林で余りにも恵まれた保有面積、余りにもなさけない立木の現状、すべてをさらけ出しての、〃町有林白書〃といこう。



面積は多い

総面積は四〇六八町歩内、直営林は一四七七町九反、保安林は四四四町二反一畝。砂防に指定されたところ三一九町二反三畝、これが馬鹿にならぬ。

部分林一〇〇一町六反四畝官行造林（旧村有地を国で造林し売つたとき分収を貰う）二六七町一反五畝。県行造林一二四町七反四畝。採草地二一一町一反、貸付地二二二町一反四畝。以上だが保安林は勝手に切れないし、砂防地はほとんど金にならぬ。部分林は分収を出さねばならず、貸付、採草地など、立木の対象でない。だから今さら総面積に酔つてもはじまらない。

砂防地に五年計画

仁保地区一貫野三〇町、小鯖地区叶木の五〇町と五ケ年計画で砂防工事を開始。本年度は一貫野地区五町、一五九万円、叶木地区一〇町三八八万円で実行予算が成立し、県が工事主体となつて進めている。いざ豪雨という時にそなえて砂防は少しもゆるがせにならぬ。金を産む山もあれば、喰う山もある。砂防地はうんと喰う。

立木は少い

施業地二二四一町三反四畝。内針葉樹二二万四千一三四石。平均石当りを五百円として、一億一千二〇六万七千円。広葉樹が十一万二千六七石これを金にして一一二〇万六七〇〇円。その他の林分が一八二六町七反だが、針葉樹一六万二六七七石、九一三三万八五〇〇円広葉樹が九万一三三九石で九一万三九〇〇円。

以上を総合計して六一万二一七石、金額にして二億二三八四万六一〇〇円になる

努力が実るまで

合計をならべたら、これはすごいということになるかもしれない。然しだ。年々三千万を一般財源に繰入れるとしたら七年だ。しかも立木の成育には、三五～五〇年かゝるから、この年限のヅレを見たら誰でも解る。かと言つて細く長くなら、一年に幾らも処分出来ない。植林撫育を一年でも早くと、森林白書をかゝげて、町有林の今日の危機を訴える理由もこゝにある。豊かな町も治山から――努力の結晶が実るまで、町は又豊かにはなれないという逆説でもある。

豊かな町は治山から

税収の二倍になる

町財政を考えるとき、山林の利用が大きく浮び上つて来る。町有林を最も有効に生かすかどうか。これが町財政の健全化につながる。よくいけば時価一町当り七十万位はするから、年々八十町歩の輪伐で、五千六百万の収入を得る。杉の場合一町当百五十万で一億二千万円、ヒノキなら一町百三十五万円で一億八百万円となる。もちろん適地に適木を植えるので、全部を杉とけ参らぬが、これからの公有財産を育てる上に考えたいことだ。

實の持ち腐れ

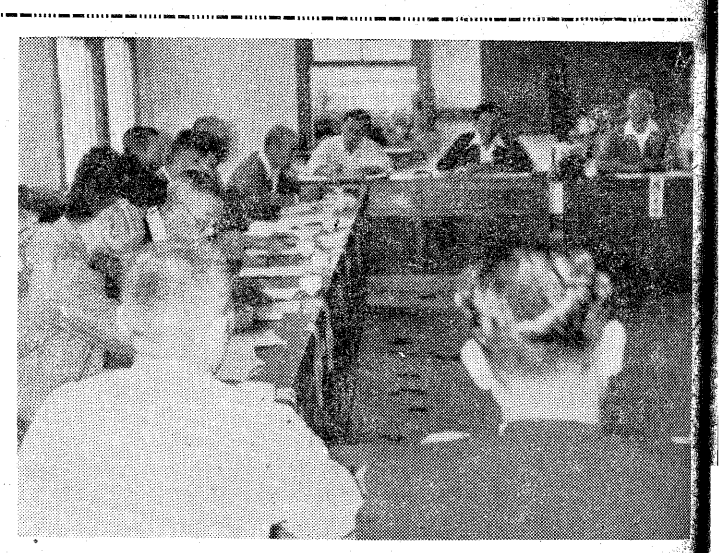
というのは、雑木林、薪炭林で見るとき、二十五年輪伐で一町当五万八千円、八十町で四百六十四万円にしかならぬ。短い期間で伐られるけれど、今のまゝで過すと、折角の山林がこんなには生きてこない。適地に適した樹種を植えて、人力による最大限の利用を考えてこそ、年々豊かな山林収入が、町財政を助けて呉れるだろう。民有林に於ても山の力を人力でせい一杯に助けていない山林が多いことは、私にとつて大きな悲しみだ。無価値な山林の何と多いことか。それらは何ら手入れもされず放りぱなし。

（大内森林組合、江藤）

立木は少い

施業地二二四一町三反四畝。内針葉樹二二万四千一三四石。平均石当りを五百円として、一億一千二〇六万七千円。広葉樹が十一万二千六七石これを金にして一一

仁保松柄峠から
大内、小鯖を望む



合併祝賀などきまる
夜になつた協議会

廿八日議事堂では全員協議会が夜八時迄続けられた。審議された内訳の大体は次の通り。合併祝賀は特別実行委員会をつくり、具体的に審議することになつた。委員長は町長、副委員長は議長、助役。委員は各種団体の代表者（農協、婦人会青年団等、教育関係は副議長、各常任委員長）で構成されている。

実行委員は、各部落の駐在員にお願いすることになつている。

会議

祝賀の期日

十一月廿三日を中心に行われる予定。初日は合併祭りの祝典。この日、自治、産業、教育、社会に功労あつた人達の表彰が行われる。畜産共進会と農産物品評会は決定的だが、細い点は実行委員会が決める。

国保の実施は？

明年四月一日実施目標に、基礎調査を行つた。賛成は回答者の六割、どちらでもよいが二割五分、希望しないものが一割五分あつた。この結果に基いて、更に趣旨の徹底をはかり、行うのに必要な調査をなお続けることになつた。

旧年経理はよい

廿九年度分（旧村分）決算の監査報告があり、経理状況は間違いないが、未収金が完全に整理されていない点が指てきされた。

町有林の払下など

その他意見として出されたものは、部分林で旧大内村の分収契約についての質疑が盛んに交わされた。小鯖毛割の町有林払下の件、小鯖自動車学校に小型試験場を設ける件が町側から出された。又三十一年度以降に五年計画で、林道をつける件が提出され、県が予定している道路を実施することを、全員賛成。大内奥山小藤房林道の設置に対する町費助成は、了承した。又仁保川の河川改修にともなう家屋移転費の町費助成は、県も出来るだけやつて欲しいの条件付で賛成。

未登録犬もこの際ぜひ

狂犬病予防
一日より山保管内一せいに

第一回の狂犬病予防接種は中以上の成績だ。第二回は十月一日からだ。山口保健所管内を一せいに行う。農繁期の最中でもあり、よりによつてこんなときにと（実際腹が立ちますね。）県全体の計画に基いてやることでもあり、時節の悪いことはまあ～カンベンして頂くとして、愛犬共々ぜひどうぞ。

十月七日前九～十一時　仁保上郷農協附近
後一～三時　〃　仁保下郷
十月八日前九～十一時　仁保支所

定期豫防
今月末に行う

ジフテリヤと百日せきの予防接種を今月末に行う。（日時、場所は未定）

該当者は次の通り

△ジフテリヤ
生後六月～十二月まで十八月にいたる間の人

△百日せき
生後三～六月まで（二回目）その後十二～十八月にいたる間の人

すみましたか？
傷病恩給や年金の手続

面倒と放つておいたら、折角の恩給がふいだ。軍隊在職中公務により傷痍を受けた軍人ならびに判任官以上の軍属は請求資格がある。

請求期間

1. 退職又は症状固定から七年以内
2. 恩給法附則第二十二条の規定による傷病恩給については、昭二九、四、一（四月二日以降症状固定したものはその日）から七年以内

備考1. 恩給法附則二十二条は、軍人で今までに傷病恩給の支給を受けたことがあり、現在の障害が款項症以上の人は請求出来る。請求期間は昭二七、四、一より七年以内。但し軍属で昭一六、十二、七までに傷を受けた人は昭三〇、一〇、一より七年以内。

恩給、年金ともに請求書類は、退職当時の本籍地を管轄する都道府県世話課に出す。不明の点は町民生課へ

小中便所の汲取

【大内】希望者は二〇日までに町教委事務局へ

遺族度の者。
2. 再審査請求のすまぬ者も請求出来る。
3. 請求済の者で、書類が不備で返された人は至急。

障害年金（一時金）昭十二、七、七以後戦地で傷病を受けた軍属と、時効で請求権がなくなつた傷痍軍人で、現在の障害が第六項症以上の人は請求出来る。請求期間は昭二七、四、一より七年以内。但し軍属で昭一六、十二、七までに傷を受けた人は昭三〇、一〇、一より七年以内。

恩給、年金ともに請求書類は、退職当時の本籍地を管轄する都道府県世話課に出す。不明の点は町民生課へ

米作日本一
21日粒数を調査

小鯖地区毛割の小野正広氏小野静治氏の二人が名乗りを上げていた。去る廿一日の粒数調査で、小野正広氏は四石二斗位の見込。正式の結果は今月中旬に決る。

無燈火など取締る

交通のはげしい、道路で、自転車の無灯火や二人乗りは、事故のもと。これが最近驚く程ふえたので、今後はしかたなく取締りをきびしくすると、山口警察署では言つている。

要点が抜けた**大掃除**

畳をあげて床下の清掃は至れり尽せり。だが、畜舎、堆肥場、便所は不充分だから蠅はいつもブン～。だから、肝心のところが抜けている。

志多里橋竣工

【大内】小野の志多里橋が見事に出来上つた。工費は六三万円。巾四米延長八米勿論鉄筋入りのコンクリート。

お斷り　家畜の精液をたくわえる電気冷蔵庫は、九月中旬出来上るとお報せしましたが、色々の手違いから遅れて今月十日になる見込です。こういうことは矢張り念を入れませんとネ。

豊作の夢今はなし
生々し22号の爪あと

吹いた、吹いた。豊作もどたん場で打つちやりだ。まず平年作。家屋関係でも千三百万の被害だ。瓦が飛ぶ、畜舎がつぶれる、稲は倒れる。二十二号の爪あとは、全町に生々しい。淋しいけれど豊作の夢、今はない。

のさなみの被害

家がつぶれて二名が重傷だ（大内）。住居の全壊は十戸（五一名）非住家で九戸この被害五〇〇万。半壊になるとベラボーだ。住居二〇戸で七〇名。金にして二〇〇万。非住家で三二〇戸、六〇〇万円。床下浸水は一一五戸で一〇万円。〃農畜産もひどい〃二八二五町歩の稲が倒れた。数字にして一一二八石だ。

冠水は二〇〇町歩で一五〇石。蔬菜二五町で六万四千貫、果樹は五町で三五万円畜産関係で畜舎の全壊四棟半壊三六棟だから大きい。甚肥舎は全壊五棟、半壊四二棟。

目下調査中で、この数字はまだ〳〵大きくなる。

然し稲作に被害が少なかつたことは不幸中の幸であつた。二十三号台風もあつけなく過ぎて、ほとんど被害ない。もう沢山だ、台風さんは。

台風にはやられたが、まあ平年作。（仁保農協下郷支所にて）

忘れられている
検察審査会

解説

検察官が不起訴にした事件が正しいか、適当かを資料に基いて審査する。その検察官を指揮する検事正にその結果を送つて、再び考えて貰うことができる。その他検察官の行う犯罪の捜査や、公訴のとりあげに欠点があれば指てきする、改善のみちがあれば、示してその採用を求めることができる。つまり、検察官の仕事について、国民が外から眺めて、正しく行われるように批判し又協力するといつた重大な権げんがある。

所在地と構成

全国各地の地方裁判所及びおもな地方裁判所支部にある。審査会は十一名の審査員でなりたつ。選び方は、衆議院議員選挙人名簿からくじで選ぶ。従つて男女、年令、職業の区別なく、任期は六ヶ月だ。

だれの指揮監督も受けず、だれの意見にもしばられず法律に従つて各自の良心と良識の下に自由に判断できる。だから独立して行う職けんを持つている。

その役割

（参考）検察審査会で取扱つた近年の事件のうち、岡崎外務大臣の選挙違反事件相模湖事件、法務大臣の指き権発動までひき起した造船疑獄事件などがある。

戸籍や証明の事務は
合併前と変りない

戸籍のトウ本や抄本、身分証明、印鑑証明等は合併前と同じだ。各支所で取扱つている。だから、本庁では大内地区しかやらぬ。又出生、死亡の際の届出がよく間違うが、その場所の市長村長に出すので、（大阪なら大阪市長、福岡県福島町なら福島町長へ書類を出す。）本籍地とは関係ない。

刈上用酒の特配

今月上旬から中旬にかけて配給される。合成酒又は焼酎一升あて。くつと一杯さそ、おいしいでしようなあ

交通安全ポスター募集

今月下旬、交通安全運動が行われ、ポスター図案を次の通り募集している。

(4)、道路の横ぎり、踏切の不注意、道路での遊び、道路にものを置く、幼児のひとり歩き、無茶な運転、その他。

図案は都市又は農村向で

ポスターとして宣伝価値の多いもの用紙

△一般及高校
B2（タテ七二八ミリ横五五一ミリ）版で下部を一二〇ミリあける。裏に一般は住所氏名、高校生は校名学年及び氏名をかき入れる。

△小中学校
画用紙四ツ切又は半切で裏に学校の名、学年及び氏名をかき入れる。

賞金は一般一位一万円、二位五千円、三位三千円各一名。学校の部は入賞者に賞状ならびに薄謝。十月二十五日迄、山口警察署宛。

今年で八回目
國勢調査終る

月日のたつのは速いもの、三十日に五年ぶりで国勢調査が行われた。大正九年に始つて今年で八回目。

この調査で市町村毎の人口及日本の総人口が解り、国会議員の定数、県市町村議会の議員定数がきまる。そ

ちらりホラリ
赤痢とヂフテリア

【小鯖】下鯖山禅昌寺町元宗ちやんがヂフテリア、だが手当早く直ぐによくなつた。

鳴滝一人、簸ケ尻二人の赤痢患者、全部よくなつたが鳴滝は河水による伝染だと想像されており、簸ケ尻は食物からだと。

環境衛生で
丸山地區進む

【仁保】丸山がモデル地区に指定されたのは八月二五日。会長内田惣一氏、副会長藤村勉氏等の努力で着々と準備がすゝめられた。すでに基礎調査はすみ、第一回の駆除を九月十日頃行つた。参考になる映画を一回、保健所の指導による集会も三回やつたが、特別な効果はなかつたが、特別な効果はだ。すべてこれからの話。

田すき競技会せまる

大内長野、自動車学校前で廿二日の午前九時からだ。この会は県と町の共催で県下各地から参加が予想される。当日は優良農機具の展示、カルチ、動力こーうん機の実演もある。競技会に出場希望の方は、八日までに支所又は本庁へ申込を。その他については、その時尋ねて下さい。

山羊、乳牛などの移動
ぜひ連らくを

今後人工受精をすゝめてゆく上に、生産台帳を何時もガツチリさせておかなければならない。

それで生産和牛、乳牛、山羊については移動があつた場合は必ず支所又は本庁の産業係まで申出て下さい。

ぜつたい有利だ!!
茶をうえよう

茶業熱が高まつている。小鯖農委がこれを取上げ、町産業課も本腰を入れ、波は次第に大きくなりつゝある。以前から茶業を営んでいる小鯖向山の重宗謙一氏が、一文を寄せた。同業の人が町全体に沢山出ることを祈つての一文を。

名声は高い

日本茶は世界的に有名になつた。外貨をかせぐ点でも大事な地位をしめている。値段も常に上る一方だ。デフレ経済下に茶業だけが特別の景気をいばつている。これは絶対見のがせぬことだ。

収入も多い

葉のとれる量は、普通四、五年目から最低五〇〇貫。今年の平均値は貫当二〇〇円だから、ざつと十万。しかも労力が米作りの半分いらぬ。茶園一反は米の一町につり合う。

適地はいくらでも

本町は吉敷郡の南部にくらべて、米作の環境に恵まれたとは言えない。供出にしたつて農民は農業委員会と共に、毎年苦しい目に会つてきた。いのしゝの害も馬鹿にならぬ。いのしゝのため、耕作を放棄する話も出る有様である。

労力を無視して作る米にも食糧の国内自給という意義はある。

然し一全く然しである。茶を栽培する場所はいくらでもある。捨てゝ見むきもしないところが、茶の適地になり得るからだ。

あれ地の活用を

至るところ畑、あれ地、干害地、野猪の被害地がある。これを活用すれば、米価一万五千円運動より、はるかにたしかだ。今まで捨てゝいたところに、宝が埋つていることを強調したい。

必要な条件

のほか、都市を設けるのに必要な条件をきめることや地方交付金の計算（大内町も政府から四八三万程貰つた。地方交付税参照）にも役立つ。又国民所得がおゝよそこの位だろうと計算することや、住宅、労働といつた政策上の基礎になる資料もこの調査でまとめられる。

何しろ、全国で四十二万という調査員をたのんでいるから、大がかりな仕事といえる。町の調査員は六〇名の方に御足労をお願した。

白菊会
第一回総会終る

【仁保】九月七日、仁保支所二階で開かれた。議事は本年度事業計画、資金の獲得と貸付、慰安について、相談日を設けるなど四つ。当日の出席者三十名、山口福祉事務所長、白菊会郡連支の部長、中村母子相談員らも参加した。立場を同じくする人達の話し合いは熱心だつた。世話人は半木静江、大来ミカヨの両人。

臭いものには
ふたをせよ

【水鯖】臭いものにはふたをせよ、当り前、然しふたをしてもこぼれるんですからね、仕方ない。それは、一小学校の便所。

だが御安心下さい。去る二十八日に着工して、今度は容積が大きくなる。それで、臭いものにふたをせよ。その他、講堂の戸もよくなる。押しても突いても動くんじやなかつたあの戸がネ

町が国から貰つた地方交付税は、使いみちが決められていないので、大変便利だ。

金持の伯父さんから、貧乏な甥が小遣を貰つた様なもので、何に使つてもよい。然し申請すれば、幾らでも貰えるかというとそうは問屋が卸さない。例えば、消防費は人口に、土木費は道路や橋の面積に、教育費は学校数、学級数、児童生徒数及び人口にきまつた率をかける。その結果、その町村に一年間必要な消防費や土木費、教育費等を計算する。つまり必要経費が出る。

別に、その町村に一年間収入となる税金を計算して、前の必要経費から差引くと、収入の少い町村では不足分が出る。この赤字をうめてくれるのが地方交付税である。これに普通と特別の交付税があつて、特別交付税は別の規じゆんで計算され、額は多くないのが普通だ。そこで、本町の普通交付税は昨年（三村分合計）四三〇万一千円で、本年度は四八三万五千円と決つた。つまり、昨年より五三万四千円ふえてこれが合併による利得と言えば、僅かながらマアネ？（暁の星）

地方交付税
昨年より53万増

梨羽線の修理なる

【小鯖】廿六日は五区（江良、河原、迫）廿七日は一区（松尾、矢地、猿田）二区（向山）部落の人が多数道路の修理に奉仕した。大道のマサと問田のバラスを使つて、久し振りに、梨羽線の化粧は終つた。

農委、土地調査にかゝる

【仁保】九月末にいよ〳〵着手した。農業委員会から具体的な計画が示されるのは来月末の見込。そして交換分合が農業に能りつをあらわすのは、明年稲作からであろうか。

予備隊家族
居住を申込む

【大内】近日中に五十世帯が居住を申込んでいる。遊んでいる家屋、都合のつく部屋のある方は役場総務課まで。

三分間インタビュー

大内
岡本義男氏

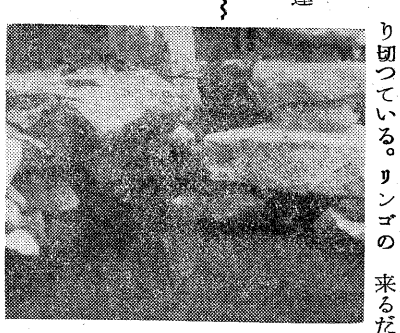
アメリカ農業の様子を学ぶため、選ばれて鹿島立つたのが二七才のとき。洋行したといつても僅か八ケ月、ちよいと向うの空気をすつたとか、マサカ？

雨ざらしは嫌です
バス庫落成

【仁保】市営バスが一貫野に通じて久しい。以前から必要を叫ばれていた倉庫が十九日棟上を行つた。九月一杯で落成したが、雨ざらしは嫌ですと、バスがいつたとか、マサカ？

鯉が育てるもの

信州飯田市の町のまん中の通りに、中学生の植えたリンゴ並木が今年も赤い実を結んだ。リンゴは誰にも手折られずに、皆から祝福され守られている。始め笑つた大人達もこの頃では真剣だ。それとこれは逆の話で、上千坊の公民館のそばの池に大人達が鯉を入れた。小供達に生きものを愛する気持を植えつけるためという



サクも何もしてない。浅い池で、取る気なら雑作ない。取られても、取らんでも直ぐ次を入れるんだと、地元の大人達は張り切つている。（Q）

実と同じく、子供達はこゝから公徳心を学ぶだろう。だが、一子供達の世界から自発的に芽生えた〃リンゴ〃は、まだ本町にはない。よい子達の活躍は色々あつたが、〃リンゴ〃もこれから生れて来るだろう。

遙かに、信州飯田市の中学生諸君に拍手を送り、本町にもゝと心から待つている。（Q）

大内町広報

第五号
山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口大市道場門前印刷舎
昭和30年11月1日

合併祝賀
町民のみなさん、お目出とうございます。祝賀は来る二十二、三、七日。助け合ってきつといゝ町をつくりあげましょう。

目標
わかりやすい広報、ユーモアのある広報、いつも町民の実生活がにじみ出ている広報

財政白書を全町民に訴える

昭和三十年度上半期（四月～九月）の財政白書がやっとでき上った。この表は私達にいろいろのことを教えてくれる。これが郷土大内町財政のありのまゝだ。豊かなよりよい町を造るにしても、郷土を育てるにしても、こゝから、この実態の中から、全町民が考え、かつ実行しなければ、本当の町財政ではありえない。今年の土台の上に来年度の財政があることを想えば、年度半ばにして、財政白書をもとに私達がじっくり考えなおす意義もあるだろう。〃町財政〃は一訴えている！

事業費は実に苦しい
出る方が多い

大内町をよりよく建設しようとすれば、どうしても経費がかゝる。出る金が多くて入る金が少いのが、大きな悩みだ。四百万円余り不足している金は、一時の借金でしのいでいる。入る金が少なければ、その結果は当然、事業を貧弱にする。別表一の才出（仕事をする上に出てゆく金）を見ると、土木、教育、産業経済、民生（社会及労働）消防など大事な仕事が、どうしてもおくれる。かといって仕事は相当やったが、未払だからこの表にはのせられぬ。だから収入があれば、この表の%はぐんと上って来る。これが実態なのだ。くわしいことは別表の二にある。特別会計とは仁保地区の国民健康保険会計のことだ。）

収入が少い

別表の一の才入のところで表だけでは解りにくいところがある。財産収入が五七万七千円しかないのは、一ヶ所小鯖地区の山を処分した。九月はまだ山の立木も値が安く安定しないので売らなかった。財産収入（主として山の立木の売上）は十一月から明年一月にかけて次第とはいってくる。さいわい値段も少し上をむいて来た。国庫支出金が一四四万しか入ってないのは、合併の補助金が入ただけだからだ。土木、耕地関係の国庫補助金が、国から払われるのは、普通の場合年度の末になる。

雑収入が二千二百万もあって一体何の収入だ？と不思議な気がされるのもごもっとも。三千二百万の予算額の九九%までは旧村分の未収金だ。その内訳は、旧村で売った山の立木代金のはいらぬ分と、税の滞納した分だ。滞納額が四五〇万円位だ。

以上を合計して、四三五一万九千円になり、三八%という淋しい数字だ。

才出は四三%

別表一の才出のところを見ると、この数字がなかなか深刻なものを語ってくれる。

議会費、役場費は順調に出ているが、そのほかのところが意外に少い。警察消防が二〇%土木費が二四%教育費が二三%保健衛生と産業経済費にいたっては一〇%台、仕事はしたが払う金がないことを示している。

町有財産
主な財源は立木だけ
無理すれば育つより切るが早い

町有財産は、一口に言えば旧三村の合計にすぎない。町になってからふえたといえば、役場敷地として一六八坪、値段十二万円の土地を買ったのと、現金では利子のくり入れ三七、一五六円がふえた。有価証券では構内交換機をすえつけるため、電話公債一二四、〇〇〇円をかつたのがふえている。

次の表でわかるとおり、主な財源は山の立木で、総額三億三千万と言っても、建物は売りとばす訳にはゆかぬから、結局は少いものになる。豊かなように見えても内輪は火の車とよくいうが大内町もまたこの例外ではない。この表の中で処分できるものといえば山林の立木だけだ。十月号町広報で町有林白書としてくわしくお知らせしました。総額でいえば、これだけでもあるじゃないかと頼もしく思われるが、木の大きくなる年月で割れば、一年にどの位売ぶるか見当がつく。

財産費は解りにくい名前だが、町有林の中刈などに出す、財産管理の経費だ。

才入と才出はそれ〴〵深い関係があって、国からの補助金が出ないから事業ができないといった理由もある。税の収入が少しづゝ遅れるのも大きな原因だ。山の立木が今迄売る時期でなかったのも理由だ。

公債費は国から借りている金の元金の償かんと利息にあてるものだ。諸支出金は才入のところと同じで、旧村分の未払がほとんど。まだはいらぬ金があるからこれは別問題だ。

以上で才出の総額が四七五八万八千円となり、四一%になる。

国保才入は三三%

別表二につづいている。才入の面で町税が二三%であるのが特に目立つている。こ

借金は二三九三万

九月末において、町債発行の総だかは二三九三万七〇〇〇円である。これだけ借金していることになる。大内町になってからの町債はこのうち一つもなく

旧大内村七八三万七千円
旧仁保〃九五〇万
旧小鯖〃六六〇万

合計が二三九三万七千円になる。

一時借入金は郵政省から百万、仁保農協から二百万、小鯖農協から二百万、合計八百万をかりている。こゝしばらく、山林立木の代金が入るまでこの状態は続いてゆく。

別表第一　昭和30年度上半期の予算使用状況（一般会計）

歳入

科目	歳入予算額	収入済額	収入比率	差引予算残額
町税	35,466千円	14,226千円	40%	21,240千円
地方交付税	5,500	3,407	62	2,093
財産収入	12,808	577	5	12,231
分担金及び負担金	1,222	—	—	1,222
使用料及び手数料	1,380	600	43	780
国庫支出金	18,224	1,440	8	16,784
県支出金	2,675	183	7	2,492
繰越金	865	865	100	—
雑収入	32,713	22,221	68	10,492
町債	4,100	—	—	4,100
歳入合計	114,953	43,519	33	71,434

歳出

科目	才出予算額	支出済額	支出比率	差引予算残額
議会費	1,142千円	395千円	35%	747千円
役場費	18,053	9,407	52	8,646
警察消防費	1,280	225	20	1,025
土木費	10,714	2,594	24	8,120
教育費	17,242	4,010	23	13,232
社会及び労働施設費	1,770	533	30	1,237
保健衛生費	1,449	197	14	1,252
産業経済費	21,835	2,732	13	19,103
財産費	4,512	707	16	3,805
統計費	92	4	4	88
選挙費	425	345	81	80
公債費	2,833	1,217	43	1,616
諸支出金	33,075	25,191	76	7,884
予備費	531 △83			448
歳出合計	114,953	47,588	41	67,365
歳入歳出差引		△4,069		

別表第二

昭和30年上半期の予算使用状況（特別合計）

歳入

科目	歳入予算額	収入済額	収入比率	差引予算残額
町税	2,500千円	576千円	23%	1,924千円
使用料及び手数料	1	—	—	1
国庫支出金	1,683	1,033	61	650
県支出金	116	46	40	70
繰入金	1,600	—	—	1,600
繰越金	476	476	100	0
雑収入	1	3	300	△ 2
歳入合計	6,377	2,134	33	4,243

歳出

科目	歳出予算額	支出済額	支出比率	差引予算残額
役場費	702千円	258千円	37%	444千円
保険給付費	4,283	1,592	37	2,691
保健施設費	440	137	31	303
諸支出金	616	62	10	554
予備費	336		—	336
歳出合計	6,377	2,049	32	4,328
歳入歳出差引		85		

種別 / 現金 / 有価証券（額面） / 建物 / 土地

	現金	有価証券（額面）	建物	土地		
				宅地	山林	その他
基本財産	七九、四五〇円	円	円	坪	反	反
特別基本財産	七一、七二五	二九、〇〇〇	八四、二四三、〇〇〇	三一、二四三	四〇、六五〇	七
積立金	三一、二五一		三、五八二、〇〇〇	一、〇〇四		
行政財産			八七、八三五、〇〇〇	三二、二四六		
その他	八三、四二六	二九、〇〇〇				
計						

同上の見積額：六、七二一、六二八円 / 一四三、八〇〇 / 三三〇、二六〇、五一八

本町にも事故があつた

近ごろ事故が小鯖地区修で相つぎ起つた。トラックは転落するし、オートバイは正面衝突した。小鯖山トンネルからの直線コースは、中国地方では他にないといわれる程だが、このコースの終りで不思議にも事故が以前から続いている。魔の場所といわれ、供養碑の建立の話も進んでいる。

だから言わんことじやない
安全運動中にこの惨事

十月中下旬は全国一斉に、交通安全運動がくりひろげられた。東京は勿論、山口でも本町でも、この期間中に交通のはげしい場所を歩いた人はほとんどが苦笑した。まるでよその国に行つた様だからだ。運動会で自転車の運乗り競走というのがあるが、アレに似ている絶対に追越さない。必要以上にノロ〳〵やる。辻々で警察官がストップウオッチを持つて立つているからだ。

こうして安全運動中の成果？は上つたが苦笑ばかりですまされない。いたましい犠牲者が日増しにふえている。

働く少年少女に本を寄贈して下さい

山口婦人少年室では、年少労働者保護促進運動の一つとして、働く子供達のために、図書寄贈運動を行うことになつた。

県下には約九千の年少労働者と、二千余名の新聞配達児童、又農山漁村、商家などで働いている多くの子供達がいる。これらの大部分は本を買う金がなく、図書に飢え遊びに飢えている。働く子供達が、良い産業人となり、心身ともにすこやかに伸びるためには、適当な慰安と娯楽が必要であり余暇を有効に使うことは、青少年の不良化防止のためにも大切だ。運動の趣旨に御賛同下さつて、お手持ちの本の中から、一冊でも多く年少労働者達に適当な文学書、修養書、科学書、機械工学書、健全な娯楽雑誌などを御寄贈下さい。

御寄贈願う図書は左記のどれかに届けて下さい。

(1)労働基準監督署(2)職業安定所(3)労政事務所(4)県庁関係の方は職業安定課又は労政課、受付の期限は十月十日より十一月十日まで。

税務署より出張徴収

十一月は申告所得税（第二期分）の納期だ。期限内つまり十一月三十日までに完全におさめて頂くため、税務署より係員が次の通り出張する。

十一月三十日
本庁前九時～後四時まで
小鯖支所 十時～〃
仁保 〃 〃

今こそ力一杯羽ばたこう

合併祝賀の細目決る

祝賀の内ようが決つた。一面の財政白書でも示したとおり、今の財政にふさわしく質素でつゝましい。やがて豊かな町造りができたころ、盛大にやろうと議員さん達の話だつた。空騒ぎであり、馬鹿にうかれても意味ない。あくまでよりよい建設へのかどでを祝う気持が、恐らく全町民の心ではあるまいか。祝賀は三日にわたる。二十二、三日と二十七日の三日間だ。質素な中にも、いろどりの多い祝賀行事で、まず今まで他村民としていくぶんはなれていた感じをとり払おうではないか。お互いを理解するところから、合併祝賀の本当の意味での発足がある。

二十二日に旗行列

各校区毎に小中学校の全児童と生徒が参加する。たゞし午前中だ。合併祝賀の歌をうたいながらの旗行列に全町は一段と美しく見えることだろう。

角力、駅伝、排球も

場所は大内小学校の校庭。地区対抗の団体とトーナメントによる個人勝負だ。支所めぐりの駅伝も面白いコースは大内小学校をでて仁保支所―小鯖支所―毛割を通つてまた大内小学校にかえる。全長二十六キロにわたる。出場選手が、頑張りと体力をしめすにはいゝ機会だ。排球大会なら、よし俺も、と力んでも駄目だ。女子に限るから。

各地区から中学チームと青年一般チームが参加する。中学、青年一般それ〴〵一番点数の合計の多いのが優勝する。場所は大内中のコートだ。

藝能大会は23日

各地区の公民館が主催する午前中は学校の芸能発表会午後が一般芸能で、仁保の移動演芸団は婦人会の踊りと青年団のコーラスになつている。小鯖、大内はまだ決つていない。当日までかくして、アッといわせるコンタンか。ヘテ？

ぜひ文化展示会へ

二十七日、大内中学校で開かれる。学校の児童生徒、女子学園、青年学級生徒の作品、どれも等級はつけない。

いからどんな見ばえのしないものでも一(オット失礼)まだ〳〵ある。写真展、生活改善資料、生花展、盆石展、全くテン〳〵だ。

畜産共進会は農試で二十七日。農業試験場のグラウンドで、午前八時から開く、

出場資格は、種牝馬及役馬二―八才まで。乳牛および役肉牛、二―六才までめん羊および山羊六ケ月以上。鶏一番（めすの場合二羽でよい）

出場希望者は十一月二十日までに申込めばよい。

その栄品評会もある

これも二十七日。場所は大内小学校の南校舎。

眼を皿のようにして見て廻らねばならぬ。ひとごとながら、一寸気になる。

本町の住民が作つた白菜なら何を出してもよい。白菜と並べれば書く方も続む方も面倒だ、要するにそ菜なら何でもよい。

出品物の受付を前の日（二六）午前九時にはじめ、正午迄に終る予定仁保、小鯖地区は支所から町の自動車で運ぶ。

二十九年決算まとまる

才出は八千五百万

昭和二九年度（一般会計）旧村分の歳入決算額は八二二万であつた。これに対し、歳出の決算額は八五七五万五千円であつた。

これで才入の不足が三五三万五千円になる。この不足したのは、一時借入金として新町に引つがれている。（一時借入八〇〇万の項をみて下さい。）才入の決算額八二二二万を才入の予算額一二二二万三千円にくらべると四〇〇六万三千円ほどたらなくなり、才出の決算額八五七五万五千円を同じく才出の予算額にくらべると、三六五二万八千円の予算残額となる。

残額が多い訳は

才入才出とも残額が多いのは、四月一日合併のため、例年のように四月五月の出納整理期間がなかつたためだ。従つて新町に引つがれた債務は、すでにのべた一時借入金三五三万五千円のほかに、工事費未払金などの二五四一万九千円が加わり、二八九五万四千円になつた。

一方収入の面では財産収入税滞納分など三二四三万三千円が引つがれている。（これが全部収入になつていない点は、別表の一を見て下さい。）各村別の状況は下表のとおりである

下の表が教えるもの

合計三三〇〇万の未収が新町に引つがれたから、この決算も旧村の完全な決算ではあり得ない。しかしそのことを考えあわせても、下の数字はなか〳〵味がある旧村がどこに力を注ぎ行政上の重点をおいたかを語つてくれる。人口もそれ〴〵違うので、たゞ数字だけを見ても無駄だが、旧村の行政の性格が、自然とにじみ出ている。旧村の長所がうまくとけ合つてくれたら、深みとうまみのある町行政もうまれてくるだろう。

県下の優秀選手をあつめ

田耕競技会盛大に終る

秋晴れのこの日、大内地区字大道では、県下の選手を集めて、山口県田耕競技会が盛大に行われた。県と大内町とが共同主催したこの大会には、役場職員もほとんど総出で準備した。

本町出身の選手はさすがに地元だけあつて、はづかしくない健闘ぶりだつた。

また、この行事にあわせて農機具の展示会、耕ウン機カルチ、犁などの展示がひらかれ、実演も行われた。

本町の入選者

二段耕犁による畦立耕

二位柴崎勉㉕(大内矢田)

三位岡村一夫㉖(大内上千坊)

カルチベータによる簡易整地

二位中野重雄㉙(大内)

三位長沼隆一㉕(〃)

〃　楽満光人㉔(〃)

審査の批評は素人がやるとバンに、対してデコボコになり勝ちだが、どの選手も上手に平たくすいた。然し時間をかけすぎた点が惜しかつた。また姿勢の悪い選手があつたが、これは疲れるから注意して欲しかつた。技術は今迄より格段の進歩だつた。

町から三名が中国大会へ

犁一名、カルチ二名が中国大会（正しくは第二回中国五県連合畜力利用技術交換競技大会、何てやゝこしいんでしよう）へ出場と決つた。

カルチ　中野　重雄

長沼　隆一

スキ　柴崎　勉

この中国大会は、十一月十一日防府市で開かれる。

（寫眞は汗だくの選手達）

郡森林組合長会議

廿七日、全郡から集つて、熱心に会議が行われた。今年秋の植林の問題、種苗に保証票をつける問題、国県補助金の経理についてなど。

土木工事次々に完成す

はかどつた問田川改修

問田川改修の県工事は日ましに進んで護岸も見事な出来ばえだ。寒さに向つて、今からブロック沈床（川床がほれて岸がくずれぬように、コンクリートブロックを沈める）が始められる。

月光、小野橋完成

小鯖鳴滝にある月光橋は、総延長二三〇〇米の細線のバスに大事な橋だ工費八十万で、巾四、四〇米長九、六〇米。十月十五日完成。大内小野橋も完成した。工費二四八万三千円で、巾四米延長三十米。どちらも、もうすぐ出来る。

高芝―菅内線ついに完成

高芝―菅内線が出来上つた関係戸数は二四〇戸、人口一一六一人、受益面積一〇六町に及ぶ。九月十七日町議事堂で竣工式には、関係者が一堂に集つて、完成のよろこびを分け合い盛会であつた。

工費五四五万四千を投じて

緊急査定で長谷線さまる

公共土木施設で、今年災害に会つた分の、復旧、指定が九月十三日行われた。本年度は三百四十八万二千円（前回お報せの通り）で、長谷線の復旧が緊急採択にきまつた。

家畜共済

大巾に改正された

家畜共済の内容が、この度大きく改正された。今までの方法でいうと、死んだり役に立たなくなつたときの共済と、病気やけがをしたときの共済とに分れていたそれがこん度一本になつて、〃死廃病傷共済〃と舌をかむような名前になつた。

家畜を飼つている人は必ず加入して下さい。病気やけがをしたときの受診証が交付されて、事故のあつたときは、タダで診だんや治りようを受けることができるようになつた。

死んだり、役に立たなくなつたら、掛金におうじた共済金が支払れるのはもちろんである。

掛金の額は、今までの死んだり役に立たなくなつたときの掛金（死亡廃用共済掛金）と、病気や、けがをしたときの掛金（疾病傷害共済掛金）とをたしたより、うんと安くなつた。

これでまづい〻。改正されて掛金が高くなつたんじや農民は浮ばれないから。

二つが一つになつて、その方も面倒が少くなつた。

仁保共済組合では、十一月下旬、部落別に説明会を開く。十二月上旬には、一せいに引受検査を行つて、加入の申込を受ける。どうぞ進んで検査を受けていただきたい。

昭和29年度の旧村決算分

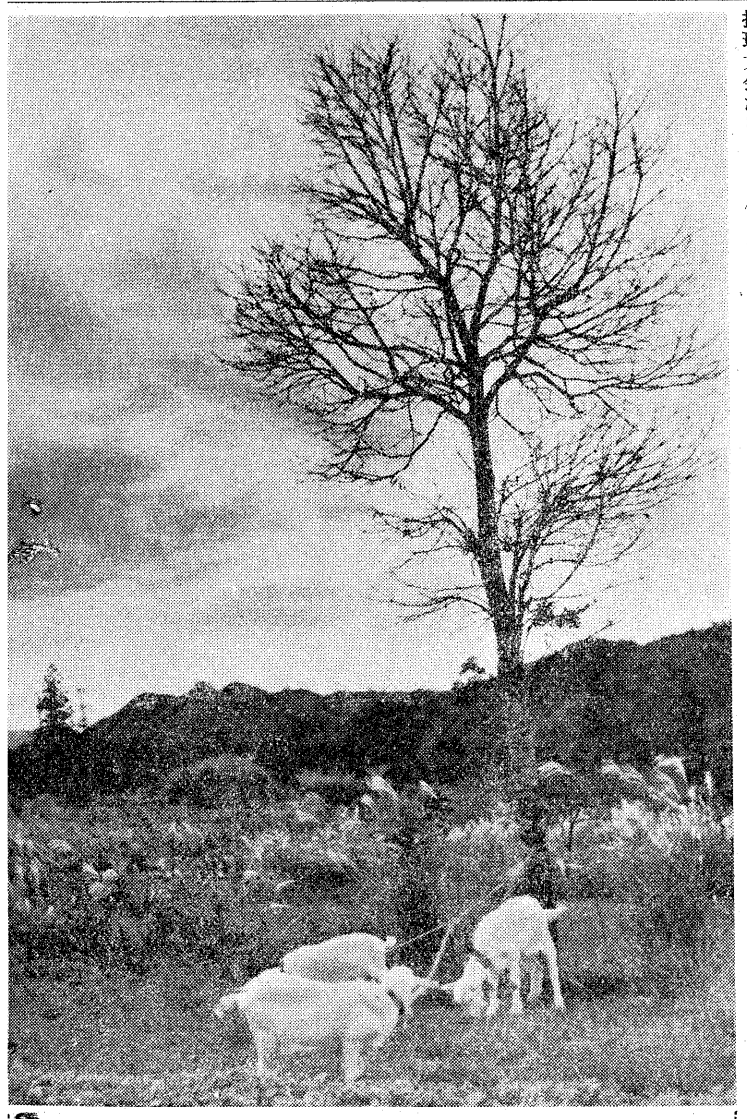
歳入

単位千円

科目	大内	仁保	小鯖	計
1町村税	14.097	9.344	7.145	30.586
2地方交付税	179	2.917	1.542	4.638
3財産収入	1.823	8.695	9.750	20.268
4分担金及び負担金	—	—	—	—
5使用料及び手数料	799	327	158	1.284
6国庫支出金	2.458	1.411	1.396	5.265
7県支出金	348	971	51	1.370
8寄附金	6.161	583	112	6.856
9繰入金	—	926	—	926
10繰越金	2.908	1.718	10	4.636
11雑収入	1.243	2.392	1.756	5.391
12町村債	—	—	1.000	1.000
歳入合計	30.016	29.284	22.920	82.220

歳出

科目	大内	仁保	小鯖	計
1議会費	1.736	625	334	2.695
2役場費	7.324	6.619	4.292	18.235
3警察消防費	723	370	893	1.986
4土木費	3.822	1.716	4.557	10.095
5教育費	3.711	5.860	6.194	15.765
6社会及び労働施設費	1.082	185	152	1.369
7保健衛生費	489	641	315	1.445
8産業経済費	8.542	7.908	4.865	21.315
9財産費	15	738	1.461	2.214
10統計調査費	182	5	157	344
11選挙費	81	174	98	353
12公債費	952	1.060	753	2.765
13諸支出金	767	4.045	2.362	7.174
歳出合計	29.376	29.946	26.433	85.755
歳入歳出差引	640	△ 662	△ 3.513	△ 3.535



開拓地の秋

薄の穂を、早くも冷い風がなぜてゆく。

すつかり葉を落した〃けやき〃一本寒々と立つていた。

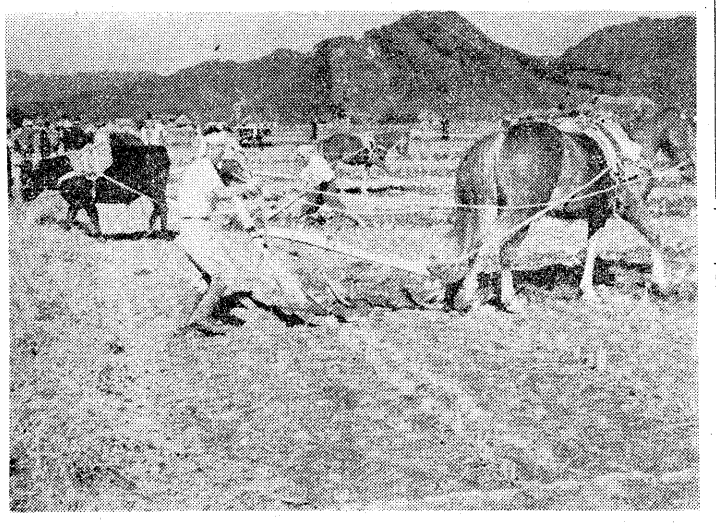
石ころだらけの山を開こんして、開拓地の人達は一心に鍬を打込んでいた。

しかしやがてこゝも豊かな農場になつてゆく。

無心に草をたべる羊の鳴声が、広い台地の上をひゞき渡つた。

もうすぐ陽は沈む。

（Q）



【大内】総延長二三〇〇米

因習はまだ残っている

ゆれている妻の座

弱い立場に理解がたらない

本県では昔から結婚等の場合〃通り合い〃の好し悪しということをいつて居る。百八十度転換の今日まだ根を絶たない。彼の家はキッスイとか彼の内は大組とか云つて鉄のカアテンであるる。

キッスイは上の部で大組とは縁組せぬという具合だしかも原因はさつぱりわからん。大組だから出世ができぬでもなく休の作りや健康の上にも何の変りもなく、生活上何一つ特別の差はない。

それなのに通りが合はねば折角の良縁も立切られ一生不仕合せに終らねばならぬ。全く不合理なことだ。私は以前民生委員をしていた時、この問題が三件あつたが、三件共はまだ〳〵頭の切かえができぬ者がある。たとへ外国人であろうと何であろうと本人同志の意志が一致すれば全く自由である。

こうした差別的ことばは名誉き損だ。

新生運動で差別的悪習を追放せよ

今や新生運動の叫ばれるとき、半世紀前の無意味な迷信をこの世から追放して、自由な文化生活に入るべきだと考えている。顧わくば各位の御協力を得たい。

自由民生会

婦人の地位は日増しに向上してはいる。然しまだ〳〵因習は残つている。農村の主婦、妻の座はカッチリ定まつてはいないようだ。大内町に拾つた実態をまとめてみよう。

因習という程のものでなくても改めたいこと、改めようとすれば改められることの実態とでも言おうか。しかし周いの人の温い理解もなくてはなるまい。

入籍は子供が生れてから

子供ができてからの入籍は二三十年前迄軒並みにそうだつた。十年前でも相当あつた。いや、四五年前ですらも、そうだつた。

婦人層、特に若い女性が結婚と入籍を意識しはじめて急にへつて来た。女性の方が、自覚して気にかけ出した訳だ。しかしまだある。以前あつたように、子供の方が母より先に籍に入るような珍事は、めつたに起らなくなつた。また婚家先の話でなしに、実家の方がそろ〳〵籍に入れてもよいかと娘に問い合すこともなくなつた。籍に入れると出戻り傷になるから、とでもいう気持からであつたのだろう。

家計を握るは四〇から

家計を実際に主婦がにぎるのは普通四〇才位のようだ。勿論生活内容がそれ〴〵違つて決めにくいが、姑がいない場合当然早くなる。ひどい例で、姑がある場合孫が嫁をもらう位まで家計をまかせなかつた例もある。中年に達するまで、必要な小遣でも割と不自由することになる。

労働時間など

耕作反別または生活様式によつて、これこそ千差万別だが、大内地区は俸給生活者が多く、農家の労働も、よく配分を考えてやつている。産後のやすみも普通三六ヶ月。原因を明らかにし得ないが、この期間で離婚は十二件あつた。婚姻が一二〇件だから、ちようど一割に当る。

読書時間はきわめて少い

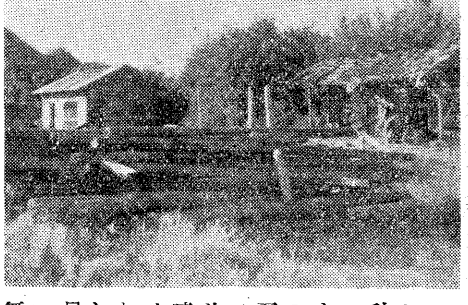
農家の主婦で読書の時間を持つている人は非常に少い。その点は俸給生活者の主婦とはつきりした対照を見せている。育児、炊事、野良仕事と朝から夜まで働きづめに働いているが、〃一種の遊び〃として読書を考えるかたむきが相当に多い生活の中に読書を折りこめるようになつたら、その時こそ農村はうんと若返るだろうに。今仁保丸山の〃のぞみ会〃が、読書の芽を育てゝいる。

このゆきづまりは

公民館にせよ、その他の団体にせよ、各種行事をやつて、毎回出て来る婦人は限られ、そしてきまつているそこに今日の農村の文化活動がゆきづまつていることが指てきできる。これをうちやぶることが、町民のがわかると、文化教育団体のがわからと、一考を要するところだろう。

農村にも結核がふえた

――治療早ければすぐ治る――



22号の被害早くも復興

診断は必ず年一回

結核患者は今まで農村より都会に多かつた。又青年層に多かつたが、昨年の調査によると農村と都市、年令の上下に区別なく患者がふえている。

この度法が改正されたのもこのためだ。市町村民は必ず年一回結核の健康診断を受けねばならなくなつた。

当り前のことだが結核は早く発見する程はやく治る。

改正された要点

毎年一回ツベルクリン検査を〇才より全員行わねばならぬ。健康診断（つまり精密検査）は六才未満を除く陽性者は全部うけなければならぬ。（保育園児は六才にならなくてもこれには入る）

中旬に診断を実施

改正された類に基いて、中旬に健康診断を行うことになつた。

この度に限りツベルクリン反応を一度もしたことのない人も間接撮影を受けて下さい。（当日ツ反応も行う）

仁保地区　十六日午前十時より

小鯖〃　十七日〃

大内〃　未定

明年成人者の診断

同じ日時で明年成人になる人の健康診断を行うが、血液型、血液検査もあわせて行う。該当者は一人残らずぜひ受けて下さい。

保健相談所開設

【仁保】支所内にしきつて相談所が出来た。担当は保健婦野草フジ子さん。健康は日項からの注意が大切。

赤痢で死亡

【仁保】土井の御手洗ユリ子さん（仁小二年）は廿六日発病、不幸にも廿七日死亡した。伝染けいろは調査中。

上旬に狂犬豫防注射

農繁期のためもあつて、予防注射の成績は半分以下。かゝつてからあわてたんでは、追つつかない。狂犬病の犬にかまれたら、これという治療のキメ手がないからだ。また不用犬の買上げもその時行う。

仁保一日　前仁保支所

后下郷支部

大内四日　町役場

小鯖七日　支所

時刻は各地区とも午前九時～後四時迄、当日雨天のさいは、仁保は二日、大内は五日午前中、小鯖は八日。

注射料金は二三〇円。

中旬に青年婦人学級

【仁保】青年学級と婦人学級を合して、中旬に三ケ所で開く。場所、時間未定。内容は、家族設計、染色講習会など。

社会と共に進む婦人

寫眞募集

労働省婦人少年局では、婦人参政権十周年記念事業の一つとして、写真を募集している。

題材

いろ〳〵の分野で、婦人の生活をえがき「社会と共に進む婦人」という感じをあらわしたもの

規格一枚もの（四切）または二枚以上の組写真（キャビネ以上）

締切　十一月二十日

賞　推せん　一名

特〃　二〃

入〃　佳作　若干

送り先

東京都中央局区内

労働省婦人少年局婦人課

ブラジル移民募集

たゞし農家の二、三男

現在農業に従事している二、三男で十八才～二五才迄の独身者。ブラジルに渡つたらコチア産業組合で最低四年間働かねばならぬ。希望者は各地区の農協に申出て十一月五日、前九時～後三時迄、小郡農協中央会で開かれる相談会へ出席して頂きたい。本県の割当は僅か八名だから、可なりな競走になる様だ。といつて尻込みしても始まらない。十二月末日、神戸湾出航のアメリカ丸で、来開の地に渡るも、なか〳〵にヨキですぞ。

早く返して輸送管

家畜精液の輸送管を借りた方は早く返して下さい。申込がものすごく多くて、備付は五管しかないのだから

のぞみ会が、仁保下郷丸山に生れたのは、七月の二十日だから、ざつと三月前。いそがしい家事と野置の労良の中から、時間を作つては月に一回集つている。まだ〳〵これからだと会員は口をそろえてひかえめに語る。然し、会員が読書で学んだことを語り合うことで、自分達の向上に大きなのぞみをかけている。

家事、二重の労働から自分達の力でたくましく立上ろうとしている。このともしびを育てようーかたいむすばれはもうできき上つた。

今、十人の会員は、初め七人、今からも助け合つて、強く雑草のようにぐん〳〵のびてゆくだろう。

◎…農村で、新しいことをするとすぐ変な眼で見られる。その抵抗が嫌だからしないですます。たま〳〵やつても一回きりの尻切れとんぼがおちのぞみ会も始めそうした暇がない。これじや、あんまり理解がありすぎる。原因は、めつたに起らなくなつた。また婚家先の話でなしに、実家の方がそろ〳〵籍に入れてもよいかと娘に問い合すこともなくなつた。籍に入れると出戻り傷になるから、とでもいう気持からであつたのだろう。

家計を握るは四〇から

家計を実際に主婦がにぎるのは普通四〇才位のようだ。勿論生活内容がそれ〴〵違つて決めにくいが、姑がいない場合当然早くなる。ひどい例で、姑がある場合孫が嫁をもらう位まで家計をまかせなかつた例もある。中年に達するまで、必要な小遣でも割と不自由することになる。

労働時間など

耕作反別または生活様式によつて、これこそ千差万別だが、大内地区は俸給生活者が多く、農家の労働も、よく配分を考えてやつている。産後のやすみも普通三六ヶ月。原因を明らかにし得ないが、この期間で離婚は十二件あつた。婚姻が一二〇件だから、ちようど一割に当る。

読書時間はきわめて少い

農家の主婦で読書の時間を持つている人は非常に少い。その点は俸給生活者の主婦とはつきりした対照を見せている。育児、炊事、野良仕事と朝から夜まで働きづめに働いているが、〃一種の遊び〃として読書を考えるかたむきが相当に多い生活の中に読書を折りこめるようになつたら、その時こそ農村はうんと若返るだろうに。今仁保丸山の〃のぞみ会〃が、読書の芽を育てゝいる。

このゆきづまりは

公民館にせよ、その他の団体にせよ、各種行事をやつて、毎回出て来る婦人は限られ、そしてきまつているそこに今日の農村の文化活動がゆきづまつていることが指てきできる。これをうちやぶることが、町民のがわかると、文化教育団体のがわからと、一考を要するところだろう。

◎…会員は、岡田房子（四九）岡田幸子（四五）沖田トシ子（四五）内田マサオ（三九）片山晏子（三六）岡部法子（三三）岡部ハルサ（三三）平岡マツノ（三三）田中清登（二九）沖田朝子（二九）の九人。

◎…会員は、岡田房子（四九）岡田幸子（四五）沖田トシ子（四五）内田マサオ（三九）片山晏子（三六）岡部法子（三三）岡部ハルサ（三三）平岡マツノ（三三）田中清登（二九）沖田朝子（二九）年令で解るように姑も嫁も一緒だ。そうした古い世代と若い世代の対立を越えて、お互いが率直に話し合おうというところに、この会ののびる可能性がある。ひとしく母として、妻としての立場から向上しようとしている。

◎…七月下旬山口市白石小学校で開かれた県母親大会にもそろつて参加した。

写真のように会員は道であつてもすぐ話に花が咲く。しかし真剣だ。のびようとしているこの主婦達の眼は生々として、かけている大きなのぞみが、ちらとのぞかれる感じだ。農村の婦人の新しいスタイルがこゝにも生れ始めている。

親おもいの潤子ちゃん

学校中のほめ者

母想いのやさしい女生徒が、学校中の評判になっている。仁保地区東園小六年の、正岡潤子ちゃんだ。勝気な潤子ちゃんはお母さんの入院した後のさびしさを、一生懸命がまんして妹をいたわっている。成績も上の部だ。今迄も病気のお母さんを助けてよく働いた。お母さんは今、日赤病院で外科の手術を受け、経過は良好だ。東園小学校を訪うと担任の田村先生は、それは

◇……◇

私の知らない小さい時からよくかわいがつてくださつた母。父がなくなつてから体にむりをされたため、病気をよくされるようになりました。けれどきつそうな顔などみせず、めんどうをみてくださいました。きれいずきでよくかたづけたり、おせんたくをし、つぎはあててあつてもあかのつかないはだ着をいつも着せてくださいました。けれどどうしてもお母さんは病気のため入院されなければなりません。あんなにやさしい母。そしていつも私のそばからはなれない母。あまえてみたりすねてみたり、学校から帰るとすぐ「ただいま。おやつ。」といつたらどんな時でも何か出してくださる母。私にいつも「女らしくなりなさい。やさしい子になりなさい。」と注意されますそうしてときどき机の上に新しい花をいけてくださるのです。すなおにきく時もありますがほとんどふくれてぷーんとしています。それは母だからこそあまえられるのです。どんなにしかられてもすきな母。おなかがすいても火事になつても、あらしになつても、母がついたのです。「私の宝は母だ。」私はだから母さえいたら何もいらないと思つているのです。その母が入院なさるときいた時の私の心、ちようどお月さまにくろ雲がかかつたようでした。日がたつてだんだん母からはなれていくようなのです。ゆめの中でいくらおいかけても、やつとおいついたと思うと、まえと同じほどはなれているようなのです。「私のお母さん。早くよくなつてくださいお母さんのことならどんなことでもします。どんなむりなことだつて。」といくど思つたことでしよう。「姉妹二人がだれのいわれる事もよろこんでハイとおへんじするのですよみんなからかわいがられる子にならなくてはいけません。潤子ちゃんよ。母は口が多すぎるからだまつてがまんするからだまつてがまんするからだまつてがまんする

大内町広報

昭和30年12月1日
第6号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 大同印刷舎

さようなら 昭和三十年

八月発刊以来沢山の方々から並々ならぬ援助と協力を頂きました。おかげで県下一と称せられる広報に向上することが出来ました。

新年から、左にかゝげる目標に向つてなお一層努力を致します。御協力を感謝しつゝ――さようなら昭和三十年。

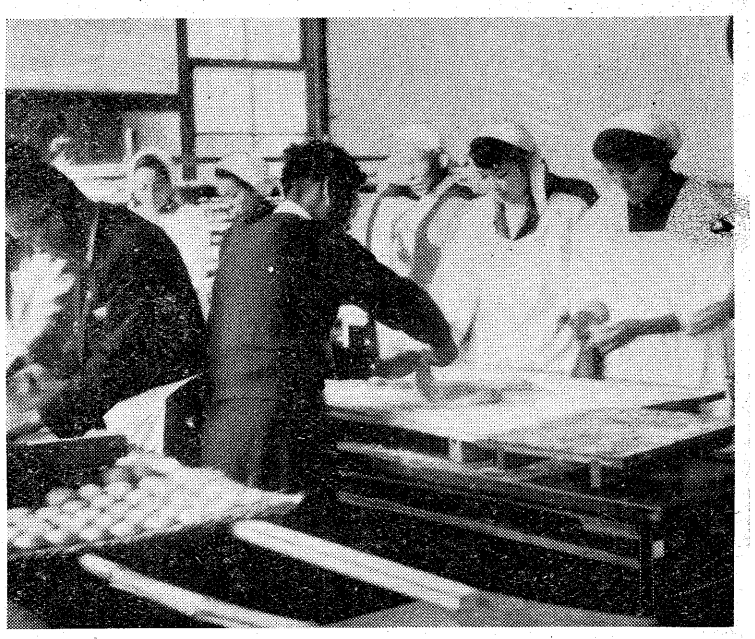
目標

わかりやすい広報、ユーモアのある広報、いつも町民の実生活がにじみ出ている広報

上部の餘白でとじて下さい 前号は余白がなくて失礼しました。だから前号は一、四頁。二、三頁と半分にさいて、上をとじて保存下さい **題字は、小鯖八反田住、てん刻家の小林雲道人師が、特別に彫つて下さいました。**

全町よるこびの渦

三日にわたつた祝賀繪巻



合併祝賀に使つた餅十二俵は、役場職員が真心をこめてつくつた。いびつな形のもあつたが、下手ながら真剣につくつたものだ。もちろん少い祝賀経費を、最大限に生かそうという、ねらいもあつた。熱い餅に息をふきふき、丸めているこの写真に、何とかして立派な町を育てたいとキビ〳〵立働いているのが解る。

合併町〃大内〃には解決すべき問題がまだ沢山あるが、よりよい町へと職員は誰もが願つている。そして餅つき奉仕は、その具体的なあらわれであつた。

祝賀式は大内中

22日

二十二日の午前十時半から、大内中で合併式典が行われ、来ひん六百余名を迎えて盛大だつた。小沢知事他県関係、近接市町村長等列席して、合併の経過報告を助役がのべ、町長の式辞に続いて議長の挨拶があつた。前三村村長に対する感謝状贈呈後、来ひんの祝辞があつて正午終了。この日、小中学校の児童生徒は、合併祝歌を歌いながら全町をねりあるいた。

運動で結ぶ友情

二十二日に行われた角力で、団体は大内が優勝。個人競技は中止した。剣道では、団体が大内中、個人で柏木洋君。柔道で団体は小鯖小中、個人で野間一男君だつた。排球は、一般女子、中学校とも、小鯖が優勝。駅伝は、一等仁保Aチーム。二等小鯖Aチーム、三等は仁保Bチーム。四等は大内Aチームだつた。運動を通じて、理解を深め、新たな友人もできて、二十二日はなごやかに暮れていつた。

23日

演藝は大成功

二十三日は午前中、各地区とも、小中学校生徒の学芸会が行われた。何時見ても父兄としてはうれしいものだ。大変な熱演だつたし、真面目さに打たれたという評番。午後の演芸会は三地区とも、超満員の盛況。仁保地区演芸会は中学講堂で行われ、五百名は充分あつたろう。

大内地区移動演芸団で仁保に出演した長野の江藤嬢は、持前の美声で五ツ木の子守歌を唱い、大向うをうならせた。

仁保の巡回演芸は婦人会出演で三村合併祝賀の棟木と題して趣好と苦心のあとには頭が下つた。

大内移動演芸団のうち、下千坊公民館が主体で作られた一団は、喜劇〃人俵〃を小鯖で演じて、腹の皮をよじらせた。

大神樂に人氣

三日にわたつた祝賀の行事も、とゞこおりなく終つた。何となく嬉しい気持にはなつたが、〃大内町〃としての発展はこれからだ。三日間を通じて、面積が広くなつたことも具体的に解つた。広い面積で、多くの人口をかゝえれば、それだけ文化的水準も高い目標が持てることも、展示会で理解できた。祝賀行事の中に、雑然とぶちこまれたものが、これから曝かれ、整理されて、大きくより合されてゆくだろう。そこに我々の郷土〃大内〃のほんとうの意味での発展がある。

展示會はから上天氣

半信半疑で來てみてよかつた

27日

児童生徒の力作

どれも力作ぞろいだつた。絵も習字も、工作も、特に珍しがられたのは、〝東園小四年生和田勝美君他六人の指人形だ。ユーモラスで参加者の興味を呼んだ。県立育成学校木工部生徒の作品は、あまりにも上手なできばえだつた。

大内中二年の石けん細工も珍しがられた。小鯖小一年の墨絵（すみだけで書いたもの）は、大たんなタッチと飾り気なさが人目をひいた。

生花盆石展は極楽

生花展は二教室があてられ言うまでもないが、極楽のように美しい限りだつた。盆石展も、始めてみる人が多いらしく、美しさにうなづいたり、うなつたり。

写真は素人ばなれ

こんなアマチュアが町内にいたのかと、皆が眼を見張つていた。なか〳〵出色の作品ぞろいで、高い水準が理解された。眼の肥えたその道の人に言わせると、演出が目立そうだから、今後の精進を祈ろう。

手芸品もお立派

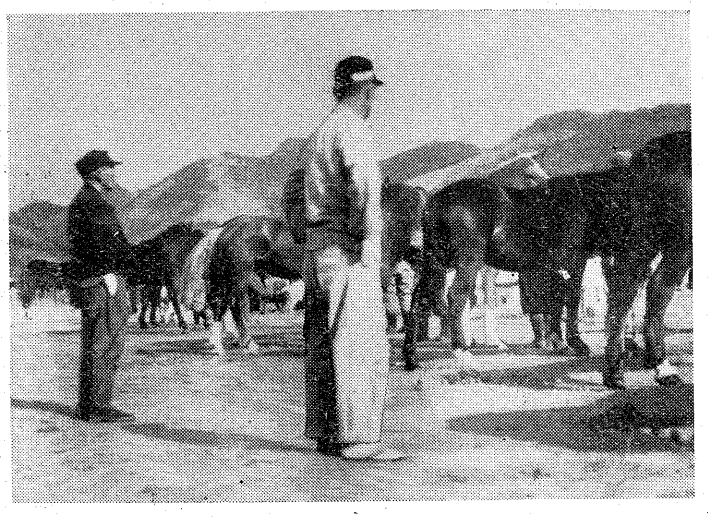
青年展の部屋に女子学園の生徒の作品及び一般の作品がならべられた。立派も立派も（これ以上形容詞がない。）―もつとも、立派だから出したんで、立派でなきや出しもすまいが。ある中年の奥さんが、美事な陳列を見て、〝マア〳〵お立派だコト〃感心していた。

婦人展大入滿員

やはり興味の中心はこの部屋にあると見えて、どの婦人も勉強するのに大わらわ先が止るから、後がつかえる。かくて大入満員となつた次第。大豆料理を熱心に見ている人が多かつた。婦人倶楽部毛編展入選のものもよかつた。台所用品、共同炊事の方法など、ひろく展示されていた。色々な講習をやつても、いつも出席出来ない悩みがいつも家庭の主婦につきまとうからだろう。この際にと皆一生けん命だ。

農政連展など

一番大切なことが展示してあるこの部屋も、考えることの嫌いな農民から、敬遠されたが、若い人達は熱心に考え込んでいた。この日畜農産の共進会もあり、見る方はずい分と忙しかつた



ずらりと一列に並んで、今から審査だ。

婦人会が大活躍 共同募金目標へとうろく

婦人会の活躍で、共同募金は、どうやら目標にこぎつけた。正確に言うと約四千円の不足だから、一〇〇%達成したわけではない。毎年十月になると、赤い羽根の共同募金はやつて来る。あゝ〃あの赤い羽根〃と知つている人も、さてその募金が何に使われるかについては、はつきり言える人が少い。

23年出来た

この共同募金の制度ができたのは、昭和二十三年だ。広い社会には、身寄りのない老人や、親のない子供、生活苦にあえぐ人達や、想像もつかぬみじめな日々を送る人々がいる。これ等の人々をたすけるのに、公的施設（県立育成学校、鋳銭司にあるロウア学校、公立の保育園など）と私的施設（吉敷愛児園、俵山の〃湯の家〃など）とがある。公的施設は、一応国や県が経営を考えるが、私的施設の場合は、個人経営者の博愛心だけが頼りだ。

社会事業の危機

公的施設でゆき渡らない分野を、私的施設が大きく引受けているのが我国の現状だ。養老院や孤児院、私設保育所にしても、私的施設が沢山ある。これ等の経営に公費が一部出てはいるが、誰かの援助なしには、とうてい維持されない。昔は財産家の大口寄附があつたが、戦後はサツパリ。私的な社会事業は危機にさらされてしまつた。この危機を、社会全体の責任として救おうと、赤い羽根の運動は、全国に拡がつた。

今年募金の實収

町内各家庭からの温い協力で、募金実績は着々上つたが、映画募金をあわせて、一四万八千三五〇円の目標額に対して、三七四九円の不足額までこぎつけた。二二号台風による被災者二〇戸に対し、町の共同募金より五万、県の募金より一万三千、日赤募金より三万一千五百円の見舞金をおくつた。地区別の実収内訳は次の通り。

地区別	目標額	実績額	映画益金	実収合計	不足額
大内	59,850	51,670	6,519	58,189	△ 1,661
仁保	54,050	40,702	7,550	47,190	△ 5,798
小鯖	34,450	29,675	4,885	34,560	110
合計	148,350	120,985	18,954	139,939	△ 3,749（不足額）

畜産

農業経営の一環としての養畜の合理化が、共進会のもつ意義だ。畜産への努力は近頃特ににげしい。備え付の電気冷蔵庫の利用がものすごいことからでもうかがえる。こうした共進会を機会にして、本町の畜産も、一歩一歩のびをだろう。当日の一等入選者次の通り。（敬称略）

種馬 北村富助 仁
役馬 篠原 清 大
乳牛 高木悟一 大
役牛 与国武夫 仁
肉牛牝 堅野幸輔 仁
〃牡 田中芳人 大
緬羊 篠原 清 大
山羊 河村作次 大
鶏 秋川 実 仁

そ菜

山口、防府二市の中間にある本町のそ菜は少しづゝ商品化への努力が続けられて来た今後は市場研究と品種統一が着々行われて、質と量と出荷組織がともなう方向に持つてゆきたいのが町産業課の方針だ。この日、出品されたものは、さすが三地区をすぐつたもので、秀れていた。一等入選者次の通り。（敬略称）

白菜 藤本定治 小
吉野 悟 大
倉光悌一 仁
人参 吉野忠一 大
尾坂峯雄 大
大根 松村四郎 仁
江藤孝介 大
〃 秀夫 大
ホーレン草 香川軍次 仁
山根 清 仁
甘らん 江藤ユキ 大
里いも 栗林圭一 仁
原 清 仁
生が 山根 清 仁

入選祝賀歌

小鯖の植野惣一さんが入選した。他に佳作として、末永ふみ子（仁保）山根久枝（仁保）山本京子（大内）の皆さん。

青空表彰

十四名が表彰された。納税義務をよくにん識し、三ケ年期限内完納を行つた人達だ。大内地区で

荒瀬勇（上千坊）倉住英一（殿河内）重枝助一（小野）菅野喜一（大道）椰良虎夫（中矢田）原田良一（問田）松原勘雄（宮ノ馬場）南誠一（茅野）南野咲子（大道）岡崎四郎（長野）

仁保地区で

田村峯若（大畠）松永彌太郎（東園）清水平六（深野）岡本ナミ子（井開田東）

小鯖地区 該当なし

豫防注射

ジフテリヤの予防接種が十五日小鯖、十六日大内でおこなわれる。たゞし、小鯖は午前中、大内は午後だ 仁保地区は未定

密造

酒を飲むのは、税金をのむ様なものだ、とよく言われる。全くだ。一級酒で四九〇円、二級酒で二二五円、二五度の焼ちゅうで一四三円の税金だから、約半分だ。だから酒は国の重要な財源になっている。高いと思った酒の税金も、飲んでようほどに、気持がよくなる。君、グット一杯やり給え、などとすゝめては、ドン〳〵税金を納めている。そこで税金のかゝらぬ密造酒と誰しも考える罰則もコワイが、この密造酒が危い。速く醸酵させるため、猫入らずを少し入れる。メチル分を充分取つてない。命惜しくば、密造酒はさけたが、身のためである。

◇……密造一二三万石……◇

戦後、密造酒は全国的にひろがつた。年間三三〇万石といわれた。年々少くなつてきたが、まだ一二三万石はあるとみられている。酒税が国の大事な財源であるので、この数字は大きい一二三万石の密造酒を造るのに、原料米は七六万四千石必要だが、これで山口市の全人口が五年間食える。テモすごい数字ではある。

◇……脱税一九八億……◇

この密造酒が脱税している額は、低目にみても一九八億になるという。酒税収入の一割三分に当る。これが全部国の収入になれば、税金も今より安くすることができる。相当安くなる。免許を受けないで、酒類もろみの製造をしたものは製造に着手しただけでも、五年以下の懲役又は五〇万円以下の罰金に処せられる。さすが国の重要な財源だけあつて、罪はうんと重くしてある。

◇……めくらにもなる……◇

密造酒は、人目につかぬところでつくるから、有毒な菌が入り易い。技術も下手だから、くさりやすい、それはまだよいとしても、猫入らずを入れる。これを入れると、速く酒になつて味がよくなるからだが、ぶつそうな話。メチル分がよく取れないから、下痢や胃酸過多症になる。ひどいのになると、青森県で昨年四人がめくらになつた。神経系を犯されて、気が変になる。コワイものは密造酒だ。ころばぬ先の杖、どうぞ御用心。

こんな鳥を見たら

林野庁が、先ごろ全国に鳥を放つた。鳥の習性とか渡り鳥のやつてくる道、食べものゝ習慣とかを調べるためだ。捕えた場所とか、足につけてある番号を、町林務係まで報せて下さい。

整理箱

物がないときには、さがしてもなか〳〵ない。皮肉なもので、そんな時には出てこない。ありそうなところを全部ひつくり返して、とどのつまりがコン斎生!!だ。そして、さがすものは、きまつて小さいものだ。そこで登場するのが整理箱。

全部を一箱に

五段以上の棚があるのが都合がよい。整理箱をどういう風に利用しようと、それは御勝手だが、かりに設計すると、一段を化粧セット、ピン、はけ、くし、鏡、安全カミソリ化粧用につかうものをその家族の習慣に合せて入れたらどうだろう。

生活に合せて

その人々によつて、整理箱の設計は違うはずだ。寒暖計やセンテイ鉄などの園芸用具を第一に置く人もあるだろう。大工道具でもよい。いづれにせよ、一つの箱におさめるから小さいものに限らぬと、規じゆんができない。家庭用具(カンキリ、セン抜等)でもよい。小さくともその道具がなければ、用をたせない道具がある。その道具を大切にし、その道具に感謝しつゝ使うところに、生活の味わいもあろうではないか。(Q)

二段は文房具、三段は縫物用具、四段は家庭常備薬といつた具合だ。しよつちゆう使うものと、使わぬものが、雑然と同居しているのが、どの家庭でもの実情だ。これを一つにまとめるのが、整理箱のみそだ。

この道はいつか來た道

寒々と今たそがれだ。この道はいつか来た。
誰もが一度は通つている。
そうだ。そう〳〵、あの道だよ。
豊作の、重く首たれた稲穂の波も、すつかり刈取られて、はるかに続く道の左右は、麦まきも終つた。
土の中では、新しい生命の飛躍へと、麦がたゆみなく努力を続けている。もう直ぐだ。青い芽が土々と姿を地上にあらわすのは

生活からうまれた発明と工夫

発明と工夫こそ文化の母だ。小鯖稔畑の田中誠一さんが竹でもバス〳〵切れる押切器を発明した。仁保桝谷耕作組合の嘉村愛真さんが猪害防止に、電気サクを工夫した。また仁保深野の秋川実さんは種鶏の改良に日夜心血をそゝいでいる、(前号にけいさい。)真剣に生活と取組んでいる人達が、次々に発明と工夫をこらしている。この号は田中誠一さんの押切器を取上げた。紙面が限られているから、号を追つて、少しづゝ紹介することにした。

◇貧乏から出た発明

稔畑の山里に住む私は、八反五畝を長女(21)を相手に耕作して居ります〳〵と田中さんは語る。奥さんは亡くなられた。家族は長男(13)次男(11)三男(9)とあわせて五人だ。手間不足もあつて、毎年の反収は部落でもビリの方だつた。〃だから生活も苦しかつた。〃と田中さんは率直に語る。苦しい生活をどうして切り抜けるかゞ、田中さんの毎日の課題だつた。押切器は、この貧乏から抜けるために、必然的に生れて来た発明だつた。

◇土は作物の母

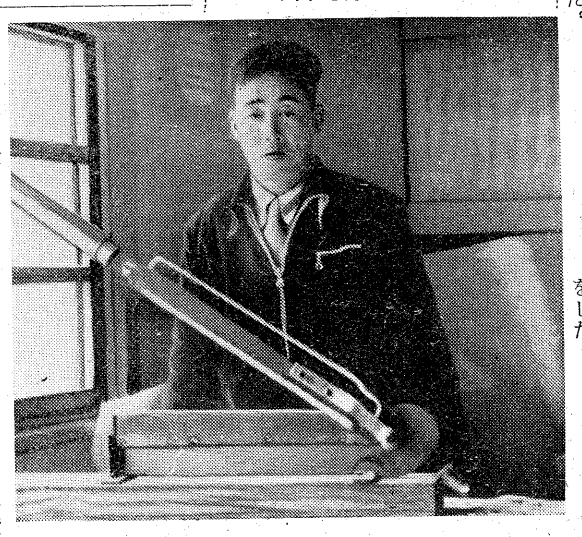
土に生きて、しかも土を知らなかつた、と田中さんはふと気が付いた。土こそは作物の母ではないか!!土を肥やすために、どんな材料でも堆肥にして田に入れようと思い立つた。竹がバス〳〵切れる押切器が生れる動機ば、こゝにあつた。立派な荒堆肥をたくさんつくりたい一

◇川辺の笹も材料

圭酸分を多量にふくんでいる川辺の女竹に眼をつけた。すぐそばにあつて、金はかゝらぬ。粗せんいとしては肥料分も多く満点だ。もちろん山柴であつても上々だ。いゝことは解つても従来の押切では、まず不可能に近い。

◇初めは手斧で

竹は土壌ヒューマズ(腐蝕質)を多分にふくんでいる。優良荒堆肥をつくりたい一念は、ついに手斧で切つて行つた。能率は上らず、人々から笑われた。全く新しい押切器を考案してみる気になつて、鉄工所へも幾度通つたことか。友人のすゝめにより、去る九月特許出願を出した。毎年三俵半だつた収穫はこの堆肥の使用により八俵にふえた。田中さんの肥料設計を紹介すると、品種は若葉で、苗代普通あげ床、坪二合播、四五日苗、本田に荒堆肥七十荷、反当九百貫。元肥は窒素一、三貫、燐酸二貫、カリ三貫今年四四才の田中さんは大きな夢を画いて、日夜一生けん命だ。



田中さんの前が押切器

近く小鯖を歩く

部落懇談て國保の說明

国保、一つまり国民健康保険を、全町に実施する計画を町では持つている。明年四月からだ。すでに仁保地区では実際に行つていて大変よろこばれている。明春から大内、小鯖地区もやりたいというのが、町の考えだ。それで、何よりもまずひざを交えて、とつくと懇談するに限ると、民生課の係員が、五日から小鯖地区を歩く。

懇談は五～八日まで

日時	会場	関係部落
五後1.30	六区公民館	六区
〃	(鯖上)	〃
五後7.30	九区(鳴滝地)	九区十区
〃	七区(鯖山下)	七区
六後1.30	八区(八反田)	十一区(境、柊)
〃	十一区(石畠)	十三区
〃	十三区	
七後1.30	洞海寺	一区(松尾、中村、畠田)二三区
〃	お宮附近	千切、相刈、梨羽、平佐、江良、河原迫
〃	一氏宇	
八後1.30	五区公民館	
〃	広昌寺	稔畑 十四～十七区

耕土培養に万全

【大内】戦争がすんでこのかた、耕土がモノすごくやせた。主要食糧の増産にも大きな問題となつている。が、これにはやろうとしてやり難い原因がある。耕土を豊かにすればいゝ訳だが、その実行をはばむ理由が色々あるからだ。曰く、農道の巾がせまい。曰く、客土用の良質土が手に入れにくかつた。また、経費も労力もうんとかゝる等、矢張り相当の理由があつた。大島の土地対策は、用地を買収して、目下利用中だ。約五畝歩をすでに使つた。

経費と労力がかゝりすぎる点には、土地改良区にオート三輪を買入れ利用することにしている。しかし先だつものは農道だ。これなくしては、オート三輪も役に立たぬ。部落中が申し合せて、立派に農道をつけたところでは、客土成績が目立つて進んでいる。農道の計画には、補助対象にするか、または補助はないが長期間低利の資金を借りてやるかの二つがある。

未補助で客土をやつた地区は、高芝が二町二反、小野地区が一町九反。その他が二町九反。

固定資産税

第三期分の納期

十二月二四日限

町政を諷刺

江戸時代、町の辻々にはられた落首は、道ゆく人の微苦笑をさそつたが、これは本町の新版落首。大内町前途は雨ぞこの天気(易を立てたら、雨後大嵐と出た由)合併歌作らも選ぶも明盲。直接意見をどし〳〵聞かせて欲しいと町長は残念がつている。

光圓寺橋竣工

【大内】十一月二五日に光円寺橋の竣工式がおこなわれた。渡りぞめは、小鯖船ケ峠の原田甚七三夫婦。これで大内地区の交通に大きな役割をはたすわけ。全長三〇米、巾四米、総工費は二六〇万。竣工披ろうの席上、小鯖稔畑の徳本(他人)町議が一句しやれた。

矢田の姉ごと小野おを

今じやコツソリ渡り橋　渡れよ渡れ　鉄筋がとけてクニヤ〳〵曲るまで

鉄筋がクニヤ〳〵になるとは、さても熱い恋ではある。

うなぎコワイ

うなぎを絶対食わない部落がある。仁保の松柄だ。理由はこゝの金びらさんの御神体が、うなぎの杖だから。この言い伝えは、大昔

木炭包装變る

今までの木札が廃止された。九月の県議会で、木炭検査条例の施行規則が変つたからだ。今後は、等級を示す荷票を使うことになる。縄のかけ方や、証票、等級荷票のつけ所は森林組合におたずね下さい。

木炭に使用する県証紙も値段が変つたが、次の通り

〇十五キロ入　雑あら以上　五円

〇十五キロ入　丸俵角俵　くり、粉に限る。　三円

〇十二キロ入　まつ　三円

〇七、五キロ入　まつ　二円

移出検査　二円

すでに買つた証紙で、不要になつたもの(二円、四円の証紙)は、大至急売さばき所で取かえて下さい。

に行つたら、山口でうなぎの蒲焼はうまかつたなぞ、うつかり口をすべらそうも

すでに配分すみ

町が災害を受けた方々のためにもらつた見舞金は次の通り。

県共同募金委員会より　一三、〇〇〇円

日赤山口県支部より　三一、五〇〇円

町共同募金より　五〇、〇〇〇円

合計　九万四千五百円

だつた。少いながらこの金は、被害のひどかつた方々へ、すでに配分け終つた。

預金6500万突破

【小鯖】農協の預金はついに六五〇〇万を突破した。昨年の今期には四二三一万七千円であつたが、六五〇三万六千円とふえた。組合に出ている米は昨年なみで特別豊作だという結果ではない。約一万七百俵の出荷が終つている。だが、これだけの預金がふえた原因は一体どこにあるのだろう。簡単だ。農協外に預金されていたものが、続々と農協に回収されて来たからだ。この二千三百万ものびた成果のかげには、役員は勿論のこと、職員の涙ぐましい努力があつたに違いない。しかし何よりも大きかつたのは、農協に対する、組合員の理解のたまものだつた

22号見舞金十万

二二号の爪あとは意外に大きかつた。住居をつぶされた人々の悩みもひどかつたしかし復興は底力を見せて今七〇%に達しようとしている。被災当時の住居の全半壊は三十数戸に及び、中小破を加えると、スゴイ数字になつていたが、復興は急テンポにはかどつた。たくましく立上つた方々に、全町民の心からの拍手を送ろう。各種援助や融資の関係がまだついていない人々も、次第と解決できる見とをしだ。

大内町広報

昭和31年1月1日
第7号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前印刷所
大同印刷

みんな手をつないで

いよ〳〵昭和三十一年。心から新年のお慶びを申上ます。この一年、町広報が、皆さんの実生活をにじませつゝ、お互いが理解し合らくさびになれば、と願つています。それから、皆が手をつないで、新しい建設が出来る様にと――

町民税（第四期）
県〃〃
納期限 一月末日
はやめにお納め下さい

青果物は計画生産と出荷で

将来の樂觀は禁物

▽本県のそ菜生産地は、近くに適当な消費市場を持つから、計画的な出荷の必要を感じなかつた。しかし事態は楽観を許さない。夏になれば日の山、豊田中などの西瓜。秋口には徳佐のヨクセイとまと、▽紫福の白菜、正月前には旧出雲村の佃芋と、北九州の青果市場から待たれるものが、ぐん〳〵頭をあげてきた。計画生産と出荷が強く要望されている今日、川向市場で実態を探つた。絶えず努力しない者は、必然的にけ落される。深刻な世相は、そ菜生産の面でも言えるようだ。

生産物の中で、値よく売れるものといえば、夏そ菜のキユウリとトマトだ。冬は白菜といつたところ。ゴボーは太田、島根から入荷し、人参は防府から。これとは競走するだけヤボだそうだ。川向市場は消費地山口を対象にしているどんなものが有利か、何日頃が品不足かを問合せてもらいたいと市場側は希望している。勝手に出荷すると品物が多すぎて、値が上下して困ると市場側の言い分。結局生産者の損だ。

桃は好評

果物はリンゴと桃が大部分だ。送りより断然味がよいと、地桃の声価を高めた。今まで送りしか食わなかつたから、桃とはこんなにおいしいものかと、ほめられた。鶏卵は毎日一五〇〇個平均出荷あるが、まだ〳〵不足している。鶏卵は仲買が買いあさるが、市場側に言わせると〃そんな時必ず値が上つている。市場に出したらキツトよく売れる〃。

品物が多くて安い

どつと出ると当然のことだが安くなる。下つた伝票を持つて、翌日買いあさられると、前の日のことを考えて安く手放す。次の日上つていてもそうなる。川向市場は何時も生産者の味方だから、何とか出荷が計画的にゆかぬかと、こゝの世話人岡田孫一さんは腕を痛めている。

だから出荷者は、ある意味でおみくじを引く様なものマンの悪い日に出したら、それこそ叩かれる。今の半分に出荷量をへしたら、かえつて金は大きくなるそうだ。

二束三文の共喰

仁保のよくせい胡瓜は、条件に恵まれて、評判もよし、基礎も固いが、他の生産物は、植付反別を生産者相互が協議する段階にまで来ている。といつてそう簡単には行かぬが、問題は協議してやるのでなければ、二束三文の共喰いの状態に来つゝあるということだ。山口にそ菜を供給する市場の中で、この川向が常に一番安いことから見てもー。

関門トンネルの開通

昨年気象にめぐまれ、そ菜も豊作だつた。それで特に値下りした点もあつたが、トマトの最高は貫四〇〇円五月のビニール栽培が三、四〇〇円、といつたところ時期によつてもちろん値段は大巾に動く。それも考えねばならぬが、関門トンネルが開通して、トラック直送ができれば、とても太刀打できまいとの見方が多い熊本、福岡、大分のそ菜が夜中とばして、朝市場に運び込むからだ。真剣に考え対策をねるときが来てはいないだろうか。

昨年の月別売上総額は次の通り

1月	1211.499
2	1220.398
3	1040.064
4	1149.141
5	1757.213
6	1777.953
7	2207.081
8	1610.460
9	1252.853
10	2424.524
11	1975.020

坊やの初夢

坊やの初夢何でしよね。
飛行機ブン〳〵
空とんで
世界をぐるりと廻る夢？
それともおとぎの国へゆき
象さんと一緒に遊ぶ夢？
はーてお夢は何でしよね。

（写真は大内川向、梅本義明氏次男明人ちやん、一年四ケ月。昨年五月の健康優良児に入選）

小鯖総畑から、毎日八十人もの小中高校生がバス通学している。まるでスクールバスだ。家に帰ると温い夕飯が待つている。↓

牧川線の設計

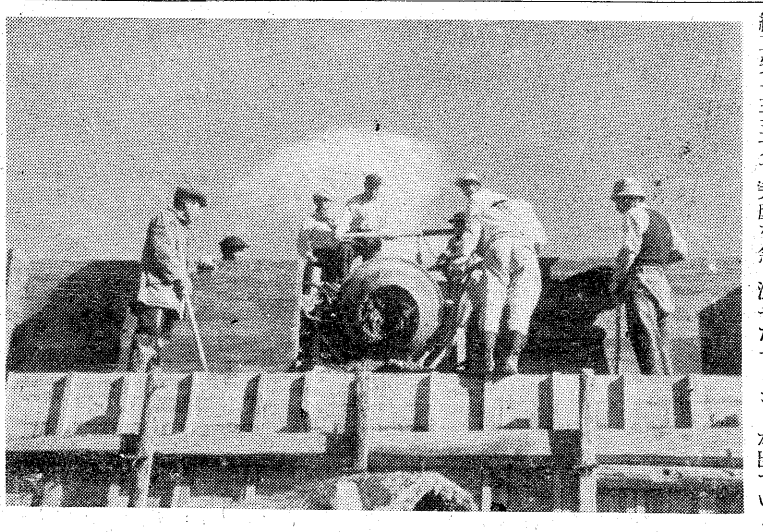
（仁保）町道牧川線の改修工事で、設計書は昨年末出来上つた。新年早々工事に取りかゝる。

馬橋の假ばし

【小鯖】石畠の馬橋は、昨年假ばしが倒壊、上り、鳴滝に出る人の不便が解消していた。

九班の消火訓練

（仁保）小雪がちら〳〵降つていた。十二月十七日、一貫野、簸ケ尻、叶木の団員全員が、新しい手さげ用自動ポンプの実験をやつた



中村橋近く竣工

【小鯖】上小鯖の中村橋は総工費一三五万で完成を急いでいる。長九米、巾四、五〇米。今ミキサーから、混ぜたセメントが出ている。

義捐米の禮状から

須知穂積
阿秋知

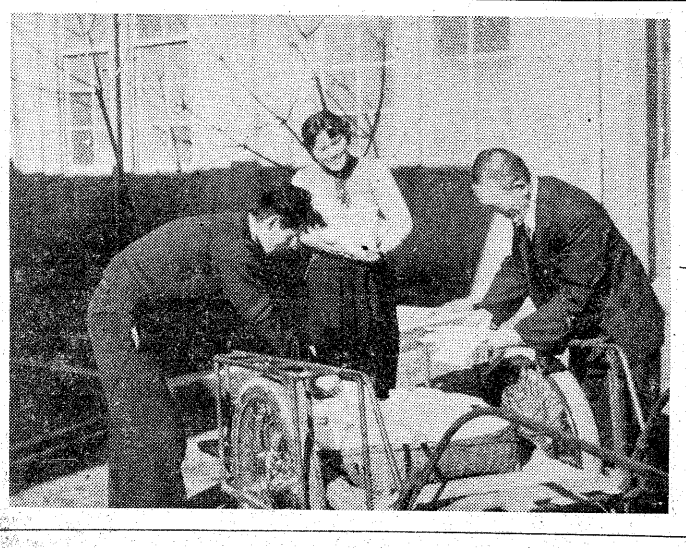
22号台風で、特に被害のはげしかつた阿知須町と秋穂町に、本町から真心のこもつた義捐米を贈つた。大内地区は白米四俵半小鯖は玄米三俵一斗、仁保は六俵二斗であつた昨年十二月中旬両町長から〃大変感激しているこの温い贈物をして下さつた大内町農家の方々へ、よろしく申上げて頂きたい〃と。

土地改良に三輪

【大内】土地改良区では、昨年十一月末オート三輪を買つた。新車で一屯積。これで耕土培養に、一つの威力を加えた。

輸精は正月も

テンテコ舞の繁昌だ。家畜の精液保存に電気冷蔵庫を据つけてから、押すな押すなの繁昌。乳牛三四頭、和牛一一頭、山羊六〇頭。輸精は正月間も休まない。



出た！奇病

北九州に出て、新聞をにぎわゝしたあの病気。三九―四〇度の熱が出て、眼もふさがる程むくむ。ペニシリン二三本で治る。おもに五六才から中学まで。

炭俵の改正

横巾が一寸六分五厘狭くなつた。まんなかの編封の間は七寸五分、外がわの編封の間は各四寸。耳が五分あつて。全横巾一尺六寸五分に改正された。

選別も変つた

小丸は樫雑だけとなり、くぬぎ、なら、あべまきの小丸は廃止された。

1 なら、あべまきは丸で一寸〜二寸三分。くぬぎは一〜三寸
2 樫雑は小丸七分〜一寸二分まで。丸は一寸二分〜二寸三分。
3 割は長い方が一〜二寸六分。厚さは長さの½以上。丸割は一俵中の大小の差五分以内。

右の寸法以外は荒になる今までより丸割とも寸法が小さくなつたので、荒になら

せまくなつた炭俵

小丸は樫雑のみぬように注意して下さい。
（担当検査員）

移民希望者

外国移民に応じたい方は至急町民生課へ御連絡下さい前もつて名前の登録をしていたゞくと、条件に合う募集が出たとき、すぐ連絡出来る。すでに数百の本県移住者は、南米で着々と成果をおさめて幸福をきづいている。

赤ちやんの保温

コタツや火鉢の炭火から一酸化炭素が出る。味もにおいもなくて猛毒だ。赤ちやんがよく中毒で死ぬ。慢性の中毒にもなる、顔色が青く、乳をはいたり気嫌が悪くなる。肺炎や消化器不良にもかゝりやすい。時々窓をあけて、空気を入れ換える必要がある。お母さんと一しよにコタツで休む時、かけぶとんの具合では、この猛毒が赤ん坊の上を通る

前進する教育

昭和二九、三十年度と大内小学校は、生産教育研究で県の指定校になつた。昨年十一月七日の研究発表には、県下各地から一五〇人の先生がかけつけた。〝生産教育〟は県下の教育界から大きな期待がかけられている。

県下で注目の的！
人間形成　大内小の試み

▽作りたい本能

何か創り上げたい本能は誰もがもつている。子供だつて、何かを創りたがつている。ところが従来の教育は、つめ込みが主体で、子供は口まねのオームだつた。困難にめげず助け合つて、やり抜く子供。よく考え進んで学ぶ子供でなければ、〝生産〟〝することは出来ない。こうした子供を教育するのが、生産教育のねらいで、技能的なものを教えることは、目的でない。そんなものは、意欲さえあれば、学べるから。

▽人間をつくる

だから創造力に富んだ子供を育てるのであつて、行動の上にも現れなければ無意味だ。すぐれた生産人を作るのは、考え方と心がまえをしつかり作るところから始まる。言いかえれば感じ取る力だ。学年毎に飼育をやつている。一年が鯉、二年が鳩、三年が兎、四年があひる、五年鶏、山羊六年だ。また三年以上は花壇経営を各学級でやる。観察から、子供達は注意深さと、創り上げてゆく意欲を、何時も刺げきされている。

▽仂く悦び

ものを創る悦びは、生徒の家庭に於ける気持を、大きく変えた。家庭もいそがしく、学年の進むにつれて勤労の度合いも大きくなる。各家庭に無記名で、子供の家事手伝いの状態を調べたら、仕事を言いつかつて気持よくやる、一が何と七〇%にも達した。働く悦びを、ものを創つてゆくことの貴いことを、子供達は知つて来たようだ。

▽ものを生かす

創ることが、創るだけのことなら、特別に人間を形づくる役には立ち難い。だから大内小では、ものを生かすことを強調する。一本の藁でも、貴ぶ気持を植えつけようとする。廃品整理場がそれだ。再生産を通して、子供達はものの貴さを知つてゆく。ここでは、薪になるもの、堆肥になるもの、金属、紙、と分類される、そばには焼場もある。やいて灰にすれば、金属でない限り、肥料にすることが出来る。それはまた花壇の草花へやられる。下の写真で、小供達はいま一心に小鳥を観察しているが、その日の、小鳥の健康状態まで、子供達はちやんと知つているから驚く。

ものをとおとび、創る悦びを知つた子供達が、こゝで大きなものを、培つてゆくに違いない。人間形成への大きな収穫を！

御堀象頭山

（古墳期後期組合式石棺）

今まで祝部土器などが出て山口大小路助教授等が調べた結果間違いないとされていた。二十八年八月文部省の認可を得たので、県博物館佐伯敬紀氏が主任となつて発掘を行つた。

南斜面の石ぼく千板岩の岩ばんの上にあつて、組合式石棺が二つだつた。（一つはほとんど壊されていた。）約千六百年前のものと千二百年前のものであつた。金環、銀環が二つづつ、滑石製勾玉？（はつきりしない。）水晶で作つた切子玉、管玉が出て来た。これ等は今県博物館に陳列されているこの出土品から想像するのに、大陸系の人種か、大陸文化の影響をうけた時代と考えられる。かめ棺も出たと聞いているが子供のために壊されて、調査出来ないことは残念である。

仁保中学下手

（古墳期中期組合式石棺）

高木九一氏の作られた〝仁保の今昔〟にも書いてあるこの地方の石質は、オンジヤク石とあるが、ぼく石千板岩のことだ。そして、石棺の用材は花こう岩で東山から運んだか、まだ研究が必要だとあるが、決して疑問になることはない。花こう岩は地層にざらにあり、むかしは土地の表面にもあつたと考える。この発見は文化財保護法による届出がないから、県にも記録がない。全く残念なことだ。

郷土の昔ばなしについて御意見ある方はどしどし御よせ下さい。

夢を買います

つい先頃大内町御堀に出来た、中国コンクリート工業が、セメントやコンクリートに関する、みなさんの希望や思いつきを募集している。住居やかんがい用の用排水路などに、この頃型に入れたコンクリートが盛んに使われ出した。こうしたら便利だという夢を同社では求めている。賞金は五千円。詳細は同社へ。

耕土培養に
二〇町の目標

（大内）今年大内地区で一二〇町歩の耕土培養をやる計画だ。この目標で陳情に町は力を入れている。含鉄粘土とボーキサイドを投入する方針で、実現すれば約四割の県費補助。近く農業対策委員を通じて広く呼かけると意気込んでいる。土地改良区にオート三輪も備えて今後やりやすい。

楽しいな。おひるだよ大内保育園の子供達の元気な顔、顔。いそがしい主婦達の間に、こんな設備を求める声は多い。

さすがは母の愛情
成人式は全町仁保小で

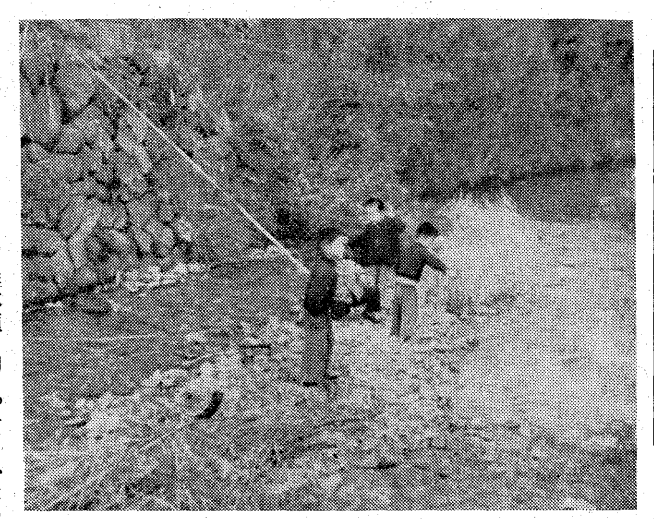
全町、仁保小学校と決つた対象は三六〇名。十五日朝十時から式を行う。正午から記念の祝宴を、ごく簡素にやる。リクリエーションは映画で、記念品は柿の苗この日の接待を、町婦人会が悦んで引受けた。いままで小鯖、大内では、婦人会の接待が例年あつたが、今年から仁保も同じになつたさすがは母の愛情だーとこの面倒な仕事を悦んで引受けた婦人会に、賞さんの声が上つている。

まづは、新成人者の健康と幸福を祈ろう。臨時バスは山口市営で矢田市九時半、帰りは井開田四時半。父兄の方もどうぞ。

栢野惣一氏（小鯖）

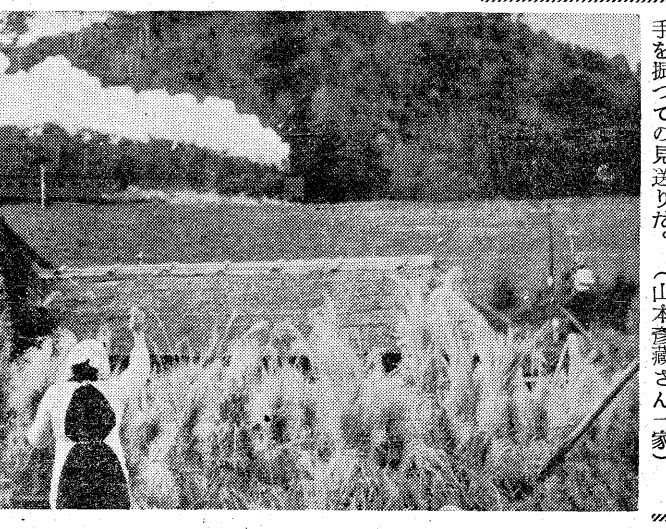
合併祝賀の歌に一等当選お目出度うをのべれば、相好をくずしてニツコリ。今までも歌の募集に時折応募したことはあるそうだ。

祝賀の歌は一週間位かゝつて直した。野良でも、紙と鉛筆をふところに、気付きをメモした。全町の小中学生に歌われて、栢野さんも大満足だつたろう。



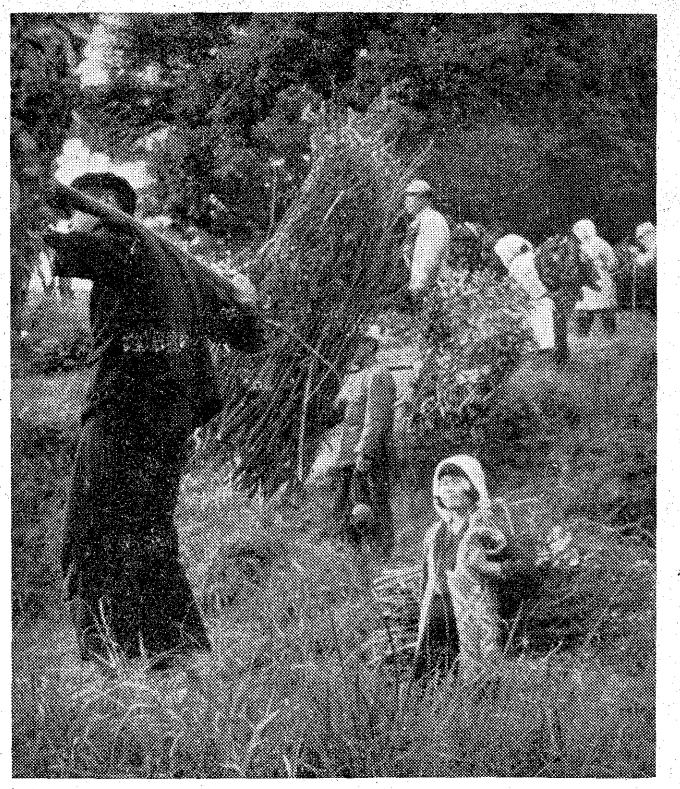
われもの

危い!!子供達が水遊び。ブリキやビンや瀬戸物の割れたのが、沢山ちらばつている。夏には、きまつて子供達が頭を切る。何とかならないものか。一ケ所に集めて、埋めるとか。この状態は、町内のいたところで見る。（小鯖八反田にて）



小鯖の一番奥、平佐部落

では冬の間、燃料を集めるので忙しい。山行きは町内どこでもだ。終日働いて、くつたり疲れた体を引きずり、家路へ急ぐ人達をパチリ。（平佐部落の原田正樹、楢松八重子、伊東義明、同みさ子、原田信正、奥さんのちとせ、伊東実之進の皆さん。）



へき地の表情

六人殺しで恐怖のどん底に落された牧川にも、少しづゝ明さが帰つて来た。山口線の汽車が土手をあえぎ〳〵上る。さようなら。屋根ふき用の茅の上で、手を振つての見送りだ。（山本彦蔵さん一家）

公明に選んで國を興そう
――近く選管委動く――

政治の貧困が叫ばれているしかしそれも有権者一人々々の責任になる。よりよい公明な選挙が、民主政治を打建てることはいうまでもない。新春から、理想選挙を強く呼掛けると、選管委では計画をねつている。

十二月二十日、選挙管理委員会は、理想選挙の組織を作り上げることを決定した全町に志を同じくする人をつのり、強い組織とする方針だ。新春から早速活動するが、三ケ所位で座談会を開く予定だ。日時は決り次第お報せするから、ぜひ出席していただきたいと、選管委は希望している。

▽……よりよい民主政治……▽

つまるところ、身についた民主生活がなければ、民主政治もあり得ないから、こうした座談会を通じて、町民の輿の連絡を作るのが選管のねらいだ。

夢を買います

つい先頃大内町御堀に出来た、中国コンクリート工業が、セメントやコンクリー

◇違い祖先の生活と、文化的な遺産をたづねるところに、郷土に対する限りない愛情もわいて来よう。仁保源久寺で、今月中に〝大内町趣味の会〟（仮称）が結成される予定だ。郷土の歴史も、次第とがつちりしたものが、まとまつてゆく気運にある。江藤茂氏提供の本稿も幾分かの是正をうけながら、やがて究められた郷土の歴史になつてゆくための、試論とでもいおうか。題して郷土の昔ばなし◇

郷土の昔ばなし

大内町広報

昭和31年2月1日
第8号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 大同印刷所

共通の廣場で

この広報に寄せられる皆様方の御協力に、何時も感謝しております。私達の広報――この共通の広場で、全町民が親しみとけ合えたら、どんなに楽しいことでしょう、写真や記事御意見を、どしどしお寄せ下さい、待っています。

固定資産税（第四期）

納期二月二十八日限り

早目にお納め下さい

合併まぢかく

県下各地で、新生計画が進められている。合併町村では、いままでの計画が泥縄式にづさんであった面と、古い行政区画での規模の貧弱さを解消して、新にねり直されつゝある。本町でも、この機運は日と共に強まり、昭和三十一年の目標が、次第と輪かくを明らかにして来た。この計画は少くとも五ケ年の年次計画で、一歩一歩きづき上げられるべきはもちろんだが、実りの果にこそ、色々の感情を殺して合併した、目的も意義も生れてこよう。この計画と運動のねらいは、たゞ産業の振興だけにあるのではない。教育も、衛生も、経済も、ありとあらゆる生活のたて直しだ。話し合い、手をとり合つて建設にいそしむところ、――貧乏は逃げてゆくーだろう。

足もとから

この計画は、ぼう大なものを、机の上で計算し、組立てることをねらっていない。まづ一つ一つの部落からの発足を期待している。一つの部落の、一軒一軒が労力とかかん境とかを考えて、一軒の家の年次計画が部落により合されて来る。各戸がバラ〳〵のことをしても、力がないから、部落毎、次には地区毎（小さい意味の）に調整されるのはもちろんだ。

あらゆる角度で

年次計画は、農道の場合資金をどうするか、設計して見て、費用はどの位、何年に何米と計画をたてる。あらゆる角度から、実現できる計画に、ねつてゆく。部分林の作業にしてもそうだ。部落の計画になると、各戸の計画を集めたもの以外の協同的なものが加わつてくる。こうした部落毎のかつちりしたものゝ集計が町の計画にならねば、何時までたつても、実現性のある計画にはならない訳。

小野村の例

今は宇部市に合併したが旧厚狭郡小野村は、新生計画が成功したことで有名だこゝのやり方が、以上のべたのと同じやり方を取つている。そして産業振興をふりかざさずに、お互いが話し合いのできる人間になろうと、経済や設備の面でなく、〃気持よく相手を理解する〃ところに力を注いでいる。協同の力は、皆が心の底から理解し合う時には偉大な力を発きする一つの例を小野村は作つてくれた

中旬に世話人会

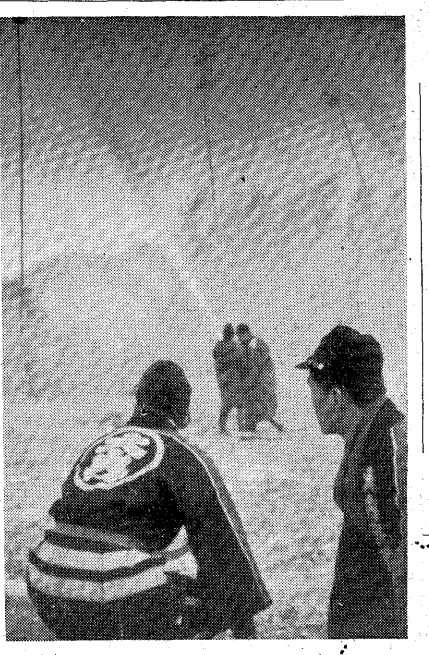
この計画は二月五日の議会に話を進める予定だ。十日頃各部落から三人宛の世話人を選んでもらい、中旬に代表世話人が集つて話合う計画がたてられている。計画するのに必要ならば担当の係を出張させる。また補助も、計画が完了したものから、計上されることになつている。

保育園は子供の天國

病気とか、労働などの理由から、子供の面倒がみられない家庭のお子さんにとつて、保育園は天国です。

三～六才まで、申込は二月末日限り。直接社会係へ。

寒さなんじゃらほい



方便おろしが真向から吹つけて、一月八日は寒い出初式だつた。この日氷上川河原にせいぞろいした団員は四六〇名。式は九時に始まり、消防長式辞、感謝状授与、及び永年勤続者の表しようが行われた。来ひん祝辞、機械器具の点検後、ポンプ競技が行われ、散会は十一時三十分。

果樹組合

去る十八日、東園の栗林明氏宅で結成、参加は二十八名。これで北河内、高野入郷、下郷、小鯖の四組合が一本にまとまり、連合した形で、生産出荷販売と、強力に進められてゆくだろう。

成人式

赤飯にはろり

講堂一杯若さがみちた。仁保小の成人式には、三地区から、続々とくり込んで三百五十名、町長、教育委員長の式辞後、山口保健所長が、体格検査を報告、すべて標準体位以上で、梅毒の血清反応は、全員無毒だつたと。

記念品は柿の苗、富有柿を本町の特産にしたいと町長の説明があつて、産地から取寄せた苗が渡された。祝辞は、知事、県教育長、町会議長、県連婦人会長、県連青団長、仁保中校長より、こも〳〵お祝と激励があつた。成人代表栗林幸子さん立つて力強く挨拶をのべ〃若きもの〃合唱、万才三唱で式の幕をとじた。山大岡田教授の記念講演後記念さつ影で午前が終り、午後は弁論大会とレクリエーション。

この日、四百にも及ぶぐう勢な折詰を作つた婦人会特に仁保支部のお母さん方の苦労はなみ大抵ではなかつたろう。温い心尽しの赤飯に、ほろりとした成人者の顔を、パチリ。

自作農資金の借入れ

自作農をい持してゆくために、資金が借りられるが利用者が少い。次の条件に合う人なら、当然借入出来る。①自作農で、経営の面積をひろげるために必要な資金②小作地を自作地にするため、買入れの資金③相続資金（遺産相続などで財産が細分されるのを防ぐに必要な資金④純然たる持資金（ほつて置けば経営が小さくなるか、破産する人を救う資金）

この借入は、低い利子（五分五厘）で長い間借りられ、十～二十年の間にもどせばよい。

自農資金

遅れると滞納処分

早くしないと、嫌な目に会う。自作農創設資金を借りて、年賦償還をおくれている人は、滞納処分にならぬうち、お早く。一時に返済される方は、豊作の折でもあり、便利でしよう。

税金が安くなる

家計簿と同じつけ方で、家庭の主婦で楽にやれる。これが青色申告の記入方法だ。その上有利。一例をあげると、総所得五二万九千円の人は八万六千八百円の所得税を払うが、これを利用すれば三万一千円ですむ。

税金が安くなる

やり方は、町税務課で親切に教えます。

蠅蚊の退治は今

蠅や蚊のく除は、三月までにやると効果的。さなぎは、土の中五六寸のところにいるので、便所のふきん畜舎たい肥舎のすみなど、やわらかい土中をほつてやく。もちろん成虫の蠅は暖い日に出たところをビシヤリ。蚊の卵は汚水のたまりをなくすればよい。

目標七万俵

近く薪炭組合同

近く薪炭組合が合同する三地区合計で二三〇名の組合員だ。

木炭では、増産と品質の向上をはかり、名声高い仁保炭を、年産七万俵出す計画だ。二月四日、仁保農協会議室にて会合、発会式をあげると。

山林の申請と補助

◇…今年度造林して、補助金を貰う申請を出している人は、三月十日までに仕事を終らぬと、金が出ない。

◇…三一年度に、造林および保安林を切りたい人は一月二五日～二月二四日までに許可申請を出して下さい。伐採調整資金を借りたい人は、借ろうという山について伐採の許可をぜひ申請して下さい

婦人学級

【大内】去る十七日、大内女子学園で婦人学級を開いた。山大鎌田講師の映画と生活運動、午後防府市の山県医師より純血教育のはなしを聞き、映画鑑賞後散会。

社教映畫各地へ

一月十五日は仁保妙見、十六日は小鯖毛割へ巡回した。新婚たくあん夫婦、子供は見ている、苗代の父を上映、沢山の観衆が集つた

郷土の昔ばなし

特の形である。

◇妙見猿橋など

仁保山のふもと、谷の右手上部にあつて、雨水のためよく注意しなければ判りにくい。円墳で、一の瀬伝説を伝えている。この円墳からは十一時三十分。

果樹組合

去る十八日、東園の栗林明氏宅で結成、参加は二十八名。これで北河内、高野入郷、下郷、小鯖の四組合が一本にまとまり、連合した形で、生産出荷販売と、強力に進められてゆくだろう。

成人式

赤飯にはろり

講堂一杯若さがみちた。仁保小の成人式には、三地区から、続々とくり込んで三百五十名、町長、教育委員長の式辞後、山口保健所長が、体格検査を報告、すべて標準体位以上で、梅毒の血清反応は、全員無毒だつたと。

記念品は柿の苗、富有柿を本町の特産にしたいと町長の説明があつて、産地から取寄せた苗が渡された。祝辞は、知事、県教育長、町会議長、県連婦人会長、県連青団長、仁保中校長より、こも〳〵お祝と激励があつた。成人代表栗林幸子さん立つて力強く挨拶をのべ〃若きもの〃合唱、万才三唱で式の幕をとじた。山大岡田教授の記念講演後記念さつ影で午前が終り、午後は弁論大会とレクリエーション。

この日、四百にも及ぶぐう勢な折詰を作つた婦人会特に仁保支部のお母さん方の苦労はなみ大抵ではなかつたろう。温い心尽しの赤飯に、ほろりとした成人者の顔を、パチリ。

自作農資金の借入れ

自作農をい持してゆくために、資金が借りられるが利用者が少い。次の条件に合う人なら、当然借入出来る。①自作農で、経営の面積をひろげるために必要な資金②小作地を自作地にするため、買入れの資金③相続資金（遺産相続などで財産が細分されるのを防ぐに必要な資金④純然たる持資金（ほつて置けば経営が小さくなるか、破産する人を救う資金）

この借入は、低い利子（五分五厘）で長い間借りられ、十～二十年の間にもどせばよい。

自農資金

遅れると滞納処分

早くしないと、嫌な目に会う。自作農創設資金を借りて、年賦償還をおくれている人は、滞納処分にならぬうち、お早く。一時に返済される方は、豊作の折でもあり、便利でしよう。

税金が安くなる

家計簿と同じつけ方で、家庭の主婦で楽にやれる。これが青色申告の記入方法だ。その上有利。一例をあげると、総所得五二万九千円の人は八万六千八百円の所得税を払うが、これを利用すれば三万一千円ですむ。

税金が安くなる

やり方は、町税務課で親切に教えます。

蠅蚊の退治は今

蠅や蚊のく除は、三月までにやると効果的。さなぎは、土の中五六寸のところにいるので、便所のふきん畜舎たい肥舎のすみなど、やわらかい土中をほつてやく。もちろん成虫の蠅は暖い日に出たところをビシヤリ。蚊の卵は汚水のたまりをなくすればよい。

◇大内畑 古墳期中期

自然丘を利用した前方後円墳で、半ばこわれている上の方をひらいて、松尾寺後世は松尾庵、後に寺小屋となつたあとがある。松尾芭蕉翁の句をきざんだ石碑があり、名木大内桜のあとである。また伝説琳聖太子の第一子琳竜太子の塔がある。前方後円墳は、大陸や半島に例を見ない、日本独

江藤茂氏提供の記録中から、若干ぬき書した。何分限られた紙面なので〃郷土の昔ばなし〃もこの号でとゞめることにした。郷土史談会も発足したし、こうした研究も、より一層盛んになることだろう。

◇大内畑 古墳期中期

自然丘を利用した前方後円墳で、半ばこわれている上の方をひらいて、松尾寺後世は松尾庵、後に寺小屋となつたあとがある。松尾芭蕉翁の句をきざんだ石碑があり、名木大内桜のあとである。また伝説琳聖太子の第一子琳竜太子の塔がある。前方後円墳は、大陸や半島に例を見ない、日本独

◇妙見猿橋など

仁保山のふもと、谷の右手上部にあつて、雨水のためよく注意しなければ判りにくい。円墳で、一の瀬伝説を伝えている。この円墳からは、血の瀬伝説も考えるのに、平子時代ではなく、皇民族の地方平定時代と推理するのが、当を得てはいないだろうか。

まだ〳〵調べねばならぬところが、大内御堀乗福寺

◇文化財

(1)禅昌寺　加葉尊像
薬師如来
平子重経像
(2)源久寺
(3)玄塔院　阿彌陀仏像
持国増長天像
(4)永上中野観音仏像（昭和三十年二月県文化財指定）
(5)乗倫寺　阿難仏像
(6)永上山　鐘（文部省重要美術品指定）
(7)問田光厳寺　鰐口

◇出土品

上矢田西生森東生森の村落をなし、マツゲキミ部の長の古墳や、カバネキミ戸主や家族の共同墳が集落したものと推察することが出来る。全国的にもまれな遺せきであつて、県考古学会よりも注目されている。

上矢田西生森の村落で、文化の度が進んだ時代と考えられる木葉紋になつているところから彌生前期木葉紋といわれ、考古学上貴重なものである。この他、土師器底部鉢形底部、祝部土器破片、人骨などが出土している。これで考えると、前期に高い文化人がいた後に、人種のちがつた（積石墳を傍証とする）ものが侵入して村落をなしたと考える。つまり西生森東生森の村落をなし、マツゲキミ部の長の古墳や、カバネキミ戸主や家族の共同墳が集落したものと推察することが出来る。全国的にもまれな遺せきであつて、県考古学会よりも注目されている。

◇文化財

(1)禅昌寺　加葉尊像
薬師如来
平子重経像
(2)源久寺
(3)玄塔院　阿彌陀仏像
持国増長天像
(4)永上中野観音仏像（昭和三十年二月県文化財指定）
(5)乗倫寺　阿難仏像
(6)永上山　鐘（文部省重要美術品指定）
(7)問田光厳寺　鰐口

◇出土品

上矢田西生森東生森の村落をなし、マツゲキミ部の長の古墳や、カバネキミ戸主や家族の共同墳が集落したものと推察することが出来る。全国的にもまれな遺せきであつて、県考古学会よりも注目されている。

小鳥かうにも許可証がいる

許可がいる鳥は？

マヒワ、ウソ、ホ、ジロ、ヒバリ、メジロ、ヤマガラ、ウグイスの七種だ。飼うには、勿論数もかぎられる許可証がいらぬ鳥は、カナリヤ、インコ、十姉妹、オーム、キユウカン鳥、文鳥、紅雀など。

捕獲許可

めんどうだが、捕えるのに許可がいる。捕えて飼うときにも許可がいる。詳しいことは、役場林務係まで

老朽ため池に補助

名地でためいけ修理の話を聞くが、これに国から五割補助が出る。二七年から三ケ年にわたつて、全国のため池を国が調べた結果、あまりにも粗末な実情におどろいた。それで一がんがい用の老朽ため池で、補強工事をやつた後、ちやんといじ管理が出来ると国が認めた場合に限り、五割の補助が出る。（やればすぐ出るわけじやない。）

史談會發足

郷土史談会が、二十日仁保源久寺で発足した。参加者三十四名には、六名の婦人もまじつていた。各地区二名宛の理事を選出し、大内は安富節造、江藤茂氏。仁保は伊藤祥斉、神田義光氏。小鯖は坂倉道義氏（一名未定。）毎月十四宛出して、会の維持にあてる申合せをした。知ることから、郷土に対する愛情もわくとの趣旨から、史談会では、青年婦人層の参加を、広く求めている。

やる気になれば

戦後派でもピリッ

一月十二日の夜だ。みぞれがしと〳〵降つていた寒い晩だ。大内地区下千坊の公民館に、十六名の青年が近くの部落から集つた。今年の夢を語り、真剣に討論し合つた。最年少一八才から三五才までの青年達だ。今年一年の計画と取組んでいる人達は戦後派でもピリツと辛い。

希望はさま〴〵

集つた青年は、岡田部落の河野寛（23）古屋寿吉（35）原田太（26）田中正俊（20）三間地恒喜（22）氷上部落の中野重雄（24）上千坊の原田久（25）岡村光泰（26）重村静男（24）下千坊の久保田昌治（22）岡本義男（31）宮の馬場の江藤幸男（21）上殿の河内の江藤隆敏（23）小野部落の一条友幸（18）河村義政（18）高橋芳男（20）の皆さん。顔が違うように、かけている希望もそれ〴〵違う。豚が出る鶏、そ菜、米作、と多種多様だ。

名前は話そう会

いままでもこうして会合を重ねたが、特別に会の名前はない。強いていえば話そう会だ。一人一人今年の抱負をひろうする。今年は三月から一日もかゝさず市場に出すとA青年が力む。今年は百万の利益をあげるーーいやあげたいとD青年がすごむ。鶏をかいたい。

遠慮がいるものか

お互い力んでみたとて初まらない。検討し合うのがこの会の趣旨だ。K君が豚の失敗談をやる。豚の親二頭を去年の夏から飼い出し（21）上殿た。朝飼をやりに行つたら前日かぎをしめるのを忘れていた。十一頭の仔豚が親と一緒にゾロ〳〵散歩としやれた。笑うに笑えても一頭地味でいゝから三年間研究のつもりでボツ〳〵だと、しぶいのもある。完全な利益を二十万残すと、これは0青年。さすが年長だけあつてホラはふかない。

尻切れ

年とつて、不精が年毎にひどくなつた私は、口ばかり達者になつてゆく淋しさを感じる。が、その不精者の私にとつて、何より助かるのは、台所改善をしたこと。そう自慢する程の目新らしさはないが、カマドは能率がいゝし、ポンプは自動的に給水してくれる。風呂場と台所の中間に立てば、主婦の仕事が一眼で見渡せる。私の台所への工夫は、歩く距離を短かくしたことゝ一生水につながる女の宿命を思つて、水の便利を第一義に考えたことだ

娘時代より楽

こうして改善して、娘時代の不便な台所より、かえつて楽になつた。この年になつても、はつきりそれがいゝ切れる。私は独り者だから簡単にやれたが、大勢の家族にかこまれた主婦の立場は、カンタンにはゆくまい。何よりも夫の理解と協力が必要だ。そこから産れて来る時間経済が、婦人の立場を実質的に高めてゆくのだが—

尻切れトンボ

考えて見ると、女性は仕事に責任観が少ない。一例をあげると、婦人会長を二度も選挙に押して、落選後、平気な顔で会合に出席なさる神経が私にはどうも解らぬ。その尻切れ故に〝どうせ女というものは〟—といわれ、いわれることに恥づかしさを感じなかつた。長い封建的なふん囲気の中で、道具として飼いならされて来た私達は、自分自らが立上る意欲をもたぬ限り、機会は永久に訪れては来ないだろう。

便利になつた台所での炊事の明け暮れに、私は〝時間経済〟とつぶやいてみる。湯気の中から、立場を理解し合う婦人達の、手をつなぎ合う明日を夢みている。

（小鯖、柊、**長井艶子**　59才）

うれしいな　雪コン〳〵
敏子ちやんおいで
ミー坊も
みんなでだるまさん作ろうよ
（大内保育園にて）

もうけは反二千圓

F青年が一反作るのに二〇ー二五人役かゝる。二石二斗ー二石四斗位で、純収入は二千円位になるそうだ農具のしよう却を新品価格にみているから少々高く見積つてはある。とも角、米を作るだけじや苦しいとF君はがい歎した。かくて夜のふけるのも忘れ、お互いが遠りよなく突込んでいた昼しい中から立上る農村の灯の一つが、この夜の下千坊公民館にはあつた。

生活からうまれた発明と工夫

瓦なんぞおかしくて

母屋の屋根が、全部コンクリートだ。二二号台風にも、近くの農家は相当の被害だつたが、すゞしい顔。しかも費用は安い。……大内地区小野の一楽虎一さんの家がそれ。嘘と思つたら、さあ〳〵一度実地でお立会い。

セメンが三〇袋

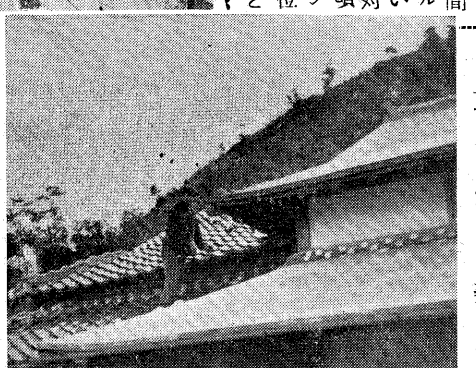
四〇坪の屋根をふくのに三〇袋のセメントをつかつた。ざつと一万二千円だ。人役は四万円。砂バラスを運んだ労力もモチロンいれてある大体瓦の半分であがる。一楽さんの場合、古瓦を売つて、労力は自給だから、話にならぬ程安くあがつた。セメンだと見ばえがねえーと二の足をふむ人もあろうが、心配は無用。コンプレッサーでふき付すると、色付は自由だ。

作業はかんたん

瓦を脱すると、粘土があるが面倒だから粘土の上にラスをはつたと、一楽さんはおつしやる。それでも結構丈夫にもつている。約二寸のコンクリートの上にモルタルをはるが防水剤を入れた。一袋につき約二〇%の防水剤だ。全部で一斗二升位つかつた由。千二三百円かゝつた。

たい肥場が二万圓

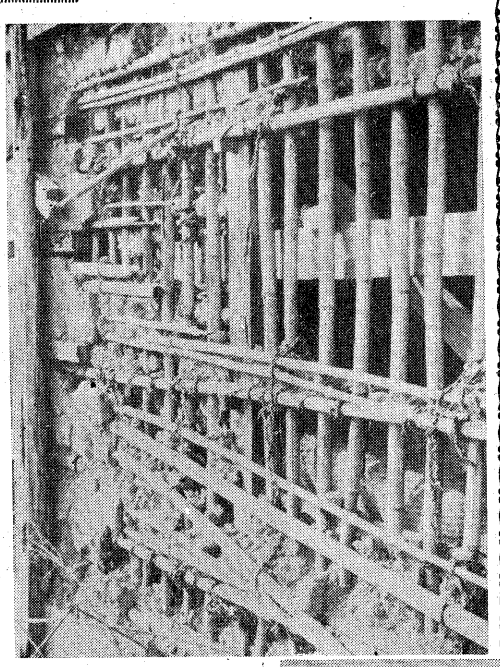
近くの岩本さん（上千坊）のたい肥場は、約五坪二万二千円であがつた。下から四尺位壁もきづき、底もセメンではつてある。屋根は全部コンクリートだ。これは請負だから、一切自家労力はかけないセメン一、砂三、バラス六の比りつでいゝ。上にはるモルタルはセメン一、砂二の割合だ。注意を要するのは、四尺から一間毎に絶縁（アスファルトなど）を食せるといゝ。こうすれば、絶対ヒビが来ない。この頃道路はそうの時にコンクリーの間（三間毎位）にくわせているのと同じだ。タテに一直線に入れてゆく。コンクリートはふれたりちゞんだりした時、この絶縁が調節してくれる。参考までに値段をかくと、ラス（小さい針金で網になつている）一坪が百二三十円。防水剤は一升百二十円。セメンは一袋四三〇ー四五〇円位だ。ワラぶきの家はふきかえも大変だし、その時々に出す費用もバカにならぬ。そこえいくと、永久に持つコンクリート屋根はすごく経済的だ。好みの色をふきつけて、赤だの緑だの、橙色やセピヤ色の家があちこちに出来上つたら色彩にとぼしい風景が、余ほど生々して来ることだろう。



瓦をさしかえる一楽さん

日記から

才末助け合い運動は心づくしのかずかずが寄せられて、好成績だつた。だが、この贈物は、受けた方々にどんな反響があつただろうか。ある民生委員さんの日記の中から、温い心のゆくえを探つて見た。この日記は、民生委員という仕事の難しさと尊さをも、物語つている。



一月二四日……Aさんが健康にならしていたFさん。お気れてうれしい。助け合いの贈り物をもつてお伺いした時は、嬉泣きにしばらく言葉もない様だつた。私まで一緒に泣いてしまつた。一時は死も覚悟して居られた様子。不思議なことに、あの日から、薄紙をはぐ様に快方に向つたゞしつかりゞと贈り物にこもつた激励がきいたのかしら。

二五日……ふつとFさんを想い出す。お婆さん一人でこんな寒い夜、淋しいだろう。こんなに沢山いだいて——とうける手許もふるえながら助け合いの贈り物にしばらく合掌していた。皆さんによろしくと頬をぬらしていたFさん。お気の毒な方!!

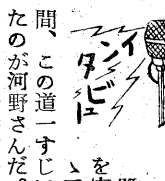
二七日……Tさんは就職した。〝此の恩はきつと御返しします。どうぞよろしく御礼を〟と男ながら目に光るものを見せて力強い足取りで帰られた。あの時は失業でほんとにお苦しかつただらう。奥さんも病気だつたし。よかつた。ほんとによかつた。Tさん万才。民生委員はつらい。この頃一貫五百やせてしまつた。

狸ばやし

その一……大内の高森さん一家七人、二月十五日神戸出帆ブラジルへ。しつかりやつて来るのが河野さんだ。昨年文部省から無形文化財に指定されて、鷺流狂言は一やく脚光をあび始めたが、それまで黙々と育てた苦労は、並たいていではなかつたろう。大正十二年喜多流の謡を学んでいた河野さんは鷺流が絶えると聞いてこの道に飛込んだ。今五十九才、大内地区間田で元気に暮しているが、あとをつぐ弟子がいないことを、心からなげいている（鷺流狂言は、室町時代におこつた狂言の流派）

その二……仁保小で行われた成人式の当日、ピカ〳〵光る新品の靴が、御丁寧に二足も盗まれた。成人を祝つて両親の愛情こめた靴だつたものを、不愉快な話

その三……猪犬のトラ君、クマ君のお手柄を一席——廿九年五月に旧小鯖村が買入れたもの。廿九年に二一頭三十年に二六頭の成績をあげた。このため廿八年には十八町歩の水稲と十一町の甘藷被害があつたが、廿九年には½になつた。三十年にはその⅓で一四〇〇万円を検約した。共済組合でも、猪一頭につき五〇〇円の謝礼を出した。猟友会は今嬉しい悲鳴。



三分間インタビュー

河野三十氏（大内）

鷺流狂言を守り育てゝ三十二年

大内町広報

昭和31年3月1日
第9号

山口県吉敷郡大内町
発行者　渡辺敏雄
編集者　坂倉正義
印刷所　山口市道場門前　大同印刷舎

郷土を緑に

三月一日から四月十日まで、郷土緑化運動が行われます。今年は第七回の国土緑化大会で、四月始めには、天皇皇后両陛下を山口県にお迎えして植樹祭が開かれる予定です。

昔から、山林を大切にする民族は栄え、そまつにする民族は、次第に衰えてゆくといわれます。郷土を愛し、緑を愛してこの意義深い運動を発展させるため、「緑の羽根募金」にも、ぜひ御協力を。

国保を全町に実施

いよ〳〵四月一日から

国民健康保険の賛否投票を、大内小鯖地区に行つた結果、圧倒的に賛成が多かつた。町議会にも国保事業の開始についてはかり、四月を期して全町的に発足することになつた。国保は或る意味で助け合いである、相互ふ助の精神がゆき渡れば、それだけお互いの日常も明るくなろうというもの。すでに国保を行つてきた仁保地区のやり方と大体同じで、二重加入も除くことになつている。

合併以来の約束

仁保地区の国保を、旧村時代のまゝ五年間続けることは、合併の際の約束であつた。その仁保も、一年ばかりの歩みではあつたが、着々成果をあげ、大変喜ばれる制度であることが解つた。病人の出る家庭では、医療費の支出は頭痛の種だ大内小鯖地区でも国保を望む声が日増しにふえた。

議会もしんけん

国保の運営は、特別会計を作つて、町民の負担による保険税を徴集せねばならず、おいそれと簡単にはかゝれない。運営が悪くて赤字を出したらことだ。この点議会もしんけんに取組んだ。国保全町実施特別委員会、文厚委員会でも幾度となく議論をくり返した。

あげて啓蒙へ

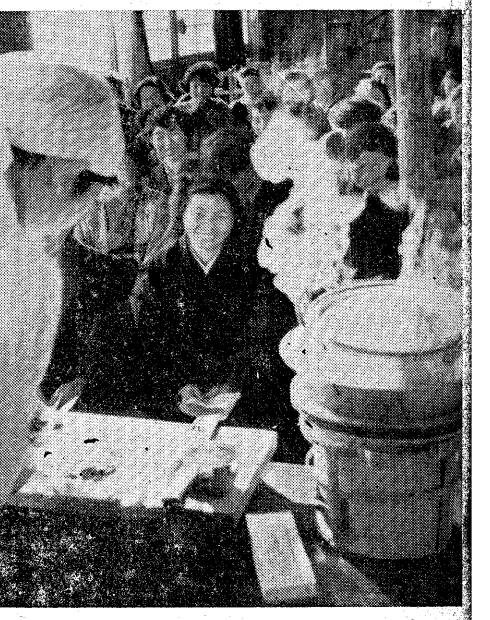
町の事務局、町議会をあげて啓蒙に努力した。部落こん談会も開かれた。最後の決をきめる賛否投票では七五、八%の賛成を記録した。二月六日町議会は満場一致で、実施を可決し、二月十三日県より認可の通知もうけ取つた。

保険税は年十回

診察をうけるときいる受診証は、三月半ばに駐在員を通じて配布することになつている。税は六月から、年十回の分納だ。山口防府吉敷郡の医師会及び独立病院との契約はすでに終つたこれを運営するには、国民健康保険の特別会計がつくられ、その中で会計がなされる。だから一般の町予算とは別に運営される。民生課では、今この制度について、もつと理解を深めていただくための、解説書を作るに忙しい。やがてお手許に届くだろう。

保存食はおいしいよ！

二月八日の朝からだ。場所は東園小学校。最近学校給食を始めたこの学校で、給食記念感謝祭が開かれ、午後両親学級で、保存食の講習を受けた。講師は、生活改良普及員の友沢女史。魚とピーナツ味噌、するめの切り潰けの実際に作られたのを賞味して、或る御婦人、「マア辛い。けどおいしいよ。」保存する関係で塩は辛くしてあるらしいがとかく手軽に栄養のない食生活を送り勝ちな我々。約八十名の参加者は、大変な満足で散会した。



映画の巡廻

〔仁保〕二月の巡廻映画は土井で行つた。劇映画川のある下町の話など。参加者は約三十名。

婦人学級

〔仁保〕二一、二二日の両日上中下郷一せいに行つた山大鎌田講師による、明るい生活をするには——の話と、結核予防法の改正された点を、山口保健所と町民生課の係から。鎌田講師は因習の打は、結婚改善、嫁と姑、家庭生活上の問題点をつき、実行力をもたなければ明るい生活はできないと結んだ。

積寒の指定

仁保は今まで積雪寒冷地帯に指定され、そのための特別な補助もあつた。合併で旧村が消え、町村の一部だけを積寒に指定することは出来ないという政府の方針で、仁保の積寒がどうなるか心配されたが、小鯖大内地区も含めて、今回全町が指定された。

山焼き

規模の大きい山焼きがあちこちで行われている。警察では、山焼きの際の連絡を希望しているが、遠くから見ると、山火事との区別がつきにくゝ、防府山口などの消防署で大へん困るそうだ。照会があつても返事ができぬし、ぜひ事前に連絡を。

造林補助

三月十日までに造林が終らぬと補助金は出ない。終つた人は、森林組合にある補助の手続きをふんで下さい。補助の対象になつた山林は、必ず立札を立てなければならないから、お忘れなく。詳しくは各森林組合へ。

中旬から一せい検しん

厚生省が二十八、九年に行つた調査で、農村に、中年以後の人にも結核患者が多いことが判つた。結核予防法の改正で、市町村長は毎年一回日を決めて、一せいに健康診断をしなければならない。市町村長の責任に於てだ。小学校に入学している子供から大人までみんな対しようになる。これにいる費用の半分は、市町村、国県で負たんする。方法は…まずツベルクリン反応検査（結核にうつつたかどうかをしらべる）をする。つぎにツベルクリン反応が陰性かぎ陽性（はつきり陽性と言えない人）の人はBCG注射（結核の予防注射）をする。

ツベルクリン反応が陽性の人は、レントゲン検査で発病しているかどうかをしらべる。以上の三段階に分れる。結核にうつつても、早く注意すれば発病しなくてすむし、発病しても早く治りようすれば必ず治る。

学校林

〔仁保〕二十、二三の両日学校林の整地作業に三百の父兄が参加。場所は浅じで面積一町五反。主として本年度の卒業生が杉を植える予定だと。

植林のコツ

一町歩平均杉ひのきで三千本、松で四千。広い穴を堀つて、根をそのまゝの状態（手に持つた時の根のかつこう）にして土をかぶせる。ふみ込むとき、引上げるような気持で、充分ふみつけるがコツ。

防犯組合

〔大内〕大道公民館で、十四日防犯組合が結成された隣近所協同して防犯の実をあげるのがねらい。大内地区で始めての試みだが、川向でも近くできる由。

31年度固定資産自由に御覧ください

昭和三十一年度の固定資産について、次の通りじゆう覧に供している。三月一日から二十日まで〳〵、朝八時半から午後五時まで。場所は役場及び各支所。一日〜六日まで小鯖、七日〜十二日まで仁保支所へ係員が出張するので、御ふしんの点は遠慮なく。

社福の協議會

大内地区の社会福祉協議会は二月廿七日午後一時から町議事堂で開かれた。三月一日は仁保、二日小鯖で地区ごとの協議会が開かれるが、近く町としての協議会を結成するという。明るい社会を作る運動を、より強力にするのが、ねらい。

乳児の検診

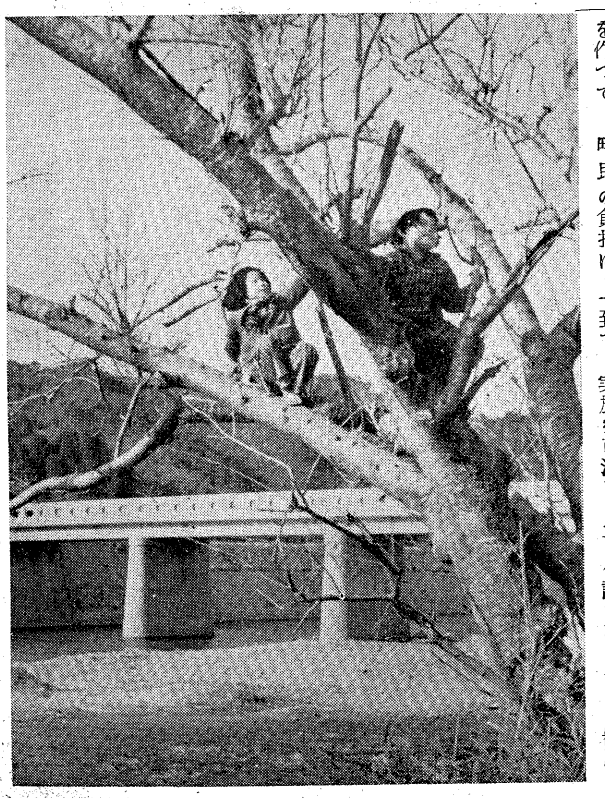
三月六日は大内、九〜后三時。七日小鯖は后一〜四時。八日仁保は九〜后四時。保健所の小児科のお医者さんが来て、くる病など調べる。チョコラDを投薬して以来廿七年三三%あつた乳児のくる病患者が、今では一〇%位になつた。くる病は、ビタミンDの不足から。お子さんに元気がなく不安な方は、ぜひこの機会を利用して下さい。

道造り

小鯖では、国鉄バスが通る梨羽線の改修に、関係部落民が、それ〳〵奉仕したバスは私達の足だが、道路を可愛がることは、バスを可愛がることだから——と或る婦人は話つた。（写真は改修作業をする一区の婦人たち。）

所得税の 確定申告は 2月16日～3月15日

3月15日をすぎて，申告しなかつたり税金を納めなかつた場合，ふ養こう除その他のこう除がなくなり，その上加算税や利子税が余分にかゝり大変損になります。



うらゝ

ぽか〳〵と春らしくなつた。学校帰りのお転婆さん二人、まだつぼみもふくらみかけぬ川土手の桜に登つて、はるかに見詰めているのは、小鳥か雲か。豆科学者は、いやに深刻な顔で観察しているゾ。

（仁保深野橋のたもとで）

予算の見方調べ方

解説

三十年度も今月で終りだ。四月一日からは、新年度予算で仕事がされる。三月末日まで、予算はしんちように検討され、討議が重ねられる。というのは、三十一年度の事業が、この予算でぴつしやり決つてしもうからだ。追加の予算でも出ない限り、ゆうづうはきかない。歳入（三十一年度には入ると予定される金、税金や山の売上げや、国県の補助金など）が少くて、歳出（一年間に仕事をする上、必要な経費）とのつり合いが取れぬのが、町執行部でも議会でも悩みの種。とづのつまり歳出をけずらねば、ない袖はふれぬ。

才入のいろいろ

才出は多いに越したことはない。それだけ事業が出来るから。だが予算である以上、才入才出が同じ額でなければならぬ才入が少いから、やりたくても事業費をけずる結果になる。やりたい意欲と、やれない現実とを、調整するところに、陣痛のなやみはけてしない。

陣痛のなやみ

才入のうち、町税（町民税、固定資産税、自転車荷車税、たばこ消費税木材引取税など）が何といつても一番大切だ。三十年度は約三五〇〇万見積つた。国が地方の財源不足を補つてくれる地方交付税、財産収入（主として山の立木代金）、それに国県の補助金が収入の主なものだ。その他戸籍などの手数料、女子学園の授業料、保育園の保育料、公営住宅などの使用料が入るが、僅かなものだ。

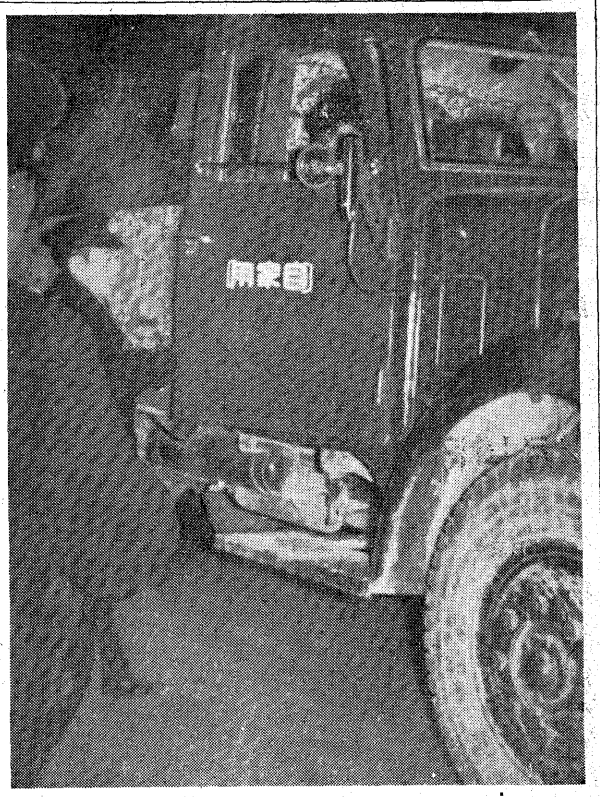
見方はかんたん

むやみと数字がならべてあるのが予算書だ。しかしその見方はかんたんだ。予算は款、項、目、節に分れる。款は一番大づかみなところ。歳出の方で款を拾うと、議会費、役場費、警察、消防、土木、教育、社会および労働施設、保健衛生、産業経済、財産、統計調査、選挙、公債、諸支出、予備の一四款に分れ、それ〴〵の款に必要な費用が全部組込んである。項は款を使い方によりわけたもので、役場費のなかでも役場職員費、諸費とわかれる。役場職員費は職員の人件費、宿直の手当、旅費とわけて、「目」「節」が細かくわかれてゆく。つまり節から目へ、目から項款へと、谷水が大川になつてゆく具合だ。

予算に秘密はない

一度決つたら、予算の通りに行政が行われる。そこには何の秘密もない。なる可く多くの人が、予算の内容をくわしく調べ理解し、主張を高くかゝげれば、全町民に支持される、明るい行政になるだろう。理解しようという努力が、郷土を愛する気持につながる限り。

（Q）



午前一時。ゾク〳〵する寒さの中で警らだ。ご苦労様。

生命をかけて

命をかけるといえば、大げさな様だが、警察官の場合、その危険にさらされることが多い。例えば強盗たいほの場合がそれだ。大内町には三ケ所の巡査駐在所があり、重富寿延（大内）佐々木俊斤（小鯖）田中菊治郎（仁保）の三氏が、治安の維持に当っている。平おん無事なような日常でも案外我々の知らぬ苦労は多いようだ。

深夜のけいら

いてついた寒空に

届出が早ければ

一月末日の午前十時から正午の間に、小鯖猿田の原田一夫氏は時価十万円の写真機をとられた。又畠田の山下善人氏も現金時計を同じ空巣にやられた。まだある。大内殿河内の向原さんは、現金で五千円、間田の田中良穂さんは現金二万と洋服など。幸い届出が早かつたので、この空巣山口で御用。現金を除いて盗品は返つた。質入れしようとした写真機から足がついた訳

変なのが通るよ

この空巣、山下さんから原田さん、原田さんから山下さんと往復して働いてる見慣れぬ変なのが通るよと近所の人も感じたという。だがも一歩進めて、皆が協力して、隣近所気を付け合つたら、事前に防ぎ得ただろう。防犯組合の必要なことを、この例が語つてくれる。大内大道でも十四日防犯組合が結成された。

緊張の二十四時間

どんな事件が起つても、すぐ応じられる様に、何時も地味な努力が続けられている。地下水の様に何時も流れていて、人眼にはつかない。しかし緊張の二十四時間を送つているのが、警察官の仕事だ。

重き勤と貧しき暮し

妻知れり今日ことのなく

おそく湯に入る

交番へひな見せに来る子

供かな

迷い子を送りとどけし桃の村

けいらは宵の口と、深夜早朝の三段階に分けて行うだから月に十日間は深夜けいらがある。この頃の寒さだ。まして深夜、ランプを片手に軒下でたゝずむのは、辛いことに違いない。早朝だつて四時から六時まで、寒さの一番きつい時刻だことが多い。例えば強盗たそれだ。大内町には三ケ所の巡査駐在所があり、重富寿延（大内）佐々木俊斤（小鯖）田中菊治郎（仁保）の三氏が、治安の維持に当つている。平おん無事なような日常でも案外我々の知らぬ苦労は多いようだ。

お母さん!!

僕がいるから大丈夫

私達女性にもちよつとできそうもないこと。中市勝さんは病気のお母さんと二人暮しで，御飯の世話から家事一切をきり廻して仕事にでられます。寒さが加わつてから，お母さんの足が思う様にきかなくなつて，着物もずいぶんよごれるらしいようです。いやな顔一つせず下着から着物まで洗たくして，工事場へでてゆかれます。本当に私達は頭の下るおもいです……。

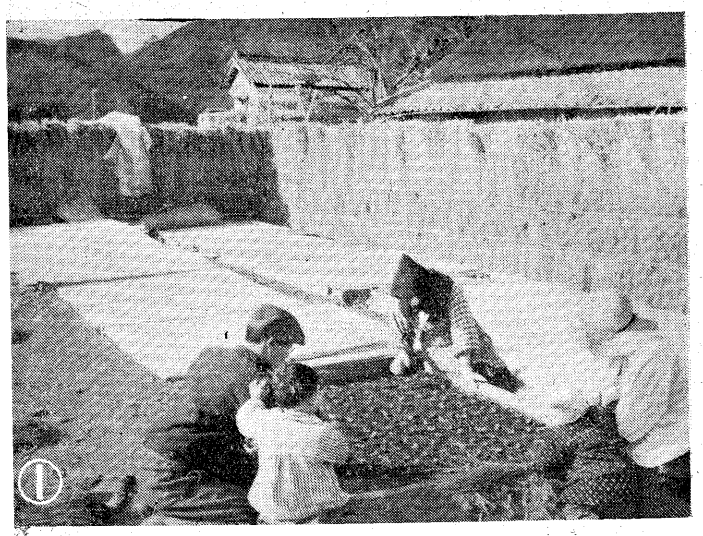
仁保丸山　一主婦

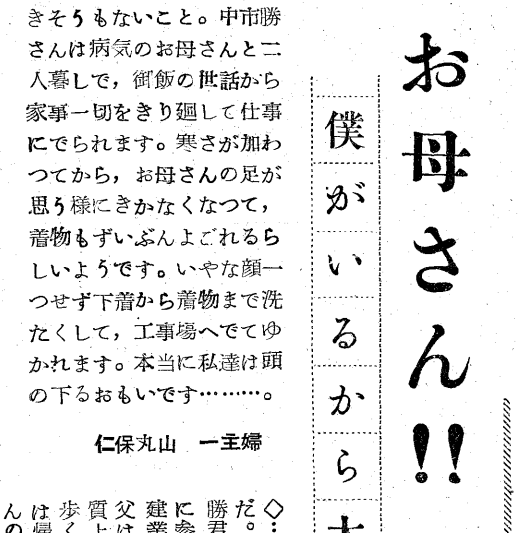
◇…こうした投書が舞込んだ。この話の主人公、中市勝君は、一月十五日成人式に参加した若い青年だ。土建業柴田組で働いている。父は石工さんで、仕事の性質上、あちこちの工事場を歩くから、めつたに家庭へは帰れない。病気のお母さんの世話は、当然中市君一人でやらねばならない。

◇…お母さんは（実母ではないそうだ。）ずい分以前から病気で、今迄幾年となく家事を切り廻してきた。仕事場は朝八時に始まるから炊事、洗たくは早朝、とタ刻以後しかできない。近所で事情を知つた人達は、申し合せた様に、よくまあまあなんにまめ〳〵しくとほめそやす。

◇…中市君を仁保高野の仕事場に訪うと、陽焼けした赤ら顔の小柄な青年だつた。はにかみやで、質素で、素直な感じ。現場主任の松田和雄さんも「全くいゝ青年で、この仕事場でも、皆が仕事熱心に感心している位です。」と語つた。

◇…中市君は鴻城高校へ一年近く通学したという。その頃母の病気で断念せねばならなかつた。父親についても習いたいそうだが、病母をかゝえて、それもかなわぬ。黙々と努力している中市君に、その内きつと幸せと悦びが訪れてくるに違いない。

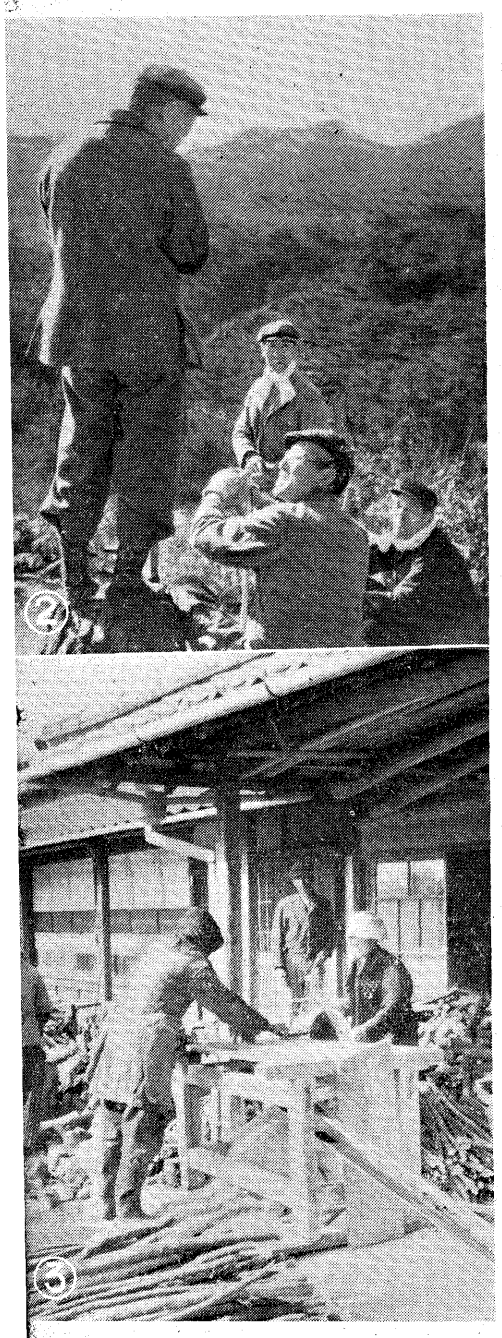




カメラ漫歩

うら〳〵と春めき、陽気にさそわれて、カメラ漫歩としやれた。そこでピントを、大内町の屋根と一ばん低地帯に置いた。

写真①は大内長野の柳木さん一家。ご主人の新治さん、奥さんの房枝さん、妹時子さん、



が温床の白菜の苗をまびいていた。

②は小鯖叶木で山林手入れの人達。徳本正、徳本荒一、柴崎勇一、山本時衛、の皆さん。

③長野の、中村さん一家。平助（71）、みね（60）のお二人がとしにもめげずまき引だ。勝一さん奥さんまり子さんも力を併せてかど先は薪の山。

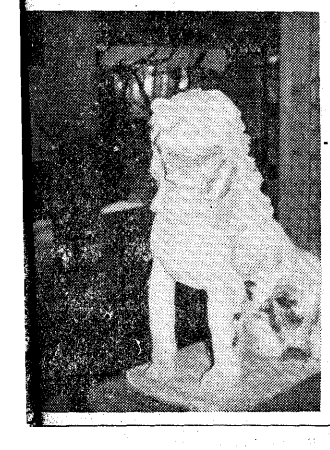
声

かけ足の一年

桜のつぼみもすぐふくらむ。あゝ、また花見の時節だ。農家の主婦にとつて、一年はほんとにかけ足。この一年、自分の成長を考えて、心の貧しさがたまらなく淋しい。でもー私達は、心底語り合える友達を得て、はげまして来た。幸だつた。

未来にかけ橋

平凡な農家の一主婦である私達は、少しでも心を豊かにすることによつて、遙かなる未来に一本のかけ橋を夢みている。そして同じ立場で、裸になつて話し合える人達が、ふえて来ることを待つている。そうだ、横のつながりだ。私達はファッショ的なものを排げきする。自分で納得し、トコトン理解した上で、自らの良心



横の糸

うんと伸びたい

町議会の傍聴も、ついに実現出来ない。勝手な註文だが、全町に議会の報告をやつて歩く議員さんが一人位出ないものかと、冗談を言い合つたことであつた。婦人が参政権を得て十年、私達には学ばねばならぬことが山ほどある。この一年、話し合いの中から、私達は幾分かでも偏見のない目分の考え方を学び取ろうとした。横のつながりが拡がつてゆくところ、私達主婦の視野もまた開けてゆくだろうと二人で話合つた。（仁保丸山主婦沖田あさ子、岡部

いくら選挙の公明をさけんだとて、有権者がフラフラしていたんでは、絶対数をカク得せぬから理想論に終る。

そこで、粒よりが相よりそつて一つの組織を作つたら、底力のある運動にもなろうと考えた。

◇…額を集めて、組織のあらましなるものを作つてみた。これを押しつけようというのではない。大体この位でこと足りるだろうとの内輪話だ。

それはー××会（つまり選挙の公明を運動する会）は会員相互が意見を交換し合い、会報も発行し、良識ある集団として行動するのを目的とする。

◇…こゝまで考えて、はたと困つた。日頃公明をさけんで、いざ選挙となると、ブローカーに早変りする人が出るかもしれない。簡単に言えばこの組織を喰い物にする人がだ。しかし選挙となつて自分の敬愛する人のため運動できないというのもきゆう屈だ。

◇…だから選挙のときは自由意志にまかせるとして、粒よりが集つたんだから、「公明」の二字で結ばれた意識はおいそれと消えることはあるまい。そうしたつながりが、隠然一つの防波ていを作らねば、選挙の浄化もまたできないではないか。

◇…出てこい、出てこい。粒より出てこいーは何やらの歌の文句にそつくりだが、何だか粒よりでない者は加入させないぞと言つているようで、気がとがめる。釈明するなら、手腕や力量の粒よりじやあるまいし誰でも公明になろうと考えたとたんなれるんだから、おの〳〵方、公明宗は、有難い御宗旨ではござらぬか。（町選管委）

粒より

……声……

三分間インタビュー

丸山品市（小鯖）

小鯖八幡宮境内に余興場を造るとき、一切の用材を世話し寄附金もつのつた。このため、二九年の四月に三十坪の余興場は完成し伝統をうたわれる上小鯖の歌舞伎も、見事な上演場を得た。寄進をうけた木材を、山に入つて自分で切り出し製材するの、一人三役をやつてのけ、つのつた浄財は百万円にのぼる。「私の手がらじやない。皆さんのお志です。」と涙ぐんで言葉少なに語つた。丸山さんは余興場に炊事場をつける準備で、毎日忙しい。三月中にはでき上るそうだ「神前結婚をやり、新郎新婦がひろうの費用を節約しても、新婚旅行にはでてもらいたいね。うんと考えを広くするために。」こういつて丸山さんはニコリ。

なまぬるばやし

▲長井艶子さん、二月号に〝尻切れ〟なる原稿を寄せた。文中落選後平気な顔でとあつたが、どうも間違つて読んでいる人が多いらしい。推せんした人達が、（長井さんをも含めて）あとの責任も感じない様じや、お互い尻切れじやないかの意味。いやはやとんだことで。

▲小鯖入幡宮に、年代はまだ不明だが、見事なこま犬がある。県の係官が小おどりした程の逸物。それ、歯をむいて、ウーワン。

大内町広報

昭和31年4月1日
第10号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前
大同印刷舎

かゆいところへ とゞく廣報

市町村広報紙で、これが理想的な姿だというものは、まだ全国のどこにもありません。生れていないのです。理想的な姿に一歩でも近づこうと、この広報も努力しています。つまりは、皆さん方が知りたいことを、掘り下げ、分析し、ほぐしてゆく手のとゞく広報を心がけています。

その意味で、今月もがらりと編輯を変えました。どうぞうんと註文をつけて下さい。

新年度予算成る

町議会は、十二日より十七日まで（十三日休会）審議に明け暮れた。十六日、31年度予算八千三百三十五万一千五百十一円が成立し、新年度からの発足準備に取掛かる。通過した予算の款毎の金額は別表の通り。来る日も来る日も、多忙をさいて審議に万全を尽した、町議会議員の骨折りは、大変なものであつた。議会の議事録の中から、町民の皆さんに関係の深い、主なことがらを拾つて見た。

三月十二日 条例の審議が主なものであつた。安富義員から、小選挙制の反対について、動議が出された。条例の審議が終つて、町長から新年度の施政方針説明がなされた。（町長の説明を原文のまゝ〝世論政治を中心に〟にのせた。）

三月十三日 休会

三月十四日 新年度予算に対する一般質問が始つた。固定資産税と町民税のふ課について、課税の公平と率が質問された。次に町財政の危機――どの地方自治体でもそうだが、わが大内町も、歳入歳出のバランスが取りにくい。――この打開方法が、検討された。

その他出された質問は、合併のときの五ヶ年計画と、町長の施政方針とは、どんな関連性があるか。町長が主張する、産業を重点的に扱う方針の内容はどうか。――根本的な問題が出され、新年度予算の意義づけに議論は湧いた。三十年度に仁保地区の直営林が可成り伐採されたが、仁保地区に対しても施設を公平に見て貰いたい要求が出た。款を追つて、予算の内訳を審議した。

△役場費では、消費的な経費について検討された。（消費的な経費を節約して、なる可く建設的な投資をふやすのが理想的だ）駐在員の費用弁償についてなど。

△社会及労働施設費 生活に困つている人や、戦争ぎ牲者に対して、補助の対策が論ぜられた。

三月十五日

△保険衛生費 蠅蚊のいないモデル地区を設けることなど。

△産業経済費――病虫害の防除費補助、防除器具の購入補助が、各六〇万円追加された。その他、下肥溜を設備する補助、（仁保、深野丸山に造り、山口から運んだものを開拓地で利用するもの）森林組合の補助など。

△教育費 公民館活動の本質的なあり方や、仁保中校のかつぼう室など。

三月十六日

△財産管理費 町の林務課と、森林組合の仕事は関係が深いがその分担と調整について質疑がかわされた。

△諸支出金――勤務者は、源泉より収で、金額をキチキチ納めているから何か報しよう的に払戻しは出来ぬかが論ぜられた。

才入を頂を追つて検討した後、遂に今年度予算八千三百三十五万円は成立した。

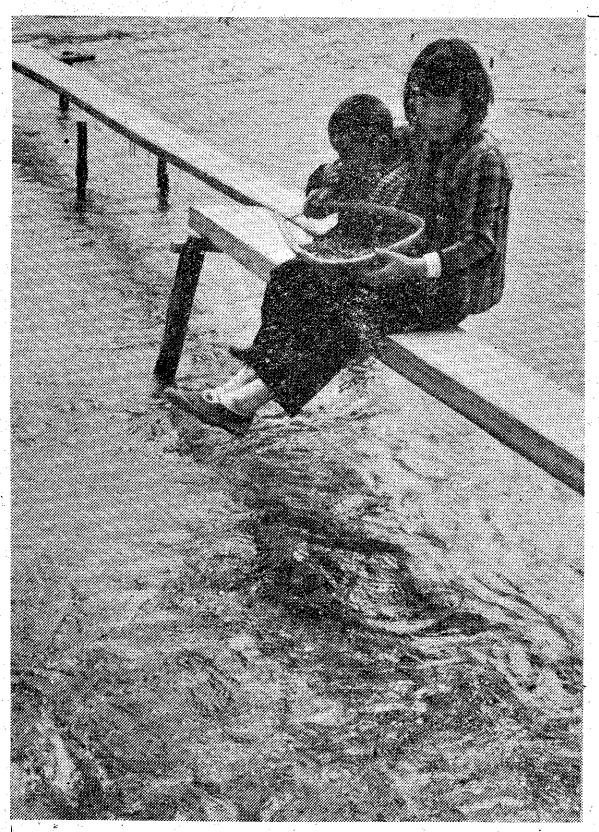
ついで小選挙区制反対が（十名賛成、七名反対で）、決議された。

三月十七日 三十年度の予算で、追加更正（第三回）が決定。特別会計である国民健康保険の予算が成立した。

31年度予算

歳入	(円)	歳出	(円)
税	39,863,731	費	1,356,500
税及入金	5,000,000	費費	16,924,427
)	15,892,002	費及	1,734,100
金		設	10,338,553
料	982,551	生	19,794,900
料金		済	1,752,814
敷	1,580,700	費	1,207,527
出		費	14,184,580
金	12,699,289	費	5,725,353
金	2,696,958	費	22,950
金	2	費	271,609
入	2	費	3,769,198
債	1	費	5,369,009
計	2,427,275	計	900,000
合	2,200,000	合	83,251,511
歳入合計	83,351,511	歳出合計	83,251,511

水ぬるむ。よもぎつみの少女が、弟をだいて一休み。**大内殿河内にて**



仁保局

町名が大内だから、仁保向けの郵便物が大内局と間違つて、大変困るそうだ。これから、「吉敷郡仁保局区内」と書入れて下さいと仁保局から。

7日 両陛下縣農試へ

天皇皇后両陛下は、四月七日防府市で開催の国土緑化大会に臨席されるが、相当日下矢田の県農業試験場にも立寄られることが予想せられる。

町政だより

▲昨年十二月二十八日着工した大内小学校は、三月末完成。木造二階約二百坪。総工費四六八万五千円で、その内補助は七三万八千円起債は三二〇万円の予定。

▲三月中に完成した災害の復旧で、土木事業は、平ケ谷橋梁（小鯖叶木、26災）下市橋梁（大、氷上、28）江良護岸（小、上小鯖、29）水口護岸（大、菅内川、29）天吹護岸（大、菅内川、30）桜木護岸（大、菅内川、30）鍛ケ尻道路（小、東鯖、30）長谷（仁、29・30）江良護岸（小、30）

▲災害耕地の復旧は、松柄（仁）神田（大）叶木三件（小）鯖山（小）相刈（小）二ケ所工事中だが、四月末までに完成の予定。

▲大内保育園では、三月二十日新入園児をせんこうし、四九名が決つた。

▲四月中旬、牛の結核検査を行う。各地区3～4所の予定だが、場所は未定。

▲動力散粉機を買われる部落には、予算のけんいで補助が出る予定。集会のときなど、よく話をまとめておかれては――

▲大内保育園では、三月二十日新入園児をせんこうし、四九名が決つた。

▲四月中旬、牛の結核検査を行う。各地区3～4所の予定だが、場所は未定。

▲動力散粉機を買われる部落には、予算のけんいで補助が出る予定。集会のときなど、よく話をまとめておかれては――

▲迷子の動散やーい。昨年貸した動力散粉機が、まだ二台帰つていない。あるお宅は、大至急本庁か支所へ返して下さい。

▲母の会。三月八日、大内中で開かれ、参加者二五〇名。九つの分科会に分れ、社会の母、家庭の母、などを追求して、後四時散会。

警察では、当日身軽な服装で、安全な場所にて歓送迎されるよう希望している。試験場にこられる時間は三、五五～四、一〇まで

今春、全町の良心、沢田あさ子、岡部

六四〇名が巣立つた。小鯖小学の卒業式で……

世論政治を中心に

通りとしました。一般米麦作は、品種改良のための米麦採種圃ならびに優良品種の展示圃を設けます。生産技術の改善には、試作圃を設け、水稲保温苗代の奨れいを行います。水稲の減収防止対策には、防除器具と農薬代の助成を行います。その他特産物の増産を奨れいする施策も講じてありますが、何分にも経営がわずかで、充分な効果を期待出来ないのは、実に残念であります。

◇耕地事業では、28年災害の復旧四件、29年災害二件、30年災害六件を予定しています。また土地改良事業をのばすため、事務費の助成と資金をゆう通します。産業経営の合理化と生産の増加をはかるため、三十年度より行つている農地の交換分合も、今年度完成させる予定であります。

◇社会および保健事業では国民健康保険を全町に行うことになり、住民の保健に大変役立つと信じております。社会福祉を進めるため社会福祉協議会を運営し、福祉更生団体を助成し、保健事業をすゝめ、結核予防の対策を強化し、社会保障の前進に努力いたします。

◇教育では、新営事業として、仁保小第三校舎の改築に重点をおき、小、中学校の教育資材の整備を続いて実施します。社会教育では婦人青年学級、社会学級の実施、女子学園の経営、公民館活動による文化、体育のしん興、青少年の善導など、社会環境をよりよくすることに努力いたします。

以上申しました各部門の施策が、広く町民にしみわたり、町民自身のもり上る熱意と相まつて、大内町の建設が着々となる様、新生運動を展開しようと心懸けております。

しかし、施策の方針と、予算的なそ置の間に、相当のズレが生じましたことは、初めに申上げたように、限られた財源と、本年度事業に充分の補助と起債を期待出来ぬ事情によるものであります。健全財政をがつちり守り通す立場上、止むを得ない現状をご賢察下さいまして、審議されるようお願します。

世論が中心になる民主政治が広くしみわたるため、どこ迄も納得のいく明るい町政のため前進したいと決意しております。賢明な議員諸子のご協力とご指導ご援助をお願します。

新たな感覚で炭も化粧

あつかいよい、手がよごれぬと、文化燃料が次第と木炭市場を押して来たのは事実だ。三月十二日仁保大富公民館で開かれた町木炭品評会でも、この対策が話し合われた。消費者に悦ばれる木炭を――

風呂敷にでも包んで持ち帰れるような、紙包みで、そのまゝ使える様に切つた木炭――と話し合われた。やがて新しい感覚で、木炭も化粧するだらう。

当日の受賞者の主なものは、特等（米本信夫）壱等（水津恒哉、松尾信夫、末永直）弐等（岡久人、宮内秀門、山下美馬、三好重次郎、千々松虎一）参等（藤田寛一、泉朝吉、原田弁才、飯田国雄、岡田義夫、村田運男、山根鉄夫、原昭二、木村正基、藤本育生、田辺敏夫、川尻義隆、藤本正一）優勝旗は、上山班が獲得した。

自衛官募集

防衛庁で陸海空の自衛官を募集している。

二等陸士 九〇〇〇名
〃海士 七〇〇〇名
〃空士 二〇〇〇名
資格 昭六、七、二～昭十三、七、一の出生者
受付 3月20日～4月16日
試験 4月25日～5月7日
◎詳しくは役場総務課庶務係まで。

緑化は進む

全国的に有名な仁保婦人会の造林作業。三月十一日は、北河内で会員四八〇名が参加した。

松の植林で有名

灯台下暗しで、大内長野の江藤常一翁は、案外地元には知られていない。松の植林といえば、吹き出す人もあろうが、これを実行して成功した。明治三八年、小郡農学校三一回の卒業生である江藤さんは、今年七十八才で、もう山にゆく元気もない。一番熱心に植林したのは、昭和十九、二十、二十一年の三ケ年だった。お孫さんをつれて、暇さえあれば山に登って植林した。

松の植林は出来る

江藤翁の説はこうだ。松は直根性のものだから、まだ苗が小さい頃でないと成功しない。つまり松の苗も気付かぬ位に植えなければ、育たない。一だばかりで、てんで松の苗が自然に育ちそうもないところに江藤翁はいどんだ。一だをかつて、松苗を植え、間違って刈取らぬ様、竹を立てた。

県下にも例がない

松植林は確実に出来ることを、江藤翁は立証したが、まだ問題は残っている。現在までの太りは非常にいうだとはいい切れぬ。たゞ江藤翁の場合、しだが繁つて、てんで天然下種が不可能な場所に松を育てた功績がある。

展示林にもなる

全部の山を江藤翁は植林したわけではない。天然下種がきくところで、植林する馬鹿もないが、二十七年に切つた一町歩は、天然下種で、県の展示林になつている程だ。四年たつても四年目に六～七尺位になるが、相当手入れもいるという。地元の人に聞けば、たしかに立派なもんですと、手入れの模範にしている様な口振り。長い年月、年にめげず造林にはげんだ江藤翁は、近頃息が切れて困るとこぼしていた。

緑化は進む

そ菜園芸も、昨年の様に豊作ではさつぱりだつたが、経済が安定するにつれて、山林の経営は重要視されて来た。それだけ、緑化は進んだと言える。地味に堅実な方法を選ばせる程、農林の景気は、後退もした。

肥料はつかわぬ

一切肥料は使はぬそうだ土地がよいのかもしれぬ。

十二、三年でこんなにも太る　江藤さん自まんの山。

対する江藤翁の愛情に、しみ～頭の下る見美さであつた。

働く表情三題

○：働く真剣な表情をカメラにおさめようと努力した。仕事一本に打込んだ表情がこれだ。写真からの盛り上りが少いのは、カメラマンの罪か。

○…一番上の写真は、仁保上郷上山、炭がまの傍で、かまの性質を説明している山根金広（59）さんの表情だ。

○：右の方の写真は、仁保高畠で屋根ふきに懸命の中本隆治さん。左側の写真。仁保一の瀬では山本ユキ子さんが麦の手入れをしていた。

○…ひたいに汗し、根限り労働している、神聖な姿を写そうとねらつたが、写したのはそれ程でもなかつた。たゞ働きに働くという姿でなしに、計画性を持ち、協同の力で新しい農村を建設していこうという、息吹きをカメラにおさめたかつた。

○…もつと何かゞ、生れようとしているとカメラマンは待ち望んでいるだが。

80年で3寸の杉

▲鞍の影きようを成長した木で眺めると，はつきりする。ホーフツ線（3角を丸くした様なかたち）を画いた時は，40%位の酸度がある。頂点が逆に引込むと，70%位ある。この場合石灰を入れると，元の円形にもどる。3年たつてホーフツ線にかえる。この時は，もう40%以下の酸度になつている。そこえ肥料をもつてくると，きりの様にとがつて，ぐんぐん上にのびる。然し肥料が強すぎると，針の様に細くなり，雪に倒れたりする。

▲木が大きくなるにつれて，枝が降つてくることがある。根が，酸性の強い土にぶち当つたことを示している。土じようの改良を，枝ののびた地点まで拡げると，防げる。ついでに酸に強いものを記すなら，栗，次に松だ。酸性の強いところには，松を育てた方が経済的になる。

▲将来を豊かに約束してくれる植樹は楽しいものだが，まず第一歩は大丈夫だつたろうか。これからの伸びを，細かに見つめて，適切な処置を取ればよい訳だ。緑を愛し，緑を育てる気持がある限り，山は何時の時代にも，宝庫であり得るだろう。

▲杉は酸性に弱い。だから酸性の土に植えると，何時までたつても，さつぱり太らない。50年でも3寸，80年でも3寸である。この春は，杉の造林があちこちで行われたが，全部が適地であつたかどうか。土地の酸性に気付かずに植えたら，4，50年さきの夢は，もろくもくずれる訳だ。

▲どの位酸性に弱いかの例に，仁保高野の苗圃がある。昭和23年3月に8升の杉種（1升は20万粒）をまいたところ，何と15,000本しか生えなかつた。しかも次第に枯れて行つた。石灰の小俵を反当16俵入れてまいたところ，石灰がかたまつて落ちた場所は，土が見えない位繁つた。他の場所は，次第と枯れてなくなつた。

▲土じようの試験をした結果，案のじよう酸性があつた。土地の表面は酸性が消えたが，底の方で根が酸にふれて枯死したのだつた。3年目に反30俵入れたが，25年度からようやく本物になつてきた。坪5合まきを2合にきりかえねば繁りすぎるところまで来た。杉は酸をとことん嫌うことが，はつきりと解つた。

四割がまづい

ふみ込が少い

30年度の造林地で、補助対象になつたものは、小鯖で五〇件、大内三〇件、仁保で一一〇件あつた。この内四割が、色々な条件から見て、将来性ある造林だつたそうだ。適地に適木を植える考えが少い様だと、林業普及員の山根さんは言う。植えさえすれば植林になる、という考え方があつた様だ。

申し合わせた様に、杉ひのきの植林が多かつたが、やせ地に植えたんでは、これから先が心配だ。中には立派に植えたんもあつた。小鯖稚畑、千坊の井原亀之亟さんは代表的な例だ。井原さんはひのきの中に、肥料木を混植していた。

ふみ込が少い

植林が多かつたんでは、これから先が心配だ。中には立派に植えたんもあつた。小鯖稚畑、千坊の井原亀之亟さんは代表的な例だ。井原さんはひのきの中に、肥料木を混植していた。

四割がまづい

更新がともなわず、放りつぱなし。天然下種の補整にも力をいれねば、もつたいない話だ。特によく管理されている地区は、大内で菅内、仁保で丸山、小鯖ではせき悪林地帯だ。この他にも、まだあるだろうが、代表的なものが以上の地区だ。植林地でよく管理されてする。また風も吹く。ふみ込むと、枯れたり、倒れたりする訳だ。今年の秋植には、現地をよく見て、何が一番よく育つかを考えて下さい。秋の計画は、今から、土地の調査を始めることだ。

天然下種も不充分

町内の山林は約一万町歩。この内の六割が松の天然生林だが、伐るのと更新がともなわず、放りつぱなし。天然下種の補整にも力をいれねば、もつたいない話だ。特によく管理されている地区は、大内で菅内、仁保で丸山、小鯖ではせき悪林地帯だ。この他にも、まだあるだろうが、代表的なものが以上の地区だ。植林地でよく管理されて

▲この春はあちこちで、部分林の育成が行われた。やがて、四、五十年の後には、豊かな町財政を約束してくれる。

▲小鯖では、四、五区が四町、相刈が二町、石畠が四反余り、藪ケ尻で六反、樋ノ口で二町五反、向山は二反、三区で二反とはかどつた。別に学校造林が二反ある。全部杉。

▲大内は、一一下千坊で一反五畝、小野一町七畝、下千坊と小野で一町余り、上下千坊で二町余り、菅内が一町、御堀三反、矢田が六反二畝。これも全部杉。

▲仁保は全部落が平均三町。今春の気候のせいもあつて少々遅れたが、三月末で四二町一反を終つた。別に五町の造林は、婦人会三町、中学が二町。

▲部落の汗が実る頃が待遠しい。これらの山が、町の財政に役立つ時には、町民の半数以上はあの世だ。然し、次代の町民へ真心こめての贈物が、この春はこんなにも出来た。

▲直営林もついでに書くと、十町の植林が終つた。平谷、木戸、小河内など。天然下種も五町歩程。

▲かくて、備えあれば、うれいなしか。

▲分収金を引くから、結きよく町の財源に残るものは、約一千万円だ。三十年度は一九九七万円だ。三十年度の立木代金の内、一七二九万八七五一円が町の収入となつた。三二年は八三六万、三三年は八一四万、三四年は七八一万と、年度末のばつさい計画は立てゝある。合併の初年度だけに、三十年はばつさい量が多かつた。

▲けい続的に伐るとなると、数字は勢い小さくなるが、

奇岩呑水養巨雷
老杉軍枝無尽夜
霊気迫我解心迷
（町議徳本他人氏作）

杉がすく～育つなら、やがて犬鳴ばかりでなく、この風景は見られる。遠い将来の話で恐縮だが。――

▲夏山手入れで、町が入賞団体になつた。四月七日防府市で開かれる国土緑化大会の席上表彰されることになつた。

▲あと地を更新する計画なしにきり荒したら、いくら多い町有林でも、とんでもないことになる。三一年度予算では、町有林を一二七四万二千円きることになつている。仁保が五八九万四千円、大内が四〇二万三千円だ。

三分間インタビュー

赤岸貞平氏（小鯖）

七九才というが、元気なものだ。昭和二五年頃から植林を思い立ち、今までに手がけた面積は四町。全部杉だ。昨年からでも二千本の杉苗を植えた。「もうこの年になつて、腰がいたくて」とおつしやるが、まだ～働ける力がひそんでいる。犬鳴に入れば、すぐ両側によく手入された杉林が続く。これは誰の持山だと、つい聞きたくなる程の山だ。今までの苦労が察せられる。しぶい、そして温和な山本さんは、はるか犬鳴の杉山を、愛児をいたわる様に、眼を細めて眺めていた。

山本秀若氏（仁保）

あゝ、あの造林熱心な、と仁保地区では有名だ。大正四年頃、旧仁保村の収入役をやり、その後農業会の運営にも尽力した。今年六八才だが、まだ～元気なもの。インタビューした日も、造林地の手入れの最中だつた。昭和五年頃から植林を思い立ち、今までに手がけた面積は四町。全部杉だ。昨年からでも二千本の杉苗を植えた。「もうこの年になつて、腰がいたくて」とおつしやるが、まだ～働ける力がひそんでいる。犬鳴に入れば、すぐ両側によく手入された杉林が続く。これは誰の持山だと、つい聞きたくなる程の山だ。今までの苦労が察せられる。しぶい、そして温和な山本さんは、はるか犬鳴の杉山を、愛児をいたわる様に、眼を細めて眺めていた。

大内町広報

昭和31年5月1日
第11号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前
大同印刷舎

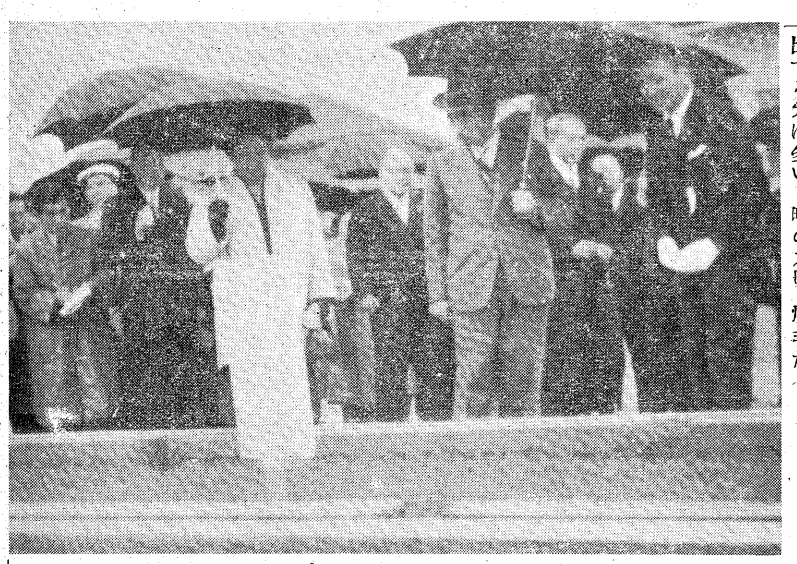
広報はカラ宣傳の場ではない

広報は、月一回皆様のところへゆく、町からのお便りです。ありのまゝをお報せし、いつも忠実でありたいと願っています。例えば、先月号につのった町長の今年度事業計画も実現した都度、また出来ない時は、何故出来ないかを、率直にお報せします。よりよい郷土にするため、力をあわせようではありませんか。

五月の町税

自転車荷車税

納期五月三十一日限
早めにお納め下さい



町財政は何を訴える？

予算はどの様に収入され、どの様に使われたか。にやりくりしたかも、解つては頂けない。これが、別表のグラフがそれを示している。とかく数字は面倒臭いと、毛嫌いする人が多い。が、町財政のありのまゝを知つて頂かなくては、苦しい財政で、如何どうか。せい一杯であるかどうか。すべてをさらけ出しての、財政白書だ。

約四千萬円の未収

正確に言うと、三月三十一日現在で、三千七百万円が未だ入つていない。グラフで才入の部を見てゆくと、財産収入（山の立木の売上など）が四割、国からの支出金が六割七分、県の支出金が五割九分、まだは入つていない。町債に至つては全然入らぬ。こうして、収入が遅れるから、予算にはみても、仕事はとかく遅れて来る。山林代金も、売り時が冬にかゝつてが多いし、国、県からも、仕事が確定してから出るので、毎年遅れるのが常となつている。その他は、大体順調だ。

産経費が目立つ

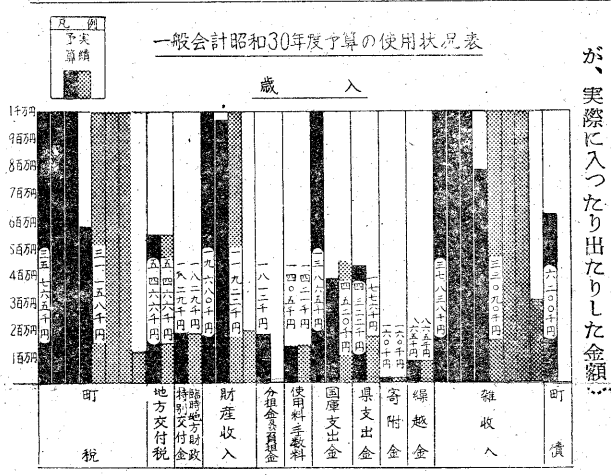
才出のグラフでは、金額も大きい産業経済費が、四割八分の支出。その他も、保健衛生費の五割、土木費の六割八分等、これから支出する分は多い。町の大切な財源を管理する費用の財産費も、四割の支出という貧弱さ。才入の遅れが、直接にひゞいている。町民税四六〇万の未収は、大きな痛手だ。

旧村関係収支明細表

昭和31年3月31日現在

費目		大内	仁保	小鯖	計
歳入	才入金	2,254,301	1,493,153	1,188,830	4,936,284
	才入収入未済金	808	13,212,247	3,012,600	16,225,655
	才出財源充当額	3,614,240	3,460,604	3,088,140	10,162,984
	国県支出金	—	—	—	—
	寄附金	640,263	137,505	87,534	865,302
	繰越金	79,578	—	—	79,578
	雑収入	700,000	—	600,000	1,300,000
	計	7,289,190	18,303,509	7,977,104	33,569,803
歳出	才出金	4,789,111	14,597,732	5,138,547	24,525,190
	才出未済金	—	800,000	3,600,000	4,400,000
	計	4,789,111	15,397,732	8,738,347	28,925,190
歳入歳出差引残金		2,500,079	2,905,777	△ 761,243	4,644,613

一般会計昭和30年度予算の使用状況表



黒い線が予算でみたもの。うすい線が、実際に入つたり出たりした金額

旧村の支払いは

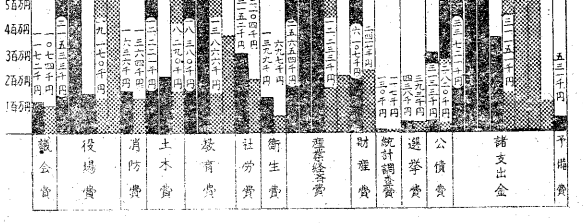
別表の通りに、旧村関係の明細をのせた。才入と才出を比較してみて、小鯖の七六万余円が赤になつたが他はゆとりを残している。七六万の内、四四万は、合併促進費の補助を、旧村でみて実際には新町へ入つたからで、差引三二万が税等の未収という訳。合併前にあれこれ支出が多かつたが経理面でのバランスはついている訳だ。

三千万円の借入

三月末日現在で二三七〇万円の町債がある。全部旧村の借入で、大内が七七二万、仁保が九四五万、小鯖が六五四万円だ。内定している町の起債は五七〇万円だから、合計して三〇〇〇万近くになる。

国保は二割七分の未収

特別会計の国保は、三十年度だから、仁保地区の分しかない。六三七万七千円の予算に対して、四六五万（七割三分）が収入になつている。未収は、町の一般会計からの繰入れ、一一〇万、保険税四二万五千円が主なもの。このため、保険の給付費一〇〇余万円が、支払われていない。



農事試験場で

四月七日、両陛下は県農事試験場に寄られた。保温苗代の前で説明申上げている尾崎場長は、熱心のあまり我知らず、陛下と合々傘になつた次第。

自衛官二次募集など

5月10日から6月20日まで、二等陸海空士の二次募集をしている。

△航空自衛隊の幹部募集
三等空佐～三等空尉
4月20～5月10願書受付
防府、中関、航空自衛隊防府基地隊へ提出されたい。

△航空自衛隊空曹募集
一等空曹～三等空曹
三百名募集、5月10日迄詳しくは役場総務へ

東京―大阪間

東京―大阪間に郵便が始められて、今年で八十五周年だ。短達」だ。速達小包も四キロ（約一貫目）まで扱う。手あ進歩したもの紙と葉書は、飛行機で運んだ。この制度もでいる。速達を利用しなくても、時代の進歩とは一定だし、考えて出せば共に複雑になり相当の時間がひらく、便利にもなつたが、まだ〳〵方法について、御存知ない人が多い。

△速くとゞけるには、「速い期間によくま（約一貫目）まで扱う。手

郵便

△小包は、重さ六キロ（約一貫五百匁）まで、長さ一・一米まで郵便局で受付ける。途中で包みが傷むと、配達する人も、先方も迷わくする。包みは丈夫にこしたことはない。通信文を一しよに入れてはいけないが小包はがきを利用すると、同時に着く。

△現金を送るとき、現金書留が便利。五万円まで送れる。事故があれば政府がべんしようするから、中味を言つてさし出すことだ。

△商売上には、「料金受取人払」のしよう認を局で受けて、返信用のはがきや封筒をお客に配ると、お客が料金をふたんせずに済む。返つた分だけ料金を支払えばよい。

△郵便事故を予防するには宛名をくわしく、配達局名を書くことだ。先方の局名は、局できけば教えてくれる。郵便が着かぬ、中身が不足だ、開いたあとがあるなどやは、近くの郵便局にとゞけて頂きたい。結果は必ずお報らせすることになつている。

バラ〳〵では非能率

社福協議会生る

社会福し関係の団体がバラ〳〵に活動したのでは、さつぱり効果が少い。一本化して、もつと合理的に運営しようじやないかと、この度協議会が生れた。

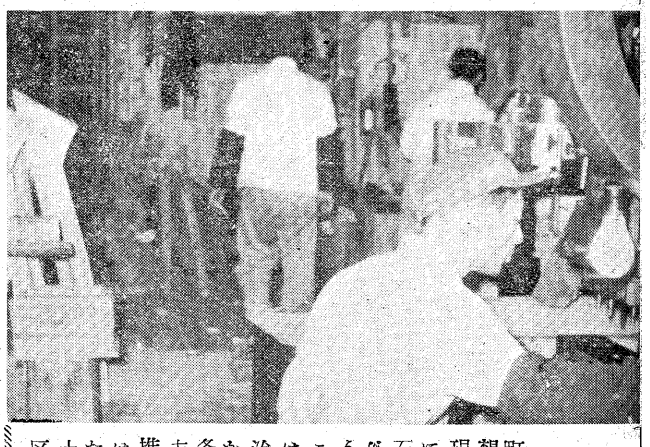
各地区毎に、協議を重ね、いよ〳〵町社会福し協議会までこぎつけた。二七日午前九時から三地区より六名宛が参加して、役場議事堂で結成された。会長に荒瀬貞雄氏、副会長に古屋豊槌、高木寛佐の両氏が決つた。

公営住宅の落成

三月末に完成したが、この落成式が、五月一日行われる。五戸の住宅には、昨年の台風被害者が入居することになつており、既に決定ずみ。

園児たちは大喜び

モダンで明るい幼稚園が仁保井開田に出来た。総工費一三〇万で五一坪。みのり幼稚園と名付けられ、六十六名の園児が、毎日通つている。モデル幼稚園になれる様、建築には特に心をつかつて、採光、通風、内部の色彩に新様式を取りいれた。園長、桃林成子さんは、二十日の開園式で、「ほんとに苦しかつたのですが、今はもう嬉しくて……」と涙ながらに語つた。



理想選挙へ有志立上る

町選管が理想選挙を実現するために投じた一石は、予想外の反きようを呼んだこのまゝでは、暗黒政治も実現しかねないと各地区の有志は立上り推進母たいけ出来上つた。四月二十日仁保地区有志、二十三日小鯖、二十五日大内地区の有志が集つて協議し、推進方法をあれこれ話し合つた。

各地区推進委中より、代表の委員を二名宛選んだ結果次の人々が決つた。

竹林博仁、内田惣一（仁保）西山よし子、増野良介（大内）益成七三、宝迫栄人（小鯖）

五月一日、代表委員六名が第一回の委員会を開き、委員長を決めて、いよ〳〵運動の第一歩をふみ出す。

商工會で納税貯蓄

会員百十一名を有する町商工会では、五月から納税貯蓄組合を作る。会員以外の人でも、自由に参加してよい。日頃から納税の準備をしておく訳で、高い税金も幾分納めやすくなりはしないだろうか。利子はつくし、僅かの金でも、年間つめば馬鹿にならぬテ。

史會談

小鯖八幡宮で、五月十三日郷土史談会が開かれる。午前中県立博物館の佐伯先生が古ふんの話。午後は八幡宮および附近の資料を見学して、五時散会の予定。会員以外でも、こうしたことに趣味と熱意を感じる方は、ぜひ参加して下さいと史談会から。

〃白い羽根〃始まる

また白い羽根の赤十字運動が始つた。今年の県下の目標は、千百五十万と決つた。この資金は、次のことに使われる。災害のときの救助活動や、り災者の慰問巡回診療、赤十字看護婦の養成、海外よく留者の引揚や安否の調査その他、社会福しの事業。この資金が有効に使われるところに、募金の意義もまた飛やく的に大きくなる。今年から社員は、会費三百円になつたが、奮発して下さい。戸別募金は一戸当二五円平均。

バラチオン

今年から個人でバラチオン剤は、所持使用が出来なくなつた。団体で共同防除をする際、二日前までに町を経由して保健所長に届け出なければならない。作業服は完全に、やつた後は赤旗を立てるなど、猛毒バラチオンに御注意!!

密造酒は解毒が出来ませんから、
私共のとおとい命をうばいます。
安い酒と思つて目先にとらわれま
すと身をほろぼすもとです。

山口税務署

今年こそがんばる

結婚改善の声を聞くこと久しいが、これ位効果の上らぬ改善も珍しい。こうした生活の改善と、真正面から取組み、今年こそがんばると、四月十二日決つた。公民館運営審議会に於てだ。新生運動を強力にくりひろげると、根本的な方針が決つた。今年度の目標で、主なものを拾うと、

△公民分館のないところに、設置をすゝめてゆく。また今あるところは、立派に育てゝゆくこの運営に必要な指導者の網もひろげてゆく

△子供会を大きく取り上げる。よい習慣と、社会道徳が、小さい頃から身につく様、各地に起してゆく。

△毎月一杯には、結婚改善推進委員会が出来るそうだ。実質的に、改善の歩みを進める

△体育振興会を町単位でまとめる計画。秋の体育シーズンまでには結成される模様。

△図書も、一ケ所にまとめて、部落へ巡廻文庫を出す計画だ。どうしたらいゝか、運営の批判会もその時開くという。

その気になつて貰わねば、社会教育はかけ声に終りやすい。明るい町造りは、私達の心が一つに集まるところから、次第に芽ばえてくるだろう。

県農事試験場に，農事研究会というグループがある。発足して1年以上たつたが，尾崎場長の熱心なきもいりで，ますます発展している。大内町から，このグループに参加している人は50～60名にものぼるが，熱心に工夫する人々ばかりだ。

△農業を科学的合理的に工夫しようと心がける人なら，誰でも入会出来る。試験場も，加入者がふえることを望んでいる。

△会合の都度葉書で通知がとゞき，どんな内容の研究をするかを報せてくれるので，便利。5月の7日か9日は，今年度米作日本一に山口県から出品した人の体験談を聞く会になつている。

工夫する人々

△今までに研究したテーマーは，7月16日，カルチベーターの利用8月5日土じようと施肥について，9月5日商品化をめざす秋そ菜の栽培と，麦作の準備，10月1日これからの麦作と菜種12月5日今年の稲作，落葉果樹，麦の管理について1月14日作物生理学的にみた麦作の管理，2月11日，そ菜の促成栽培，3月10日水稲品種の特性について4月12日各種発動機の運転，整備，故障発見について。

△上の写真は，4月12日の研究で，発動分解をやつているところ。この日，竹徳本直行，井原喜蔵，河村輝照，品川石川忠男，秋枝允，山本吉助，田中昌古屋寿吉，青木茂，久保田昌治の皆さ参加した。

動き出した新生運動

推進の協議会は生れた。四月二十四日、県より係官を迎え、本庁議事堂に各団体代表者が集つた。午前中この運動の意義と目的、方法について、種々意見を交換し、午後結成の運びになつた。

委員は二十八名

二十八名の内訳は次の通りだ。町執行部から、町長助役、議会から正副議長と各委員長、農委、農協、森林組合、土地改良区、教委公民館、青年団、婦人会、共済組合、小中学　民生委から各一名　部落推進世話人の代表が各地区より二名宛の六名。学識経験者が二名だ。

とりまく状勢は暗い

農村をとりまく客観状勢は、決して明るいものではない。食糧不足がかんわされ、交通の便がよくなるにつれて、そ菜園芸のうま味もうすれて来た。一体何をやつたら一番有利かその選たくに迷つているのが我々の実状だ。しかも一杯お手伝いする。〃どうしたら自分達の生活が向上し、全町民の人が明るく暮せるか〃全町の知脳を集め、批判と検討の上に、いまこの運動は、展開されようとしている。

新農村建設計画は、国が提しようするもので新生運動と同じ。補助と融資の点が有利。町がやる建設計画も新生運動の一部だ。

個人のみの豊かさでなく

我々全町民の豊かさになるまで、生活の全部が、反省され、合理化されねばならぬところまで、事たいは来ている。

迷いやすい名前

××運動、○○計画と、違つた名前では、一体どんなに違うんだろうかと、首をかしげたくなる。そこで簡単に内容を記すと、

△建設計画―合併のときに新町建設五ケ年計画がたてられた合併して、新町として一体性をかく保するために必要な建設を計画したものがこれだ

△町自体が、町の行政でやつてゆく計画でもある。

△新生計画―新生運動を実行するのに必要な計画。くわしく言えば、山口県農村新生運動だ。住民自らの力で、協力して立上るのがこの運動の本旨だ。もちろん県も町もせい一つ力杯

早歌をうたつて恐しゆくだが、関心の深い人も多いだろうから。

産んでなげいても

受胎調節の模型と、血圧をはかる器具が近く町に購入される。

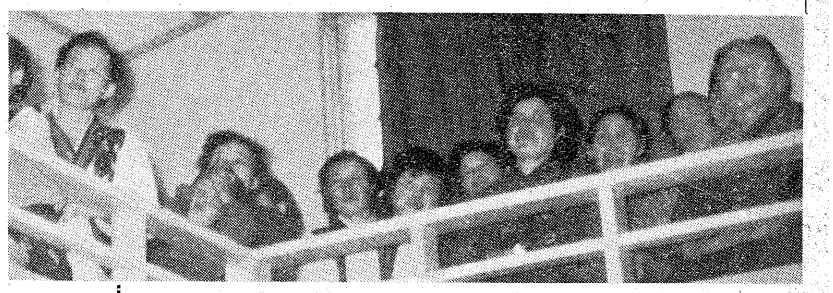
早歌

予算にものつて、買うことは確か。言うまでもないが、産れてから産まなきやよかつたとこぼしても追つく話ではない。模型を使つて、方法をよーくのみ込んで頂く計画だ。こと受胎調節に関することなら、色々相談にあづかりたいと、保健婦はり切つてる。

死亡りつは第一位

最近では、高血圧の死亡率が、結核より多くなつた。全国的にこのけい向がある。やがて測る器具が備えられたら、部落を廻つてゆく。しかし、測つて気になる人は、始めから測らぬがよいけれど。――〃気にするかどうかも、測らねば解らぬじやないか〃それもそうです。

道路補修の砂利取りに北河内区の人達が働いていたオート三輪が来てそれッ積込めと意気込んだところ



やりたくてやれぬ結婚改善

始めての公民館結婚が四月十日大富公民館で行われた。仁保上郷の池田英夫夫妻。見学者もうんとつめかけ、仲々のにぎやかさだつた。今までの三日三晩にわたるひろうにくらべて、これならいゝと見ている人は一様に、合づちを打つた。適令の青年を持つ親達は、これでやれゝばと、ほつと溜息すらついていた。以下話題の公民館結婚をのぞくの記。

一人250圓の料理

折は、酒の肴と御飯、おひらの三つ折。他にさしみがつく。調味料に光熱費までふくめて一人二百五十円だ。当日の客が五十二人だから一万三千円かゝつた（米代は入つていない。）酒は一人当り一、七合他に使用したものをふくめて一斗二升の六千円。写真代二千六百円、給仕人の謝礼千五百円、式以外の食糧費が二千五百円。〆て二万五千六百円になる。

52人の客は多いか

新郎新婦の近所友人も呼んで五十二人。客が多いの少いの批判もあつたが、この土地では、これでも少い由。改善への方向が、いきおい折ちゅう的になつていつたのはうなづける。式をあげるに普通十万円はかゝるというから、これでも相当の前進だ。

式は一時間

結婚行進曲につれて、一同がひかえ室から出て来る時間もかゝつた。最初ではあり、モタ〳〵して能率が悪かつたとは、関係者の辯

評番はよい

大勢の人の注目を集めて行われたこの結婚式は、可成りな反きようを呼んだ。近く次の結婚が、また大富公民館で行われるという。

世界こどもの日

今年から、世界各国が子供の日を設けることになつた。昨年の国連総会で、多くの賛成を得て、きめられた。五月五日の子供の日は世界子供の日とすることに

婚姻届けに署名する手もふるえる。げんしゆくな式場は人生のかどでにふさわしい。

次々と改善せられてゆく内に、我々の生活感情にピツタリし、その上質素な様式が、出来上つてゆくことだろう。振袖の無用論をはく積極的な意見もあつたが、過渡期に〃自ら実行した〃勇かんさに、惜しみなく拍手が送らるべきであろう。

もちろん、各国で日はちがうけれども、世界中の子供が、力を併せて幸せをきり開くつながりが出来た。

五日から一週間、児童福し週間がある。五月一ぱいは、青少年の保護育成運動がくりひろげられる。この機会に、子供達が一そう幸せに、すく〳〵育つ様、社教関係では、心を配つている。

売られゆく女性

児童は人としてとうとばれると、児童憲章のはじめに約束してある。しかし今なお売られてゆく少女があることや、一家心中が新聞にのせられることは悲しいことだ。これ程悲惨なことでなくとも、私達の周りですべての児童が人としてとうとばれているだろうか。

よい環境のなかで

肉体的にも、精神的にも成長している児童にとつては、環境が与える力は大きい。子供の遊び場の問題、教育施設の問題、やはり話し合つて解決してゆく点も多い。子供達に、あたゝかい家庭が与えられているだろうか。将来社会の一員として、責任をはたす大人になれる様、指導に心がけまつた。

△五月十日から一週間、愛鳥運動が全国に行われる。愛鳥で文部大臣賞を受けた小鯖中学も、全国的に知られるに至つたが、こゝまでのコースは生易しいものではなかつた。

△生徒の一人一人が、心から野鳥を愛し、うまずたゆまずやつた結果だ。とかく人は結果だけをみたがる。

△ところで野鳥が年間食べてくれる農作物の害虫は、たいしたものだが、人間が自分で手を下さねばならぬものは、成績がよくない。

△これからはえ蚊が繁殖期に入ろうとする。日頃そんなに気にもとめないところにはえ蚊はふえている。便所の廻りやゴミ箱はモチロン、水たまりにもちやんといるからほと〳〵感心する

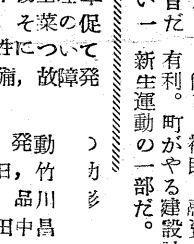
△殺虫剤を共同買入れするところはお世話申上ますと民生課では言つている。はえ蚊は自分の家一軒がやつたとて――この考えが、我々をまた不精にする。共同だ。一軒残らずだ。

△ついでに名物の伝染病のことを。手を洗う、川水で食物や器を洗わぬ、ちりあくたを川に捨てない。これが、カンジンなことだが、お互い様、守りましよう。

△話はつい横道にそれた。小鳥が楽しく飛び交うといえば、昔の支那の物語にでも出て来るようだが、山がハゲ山じやーね。どうも感じが出ない。ウツソウと繁つた木々の間にこそ、小鳥はより愛らしい。

△小鯖で、旧村毎代からやつている植樹祭は、山を愛し、山を育て、自分達の勤労を、悦び合うお祭りだ。他の地区でも、こうした行事を起したらどうだろう。

△小鯖では、四月五日、この祭りを行い、優良造林者の、片岡清、杉山新作さん等に賞状が贈られた。



県勢要覧

県政に対する特に認識を深めて頂くために、ポケット型、160頁 〒150

大切なことを集めてある。

県勢地図

美しい色ずり産業、観光が町村合併の現況、折り込んである。〒200

県統計書

山口県の自然産業、経済、行政などを最近の統計資料から作つたもの。B5 410頁〒500、県政要覧、地図、統計書いづれも、申込は県統計課へ。4月末に刊行される。

県文化史年表

郷土史家多数が協力して、年表、諸家系図、市町村沿革、時代別行政区劃、参考文献からなつている。A5判300頁 〒300送48円、希望の方は県文教課へ。4月末発行

大内町広報

昭和31年6月1日
第12号

山口県佐波郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 大同印刷舎

参院選せまる

この一票は、私達の生活を左右します。期日は七月八日の予定。候補者の考えや人物をみきわめて、悔のない投票をしたいものですね。

傳染病の流行期

高温で湿気の多い季節になりました。とかく不潔になり勝ちなもの。下水の悪いところでは、カねずみ、はえなど、ウヨ出ます。特に農繁期、疲れも重なりますし、どうぞ注意して一人残らず健やかにー

納税

保険税の最高など改正

30日第二回の議會

三十日第二回の町議会が開かれた。朝から激しい論議がかわされ、それぞれ次の通り決定した。

決つた主なもの

△町税のふ課ちょう収条例の中で、国民健康保険税の最高限度が三万から五万に改められた。また所帯割が三五〇円より二〇円引下げられた。

△林野条例の一部が改正された。部分林の契約期間五十年を六十年以内と改めた。林相の悪いところは一伐期五十年では無理だから）

松雑の天然造林の分収分合が、今まで五分五分であつたものを、部落が4/10以内に改められた。（今までより一分さがつた。すでに契約したものは無関係）

△桜陰分教場（小鯖）の廃止が決つた。（国鉄バスが通じて交通が便利になつたから）

△29年決算（旧三村）を認めるについて条件になつていた公表文の内容を承認した。

29年度決算は、昨年十一月号と、今年五月号広報とに分けてけいさいした。（十一月号の分は二十九年三月までの決算、五月号は旧三村の経理で、三十年にまたがつた分がのせてある）従つて旧三村の実質的な決算は合計すると次の様になる。

（単位千円）

	小鯖	仁保	大内	計
収入	30.810	47.450	36.665	114.925
支出	31.571	44.544	34.165	110.280
差引	△761	2.906	2.500	4.645

小鯖76万の赤字中43万は合併補助費が新町に入つて実質は33万になる

協議会では

協議会では次のことが話し合われた。

1. 新市町村の建設を促進する法案に基いて、大内町がモデルに指定される予定になつている。
2. 大内小の老朽校舎は、部落公民館の建築に優先して取下げる。
3. 小鯖漁陰分教場は、農繁期託児所に貸す。
4. 部分林を設けることについて、小鯖地区二三件、一五四町、仁保二件七町、は実情を調べて決める関係上経済委員会に附託された。
5. 七月五日に県の係官を講師として

まねき議会全員が一日中勉強する。

29年決算の中で、記念品料と研修旅費について、議会の行つた声明は次の通り。

町民の皆様へ

昭和二十九年度（旧三村）才入才出決算の認定に当り、論議の集つた議員の記念品料ならびに旧大内村の研修旅費について、次の通り声明する。

議員の記念品料は違法ではないが、多額に過ぎたことは地方財政のひつ迫している現状から、好ましい姿ではなく遺かんである。

また研修旅費は実際には旅行が行われていないため承認し難いものであつたが前大内村長和田八十一氏の証言により、実質的には記念品料の追加の意味で支払われたことが明らかとなつた。申すまでもなく、予算書の費目と中に含まれる実質とが相違するということは、明るい町政を願われる町民各位に対し相済まぬことではあるが、しかし当時の関係者もそ置の誤つていたことを認められ、また新町合併の直前であつた事情も加味し、やむを得ずこれを承認した。

ここに町議会の決議に基づき、広報を通じて広くこの事情を訴え、明るい大内町政を確立するため、町民の皆様のご批判とご指導をお願いする。

血圧計

永上部落では、血圧一九〇～二三〇で、要心しなければならぬ人が、34人中6人あつた。写真は、高芝の重村さん方で。希望の部落は、役場保健室へ申込を

町政だより

▲女性問題対策審議会が、二十二日議事堂で開かれました。出された要望は、新生運動の推進に、もつと女性委員をふやせ。結婚改善を取上げてほしい。宴会は自しゅくしてもらいたい。あまつた農産（家庭菜園など）の処理方法を考えてほしい。男性にごしてゆける様、成人教育をうんとやつてもらいたい。以上のことが話し合われました。

▲六月より、町道にかゝつている橋には、全部荷重制限をします。立札に注意して下さい。

▲商業統計の調査があります。通産省が行うもので、重要な行政上の資料になります。法律によつて、この調査で知つた数字は税金などに利用されぬ様に保護されます。つまり、ありのまゝを言つていたゞけばゝゝ訳で。七月一日現在で調査が行われます。

▲川の砂利および玉石を取る方は、許可が要ります。その方法は、役場施設課へ御相談下さい。勝手に取つてはいけません。

大内地區で 耕土ばい養を百町歩

二九年に小鯖、三十年に仁保地区がやつた耕土ばい養を、今年大内地区が指定されることがほゞ決つた。

面積は約一〇〇町歩だ。このため農試では六月六日から三日間、三班をへん成して、五反に一筆の割合で調査を行うことになつた。

處方せんに書いて

試験場で作る処方せんにもとづいて、科学的に行われる。大内地区五八〇町歩の内、四〇〇町歩が秋落面積になつており、この度はこの内の一〇〇町歩しか割当がない。ゆう資は総経費の七割を、県が三年ほど借してくれる。利子はいらない。

鐵カスは効果的

秋落田には鉄カス（本当の名前は平炉滓）が仲々よく効く。県下の結果は一～五割の増収になつている。成分は、鉄四〇%、珪酸一五%、マンガン一〇%石灰一二～一三%、マグネシウム三・五%燐酸三%となつている。値段は屯当一七五〇円、一〇〇貫で七〇〇円位。含鉄ねん土も有効だが、オート三輪一台分が三〇〇円位の予定

無断では釣れぬ

ふし野川には漁業権が設けられている。それで、川漁をする人は、必ず入漁料を払わねばならない。五月二十六日には、永上橋から上流（仁保をふくむ）へ鮎を二万尾放流したので、黙つて漁をすると、盗つたことになる。

毒物を投げ入れたり、電気、バッテリー、水中めがねは使用を禁止されている。夜ぼり、う竿もとめられている。この方法を使うと罰せられる。

一番困るのは水中鉄砲で主として中学生だが、大きな石を水中なので二、三人して楽々と動かせる。このため堤防がくづれて施設関係では困つている。

くわしいことは、ふし野川漁業組合に属する、右の方々に相談していただきたい。理事（沖金雄）運営委員、山本勝治、横部律男（以上大内）椿博、大谷幹夫（以上仁保）

重要文化財

昨年十一月仁保高野開拓地より発見された鏡、石斧土師器片が文化財に認められた。発見者は江藤茂氏。文化財保護委員会委員長から、山口警察署長へこの度連らくがあつた。

麥の評價

麦の単独評価は出来かねると、共済組合では言つています。つまり、三名以上の評価員が一組になつて評価するわけ。被害農家の手続きについては、評価員に渡してある野帳に、必要なところを記入していただく。この記入が確実でないと、大変困ります。

共濟組合

役員が決つた。五月十八日、農事試験場集会室二階で、総代会を開き、三地区合併して初の役員選挙を行い、次の通り決つた。

理事—小鯖（重宗寿延、古屋豊槌）仁保（田中喜熊、篠原品槌）大内（篠原清、岩本正典）

監事—石山重男（大内）鰐石喜一（小鯖）山根次郎（仁保）

組合長は田中喜熊氏に決定した。

桃は豊作

サン〳〵と降りそゝぐ陽光の下で、矢田信太郎さんが桃をまびいていた場所は仁保東園、品種は大久保で五年生。今年は上出来だと矢田さんはホク〳〵だつた。

丸山地区では、今年ざつと三〇〇〇貫の出荷が見込まれている。小鯖桃は約一五〇〇貫、主として山口方面での消費だが、来年は必ず北九州へ進出来ると、関係者は意気込んでいる。一万貫は大丈夫生産するそうだ。

狂犬予防は好成績

愛犬家各位の協力で、登録と予防注射のすまぬ犬は現在九二%の成績をおさめた。今年春の登録は、四〇七頭で、大内一五一、仁保一二九、小鯖一二七頭だつた。

登録や注射のすまぬ犬は保健所と連らくして、近く行うことになつている。狂犬病は恐ろしい。手遅れでは命があぶないから御用心

水害対策は？

いよ〳〵水害の時期を迎えました。危いところは部落でも色々気を配つておられることでしょう。町の施設課でも準備しています。これじやどうもというところがあつたら、どうぞ施設課へ。菅内川小野区内の左岸てい防と、小鯖中村橋の上流は、対策をやることになつています

写真は三十日朝の永上橋から。あんな小雨でも御覧の通りです。

季節託児所

季節託児所を開く。

大内—氷上、菅内、上矢田の公民館。

小鯖—下鯖山公会堂。桜陰分教場あと。

仁保—信行寺

部落の申出で行うことになつているが、平均五千円の補助が出る。

三輪車貸します

役場が持つている三輪車を、道路の修理のときなどお貸しします。町道は一、二、三等を問わず、大いに活用して下さい。積込、積おろしの人数だけ出していたゞけば結構です。申込は施設課へ。

デーライト

大内地区婦人会から町へ、デーライトスクリーンの寄附がありました。これで昼間の映写やげん灯が出来るので、地区を廻つて悦ばれることでしょう。

アキス

麦刈や田植で、一年中で一番いそがしい時期になりました。仕事のつかれなどから戸じまりも忘れ勝ちなもの。アキスが危いですぞとにかく現金は絶対に置かぬことです。

お断り

結核予防を一般にやる予定でしたが、保健所の都合で出来なくなりました。学校がすんだら、間接さつ影もやることにしています。八～九月にかけてやる様になるでしょう。

量より質

国際的標準で、米のき格をつくる会議が、さき程バンコックで開かれた。もう量より質の時代に移つたことは誰もが知つている。日本でも品質で値段をきめるのが二三年のうちに必ず来るだろう。それならその時にやつても遅くないという論が成立つ。しかし実際はそうカンタンにゆかない。

裸麦がよい例

本県産の裸麦は、調整不良があつても始まらぬが調整が悪いためだ。とくにモミの交つているのが非常に多い。よい格付をカクドリするにしても一人一人の協力によらねば出来ない。かつての防長米は、防長人の団結故に声価を高めた。

モミが多い

これが品質不良なら、とやかく言つても始まらぬが調整が悪いためだ。とくにモミの交つているのが非常に多い。よい格付をカクドリするにしても一人一人の協力によらねば出来ない。かつての防長米は、防長人の団結故に声価を高めた。

惡い俵装

防長米の名前

皆が防長米だと誇つている。しかしそれも過去のことだ。昔よかつたから、今もよい証にはならない。本県産米が、もし現状のまゝで格付されたら、相当下位の格付に甘んぜねばならない。大体一俵当一〇〇円位の差がつくだろうといわれている。

良がもとで、27年三類に格付された。精麦業者は一類の四国香川県に劣らぬといつているが、一度決つたら仲々動かせない。商品の信用はそうカンタンに出来ないから今年から準備する必要がある。

いよいよ農繁期、毎年この時期になると、もっとノーリツのよい作業にしたいものだとお考えてしょう。それもユメではありません。動き出した新生運動に皆さんが力をあわせることで実現できるのです。

動き出した新生運動

先づ人を作る

5月8日小鯖地区の農業委員，新生計画の部落推進委員50余名は，宇部市小野地区を視察した。小野地区（旧小野村）は新生運動が着々効果をおさめて，県下で有名なところ。同行した産業課山本賢治君のメモをのぞいて見た。

☆　☆　☆

▲ 小野村が24年に立てた計画は見事に失敗した。産業の振興ばかりを計画して人の和がとれなかつたから。もともとこの小野村は昔からよくまとまつた村ではなかつた。いや，むしろ逆だ。ダム建設が戦前からあり，ぼう大な土地が遊んでいて，他地方の人が沢山入つて来た。戦後の混乱期には，心ある人のまゆをひそめる様なことも多かつたという。

▲ 26年，県の新生運動とタイアップして，計画の立て直しをやつた。29年までが第一次の村造り計画であつた。先づ人を作ろう。24年の計画の失敗から学んだ教訓がこれだ。公民館を中心に，計画をねり，村民は〃自分達の仕事〃であることをよく理解した。

▲ 30～32年にかけて，第二次の実行段階に移つたが今までの目標は次の四つに示されている。(1)教養高く道義心のあふれた村（こゝで人の和をはかろうとしている）(2)みのり豊かな村（産業をおこして，生活水じゆんをあげようとしている）(3)健康で明るい村（かん境衛生をみんなで守り，病人のない村を作るねらい）(4)交通文化に富んだ村（ここで都市生活者にまけない合理的な生活をしようと，理想をたてゝいる。）

▲ 24年計画の失敗は，教育にも向けられ，小郡農高の分校を持つて来た。明日の小野地区を背負うのは，分校に通つている人達だと，大きな期待をかけているこの分校は，新生運動のモデル学校にもなつており，4年制で，生徒数は約60名だ。

▲ どうしたら，皆の心が1つになるか。難しい問題だ。小野村ではこうして解決した。色々な団体の連らく会を，必ず毎月1回開いた。各部落でも，5人の代表者を置いた。部落長が1名，生産，畜産，衛生，文化各1名の5名だ。これ等代表者が，全地区より集つて，月1回の会合を必ず開いた。皆で決めたことが，常に1つの意志で統一されて，協力はむじゆんなく，大きく育つていつた。一つの方向に，皆の眼がむけられたとき，こんなにも大きな力が出ることを，小野数は教えて呉れた。　（続く）

世話人の真けんな眼。こゝから力が生れようとしている。（大内会場）

夏山手入れはキ、メが倍

夏になると汗が出るから上衣をぬぐ。木でもやはり涼しくしてやれば、太りがうんと違う。七月に入つたらすぐ始めるがよい。なぎ倒すだけだから、思つた程時間はかゝらないのが普通だ。

毎年やるところ

手入れで効果のあつたのは、仁保で木戸山、平谷方面、岩倉　揚山など。小鯖では上小鯖地帯だ。手入れをすると、ぐん〳〵のびて来る。夏山手入で、成長は倍になるといわれている。例をあげると、木戸山の杉は三年で八尺、岩倉九尺、平谷七尺に及んでいる。

秋ではキ、メ少い

夏山手入れは、五～七回位やつたらいゝ。秋冬になつて手入れしても、成長は倍にならぬ。寒くなつたらカゼを引く人間と同じで、はだかにせぬ方がいゝのかもしれない。

桐に病氣

肥料も前進する。臭いと嫌がられた人糞尿も、粉末の肥料にし、また飼料にするところまできている。熊本では、電気分解によつて肥料としてすでに売出している。一〇貫二〇〇円だから、一般の肥料よりも有利だ。アンモニヤのパーセントからいうと、1/3の値になる。福岡では薬品で加工して実用になるまでこぎつけた。ごく最近の話だ。加工の方法を変えれば、飼料（主として豚）にも肥料にもなる。灰の様にパサ〳〵したもので紙の袋に一年入れておいて、しめりも来ない。

こいにも無駄が

自宅でもできる

大きな設備でやるのならとんと我々に縁のない話だが、薬品を使つて自宅でもできる見透しがついた。今、山口市の糞尿で農村に使用されるのは一割にも足りない状態だし、第一捨て場にも困つている。持ち運びが便利で、臭くなく、値段も安い肥料ーーこの夢はもう実現した。視野を大きく持つて、我々の周囲から、無駄を追放出来る様に、今こそ真面目に考えてゆきたい。ぐず〳〵すると立遅れるかもしれない。

（藤本金土ー町議）

主として仁保だが、小鯖にもある。今年植えた台湾桐に炭素病が出た。茶色の模様が葉に出ているが、ひどいところは葉をもぎとるとよい。四～六斗のボルドー液に、ウスプルンを一斗につき五匁入れて、梅雨前からかけるとよい。

炎天にいどむ

開拓地では，石ころや，さゝの根と取組んで，一心に鍬を振つている婦人があつた。あたり一面のさゝの根だ。一鍬づゝ開拓の歩みはのろくとも，こゝもやがて実り豊かな桃園になるというもう十年もしたらと，汗をぬぐつた婦人の眼は生々と希望にもえていた。

（仁保東園にて）

小鯖

▲叶木農道ー幅三・五米、一三〇〇米で工費は九〇万。今年中に一〇〇〇米ほどやる予定

▲総畑導道ー一〇〇〇米で工費は九〇万、今年秋着手

▲宮川水路改修（上小鯖）六〇〇米で九〇万。今明年に三〇〇米あてやる予定。

▲久太郎水路（鯖地）一五〇〇米で一五〇万。31～33年まで毎年五〇〇米あて。

▲鯖山新開水路ー一〇〇〇米で工費一〇〇万、今明年五〇〇米あて。借入れの方は以上のどれも具体化していない。

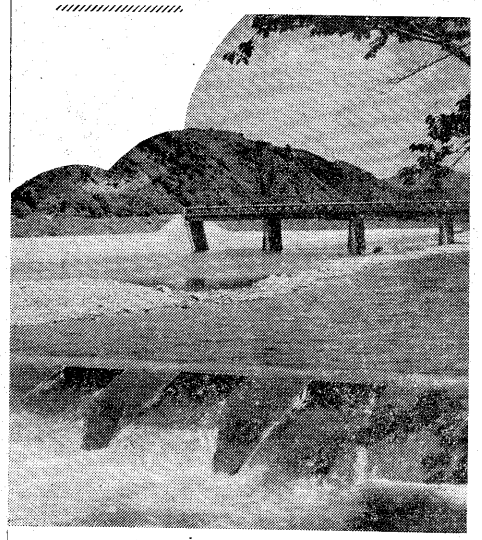
仁保

▲伊賀水路（下郷土井）延長一〇〇〇米、工費は一二〇万　円　着工は十一月で、設計ずみ。

▲金剛水路　上郷一の瀬　延長五〇〇米、工費七〇万。設計はすんでいる。

以上の二つは，積雪寒冷地帯の，団体が営む土地改良事業として，国から四割の補助が出る。残り六割のうち八割は，農林漁業資金から長期の借入をすることになつている。

▲台の木水路ー延長五〇〇米、三〇万の工事費。これも農林漁業資金をかる予定になつている。設計は今から始める。着工は恐らく十一月か。



盛り上る力が、あちこちの部落にみなぎつている。冬から春にかけて、林道や農道が、次々と出来上つた。少くとも昨年よりは、楽な農作業ができることだろう。大きな協力で、大きな実を結ぼうとしているところを三地区の土地改良区に尋ねてみた。

大内　内）延長四四〇米工事費七五万。設計は終つている。今年十一月に工事にかゝる予定。農林漁業資金から三二万借入の見とおしもついている。単独県費補助は三十万の予定だ。

▲御堀農道ー延長三〇〇米、二五万。幅三米で、農林中金から二〇万を借入れ、十一月着工の予定，自己資金は五万。

▲奥小郡水路ー一五〇〇米工費は三〇〇万。一四〇万円を中金から。補助は一二〇万の予定。残り四〇万が自己資金という訳。地元の希望で、五年位かけてやることになつている。

▲小野、木道子農道ー延長二五〇米、二五万円。明年一月に出来上る見込。

▲氷上、寺内溜池ー老きゆうため池の防災工事として五〇万かゝる。自己資金ー〇万、融資は四〇万。明年一月工事にかゝる見込。ビワ田水路のみ測量がすんでいる。他の測量は六月から始める。

▲伊賀水路（下郷土井）延長一〇〇〇米、工費は一二〇万　円　着工は十一月で、設計ずみ。

▲金剛水路　上郷一の瀬　延長五〇〇米、工費七〇万。設計はすんでいる。

以上の二つは，積雪寒冷地帯の，団体が営む土地改良事業として，国から四割の補助が出る。残り六割のうち八割は，農林漁業資金から長期の借入をすることになつている。

▲台の木水路ー延長五〇〇米、三〇万の工事費。これも農林漁業資金をかる予定になつている。設計は今から始める。着工は恐らく十一月か。

受益二五町歩

仁保下郷、沖の郷頭首工には、しぶきを立てゝ水があふれている。災害耕地復旧だが，九二万円をかけた。

若い人達を見るたびに、少しづゝ進歩していつてると感じる。結婚改善にも、ヨウカな式をやりたがる両親を説きふせて、自分達の結婚式というので、ゴク簡素に改めた例も出た。近頃ほゝえましい話。

親の反対を押し切つて、恋愛をつらぬいた話も聞いた。たゞそのことを手放しでほめられないまでも、何か意慾的な実行の例にふれるたびに、私は心のなかで拍手している。

町内の色々な出来事が、こんな風に私の耳に入つて来るが、その一つ〳〵から若さの伸びを味つて、ひそかに祝福を送ることが、この頃の生活のうるおいになつている。

鼻の下が長くても

人の口に戸はたてられないが、人々があつけにとられる程、カンタンに式をすまし、新婦をつれて日本一周に出る様な青年は出ないかなあ。

もちろん経費をうんと節約してだ。

農村の妻の座をよりよくするため、台所改善だけでなく、合理的な生活設計をして、奥さん孝行をする青年、あいつは日本一鼻の下が長いといわれて、平気で笑つている様な青年、自分の意志で行為を決定できる青年、かげながらの祝福は、そんな人が出て欲しい頭いにも通じる

（吉富高子ー仁保）

誰もが幸せな星の下に生れたわけではない。暗い運命に泣く人達は、ともすればひがんだりして人に嫌われる。民生委員をやつていてよく感じることだが、好きな人には協力を惜まぬのに、嫌た人には割合とそつけない。

だが一番大切なことは、経済的な援助よりも、周囲の理解と温さだ。このために立上つた人を、私は幾人となく、この眼で見た。

幸福な星の下に

自力で立上る

すねた人を助ける理解が周囲の人にあれば、きつと自力で立上れると私は考えている。誰もが幸運な星の下に生れなくとも、今その星の下にいると感じるだけの温さがあれば、生活のあしどりも違つてこよう。本来の力が真直にのびてもこよう。

（原田みつの　大内）

動き出した新生運動

五月二十八日から三日間、新生運動の推進世話人会が各地区で開かれた。大内は議事堂、仁保は農協二階、小鯖は支所会議室で開かれ、それ〳〵五十名内外の参加者があつた。各部落三名宛の世話人に出席して頂いたが、出席率のよいことも、熱心に耳をかたむけていることも、この運動がよううやくしみ込み始めたことを物語つていた。

小野村を例にとつて

旧小野村（今は合併して宇部市）出身の高瀬普及員から、県下でも指折りの先進地といわれる小野の様子が紹介された。先づ人を作る小野村のゆき方は、右の視察記にも大体うかがえるも、部落からの要望で、いつでも喜んで、出向ける様に準備している。

喜んで部落へ

話のあらましは推進世話人に話してあるものゝ、この新生運動がありとあらゆる部面での町造りだから、判り難い点もあるかと思われる。新生運動の事務局では、部落からの要望で、いつでも喜んで、出向ける様に準備している。

夏山手入れはキ、メが倍

夏になると汗が出るから上衣をぬぐ。木でもやはり涼しくしてやれば、太りがうんと違う。七月に入つたらすぐ始めるがよい。なぎ倒すだけだから、思つた程時間はかゝらないのが普通だ。

毎年やるところ

手入れで効果のあつたのは、仁保で木戸山、平谷方面、岩倉　揚山など。小鯖では上小鯖地帯だ。手入れをすると、ぐん〳〵のびて来る。夏山手入で、成長は倍になるといわれている。例をあげると、木戸山の杉は三年で八尺、岩倉九尺、平谷七尺に及んでいる。

秋ではキ、メ少い

夏山手入れは、五～七回位やつたらいゝ。秋冬になつて手入れしても、成長は倍にならぬ。寒くなつたらカゼを引く人間と同じで、はだかにせぬ方がいゝのかもしれない。

桐に病氣

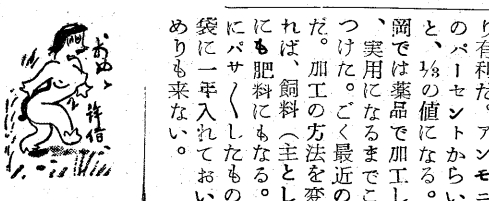
肥料も前進する。臭いと嫌がられた人糞尿も、粉末の肥料にし、また飼料にするところまできている。熊本では、電気分解によつて肥料としてすでに売出している。一〇貫二〇〇円だから、一般の肥料よりも有利だ。アンモニヤのパーセントからいうと、1/3の値になる。福岡では薬品で加工して実用になるまでこぎつけた。ごく最近の話だ。加工の方法を変えれば、飼料（主として豚）にも肥料にもなる。灰の様にパサ〳〵したもので紙の袋に一年入れておいて、しめりも来ない。

こいにも無駄が

自宅でもできる

大きな設備でやるのならとんと我々に縁のない話だが、薬品を使つて自宅でもできる見透しがついた。今、山口市の糞尿で農村に使用されるのは一割にも足りない状態だし、第一捨て場にも困つている。持ち運びが便利で、臭くなく、値段も安い肥料ーーこの夢はもう実現した。視野を大きく持つて、我々の周囲から、無駄を追放出来る様に、今こそ真面目に考えてゆきたい。ぐず〳〵すると立遅れるかもしれない。

（藤本金土ー町議）



▲民衆の生活のなかからじみ出て、素朴に味いある芸術がこの大内町にもあることが、案外に知られていない。

▲民芸の名で呼ばれるこの芸術は、大内こけしだ。なーんだとおつしやるしかし、このこけしが山口県下でも指折りの民芸であり、全国的に有名なことは案外に御存知ない。東京で開かれた観光博でも一等になつた。

▲月産二五〇〇個位の少い生産だが、作つても作つても、注文に応じられぬ。最近は海外の引合いまで出る始末。

▲県下にはこのほか、小萩人形（萩）ふく笛（下関）阿古人形　防府）などがある。

▲素朴にとぼけたこけしを見ていると、生活の疲れもいやされる。この道三十年を開拓してきた大内菅内の中村治氏は，どしどし製作に参加する人がふえて、大きな産業にしたいと語つた。

▲東北の話だが，郷土人形を村の産業として、全村の家内工業化しているところがある。こうなると、観光産業も馬鹿にならない。東京都だけでも、人形をあつめている人が十四万人もあるんだから。

▲素朴にとぼけたこけしを見ていると、生活の疲れもいやされる。この道三十年を開拓してきた大内菅内の中村治氏は，どしどし製作に参加する人がふえて、大きな産業にしたいと語つた。

▲県下にはこのほか、小萩人形（萩）ふく笛（下関　阿古人形　防府）などがある

大内町広報

昭和31年7月1日
第13号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前舎 大同印刷所

梅雨あけ

農繁期のはげしい労働で、消化器がどうしても傷みます。梅雨あけに伝染病が多いのも、こんなことが原因なのです。風通しをよくし、はえや蚊の発生する場所をなくすことも大事です。清けつにし、さっぱりした気分で、どうぞ明るい毎日をお過し下さい。

道路愛護で入選

道路愛護週間に、大内町の活動が一等に入選。六月十三日、県知事から表彰を受けました。

固定資産税（二期分）

納期 7月31日限り
どうぞ早目にお納め下さい

参議員選挙は七月八日にせまった。この日各投票所で、午前七時より午後六時まで投票が行われる。全国区と地方区に分れているため、とかく間違いが起り易いが、赤が全国区黒が地方区の投票用紙になつている。大内町公明選挙推進連盟ではこの度の選挙を、ぜひとも公明なものにしようと、早くから運動を続けて来た。連盟が、今どんな考えでこの運動を進め、また決意しているかを卒直に尋ねて、大要次の様な回答を得た。

大内町公明選挙推進連盟の主張

▽選挙の自由を守る

私達には皆投票の自由がある。他人の投票の自由も尊重して、デマを飛ばしたり、迷わせたりしない。この投票の自由を、どんな形にせよ圧迫するものは、どし〳〵はいせきする。お互いが責任を持つからこそ、投票の自由もある。選ぶ責任を忘れたところに、今日までの参院選が低調な原因があつた様に思える。

▽決して棄権しない

き権することは、民主政治の自殺行為だと、私共は考えている。私達の一票は、自分の意志をよく生かした一票でありたい。衆議院と参議院は車の両輪の様なもので、衆議院だけ熱を入れるのでは、国の政治は片輪になるのだが。

▽選挙の性格と、候補の政策や公約をよく調べる

県選挙管理委員会がくばる〝選挙のしおり〟にくわしく書いてあるが、参議員の性格は衆議院のゆきすぎを直す役目があると、私共は考える。後見役ともいえる。かつての政治指導者が、大戦争に追い込み、国民を不幸のどん底につき落したことを思うとき、私共は今こそ主張する。このにがい過去から、参院に適当堅実な代表を送りたいものだと。

▽適任者を選ぶ

全国区議員は、数も多くてうるさいものだが、参院の特ちょうがこゝにあるから、しんちょうにやりたい。

次の様な候補が一番適任者だと、私共は考えている。

一、自分の考えと一致（もしくは最も近い）する人

二、候補者の人物が、かゝげる政策や公約と一致する人

三、うそやごまかしのない人

四、心身ともに健康な人

全国区の選び方は、候補者の中からこれと思う人を十人、次に五人、二人という風に選べばよいのだが、参院の場合は、選べば選ぶほどバツがよくなります。健康な人程、病気にかゝつたらひどいから、いま直ぐ手が廻りません。

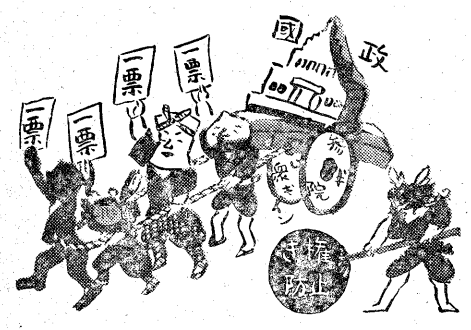
▽かくれた同志を信じている

私共と同じ信念で選挙にのぞむ同志が、たくさんあることを信じている。

十人のうち六人はあると思つている。私共が、市広くスクラムを組めば、正しい選挙は行われ、民主政治は堅実に発展するだろう。

公明選挙運動は、政治の新生運動に他ならない。よりよい社会をのこすことは子孫への最大の遺産であろう。この遺産をきづき上げるため、私共は手と手をつなぎ、やがて大きなうねりに発展することを夢みている。私共はそうなると、信じている。

衆、参両院は、車の輪のようなもの。衆議院選挙だけ力を入れても、走れない。



政治は生活につながる

投票は7月8日

緑の羽根

割当四一八〇〇円に対し約72%の三、二〇〇円でした。学校関係で一三八三〇円。支所で四八〇〇円。森林組合が一七四〇円。青年団が四二〇〇円。役場で直接売つたもの二四〇〇円。その他二五〇〇円でした。

白い羽根目標を抜く

一〇二、四四二円が集つて、日赤募金は目標を四六一納めて、この金三五九〇〇〇円（一人一〇〇円あて）。

御協力を感謝しております。

草取り

全町一せいに行われた国保をめぐつて、あれこれ取ざたされている。今までに寄せられた色々の質問の中から、誰もが感じていると想像される疑問を、ずらりとならべて見た。題して〝嘘いつわりのない話〟と。

はや陽も落ちて――たそがれがこつそりとしのびよる。カン〳〵照りの今日、田の草取りもきつかつた。小川につかつて除草機を

になることを、地元では待ちこがれている。

（写真は山崎恒一さんと藤井梅治さん）

農委が統合の気運

三地区の農業委員会に対し、かねてから町は統合を要望して来た。六月二十七日の会合で、近く統合することに意見の一致を見た。最後的な決定をするため、次の日程で会合が持たれる七月三日が小鯖、四日大内、六日仁保で、午前中に委員会を開き、午後各部落から二名宛の代表者を出して打合せることになつた。会合ではつきりした線が出れば、選挙は二十五日頃、発足は八月一日からの予定だ。委員数は、選挙で選ぶ人が十四名。農協、農共済の推せんした理事と、町議会の推せんした学識経験者（もちろん農委のやる仕事についての）の中から、町長が四名を選ぶことになつている。合計十八名が委員数だ。

この統合で、町の農政運営に、まとまつた力強さを出そうとしている。選挙で充分に能力ある人が出ることも必要だし、今まで以上に私達の関心と協力が深まることも、ぜつたい忘れてならぬことであろう。

児童遊園

83年の伝統を持つ桜陰分教場（小鯖）も、国鉄バスが開通したため、ついに廃止された。しかし地元の人にとつて伝統に対するなつかしさはなか〳〵消えにくく、分教場建物は六月十一日から児童遊園地に利用されている。地元の町議と駐在員の努力だ。三十七人の児童が毎日通つてくるが、家庭では助かると大喜び。しぼんだ〳〵の遊ぎで、すつてんころやつたのをパチリ。

自衛官募集

防衛庁で陸海空の自衛官を募集している。

二等陸士 一二一〇〇名
〃海〃 二〇〇〃
〃空〃 五〇〇〃
資格 昭6年11月2日～昭13年11月1日の出生者
受付 6月16日～8月31日
試験 9月2日～10月5日
◎詳しくは役場総務課庶務係まで。

公民館から

大内にある中央公民館に月曜火曜と主事が集るため、仁保と小鯖の公民館は次の曜日に開館されます。

小鯖公民館 金、土
仁保〃 水、木

嘘いつわりのない話

1 国保はどこの医者でもきくか

山口、防府市と吉敷郡佐波郡はどこでもきゝます。歯医者さんも。その他宇部医大、山陽荘、小串、湯田の療養所もきゝます。

2 国保でいくと、普通の患者とは違つた扱いをうける様だが……

町内のお医者は、患者が全部国保だから、そんなことはないはずです。町外でもそんな医者はないと思いますが、若しあれば係へしらせて下さい。そういう医者には、かゝらぬ様にしたいものです。

3 国保で治療すると速くなおらぬという人があつて心配だ。

当然こうすればなおるという治療は受けられます。過じよう診療（つまりぜいたくな治療）は出来ません国保でいくと、患者のふたんが半額。残りの半額は町がふたんしますから、医者の診療費に変りはないはずです。そんな馬鹿なことはないと思いますが、これもあつたら、ぜひ係まで報せて下さい。

4 病気をせずに保険税を払うのは、バカらしい。私の家は無病息災で通つている

二年して病気がなければその年の保険税の二割が返ります。三年以上は一割（三年で三割、四年で四割）

5 税が高い様だが……最高は？

所得51万円で、家族8人の家が、年七三四〇円。これが最高です。平均一人当り50円位ですから、そう高いものではありません。

6 病気になる以前の予防を、国保ではやらぬのだろうか

町にいる三人の保健婦は国保事業の中で仕事をしています。保健婦の活動そのものが、国保の活動ともいえます。何でも相談して下さい。寄生虫の問題かん境衛生的なものも、どし〳〵やらなければなりませんがやはり住民登録をしていたゞき、国保係のところで加入届け用紙をもらつて記入すればいゝのです。すぐ受診証をさしあげます。

8 伝染病にかゝつたら、国保でどうなるか。

入院した場合、部屋代は伝染病院が山口市と共立だから、タヾ。薬代と検査料は、半額町がみます。残り半額は国保がみて、これもタヾ。食費は半額を町がみて、残りが患者のふたんです。食費は一日一五〇円です。

係からお願い

住所が変つたら、必ず届けて下さい。帳ぼの整理に困ります。保険税の納つたかに応じて、国から補助が出ます。ですからなるべく早目にお納め下さい。

免許の臨時検査

この検査をうけぬと、一定期間免許の取り消しを受ける。したがつて車（自動車、原動機付自転車もみんな）にも乗れない。臨時検査は山口地区で八月上旬の予定。時間と場所は、直接本人に通知するけれど、住所の変つた人はどうしようもない。早く警察へ届出を。

予防注射など

七月中旬から八月中頃にかけて、腸チブスの予防注射、結核の健康診断を行います。日時は決り次第駐在員へ通知します

申告所得税 第一期の納期は7月1日～31日までです。納税は必らず期限内にすませましょう。

皆様の聲を聞く旬間

7月16日―25日 税金に関すること、その他に甘んぜねばならぬこと、相当ご不満もあることと思います。御苦情やお気付を、遠りよなくお聞かせ下さい。お待ちしてます。

山口税務署

▲小さな計画でも、実行に移された時には、案外大きな力になる。小野地区の成功のかぎは色々あるだろうが、つゝましい計画を大きくより合わせていつたところにもあると感じた。26～29年の第一次計画では、必ずやれるものを、各戸が1つだけ取上げた。部落ではその中から、3つを部落の目標として決めた。足下を見廻して、そこからの出発が今日の立派な小野を作つたんだと解釈した。

▲こうして部落の計画が決つても、地区全体の目標に高めてゆくためには、相当の話合いが必要になる。各種団体の世話には、公民館があたつた。これだけ会合が多くてはやり切れんということで、全地区への放送施設も出来た。大変助かつているそうだ。600万ほどかけたが、色々工夫して各戸のふたんは1000円ですんだ。これなぞ大内町にもあつたらなあと、うらやましかつた。

× ×

計画は足もこから

小野村の視察記続き（山本賢治君のメモより）

× ×

▲小野は今第二次の計画に入つている。なごやかに皆の心がとけあつたところで計画していることは、思い切つた改革だ。資本をうんとためる。生産資材を共有する。山を利用する。作業も協同化する。気持も生産の手段も1つにあわせて、新しい生産の様式をみ出そうとしている。この方向だけが、資本主義経済の中で、農民がかち抜いてゆくたゞ1つの方法だと。

▲小野の茶は最近急に有名になり出したが、その中には以上の様な底力がひそんでいることを感じた。これならのびる。新しい経営の場を山に求めつゝ、小野の人が口ぐせの様に言うことは、なごやかさだ。皆の心が1つにとけあつて、協同の目標に進むとき、偉大な力が生れ出ることを、しみじみ悟つているからでもあろう。

貸切りバスで 空爆をげきれい 現地ルポ

五月三十日の町議会で、秋芳台の爆げき演習地反対運動を、全面的に援助する決議が行われた。この決議にもとづいて、六月五日、折からの雨の中を貸切りバスは秋芳町に向つた。議員の有志、町長など約二十名だつた。

反対するわけは

新聞にもくわしくのせられているし、一般によく知られているが、秋芳町議会の副議長木村恵二氏は次の通り語つた。

「絶対秋芳でなけりやならんという理由が解らん。それに米軍が、全国の他の地区で取つた例から見ても、我々としては信用出来ないましてや、秋芳台は、世界的な文化財ですからね」

地球が出来上るときのナゾが秋芳には秘められているという。この土地を傷つけずに、子孫に伝えることが私達の使命だと語つた。洞の入口で声をからした婦人会員が、署名を呼かけていた。大内町議会は、県下の市町村にさきがけて、援助を決議し、げきれいにも出掛けたが、世界の秋芳台はまた私達の守らねばならぬ文化財でもある。（写真は涙ながらに訴える原地の農民）

共同で守ろう！みのりの秋

共同防除は昨年大きな力を発きした。今年も準備は終つて、何時でも動ける状態にある。防除を行う時期は、七月中旬と八月下旬になつている。三化めい虫が発生した地帯には、八月上旬に行うことになつている。

全町こぞつての組織

町長を会長にして、役場産業課の職員、農業委員会、農協、共済組合、支所、農業改良普及事務所の職員をもうらして、会町一体の組織は出来た。

一つの部落が単位になつて班をつくる。使用する機具は3～7台（1台が一日4～5町位）を予定している。防除の日数は1～2日、一台に四人から五人がつく。反当り3キロの薬を使い、つゆや風のない時を選ぶ。

いつも風上で

毎年、防除で気分の悪くなる人がたえない。使用上の注意をカンタンにあげると。

1 裸では危い。必ず作業衣をきる。
2 マスクか乾いた手拭で口と鼻をふさぎ防じん眼鏡をかける。
3 いつも風上で作業する
4 一人の仕事する時間は約30分、長い時間やらぬ。
5 作業中は、絶対に飲み食い、煙草はいけない。
6 作業中に目をこすつたり顔になるべくさわらぬ。
7 はき気や頭痛があれば、すぐ指導者に連絡する。

作業後も安心出来ぬ

やれ／＼すんだと安心出来ぬのが、有機燐剤だ。一寸とした心使いですむことだが、やはりしめくゝりが大切。その注意点は、

1 顔、手足など、皮フの外部に出ている部分は石けんで洗う。
2 作業衣はよく洗たくする
3 使つた後の薬袋、空ビンは必ず焼くか埋める。
4 機具はよく手入する。
5 実施した地区内の人畜に危害がかゝらぬ様によく注意する。

モビールを忘れると

動力さん粉機は、回転数が多いので、取付ネジがよくゆるむ。油を充分にやらぬと、割合早くなくなる。特に共立式は、グリスを一時間毎にやらねばならぬ。燃料は、モビールを混合することを忘れると、大変なことになる。始動した直後は低速で運転し、冷きやく空気が温つてから、高速にする。プラグの掃除も忘れてならぬことの一つ。

すぐ指導者へ

危い薬を使つての作業だからもし何か起つたら連絡をすぐに役場産業課 福永卓治 山本賢治 壽部五郎 支所（小鯖）杉山秀雄（仁保）石川義昌 農協 大内 青木 茂 仁保 岡田敏彦

新生運動

毎年の作業がぐんと樂

コンクリートけいはん

最近水田のアゼをコンクリートにするところが多い。毎年同じ仕事をして、しかも農繁期中なので、アゼ塗りはなかなか馬匹にならぬ。どんな長所があり、費用はどの位かを、カンタンにまとめてみた。

(1) 水田の面積がふえて、それだけ増収になる。
(2) アゼぬり、打直し、草かりなどの手間がはぶけ、農繁期の労働を合理化する。
(3) 大雨でもこわれないし、モグラ、ネズミなどにも大丈夫。水がもらぬ。
(4) コンクリートは熱を吸うので水温が上り、稲がよく育つ。
(5) けいはんに雑草が生えぬからメイ虫その他の害虫が少くなる。肥料分もけいはんに食われない。
(6) ほとんど永久に使用できる。
(7) 境がはつきりする。

以上が作つたばあいの長所だが、区画をきちんとしてからでないと、効果も少い。曲つた道路や水路もまつすぐにしてからがよい。

▽…改良したばあい

▽…飼料がとれない？

大豆がとれない。牛馬の飼料に困るとかの意見がある。が、水田の面積はふえるんだし、利用出来る山もあるだろうから、特別の短所にはならぬのではなかろうか。その上経費もあまりかゝらぬ。やり方だが、共同でやれば相当安くなる。

▽…一米が四〇〇円も可成り出ると予想されている。乳牛、肥牛は発病すると影響も大きい。県の貸付牛、および融資で入つた牛も、この際ぜひ受けていたゞきたい。

馬の流行性脳炎も、昨年

仁保小鯖地区に発生している。本年も相当出ると見られている。料金は牛馬とも一頭当り二〇〇円。時間と場所は、近くの農業振興対策員にお尋ねを。

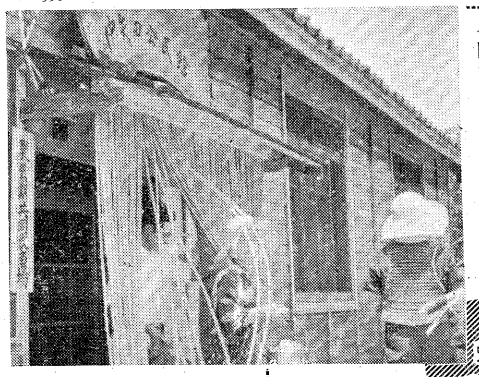
山羊の要る方は

七月一杯に、産業課へ申込を。三千円から七千円位まで色々あります。

山林ぶ育競技

県のぶ育競技会が、七～八月にかけて行われる。種別は、間伐、薪炭林、竹林、赤松幼令林の手入れ。

昨年参加した人の成績は二等、神岡里見氏（仁保）間伐。一等、小林政藏氏（小鯖）赤松幼令林。二等、藤本英雄氏（大内）赤松幼令林。三等、小林市助氏（大内）竹林。申込は七月中に、各森林組合へ。



共同炊事

65人の共同

大内地区上、中矢田部落では例年のように共同炊事をやつた。中矢田は雨のため日延になつて、今年は六月一日から二十五日までやつた。一人当り一日の経費は、昨年通り32円ですむ予定だ。この中には、味そ、醤油、マキ、食油などが入つてない。山口から炊事専門に二人をやとい、当番制はとつていない。32円の中には、やとつた人の賃金もはいつているから安すい。

カロリーは

農繁期だからカロリーは大丈夫とれるよう工夫している。三千四五百カロリーをとる。農家に不足がちな脂肪の補給には、特に注意している。昨年、農繁期が終つて目方をかけたら、体重のへつた人は一人もなかつた。共同炊事の偉大なコウセキであろう。

日常も変化した

共同炊事をやり出してから特に大きな変化は食油をうんと使い出したこと。別になたねを作つてはいないが安い時に共同で買つている。一升二五〇円位で。

イモチ発生

菅内（大内）石畠（小鯖）上郷（仁保）と続々イモチが発生している。この頃の気温が18～23度位で、イモチのひろがるのに、一番適している。この対策は、セレサン粉剤およびリオゲンダストを、反当二キロさん布すればよい。低い温度で、稲に色が出ないため、硫安系のものを追肥に使つている人があるが、危い。しばらく見合せたら—

家畜の予防注射

牛の流行性感ぼうが、今年も可成り出ると予想されている。乳牛、肥牛は発病すると影響も大きい。県の貸付牛、および融資で入つた牛も、この際ぜひ受けていたゞきたい。

馬の流行性脳炎も、昨年

仁保小鯖地区に発生している。本年も相当出ると見られている。料金は牛馬とも一頭当り二〇〇円。時間と場所は、近くの農業振興対策員にお尋ねを。

山羊の要る方は

七月一杯に、産業課へ申込を。三千円から七千円位まで色々あります。

山林ぶ育競技

県のぶ育競技会が、七～八月にかけて行われる。種別は、間伐、薪炭林、竹林、赤松幼令林の手入れ。

昨年参加した人の成績は二等、神岡里見氏（仁保）間伐。一等、小林政藏氏（小鯖）赤松幼令林。二等、藤本英雄氏（大内）赤松幼令林。三等、小林市助氏（大内）竹林。申込は七月中に、各森林組合へ。

赤字10億

△赤字になやむ県では、「地方財政再建促進特別措置法」によつて財政の建直しにのり出すことになりました。

△県の赤字は現在十億円、来年には二十億円にもなろうというありさまで、△赤字の原因は①終戦後、行政制度や教育制度がフクザツになつて県庁職員、警察官や教員の数が増え給料等の人件費が増えた。②災害復旧や道路、校舎の建設等の事業のために発行した公債が、積り積つて毎年元利払いが十億円になつた等です。いずれにせよ人件費、公債費が税金等一般才入（国の補助金等は除く）の入割以上も喰つているのです。なんとかせねばなりません。

△赤字をなくすには「地財建法」によるのが県民の負担も少く一番早く確実です。そして県税を引上げる必要もありません。

△明日のお互のしあわせのため御理解と御協力をお願いします。

家畜の予防注射

牛の流行性感ぼうが、今年

毎年の作業がぐんと樂

コンクリートけいはん

最近水田のアゼをコンクリートにするところが多い。毎年同じ仕事をして、しかも農繁期中なので、アゼ塗りはなかなか馬匹にならぬ。どんな長所があり、費用はどの位かを、カンタンにまとめてみた。

(1) 水田の面積がふえて、それだけ増収になる。
(2) アゼぬり、打直し、草かりなどの手間がはぶけ、農繁期の労働を合理化する。
(3) 大雨でもこわれないし、モグラ、ネズミなどにも大丈夫。水がもらぬ。
(4) コンクリートは熱を吸うので水温が上り、稲がよく育つ。
(5) けいはんに雑草が生えぬからメイ虫その他の害虫が少くなる。肥料分もけいはんに食われない。
(6) ほとんど永久に使用できる。
(7) 境がはつきりする。

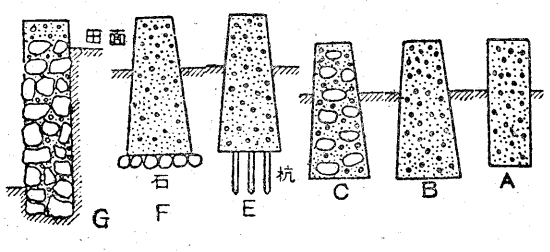
以上が作つたばあいの長所だが、区画をきちんとしてからでないと、効果も少い。曲つた道路や水路もまつすぐにしてからがよい。

▽…改良したばあい

▽…飼料がとれない？

大豆がとれない。牛馬の飼料に困るとかの意見がある。が、水田の面積はふえるんだし、利用出来る山もあるだろうから、特別の短所にはならぬのではなかろうか。その上経費もあまりかゝらぬ。やり方だが、共同でやれば相当安くなる。

▽…一米が四〇〇円



略図に依つて説明すると、Aは最も多く見られ、普通バンまで達すればよい。高さ39センチで厚みが9センチの場合、米当り四〇〇円であがる。

Bはてい形で安定度がある。地バンが悪いとか、高くする場合はこれがよい。

Cは附近に小石があるとき、セメンの量を節約した例Gは、山間のけいしや地でよく見られるもの。玉石まじりのコンクリートけいはんである。

EFは地バンがやわらかく沈下のおそれがある場合

▽…共同がトク

Aの例で説明した米当り四〇〇円の場合、型ワク代が二二〇円ほど入つている。これを部落の共同使用にしたら、ベラ棒に安くなるわけ。セメントは一袋四四〇円だが、これもまとめて買えば、四〇〇円になつて運ばんの手間がはぶけよう。砂、砂利もどこにもあるものでないから、まとめてとると、やはり相当の開きが出て来る。

計算例（米当）

床面積	4坪92銭
コンクリート（1.3.6の割）	134円12銭
型ワク（3回使うとして計算）	220円74銭
工員の請料と雑費	40円22銭
合計	400円

▼いかめしい鎧姿になつたのは大内の江藤茂氏、やあやあ我こそはーとその昔大音声に叫んだであろう鎧の主も今はない。信常家（今はたえている）の先祖が、大内輝弘の乱に使つたと伝えられている。室町末期のもの。

▼現在は江藤秀夫氏（大内・高芝）の所藏だが、こうした古いものが町内のあちこちに沢山あると思われる。捨られているのは惜しい。古文書にしても、こんなものは、大したこともあるまいと、案外捨てられてはいないだろうか。クズ屋に売つたあとで、しまつたといつてもおつつかぬ。

▼今注意して保存せぬと、一度なくなつたものは再びもどらない。郷土史談会のメンバーが、一番心配しているところだ。

▼私達の先祖や郷土について、解らぬ点が沢山ある。まして、中央集権的な立場で書かれた過去の歴史に、我々の先祖の生活を生々しくさぐつてゆくことは出来ない。つまらぬと思つても、ぜひ一度史談会の理事に相談をしていたゞきたいと、史談会は呼掛けている。

昭和31年10月1日
第16号
山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

大内町広報

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

慰霊祭11月中旬

9月9日に決めていた町合同慰霊祭は、台風12号のしゆう来で、止むを得ず中止いたしました。突然で連らくも不充分だつたことを、心からおわびいたします。

町(県)民税(第三期)

納期は10月末日限り、早めにお納め下さい
また自動車税の後期分納期は十月十六日から十月末日までです。

道路改良費など予算656万を追加

新教委の発足も一日から

初秋を迎えて町議会は度々開かれ、町議は席の温まるいとまもないほどだつた。れそだけ町政に審議を必要とすることがらが多かつたともいえる。二回にわたつて追加更正された予算は、656万に達し、本年度予算は総額九、四三一万にふくれた。19日の議会で新に教育委員に五氏が選任され、きよう十月一日から、法改正にもとづく教育委員会は発足する。協議会をふくめて5日間にわたり、時には深更まで審議を続けた町会は、農繁期前を一気にやりとげた観があつた。

三日間の本会議中、議会議員の発言で注目されたものを拾つてみよう。

○…審議会や協議会の数をへらし単純化してより強力にしたい‖新生運動の関係でも、県と国の提唱、その国でも農林、文部省と分れ全くやりきれない。

○…負担金を徹底して分析する。不必要なものはどし〳〵切り捨てよう。

○…私立であるみのり幼稚園(仁保)補助は、同様な施設に補助を出す、悪い先例を作る。無定見であり、り町執行部の回答‖合併の建設五ケ年計画で仁保に保育園を作ることになつているが事実上は保育所の設置は許可されないから、幼稚園だが保育所的な性格をもつのが必要だから。

教育委員に五氏を選任

次の五名が、一日から発足する教育委員に選任された。岡田誠一(前大内村収入役)安藤哲夫(医師—仁保)藤井正毅(高校講師—小鯖)藤本頼雄(農業—仁保)熊野弥作(前教育長)

教育長は前任者熊野弥作氏が引つづき就任した。法改正によつて、今までの委員会と違つている主な点は

1選挙で選ばず、町長が議会の同意を得て任命する

2改任にも混乱が起らぬよう、毎年一部づつ行う。

3予算の編成と報行が町長の権限になつた。

適正課税を実現しよう

対策議協会が発足

農業委員会では、課税を適正なものにしようと、対策協議会を作る準備を進めていたが27日結成された。結成と同時に、今年稲作の台風被害が大きく、大急ぎで実行に移すことがらを次のように決めた。

▽税務所の課税は、今日まで3段階に分れていたが、今年度は、より公平にするために、7段階に分けてもらう。山口税務署管内の町村が、4日か5日にこのことを申し入れする。

▽税務署が坪刈りを行うけれども、協議会が必ず立会う。また、坪刈りの田を一応全部刈つて、実収量を見る。税務署の反収と比較して、確実に数字的な根きよがあるかをたしかめる。特に今年は、一枚の田でも作柄は不そろいだから。

▽坪刈調査をやる農家(各地区とも7、8戸)の選定を税務署は町に依頼してくるけれども、この選定は協議会に一任すると町税務課から申し入れがあつた。

▽協議会の委員長は田中喜熊氏(仁保)と決定。副会長二名は江藤忠治氏(仁保)貞永浩氏(小鯖)。

電話の新設

矢ケ迫(小鯖)岡田(大内)に電話が新設せられることになつた。町村合併により、全国で電話のか設に5億の予算をみていたがそのぶんで公社が取りつける約100万円位ふるそうだが町の経費は一毛もいらない今年一ぱいには出来上ると大内局では語つている。

自衛官募集

二等陸海空士を募集している。主な点次の通り

採用人員
二等陸士 七、〇〇〇名
〃 海〃 九〇〇〃
〃 空〃 三〇〇〃
資格 昭和7年3月2日～昭和14年3月1日
試験 明年1月末
人隊 3月下旬からの予定
くわしくは、役場総務課庶務係までお申出下さい。

▽30年度県の予算額は、195億円。このうち県税収入の予算は28億8千万円で、全体の18%を占めています。

▽ところでこの県税は、30年度には約30億円あまり(見込額)も入り予算額を約1億うわまわる好成績でした。これは主に県民の皆さまの、格別の御努力と経済界の好況によつて、法人関係の税金や個人事業税が相当増えたからです。

▽各税目別の収入(見込み)

県税の入りは順調

のあらましは、県民税4億事業税17億、遊興飲食税2億、自動車税1億、固定資産税1億、その他の税が合計約3億になつています。

▽県税には、県民税事業税など10数種ありますが、なかでも県民税は納税者のはんいも広く、特に皆さんとのつながりが深い税ということができます。

▽昭和30年度に皆さんの大内町で、県民税の入つた状況(見込額)は次のようになつています。予定収入額134万円、収入額121万円、未収入額13万円、収入率90%

台風9号および12号により、被害を受けられたお方に、心からお見舞申し上げます。

風水害その他の災害をうけられた方は、**災害減免法**の適用を受けることが出来ます。皆さんの中で災害のため、税金の減免や徴収延期なども受けたい方は、遠りよなく税務署に、お申し出下さい

山口税務署長

9月町政のあゆき

仁保地区農山村振興協議会が26日発足した

▽新農村建設の指定を受けた仁保地区で、今月初めから準備を進めていた協議会が仁保農協2階で結成された会長は町長、副会長を農協組合長、幹事に石部元一氏と山根次郎氏がなつた。

農薬の効力試験

▽26日の農業委員会で、議題の他に農薬の効力の問題が出された。どうも効かないという声が高く、至急試験を行う。今年はウンカが少しづつ発生したので、その原因もあるようだ。議題外だが、大内管内から小鯖毛割、檜畑にゆく高圧線も団結して接渉すると打合せた

▽新町建設審議会の事務費40万円(20万円が国の補助)

▽道路のいい持修ぜん費に50万、道路の新設改良費に170万(小鯖畑分教場廃止を前ていとしての、道路整備費)木橋の改修に96万(法雲橋他5件)

▽仁保川の河川災害助成工事で地元負たん金として29万、間田川失対事業の地元負たん金7万(どちらも県の工事)

▽教育関係の修理、新設、12号台風復旧費として、大富小の修ぜんに10万、12号台風の災害復旧に18万円。
仁保中学の割ぼう教室新設に30万、災害復旧に5万円。

▽仁保みのり幼稚園の補助に20万円。

大内町建設審議会が近くできる

▽4日の議会で、建設審議会条例が決つた。新市町村建設促進法にもとづいて出来たもの

町長のし問に応じて建設計画実施上の調査や審議を行う役目をもつている。町議会の議員や教育委員会委員、農委の委員、公共諸団体の役職員、学識経験者や町の職員など30名以内で構成される。具体的な委員名はまだ決つていない

▽新仁保地区で、今月初めから準備を進めていた協議会が仁保農協2階で結成された会長は町長、副会長を農協組合長、幹事に石部元一氏と山根次郎氏がなつた。

農薬の効力試験

▽26日の農業委員会で、議題の他に農薬の効力の問題が出された。どうも効かないという声が高く、至急試験を行う。今年はウンカが少しづつ発生したので、その原因もあるようだ。議題外だが、大内管内から小鯖毛割、檜畑にゆく高圧線も団結して接渉すると打合せた

農繁期とアキス

万一ということもあります。現金や貴重品を手許におかれない方が安全です。行商人にもゆだんはできません。

30年度町がやつた仕事

万。橋—月光橋、88万、中村橋、138万(以上小鯖)

県事業の負担金(仁保川岡田川、小鯖の砂防)78万。土木災害復旧事業費542万、耕地災害復旧に857万、土地改良区の補助金90万、農地交換分合の補助(仁保に対して)53万

耕土培養に(仁保)205万

教育の面では、大内小学校の老きゆう校舎改築499万社会施設として、公営住宅の建設に133万

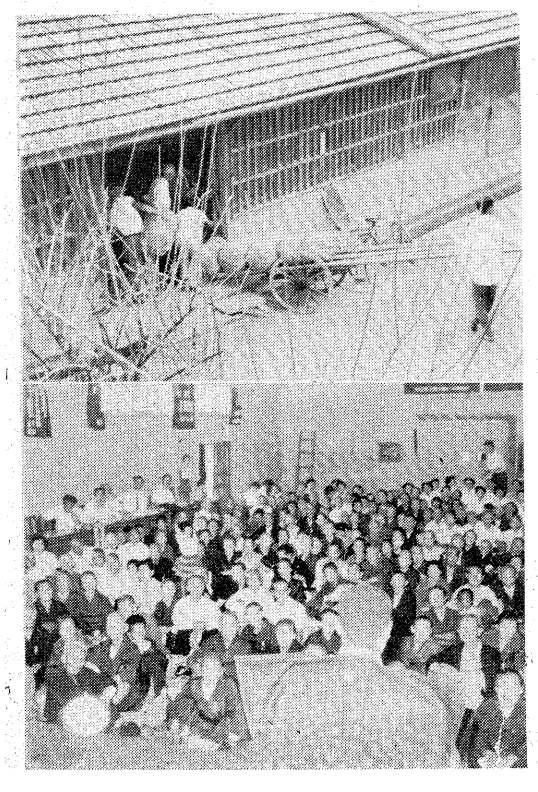
産業に対しては、病虫害防除器具の買入れに669万、虫病害防除の補助35669万。

造林事業には、(町全体)110万を支出した。せき悪林改良事業(小鯖)に113万を支出した。

50万円に達しない事業は紙面の都合上、やむを得ずけずりましたが、いづれ機会を見て、くわしくお知らせします。

交通安全作文募集

山口警察署では、交通安全に関する感想や論文を募集中。25日が締切。資格は学生、生徒児童に限る。400字詰5枚以内。賞金は一等千円。この他に交通安全のポスターも募集しているが一般も参加出来るが、くわしくは駐在所へ。

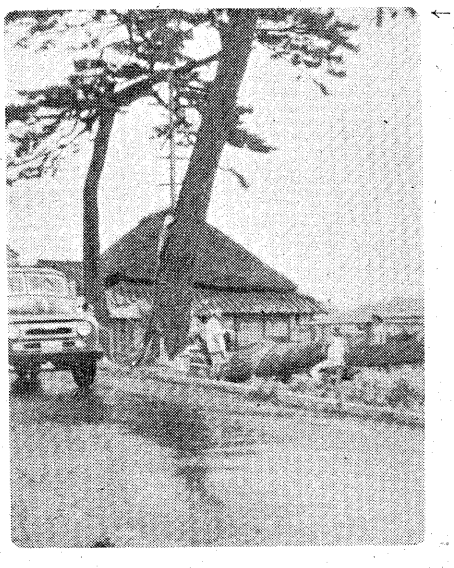


米の出荷一番乗

今年稲作は台風で散々だが、それでも出荷一番乗りは威勢がよい。大内殿河内の重富亘さんが11日、小鯖で毛割の伊藤静雄さん22日、仁保丸山の池田栄吉さんは28日。

としよりの日

14 15 16の三日間、各地区の敬老会はにぎやかだつた。趣好をこらした演芸は、老人達に何よりもうれしい贈り物おとしよりの皆さん、達者でこの上とも長生を。(仁保会場の義太夫)



道作り

13日から3日間、小鯖の松尾線は毎日25人が出て、化粧を終つた9月中に町県道の補修は大部分が終り、農繁期前の準備はなつた。(小鯖八反田近くで)

街道松のなげき

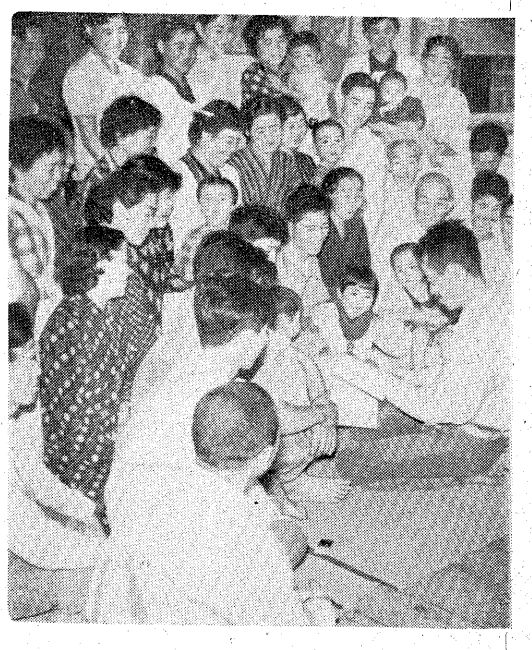
お籠にゆられてえつちらこと、昔はのんびりしたものじやつた。何しろ徳川時代の参勤交替やかであつた頃から、わしはこの街道わきに立つていた。昭和の今日では、バスやトラックがわめき散らして走り廻る。道の狭いのにと、わしも顔をしかめて我慢していたんだぞ。

ところがだ。このわしもとうとうノコを入れられることになつた。台風のたびに倒れそうで危いからだという。過ぎ去つた昔を振り返つて、わしは今感無量というほかない。あゝ——

←植えられたら、相当年月に甘んぜねばなら本一表当一〇〇

秋

新生運動の事務局へ、次々と部落計画が出されている。そのうち秋も、農繁期と共にあつけなく去るだろうが、この冬こそ、計画をねり直す貴重な季節！　その時間的余ゆうを持つて、やがて冬は来る。五ヶ年計画は、部落の総意を集めた実行可能なプランとして、さらに磨きをかけられるだろう。



駐在員小野正広さんの計画発表に眼をかがやかしていた

新農村建設の指定を受けた仁保地区では、25日振興協議会を結成した。（新農村建設については、前月号に解説がある。）同じ指定を次回にはぜひ大内、小鯖地区も受けようと、町は今全力をあげている。幸い新生計画に対する機運も高まった。具体例として**小鯖毛割**の部落計画をのぞこう。

毛割は38戸、人口215人の小さい部落。計画には、部落の地形からくる悩みや、働く者の慰安をどう求めるかに、大きな苦心が払つてある。

▽小高い丘の上の部落で、農家が比較的密集しているため、田畑までの距離が何時も頭痛の種だつた。このため計画には農道整備が真つ先にあげてある。今日まで一九〇〇米を完成し、これから一八〇〇米を完成することになつている。

▽耕作面積の平均が大きく、地形のせいもあつて毎年のアゼ塗り作業を能率化するため、けいはんコンクリートを計画している。反当三千円の経費で、15町歩を向う3ヶ年にやる。

▽保温折ちゆう苗代を取入れ、33年までに全苗代面積の半分を、これに切りかえると。

▽公会堂はあるがその他の共同利用施設がない。部落財産をふやしてこれを解決しようと、10町歩を町と分収契約して植林する予定。

▽結婚改善では、26年の申合せ以後ひろう宴を廃止し、新婦は組内のアイサツだけですました。

▽比較的畑地が多く、家が接近しているのに防火用水もない。一石二鳥と貯水池を作る。

▽研究と反省と慰安のため、毎月30日を公休日とすることにした。この日は、日頃食生活に苦労の多い主婦に対して感謝の意味で、朝食は男が仕度することに決つた。

▽注目すべきことは、生活の改善と向上に、全戸が記帳を実行することを決めた。

▽部落内の連絡用には、放送施設も計画に入れたアメリカの農家で働きつつ学んだことは、政治的な関心の深さだつた。農業政策のやり方いかんによつては、受ける利害が極めて大きいことを、彼等は実によく理解していた。

主人ばかりでなく、家族までが毎日関心を払つていた。日本に帰つて以来四年、農業政策によせる関心をアメリカ農民と比較して、そのへだたりの激しさに驚きかつ悲しんでいる。バラバラな姿、台風の被害を受けてもぼんやりして、〃やられた〃という虚無感で事もなくすましている姿。

私達はもつと現実を意欲的に処理してゆきたい。大変な年だとため息をつけてにくすぶらせている。封建時代から身にしみただ性をさらりと脱皮したい。

もはや、この現状を打開し、私たちの生活の安定をはかれるものは、農民運動をおいてないと考えた。しかも、私たち青壮年そうにこうした責任が、大きくかゝつていると考えた。無力な私たちが手をつなぎ合うことは、当然すぎるほど当然の話である。

近く小鯖でも、農民の盛り上る気持を、農政面に反映してゆく団体が出来ると聞いて、何より嬉しく思つている。仁保、大内にはすでにある。

私たちの責任において、力強く手を結ぼう。

私たちの責任

結婚改善のうら

結婚ひろうには、つき合いと見栄のために、必要以上の出費を、どの家庭も強いられている。もつと有効な利用と生活設計にふりむけたらいゝと、腹の中で誰もが願つているに違いない。私たちも世間並のひろうをして、人生のスタートを切つた。今思えば、周囲の人のするがまゝにまかしていた自分が、いじらしくすらなつてくる。人々の真心こめた祝福――その祝福された門出を、私自身の設計と理想の上にあびたかつたと、しみじみ思う。

改善の意欲が、当事者の心にくすぶらない限り、結婚改善なんて、全くナンセンスだ。それともくすぶつていてどうにもならぬのなら、私たち自身の本当のしあわせを、めいめいが真剣に見詰めていなかつたことになる。私の場合、失つていた自分を、これから取り返そうと思つている。

あきたりない毎日

がほしいのだ。農政運動にしても、おざなりの点かせぎみたいなチヤチな姿が、あきたらなかつた。

だが――私たちは今日まで、生活からにじみ出る叫びを、お互いの課題として素直に育てたろうか。自分の胸に手を当てたとき、育てたとはいゝ切れない。貧しくともみち足りた毎日を、みんなして創ろう。

4Hで研究したことも楽しかつた。

産業青年研究発表大会に出てしやべつたことも、まだ記憶に生々しい。青年団で、これからの農村を夢みていく度語り明かしたことか。

だが、プロゼクト発表も、楽しい語らいも、本当の意味では私をみたしてはくれなかつた。なるほど私も年令的には成長もしたが、何時も何かしら味気ない毎日だつた。私たち農村青年には、もつと現実的にたゝかい取る組織と生活設計にふりむけたらいゝと、腹の中で誰もが願つているに違いない。私たちも世間並のひろうをして、人生のスタートを切つた。今思えば、周囲の人のするがまゝにまかしていた自分が、いじらしくすらなつてくる。人々の真心こめた祝福――その祝福された門出を、私自身の設計と理想の上にあびたかつたと、しみじみ思う。

改善の意欲が、当事者の心にくすぶらない限り、結婚改善なんて、全くナンセンスだ。それともくすぶつていてどうにもならぬのなら、私たち自身の本当のしあわせを、めいめいが真剣に見詰めていなかつたことになる。私の場合、失つていた自分を、これから取り返そうと思つている。

農試の展示会にぎおう

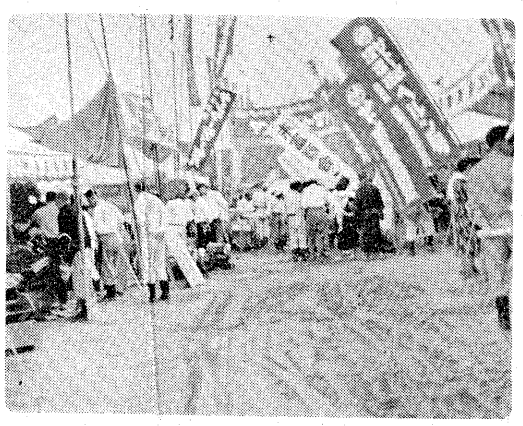
県下各地から5万が参加

18日から4日間、雨にたゝられながら展示会は、参加者5万をかぞえた。

今年は資料室も内容が整備されて、今までよりはるかに解りやすかつたと、――多くの感想を聞いた。

中国地方で一二を争うという盛大さで、関係者の苦労は大変なものだつたろうが、おかげで売店を開いた地元には、いゝ展示会だつた。白菊会、婦人会、氷上部落、青年団と各所に陣取つて、売上げは上々だつたと。

今年の経験を生かして来年はもつと準備を重ね、永続的なやり方をしようと、働いた人々の反省をきいた。



雨が降つて農機具実演場は例年の通りヌカルミ銀座

六県共進会へ

久保さん出品

国六県の畜産共進会が開かれる。

大内、宮の馬場の久保竹雄さんは、自慢の乳牛を出品する。二回の予選をパスし、五日県雄せんを受けて、来月11～15日まで、徳山

聖母像注目さる

大内菅内の中村治氏が試作した聖母マリヤ像が、先頃通産省の委託で来山したジョセフ・ギロゼソト氏（元アメリカのメーシー百貨店重役）の目にとまり、県下随一と折紙をつけられた町でもこの特産がのびて従事者がふえるよう、目下話を進めている。人形見本は近く米国へ三個発送される。

郵貯と町財政

旧村時代に大蔵省の資金運用部から借入れて起債した金額が二、二七〇万円にのぼる。30年度町が借入れた資金は570万になつた。短かくて15年、長くて20年の長期借入だが、現在では仁保が977万小鯖が536万、大内が425万とへつている。資金運用部の金は、郵便貯金が7.5割をしめているから、郵便貯金は間接的に相当町財政を助けていることになる。

参考までに、今年3月末の**郵貯残高**をあげると、大内一四五〇万、仁保一〇八八万、小鯖六三二万。この合計額の約9割に当る金を町が資金運用部から借り

共同募金は町に四割かえる

○…毎年10月1日より一ケ月間行われる共同募金運動は、〃国民たすけ合いの運動〃といわれています。この運動は、生活に困つた多くの人や不幸な人々を、お互いの力で慰め助け合つて、明るい社会をうちたてる目的をもつています。

○…この運動で集められた温い金は、養老院や身体しよう害者の施設、私立の保育所や育児院、精神薄弱児の収容施設、結核療養所や授産所に送られます。また白菊会などにも送られ、あらゆる社会施設に役立つています。

○…終戦前は民間の社会事業団体が、特別に大口寄附を受けて財源を作り運営されていました。ところが終戦後、富が再分配されて、大口寄附もアテに出来なくなつたのです。

そこで、世界各国が行つている「国民助け合い運動」――共同募金が、取り上げられました。

○…国としても、社会事業に力を入れていますが、まだまだ不充分です。社会福祉が充分行われるように努力するのは、もちろん国の責任であります。このことを国に強く要望すると同時に、実現するまでを私達の隣人愛で、行わねばならぬ現状です。

○…本年度から、皆さん方の浄財が全部都市に流れないよう、4割ほど町にかえります。町の社会事業費がそれだけふえるわけです。皆さんの手で、町内の生活に困つた人や不幸な人が、慰められるのです。

どうぞこの運動に御協力下さい。

植林 秋造の時期も間近

造林は誰でも実行でき、至つて簡単なようにうけとられがちだが、なかなかそうでない。馬鹿にしてかゝると、とんだ失敗をくりかえす。

地ごしらえには全刈、筋刈、坪刈などがあり、方法として刈払の他、焼払い薬剤および機械によるものがある。寒風害や雪害などの心配がない限り、全刈がよい。地ごしらえを丁寧にするかしないかは、造林の能率や成積にうんと影きようするから、労力が許せば中途半端なやり方は極力さけたがよい。

焼払いは比較的不便なところで、ウラ木の整理が出来ず、始末に困る場合や、ササの密生地帯には有利である。地表の有機物を焼きすてるので、地力を減退させる。

深植、盛土は二種根となる。

穴に地被物を入れないこと。

根が小穴は外に出る。

薬剤はササ、特に根曲竹の密生地帯に、塩素酸石灰を主とする「クロシウム」3号をまいて枯らす。きゝめは充分ある。値段は一町当り250キロ使つて、1万円程度かゝる。

秋植は、植付けてから気候が悪くなり、冬越しをさせねばならぬので、春植にくらべて、特別の注意が必要だ。悪い植方の例は次の3つで、こんなやり方をしたのでは生育は望めない。

▽狂犬病の予防注射が次の通り行われる。1日小鯖9～16時、27日仁保9～12時、29日小鯖9～12時同じく29日大内13～16時

▽乳幼児の一せい健康診断17日大内9～12時、18日仁保13～16時

▽12日　大内保育園では、園外観察（遠足）を行う予定。行先は山口だと。

▽林務課では5日から町有林、県行造林の施業案編成にとりかゝる。なかなかの大仕事で12月一杯かゝる。

松たけの人工栽培の講習が2日、午前中農試で講義、午後長野の山で実地指導が行われる。

苗木の申込を受付中である。5杉、ひのきで、一本当り3.5円見当。申込は各森林組合へ。今年杉苗は中位の出来だが、苗の選択が特に大事だと、林務課では語つている。特用樹の内、桐などの註文も受付けている。50～70円見当。

▽産業関係で3日水稲の作況調査。今年の稲作は、日がたつにつれて、大変な減収であることが解つた。農委と町の職員とでやる。

4日飼料作物の展示ほを設ける。仁保で両エキと東園、大内で菅内、小鯖は鯖山。

8日　町から犁耕大会へ参加する選手を決める予選。

11～15日　六県畜産共進会、徳山で。

26日　犁耕大会県予選

29日　草の質を仁保木戸山町有林で調査する。ここは昔から採草地になつていたが、牧草類を植えて試験をすることになつた。

▽基本選挙人名簿じゆう覧期間は5～15日毎日（日曜も）9～17時まで。名前が落ちていたりすると選挙できなくなつて第一回の郡教育長集会が、大内町で開かれる

町政メモ

2日　小鯖禪昌寺で、史談会。県立図書館の石川卓美氏の、徳川時代における大内町（主として小作と地主との関係）の話をきいた。河野通毅氏の、姫山伝説への推理も好評だつた。

4日　町会

7日　議会の文厚委員会。小鯖街道畑の橋を着工、10月中旬に完成予定。

11日　新農村建設の指定を受けた仁保地区の、振興協議会結成準備会。

13日　小鯖土地改良区の総代会、30年決算が報告された。

14日　仁保敬老会

15日　大内〃

16日　小鯖〃

17日　小鯖十切で生活改良普及員友沢さんから、料理講習の指導があつた。

町公民館で、大内地区の老人にものを聞く会。明治年代の郷土の生活が回想された。

18日　農業試験場の展示会が始まる、21日まで。

18～19日　町議会

21日　靖国神社の参拝団、無事帰町した。

23日　大内小中学の運動会

25日　女性問題対策審議会が開かれ、これまでの歩みを反省し、もつと組織的に実行出来る団体になることを申し合わせた。議会の傍聴もなるべく多く参加して、町政の動きにも、数多く学んでゆくことなどときめた。仁保地区の振興協議会が発足。

26日　農業委員会

27日　小鯖小中学の運動会

大内町課税対策協議会が結成された。

小鯖禪昌寺で、老人にものを聞く会。

28日　議会、終日

30日　仁保小中学の運動会好天にめぐまれた。

仁保地区で老人にものを聞く会が井開田信行寺で開かれた。三地区でそれぞれ開かれた〃ものを聞

月の予定

大内町広報

昭和31年11月7日
第17号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

24、25日と文化祭

3日の文化の日は、農繁期に当るのでよけて、24、25日に文化祭が行われます。場所は仁保中学今年は特に芸能発表に重点をおいています。くわしい内容は、お知らせ板を見て下さい。

慰霊祭は23日

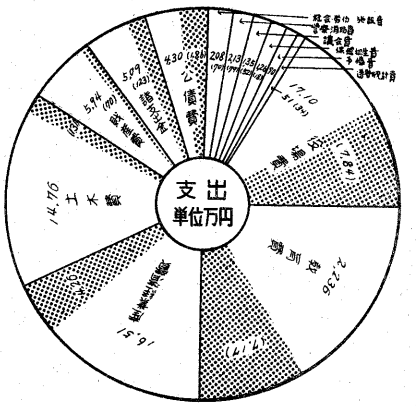
台風で延期した慰霊祭は23日に、小鯖小学講堂で行われます。時間は10時から、貸切バスで送り迎えいたします。一般町民の方も、多数御参加下さい。午後には、遺族慰安の催しもあります。

本格的事業はこれから

9月末の町財政ありのまま

グラフを見ていただきましょう。それが一番の早わかりです。グラフは収入と支出とわけて、予算の額に比例して割ってあります。点のない部分が、これからはいる予定であり、また支出する部分です。こい点のところが、実際に収入した金額であり、支出して仕事を行つた**シルシ**です。

だから白い部分とこい点とを見くらべていただけば、9月末現在の町の財政ひいてはそれまでにやりあげた仕事の分量も、はつきりするわけです。収入がおくれて本格的事業は今から明春にかけてです。



▽ 立木代金は順調

約2千万円を見込んでいた。土木、耕地の災害復旧関係が現状では半ばストップしているような有様である。収入の部で、国県の支出金がほとんど〇に近いことが、そのことを物語つている。4月以来6ヶ月間を、こい点の部分だけで運営したから、事業費は総体的に圧しゆくされた形になつてしまつた。

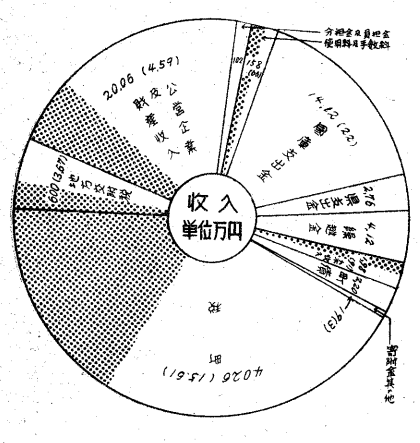
支出の部で、比かく的事業費が少いのは、国県からの補助金の支出が少いからだ。

▽ 収入32％支出29％

予算総額9千429万に対して、上半期（4～9月）の収入は2千981万、支出は2千689万円であつた。だから歳入と歳出の差引残金は290万円である。31年度の全体を100％とすれば、収入の歩合は32％、支出が29％の歩合になる。特別会計（国保）では、収入31％、支出28％になる。

▽ 町債の状況

旧村の起債が、約2千3百万円ほどある。年々返してゆくので、この金額は少くはなつてゆく。新町になつてからの分が536万円ほどあり、この合計が2千841万円になる。これが9月末現在の町債の総額である。



この返済のため、予算の公債費では430万（9月末の支出は186万）を計上しているから、なかなかもつて馬鹿にはならない。

返してゆく金額は財政計画で、各年度ごとにきつちり計算してある。

税務署モミスリに参加

今年こそ正確な数字が出る

課税対策協議会の活躍で山口税務署からモミスリにも参加することになつた。今年稲作は悪いといわれてはいたが、大内千坊の加藤さん宅で実際にやつた結果は案の定、普通米2俵半、悪米は3俵にのぼつた。これまで実収と税務署の粒数調査が、いつもくい違つていたが、今年こそ粒数調査をゲンミツにやるため各地区5枚あての田を選んで、町の税務課と農業委員会が立会して、11～18日まで粒数調査をやつて歩いた。その上モミスリにも参加してもらい、いつわりのない資料で、公正な課税を受ける準備が進められている。今日まで行われたのは、加藤さん宅だけだが、次第にモミスリがすむに従つて、はつきりした数字が出るだろう。課税対策協議会は、全町民の信頼にこたえるため資料あつめに一生けん命がんばつている。

基本選挙人名ぼのじゆう覧

毎年9月15日現在で調整する基本選挙人名ぼを、つぎの場所でじゆう覧していただきます。11月5日～19日まで毎日前8時半～後5時まで。小鯖、仁保の有権者は支所へ。大内は本庁で。

異議のある方は期間内に遠りよなく申出て下さい。

31日災害対策のため緊急町会が開かれた

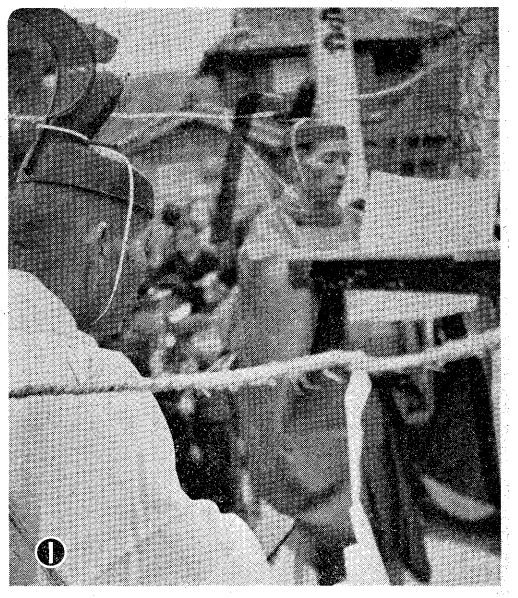
10月町政の動き

今年の風害が3～4割の被害であることは初めからはつきりしていたが、モミをひいてみて、実に意外な結果が出た。これでは捨ておけないと、町議会は31日まるまる1日をつぶして、熱心に対策をねつた。この日、被害の最もひどかつた大内宿内部落では、部落をあげてちん情にくり出した。女性間題審議会の委員や婦人会、菅内部落の人達で、町会始つて以来の傍ちよう者を記録した。

対策のため、議会議員全員で、**特別対策委員会**が作られたが、11月6日第1回の会合を開くことになつた。具体的に町としてとる処置が、その際審議される。決議されたことがらを強力に推進するために全町のあらゆる団体の協力によつて**災害対策推進協議会**が、中旬までに作られる予定だ。全町一体の運動の波は、いまようやく大きくなろうとしている。

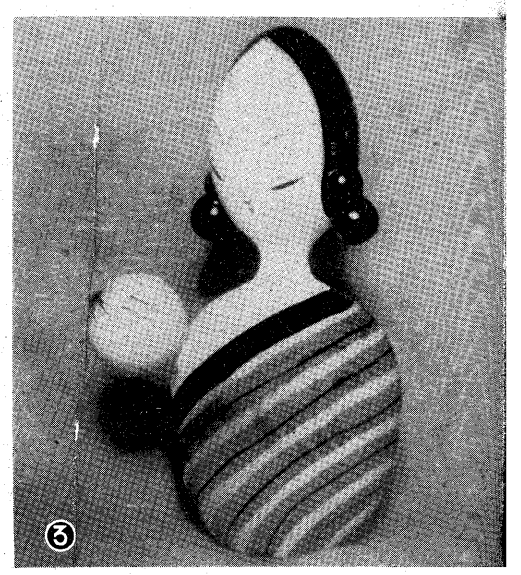
31日議会で次のことがらの善処を要望する決議がなされた。▽米の完渡予約数量を**適正に補正**、▽予約概算金を返すのを延期し、利子のめん除、▽災害**ゆう資**のぜつたい確保、▽農業共済基金の確保▽くず米を等外米として買上、▽救農事業の実施、▽還元配給は必ず生産者価格で、▽種モミの無料配布

対策の中心は、災害の地域指定を受けて、安い利子の資金を入れる点にそそがれている。私達農民の大きなのぞみがそこにかけてある。



秋祭り

いつてらつしやい（保育園児の園外観察）



人形アメリカへ渡る

① 秋祭りはいいものだ。土にいどみ、土によつて生活して来た私達には、あの太鼓の音の素ぼくさが通じる。しかし不作だつた今年の秋は、祭も淋しかつた。（16日小鯖八幡宮にて）

② 19日保育園児は国鉄バスを貸切つて、防府へこの日一日の園外観察だ。幼い園児を送る家族の人達の心をこめた、いつてらつしやい。（高芝にて）

③ 人形の胸についているのは、リンゴではなく乳のみ児のイエス・キリスト。聖母マリヤ像は人形見本として近くアメリカに送られる。大内菅内の中村治氏がコケシ人形風に考えた苦心の作。

④ 税務署の課税ひよう準をしつかりせねば、今年のような不作年には大変なことになる。税務署員の調査に立会して、粒数調査にはねんを入れた。（10日大内下千坊にて）

11月の予定

▽**野球大会**が11日（日）仁保中学グラウンドで開かれる。町の主催で組合せはつぎの通り。

①…仁保B－小鯖A
②…大内B－①の勝者
③…小鯖B－大内A
④…仁保A－③の勝者

▽**文化祭**では、展示会や芸能発表が盛大に行われる。どちらも学校と一般の部に分れており郷土史展、生活改善展生花展のほかに点茶の会もある。芸能で、学校の発表が24日、一般は25日になる。

▽**産業**関係で、山羊の種付が小鯖でも出来るようになつた。ふじ号で管理者は尾中信一氏、料金300円。

小郡家畜保健所に、乳牛の種牡が新しく入つた。名前は通称デコール、北海道産、料金は1千300円。

今年の肥料をほどこし[illegible]

来年の設計を合理的にします。12月中旬から、昨年のように、部落ごとの懇談会を開くと、産業課では計画しています。

▽科学と生活が直結するため、**国民科学講座**が県下で2ケ所（本町とむつみ村）で開かれる本町のテーマーは栄養改善、日時は未定。

▽身体しよう害者の補装具修理は、12月5日山口市で。修理される方は民生課へ

▽**税**の出張ちよう集は毎月24日（仁保農協下郷支所）25.26日（上郷支所）で行います。土、日、祭日は一日のばし

お知らせ板

合併の建設計画は今ねり直されている

30年度建設されたもの

合併して大内町が誕生したとき、町造りを進める建設計画が決めてあつた。どの地区の施設も、住民の幸福をきずくために、ぜつたい必要で急ぐものを選んであつた。

建設計画には、合併した30年4月から5ケ年間に、毎年やる事業が細かく決めてあり、30年度に建設されたものは、つぎの通りである。仁保牧川道路改修、小鯖中村橋と月光橋の改修、土木の災害復旧、大内小学校の改修教育関係の資材整備、新生運動の推進としようれい事業、耕地の災害復旧がある。

今年も進めているが…

この計画は、いわば合併の約束みたいなもので、**カンタン**に中止したり変更したりは出来ない。もちろん今年も、事業は進められている。今年予算化されているのは、仁保牧川線道路の追加、小鯖スクールバス路線の改修仁保小学校の第3校舎の改築、教育資材の整備、耕地と土木の災害復旧、新生運動の推進しようれい事業がある。

しかし、この2年間に、計画されながら実施しなかつたものもある。大内中央道路の改修、新中学の新築事業、仁保中学屋内体操場の改築がそれである。

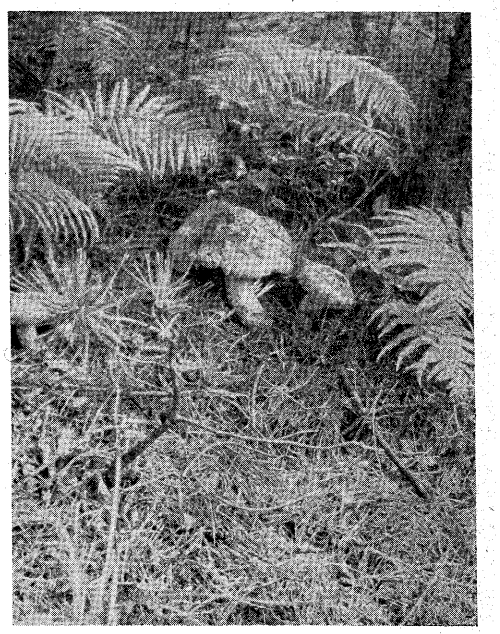
建設計画は旧村の衆知をあつめたものだが**必ずしも**それが、町としての一体性にもとずいていたとはいえなかつたようだ。大内町として全体を見通すと、もつと綜合的な視野から判断しなければならぬ情勢も起つてきた。その上、建設計画外でやむを得ない事業がふえてきて、財源的にも苦しくなつてきた。というのは、新町の財政能力を考えて、これだけは出来るとギリギリにしぼつたのが建設計画だから。

限られた財源を生かすには

町としては、合併前には予測されなかつた新たな情勢に応じてゆく必要が起つた。それも町全体を眺めて、建設計画をそのまま続けてゆくより、さらに効果的な方法と投資でなければならぬ。より建設的であり、より効果的であつても、合併計画は動かすことは出来ないか？この**ナヤミ**は、全国の町村に共通するとみえ、合併促進法の期間満了(今年9月)をまつて、政府は新町村建設促進法をだした合併計画のムダをはぶいて、新しい町村を効果的に育てるためである。

モデル町に指定

この立場から政府は、本年度全国で200の町村を、計画ねり直しの**モデル**町村として指定し、本町もその1つに選ばれた。施設だけを考えた今までの建設計画と違つて、深く産業構造にもメスを入れ、町全体が一体化して、のびのびと発展出来るような基そを考えることになつている。この計画は、建設審議会の審議をうけ、最終的には議会の議決をへて実行する。町はこの仕事を行うため、新しく**企画室**(仮称)を設け、調査と企画をいま現実に進めている。



松たけ人工栽培の講習が、10月2日県農試で開かれた。県下各地からの参加者は約300人、にぎやかだつた。5千町歩の山林を持ち、県下で指折りの生産地である本町のためにも、この講習会は大きな意義があつた。当日農繁期で参加できなかつた方の手引に——

松たけの人工栽培

パンフレットで

この講習会のくわしいことは、県の林務部がパンフレットにして出すことになつている。明年になる予定だ。講師は、この道40年を一途に研究を続け、全国的にも有名な広島県の金行幾太郎氏であつた。実際家金行さんの話は、赤松林を持つている人に非常に有益な内容であつた。パンフレットの申込は町林務課へ。今月号は、紙面に限りがあるので、特に急ぐことをのせた。この広報を見るなり、すぐ実行していただかねば、間に合わない。

▽人工的にシロを作る

山に行つて笠開きの松たけ(やつと開いた位のもの)を四本ばかり取つてきます。竹ベラで笠のヒダをそぎ落し、袋に入れて、バケツの中でよくもみます。水が米のとぎ汁のように白くなつたら、時間のたたぬうちに山へ持つてゆきます。現在では笠開きが少いので一刻もゆうよ出来ません。今月号は、紙面に限りがあるので、特に急ぐことをのせた。この広報を見るなり、すぐ実行していただかねば、間に合わない。

▽胞子液を入れる所は

出来上つた胞子液を茶びんに入れて、シロになると思われる場所にそそぎますが、一ケ所5勺でいいのです。シロになる可能性は、〃素菌土〃という土のあるところで、ナバの発生した場所の土を見て勉強して下さい。ちよつと白つぽい感じの土です。は種器(長さ3寸の釘を、間かく1寸5分で、直けい2寸の丸木に7～8本打つけて作る)で土をよくかき起し、液を入れます。上に土をかけず、乾そうを防ぐため、落葉を2～3寸の厚さにおおいます。このとき、周囲3尺以内の落葉を使つてはいけません。

若い者を信じて欲しい

集会に出てみると〃若い者が何をいうか〃といつた気持が感じられる。つまり出しやばるな——といつた感じだ。しかし老も若きも心の底から話合わねば、「町造り」といつても、長い間には足元からくずれるような気がしてならぬ。

もちろん若い者としても責任の持てる発言をして、信頼をかちとるだけの努力をしなかつた点は、卒直に認める。私達の小さい周囲を見廻しても、封建性とがいにいいきれぬしこりを感じる。老人の誇りだろうか？監とく的な感じが、老人と壮年の間を、案外にさまたげているようだ。

町造りはこのミゾを取り去つたときに、近く見えてくるのではあるまいか。

私なりに、この原因を考えてみたのだが、農家の経営形体が家父長制にある点ではあるまいか。嫁姑といつても、一家の経済権は姑が大部分にぎつている。それにもまして、家父長(しゆうと)の権力は大きい、そうした一軒の家のふんいき気が、集会などで話合おうという時に、我知らず出てくるのではなかろうか。そんな失礼な予測もしてみたくなる。経営が小さく、家族労働の集積で利益をあげてゆくときには、少々の異論は当然1人の主唱者に統一されねばならない。その過程は解るが、老人のガンコさなど、この辺に根ざしていると見ては、ひが目だろうか。

(小鯖毛割　小野正広34)

新生運動だとか、新農村建設だとか、かけ声はたくさんひびいてくる。が……私は部落をながめて、つくづく思うのだ。この土地は遠い先祖からの涙にみちている。地形の関係から色々の悪条件が重なつているが日照時間の不足もある。水にもやられる。近くを流れる間田川が増水したら、それこそ大変だ。風当りも強い。だから今年の台風には手ひどくたたかれてしまつた。大かんばつにはかえつて豊作になるという皮肉な土地柄だ。

過去の涙にみちた土地

こんな年にこそ、農民は手をつないで立ち上れると期待していたのに、アテがはずれた。徹底的にだめな状況に追い込まれて、自然と盛り上るものが、何かあると思つていたのに。私達気持を同じくする者はよるとさわると、こうしたことを話合つては、意欲を燃やしつづけている。土地柄は悪条件にみちているが、移民にでもならぬ限り、別にどうすることもできない。もちろん一歩づつ改善はしてゆく。限られた財力で、この先何年かかるか——これはアキラメではなく、現実を見詰めての決意だ。だから私は新生運動やその他の運動を決して易しく考えていないほかの土地柄にくらべると何層倍も難しいに違いないのだ。それでも私達は、工夫し、協力し合つてゆかねばならない。生きることの厳しさと悲しさを考えながら過去の農民の涙を思つたと盛り上るものが、何かあると思つていたのに。私達気持を同じくする者はよるとさわると、こうしたことを話合つては、意欲を燃やしつづけている。土地柄は悪条件にみちているが、移民にでもならぬ限り、別にどうすることもできない。もちろん一歩づつ改善はしてゆく。限られた財力で、この先何年かかるか——これはアキラメではなく、現実を見詰めての決意だ。だから私は新生運動やその他の運動を決して易しく考えていないほかの土地柄にくらべると何層倍も難しいに違いないのだ。それでも私達は、工夫し、協力し合つてゆかねばならない。生きることの厳しさと悲しさを考えながら過去の農民の涙を思つた

(大内間田、古屋寿吉33)

町政メモ

日　小鯖で農協青年連盟を結成▷教育委員会の初会合
2日　県農試で松たけの講習。
4日　飼料作物の展示ほを設けた。仁保(堀山益雄氏一浅地栗林武夫氏一東園)小鯖(松富穣一氏一上鯖山)
5日　課税対策のこん談会。
5日　国民健康保険の座談会を町議事室で。UGが録音。
10日　酒米の収量試験を、普及事務所が行う。成せきは上上本年度から小鯖も酒米指定を受けた。▷仁保地区振興協議会が、予算を決めた。▷18日まで作況調査で、各地区5枚あて田の粒数計算をやつた。山口税務署から2名参加、町税務課と農委が立会した。▷教育委員が各学校を視察(仁保)
11日　夜8時から、大内氷上部落で新生運動のこん談会。▷15日まで中国6県の畜産共進会が徳山で。本町から久保さんが出品した。
12日　教育委員が学校視察(大内・小鯖)▷土木の入札。
17日　大内で乳児一せい検診。
19日　大内町建設審議会が発足
21日　町更生会の総会
23日　小鯖地区振興協議会結成
24日　大内　〃
27日　狂犬病予防(仁保)
28日　自作農い持資金貸出しの説明会を開く。▷後1時から仁保源久寺で、町傷い軍人会盛会であつた。
29日　町有林入札。▷狂犬病予防を大内、小鯖地区で行う。▷草質調査を仁保地区木戸山で。▷総務委員会。
31日　災害対策で、臨時町会が招集され、今年災害にどうした対策を行うかで終日審議し決議を行つた、この日ぼうちよう者30名。

愛鳥4年の歩み

愛鳥のモデル校として、全国的にも有名な小鯖中学で、このほど4年間の結果がまとまつた。もちろん、この見事な成せきは、全校生徒の一人一人が、うんと努力したことを物語つている。それは、害虫く除に大きな功せきをしめしたと共に、教育上にも実を結んだ

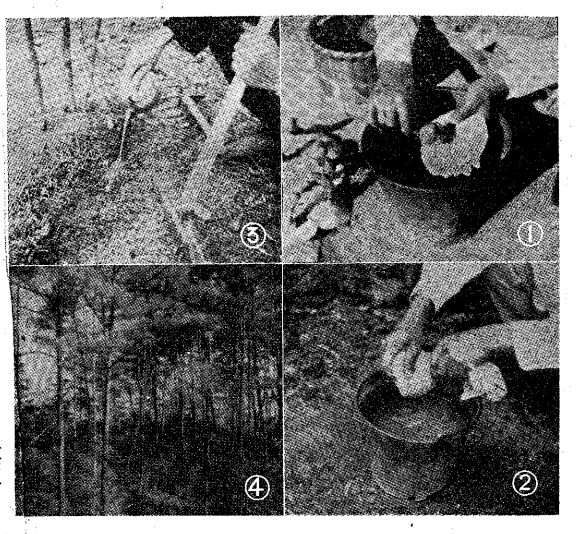
▽生徒の考え方が変る

つまり、小鳥を巣箱につかせるためには、その習性をよく観察しなければならない。しかも長い時間続けてしなければならぬから、生徒の研究心や、持久力を養う上に、相当の効果をおさめたのだ。その上、小鳥を温く見守る気持は、社会愛の欠ぼうと愛情を受入れる純真さの少い少年達に、あるものを残してくれた。愛鳥運動を通して、小鯖中学の教育そのものが、一歩前進した。

▽金に計算したら

一羽の40ガラが1年間に害虫をたべる数は12万5千匹といわれる。厚生省が皇居前広場の松林保存のために毎年70万円かけているが一つがいの40ガラがいれば完全にたべてくれる。愛鳥運動は金に計算したら、バクダイなものを産んでくれている。熊本営林署の発表では、山林の害虫く除を薬でやると100米平方で100円という。

幾千の眼で観察したグラフや統計が、集められた資料の中で、この運動の偉大さを物語つていた。



①笠開きのヒダを水中にけずり落す②よくもみ布でしぼる③適地に茶ビンでそそぎ入れる④発生に適した林

話題を拾って

いのしし と格闘

仁保坂本の岩本誠之さん(30)は仁田の四郎よろしく、20〆あまりのいのししと取組み、短刀で見事にしとめた。その際一週間ぐらいの傷をおつたが、本人は至つて元気。

光厳寺のそばに鐘閣寺

またまた屋根のニューツク、銀でふいてあるわけではないが、人はそう呼んでいる。カヤぶきの上を全部トタンでおおつたもの。大内間田の佐田トシ

20万第で

去る14日、小鯖診療所にかけ込んだエキリの患者はとても助かるまいというひどさだつた。医者にみせる前に完腸したのが効果的だつた。

永上と鯖地に公民館

農繁期がすめば、すぐ建設にとりかゝる。費用どちらも約25万、毎月集会して話合おうと、部落の人は申し合せている。

こ児を慰問

少し旧聞だが去る8月25日、仁保女子学園の先生と生徒35名は山口市吉敷の愛児園を慰問。お土産に持参した廃物利用の人形50個はと

という。

小鯖農協て現金壹

資金の回転を6～10回に高め、安い品物を買つていただこうと、小鯖農協では10月1日から現金売に切りかえた。現金で買う人が一番安く買えるから大分議論があつたが、次第に理解されている。売掛を少くして、組合の運営も楽になり、一石二鳥

大内町広報

昭和31年12月1日
第18号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

31年さようなら

台風にひどくたたかれ多難であつた昭和31年もうすぐ終ります。新年になつても、この傷あとは消えないでしょう。しかし昭和32年は、皆が手をつないで立上る年にしたいものですね

〃人権週間〃

4～10日まで人権週間が全国的に展開されています。私達は生れながらに自由と平等の権利をもつています。家柄や職業男や女の別で差別待遇を受けることもありません

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎつているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう

量質ともに大成功

今年も文化祭にぎやか

農繁期をよけて延期した文北祭は、24.25の両日仁保中学で開かれた。準備に努力した人々の苦心もみのつて、会場は量質ともに大成功であつた。貴重な資料がたくさん用意された展示会は、参加した人々に大きな満足を与えたろう。

▽芸能に重点

今年の文化祭は芸能に重点をおいたと教育委員会では語つていた。25日の一般の部では演劇、舞踊、謡曲、琴、義太夫と町内の愛好者が、日頃の腕自慢をきそつた。

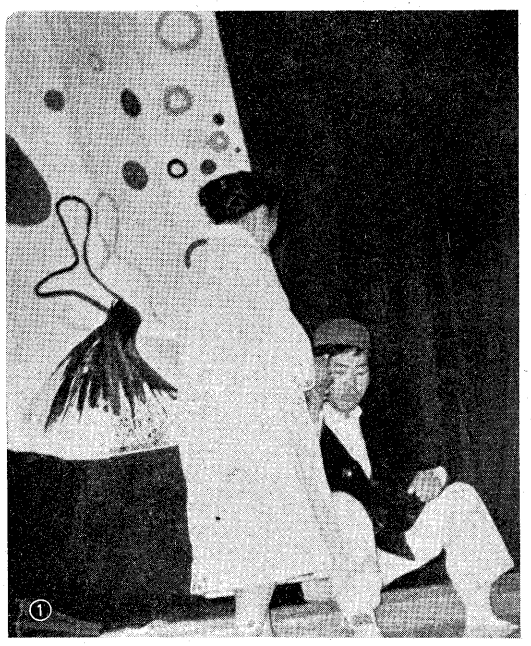
学校も、3地区の小中学が24日に集り、合唱、タンス、音楽劇、人形劇、ヴァイオリンの独奏をきそつた。農繁期後の総じてレベルは相当に高く学校間の親ぼくにも役立つたと、教師や生徒の間で評判がよかつた。農繁期後の慰安に、芸能祭はたしかに一役買つた。

展示会は苦心にじむ

展示の内容は豊富であつた。小中学校、女子学園の作品展、生花盆石展、古文化展、保健衛生展、写真展農青連の営農相談室と、どれもピカ一で、苦心のあとがにじんでいた。

古文化展では、日頃眼にふれにくい資料が集めてあり、実物に接して、郷土の昔を学ぶには、またとない機会であつた。

農青連と町産業課が主体となつて作つた営農相談室の資料は、県から借用したものと、地元で作つたものとが好評を受けた。乳牛、木炭、養鶏と、各種目別にはじき出した経営内容は、新しい副業を起すのにきつと役立つ資料だつた。


①

②

演劇〃では皆さん〃の舞台

ワッ こわいぞ

町政の動き

災害の対策に全力

近年に全く例を見ない災害に対して、10月31日町臨時議会が開催されたが、これを皮切りに運動は花々しく展開された。11月に入つて5日には特別委員会を開いて協議した。1日おいて7日には、小郡で吉山地区の農民大会が開かれた。この大会の後、町災害対策推進協議会を開き、翌8日には協議会として初の陣情を、県庁税務署に対して行つた。農民大会で選出された実行委員会が10日に開かれたがその協議にもとづいて須子町長は光田経済委員長、江藤農委会長と共に12日上京。国会への働きかけにふんとうした。

21日小鯖農協の組合長は食糧事務所と共済連に対して、陳情を行つた。

27日にも特別委

第2回の災害対策特別委員会では、つぎの3つのことがらが決定された。(1)対外的には、陳情の成果をより一そう確保するため、再陳情をくりかえす、(2)対内的には町税の減免基じゆんと徴収ゆう予が決つた、(3)救農事業を具体的にどうして起すかが検討された。

この決定にもとづいて、28.30日と同委員会は県へ陳情をくりかえした。矢つぎ早に全力をあげての運動が、息つく間もないほどこの一ケ月間にわたつてくりひろげられて来た。(今日までの交渉の結果は2面にのつています。)

対策の重点は、災害の地域指定を受けて、低利ゆう資を獲得し、救農事業を大巾に起すことにむけられている

11月

追憶の涙も新たに

小鯖で合同慰霊祭

慰霊祭がやつてくれば、なくなられた人への想出は悲しい。去る23日、今年の合同慰霊祭は小鯖小学講堂で行われた。三地区から集つた遺族はおよそ500名、神式でおごそかに行われる慰霊祭場をうずめつくした。

3人の遺児代表、飯田積甫君(小鯖中3年)大谷節子さん(仁保中3年)高木恭子さん(大内中2年)の読み上げる靖国参拝の感想文は、満場の涙をさそつた

多数の来ひんも出席して盛大であつた式は、11時半終了、午後慰安の演芸に、遺族は農繁期の骨折りを忘れた。

③

笛の音も悲しく

新しい民生委員きまる

12月1日から、民生委員の顔ぶれが変つた。引続いてなつた人もあるが、新民生委員は総数25人。地味で責任の重い仕事が、つぎの方々にかかつている。

(敬称略)**大内**=前原孝雄 安富酉造、荒瀬貞雄、重村信一、石山ヨシコ、菅野喜一、原田久枝、伊達操一、和田八十一。**仁保**=渡辺益人、小林隆次、山根つね代、山田ハルノ、岡忠生、末永里子、末永フミ子、清水久子、小野節子。**小鯖**=木村かね古屋則敏、稲野武雅、渡辺ハル子、原田繁忠、大田一穂、柴崎生熊

住民登録と配給は関係ない

農家のお嫁さんなど、保有があるから住民登録はしないという方があります。転出入したら、配給とは関係なく14日以内に登録をして下さい。でないと、選挙のときなど、選挙人の名簿にもれていて、大さわぎすることにもなります。

訂正

前月号1面税務署がモミすり立会の記事のなかで、悪米3俵は3斗の間違いでした。訂正いたします。

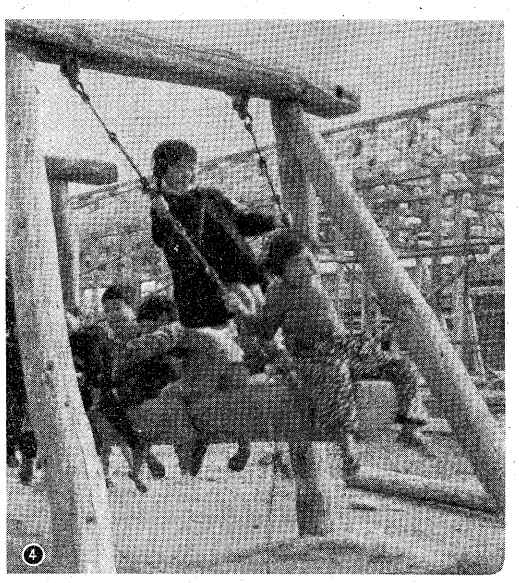
固定資産税(第三期)

▼納期は12月25日まで年末ですから、早目にお納め下さい。

仁保小のむね上げ

第3校舎

長い間待ちこがれていた仁保小学第3校舎のむね上げが、25日午後2時から行われた。総工費572万円をかけたこの建物は、古い校舎で不便を感じていた児童達に、大きな悦びを与えている。工事はいま、完成を急いで毎日進められているが立派に化粧をするのはいづれ来年のこと。当日のモチまきは、近くの子供達をことのほか喜ばせた。


④

うれしいな、私達の教室

町政メモ

15日 大内小60周年記念式

16日 災害のひどかつた大内下千坊部落では、部落をあげて町へ陳情

18.19日 仁保上郷の文化祭が大富小学で行われ盛大

20日 女性問題対策審議会が議事堂で開かれた

21日 農業試験場で、国民科学講座が開かれた

23日 町の合同慰霊祭が小鯖小学にて、参加者約500

24日 文化祭が仁保中学にて開かれ、この日町内小中学校の芸能発表をきそつた。展示会は25日にかけて多数の見学者を集めた

25日 文化祭、一般芸能の発表が終日。▷仁保小学第3校舎のむね上げ。▷町内野球大会が仁保小中グラウンドで

27日 災害対策特別委員会の第2回会合

28日 特別委員会が県へ陳情

30日 町長、正副議長、議会の常任委員長が県へ副知事を訪問して、災害対策の再陳情

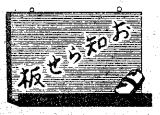
5日 第1回の災害対策特別委員会が開かれた

7日 吉山地区の農民大会、大内町も貸切バス3台で参加

8日 災害対策推進協議会では県への陳情を行う。▷大内、小鯖が新農村建設の予備地域に指定

12日 須子町長は光田経済委員長、江藤農委会長と共に上京中央折渉を開始した

12月の予定



7日午後2～4 小鯖
21日 〃 〃〃
種とうは
11日午後1～3 大内
13日午後2～4 小鯖

▽**ねずみ**く除の毒だんごを民生課でお世話します。

▽**自衛官募集**で、12月15日まで願書を受付けています。満18～25才までの男子。試験は明年1月18～31日。入隊は、陸士3月末、海空士は5月以降。自衛隊**生徒**は15～17才で、中学卒業(見込)の男子。願書は12月15日まで。航空操じゆう学生(幹部養成)は、明年4月1日現在で18～20才の高校卒業(見込)者、応募は1月14日まで。くわしくは総務課庶務へ

▽新しい成人者に対する健康管理の目的で、診断が行われます。レントゲンの間接さつ影、肺活量の調査をやるほか、**血液型**の登録もやるのです。これは純血尊重の気持を高めるためで、純血の証明があれば結婚のときも好都合です。一般の希望者の参加もよろしいです

大内議事堂=5日、仁保中=6日、小鯖公民館=7日。10～14時まで、公民館の主催

▽**ジフテリヤ**の予防と種とう。最近ジフテリヤ患者が出ています。学校へ入学するまでに免えきがなくなるので、生後6～12月のお子さんと明年入学する児童が、がい当者

ジフテリヤ

6日午後1～3 大内
20日 〃 〃〃

明日に希望をかけて

こんな被害を受けたことはなかつた――と老人が申します。それはどひどかつた今年の災害に、皆様さぞやおなげきのことでしょう。心からお見舞を申し上げます。しかし今年のようなことも、めつたにありますまい明日に希望をかけて、楽しい生活をきづかれるよう期待しております。被害の大きかつた方には、町民税を軽くするか、納期をのばす方法があります。この方法によつて、苦しい現在を切りぬけていただきたいのです。

☆

ご希望のお方は、まづ申請書を本庁の税務係へ出していただかねばなりません。期限は今月の25日までです。申請の書類は受付の場所に備付けてあります

被害のひどい農家は税も軽くできる

申請書を出される方は町がきめる〃税の減免基じゅん〃にあてはまらねば資格がないのです。

▽出される書類は

町民税の減免申請書一通、徴収ゆう予（分納）を申請する場合は、徴収ゆう予（分納）申請書を一通。どちらの場合も、申請をする理由とそのことを証明する書類が一通いります。

〃減免の基じゅん〃は、収かくが全然ない場合は全額免除、今年所得が**8割以上**へつた場合、(1)昨年の所得が15万円にならない人‖所得割の2/3以内を免除、(2)15万円～40万円‖所得割の1/2以内免除、(3)40万円以上‖所得割の1/3以内を免除、**5割**以上へつた場合、(1)昨年の所得が15万円以内‖所得割の1/2以内免除、(2)30万以内‖1/3以内免除、(3)30万以上‖免除なし以上どの場合とも納期の過ぎたものを除きます。

▼今年は淋しい勤労感謝の日でしたが、明年こそと働きぬく仁保、丸山大方の岡部豊子さんの働く姿。

災害対策は着実に進む

特別委は連日県へ陳情

災害対策で、今日までの交渉の結果はつぎの通りである。もちろん私達の現状に、充分満足のゆくものではない

災害対策は活動の重点をゆう資においてきたが、現状はどうなつているか。天災法による地域指定は、少し遅れるので目下のところ6分5厘の融資を行つて、後日さかのぼつて3分5厘にきりかえることになろうが、いまだかつてなかつた災害に、対策委員や推進委員はけん身的に努力を重ねている。

本町の融資見込額は2千700万であるがこの決定は大巾にへされるようだ。ただ昨年までの借人金はしよう還を一年延期することになつた。等外米は無制限には買上げないが、食糧検査官にとどけてある見本程度のものは買上げることになつた予約概算金の返納延期は、北海道なみになる見込だが平年収かく量の3割以上の被害を受け、売渡数量が予約の2割にとどかぬ被災農家にかぎられるようだ。

県庁前にずらりならんだ陳情団の3輪車26台

自農資金は町へ700万

自作農のい持資金は1億円の要求に対し、県段階4千万円が決定し、大内町では733万がパスした。7千万円になる見込は目下のところ大きい。予約米の数量変更は、作物報告事務所の資料で実収をつかむという回答だが、県段階で12万石を要望している。肥料、農薬代の助成は、見込が困難である。国会に対する働きかけは、地元選出の国会議員が、超党派的に努力しており、対策は当初考えられたよりも、幾分明るくなつてきている。

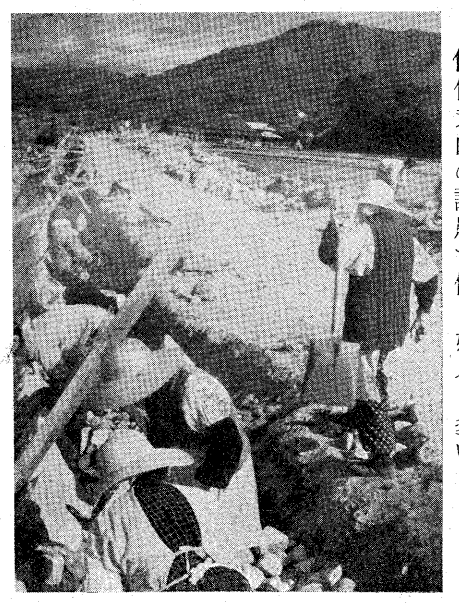
山口税務署では

税金をへらす申請書は、提出期限がせまつているのと、個人別に受付けるのが困難なので、町長が一かつし連名で申請することに了解がついた。11月24日産業課の減収資料にもとづいてつぎのように税務署に提出された。（　）内予定納税者、大内79名(224)仁保16名(69)小鯖32名(112)減収が3割以下の分についても実情にそつて努力すると、税務署は確約した。

救農に砂防土木事業など

労賃の収入を見込む

仁保丸山の護岸で働く婦人も多い



救農事業を起すといつても、町単独でやる事業には大がかりなものがないしたがつて、国県などの事業のうち、大内町の区域内で起せるものをかく得するのに重点がおかれる。それも労賃収入をはかるのがねらいだが、砂防や土木工事などがいま町執行部で計画されている。

県関係の土木工事で決つているものは、仁保川助成（6千名）浅地川3ケ所（1万名）仁保川一の瀬、仁保川井久保（1千名）小河内川砂防（2千名）防府―山口線改修。

町の関係で決つているのは、舟ケ頭頭首工(100)舟ケ頭の橋(100)市ケ谷の橋(100)八王子橋(30)宮野線道路(120)渡瀬川護岸（140)鬼ケ平橋(160)地吉道路(160)菅内河川(130)叶木道路(120)渡セ川河川(110)稔畑線整備（2千）九門の橋(120)新井手頭首工(1,500)松尾線改修（300)小鯖下郷山手線改修(400)―（　）内は必要と見込まれる延人夫数

大はばに山林事業も

県の砂防工事で小鯖一貫野、稔畑が決り、2年で700万本年度300万をかける。この事業で延6千800人の労務が必要になる。

町が行うせき悪林改良事業は小鯖と仁保で、延4千名を必要とする。小鯖あし谷の林道は明年度だが300万の事業になる。

こうした事業の**労務につきたい**方は、支所および民生課に申込んで下さい。11月20日から受付けています

工業統計調査

12月31日現在で、通産省の工業統計調査が行われます。今月20日頃から準備調査に動きますから、農機具製造業や製材業の方は準備をお願いします。

ほんやり出来ない

うつかりしていると、とんだことになるぞ――とこの頃感じ出した。少しノイローゼ気味かもしれないが、肥料を考えてみた。最近便利がられて普及したのに化成肥料がある。仁保農協でも、今年稲作に1万貫ほど出ている。ところが肥料成分を単肥と比かくしてみて驚いた。単肥を配合して成分を割出すのは成程面倒だが、きりとて化成肥料は家際の成分を計算したら案外な数字が出る。組合化成で計算して113円高くつく。ともえ化成でやると、312円の割高だつまりこれが配合賃というわけか。組合化成3号の値段820円を、単肥にかん算すると、窒素は石灰窒素を基じゆんにして276円、りん酸は過りん酸にかん算して315円、カリは塩化カリで計算して96円となる。その差が113円だ。1つのカマスではわずかだが、経営面積全体にすると、この数字なかなか馬鹿にならぬ。

今年の農薬も考えると不思議だ。あちこちでも話を聞くが、さつぱり効き目がなかつた。努力してだまされたといつた感じだ。価格はどういうふうに決められるのだろうか。生産原価は非常に安いとの話も聞いた農薬代が反当千円以上かかる現状では、効かない農薬こそ、大きな問題だ。

農薬にせよ肥料にせよ、生産資材を安くすれば、米の値段も下げられる。私達は米を高く売りたいんじやない。安く生産したいのだ。このことを、いま私は力一ぱい叫びたい。そして、全くのところ〃ぼんやり出来ない〃としみじみ感じている。

（仁保牧川、**田川三徳**　26）

縣政だより

▽県下の山林面積は、約42万8千町歩で、県全体の面積のだいたい70%あまりに当ります。しかし中には、ハゲ山や竹やぶなどが8千町歩もあります。その上毎年、相当な面積の伐さい地が出ています。

▽そこで県では、森林資源を育てて治水や増加している木材の需要に応じられるようにと、今年から35年度まで造林を始めることになりました。この5年間に10億円ばかりかけて、3万8千町歩の民有林に松、すぎ、ひのきの造林を行うことにしたのです。

▽この計画が立派にすめば、これまで県が援助指導してきた民有林の造林面積は、9万300町歩にも達します。

▽今年度は、明年3月までに2億1千万円あまりかけて、8千町歩の造林を行う予定になつています。

▽県ではこの計画にしたがつて造林される方に、必要な経費の平均4割以内の**補助**を出すことにしています。また県下にある1千141ケ所の苗ほでは、健全な苗木をたつぷりと用意して、皆さまのご便利をはかつています。

造林事業にうんと腰を入れて、県下の山々を緑でうづめていただきたいものです。

空巣ひんぴん

農繁期をねらつて空巣も各地にあつた。大内氷上の長谷喜和蔵さん宅では5日に米と自転車。このドロ公小郡で御用。14日には小鯖鯖地の熊崎隆季さん宅にニセ大学生が入り、現金、指輪、合オーバーなど。近所の人の協力で、難なくたい捕。同じ日に石畠の古屋静雄さん宅も米3俵やられた

納税組合は便利

小鯖の下鯖山に今年4月から、千坊に7月から納税組合が活動している計画がたつてなかなか便利だと評判がよい。下鯖山の組合長は末永渥美さん、千坊は山本喜之さんだ。

早期栽培を協議

大内上矢田の七草会は、毎月7日に集つて農業経営を検討する真面目な団体。今月は稲を早期栽培にきりかえる相談をした。風害にひどくやられた今年稲作の反省の結果だ。この分でいくと早期栽培は流行しそうだ共同炊事で有名なこの部落は冬の間にせまい炊事場をひろげると――そんな計画も聞いている。

野球は仁保Bが勝つ

台風にたたられ、そのつぎには雨にたたられてご難つづきの野球大会も25日文化祭の当日やつと実を結んだ。この日仁保小学と中学のクラウンドに分けて、各地区のABチームが戦つた。寒い風のふきまくる中を、地元勢よく戦つて、ついに仁保Bチームの上に栄冠はかがやいた。

カゼが流行

今年のカゼは悪性ではないがうつりやすい。人にうつすとなおるなどとんでもないこと。熱は出ても45日程度で、のどがはれ鼻がつまる。セキはあまり出ない。予防はウガイをすることと、睡眠不足や過労をさけること。

無料で診察

今月中ごろ、役場で無料診断がある。内科小児科で、簡単な処置や投薬もある。医者にかかる費用などお困りの方は、この機会をのがさぬよう、すぐ民生課へ申込を。

納税の表彰

5年間つづいて期限内に納めた人々が、山口税務署から表彰された。大内地区で江藤清氏、川口勇吉氏、吉野清次氏。仁保では寺内好一氏と山本辰熊氏。

出来ない相談

年賀状の特別取扱（つまり元旦の朝とどくようにしてもらう）は28日が期限になつている。ところが毎年29日か30日になつて――ぜひ何とか――という人が多いそうだ。早目に出す分は結構だが期限すぎではねーと郵便局はツライ顔。

ついでに今年の年賀ハガキは、4円と5円とあり、お年玉のクジ引はどちらもあるが、4円は早目に売切れるだろうと局の話。さあお早いが勝ち

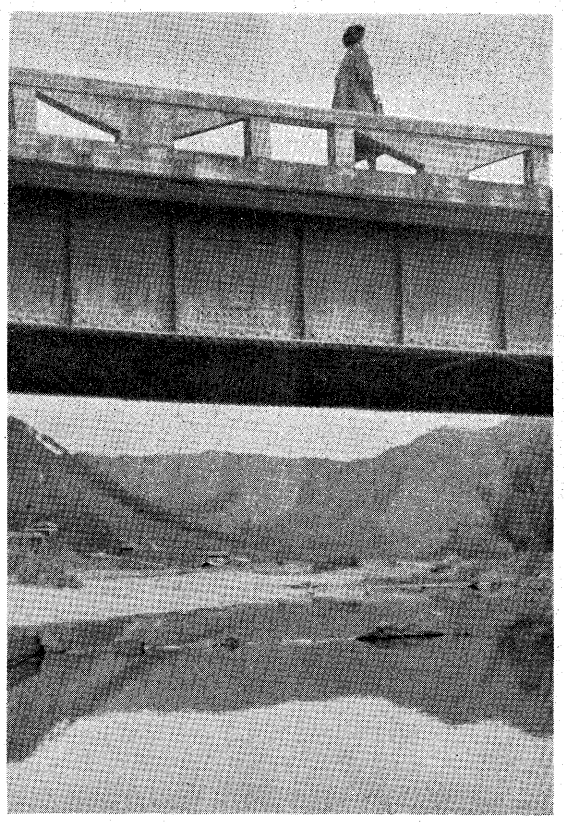
◎色々な話題を、どうぞ編集者までおよせ下さい

話題を拾つて

大内町広報

昭和32年1月10日
第19号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社



皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう

災害のいたでを乗りこえ

近来にない打げきを受けた悪年は去つた。今年こそと、昭和32年にいま私達は、大きな期待をかけている新農村建設の事業が、日一日と具体化してゆくであろうし、色々の意見のくい違いをも、一本によりあわされて大きな力に育つてゆくであろう。そうした新年への期待をこめて、今年一年の抱負を、町長と議会議長にたずねた。以下、抱負を語る年頭の所感である。

町長　須予勝平

〃日暮れて途遠し〃これが合併三年目の新春を迎えて感じたことであつた。過去二年合併の恩恵をへき地にまでおよぼすことを念願として努力したが、思うことの半分も出来なかつた。一貫野、檜畑にバスを通しある程度道路網の強化は実現した。通信網の整備も計画したが、財源の関係と、別に急ぐ仕事もあつて、また併後の新たの日に期待をかけている状勢思うほどのことが出来なくて、相すまないと思つているが、いつかはきつと実現させたい。

今年度は、仁保地区の新農村建設事業をすすめ、大内小鯖のそれも計画を完成させたい。建設計画としての教育施設の整備、通信交通網のかく充、産業の大はばな振興などの諸問題も合いと強調された。

議長　清川忠雄

町が発足して二度目の新春を迎えた。三つ子の魂は百才までというが、今年こそは町政の根本的な計画を掘りさげたい。特に昨年農林省が着手した新農村建設事業も、私達の総意を基盤として、実施に移す段階となつた。

今年は実施要項の中に、〃会合には全員が参集し、時間は必ずキチンと守る〃ことを、加えていただきたい。すべてはここから始まると思つている。

新年おめでとうございます

力をあわせて豊かな町造りに
今年もガンバります

大内町長他職員一同
大内町議会議員一同

町政の動き

町税のたい納が637万

昨年12月17・18日の2日間町議会が開かれた。30年度才入才出決算が認定されたが、（この内訳は次号にのせます）特に町税の滞納が指摘された。つまり30年度（昨年度）の町税が、豊作であつたのに89％、403万の滞納があつたことだ。それ以外に29年度以前（旧村時代）の滞納が234万円あり、この合計は637万にも達している。今年は不作でもあるので、この数字の消化にはよく実情にそつて善処してほしい手数料になつている。追加更正にあてる財源は、財産売却（主として立木）で550万、耕地災害と土地改良の地元負たん金が110万、補助金で国から154万（土木耕地の災害復旧へ）、県からせき悪林改良として148万となつている。

26日の臨時議会では

政府ゆう資が541万と、借入希望者の金額に大きくへだたつた決定を見たので、1千万円を限度に、各地区農協からの災害融資に対し町が利子補給をする条例を議決した。

追加予算1千万

この度追加された1千14万を加えて、本年度の予算は総額1億444万になつた。内訳の主なものを拾うと、土木費の橋の新設改良（法雲院橋他5件）が55万災害土木（31災叶木線）で15万7千円。共立の伝染病院費に29万、耕地事業に306万、財産費でせき悪林改良（46町歩）に230万財産管理費に307万。この内、部分林の分収金が232万出る。残りは町有林売却で森林組合に支払

勉強が大切

→町費補助で今までに（約½補助）6台の消防ポンプが入つた。

15と17馬力で、手軽に移動出来る小型ポンプだが、偉力はなかなか馬鹿にならぬ。式はトーハツ、ラビッド、中央の三式。大内地区で菅内長野、小鯖地区で毛割石畠と檜畑、仁保地区では一貫野と丸山に備えつけてある。12日の出初式は昨年とうつて変つて見事なことだろう。

写真は、何よりも勉強が大切と、氷上河原の小鯖分団。

融資と共済金など3千万円

自農資金の他はしようかん2年

は541万と決つた。この他に農業信用協会の保証と町の利子補給で、農協より1千万を、経営資金に融資することになつた。天災法の特別地域指定が今のところはつきりしないので、一応1千541万円は、一りつに6分5厘の利子で2年のしようかんで貸付られた。地域指定の決定をまつて、災害の状況により3分5厘と5分5厘に引下げられ、差額は町が補給することになる各農協のスピード処理によつて、この金は旧年中に希望者の手に渡つた。内訳は大内が601万、小鯖が477万、仁保461万だが、この他に性格は異るが自農資金749万、共済金約1千万円が入る。当初の申込希望額と比較して700万ほど不足するが、申込者は全部希望に達しないまゝ融資は受けている。この計算には、減収率の多い方から順位をつけ農協、農委、役場が3者一体で当つた。

天災法による政府ゆう資

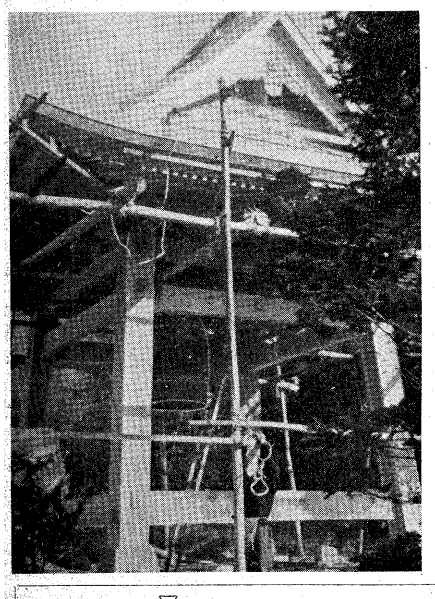
すくすくと若木よ育て！

小鯖は今年も＝成人式＝

新春早早有権者の仲間がふえる。15日午前10時から小鯖小学で成人式が行われる。悦びの若人は277名で（大内＝128、小鯖＝51、仁保98－当日は午後山大防府分校岡田岩吉講師の講演がある。毎年贈られるふゆう柿の苗木は、準備ずみだ。昼食は小鯖婦人会が、母親の愛情をこめて作ることになつている。

見事成つた興隆寺の鐘堂

――400年前の秀作――



氷上山興隆寺の鐘は、除夜以来鳴りひびいている。この銅鐘は、昭和13年9月に重要美術に指定され、目下重要文化財としての申請中のものである。享禄5年（本当は天文元年）で今から426年前の製作。高さ6尺8寸、龍頭1尺3寸、口径4尺6寸、重さ約500貫と推定される。銘のなかに、多々良朝臣義隆の字が見え、大内義隆が作つたものとされている。鋳造地は福岡県遠賀川口の蘆屋で、日鮮合流の様式をもちフィゴ式に特色があり、乳廓の間に四天王の像がある。

有権者8千657名

12月20日現在で確定した大内町の有権者総数は8千657名であつた。地区別の内訳はつぎの通り。

地区	男	女	計
大内	1,618	1,807	3,425
小鯖 〃	1,010	1,158	2,168
仁保 〃	1,457	1,607	3,064
大内町	4,085	4,572	8,657

昨年は男子（4,166）女子（4,570）名で男子は81名へつている。

町政メモ

12月

3日　新民生委員の初会合。今後の活動方針を協議する。▷農業委員会。31年産米の政府売渡数量の変更について、農委の意見を求めたところ、町の決定通りに異議なかつた

4日　引揚者大会が大内小学で

8日　県農試で、国民科学講座の中央講座

9日　史談会が上矢田公民館で会合　▷鯖山禅昌寺で、郡女青の協議会

11日　社会福祉協議会が年末たすけ合い運動の方法を協議

17日　国民科学講座（小鯖）

18日　〃（大内）

19日　〃（仁保）

17、18日は2日続いて町会

23日　郡青年団の産業教育振興発表大会を大内議事堂で〽乳牛の飼料対策〽で大内の江藤幸男君が3位入賞

24日　教育委員会

26日　臨時議会が、災害ゆう資問題で終日

28日　仕事納め

1月

4日　仕事始め

7日　議事堂で厚生会の総会。受田代議士もはるばる参加

9日　新農村建設計画で小鯖、大内の部落代表者集会

10日　総務、文厚、教委の合同協議会

大切な財産がむざむざと

この川の流域には、私達の大切な財産――山林資源が眠つています。この川（仁保川）と、いま一つの問田川流域の山林が、時価よりうんと安い値段で売られています。時には半分に近い値段で……

町林務課にお申出になれば、時間と事情の許すかぎり、材積の見積りなどもしてさしあげます。

1月の予定

▽史談会例会を、13日（日）前9時より、大内女子学園にて。会費200円。山大助教授松岡利夫氏の〃正月行事の民俗について〃の講演

▽**産業**関係で、22日養鶏講習会、町議事堂で午前9時から、24日仁保農協で、施肥設計の説明としいたけ栽培の講習会。25日に水稲の早植栽培の講習会を小鯖石畠で。時間は夜、場所は公民館です。関心のある方はぜひどうぞ

29日肉牛の講習会が仁保農協で。前9時から講師は県の種畜場長。当日は実物について指導を行う予定です

▽**県民税**（第四期）
町民税（〃）
納期は一月末日までです。どうぞ期限内にお忘れなく、早目に

▽**保育園**入園者の申込受付を1月20日から開始します。民生課備付けの申込用紙に記入して出して下さい。入園児の数は44名です

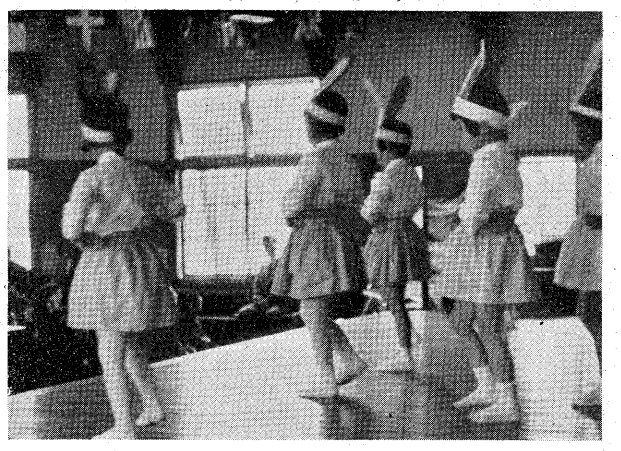
▽寄生虫の**検便**を行います。21（大内）22日（大内）23日（小鯖）25日26日（仁保）12指腸虫がいると、貧血を起して色色の病気の原因となります。子供にいる場合は発育を悪くします。

百日ぜキ予防注射を、10日30日（大内）11日31日（小鯖）8日29日（仁保）で行います。

ジフテリヤの予防を、22日（大内）24日（小鯖）16日（仁保）

▽国民科学講座の中央講座を、県農試で21日開催の予定

60周年記念日に楽しくおどる大内小の子供



楽しく協力的な
家族会議はいかが

「漫画を読むな」とひったくっても、読みたくて読んでいる子供には、反感だけが残ります。中味について話しあい、漫画本の中にもいいものとつまらぬものとがあることが解れば、それだけの進歩です。遊びでも読み物でも、何をどう…というのでなく、どんなに…という親の話し合う態度があれば、子供達はどんなに嬉しくまた張り合いのあることでしょう。

▽お互い親たちは、子供の失敗した時に、さんざんおこったり反省を強いたりして、無理にしかもとつさに改善計画を立てさせようとします。そんなときに立てた計画はたとえ改善という美名をつけても、子供達にはいやな後味が尾をひいて不愉快なものです。

▽そんなことより、自主的に、子供達自身が計画をたて、この一年はこうするーと実行によつて自信と勇気と持久力を育てていつたら、子供達にとつてもどんなにやりがいのあることでしよう。それも家族全部が集つて、楽しく協力的な家族会議が開かれたら、そのふんいきの中から、子供達ののびる力が自由に発きされてくることでしよう。

根を降しはじめた改善結婚

菅内公民館で、ごく質素にすました。近くまた2組あるが同様改善様式でやるという。中堅指導者が会合して、今後は全部これでゆくと、**カタク**申し合せて以来、もはやはつきりと根を降した。

およそ結婚改善など、ていの唱してもさつぱり効目のないものだとされていた。それが私達の弱点に結びついている以上、カンタンに実行され難い要素もあるが、少しづつ根を降しはじめた。年一年と苦境に追込まれてゆく農家経済が拍しやをかけている条件でもあろう。青壮年そうの発言が、建設的な実行力をおびてきた点にもあるだろう。

仁保上郷は早くから、改善結婚が芽生えたところだ。最近でも、大畠の藤井明夫妻は、1万2千円位で35人客を公民館結婚の方式で

大内の菅内部落でも、昨年暮2組の改善結婚が行われた。どちらも費用は2万円とかからなかつたようだ。この部落でも、改善様式以外は考えられないという。始めやりにくくても、すぐ普遍化する方向の案外な易しさを、やはり示している。

菅内といえば、大内地区のへき地である。農繁期でも毎土曜青年の集いが会合を続けていると聞いて、昨年暮いてついた寒空に星のまたたく夜、この集いを訪れた。ここにかかげられた灯は、恵まれない農村の片隅を照して、小さいながら健康な息吹きを感じさせた。

へき地にかがやく灯

部落の理解に守られ

菅内では、公民館の他にちやんと青年の集会場を持つている。粗末ではあるが独立した家屋である。若い人達が、現実のみじめさにいじけずに希望をもち続ける原因は、部落の温い理解に守られていると感じた。それは、菅内の大人の口からも、色色な形で表現されている。愛情の深さが、青年達に〝一つの灯〟をかかげさせている。青年達はおおらかで明るいが、従順にすぎるきらいもある。地形的にまとまつて、よく団結する習慣が、こうした傾向を生んだのであろうか。

結婚改善は常識

結婚の改善をこの部落でいうことは無駄である。それほど、生活にとけこんでいる。新生計画で作つた部落計画にも、結婚改善の規約が細かく決めてある。つまり申し合せたことが、確実に守られていることだ。〝菅内部落在住者は、自分自身の自覚と責任においてこの結婚改善規約を実行する〟と規約の第一条に書かれている。自覚と責任において申し合せたことは、まさか破られもすまい。どつしりと改善結婚は根を降した。この規約にもつてくるまでの苦労が、菅内部落では知らないが、他の部落は易しくないかもしれぬ。が一つの例を菅内は教えてくれる。

この他にも生活環境の整備で、防火施設をととのえることは、小型動力ポンプを設備した他は、目下計画中である。非常の場合の水の便が極めて悪い菅内は、永い間の頭痛の種であつたまだある。部落専用電話の開設か有線放送の実現を研究中である。これもへき地〝菅内〟のなやみをよく現している。幹線道路、農林道、用地の交換などは、町内各部落の新生計画と、共通点がたくさんあるから紹介するまでもない。

青年そうを主軸に

こうした新生計画の実現に、青年そうを重視しているところにこの部落の特色がある。もちろん部落計画の実行は、部落全員の総意ではあるが、つぎの世代を背負う青年への激励と理解があふれているところに特色がある。青年達にたずねたところ〝広い交際がほしい〟という結論が出た。それは恋愛にしても、結婚にしても、部落造りにしてもであつた。こうして結ばれ合い、話し合つているうちに、農村のみじめさを打開する、団結を求めていた。農業の恵まれないのに、一すじの希望を抱き続けていた。ある青年、山口大学の農学部に在学していたが、国民の食料を作る誇りの上に、一歩一歩将来を打開してゆこう。卒業したら、必ず土に帰つてくると語つていた。いろりはあかあかと燃え盛つて、話はつきない笑い声の中から

一つの灯

活動的な青年そうのあるところ、必ずもえ上る叫びがある。ここ菅内の青年達の若若しい集いに郷土を愛する者達に幸あれ

今年は何か生れてきそうだ。ひたむきに

写真はいろをりかこんで

上矢田　坪井一郎　33才

話題を拾つて

人知れぬ苦労がある

この寒空に、深夜警らの警察官の苦労は大変なものだ。特に交通のはげしい小鯖、大内地区では二人の駐在さんが11時～午前2時まで月に8回も廻つている。4日に一度だ。枕を高くするかげに人知れぬ苦労がある

立札泥棒を走らす

ガンピ、花しば、松たけと、山の幸もなかなかに多い。勝手に山に入つて荒すのに業をにやした山間部一貫野、叶本、簸ケ尻では昨年夏から防犯組合を結成したが、成績は上上。つまりあちこちに立札をしたのだが他の地区でもマネたらいかが

雲をつかむ話

昨年の11月15日大内下矢田より国鉄バス秋吉行に乗車し山口で下車した婦人が、車中で金側時計のフタを落したと。何でも亡き母の形見とかで、大切な品。そのフタが出て来て、山口の国鉄事務所に保管中だが、この婦人はたして町内の人ですかね

卵買い問田をよける

大内問田で、12月から鶏卵の共同出荷を始めた1週間30貫で。規模は大きくない。組合の手数料をとると、せつかく盛り上つた団結がくずれると役員10名は無報しゆうで働いている。おかげで卵買いは問田をよけると

アカアカと防犯の外灯

小鯖の矢地では、部落中が相談して外灯を2ケ所。盗難予防にどんなもんだいと、鼻息は荒い

これで浮ばれる

仁保駅のすぐそばのトンネル工事で24名の犠牲者が出たのは大正3年のこと。毎年やつていた慰霊祭が、中絶してもう久しいが、昨年12月23日仁保仏教団（各寺が集つて団を作つている）の肝入りで復活した。浅地部落の人達と保線区、駅員さんなどが集り、盛大に行われた。しかしこの鉄道、仁保上郷を通つていたら、24名の犠牲者も出ず、交通上どんなに役立つことか、ああ追つかぬ話

引揚者大会

12月4日外地から引揚げた人達は、おたがい助け合うことと、在外資産の補しよう問題で、大内小学に大会を開いた。写真は決議文が朗読され、拍手がわいた一瞬

▽本県は台風襲来の都度人命や財産に大きな損害を出しています。25年から31年までの災害で、土木施設の復旧事業費総額はこれまで工事を終つたものも含めて県の行う工事で128億円余、これに市町村の行う工事を合せて205億円余という、途方もない額です。

▽この復旧に、県や市町村は困難な財政事情のもとで皆さまの福しを計るため最大限の努力をしています。

復旧計画によりますと、25年災害はこの3月末までに、26年～30年災は昭和35年度末までに完了させる予定です。特に30年以降発生の災害については、法律の改正で査定総額の7割を3、5、2の比率で3ケ年以内に早く復旧することになり、前途は一段と明るくなりました。

土木災害の復旧は進む

▽ところで今年3月末までに施行する県の工事は11億2千余万円で、30年度までに実施した分を含めると、25年～30年災害全体の約8割の復旧が完成します。3月末までに皆さまの町で実施予定の県工事は次のとおりです。31年災は国の決定をまつて地区がきめられるので、現在のところ、申し上げられません。

災害年度	種別	所数	費用
25	工事	2	179万
26	川路	1	53
28	川路	2	106
29	川路	4	124
30	河道	9	1,520
	河道	1	29
	河道	1	106
	河道	1	33
	河道	3	174
	河道	1	18

慢性保菌者

伝染病が、近年大量に大内町でも発生している。しかも秋から冬にかけて。

これはクロマイの使用にあると考えられる。少量を素人に広告するのはおかしい。あの大宣伝は医者が目当てでないことは確かだ。

そこで問題はつぎのことにある。昔はそれほどなかつた療法して効かないために慢性ない人が多い。

何か体力の抵抗が衰えた時に、偶発的に出てくることが今年の患者数や発生状況を見てうなづける。

クロマイを日頃使用していると、抵抗が出来て、実際必要なときにさつぱり効果が少いようだ。

薬局などで買つての素人療法らしいが、国保を使えば4割安くなることも案外御存知

私のすいせん

世界中で日本人ほど薬の効目を誇大に信じている国民も少い。いやそれよりもさらにコッケイなことは、薬の誇大広告だ。当然医者と相談しなければ使えない薬が、新聞、ラジオに堂堂と広告されているのも不思議な話。

成程申し訳に、使用の際は医師と相談下さいと、小さく断つてあるが、それなら一般

▼才末助け合い

うんと集る▲

米で5石、金で1万6千円ほど集つて係はエラク感激しています。早速このお志は、町内70世帯の人人と、施設収容者（養老院や育児院など）30名に分配されました。また一部をさいて、北海道の気の毒な農民に送りました。ご協力を心からお礼申上ます。

大内町広報

昭和32年2月1日
第20号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

正月以来セキリ4名

昨年の患者が86名も。町の患者に対する負たんが72万円です。川の水、蠅、ねずみ、あぶら虫とばい介がいろいろある中で、手を洗うことが最大の予防です。冬でも患者が出ることは、可なり保菌者がいると思われます

広報コンクールへ全国

県のコンクールで、特選となった〝大内広報〟は、東京の全国コンクールにいま参加しています日頃の温い協力のたまものと、厚くお礼申上ますどうか今後とも、私たちの広報に卒直なご意見をお待ちしています。

固定資産税（第4期）

納期は28日まで早目にお納め下さい。

力一ぱい成人者の合唱

小鯖小に若さあふれる
―新成人者健康も優秀―

講堂一ぱいにみちた若さ――1月15日の小鯖小は、3地区から集つた新成人者でにぎわつた。昨年行われた新成人者の身体検査の報告では、優秀だと折紙がつけられた。血液検査も全部が陰性で、悪い病気を持つた人もなかつた。

午前中式を終り、山大教育学部岡田岩吉講師の講演をきき、記念さつ影、昼食意見発表、はてはレクリエーションとしてのフォークダンスと、全く忙しい一日だつた。

江藤幸男君入賞

産業振興青年弁論大会で

大内長野の江藤幸男君は、県下で一位に入賞の栄を得た。題は〝乳牛の自給飼料対策について〟

待望の映写機入る

婦人会員が1升出しあつて購入する16ミリ映写機は近く入る会員のよろこびは大変なもの

町政の動き

新中學の建設決る

今年になつての定例第1回の町議会は17日に開かれた。この議会で、かねて合併のとき建設計画に組まれていた新中学の建設がはかられ、議会は満場一致で承認した。総予算5千203万円、建設の期間は33年度まで。31年度内に敷地を買入れて、32年度（4～明年3月）に普通教室や特別教室を建て、33年度に屋内体そう場と、管理室の一部が建設される計画になつている。

国の補助約2千万

この中学（仮りに南中学と呼んでいる）の建設に要する資金5千203万の内、国からの補助が約2千万円、起債によるものが1千980万円、純すいに町費で負たんするのが1千227万に及んでいる。この町費負たんは、ほとんどが町有林の売却でまかなわれる。今年度中に敷地を決めようと、去る25日にも教育委員、町議会員の実地調査を行つたが、候補地は5ケ所あつて、どれも一長一短があり近く決定を見るであろう。この補助金については国家予算が当初文部省の要求額の1/3におされているので、これの獲得には最大の努力を要する。

新農村建設へ

30日町議事室で開かれた大内小鯖地域の新農村建設振興協議会には、各部落の推進世話人の代表者も集つて熱心に質ぎ応答が続けられた。この日、県からは知事顧問の飯田恒男氏（県山林種苗協同組合常務）が特別に出席し、山村関係の事業に例を引きつつ、新農村建設計画の基じゅんに合うためには、どうすればよいかを、解りやすく解説してもらつた。新農村建設――と一口にいつても、なかなか趣旨が解つてもらえない現状なので、より一そう理解して、計画の一つ一つにも、部落の温い協力がゆきわたるようにと、部落懇談会の計画は、満場一致で決定された。（日取りについては、このページの8・9段を）

各種団体がこの趣旨普及の運動に参加し文字通り町をあげての盛り上る力にしようと意気込んでいる。

ガラリ変つた消防
全部が機動化

旧式の手押しポンプは、今年から完全に影を消してしまつた。1月12日、出初式は、大内下矢田の氷上河原で、例年のように行われたが、団服に身を固めた団員が操作するガソリンポンプで、様子は昨年とガラリ変つた。水の勢いは強く、エンジンは自力で快適なうなりをあげるし、団員の顔にも、長年不充分な機械に我慢してきた不平が、ふつとぶばかりの明るさがあつた。当日永年勤続で表彰された氏名は（敬称略）

大内、松下友一、長尾勝雄、岡本繁美、岡本弘、澄田積、藤村高安、山村美卓穂、臼屋寿一、吉松米二、瓜丸繁治、林初男、中野常一小田夏雄

仁保、山根一孝、沖原利夫、竹下正、千々松実、岡村辰夫、高木進、山根清、有吉正光、山本勝、伊藤知光、藤村勉、伊藤正頴、岡邦男、

小鯖、田中一清、丸山順治、原田幸一、清水頼道、渡辺伝次、原田勲、原田研二、黒瀬幹夫、山本忠義、柴崎和由、金谷功、徳本正――以上38名

機動化されて、実際さながら→

写真上下とも12日の出初式

真剣味のこもつた演習には、見物人が感心していた。

これこそ縁の下の力持↓

つつ先にぎつて火に向うのは勇ましいが、寒い川水にホースを洗うの、楽じやない。

善意の親黄色い羽根でアジアの

戦後11年たつても、まだ東南アジア諸国民の、日本に対する憎しみは消えていません。この憎しみが、理解と協力に変るには、長い時間がかかるでしようが、いつも誠意を示して信頼される日本にならねば、私たちの将来の幸せはありません。今年から始まつた黄色い羽根に、深いご理解をいただきたいのです。

各種團体が協力
積極的に部落懇談へ

大内、小鯖地区の新農村建設振興協議会で決つた部落懇談会の予定はつぎの通り。

日	午後		夜間
1～5	時	7～11	時
6	小鯖	8	大内
1	区	区	小野
2	〃	9	〃
3	〃	10	〃
4	〃	11	〃
5	〃	12	〃
6	〃	13	〃
13	〃	7	〃
14	〃	8	〃
15	〃	9	〃
16	〃	10	〃
17	〃	11	〃
15	籔ケ尻	12	〃
16	御堀	13	〃
17	〃	14	〃
		15	〃
		16	〃
		17	〃
	大内	大内	
	区	区	
	菅内	下千坊	
	下千坊	高芝	
	高芝	上矢田	
	上矢田	岡田	
	岡田	大道	
	大道	茅野神	
	茅野神	殿河内	
	殿河内	氷上	
	氷上	川向	

町政メモ

11日　大内土地改良区の役員会
12日　氷上河原で消防出初式
13日　町史談会の例会
14日　遺族会長集会　▷国保の運営協議会
15日　成人式、小鯖小学で　▷小鯖公民館主催の地区碁会
17日　定例第1回の町議会
19日　土木委員会
21日　国民科学講座（中央）の最終回が農試で
22日　女性問題審議会、今年の母の集いの打合せ
24日　施肥設計としいたけの講習会が、仁保農協の2階
25日　町議、教育委員が合同で綜合中学の敷地調査　▷水とうの早期栽培の講習、小鯖石畠の公民館で
27日　小鯖鯖地の公民館落成
28日　公民館で稲作研究会、主催は小鯖農協　▷町内各学校長の集会、仁保で
29日　養鶏講習会が町議事堂で
30日　新農村振興の協議会が開かれ、今後の具体化を検討
31日　大内地区の遺族会役員会　▷課税対策で、山口税務署と農業関係団体代表とが種種意見の交換を行い、それぞれ3地区で開かれた

好況のかげに生活困窮者13万

◎昨年はかつてない好況の年といわれて、産業経済界は活気づきましたが、このうち5割あまりは医療費で占めています。

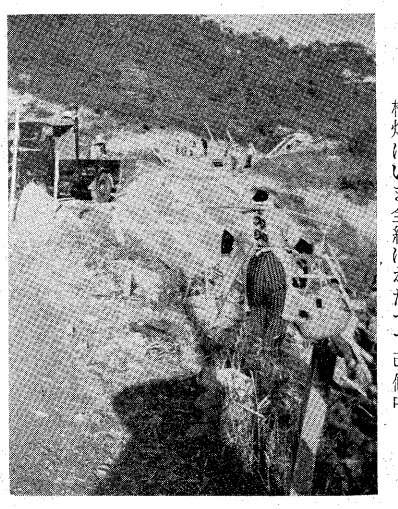
◎県下で生活保護法により保護を必要とするか、これに近い人が約5万世帯、人数にして12～13万人とみられています。このうち実際に保護を受けている人は、昨年11月現在1万2千598世帯の3万5千516人で、人口千人当り22人もあり、この数字は中国地方では第一位といつた有様です。

◎これらの人々の保護には生活ふ助にたくさんの金額をあて、今年も7億7千万円あまりをふり向けていますが、このうち5割あまりは医療費で占めています。

◎一方これらの人々の立ち上りを計るため、県下2千685名の民生委員が1人1世帯自力更生運動をくりひろげ、生業援助に尽力しています。また県では積極的に更生を援助するため、今年度500万円で生業援護資金の貸出しもしております。

◎父親のない母子家庭の子弟が就職する場合不利を見ないよう「身許保証条例」をきめ、知事が親代りになつて身許を保障してあげることにしております。三月の就職時期も間近にひかえて、お申出を待つています

こゝが一番の難工事



検畑はいま全線にわたつて改修中

200萬人の合祀で奉さん会が募金

大平洋戦で散つた人たちは約200万人。この人たちを今度靖国神社に合せてまつることになつたが、神殿造営の費用がかさみ、奉さん会ではその募金あつめに努力しているが、1戸100円を目標にしている。

2月の予定

選与

▽**教育**関係で、卒業生を送る学芸会を、15日―大内小、22日東園、24日大富小と小鯖小、3月3日に仁保小の予定生活科学講座（かん境衛生がねらい）5日―小鯖公民館、6日―大内、7日―仁保の各公民館、午前中は自家用果樹のセンティ講習

▽**衛生**関係で、ジフテリヤ注射が8日（仁保）12日（大内）13日（小鯖）百日ゼキは19日―仁保、20日―大内、22日―小鯖。妊婦の検診は21日―仁保、14日―小鯖、26日―大内。ジフテリヤが（8・12・13日にやれなかつた方のため）27日―小鯖、28日―大内以上時間は全部後1～3時まで。母子手帳でご存知のはずですが、ジフテリヤは生後6ケ月に達した乳児百日セキは生後3ケ月です

乳児の一せい検診を7日、役場で行います。10～15時まで、乳児は冬日光に当らぬことが多く、クル病にかかりやすいのです。レントゲン検査とあわせて、調べます

▽**産業**関係では、1・2・4日と仁保地区の施肥設計の普及、6日肉牛講習会（仁保農協）7日生改講習会（大内茅野神田）講師は生改普及員の友沢女史

しいたけの講習会、15日小鯖公民館で、当日の講師は県林務部のすいせん、後1～4時。小鯖地区以外の方も、どうぞ遠りょなく

無駄の多い私たちの周囲

昨年11月21日に始まつた国民科学講座は、1月25日終了した。中央講座（農試が会場）3回と各地区3回あて9回の地区講座を通じて、延千人が参加した。

体をけずつての労働

平均900カロリーが不足

私たちの今日の食生活がどうしたら改善されるかを、実情にそうて組立てたところに、今までの講習会と全く違つた意義とネライがあつた。立派な（それでいて実生活に合わぬような）講座を、半ばアキラメテ聞いていた今までと違つて、講座の中に私たちのありのままの全生活があつた。だからこそ

どうしたら実行に移せるか、真剣に対策をねる主婦たち

この講座から汲み取られたものが、引続き無駄の多い私たちの生活環境の中で合理的に処理されてゆかなければ、せつかくのネライもまた空しい。

この講座はまず現状の分せきから始まつた。なぜ農民は早く年をとるか。労働量からおして3～4千カロリー必要なのに2千100カロリー位しか取つていない。900カロリーが農繁期には不足する。タンパク、脂肪、炭水化物がどれだけ必要か、買わねばならぬものいくら、自給する気になれば出来るものいくらと現在の生活を基そに計算を進めていつた。

壁はいくつも

中、下矢田の共同炊事では安い経費で実際に4千カロリーをとつている。これからすれば、やる気なら改善されるのだが、現実には幾つも壁があるだろう。計算上1人に年1セの自給菜園が必要なのだが、それを確保することですら、一家の中で壁があるだろう。部落でも、――昔からどうにかすんどる――考えの反対があるだろう。勇かんにそれを乗り越えて行つて、この講座が現実に生きるか――問題はむしろ今後にある。

農民生活の向上

〝神武以来〟と好景気をうたわれても、農家所得は余りにも小さく、苦しい生活はいぜん不安定である。

今取りあげられている、新農村建設計画や新生運動で、農家経済自体が内部的に生活水準を高めることは出来にくいと私は考えている。

われわれは現在もまた将来も、生活向上への道が、いつも他産業によつて開かれることを肝にめいじたい。その意味で、私は農業や農村だけの問題で農家の生活を考えようとする意図は毛頭ないし、農本的な考えも持つていない。

農家に生れた人がひとが離農して現在以上によい生活ができるならば喜んでそれに従うことをおすすめしたい。その場合、郷土愛とか祖先とか、いわば経済外のことを、それほど考えるべきではないと思う。

事実、大きな流れはそうなのだから。同じように兼業が農家所得を高め、生活水じゆんを上げる道であるならば、ちゆうちよせずに行うべきだと私は思う。

それともう一つ、議会主義を立国の方針とする民主主義国家においては、政党を通さずには、構想を現実のものとすることができないことを今一度考えてみたい。

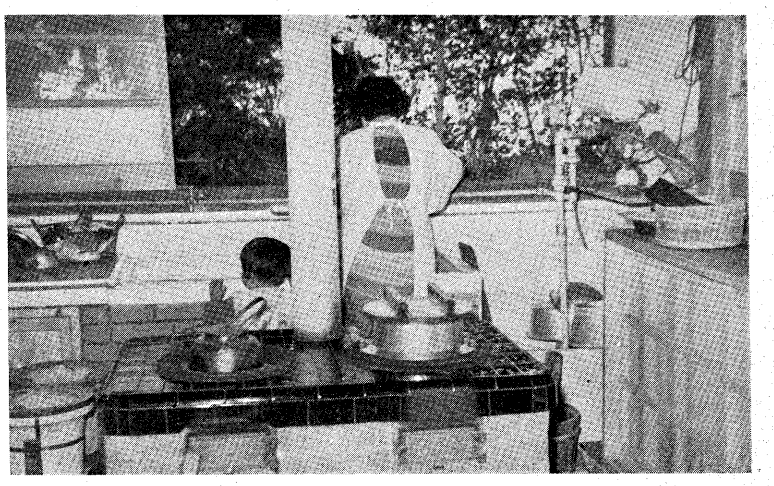
将来いつか、農民の1千万票が団結してこそ、我が子わが子孫の生活の向上は、まちがいなく出来ることを力説したい。

（小鯖1区　重宗徳一）

私のていけん

主婦たちは大喜び

部落中が台所改善



こんな台所なら、子供がいてもじやまでない

自動開閉装置のついたモーターポンプを申し合せたようにつけている。1万9千円位のもの。これがあれば水道と同じ役目をしてくれる。

小鯖桧畑上の部落は、ここ数年の間に台所改善が進んだ。24軒のほとんどが完了して、主婦たちは明るい毎日を送つている。経営は1町3反位が普通で、麦は3～4反といつたところだから、恵まれた条件というほどのものでもない。秋から冬にかけて山林の労賃収入があるが、改善の資金はこうしたものを貯えては使つていつたようだ。

一寸面白かつたのは、様式があまりにも似ていることで、特に独創的な配置は見られなかつた。もちろん土足のまま仕事し、隅に腰掛式の食卓がある。かまどは改良式で川村とか親子とかいつたぐいだ。

10日前に電気洗たく機が4台入つた。2万3千500円のもの。徳本力男さんのところでは、便所を改良式、そのうち太陽熱利用の温水槽を風呂に使う計画だとか徹底した話だつた。

改善前にくらべて、4割は手間が違いますね――というのが大体の主婦の一致した意見。だつたが、この部落のつぎの〝改善〟は何だろう？

嘉村磯太去つて25年

記念碑の話も起る

史跡と古文化

昭和初期の文壇に、流星のように光を放つて若死した嘉村磯太、その才を惜まれつつ彼が世を去つて今年で25周年になる。嘉村磯太が、大内町仁保上郷揚山の産であることは、案外に知られていない。しかし郷土が産んだ偉大な文学者を記念する石碑を今年こそは建てたいと昔交際のあつた人々の間で話が進められている。

こうした関係もあつて、2月17日の史談会は仁保玄塔院で開かれる。同院所蔵の文化財を実地見学しつつ彫刻の見方について、県教育庁の河野英雄氏、嘉村磯太の文学について、山口女子短大の大田教授から講演がある。

嘉村磯太の記念碑は場所は未定だが、最近、山の立木の売買がふえてきた。昨年の風害による経済的な痛手も大きな原因のようだ。伐採調整資金を農業再生産の資金に廻すことも、なかなかに便利な方法である。もちろんその必要のない方は、山林経営をより充実さしていけばいい訳だ。

史談会の会員も乗り気で、同会の今年の大きな行事になるだろう。実妹は目下実家に存命しておられる。

当日実物が見られる玄塔院の文化財は大仏と持国天増長天、ほかに薬師如来、山門がある。この内大仏は、藤原時代のものとして、旧村時代から重要文化財に申請中のもの。仁王像はもと四王寺にあつたと推定されているもので、仁保深野八幡宮の神宮寺にあつたもの、室町か鎌倉末期かはつきりしない。ここの大仏とならんで藤原期のものと推定されるのが、永上山西谷正観音と、源久寺の本尊如来仏がある。

伐調資金の限度は30万

資金の性格

昭和26年森林法が改正されて、伐つていい時期にこない立木は、勝手に伐れなくなつた。山林資源を保護し、水害から国土を守るのがねらいだが、かといつて個人の財産を伐るなという以上それに代る対策が必要になる。若い山林の所有者に対する立木のい持資金はこの立場から政府が出している。この資金は、森林組合が借りて、山林経営者に転貸することになつている当然組合員外は借ることが出来ない。

利息としよう還は

年4分、組合の取扱手数料1分で、計5分を2回に分けて支払う。期間は立木の現在の樹令によつて違うが、大体5、10、15年となる。もちろん、くり上げのしよう還は自由である。申込は4月1日～5月末日までだが、2月一ぱいに申込の内意を受けると有利になる。これは借金でなく、山林を育て、農業再生産をするための資金だと考えていただきたい。対象となる立木は一番蓄積のふえる樹令で、1割～1割5分は年年育つてゆくのだから。（小鯖森林組合長　赤岸信一）

正しい選挙で、適当公平な人を選べば、当然よい政治が行われるだろう。少くとも保守革新の差はあつても、今ほどコツケイな政治を見せつけられることはあるまい。

公明選挙こそ、よりよい政治への前いと考えるなら、正しい選挙をする有権者の数に案外正比例するともいえよう。新生活運動が強調されている今日、公明選挙運動は、いわば政治面の新生活運動

よい政治への責任

でツバをはくようなもんだから私は、日頃つぎのことを考えている。ご参考になれば幸い。

1　いつも自分の考えをはつきり持とうと努めている。政治、社会の問題にも、とちらの立場かを決めてゆく。

2、国、県、町の情勢の動きを見つめている。

3、現在の政治代表を、見守つている。選挙のとき、その後と変つていないかどうか。

私たちの周囲は小さくても、政治を浄化する波は何時か大きくなる――と私は確信している。

（仁保牧川　藤井惣吾　62才）

話題を拾つて

17貫のいのしし　小鯖千坊の柴崎簡一氏は1月下旬みごとにいのししをとつた。時ならぬ猪肉プームに、その夜東鯖の各家庭ではジユウジユウと肉の焼ける音。

そ菜グループ九州へ　大内地区でそ菜の促成をやつているグループは30日から5日間、宮崎、鹿児島、熊本、福岡と、九州一周の視察旅行に出発した。

浄るり語りはじめ　大内町の素義三和会が主催して、今年の語りはじめは、1月11日仁保クラブでふたをあけた。遠く山口、防府、小野田からの参加者もあつて、同好人をいたく悦ばした。

雪の日の保育園　久しぶりの雪、子供達は飛び上つて悦んだ。

何てまあ親切な　公民館が青年学級に取り上げた3輪車の講習は大変感謝された。参加者25名の中、半数はもう合格している。このかげには駐在巡査の佐々木さん重富さんの努力がかくされている。3輪車を借り出してくること、法規の説明をていねいにすることなど〝何てまあ親切な〟と事情を知る人は評判している。軽自動などで法規の勉強をする人は、申込がたまり次第、駐在さんを講師に青年学級で取り上げると、公民館では語つている。

鯖地公民館が落成　27日建築中だつた小鯖鯖地の公民館が出来上つた。建坪20坪で、工費約40万円大内小学老きゆう校舎の廃材をいかして、なかなかスマートに造られた。結婚改善もここを利用するとか。〝これからうんと活用しますよ〟と、けん身的に世話を焼いている熊崎さんは力説した。

分教場に先生かえる　夫婦して、一貫野の教育に頑張つている桂先生が病に倒れてはや1年。昨年末やつと退院がかない1月5日、部落では桂先生の回復祝いをやつたこれで名実共に、一貫野分教場に春がくる。

部分林に汗だく　これも一貫野の話。2月一ぱいに終る予定で16町の部分林手入れに部落は努力している。大部分が自然造林で、現在終つたもの7町歩。

振興会の総会　上小鯖の12区で結成している振興会は、20日洞海寺で総会。160名が参加、知事顧問藤山一雄氏の講演をきいた。小鯖川の改修とエラ道路の開通を積極的に働きかけると協議

東園の両親学級　子供の教育を学ぶのに、両親そろつてはげもうと、東園の両親学級は県下教育界の話題。25日開かれた

大内町広報

昭和32年3月1日
第21号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの廣報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

聴力保護運動

保護週間は3～10日まで。県下の病院、診療所で耳鼻科のあるところは無料で検診と相談に応じます。職業からきたものおよび耳の遠いお子さんをお持ちの方、ぜひ町民生課までご相談下さい。

綠化月間

3月一ぱい緑化運動が行われます。山も家の周囲も緑でうずめて、すがすがしい郷土を作りあげようではありませんか。40町歩の民有林も、植え手を待つています。

町有林の経営方針決る

毎年35町歩を植林

今年4月1日から10年間、つまり昭和41年の3月末まで、町有林の効果的な経営方針が決つた。県林務部が作成した〃町有林の経営案〃の説明が2月25日町議事堂で行われ、県が見た町有林の実態が明らかにされた。

山は荒れてない

町有林は総面積約4千町歩、このうち制限林（伐採に制限を受けている）が1千417町歩、普通林が2千377町歩ある。合併前後に、現在の町有林は相当量伐採されたが県の調査で〃山が切り過ぎ〃の心配は全然ないことが解つた。制限林にもまだ半分以上の蓄積があり森林保護の上からも、問題にしなくてよいことが解つた。

毎年35町歩の植林

しかし町有林は、この経営案に従つて毎年伐採されてゆくから、植林も続けてゆかねばならない。町林務課で立てている計画では、毎年35町歩の植林を行うことになつている。経営案の中には、植林費はもちろんぶ育土必要なツル切り、枝打ちの費用も差引いてある。毎年どの山の処分をしてどの位の収入をあげ、育てる上に当然必要な支出がどれだけと計算して、一般財源に繰入られる収入まで計算してある。

山は私たちの大切な財源

この経営案によると、毎年1千万円の収入があるが、つぎつぎと伐採地の手入れをしてゆかねば、何時かはこの収入がダメになる。スギは41年ヒノキは46年で計算してあるから、計画通りにゆかぬと、計画倒れにもなりかねない。普通林のアカマツは輪伐期が36年、制限林は土砂の流れ出すのを防ぐため、41年の輪伐期で、遅くしてある。

約1千町歩の部分林は、部落の皆さんの努力でこれまで立派に管理されてきたが、この努力が続く限り、大内町の将来は明るい。

経濟委、山の調査

2月15日、今年度最後の町有林売却で議会経済委員は山の調査に出かけた。残雪をふんで、山奥深く委員の皆さんは元気一ぱいだつたが、カゲの苦労は大変だ。

町政メモ

2日　大内町囲ご大会
5日　生活科学講座（主としてかん境衛生的な面）が小鯖公民館で、この日自家用果樹のせん定を行つた。
6日　〃　大内公民館
7日　〃　仁保　〃
6日～15日　大内地区の施肥設計。1～4日仁保地区、8日～22日同じく小鯖地区で
11日　中学用地問題、町会協議会
12日　大内女子学園の保護者会
15日～16日　映写技術の講習会が大内公民館で　▷小鯖公民館でしい茸講習会　▷大内小の学芸会
16日　果樹組合の役員会
17日　仁保深野の玄塔院で、史談会が開かれた
18日　水稲早期栽培の講習会が大内管内で
19日　防府県立経営伝習農場で4H大会
20日　仔牛の生産検査と登録、登録数15頭　▷大内小新人生の身体検査
25日　東園校の両親学級
22日　町議会の協議会
24日　学校給食記念感謝祭が東園小で行われた
25日　町有林育成の施業計画案が出来上つた
26日　母親の集いを行う打合せ会が開かれた
27日　中学建設問題で、町議会の協議会

新町建設の審議会

26日町議事堂で、第二回の審議会が開かれ、これからの審議会のゆき方につき協議を重ねた。（この審議会の役目とこれから果す役割については、昨年10月の〃数字〃と変り、1基本計画を調整してゆくこと、2基本計画の実施の3段階に分れている。町では3月末日までにどうしても基そ調査だけは終ろうと、企画室では職員を動員して急いでいる。4月以降は、基そ調査にもとづく計画の段階に入るが、この基そ調査で拾う数字は、町政の全般（産業、文化、教育、地勢、気候、土木、交通）にわたり、新農村建設に必要な調査もこの中の一部分をしめる。

合理的な建設をねらう

だから、この新町建設計画は、科学的合理的な調査方法によつて、〃数字〃と〃実態〃から、着実に発足しようとしている。今までの地方自治の中になかつた合理性を、巾広く織込んで行政そのものの転換をはかろうとしているともいえる。今まで農村の産業計画でも、多分にカンにたよつていたが、実際にたんねんに数字を拾つてつきつめた実態から〃赤裸々〃なものをつかもうとしている。未開拓の基そ調査が今果している役割は、未知数ではあるが非常に大きい。

調査には皆さんの協力がぜツタイ必要です。

借金や病気なども、生活の実態を知るための調査ですから、誤解なさらぬようお願いします。**正しい数字**が出てこなければ、基そ調査そのものが、ぐらついて来ますから。

新中學で協議会

今月3回の町議会（教育委員も含めて）協議会を重ね、審議と検討を続けているが、敷地候補地5つは次第にしぼられてきており近く決定をみるだろう。

町政の動き

3月の予定

▷学校関係で、**卒業式**は14日仁保中、15日大内中、16日小鯖中、20日大内小、22日大富小23日が東園、小鯖、仁保の各小学校。女子学園は（仁保、大内とも）26日
学芸会は24日東園、小鯖、大富小で行われます。
教育委員会では、大内小中学校のふん尿**くみ取者**を募集しています。もちろん手当はさしあげます。申込は教育委員会事務局へ

▷**民生**関係で予防注射ですが、ジフテリヤが13日仁保、15日小鯖、19日大内。**種とう**が19日大内、28日仁保。百日セキが12日大内、15日小鯖、20日仁保
乳児の一せい検診が、山口保健所の医師によつて支所で行われます。主にクル病を調べるためで、10～15時、5日小鯖地区、7日仁保地区
健康相談（主に尿と血圧の検査）全町を部落単位に行います。日にちも決り次第お通知いたします。

▷同じく民生関係で、**移民**の希望者は、日ごろから町民生課まで申出ていただくと、さあという時連絡がすぐにつきます。台帳を作りますから、なるべく早目に。

▷酪農**練習生**を県の種畜場が募集しています。期間は半年、願書の提出は3月10日まで、役場を経由しなければなりません。練習生は畜産（20名）酪農（10名）に分れ、月1200円支給して呉れます。お尋ねは産業課へ

期待されるグループ活動

新農建設懇談終る

6日から16日にわたつて行われた新農村建設部落懇談会は、とどこおりなく終つた。20日、その反省会が町議事堂で行われ、今後のより効果的な対策がねられたが、出された問題点はつぎの通りであつた。

1、一般にどの部落も相当に熱意があり、大半が具体化した部落計画をもちはじめていた。今後部落計画の完成に、つとめて手助けする。

2、部落の方でも、現在の農業がおかれている状態を反省し、もつと真剣に取組んでいただきたい。

3、**グループ**活動の盛んなところほど、計画が進んでいるように感じられた。今後はグループ活動の育成に、重点をおく。

この度の懇談会で、特に出席のよかつた部落は、大内が菅内、下千坊。小鯖で1区、境柊であつた。

史談会発足以来の盛況

玄塔院で17日行われた史談会には、50人もの人たちがつめかけた。山口女短大の大田教授から、嘉村磯太の文学についての解説を聞いたが地元の人には特に感めいが深かつたようだ。県教育庁の河野英雄氏の彫刻の見方も、スライドを映して親切な説明ぶりに、この日の計画は参加者から、いたく悦ばれた。

今月例会は24日、小鯖鳴滝泰雲寺で開かれる予定。碧雲寺と泰雲寺について、坂倉道義氏、地質学の一般について、河野山大助教授

嘉村磯太の文学に聞入る会員

種モミが不足

台風時期に当つたワセもの種が今年は特に不足しています。産業課でも手をつくしたけれども、期待したほど入りませんでした。各農家で確保できるものはやつて下さい。3月上旬に農協を通じて配布予定です。

施肥設計は増収への近道

3地区それぞれに、部落ごと施肥設計の座談会は2月中に終つた。この設計は昨年から始まり、5カ年間続けるもので、産業課の係はつぎのよう呼びかけている。

1　これは水田の日記帳みたいなもので、田の状況は必ずつけて下さい。田を診断する上に非常に大きな資料になります。

2　裏がわの実施の方法―くわしくつけていただくと普及員にどんな田だということがよく解ります。

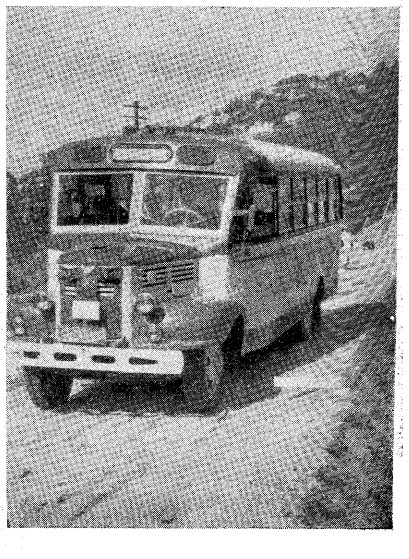
3　続けていると、その田の特ちようも解り、一番効果のある施肥が出来るようになります。

10日に母の集い

今年も、大内町母の集いが行われる。場所は小鯖の小中学校で、10日午前9時から。楽しい家庭を作る方法と、明るい社会を建設するやり方についてが大きなテーマーで、細かく11の分科会に分れて検討する。

バスもゆつくり

稔畑線の改修工事は、ほとんど完成に近く、道巾はぐんと広くなつた。24日から運転再開。

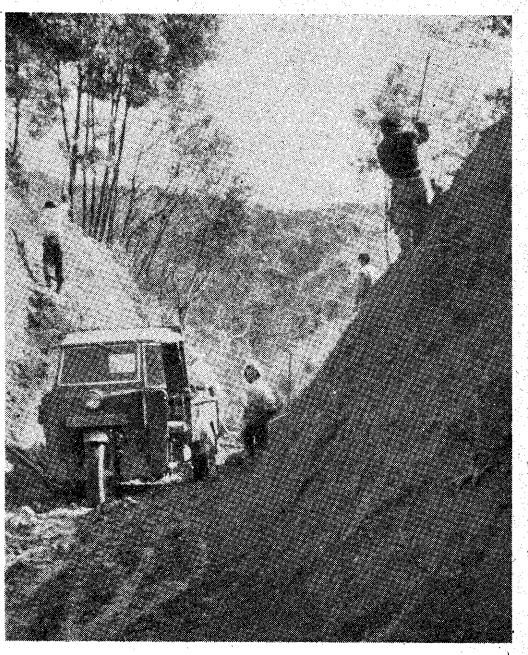


生きた選挙は！

投票←自分の政治的な意見
候補者――（または政党）の政見

正しい投票は必ず候補者（または政党）の理想と公約に皆さんの希望が合致したとき

大内町公明選挙連盟


もうすぐ開通する大内御堀の西谷農道

生産増加と労力節約で
土地改良事業　290%の効率

土地改良区は、今日まで大ぐ効果の見えるものは、農きな役割を果してきた。新農村建設計画でも、かんがい用水路、農道など土地改良事業の比重は、これからより一そう高まってゆく。しかし、その土地改良区にもいろいろと悩みがある。その悩みの一つを解決し、私たちが作った団体〃土地改良区〃がうんと活動するとき、生産増加と労力節約は眼に見えてくるのだが……

第一のナヤミ

国の農林行政が補助政策から融資政策に変ってくるにつれ、土地改良事業のようなすぐ効果の見えるものは、農民の自主的な考えにい存する度合いが強くなっている。今日本当に農民が必要を叫んでも、受益戸数の少い事業は〃農民の自主性〃に頼っている。そこにはなんら国の補助政策的なものはころがついていない。

第二のナヤミ

31年度町から各組合に対し事務費の補助を20万円あて出した。ふか金は受益の戸数が少いから（受益しない人も含めるから）額を上げることが難しい。大内は今年2月末で4万6千円の万石の米の増収予定です。

▽千拓事業は8億8千万円で県下に3カ所実施中ですが、400町歩の耕地を作り、1万3千石の増収予定です

▽県がお手伝いして143カ所の土地改良区が6千200町歩の土地改良事業を行い、これによって1万5千石の増収を期待しています。

▽土地改良事業は、眼に見えて効果のあがる事業で、新農村建設の基そでもあります。

（県政だより）

県の土地改良事業

▽山口県に必要な米は160万石、県内の生産は130万石、しめて30万石不足です。

▽県下9万3千町歩の耕地のうち、6割強が不良耕地のため、平均反収は1石9斗9升。全国でビリから四番目です。

▽このため県、市町村、土地改良区等によって、土地改良事業が着々進められています。

▽県営かんがい排水事業は7カ所、14億4千万円で5千200町歩にわたります。2

たい納、9割3分で成績は可成りよい。小鯖はたい納が48%とすこぶる悪い。仁保は全然おさまっていない有様。

初まって以来3地区の土地改良区が行った仕事の合計は、件数にして50件、事業総量は4千58万円にも達した。部落で単独にやることを思えば、効率（100万円で290万円分の仕事ができる）はよいが、ほんとに活動するには、組合員の協力によって以上の困難点の一つ一つが早急に解決されねばならない。（続く）

発展を続ける 福岡県添田町に学ぶ

英彦山のふもと、福岡県田川郡添田町を、仁保と大内小鯖地域の振興協議会事務局が視察した。昨年新農村建設の第一次指定を受けて、非常に好成績をあげている町だつた。大内町と違つて恵まれた環境にある添田町だが、着々と成功を治めているかげには、私たちが学び取る幾つかがある。以下視察報告の中から必要な部分の紹介を——

平均年収50万

農業だけで計算すると約35万円だが、給与所得が多いから、一戸当り50万円にはなる。総人口2万7千600のうち、5千900人が農家人口で比率は少い。炭鉱をかかえて消費人口が大きい点、極めて高度化された換金作物の栽培などが、農業所得3億5千万円をあげている。

成功しつつある理由

立地条件からいえば、北九州市場をそばにひかえて、大内町より好条件にあるけれども、この町の建設が成功しつつある原因には、やはり私たちをうなづかせるものがあるグループ（農事研究団体）を育てることに全力をつくし青年たちの高まつた意欲を素直にのばした。補助金は個人対象のものが今日まで一件もなく、全部団体単位で行つた。

2　この建設を進める事務局の構成が、産業の専門家ばかり集めており、日頃から農民にぢかにふれてきた人たちが、自分のナヤミの解決をはかるためにもこの仕事と取組んだ。

3　協議会を精鋭主義で押し、一度きめたら最後まで一貫して続けた。このため、住民の信頼と協力が集つた。

4　農民の農業で生きる意欲がおどろくほど強い点も理由の一つになるようだ。

しかしこの添田町も、日田線開通により大分県奥地のらく農地帯と北九州が結ばれることに、不安を感じていた。

今が植林の適期！
だが苗木は発育不良

昨年の異常天候の関係もあつて、今年の杉苗はできが非常に悪い。このため悪い苗4万本を町の林務課で焼捨てたほどだつた。町外からも苗木を入れて補充に努力したが、ついに希望通りの配布に至らなかつた。値段は杉苗1本3円50銭、松苗は3円見当で近日中に入荷する。

毎年くりかえす失敗

植林される面積は毎年可成りなものだが、きまつてくりかえされている失敗がある。ふみつけが足りないつる切りがたらない。そして、つる切りは3年続けて行わぬと、せつかくの苗がうもれてしまう。今町内で早急に植林や天然更新を必要とする面積は、民有40町歩、町有林30町歩だが、町有林はこの春中に全部終了予定。

近くの模範林は

参考に見ていただきたい民有林を地区別にあげると仁保では中郷の須藤治助さんの裏山。松の6年生で高さは2間になつている。小さいときの手入れがよかつたからだ。小鯖では、赤岸貞平さんが行つた猿ケ岳の植林。杉の6年生で手入れはゆきとどき、高さ2間の立派なもの。大内では長野の江藤常一さん、松の8年生で（1年生造林をやつた面白い例）高さ3間、12町歩の松がすくすく育つている。木材の相場は一時下つたが今年秋には、昨年より上ると見られている。（お尋ねは林務課へ）

町財政の宝庫、小鯖桧畑アシ谷の町有林

史跡と古い文化

平子弘有の肖像

仁保源久寺には、雪舟筆平子弘有の肖像がある。寛正6年（1465）8月、前建仁天与清啓（前建仁はもと建仁寺の住職であつたの意味）の賛がある。この特代の動きを考えてみると、この画の価値が出てくる。清啓は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

さて肖像にかいてある弘有だが仁保庄および国衛庁のある多々良庄の地頭をやつて、大内家の重臣は将軍足利義政のころ、宝徳4年東洋允澎（明国人）に従つて明国に渡り、享徳3年7月に帰つてきた。彼は寛正6年にも正使として明に渡つたが、何しろ当特の幕府はひどい財政難、貿易品をそろえることも出来ず、よんどころなく大内氏にすがつた。大内氏は長門永福寺にいた山口生れの僧桂庵を副使として渡らせた。この時学僧としてついていつたのが雪舟だつた。

先進地に負けないために

大内地区のそ菜栽培に取入れる必要を感じた。関門トンネルが開通すると、九州そ菜がトラックでどつと直送されてくると心配するむきもあるが、この度の視察で私は考え方を変えた。

なるほど先進地は、時期的に出荷が早い。しかし生産者の手取りは、私たちの方が多いのだ。運賃、組合費、荷造り費に約半分喰われている。手取りの多い私たちが、この瀬戸内工業地帯の需要を確保するよう努力するならばもつと弾力性のある経営も可能となる。需用者の好みにピタリ合つて、その上鮮度の高いもの、——ここにふだんの研究心をよりあわせて大きく団結してゆきたい。先進地というと、てんで歯がたたぬと思つていた自分が実をいうとおかしくなつてくる。　大内　**青木茂**　25才

私のていし場まわり

今まで顔と名前は知つても、これからどう手をつないでゆくかを協議したことのなかつた私たちだけに、打とけてお互いの悩みを赤裸々に語り合い、はては研究の交換と強い団結を誓いあえたことは、大きな収かくであり、嬉しかつた。

さて、視察しての感想だが、さして恐れるほどのものでないというのが結論だつた。技術的にはむしろ私たちの方が進んでいた。フレームの構造はさすが先進地だけに進んでいて、今後大いに研究したいと思つた。

白銀さんが金壹封

最近奥さんが亡くなられた大内菅内の白銀さんは、奥さんの志をつぐ意味で、23日に社会福祉協会へ金壹封を寄附された不幸な方をなぐさめるため、この金は有難く役立てることになつた。

このまじめな顔

小鯖中学では雪舟の庭で名高い常栄寺の安田住職を13日に招いて、講話を聞いた。雪舟の生い立ちや庭を作つたわけなど中学生たちのひとみは、写真のように輝いて一心に聞き入つた。

話題を拾つて

毛割の部分林手入れ

1月20日以降4回も部分林の手入れを行つた。いつでも造林出来るようにきれいになつて、新しい苗を待つている。

ある日の保育園

黄色い菜の花を持つてきた子供があつた。1週間位たつて別の子供が小さい声で黄色い菜の花咲きましたといつた。歌のようだとまた別の子がいつた。赤いつばきが咲きましたとある子が続けた。咲いてない、咲くでしようだとつぎの子がいつた。またある子が、もうすぐ春がくるでしよねと続けた。子供たちは即興のふしをつけてそれからの一週間楽しく歌つたと。

今年やセキリの当り年

民謡もどきでやるとおこられるかもしれないが、1月以降患者10名、保菌者が7名。山口市には何と45名の患者がいる。不思議と仁保地区には出ないが、手をよく洗うこと、不潔な飲食物をとらぬこと、——これがカンジンですぞ。

共済加入してよかつた

家畜共済へ加入していてよかつた人が最近2人ある。小鯖の山根登さんの馬は腸ネンテンで1月10日ダメになつた。年約350円の掛金だつたが、近く保険金1万5千円が支払われる。仁保の栗林さんの牛は腰を折つて、肉にして2万円、保険から1万1千円、しめて買入より1万1千円の損ですんだ

仁保婦人会の造林

今年も3月1日の早朝仁保婦人会は坂本と小河内の造林地手入れをする面積約3町、何十年かしたら〃お母さんたちが植えたんだよ〃とつぎの世代の婦人からなつかしがられることだろう。造林地の木よ、うんとのびてくれ。昨年の夏山手入れのコンクールに見事に入賞したので婦人会造林は6日、県から表彰を受ける。

大内町広報

昭和32年4月1日
第22号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

知事選は21日

4月21日（日）が投票日。県政のこれからに、この選挙は重大な関係をもっています。棄権はあなたの選び出す権利を捨てることです。情実にとらわれず公明な一票を！

全国コンクールで広報が特選

見事第一位の栄冠を獲得。しかし皆さんの広報として、今日の姿が決して100％満足していただけるものではありません。豊かな町造りへの悲願をこめて、広報はこれからも前進してゆきます

固定資産税

（第一期）

納期は四月末日限り

どうぞお忘れなく早目にお納め下さい

32年度予算きまる

総額1億1千400万円

3月11日から審議に入つた新年度予算は、5日後の15日夜、原案通り議決された。前年度予算8千335万にくらべると、実に3千110万円の増加である。しかし町の一般才入は実質的には昨年と同じ程度であり、町税においては昨年秋の災害のため、逆に180万円はどへつている状態である。統合中学の建設に3千400万円の補助と起債が増加しているので、予算は総額では大きくふくれた。したがつて純町費でまかなう予算の各部門は、必要最少限度の額が計上され、重点的予算を置が困難となつた。

32年度の施政方針の要点を、町長が議会で行つた説明から拾うと

▽大内の長者ケ原に用地9千坪、総工費5千200万円の統合中学を、今後3年の見透しで建てる。

▽前年度より一そう町のオート3輪を活用して、町道を全面的によくする。

▽農業面では、消極的な生産施策（病虫害防除費など）を止めて、生産の基そ条件の整備（土地改良事業の助成）をたすけ、新生運動とマツチする推進団体（グループ活動）を育てる。

▽林業方面では、芦谷林道の開発をはかる一方、造林等による基本財産の増加に努める。

▽社会福し協議会を強化しもつと充実した民生安定を心がける。

▽保健衛生は、国民健康保険にくり入れる金を、31年度同様に計上した。この国保と町の保健衛生活動が一体化するよう努める。

▽消防で、本年度3台の動力ポンプを増設する。

予算のくわしい解説は来月号までおまち下さい。

今月は紙面がとれませんでした。

才入		才出	
町税	3,803万	議会	102万
地方交付税	650	役場	1,827
財産収入	1,761	警察消防	179
使用料、手数料	172	土木	896
国の支出金	2,869	教育	5,037
県〃	342	社会、労働施設	183
町債	1,760	保健衛生	121
		産業経済	1,652
		財産	421
		公債	443
		諸支出	439
合計	11,445万円		

（註）万単位です、100万円以下の費目ははぶきました。

最後の追加予算

3月28日の議会で、31年度最後の追加予算が審議され、原案通り決つた。第5回の追加であつたが、総額においては約1千130万少くなり、約9千314万となつた。金額が改められた部分は土木費と産業経済費が主であり、ともに災害復旧が、国から認められないため土木費では555万が減額、この内520万円は、2630年災害の工事がのびたのが理由になつている。産業経済費でも、457万円の減額であつたが28～31災まで9件の災害復旧工事が延期のため、173万円減額。その上これ等の工事に必要な地元負たん金が328万円もへされて大はばな減額となつた。

教育費も61万の減

減額された予算額の9割までが、災害復旧工事に関してであるが、その他に主なものを拾うと、教育費が61万円減になつている。これは仁保小第3校舎の新築工事費が71万円ほど安くあがつた中から、燃料費など少し引いた額である。そのほか土木関係で、仁保川を一部改修する地元負たん金14万、東川の砂防工事7万が減となり、県道防府―山口間のは装改修工事で、地元負たん金が12万円ふえている。小鯖桜陰児童遊園地の補助に5万、農業共済組合の補助に21万円などが新にふえた。

いよいよ新年度

新年度を迎えて町長は全職員を集め、分たんしている仕事に責任をもつてはげめとさとした事務をはば広く覚えるため、人事異動も20名にのぼつた。

町政の動き

螢の光に送られ620名が巣立つ

3月中に620名の卒業生が巣立つた。中学生は339名、小学は280名だつた。小学はちようど終戦の前年昭19年4月から20年3月までに生れた児童たちで、出生率がぐんと低くなつている。各校とも、厳しゆくな式が行われたが、中学で大内が15日、仁保が14日、小鯖が16日、仁保が14日、小鯖が16日だつた。小学では23日に東園と小鯖、22日に大富、20日大内、仁保が25日だつた。13年あるいは16年の長い年月、手塩にかけて育て上げた家族の人の満足そうな、感激にみちた顔が印象的だつた。

お母さんたちの眼がしらはうるんでいた（仁保中卒業式にて）

不在投票は20日まで

知事選挙は4月21日と決つた。不在者投票ができるのは4月20日まで、支所でも受付けている。土曜日曜を問わず、毎日前8時30分～後5時まで。補充選挙人名簿を調整するのは4月1日現在で、登録の申請期間は4月2日～8日まで（名前のもれている人、もしくは新に選挙資格を獲得した人は、この期間にお申出下さい。）

補充選挙人名簿のじゆう覧と異議の申立期間は4月12～15日までとなつている。21日の知事選挙には、私たちの貴重な一票をぜひお忘れなく。

史談会13日下関へ

下関方面の史跡や国宝を尋ねて、一日旅行が計画された。コースは、長府博物館―功山寺―住吉神社―赤間宮―源平山公園―水族館の予定。会費400円、申込は10日までに町教委社教係まで。当日の案内役は、下関教委文化財係長が当ると。

人事の異動

役場の仕事の分担が4月1日からつぎのように変りました。ご相談やお尋ねの際は、係の名前を覚えておいていただくと便利です。（○印が新任）

課長、総務―岡本利男　林務山根正助　産業鯨田豊

○税務―江藤武馬　○民生―大島慶太　施設松田政一

係長―行政岡田寿　○庶務平田一枝　戸籍片岡一夫

ふ課石川潔　○徴収江藤武馬　評価池田秋二　社会鰐石一男　衛生来栖俊一　国保岩武正人　林務末村勇二　産業福永卓二　土木山根理明　耕地大田秀穂　**教育委員会**―総務・施設係長高橋豊　社会・学校教育係長高木武夫　公民館主事徳本頼正　藤井隆三　西山よし子

農業委員会係長―杉山秀雄

内地死亡の軍人にも年金

昨年末軍人遺族に対する法律が改正されて、ふ助料や遺族年金が支給されるはばが広まつた。つまり内地で負傷や病気になり、そのため死亡した旧軍人等の遺族も対象になつた。支給条件のあらましはつぎの通りだが、手続きやお尋ねなどは役場民生課へ

▽特別弔慰金をもらつた遺族でもこの度支給されるワクに入つた。旧軍人等が昭16、12、8～昭20、9、1までの間に、職務上で負傷や病気にかかり**1年以内**（厚生大臣の指定する病気は3年）に死亡したとき

▽援護法23条第1項の遺族は年金の10分の6にあたる額を支給される

▽このふ助料や年金は今の1月分から支給される

木炭品評会

去る11日仁保クラブで開かれ、80点の出品が集つた27点の入賞者が決つたが、特等は野上の川尻義隆さんであつた。1、2等はつぎの通り（称略敬）1等―千々松武夫（井開田）岡忠生（一貫野）山根勝馬（井開田）宮内秀門（一貫野）2等―岡久人（一貫野）木村博稀（金坪）松田明（井開田）田辺敏夫（黒石）三好重次郎（揚山）団体入賞は意外にも井開田部落と決り晴れの優勝旗の獲得した

（**写眞**―ほほう、なかなか立派なものを作つとる）

町政メモ

3　月

3日　大内地区の青年と婦人の集いが、女子学園で開かれた

4日　民生委員会

6日　東園小で、両親学級と婦人学級の終了式を行つた。

7日　農試で農業研究会、テーマーは早期栽培　▷食生活の講習会が小鯖上鯖山で

8日　仁保地区林業振興対策協議会　▷へき地教育振興大会が大富小にて

9日　議会文厚委員会

10日　大内町母の集い小鯖小で

11日　仁保クラブで木炭品評会

11～15日　町議会で32年度予算の審議を連日続け、ついに15日夜、新年度予算は決定した

16～31日　早期栽培の技術映画を3地区のがい当地区で行つた。大内で上千坊と菅内と上中矢田、問田の5ケ所。仁保で1貫野と東園、小鯖で毛割石畠、青年学級など。主催は町産業課

20日　女性問題の対策審議会　▷大内の茅野神田で、料理講習会、講師は生改普及員の友沢さん

22日　農業委員会

24日　小鯖泰雲寺で町史談会　▷永上公民館の落成式

25日　大内土地改良区総代会　▷長野地区の乳牛検査

28日　町議会31年度予算の追加更正を審議

28～30日　新農村建設で、部落計画に対する打合会

4月の予定

▽**民生**関係で、狂犬病の予防と登録が4月8日は**仁保**地区（9時半～10時半―上郷農協前、11～14時半―支所、15～16時―下郷農協）4月9日は**小鯖**地区（9時半～10時半―稔畑公会堂、11～12時―八幡宮前13～16時―支所）4月10日は**大内**地区（9～10時―小野公会堂10時半～11時半―長野公会堂、12時半～14時半―役場15～16時―御堀公会堂大雨の日は中止、印をご持参下さい。

▽**予防注**射がつぎの日程で行われます2―仁小学―腸パ　4―仁支所―ジ9小支所―腸パ、百、ジ10―小上郷―腸パ、百、ジ11―仁坂本原河内―血圧測定　12―仁大富―腸パ　大役場―腸パ、百15―仁東園小―腸パ15―大小野―腸パ16―仁一貫野、大長の―腸パ17―仁支所と大御堀―腸パ、百18―小稔畑―腸パ19―小境1～3時、毛割3～4時―腸パ23―仁支所―腸パ24―大役場―腸パ26―小支所―腸パ

（**註**）腸パは腸チブスパラチブス、百は百日セキ、ジはジフテリヤ、時間は1～3時、腸パは生後満3ケ年以上、初めての方は3回、追加の人は1回毎年1回はやつて下さい

▽**乳児検診**が30日1～3時役場で、5月2日10～12時小鯖支所で行われます

▽**自衛官募集**今年第1次の2等陸海空士募集で、4月1～25日まで受付

▽**移民**―米国にゆく農業労務者を希望なさる方は10日までに町民生課へ

お知らせ板

"母"の誇りと責任の上に

教育委員会と町婦人会の共催で、3月10日〝母の集い〟が小鯖小学で開かれた。3地区から約450名の母親が参加し、母の立場から楽しい家庭生活と、婦人の立場から希望にみちた社会生活を終日求めた

2重の立場

家庭的には母親の座をもち、社会的には参政権をもつ婦人として母は2重の責任を負わされている。この2つの立場に対する誇りと責任が、当日の発言の中から数多くうかがえた。そして、テーマも昨年より具体的となり、さらに行動的にもなつている。昨年の〝社会の母としてどうあらねばならぬか〟という多分に内省的なテーマーから今年は〝明るい社会を作る方法〟と、はつきり行動的な表現をとつている。

身近な問題から

10の分科会に分れて、それぞれ身近な問題から話を進めたので、昨年にくらべ非常に発言が多くなつた。初めて一緒になつた人にでも、胸を割つて語り合う習慣が出来たのであろう。日常のナヤミや思いあぐんだことが発言の内容になつてそれだけ生活の実相が、しみじみにじんだ発言が多かつた。例えば、嫁に注意したい場合、息子からいわしたい方がよいか?—などの発言がそうだ。

何かを學んだ

1人1人のナヤミは大きい。また千差万別である。しかし話し合うことで、みんな何かを学んだ。例えば子供の教育で、我ままな子をかかえたお母さん、注意のさんまんな子供、独立心にとぼしい子供をかかえたお母さんたちは、母親としての共通のナヤミをいたわりつつ、反省を深めた。

明るい社會めざして

参政権をもつた婦人が、政治に対してどんなに強く働きかけることが出来るかという自信を深めたのもこの集いだつた。その上、明るい社会のあるべき姿を追究し、作り得る社会の姿を画くことが出来たのも、この集いだつた。

選挙には、いつも興味と関心をもつてながめてきた自分だが、成人者となり参政権をもつことになつた今、おのづから違つた感じをいだく。少くとも戦後の新教育を受けたと自負する人間は、選挙を通じて行動する〝間接民主制〟の政治のもとで、選挙のもつ本当の意味を理解し我々の新しい息吹を卒直に反映させたいものだと思う。

政治への誠実な関心

党か人かとよく議論の的になるが、選び出す職能によつて、その比重は当然変ると自分は考える。つまり議員は党および政策を重視し人物を第二に、地方自治体の長は人を主にみる。議員で国会議員は政策本位、身近になるに従い人物の比重を多くしようと思う。候補者の肩書や経歴を重くみる傾向があるが、他人の肩書と我々の幸福とは、本来関係がない。私たちのよい代べん者で、しかも大局的にものを見得る人という点に注目したい。よい意味で、——自分の利害にもつと敏感であるべきではないか。

ともあれ、政治が経済生活や社会生活をも規制する以上、よい国家、新しい町、明るい農村への若者の夢とささやかな願いを、初めての一票に充分託してみたい。このため、日常の政治への誠実な関心こそ必要だ、と思うのである。

（大内、菅内　原田玉雄）

新しい有権者の声

この春成人に達した私は、選挙権を獲得し、初めて自分の考えを政治に反映できる。かつては婦人に参政権が与えられなかつた。国民を盲目的にあやつつて、特定の候補が当選するようにしむけられた——そんな軍国主義の時代を幼くして過した私は、自分の生れ年を幸と感じている。成人に達したすべての国民が政治に参加する民主政治下に生れあわせたことを、今こそ大きな喜びをもつて受けとめている。

でも政治が、1部特権階級のためでなく全国民の幸福のためにあることを考えれば心ひそかに誓つている、今日この頃の私である。

（小鯖、八反田　中川渺美）

誤りが積れば

今度の知事選には立派な票1を——と書すきることはない。

選挙には、いつて、若い主婦の仕事が姑の仕事に代り、かえつて労働強化になつたとなげく人もいる。計画性のないところへ、能率のよいものが飛込むとこんなナンセンスが時たま起る。

×　×　×

若い娘さんが農家に嫁ぎたがらぬ。困つたことだが事実だ。私たちはもつと改善し、豊かにならねばならない。

（生活改良普及員のメモより）

土地改良事業

（前号の続き）土地改良区の事業がつき当つているナヤミが2つある。それは土地改良区を組織している私たち1人1人の自覚がまだ足りないことと、機構の問題である。事務費はふ課金に頼つているが、この納入がカツチリいかぬと、人件費も可成り圧えつけられる。うんと事業を行いたいが、処理量をあげようとすれば人件費が足りない。つまり問題は、私たち1人1人が改良区をより充実したものに育てようという協力と意気込みの浅さにある。

今年度の町予算でも、各改良区に出

1千700万の事業計画

すこうした事務補助金が20万あて計60万円計上してあるふ課金が納まらなくて、事業の方はやれというのも無理だ。

事業費補助60万

それでも事業を行う場合は、規模小さい—場所である。

機構の弱さ

改良区の事務能率をあげるためには、おのづから適正な規模が必要だが、現在の改良区はその点貧弱だ。3地区を合併する話も次第に進んではいるが機構の弱さが、あまり事業の出来ない改良区にしており、そのためせつかくの町の補助も、120万円のうち60万円を直接事業投資でない事務費に流すという、悪じゅん環と無駄をしている。そしてこの問題解決も、結局は私たち一人一人の自覚にもどつてくる。

どうも生活改善の目的がアイマイで、首をかしげることがある。最近農村地帯にも、多くの電気器具が入つてきた。で集会に行くと、〝ミキサーや電気洗たく機で幸せていますとおつしやるご婦人に必ず出会う。しかしなかなかこの〝幸せる状態〟までにはほど遠い現状だ。

×　×　×

そんなにカンタンに幸せるのかと疑いたくなる。よく〝ミキサーを買うがよいか、電気洗たく機にするか〟と議論している人たちを見受けるが、その前に、一つて、若い主婦の仕事が姑の仕事に代り、かえつて労働強化になつたとなげく人もいる。計画性のないところへ、能率のよいものが飛込むとこんなナンセンスが時たま起る。

×　×　×

若い娘さんが農家に嫁ぎたがらぬ。困つたことだが事実だ。私たちはもつと改善し、豊かにならねばならない。

（生活改良普及員のメモより）

あいまいな改善

何の目的で、あるいは生活上どの点の変化をねらつて——器具を買うのかよくわきまえておかないと——たいして変らんじやないの——ということにもなりかねない。ただミキサーでジユースを飲み、洗たく機で洗たくするのでなく、そうしたものを使つて、改善の目的を達するのに色々と工夫がほしい。残念ながら、手段と目的がアイマイになつている。

洗たく機を買つたが、これほど汚れの落ちにくいものはない——とこぼす人がある。洗たく機は、洗たくの回数が多いほどよく汚れを取つてくれる。労働を軽くし、時間も経済になるが、せめて下着は1日おき、シーツ類は1週間、シャツ類は3・4日ぐらいで洗たく機の世話にならねばならぬ。だとすると日常の仕事を計画化することから始めねば、月末に1回の洗たくという勝手は許されぬ。それと洗たく機によれば人件費が足りない。つまり問題は、私たち1人1人が改良区をより充実したものに育てようという協力と意気込みの浅さにある。

今年度の町予算でも、各改良区に出

1千700万の事業計画

すこうした事務補助金が20万あて計60万円計上してある。ふ課金なら、少いながら120万にはなる。32年以降の土地改良事業は1千700万円の計画で現在最も必要なのは、受益戸数は少いが、目に見えて増収や能率の向上が約束される、規模小さい—場所である。

機構の弱さ

改良区の事務能率をあげるためには、おのづから適正な規模が必要だが、現在の改良区はその点貧弱だ。3地区を合併する話も次第に進んではいるが機構の弱さが、あまり事業の出来ない改良区にしており、そのためせつかくの町の補助も、120万円のうち60万円を直接事業投資でない事務費に流すという、悪じゅん環と無駄をしている。そしてこの問題解決も、結局は私たち一人一人の自覚にもどつてくる。

☆乗福寺あとの発掘☆

地下7寸のところから瓦の破片が続々出る

史跡と古文化

大内氏のぼだい寺である御堀乗福寺あとが、目下盛んに発掘されている。その昔、大内氏の繁栄にあわせて雄大な規模を誇つた乗福寺も、大火にあつてむなしく崩れ、今ある寺は昔を語るにはあまりにも貧弱だ。

ことの動機は、昨年11月和田前住職が亡くなつた時のこと、寺を調べて見たら数多くの宝物が出るわ出るわ。何とかして寺を興そうという気持が、だん家の中で自然に起つた。といつてだん家は30軒あまりしかない。御堀部落の人たちも協力を引き受け町史談会や教育委員会も援助に乗り出した。発掘責任者藤井直好さん所有の畑を今掘つているが、当時をしのぶ瓦も続々出ている。燃え上つて炭火した木片が出てくるのもいたいたしい。現在の乗福寺に残つている旧がらん図（昔の寺の配置が書いてある図面）で、発掘は計画的に進んでおり何百人役にのぼるか解らぬ事業に、地元の労力奉仕は続く。

話題を拾つて

映写機、雪のへき地へ

3月中旬から下旬にかけて、国保の趣旨をひろめるため映写機は3地区を廻つた。音もなく雪が降り積る14日、仁保松柄部落へ映写機は肩で運ばれた。この写真、題して〝文化果つるところ映写機はゆく〟

温泉と砂金の夢

24日小鯖鳴滝の泰雲寺で町史談会が開かれた。席上山大の高橋教授から大内町の地質に関する話があつた。小鯖檢畑に砂金、千切にアルミニユウム、温泉もどこかに出るはずと。

この話耳より

一貫野分校の学芸会

地元の父兄たちも集つて、17日の学芸会には部落をあげて1日を楽しんだ。

この日、戦後長らく放つてあつた忠魂碑も、12年ぶりに起された

問田などに赤電

電話連絡がとり難いのが大内町の最大の悩みだが、つい先頃上小鯖の矢ケ迫と、大内問田に赤電（公衆電話）が通じた。地元の人は大喜び——これで急な病人にも、すぐ処置がとれるから

スライドが入賞

農繁期の共同炊事で有名な大内上、中矢田の実況を県民室がスライドにしたのが2年前。このたび新生活協会が主催した全国コンクールに参加して、3位に入賞した。このスイライドの復製が近く全国の都道府県に5本あて流されるが、さても目出度い

戦犯の碑山口へ

無実の罪で処刑された戦犯者の話が、このごろ明らかになつている。こうした処刑者を慰める石碑が山口に建てられることになつたが、石は仁保一貫野の町有林から25日に運び出した

二つの公民館完成

小鯖の鯖地、大内で永上の公民分館が完成した。鯖地は2月末、永上は3月23日だつた。ともに部落の人たちの労力奉仕が底力になつており、部落の茶の間として、これからさき愛用されることだろう

大内にそさい研究会

会員60名で、さる11日に発足した。37～38才の壮年層が一番多い。現在のねらいは、栽培者の技術を交換して、水じゆんを高め、ゆくゆくは共同出荷の体制にもつてゆくまでの、団結を作ろうとしている。各地に新生産地が起り、もはやのんびりしていられなくなつたから

この頃の企画室

私たちの郷土を住みよくし、建設を進めてゆくために必要な資料を集めるのに町企画室は大わらわ。どうしたら災害を防げるか、農家所得がふやせるかなどの数字が、次第に出てきている。今までの大ざつぱなカンでなく科学的な考え方と判断が生れようとしている

大内町広報

昭和32年5月1日
第23号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

子供の日

5日は皆さんよくご存知の通り、〃子供の日〃です。つぎの日本を背負って立つ子供たちは、病気1つせずにすくすくと育てたいものです。町内のあちこちで、この日子供会が開かれると聞きましたが、子供たちは躍り上って喜ぶことでしょう

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう

今月の税金

自転車荷車税
5月1日～31日まで
早目にお納め下さい

町政の動き

大内から3つの提案

大内町議会からこの大会に3つの提案がされた。農業災害を補しようする制度を、もっと根本的に確立せよ（説明者重宗議員）国保事業に対して国や県はもっと補助をふやせ。療養費の2割助成ぐらいでは、今日の町村財政ではとってもやれない（説明者岡田議員）河川改修で大きいところは国県でやっているが、小さい河でも県が管理することになっているところは、早急に改修して欲しい。治山治水は産業振興の根本だ（説明者安富議員）以上のような趣旨が説明され、満場の賛成を得た。

酒消費税など13件

郡内四ヵ町から出された議題は14件（内1件保留）あり、13件は強力に実行に移す運動をすると決議された。

地方自治の危機を叫ぶ

大内小で郡議員大会

31日だった。郡内4ヵ町の議会議員は大内小学校に集って、今日の地方自治体がゆき悩んでいる点を話し合った。親ぼくを深める意味だけの行事ではなくて、〃ほんとうに困っている〃者同志の〃どうしたらもっとよくなるか〃を、真剣に検討した。

時も襲来する地帯に特別な法律を作ってほしい。タバコと同じに酒消費税を作って自治体の財源にしたい。土地改良事業に補助か長期の低利資金がほしい。義務教育における費用が財政を圧迫している。全額国でみてほしい。水稲の病虫害をふせぐ農薬に対しかかってのように補助金を出してもらいたい。国道や県道をかく張改修するさい、地元負たん金などを軽くするか、全然やめて欲しい。昨年から実施されることになった新農山村建設計画については補助やゆう資の率をましてほしい。――などであったこの日、地方自治の危機を守ろうと、議員の皆さんの叫びは講堂一ぱいにひびいた。

道路、橋のい持改良に300万

負たん金ぐんとけずる

土木関係では、町道のい持修ぜんに50万組んである。1等町道が40万円、2・3等で10万円となっている。道路の新設改良の費用で、小鯖スクールバス路線の改修に30万円。泉水原（仁保）路線他2線の補助金が90万合計120万組んである。橋の修ぜん工事には月見橋など30万円見てある。

災害土木では、26災～31災まで14件、404万円が組んである。

教育費では、各種の負たん金が26円万ほどけずられて、節約になった女子学園は前年度より約20万円増加し、僅かながら設備を改善している公民館関係で、老人の日や母親大会文化祭と体育の振興費用、子供会を育てる費用など18万円ほどある。しかし何といっても綜合中学建設費用3千835万がでんとひかえている。（この内 1千700万は国の補助が出る予定）

産業経済費では、採種ほを設ける費用34万円、農事研究会を育てる費用37万、昨年の災害ゆう資の利子補給45万が特に大きい。小鯖稔畑の肯谷林道も200万円組んである。いのしし除の補助5万、部分林苗木代に23万円ある。町の大切な財源≪町有林≫には、人工造林が18町35万、天然下種に45町47万など≪114万≫がくんである。

解説☆…予算書をその通りにならべたのでは、皆さんにお解りにくいし、第一面白くありません。そこで、町民の皆さんに特別に関係の深い数字を追っかけてみました。必ずしも金額の大きい項目を拾ったわけではありませんが前月号の予算解説とあわせて読んで下されば、ご理解いただけましょう。…☆

知事選80%の投票率

21日の投票は80%だったが、男子は82%、女子は77%と少し劣った。大内町の有権者数は8千827票だが、このうち7千16人が投票した。しかし無効投票が49票もあったから、結局6千967票になった。各投票所ごとの成績は次の通りであった。

矢田80、長野79、御堀78
小野83――以上**大内**、西部84、東部84、中央77――以上**小鯖**。**仁保**第一76、第二97、第三84、第四76、第五64、第六79、第七83、第八80、（数字は全部パーセント）

原水爆から全世界を守ろう

1日より白い羽根（日赤）募金

〃原水爆の体験は、日本人だけで沢山だ〃と日本赤十字社は全世界に戦争防止を呼びかけている。世界各国の赤十字社も、政治、宗教、人種を超越して手をつないで立上っている。

日赤募金は、国際的には戦争防止に努めるための資金となり、国内的には災害救助や、無料の巡回診療、看護婦の養成などの資金となっている。1日から31日までこの募金は、赤十字運動の趣旨に賛成する人々に対して強く訴えられる。

今まで個別募金と社員が出す社費の両方に頼っていたのを今年から改めて、社員1本でゆくことになった昭和34年から個別募金が認められなくなって、この運動を発展させるためには、社員数を増やさねばならなくなったから。従来の募金方法が合併前の3地区でまちまちだった関係もあるが参考までに社員の現在数はつぎのようになる。

大内	162名	13.8%
仁保	74名	0.7%
小鯖	195名	28.4%

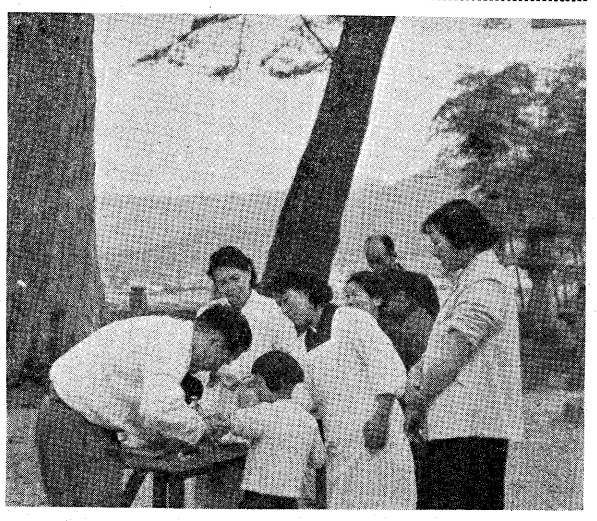
%は住民に対する社員の割合で、現在数の合計は428名となっている。具体的にふやす方法として、大内町の目標11万円に対し、年100円としても、1100人が必要だ。新しく662名を社員としなければと、民生委員や駐在員の方々が貴い努力を続けている。

19日に慰霊祭

今年は仁保小の講堂、午前10時～12時まで。午後は余興となっている。当日のバスは、小鯖大内の遺族に対し、例年通りバスで送り迎えすると。

一貫野で慰霊祭

12年ぶりに、忠魂碑が再建された。去る4月6日、仁保は一貫野で、この忠魂碑の前に部落中の人がつめかけた。豪せいではなかったが真心こめた慰霊祭に、戦病死した人たちは慰められたことだろう。日露戦争で1名シベリヤ出兵で1名大平洋戦で9名と、合計11名のささやかな慰霊祭だった。



明るい町は伝染病の追放から

患者数は県平均の2～3倍

あまりほめた話ではないが大内町の伝染病患者は多い。法律で決っている伝染病の、患者数を28年から拾うと28年が91名、21年が100名、30年が43名、31年には97名にのぼる。昔から多かったわけではない。昭和24年には僅か4名の患者で、県の平均より50%低い。この頃から急激にふえ出して、県平均の2倍。昨年はついに3倍の患者数を出した。

赤痢がトップ

昨年の赤痢患者は88名に達した。何としても多い。伝染病患者のほとんど9割は赤痢でしめられている。町は苦しい財政の中から今年予算で120万円を保健衛生費に組んだ。

10日、小鯖八幡宮境内で予防注射。

〃痛くないよ〃と子供も一生けん命

▽山口県の今年の予算の中で、衛生に関する金額を拾うと、約2億円ほどになる。この金額を、県民1人当りに計算すると、120円ばかり。衛生予算を31年度の1億6千300万円にくらべると、ざっと2割ほど増加している。

△いよいよ**ツユ**も近くなって、赤痢など伝染病の流行期に入ったが、昨年県下で発生したものは、相当な数にのぼった。赤痢で約2千人、ジフテリヤが約600人、食中毒が1千人、結核が8千人出ている。山口県の特ちようは赤痢とジフテリヤが多いことである。

▽8千人も出た結核だが、ほんとうの患者数は、登録した人もしない人も含めて、5万人ぐらいと見られている。これに対しベッドの数は約6千で、1割強という有様であるこの結核予防のため、県ではせめてもとつぎのことを行っている。無料で健康診断をすることや、かく離療養室を建てる際の費用の貸付など。

▽衛生研究所は2千200万円かけて、秋までには完成の予定。私たちの健康を守るための科学的な調査研究に大切な施設となることである。

▽**鶏痘とコクシジュウム**
これから発生期に入ります。この2つが鶏の病気の中で一番恐ろしい伝染病です。薬品を産業課でお世話します。薬品は100羽分ですから、近所で話し合って100羽単位にした方が有利。鶏痘にかかると卵を産まなくなるし、コクシジュウムでは血便をまじえた下痢をして次々と倒れます。鶏痘の予防薬は200円コクシジュウムの方は600円見当です

▽**乳牛**の結核とブルセラ（流産の伝染病）検査が13し18日まで地区毎に行われます。ブルセラはこの度法定伝染病になりました。乳牛を飼っておられる方には、直接産業課からお通知いたしますが、その日には必ずおいで下さい

▽**養鯉**の講習会が6日午前10時から、仁保農協で開かれます。水田で鯉を飼うことは、農家のタンパク補給にぜひ必要なことです。ご希望の方は、仁保地区に限らず、町内全地区からご参加下さい

▽そ菜の**電気**栽培に関する座談会が、7日後1時から大内農協で開かれます電熱利用栽培は、この春実際にやってみて、相当な成績を上げています。関心のある方は、当日ぜひ傍聴なさっては

▽その他の集会。水稲晩期栽培の講習10日後1時から、夏そさいの微量要素肥料についての講習が15日後1時から、ともに大内農協。水稲試作ほを設ける打合せ、15日小鯖農協で

みがかれた碑の前に部落中が集った

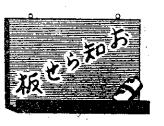
町政メモ

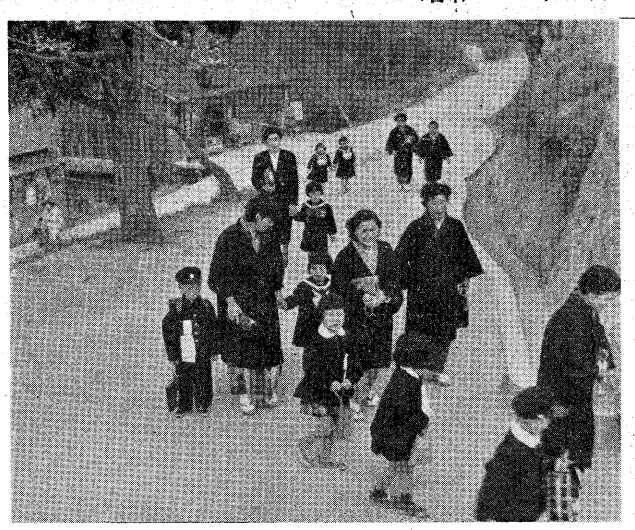
13日　大内地区遺族会の役員会▷史談会下関視察へ
16日　社会福し協議会の理事会
17日　農山村振興協議会が議事堂で開かれ，部落計画，新農村建設について打合せ
19日　林業改良全国発表大会（東京）へ，小鯖中学の代表野中八寿郎君参加
21日　知事選挙
23日　国民建康保険の運営協議会
27日　農山村振興協議会
24日　県護国神社の祭礼に，町内の遺族も多数参加した
30日　郡議員大会が大内小学で開かれ，約100名の議員が参加した

4　月

4日　県立農業試験場で，保護司会
6日　町立保育園の入園式
9日　土木・耕地の現地監査が行われた
10日　災害対策の特別委員会が町議事堂で。町議全員出席
1日　民生委員会，日赤募金の打合せ　▷仁保小学第3校舎の落成式

5月の予定





今月号は教育に対する色々の問題点を拾って見ました。私たちの町の教育の現状と将来への見通しを、この際じっくりと考えてみようではありませんか。

（写真は仁保小学の入学式の当日、子供たちは喜び勇んで）

教育

統合中学ができても 建直しの必要な校舎がまだ700坪もある

現在の校舎はどうなる

大内、小鯖を統合した中学ができたら、今までの校舎はムダになるじゃないかという質問によく会う。町内の学校の老きゆう（古くて建直しを必要とする）校舎の坪数を見てゆくと、決してムダでないことが解る大内中で678坪の内、132坪は老きゆうで、実質は546坪となる。ところがお隣りの小学校では、今だに古い暗い校舎が残っている。この坪数が516坪だから、そっくり小学校にゆずっても、少しあまる程度だ。小鯖中学の場合でも518坪のうち205坪は老きゆうだから、実質313坪は、小学の老きゆう338坪に少し足らない。（昭和37年には小学生徒数が100～150名へるので、中学校舎の坪数でどうにかしのげる計算である。）

老きゆうはどの学校にも

大内、小鯖の小学校ばかりではない。老きゆう校舎は仁保小で294坪（529坪あったが、第3校舎ができて235坪はどへった。）大富で191坪一貫野で40坪、東園で181坪。しめて706坪になるから、町内の児童生徒は、薄暗い教室で勉強することを当分よぎなくされている。ざっと700坪は、統合中学が完全にできての数字だから、現在の老きゆう校舎は、残念ながら1954坪になる。つまり統合中学が完成する予定の昭和35年春でも、まだ700坪の建直し必要な校舎がある計算である。

幼児教育は大丈夫

幼稚園、保育所は現在3ヵ所（仁保みのり幼稚園、大内保育園、小鯖桜陰児童遊園）だが、収容力は大丈夫である。この3つの施設で180人が通学しているが、町内の適令児童数は282人で、約100人が通っていない。この数字だけ見ると現在の収容力では足りないが、毎年急激に人数はへって36年で200人ぐらいに落ちる。施設も小鯖の桜陰児童遊園が、かっての分教場の校舎をそのまま転用しているので粗末だが、他の2つは建築後間もない。だから今後40～50年は大丈夫と見てよい。

分校はおいおい統合

学校はなるべくまとめて規模を大きくするにこしたことはない。雨天体操場でも特別教室でも1つで足りるから。しかし大内町の面積の広さが、そう都合よくしてはくれない。私たちの町の教育の難しさが、ここにある。それでも小鯖の桜陰分教場は廃止された。檜畑の分教場も、遅くとも明年4月には廃止になるだろう。道路の改修と交通の発展が、少しづつ教育の悪条件を改善してくれている。中学建設が軌道にのり初めたことも、施設の関係からいうと、非常に大きな節約になる。だが面積の広さ——通学巨離の遠さと学校統合のむじゅんは、大内町の教育を論じる場合何時でもガンになるだろう。

各校のかかげる目標

町内の小中学校は、それぞれ高い理想をかかげて教育に努力している。いわば各校の自慢を一わたりごひろうしよう。仁保の大富小では、今年7月全国のへき地教育研究の引受校になるので、準備中だ。音楽教育をどうするかがねらい。仁保小では、音楽や環境の整備を通じて、情感の豊かな子供たちを育てようとしている。東園小は全国にも珍らしい両親学級を運営して家庭との結びつきをはかっている。図書館や給食にも努力している。小鯖小は健康教育の理想をかかげ、この1年間綿密な体育指導を行つてきた。大内小は、ずっと以前から生産教育をとりあげ、他県から視察者もふえている。創る悦びを通じて、生産人としての人間的な成長をねらう教育は、名実ともに本県のナンバーワンとなっている。

中学では、仁保中学の産業教育がある。大内小の場合と少し異り、より職業的な要素が実せん的に加味されている。この学校の学校植林は県から表彰を受けている。小鯖中学では生徒は礼儀正しく、しつけが立派だと親たちは喜んでいた。また愛鳥の指定校としても、すでに農林大臣賞を受けたが、観察とか科学的な研究態度は、この学校のよい伝統になりつつある。大内中学は美にたつ教育を理想にしている。美の中に、人間の理想像を画かせようとしている。図書館教育でも、すぐれた運営が試みられている。

子供たちはすくすく育つ

現在の世相は、必ずしも子供たちによい環境とはいえないが、それでも子供たちはすくすくと育っている。健康ではち切れるような子供たちも、やがて中学を卒業すると、進学、就職と巣立ってゆく。それが大内町でどうした状態にあるか、関係の数字を拾つてみた。子供たちの健康は大体良好だといっても、全町の小中学校でくしている児童生徒があるといえば、ビックリさる方もあるだろう。私たちの子供をもっと丈夫にするため、色々な対策が必要だ。

胸部疾患など64名

2つの分校を含め町内の小中学校が10校、その中で64名の児童生徒が周囲から温かく守られなければならない（31年度の数字）。僅か64名といってしまえばそれまでだが、本人はもちろん、両親にとっては、色々と心配の種になっていに違いない。大内小で15名、小鯖小で14名の、胸部疾患児童がめだっている。精神薄弱児9名、体の特に弱い児童生徒が19名もいて、合計すると64名に達する。

身体はまず県平均なみ

6才から14才まで、町内学校の児童生徒の平均体位は県の平均に達している。身長、体重、胸囲、座高について調べたが、各年令別で、平均を上廻ったのもあるが大したことではなかった平均より下廻ったのもあるが、まず平均なみといったところ。しかし県平均も全体の平均であるから高いので学卒業後すぐ就職した生徒の体位がよくなるには、もっと現在の数字を上廻る必要がある。

興味深いが34年でないと数字が出ないが、5カ年間に1千名を越す進学者があつたわけである。中学卒業後すぐ就職した生徒の数は、男子は89名となっている。農林業が圧倒的に多いが、その他は工業商業を筆頭に、細かく各職業に分れている。進学者の就職状況は

男子の6割が進学

昭和26年から30年まで、5カ年間の進学状況をまとめてみた。卒業生は男子が651名に達している。女子が709名、女子が481名、（公立303名私立87名、その他35名）女子の進学者は218名、（公立140名、私立276名、その他69名）に達している。進学率は1年間に250～300名ぐらいの卒業生を送り出しているが、5カ年間に1千名

◆

まかれた1つぶの麦が大きく実って、関係者たちも驚いている村が新潟県にある。中頸城郡の板倉村がそれ。昭和28年に始めたときには21グループ、260人の参加で、52万円の貯金だったものが、現在39グループ、585人の会員をもち、貯金高も450万円とふくれている。

◆

ことの動機は、新しい農業技術がいつも主婦の手で打消されてゆく——これを何とかしなければというところにあった申し合せたように、新しい技術のブレーキ役を主婦がしていた。主婦たちの農業に対する知識が浅く、技術のレベルが主人にくらべてズッと低い点を改善せねばとうてい前進はできない。このように低い知識や技術を高め、男性のよい**相談相手**になるとともに、婦人自身の強い**生活力**を身につけさせようとして、「愛妻田」運動は起された。

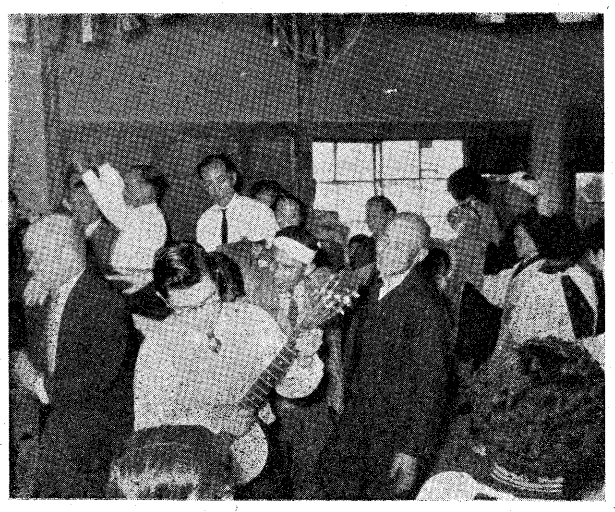
◆

完全な主人のりよう解の下に、耕作面積の中で1反を主婦が経営する。普及員などから学んだ技術を誰にも遠りよせずに実行し、平均反収を上廻る分は主婦の所有物になる。技術を高め、増収するほど、主婦の自由になる金はふえる。しかもこの金は、生活改善に使うことが始めから約束してある。

◆

家事と農業との2重労働から幾分かでも解放されなければ、自分たちを高めることはできない。そのための生活改善だ——と婦人たちの自主性は高まった。

新潟県の愛妻田



部落ニュース

バスの貸切流行

春ともなって、あちこちで貸切りバスが流行した。小鯖農協の婦人部は9日徳山ソーダーを見学小鯖の3区では、10日に遠く広島まで。2区は下関見学としやれた。13日には史談会がやはり下関に行き、史蹟調査を主に歩いた。大内下千坊の婦人会34名は15日大道の潮干狩に行ったが、貸切りバスではなかった。

ハメをはずして

年に一度の花見じゃないかとばかり、御堀西組の人たちは、14日の日曜日大いに浮かれた。写真に見るとおり、フラフラ千鳥足。冠婚葬祭を一切カンタンにして、お酒を飲むのはこの日だけだ。嫁とり何升、葬式何升と決っているが一年ためれば酒はタップリ、花は咲いたし。このやり方をやっているのは、仁保井開田の東西部落と大内の長野部落がある。

老人がニコニコ

谷川さんの行司で始まった昔は山の頂上で大人も子供もやったが、今はすたれて子供だけ。4年ぐらい前から女子もやり始めたと。さても勇まし、ハッケヨイ。

チリ一つないあと始末

少し旧聞だが、3月28日のこと。大内営内で、農業技術の映画をやったとき、集った部落の人たちは、周囲のチリを拾って帰ったので、あとには文字通りチリ1つなかった。「清潔さに打たれた」と普及員高瀬さんの話。

小鯖の上鯖山では、4月6日の土曜日、青年団が主催で敬老会を開いた。公民館の後援だったがほとんどの仕事は青年たちが切り廻した。60才以上の老人は約50名にのぼり、演芸などに時のたつのも忘れた。この部落では、敬老会は年中行事になっている。

女だとてハツケヨイ

大内川向は宮島神社の春祭り、毎年子供たちの楽しみにしている奉納相撲がある。17日の午後、地元の人たちの寄附で賞品もたくさん集り、世話役長

親たちが子供ととけ合って、楽しいひとときを過す行事を、ぜひお便り下さい。町内の全部をまとめてみましょう。

大内町広報

昭和32年6月1日
第24号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

盗られて悔んでも

農繁期には、空巣がどうしてもふえます。ごく最近大内の氷上でも防犯組合ができましたが、どの部落でも隣近所連絡しあって防ぎたいものです

豫防注射をせぬ人63％

どうも大変な数です。これでもし今年伝染病が流行したら――と係は頭を痛めています。63％の人たちは、危険にさらされているともいえます

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〝大内町〟はすくすくとのびてゆくでしょう

今月の税金

町民税（第一期）
6月1日～30日まで
早めにお納め下さい

ブルトーザーのうなり快調

統合中学4千500坪を整地

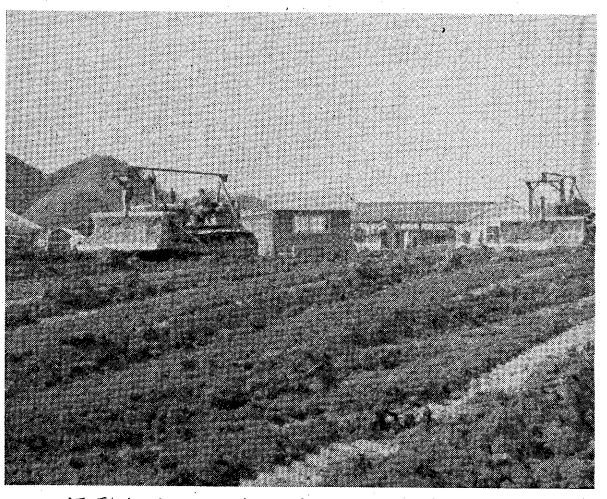
自衛隊防府基地隊の大きな協力で、統合中学の敷地は約半分の4千500坪を5月いっぱいに完了した。雨にたたられた日もあったが、小雨の日は作業を続け、15トンのブルトーザーのうなりは、現地長者ケ原にこだました。

作業隊員黒に日焼け

作業隊長黒木1曹はか7名の隊員は、5月7日から連日の作業で、真黒々と日に焼けている。朝は7時から夕刻6時まで、途中の休けいも惜しむかのように作業にいそしんだ。1台1日300人役に相当するブルトーザーが2台動いたんだから整地作業はどしどしはかどった。校舎の敷地は全部終り100mの直コースやバレーテニス、バスケットのコートも整地がすんだ。

赤土でやりにくい

作業は全くやりにくかった。ブルトーザーの乗員もさることながら作業員として雇入れた人たちも、苦労が大きかった。ブルの能率がいいからテンテコ舞うわけだ。第1期の整地事業は5月いっぱいで終り校舎の建築は8月にはじまる見込である。



活動したブルも31日防府に帰つた

町政の動き

一貫野分校廃止の方向へ

通学に便利になるよう、道路の改修が先立つ問題だが、5月6日の町会協議会ではこのことを話し合った。つまり一貫野―並山線道路の改修を、やることに決定した。事業費は△250▽万以上かかる予定で、その内△100▽万は、国からの補助が大体確実。巾は△4.5▽メートルで バスの通行には大丈夫である。目下申請中で、見通しはついている。しかし仕事にかかるのは、田をつぶす関係上、秋になる模様だ。

第1回の追加予算を14日

追加の総額は37万5千円で、金額としてはあまり大きくない役場の電話機をふやしたのに8万6千円、小学校の教材など備品をふやすのに7万円、統合中学の建設費に、12万円の追加をしている。議会での予算審議は理論的にはっきりした根きよをもつことが主張され、議論は活ぱつであった。

議長、副議長など改選

総務委員会

2年間の任期も終つたので、議長、副議長、各常任委員の改選を行った。結果は、清川前議長が再選され、副議長には新しく中川廿七（仁保）氏が就任した。

総務、経済、土木、文厚の各常任委員は、同じ委員会にとどまった議員が多く、あまり顔ぶれは変っていない。委員会ごとの議員氏名はつぎの通りである（○印が委員長。敬称略）

総務委員会
○田中喜熊　田中俊輔　吉野徳穂　山下忠義　清水善達　貞永浩　中川廿七　堀山益雄

経済委員会
○光田悦助　小林市助　徳本他人　赤岸信一　末宗秋作　西村静

土木委員会
○寺内好一　安富隆吉　中野正　徳本圭介　重宗徳一　山根一孝

文厚委員会
○柳良惣一　山根茂雄　藤本金土　岡田清治　有吉豊　監査委員　田中俊輔（議会選出）　岡田昌数（学識経験）

議長は再選、副議長に中川氏

更正予算で38万を追加

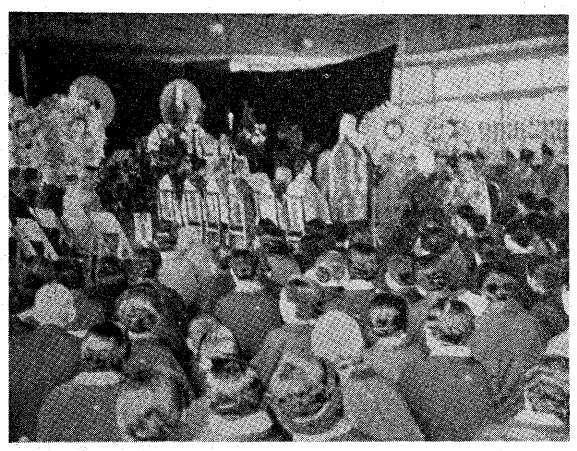
常任委員は、同じ委員会にとどまった議員が多く、あまり顔ぶれは変っていない。委員会ごとの議員氏名はつぎの通りである（○印が委員長。敬称略）

総務委員会
○田中喜熊　田中俊輔　吉野徳穂　山下忠義　清水善達　貞永浩　中川廿七　堀山益雄

経済委員会
○光田悦助　小林市助　徳本他人　赤岸信一　末宗秋作　西村静

土木委員会
○寺内好一　安富隆吉　中野正　徳本圭介　重宗徳一　山根一孝

文厚委員会
○柳良惣一　山根茂雄　藤本金土　岡田清治　有吉豊　監査委員　田中俊輔（議会選出）　岡田昌数（学識経験）



遺児の感想文に涙しぼる

慰霊祭500人が参加

小雨の日だつたが、講堂は満員て割れんばかり

5台のバスを貸切って、遺族は会場の仁保小学へと、続々集った。19日午前中仏式によりしめやかに行われ、ぎっしりとつめかけた遺族は、500人にもおよんだ小鯖中3年の篠原ヤス子さん、大内中3年の田中博君が読み上げる、靖国神社に参拝しての感想文は、悲しみを同じくする人たちの涙をしぼった。明治以降大平洋戦まで、戦病死者は574柱にのぼるという。午後仁保クラブで伊藤少女歌劇団の慰安演芸があり好評だつた

日赤募金100％に達す

新社員430名も増加

赤十字運動の趣旨を理解する人々によって、大内町の目標11万円は、見事に達成された。今年は社員の増加にネライをもっていったため、各地区とも新社員がぐんとふえた。

大内	386名	216名増
仁保	273名	160名
小鯖	255名	55名

嘉村磯太の文学碑

後援会も近く発足

最近注目を集めている、嘉村磯太（仁保上郷揚山の出身）の文学碑が、いよいよ立つことにきまった。11日仁保中学で協議会が開かれたが、記念講演会や出版物など、細かく話し合った。30名の賛助員を依頼し、後援会も近く発足する。

安部能成氏のかいた碑文もすでにできあがつた。

千恵子ちゃんが1等!!

今年の赤ちゃん大会参加者は、そろいもそろって標準体位の上位のものばかりであった。半数以上が誕生過ぎの赤ちゃんで、離乳期に体位がさがっていない点も昨年より向上していた。つまり、お母さん方の育て方が一段と向上したともいえる。5日子供の日につぎの赤ちゃんが表彰された。

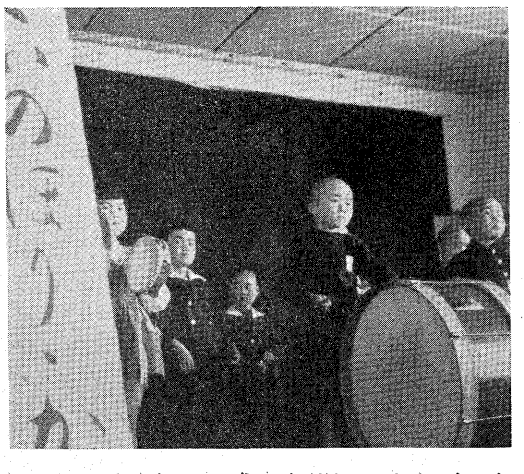
1等岡谷千恵子（仁）2等小山真由美（大）手嶋好乃（小）3等中谷文男（仁）山根文人（仁）荒瀬欣也（大）安永充義（大）西村輝明（小）守田正史（小）未熟児（生れたとき小さかった赤ちゃん）の努力賞 岩本儀唯（仁）田辺恵子（大）古谷早苗（小）

更生会の総会

29日100名の人が町議事堂に集って、31年度の決算、今年の事業計画を検討した話人会が町議事堂で

町政メモ　5月

1日　統合中学の地鎮祭▷乳児検診
5日　子供の日，優良乳幼児表彰式
6日　町会の協議会
7日　農業委員会
9日　新生運動の推進世
11日　総務委員会▷嘉村磯太けん彰碑につき協議会
12日　町史談会が大内小野の光厳寺で開かれた
13日　乗福寺の遺せきの発掘が再開された
14日　町議会（今年になって定例3回目）
17日　新生運動推進世話人会が町議事堂で
19日　慰霊祭，仁保小で
20日　納税者の声を聞く会が開かれ，苦情や相談を聞いた
22日　新農村振興協議会▷夜，小鯖青年学級
24日　青年産業振興発表大会人賞者の発表会が農試で
25日　中央線（大内）委員会▷引揚更正会総会
29日　海外移住者の相談会▷夜，小鯖の青年学級
30日　農業委員会▷森林組合の合併を相談する協議会が開かれた



東園小の學藝會

給食1週年を記念し，14日に学芸会が開かれた。母の日をかねて，カーネーションが生徒から送られたくさんのお母さん方を喜ばせたこの学校の両親学級は，いつも（お母さん方が多いが）参加者がたくさんあり，成績がよかったので，今年も引続いてやることになっている。写眞　1・2年生の器楽演奏

話題

わずかの雨で15万の被害

24日の雨はほんのはした雨だったが，菅内川小野の籠屋イデの下流は被害を受けた。原因は河ざらいをやって，その雑木が杭にかかり，水の流れを一方にかたよせたため。わずかの心懸けでこんな被害もよけられる。今後どうぞご用心のほど――

乗福寺の発掘が再開

4月号の広報でお知らせした大内御堀の乗福寺（大内氏のぼだい寺）の発掘は，13日に第2期工事を開始した。現在の乗福寺の裏山1帯2千坪にかっては7つの寺が豪壮な軒をならべていた。大内時代の仏教文化が，この発掘で明らかになると期待されるが，町史談会員や地元の人たちの貴い労力奉仕は今日も続いている。

そさいグループ廣島へ

13日に約50名が広島市の園芸地帯を視察した。ビニールハウスで，ナス，きゅうりの促成などを見学したが，大変参考になったと。仁保5名，小鯖7名であとは全部大内地区の人たち。大内町そさい組合は近く各地区をまとめて，結成される機運に向いつつある。

皆で祝った誕生日

毎月1回，その月生れの人を中心にして祝福する――仁保女子学園では，〝誕生会〟を4月から始めている5月は20日の月曜日，伊藤ヨリ子さん等が祝福された。なごやかに話し合っていると，知らぬうちに社交性がはぐくまれる――と柚木先生の弁。

父兄総出で大富小の化粧

仁保上郷地区では各戸1人あて参加して，5月10日大富小の化粧を行った。

6月の予定

板せらわお

▽小さい子の**伝染病** 梅雨には手近かにグミやユスラ，スモモ，梅，アンズとあるため〃食べ過ぎ〃で子供がよくエキリにかかります。カン腸薬をいつも備えて，熱の高いときまづカン腸して医者に見せると，効果的です。

▽**乳牛**の種畜が変りました 家畜保健衛生所（小郡）につながれている乳用種雄牛はつぎの2頭です。キング，ヘンドリック，ローヤル，バーク号（県種畜場産，白黒，28・3・25日生，料金△800▽円）

▽**新農村**建設事業で，部落や個人から出された計画を，今月検討いたします 担当は町の産業，施設，林務の3課で，具体性のある計画にするため，ぜひ皆さんのご協力をお願いします。

▽**パラチオン**にご注意 あつかい方によくお慣れになったでしょうが，やはり猛毒のパラチオンです 県下で毎年被害者も出ています。風下に当る家や鶏舎は，戸じまりを完全にする，まいたあとは1週間立入らない，小川の魚も危い，川遊びもいけない――ご存じでしょうが念には念を入れて。

▽馬の**流脳** 予防注射を7月上旬3地区で行います

ローヤル，ローズ号（北海道産，白黒，27・1・10生，料金△1,300▽円）キング，ヘンドリック，ローヤル，バーク号（県種畜場産，白黒，28・3・25日生，料金△800▽円）

普及員の利用ざつと3割

〝もったいない〟せつかくの制度

私たちの農業技術は、お世辞にも高いといえない。毎年同じ労力をかけてもっと効果的な収かくを上げることはできないものか。大内、小鯖、仁保を担当している3人の普及員と各農協の技術担当者、町産業課から鯨田課長に集ってもらって当面する問題を掘りさげた。関係者は町民の皆さんのご意見を聞きながら、どこに欠点があったか反省したいと語っていた。

普及員のナヤミ

〈おかしい〉ときには、すぐに連絡してほしい。例えばこんなことがあった。1貫野の保温せっちゅう苗代で、立枯病のために50坪をほとんどダメにした。〈もう1足早かったら〉と、普及員はなげく。手遅れは人間の病気と同じく、どうしようもない。連絡は役場の支所でも、農協（支所を含めて）でもよい。普及員は何時でも出動できる準備をして待っているから。役場に1人は、かならずいることになっている。しかし〈大したことでもなさそうなのに〉呼ぶのは遠慮かもしれない。だが普及員は実にいいことを語った。〈もっと私たちを活用して下さい。遠くまで出かけて病気でも何でもなくても、何でもなかったからこそ、農家の人たちと同じようにうれしいのです。それが1つの足がかりになって、私たちとの結びつきができるかと思えば〉

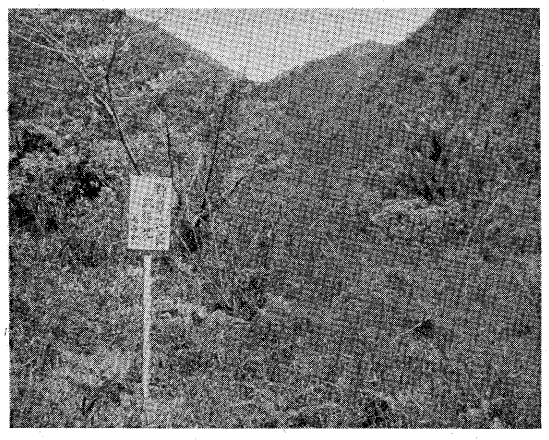
たえず連絡する人たち

水準の高い農家はよく相談するけれども、普通水準のところが案外に少いつも普及員に相談する農家は、全体の約一割、案外に少い。現在普及員と連絡を持ち、技術向上に努力しているグループを紹介しよう。

大内＝泉会（長野）七草会、1日会（上矢田）10日会（中矢田）らっきょうクラブ（氷上）菅内農研、大内そさいグループ

仁保＝農事研究クラブ（一貫野）双葉会（丸山）満月会（深野）農青連支部（両谷）仁保果樹組合、桝谷耕作組合、28会（井開田東）松柄農研

小鯖＝みのる会（稔畑）、晴耕会（柊）鯖地、石畠、毛割の3農研（ともに部落中）これからの技術のにない手をこれらのグループがはたすだろう



木戸山の野草改良地　飼料価値の高い牧草が育っている

☆同じ労力である人は10とりある人は6しかとらぬ　☆どこにコツがあるのだろう

1貫野〝早期栽培〟の共同苗代

施肥設計も少しのびた

毎年の正確な記帳がないこと―これが合理的な施肥をやろうとしてやれない状態においている。何年か続いた記録と結果とが解れば判断のしようもあるというもの。だが今年、面白い傾向があらわれた。仁保の岩倉のように、自分で施肥の設計をやって、〈これでやるつもりだが、どうだろうか〉合理的にやろうとする自主性が、もう一押しで大きくのびようとしている。

分げつ期に水が多い

一般に水の利用が逆になっている。7月一杯はしめっている程度で結構なのだが、満々とたたえてある。8月花水（開花期）を切らしては大変だが、さて水がない。

9月となると、しめっているぐらいで結構だ。水の取りやすい田は今年ぜひ試験なさったら……根ぐされ、ゴマハガレの多いところは有田）本人も驚いたが、近所の人も驚いた。この田に対し今まで赤土を客土していたがかえって悪い結果を起していた。つまり田の盤の下が瓦土（重粘土）であった。――（山下泰雄氏の所非常に効果がある。つぎに大切なことは〈8月になって田の草をとっては、ぜったいに増収にならぬ

記録のないのが欠点

――8月の花水は特に大切――

〉ことだ。それと、7月中旬までには第1回の追肥がきめがあるようにしたい。だから一番除草には、追肥が必要になる。

田の盤は1枚あてちがう

小鯖の鯖地であった例だが、り田の下層土の状態を調べることで、施肥や客土に、合理性を与えることができる。それでも1枚1枚違うのだから、調べてみねば解らない。効果的な施肥や客土には盤の下の調査が必要だ

早期栽培全町で15町歩

8月一杯に収かくするものを早期栽培と呼ぶなら、15町歩ある。仁保4町（1貫野、丸山が主）小鯖5町（石畠、毛割、鯖山）大内6町（菅内他）早期栽培で注意したいことは、めい虫の発生最盛期が6月10日頃と考えられるから、6月～中旬が防除の適期になる。（集団防除をやり、パラチオンを使う。）7月中旬が出穂期になるので、6年中旬には除草も終らねばならない。収穫のさいだが、乾そうに注意せぬと、せっかくの米が胴割れ米になる。この点はよく普及員に、相談していただきたい。

今年夏に危険信号

めい虫やウンカの発生が、例年の3倍と予想されている。レンゲ田には特に多いだろう。そのほか稲作上注意したいことは苗代の追肥を止めること。追肥した苗代は、昨年全部イモチになった。もしやっても液にしてやる。バラバラふるのは感心しない。仁保の奥は苗がよくないとだめだが、他の地区は苗のよしあしが収量にあまり関係はない、天候が大事と普及員は語っている。苗そのものに特別神経質にならなくてもよい

子供より大人が真剣

稔畑分校の運動会には東鯖地区の大人たちも多勢参加して、どちらの運動会か解らぬぐらい。ひっくるめての親ぼくに大変役立ったと。対抗リレーに、ご覧の通りやんやの応援、さても負けられぬ。

夏出しカンランを計画

仁保一貫野は高冷地なのを利用して、夏出しカンランの共同出荷を、計画した。1町1反まきつけているが、8月下旬から9月いっぱいに出荷の予定。なかなか着眼のいい計画だ。当ればいゝが――と地元の人は不安と期待をおりまぜて見守っている

深野で水稲の競作

仁保深野の殿河内部落では、今年秋に稲作品評会を開く約束で、すでにスタートした。1等は千円ぐらいらしい。少いながら、これで1等をとると、一杯いけるわけ。

問田の養鶏は好調

大内問田の養鶏組合はますます好調だ。今まで役員だけで世話をしていたが、それもやりきれず、とうとう輪番制にした。で結構うまくいっている。今年はヒナも多量にふやして、全員はり切っている。

農休日も板についた

大内の菅内と、小鯖の毛割部落が、皆で取りきめた農休日を守り続けている。菅内の場合、午前中は学校参観をやり、午後はかならず農事懇談会を開いて、1日を有意義に過している。毛割の農休日も、すでに普及員が2回出席して話をしてきた。小野正広氏が音頭をとって頑張っているが、遊びながら学ぶ趣旨は、よく生かされてきた。

婦人ばかりの晴耕会

小鯖柊では、異色ある〝晴耕会〟が活動を続けている。若いお嫁さんから、60のお姑さんまで集る、全くの男気なし。毎月第1土曜の夜が、定例日になっている。兼業農家が多く、婦人が主体にならねば農業経営ができないのが、この会の生れた理由だ。始めたばかりだが、水稲の技術講習をすでに終った。〈今に見てごらん〉と会長長井艶子女史は、すごい鼻息だった。

ウレシイナ!!子供会

大内の川向では公民分館長、水谷さんを中心に、子供たちの天国を作ろうとしている。婦人会がグラウンドを利用して売店で基金を作るという。長谷川、梅本、田原さんたちが額をあつめて智えをしぼっている。

木戸山で牧草すくすく

仁保の木戸山地区に、町産業課が試験した野草の改良地がある。いま両浴の農青連が管理しているが好成績にみんな喜んでいる。

農業の技術

経営に異色ある人たち

経営に徹底して記帳を利用しているのは、仁保深野の秋川さんだ。すべての問題を、過去の経験の記録から割り出している。仁保丸山の藤村勉さんは組合せのうまい経営法だ。

養鶏、乳牛、水田果樹と経営し、労力配分に力を注いでいる。同じ例で秋枝さんも合理的にやっている。

大内千坊の荒瀬勇さん〈そさい〉は何でもこなすが面白い方法として1つのモーターをフルに使っている。揚水ポンプ、電熱温床、台所の改善精米精麦はもちろん、製材まで。

水田の苗作りでは何というのであるのだろう

米作り日本一をみても、全くの素人の農民か引揚者などの方が立派な成績をあげている。天狗になって、人の意見に耳をかそうとしなくな〈合理性〉がつらぬかれているからだろう。

昔から農業に従事してきた人たちには、大なり小なり秘密主義がある。自分の技術を人に教えない。小さな天狗になっているようである。だが、その秘密主義が行づまっていることは、以上の例からでもうかがえる。天狗になって、人の意見に耳をかそうとしなくなったら、技術のノビもとまってしまうだろう。

大内町にもたくさんの研究グループができているが産業課も、農協もこの育成に力を入れている。若い人たちばかりでなく、年寄のグループも、これからはどしどしできてほしい。

皆が考えあってやるところに、私は農村の新しい歩みを求めたい。グループこそは、行づまった秘密主義にかわる、これからの道だと叫びたい。グループに属して研究を進めている皆さんのご健斗を祈っている。

（仁保　石部元一39才）

秘密主義の行づまり

……

部落探訪バス

長者ケ原から出た石棺

5月10日、統合中学の敷地をブルトーザーでならしている最中に、小さい石棺が1箇発見された。発見者は長野部落の来栖義輔さんだった

◆

この長者ケ原には、塚穴塚原のアザ名があって、明治時代にも石棺を発見していた。自動車学校をつくるさいにも横穴がポッカリ開いて、古墳時代後期の遺せきがあらわれた。

◆

ところでこの石棺、4千貫の重さをもつブルトーザーのため、上部の半分がとんでいた。12日県からも係官がきてくわしく調べた。棺は横巾が1尺7寸、タテが5尺5寸で、あまり大きいものではなかった。石のつぎ目には小さい石をはめシックイで5寸の厚さについである。

◆

天保3年の〝地下上申長野村矢田村、小鯖村〟によると、3村共有の牛馬放牧地であったと記されている。その昔、放牧で土地が肥されると、耕地とするためつぎつぎに放牧地を移し、丘の畑は低地帯の水田にとりかえられた。

かって水を治めることも知らなかった時代、この長者ケ原は住居であり、水から守ってくれる手頃な丘であっただろう。

大内町広報

昭和32年7月5日
第25号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

3つの運動

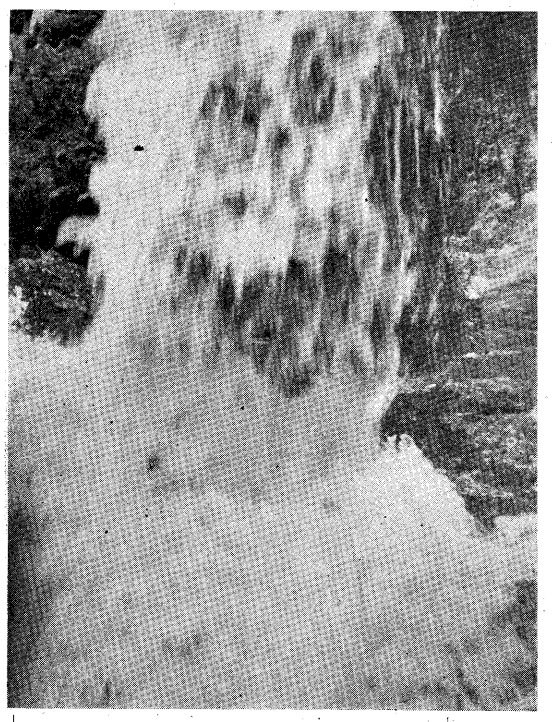
××運動というのがやたらと多いのがこの頃ですが、やはり決った期間を作らぬと、私たち全部のよりあわさった力は産れてきません。

夏の健康を守る運動
7月1～20日まで、伝染病や食中毒の起りやすい時期。手洗いが大切。

国土建設の運動
7月10～16日まで。道路や河川を大切にし、私たちの国土を、もつと美しく!!

自然に親しむ運動
7月21～8月20日まで。恵まれた祖国の美しい自然を愛し、親しむことによって心に豊かさが……

固定資産税（第二期）
納期 7月末日
お忘れなく早目に



〃新農村〃最終計画を県へ
収入の少い人には医療費を貸す

心配された台風5号は、あっさりと身をかわし、晴天続きで遅れた植えつけを逆に促進してくれた。よい雨だった。農繁期なので、町議会も6月は休み。したがって町議会関係でお知らせすることはない。

〃新農村〃補助事業は15件
新農村建設事業で、補助の対象になるものを、県庁の関係各課が合同審査したのは5月31日だった。フルイにかけて残ったものに、くわしい内容を作るため、2つの事務局（仁保と大内・小鯖地区）は多忙を極めた。6月一杯で、大内町の最終計画が県に提出されたが、これから県を通って農林省にゆき、本当に決るのは9月頃と見られている。（計画のくわしい内容は2面にあります）

並山線の設計終る
一貫野分校の廃止に必要な通路（並山――一貫野間）は、すでに設計を終った。〈100〉万円の国からの補助もほゞ決った。着工へ一歩一歩近づいている。

28日に民生委員会
保育園に入園している児童の父兄の収入を、誰が見ても公平なものにするため26名の児童委員（民生委兼務）が調査に当った。所得の少い人に、医療費を5万円以内貸付ける制度についても説明があった。（くわしくは民生課へ）

そのほか子供たちをよい環境で守ろうと、児童福し問題を検討しあつた26名民生委員が出席熱心な会だつた

町政の動き

産業祭り秋に開く

何日頃になるかまだ決っていない。やはり農繁期を過ぎてのことだろうが、最近機運が高まってきている新生運動や新農村振興の趣旨を生かすのがねらい。だから、今日までに成果のあがった模様を展示することや、研究発表が計画されている。畜産共進会も当然聞かれるが、新生運動の実せきが秀れた部落の表彰、優良研究グループの表彰など準備が進められている。表彰を受けることが直接の目的ではないが、これから秋まで、盛り上る気運を一本によりあわせて、どんなすばらしい部落やグループが誕生することか。

史談会源久寺で
6月農繁期で休んだ大内町史談会では、7月20日後1時より仁保源久寺で会合を開く。鎌倉時代の古文書として、貴重な三浦文書の公開が行われる。また当日県社教課臼杵主事の〃古文書の研究〃の話もある予定

ご苦労さま!!
10年勤続の先生を表彰

6・3制の新しい学制がしかれて今年で満10年になる。6月27日、10周年を記念しての大内町教育振興大会が、例年のように開かれた。会場の大内中学には、女子学園や公民館、PTAや来ひんの町会議員など多数が集った。この日町内の学校に10年勤続の教育関係者が表彰を受けた。（敬称略）

大富小＝末永利夫、西角夫。仁小＝梶山ケイ子、山本三枝。 東園小＝重枝芳雄、田村幹夫、中川ちづ子
小鯖小＝古屋庸子、鰐石俊男（歯科医）中尾ナツ。大内小＝今井フジ子、伊藤柳一。小鯖中＝岡村虎雄、市原秋二、宮原文子。仁中＝栗林サイ、長井正温。大中＝田中正二（校医）安保伊

町会議員、校長、PTAの役員、先生、みんな入りまじって楽しいフォークダンスの1時

嘉村磯太の文学碑が具体化

ともに最近全国的に話題を呼んでいる。磯太を記念して文学碑を建てる話は急速に具体化し始めた。6月1日山口市役所の会議室で発起人の会合があり、会長を長井市長、副会長を大内町長と決定した。この趣旨に賛成する文壇人では、宇野浩二、三好達治、川端康成河上徹太郎、中島健蔵、福田恒存氏らがあり、県内でも知名人約30名が名を連ねている。文学碑は山口市に生誕碑は仁保の生家揚山に建てられることになっているが、他方では記念講演会の話も進められている。

体育指導の委員決る
一般国民の保健体育を指導する目的で、新しく5名の体育指導委員が県から委しよくされた。 山根次郎（仁保）田中正二（大内）三浦明（小鯖）の3氏はそれぞれ地区の体育協会長。藤林英雄（現仁保青年団長）末永桂子（3年連続国体体操選手）の2氏は青年団体育やキャンプなどの指導者としてである。

7月の視聴覚映画
娘の修学旅行と九十九里浜の子供たちなど。14、15大内、16、17小鯖、18、19が仁保

自治庁長官から表彰
全国広報紙コンクールに特選となつた大内町は、6月11日東京で表彰された。

川漁の無鑑札
高校生などで、水中鉄砲が違法になるのを知らずにやる人がいるようだ。この鉄砲で2尺のナマズが取れたと新聞に出ていたが、とんでもない。新聞記者がご存知ないわけだ。ふし野川流域の魚業組合では無鑑札に悲鳴をあげて、対策を進めている。

刀剣類は登録が必要
大掃除や家の改築などで刀剣類が出てくることがある。届け出をすれば持てるが、しないと罰を受けるからご用心。届け先は警察。

原爆病は国が治療
4月1日から新しい法律ができ、原爆病は国が治療費をみてくれる。昭和20年の8月広島か長崎で、ヒドイ目にあった人たちは、念のため健康診断を受けられたら。山口日赤が指定病院になっている。くわしくは町民生課へ。

まむしにかまれたら
遠りよなく駐在所へ
かまれた部分の血が他に廻らぬように、ギュッとしばる。かみ口の血を何回も吸出す。――こんな処置をしてすぐ近くの駐在所へ。駐在所では、早速臨機の処置をしてくれる。

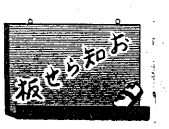
手足の不自由児を調査
身体しよう害者の中で、特に手足だけの不自由な児童を町の民生課で調査している。県下で集計して、県立の更生施設を作る資料にすると。

涼を呼ぶ

何といっても滝だ。カメラマン決死の離れ業によって、仁保浅地の滝を、真正面からとらえたこの滝、浅地名物のトンネル（山口線のレールの直ぐ下にある）を通ってトボトボ山路をゆくと脚下にうなっている。しかし美人の顔も同じで、上から見たのではいただけぬ。苦労して岩づたいに降りねば、ーと〃通〃はいう。たしかにこの方が滝よりお寒い。

7月の予定

▷**産業**関係では，5～15日まで，第1化期の2化メイ虫を防除する期間に当っています。農協と普及事務所，町産業課の3者が一体になって，共同防除の指導に当ります
▷9日に麦種子の審査が行われます。（接種ほは小鯖だけにしかない）
▷**そさい**研究会（大内）の会合が10日に。微量要素肥料の使い方――県改良課の伊藤技師が話す予定です
▷**青年団**の研修会が6，7日に。場所は小鯖の禅昌寺。生活改良普及員の佐々木さんも出て指導に当ります
▷**青年学級**の講師と生徒が今後の運営について話し合います。場所は町の公民館。講師になっている農業改良普及員も出席
▷**採種ほ**のほ場審査が22日の予定。くわしくいえば，昭和32年早稲水稲採種ほの，第一次は場審査です
▷**花**の栽培の講座が，24日小鯖4Hクラブの集会で
▷**民生**関係で，妊婦の検診が，18日仁保支所，24日大内役場，30日小鯖支所
▷第2回の**母子福し**資金の申込を受付けています。希望者は7月中に町民生課に申込書を出して下さい
▷**引揚者**への給付金。7月3日に世話人会を開いて記入の要領など申し上げます
それぞれの方はこの部落世話人を通じて更生会の下書きを提出していただき，検討して確実なものを清書して県に出す――と係では申しております．
▷国民金融公庫から，住宅資金を貸りたい方は，目下受付けております。7月1日～15日まで。申込は，山口市の県労働金庫に直接本人がお出し下さい



ひとり合点は危い
全町で結核の健康診断

結核予防法という法律にもとづいて、結核の健康診断が上旬から行われます。健康だと思っていても、かかっていることがあり、やはり科学的に検査してみないと解らないのです

つぎの日取りの中で(イ)とあるは、ツベルクリン注射、(ロ)は間接さつ影とツベルクリンの検査、およびBCG。

仁保地区＝上郷（大富小）6日イ 8日ロ。中郷（仁保支所、仁保クラブ）8日イ 10日ロ。下郷（東園小）14日イ 16日ロ

▽註イの時間は13～15時まで、ロは10～15時まで

大内地区＝下千坊、御堀、川向（御堀公民館）16日イ 18日ロ。上千、高芝氷上、中矢田、茅野（役場）17日イ 19日ロ。上矢田、大道、長野、宮の馬場、殿河内（長野公会堂）20日イ 22日ロ。大内畑、菅内、小野、間田（小野公会堂）21日イ 23日ロ

▽註イの時間は御堀だけ13～15時、他は9～11時、ロの時間は御堀だけ13～15時、他は10～15時まで

小鯖地区＝千坊、稔畑（稔畑公民館）10日13～15時イ 12日13～15時ロ。上郷（上郷遊園地）23日14～16時イ 25日10～15時ロ。下郷（支所）24日13～15時イ 26日10～15時ロ。

▽註、千坊、稔畑地区の間接とBCGは26日支所で

明33年の成人者の健康診断は特別に行いませんからぜひこの機会をおのがしなく

土地改良区総代の選挙
7月14日投票
ただし仁保だけ

仁保土地改良区の総代は7月9日で任期が終りますので、早速選挙を行わねばなりません。何しろ50名という総代を選ぶのですから選挙もちよっとややこしいです。要点をまとめましたから、お忘れなく。

☆

▽選挙する総代の人数
第1選挙区（揚山、金坪大畠、一の瀬）8人
第2選挙区（北河内、高畠、井開田東、〃西、高野東、〃西で。
坂本、松柄、一貫野、原河内、両浴、仁保市、野上、土井、高松）31人
第3選挙区（丸山、深野、東園）11人
▽投票所
第1選挙区＝大富小
第2〃＝仁保支所（一貫野は除く）
第3〃＝東園小
一貫野部落＝一貫野分校
▽投票日時
7月14日前8～後3時
▽その他のことがら
立候補制でないので、立候補届出は不要。選挙運動については規定がない。選挙人名簿にのっていない者は投票できない。開票は7月14日後4時から仁保支所

土地改良区は、△農業経営を合理化し、農業の生産力を発展させるために▽土地改良事業を行います。私たちにもつとも身近な団体の一つです。どうか自信と誇りにみちた選挙を

新農村の建設

意気込みは盛り上っている

県に出された新農村建設の最終計画は、仁保地区と大内、小鯖地区の2地区にわけて、あらましつぎの通りである。これは出された計画で、新農村建設運動の趣旨からいって当然認められるものに限られているが、幾分かの修正はまぬがれないだろう。

仁保地区

5つの事業計画が出されている。合計金額は△5,14▽万円。

1、**林野の整備事業**
これは町が事業主体になつている。場所は坂本にある日の下町有林で、用材林の育成や林道をつけることで、将来モデル地区になるよう計画されているこのための調査計画で、約△126▽万円ほど見積ってある。

2、**青年が研修するためのキャンプ施設**
これも事業の主体は町である。テントその他の附属機具を、公民館で保管することになつている。青年が土地や土壌の調査をするのに必要な機具も、この施設には含まれており、合計で21万円の予定。

3、**高野と深野に共同集荷所**
高野開拓地に62万円で作る予定。これな将来、上郷中郷地区の集荷もできるように考えられている。ただいまは△リンゴ▽に利用する。下郷開拓地のある深野に54万円で作る集荷所は、将来下郷全体のものにするねらいだが、目下桃とそさいに利用される。

4、**妙見の育すう器**
バタリ式で1台△60▽羽用。全部必要器具をそろえて、52万円かかる。

5、**揚山の共同作業場**
面積は10坪、関係戸数は9軒、計画は65万円である。設備は、全自動の動力脱穀機、発動機4馬力、精米、モミスリ、製縄機（2台）――以上がその主なものである。

6、**上矢田に共同炊事所**
今までも共同炊事をやつてはきたが、設備も不充分だし、狭苦しいので、この計画となつた。部落公民館にあわせて建て、10坪35万円。

7、**問田の自動給水施設**
大内問田の田町改善グループの計画。この地区では水質が悪く、飲み水にも洗濯にもきかなかつた。利用者は11戸で、経費32万円みている。

全国広報紙コンクールでこの広報は特選に選ばれ、**日本一の広報紙**にはなりましたが、まだまだ缺点だらけの広報です皆さんの希望や意見をしつかり取り入れよりよいものにしたい願つています。

小鯖と大内

1、**森林の調査計画**
事業主体は町である。調査面積は90町歩を予定している。1町当り△500▽円だから、4万5千円ぐらいの経費ですむ。調査場所は、(2)の林道を入れる場所に限られている。

2、**林道新設を2カ所**
小鯖の平佐と、大内の問田黒岩林道の2カ所。事業主体は森林組合がやることになつている。平佐林道は、長さ△990▽メートル、巾△3.6▽メートルで、経費は△140▽万円ほど見てある。問田黒岩林道は長さ△550▽メートル、巾△3.6▽メートル、経費は70万円みている。

3、**用材の育成状況を展示**
10町歩を予定している。1町歩1万円で、10万円の経費。事業の主体は町で赤松の用材林の育成状況を、モデル的に展示しようというネライ。直営林ですでにある程度すました大内、仁保との差が、こんなところに出ている。仁保では農道の問題が筆頭、大内では客土だつた。これも地形の差をよく表わしている。

4、**千坊に水田裏作の展示施設**
小鯖の千坊では、農事実行組合で動力耕うん機を1台買入れ、水田裏作を合理的に進める計画をたてた。買入れは秋の予定だが、経費33万をみている。

5、**問田と千坊に共同の育すう施設**
大内問田では養鶏組合が主体になつて、△120▽羽用の育すう器を、37万で買入れる。小鯖の千坊部落では、少し小型で△80▽羽用を、18万円で買入れる計画だ。

6、**今までも共同炊事をやつてはきたが**、設備も不充分だし、狭苦しいので、この計画となつた。部落公民館にあわせて建て、10坪35万円。

7、**問田の自動給水施設**
大内問田の田町改善グループの計画。この地区では水質が悪く、飲み水にも洗濯にもきかなかつた。利用者は11戸で、経費32万円みている。

全国広報紙コンクールでこの広報は特選に選ばれ、**日本一の広報紙**にはなりましたが、まだまだ缺点だらけの広報です皆さんの希望や意見をしつかり取り入れよりよいものにしたい願つています。

計画はすべて共同利用
養鶏・集荷・作業場など

ないと地元負たんが大きいから、目下候補地を物色中である。

4、**千坊に水田裏作の展示施設**
小鯖の千坊では、農事実行組合で動力耕うん機を1台買入れ、水田裏作を合理的に進める計画をたてた。買入れは秋の予定だが、経費33万をみている。

5、**問田と千坊に共同の育すう施設**
大内問田では養鶏組合が主体になつて、△120▽羽用の育すう器を、37万で買入れる。小鯖の千坊部落では、少し小型で△80▽羽用を、18万円で買入れる計画だ。

6、**上矢田に共同炊事所**
今までも共同炊事をやつてはきたが、設備も不充分だし、狭苦しいので、この計画となつた。部落公民館にあわせて建て、10坪35万円。

7、**問田の自動給水施設**
大内問田では養鶏組合が主体になつて、△120▽羽用の育すう器を、37万で買入れる。小鯖の千坊部落では、少し小型で△80▽羽用を、18万円で買入れる計画だ。

桐に象鼻虫が発生
植林地は乾かぬがよい

田植えもすんだ。山行きは、必ず鎌を持ち、回数多くゆけば、少しの時間でも案外に役立つ。〃ちよくちよく廻り〃の小まめさが、立派な山を育てている実例は、私たちの身辺にもある。

植林地＝あまり手入れをせぬ方がよい。下が乾燥せぬよう、刈り払った草やしだを、必ず杉の根においてやる。杉、ひのきは草より上に出ていればよい。

天然林＝ツルの多いところはこの夏2回ぐらい切る。松林の抜切りは、思い切ってやらぬと、太りが悪くなる。薪炭林と桐は芽かぎ。桐に象鼻虫が目下繁植している。BHCで退治すればよい。

写真　林業講習所の生徒により、仁保坂本日の下町有林の枝打ち作業が、小雨の中を行われている。

☆農家の〃ほしいこと〃は3地区とも大体共通していた☆

今年早々に行つた、3地区の農家意向調査から、大体の傾向をたどつてみた。△農業経営の安定のために、このたびの新農村振興計画に、どんなことを期待するか▽の質問に対する回答を分類した結果である。

經済問題では

△融資や補助をとりたい▽が3地区共通して多かつた。これと同じように、畜舎の整備がトップだつた。△酪農をやりたい▽△大家畜を増産したい▽が、この順につづいていた。大内では、酪農がトップであるのは面白い。大内では畜舎の整備はすでにすんだのであろうか？ともかくこの3つの希望は3地区とも共通していたし、畜産に対する期待は総じて強かつた。

林業の面では、3地区を通じて△造林をする▽が圧倒的に多く、△林道を整備する▽のがこれにつづいていた。

農道・客土・水利

この3つが似通つた希望だが、小鯖の場合少し異つた。河川改修が筆頭で、小鯖川の問題が残つている。小鯖ではこれについで、農地の交換分合を希望する声が多かつた。

適作物がほしい

△適作物がほしい▽のは小鯖仁保が共通していた。作物の改良増産を筆頭にしたのは大内仁保地区で、新しく何かを導入する必要を感じていないように受取れた。裏作の増加もそれについで多かつたが新しい方法への具体的な希望は、はつきり出ていない。果樹も少なかつた。特別に技術を必要とするものや、危険なものをさけて、利は少くとも着実に押してゆく方法のようにみえた。

畜産では畜舎の整備

小鯖仁保では、畜舎の整備がトップだつた。△酪農をやりたい▽△大家畜を増産したい▽が、この順につづいていた。大内では、酪農がトップであるのは面白い。大内では畜舎の整備はすでにすんだのであろうか？ともかくこの3つの希望は3地区とも共通していたし、畜産に対する期待は総じて強かつた。

林業の面では、3地区を通じて△造林をする▽が圧倒的に多く、△林道を整備する▽のがこれにつづいていた。

農道・客土・水利

この3つが似通つた希望だが、小鯖の場合少し異つた。河川改修が筆頭で、小鯖川の問題が残つている。小鯖ではこれについで、農地の交換分合を希望する声が多かつた

適作物がほしい

△適作物がほしい▽のは小鯖仁保が共通していた。作物の改良増産を筆頭にしたのは大内仁保地区で、新しく何かを導入する必要を感じていないように受取れた。裏作の増加もそれについで多かつたが新しい方法への具体的な希望は、はつきり出ていない。果樹も少なかつた。特別に技術を必要とするものや、危険なものをさけて、利は少くとも着実に押してゆく方法

ご存知ですけれど今一度
夏休みの生活指導

子供たちが待ちに待った夏休みが近づきました。ところで心身ともにのびのびと過せる夏休みを、無計画に過してしまっては何にもなりません。この機会に平素学校で学ぶことのできない生活指導や学校の補習、あるいはよい習慣を身につけることなどに役立たせたいものです。そのためには

1、自分の力で生活の方針や学習の計画をたて自主自律の生活態度を育てる。

2、衛生に注意し体の鍛錬をして健康な体をつくる。

3、家庭生活に対する理解を深め、責任を自覚し、進んで協力する態度を養う。

4、社会と自然に対する理解を深める。

以上のようなことをねらいとして過させましよう。

家庭での学習は、子どもと相談して休み中の学習計画をたてましよう。特に長期の休みでなければ出来ない。たとえば植物採集、昆虫採集鉱物採集、お天気しらべ、自然の観察、年表つくり、画集つくりなどこどもの能力や興味に合せて計画させましよう。また特に不得手な学科について補習することも必要です。学習に適当な時間は学年によって違いますが、朝の涼しい時になるべく短時間に能率的にやることです。

手近かなところから（生活改良普及員メモより）

▽共同炊事なんて、とてもこの部落じややれません。部落がしっくりいかないんだから……こんな投やりな声をきく　▽ありや理想ですよ、それだけ条件がそろっとるんだからね。――こんな声もきく。▽しかし共同炊事が、農業の重労働を解決してゆく、ただ一つのきめ手でもないから、もっと工夫があってもいいのじやないかしらと、ふっと考える。▽保存食（常備菜）を各戸で作ってもよしそれが面倒だから、保存食だけ共同でやろうーということもやればできるのではないかしら？▽一歩一歩積みあげてゆかなければ、いきなり大きく飛躍したものほどもろくくずれる危険性が多いはずだのに、いきなりやれないから駄目だと頭から決めてかかっているような感じを受ける。▽小さな何でもないことの積み重ねが、水ももらさぬ〃構え〃を作ってくれるのだろう。▽台所の調理戸棚の整頓は、どこの家庭でもやっている。これを一歩押し進めて、押入れや、タンスの中にまでひろげたら、どんなものだろう。家族の衣類が全部整頓されていて、主人はもちろん子供まで、自分の衣類を管理し自分で身仕度を整えて外に出る――これは理想だろうか。▽生活時間を生みだす工夫がなくては、〃共同〃は△はるかな理想▽であろう。

やつと芽生えたものを枯らすのも大きく育てるのも、私たちの団結と愛情と工夫にあります。

大内町広報

昭和32年8月1日
第26号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう

今月の税金

町民税（第2期）
個人事業税（前期分）
8月1日～31日まで
早目にお納め下さい
県税の払込場所は、県税事務所、郵便局、県金庫（山口銀行）です

町政の動き

統合中学の設計進む
31年水害の利子補給を議会了解

7月の町政で大きな動きは、〈統合中学の設計が、細部にわたり具体化してきた〉〈町議会の協議会が開かれた〉〈31年水害の災害対策委員会が開かれた〉〈小鯖・問田川改修期成同盟会が、町当局と結んで、花々しく活動した〉の4点であつた

このうち小鯖・問田川改修期成同盟会のことは、2面にふれてあるから省略して、

統合中学は鉄筋2階建

守津建築士のもとで設計を急いでいるが、統合中学は鉄筋コンクリートの2階建になる。各地のモデルスクールを参考にして、明るくて近代的な設計を要求しているが、大内長野、長者ケ原の高台に実現したら、立派なものになるだろう。

12日に町会の協議会

この協議会では、3つのことがらが話しあわれた。〈7月4日の豪雨の被害につきーこの被害の内訳は、2面〃被害3千万円〃をお読み下さいー〉〈新農山村振興協議会（新農村の建設計画につながるもの）と新町村建設計画（昨年11月の広報に、くわしくのせました）の今日までの歩み〉〈農業委員会に関する法律の改正になつた要点〉以上であつた。また仁保地区より請願が出ていた招魂社は、別に検討することになつた。

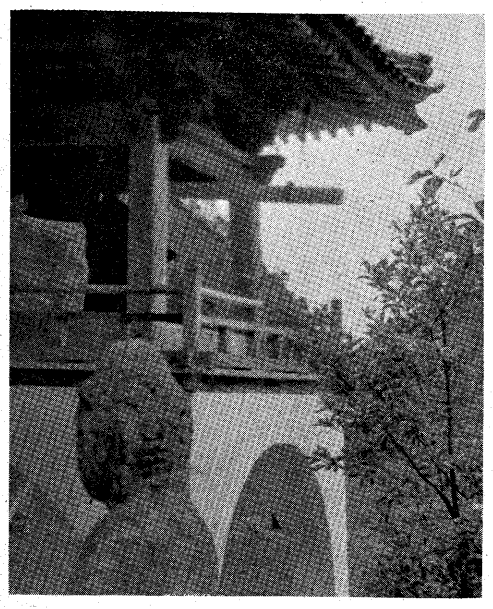
災害対策委、利子補給61万円を了解

町会協議会のあと引続いて開かれた災害対策特別委員会（昨年水害の対策）では、利子補給として町の財源から61万円を支出することを、再確認した。昨年災害で、政府の持別地域指定が少なく、したがつて、全町のバランスをとるため、借入金利子の補給にこれだけ必要となつた。

農委は34年7月に改選

農業委員会法改正のあらましは、大内町が〈2000町歩以下で農家戸数2500戸未満〉に当るので、21～30人の委員をつぎの改選期（昭34年7月）までに選べばよいこと、部会を設けるようになつたことの2点であつた。

註 部会は、法的には農地部会をどうしても設けねばならぬが、ほかの部会は、町村の条例で必要なものを設けられるようになつた。新農村建設審議会などもこの中に含まれ、農業委員会は今までの〈町の農政に意見を出す〉〈点をかえて、積極的に参加し、必要なことを実行に移すだけの巾をこれからさきもつようになつた



盆近し

もうすぐ8月15日がやつてくる。亡くなつた肉親や知人のことを想えば、鐘の音も、もの悲しい。夕暮どき、谷々にひびきわたる鐘の音に、しばし仕事の手を休ませて、ものの想いにふけるとき、過ぎ去つた日々がほんの昨日のようによみがえつてくる。

（仁保上郷 **法雲院で**）

今月の予定

8月

2化期の防除を8月15日～20日の予定で、3地区いつせいに行います。15～20日をお忘れなく!!

▽夏山手入れ運動が、7月16～8月15日までの1ケ月間県下いつせいに行われますこの運動が決つたのは、夏に山の手入れをするのが、一番効果的だからです。つる切りや除伐、間伐をやつてやると、木はグンと育ります。赤松天然林の下刈りは、冬山にくらべ、効果は3倍といわれています。

▽アキスや〃しのびこみ〃が大変ふえています。**づけるのが賢いやり方です**

▽社教関係では、仁保源久寺で、三浦文書の公開を8月3日午後1時から。当日は山口の史談会員も多数参加する予定です

仁保青年団の**数育キャンプ**が8月3・4と、秋穂町中道で行われます

11日仁保青年団体育大会、町の武道大会は16日仁保、また町の**野球大会**は、今年は小鯖で、18日（日）に行われます。同じ日仁保では郡青連の芸能大会

▽産業関係で、21日に水稲採種ほ（早稲）の審査ーただし仁保地区だけ。

白菜の展示ほは、大内上千坊の岡村一夫さん方の所有田に作ることに決定しました。8日に地ごしらえし、19日に種まき。

△ツユあけの**大掃除**を、8月4～12日まで、全町一せいに行います。今年のツユは特別に雨が多く、7月上旬の豪雨で、床下などもうんとしめつています。家族全部の健康を守るため、ぜひおすすめします

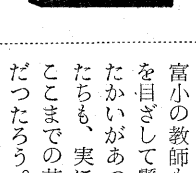
△**社教**関係では、仁保源久寺で、三浦文書の公開を8月3日午後1時から。当日は山口の史談会員も多数参加する予定です

仁保青年団の**数育キャンプ**が8月3・4と、秋穂町中道で行われます

11日仁保青年団体育大会、町の武道大会は16日仁保、また町の**野球大会**は、今年は小鯖で、18日（日）に行われます。同じ日仁保では郡青連の芸能大会

▽産業関係で、21日に水稲採種ほ（早稲）の審査ーただし仁保地区だけ。

白菜の展示ほは、大内上千坊の岡村一夫さん方の所有田に作ることに決定しました。8日に地ごしらえし、19日に種まき。



今年も夏期講座

産業と社教がタイアップして、夏期講座は教養と農業技術を主に開催される。

場所は大内小学校、3回にわたつて開かれ時間は午前が9～12時、午後1～4時。

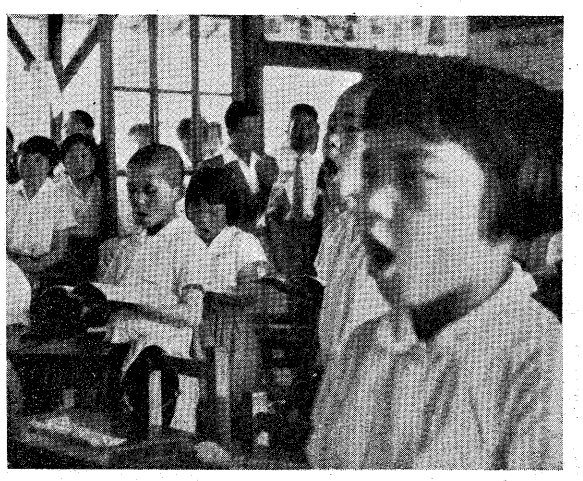
第1回（10日）午前＝転換期の日本経済ー山大名西教授、午後＝今後の農業経営のあり方ー県新生運動協会的場顧問

第2回（20日）前ー農村と健康ー野瀬宇部医大教授（予定）後＝農業技術（講師未定）

第3回（28日）ユネスコと地球観測ー松山山大学長、大内文化ー河野通毅氏

面目ほどこした大富のよい子
〃みごとな音感〃と折紙

音楽研究校に指定された大富小のよい子たちは、全国各地から集つた先生方を前にして、みごとな音感をしめした〃よくまあここまで〃と、讃嘆の声がおこる。7月4、5日の、全国へき地教育研究大会の1分会場に指定された大富小の教師も生徒も、この日を目ざして懸命の努力を重ねたかいがあつた。先生も子供たちも、実によくやつたが、ここまでの苦労は大変なものだつたろう。恐らく父兄の人たちすらも、自分の耳を疑つたのではなかつたか。〃うちの子があんなにやる〃子供たちの頑張りに対抗して、おかあさんたちが作つた合唱グループも、今後続いてゆくことだろう。へき地大富の家々からひびく一家だんらんの歌声が、何かしら〈心温まるもの〉をこれからさきこの地に育て、はぐくんでゆくだろう。



よい子たちが力いつぱい歌えば，古ぼけた教室も不思議と明るくなる。

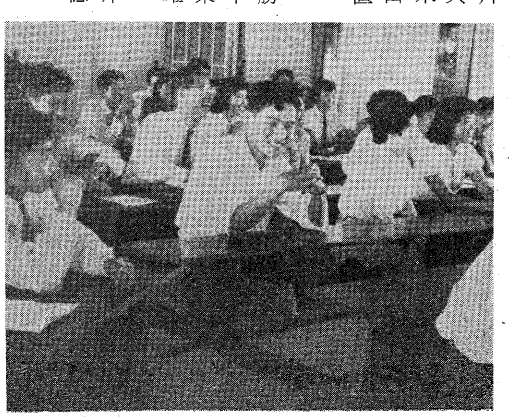
土地改総代決る

7月14日行われた〈仁保土地改良区〉の総代選挙でつぎの50名が選ばれた。（敬称略）

青連の講習会

町の連合青年団の、指導者養成講習会は、7月6、7日と禅昌寺で行われた。約〈100〉名の団員がとまり込みでうちとけあつた。

訂正 7月広報の2面、小鯖大内地区の新農計画の中で千坊に育すう施設とあるは〈小鯖千切〉の間違いでした訂正します。



綜合討議で最後の仕上げ

新町村

農研グループの茶の間

正式の名前は〈農業研修館〉でいかめしいが、52坪の家が、〈137〉万円で明年にはできる。耕地の面積をはかる器具や農業気象を調べる器材なども備え、私たちの経営する農業をよりいっそう科学的にしようとねらつている。台所改善の実物もつくるという。この研修館、〈新農村建設〉の補助の指定を受け町が建設する。

映画とのど自慢で午前2時半

13日のことだ。小鯖小学校で、国鉄ソバメ楽団は大変な人気だつた。〃のど自慢〃が終つたのが10時、それから2本の劇映画で、終つたのは午前2時半だつたと。〈400〉人以上が集つたが、ある人がいわく〈小鯖の人は熱心だ〉と……？

山門の額に好意のリレー

地元有志の高額寄附で仁保上郷法雲院の〈山門兼鐘楼〉は21日落成式を行つたが、ここにかけてある額に好意のリレーがある。木は岡崎高寿さんが手持ちを出し、嘉村道亮さんが福寿山と書き伊藤祥斉さんが彫つて全くの費用いらず。鉄筋コンクリートの山門の上に鐘楼を作つた近代的な姿は、仁保上郷の名物となつた。

サイクリングで実地訪問

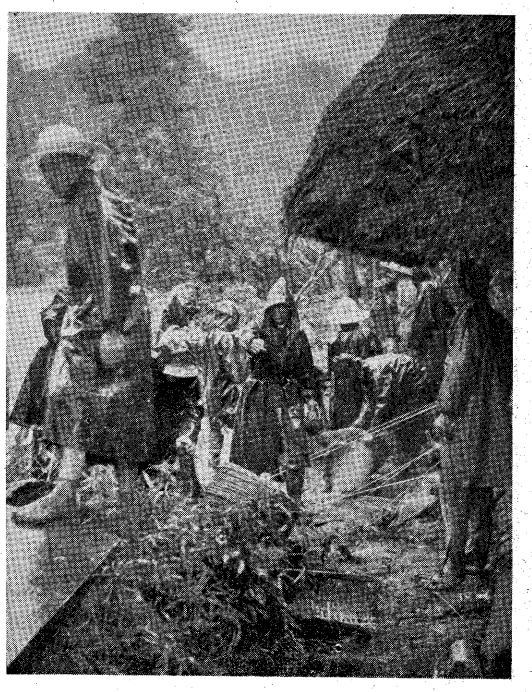
小鯖の青年学級生15人は8人の学級生宅を自転車で訪問して廻つた。どの学級生も、自分の研究課題を持つているが、〃話〃だけでなく、眼でも見ようという試み。農試の重宗昭也さんが指導した。

町民メモ

4，5日　大富小にて全国へき地教育研究大会
6日　町青連指導者養成講習会が，鯖山禅昌寺で
9日　小鯖・問田川改修期成同盟会の評議員会
12日　町会の協議会
15日　大内地区遺族会
16日　林業関係の集会か町議事堂で。森林組の統合問題など話し合う
17日　東園小の両親学級開く。参加者多数
18日　中央線（大内）の委員会
26日　体育指導者の集会が町公民館で。夏の体育指導の方針を話し合った
27日　経済委員会が町議事堂で。町財政の財源を確保するため，町有林の処分問題について検討　▷小鯖・問田川期成同盟の会長，副会長等が町長と懇談　▷靖国の遺児藤井芳寿等君他12名が，東京にむけて出発
29～31日　山口天文同好会長の指導で3地区の中学生徒が天体観測を行った
30日　山田古墳（大内永上）の発掘が行われた。

7　月

小鯖・問田川
大雨のたびに私たちは水の力に屈服してきた



恐ろしく長い名前

普通私たちが〈問田川期成同盟〉などと呼んでいるが、正式の呼び名は恐ろしく長い。〈問田川・小鯖川改修、山口――防府間県道改修期成同盟会〉が正式である。つまりこの期成同盟は、大内、小鯖地区の河川改修と、県道の拡張を目的として、昨年の2月に発足した。去る7月9日の評議員会で役員の改選を行い12名の幹事と会長1、副会長2名を選出した。その氏名はつぎの通り。

大内（岡本義雄、岡本清一、飯田次郎、杉山直一）小鯖（伊藤基式、小野正広、甲良史郎、守田成人）防府―山口間県道は、もちろん県の責任で管理されている。この県道を占める割合は、山口市1千米、防府市5千米、大内町は1万1千米とダンゼン長い。

また、問田川、小鯖川だが、県の準用河川（県が管理することに決められている）に指定された部分は、問田川が一出会いから小鯖の門前まで、小鯖川一沖田橋の上流から上小鯖河原まで、となっている。人呼んで、殺人道路、原始河川という。

それほどに交通事故があいついで起る道路と、雨降ればかならず暴れる河とを、期成同盟会はこれから解決しようとしている。

期成同盟会の組織と動き

仁保（山根一孝、西村静）岡本総務課長　松田施設課長――以上幹事。会長　重宗武夫　副会長　田中喜熊、田中俊輔（敬称略）

この期成同盟が、特に問田、小鯖川を取りあげているのは仁保川は既に改修計画ができ、工事が着々進んでいるからでこの2つの河川を比較したとき大きな差ができている。

殺人道路と原始河川

防府―山口間県道は、もちろん県

誰かがやるだろう

この気持が、いつも私たちに苦いものを飲ませてきました。もっと本格的に工事を進めねば、水に対して枕を高くすることは永久にできません。

き具合も当然悪くなる。ハンランしない方がどうかしている。

△**堤防が貧弱**＝貧弱というなら、まだあることになるが、無堤防のところが至るところにある。一例をあげると、小鯖の中村、石畠がひどい。大内の問田、小野、上矢田にかけてもない。千坊の下流もないこう数えあげると、小鯖、問田川の実態は、水に泣いた先祖の時のままで、徳川中期より特別に進歩していないとも考えられる。〈治水〉はちつとも名のように行われてはこなかつたわけだ。

なぜハンランするか？

去る7月3、4日の豪雨では降雨量〈350〉ミリに達し、大内、小鯖の2地区では、田畑の冠水は〈400〉町歩にも達した。

しかし〈350〉ミリも降つたから、このたびの水害を受けたのではなく、〈150〉ミリの雨で、もう被害を覚悟せねばならぬのが現状であるそしてこの〈みじめさ〉からぬけ出すには、以上あげた理由の中から、人工的に可能なかぎり〈水を治める〉以外にはない。

△**どつと流れる量が多い**＝むつかしくいうと瞬間流量が多いのだが、この理由は戦後の乱伐で山が荒れていることと、上流が花こう岩地帯（特に東鯖・鯖山地区にひどい）であることだ。土質が水を吸う力がないだけに、大雨はすぐ川の水をふやしてゆく。

△**河が曲つている**＝昔の流れのままに放つてあるわけだが〈治水〉の文字が泣くほどこの河は、うねうねとくねつている。これでは下流の水の引

全面改修せねば効果薄い
大衆運動化が唯一の活路

昨年2月発足以来、町当局と期成同盟会は機会を見ては活動してきた。ただ小鯖・問田川は全面的に改修を行い、根本から缺点を除くのでなければ効果が薄い――7月上旬の雨でもあれだけの被害をおよぼして、従来やった局部改修は意味をなさなかったかの感じを与えた点などが、今日までの活動を、効果的に印象づけにくくしているようだ。

県も認識を新にした

県が財政再建整備計画を実施したので、改修の工事費も思うように支出できぬ点も1つのあい路になっている。30年災害の分は、昨年8分通り

力強い世論が活路

期成同盟会も、これからさき、関係地区の住民である私たちの、力強い支援なしには自信をもつて動けぬであろういや〈同盟会が、私たち自信である〉ことの認識が、私たちの間に広くゆき渡らないかぎり、困難な運動の前途は、**楽観できない**。その意味では〈大衆運動化〉が、唯一つの活路であるともいえよう。他の被害地区とくらべて、かならずしも大きな受益面積を持たなかつたため、とにかく見落されがちであつた小鯖・問田川も、長い期間の**傷口の深さ**に根ざした関係住民の怒りと悲しみを、尻込みすることなく押出したときに、全面改修への道はおのづから開けてくるだろう。

町長と議長17日に上京

17日県河港課長、山口土木出張所長に同行した町長、議長は22日帰つて、東京での模様をつぎのように語つた。

建設省の治水課を訪ねたとき課長は実況をくわしく聞いたのち、明年度計画に組入れることを承諾した。これは普通の河川改修と、32年災害による河川改修と両方にかけて、実施になる

県会陳情をとりあげる

7月8日知事と県会議長あてに出した〈小鯖・問田川で被害のひどい箇所の応急修理〉の陳情書は13日付でとりあげられたと、連絡があつた。県としては、7月8日土木部長が実際に現地を視察して、この河川の全面的な改修が必要であることをよく認識しており、早急に改修計画を作つて建設省へ要望にでかけることになつた。

13日に幹事会

期成同盟会の幹事会は13日議事堂で開かれ、全員出席当面の運動方針を話し合つた。

被害3千万円

7月上旬の大雨は、全町で3千万円にのぼる被害を残した。これは小鯖・問田川の流域以外に、仁保川関係を含んでいるけれど、この被害額の約8割は、小鯖・問田川のハンランに原因している。それだけ、豪雨のたびに私たちの苦労が、無惨にもふみにじられている。被害の内訳はつぎの通りだつた。

家屋で、半壊2（小鯖）床上浸水が9戸、床下が〈124〉戸、んだ。この被害73万円。

土木関係では、道路や河の護岸が13ケ所、この被害は〈135〉万に達した。

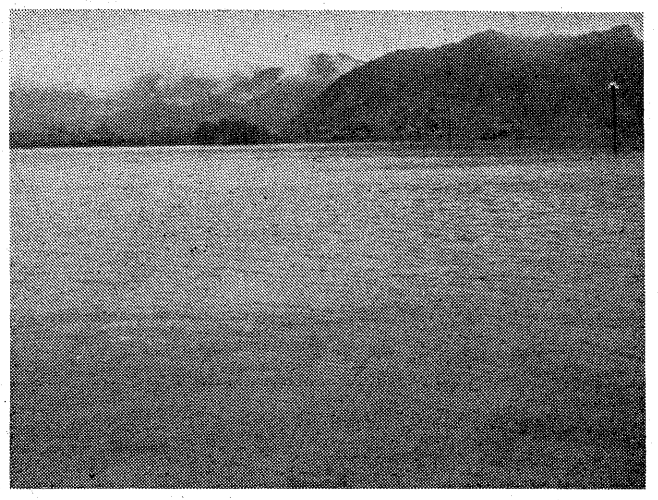
耕地関係では、頭首工のこわれたものが、仁保1、小鯖1、大内4と、合計6ケ所あり、しめて〈490〉万円

農産関係

では、水田の流れたのが5町歩、埋れたのが6町5反、冠水は〈400〉町歩にも及ぶ被害を受けており、林道の破損が一番大きかつた。揚山、犬鳴、平谷と、ほとんど仁保地区の被害であつた。

山くづれは6ケ所3地区にまたがつてあつたが、約60万円の復旧費を必要としている。

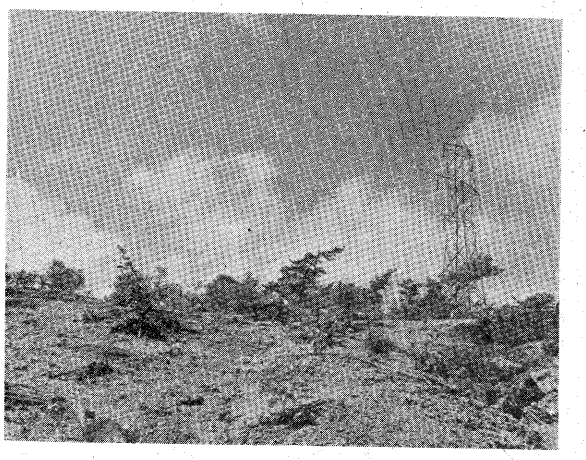
教育施設では、このたびの被害が雨だけであつたので少なく、雨もりなど13万円にすぎなかつた。



まるで湖　7月4日の豪雨で冠水した大内下千坊。数十町歩の水田が、この水の下にある。

せき悪林改良に補助が6割
杉，椿，油桐など試作成績はよい

ただし5反以上やらなければならない。大内町のせき悪林は、改良を必要とするものがしめて1千町歩。この内〈400〉町歩が町有林になつている。県道の東側が圧倒的に多く、小鯖でいえば千坊、桧畑、鯖山。大内、仁保では長野丸山、東園、一貫野、並山とつらなる。せき悪林の6割〈600〉町歩は小鯖にある。林務課では各種の試験栽培の結果を見守つている。本杉（青杉ー杉の品種で、1年中青い）を揚山の町有林に1町歩、3千本ほど挿木造林したが、よく育つている。富山杉、ウラセバル、皺クグリ（以上杉の品種）なども実験している。仁保木戸山の〈たんすころげ〉では、椿の造林が10年生になつて、すでに実がとれている。細葉小粒ほか6種を実験し、面積は3町4反。実1升から3合の油がとれ、1升〈1000〉円に売れる。谷ばたの岩の間に成育するから、土地利用上でもなかなか有望である。支那油桐ーこれも同じ場所で、〈600〉本ほど育つている。1本1斗の油がとれ、ドラムかん1本10万円見当。



小鯖柳宇土　（桧畑線道路昭和橋の上）の町有林。31年度の事業として，13町歩を改良した。赤土の露出した山はだにくはげしばり＞が雄々しく育つている。緑一面も，もうあと数年。

小鯖毛割の町有林　ここもひどいせき悪林だつたが手を入れて，松がすくすく育つている。これほど効果をあげたところは県下にも例がないと。

大内町広報

昭和32年9月1日
第27号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

自慢じゃないがこのできは

天候からいうと、今年は稲の早期栽培にいい年じゃなかつたぞ。だが平均3石を下らんじやろうと、普及員さんがいつとつた。持によくできたのは、小鯖の石畠、大内の菅内、仁保の一貫野じやそうな。米作日本一に出した、小鯖千坊の山本喜之さんの田を坪刈りしたところ平均反収の1石7斗を倍も上廻つとつたと。早植えの品種でいいのは、穂首に弱いかたむきがあるが県のしようれいする農林17号、それに〈銀河〉だろうと、普及員さんはいうとつた。（写真は仁保一貫野、原田さん所有田にて）

町政の動き

改修計画を建設省へ提出
一歩前進した問田川問題

小鯖、問田川の全面改修の問題は、町の執行部と期成同盟会が表裏一体となつて活動したので、8月中にも一歩前進することができた。すでに県は改修計画を作つて建設省河川課に提出を終り、明年度の国の河川改修計画に入るのを待つている。陳情書も、建設、大蔵の2大臣、衆参両院の議長などに提出することになつており、根本建設大臣に対しては、去る24日来山の際、町長と会長、副会長が直接あつて実情を説明した。

町全体の開発事業

8月5日の午前中第2回目の幹事会を開き、午後評議員会に移つた。事業計画と予算運動資金をつのる問題をはかつた。寄付の割当などはせず関係地区の盛り上る熱意にまとうと、満場の意見は一致した。とくに、直接関係のない仁保地区でも、この運動を大内町全体の開発事業であるとして、進んで協力しようと、温い理解がよせられた。平均100～200円だが、9月末日までに評議員を通じてまとめることになつた。**用地**問題については、全面改修ともなれば相当河巾も広くなるので、問題も出てくるが、地元で一切を解決し、無条件で計画を受入れる体制にしようと申し合せた。それだけこの事業がやりやすく、また速くできあがるであろうから。

近くまた上京して運動

28日開かれた第3回の幹事会でも、町執行部と議会、同盟会の3者が一体となつて運動してほしい要望が出された近くまた上京の予定である。

問田川期成同盟の会長として活動していた清川議長は、議長としての職務に専念したいため辞任し、会長は現在重宗武夫氏（小鯖）

建設計画（修正案）できあがる

合併当初の建設計画を、町の現在の実情と、将来の可能性にたつて検討してきたが、いよいよ草案ができあがつた。近く町長は〈新町建設の審議会〉にはかることになつた。この計画は最終的には審議会の答申をまつて、町の議会にかけられる。議会の議決が終つて、正式に決定されるつまり大内町を《どのように建設してゆくか》《財政もはたんせず、効果の多い投資はどうすればよいか》の計画がきまるわけである。

統合中学も近日入札

8月末入札予定だつたが、県からの指令が遅れて、延期になつた。すでに工事入札者の指名も終り、現場の説明もすんで、入札をまつばかりとなつた。

8月

3日 仁保源久寺で，三浦文書の公開
4日 仁保青年団，秋穂町中道で教育キャンプ（3～4日）
8日 東園へ宇部市から環境衛生の視察
10日 第1日夏期講座
13日 子牛の生産検査と登録
16日 町武道大会
18日 町野球大会．郡青連芸能大会
19日 白菜採種圃のたねまき
23日 計量検査（小鯖，大内）第3回の夏期講座
24日 計量検査（仁保）第2回夏期講座（台風で延期）
23～25日 県下素義大会，仁保クラブで
27日 山羊コンクール
29日 新農村関係事業打合せ
30日 大内町婦人会の指導者講習会が鯖山禅昌寺で

9月の予定

▽**自衛官募集** 今年になつて2回目の募集で、2等陸海空士。締切りは9月20日まで、入隊の期日は、明年1月以降。願書は役場にあります。いろいろのご相談は総務課庶務係まで。

▽**産業関係の予定では**

2日大内町の養鶏組合を設立する準備委員の集会
3日の午後小鯖の向山で、保存食の講習会、講師は佐々木生改普及員。
5日大内地区の水稲作況調査
6日七草会と鯖山上の農研が集会、ともに夜
7日米の集荷協議会
9日一貫野農研の集会で、婦人部と青年部の連らく会
映写会が小鯖で、10日11区
11日4区、映画は《進歩する科学肥料》

▽大内町のそ菜出荷協議会が3地区をまとめて、13日議事堂で開かれます。

▽小鯖の青年学級が4日、18日（農器具の研究）25日の3回にわたり開かれます。

▽稲作日本一出品田の調査、小鯖地区毛割の小野正広さんの所有田で25日に。

▽吉山の**畜産共進会**が小郡で開かれます。各地区の出品点数は次の通りです。仁保＝乳牛3、種牝牛1、めん羊1、山羊1　大内＝役馬1、乳牛3、種牝牛1、役牛2、めん羊2、山羊1　小鯖＝役馬3、乳牛1、種牝牛1、役牛1、めん羊1　山羊1。期日は9月30日

▽秋そ菜の**懇談会**が、1～9日まで仁保の各部落で開かれます。同時に仁保農協の打合せもあまります。

産業祭11月下旬に

昨年は休みだつた産業祭が今年は小鯖で開かれる。期日は11月22日23日の2日間。畜産共進会や展示会、体験発表、グループ表彰などが主なもの。畜産共進会は郡共進会に入賞したものは参考品として出品され、参加資格がない。展示会は農産物（米一品種など。そさい、特産品）、農産加工品が展示される。女子学園の手芸品や研究作品もならべられる予定。出品を予定される人は、今から準備しておかないと、農繁期あけは、時間不足になりかねないと、産業課では心配している。

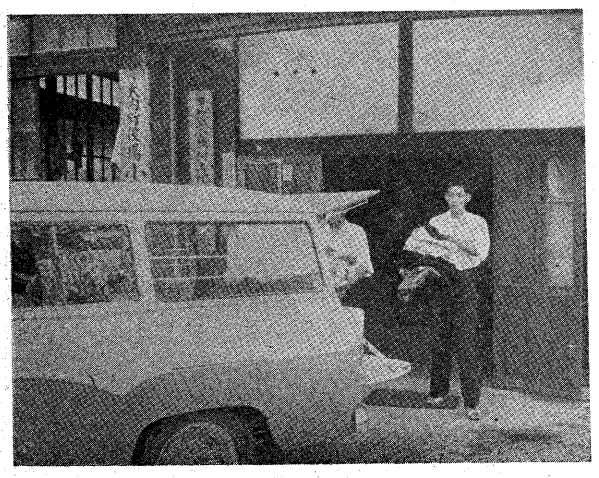
史談会

9月の定例会は、7日後1分）八朔（はつさく）について、山大文理学部松岡助教授の講演がある。

九州水害地へ慰問品
心づくしの古着など

言葉に表現することもできないほど、水魔に叩きのめされた九州災害地の気の毒な方々へ、数々の慰問品があつまつた。金は〈11,620〉円、品物は〈250〉点で、主なものば婦人服、子供服、大人用のズボン、帽子などであつた。どの品物も古着ながら、きれいに洗濯して贈り主の真心がしのばれる品ばかりであつた。すでにこの贈物は、山口日赤を通じて九州災害地に送られたが、全国から集つた心づくしにまじつて貧者の一灯をかかげてくれたことだろう。

古い文献やーい



小鯖地区の慰問品を，支所で町の自動車に積み込んでいるところ

新聞から

野球も武道も大内優勝

武道大会は16日に仁保小で、野球大会は18日小鯖中グラウンドで開かれた。武道大会では、大内地区が寄付金をあつめて防具を新調した熱意も手伝つてか、柔剣道とも団体優勝、野球も優勝戦は大内のABチームで争い、栄冠は二つながら大内にいつた。

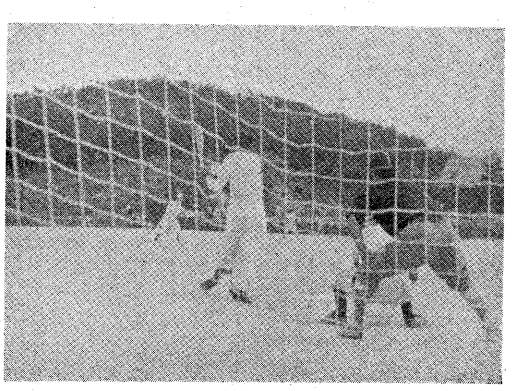
宇部市より環境衛生を視察

仁保丸山の環境衛生も、この頃は有名なものになつた。農村地区の環境衛生では、立派なものと山口保健所が折紙をつけている。はえ、蚊の駆除では、どこの農村も手を焼いていると見えて、8日の見学者はバス1台貸切つて熱心に見学した。

牛の飲込んだ釘もすぐ取れる

共済組合では、〈カウサッカー〉をこのたび購入した。磁石を利用して、牛の飲込んだ釘や鉄くずなど、難なく取り出せる。成績も試験ずみで農業発達史を作ることに決つた。

県の補助をもらつて、5ケ年計画この発達史調査会では、大内町内の文献を広く探している。各地区1名あての委員（仁保＝河野道毅氏、小鯖＝坂倉道義氏、大内＝江藤茂氏）がきまつている。心当りの方は委員まで申出ていただきたい。古くからあるものには大切なものが多いが、遺せきや山の慣行、持に庄屋畔頭（クロガシラ）であつた家に伝わる農業日記が期待されている。



小鯖A対大内A最終回小鯖攻撃で打つた瞬間

もれると大変！
選挙権がなくなる

選管では、各部落あて用紙を配つています。9月15日までに、引続いて3ケ月以上大内町に住んでいる人は、この用紙に記入しないと、選挙権がなくなります。だから3ケ月以上というと、今年の6月16日以前から大内町に住んでいればよいわけです。この登録で〈基本選挙人名簿〉ができ、これから先の選挙は、この人数をもとにして行われます。

農試の展示会

9月17～19日までの3日間今年も展示会が開かれる。農業関係の参考品や特産品も、昨年よりはぐんと充実しているという。

杉の精英樹

菅内大下山林の1本が大内1号と名付けられ、県の林業試験場で捜木試験の結果はとてもよい。

でなかなか良好である。何となく食べない牛や、食べても太らぬ牛など、早く申出て下さいと共済組合（小鯖支所の中にある）ではいつている。

モー君改良に県も頑張る

牛の話が重なるけれど、県でも和牛の品種改良に努力している。優良種雄牛18頭を、県下の生産地帯にある家畜保健衛生所において、人工授精を続け、一方子牛の検査を続けている。大内町は小郡にある家畜保健所の管内になつており、場所は昭和通り（電 631番）。家畜について、皆さんの相談を待つている。

小犬のおもちや持つて孤児院へ

仁保女子学園の生徒約30名は、30日山口市吉敷の愛児園を訪ねた。残り布の不用品を活用した可愛いい小犬のおもちやは、子供たちに喜ばれた。〈お姉ちやん〉としたわれて、生徒たちは名残惜しく引あげていつた。

小児マヒ町にも2名発生

＝9月いっぱいまだ危険期＝

徳山市を中心に県下に流行している小児マヒは、子を持つお母さん方を、恐怖におののかしている。去る26日夜、大内地区高芝の公民館で〃小児マヒの予防と、かかつた際の手当〃の指導が、**山口保健所員によつて**行われ、60名ものお母さん方が押しかけた。県下の患者数は〈170〉名を突破し、町にも2名（小鯖松尾大内茅野）が発生した現在、全くお母さんならずとも、〃小児マヒ〃には、神経をとがらさぬわけにはいかぬ。だが、〃小児マヒ〃にも、**全然対策がないわけではない。〈どうしてかからぬようにするか、かかつてもどうしたら軽く喰いとめられるか**〉について、26日夜の高芝公民館の話から拾つてみよう。

原因はまだはつきりしない

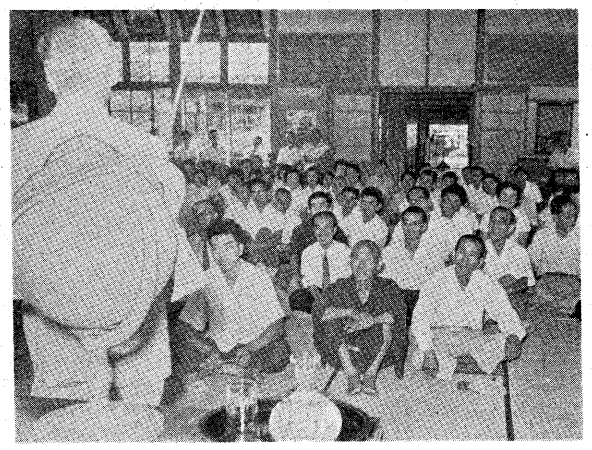
発生してから数週間、患者の便に菌がいるから、予防法のキメ手は蠅のく除以外にない。手洗いももちろん大切である。子供を疲労させないことも、抵抗をつける意味で大事。偏食せず丈夫な子供ほどかかりにくく、神経質な子供はどかかりやすい。

色々な型がある

小児マヒといつても、マヒする型としない型がある。かかつて全部がマヒするわけではない。かかつたことがさつぱり解らぬ型もある。が…どんな症状かというと、〈熱が出る、うんと汗が出る、背中から手足に痛みがある、鼻カゼのようになる、下痢もある、はき気がする〉……このどれかに当れば、一応用心したほうがよい。ケイレンは来ることもあり、こないこともある。

指定医でないと補助がない

指定医（大内町の場合日赤病院）で治療をうけぬと、小児マヒに対する県の特例が適用されない。つまり、家庭の生活状態によつて、必要な経費を県が補助する方法がとられない。怪しいと思つたらすぐもよりの医者に見せることだが、〈小児マヒ〉と決つての治療は、指定病院の方が、補助がもらえて好都合である。



今年も夏期講座が3回にわたり、大内小学で開かれた。参加人数は、それほど多くはなかつたが、平均150名の人たちが熱心に受講した。婦人、とくに若い層の参加が、今年は目立つて多かつた。どんな話であつたかを講師ごとにまとめると

○…産業資源が少い日本では、原料を加工して輸出するための〈技術〉が、特に大切である。家庭でも学校でも、技術教育に対する理解を深めれば、日本経済のたて直しに大いに役立つだろう。（山大名西助教授）

○…米麦いそん主義の農業では、もはや農家はたちゆかない。多角的にだが、ありふれたものでなく、土地の特性を生かし、生産、価格、販売を科学的に調査して進みたい（新生運動協会的場顧問）

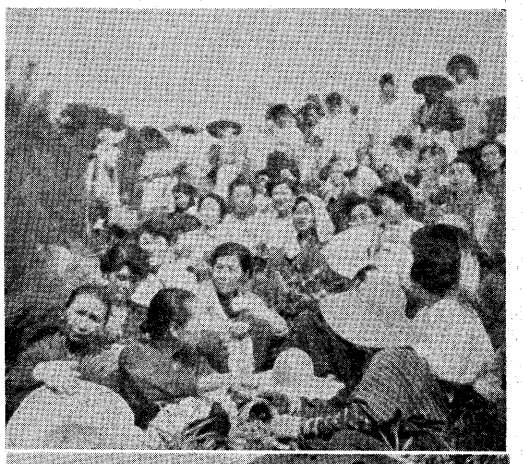
○…世界の民族が国境を越え、世界の文化を高めて、共通の目的に進もうとするのがユネスコの精神である。地球観測年の仕事も、この精神をもとにして、綜合された力を発きしようとしている。（山大松山学長）

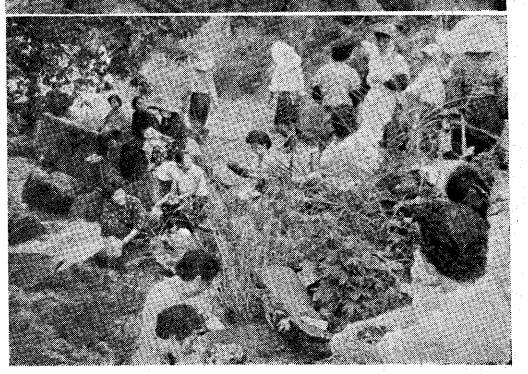
○…かつての大内文化は、実に偉大な文化であつた。大内町の数々の遺せきは、大内文化の研究に大きな役割を果している。（郷土史家河野通毅氏）

○…大内町では、ガンと脳卒中の死亡率が高く、郡内でも上位にある。土質や水に問題があるように思う（宇部医大、野瀬教授）

○…秋そさいの作り方の指導。白菜、かんらんなど（農試小林技師）

暑さ何くそ　夏期講座　汗だくで勉強





年中行事である仁保婦人会の造林中刈は、今年も行われた。約〈600〉名が8月6日、上郷小河内の奥と、坂本町有林の2班に分れて作業した。朝早く起きるのが得意の婦人たちが、作業途中で煙草もすわないときているから、例年この作業は、集団の力であつという間にすんでしもう。造林の婦人部隊に同行して、その表情をカメラにおさめてみた。**上**　オートバイを飛ばして、坂本町有林の現地についた時には、もう作業は終つていた。頂上から降りてくる会員が、適当な場所に腰を降して、一休み。20才から60才までの婦人が、年令を越えて生々とした表情だつた。**中**　キリツと身仕度した会員が4寸巾の板の上を一列になつて渡つてゆく。現地へは、こんな危い道がうねうねと続いている。**下**　さあ朝の辨当だ。谷川に手を洗い、すみ切つた水にのどをうるおせば、おう甘露。働いたあとの辨当のうまいこと、天下一品だ。

造林へ!!　婦人部隊はゆく

☆集荷と販売＝まだまだ対策がある☆

出荷対策協議会は，＜大内町の農産物を，どうしたら有利に出荷販売できるか＞を，21日議事堂で協議した。現状ではまだまだ欠点だらけで，早く対策を具体的に実施しなければと出席した委員は熱心に討議を重ねた

現在考えられる出荷面の弱点は

▷川向い市場がせまい

現在70坪あるが，今の倍ぐらいの面積が必要である。雨の日など，外にならべるとぬれるから，2割は確実に安く叩かれる品物の整理もせまくて面倒だ。

▷悪道が案外にこたえる

仁保地区は特に損だという。傷のついた桃は，半値に叩かれる。道がよければ相当の距離でも，市場に運べるけれども，現在の悪道では運搬車をもたぬ人には手が出ない。

▷平均壹にしないと不利

8月21日には卵は16円だつた。魚が高いとみると，どつと卵に押しよせるのが，山口市の消費者の特ちようだ。卵に限らず1週間ぐらいの間に，相場の動きにあわせて量を調節して売ると，有利に販売できる。出荷者はこの平均値段をもらうわけだ安定した値段で売れるから，生産者の手取りはよくなる。しかし生産者の理解と団結がなければ，これもできない。

▷相場の変動が悪用される

相場を有利に動かそうとやる人は，市場にたくさん出荷して，わざと相場をくずす。その伝票を使つて，安く買い叩いてまわる方法をとるようだ。だから，概して松たけは半値で売られている。全くみすみす損をしている。

これに対しどうした対策をたてるか，この協議会で出された意見は

残念ながら，じやがいもや玉ねぎが（おけばおくほど値の出るものが）8月中に相当量売買されたしかも時価の半値で．こうしたまづさを打開するため，時価相場の徹底，出荷の調節が特に強調された。

そして具体策として…

現在の川向い市場の拡張と，小鯖，仁保に一ケ所あて集荷場を設ける点，共同の冷蔵設備も進めようと，この日の協議会は当面する問題の結論を出した。

部落ルポ

長野部落150人が中刈へ

ところは木戸山、部分林の手入れに、〈150〉人もの人が押しかけた。正確にいうと、〈長野施設利用農業協同組合員〉の人たちだ。8月10日の炎暑をものともせず、早朝7時から終日鎌を振つた。

↑一貫野のフオークダンス

23日夜、青年たちが分教場の運動場で楽しく遊んだ。夏向きにハタシで、さても熱心なこと。

部落のいろいろなできごとを、編集者まで、ハガキでお寄せ下さい。

総面積〈3800〉町歩の町有林をもつ大内町は、全山を緑にしたときに、思い切つた設備と改革ができるだろう。造林もなかなか一朝一夕にはゆくまいが、〈愛林の美風〉は町有林にも一般民有にも次第に高まつてきているようだ。

町有林の中には〈1400〉町歩の制限林があり、丸々の面積とはいいにくいけれど、営々として私たちが子孫に遺す財をきづくなら、〈大内町〉はきつと立派な町になれる——と確信している。第2の故郷大内——最近山口に移り住んだ私は、大内をこう呼んでいる——議長）

全山を緑に　したとき

仁保婦人会600名のお母さん方の努力も、きつと近い将来実を結ぶだろう。ふりかえつて、やらずもがなのこともあつたと、あわい悔こんをもちつつ、やはり大内は第2の故郷である。

（土村磯太郎—元大内村議会

しまつた!!タマゴを安壹

大内長野の江藤さん、たまたま〈ヒヨコ卵〉を川向市場に出したところ1個13円以上に売れた。このところ市場の値は15～17円をい持しているが、江藤さんはご存知なかつた。卵買いに8円で今まで売つたのに……とくやしがること。

鼻息荒い東鯖の農協婦人部

小鯖地区の農協婦人部はどれもよく活動しているが、とりわけ東鯖の会員は活動ぶりが眼ざましい。絶対やらなきゃ——という気持が会員にみちみちているからで、農協の方が期待にこたえようと、一生けん命だ。26日に総会を開き、午後は山田百合子女史の〈家庭教育〉の講演をきいた

11年ぶりに戦死の公報

小鯖鳴滝の宮本和夫さんは昭和21年の8月11日ソ連で死亡していたが、11年ぶり去る8月17日戦病死の公報が入つた。家庭では両親の甚一さん夫婦が、まだ健在。8月21日、しめやかに葬式が行われた。

大内町広報

昭和32年10月8日
第28号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

取かえしがつかぬ

交通事故もその一つです。ふえにふえた県下の自動車は、8月末で3万3千台、事故も比例して増加するばかり。お互いの注意で、交通事故を少くする運動は、10月22日から31日まで、県下にくりひろげられます。

盗まれる松たけ

あちこちで盗難の話をききます。うつかりして入ることもあるでしょうが、他人の松たけ山にはぜったい入らぬよう心がけましょう。

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

★10月は町民税の第3期です　★農繁期、空巣にご用心

よくぞ風雪にたえて

長い年月をたえて生きぬいてきた、立派な顔がここにある。敬老の日、仁保は14日、15日は大内と小鯖、それぞれ慰安と尊敬の行事をもつた。（大内小学講堂で）

町政の動き

予算の追加1千500万
教育委員長に岡田誠一氏

9月は町議会が2回にわたつて開かれ、4日間かかつた。主なことがらは、第2回の追加予算1千500万が通過したこと、教育委員改任の同意を求めたこと、職員の給与が引上げられたこと、財源にするため町有林の処分が認められたこと、運営上必要な一時借入金の引上げが認められたことであつた。

追加予算の主なもの

土木費に123万が追加され、大谷郷橋の新設と災害土木の復旧費がみこまれている。教育費に80万、大内小の給水設備と統合中学の建設費の追加が主なもの。産業経済費に808万の追加で、31年災害に融資した金の利子補給16万、肉谷林道に59万、一貫野林道に60万、耕地関係の災害復旧103万、農山漁村の建設費640万が追加された。（農山漁村の建設事業については、7月号広報にくわしくのせました。）このほか、仁保の並山線、一貫野線の改修工事に283万円ほどみてある。

教育長に熊野氏が再選

教育委の改任に議会は同意したが、委員の互選によつて熊野弥作氏が再び教育長の職についた。委員長は、新たに岡田誠一氏（大内）副委員長は安藤哲夫氏（仁保）と構成が変つた。

職員の給与、新ベースに

国家公務員の給与引上げに応じて、町職員も中国5県の標準ベースを認められ、1年1回の昇給が決つた。

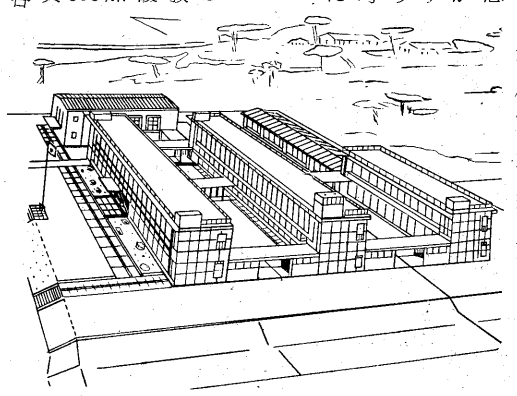
町有林の立木処分

736万の町有林売却を議会は承認し、新たに252万の見込である処分を了解した。24日議会に出された261万の契約も議会は承認したので、合計1千250万の財源が入る予定になるこれでこのたび1千500万追加予算の主な財源を出そうとしている。

一時借入額の引上げ

建設事業を進めてゆくうえにどうしても資金ぐりが必要となるので、2千500万以内で一時借入をすることを、議会は認めた。（国保関係は100万円以内）

以上が2回にわたつて開かれた議会の、重要なことがらであつた。施設関係も、国の補助や査定が決つて、災害復旧の仕事がいそがしくなる。総じて今月以降、建設事業は急テンポに進められてゆく。



統合中学いよいよ着工
＝第1期工事明春まで＝

長者ヵ原に整地がすんで、建築をまつばかりだつた統合中学第一期工事の入札は、21日行われた。落札者は防府市の藤本組で金額は1千9百23万円。24日の議会で、藤本組との契約を承認したので、27日起工式を行つた。できあがるのは、明年3月10日で、校舎426坪、普通教室と特別教室が7室あて誕生する。この建設工事を実現するため町の執行部は補助と起債の獲得に全力をつくしてきた。県教委もよく努力して、このたび実を結んだもの。来年残り250坪と講堂が出来、順調にゆけば34年春には、新校舎に生徒を収容できる予定である。（図は完成後の予想図）

4，6，8日　町議会
5日　丸山公民館の開館式
7日　史談会の例会，小鯖公民館で，「はつさく」について
9日　遺族の靖国神社参拝団が出発
14日　老人の日（仁保地区）
15日　〃　（大内と小鯖）みのり幼稚園の運動会
16日　女性問題対策審議会が議事堂で開かれた
17日　民生委員会，共同募金や医療費の貸付など
17～19日　県農業試験場の展示会，好天に恵まれる
19日　農業委員会
20日　仁保支所で，嘉村磯太顕彰事業の今後について打合せた。土木委員会が議事堂で
22日　女子協議会（郡内女子青年団の）仁保中で研修会を開く
24日　問田川期成同盟会の幹部会。町議会が議事堂で開かれた
25日　仁保並山の〃経塚〃の調査，博物館佐伯主事の指導を受ける

赤い羽根も今年も

国民たすけあい運動としての共同募金は、10月一ぱい行われる。大内町の今年の目標は16万9千円。このうち4割が大内町に返され町の社会福祉事業の資金になる。眼の前の気の毒な人をほつておいて、遠くの気の毒な人にはどうも……といつた心配はいらない。この募金が100％達成されれば、身よりのない老人、引揚者、遺族で生活に困つている人たち、みなしご手足の不自由な人、働く親のための保育所、罪を犯した人たちの更生などに、活用される。皆さん、どうぞ「赤い羽根募金」を!!

やぶ退治

1町歩の竹やぶを退治して

農林漁業資金を増額

借入手続もカンタンになる

農林漁業資金は70億ほど増額されたがその借入れも、大巾に手続きが変つた。改正点の主なものはつぎの通り

4つの業種になる

伐採調整資金、自作農い持創設資金、その年に発生した災害の土地改良資金、新農村建設事業、以上の4つに出される。

貸付対象に保安林を追加

伐採調整資金の貸付けに、従来ほとんど伐採を禁止されていた保安林が追加され、伐すぎ、ひのきを植えるとしたら、約4万円かかるが、この4割以内の補助が県から出る。やぶを退治して造林したい方は、森林組合へ。

農業研修館　役場のすぐそばの敷地に約50坪137万の予算でいま工事が進められている。明年2月には，私たちの自由な集会室が生れる。

★流感各地に発生!!過労をさけて、うがいをしましょう★

新毛族

戸籍係がてんてこ舞う

このところ戸籍のとう本やしよう本が多くて、係りはてんてこ舞つている。8月で6万円、9月で5万円の手数料が入つたが、1枚40円で割ると1200～1500枚のとうしよう本を書いた計算だ。引揚者の給付金や遺族の年金で、申請書用にどつと押しよせた点もある。

敬老会で小鯖4区が活躍

15日に開かれた小鯖の敬老会、小学の講堂は大入り満員だつたが、飛入演芸で4区が大活躍。舞踊会に属している和西稔、小路隆治、伊藤留雄の3君が、玄人はだしの踊りをやれば、古屋勘一さんも若い者に負けないぞと張り切る。婦人たちも4区の芸達者でうずめた。

郡の女子青年、仁保中で仲よく学ぶ

21、22日と、とまりがけで郡内各地の女子青年団員の幹部が仁保中に集つた。21日夜は地元の仁保青年団の男女子も加わつて、80人もが座談会を開いた。たくさん集つて料理を実習したのは始めてで仲間作りの楽しさがよくわかつたと、ある団員の弁。

みのり幼稚園の運動会

お母さんたちも一しよになつて、15日の運動会を楽しく過した。この運動会が町内の皮切りであつた。写真は、当日の遊き〃汽車ぽつぽ〃で、園児たちがトンネル?を通過しているところ。

国保だより

◎まだ守られていない点がたくさんあります。よく注意してお読み下さい。

▽**受診証がないと、医療費の半額はできぬ**

受診証なしで医者にみてもらい、その領収証を証に半額を町の国保係に請求される方があるが、これはできない半額は医者の方から直接町に請求することになつているから。

▽**契約をしていない医師**（たとえば九大）にかかるときはかならず町の承認がいる。旅行中など、ほんとに止むを得ないときは、領収証をもとに支払うことがある。

▽**受診証の訂正なしで**医者にかかると無効になる

どこか他の地区に行つた場合、異動届を出しても受診証そのものが訂正されていないと、医者からの連絡でかならず解り、無効になる。

▽**お産のときは助産費**（千円）が出る。請求は町の国保係へ

▽受診証で**治療を受けられる**医師は

大内町、山口市、防府市、佐波郡、吉敷郡南部の医師会員および歯科医師会員。それと国、県、市でやつている病院や日赤などは県下全部が受診できる。

お知らせ

▽**萩の史蹟**をさぐる旅行を11月2・3日行います。2日萩菊屋家の文化財3日俵山～長門、約千円、申込は教委社教係へ。2日の日帰り申込も結構。

▽山口県**広報写真コンクール**の作品を募集しています。題材は県下の産業、観光、交通、風俗民芸などを紹介するにふさわしいもの。応募用紙は総務課庶務係にあります。推せん1名（山口県知事賞、副賞1万円と記念品）特選2名3千円。

▽**医療費の貸付**は、6カ月で病気がなおり、あまり豊かでない人に貸すことになっています。1人5万円以内で、事務手続きの紙が間もなくやってくる予定です。

▽**狂犬病**の予防注射。10月28日午後（仁保支所）29日午前（小鯖支所）午後（町役場）第1回の残りの方は、この日にぜひおいでください。

▽**油虫**にとてもよくきく駆虫薬〃コックローチ〃民生課の衛生係でお世話しています。定価100円が75円、残りがわずかです。

▽**引揚者**に給付金があると喜んだものの、6月以上外地にいた証明がしにくくてお困りの方も多いようです。証明する何かの書類があればその人の職業や地位、外地に渡つた時期を考えあわし、当然6カ月以上住んでいたと考えられる場合は、認められることになりました。夫婦の一方や未成年の子供でも、特別の事情がない限り認められます。どんな書類でも民生課に持参してご相談ください。

嘉村礒太の生家を訪ねて

生家の前で　磯太の死後，嘉村家は妹幾子さん夫婦がついだ。当主の嘉村栄氏が用をたして帰つてきたところ。奥さんの幾子さんと玄関先で話している。すべて風物は昭和初年当時のまま，道はうねうねと川下につながつて，ここは揚山の奥である。

「川下からのぼつてくる配達夫をお父さまはあの高い丘の果樹園から、どこに行くかをじつと見おろしていられます。配達夫がうちに来て、わたしの手まねきでお兄さまのお便りだと知らすと、お父さまは狂気のようになつて、ほんとにこけつまろびつ帰つてこられます。とてもとても、お兄さまなぞに親心が解つてたまるものですか…」と、東京の彼に出した妹幾子さんの手紙を、処女作〃業苦〃の中であつかつている。彼の父若松氏が、妻子を捨てて出ぼんした長男磯太をしのんだ丘に立てば（写真の位置）彼の作品に出てくるままの風景が展開する。こけつまろびつ坂を降つていつた父若松氏の後姿もみえるようだ。32才で処女作**業苦**を発表してから5年目、この薄幸の作家は東京牛込榎町の自宅で短い生がいをとじた。昭和8年11月、37才であつた。

作家生活も短かく、発表作品も少なかつた嘉村磯太が、日本文学史上に放つている輝きは、彼の死後25年たつた今日でも、決して衰えない。それは、自分をモデルとし、自分から出てくるもの以外はなにも頼らず信じまいとする私小説の伝統の上に、最高の光りを放つている。それほど彼は、従来のどの作家もが試みなかつた、自己を完全にさらけ出し、自己のみにくさを徹底してえぐることによつて、彼の前にも後にもないといわれる作家となつた。

その作品は陰気で、読む人を引き込むすごみを持つている。

彼の文学を記念する石碑を立てる案に、現在の有名な文壇人がこぞつて賛成し、嘉村磯太文学の顕彰会は、規模においても大きなものになつた。（会長―長井山口市長、副会長―須子大内町長）町内でも、郷土の作家嘉村磯太の作品に共感する人が多い。こうした理解者の波が巾広くふえているが、磯太文学の顕彰事業はもうすぐ、11月に花々しく開かれる。

〃お父さん〃こんなにも元気です

――上京した遺児の作文から――

父の戦死を知つたのは、まだ何も解らぬ幼児のころであつたが、深い悲しみを乗りこえて遺児たちは、すくすくと育つてきた。去る7月下旬、靖国神社に参拝した大内中の遺児2人に参拝の感想をつづつてもらつた。

☆

照りつける東京の街の、めまぐるしく行きかう自動車をぬつて、私たちのバスは走つた。約10分、どぎつく雑然とした東京の街と打つてかわつた静けさ――神社の前だ。どこまで続いているのだろう。樹木は青く、高く茂る。

「お父さん、とうとうやつてきましたよ、靖子ですよ。」と樹木に呼びかけてみる。じーんと涙がわく。お父さんが生きておられたら、散々甘えてこまらしてもやりたい。いいつけを全部素直に返事して守つてもみたい。過ぎ去つた日々の悲しみを、この茂り立つ樹木の幹にもたれて、日ごよみのようにめくつてみたら…と他愛ないことも考えてみた。そろつて、静かにぬかづいて、みたまを拝む。引き込まれてゆくような感じで、体が小きざみにゆれる。「さよなら、お父さん」を幾十ぺんとなくくりかえしながら、やつと社頭をはなれた。

（雑賀靖子）

☆

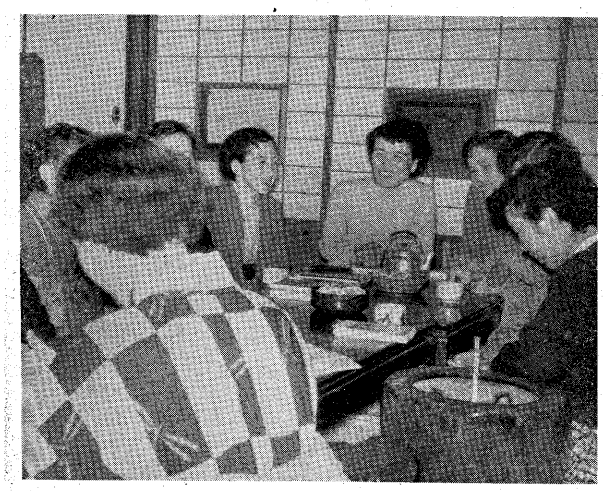
夜汽車にゆられ、東京の宿についたのは、朝の10時だつた。すぐ参拝するのだという母が心づくしの真新しい白シャツに着かえる一歩一歩石段を登つてゆくとき、今こそ父に会えるのだという気持で、大声に「お父さん」と叫びたかつた。やつとの思いで押し殺し、故郷の母からのことづけ、私の将来の誓いをくりかえしているうちに、涙は後から後からとわいた。

（美郷征記）

ほがらかにのびて＝のぞみ会＝もう2年生

これは読書の秋におくる話題。みんなが読書によつて今日を明るくし、そろつて将来を夢みているグループ、それが〃のぞみ会〃だ。仁保丸山の主婦12人で組織している。30年の7月に発足して以来、2年とちよつと続いてきた。

「同じ部落で隣近所としてしか感じなかつた親しさが、ほんとに心の通じあうものになり得たのも読書を通じて語りあつたからです」と皆が口をそろえていう。女が3人あつまれば……と初めの頃はけなされもしたらしい。しかしそんなかげ口を押し切るほど「楽しくて、楽しくて、指折り数えて待つ」ほどの喜びがこのつどいにあつたから、グループの基そはがつちりとできた。いそがしい明け暮にひもとく本も、「あの人はここのところをどう批判するかしら?」と仲間の語り合いを予想して読まれる。それだけはりあいもあろうというもの。



農繁期なので，10月例会をくりあげ，９月28日に岡崎俊子さん宅に集つた。

目的のわからぬ寄付

世話をする人たちには、寄付をつのる目的は、よく理解されているのだろう。寄付以外に、この目的を達することはできないとの判定のもとにとられた、〃止むを得ない〃手段でもあるだろう。しかし私たちの家庭におよんだときには、何とも解らぬ一冊の奉賀帳に変つている。隣近所の額と比かくしながら、自分の分相応を記入することになる。だが、金額はよし少くとも、「一休何の目的でこの寄付をつのるのか」については、ほとんどの場合、私には理解されない。言葉で一軒一軒説明して廻つたにせよ、一家の主婦を通じて私の耳に入るのは、〃剣道の防具を買うから寄付してほしい〃と、非常に簡単な結論になつてしもう。それが必要であり、よいことである限り、私は喜んで寄付したいし、小さな力がよりあつまつた結果を見守る気持もある。だから、どんな理由と目的の寄付かを、ガリ版で刷つて一枚あて配つていただきたい。私のように朝出て夕方かえるサラリーマンにとつて、これ以外に理解の道はない。夕飯の卓に向つて妻を相手に、不得要領の押問答をすることもさけられるし、「私だつていそがしいんだから、そんなに説明の全部を覚えられませんよ」と投げやりな妻の言葉を聞かなくてもすむだろう。

小鯖であつたそうだが、中学の図書が少いから、合併して生徒の肩身が狭いだろうと、米2升あて図書の講入費につないだというが、この趣旨はどうかと思う。それぞれ教育方針の違つた学校が合併になるのに、部分的な違いをひけ目に感じていたら、やり切れないだろう。

寄付について、どしどし私たちの意見を出すことが、結局は理解ある協力につながる。収支報告もこれからはかならずやつていただきたい。

（大内御堀　徳重直　30才）

展示会で公民館の資金

17日より3日間続いた農業試験場の展示会には、氷上、茅野神田、川向などの部落が簡易食堂を開いた。部落公民館の資金をかせぐためで、部落中が順番で世話をした。町の婦人会や青年団、白菊会なども店を出して、それぞれ運営資金を集めるためにがんばつた（写真は白菊会の店頭）

金坪の竹が枯れる

仁保上郷金坪では残念ながら竹に花が咲いて、少しづつ枯れている。県下で300町歩がやられ、阿東町でも相当の被害だが、ついに仁保にも伝わつたわけか。60年前、明治42年頃にもこんなことがあつたと、土地の古老はいつている。

改善結婚がちらほら

27日仁保上郷大富公民館で、揚山の村田頼男君が、改善結婚の式をあげた。一貫野でも、話が起つている。大内の営内でも阿部博君が公民館結婚を行つた。ほんとうの改善は、こうすべきだといつた議論もやかましいから、農繁期があがつたら、新しい様式も生れることだろう。

生花の月謝が10円

仁保一貫野の主婦たち、公民館活動の一つとして生花をとりあげた。始めたのは9月の15日から。月謝を安くしないと永続性がないからと、特別に交渉して月3回一人10円という、べらぼうに安い月謝となつた。家々の内が、美しい草花にいろどられて、明るさがましたという。主人たちも大賛成で、30人の主婦たちは、久しぶり若い女性のようにはしやいでいる。

松たけ山でぽつたり

松たけ時期となつて、高価なナバについ気も荒くなる。これは仁保松柄での話。部分林を入札で取つた業者と、その山の松たけだけを入札でとつた地元の人とが、山でばつたり出合つた。「俺のだ」「いいや、俺のだ」といい争つたが、業者の方は、立木だけを買つたので、しかも金を納めていなかつた。裁いてくれと町の林務課に話が持込まれたが、以上の理由でナバにまつわるいざこざはあつけなく幕切れ。

時間れい行が第1の目標

去る5日に仁保丸山の公民館は開館式を行つた。部落の老人も子供も集つて、映写会を楽しみ、これからの運営を相談しあつた。特色は、時間れい行を一番大きな目標にしたことで、この日も午後8時30分という時刻を、1秒たがえず、カツチリ始めたという。

結婚改善で座談会

小鯖の稔畑では、婦人会と青年団が合同で、「どうしたら結婚改善ができるか」の座談会を24日夜開いた。今年こそ実行に移そうと、全戸に対してアンケートも行つている。

部落のいろいろなできごとを、編集者まで、ハガキでお寄せ下さい。

大内町広報

昭和32年11月8日
第29号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

小作料は定めた率で

県知事が定めた小作料以上の金を支払うことや物納は禁止されています。破れば、地主小作とも10万円以下または3年以下の刑に処せられます。

事業税を早目に

後期分の事業税は、納期限が11月末です。どうぞおくりあわせの上、お納め願います。

納付先＝県税事務所、山銀支店、郵便局

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

よい郷土への設計書
新町建設の基本計画なる

町政の動き

合併のときの建設計画を、その後の状勢の変化と、より実状に即したものにする〈新町建設計画〉は、25日の建設審議会の審議と、28日の町議会の議決を経て、いよいよ本決りの計画となった。昭和41年度までの10年間の基本計画、それの具体的な実施計画、この計画を作る基そになった資料、この3点が計画書の中心になっている。

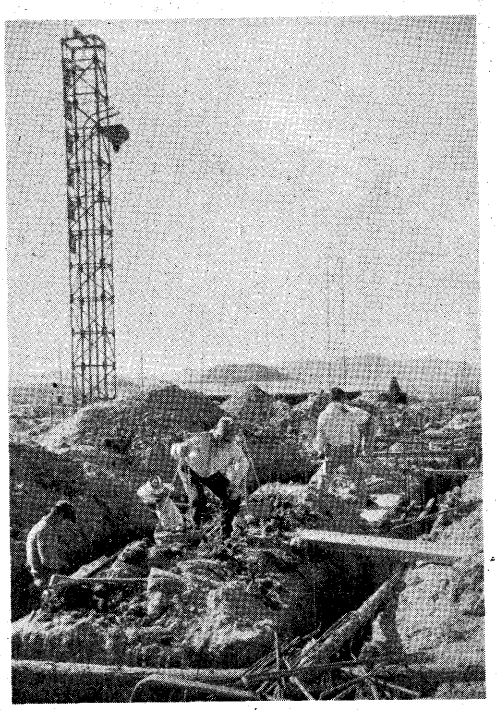
現況分析の上に立った

本町は耕地約2千町歩、山林が1万町歩、農家が総戸数の76%をしめている。どうしたら農林産業に主力を注いで、生産性を高められるか、学校の施設が整備できるか、また交通、通信網をひろげられるか……くわしく実情を分析することによって〈実行が可能な計画〉を作る努力がはらわれた。この内訳は、(1)地勢と気象、(2)人口の分布、(3)資源の分布 (4)生産と所得と消費の関係 (5)農業の構成 (6)交通と通信 (7)教育 (8)民生と衛生 (9)財政と金融 (10)生活改善……といった項目に分れている。

28日の町会で議決

この建設計画に対して28日の町会では、突込んだ質問が続けられ、よい郷土〈大内町〉を育てる設計書として、議決された。

この建設計画の内容紹介は次号から少しあてのせる予定にしております。



統合中学の工事は日ごとに進んでいる。いま基そ工事で地味な仕事だが，この広報が皆さんの手もとにとどくころには，高い鉄塔から壁に使うセメントが配られているだろう。

手をとりあって考える〝場〟
23・24日に産業祭り小鯖で

ただ見るということだけでなしに、私たちが今日までを振り返り、これからの農業をどうやっていくかを、〈考え合う〉ことに、今年の産業祭は重点を置いている。いままでの産業祭と同じ様に、展示会、畜産の共進会、農産物の品評会があるが、**展示会**は少し構成が変ってきた生活衛生館、青年婦人館、農協館、林産館、農産館（普通作、特産物、畜産物とこの中が別れる）このほかに大内町展望もある。研究発表も行われ、生活と農業と2つの部門に分けて、生々しい体験談が開かれる。料理の実演、婦人会の運動会、新生運動の寸劇もある。23、24の両日を〈意義深い〉祭りにしようと、関係者はいま頭をなやましている。

農産物品評会の出品物は24日の午前12時から即売することになっています。よい品を安く買いたい人はぜひどうぞ。

救ライの聖者歸郷

一生をライ患者の救済にささげた長島愛生園長、光田健輔先生は4日氷上光田家の墓参を行った。光田先生は防府市中関の人、光田家に養子にきた。この日歓迎座談会には地元から45人も出席盛会だった。町から記念品として中村治氏、原田信行氏の〈大内こけし〉を贈呈した。

町政メモ

7日 大鯖、大内、仁保の小中学校がそれぞれ運動会を行った。

8日 新農村建設計画の打合せ会、議事堂で。

9日 大富小運動会
12日 東園小〃
13日 一貫野〃
16日 総務・経済委員会
25日 大内町建設審議会が新町建設計画を審議
28日 町議会、建設計画を議決
29日 遺族会の役員集会
30日 農業委員会

11月

3日 文化の日、大内と小鯖地区では地区の運動会

▷所得税2期分　11月1～30日まで◁

▷11月26～12月2日　火災予防運動　火の用心!!◁

もれたら〝投票〟できない

10月31日にできあがった選挙人名簿は皆さんに調べていただくために、5日から役場と支所に備えつける。このじゅう覧期間は5日～19日まで毎日前8時30分～後5時まで。名簿に名前がもれていたり、間違ってのっている人などを修正することがねらいで、誤って記入してある人は期間中に**文書**で町の選挙管理委員会あて、**異議の申立**てができる。

大内村史の予約募集

着手以来3年間で、旧大内村の郷土史がやっと印刷の運びになった。山口市の郷土史家河野通毅氏が編集に当り、約600ページの立派なもの。各地で出された郷土史に比較して、たくさんの特色をもち、未発表の資料もものせてある。1冊500円、締切は今月15日、申込は大内公民館へ。明年2月発行予定。

芦谷林道いよいよ着工
近く黒岩など3林道も

10月3日小鯖稔畑の芦谷林道は着工した。工費207万円で延長1千800m、約4万石の蓄積を持つ美林の伐採が、この林道によって簡便になるわけ　皮切りの芦谷に続いて、平佐（小鯖）黒岩（大内）日の下（仁保）と、3林道の工事が近く開始される。平佐は990m黒岩は700m、日の下は500mの延長をもっている。

晴天に恵まれて，新米の出荷は各地とも快調。豊作を伝えられたが，ウスを引いてみるとそれほどでもなかった。（大内農協倉庫前で）

銃に所持許可が必要

猟銃や空気銃を持つには、警察で所持許可を受ける必要がある。その上狩猟するには免許か登録を受けねばならない。14才未満は銃がもてない。

新乱筆

赤ちゃんコンクールに9名参加

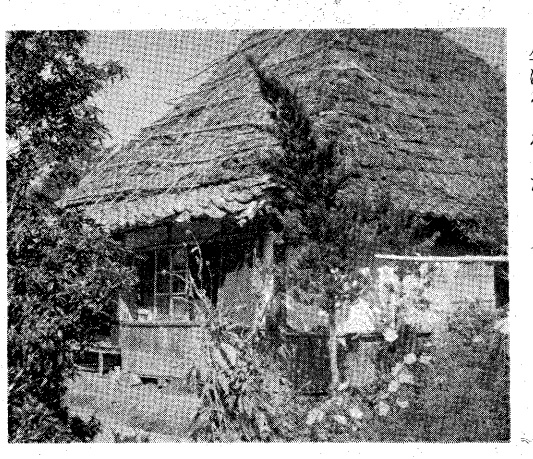
第2回の県コンクールに3地区で男女一名あて、大内＝栗林徹男、江藤静子　小鯖＝篠原浩治、中川浅香　仁保＝伊藤肇、池田洋子の健康児が参加した。人工栄養で成績のよかった長沼京子（大内）、徳田敏宏（小鯖）、来栖正人（仁保）さん方の赤ちゃんも参加した。県審査は11月9日。さて……

沖田橋近くかけかえ

見る影もなくみすぼらしくなった小鯖毛割の沖田橋は、県工事で近くかけかわる。永久橋として立派なものになるが、現在はトラックの通る度にグラグラ、とても見ちやいられないと、橋の下から見ていた人の話。どうかご用心。

鳳陽先生の旧宅なくなる

大内地区御堀の乗福寺そばに、幕末の偉大な先覚者上田鳳陽先生の旧宅がある。写真のようにわらぶきの質素な家だが、雨もりがひどくて、現在住っている人がついに改築を決意したもの。鳳陽先生は、山口経専の前身たる講習堂を始めた学者、嘉永6年になくなった。



共同募金　目標までにいま一息

温い皆さんの志が、各部落から集って、赤い羽根の募金も、目標に真近なところまでこぎつけた。10月末日までに届けられた部落別の募金額はつぎの通り。

鯖		1970円			760円
小	区	720	内	浴	330
1		1860	河	保	2140
2		2420	原	両	1900
3		880	仁	土	2070
4				高	1570
5		4470		丸	3190
6		4000		東	1440
7		5270		深	1820
8		4380	保	山	2510
9		4000		坪	1230
10		2690		畠	600
11		1350	瀬	内	1900円
12		3275	内	畠	3390
		1950		東	2200
		2590円	西	本	2170
		1840	柄	開	2335
		2750	の	野	4140
		3300	河	〃	3070
		2890	開	井	3580
		2640	野	坂	
		4580	〃	松	
		2660	井	山	
		3250	坂	園	
		4120	松	野	
		4690	山		

共同募金　目標までにいま一息

温い皆さんの志が、各部落から集って、赤い羽根の募金も、目標に真近なところまでこぎつけた。10月末日までに届けられた部落別の募金額はつぎの通り。

鯖		1970円			760円
小	区	720	内	浴	330
1		1860	河	保	2140
2		2420	原	両	1900
3		880	仁	土	2070
4				高	1570
5		4470		丸	3190
6		4000		東	1440
7		5270		深	1820
8		4380	保	山	2510
9		4000		坪	1230
10		2690		畠	600
11		1350	瀬	内	1900円
12		3275	内	畠	3390
		1950		東	2200
		2590円	西	本	2170
		1840	柄	開	2335
		2750	の	野	4140
		3300	河	〃	3070
		2890	開	井	3580
		2640	野	坂	
		4580	〃	松	
		2660	井	山	
		3250	坂	園	
		4120	松	野	
		4690	山		
13区		内	野	坊	西
14		〃	千	〃	芝
15		〃	堀	河	上
16		〃	御	〃	川
17		大	菅	小	間
		下	上	高	〃
田	野	田	道	野	内
上	下	東	西	向	
矢	矢				
中	茅	神	上	大	長
殿	氷	〃	御	〃	川

靖国の奉さん金
目標を突破

靖国神社の改築と英霊を合せ祭る費用にと、奏賛会の募金が続けられていたが、遺族をはじめ関係者の骨折りが実って、10月10日には目標を突破。大内—8万4千5円、仁保—6万2千380円、小鯖—4万8千520円

▽**文化財**探訪旅行（萩・長門地方）は都合で9・10日に延期されました。山急の貸切りで、50人になり次第締切ります。出発は役場前を9日8時。

▽**文学講演会**　嘉村磯太の文学を顕彰する記念講演は、29日後6時、白石小学講堂で。講師は井伏鱒二、河盛好蔵、河上徹太郎の3氏、入場は無料。

▽**国民金融**公庫の山口支所が、年末に貸付けられる金は、新規の配分と回収金をあわせて、2億4千600万円ほどあります。昨年より15％増です。大巾な借入申込でも受付できる状態にあります。ただ年末おしつまっては間に合わぬかもしれぬので、今月中までの申込を、公庫では希望しています。

▽雨読が新しく産れ代ります。試験場の技術雑誌〝雨読〟が、**農業山口**と改名して、新年号から発刊され、値段も1部50円になります。申請書は11月末日まで。くわしくは県の建築課へ。

▽**原子力**平和利用展と電力事情展が、今度新築された中電山口支店の1階（市役所のそば）で開かれています。11月3～16日

▽**産業祭**　今年は小鯖小中で23・24日。（1面参照）

▽**2級建築士**の選考が、今年に限って行われます。試験ではなく、資格がとれます。2級建築士でないと、明年1月からは、30坪以上の建築物の設計工事の監督ができなくなります。申請書は11月末日まで。くわしくは県の建築課へ。

嘉村磯太の生家を訪ねて

秀才だった竹馬の友の、ドイツ留学に刺戟されて、かって磯太は土蔵の中で熱心に独学したことがあった。「百姓の手助けをこばむ私へ苦情を持出す父母に対して咲子はどんなに勇敢であったことか。でんでん太鼓にしょうの笛――あをぎりのかげの土蔵の壁にもたれた彼女の子守唄が、今もなお故郷の石垣の上の……」（作品途上より）古い土蔵のあたりから、響いてくるようだ。ここを訪れた日、石畳の上を柿のわくら葉が、1枚2枚と舞っていた。

彼の作品「業苦」「崖の下」「生別離」を通じて、いつも流れている苦しみにみちた感情は、棄ててさた妻子、父やその他の家族の上を、しっこくつきまとっている。罪の意識をともなって、一語一語がそのまま彼の面上に叩かれるむちのように、音高く聞えてくる。罪業を不断に自覚して、ひたむきに自己をせめさいなむことによって、磯太はゆるがぬよりどころを求めていたかにみえる。

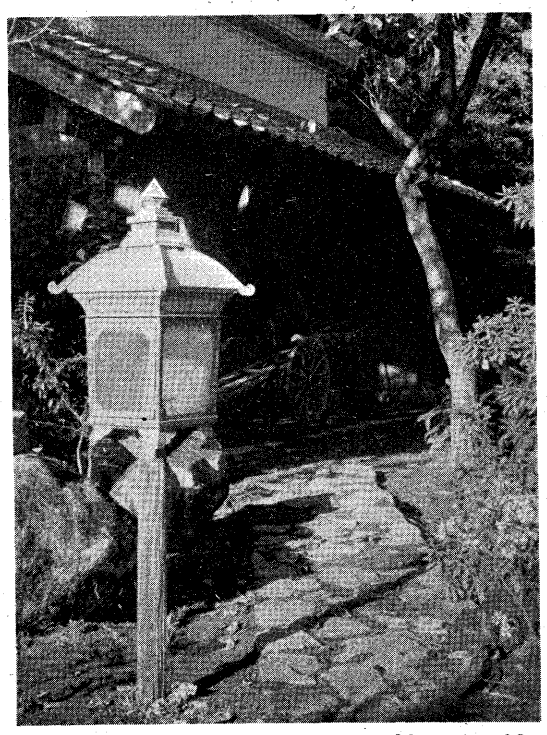
×

私小説は磯太に至って、自我の尊厳と芸術家としての誇りすら棄て去ってしまった。彼の全作品を通じて流れる、激しいしゅう恥感は――恐らくこれは彼独特の罪悪感の底流をなしているであろうが、しゆう恥する自己の愚かさを、さらに恥じている。彼はどの作家も追いつけぬほど自我を追い込み、極北作家といわれるほど、徹底して露出した。

×

生家の庭に立てば、この薄幸な作家のかってのもだえが、今もただよっているようだ。それほど、作品に出てくる〝舞台〟そのものがここにある。**生誕碑**は生家の庭に、**文学碑**は彼がよく行った山口市常栄寺の山門のそばで30日除幕されることになった。故郷の人の一部に〈あわれまれ、ののしられつつ〉死んで行った彼が今日あることを、彼はまた地下で照れながら微笑してくれるだろう。

かってのままに　倉はでんと構えていた。生誕碑はこの倉のそば，高い石垣の上に仁保川の下流を望んで建てられる。



大内町出身者も3人か4人処刑され、遺体はここに投げ込まれた。

荒れはてていた処刑場の井戸

明治の始め、兵制が改革されて常備兵制度がしかれた。つまり天皇のご親兵が生れた。維新に生命をかけて戦って来た人たちは、当然この常備兵になれるものと思ったのに、負傷者や病人、40才以上の者は除隊になると聞いて、不満は爆発した。そして明治3年1月26日武装した兵士千余名は山口藩庁を襲って要求を出した。しかし豊浦、清末の2藩、東より徳山、岩国の軍にはさみ打ちに会い、ついに敗戦した。2月9日首謀35名は捕えられ、3月2日その内26名が処刑された。この戦で大内、小鯖の地域内には流弾が飛び、今日でも小銃弾が出るところがある。

写真の井戸は、小鯖柊原の処刑場にあり、26名もまたここで処刑された。元来がここは徳川時代の処刑場であり、一般の罪人の仕置場であったが、井戸は首をはねたあとの遺体をけ込む場所であった気味悪がって人が近づかなかったせいもあって、井戸は藤づると女竹のやぶに覆われ、ご覧の通り。10月25日、史談会員江藤茂氏と長井富雄氏が、ノコや鎌でどうにか写真にとれる状態にしてくれた。この近くうらみを留めて消えた同志をとむらう立派な石塔がある。人呼んで騎兵隊の墓と。

秋野菜の栄養

大切な栄養を、案外私たちは**ムダ**に捨てているようだ。私たちの舌が、もっとも栄養の多い料理を、選びわけてくれる能力をもたないところに罪もあるのだが……秋野菜の中から、代表的な大根、白菜、ホーレン草、春菊、しそなどを選んでみた。

大根＝大根煮しめという言葉の通り煮しめが多い。しかし熱を加えて煮た大根だけでは、それ自体何も栄養はない。油揚、お豆腐などを加えて、始めて栄養がとれることを、ご存知ないのかしら？　大根おろしも、食欲をますが、すりためて辛みのへったのは効果がない。汁が多いからと、汁気を捨てたのも同様だ。ヴィタミンCがなくなるから。人参とまぜた〝モミヂおろし〟も、美しいが人参の中のアルコルビナーゼ（ヴタミンCの分解酵素）が邪魔をする。別々がよい。

ほうれん草＝おひたしも、蒸した方がよい。吉岡式ナベ（万能ナベともいう。銅で厚い）がよいが、ご飯蒸しでも代用できる。サラダは3～4分、おひたしは10分間。油をあわせて料理するわけ。（そのようなヴィタミンBIが多くなる。これはどの野菜を使っても同じだが、白菜もこうするとおいしい。大根煮しめと同様白菜も、いりこやひき肉を入れると効果的。第一味もよいし。

春菊＝ヴィタミンAが多い。わけぎせり、みつ葉にも多い。これらをさっと熱湯に通し卵焼の中にまくと、蛋白とヴィタミンAが一緒にとれる。しそは実も葉もヴィタミンAがほうれん草よりも多い。てんぷら、ふりかけなどにするとおいしい。（生改普及員のメモより）

強い平和への願い!!

〝一心会〟地道な活動

29年に発足した仁保地区の一心会は、最初のころは若い層から相当に誤解されたようだ。軍国主義の復活をねらうものとして、白眼視されたが、今日では若い層の入会もぐつと増えている。会員800名、大きな団体だ。しかしこの会の動きはあまり表面に立たない。それだけ地道な活動を続けているわけだが、御旗会長の言葉をかりると「かっての悪夢から言葉をかりると「かっての悪夢から言葉をかりると「かっての悪夢から

大内町広報

昭和32年12月8日
第30号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

歳末の助け合い運動

昨年はこの運動で1万6千円のお金と6石の米を皆さんから寄せていただきました。町内の困っておられる方々に、明るい新年が迎えられるよう、ご協力をお願いします

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〈大内町〉はすくすくとのびてゆくでしょう

固定資産税（第3期）

納期は12月27日までどうぞ早目にお願いいたします

この日行われた婦人会の運動会で〈着付け競走〉が集った人たちの腹の皮をよじらした。

〝産業祭〟ぐっとくだける

11月23 24日は好天に恵まれて、会場の小鯖小中学校にはたくさんの見学者が集った。展示会と農産物品評会、畜産共進会と新生運動の研究発表会が、この2日間の主な行事であった。展示会は〈考える産業祭〉にふさわしく、ぐっとくだけて〈よく理解できる〉と好評だった。研究発表には、郷土大内町を建設してゆく意気込みがはげしく脈うっていた。**発表者**のテーマーと氏名を紹介すると、食生活の改善と実演―大内、小鯖女子青年家政部（江藤よしえ、中山玉恵、原田ユキ子、重宗邦子）▽成人病対策―小鯖1区代表原よし子▽明るい家庭の生まれるまで―劇―大内女子青年学級家政部▽生産費を低くする自給飼料―大内青年学級家政部代表江藤幸男▽環境衛生―仁保丸山部落代表内田惣一▽私たちの農研活動―大内長野いづみ農研代表中川敏之▽晴耕会の歩み―小鯖11区晴耕会代表長井照子▽農研活動と部落新生計画―仁保一貫野農事研究クラブ代表岡忠雄▽部落新生計画とその実施―大内菅内部落代表徳永才栄▽結婚改善はこうして―仁保大富公民館長末永利夫▽縁談（結婚改善劇）―大内青年団演劇グループ一同

研究発表にこもる意気ごみ

建設急ピッチに進む

× 11月中旬から建設事業は全般的に急ピッチではか ×
× どった。統合中学の建設や新農村建設事業、問田 ×
× 川改修の測量開始など、ためにためた水がどっと ×
× せきを切るように、建設の歩みはいま順調である ×

問田・小鯖川改修の測量も開始

問田川改修の測量開始

問田川小鯖川の改修を県は明年度実施の第1位に押しているが、いよいよ実地測量を11月下旬より開始した。

並山線12月1日着工

仁保の一貫野・並山線の改修工事は、12月1日に着工。総工費265万円、明年2月末日の完成予定。この改修工事で道路巾員は4.5mになる。

はかどっている統合中学

年内に2階まで全部コンクリートを打つ予定で、長者が原の現地には連日ミキサーの音がやかましい。年内で、今年度計画の7割が終り、外観だけはできあがる。

新農事業もつぎつぎと

待ちに待った〈新農村建設事業〉も、ようやく動き出した。農業研修館も12月末完成の予定で、屋根ふき工事も始っている。

正月モチに間に合う

問田（大内）の共同給水工事も、ポンプの到着を待つばかりとなった。12月20日までにポンプがとどかぬときは一時借用しても正月モチには間に合わすーと施設課では語っている。

林道も2つ

〈新農事業〉として行う〈日の下〉〈平佐〉の2林道も12月1日に着工した。新農事業ではないが、町が行う一般林道としての〈芦谷林道〉は3～4割の進行ぶりで明春までには十分完成できる。

その他の工事は

泉水原道路（仁保・一貫野）の改修工事と、大谷郷（仁保・上郷）の橋の新設が完成した。泉水原道路は工費60万で、巾3.5mとなった。滝河内線（小鯖・千坊）改修は、地元の請負で工費48万巾3.5m、約300mの予定を、いま50%完了している。また**叶木線**（小鯖）も12月2日から測量を開始したが、巾3.5mで700mを、年度内に完成する予定である。

災害復旧工事は、もうすぐ県の査定がすむので、新年号の広報でお知らせします。

長者が原で　＜ああ，あれが統合中学か＞と，バスの中からでも眼につくほど，工事は進んでいる。

町政の動き

産業祭の入者賞

産業祭の行事の1つであった畜産共進会とそ菜品評会で1等入賞者はつぎの通り。

畜産共進会

役馬　長沼喜一―大内
乳牛　佐々木彦一―〃
役牛　岩本望―仁保
肉牛　田中芳人―大内
めん羊　河野寛―大内
山羊　山根峯一―小鯖

そ菜品評会

白菜　古屋敏介―小鯖
〃　池田峯男―仁保
〃　武石照次―大内
大根　向原麻三雄―〃
〃　江藤孝介―〃
人参　小野正宏―小鯖
〃　向原麻三雄―大内
ホーレン草　青木茂―〃
甘らん　山本三代一―小鯖
棚良虎夫―大内
〃　兼光清―大内
花野菜　宮原芳次―大内
里いも　椿博―仁保
しょうが　久保チカ―〃
〃　山根清―仁保

松苗は入手難

杉とひのきは、どうにか間に合うけれど、松苗の不足は深刻。大口のパルプ会社も、直営山林の補植用にあわててかき集めている。この調子だと、明年、明年後も松苗の不足は続くと見られ、天然下種を大切に育てることと、それでも間に合わねば自家用苗床で松かさから育てる必要がある。松かさをとる時期は10月末で、青味のあるうち。だから今年はもう間にあわない。

土改区の事業 これから続々

3地区の土地改良区が、今年度中に行う事業は、工費687万円、関係面積163町、関係戸数は290戸にのぼる。**大内**ではびわ田水路、長谷と寺の内の溜池、久保、竜口、長野、殿河内、中矢田の農道が計画されている。**仁保**で、伊賀、金銅の水路、一貫野の農道、**小鯖**で石鼻、境、向山の農道、江良の水路がある。

小鯖防犯組で事業計画

小鯖地区全体をまとめて、防犯組合が結成されたのは2年前だった。去る12月3日組合の集りで、明33年の事業計画をたて、中学生徒から〈防犯標語〉を募集することなどを決めた。

流感予防は榮養と休養で

〃 〃 〃

▽流感がグングンひろがっています。すでに30数校が休校したり、学級の授業をやめています。病源はA東京57型ヴィールスとよばれ、夏のはじめにも県下で11万人の児童生徒がやられています。

▽流感は予防が大切で、①よく眠り栄養を十分とって体力をつける ②外出の前後や、寝る前と朝起きた時は**ウガイ**する ③乾布マサツ等で皮膚を強める―といったことが必要です。

▽流感の予防ワクチンの割当は、県下へ2リットル（子供2万4千人分）で、これではさっぱり量が少いため、子供や病弱者へ重点をおいて使われます。

▽近所に患者が発生したときの注意は、④人ごみの場所への外出はなるべくさける（特に子供は危）

〃 〃 〃

⑤幼児や病弱者は早めに予防注射を受ける ⑥家族に患者が出たら病室を仕切るか、別にする ⑦患者のハナ紙類は焼捨てる。

▽どうぞ健やかな冬をお過しください。

―山口県学事広報課―

新乳牧

産業祭、大富と一貫野で

町の産業祭も盛大に行われたが、この2地区でも、地区の産業を検討し反省する意味で開かれた。大富は16日、一貫野は12月1日だった。多数の人が参加し〈これからどう対策してゆくか〉を懇談した。

中国5県畜力利用競技で重村さん入賞

中国5県が連合で開催している第4回の畜力利用技術の交換競技会で、大内地区の重村静男さんが入賞した。場所は広島県双三郡吉舎町で、11月9 10日の2日間開かれ県代表2名の1人として出場した重村さんは、2等の1席に入賞した。

光田先生をたたえる会

元長島愛生園長光田先生は11月4日氷上

光田家の墓参をすましたあと、歓迎会に臨み、小学時代の友人も交えて、なごやかに談笑のひとときを過した。昔話に花が咲き、大内町長をはじめ参加者一同は〈ライ患者の救済に一生を捧げた〉翁の想出話に多くの感銘を受けた。（写真左から2人目、光田先生）

全国母子衛生大会で斉藤さん研究発表

11月26日東京の豊島公会堂で開かれた大会に、町の保健婦斉藤ツルさんは、大内地区の母子衛生の活動を、モデルケースとして発表した。

11月

10日　小鯖と仁保で，それぞれ地区の運動会。
16日　仁保大富小で，上郷地区の産業と文化の祭り。
19日　ブラジルに移住する仁保一貫野，岡節博君壮行会
22日　御堀乗福寺史跡の研究会が開かれた。戦死した仁保深野の倉橋俊之氏の葬式
23日　町産業祭小鯖小中学校で。この日婦人会の運動会も同じ場所で。
24日　町の産業祭。畜産共進会が開かれた。
26日　嘉村磯太生誕碑除幕式
27日　護国神社の秋季大祭
28日　土地改良区合併に関する協議会
29日　嘉村磯太の文学に関する講演会が白石小で。すわらじ劇団の公演が，夜小鯖小講堂で。入場者多く，当日の国連劇は好評。
30日　磯太文学碑の除幕式。

12月

1日　戦死した小野克己氏（小鯖・毛割）の葬式。
2日　土木委員会
4日　靖国神社遺族参拝団出発。仁保遺族会長山根信一氏葬儀。納税貯蓄組合長集会。

メモ

年賀ハガキ28日まで

今年も4円と5円の2種類が，町内3つの郵便局から売出されている。

さようなら 昭和32年

もうすぐ32年も終ります。よりよい家庭と、よりよい郷土大内町を造りあげる、皆さま方の新年のプランはいかがですか

軽卒な人のうわさ話、誤った報道などで、皆さんの名誉や信用が傷つけられたことはありませんか。人の私生活の秘密をあばくことも、まだ私たちの周囲では、相当行われています。〈人権の自覚〉があれば、お互いの名誉を尊重し合う気持も、自然と生れてきます。暴力を憎む気持も、当然出てくるでしょう。児童の〈人〉としての権利も、まだ十分護られてはいないようです。12月4～10日まで、第9回の**人権週間**は、こうした意味で行われます。検察官が不起訴にした事件でも処理できる**検察審査会**の制度も、〈人権尊重〉の趣旨からです。これも新年の課題としていかがでしょう。郷土の明るさは、そこからも生れるでしょうから。

明るさは人権の自覚から

年末年始はムダが多い

米の売渡し代金やボーナスなど、多額のお金が一時にまい込んでくると、つい財布のヒモもゆるみがちになります。その上お祭り騒ぎの好きな私たち日本人は年末年始にはずいぶんとムダな金を使います。

貯蓄を通じて、私たちの生活の安定と将来の万一の場合に備え、その金を産業振興や国土建設に役立てたら、どんなに有意義でしょう。こうしたネライで、全国的に**歳末貯蓄運動**が11月15日～12月25日まで行われております。

来年といわず今年から引締めて、新しい目標額を、もう生活設計の中に織込まれましたか。

新年の生産設計は

来年こそは――と、農家の皆さんは生産設計をねっておられることでしょう。それで、ご参考になることがらを少し……。

反当生産費が高い

水稲の反当り生産費は、全国平均で5千2百15円だが、本県は8千9百円で、約3千7百円も高いのです。このうちを占める肥料代も、全国平均の1千2百41円に対して、1千9百38円と、はるかに上廻っています。

だから施肥の設計も必要

大内町で行っている〈施肥設計〉は、つまり生産の合理化です。段々と皆さんの認識も深まってきました。**熊毛町**の高水でも皆さんのお宅で実際に今年水稲に使った金額と比較して下さい。全国で肥料の使い方が、8番目に高く、それだけ使い方にムダがあるわけです。この反当700円ほど高い肥料のムダをなくそうと、県も施肥の合理化運動に乗り出すことになりました。

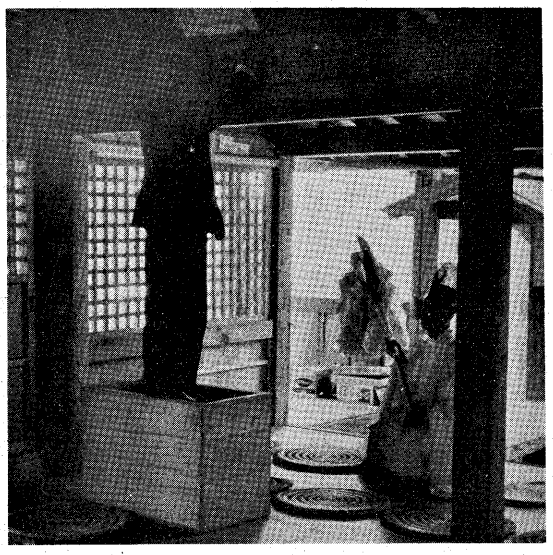
積極的な改善グループ

大内町にも、改善研究グループがかなりありますが、熊毛町高水でも、自主的なグループが集団で、稲の生育の大切な時期毎に見て廻り施肥の結果を検討しています。町の**施肥設計**は年が明けて3年目を迎えます。明年1月下旬から2月にかけて、施肥設計のご相談にあづかるため、各部落を巡回します。昨年さしあげた用紙に、今年の実情をよく記入しておいて下さい。

農家が所有田の上中下を分け、施肥量と収量を記入しておいて、農事相談所で話し合うところから、始めました。その結果、米が予想どおりとれなかった原因が、施肥だけでなく、病虫害や不適正品種であったことがわかりました。秋落の原因が、ウンカやイモチ病の被害であったのです。施肥から出発して、施肥以外のことまで**効果**が現れたのです。農家での記入も、雑記帳から農家簿記へと進みました。

社会教化 で日本最初の表彰状

――50年前に活動した長野青年会――



額をもつは当時の会員、江藤庄助さん（72）

話は50年の昔。当時の青年たちは若連中と呼ばれ、いたずらが常習的になっていた。集団で娘をからかう、果物を盗みとる、――まるでやくざグループだったと当時の人は語る。

×

こうした風潮に立上ったのが長野の青年会だった。当時の会員30名ほどが、〈風紀の改良〉をかかげて、青年の自覚を呼びかけた。

×

すぐれた効果をあげたこの青年会の活動に対して、明治39年3月大日本農会総裁真愛親王より賞状をいただいた。青年団体として全国表彰を受けたのは、栃木県のある青年会と、この長野青年会の2つが日本で最初なんだと、いまも長野部落の大きな誇りの一つになっている。つい先頃、この表彰状が出てきた。この光栄を永久に遺そうと、氏神である長野八幡宮の拝殿にかかげることに意見はまとまった。

×

長野青年会の活動の中で今日注目すべきことがいくつかある。甘らん、白菜玉ねぎなどの新野菜をとり入れ普及した点。明治35年に模ぎ市場を開いて、農産物販売の対策をねった点（県の農事試験場が品評会を開いたのは明治41年であった）。夏休みを利用して部落の学生たちが〈補習会〉――いまの子供会の前身――を開いている点など。

昭和28年農林省から中国一として表彰をうけた長野部落宮の馬場農産組合も、やはりこの伝統を承けついでいるからであろうか。

作ってみれば運営も楽

みのった小野納税貯蓄組合

納税貯蓄組合を立派に運営して、部落中が団結と向上心にあふれている小野部落を訪問してみた。11月25日夜、部落の公民館に集って、税金や伝達事項を話し合っているときだったが、写真のように、明るい表情が、電灯の下に輝いていた。

育てる苦労はあった

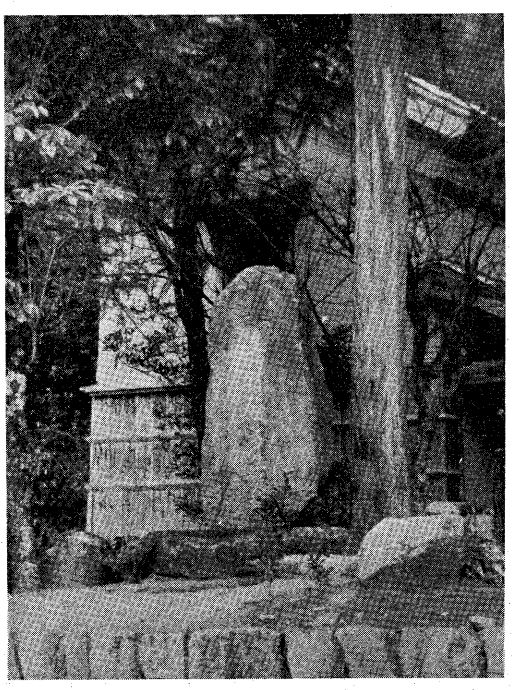
時にどっと入るが、そんな生活の中で、毎月決った額を貯蓄することは、やはりカンタンでない。しかし税金も1年間をまとめると、金額もバカにならぬ。そこに滞納の原因もあったわけで、生活を向上させるためにも、決った現金収入を得ようと、部落では養豚と養鶏が計画されている。

もはや大丈夫

部落には毎月積み立てる習慣ができた。それぞれの家庭が〈責任と名誉〉を重んじて、努力している。〈人に知られたくない〉気持は1転して、〈人に負けたくない〉競走心にかわったから…。

ときから、〈共同化〉への新しい意欲が部落中に芽ばえたかのようだ。部落60世帯の内58世帯が加入し、組合長岡本清一氏をはじめ5人の理事が献身的に努力している。〈もっとこの組合を大きくしたい〉それで組合の経費も少くなるし、生産と生活に両足をふんまえた、規模の大きい共同化をはかりたい〉と、夢は納税貯蓄から生産と生活にかけられている。

33年はきっとよい年に――と，部落の集り。



奥に見えるは，前号で紹介した土蔵。庭の古木にいたわられるようにして，生誕碑は立っている。

嘉村磯太の碑ついに建つ

磯太の文学碑と生誕碑はついに建った。11月30日朝10時半から、山口市宮野の常栄寺（雪舟の庭のあるお寺）の山門前で、文学碑の除幕が行われた。式には嘉村家の当主栄氏らの遺族、友人の河上徹太郎氏や河盛好蔵氏、小沢知事代理、郷里大内町の人たち、文学愛好者など250人が参列した。

磯太の姉、市原久代さんの孫佳子さん――大内中2年――の手で白い幕ははらわれた。石は7尺の御影石、かって磯太が遊んだ仁保坂本川の清流の中にあったもの。（この石の選択には、磯太文学顕彰会の人たちが骨を折った。）

碑面には、安部能成氏の筆で〈嘉村磯太文学碑〉とあり横の銅板に河上徹太郎氏が磯太を称えた文句が刻み込んである。

――優れた自己凝視から、抒情豊かな傑作が生れた――と。また山口女子短大で、磯太を卒業論文に選んだ立野昌代さんは、碑の前で作品〈曇り日〉の一節を感激をこめて朗読した。

生家の庭、倉の横に建てられた**生誕碑**は7尺に近く須子町長の字で〈嘉村磯太生誕地〉と刻まれている。

仁保川の下流を望んで、この碑はいつも太陽に向っている。

▽**飼犬**をはなすときは、鑑札と注射済票をつけないと、保健所の捕獲人につかまります。捕られた犬が必要な場合は、すぐ役場か保健所にご連絡下さい。

▽**中小企業**の総合基本調査が、12月末日現在で行われます。わが国の企業の中で90％をしめる中小企業の正確な資料が、これまではっきりつかめていなかったからです。秘密は完全に守られ、統計資料以外には使用いたしません。

▽**自衛官募集**　19～25才未満の男子で中卒程度、願書の受付は明年1月11日まで。試験は1月に、入隊は3月末。くわしいことは、役場総務課庶務係へ。

▽**公給領収証**をぜひ。この制度が守られぬと、県税の収入にひびき、道路の改良など県の事業が予定通り進みません。遊興飲食の代金をはらうときは（飲食店で300円以下は不要）ぜひ公給領収証をお受けとり下さい。

▽正月用の**門松**は心木を使わずに、脇枝ですませましょう。これこそ、生きた緑の羽根運動です。

▽京都万倉山の戦に参加したのは、仁保の上山、岩倉をさ配した大国司と、井開田両峡をさ配した小国司であったと、嘉村道亮氏の話。万倉に墓のある国司配下を調べたところ11名あります。**討死した先祖**のことをくわしく知りたい方は、討死場所隊名、氏名、年令などを記入した上で大内地区長野の江藤茂氏へご照会下さい。

大内町広報

昭和33年1月14日
第31号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

明けまして おめでとう ございます

〈よりよい大内町〉を育てるため、今年も力いっぱい私たちはがんばります。この広報紙が、全町民と私たちを結び、さらには共通の広場を形づくってゆくように、皆さま方からのさまざまな建設的ご意見もお待ちしています。私たち全町民がこの大内町を育てているという実感は、やがて町政運営の大きな底力になるでしょう。

大内町議会議員一同
大内町長他職員一同

今月の税金

町民税（第4期）
どうぞ早目にお納め下さい。

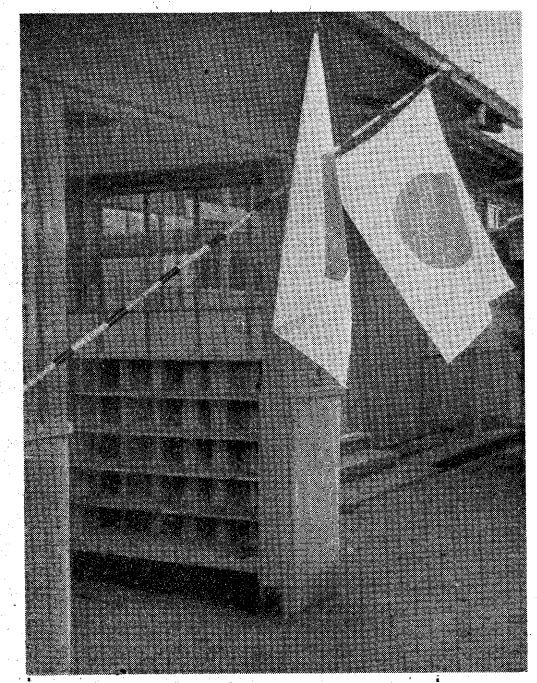
町政の動き

町議会は12月に1回（11.12日）年が明けて1回（8日―ただし協議会）開かれた。この2回の町議会の審議の中から、おもな点を拾ってみよう。議員の皆さんは、いそがしい中をほとんど全員が出席、討議もまた激しい応答を続けた。

12月議会では、31年度の一般会計と特別合計（国保）の決算を承認した。承認にあたって、今日までの〈税金のたい納〉をなくすよう、強い要望があった。〈**手数料の改正**〉で、住民登録料が1件50円になった。（戸籍のとう本しよう本は、従来通り紙一枚につき40円で、変りない。）一般会計の**追加更正予算**（これで3回目）は、710万ほどへして、予算の現在額は、1億2千310万円になった。統合中学建築に対する国の割当坪数（したがって補助金も）が約200坪（700万円）へり災害耕地の補助金が2932災あわせて340万円ふえたことが、おもなことがらであった。（統合中学の建築は10月広報にお知らせした通りで、3月10日に429坪完成予定に変更はありません。）**1月議会**では、小鯖の問題が2件出て、一つは国鉄稼畑線バスの車庫をつくる件、いま一つは上小鯖江良堤の改修に関してであった。**車庫**は、何しろ山間部のことで適当な敷地を決めるのに難行したが、農業倉庫そばに作ることに意見は一致した。総工費36万、地元負たんはこの内12万。この3月分教場が廃止されると、通学児童数がふえ、2台駐車させる必要が起ったためである。突貫工事で1月いっぱいに完成。**江良堤**は、水がもる原因を調査する経費をめぐって、意見が二つほど出た。調査の段階だから、全額地元が負たんするのが当然だという説と、江良堤は防災ダム的な割役だから、調査費も全額町が負たんすべきだという**2説**であった。結局原案どおり〈負たん割合を地元と協議して決める〉ことで了解ついた。この調査に必要な費用は約30万。

31年度の決算を承認

江良堤の水もり近く調査



研修館8日に落成　グループが集って，自由に研究討議する場所がいよいよ誕生した。日の丸も鮮やかに，8日店開きした研修館は，炊事もでき，寝とまりできる。

〝新農〟事業予定通り進行

災害復旧今年度でほとんど完了

農業研修館は8日に落成式をあげた。〈新農村建設事業〉としてこのほかに、小鯖地区の平佐林道が、地元の強い熱意によって、予想外に進行している。仁保上郷揚山の共同作業場も、昨年上棟式をあげた。問田の給水施設も、順調に工事を完了した。〈新農事業ではないが、小鯖稼畑の肴谷林道も、ほとんど完成に近い状態である。また統合中学も順調で、3月10の期限内に計画坪数429坪は、充分進行できる見通しがついている。

土木災害の査定終る

32年災害の土木工事で、7件が県の査定を受けたが、2件が失格。残り5件は、工事金額127万4千円で、小高野橋（仁保）御堀橋（大内）菅内川小野護岸（大内）稼畑線鴨滝（小鯖―一の滝附近）このうち稼畑線を残して、他は全部32年中に完成の見込であるから、土木の災害復旧は、99%が終るわけになる。

耕地災害の復旧は6件

工費623万円で、今月20日ごろ入札予定。前河内堤とう（28災、仁保）竹の丸頭首工（28、仁）下格庵頭首工（30、小鯖）市ヵ谷水路（28、小）出合頭首工（29、32災、大内）

3月末に小鯖で植樹祭

植樹祭――小鯖地区では旧村時代からこの祭りを続けてきた。名のように、山々を緑にして、年々の成長を喜びあい、研究しあう行事で、数年来小鯖地区の造林熱が高まってきたのは、この祭りを通じて〈造林への認識〉が深まったからであろう。

ちょうど県の緑化運動期間に当る3月の末に開かれる予定で、つぎのような行事が計画されている。造林コンクール入賞者の表彰、造林と林道功労者の表彰、造林をおしすすめる研究会、山林経営に関する講演会、主要な資料の展示会、小中学校に記念植樹をする、児童生徒から造林標語とポスターを募集など。この祭りは、〈山を大切にする〉小鯖の伝統を育てるであろう

今年から受診証は黄色の紙

1月1日から、新しい受診証にかわり、いままでの〈白い紙の受診証〉は無効になった。

国保協力家庭を表彰

国民健康保険が始まって以来健康で、保険税を完納し、国保事業に協力されたつぎの方々を1月1日町長は記念品を贈って表彰した。（敬称略）

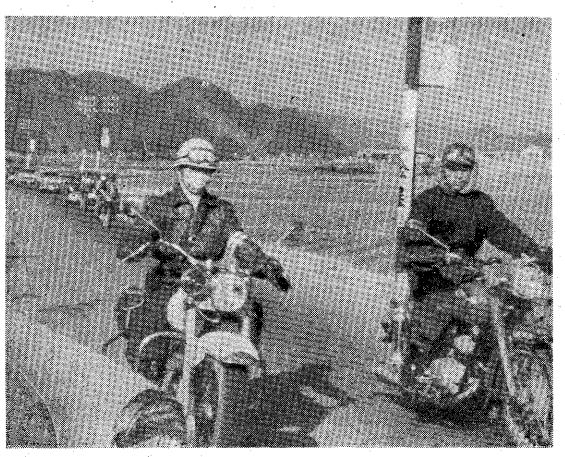
古谷維美、上永幸之進、香川サイ、剣木アヤ子、長谷川意慧、山野睦平、田中トキ子、西　真一、堅野幸輔、佐々木信蔵、堀田寿夫、藤井タミノ、藤村豊治、以上13名。（小鯖、大内地区は保険事業を始めて日が浅いので、このたびは仁保地区だけに限られた。）

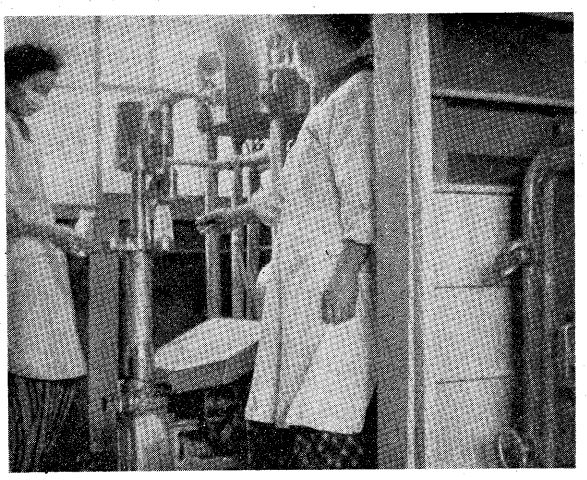
受診証に注意事項がくわしく印刷してあります。治療されるとき間違いのないよう。

駅伝に優勝

昨年末、大阪―下関間の駅伝は、中国、近畿、四国の14県が参加して行われた。山口―三田尻間の県道は、ちょうどこのコースに当っていて、大内町でもたくさんの人が選手たちを激れいした。マラソン王国の名にそむかず、山口県は優勝した。

小鯖の柊附近，自動車のかげで選手は見えない。協和発酵の貞永選手は，このコースを先頭で走った。





牛乳ビンへ自動的に詰めこまれる。

直接消費者への夢実現

4人でつくつた鯖山酪農

日産130本の酪農工場――それは工場というにはあまりにも小さな、ほんとに可愛らしい酪農工場である。小鯖の鯖山に、4人の共同経営で昨年末から動き出したこの工場は、それでも生産者から直接消費者への夢を実現して、毎日モーターを廻転させている。

もちろん、この4人は乳牛を飼うのが本業で、所有の乳牛が仔を産むから、今月末は200本、3月には350本とふえてゆく計算だ。今すえつけてある機械が500本処理だから、その程度の乳を出せるよう、乳牛を飼うことが、当面の目標になっている。

4人の1人である中島清吉さんにきくと、〈果してうまくいくものかどうか、ほんとにヒャヒャで……〉だが順調に進んでいる。新しく起ったものが、販路をもつには、〈安くて、品質の良い〉ものを出す以外にない。小鯖地区内をいま12円で出ないことが解ったです〉とグループの1人山根正博さんが説明する。それでも防府市内へ若干出る。14円を1円安くして13円、それに〈乳の味がとてもいい〉と消費者がほめてくれるそうだ。

この鯖山酪農、共同の人数が少いので新農村建設事業の指定こそ受けなかったが、趣旨にはピッタリ。この牛乳処理場は約80万円かかった。建物20万と残りが機械。ボイラーもあれば、冷凍機もある。小さくても最新式だ。生産者が、自分たちの生産品を二次加工して、新しい販売手段を獲得したよい例として、〈鯖酪〉の今後の発展を祈ろう。

保育園の入園申込を受付中。2月10日までで、民生課にある申請書に、保護者の給与証明をつけてお出し下さい。

才末助け合い運動の結果がまとまりました。米が6石3斗、お金が1万5千円、昨年とほぼ同額でした。配分は町内91世帯へ米、末帰還留守家族6軒と施設（養老院など）に入っている33名とにお金を渡しました。**井開田西**部落から、特にこの運動のためにと、2千円のとく志寄付をいただきました。皆さんのご協力、ほんとにありがとうございました。

国保のとりきめが少し変りました。新らしく町の住民となった方が6月以上在住しないと、国保による入院や看護移送ができません。ただし、出産と結婚の場合、夫婦のどちらかが6月以上住んでいればよい訳。社会保険から脱退して町の国保に加入した場合も、すでに6月以上の居住者であれば、問題ありません。

自転車の登録制度を、県下にはじめることになりました。最近盗難が多く自転車の特ちょうや型などくわしく記入しておけば、盗られてもすぐ見つかります。今後自転車の売買や質に入れるときは登録証を一緒につけなければなりません。

青少年によい環境を与えるための、条例が、2月11日から県下いっせいに施行されます。知事が有害と指定したら、映画や雑誌などを〈見せたり、売買したり〉できません。

産業祭をふりかえって

産業祭は終ったけれど、私たちの参考になることがを、いま一度かみしめてみましょう。畜産共進会とそ菜品評会の審査は、これからの準備に役立でしょう。それと今月号には取材できなかったけれども、産業祭の行事の一つであった〈新生運動の研究発表〉を、来月号から順次のせてゆく計画で……各部落の〈どうして盛り上っているか〉が、きっとご参考になると信じます。

そ菜品評会は　できばえの良いものがそろった。昨年秋の順調な天候のおかげもあったろう。白菜、人参、里いも、しようがは、他の地方には見られぬぐらいの優良品だった。審査して、特に感じた点をカンタンに記すと

▽選別が不充分。品物がそろっていなかった。
▽出品数がよく守られていなかった。
▽荷作りが、どうも上等でなかった。
▽**白菜**では、肥培管理（とくに結球する前の施肥）が不充分で、尻の発育不良や、シマリの足らぬものがあった。
▽聖ご院、かぶでは種まき時期が遅れて、肥りの足らぬものが多かった。
▽里いも、しようがは大変立派なできばえだったが、出品数はいたって少なかった。
▽ほうれん草は、ほとんどしなびていたが、こんなにならぬ工夫が必要だ。（県農試、小林五郎氏提供―当日の審査長）

畜産共進会の成績をふり　軟弱な点が見受けられた。かえってみよう。**役馬**では　てるときの管理不良で、良質の粗飼料麦まき後のためか、体のし　をうんと与え、運動を充分行う必要まりは総じて良好。しか　あろう。仔を産まぬ牛（未経産）では し上位入賞の3頭を除いて　ある。キレイすぎるのだ。は、体がまだ貧弱であり、　良は今日非常に進歩してきたので、以X状や外向きの肢勢、歩　上の欠点は、ぜひとも早く改善しなけき方の不確実な点が目立つ　ればならぬ。肉の需要が増加して、和牛の生産もうんと増加させる必要がある、精液の貯蔵と人工受精設備を完備している大内町では、今後の発展が期待される。肉牛的な体型をもった役牛生産は大きな経済効果をもたらすだろう。

た。若い馬は、最初の1年間の管理が最も重要で、いっそう運動や手入れが望ましい。役馬の出品数は18、産地はほとんど北海道（1頭だけ鹿児島産であった。

乳牛…仔を産んだ牛は、よく粒がそろっていた。管理も良好とみた。しかし育ててゆく必要がある。出品数15点、全般的に手入れや削ていが不充分であった。種付するまでの期間は、将来の乳の出に決定的な要素をもつので、注意が大切。よい管理で、発育をはかり乳房のついている面積を広くし、体積を大きく、あしやひずめの堅実な牛をつくりたい。

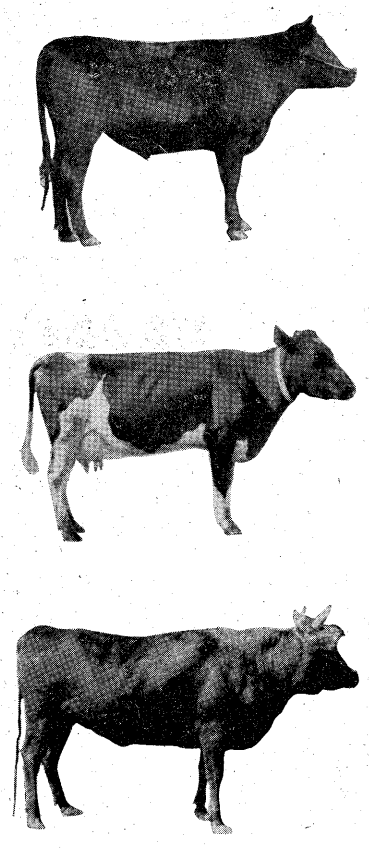
和牛の最終目標は肉
管理不良めだつ乳牛

し県内産の牛は　経産6、未経産9点。
他県産に比較して体高が小さくあしやひずめに　**役牛**…農繁期後手入れ不充分が目立った。農繁後の理由だけでなく日頃の管理不足に原因する凹脊、ひずめの手入不良、まき腹、などの後天的な欠かんが見受けられた。全国的に和牛の改

かなかった。

肉牛…ふそろいであった。削ていも不良のため体型のくずれたもの、肥育の不充分なものが目立った。今後一段と技術向上の必要がある。削ていも、短期の肥育で1回、長期で2回は行って、土台からしっかりさせてゆくことが必要小郡市場は、去勢牛の肉牛市場としては関西で重要視されてきたので、肥育技術もぐっと向上させたい。

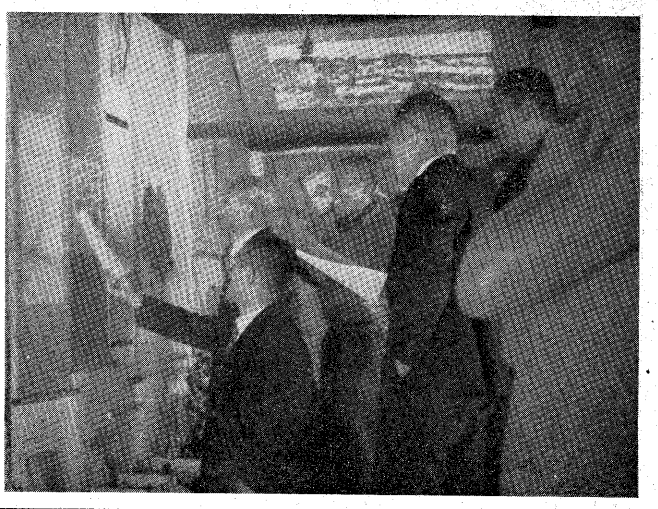
（小郡家畜保健衛生所、中村技師提供―当日の審査員代表）**写真**は**上**一貫野、岩本望氏所有役牛、**中**長野、佐々木彦一氏所有乳牛、**下**千坊、田中芳人氏の肉牛



写真は、鑑賞する史談会員たち。手前の木彫は押田政男氏（山口市出身）の、第7回日展入選作

佐々木三郎氏の
コレクション公開

昨年12月14日、大内長野の佐々木三郎氏宅へ、そのコレクションを見学に集った史談会員は、はっと息をのんだ。貴重な資料や骨とう品を前にして、話ははづみ、全く時のたつのを忘れるほどだった。もちろん全部のコレクションではなかったであろうが、会場にならべられた珍品は約100点、彫刻書画、瓦、壷、香合、手紙、茶わん、能面、仏像、鎧かぶとなど多方面にわたる集めぶり、全国的に名高い逸品としては〈白高麗の笛〉〈十二支模様の高麗鏡〉〈東山時代の香合〉があった。ごく最近の作である洋画や木彫から、遠く印度の石仏にさかのぼる巾の広さ――全くコレクションの名にそむ　☆



写真は、鑑賞する史談会員たち。手前の木彫は押田政男氏（山口市出身）の、第7回日展入選作

育ってきた納税組合

納税貯蓄組合が、町内のあちこちに生れようとしている。すでに活動しているものを加えると、納税者の1割以上が加入していることになる。この動きは、今後もっと活ぱつになるだろう。

それでは、この組合の現状はどうか。まだ芽生えたばかりで、加入者は304名、8.7%に達している。場所別でいうと、小鯖が1、2、7、8、13、14区の6区で、大内仁保に比較してぐんと多い。大内では小野部落と御堀川向の商工会の2つ。仁保で地区商工会が1つある。しかし今年に発足を予定しているのに、小鯖の4区大内で上矢田と菅内仁保で妙見部落などがあるから、水のしみるように拡がってはいる。この組合を作って**有利な点**は、町税を納めている組合員1人当り20円、納付額に対して3/100を差引くことになっている。1年間の税金の総額が約4千万円だから、完納されたときには、127万円が補助金の形で、割もどしになる。それだけ税金の仕事がカンタンになって、税務職員も他の仕事に配置できる。補助金を引けば税金も結果的には安くなる勘定だ。

だが何より大切なことは、優良市町村といわれるところが、**申し合せ**たように納税組合を紹介したが、個人の納税責任をはたそうとする意識が、部落の色々な相談ごとにも、うまいチームワークを作っているようだ。

こうした部落的な団結が、あちこちに拡がって大きな流れのような勢いをもったときこそ、〈新町建設モデル町〉となった大内町の運営も、きっとうまくいくことだろう。

税金についてのご不満やご希望は、どしどし税務課へお申出下さい。お待ちします

九州物に負けてない

負け惜しみでなく、大内町のそ菜も、九州物に負けてはいないと思った。昨年12月13～16日まで大分市で開かれた〈九州・山口連合園芸共進会〉に参加した私の感想であるこの共進会に大内町から出品した7点は、残念ながら全部落選した。白菜と大根、里いもであったが……白菜、甘らん、ねぎは九州物にあまり見劣りしなかった。不時栽培は、地の利に恵まれている九州に対抗するには金がかかって不経済と思った。温い気候と温泉――これじゃ勝負にならぬ。大根もこちら物は貧弱だった白菜、甘らんだが、出品量をふやして審査したら、面白いだろうと思った。というのは、数少い逸品を見せられた訳だが、案外にその畑の平均作況とは、かけはなれているように感じたから。

その他に感じたことといえば、〈市場性ある品種〉を選定せねばならぬと思った。大きくなるとか、作りやすいとかは生産者側では都合がよいが、消費者本位に逆に分析する必要があろう。既にそうした体制を持っている先進地から、大きな教訓を得たことが、私にとって一番大きな収穫であった。市場性ある品種と、私たち生産者側の品種統一が一致したとき、〈大内町のそ菜〉といささか自慢もできるであろう。

今日までの私たちが、近郊そ菜の考えを脱していないことも痛感した。すぐ食べられるものにしてい一杯背のびして以上のよう（大内　吉野清志）

話題　あれこれ

防犯は知るより心がけ

小鯖地区の防犯組合では昨年末防犯標語を小鯖中学の生徒から募集した。1等は2年生米本積君の〈防犯は知るよりいうより心がけ〉野田典昭伊藤芳美、山根美加子、松永武代、密山庄吉君の5人が2、3等に入賞した。〈鍵100よりも留守番1人〉というのはいかが。全く留守番のいる方が心強い

安くてうまい料理を勉強

仁保の婦人学級のお母さんたちが、正月料理の講習をうけた。昨年12月16日、仁保中の家事室を使い、山口保健所の指導だった。20～60円であがる料理なので、〈これなら家庭でも実行できる〉と、好評だった。〈いままでの料理講習で、不備な点は何か。どんな料理がほしいか〉など、学級の希望を生かそうと、保健所の指導も至れりつくせりだった。人気があったのは、卵と牛乳で作る、カスタードプリン。参加者約40名。（写真は、できあがった料理を前にして）

〃とく農〃視察団来る

大内町内のとく農家や、丸山の環境衛生を視察しようと、吉佐両郡から、12月18日約30名が来町した。視察場所は、大内長野の柳新治氏、仁保丸山の宮本光義氏、深野秋川房太郎氏、丸山の内田惣一氏の4軒で、寒い風が吹きすさぶ当日、視察団は水ばなをすいながらの強行軍。柳さん方でそ菜、宮本さん開拓、秋川さん鶏、内田さん方では、ビニールをかけた推肥で蠅を完全に駆除することを視察した。

人権を守る相談所

12月4～10日まで、大内と仁保で、人権の相談所を開いた。受付は10件で、意外に少なかった。（内容はちよっと申しあげかねる。人権なので……）この期間中小鯖では、講演会を3カ所で開き、講師は熊野隆治氏だった。

亡き父上の志をついで

大内問田の白銀重雄さんは12月20日町の社会福祉事業に金5千円を寄付した。白銀さんは最近お父上が病死されたが、〈社会福祉に関心深かった亡父の志をついで……〉という話だった。

元日を方便山で

大内地区の青年団では、元日の朝を方便山で迎える行事を、ここ数年来続けてきている。今年も、3時に起きた男女の団員が、仲よくいてついた道をふみしめて登山した。朝ぼらけ、澄みわたった空気をつんざいて、合唱のバン声？は、谷々にこだましたと。〈帰ってきた連中が、感激するのなんのって……〉西山公民館主事のお話。

これなら大丈夫

11日大内下矢田氷上河原で行われた消防出初式には、氷上橋と川土手に鈴なりの見学者が集った。今までの手押しポンプが姿を消し、全部動力に変ったから、放水も威勢がよく、見学していた1老人の独り言。〈これなら大丈夫〉

大内町広報

昭和33年2月12日
第32号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

青少年をよい環境に

この目的のため、〈青少年保護育成〉の県条例が決りました。映画演劇、看板、広告、雑誌などに対し、知事が有害と指定したら、売買できません。質屋や古物商は青少年を相手に営業できません。違反するともちろん処罰

下駄ばき運転など

交通事故がふえたので取締り規則が改正されました。下駄やスリッパでの、〈自動車、オートバイの運転〉進行中の車からの〈ビラまき〉、信号機や道路標識のそばの〈立看板、ポスター、人寄せ〉など禁止されました。

広報紙が特選

県のコンクールで、特選になり、いま全国コンクールに参加しています。

町政の動き

1月中旬から2月上旬にかけて、町政の主な動きは4つ。問田川が今年から国の予算で改修される。近く統合中学の第2次整地が始まる。仁保地区の有線放送の陳情を議会の常任委員会で審議した。予算の執行部案は、目下作成を急いでいる。——といったことがらであった。

問田川国の予算に入る

統合中学近く第2次の整地

1億3千万の大工事

小鯖川・問田川は、運動の成果があがって、国の中小河川改修のワク内に入った。総工費は1億3千400万の予定。この工事は、中小河川の改修、特別失業対策事業、災害復旧の関連事業の3つにまたがって行われる。そういった経費の出し方をするわけだが、ふたたび災害を受けないための治水工事であることに変りはない。施設課長を同伴4日上京した町長は、9日夜帰庁しつぎのように語った。

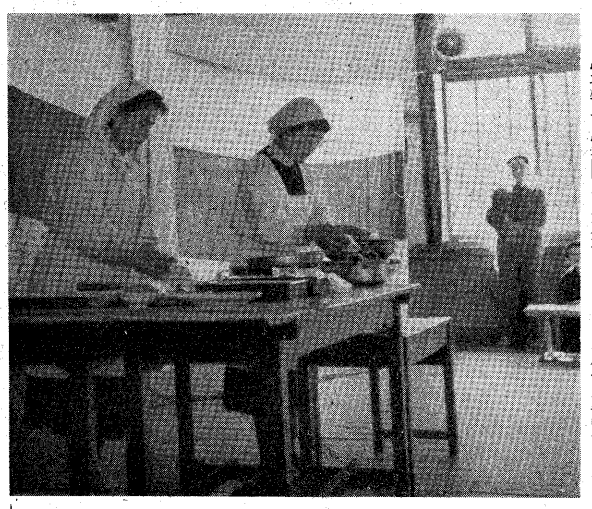
「具体的に今年の事業内容を決めるまでいかなかったが、かならず地元の希望にそうと、建設省係官は確約した」

仁保地区有線放送を審議

〈仁保地区全部に有線放送を行うから、500万円補助してもらいたい〉陳情を、総務、文厚の2常任委員会合同で審議したが、委員会では採用しなかった。〈一貫野、上郷など新農村建設計画にのっているのは、計画通りやるべきだが地元が国の補助を得てやることで、これに対する町費は出さない〉ことを確認した。この際〈へき地総合開発の具体案〉を早く執行部が示すよう、特に要望された。

統合中学整地と予算原案

自衛隊のブルトーザーを使い、2月中旬から運動場の整地を始める予定。予算はただいま第1次の査定を終り、月末には執行部原案ができる見込である。



実物で実際に料理した（小鯖小講堂で）

出初式で勤続者を表彰

防火と防水に偉大な功績

物見高いは江戸ばかりではなかった。この日——1月11日——に、氷上河原の出初式を見るため、下矢田の橋にずらりならんだ数は300。頼もしげに放水訓練を見守っていた。

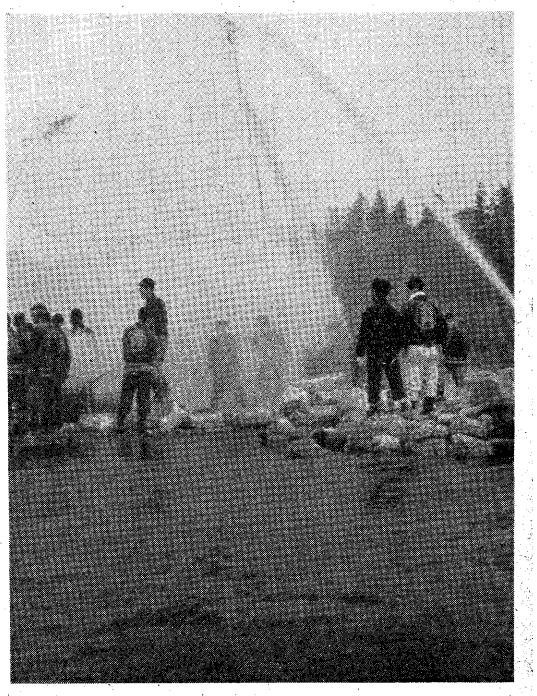
長い間、消防団に属して防火防水に力をつくしてきた人たちも、この日表彰された。20、15、10年と分けて表彰されたが、その氏名つきの通り。

20年勤続者
敬称略　大内＝吉本武人　小鯖＝原田信正、小路隆治、米本人治、田中栄、板屋梁　以上6名

15年勤続者
大内＝藤井修、吉富博春、小林俊明、竹内英夫　仁保＝山根昭二　小鯖＝片岡清三輪恵信　以上7名

10年勤続者
大内＝山田忠夫、竹下久人、篠原保雄、俣賀哲、竹重和典、柳良惣悟、山田允来栖利之、田中百合衛、木本健児、沢野正蔵、竹内覚川口孝一
小鯖＝伊藤利久、原田幸三、伊藤逸雄、池田忠雄、清水勲、原田元介、長松静、徳本健治、中川広義、原田悟、小林好次、木村義海
仁保＝山根政幸、山田実、広中虎雄、上田茂生、田中誉、田辺次男、長田昭造、山本宗武、松村清、藤井寛、藤岡知己、伊藤虎幸、山下武、栗林潔、宮内秀門　以上40名

これで、20、15、10年の勤続者は、53名となり、須子町長は真心こめた感謝状を贈った。



晝夜を問わず　いつでも出動できる準備を、消防団では整えている。この日も氷上河原に放水の虹はくっきりと，あざやかだった。

国債をたん保に 引揚者へ資金を貸す

引揚者給付金（国債）をたん保に、1世帯あたり5万円までの生業資金が、国民金融公庫から貸出される。額面の9割以内、利子年6分、5年間の年ぶ償還になっている。これは生業資金で、引揚者か、その遺族に限られる。県下で約5千万円、生活に困っている人が優先される。

造林に2～6割の補助

造林補助を受ける件数が、毎年県下で2万件。最近一般用材をはじめ、パルプ、杭木と需要がすばらしく増え、割に合う〉事業として、造林が各地で盛んになった。補助率は〈どれだけかかったか〉の**4割が標準**だが造林にも〈難易〉があり、その実状にそって補助金が出る。植付を終ったのち、林業改良指導員が**しゅん工検査**（面積、植え方成績、土地がらで補助金を計算する）をした上で、森林組合を通じて交付される。——（標準経費がどんな区分けか、どんな率で、実際の額を計算するかは、各森林組合で数字をご覧下さい。）

無断伐採はできぬ

保安林、砂防指定地、適正伐採期令級（松なら30年杉で35年）以下の針葉樹を今年4月から明年3月末までにできる方は、3月2日までに、林業改良指導員へ、許可申請を。普通林のなかの広葉樹（雑木やかし）と適正伐期令級以上の針葉樹は伐る60日前、知事へ届出が必要。届出てから60日以上たたないと伐採ができない。

同じ料理が多すぎる

工夫次第で食卓も豊富に

昨年11月末の産業祭では新生運動の研究発表が行われました。この内容を大内町に新に起りつつある〈**息次き**〉として、毎号1つあて紹介します。

〈食生活の改善と実演〉は、大内・小鯖女子青年家政部の4人が、計画し実演した。江藤玲子、中山玉恵、原田ユキ子、重宗邦子の皆さんだ。江藤玲子、原田ユキ子さんは、昨年ずっと食日記をつけて、毎日の食事を反省してきたという。

「今1番痛感していることは——つまり食生活の面で」

「身近に食卓をにぎわすものがあるのに、利用していない。工夫の余地があるのじゃないかしら」4人が雀のように口をそろえて言った。

「卵うってもよし、竹輪買って食べた方がよい——この考えが案外残っているようです。」とくれは原田さん。卵の方がうんと栄養価が高いのに——の意味らしい。研究発表の日じゆうじゆうと煙をたてて料理したのは2種類。〈ピーマンの衣揚〉〈揚玉のアンかけ〉だ。忘れられている2つの食品を、うんと認識し直してもらう目的だったと。

「ピーマン料理はこの中に魚のすり身や野菜をつめて油で揚げたもの。揚玉の方は天ぷら油に卵をおとす「あのウンコのついたのをよく洗って？」「とんでもない、割って中身だけですよ」。アンは身近にある野菜をミジンに切り、カタクリでとかして卵にかけるんだと。4人の意見を、綜合して手短かにお伝えする。脂肪が足らぬこの宣伝がききすぎてこの頃はむしろ一般にとりすぎ。カルシュウムと海そう類が不足。毎日の食卓で同じもの多すぎる。白米もとりすぎ。料理に工夫が足が足らぬ。

「まだあるんですか」「止めときましょう」

どの顔も希望にもえて精神的にも肉体的にも頼もしい若人たち

→ 成人おめでとう

1月15日、今年は大内小の講堂が会場だった。250名の成人者は、来ひんの祝辞に祝福され、記念の講演にはげまされた。記念品は毎年同じ、〈富有柿の苗〉。町婦人会のお母さん方の、真心こめた昼食の折を前に、成人者がくつろいでいるところをパチリ。

午前中に式と講演と、記念写真の撮影を終った。午後はフォークダンスと映画に、楽しいひとときを過した。

お知らせ

▽昭和32年分申告所得税の**確定申告**と第3期分の納税は、2月16日～3月15日までです。どうぞお忘れなく、早目に。

▽明治、大正、昭和と3代の**名作美術展**が、宇部市記念館で開かれています。町史談会の主催で、貸切バスをやとって2月23日（日）に見学します。申込は町教委社教係へ、料金300円。宇部興産と厚東ダムも、この日見学の予定。

▽大内町の**碁会**。2月15日前10時から。場所は役場横の研修館。会費150円です。我と思わん方であってもなくても。

▽**増築資金**の貸出しが行われます。貸出すのは住宅金融公庫で、受付は1月16～3月15日まで。1戸当り2～9坪まで、しかし前からあるものとの合計が36坪以上は資格がありません。標準経費の大体7割を貸してくれ、確実な収入のある方に限られます。くわしくは、町民生課へ。

▽木材産業を健全に育てるため〈**木材業者**と製材業者の登録条例〉が改められました。登録有効期間は1年で、8月末がきりかえ時期。料金は200円。登録届や報告など義務に違反すると罰則が適用されます。立木や木材のあっせんをしても〈木材業者〉として取りあつかわれます。くわしくは林改指導員へ。

▽**自転車登録**、大内町で、もう93%ぐらいすみました。近く自転車税もなくなる様子なので、登録してないと、盗難のとき困ります。

もうすぐ入学期
＝準備のあれこれ＝

「今年から学校だ」と、新入学の児童をかかえた家庭では、何かと準備がいそがしいでしょう。町内の各学校でも、受入れ準備が着々進められています。で――準備のあれこれを、メモ的にまとめてみました。

▽入学手続き

入学児童のいる家庭へ、〈入学期日の通知書〉が、もうすぐ町の教育委員会から発送される。入学手続きには、細かい規則もあり、解りにくい点はどうぞ町の教育委員会の事務局へ。

▽悪い習慣やしつけ

家庭から〈学校〉という集団的な環境に飛込むことは、たしかに大きな変化。しかし児童には、学校に対する興味もあり、かんたんな理解力や判断力もあるので、そう心配したものではない。ただ集団生活にじやまになる〈悪い習慣やしつけ〉をなくしておかぬと、そのことが子供たちにとって不幸のもとになる。〈入学準備〉と大げさにせずに、遊戯や家庭の仕事を通じて、知らず知らず身につけさせるのがよい。

▽先走って教えてもムダ

学校で教わることを予想して教えこんでも、一時のことで、決してお子さんを正しくのばすことにならぬ。無理じいがたたって、結果はよくない。

▽ぜひ必要な健康診断

どこか体に悪いところがあると、それがお子さんの精神的肉体的な負たんになる。結核と、目耳鼻のど、の検査は特に大切。伝染するものは、他の児童にも迷わくをかけるから。

皆て音楽を楽しんだ

演奏しているのは、県警察の音楽隊30名1月16日、小鯖小学の講堂で。小中の児童生徒が仲よく聞いた。各学校とも、集団的な生活の中で、児童生徒はその才能をみがき、深めている。

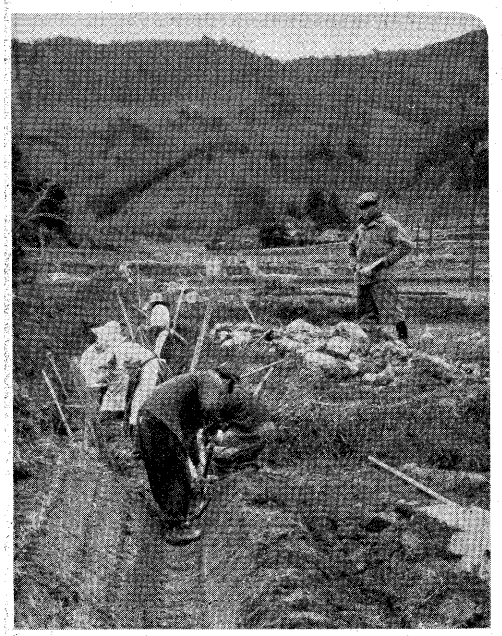
もっと早くやればよかった
平佐林道　山の値もぐんと向上

いままでにないのがウソ

延長990m、総工費157万の小鯖平佐林道は、順調に進んでいる。約千mのこの林道は、たしかに長い。この長さを、いままでよくも林道なしですましたものだ。受益面積は77町歩にのぼるから、経済価値もバカにならない。「いままでにないがウソです」と小鯖森林組合の赤岸組合長は、ぱっそりいったが、林道のできあがる喜びはかくせない。かって小鯖村時代、林道をつける話は一度起った。しかし耕地に対する惜しみが、とう実現させなかった。

運搬を能率化せんことにや

運搬能率の必要なことを、部落中が深く認識して、この話急テンポに進んだ。やはり時の流れだ。山の値は2割がたふいた。「林道をつけていたら、180万で売れたあの町有林も、30万は上廻ったらうに……」赤岸組合長は唇をかみしめた。用地の提供も、認識があるからスラスラと運んだ。完成も間近い。この工事、国の補助を3割もらった。民有林開発林道の補助は6割だから、うんと率はよいのだが、予算がちぢめられてとてものこと喰込めなかったそうだ。



ここまでの認識あれば

現場は赤土、ましてやこのごろの雨続き、ベトベトで歩けたものじゃなかった。しっかりした道路になるために、これから相当量の砂利とマサが要る。しかし部落は、越えてゆくだろう。もうここまでの認識があるんだから。「小鯖地区にこれから必要な林道の数は？」「えーとヒイフウミイ6本」「林道ができて、山の価値も上り、造林熱が高まったとこ？」「小鯖3区の猿ケ嶽林道が筆頭」「これからも林道をうんとこさ…」「もちろん、もちろん」これ赤岸組合長との一問一答。

左手のソロバンもすでに１人前
傷い軍人，年１度のほがらかな日

大内町の傷い軍人は、年に1回会合を重ねてきた。今年は2月1日、場所は農試の公民館だった。年1度のほがらかな日――大げさなようだが藤村会長はそう表現した。「同病相あわれむというか、片輪ばかり集って語る気分は、なかなかにいいです」と会長。戦傷で生れもつかぬ不具者となった人たちには、お互いに慰め、はげましあう温い雰囲気が自然に生れてきたのであろう。

右手右足をなくした人、眼と鼻をやられた人、右手を肩からなくした人など、それぞれに不自由な運命をせおって働いている。「今一番悲しいことは？」「同じケガをしてもね我々は恩給を貰っている。ところがいまだに貰わぬのがいる。その人だって不自由なのに、もらおうとしてもらえない人を見ると、一番悲しい。その不平等がね……」ケガの場所や状態によっては、平等という言葉も、そうカンタンにはゆかないようだ。

でも皆がんばっている。左手で字をかき、ソロバンも入れて、公務員の仕事を1人前に果している人もある。「左手だがなかなかどうして…」とそばの戦友が、ほめちぎる。冬の寒い日、義手で自転車のハンドルを握り、義肢でペタルをふむのは苦労だ――といった話も飛出す。全くだ。5体完全な人でも、あまりいいものじゃない。

この日そろった傷い軍人は約30名ささやかな肴と酒で、ほがらかな1日を過した。どの顔もなごやかであり、どの顔も働き抜いている誇りに満ちてはいた。が、藤村会長の言葉をかりると「どうも片輪者は、ひがんでいけない。私ですら、自重しているのに、ともすると、ふっとね…だから私たちはがっちりと団結して、戦争の痛手をまず私たちのグループで、ささえ通そうとしているのです。」解る。肉体にざくり喰込んだ戦争の傷あとは、生ある限り負うてゆく十字架みたいなもの。日々の感情の波には、つらいことも多いだろう。「私たちはいつも1つになって……」重宗町議が来ひんを前にあいさつした言葉もまた、印象的だった。不自由な体を使っての、土じょうすくい、――満場は笑いこけ、手を打って喜んだが、やはり痛々しさが残った。

とんだナンセンス

らんかんは落ち、けたは折れて、長年風雪にたえた沖田橋（小鯖毛割）は見る影もない。つい先日、県と県議会に交しようしたところ、意外な返事だ。「なんだ、まだ着工していないのか」。が、また電話してみて驚いた。沖田橋は県内にもう一つあり、その方が33年度計画に入っていた。大内町の沖田橋は順位26番目、まだ45年先の話だという。

その後、町当局の努力で、県の担当技術者を呼び、実際に現地を検討した結果、今年度最少限度の補修をすることに決った。地元もこの橋に関しては、部落をあげて、県の土木部と県議会に陳情を行った。33年度は最少限度の補修、34年度は問田川改修工事に関連して、この橋の改修も考慮してもらうことになっている。

やれやれ、とんだ人さわがせな。

町政最大のヒット問田川改修

思わぬところから、大きな政治上の解決を得ることがある。小鯖川・問田川改修工事は、議会も真剣だったし、期成同盟会もよく団結した。そうした協力の美しさの前に、実にあざやかに解決した。思わぬところからという言葉は、努力した人たちには失礼だが、それほどこの河川改修は、町政最大のヒットであった。

1億3千万円の大工事として、近く着手されることになっている。町自体の財政では想像もできぬ大治水工事が、国の力で行われる機会をつかんだのだ。統合中学も当初困難だといわれた。しかし町村の合併計画にのっている学校に対しては、½国庫補助が制度化されて、建設の機運は急に高まった。政治――全くままならぬ。

問田川ついに実を結ぶ
同名違いだつた沖田橋

大きい仕事が山積

町議会も今年で4年目。合併当時の雑然とした状態も、整理期に入った。議員も今年あたりが、本当に仕事をする年でなければならない。口角泡をとばして激論し、夜を徹した議場も1人へり2人姿を消して、気付いたときは議員の定数不足で流会したこともあった。それほど熱心であったのだが、ここら辺りでぢっくりと腹をすえてと思うのだ。国保の問題、通信交通網の充実、耕地整理と……全町民のご協力を、切にお願いしたい。

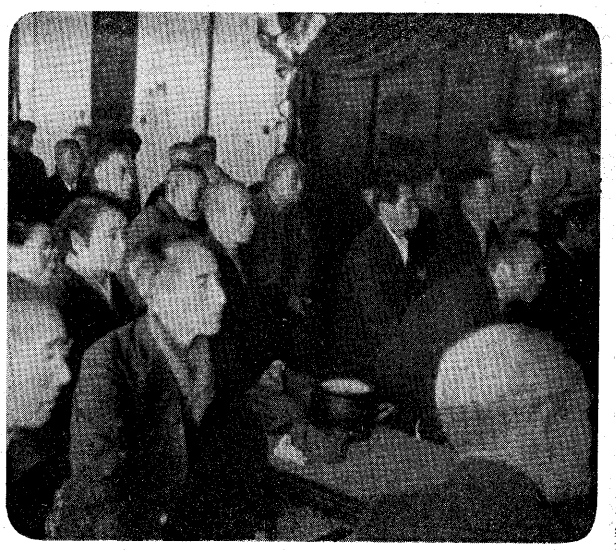
（藤本金土―町議会議員）

話合いを進める話合い

判じものみたいな見出しだが、正確にいうと、話合い運動で公明選挙の認識を深めるには、どう進めたらいいか。これを話合う会合だった。2月6日、大内公民館に、大内地区の婦人会支部長、公民館分館長、公明選挙の推進委員など30名が集って検討した。66式の討議といった話合いの新形式を使って、原田公民館長も名司会ぶりだった。

振興会、年1度の会合

小鯖の12区では足かけ6年間〈振興会〉を作って地区の生活向上に心がけてきた。1月19日、洞海寺の本堂に集った人たちは、講演をきき今後の運営を話合った。午後は親ぼく会。で、正月以来の酒を楽しんだとか。



〈青い路〉発刊

小鯖青年団は、機関紙〈青い路〉を最近発刊した。青年の夢や不満をぶちまけて、この機関紙、なかなかの好評。ガリ版刷りの質素な〈青い路〉には、編集者責任者板屋幸雄君のほかに、16人の編集委員の協力がにじんでいる。

古文書、石かんなど

大内中矢田の宮原長太郎さん方から、元禄初年の〈水利と井せき〉に関する記録文書が発見された。当時の水利の習慣を知る上に貴重なもの。史談会員も喜んでいる。石かんは、大内の川向い、弥生後期のもの。感部はなく何も出なかった。1月27日、県立博物館佐伯主事を中心に関係者が集って発くつしたが、比かく的新しいものと解った。

土器など陳列

大内公民館に、ガラス張りの大きなケースがでんと。町内で発くつされた土器、石器がならべてある。古い祖先の生活をしるのによい資料。

見学者すでに500人以上

仁保丸山部落の、〈はえと蚊〉をく除する運動は、県下に有名だ。もう3年間取組んでいる。ビニールでたい肥をおおって、ハエの卵を殺す方法は、非常に効果が大きい。むしろたい肥が、農家のハエの発生源であったことが認識されてきた。身近なことにも、部落中の協力が集れば、偉大な仕事ができる一つの例でもある。

大内町広報

昭和33年3月14日
第33号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり、〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう

野山を緑に

緑化運動が行われています。お宅の周囲は、緑で美しく飾られましたか。お宅の山々は、すっかり造林や天然更新ができましたか。山々の資源を愛するのは、私たちの郷土の美しい風習です。

タバコの火

タバコの火ぐらいと、とんでもない。火事はちよっとした油断からです。これから1年で1番火事の多い季節、どうぞご用心。農協も建物共済のおすすめをしています

部落自慢をのぞく

よく立ち入ってみると、部落の内容も多種多様である。それぞれに持ち味があり、長所も違う。それは生活の形態や地形などに原因するのだろうが、ずらりならべてみるとなかなか面白い。残念なことに3地区の全部の部落をとりあげることができなかった。どの部落にもかならず長所と美点があるから、他日またそうした取材も必要になってくるだろう。今月号では、限られた紹介しかできないが△すぐれた部落▽のやり方に学ぶ意味で部落自慢をのぞくとしよう。小さなことにでも、私たちの努力によってつづられた、△立派な歴史▽があるんだから。

社会教育に熱心なところ

仁保の上郷地区は、どの部落も熱心だ。色々の講座も自発的に計画している。地形的になるほど△へき地▽だが、内味はなかなかそうでない。

結婚改善で、気運がもり上っているところは、大内の菅内、小鯖稔畑、仁保上郷といったところ。結婚改善をふくめて、すべての飲食費を、ムダなく切りつめた部落には、大内の長野、御堀の2部落がある。1年1度の花見で、冠婚葬祭をすますやり方は、かってこの広報紙でもとりあげた。

子供会の世話は、大内地区に特色がある。青年団がやっているが、氷上、御堀、川向いなど、うまくいっている。やはり真面目な青年がいるからだろう。

道路を大切にする部落といえば、へき地に属する地帯はほとんどだ。町のオート3輪を使って、いつも道路補修に熱心なところは仁保の両浴、大内の菅内御堀、小鯖で稔畑方面と国鉄バス梨羽線の通っている矢地猿田など。

造林の盛んなところ

やはり仁保上郷をあげなければならない。一の瀬から上流がとくに盛ん。大内で長野部落だ。2月24日には、阿東町まで部落林の造林にいったぐらい。それと菅内とが、大内地区で造林苗木を使う筆頭だ。小鯖では上郷一帯がそうだが、樋ノ口、平佐、相冴と熱心である。稔畑にゆけば藪カ尻部落が、とくに光る。

小鯖の鯖地公民館で，部落の人が集って日なたぼっこ。なごやかに色々な相談が……

農研グループは実着に育つ

昨年1年間で、農事研究グループはすばらしくのびた。一貫野ではグループで始めた施肥設計が、△反当収量をふやす目的で▽部落全部に及んだ。仁保上郷4部落で作っている升谷耕作組合も、秋落ち対策で効果をあげている。金坪では△特産きうり▽を市場性あるものにするため、柴崎普及員と共に努力中だ。高畠では、青年や消防団が部落全戸の病虫害防除を引うけている。変り種は、小鯖境柊部落の主婦ばかりで組織する△晴耕会▽だ。主人をしのぐ農業技術を身につけたと、高く評価されている。畜産の芽が育ち始めたのは、仁保の松柄、一貫野、牧川、丸山といった部落。

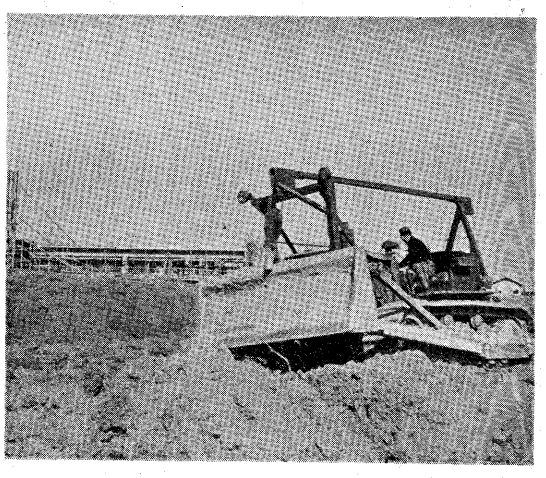
もはや部落的活動に

丸山、東園、深野の3部落では、桃の栽培がほぼ成功した。高野部落も、早期リンゴ、タバコ、造林苗木で成功した。

グループの数も多く、全部をあげることはできぬが、野上のみずほ会、長野の泉会、上矢田の七草会、菅内のみのる会が、ほとんど部落的な活動にまでひろがっている。

小鯖の毛割、石畠、千坊、鯖地、鯖山、向山部落、大内で中矢田、氷上部落なども、それぞれの問題と取り組む熱心な部落だ。

最近の傾向ではグループ活動に、部落全部が同調してきた。部落的な研究活動がこれからどんなにのびてゆくだろう。



機械力でたちまちに

統合中学の第2次整地終る

長野長者ヵ原の統合中学建設は、予定どおり進んでいる第2次の整地作業も、主として運動場だが、約4千坪が自衛隊の手で行われた。2台のブルトーザーを使って、2月13日に作業を開始し、今月17日には地ならしも終る。

新農事業も予定どおり

この広報で度々お報らせした新農事業も、すべて予定どおり進んでいる。黒岩林道（大内）を除いて、全部3月いっぱいに完成する。新らしい33年度の事業については、今月の末に検討して決めることになっている。

稔畑線も近く着工

鳴滝から月光橋までの、稔畑線入口にあたる部分の道路かく張は、近く開始される。災害復旧では、出合い頭着工が完成したし、仁保の並山―一貫野線も、連日工事を急いでいる。問田川は、具体的な改修内容が決っていない。国の中小河川改修には、たしかに編入された。

予算の審議20日まで

33年度予算は3月10日から議会の審議に入った。会期は20日までの予定で、毎日議会は連続して開かれ、意見が戦わされている。

新九族

仁保農協で記念造林

創立10周年を記念して，部分林をもうけた。場所は仁保上郷の揚山。揚山と金坪部落の共有林に対して，部分林の契約を結んだもので，3町あまりの面積のうち，約2町2反を今年中にすます計画。2月23日に，組合の役職員33人が日曜をいとわず植林に精出した。この部分林は，仁保農協の基本財産となる。

るり光寺あとを調査

大内町の史談会では，3月1日仁保中郷土井の伊藤祥斉さん宅で，るり光寺の研究をやった。るり光寺研究家の永久岳水氏（元駒沢大の教授）の講演を開き，近くにある，〈寺あと〉を調査した。経塚の発掘は，3月25日ごろの予定。

すばらしい阿武町公民館

2月は28日のこと。大内町の公民館関係者（社教委員，公民館運審委員，部落公民館長など）約50名が，阿武町を視察した。奈古には，眼をみはるような立派な中央公民館があった。みんなタメ息をついたほどだった。総工費は1300万円とか。結婚式場も，よくできていた。

女子学園が養老院へ

今年も，仁保の女子学園生徒40名が，山口市朝倉の養老院を慰問した。かきもちや人形，はり箱といったものを土産に贈った。もはや年中行事になった慰問に養老院の人たちは，涙を流してよろこんだと。

深野で〈しだ刈〉盛ん

深野一帯では，冬から春にかけて，盛んに山のしだ刈をやった。刈ったしだは果樹の根にうめた。山は松の種が生えるし，果樹もふとる。1石2鳥の名案。

小鯖で俳句の集い

以前から話が出ていたがいよいよ誕生した。会員は約30名，名前を〈むつみ会〉という。第1回の同人雑誌を出した。趣味を同じくする人たちの集いだから〈ほんとに楽しい〉という。申込は小鯖公民館へ。

入会金が100円で，会費は1年120円だと。白泉，テ堂，玉水と皆さん俳号をもっている。

自動調節でヒナはぬくぬく

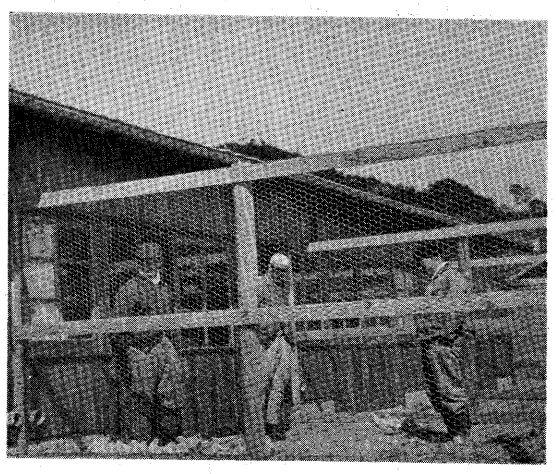
仁保の妙見部落にある共同育すう所――これも新農事業できたもの1つ。仁保養鶏組合が経営している。この部落の――久保実、三好正二、三好一正さん――3人が管理に当っている。いまこの育すう所で育てているヒナは、ほとんどが仁保農協の委託であるという。20羽養鶏を盛んにしょうれいしているから、それぞれ農家に引取られていく。養鶏組合が経営する△川向いのふ卵場▽から、ヒナが送られてくる。50日目で230～300円ぐらいの値段だ。このぐらいたてば、初心の養鶏家でもまづ心配はいるまい。

三好一正さんは語る。

「親はなくとも子は育つというが全くかわいいもんですぜ。眼をパチッとあけて寝ている姿は、ほんとに仏様ですよ。」

三好正二さん、久保さんも同感だとうなづき合う。そして3人が眼を細めて笑った。

ヒナだから、誰かが1人ついていなければならぬ。3人が交替で宿直もやる。最新型の自動温度調節器で室内の温度はいつも34度だ「家で寝るより温かいですね。」「ええ、まあその点はね。しかし夜中に2回は起きます。やはり油断はできません。生物ですから」



お知らせ

▽**関門トンネル**を自動車で通過するには、やはり制限があります。(1)トンネル内では停ったり追越しはできない (2)積荷の高さは4.2m (3)スピードはどの車も30km (4)スピードの遅い車や危険物を送る車は通れない (5)ヘッドライトはつけず、尾灯だけつけ、警音器はならさない。 (6)信号灯で赤は止れ、赤のついたり消えたりは注意して進め

▽**犬の登録**が4月の中頃行われる予定。不用な犬の買上げも行います。登録しない犬が町内に登録した犬と同じ数ほど、約500頭ぐらいいると見られています。恐ろしい狂犬病の原因にもなります。買上価格は、大で100円、小で60円、小犬は40円。不用犬のいる家は衛生係か支所へご連絡下さい。

▽**測量士**と測量士補の試験が、5月24・25日に行われます。誰でも受けられます。願書の受付は3月1日～25日まで。県土木出張所か県庁土木部監理課へ備付けてあります。色々のご相談にも応じます。

▽**食中毒**や伝染病がふえる時期となりました。団体旅行で遠くにゆく場合、県の衛生部に連絡すると旅行先の県と連絡して、事故がおきないよう監視してくれます。折詰を1度に100個以上、また50名以上の会食をする場合は保健所に連絡すると、よく監視してくれます。

▽**自衛官**を募集中です。願書の受付は4月15日まで。試験は4月25～5月11日までの1日間。募集するのは2等陸海空士約1万名。

▽山焼きのとき（規模が大きいのは畑でも、害虫退治でも）火入れの許可が必要です。町の林務課へご連絡下さい。早速近接市町村の消防関係者へ通知します。4月は1年で1番山火事の多い季節用心の上にもご用心。

▽保健の試験。4月23日。願書は町民生課を経由して。受験には500円の県証紙がいります。大至急ご連絡を。

▽国鉄の無料パスが、傷い軍人に渡されます。32年度の△乗車券引換証▽の残りと戦傷病者の証明書それに引換証をもらう申請書を添えてお出し下さい。解りにくい点は町の民生課へ。

▽保育園の入園希望者は70名。適しているかどうか審査した結果58名が決りました。許可書は近日中に発送します。

▽手足の不自由なお子さんの、無料相談所が、巡回で開かれます。県の衛生部と労働民生部が共催のもの。お子さんですから満18才に達しない人たちです。この近くでは、3月25日防府保健所、27日徳山保健所で。

▽下関博は3月20～5月10日まで開かれます。関門海底トンネルも開通したし、御家族づれの楽しい1日のレクリエーションとなりましょう。時期も同じく門司でも、博覧会が開かれます。

▽学校便所のくみ取りをする人を教委で募集中。学校は、大内小中と女子学園、仁保小、小鯖小です。希望者は25日ごろまでに教委事務局へ。多い場合は入札。

母の集い

身近かな問題をじっくり話合った

毎年行われる大内町の母の集い――今年は仁保小学校が会場だった。2月9日には、貸切バスも仕立てて、参加した婦人は400名にものぼった。家庭で母の立場が必要とする生活の工夫や子供の教育、しゅうと嫁妻の立場が話し合われた。一方明るい社会をつくる△婦人▽としての立場では、結婚改善や婦人と政治、公衆道徳、社会福し――といった問題が分科会で研究された。

分科会は全部で11

それぞれのテーマで11の分科会に、司会者と指導助言者がついた。幼い子供をかかえた若いお母さんは乳幼児の分科会へ。

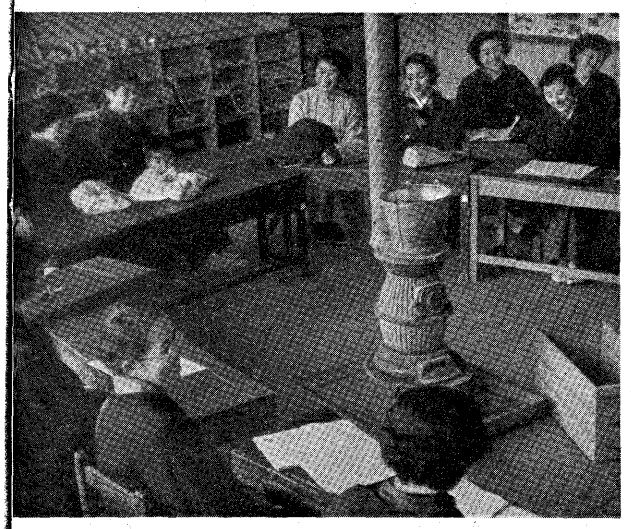
妻をもらった子供をもつお母さんは△しゅうとの立場▽分科会へ。やはり生活上一番身近かな問題を話合う傾向が強かった。このため、明るい社会をつくる4つの分科会は、比較的閑散だった。

新しい理解者を発見

自分と同じ悩みをもつ婦人を発見したことは、大きな収穫だったとある婦人が語った。さらに、話し合うことで、お互いの立場を理解したことは、△今日の自己を冷静に見詰める▽意味で、大変有意義だったと。考えていることを、卒直に発表できる婦人が、数年前にくらべるとたしかにふえてきた。よりよいものを見定めようとする努力は婦人の間にしっかりと根を降してきたようだ。

衆智を集めれば

1人1人のよい発言が、そのテーマにかんして、うまくまとめられた。お互いの中からの発言だから、身近かな問題がつみ重ねられた。分科会を午前中に終り、午後は総合討議に移ったが、ここでも発言は活ばつだった。今年は家庭内を明るくする分科会に、参加者が多かったがこれらの婦人が必要な△生活技術と知識▽をよく身につけたとき、その眼はどんな理想と希望を追うであろうか。明るい社会を造ろうと、結びあった力を発きするに違いない。



「はじめから悪いもののように決めてかかられるのは，はなはだ心外です」とあるおしゅうとさんの発言に，1同大笑い。

丸山では，2月25日部落いっせいに消毒を行った。県から借りた最新式の噴霧機を使う田中力正さん。

ビニールたい肥を考案 △家ばえ▽も見事に退治

今月は、仁保丸山部落の内田惣一さんを訪ねた。内田さんは、昨年末の産業祭で、△丸山部落の衛生活動▽を発表した人。環境衛生実せん会の会長として、今日まで3年間を努力した内田さんは、回想の糸を、つぎのようにつまぐってくれた。

なつかしい思い出

たい肥をビニールでおおう方法に発展するまでには、色々とムタなこともした。△家ばえ▽の卵はたい肥の下に集っているからと、廻りの土を全部とり除けた。保健所も役場もそう教えた。しかしはえはまだたくさんいる。1週間ほど、たい肥と畜舎の廻りばかりこの方法をやっていた内田さん夫婦は、ふと変なものを発見した。たい肥の下ばかりではない、表面全部にウヨウヨといるではないか。

「それまでやったことがバカらしくもあり、発見してうれしくもあり、2人して（とうちゃんを指さし）はえの卵のついた△たい肥▽をつまみあげて、思わず泣き笑いしましたよ。」

会長の名にかけても、はえのなくならぬ原因を、内田さん夫婦は究明したかったのだろう。これから、ビニールたい肥は考案された。方法をがらりと変えて、家ばえの99％はく除できた――と山口保健所は認めている。

大森式ビニールたい肥舎と呼ばれているが、長崎医大の大森教授の考案したものを、カンタンにしたもの。それだけ、安い経費でできる長所がある。大森教授も丸山を視察して「ともかく、実せんに乗り出すことが大切。完全ではないが、立派な着想だ」とほめちぎった。

3千円でやれる

労力代は計算に入れてないが、セメンレンガとビニール代で3千円あればやれる。奥行4～5尺、高さ5尺のたい肥場が2個（切りかえ用が必要だから）できる。丸山74戸のうち、有畜農家が55戸、そのうち60％までは、この方法で見事な成果をあげている。

×市営バスの横暴×

市営バスの横暴といっても車掌のサービスの点だけである。今日まで、交通不便な仁保地区で、市営バスが私たちの足として果した役割は大きい。しかし車掌のサービスは何としても我慢ならない。

私1人の感情であってはいけないと思って、あちこち聞いてみた。ところがである。これを裏付ける証人が幾人も現れた。須子町長が、車掌から胸ぐらを取られたとか私はバスに乗るごとにケンカするだとかである。

独占企業の弊害かな――と私は考えてみる。しかし問題は、そんな客観的な見方ですまされない。私もまた被害者の1人であるからだ。

バスの乗客は、いうまでもなく運行の安全と、車内の秩序を守るために、車掌の指示に従わねばならぬ。しかしこの権限を悪用すると、物語に出てくる、△悪役人▽の感じに似てくるだろう。

だから、――市営バスがサービスを改善して、乗客に親しまれる△足▽になる日が早く来るよう、私は待っている。立派な足になることによって、市営バスはいつも仁保地区全住民の感謝と信頼の的になるようにと。そして車掌の1人が酔っ払って、仁保支所婦人職員の1人に千円札をつきつけ、あるものを要求した話なぞ、遠い昔の語り草になるようにと。

この問題を解決するため、乗客側と運営する側との懇談会も、意味があるだろう。ひざつき合せて話せば案外カンタンに解決するかもしれぬ。（本人の希望によりとく名）

町にも個人にも山は貴重な財産

山口県の山火事は、全国的にみても発生の回数が多い。過去5年間に森林の火災は387件、焼けた面積は2千800町歩で、1億2千万円の損害。せっかく造林しても山火事にあったらそれこそ△泣きっつらに蜂▽だ。山の火災保険は掛金が安いという特色があり、やはり万一ということもあるのだから。県下の人工林の約4割が保険に入っている。料金の計算はつぎのとおり。

保険金額千円について、20年以下7円、21～30年が6円、31～40年は5円、41年以上4円。（もちろん1年分）保険金額は、つぎのとおり。

1町当り	ぎのすひと	松広葉樹
2～5年	30,000	25,000
6～10	70,000	60,000
11～15	100,000	85,000
16～20	145,000	120,000
21～25	200,000	165,000
26～30	265,000	220,000
31～35	355,000	300,000
36～40	470,000	400,000
41～以上	620,000	535,000

（例）　18年のすぎ5反の人は、12万の半分6万円の保険金がもらえ、掛金は1年60×7＝420円となる。4月1日からこの掛金は約2割ほど安くなる。

金にならぬヤブ100町歩

大内町にざっとこのくらいあると計算されている。造林は進んでいるが、さっぱり無価値にひとしい土地が、これだけ遊んでいるわけ。ヤブ退治した実例では、この近くで宮野郵便局長さんの山がある。最近竹が、杭木にも使われ出したから（猛宗でもよく、長いまま、束100円）安くてもはける竹林はまだよい。話にならぬほんとのヤブは、全く宝のもち腐れで、△ヤブ退治▽に乗出されたらいかがであろうか造林補助はもちろん出る。

日本の森林で1年の成長量1億8千万石。しかし毎年伐採は2億6千万石。造林面積をまだ広くする必要がある。

青年の動き

小鯖で　フォークダンスが大変流行している。いつも50～70名の会員が土曜日の夜小学校の講堂で、楽しくおどっている。吉敷小学に勤めている柊の山本先生が指導している。昨年8月に始めて、約半歳、このため講堂の床板が鏡のように光り出した。「しっかり若さを発散させなきゃ」とおどりまくって、冬の寒い夜も、結構ホカホカするという。青年団のグループを組織するための人集めだとか、話し合って理解する場ができたとか、会員たちは真面目にダンスを楽しんでいる。「町に出ると金がかかるし」――と、小遣いのやりくりをいった青年もあった。フォークダンスの集いは、これからまだ盛んになってゆくことだろう。

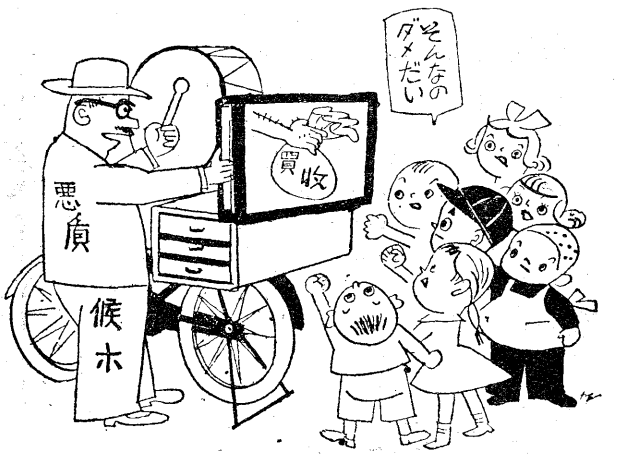
大内で　青年団総会が3月2日開かれた。場所は大内中だった。この総会での発言を通じて、注目されることは△団員1人1人が、各自の主張と意見▽を持ってきたことだ。何とかして、現状をよりよくしてゆこうという、具体的な案と、意欲を示しだした。従来ともすれば△自分たちの環境の缺点を大げさに考え、なげきはするが、実行性のとぼしかった▽点が、少しあてとけ始めた感じだった。大内地区では8つあった単位団が、最近11にふえ、川向いを除く全地区が加入した。この日の総会で、新団長は江藤晃一君に決った。今年の大内地区青年団の活躍も、また大いに期待してよいだろう。

太花たちすす事前運動

これでよいのだろうか？昨年秋「一月解散」の声が政界に流れたとき、実質的には選挙戦の火ぶたは切られたといわれる。「あらゆる機会を利用して」名前の売込みに、候補者は血眼になっている。

年末年始も、利用するにはおあつらえむきだった。いま伝えられる選挙の事前運動の例を、いろいろの報導から拾ってみよう。年賀状を利用したり、酒を出したり、関心の深い利害で釣ったりと――あの手この手を使っての事前運動は、さらに火花をちらすことだろう。

そこで問題は、悪質の事前運動に、私たち国民が踊っている間に、政治はガタガタになる――というところにある。**金がかかる選挙――その投資をもどそうとする議員**――こうして、政治腐敗の歯車は不気味な音をたててきしる。



子供は賢こい

宍戸左行

利害でつる

某県のある海辺の町。港をつくってやるともちかけ、××港建設促進同盟をつくって人をあつめた。なにも知らぬ町当局や県が国に問い合せたところ、そんな計画はないとのこと。同じ地区の立候補予定者は、負けてなるものかと道路舗装計画を発表して、後援会をつくった。別の立候補予定者は弁護士であるため、無料法律相談所を開いて、選挙区を巡回している。

10円会費で酒さかな

立候補予定者の自腹サービスはすさまじい。

▽選挙区の町村に後援会をつくり、200円の折詰と2合ビン入りの酒を振舞って、会費金10円也というのもある。

▽某県では、地元の旅行会長となった某氏が、団体客を集めて貸切バスで隣県の有名な寺院へ、観光としゃれた。往復旅費、弁当、茶菓代で、会費は100円。会長名入りのパンフレットも忘れずに配ったという。

▽某氏は正月早々後援会の名前で大寒会をしたが、その費用は後援会に負たんさせられた。これは珍らしいと話題を呼んだという。つまり、寒会は候補者もちの悪い習慣が、一般に通っていたからだ。

ハイヤー代月20万

選挙区廻りに毎月20万円の自動車代を支払う人もある。新年には数十万の人出でにぎわう神社や繁華街を、終日行ったり来たりの△顔見世型▽もある。年賀状自粛を国会で申合わせると、△年賀状は出しませんから悪しからず▽と葉書がくる。違法ではないが事前運動にまぎらわしい。

中学生も選挙を見つめている

4人の中学生から、公明選挙についての作文がとどいた。どの作文も私たちが成人者になったら――と、覚悟を示していた。そして、いまの選挙によせる批判は、大変シンラツなものだった。中学生たちもじっと見つめている。

× × × ×

20才になるのは、うれしいと同時に、社会的に重大な責任を負わされることでもある。それなのに、多くの成人者は、あまり自覚していないようにみえる。

「あんなことには関心が持てず、投票したくない。」

選挙で誰を選んでも、どうせろくな政治をしやーせん。」

などと聞いた。

私も5年後には、社会的におとなとして扱われるようになる。その時こそ――と思っている。ろくな政治をする人がいないのは、私たちの社会がよくないということだから、私に与えられた選挙権は、かならず有効に使う覚悟だ。

（大内中3年　江藤輝子）

× × ×

暗くなりかけた街を、ネオンが鮮かに彩っていた。冷たく降る冬の雨――Y百貨店の前で、大勢の人だかりだ。山口市長に立候補した人の演説を聞いているのだった。

（大内中3年、重宗敦子）

× × ×

私の前に2人連れの青年が入ってきて、大声に「何いっているんだ、いくらしゃべったって、入れてやるもんか。」とせせら笑った。彼の廻りにいた人々は、この心ない青年の言葉に、無言の抵抗をするかのように、静かに彼を見、再び演説に聞き入っていた。

帰る途すがら、私は〝若い人と政治〟について考えてみた。全部ではない。よし部分的にせよ、政治に無関心な青年を見たことは、私の心をたまらなく淋しくした。明日を築く若人は、慎重にそして熱心に社会を見つめて、正しく明るい社会を育てる義務があると思う。正しく真剣な選挙がどんなに必要であるかを、この時はつづくづく考えさせられたことだった。（大内中3年、重宗敦子）

× × ×

もの心ついてから、△公明選挙▽を幾度ともなく聞いた。しかしやっぱり、△選挙違反▽という言葉を耳にしたことも、度々であった。いままでの選挙になれ、習慣になじんだ大人たちに、望むことは無理かもしれない。これからの私たちは努力しなければ……と思っている。

選挙される人も、自分の発言に気を付けて、実行できないことをいってはなるまい。もしいったら、それは実行しなければならない。悪い選挙が行われるのは、△発言の不実行▽を、選挙する人が追求しない点にもあるようだ。（仁保中3年　山下重子）

× × ×

民主政治は国民全体が幸福と利益を得るよう、国民自身が努力して自主的に行う政治だ、とある本に書いてあった。それには、私たち一人一人が、はっきりした自分の意見をもつべきだと思う。一人一人に意見があれば選挙に無関心なこともなく、不正な選挙も起らないはずだ。国会では汚職があった。あの金を国民にまいてくれたらと、口惜しい。（仁保中3年　伊藤富貴恵）

話合い運動にふさわしい話題は

話題がなくては、話合いといっても、さっぱり進みません。話題として皆さんの考え方がはっきり出るような興味深いものを、選んでみました。

婦人団体は育ってきた

抜け目のない選挙運動家が婦人団体を見逃すはずもなく常にねらっていますから、婦人は注意を要します。それにしても、あの手この手のやり方で、婦人団体をごそっとまるめ込もうなどと企てる人があったら、飛んでもない誤算です。婦人は正義感強く、潔ぺきでありますから、簡単には誘惑されないでしょう。

戦後の婦人団体では、教育が重んぜられ、特に選挙については、相当勉強もし、研究もしています。以前のようにいつも思い出すのは、アメリカ婦人有権者同盟の活躍です。ある朝ふと目をさますと私の泊っていた家の女あるじが、つぎからつぎに電話をかけているのです。

アメリカの婦人有権者

例えば一二の幹部があやまちに陥るようなことがあっても皆が無定見についてゆきません。（山室民子―社会事業家）

「昨日国会委員会で、あなたの発言はすばらしい。婦人有権者の名において厚く御礼申上ます。」

「あなたのだらしない態度には我慢できません。早速あなたの選挙区にある私どもの支部に電話して、有権者の奮起を促します。」この女あるじは、婦人有権者同盟の国会監視委員だった。（藤田たき―前労働省婦人少年局長）

青年団は政治教育の場

青年団では、多くの政党の政策や主義主張を、あらゆる角度から討論学習することができる。このことは、一つの教義しか知らなくて成長した人々が、いかに政治的に無能であるかは、今日の日本の政治の現状を見ると明白である。

成人のなかには、「青年団は社会団体だから」といって政治への理解や関心を高める活動をやめさせようとするがこれは正しい考え方ではない。社会教育団体が、政治的活動をして悪いなどという理由はどこにもない。その決定はメンバー自身ですべきであり、この主体性が否定されたとき、同時に社会教育団体の真の在り方も否定される（栗林彦衛―日本青年団協議会長）

○…地方のどこに行っても、国会や政府に対し、不満を聞かないことはなかった。要するに彼等の選んだ代表者の素質に関するものと、行政その他に現われた政治的事実に関するものと、2通りに要約できるようである。私の会った限りの人々は、与党支持者、反対党支持者のいかんにかかわらず口をそろえて、このままでは困る。国の前途が心配だといっていた。政治に対する不信感は、挙国一致といって差しつかえないようである。（阿部真之助）

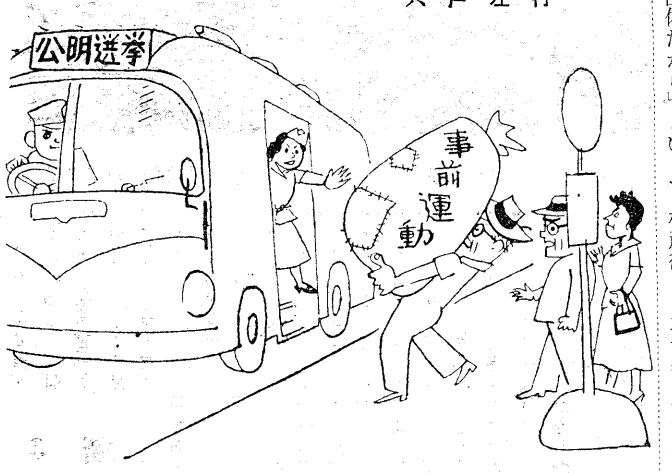
○…税金のことでも、法律のことでも、子供の教育のことでも、物価や、交通や、住居や営業のことまで、いちいちかぞえきれないほどの日常生活上のことがらはことごとくその背景に↘政治がひかえていることを見逃がしてはならない。われわれの眼の前に現れている有様は、すべてその時の政治によって規定せられている。生活問題を真面目に考えるなら、いきおい政治に関心をもつのが当然である。（川原次吉郎―中大教授）

↖

○…今や我国の民主主義も名のみとなり、国民のための国民による、国民の政治ではなく、議員のための、議員による、議員の政治になるのではないかとさえ思い危ぶまれる。（龍野定一―全国公民館連絡協議会長）

乗せられません

宍戸左行



仁保中3の2　伊藤郁子さんの作品

標語

3つの中学校生徒から、公明選挙の標語が選管あて寄せられた。どれも、選挙を清くしたい願いがみちあふれている。言葉と氏名はつぎの通り

大内中

▽明るい選挙はみんなの心から　3年A　中野泰斉

▽正しい精神で自分たちの代表を　3年A　佐伯幸枝

▽おじいさんお婆さん、腰をのばして投票所へ　3年A　山本絹子

▽公明選挙で明るい町を　3年C　永地博正

▽住みよい社会はこの一票で　3年A　田中邦子

▽かえられぬ金や情にこの一票を　3年C　佐田良子

▽明るい町の糸口は、この一票で　3年A　鯨田素子

▽正しい選挙で明るい笑顔　3年A　重宗敦子

仁保中

▽あなたと私のこの一票明るい社会の道しるべ　山根節子

▽清き一票、明るい社会　吉村公子

▽明るい選挙は、義理人情の追放から　岩政礼子

▽この一票こそわが生命　藤井忠

小鯖中

▽国民の笑顔は、正しい選挙から　3年米本進

▽公明選挙は国家の尺度　3年山下勇

▽慎重に善きも悪しきもこの一票　3年黒畑迪子

有権者は8千700名

昨年12月20日に確定した大内町の有権者数は地区別につぎのとおり。

	計	男	女
小鯖	2135	1109	1026
大内	3493	1635	1858
仁保	3116	1493	1623
合計	8744		

△話合い運動▽をどう進めるかの懇談会は、3地区の公民館でそれぞれ開かれた。ここでは3月6日午後行われた**小鯖公民館**での模様を取上げたが、他の2地区でもあまり変りはなかった。集った人たちは、婦人会、青年団の支部長、公民分館長、公明選挙の推進委員といった顔ぶれ。民主的に、集会や討議の方法を実際にやってみた。部落で△楽しい集会▽にするための工夫も案が出された。隣近所の23人のカゲ口的な意見発表でなく部落全部が集って、少くとも実行することを前提にしての話合いは、どう進めるか。皆が首をひねって、対策をねった。

県からも地方課から、選管係の藤本次長と中山主事とが出席して、何くれと助言や指導をしてもらった。選挙ということにこだわらずどうしたら△集ることが楽しみな▽会合がもてるかの、研究会みたいだった。そして選挙についていえば国民のための政治を育てるため、これ以上ダマされては困る、**ダマされまい**ーといった発言もたくさん出た。

下手だったいままでの会合

とても、いままでのような会合じゃ△集る楽しみ▽△おしゃべりする楽しみ▽が出ないーとまづ意見が出た。

カンタンに出た意見をならべると、

1　時間が守られない
2　出席が悪い
3　発言が少い
4　しゃべる人は、いつも顔ぶれが決っているといったところ。

小鯖公民館の集りでは、△出席をよくする問題▽をほりさげてみることにした。

どうしたら出席はよくなるだろうかーこれに対してつぎの意見が出た。

1今日は××の集会だ、と趣旨をはっきりさせる。
2欠席の場合、連らくをする。
3出席状態をグラフにかく
4レクリエーションをやって、気持をほぐす。
5欠席者には、当日決ったことを、よく尊重してもらう。

やはり理由があった

こうしてならべてみると、出席の悪い理由がたしかにあったところもある。

これにも欠点が

いつも66でやると、顔ぶれが決ってしまう。若い人はそのグループ。しゅうとめさんは、それでまた1グループになって、よその嫁の悪口をいうーといったことになる。だから、部落の班ごとにやったり、年令男女の性別と、変えてゆくなら、部落の面白い集会になる。これで、顔ぶれが変るから、集会も新鮮味が加わってくるだろう。

誰もが気楽に発言する方法

集会のもち方で、色々な型があるが、この日は6×6式でやってみた。6人ぐらいで6つぐらいの班に分けたやり方。こうすると、限られた時間で誰もが発言できる。1つの班の結論が、班の数だけ出てくるわけ。なれると上手になって、「今日は66（ロクロク）でゆこう」となる。だれると、リクリエーションに3つの歌をやって、効果をあげる。

これにも欠点が

いつも66でやると、顔ぶれが決ってしまう。若い人はそのグループ。しゅうとめさんは、それでまた1グループになって、よその嫁の悪口をいうーといったことになる。だから、部落の班ごとにやったり、年令男女の性別と、変えてゆくなら、部落の面白い集会になる。これで、顔ぶれが変るから、集会も新鮮味が加わってくるだろう。

実演に腹をかかえて笑う

出席者全員が、腹をかかえた。劇化討議（ロールプレイング）をやるさい、△押売げき退方法▽を題にとりあげた。長井艶子さんが押売られさん田中タケ子さんが押売られさんーと早速配役は決った。つまり相手をいい負かそうと、身振り手ぶり面白く、即席の劇をやったわけ。なかなかの名優ぶりであった。

実演も時には有効

意見が対立して、会合が固苦しくなったときなど、この方法は効果的だ。2人の意見を聞きながら、自分の考えをまとめることができる。会合のフンイキもやわらかくなる。演技をみるのが目的でないから、上手下手はない。下手はまた下手で面白い。

集ることが楽しみ

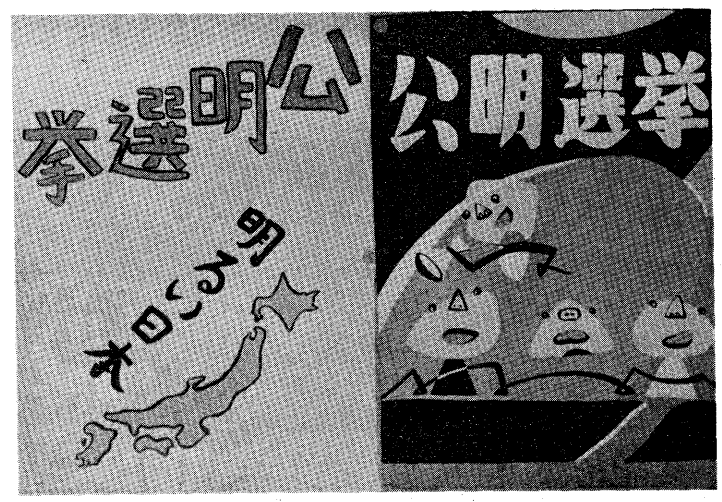
全員で話合うことで、楽しいフンイキが生れる。集まることが楽しみになったら、もうしめたもの。出席率のことなぞ、心配の必要もない。

秋芳町の水上部落は、集会を成功させたところだが、数年前は悪かった。何とかしたいという願いが実って、このごろは10時にピッシャリ会合が終ると。出席率もよい。66式とか、ロールプレイング、それに出席グラフも作って大変効果的だったと。

南陽町でも、平野部落の運営がうまい。時間どおり、集会が開かれる。始まる前に、△3つの歌のかえ歌▽をやって、それから討議には入るという。みんなの気分が、歌で1つにとけあう効果があるのだろう。

ほんとうの話合い運動

楽しい集会が、もう習慣として私たちの社会生活の中に根を降したら、そのときこそ△話合い運動▽は、本物になるだろう。その上、部落の民主的なフンイキも保たれるだろう。大内町にも、すでにその芽が出はじめた。



小鯖中3の2　柴崎博美君　　大内中3のC　芳野清君の作品

☆おしゃべりで理解を深め合うのが趣旨☆

△公明選挙の話合い運動▽といって集っても、こんな解りきったことで話に花は咲かない。解りきって守られぬものが、日本にもたくさんあるが、公明選挙もその1つであるからだ。――と△話合い運動▽を表面からみると、こんなグチも出てくる。××運動といった「動員された気持」で考えると、馬鹿らしさが先に立つ。上から押しつけられたイヤな感じも出てくるだろう。

解りきったことを話合うことや、お説教じみたことを聞くことなら、△もうたくさん▽と手をあげたくなる。しかし、別に何をしゃべるということでなく、話す楽しみは誰にもある。

そこはかとなくしゃべる楽しみ

選挙の話合い動運も、この△おしゃべり▽の楽しみと、お互いの理解を深める点に、ネライがあるようだ。理解だから、計算した答は出てはこない。しかしできれば本物が生れる。10ある話題に1つか2つ、政治や選挙の話が出てもよい。選挙前になると、もっとふえるかもしれぬ。そうした自然に生れた形で、しかも楽しみを伴ったものでなければ、しょせん△ゴマカシ▽にすぎない。人の言葉に耳をかたむける習慣や、人の言葉を尊重する習慣も、案外に私たちの周囲には少なかった。△楽しいおしゃべり▽が、そうカンタンにはできないけれど、皆が努力すれば、ふんいきも楽しめる。その上色々な人の考え方をも、学ぶことができる。

自分の考えをまとめる手段

誰もが発言し、日頃から考え方がねられているならば、自主的な△判断▽も生れてくるだろう。いくらなんでも選挙前のつけ焼刃はできないだろうから。そこで選挙の話合い運動という言葉がぴったりしない。自分自身の考えをまとめるための話合いだと考えたらどんなものだろう。気軽な気持で、選挙に限らず、△そこはかとなくしゃべる楽しみ▽が拡がったら、私たち住民どうしの理解もぐっと深まってくる。話合いは選挙のためでなく、よりよい郷土を育てるための楽しい集いともなるだろう。

婦人票は注目の的

町長、町議や県の段階までは、大体候補者の目ぼしもつくが、国会となるとそうはゆかない。さっぱり解らず、投票場に入ってから決める話も度々聞いた。まるできたない泥田に宝石をなげ捨てるようなもの。

「1票ではたらず2票も3票も……」と、義理人情、売収、圧力、のどれかに板ばさみになった経験者が、よく語る。しかし1票しかないのだから、そこには公明でない投票も生れるわけだ。私たちがこの3つの邪魔者を乗り越えたとき、清いと注目をあびている婦人票は、どんなにすばらしい政治家を生み出すことだろう。

私たち婦人が、いま一歩自覚したら、もうすぐ手のとどくところにある。

（仁保　**末永フミコ**）

1つ1つ具体的に

そこで△出席をよくする▽にはどうするかを、1つ1つ具体的に話合ってみた。「やる気になれば、みんなできそうなことばかりだ。△集会とはこんなもんだ▽のアキラメをきれいさっぱり捨てなければ…」という意見も出た。

今年成人になった3人の女性をインタビューした。「もう有権者になったのだから、それに近く総選挙もありそうだから」と水をむけると、はにかみながら、ひかえ目に語ってくれた。3人とは、仁保上郷一の瀬の岡田英子さん、大内問田の吉光小夜子さん、小鯖鯖地の山本黎子さんたち。

「私の家には×票あるとか公言する人がある。一軒の家で全員意見が同じというのも変だし、人権の軽視もはなはだしい。候補者の人物や政見を検討した結果でないなら、メクラの票が右往左往していることになる。買収や利害でつられる危険な票がたくさんあるところに問題がある。私たちがしっかりしなければ、これこそ亡国への道につながる。」――岡田英子

「日本女性のよさとか美しさとかが、選挙に当って混同されているようだ。そうした意味での女らしさはこれからどしどし改善されてゆくことと思うが、私はドライな立場で選挙に臨みたい。私たちは△主権者▽なのだから、国民の国民による国民のための政治を実現させるよう、努力する。民主的な日本を、主権者の権利と責任で育てたい。」――吉光小夜子

「男女同権といっても、まだ私たちの周囲には女権がおしこめられている。そうした立場からも、私は婦人代議士に期待している。婦人の生活をほんとに理解し、台所にもつながる細やかな心づかいを、望みたい。婦人代議士の悪口を聞くこともあるけれど、だからこそよい婦人代議士を、と叫びたい。住みよい日本を作るため、政治と選挙には深い関心をもっている。」――山本黎子

3人の新成人者

大内町広報

昭和33年4月14日
第34号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

ほめられたり、しかられたりして、ともかくやってきました。私たち全町民が、〈大内町の主権者〉である実感と誇りがこの紙面にピチピチおどっている——そんな広報紙を作ってみたいと、がんばっています。

アキスと迷い子

4月から5月にかけて家を空けることも多いでしょう。1年で一番アキスの被害が大きい時期です。博覧会などでお子さんとはぐれたら、まづ警察へ連絡してから。名前と住所をぬいつけるのも効果的です。

税金

固定資産税（第1期）
納期 4月30日まで

自動車税（前期）
4月16～30日まで。

郵便局、山銀でも結構です。

9,700万の新大内町誕生

統合中学10日に落成式

昭和33年度の予算は3月19日成立した総額9千738万円で、32年度より1千700万円ばかり少いが、補助金や起債の内容が変ったもので、実質的には変化はないあれもこれもしたい希望を激しくいだきながら〈健全財政〉を守りぬくための、苦しい予算であった。また第一期工事が無事完成した長者ヵ原の統合中学校は3月10日来ひん多数を招いて、開校式と落成式を行った。

今年が任期最後の年

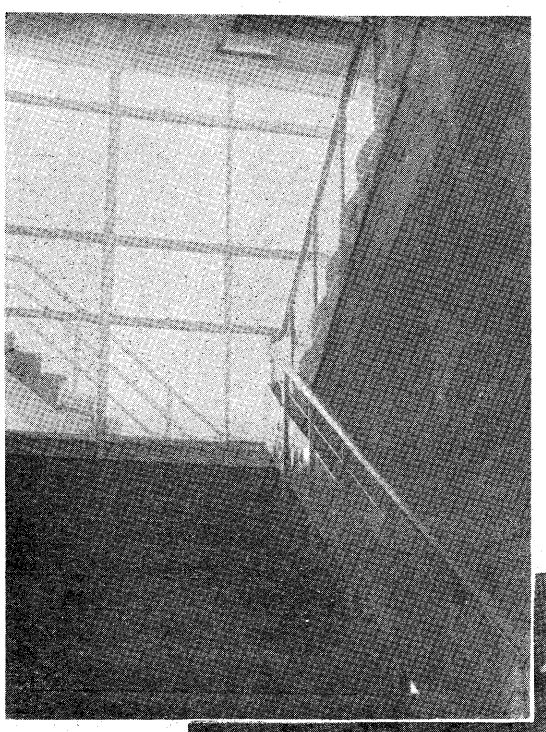
町長も33年度が任期の終りだが、議会議員も今年度で終る。任期いっぱいを、できるだけ立派な町政にしあげたいと、予算議会の審議は丸10日間真剣そのものだった。（予算議会の始めに町長が行った〈施政方針〉と、議会でどんな発言が行われたかのあらましは、2面にのせました）発言の趣旨は、(1)限られた予算を、どうしたら有効に使えるか (2)合併してできた大内町が町としてのまとまりをもって発展するには、どんな施策が要望され必要であるか。——に分けられた。

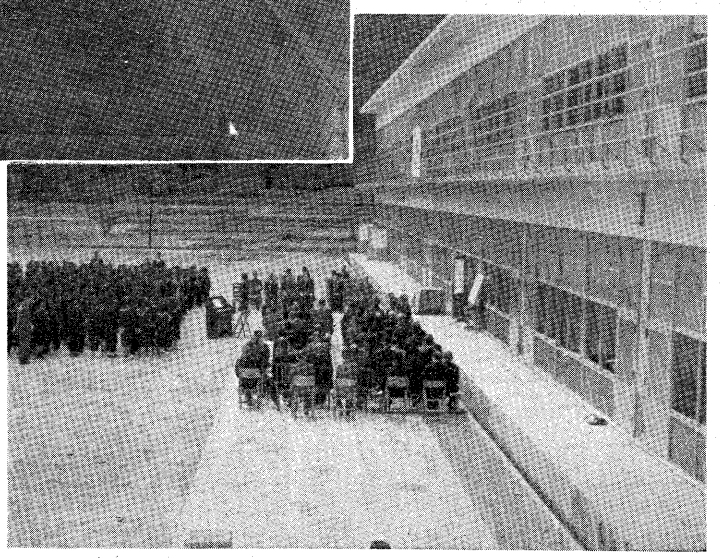
建設面に議論が集中

以上(1)(2)の発言は、いきおい町政の建設面にむけられた。森林組合の統合や土地改良区の合理的な運営も問題になった。公民館活動をより町民自体の生活と協力に結びつけるため、機構改革の問題も出てきた。あるいは私たちの課税対策をどうするかや、町政がもっと町民の間に深くしみ通ってゆくための広報活動も議論された。すべて大内町政をいままでより、統一のある力強いものに育て、より合された全町民の協力で建設してゆこうという意気込みがあった。全議員が町有林の4千町歩の実情を調べて、町財政に必要な財源を守ろうという計画も、またこの予算議会のさなかで申し合された。

今年入学は1年生138名

せっかく統合中学はできたけれど、第1期工事の落成だけで、全校生徒を収容できなかった。今年は2・3年生をなれた校舎に残し、1年生138名が新校舎に入る。第2期工事は引続き進められるが、約266坪で来年からともかく生徒を収容できる体制になる。それでも講堂兼体育館は国からの補助の関係で、とうとう新年度の当初予算には組めなかった。開校式は、この日9時40分から、全校生徒父兄、多数の来ひんを招いて行われた。**落成式**は10時30分から工事の経過報告の後、功労のあった人たちに感謝状が贈られた。この工事をたん当した防府市藤本組社長藤本作一氏、工事の設計と監督を行った守津哲夫氏、敷地の整地をした自衛隊防府基地作業隊の3者





寫眞は
（上）明るくて清潔な階段
（下）新校舎の前で落成式

作業隊涙ぐましい協力

1万坪にわたる校舎と運動場用地を、小さな機械と人力でやったら、この工事ははかどらなかったろう。昨年9月27日に着工、今年3月20日に完成するまで約半歳のスピードぶりだった。建物工事の進行にあわせるため、航空自衛隊防府基地作業隊の協力は涙ぐましいものだった。

第1工事の完成だけなので**全町こぞって**祝うところまでゆきませんでした。やがて講堂ができたとき、全町的な祝賀行事を行う予定です。第2期工事も終り講堂もできあがるときまで、お待ちください。

予算の内容

歳入

（単位 万円）

町税		3838万
1 町民税	1179	
2 固定資産税	2031	
3 自転車荷車税	147	
4 たばこ消費税	207	
5 電気ガス税	195	
6 木材引取税	78	
地方交付税		900
（国からの交付金 昨年より250万増）		
公営企業と財産収入		2280
1 財産収入	81	
2 財産の売却代金（立木）	2198	
分たん金と負たん金		72
1 土木事業地元負たん	48	
2 耕地災害 〃	20	
使用料と手数料		178
1 使用料	122	
（女子学園授業24 保育園の保育料67 公営住宅など31）		
2 手数料	55	
国庫支出金		1468
1 国庫負たん金（主として選挙の費用）	22	
2 国からの補助金	1446	
（消防24 土木災害復旧へ34 教育費補助650 保育園へ23 耕地事業補助304 農山漁村建設線合事業へ410）		
県の支出金		150
1 補助金	134	
（保健衛生へ36 造林補助42 農委補助39）		
2 県の委託金	15	
寄附金		250
消防費寄付金	250	
雑収入		23
税の延たい金10 預金利子8		
町債		800
1 教育債	600	
2 仁保川改修の負たんの土木債	200	
合計		9738

歳出

（単位 万円）

議会費		147
▷議員の報しゅう71▷旅費10▷交際費20▷負たん金11▷町有林の調査費10▷消もう品や印刷代通信費など23		
役場費		2039
1 駐在員などの手当	47	
▷職員の給料941 ▷各種の手当387 ▷旅費41▷交際費70▷備品99▷通信運搬72▷燃料37▷印刷26▷文具費など25		
2 営繕費	26	
3 その他の経費	198	
▷町村会や協議会の負たん金16▷恩給退職年金と退職一時金125 △共済組合55		
警察消防費		191
1 消防団費	177	
この中に備品費94万があり25万の動力ポンプを3台見ている。		
2 水防費	14	
土木費		805
1 道路と橋	309	
▷道路のい持修理	153	
▷道路の新設と改良	30	
▷橋のい持修理	56	
2 河川費	8	
3 災害土木	55	
4 その他の土木費	432	
▷仁保川地元負たん	240	
▷問田川地元負たん	260	
▷県道ほ装の地元負たん60▷小鯖川災害の地元負たん35		
教育費		3111
1 教育委員会	244	
▷職員給料89▷旅費21▷手当46▷負たん金48▷印刷や通信，備品費など20		
2 小学校	497	
▷職員給料23▷手当10▷卒業式，運動会，展らん会32▷文具費印刷代など303 ▷修ぜん52▷新築改26		
3 中学校	283	
▷職員給料33▷手当11▷運動会，卒業式など13▷文具費その他164 ▷改築や設備32		
4 社会教育	353	
▷社会教育35▷公民館190▷女子学園107 ▷青年学級19		
5 統合中学校の建設	1733	
▷建築費1541▷開校のための施設整備156		
社会および労働施設		202
▷民生委員会9 ▷児童福し5▷社会福し45 ▷保育園133		
保健衛生費		119
▷伝染病予防11▷共立伝染病院へ56▷結核予防37▷ハエ，カのく除9		
産業経済費		1394
1 農委	150	
2 農業費	243	
▷農業対策委の報しゅうなど29▷採種ほや展示の委託38▷負たんや補助金139		
3 林業費	58	
4 耕地事業	470	
▷土地改区補助60▷土地改良事業補助60		
5 農山漁村建設	472	
▷負たんや補助金444		
財産費		661
▷町有林造林費185 ▷財産管理費468（部分林の分収金291も入る）		
統計調査費		2
選挙費		42
▷常時啓発6 ▷衆議院選挙20		
公債費		514
▷元利のしょうかん 464 ▷利子50		
諸支出金		404
▷徴税費85▷国保へくり出し260 ▷監査委員会7▷新生運動費13▷中央高校の負たん金など20		
予備費		100
合計		9738

お知らせ

▽**入学式**も終り、ほっと一息つかれたでしょう。ものをいわない子供は先生の困りの種。家中のものが、話のよい聞きてになるとキメがあります。自分のことは全部自分でやる習慣も大切です。

▽**赤十字運動**が、今年も5月いっぱい全国でくりひろげられます。安定した財政の上に、いっそう強い活動をしようと、社員制度をうちたてる呼びかけが行われています。赤十字活動が引揚の促進や北海道の冷害の救済に努力したのは、とっくにご存知のことでしょう。100円以上が普通社員。一時に3千円以上特別社員（300円10年続けても同じ。）どうぞ皆様、格別のご協力を。

▽**四月いっぱい**「全国環境衛生運動」が行われますいまが、一番く除に効果的だからです。便所ゴミ箱のまわり、畜舎の床上にいるハエのさなぎを殺すと効果はテキメンです家のまわりの溝さらえ、手水鉢や水槽などをキレイにすることが、蚊退治のキメ手です。床下のそうじも、忘れられません

▽**県立図書館**で、本の貸出しを行います。手紙で連絡すれば、規則書を送ってくれます。貸出し料も運賃も無料。返送だけ、利用者の負たん。貸出し期間は2月、利用団体は20～200人までを希望すると。

▽**乳牛**の能力検査が、今年から行われます。県下の乳牛の能力は、年最高40石、最低15石、平均20石です。くわしくは家畜保険衛生所へ。

▽県護国神社の慰霊祭が4月29日前10時半から。町がやとった貸切バスをご利用ください。出発時刻は、八反田、井開田、上矢田、下矢田がそれぞれ8時。

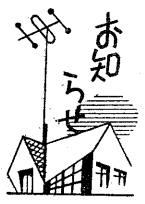
▽町の**招魂祭**は5月11日前10時より。場所は今年は大内小学校の講堂

▽**母子福し資金の申込**。5月10日でしめ切ります。

▽**歯科**治療のうちで、入歯や修理などが国保でやれるようになりました。かといって全部ご希望通りにもいきません。制限もあるので、医師とご相談ください。

▽**税の延**たい金を、いよいよ5月1日からいただくことに決定。納税成績も少しあて向上していますが、まだ相当のたい納がありますので**4月の**中ごろ職員が△たい納者▽の宅を訪問します。ぜひこの機会をご利用下さい。先日納税相談所を開いたとき、△納期の確約書▽を出された方、納税組合に加入して△計画納税▽をされる方は、延たい金はいただきません。

▽**仇きながら**学ぶ青少年のため、青年学級が今年も開かれます。社会に生きてゆくための新しい学習にスタートするよい機会です。大内、小鯖、仁保と3地区でそれぞれ開かれます。各地区の青年団や公民館に相談すれば、△入学の手続きや内容▽などくわしく説明してくれます。入学の年令や学歴の制限もありません。運営は学級生全部の意見を尊重して民主的に行われます。



予算議会は終った

新年度の予算を審議する議会は、3月10日から始って、19日まで続けられた。ぶっ通し10日間の議会は、真剣な大内町政を象徴するかのように、鋭い質問がつぎつぎと飛び出した。陳情や請願、条例など、すべて新年度予算に関係があるものを15日午前中まで審議し、午後から予算の具体的な内容検討に入った。国会と同じく運営委員を5人、議長副議長2人、計7人で議事進行に特別気を配ったが、真剣さから出た矢次早の質問には、思いのほか時間がかかった。才入面の町税納付状態から始り才出面選挙費や公債費にいたるまで議会の質問や要望のすべてを、具体的にのせるのが理想的であるが、残念ながら紙面が許さなかった。そこで、一番意見がたくさん出て審議のヤマと見られる部分を、結論だけ拾うことにした。これでせめても、熱心だった予算議会の模様を、あらましつかんでいただけるだろうから。

まづ税金の問題

勤労所得者が源泉課税で月々100%納めていることに答える勤労者対策がほしい（研究しているが、いますぐは困難だ）所得税率が高い（郡全体同じ率で、特別高いことはあり得ない）自転車、荷車税は全廃になるのではないか（33年度から全廃する。予算にのっているのは△たい納▽分である。税は5年間で執行停止になるので、入った税金は古いものから帳消しになる。）徴税成績が下っているようだが（できるだけ職員を廻している。いま納税貯蓄組合を町全域に育てる計画を進めており、小鯖地区はほとんどの部落が加入しようとしている）

議員の調査旅費はいらぬ

調査旅費が無意味だというのではないが、1人当り2万円は多すぎる。他の予算面もギリギリだから、けずってほしい。財政状態から考えて、何かこの金が今年の政策に現われるようにしたい（のちほど協議して善処する）

職員の数は充分か

定った職員数で足らぬので臨時職員で補っているのではないか。年間通じておいているが、不足なら不足と、定数をふやしたい（検討する）町広報の印刷費が少い。年4回ぐらい4頁を出さぬと、町のあり方を報せるのには不可能だ。（文書による広報活動はいまの程度で限界だと思う。広報活動の必要性は痛感しているので、他の方法をも併用して、立体的な構成をはかりたい。）自動車は毎年かえているがかえぬ方が得ではないか（町にはもう1台必要だ。いま1台でガマンするので、破れつくしている。修繕料を考えると、とりかえた方が得策だ。しかしジープのような丈夫な車にかえてできるだけ長く保ちたいと考えている）支所の機構をどう考えているか。この状態でおくか整理するか（支所廃止は住民に迷わくだから、考えていない。職員の配置は充分考えている）

新年度予算が成立したしゅん間

住民の声をもっと町政に

コッピーを買って、戸籍のとう抄本を作るのに能率をあげても、それは本庁だけのことだ。支所には意味ない。戸籍事務を一本にまとめたらどうか（コッピーは新しい民法で3年間に戸籍を、夫婦主体に改めるため必要なものである。もちろん将来いつまでも現状のままではない）広報活動にスピーカーを入れたら効果的だと思うが（充分考えたい。）町民の意見を、町政の上に充分反映してもらいたいと思う。テープレコーダーを購入して、議会の内容を、各地区の住民に聞いてもらったらと考える（検討する）

部落で道路補修をする際誤ってケガをしたらどうするか（危険のともなう事業は町が直接やり業者に依頼する。ケガした場合、いままでも医療費は町で負たんしている。）

分館が活動の主体

分館を公民館活動の主体として、これに財政援助をすべきだ（分館はなるべく誕生するようにしている。）公民館の現状では、支館―もとの旧村公民館―でしょうあくせねば実際活動はできない（団体間の連絡はとっている）撮影機を購入し視聴覚から一歩一歩しんとうしていったらどうか。何かできることから少しあて（検討する）

ハエ、カのない町へ

たい肥舎改造を丸山部落にならって全町に普及させる考えはないか（部落の一致協力あってこそで、現状では部落の意欲を高めて受入体制を作らねば意味ない）火葬場はどうか（必要であるが、なにしろ広い町の面積では、交通の便を考えてしなければ）

グループ補助はどうか

わづか30万の消極的な補助政策は無意味だ。（農業改良を集団的に実施するためには、グループ育成はぜひ必要である。農協とも打合せ基本方針をたてて行いたい）早期栽培をしょう励する施策がない。総合的な振興対策は（当町は米麦作を主体とした農業経営が大部分。畜産や園芸をふくめて、環境や立地条件にあった農業経営に進歩させ、加工や販売まで一連の協同的な組織で活動できるよう検討中である）

須子町長が、予算議会のはじめに、どんな方針で今年の予算を作ったかを説明しました。今年度予算の性格とネライを短くつづめてみました。

☆

昭和32年度に、自治庁と全国町村会から、大内町は全国の**優良町**として表彰された。この光栄は、町民1人1人の上に輝やきわたっている。それだけ町長も大きな責任を感じている。特に今年は任期の最後の年でもあるし。

ともかく、今日まで仕事を進めてきたかげには、議会議員の指導、職員の協力、町民の皆さんの温かい理解があったことを、痛切に感じている感謝にたえない。

☆

大内町は昭和32年度に、△新市町村建設促進法▽にもとづいて、合併当初の建設計画を調整した。これで向う10年間の基本計画は定まった。本年は33年だから第2年目に当り、本年度の施政の根本も当然この計画を尊重している。

☆

財政計画はいままでと同じく健全財政を建前とした。町有林の立木売上げの総収入を1千851万と見ているが、これは建設計画の伐採予定量と同じである。いろいろの重要な建設を行うため、この財源を出すことが、どうしても必要だった。税収などきまっている財源が5千164万、補助金や起債が2千753万、以上の合計で9千738万の今年度総予算ができあがった。32年度は統合中学の建設費を除くと、7千609万であり、今年度は8千5万円となる。約440万ふえた今年の予算は、一般経費に311万ふやしたから、残り131万が建設的な事業に投資でる。

☆

統合中学の建設費がなんといっても大きい。今年は266坪1千732万を組んでいる。建設計画では屋内体操場を半分見ているが、補助金の関係で当初予算には入れなかった。

治山治水事業は、本町の最も重要な課題であるが、問田川は国の中小河川のワクに入ることができた。今年度に1千万円以上の事業を期待ができ、これに町費負たん101万円をみている。仁保川改修には地元負たんを事業費の1/10 240万をみている。

☆

へき地対策に通じる交通通信問題も大切だ。今日まで電話5ケ所が開通し、今年は仁保奥地に対し努力する。同時に橋も、なるべく**永久橋**にかけかえたいと念願している。これは歴代の村長が頭を悩ました点だが、今年新しい布石をしたい。

☆

消防では5年計画で年々3台の動力ポンプをふやす。この計画が完成したら、相当優秀な消防団が編成できる。道路の改修には、町のオート三輪車が従来効果をあげたが、もう一歩進めて**道路条例**を全面的に改正する前進策をとった。国保には、前年同様町財政から260万円をくり出すことにしてある。衛生面では結核と伝染病予防に全力をあげる。農業費では、適地に適産の多角型農業経営を育てる方針をとった。町の大きな財源である**町有林**の育成には建設計画通りの造林を行う。民有林を対象にして、改良指導費も従来見ていなかったので、今年度は少額ながら組み込んだ。

☆予算を通じて今年度に私の期待する町建設の理想☆

古文書がどっさり

大内高芝の金津新治氏宅から、約200年前の文書がたくさん発見された。年代は宝暦時代で、いま進められている△県の農業発達史▽には貴重な資料だと。昔の矢田村時代における田畑の小作関係、公有林や開墾地の払下げ関係の書類が、3尺×2尺で高さ1.5尺の箱に3ばいもあった。近く県の図書館に移されるという。

生業資金の貸出し209万

せっかくの便利な制度も利用者の数は案外に少い。母子福し資金（母子家庭でないとダメ）で、生業資金が87万（18）事業を続けるための資金42万（14）修学資金25万（6）が出ているそのほか世帯厚生資金25万（5）医療費の貸付25万（5）といったところ。

（　）内は貸付世帯の数

二義青年の200回忌

5月の上旬に開く予定。長野で百姓一きの首謀とみなされて散った2人の青年の話は有名だが、いままで誤り伝えられた点もあったこれを正しくするための△記念出版▽も計画されている。主催は町の史談会と阿弥陀堂講中（二義青年の追善講）。出版は200部の限定で、50円の予定。

部落をあげて道造り

小鯖檢畑の叶木部落では待望の道路改修が終った。

長さ600米、巾3.5米の町道は72万円の工事だったが経費の半分を部落が負たんしたそれで労力の提供はほとんど地元が引受けた。寒さきびしい1月17日着工以来2カ月間、天候の不順と岩盤になやまされつつ、道路は立派に完成した。

←**小鯖中大内中の廃校式**

統合中学の第1期工事が完成して今年から小鯖中大内中が廃校になり、建物はそれぞれ隣接の小学校に移管された。全部が新中学に移れないで、今年いっぱいは小学校舎を間借り。**写真**は大内中の廃校式で―新校舎に入れないのは残念といった表情。

新瓦版

昭和33年5月7日
第35号

大内町広報

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

広報が入賞

第3回の全国広報紙コンクールに、山口県を代表して参加していた、私たちの〈大内町広報〉は、今年も入賞することができました。

投票日は22日

衆議院議員と、最高裁判所裁判官の投票は、5月22日朝7時～夕刻6時まで行われます。どうぞ22日をお忘れなく。

税金

軽自動車税

納期　5月11～31日

今年から自転車・荷車税がなくなりました。しかし足でふむ以外の自転車（モーターつき）は全部課税されます。

町有林など750町歩を調査

町議3日間の強行軍

町議会議員の町有林調査は4月15日から3日間、17日まで行われた。15日は快晴だったが、16日は風強く、17日は小雨まじりの天気とあっては天候にめぐまれた調査ではなかった。

第一日は上山地区

上山・岩倉地区の町有林を190町歩、官行造林（町有地を国へ貸し国が造林したもので分収率は1(2)115町歩を調査した。この日調査が終って、岩倉林道を今年度改修するかどうかを協議したが、33年度の追加予算で、経費を計上することに意見は一致した。岩倉林道を利用して出せる町有林の材積は、5万石と見積られている。

二日目は遠く方便へ

佐々並の高津、大切の官行造林64町歩を調査した。高津林道は旭村の手で、立派に新設ができていた。東方便山の頂上近くを廻って、山口市天花畑の西側に出た。ここで県行造林（ここの県行は、山口市大内町共有地に県が造林したもの）109町、官行造林33町歩を調査した。17日は朝から雨模様、オート三輪と町の乗用車を使って、まづ仁保木戸山の町有林70町歩と県行造林125町歩を調査した。ついで宮野荒谷奥（八丁峠の手前から入る）の田床、落合の官行造林52町歩を歩き、3日間の強行軍を終った。町有林、官県行造林の調査は延750町歩にも及んだ。

この調査8、11月にも

大切な町の財産を、より立派に管理するため、山林調査は8月と11月にも予定されている。

上　荒谷奥を雨にうたれて（3日目）
下　調査終つて、ひと休み（2日目）

4月1日から新戸籍へ

夫婦中心で戸主はなくなる

解説

昭和23年以前に、ムコ養子縁組みで妻の戸籍に入った人は、このたびの改正で夫婦のどちらでも筆頭者にすることができます。ムコ養子の人は、新しい戸籍を作る場合妻が筆頭者になり、夫はそのつぎに書くのが原則になっていますが、夫婦の両方から申出があれば、それができます。

新しい戸籍にきりかえる仕事は、大内町の場合、2年以内にやってしまう計画であります。なるべく早く作って、皆さまにご迷わくのかからぬようにと、係では努力いたしております。

それで、新しい戸籍にきりかえがすんだ場合、△昔の戸籍のとう抄本▽と違うと、びっくりされる方があるかもしれません。

この言葉のなかに、悲しいけれど今日の選挙の貧しい姿がひそんでいる。投票は自分の信頼する候補に対して自由に、誰にも知られずにできるはずなのに実際にはその数が計算されている。これは、読まれるという姿そのものが、問題をはらんでいる。何か科学的な根きょがあるかのように読まれている△票▽は、カンタンに動かせる対象であることを自分からバクロしている。

同じような言葉で△票が逃げた▽といわれる。まるで川の水が流れるように、どうにでも動かせるから、こんな言葉が生れたのだと思う。△逃げておったが、大分もどりがついた▽となると、この実態はますます悲しい。

△票讀み▽

こうした言葉の背後にあるものを考えてみると、よく候補者を研究していない点もある。だからカンタンに人の口車にも乗る。彼はダメだというデマが飛ぶと、それこそ票は流れてゆく。こっそり流れている金や物の力も感じる。実際は私たちの手に何ひとつ渡らないのだから、動かされる利害もほとんどないのに、動いているといった珍妙な姿もある。

こうなってくると、私たちの生活と政治は直結しているという意識の低さに解決を求める以外にない。悪い政治を追放するよい機会を、あっさり捨ててしまっている。こんなことを選挙のたびごとに考えさせられる。仁保**山本秀夫**

係とよく連絡して

戸籍は、△私たちの身分を保証する登録▽ともいえるのであって、大切なものですから、難しい問題はかならず係にご連絡下さい。これから先昭和23年以後（つまり憲法が改正されて）家中心の戸籍は、夫婦中心の戸籍に変りました。戸主がなくなって、夫婦とその子供とで一つの戸籍ができるので、1軒の家でもいくつかの戸籍に分れます。だから23年以後、出生とか結婚とかで届出した方は、当然新しい戸籍になっていますが、23年以前に届出された方は、もとのままになっていました。それを今年の4月1日から3年間の間に、全部新しい戸籍にきりかえることになりました。全国いっせいに行われます。

筆頭者は夫婦どちらでも

の結婚や養子縁組み、分籍か転籍の届出は、**本籍地**の市町村長に出してください。またなにか届出をするのに必要な戸籍のとう抄本は、△どんな**目的**に使うのか▽を申しでていただき、戸籍係の指示に従っていただきたいのです。（あとになって、本人が困ることがおきないとも限りませんから）

小鯖で〝山を緑に〟の植樹祭

4月25日午前10時から小鯖小講堂で開かれた。林業功労者とコンクール入賞者の表彰、審査報告や議演を行った。小中学校の児童生徒が作ったポスターや標語もはられ〝山を緑に〟の呼びかけは大変な効果をおさめた。

造林コンクールに参加した面積は100町歩73名におよんだが、1等入賞者はつぎのとおり（敬称略）

1人工造林＝杉山亀槌　2天然ぶ育＝田中良作　3天然下種＝坂倉道義

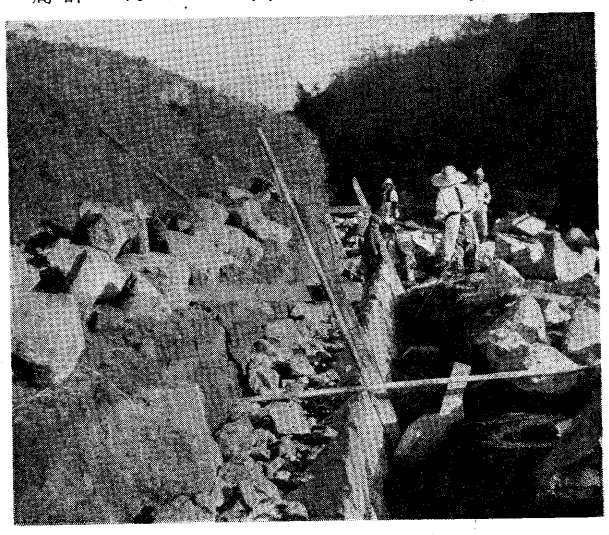
町有林の管理がよかった毛割、樋ノ口の2部落（部分林の新植と管理）4区5区（用材林の保育）に対し個人では平佐林道に功労あった原田隆好氏に対し、町長は感謝状を贈った。

新農事業5月末でそろう

新生運動の部落推進世話人の集いは、3地区でそれぞれ4月中に開かれた。大内は17日、小鯖18日、仁保22日であった。この集いで、今年どんな事業を行うかを打合せた。部落の希望している事業の計画は、4月の末までに事務局に出されることになったが、新農事業の規定にあわせて検討する必要があるので、33年度の事業としてはっきりきまるのは、5月の末になる予定である。このため、5月上旬には部落世話人と計画調整の協議会を開き、なるべく早く新年度事業を発足させることになった。32年度の新農事業は全部完了し、遅れた黒岩林道も去る22日県の検査を終った。32年度の事業総金額は871万円、これに対する国からの補助金は353万円であった。

並山一貫野線の道路改修終る

一貫野に通じる道が、3月中旬立派に改修された。総工費322万で、昨年12月1日工事に着手した。改修した場所は4.5メートルの巾員をもち、延長千200メートルにおよんでいる。この工事は平たんな地帯の工事と違って、岩ばんが多く、現在運行している市営バスもそのまま通しての工事だったから、やりにくかった。この並山・一貫野分校の廃止が条件になっている。



こんなにも石垣を積みあげる場所が続いた。
難工事だったが、もうバスも楽々と通れる。

おわび

毎月のせていた△新農事業▽△産業祭研究発表▽の招介記事は、紙面がたりなくて、4、5月号を休みます。

お知らせ

▽今年の**招魂祭**は大内小で11日前10時から、神式で行います。貸切りバスは井開田8時半、八反田9時に2台あて発車します。帰りは演芸が終ったときで、4時半の予定。

▽乳牛の結核検査とブルセラの出張検査が、5月下旬に行われます。第1次と第2次の検査があり、時刻は同じですから、検査日をお忘れなく。大内が19日、仁保が20日、小鯖23日、25日になっています。出張場所と時刻はつぎのとおり。

大内＝高芝（9時）宮の馬場（10）問田（後2）菅内（後3）　**仁保**＝東園（9）土井（10）両浴（11）下田河原（後2）一貫野（後3）　**小鯖**＝鳴滝（9）飛行場跡（10）

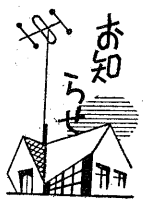
第1次検査のとき、乳牛の血統と能力の調査もあわせて行います。

▽来年の1月1日から、全国いっせいに**メートル法**がしかれます。いままでなれていた尺貫法ともお別れです。取引きなど、重さはキログラム、長さはメートル、体積はリットルか立方メートルと変ります。早くなれておかないと、マゴつきます。肉なども、100匁といわずに、400グラムとなりますから。くわしいことは、産業課へお問合せを。

▽**増築資金**の申込みを受付けています。期限は11月29日ですが予算額になったら締切るのでなるべく早目に。利息5分5厘、月3千円内外のしょうかん。2～9坪までの建増が対象。くわしくは民生課へ。

▽**母の日**　5月の第2日曜（11日）は母の日です。心から「おかさん、ありがとう」と感謝し、おかあさんをなぐさめる日です

▽**こどもの幸福**　5月5日はこどもの日です。今年は5～11日までこどもの幸福を守る運動が全国的にひろげられます



▽**国保へ、**資格申告書は出ましたが、かんじんの医者に出す受診証がもとのままでは使えません。資格はあっても、受診証に記入してなかったら、保険が使えないのです。どうぞ国保係へ

▽**二義青年の250回忌が、**5月13日長野八幡宮で行われます

▽**軍人恩給、**障害年金や遺族のふ助料でもしやと思う方も、ぜひ民生課にご相談ください。来年の3月末までに請求しないと無効になります。文官と軍人を通算して恩給をもらっている人は、どちらか有利な方を選んでよいのです。請求は世話課へ。これらの説明会は5月9日役場で

▽**道路愛護**旬間が、5月6～15日まで、県民運動としてひろげられます。大内町は毎年道路愛護で、県から表彰されていますこうしたよい伝統が私たちの町にはあるのです。今年も立派な道路愛護の実せきをもちたいものです。道路の排水をよくする、ほ装道路に水をまかない、道路に物を置かない――といったことはぜひ守りたいことです。

今月は税金について、少し巾広く紙面をとってみました。というのは、固定資産税がいままでと計算方法が変り、そのためいろいろ質問やご希望が出ているからです。大内下千坊の岡本義雄さんに、えんりょのないところ、町の税金に対する質問とご希望を出していただきました

紙面が許さないので、岡本義雄さんと江藤税務課長の対談も、要点だけを拾いました。

それで、つぎのことがらを読んだうえで、対談にはいられますと、よく解っていただけるでしょう。つまり、税金のあらましをとりまとめてみました。

町の税金は、町民税、固定資産税がおもなものです。今年の**町民税**は、昨年1月1日～12月31日までの所得に対して計算されます。どんな計算方法かは、この記事の最後に、△町民税計算の例▽として出しておきました。

固定資産税も、今年から計算方法が変ったので、昨年と同じ額の人はないはずです。合併当初は、3村が一つの率でいっていなかったので、山林と家屋だけ地ならしをいたしました。ほかの固定資産はそのままになっていましたが、今年から宅地、田畑の評価も同じ率で計算し直おしだわけです。なぜ早くやらなかったかと、おしかりがあるかもしれませんが、とても事務的に不可能だから、3年間すえ置きを法律できめられたのです。田を例にとると、それぞれの田に等級があります。（60～86級まで）その等級に対して賃貸価格が決めてあります。等級ごとに反当り評価の表を作ってやる方法と、賃貸価格の2千100倍で計算する方法とあったのを、3地区いっせいに2千100倍する方法をとったのです。これで3地区の同じ等級の田が同じ税額になりました。

対談　〝こうあってほしい町の税金〟

岡本　税金も町の運営に必要だから、納めることに異議はないが、もっと公平にしてほしい。これは町民税のことだが……

江藤　私たちも、何時もそのことを考えているが、税務署決定の所得額に一定の率をかけて出すいまのやり方では、どうすることもできない。

岡本　税務署は税務署だ。町は同じ自治体内部のことだから、実情にも通じている。独自の課税をしてほしい。その公平さで、逆に所得税を直してゆくぐらいの意気込みがほしい。

江藤　ごもっともだが、それは法律でできない。地方税法で、国が決めた税額にもとづいてやるよう、定められている。町独自のやり方は許されていない。

岡本　それでは、決定前の修正しか、所得税に対してできないわけだ。しかし町民の生活を守るためにも、公平さを押しだすためにも、強力に交渉してほしい。

江藤　それはやっている。不公平な例については、必ず注意するようにしている。だがって、公平な課税にしようと努力しているだけだ。

岡本　それで安心した。すると所得税に対しては、大内町の課税対策協議会を、充実したものにしてゆかねばならぬわけだ。この組織は、もっと末端にまでしみ通り、巾広い活動をしてほしい。

江藤　この協議会は、5月12日に第1回の細かい計画を立てると聞いている。委員は農委、農協など42名いる。

賃貸価格に問題がある

岡本　固定資産税の計算の仕方に、従来2通りあったこと評価の科学的な根きょとなると、これは問題であって、大いに検討を必要とする。

岡本　問題なものをなぜ採用するか。恐らく賃貸価格は、明治時代に決められた、過去の遺物であって、いってみれば近代性のない価格ではないか。

江藤　今回まで何回か修正され、現在のは昭和13年のものだがいまのところこれ以外に頼る数字がない。農道や農業倉庫ができたことで、田の経済的な価値にしても、それぞれの田で違っているところもある。それで、賃貸価格をもっと科学的な根きょに立つため、**評点式**（経済的な条件や土地、気候、水利などを点数で出して合計する）を採用したいと考えている。全国どこの市町村も、この賃貸価格を採用しているが、止むを得ないからだ。5年ぐらいかけてぜひ根きょのある評点式の評価を出してゆきたい。

（岡本さん）

前年の所得が30万円，扶養家族3人の場合の計算例

300,000 － 87,500 ＝ 212,500円
（基そこうじょ）（課税所得）

212,500×6.1/100＝13,420円
（税率）（税額）

13,420－（500円×3）＝11,920円
（ふ養こうじょ）（町民税）

11,920×0.15＝1,720円
（県民税）

11,920 ＋ 1,720 ＋ 200 ＋ 100 ＝ 13,940円
町所得割　県所得割　町均等割　県均等割　（県，町民税）

87,500円の基そこうじょは、昭和32年の所得税に対し税務署がきめた数字。所得の多少に関係ない。

3

年前の衆議院議員の選挙で、山口県の投票率は77％つまり100人で23人が棄権した計算になる。

☆

こうしてむざむざと、貴重な権利を捨てることのないようにと、私たちに必要な投票上の注意をカンタンにまとめてみた。

投票のできる人　満20才以上の日本国民で、選挙人名簿に登録されている人。選挙権があっても選挙人名簿にのっていなければ投票できない。

補充選挙人名簿　基本選挙人名簿にもれた人か新しく転入した人は、補充選挙人名簿にのせる。しかし申請を5月2～9日の間に出していただかねばならない13～16日までこの名簿は一般に公開され、異議の申したてもこの期間内に受付ける。（昨年の9月に申告した人がまた申告をしてはいけません。）

入場券をなくしたら　投票所へいって係に話せばよい。投票時間は午前7時から午後6時まで。どんなものが**無効**になるか。正式の用紙を使わぬもの。候補者でない人の名前を書いたもの

前回は100人中23人の棄権

20万人が「選ぶ権利」捨てる

1枚の投票用紙に2人以上の名前を書いたもの。候補者の名前以外のことも書いてあるものなど。

不在者投票の制度もある。投票当日やむを得ない用事で、町外に旅行や出張をする人、病気で入院する人などのために、不在者投票の制度がある。選挙管理委員会に申しでて、手続きをとれば、告示（候補者が届けでる日5月1日）と同時に投票できる。

投票用紙に**二とおり**ある。こんどの選挙は衆議院議員の選挙だけでなく、最高裁判所の裁判官をきめる投票もある。この投票用紙には裁判官の名前が印刷してあり、不適任と思うときには氏名の上に×印を書き、適任と思うときには何も書かなくてよい

☆

信頼し尊敬する候補者のために運動することは、ちっとも遠りょはいらない。しかしよく間違われることを、**運動上の注意**として、10ほどぬきだした。(1)夜間の街頭演説はできない。午後9時～翌朝の6時まで。(2)連呼は原則としてできない。街頭演説をやっているときだけ認められる。(3)国、地方公共団体（役場など）の建物にはポスターをはれない。一般の民家にはるときでも、住んでいる人の承認がいる。(4)投票所から100メートルの区域内には、投票日にポスターをはることができない。(5)バスなど乗物の中での演説はできない。(6)未成年者や選挙犯罪で選挙権が停止されている者は、運動ができない(7)一般職の国家公務員と地方教育公務員は運動ができない。(8)街頭演説などで選挙運動に従事する者は、選管の出すきまった腕章をつけなければならない。(9)電話で投票を依頼することはよい。(10)戸別訪問はいけない。

新瓦版

2千年前の土器がでる

弥生中期のはじめと推定される遠河式土器（かめ）が、大内地区氷上で発見された。石山組の土木工事の現場からであった。竹べらではいた跡も鮮やかに、県下にも全国にも珍らしい土器。21日県立博物館に送られた。

丈夫な赤ちゃん表彰

4月25日、健康乳幼児29名に町から表彰状をおくった。1等は小鯖の石山ヒロシちゃん。2等、原田紀美枝(大)　梅村正秋(仁)　3等藤岡美智子、来栖元美、江藤静子　江藤直伸、中川浅香　二宮泰の赤ちゃんたち

愛鳥校またも入賞

小鯖中学校の共同研究を

代表で発表した吉村智子さんは、△全国林業改良実せき発表大会▽で、2等に入賞した。愛鳥5年の歩みと題する研究発表には、モデル中学である同校全生徒の苦労がにじんでいた。

和やかな集い30年

小鯖鯖山の向掛部落あげての集いが、もう30年も続いている。共同の献立を、当番が廻り持ちで作る。質素な集いだが、お酒が廻るほどに隠し芸も飛びだし、楽しくたまらぬという。今年も4月27日、30回目の集いを行った。

身体障害者の更生会

藤村薫さんら7人が発起して、更生会を設立する呼びかけが行われている。町内に身体の不自由な人たちは、130人ぐらいいるが、そのうち30人が戦傷による人たちだ。この呼びかけに賛成した人たちの申込がいま続いている。

←問田公民館が落成

立派な公民館ができあがった。この公民館を中心に、問田部落の活動は、いままでよりいっそうミガキをかけてゆくことだろう。開館式に集った人たちの、生々した顔を写真にいれた。残念ながら全部の人を入れられなかったが。

大内町広報

昭和33年6月11日
第36号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

先月号の税金の記事、たくさんの方からほめていただいて、編集者は大変感激しています。このうえとも「皆さんの広報」をよくするため、ご希望なりご不満を、どしどしお寄せください。

書間の疲れで

ぐっすり寝ていたために一俵半の米を盗られた農家が仁保上郷にあります。夜の戸じまりも、もちろん大切ですが、昼間はもっと盗りやすいのです。どなたも、空巣にはくれぐれもご用心!!

税金

町県民税（第一期）

納期は6月末までです早目にどうぞ。

町政の動き

新農事業の今年計画決る

林道・農事放送・集荷場など

最近の町政の動きで、主なものはつぎの三つであった。

(1)新農村建設の事業計画が、出そろった (2)5月16日定例町議会が開かれた (3)5月11日、例年の通り慰霊祭が、全町の遺族を集めてしめやかに行われた。

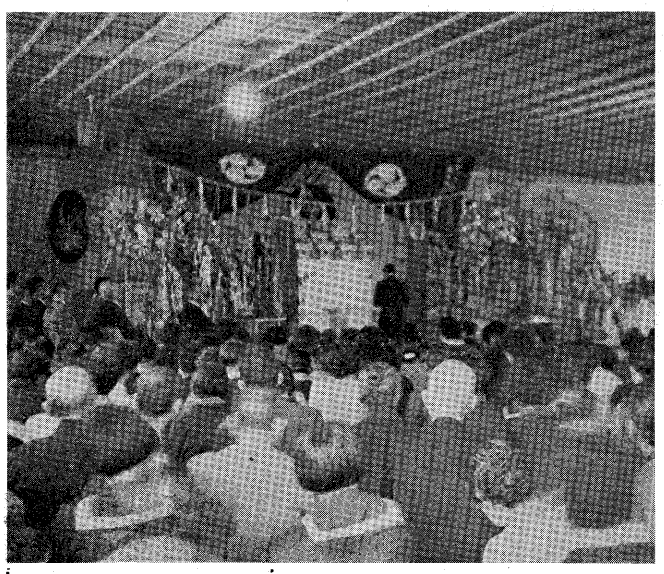
新農事業は、部落や地区から出された案であり、いまから関係官庁へ申請を出すので、事業そのものが決ったとはいえない。また定例町議会では、自転車税廃止にともなって条例の改正と小鯖自動学校に対する貸付金の処理問題が中心的な議題となった。

新農事業を南部（小鯖・大内）地区でいうと、菅内の水路改修で、水路250メートル（30万）頭首工（25万）がある氷上で、頭首工からカンガイ用水をとる「取水口」10メートルに30万を見込んでいる。林道では、藪ガ尻で680メートル95万、鯖山で350メートル35万の二つがある。

大内町の青果物の共同集荷所が、御堀に建てられる計画で、60坪150万円。軽鉄骨を使い、スレートふき。以上の合計で、南部地区は360万円の今年度計画が出ている。

有線放送に520万円

仁保地区のへき地、上郷、一貫野、松柄の農事放送施設が520万の計画である。下郷開拓農協の共同散水施設には、地区合計664万、町全体では1千24万円となる。目下申請中のこれらの事業が工事にかかるのは8月ごろになる模様である。5町歩4万円。仁保機械の購入に、140万円の見積り。上郷一の瀬では、用材林の保育と、薪炭林の改良計画がある。



5月16日に定例の町議会

この日の議会では、まづ税金の問題で、意見が戦わされた。自転車荷車税が今年から廃止されて、新しく登場した軽自動車税のふ課と、木材引取税の公平な徴収が、中心になった。軽自動車税では、牛の代りに使う耕うん機に課税するのは、適当でない——といった意見が出た。この問題は税務課で、よく検討してみることになった。結論的にいえば、課税する根きょをはっきりさせて、公平にすることが強調された。木材引取税でも、正直者が馬鹿をみない徴収をしてほしいと、意見が出た。町有林では正確だが、民有林はルーズに流れていることが指摘された。一つ一つを正確に調べることは、大変な労力だが、至急よい方法を工夫すると執行部は回答した。

自転車荷車税の廃止で、町は147万の財源を失い、軽自動車税で新しく35万の財源を得た

旧村の貸付金を処理

小鯖の小型自動車学校に対する貸付金100万円は、新町に引ついだ後も未回収になっていた。当時の関係者と町議会議員は数回にわたって会合し善後策を講じてきたが、このうち56万円を補助的な性格の貸付であったと解釈して、返済の義務をを免除した。残金については、現在ある建物をすべて町有にすることで、一応結着をみた。

しめやかに慰霊祭

今年の慰霊祭は、5月11日大内小講堂で行われた。全町からつめかけた遺族は、さしも広い講堂にいっぱいだった。大内中の美郷征記、小鯖中の原田利彦、仁保中の小笠原潔の3君が朗読する「靖国参拝」の作文には、誰もが涙をしぼった。

地形の悪条件と戦う

揚山……8軒共有の作業場

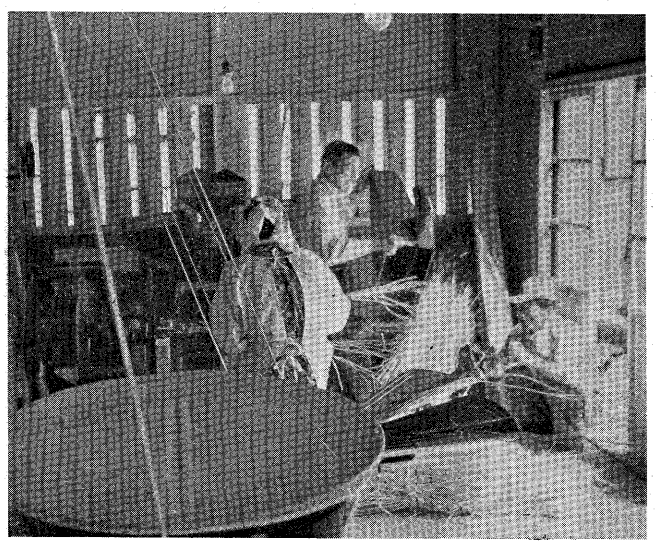
井開田から市営バスに乗って、胸いっぱいホコリを吸いつつ、思いきり揺られると、終点の揚山につく。揚山の共同作業場は、終点のすぐそばにあり、昭和32年度の新農事業の指定を受けて、できあがった。中には、製縄機（動力用）が二台、一俵がけの精米機が一台、石油発動機、自動脱穀機、モミすり機がデンとすえてあった。

8軒の農家が、共同して建てたこの作業場は、建物そのものの共同利用が重点になってはいなかった。

つまり、耕作上極めて不利な条件におかれている8軒が、どうしたらその悪条件を乗り越えることができるか、が問題であった。どの家も一番遠い田まで、一里ぐらいあるという。そのうえ家の高さは、道路から30、50、100メートルという高さに、石垣をめぐらして建ててある。これでは農作業の能率化など、思いもおよばない。

よその3倍も骨を折る

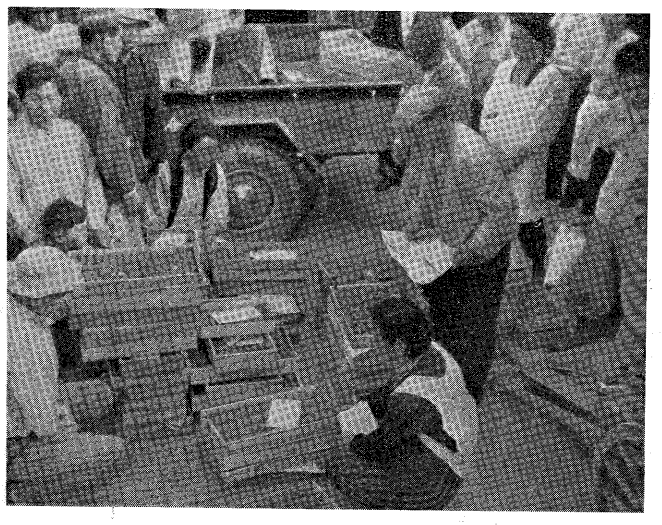
だから石油発動機と自動脱穀機を使って、全部田こぎをやる。大変能率がよいが、途中が大変である。細いあぜ道を、肩で運ばねばならない。この作業場の世話人、池田通政さんは「よその3倍から4倍ぐらい骨を折ります。ここで作った米もよその米も、同じ値段というのは不合理です。」と不平をいう。全くである。地形の悪条件と戦う人たちの努力は、今後もたゆみなく続いてゆく。金をかけずに能率よくという難しい課題ではあるが、こうした悪条件の環境から、理想的な共同作業形体が生れるのも、そう遠くはない。



村田彦熊さんと池田通政さんが，機械の手入れの相談。そばで動力の製縄機が勢よく廻っていた。

鯖山イチゴの名で通る

発足以来もう3年



粒の大小を比較して，手際よく三輪車へ

生々したイチゴを出荷するため、組合員は、朝は5時から起きている。一つ一つ丹念にとって、箱にキチンとならべてゆく。7時半には、川向い青果市場のオート3輪が荷積みにやってくる。だから、朝はまことにもって忙しい。このイチゴ出荷組合には41名の組合員が属しており、発足以来3年たったいま1町2反の作付面積をもっている。組合員一人当りとすると面積は少い。

川向い市場に出荷

イチゴ栽培はかならずしもこの土地に適したとはいえないが、家族の婦人や子供の労分が配分できる長所がある。手間のかかるイチゴ採取の仕事は、一戸平均3畝の面積でもかなり忙しい。水田裏作なので、反当150貫ぐらいのものだという。最盛期は短かく2週間ぐらいであるが、ビワには早く、果物のきれる時期とあって、引っ張りタコだ。現在は、川向い市場だけに出荷他に廻す余力がない。

小規模ながら特産品

今年は花が霜にやられて、平年の半作でった。一山越えて防府市なら大丈夫だが、やはり寒さが問題になる。ビニールを利用する方法も、工夫されようとしている。

残念なことに、連作のせいか、一部に病気が出ている。やはり特産品として売り出してゆくかげには、あれこれと人知れぬ苦労もあるらしい。

しかし、鯖山いちごの名は、山口にはしゃんと通った。かってバラバラだった組合員の足並も、立派にそろってきている。共同の生産物を、共同の出荷体制に育てあげた、よい実例として、この出荷組合の今後の発展が期待される。

おわび

農繁期のため、予定していた小鯖柊、境の晴耕会記事を来月号にのばしました。

お知らせ

▽**銃砲や刀剣類**の所持を取締る法律が、4月1日から施行されています。近ごろ暴力団などが、旧い法律の不完全なのに乗じて、悪用していますので、この法律が出たわけです。県の文化財保護委員会（県教育庁のなか）に申請して、登録を受けないと所持することができません。くわしくは町教委、社教係まで。

▽**大内村史**の、要らない方といっては失礼ですが、眼を通したからゆずってもよいという方はありませんか。汚れていても結構です。社教係へご連絡ください

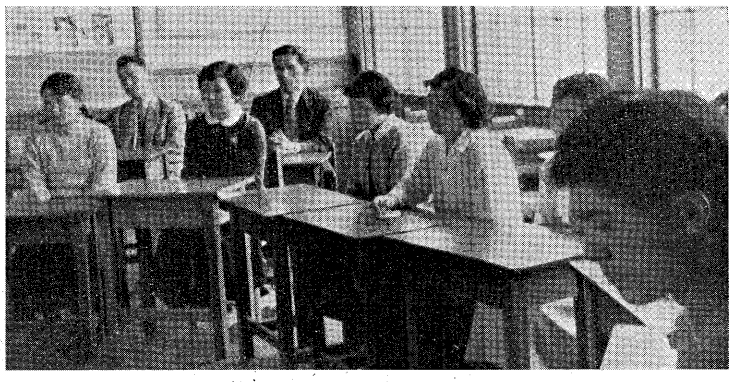
▽約1億の**農業改良資金**が、農家に融通される予定です。技術導入の資金（購入経費などの7割を、3年以内無利子で貸付ける）が、3千700万円ぐらい。施設資金（農協から借る資金の保證をするのと、利子補給だけをする二通りある）7千万円ぐらい。申請受付は6月中旬から。くわしくは産業課まで。

▽2千万円かけて私たちの**社会福し会館**を、県庁前にたてる計画が進んでいます。生活相談や内職の世話もいたします。この会館をたてるため、県下から500万円の一般寄付をあおぐことになっています。大内町では、一戸当り10円の寄付を近くお願いにあがります。

▽**むし歯**は、夜できます歯みがきは寝る前も必要です。最近は学校の児童、生徒にも、大変むしが歯多いのです。

話せば解るけれど

これは、母の日を機会に、母親と青年が話し合った記録を、とりまとめたものです。5月11日、大内中と小鯖公民館の二カ所で行われました。母と青年がより深く理解し合ってゆくための集いでした。



地域社会の母と青年

11日の夜小鯖公民館で会合した母親と青年たちの話題は、私たちの地域社会での活動を主体にしたものでした。だから母親というより、婦人会の幹部、青年というより青年団の有志と、言葉をかえて表現した方が適切でしょう。

もちろん母親として、青年としての考え方と感情が基調にはなっていましたけれども、たとえば「結婚改善」といった話題も、社会生活を改善する立場で取扱われたのです。

この話題で結論的にまとまったことは部落などで結婚改善の規約を作ることは、がいして無意味だということでした。それは近ごろ青年たちの婚域（結婚する区域）が拡がり、ともに結婚改善を強く押し進めている区域同志の結婚は、普通の場合望めないからです。だとすると、先方の親の希望なり考え方で、あっけなくくずれてしまうからです。いわば袋の口を固くしめて、一方の口がゆるんでいるようなものです。この点で、結局、形式的なとり決めは、あまり効果がないということになりました。私たち日本人の悪いクセである、形式で人間をしばる考え方の非合理性が指適されたのでした。だから、結婚する当時者が、現在の結婚様式のムダと虚栄をよく認識して、はっきりと自分たちの理想的な様式を主張せねばだめだということで、結論が出たのです。

このほかに、娘を持つ母の希望として、集会のもち方に意見が出ました。青年たちは、どの家も私たちの集会に理解を持ってほしいといい、母親たちは、人から誤解されるような形の集会はやめてほしい、といったことです。いままで悪かったというのではないけれども、まだまだ心配な点があるからでしょう。

はっきり発言の物を持ちたい

この日の話し合いを総合していえることは、婦人や青年が、地域社会の向上をめざすための、「発言の場」を持ちたい意欲を、はっきりとにじませていたことでした。国民としての権利において、完全に平等にある人たちが、平等な発言の場を持ちたい——こういった息吹きが、言葉のはしばしから汲みとれたのです。小さな一つ一つの部落でも、こうした母と青年の集いが定期的に持たれたら郷土の建設もより多面的に力強さを増してゆくでしょう。

親はコゴトをいいすぎる

母と青年の集いを、もう3年も続けている大内地区では、この日45人の母親と、70人もの青年が集まりました。家庭内の親と子に関する映画を見て、その印象を土台に話題をとったせいもありますが、小鯖の場合と違って、家庭の母と子が話題の中心でした。まず一番に飛び出したのは、「親はコゴトをいいすぎる」でした。よく解っているけれど、やはり可愛いいもんだから……と母は弁解しましたが。

しみじみと話したい

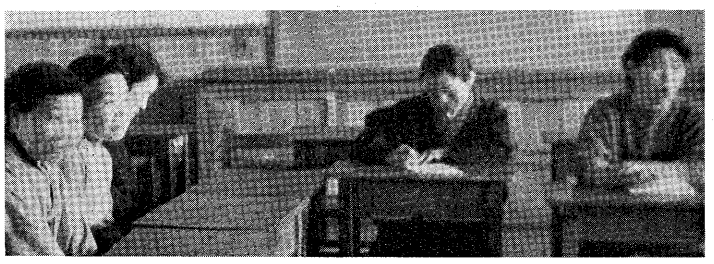
いいおかあさんとは——青年たちの言葉を総合して、理想像をすこしえどってみましょう。老人臭くないおかあさん。服装も若々しく、精神的にも若さを失わないおかあさん。いつもしみじみと話し合えるおかあさん。時代に遅れまいと、よく強勉してくれるおかあさん。娘の着物も、一諸に買いにいってくれるおかあさん。——といったところです。

親ぶらぬ母親

学校を卒業して、成人にも達し、選挙権が生れたとなると、もう社会的には一人前に取扱われます。ところが家庭では、案外そうでないらしいのです。親の権威で、子供に「つべこべいわずにやりなさい」といわれるのが、一番つらいようです。足りないなりにも一人前の分別はあるのだから——というのが青年がわの言分です。だから、一つ一つの問題を、対等に話し合い、その結果、親の意見に教えられたり、すぐれた点を発見すると「さすがうちの親は偉いなあ。年の功だろうなあ」と感心するわけです。自然にわいた尊敬こそ、親をいつまでも親の立場におくものでしょう。親ぶらぬ母親が、いい話し相手になったとき、青年たちは手を打って喜ぶでしょう。

やさしい子が何より

子供から、やさしくしてもらうと、とてもうれしいといったおかあさんがたくさんいました。青年の母といえば、かれこれ50前です。だんだん年をとってゆくと、労働力の面でも経済的な意味でも、誰か頼りにしたいのは人情です。こうした気持が、卒直に出てきたのでしょう。



共済制度は一歩前進した

共済制度が、少し改正されました。いままでより、実情にそうよう改正されたので、一歩前進したともいえるわけです。

(1)**いままで面積が、基準であつたが、収量が基準になつた。**

一筆ごとの面積で、共済金が計算されていましたが、これでは、上田とそうでない田とが一諸に取扱われる不公平があったのです。一筆ごとに基準になる収量をきめて、（つまり平年収量）収穫の多い少いをきめるやり方です。これで、かなりできているようでも、平年収量の大きい田では、当然共済金が支払われる場合があることになります。一石できる田も、二石できるという不合理が、これで解消します。

(2)**4月28日の総代会で、石当り共済金は3千円ときまつた。**

裸麦、小麦も石当り3千円と、決定しました。

(3)**掛金が三つの段階にわかれた。**

昭和24～31年までの資料で被害の実情を、組合では調べてみました。その結果、共済以上の災害に対して。

掛金の率は、理想的には一筆ごとでしょうが、とても事務的にやれませんから、部落別に、災害にかかった度合い、共済金を支払った総額を出して計算したわけです。

(4)**基準収量からみて、3割以上の被害に対しては、共済金が支拂われる。**

共済組合の共済責任は7割以下の収量に対して、発生します。同じことですが、3割以上の災害に対して。

(ロ)評価員の見た見込収量

この(イ)から(ロ)を引くと、被害の大きいときには、大きい数字がでます。その度合いと石当り共済金3千円を掛算しますと、被害に応じた結果が出てきます。これが組合からの支払い金です。

皆さんの共済組合を、立派に運営するため、つぎのことがらに、ぜひご協力ください。

一反以上植えた方は、ぜひ「**共済細目書**」をおだしください。掛金は、できるだけ早く、完納してください。共済金の支払も、遅れてきますから。水稲以外を植えた田は、その品種や面積をくわしく細目書の備考ランに記入しないと共済面積とし合計されますから不利です。

共済金がどんな具合に計算されるかを説明します。

(イ)組合の共済責任収量

その田ごとによって違うわけです。平年作の収量（基準収量）の7割が、組合が責任をもつ収量で、それ以下の収量の場合は、共済金で足らぬところをうめるわけです。

火事はこんなにも恐ろしい

5月30日、大内営内で起った火事は、晴天続きのこのごろなので、またたくまに四軒の家を焼きました。すっかり焼け落ちたうえの写真をご覧下さい。全く火事は恐ろしいものだと、しみじみお感じになりませんか。この火事は、損害1千万円と見積られています。火の廻りが意外に速かったので、馬も一頭焼け死にました。ドロボウはまだがらんが残るけれども、火事ときたら、全部灰になるからと、先日もある婦人が語っていました。大内町全体の消防活動を反省した記事を来月号に予定しています。

育牛に熱心な部落

とてもこんな熱心なところは、郡内にもあるまいと、共済組合の杉山獣医がほめちぎった。丸山では、一月おきに育成牛の批判会を開いてきたが、最近メキメキ腕をあげている。牛も逸品ぞろいとか。この会は、「育成会」と名付けられている。

おかあさんアリガトウ

児童が、母に感謝する作文を淡々と読みあげてゆく。母の日常の細かいところまで、子供たちは見ていた。満足と感激の涙をたたえて、おかあさんたちは涙ぐんでいる。5月12日、東園小の母に感謝する日の一コマ。

ノーシンの原料は

お茶だそうである。ノーシンにかぎらず普通のカゼ薬には、お茶を使うのだそうだ。以前からお茶の栽培をやっている小鯖向山の重宗謙一さんは、数十年医者の薬を使ったことがないと。腹痛もカゼも濃い茶を飲んで、すますという。茶の自給自足は、健康を増進し、経済を助けると、重宗さんは「茶の栽培」を呼びかけている。

雨後のタケノコみたいに

公民館がわんさとできそうな気運にある。仁保の北河内や井開田東、高松、高畠といったところ。小鯖でもボツボツ話が起っている。主として婦人層から声が出て、部落の共有林を資金にあてる計画が多い。秋には、立派に完成するだろう。

←郷土の佐倉宗五郎

二義青年の250回忌は、5月13日、長野にあるお堂の前でしめやかに行われた。清介、角左と名乗った二義青年の家系は、清介さんの子孫だけが現在も長野に居住している。八幡宮で、県立図書館石川司書の講演をきき、古文書を見るなど、この日の追とう法要には、三地区から多数参加。

30万両は夢

30万両がかくされているという伝説がある、仁保並山の経塚を5月6日発掘したが、残念ながら何も出なかった。

大内町広報

昭和33年7月12日
第37号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

皆さんの広報

町政上の問題点をほりさげて、皆さんとともに考え合う広報紙にしたいと努力しています。皆さん方一人一人からお寄せいただいたご意見は、決してムダにはいたしません。どうぞお便りなりご質問なりをお待ちします

ちゃんと理由が

赤痢や日本脳炎、小児まひのなどの伝染病は「はえ」や「蚊」が病原菌を体につけてまき散らしているのです。はえや蚊の駆除というのも、ちゃんと理由があるのです

税金

固定資産税（第2期）
申告所得税（第1期）
ともに納期は7月1日～31日までです。お忘れなく早目に。

最近の町政の動きとして、主なものつぎのとおり。統合中学の第二期工事が初まったこと、問田川改修の着手も間近いこと、小鯖小給食場裏の改修、鳴滝採石場の危険防止、議会の協議会で岩倉と尾曽越林道が話合われたことなどであった。

統合中学五日に起工式

問田川近く改修に着手

統合（大内）中学の第二期工事が235坪1千36万円で落札された。本建築落札者は藤本組、電気工事は東光社、給配水工事は桂工業であった。

7月5日、長者ヵ原の工事現場で関係者が集って起工式を行った。

小鯖鳴滝の採石場は、棯畑に通じる重要道路のすぐ上にあって、従来「危険」が指摘されていた。最近棯畑線を通るバスの台数もふえたし、万一石が採石場から落ちた場合どんな悲さんな事件が起らぬとも限らない。須子町長は山口警察署保安係、地元採石業者と話合いを進め、「危害防止」の工事は着々と進んでいる。

問田川改修に関して、6月13日建設省治水課の宮内技官が来町し、現地を視察した。今年は500万円の工事で、仁保川との合流点から上流、姫山橋の下流（主として上流から見て右岸地区）を施工する。今年の工事費は少いが、総額1億3千万円に変更はなく、明年以降次第に増額される予定である。

6月始めに**小鯖小学校**給食室の裏山が壊れたので、緊急改修を行った。約50立方メートルの土を取り除き、24メートルの石垣を組んだ。この工事は、土が崩壊すると危険であるので、工事は特に急いで行われた。

大内町にとって近来にない大火であった菅内の被災者に対し、日赤山口支部から、毛布や作業衣、県の社会課からも毛布、外とう、靴、作業衣など、コウリ四ばいがおくられた。町と町の社会福し協議会からも見舞をおくった。

岩倉林道は工事費288万

この林道は巾3.6メートル、長さ860メートルで、工事費288万円のうち、144万円は国の補助金がでる。林道が開通すると、宮行造林40町、町有林72町歩、民有林15町歩が受益の面積になる。今年度内には完成する見通し、となっている

尾曽越林道は新農事業

本年度の新農村建設事業のわくに入る予定である。実施するかどうかについては研究の余地もあるので、協議会で話合われた結果、経済と土木委員会の合同委員会に委託された。それで7月8日委員会では現地調査を行った。来る7月16日に開かれる町会の協議会で検討のうえ、結論が出る。工費340万円の予定。

その他菅内の火事など

災害といっても、火事の場合ある程度人為的であり、河の増水は天災的な性質があるが、被災者や被災部落に対する見舞いや援助をどういうふうに決めるかといった問題で協議がなされた。いままで部落の連帯的な考え方で処理されてきた火事の場合は、とくに結論は出せなかった。その他消火用のポンプ設備について、不良機具の改善、大型自動車ポンプの効果、現在の消防施設の整備計画に対する検討が行われた。

議会の協議会は16日に行われます。ご都合のつく方は、ぜひ傍聴においでください。

岩倉尾曾越林道を議会で協議

6月27日、議会の協議会が開かれたが、協議の内容はつぎのとおり。(1)岩倉（仁保上郷）林道の新設と、岩倉町道の改修――従来トラックが入らず、材木の運び出しに不便であった。林道町道を整備することによって、経済効果は大きくなる。(2)尾曽越（小鯖棯畑地区）林道の新設――この林道が開通すれば、棯畑から一貫野に通じるじゅん環道路にもなる。(3)貸付地と部分林の問題――昭和23年8月1日以前に契約された貸付地や部分林については、10年間（つまり今年7月末まで）に自治体の再同意を得ないと、無効になるという法律がある。各地区に、これにがい当する貸付地や部分林があるが、近く議会に提出されて、同意の手続きが行われるはずである。(4)議会事務局を設けるかどうか――このたび法律改正で、町議会に事務局を設けてもよいことになった。議会の仕事もかなりあり、議会活動を自主的にするため専任の職員をもった事務局であるが、執行部に所属しない事務局がそのうち設けられるだろう。

町政の動き

農研グループの変り種

たくさんの農研グループが町内に生れたが、女性ばかりの研究グループは、この「晴耕会」がただ一つ。小鯖境、柊部落の晴耕会は、それだけ異彩を放っている。総戸数60戸のうちで、農業を多少ともやる46戸、つまり46人の主婦が正会員というわけ。ところが、女護ヵ島に最近異変が起きた。

ここもやはり男女共学

晴耕会員の真面目な研究と実力が、ついに男子の参加もうながすにいたった――とまあこういうわけだ。主婦が家に帰って、普及員さんの話はこれこれだったといっても、一家の主人には主人で、いままでやってきた慣習があるかおいそれと、「賛成」はできないえないが、しかし中心的な推進力は今後もいぜん主婦たちの手の中にある。そうならなくてはならぬ理由が、この部落にはある。

8割以上が兼業農家

多少とも農業をやる46戸の8割以上が兼業だから、全戸数60に対する比率は、もっと高くなる。したがって主婦が労働のにない手にならねば、農業そのものが維持できなくなる。「私たちが主導権をもたねば」という主婦の自覚が晴耕会を今日まで育てあげてきた。もっとも、献身的に世話を焼いた二人の女性のかげの力も見のがせない。長井艶子さんと、農試に勤める原田次正氏の奥さんが世話役だ。「この部落に早期栽培がうんとのびたのも、全く晴耕会の

新農事業で補助

上矢田公民館は、前から共同炊事をしていたが、昨年国の新農事業の補助で施設を整えた。これで設備はかっちり整ったが、残念ながら発足は全農家が参加してではなかった。総戸数70戸のうち、30戸の農家があるが、そのうち7軒47名が共同炊事に参加していた。

カンタンにまとまらぬ

食生活となると、私たちの長い間の習慣をかなぐり捨てゆかねばならぬ点が、結婚改善とよく似ている。食物のこととなると、問題はそれだ

▽…二つの歩み…△
主婦の農研グループと共同炊事と

主婦たちのおかげです。」

同部落のとく農原田光夫さんも感心していた。晴耕会によせる部落全部の期待も大きい。7月2日柊、境部落を訪ね、米原普及員を囲んで、田のあぜで病虫害の研究をしている、元気な顔を写真に納めた。農業技術の改良だけでなく、生活全般の改善と向上をめざしている晴耕会の、今後の活躍こそ期待してよい。

見つかったよい世話役

「共同炊事、結構です。だが、農家でなくて、世話すけうるさい。個人個人の好みもあろう。経費が高くてもいけまい。共同炊事をやれば、主婦の負担が眼に見えて軽くなり、それだけ労働力はプラスする――このことが解り切っていてふみきれない原因はどこにあるだろうか。

なにより腹がへらぬ

献立は、山口保健所の栄養士が作ってくれる。一人前の副食に掛算して、几帳面にやればよい。一食15～20円ぐらいと、分館長の渡辺周三さんは説明した。カロリー、栄養素の計算は確かだから、「腹がへらぬ」効果がテンメンに現れた。だから三度ですむ。それで胃の負担も軽く、日本人に多い胃拡張や胃下垂が防げる。農繁期は重々労働だから普通なら馬のように食わねばならぬが、胃腸病が嫌だったら共同炊事に限るわけだ。

る適任者がいなくてはダメです。この部落でもやりたいけれども、非農家でおいそれとやってくれる人が出ないので…」

こんな話をあちこちの部落で聞いた、上矢田の場合、この適任者がいた。御主人が洋服仕立をやっている品川マスノさんが、献身的に世話をしていた。上矢田では6月19～29日までだったが、朝は3時40分起床、5時半には食事を受取りにくる。夕食は6時だが、翌日の人員決定、計算のすむのが11時になる。雇入労力の関係で、翌日の人数の報告が遅れるためだ。あまり条件がきびしいと非農家の人で協力しょうと思っても、体力が続かぬと悲鳴が出る。

お知らせ

▽**夏期講座**が、今年も開かれます。25日朝9時から、大内小で。講師は台湾米の改良で有名な磯博士。

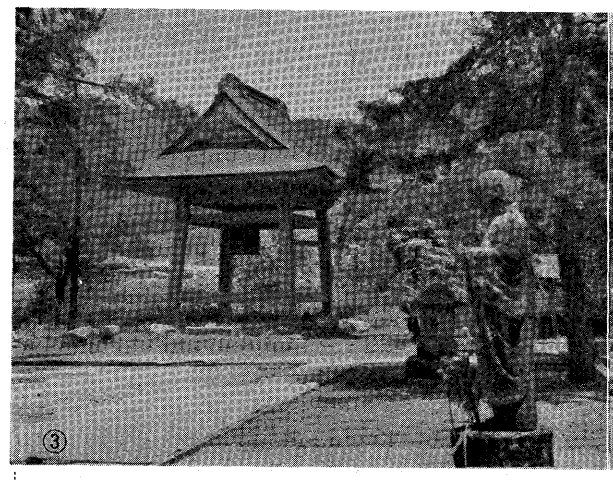
▽**結核**の健康診断を行います 健康に関して、色々なご相談を承ります。子供も老人の方も、家族そろっておいでください。**仁保**上郷7月14日、中郷15日、一貫野16日、**小鯖**＝棯畑28日、上小鯖29日、小鯖支所30日、**大内**小野31日、長野8月7日役場11日。県のレントゲン車が借れなかった場合は、日時を変更することがあります。

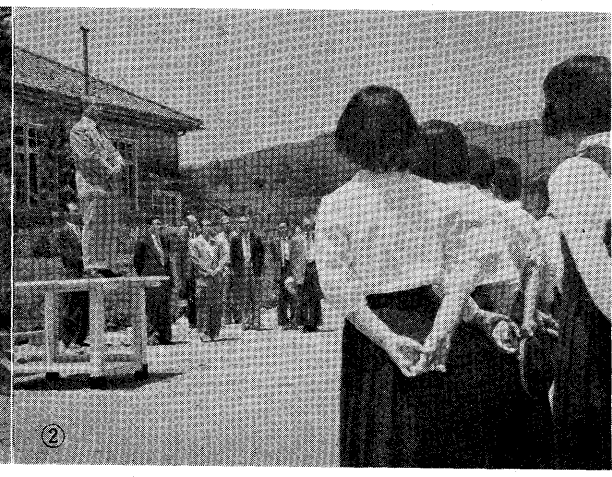
▽青少年を対象として、**林業技術**講習会が開かれます。主催は大内町、県や森林組合が協力団体になっています。期日は7月29～31の3日間。場所は仁保中郷の木戸山。男女を問いませんが年令25才まで、青年15名、少年（中学校）10名以内という制限があります。受講料はいりません。詳しくは役場林務課内林業普及員へ

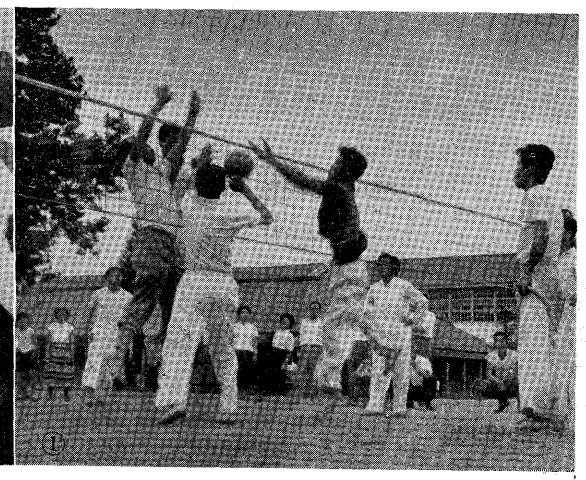
▽夏休みの**生活設計**はできましたか。学校が休みになると、とかく生活もだらけがちです。規則正しい生活は健康を守るため、ぜひ必要です。ラヂオ体操は、早起きの習慣を守るうえにも、参加をおすすめします。親子がそろって何か研究のテーマーを持つと、有意義な夏休みが過せるのではないでしょうか。

▽**秋芳台**に青少年の宿泊訓練所ができました。宿泊料中学生30円、高校、青年団員など40円ですので、うんと安くあがります。食事は原則として自炊。詳しくは町教委社教係へ。

▽**まむし**にかまれたら、すぐ駐在所へ。


③


②


①

農民一き起るが当然

ずっと読み下してゆくと、なるほどこれなら、農民一きが起ったのが当然であると、誰もが同感するに違いない。長野の二義少年の物語は、これまでも広報紙上で度々招介したが、このたびパンフレットができあがった。町史談会の発行で、編者は県立図書館の石川司書。申込は町教委、社教係へ。定価50円。

さながら試合のレクリエーション

グイーンとサーブが力いっぱい叩き込まれる。7月4日大内小で開かれた、町教育振興大会には、町内の各学校から全部の先生が参加した。そしてレクリエーションのバレーは、まるで試合のような激しさを見せた。女先生も、白の長ずぼんで、汗をたらたら流して、熱中していた。とどのつまり、バレーの上手な先生が町内の学校にたくさんいることを証明していた。（写真①優勝戦）

小鯖で室町期の土てい

土手ではない。「土てい（鼎）」の上に湯わかしがぴったりくっついたものであるが、弥生期より明治時代のものまで、ある。仁保では高野原（弥生期より室町期まで）大内では昔乗福寺のあったところ（鎌倉より室町期のもの）から発見されている。小鯖は鯖山で、時代は室町期、特徴は十文字のカスリ形の布目がある。（この項、県立博物館佐伯文芸部長より教えていただいた）

小沢知事、小鯖分校へ

愛鳥運動で県下に押しも押されもせぬ存在、大内中小鯖分校へ、6月中旬小澤知事が訪れた。森林愛護のため、愛鳥運動は非常に大きな効果があると、分校の生徒をげきれいした。知事は、遠く檜畑の籔ケ尻にジープを走らし巣箱の取付け状況などを、実際に視察した。今年は野鳥へ宿をかす運動が、全県下にひろげられる。（写真②）

とかく夏はグッタリ

それでなくても、体力の消もうが激しいが、農家では田の草取りもある。朝早く起きて、老いも若きも、ラジオ体操で体の調子を整えると、健康維持に効果が大きい。今年もラジオ体操の会を盛んにすると、町教委社教係は張切っている。昨年はラジオ体操につくした人たち200人が、町から表彰された。

今度こそ文化財になるか

大内氷上の興隆寺には、大内義隆が奉納した大釣鐘がある。義隆は悲さんな末路をとげたが、鐘は今に残って、思いなしか聞く響も悲しい。いままでも文化財指定の声があったが、具体的に決まらなかった。6月下旬に文部省から担当官が来町して実物を視察、また写真もとった（写真③）

山梨の水げんかと似た話

似た話といっても今年のことではない。左様、大正は12年のこと、上田矢いでが県下で2番目のコンクリートいでに代った。下流の「出合いいで」の農民は水がこなくなるとケンカを始めた。駐在巡査も仲裁に入る。県庁に押しかけ、知事に誓約書（水がこぬときは、いでをもとの通りにする）を書かせたが、この水げんかあっけなく幕切れ。…というのは、河水が伏流水となって、前と変りなく下ったから。

かわらばん

かわらばん

火事は忘れたころにやってくる

ポンプだけでは消せない

火事といえばポンプと、すぐさま問題になるが「消火の条件」として考えるなら、もっと総合した条件が必要になる。農道の問題、水源からの距離、水路などは案外に関心が払われていないようだ。先般の管内の火事では、幸い水路が改修してあったので30分で水がきたが、以前の水路なら、2時間以上かかったろうといわれている。大型自動車ポンプが山口市から来てから250メートルの家は、平地である限り大丈夫水圧がある。しかし、どの部落でも100％の消火は目下のところ難しい。それだけ「火を出さぬ注意」が何より大切になるわけである。

最近町内であった火事。農繁期なので，幸い水はあった。

忘れるもんか、危い火事は片時といえども、すっかり焼きつくしてしまうから、現在の状況では、一生の不覚ということにもなりかねない。私たちの周囲を反省してみて、果して「大丈夫」といいきれるだろうか。その意味で「消防」を色々な角度から分析し、7月8日開かれた大内町消防団の幹部集会での、皆さんの意見もふくめてまとめてみた。

ボンプ12台がいまの設備

ほんとうはいま9台だけれども、もうすぐ国の補助がつくので、3台はふえる。この9台のなかには、三輪自動車が1台動力の手引きが1台入っている。

だから、二人して前後にかつぐ（可搬式ポンプ、15～17馬力）のは7台、もうすぐ10台になるわけである。このほかに、部落で買ったポンプが、大内小野部落に1台（可搬式15馬力、28万円）ある。広い面積を持つ大内町で、台数をふやさねば、初期防火ができぬという考え方から、毎年3台あて可搬式を買入れてきたが、昭和36年には18台の可搬式ポンプがそろう計画になっている。

実地の能力調査はすんだ

消火となると、ぱつんと離れた家でも消す能力がなければ、心細い。可搬式のポンプで、それぞれの部落を実地に調査してあるはずである。ホースのつなぎは最大15本で、1本のホースは18メートルあるから、水源から250メートルの家は、平地である限り大丈夫水圧がある。しかし、どの部落でも100％の消火は目下のところ難しい。それだけ「火を出さぬ注意」が何より大切になるわけである。

「一」も同じことになる。水はいたるところにあると考えがちだがせいぜい300メートルのはんいで15分以内に水がないと、全焼はまぬがれない。風がひどければ近くの藁屋根は、最も危い。風のなかった管内ですら、3軒に延焼した。防火用溜池には、国の補助が⅓あるが、施設課に申し出ていただけば、設計や見積りをやってくれる。

四輪か小型か？

消防施設を充実する5年計画は、昭和36年に終る。小型四輪消防自動車は、昭和37年に購入の計画になっている。四輪で機動力を最大限に活用するのも効果的だが、広い面積では、台数をつくした方がよいという結論からである。四輪ということになれば、どうしても常設消防にせねば、機動力にならぬ。だとすると、人件費がかさむ。山口市のように、望楼からいつも監視していれば、緊急出動できるが、大内町の場合そうはいかない。電話があって、近くの人を呼びにいって。それから出動となれば、四輪消防車はいつも鎮火してからくる――などと悪口をたたかれぬでもない。あるにこしたことはないが、小型ポンプが町内に均等にゆき渡ってから、大型消防車へと、現在の計画ではなっている。管内でも7台9本のホースが活動したが、焼けている4軒に対する水源がそれぞれ違った。台数があったればこそだと、いわれている。

とくにワラ屋根は、上からかけたのではだめで、上下からやらねばならぬが、その意味では本数（つまり台数）が必要になってくる。が、とどのつまり、同時に四輪と小型を備えるにこしたことはないが、町の財政が許さぬためである。

一人一人の工夫が何より

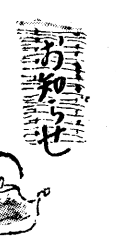
大きくしての四輪より、小さいうちのバケツ一杯。これはどの火事にも当てはまる。それから、まず隣家に報せることである。小型の可搬式もいらぬぐらい初期に消せたら、たしかに理想的である。工夫といえば、川向いの梅本鉄工所では、トビ口の反対側にナタをつけたものを作った。天井を打抜くとき、トビ口ではなかなかとれない。ナタで切り落す必要上、こんな道具が生れた。（見出しのバックは、大小のトビ口と、手製のサイレン）消すための条件を、私たち一人一人の工夫が重なって満たしていったときこそ、大内町の消防は、見違えるほど充実してゆくに違いない。役場のサイレンも、「短かすぎる」との御忠告に従って、これから10回は鳴らすことになった。サイレンも風向きと山があるから難しい問題ではあるが。

▽**家畜**精液の料金未納の方は大至急お願いします。7月2日以後は、牛が初回で800円と1千200円。再渡しの場合はアンプル料20円と引換えにします。時間外（午後5時以後）には、今後精液をお渡ししない方針です。

▽**自衛官**の募集が行われています。7月21日まで、2等陸海空士で、18～25才までの男子。試験は7月下旬から8月上旬まで1日間で終ります。詳しくは、町役場総務課庶務係へ。

▽今年の**保険税**は、6月からふ課されます。なるべく全戸が保険税の納税組合に加入していただくと、月々の納税がおっくうでなくなります。保険税は10月から1割ぐらい治療費が値上になるので、少し高め（平均100円ぐらい）になっています

▽**商業統計**の調査が、7月いっぱいに行われます。これは行政上の資料としても、重要な統計調査です。役場から照会がありましたら記入についてぜひご協力をお願いします。内容は税金の資料に使うはもちろん、人にしゃべってもいけないのですから、どうかご安心ください。



▽大内農協で、建物共済の実情を調べてみました。最近**火事**がひんぱんに起りますが、万一の場合に備えてどんな対策があるか。ちょっとごひろうしましょう。337件で金額は1億235万円。建物1件当り契約の平均30万円。最高100万の契約17名でした。管内の火事で、契約者は2名、金額は1軒が全焼で50万円、残り1軒は⅓焼けて10万円加入で、3万8千円でした。

昭和33年8月8日
第38号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

大内町広報

皆さんの広報

町政上の問題点をほりさげて、皆さんとともに考え合う広報紙にしたいと努力しています。皆さん方一人一人からお寄せいただいたご意見は、決してムダにはいたしません。どうぞお便りなりご質問なりをお待ちします

一雨千金

ほんとに待ちに待った雨が降って、カンバツの危機をぬけ出しました。よかった。ほんとによかったと、おどりあがって喜ぶ皆さん方の顔が見えるようです。

8月の税金

町民税（第二期）
個人事業税（8月16～31日）
期限内に早目にお納めください。

公有林貸付に平等と統一をかけて

町有林の本質を追求
暑さにうだって丸3日

今日の公有林は旧藩時代の部落林が、過去幾度か部落の合併によって行政区域を拡げるに従い、次第に公有林としてまとめられてきた、遠いつながりを持っている。それだけに古いしきたりによって守られてきた権利は、祖先の苦闘をしのばせて、そう簡単に変らなかった。だから100年という長期の貸付も、当時の意識としてはかならずしも不当ではなかったかもしれない。

しかし一方では、町有林は町民全体の福しの増進のためにこそあるのであって、今日では部分林も平等な条件の下に、処理されなければならないという主張も当然である。あるべき姿からすれば、全町的な統一ある形で、処理され育てられてこそ、町有林の今日の存在意義があるのではないか――といった主張もたくさんあった。

これが個人的な貸借関係であれば、戦前の100円を、戦後返しても文句のつけようはない。しかしそれを是正する法律が出て、しかも今日町有財産として最も比重の高い山林だけに、是非をめぐって激しい論争が続いた。6月28、7月16 22日の議会は全員協議会を丸3日かけて行い、22日午後6時から本会議に切りかえたが、投票の結果、全員同意を与えることを否決した。つまり従来の契約のままを続けてはならない、と結論を出したのであった。しかしそれぞれの町有林は、今日まで部落や個人の骨折りで無事に育ってきた。そうした一つ一つの実例に立って、近く妥当な契約更新がされるはづである。

第2回の予算追加998万

7月31日、8月1日と2日続きの町会では、まづ町選管委員が一名増員になった。小鯖毛割の藤井ヨシ子さんで、補充員には小鯖柊の長井艶子さん。議会の選挙によって決められた。

非補助の土地改良事業に、利子を補給する条例が定まった。農林漁業金融公庫から借りた資金利子の、4割以上を補給すると定めてある。いま一つの条例では、町営の土地改良事業で、受益者に経費をふ課し徴収する条例であった。つまり、従来の耕地災害復旧の地元負たん金を、町長がふ課できるよう、条例で定めたわけである。この条例は土地改良法に基いて定められた。

追加の半額は林道

消防費に28万の追加、可搬式の動力ポンプ1台を購入するためで、経費は大内小野地区からの寄附。土木費の追加。仁保岩倉線の改修240万、30年災害藪小路橋145万、32年災下市橋32万などがある。教育費で49万の増。給食場裏の修理で25万、統合中学運動場の側溝など16万が主なもの。産業経済費では323万の増で、岩倉林道の工事費293万が大きい。農山漁村建設総合施設費で、尾曽越林道に130万を見ている。これで前回の予算9千769万円は、998万増加して、1億767万になった。尾曽越林道は国の補助90万、地元負たん250万計340万で今年度中に完成する。地元負たんの250万のうち200万は事業主体たる小鯖森林組合が借り、1年間に部落10万、町が40万の割で4年間に償還することになる。

問題になった法律179号

地方公共団体は、特定の個人か団体に、独占的な利益を与えるような、財産の処分をしてはいけない。また10年以上にわたり独占的な使用許可をしてもいけない。これは私たち全住民の財産であるからには当然のことであり、もしやるときには、全住民の投票できめるか、議会で3分の2以上の同意がないと行われないのです。これが**地方自治法**第213条2項にきめてあることで昭和23年8月1日から法律179号として施行されています。ところが、これには改正された附則第三条がついていて、23年7月から10年以内に、必要な同意を得ないと、23年鯖8月以前の契約は全部無効になるとしてあります。10年後、つまり今年の7月末で期限切れになるわけです。附則第三条にはさらに造林について、造林を目的とする土地使用の契約を23年以前にしても、立木が森林法の適令伐期令級以上になっていなければ、達するまで契約は有効であると定めています。

この法律が、主として問題になったのは、旧大内村の100年間の貸付地でした。台帳面積70町、実測250町歩が、大正2年の契約で、貸料を一括して町に支払っていました。契約書にのっている貸料を年間に割ると、1反が1年10戔以下になります。当時の金としては至当な金高であっても、インフレの進んだ現在では夢みたいな話になりました。もちろん、23年以前の部分林契約は小鯖にも仁保にもありました。これらが一括して、議会に出されたのです。昔は山林の価値が低かったこと、終戦後金の価値がうんとへったことなどから、早晩改正する事情の下にはあったわけです。

解説

改良区の総代31日に選挙

大内、小鯖の土地改良区総代選挙が、8月31日に行われる。投票所は、大内が役場横の研修館、小鯖は支所横の公民館で行われる。投票時間は午前7時～午後3時まで。選挙に関し、心得ていただきたいことはつぎのとおり。

▽選挙人名簿＝一搬の選挙人名簿と違って、土地改良区で作られる。従って異議の申立も土地改良区へ。

▽じゅう覧の場所＝小鯖は小鯖支所。大内は町研修館

▽じゅう覧時間は前8時半～午後5時。期間は8月16～20日まで。確定するのは8月25日

▽開票＝投票と同じ場所で、午後3時半から。

▽立候補の資格＝25才以上で改良区の組合員であることなど。

▽**立候補届**＝告示の日11日から8月21日までに、**小鯖は**支所へ、**大内は**役場内の改良区事務所へ。

▽定数に達せぬと、選挙は**やり直し**になる。定数は小鯖が30名大内が30名。

▽詳しいことは、役場内土地改良区事務所へ、どうぞ。

紙上町民室

町民税が高い

質問 町民税が昨年と比較して急に高くなったように思うが。（とく名希望、小鯖一農民）

答 そんなご質問をあちこちからいただいております。

一番大きな原因は、反当りの所得基準が、昨年と今年で違うからです。昨年は一昨年の風害による減収を見込んで安かった。今年は昨年の比較的豊作を基準にしているからです。反当収益の見積りが高いことに対して、郡の農業委は**あげて反対**し、町も極力引下げるよう努力いたしましたが、希望するところまでゆきませんでした。その他の点では実例をあげますが、高くなった要素はありません。

（実例は耕作1町、6人族家）

	32年	33年（単位円）
1町（1級田）耕作	125,100	200,600
麦 8 反 費	31,700	29,600
牛 馬 費	−16,500	−17,000
差引所得	140,300	213,200
基そ控除	80,000	87,500
課税総所得	60,300	125,700
算出税額	2,820（4.7/100）	6,620（5.3/100）
ふ養控除（1人500円）	3,000	3,000
町所得割	0	3,620
〃 県	0	250
均等割	300	300
税額	300	4,170

深刻だつた20年ぶりの水不足―大内小野で

▽**夏期講座**が13日、仁保小で開かれます。時局解説で、講師は中国新聞社整理部長。

▽**造林**の補助申請は、9月20日までです。人工造林は1反以上、天然下種補整は3反以上。明年春植付される人も、補助申請が必要です。補助金は造林作業がすんで、県の検査の後に支払われます

▽**早期栽培**の米は、乾燥法が悪いと、胴割米が多くでるという欠点があります。乾燥した米が空気中の湿気を急に吸収すると胴割が起りますから、稲かけにかけて度々雨にあうのもよくありません。直射光線を当てるのも胴割の原因になりますから、一日中ムシロで干してもいけません。朝と夕方だけ干すわけです

▽**無免許**の運転が、最近ぐんとふえています。みんな免許があるんだからと、善意に信頼していると、とんだケガをさせられます。6月には無免許で千人以上つかまったのですから。

▽**カンバツ**対策に国は補助金を出すと、7月4日の閣議で決定しました。団地ごとに工事費や購入費が、それぞれ**5万円**以上に適用されます。また農林漁業資金や農業改良資金などを貸してくれます。国の補助からもれた共同事業には、**町が補助**を出します。井戸掘など用水確保について、2万以上5万以下のものについて5割以内。ポンプの購入など2万以上5万円以下のもので、買った金額の3割に当る額の、6割5分を補助します。

お知らせ

▽ 今年も県下の**実義大会**が仁保井開田のクラブで開かれます。8月21 22 23日の3日間で、正午から開演、午後10時ごろまであると。大阪、島根、広島からも参加者があり、今年はとくに盛大な大会になるでしょう。

▽ **乳牛**の乳を出す能力を検査することになりました。ホ種、雑種を問わず全部の牛に行われることになりました。乳牛を改良し、酪農経営を安定させ合理化してゆくのがネライです。検査を受けたい方は、産業課へ。

▽ 町内の碁将棋**最高位**戦が行われます。主催は町の公民館、期日は8月30日。会費200円で、申込は公民館へ。腕に覚えのある人はどうぞご参加ください。観戦も自由です。

▽ やすくにの遺児9名は7月28日上京しました。

▽ **身体**しょう害者の更生会が近く発足します。7月18日、準備委員会が役場の一室で開かれ、協議しました。まだご存知なかった方は、すぐ民生課へご連絡ください。

▽ 戦時中、**学徒動員**でケガをした人も、恩給法の適用を受けることになりました。6項症以上ですが、どうぞ民生課にご相談ください。

▽ 町内で3人の「**さくてい師**」が新たに養成されました。仁保松柄の井上勉さん、小鯖7区の西村徹正さん、仁保丸山の岡部清人さんで、さくていを必要とする方は、この3人に連絡してください。岡山へ70日間派遣され、技術を学んだ人たちです。

暑さにめげずハッケヨイ

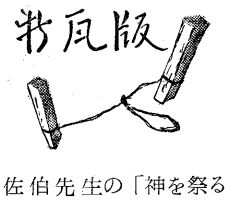
大内上矢田のむつみ食堂主人溝部唯一氏が，青少年の鍛錬にと土俵場を提供した。まだ未完成で，上の屋根もふいてないが，去る15日大内中の生徒たちが早速利用した。山口で行われる相撲大会の出場選手を決めるためで，ご覧のとおりハッケヨイ。(**写真**(1))

川向いの古墳から鐵の剣

7月4日の発掘で鉄製の剣が発見された。県立博物館の佐伯先生が立会し，郷土史の熱心な研究者である江藤茂さん，長谷川さんなどが協力した。剣はボロボロになっていたが，博物館へ保存してある。約1800～1500年前のものと推定。

この暑さでも松柄は別天地

うだるような日が続くが，30日の松柄（仁保の奥，八坂に続いている）は涼しかったと，史談会員が，まるで日本アルプスにでも登ってきたような顔をしている。史談会今月例会は松柄で開かれ，博物



館佐伯先生の「神を祭ること」の話を聞き，金刀比羅宮の宝物も拝観した。

義太夫で全国優勝

素人の義太夫大会が，大阪で開かれ，仁保高野の吉田清風さんは，ついに金的を射とめた。優勝旗，カップ，賞状賞品と，持ちきれぬほどもらって，吉田さんはうれしい悲鳴。吉田さんの生がいの最良の年であった。(**写真**(2))

原爆許すまじ

原水爆の恐怖を世界から追放しょうと，8月12日には東京で世界大会が開かれる。この大会に日本国民の悲願を生々しく伝えるため，長崎～東京間の自転車レースが計画され，去る25日大内町を通過した。中学生120名をはじめ，農試，農協，役場などの職員が延200人も参加し，沿道の人たちも盛んに拍手を送った。(**写真**(3))

そ菜品評会ともなると，見事な品がずらり

規格と量をそろえて

産業団体の動き

商品化への努力を続ける

産業団体の工夫と努力によって、産物の商品化が着々進んでいる。すべての団体を招介することはできなかったが、組織と運営の統一が、これからの新しい課題になろうとしている。紙面の都合上、そ菜果樹、養鶏などの組合にとどめた。

従来と方法かえたそ菜品評会

大内町そ菜出荷組合と大内町役場と共催の品評会は、7月19日川向い青果市場で行われた。いままでと違ったネライは、少しの優透な製品を出しても、継続的に出荷しなければ、結局商品ではないのだから、「量をまとめる」点に注意が払われた。従来の品評会が、多分に家庭菜園の色彩を持ち、まぐれ当りできた一株でも入賞する可能性があったのを、商品ごとの規準量で、はっきり統一した点が違った。こうなると、栽培面積も相当必要になってくる。同じそ菜の中でも、何か特定のそ菜を専門的に研究する栽培者が、日頃の腕自慢を競う結果になった。夏そ菜も巾が広く、時期も少し遅れた感があったが、出品物は技術的に向上していると、県農試技師の講評だった。一生懸命世話して作った125点の出品の中から、入賞決定後賞品授与を行い、青果市場の土間にゴザを引いての懇親会は、自由な討論と話合いのうちに暮れていった。

当日の入賞者のうち、一等はつぎのとおり。

なす＝金屋政夫（大内）池田峯雄（仁保）とまと＝村中寅二（大内）たまねぎ＝吹屋貞（大内）きゅうり＝中川勝（仁保）すいか＝須子裕士（仁保）

養鶏組合3地区を統合

大内町の養鶏農協が、近く設立総会を開く。町からの呼かけに応じて、選出された委員の間で種々協議がもたれ、ついに苦労が報いられたもの。山口県は岐阜県とならんで、全国的な養鶏県であり、とくに飼料は一番安い購入法をとっている。大内町の養鶏組合でも、貨車単位で買って、中間の経費をはぶくので、610円のとうもろこしが、537円で入る予定である。成鶏の完全配合が770円の市価に対し635円、魚粉（蛋白50%以上）860円が740円といった具合である。一週間に一度組合からオート三輪が飼料を運び、帰り便に卵を運ぶ。設立総会はまだだが組合員の希望が強くて、もう仕事を始めている。小鯖は遠く稔畑まで卵をとりに行っている。飼育者が少いところは1回5～10㌔の卵しか集らぬが、全町を区域として発足しようとしているだけに全部平等にプールでいくという。苦しいだろうがここに、3地区を統合した意義がある。設立委員の一人である仁保養鶏の秋川常務は、毎晩農繁期を部落遊説に歩き、3食抜いて家に帰ったら午前3時半だったこともあると、これまでの苦心の一端を語ってくれた。

桃の味はずばぬけてよい

大内町果樹組合連合会の果樹品評会は7月20日に開かれた。場所は仁保深野の、青果物集荷所であった。出品30点のうち、リンゴが1点で他は全部桃であった。開催場所が桃の産地だけに、桃の出品は見事なものばかりであり、審査に当った農試の安田技師も、立派であると折紙をつけた。しかし中には病虫害に浸されたものも若干あり、選別をもう少し厳密にやって粒をそろえ、商品価値を高めねばならぬ点も指摘を受けた。

大内町全域を対象にしての果樹品評会であったが、小鯖地区からの参加はなく、残念ながら結局地元下郷地区の出品に限られた。一等＝栗林明、矢田信太郎　二等＝池田峯男、大田昌二（敬称略）

産馬組合も活気づく

昭和4年に発足し、昭和12年には最盛期をほこっていた仁保産馬組合が、町産馬組合として発足したのは32年であった。軍馬の需要がなくなり、その上仔馬の値が飼料代を割る状態では、急激に産馬熱は衰えたが、最近また向上している、値段も次第によくなって、採算的にもかなりよくなってきた。現組合長は丸山の藤村薫氏で、産馬の改良と副業化に苦心している。種馬は東園の来栖泰輔氏が管理する優秀馬「頂栄号」があり、種付料は千円である。もちろん人工受精もきくから、便利である。町内の全頭数は267頭、そのうちメス馬は82頭ある。牛でずむ人は別としても、耕作条件で馬を必要とする人たちは、ぜひ幼駒を生産して副業化するよう、広く呼かけると、産馬組合では張切って準備を進めている。

便利帳

▽ 9月は**台風**シーズンです。懐中電灯、マッチ、ローソクはいいですね。それから、火の用心。

▽ 自転車の盗難防止のための、**登録**はすみましたか。盗難は昨年の半分にへっていますが、登録がしてあると、とりにくいからです。

▽ お子さんが外出のときは、かならず**帽子**を……日射病にかからなくても健康には悪いのです。

▽ **あつさり**した食物も、たしかに夏にはいいですね。ところが、これでビタミン、脂肪、塩分が不足してきます。

▽ **小児マヒ**が、今年もまた流行しています。7月18日現在で、県下に105名の患者がでています。はえと油虫が病源の運搬者です。便所には「ゾール剤」をまいて消毒するとよいです。マヒが残ると一生不自由な生活をしますから、疑わしいときは一刻も早く医者へ。熱が出たり、のどが痛かったり、はきけがあるときは一応疑ってみることです

▽ 釈迦に説法ですが、パラチオン剤を使いますので、牛馬の青草にはご用心ください。風下で、これをかぶった草をやりますと、大変です。**パラチオン**中毒にかかると、よだれを流す、餌をたべなくなる、消化が悪くなる…下痢をする、呼吸が速くなる、立つのを苦しがる…といった症状がでます。

▽ 水の犠牲を出したくありませんね。事故の数は**タメ池**が1位つぎに川、海は3番目です。今年こそ1人も出ませんように。

大内町広報

昭和33年9月11日
第39号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

お便りを待ってます

町政上の問題点をほりさげて、皆さんとともに考え合う広報紙にしたいと努力しています。皆さん方一人一人からお寄せいただいたご意見は、決してムダにはいたしません。どうぞお便りやご質問など、お気付の点をどしどしお便りください。

美しい道路

道路は狭く、自動車は大きい——とはいつも私たちが感じることです。道路愛護で大内町は毎年のように県から表彰されていますが、今年も立派に管理されているでしょうか。道路が美しいところは、文化の水準もまた高いのです。

今年も敬老会

小鯖と大内は14日（日）仁保は15日にそれぞれの地区で行います。

山口—防府間の県道改修明春から
統合中学二期工事はかどる

山口—防府間県道の改修は、明春から工事にかかる。統合中学の二期工事は、12月10日を目標に工事を急いでいる。このほか、最近のおもな動きつぎの通り。町養鶏組合の結成、仁保地区で公民分館の建設が進む、野球と武道の町大会が開かれた、身体障害者の福祉更生会の発足、統合中学の運動場改修にPTAが奉仕、大内青年団が県芸能コンクールに一位入賞など。

改修は山口市—御堀間

大内町が防府、山口両市に呼かけて、山防間県道改修期成同盟がつい最近発足した。県も重要路線である山防間改修の覚悟を決め、建設省に交渉を開始した。その際須子町長山口市助役も同行して運動した。防府市新橋一帯の改修が今年完了するので、明春からとりあえず別に新しい道路が椹野川を越えて御堀まで改修される予定。この県道は、大内町の重要な交通動脈であるので、期成同盟会の活動は、今後も力強く続けてゆく。

炎天下に運動場整地

第二期工事は藤本組の手で、着々進んでいる。町は建設工事だけで手いっぱいであり、運動場整地にまで手が廻りかねたのを同情して、統合中学のPTAは自発的に労力奉仕をかって出た。9月上旬、炎天下に作業は続けられ、秋の運動会ができるところまでこぎつけた。子供たちへの、親の温かい贈り物であった。この整地作業に、上矢田の杉山農機では、三輪車を提供して協力した。

仁保で4分館が発足

最近仁保地区で、部落分館の発足が続いた。北河内、高松、松柄、高野東の四つで、松柄を除いた三つはすでに建物をもっている。高畠も目下改造中で、近く発足する計画である。井開田東も、今年中に発足が予定されている。公民館活動が、私たちの周囲を見つめて、共通のチエと力を合せたときが期待される。

養鶏組合30日に設立総会

3地区の養鶏農家を一本にまとめて、大内町養鶏組合は、30日研修館で設立総会を行った。登録数は約6千羽、組合員は130名に達した。卵は約6千貫の出荷予定でこの売上げ460万円、ふ卵は4万2千羽で370万円を見込んでいる。

身体障害者のつどい

研修館で8月25日、更生会が結成された。身体障害者のために制定された法律の趣旨を、広く理解してもらい、お互いにはげまし助け合うことを誓った。会長は小鯖の重宗徳一氏、副会長に三浦円乗—大内、藤村薫—仁保、両氏が選ばれた。

青年団の藝能県で1位

大内青年団の演劇グループは、9月7日の県芸能コンクールで、「足入れ」を上演、一位に入賞した。

8月行われた町野球大会では、大内長野チームが上矢田チームと争って優勝した。また町武道大会は、8月3日大内小講堂で元気いっぱい行われた。（入賞団体と入賞者は左の記事を参照してください。）

町武道大会で、名誉の入賞をした団体と個人の氏名はつぎのとおり。（敬称略）

▽剣道の部

団体（中学校）1等大内Aチーム。2等大内Cチーム。3等仁保チーム。

団体（一般）1等大内チーム　2等仁保Aチーム　3等小鯖チーム

個人試合—▽中学の部—1等3年佐々木勝幸—大　2等2年青木まもる—仁　3等1年大来節夫—仁

▽一般（有段者）1等溝部卯一—大内　2等原田元介—小鯖　3等吉野昭雄—仁保▽一般（段外者）—1等柴崎正博—仁保　2等水津

武道大会の入賞者

常雄—仁保　3等岡久人—仁保

▽柔道の部

団体（中学校）—1等仁保チーム　2等小鯖チーム　3等大内チーム

個人試合——▽中学の部—1等竹重信義　3年—大　2等井上武夫2年—仁　3等原田敏彦3年—小

▽一般（有段者）—1等野間一男—小　2等河村清美—小　3等渡辺正悟—小

▽一般（段外者）—1等山根康博—仁　2等政崎章治—小　3等野田典昭—小鯖

③

②

①

分教場の新学期

一年生から四年生まで、しめて15名——これが仁保一貫野分教場の全生徒である。新学期が始まって、日焼けした顔がづらり教室にならんだ。担任の桂先生夫妻もめっぽう忙しくなった。「ハイ、ハイ」とかわいい声が教室の窓から山々にこだまする。こっそりと、秋はここにもしのびよっていた（写真①）

フォークダンスのブーム

町内の、若い人たちの間に、フォークダンスが大流行している。仁保上郷では、6月から約40名の男女青年が、近くの大富小学校で練習している。小鯖では、もう昨年から50名の定連がいる。大内地区でも、近く始めるため会員を募集している。小さいところでは、問田部落にもそんな話がある。いやもう、大変なブームである。

ラジオ体操を365日

大内の川向い子供会では、夏休みのラジオ体操を、一年中通してやろうと話し合った。寒い真冬でもやろうというのだからこの意気込みも大したもの。9月1日は雨だったが、家々の軒端などで、さっそく実行した。小さい2才の子供から、中学3年生まで、参加者は100名を越すというが、今朝もラジオにあわせて、元気よく行われた。

婦人会造林すくすく

仁保婦人会の造林は、全国的に有名なもの。荒れはてた郷土の山々を緑にしたい夢は、年ごとに結んで、高いのはもう人の脊丈けほどもある。今年は8月4日行われたが、造林地5町歩を、またたく間にすましてしまった。（写真②）

各地でドドンコドン

ピンとノリのきいた浴衣を着て、太鼓に合せて踊るのはたまらない。この夏も、川向い、井開田、仁保市、源久寺、一貫野妙見社と、各地で盆踊りが行われた。大内長野八幡宮で行った、二義青年追善盆踊りは現模が大きく、11部落が競演した。太鼓の音は、遠く豊作の野づらを越え川を渡った。ドドンコドン

野荒しも事情を聞けば

少し旧聞だが、陰徳はとかく表には出にくい。仁保下郷で野荒しが夜中に出ると聞いて、仁保駐在所の山田巡査が張り込みを行った。捕えてみたら、「子供の学用品が買えぬので……」に山田巡査もホロリとした。必要な代金300円を与え、よくさとして帰したという。

部落中のモーターを分解

仁保の高松部落では、8月17日に、部落中のモーターを分解した。農事用だからゴミだらけのものが約20台。西村清輝さんが公民分館長の山本啓次さんに話してさっそく部落中がまとまった。これで不良品が15台ほど出たが、修理に出したから、廃品一歩手前で更生した。「こんな実用的行事を、どしどし」と、部落中から感謝されたという。（写真③—山本了次氏提供）

小鯖の体協えらく活躍

この夏の活躍はめざましかった。全町的行事である武道大会野球大会のほかに、バレー大会や相撲大会（後援）を行い、地区のスポーツ熱はぐんと高まった。11月3日には、地区民の運動会も計画している。スポーツ熱心な体協幹部をかかえて、小鯖のスポーツはのびるだろう。

天狗であるほどよろし

公民館が主催する碁の会が、21日（日）に役場横の研修館で開かれる。会費100円で、賞品もたくさんあると。同好会も当日結成する予定。

お知らせ

▽国保で支払う**タクシー代**は病状からほんとに必要な人だけにかぎります。手術前に町内の医者で診療を受けたら、その証明書に移送費申請書（国保に備えつけてあります）タクシー代領収書を添えて出すのです。すぐ病院に入院したら、病院の証明書と入院届け（ほかの書類は前と同じ）が必要になります。

▽春以来16名の**赤痢患者**が出ています。日本脳炎も、大内下千坊から1名出ました。しょう紅熱は問田と境で各1名発生しました。手を洗うこと、ねずみ、ハエ蚊、油虫をく除することが大切です。

▽**自衛官**募集。9月1日～10月10日まで。年令18～25才までの男子、試験は10月下旬～11月上旬。入隊は明年1月から。志願書など、**総務課**庶務係にあります。

▽**山火事**予防の標語を募集しています。字数は20字前後例…「ちょっと待て、もう一度見ようたき火あと」応募はハガキ一枚3句以内送先＝東京都中央郵便局区内、林野庁造林保護課内、森林保険研究会。締切り9月15日。入選2千円～5点佳作300円～10点

▽**里親**と**職親**を求める運動が全国的にくりひろげられようとしています。気の毒な境遇にある児童や少年たちを、温い雰囲気で育てようという運動です。ぜひたくさんのお申出をいただくよう、民生課ではお待ちしています。

▽臨時**保母試験**が行われます申請書は9月20日～10月1日まで。受験希望の方は、民生課へおいでください。

生活の歌

8月20日、大内町婦人会の総会が、大内小学の講堂で開かれました。町内各地から集った婦人会員で、さしもの講堂も満員の盛況でした。この日――3地区から1人あて生活体験の発表が行われました。それぞれの立場で何かしら希望を見つけだそうとする気持がにじみ出て、参加者一同しんみりと聞きました。生活の苦しみにめげずに、生きてゆく心の張りを、高らかに歌いあげた〃生活の歌〃ともいえるような発表でした。

生活設計に胸ふくらむ

一家の主婦が集会に出かけるとなると、なかなかもって楽でない。主人を送り出し、子供のヒルのおかずを作り、誰か来たらこれこれいいなさいということまで、いっておく。私は常日ごろ、農村の婦人は20日ねずみのようなものだと思う。それほど、こまごました用事がつきまとう。集会には、距離的時間的な制約があるし、ほんとに足元から鳥が飛立つ思いで集会にかけてゆく。

こんなふうで、おっくうになりがちな集会も、出かけてみると気が楽になって、来てよかったとしみじみ思う。いろいろ勉強になることもあるし、まゆ毛の間にシワをよせて子供を怒鳴り散らしてきた日々を反省して、思わず赤面することもある。

ところでこの集会が、本部からの通達や国保の集金などで、ゆっくり話し合える時間がない。時間を守らぬことも原因だが、何よりもまず、時間を生み出すための生活設計が、「いそがしければいそがしいほど」必要なのだと、私たちは考えついた。しかし謙譲の美徳のかげに甘える習性を身につけた私たち農村婦人にとって、強制的なものはフリーパスだが、決して実行への足掛りにはならない。この点を一番悩んだ。でも、いま私たちのグループには、「生活設計」らしいものが、ささやかながら芽ばえた。読書会や、食生活の改善、子供会の世話、質素な新年宴会、春には部落の貯金があるから、見学旅行をしようだのと。もう少し高く、もっと上にと、私たちの胸はふくらむ。（小繋　町田楊子―35才）

愛こそは忍耐強く

一学期の終り、小学3年生になる子供の、授業参観に出かけた。算数の時間だった。……お姉さんがリボンを持っていた。A子さんは、18センチ姉からもらった。B子さんはA子さんの半分をもらった。C子さんはB子さんの2倍より5センチ多くもらった。お姉さんのリボンの長さと、BC子さんの長さは？……という問題であった。これが家庭であったら、子供の質問に対して、こんなやさしい問題が解らなくて――と、一回の説明で解答を要求しただろう。できなかったら、いそがしい私はこっぴどく怒っていたかもしれない。すぐB子さんのリボンが解った子供は約半分、C子さんにいたっては5人しかいなかった。それを先生は、丸一時間かけて幾度も説明した。先生のかんでふくめるような説明を聞いているうちに、じーんと眼頭が熱くなった。子供の教育にはこんなにも忍耐がいるんだと。身辺の雑用にかまけていたにせよ、なんてまあ、私はつっけんどんな冷い母親であったんだろうと。思わずわが子の後姿に手をあわせてわびた。「私が茶碗を割ったらひどく叱るけれども、もしお母さんが割ったらどう思う。お母さんはずいぶん利己主義だと思うな。」

いつかいった子供の言葉が、頭の中をかけめぐる。お母さんが悪かった――と、とめどなく涙があふれて、もう黒板の字も見えなかった。そして、くりかえし自分にいいきかせた。「愛こそは忍耐強く、愛こそは……」と（大内　波多野初己　40才）

部落の新しい芽ばえ

物持ちの多い部落ほど、生存競走がはげしく、封建性も根強く残っているように思う。私の住んでいる北河内部落も、その典型的な一つであるように考えていた。金を貯めることに一心になっている。分限者になると尊敬されるからで、財産の比重がそのまま人格の高下に置き換えられる世界では、利己的になることが、当然の帰結であろう。

しかしいまは違う。恐らく仁保地区で一番遅れ、一番封建的ですらあると自潮していた北河内部落に、新しい芽ばえがあった。部落の連帯意識は、物持ちとそれに従属する人たちの意識ではなくして、平等と共存共栄の意識に根ざしている。何百年と続いてきた古い殻が、こんなにもカンタンに破れようとは思っても見なかった。

駐在員の兼村晴定さんが、非常に理想家はたの人で、農休日を提唱したら、話はすぐまとまった。この日の部落常会は、かってないほどうれしい集会だった。一人の反対者もなく決ったときから、部落の古い殻は音をたてて崩れ始めた。公民館活動も始まった。全戸加入して納税組合もできた。それに私たち主婦15人のグループで、愛妻田を作ったことである。普及員の指導のもとで、私たちもまた農業技術の勉強を始めた。

夜明け――谷々にたちこめたモヤが少しあて消えてゆく姿に、私は部落の姿を連想する。女性としての人権も認められないまま、ほんとに長い長い暗黒であったと自分の齢をいとおしんでいる（仁保　山本ミツ子　50才）

写真（上）レクリエーションの踊りと（下）寸劇〃一寸法師〃

へき地にいどむ武器―研究心と団結

一貫野

最近めざましい活躍を続けている，仁保一貫野部落を訪ねてみた。大内町の屋根ともいえる高冷地で，環境の悪条件を克服して何とか活路を見出そうと，はげしい研究心がみなぎっていた。無角牛，早期栽培，高冷地野菜が，ここのチャンピオンであった。

写真は山本重正さんの家族，もうすぐ臼引きだ。

研究熱心な一貫野部落の中心に、13名の農事研究グループがいる。31年の1月に発足して、2年9カ月続いてきた。実験して土地がらに合うとみたら部落50戸の農家にすすめる、という方法をとっている。耕種改善の試作田や水稲の展示圃が、生きた教材になるわけである。

〃早期〃昨年の5倍にのぶ

昨年2町5反あった水稲の早期栽培は、今年一躍5倍のびた。11町歩にひろがり、反当り収穫量もぐっとふえた。従来は何しろ1石4斗ぐらいのものであったから。土質は砂質土で、地力が低く平均水田1町畑1反の経営では、楽ではなかった。しかし、早期栽培によって、平均反当8俵を目標にできるところまできた。一貫野部落の人たちが躍りあがって喜んだのも、当然である。これでは従来の倍とれる勘定だ。そのうえ、後作で高冷地野菜も作れる。海抜350メートルのへき地は、一転して有利になったわけだ。早期栽培は、苗代から植付まで、共同作業にしているも、大きな特色である。

5年間に100頭の無角牛

山の多い一貫野部落は、耕地の狭いのを畜産でカバーしようと考えた。畜産といっても酪農は、技術も必要だし乳運びも大変になる。そこで無角牛の生産に着目した。無角は色々な点で有利である。▽早熟だから、早く大きくなり、資本の回転がよい。▽肉にしたときの歩止りもよく、商品価値も高い▽和牛より仔牛の値が高い▽昔の無角より改良されているので、農耕にも適し粗食にたえる。――といった具合だ。いま一貫野には20頭の無角牛がいる。13頭は県の貸付牛、7頭は個人で買ったもの。明年6月には、全部が出産する予定である。生れる仔牛を他の地区に出さず、5年間に100頭の無角牛を飼育する計画をたてている。岡久人さんが世話人で、8月上旬にも研究会を開いた。サイロもすでに10基ほど建設した。現在の和牛を、全部無角に入れかえる予定だという。

例会には奥さんもいっしょ

高冷地を利用した野菜には、夏かんらんと秋の白菜がある。これはまだ無角や早期栽培ほど開拓されていない。しかし、部落こぞっての激しい研究心と、強い団結は、みるみるうちに一貫野部落を建直した。水稲の共作会、そ菜の共同出荷、農作物の品評会、家畜の批判会、生活改善、全農家の施肥の調査――と数えあげれば、〃研究心と団結〃が高く脈打っていることがうかがわれる。

最近は農政問題にまで視野をひろめ、討論会も度々開いてきた。へき地の悪条件を克服しようという努力は、こうして一歩一歩高められている。

月例会には妻を同伴せよという取り決めがある。今月もまた一貫野では、幾十組かの夫婦が、楽しい語らいと学びのひとときを持っているだろう。

便利帳

▽**印鑑証明は**、かならずご自分でなさるよう、おすすめします。人に頼んだために起った間違いが、最近かなりあるのです。知らぬ間に財産がなくなっていたといったことにならぬよう。……▽結婚の際や**妊娠**した場合血液検査を受けて、**性病**を防ぐことが必要です。検査は病院や保健所でやってくれます。素人療法でとんでもないことになった例がありますから、ご用心。▽杉の**赤枯病**に、最近銅粉剤が使われています。調整の技術がいらず簡単にまけるのが長所ですが、ボルドー液に優る粉剤はないようです。粉剤は効目のないのもありますから、ご注意。▽**脳卒中**の死亡率が、死亡原因の最高をしめています。しかも農村地帯に多いのです。養生のキメ手は、早寝早おきの習慣、睡眠時間なるべく多く、ヒル寝の一時間も横になって……です。食養生では、味つけをうんと薄くし、大食をつつしむ夕食はひかえ目にする……などです。▽**二学期**はじめは、とかく子供たちが疲れます、夏休み中不規則に暮すと、通学が重荷になるのです。夜おそくまで無理な勉強をさせるのもこたえます。食事にはとくに用心が大切です。▽私たちの**栄養**で、一番不足しているのは、血や肉のもとになる蛋白質、体の調子を整えるカルシュウムやビタミンB_1、B_2、体温を保ち働く力のもとになる脂肪などです。牛乳はこれらの栄養を、消化されやすい形で過不足ないほど含んでいる立派な栄養食品です。

▽**訂正**　前号で選管委員藤井好子さんの住所、「毛割」は「菅内」の誤りでした。

大内町広報

昭和33年10月1日
第40号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

松たけの盗難

毎年時期になると、松たけの盗難が多くなります。町外から、遠路はるばるやってくるようです。防犯組合や駐在所も対策を考えています。せっかくの山の幸、正しい方法で、消費者の食ぜんにのせたいものです。

今年も赤い羽根

16万5千円が大内町の割当です。1戸平均約60円になります。このうち4割が、町内の気の毒な方たちへ活用されます。どうぞ赤い羽根募金に、ご協力ください。

税金

町民税（第3期）
10月1～31日まで
納期内に、早目にお納めください。

へき地6地区に公衆電話

25日町会で条例審議 林野 未了

町政の大きな目標であるへき地開発のうち、通信網の整備は、仁保一貫野に公衆電話がつくことに決って、一応計画どおり運んだ。9月は25日町議会が開かれたが、町の林野条例を全面的に改正する議案は、審議未了のため決定するところまでゆかなかった。そのほか仁保上郷の町道岩倉線の改修が実現に向っていることなどが、大きい動きであった。

岩倉線改修実現の方向へ

町道岩倉線（仁保上郷）の改修は、地元の協力によって少しあて実現の方向に進んでいるが、30日現在完全な了解がついていない。しかしこの町道の改修ができなければ、奥にある岩倉林道の改修も意味がなくなる。林道延長700メートル、巾3.6メートル、町道の延長908メートル、巾3.6メートルであって、実現した場合林産物の運搬はだんぜん能率がよくなる。現在は道巾がせまくて、トラックが入れない状態である。

藪小路橋（大内、問田川）30年災害で落ちてそのままになっていたが、近く鉄筋コンクリートの永久橋に改修されることになった。問田川改修が進むにつれ川巾が広くなることを考えて、将来は現在の2倍、45メートルの橋にできるよう設計することになっている。

10月の議会で引続き審議

林野条例にはいろいろ不備な点がある。そこで町有林の経営案や分収造林、学校造林の条例化、保護区域を設ける点など、従来の内容を全面的に改正して9月議会に出した。しかし、再検討の余地があり、引続き10月の議会で、この条例の審議を重ねることになった。

へき地の公衆電話は、仁保一貫野がこのたび決定したので、合計6地区に設備されている。小鯖で上郷の矢ガ迫、鯖山の禅昌寺前（交通は便利だが、通信の面では不便であった）、それに稔畑が、赤電（公衆電話）を利用している。大内で問田、仁保では東園と一貫野。これでへき地の通信問題は不満足ながら、解決した。仁保上郷は、農協支所の電話があって、従来も比較的恵まれていた。小鯖上郷のように、電話線が通ることによって、間にはさまれた部落にもつぎつぎと私設電話が設備されてゆくであろうから、設備台数としては、今後かなりふえる予想である。

安藤教育委員を再任

25日議会は、安藤哲夫氏（仁保井開田の開業医）の再任に同意した。安藤委員は、9月30日に任期が終るが引続いて委員として在任することになった。任期は2年間となっている。

このほか、臨時出納検査立会人である山根一孝氏が辞職したので、後任を選挙したところ、西村静議員が後任に選ばれた。

臨時出納検査立会人とは、年2回臨時に出納検査をやるときの立会人。3人以上が立会することになって、現在小鯖の清水善達氏、大内の柳良惣一氏、仁保の西村静氏と、3人の議員がなっている。出納検査（町の金の出し入れを検査する）は監査委員によって、毎月行われているが、その検査をさらに公明なものにする目的がある。

長生きしてよかった

各地区で開かれた老人の日の行事には，たくさんの人がつめかけた。老人を正面に，青年や子供も集って，敬老の日を有意義におくった。
おはこの義太夫に，夢中になって拍手したのをパチリ。ある老人――「長生きしてよかった」と。（写真①小鯖会場で）

2段から8級まで

21日役場横の研修館で開かれた碁会では，22人の人たちが終日戦った。仁保地区で碁会が開かれたのと，農繁期にかかっていたので，せっかくの会合も小人数にとどまった。優勝者は小鯖鯖地の熊崎隆季さん。鉢巻きをしたホウキが賞品だたっ。（写真②）

モーしません

少しベソをかきかけた牛の顔。これはカウサッカーを使って胃の中の釘をだしているところ。胃の中に鉄の長いワイヤーをさしこまれるから気持のよいものじゃない。カウサッカーは，最近めざましく活躍している。（写真③）

青年団の演劇，東京へ

大内の青年団は，県の演劇コンクールで1位をとった。東京大会へ出場するが，俳優や小道具方を加えると13名になる。上京の費用をだすため入選劇を3地区でやって募金をと考えた。10月30日夜は大内小で行い，大変好評だった。

展示会はドル箱

農試の展示会に，今年は6万人の見学者を集めた。この3日間が，年に一度のドル箱とばかり，近くの氷上，茅野問田部落は公民館の資金集めの店をだした。青年団婦人会ももちろん店をだしたが早朝からの重労働働で，午後になるとグッタリ。お客も少なくなるし，あくびの連発でどっこいしょ（写真④）

あと4カ月でメートル法へ

明治18年にメートル条約に加盟し、メートル法を採用ときめたのは、大正10年であった。万国共通の計量単位も、従来の尺貫法と雑居して、ずいぶんと面倒であった。しかし明年1月1日から、メートル法に全面的に切り換えると、法律で決った。（土地、建物の台帳はしばらく認められる。）

これに関する罰則はきびしく、取引にメートル法以外を使うと5万円以下の罰金になる。定期検査を受けなかった計量器を使用した場合は、6カ月のちょう役か5万円以下の罰金をあわせて科せられる。ごまかす目的で、計量器を不正に使用した者は、2年以下のちょう役か、20万円以下の罰金をあわせて科せられる。

それで、メートル法にはつぼつなじもうと、商店でも使用するところがでてきた。ラジオ放送にも、新聞雑誌も、切り換えられつつある。明年から、営業や証明にはメートル法以外は使われなくなるから、なじんでおくにこしたことはない。そこで、比較的**近い数字**で、従来使った計量単位を、メートル法に直してみた。

1斤＝約600グラム
100匁＝約400〃
1ポンド＝約450〃
1町（面積）＝約1ヘクタール
1升＝約2リットル
1石＝約180〃

1里＝約4キロメートル
1町＝約100メートル
1間＝約2〃
1尺＝約30センチ
1尺(鯨)＝約40センチ
1貫＝約4キログラム

訓練だより

▽**イモヅル**は貴重な粗飼料です。地上にひろげて乾かすと栄養分の多い葉が下に落ちて、価値がなくなります。三角架（が）にかけて空気の流通をよくしますと、効果的です。

▽**県道の管理**が悪い、とよく聞きます。飲食して、公給領収証をとられぬと、その分だけ県の収入がへります。道路整備に廻す金も、わずかになってくるわけです。代金を払って、この領収証をもらわぬと、せっかくの税金が横に流れます。

▽交通のはげしい道路をかかえて、**交通事故**を防ぐ私たちの心配も大変です。10月下旬は、交通安全運動が進められますが、一人でもぎせい者をださぬようしたいものです。このたび法規が改正されて、車は泥よけ器をとりつけ、除行しなければならなくなりました。

▽**遺族年金**と弔慰金は、明年3月末日で期限が切れます。がい当すると思われる方は、大至急民生課へ。

▽ラジオに**雑音**が多くてこまる家庭がふえています。電気器具がふえたためで、ラジオ店にいくと雑音防止器を100～300円でうっています。

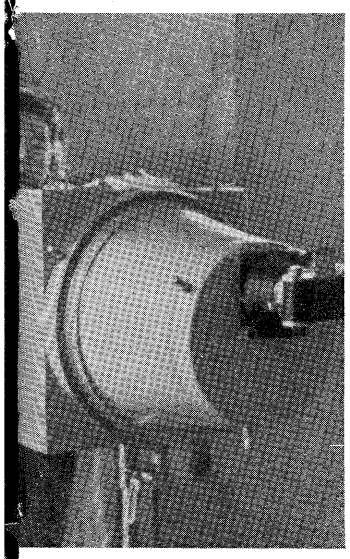
▽豊作だとばかり、今年の**運動会**は派手になりそうです。しかしなかには平素とかわりないニユームのおべんとうを開く子供もいます。運動会は教育的な行事ですから、そうした雰囲気を父兄の方のご協力で盛りあげたいものです。大人のよごしたあと始末を、子供たちがつかれた体でやっているのも、たしかに気の毒です。

いっているか私たちの健康管理

年間の医療費だけで1人当2000円

町の3人の保健婦は、病気予防のため日夜フントウしている。だが国保でみた1人当り医療費は約2千円、6人家族だと1万2千円になる。このほかに置薬や薬店で買う場合もある。人によって違うけれど、病人の多く出る家庭ではなんだかんだとこの数字は恐ろしく高くなる。私たちの健康管理は、うまくいっているのだろうか？

写真は上から、斎藤ツルさん、野草フジ子さん、伊藤フサエさんと3人の保健婦。斎藤さんは経験17年、昨年厚生大臣より表彰された伊藤さんは旧姓足立、経験12年で今春知事表彰を受けた。野草さんは経験7年、仁保地区を担当して、連日活動している。



ナイヨ（仁保井開田で）

町にいる3人の保健婦は、私たちの健康を守るために、巾広い問題と取組んでいる。予防注射、環境衛生、乳幼児の保健、結核の早期発見、高血圧病、受胎調節、はては食生活面の栄養にいたるまでの仕事を、多忙のなかに処理している。直接個人の相談が平均一日に4件、月100件を越える。3人して年に4千件以上の健康相談を受けている勘定になる。こうして急しく走り廻っているのに1人当りの医療費は2千円弱になる。比較的交通の便に恵まれ、医者にかかりやすい立地条件も考えられるが、それにしても、医療費が私たちの家計に占める比重の大きさはバカにならない。もっとひごろからの私たちの注意がゆきとどけば、この金額を引下げることもできよう。

町の保健行政としても反省を加えなければならぬ問題点でもある。町には国保の対象者が約1万人ほどいるが、この中には無病息災を喜んでいる人も相当おり、1人当りの平均額は個々のケースに当ったときかなりな家庭の生活を圧迫している危険性が注目されなければならないであろう。だから、町の保健行政の面からも、個々の家庭経済の面からも、最も有効な手段と方法が究められねばならぬし、具体的には「国保税」の税率引下げの問題ともなってくる。根本的には私たちの貧しさであり、それゆえの過労も考えられるが健康者が増せば国保の給付はそれだけ不要になり、健康増進や予防的な投資をふやすことができる。左の記事で紹介した〝健康と取組む3部落〟が全町に続々誕生したときこそ、こうした方向はいくぶんでも高く押し進められるに違いない。

国保の医療費は、新しい点数表が10月1日から施行されて、約1割（正確には8.5%）値上げになる。1割の値上げには1割の健康増進が、私たちの新しい課題になろうとしている。より増進することによって、今日の予防と治療の非能率的なチグハグは本来の姿にもどるだろう。

医療新点数10月から実施

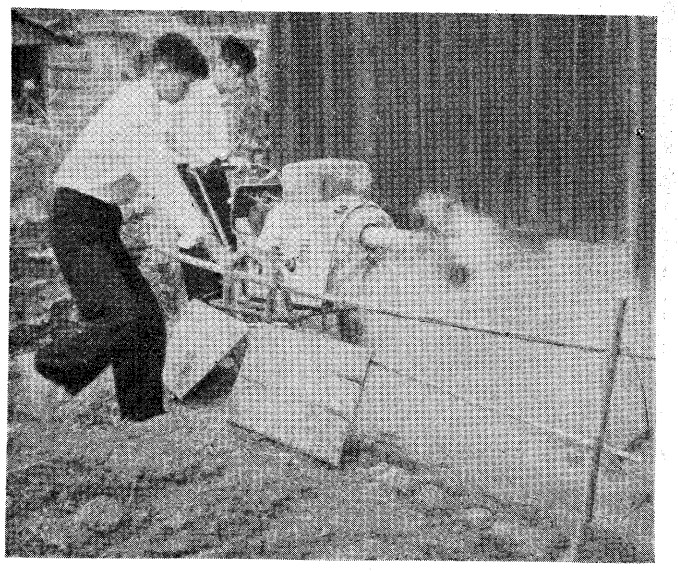
計算は甲乙二つの表でする

健康保険の点数表が、10月から新しくなる。医者が料金を受取る計算をするための点数表のことで、きめられた点数に単価をかけると料金がでる。単価はいままで11円50銭であったが改正されて10円になった。そのかわり点数が上ったので、計算上は約1割の値上げになった。

この点数表に甲乙2種類ができて、患者にとっては大変まぎらわしくなった。歯科医だけは甲乙の区別がなく、全部甲表によることになっている。

甲乙表で計算が違う

甲乙のどちらを選ぶかは、それぞれの医者で勝手であるが、綜合病院（日赤や済生会病院など）は甲表で、個人開業医は乙表をとっている。もちろん甲は入は、診察料、手術料、難しい検査の料金などではいる。投薬や注射代は、薬の原価になっている。**甲表は薬価が原価だが技術料が高く、乙表は技術料としては別にないが、薬価に折込んだ形で支払う。**だから甲表が医者の技術を尊重した点が従来と変ったが、さてどちらが安いかとなるとカンタンにはきめられぬ。計算の基準が違うから、患者一人一人の病状によって全部違った答がでる。甲表では基本料金を払えば診療、投薬、注射カンタンな検査や処置をしてもらうことができるが、特別な医療を受けると、別に料金がいる。（甲表と乙表の計算の違いは右の計算例を参照してください。）



すわ　日本脳炎発生!!（9月22日　農試の寮）

甲表と乙表の計算例

歯科の点数表

歯医者さんは甲表だけ。一般の医師の場合と同じ点数であるが、再診の基本料金（50円）がない。

普通の処置―1歯1回　50円
神経を抜く　80円、虫歯の穴ふさぎ90円、銀錫アマルガム200円、虫歯のグラグラに入れる柱950円、入歯1～4歯まで900円、総入歯（上か下のアゴだけ）2千300円、金歯1千600円、ぬき歯―乳歯100円、白歯210円、前歯140円

乙の計算例

乙表は投薬と注射を除いてほとんど変っていない。初診料は50円、往診料は2キロまで125円　投薬料最低1日28円。注射は皮下67円、静脈98円、胃液の検査188円、血圧をはかる13円レントゲン検査625、耳の処置25円、洗眼25円、カン腸125円、胃の切除7千500円、盲腸3千125円、扁とう腺手術5625円、入院料（食事なし）1日175円

乙表の投薬と注射

1日の薬が15～30円の場合は21円、30～45円は36円、45～60円までは51円で計算をする。注射料は高い薬でも安い薬でも、同じであつて、薬価だけ加わる。注封料は皮下56円、静脈87円である。

この記事の金額は、国保を使って支払う場合全部半額です

甲の計算例　**基本診察料**

基本料金は三種類に分れる
①初診のときの料金　180円
②再診1～2回以後毎日　50円
③入院のとき
最初の1月入院料1日　280円
つぎの2月　〃　250円
4月以上　〃　220円
入院が長くなるほど入院料は安くなる。日赤や済生会などの病院では一日90円の**看護料**がこのほかに必要となる。内科や小児科の慢性病で医師の診断を受けたときは、2週間に1回の割で、**慢性疾患指導料**として130円ほど支払うことになる。

甲の計算例　投薬と注射

投薬と注射は特別の場合を除いて、薬代の原価だけ払えばよい。1日分が60円以下の場合、平均薬価で支払えばよい。

▽60円以下の**平均薬価**は1日1剤（17円）　1日2剤（62円）▽注射皮下（23円）静脈（34円）

60円を越えた場合は、薬の原価ほど支払う。注射も難しい注射や量がたくさん要る場合は、技術料をとられる。

動脈注射（内臓の場合）　300円
リンゲル注100～500ccまで　300円
輸血～静脈内200ccまで　350円
うつ帯とりかえ、悪い部分を洗うこと、カン腸、小便を通じるなどは無料でやれる。そのかわり難しい手術や処置は大巾に値上になっている。

小さい切開　100円、盲腸の手術4千円、小さい切り傷の手当　200円、扁とう腺　1千400円
胃の切除　1万2千円　静脈麻酔　400円、全身麻酔　1千200円

甲の計算例　**各種の検査**

尿や便のカンタンな検査、血液型や血液検査、採血料などは基本料金にふくまれている。とくに経験が必要な場合はレントゲンの透視300円、レントゲン写真診断四ツ切、胸部664円

甲の計算例　**処置や手術**

処置のカンタンなものは、検査の場合と同様に、基本料金にふくまれている。小さい傷のほ

ソロバンずくで

甲乙はきめられぬ

甲乙表のどちらが経済的だろうかという問題は、病気の種類や程度によって個人差がまちまちだから、カンタンにはきめられぬ。相手が病気やケガだから、ソロバンずくの計算どおりにもゆきかねる。しかし、そんな面倒なことを抜きにして考えられる2、3の例をあげると、

▷軽い**盲腸**で手術をし10日間入院の例（単位円）

	甲表	乙表
初診料	180	50
手術料	4,000	3,125
マスイ料	600	0
検査料	80	63
カン腸ガーゼ交換（9回）	0	38
入院料（基準看護料900円をふくむ）	3,700	567
合計	8,560	5,593

▷**カゼ**でいろいろ注射や投薬をした例

	甲表	乙表
初診料	180	50
再診料4回	200	0
内服10日分1日2剤のとき	260	655
注射（皮下2回）	46	154
〃　静脈2回	68	276
（ノドに薬をぬる3回）	0	75
合計	754	1,210

▷カゼで**用心のため**診察を受け2日分の〃のみぐすり〃をもらったとき

	甲表	乙表
初診料	180	50
服薬	34	52
内合計	214	102

▷慢性の**胃病**で20日間医師にかかったとき

	甲表	乙表
初診料	180	50
再〃（2分）	100	0
投薬料（20日分1日2剤）	260	650
便の血液検査2回	100	76
慢性病の指導料	130	0
合計	770	776

夜間の往診は10割増

国保による往診料を、あらましの距離で計算すると、つぎのようになる。

（乙表による）

仁保支所～揚山、役場～菅内仁平寺　8キロ
役場～菅内仁平寺　3キロ
小鯖支所～広昌寺　6キロ以内　198313円
（難路1キロを計算）　375円
〃　～千切　6キロ以内　250円

複製禁止

少なく産んで丈夫に育てる

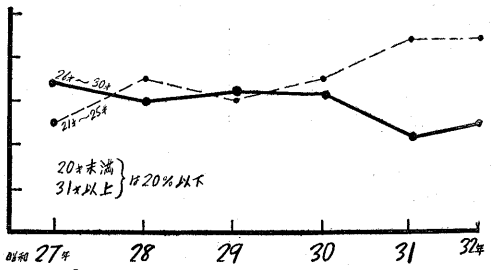
〝家族計画〟めざましく普及

最近統計的に、面白い数字があらわれている。出産年令が21～25才と、数年前より低下していること、出産回数で12回が多く、34回はほとんどなくなっていることである。これは受胎調節の方法がうまくなり、家族計画が大内町で次第に普及し始めたことを物語っているようだ。

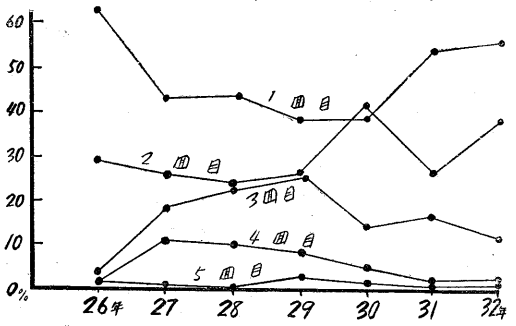
×　×

島根県松江市で開かれた、中国5県国保保健婦の研修会で、町の保健婦伊藤フサエさんは、こうした大内町の実態を研究発表した。町の国保にいる3人の保健婦の研究の婦人が出産したこともあったけれど、ほとんどなくなった。家族計画をたてて、早く産み終えることが、認識され始めたからだろう。母体の中年期を健康に保つ考え方が生れたわけである。更年期になると、婦人の50～70%が健康障害を起すが、グラフにあらわれた母体年令でいくと、一番最初の子供が18ぐらいになっている。これならば母親の手伝いもできるし、小さい子供の面倒も見てくれる。家族計画の意義が、このグラフでみると、ちゃんと実行されてきたわけである。

グラフ(1)



グラフ(2)



グラフの2では出産回数の12回がふえていることを示している。せいぜい3回であり45回となるとグラフにのせられぬほど少数である。出産年令が若くなり出産回数がへってくると、理想的といわれる「35才までに産み終える」こともできよう。

農繁期をよけて産みたい

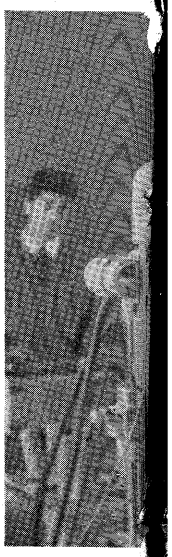
ある主婦から保健婦へ相談があった。

「一人いる子供が満3才になった。そろそろつぎの子供がほしいし、ちょうどよい時期だと思う。しかし農閑期でないと、手間がたらぬから困るだろうと、1月前から避妊をやめた。ところが、体に変化をおぼえるが、ツワリじゃないだろうか。」

とまあ、こういった相談であった。この質問は、受胎調節が効果的に行われてきたことを物語っている。そして、出産の年令と時期を、自分たちの力で調節してゆこうという努力を続けてきたことが認められる。こうしたお母さんたちがぐんぐんふえれば、大内町の家族計画も、やがて立派な実績と成果をもつだろう。

×　×

グラフ1は、出産年令がぐんと若くなったことを示している。昔だったら35や40才と実せきを、伊藤さんが代表して発表したわけである。大内町の受胎調節の普及活動は2年半前から、つまり31年の春から始めている。主としてグループの指導に力をそそぎ、31年255名、32年188名の婦人たちから相談を受けた。中絶は非常に母体の体力をそこなう点を解説した映画の巡回から、啓蒙運動は始った。そして2年半、グラフはその実せきをたたえる数字を示してきた。



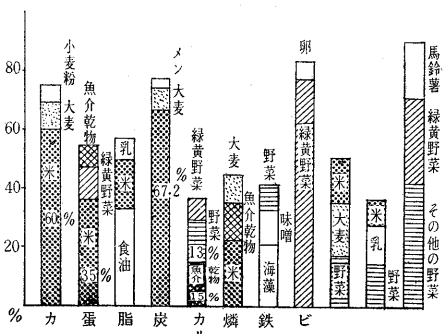
坊や

まだといえる。甲表の特色は診療を行うのに必要な経費と、医療の技術料を、はっきり区別した点にある。もう少し解りやすく表現すると、お医者の主な収入である。

胃酸過多など全部はいる。蛋白質とビタミンをとる量が少いから、案外体に抵抗がないこと、米食をくいすぎて、胃腸病が多いもの、できもの、皮ふ病いっさいが入る。子供の患者が多い。5番目は視器聴器、つまり眼と耳である。眼は近眼（20才前の学生生徒に多い）と老眼（35才

70才以上の老人に…

これらの病気をきりぬけた70才以上の老人は20人に1人の割で総数733名いる。女性の方が、男性より100名ほど多い。



保健所とタイアップの3部落……高血圧病と取組んで2年……

山口保健所と結んで、健康部落を育てようと努力している三つの部落がある。この部落は、それぞれいま高血圧の対策と取組んでいる。とくに患者が多かったというわけではないが、それでも他の部落より多かった。もちろん高血圧だけでなく、あらゆる病気をくらくすることが目標だが、現在の課題は〝高血圧〟である。昨年から発足し、保健所に対する協力ぶりも大きく、モデル地区にやがてはなろうという意気込みすらある。

いま考えられている高血圧の原因には二つある。一つは水質が悪いのではないか、という問題である。すでに仁保高畠でも、水質検査の結果が悪いと出ている。全国的に見ても、高血圧の多い地帯には、水が大きく原因することが、医学的に問題になっている。いま一つは食生活の改善である。白米偏食のひどい地帯に高血圧病が多いことも、すでに証明されている。もちろん白米以外にも、食生活全般にわたる欠陥が、いまの私たちの食生活にはたくさんある。これを証明するものとして、山口保健所が昨年大内管内で行った、栄養調査がある。この部落ばかりでなく、恐らく全町にあてはまる例ではないだろうか。

これでは疲れるのが当然

山口保健所ではこういっている。グラフを見てすぐ解ることは、米の食すぎである。（いまとっている量を、100%として作ってある。例えば現在とっている脂肪のうちに、どの食品がどれだけの分合いをしめるかを示している。）脂肪のような、ほかの食品でとった方が、はるかに効果的なものにまで、米が入りこんでいる。米でとるから、うんと食わねばならぬ。牛をワラだけで飼うのと似ている。そこで胃腸病もでる。脂肪源として、何かと食っているのだが、それらはグラフにのらぬぐらいわずかである。炭水化物は、米を麦におきかえ、砂糖もグラフにのぐらいが望ましい。蛋白質も効果の少ないものからとっているところに問題がある。もっと工夫が必要なわけだ。カルシュウムは私たちの体の要求する½ぐらいしかとっていない。海藻や小魚類がこの表に出てこない（乾物魚介―このなかには海藻や小魚がふくまれていない）麦、海藻、大豆などがここに登場するのが望ましい。燐（リン）とりすぎてよくない。カルシュウム1、燐2が割合としてよいのだが燐が必要以上に多い。これも白米のとりすぎで起る。高血圧になる原因がここにもある。

お医者さんをかこんで座談会（仁保高畠部落）

白い告白　二人のおかあさんの

☆食欲の秋ではあるが☆

子供のおやつには、親としてまったく心を痛める。食い盛りだから時々に出してやる金も積みかさねると、バカにならない。こうしたことから、わが家にはいつの間にか白米をたくさん食べる習慣がついた。米を腹ふっとり食わせるのが、一番安あがりだからだ。先日――保健所の栄養士さんに料理講習をしていただいた。そこで思い当ったことは、わが家の食生活に根本的に誤りがありはしないかという疑問だった。白米ばかりたくさんとると、高血圧、糖尿病、動脈こう化、ガン、胃腸病、心臓病を起すと聞いてびっくりした。わが家には、これらの病気が大なり小なりあるからだ。そうだったのかと、胸をつかれる思いがしたものである。いまわが家に一番必要な食品の組合せを、私は一生けん命に勉強している。食欲の秋ではあるが、どん食になると医療費に廻す金がふえる。その分だけ栄養食品を買ってと、つつましく考えている。

☆罰を忘けた予防接種を☆

3才になる女の子を、病院につれていってみせると、想像したとおりジフテリヤだと診断された。恥づかしい話だが、予防接種を怠けていた。「うちの子にかぎって」とたかをくくっていたのが、一ぺんでぺしゃんこになってしまった。子供が退院して町の保健婦さんを訪れ、いろいろ予防接種のことを尋ねた。忘れないようにと、刻明にメモして帰ったが、ジフテリヤは第1期の予防接種を生後3～6月の間にするのだという。満1才までの患者を調べたら、3回する第1期接種を完全に受けていない人が県下で9割もあったと聞いて驚いた。うちの子供も、その9割の1人であったわけだ。伝染病のうち、免疫の効果がある種痘、ジフテリヤ、腸チブス、パラチブス、百日せきは、予防接種を受けねばならぬと、法律できめられている。「もっと母親としてしっかりしろ」と苦情をいう主人の前で、予防接種を怠けた罰だったんだわと、赤面しつつこれからの勉強を誓っている。伝染病って、ほんとにこわいんだから。

似た町との比較

―世帯当りの負担など―

大内町に人口の近い町を選んで、保険税の額や、1世帯当りの負担額、1人当りの医療費などを比較してみた。

収入の部	保険税	一世帯の保険税	国庫補助金	一般会計繰入金	その他収入	被保険者
大内町	5,277	（平均 2,363円）	4,948	2,600	748	10,094人
町島町	4,665	（〃 1,748〃）	4,104	1,614	150	10,159
町町平	3,622	（〃 1,586〃）	2,644	1,000	216	10,128
均		（〃 2,134〃）				

支出の部	保険給付費	一人当医療費	事務所費	保健施設費	その他支出
大内町	9,248	1,835円	1,328	880	760
町島町	7,855	1,548〃	1,218	393	862
町町平	4,545	894〃	900	213	1,700
均		1,574〃			

（単位 1,000円）

この表で見ると

1人当り医療費は大内町が一番高い。私たちが納める保険税の、実際には倍近くの医療費がかかっている。そこで不足分は、国からの補助金と、それでも足らぬ分を一般会計（つまり役場の予算）から補っている。事務費には保険税が使えぬので、大半を国の補助、一部を一般会計でまかなっている。保健施設費は、保健婦の活動に必要な経費であるが、一般会計からくり入れた金に、一部国からの補助金をたしている。1人1千835円は医療費の合計で患者はこの半額を支払った計算になる。

の10割増で、合計750円になる。以上の計算は、国保からの支払いも合計したもので、実際の患者の負担は、½になる。

（キロがピンとこない方は、4キロを約1里として、お宅までの距離を計算してみてご覧なさい。）

ふえた早期のあと作利用

紋枯防除に大半が適期をのがす

大内町の早期栽培は，昨年にくらべて，異常な増加ぶりを示した。約130町歩にもおよんだが，栽培技術の上では，いろいろ改善点が残った。柴崎普及員に，病虫害防除，あと作利用，とくに注意しなければならぬ点を解説してもらった。

紋枯は早期につきもの

防除の適期をのがしたのが大半だった。早期栽培には，かならず〃紋枯病〃はつきもので，この点の注意がたらなかった。こうした病気は未然に防がねばならぬのに発生してからさわぎだしたという感じだった。そこで当然のこと手おくれとなった。6月中下旬に第1回の防除を，**出ても出なくても**やらなければ効果がない。第2回は7月の上中旬。この2回の防除はぜったいにかがせない。発生がなければ，手間をはぶいてやろうという気持があったのではあるまいか。〃紋枯〃被害が大きかった今年の早期栽培には，防除の適期をのがしたところに，最大の理由がある。

苗代から本田の初めにかけて，ウンカ類の防除が徹底していなかったことは，多量にゴマハガレ病を出したことでもうなずける。ウンカの直接の被害としては，夏ウンカ（セジロウンカ）が例年にくらべて多かったこと，しかもその発見が遅れて，防除もまた手遅れであったことが，原因としてあげられる。

早期は多収穫ではないという聲があるが……

こうした，〃早期はあまりよくない〃という声を，町内のあちこちで聞くことがある。しかし，早期は確実に多収穫であり，あと作を充分利用できる長所をもっている。今年は豊作型であったのに，案外にシイラ（みのらぬ粒）が多かったという批難もある。苗代の管理が，個人個人でやったため，不十分なところもあった。水の問題にしても，普通作との調整を，全然無計画に進めて失敗したところもあった。こうした点を改善してゆけば早期はいぜん有利である

共同苗代以外は，まず失敗

シイラが多かった原因は，〃倒伏〃にある。これがめだって多かった。株もはったし，豊作型だからと，穂肥をやったが，量が多すぎたわけだ。倒れた稲には栄養分がいかぬから，結実もしない。今年こそと，意気込んでやった結果であろうが，こんな状態になってしまった。

つぎに水の調整の問題がでてくる。今年のような天候も珍らしいけれども，無計画に面積をふやすと，普通作とかちあって面白くない。かなり非常事態も考慮に入れておかぬと，今年のような場合ににっちもさっちもいかない。

早期の共同苗代は，かなり普及したけれど，共同と個人がはっきりと区別できたのも面白い現象であった。個人苗代ほど，失敗率が多かった。新しい技術であるために，防除にせよその他の点にせよ普通作から割りだした〃我流〃が，大きな災いをしたのではあるまいか。個人であるため，防除にもなるべく手間をはぶこうとした理由があったであろう。こうしたことがらを一歩一歩改善してゆけば，早期栽培は私たちの農業経営に，大きなプラスになるだろう。

台風よけ・増収・あと作

早期栽培の経済効果というと，三つの点があげられる。台風の被害をよけること，増収ができること，あと作で土地利用が高度化されることである。昨年までは，とかく台風よけと増収が強調されたが，今年はぐんと趣をかえてきている。増収の方は，昨年も今年も反当1～1.5俵の増収を確実にあげている。災害をさけるのも，8割は大丈夫といえる。しかしあと作利用について，とくに最近新らしい方法をとり入れた。そ菜と飼料作物が，精彩を放って登場してきた。もっとも秋そ菜の早出しは，現在の段階では，多分に試験的であり，投機的な性質すらもっているから，すべての農家にすすめるわけにはいかない。しかし飼料作物は，乳牛や和牛の飼育と結びついて，しっかりした基盤を作りあげてきた。全町130町のうち30町は飼料作物と推定される。青刈大豆や燕麦，飼料カブが，普通作の3倍とれるから，大きい。

早期のあい路

水路の問題がある。完全にコンクリート水路に改修するか，水路関係者が協議して，田の条件をあわせるかである。そのほかに雀追いがある。早期にはこれがバカにならぬ。丸山部落では昨年雀で非常な減収をみたが，今年は集団的に共同でやり成功した。共同苗代の問題もある。個人個人の手間を集約して，高度の共同化にもっていったとき，早期は私たちの農業経営に大きなプラスをもたらすに違いない。〃共同化〃という試金石を通じて，問題はもっと多方面に開かれることもあるだろう。集団的なやり方で一貫野，菅内，丸山の3部落がうまくいっている。

初めてのカウテクターに牛も変な顔をしている

▷…カウテクターと白菜の早出し…◁

カウテクターを牛の胃袋の付近にあてると，鉄片―釘や針など―をのみ込んでいる場合には，反応がある。反応の音を聞いて判断するわけだが，熟練がいる。こうして反応があつたら，カウサツカーの登場となる。

仁保一貫野では，早期栽培のあと作で，白菜が試験的に栽培されていた。今年は天気続きで成育はよくないが10月10日の出荷が目標だという。早期栽培のあと作で，そ菜の早出しをねらうのは大内地区にも多い。

一貫野，岡　邦男さん自慢のあと作白菜

昨年度の家畜共済金は掛金よりも9万円ほど上廻った

大内町農業共済組合の，家畜に対する掛金は昨年度 649,000円であった。ところが支払った共済金は762,500円で，約9万円ほどオーバーした。それだけ家畜の事故率が高かったわけであるが，乳牛の場合 183%（延頭数で計算してあり，1頭が何回も病気にかかるからこうなる。）これで27万円ほど支払った。一般の牛はぐんと低くて20%の事故率であった。しかし頭数が多いので，共済金は22万に達した。馬は58%で27万円。

乳牛事故防止にたちあがる

183% という事故率を出した乳牛に対して，これを防ぐ協議会が大内町で発足した。8月末と9月初めに2回会合して，研究を進めている。大内町では，杉山獣医が推進委員となった。県からも事故防止の実施地区として指定を受けている。

共済組合も全力あげる

家畜の事故防止には，共済組合も，全力をあげて努力している。事故があれば共済金が出るからといった消極的な態度を捨てて，新たに設備したカウサッカー，カウテクターも利用して，役職員一体となっての涙ぐましい努力を続けている。加入しているかぎられた農家の問題でなく，この制度全体が農民に理解され支持されるようにと，一方では農家の声を素直に聞き，一方では制度のあり方を改善しようという意図に立っている。農業共済制度の強化運動は，こうした考え方で力強く進められている。

共済制度については，家畜共済とともに農作物共済があり，掛金と災害度の問題など，複雑で困難な問題をはらんでいるが，この号では家畜共済だけを取上げた。

すでに共済組合の使用するカウテクターは延 430頭の牛を検査しカウサッカーは約45頭の牛の胃から，現実に鉄片や針，釘をとり出している。有畜農家の毎日の注意と，こうした科学的な設備を利用しての活動とが，きっと近い将来に家畜の事故率を減少させてくれるだろう。カウサッカーの驚異的な成績に対して，川東と吉敷と，町外からの依頼も多いが，現状では町内だけでせいいっぱいの状態で断っている。使用頭数からいっても，カウサッカーの利用は，むしろこれからだといえる。

馬・牛・山羊の一般的な注意

共済組合・杉山獣医の解説

馬＝　せん痛，骨軟症がよく起る。せん痛は，飼料の変り目に多く，食いすぎと運動不足が原因。水が不足した場合も起る。こうした病状は，草からワラにきりかえたときがとくに多い。

骨なん症は，カルシユウムとリンの不つりあいである。現在の農家の飼料では，カルシユウムがどうしても不足する。少しあて飼料に混用してやるとよい。ヴイタミンDも必要だが，これは日光浴をさせればすむ。暗い畜舎につなぎっ放しが，一番恐い。腰マヒと日本脳炎で今年の夏10頭ほど死亡したが，畜舎の清潔も必要である。

牛＝　飼料をくわせて，すぐ使役するのが一番悪い。胃の反すうがにぶって，体力をうんと弱らせる。朝使うときには，むしろ食わせずに使うぐらいがよい。

〃さくてい〃不足も，体型が悪くなる。悪くなってかまわぬが力がなくなるからこまる。牛はよく金物をのみこんでいる。100頭に10頭ぐらいある。それから，夜中に畜舎をでて，過食をやるからしっかりつないでおかねばならぬ。

乳牛＝　カルシユウムの不足がとくに多い。乳を出すから，ほかの牛と比較しても，それだけカルシユウムを要求する。カルシユウムが不足すると，種付きも悪くなるから注意。

山羊＝　腰マヒがこわい。湿気のないところにおくのが必要。糸状虫のく除も必要。検査は共済組合でやってくれる。ほとんどいるから，検査せずにのましてもよい。夏など，どうしても月に一ぺんはやらねばならぬ。

牛が鉄片をのみこんだら

胃にのみこんだ鉄片は，釘などの場合胃壁につきささり，とれなくなる。カウサッカーが，先端に磁石をつけて取り出すものだから，胃壁に深く入ると，まず取り出せない。食欲不振，動作のにぶい牛になる。心臓につきささった場合は心嚢（ノウ）炎，胃で創傷性の胃炎，胃壁を破って外に出た場合は局部の毒素が体を廻ることもある。金物が糞尿といっしょに出ないから，ことは面倒だ。

大内小野の池田豊春さんの例

池田さんの牛も具合いが悪く元気がなかった。カウテクターで調べるとたしかにある。そこでサッカーを使って出そうとしたが，2回とも失敗した。胃壁に喰い込み始めていたのだろう。3回目に2寸の釘が4本でて，池田さんは大喜びした。この耕作牛は次第に元気になっている。そして，こんな便利なものがあったのかと驚き，これなら出るはずだと，感心していた。

大内町の共済組合では，共済制度の強化運動を起すに当って，**卒直なご意見，不満，不平，**をどしどし申しでていただくよう希望しています。理解と支持のうえにこそ，始めて運動の基そができるのですから。

広報
昭和33年11月10日
第41号
山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

火の用心だけでなく

これからとくに火事がふえます。火を用心するのはもちろんですが、積極的にカマドや煙突、電気器具の検査や修理をやったらいかがでしょう。山火事に注意したいのもこれからです。

真心がこんなにも

皆さんの真心が、共同募金の成果として、15万円あまり集まりました。目標の16万5千円には少し不足ですが、映画募金でなんとか達成できそうです。このお金はきっと有意義に使わせていただきます。ありがとうございました。

お便りを待ってます

町政上の問題点をほりさげて、皆さんとともに考え合う広報紙にしたいと努力しています。皆さん方一人一人からお寄せいただいたご意見は、決してムダにはいたしません。どうぞお便りやご質問など、お気付の点をどしどしお便りください。

申告所得税

第2期の納期がせまりました。11月30日までです。この日は日曜なのでどうぞ早目に。農協でも取りつぎます。

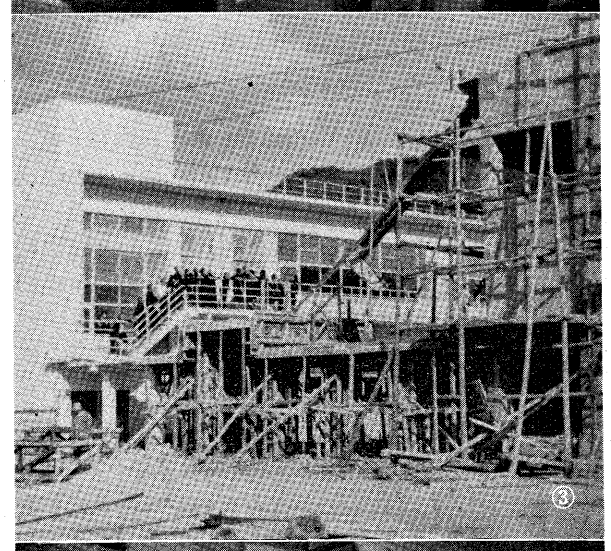
町政の動き

優良団体で国保が受賞

11月1日、山口市で開かれた国民健康保険20周年記念大会で、大内町国保は全町実施の優良団体として知事表彰を受けた。発足以来3年、まだ日が浅いけれども、とかく財政的に破たんをきたしやすい国保運営を、堅実に進めて黒字を出している点が、表彰のおもな理由であった。そのほか、小鯖検畑の尾曽越林道が、いよいよ入札も終り工事に着手した。大内上矢田の藪小路橋の災害復旧も、工事を始めた。文化財関係では、大内御堀の乗福寺遺跡の発掘が、顕彰会の発足によって具体化してきたこと、夏のかんばつ対策費や機具購入費に対して、国の補助が決ったこと、山口市で開かれた消防操法の競技に町代表丸山チームが初参加したこと――などがあった。

①

②


③

④

おててをつないで

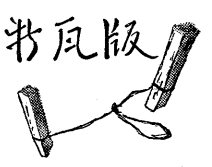
10月4日大内小の運動会には，近くにある保育園の幼児も参加した。おててをつないでのかわいい遊戯には，見ている全員が拍手を惜しまなかった。しかしホボ（保姆）さんの苦労はご覧のとおり大変なものらしい。（**写真**(1)）

仁保の有線放送

仁保農協が主体になって有線放送の施設ができつつある。上郷，一貫野，松柄，高野，井開田と，区域もへき地を含めてひろがった。通話もできるので，へき地の人たちには大変喜ばれる。12月には放送ができると。

山陽町公民館を視察

10月27日であった。公民館の運営審議委員や公民館長など総勢48名が山陽町を視察した。映画館も顔負けする集会場や結婚式場など，立派な施設に感心したりうらやましがったり。地元の教育委員や公民館長と意見を交換し収穫があった。（**写真**(2)）



松たけ意外に不作

予想どおり松たけは不作であった。例年の⅓あるまいというのが一致した意見である。おかげで貸切バスをつらねてのナバ狩客を，今年は見ることができなかった。

スマートな校舎

統合中学の第二期工事は順調に進んでいる。いま外かくができたばかりだが，化粧をこらすと向うの建物と同じになる。連日工事の騒音は附近にこだましているが，12月いっぱいには工事も落成をする。雨天体操場の工事は明年度着手の予定である。年が明ければ長者ガ原は静かな学び舎の面目をとりもどすだろう。（**写真**(3)）

演劇全国で優秀賞

県で優勝した大内青年団の演劇部は，11月5日の〃安芸〃で上京した。東京大会で各県代表と競ったが，みごとに優秀賞を獲得したと8日午後入電があった。写真は小鯖小での公演（**写真**(4)）

尾曽越林道 明年二月完成

先進地視察で、大内町を訪れる人が、全国各地からかなりある。最近では町の国保事業の視察者がふえているが、それほど私たちの国保は、誇ってもよい内容をもっている。合併第一期の町造りは、困難な道であったが、ほぼ当初の目標に近ずいた。しかし行政内容を深め充実するためにはむしろ今後をまたなければならない。そのなかで国保事業は、とくに光っている。この原因は二つあると思わかもしれない。大部分の国保団体が、運営に赤字をだしている点からも、今日の状態ではやりにくいといえるだろう。だからこそ山口市の保険者大会で、もっと国県の補助をふやして、保険財政の基礎を固めて欲しい、給付内容を改善し保険施設を整備してほしい、といった要求が満場一致で取りあげられた。毎月の保険税をきちんとしまって、おく主婦の心がけ、全部にわた

将来をゆるがぬものにする方針をとっている。

○…20周年記念大会で、**健康優良家庭**として、大内町の二世帯が表彰された。仁保大畠の上永幸之進さん、一貫野の吉岡栄熊さんであった。

○…国民皆保険が叫ばれているが、県下の国保対象者は約86万人、現在51万人（76%）が加入している。だから、まだ35万人の人たちが加入しないと、全県下の施行にならない。

ポンプ競技に初参加

県下の消防団が参加して、消防操法競技大会は10月3日山口市の中央公園で開かれた。大内町からは、このたび初めて参加したが、選手は仁保分団第七班（丸山、深野）の5名が出場した。可搬式消防ポンプでは7チームが参加し、惜しくも入賞はできなかった。しかし時間差もわずかで、見劣りせぬほど立派なものであった。

県農試の今年の展示会に、〃テーダ松〃が出品されていて、大変な反響を呼んだ。というのは、従来日本にあるアカ松やクロ松に比較して成長量が大きいからである。30～50年くらいまでの成長では在来松と比較して高さの差はそれほどないが、直径は2～3倍になる。これを自分の山に植えたらと、愛林家がヨダレをたらすのもうなずける。

しかし、そうカンタンにはゆかない。なにしろ外国樹で、まだよく研究がされてないから、どこの土質でも合うかどうかが解らぬ。山口市宮野の県林業試験場では、この春テーダ松の種をまいて苗を育てているが、地上部に比較して根が直根であり、根をよくはらせる研究が進められている。

四倍の成長量 米産テーダ松

テーダ松は北アメリカの大西洋岸に分布している、アメリカ南部松の一つで、15～20センチの長さの、三本葉の松で、幹はクロ松に似ている。成長が早くやせ地にもよく育つ。日本の気候と風土にあうように品種改良が続けられれば、将来有望な外国樹種の一つになるに違いない。山林多く、愛林思想の豊かな大内町の私たちにとって、テーダ松の品種改良と、その増殖とは、見逃がせないことがらの一つであるだろう。県林業試験場の研究成果がまたれる。

石上線の上にあるが、現在の木橋を鉄筋コンクリート橋に修改する。▽法雲院橋（一の瀬）―木橋だが痛んでいるので修繕する。▽月見橋（一貫野下）これも木橋の修繕。同じ一貫野で、橋ではないが道路を近く改修する。場所は宮島神社前、下一貫野停留所のあるところ。

うスマートなもの。すでに現地は埋立ても終って、入札をまつばかりとなっている。この工事は、そ菜生産組合が事業主体となって、新農村の事業で国の補助をえて行われる。軽量鉄骨は丈夫であり坪2万5千円であがるので、農家の納屋に便利。

▽**訂正** 先月号の広報で、国保記事のなかに〃農試寮で日本脳炎が発生〃とあるのは、その後食中毒と診断されたので訂正します。

▽ 終戦で海外に取残され、いまだに生死不明の人が、県下に900人もいます。12月いっせいに、「**未帰還者の調査**」が行われます。調査用紙が届いたら、どんなわずかなことでも、くわしくお書きください。

▽ 地主から、**法定小作料**以上の小作料や物納を要求されて、それに応じないからといって小作地を引上げられることはありません。農地のご相談は町農委事務局へ。

▽ **血液型**の登録をすれば、それが純潔と健康の証明にもなります。結婚のとき交換するのも大きな安心ですし、急に輸血を必要とするときにも役立ちます。登録しても血液の提供は個人の自由ですが、今日まで4万人ちかく県下で登録がすんでいます。

▽ **結核**の健康診断を、つぎのように行います。
11月14日 仁保支所
〃17日 小鯖〃
〃18日 町役場
午前10時～午後3時まで。疑わしいと思われなくてもぜひ一度おいでください。自覚症状が全然ない患者も多いのですから。

▽ 最近自転車の**盗難**がふえました。大内で中矢田と高芝、小鯖で八反田農協前と4台やられています。乗り逃げは、夜とかぎりませんからずカギを。

▽ 仁保の高木寛左さんのご族から、故人の遺志だと、町社会福祉協議会へ5千円**寄附**をいただきました。紙上であつくお礼申しあげます。

大内だより

ら毎年260万円を国保会計へくりだしている点である。保険税が完納に近いので、国からの補助も現在最も高い率でもらっている。

大きい婦人会の協力

何といっても婦人会が部落ごとに徴収する保険税の実績に、大きな原因がある。むしろ婦人会の協力がなかったら国保はここまでのびなかった

の頭上に輝いたのも同じであった。

○…国保運営を黒字にしている第2の原因に、町財政からくり入れてきた260万円がある。昨年は財政的にほぼ基礎が固まって黒字を出した。この黒字で、現在の保険税の税率を安くする考え方もできるが、むしろいまのままのやり方で、年々の黒字を財源として積み立て

小鯖檢畑の尾曽越（おそごえ）林道は新農村建設事業として、小鯖森林組合が事業主体となって進めることになっていたが、去る10月8日入札を完了した。落札金額は320万円、延長882メートル巾3.6メートルのこの林道は、すでに工事を始めている。完成は明春2月の予定で、この林道が開通すると附近約140町歩の山林が、受益面積となる。

○…藪小路橋（大内上矢田）は、10月21日工事に着手した。工事費は130万円で、来年1月20日が完成の予定日である。この橋は、将来問田川改修が進んで、川巾が広くなったときも使えるように設計してある。

そのほか、鳴滝―檢畑線道路の災害復旧（場所は昭和橋のたもと）は22万円の工事費であったが、10月15日完成した。この工事中は、檢畑線のバスはすべて橋の上だけを空車にして通したが、地元の人たちは、不便をしのんでよく協力した。

橋の改修が3件

▽黒石橋（北河内）―町道黒

談町財政の現状は

対どうなっているか

長井さん

町民の皆さんに、町財政の実態を知っていただきたいが、それかといって〝財政白書〟で数字を並べるのも、あまりに無味乾燥だ。頭をひねったあげくが〝対談〟ならいかがなものかと、思いついた。9月末現在の町予算は1億767万円、そのうち3千181万円が収入になっている。これは総予算の30%に当る。支出は3千27万円、27%に当る。そこで、小鯖柊の長井艶子さんにご登場願って、渡辺助役との対談を聞いた。

長井　米の予約をたくさんすると税金が高くなるという不安が、農民にはだいぶあるんです。私は農協までかけて、この眼と耳でよくたしかめてきましたけれど、そんなことは絶対にありません。

（笑）

渡辺　それはたしかに関係ありませんね。

長井　話が横道にそれましたが、やはり税金が一番関心が深いでしてね。私の方はとられる側だから。そりゃ町の財政にも関心ありますけど。

（笑）

渡辺　結構です。町の大きな財源である税金には、できるだけ不平を消さなくちゃなりませんから。

長井　財産収入が少いのはどういうわけですか。2千400万も見て、たった21万しかない。

渡辺　ほとんどが山の立木です。立木の値段が、出なかったので、9月末までは売っていないからです。いまだいぶ持直してはきましたが、財産収入が町税につぐ大きな財源なので、痛いですね。

長井　これはちょっと不思議ですね。まだたいした収入もないのに赤字になっていないのは。

渡辺　仕事をひかえるわけです。人件費と消もう品だけはやむをえませんが、今日までできるだけきりつめてきました。

長井　家庭の主婦と全く同じですね。（笑）助役さん、お上手ですか、やりくりは。

渡辺　それほどでもないようですね。（笑）財源がそんなわけだから、歳出つまり仕事の方にもはっきり出ているわけですね。たとえば土木費ですが、1千300万の予算に対して、まだ135万円です。しかし、補助金をとることがわかって着手するからいまはもっとふえてはいますが、いつも年度半ばにならぬと認定してもらえぬので、一年の半歳は直接工事を進めるわけにゆかぬ。どうしても秋から冬にかけていそがしいんです。

長井　すると、春から秋は比較的ヒマなわけで……（笑）ヒマと×

本格的事業はあと半年間に

※れるのです。だから財政豊かなところほど交付税は少くなります。こうして全国の自治体の行政を、一定の水準に地ならししているのです。

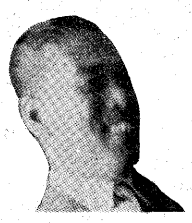
長井　してみると大内町は交付税が多いと喜んではおれませんね。借金つまり起債はどのくらい？

渡辺　9月末で起債は3千687万円であります。住民一人当り2千446円で今年返す額が460万円ほどであります。そのなかには公共災害復旧など国がほとんど見てくれるのもあるのです。一時借りますけれど交付税の中にくりこんでもらえます。だから今年返す469万円もその4割ぐらいは、実質的には返さなくてよいわけです。

保健衛生は21%で、支出が少いようですが、国保に260万くり入れて実際の仕事は国保保健婦がずっとやってきました。120万の予算が79%もあまっているのは、主として伝染病がこの夏少なかったから。土木費の17%は、国がその工事をやってもよいと認めぬから、着手できないのです。災害復旧が主で町単独でやる予算は多くありません。財産費の14%は、山の立木を売らぬから、分収金、森林組合への歩合金など支払う必要がないため。産業経済費は1千400万組んでいますが、耕地災害復旧470万、新農村の建設費で472万と国からの補助に関連があるので着手できないのです。

長井　よく解りました。私はこの機会にぜひ申しあげておきたいのですが、役場に入るとどうもこう無愛想で冷たい感じですが……

渡辺　役場窓口を町民の皆さんに便利なようにしたいと考えています。長井さんにかぎらず、お気付きはどしどし待っています。



渡辺助役

×いうこともないでしょうね（笑）

渡辺　言葉がたりませんでしたがいまのは国県の補助事業のことで町単独の仕事もありますからね。秋からの準備もこの間にしておく

長井　地方交付税の952万、これは国がくれるんですか。どんな基準でこの額を決定するのでしょう。

渡辺　その自治体で、学童の数、学校の数、橋や道路の長さ、消防施設、保健などありとあらゆる行政に必要な経費を国で定めた基準で計算して出し、それから収入を引いた不足分を国が交付してく※であります。住民一人当り2千446円で今年返す額が460万円ほどであります。そのなかには公共災害復旧など国がほとんど見てくれるのもあるのです。一時借りますけれど交付税の中にくりこんでもらえます。だから今年返す469万円もその4割ぐらいは、実質的には返さなくてよいわけです。

保健衛生は21%で、支出が少いようですが、国保に260万くり入れて実際の仕事は国保保健婦がずっとやってきました。120万の予算が79%もあまっているのは、主として伝染病がこの夏少なかったから。土木費の17%は、国がその工事をやってもよいと認めぬから、着手できないのです。災害復旧が主で町単独でやる予算は多くありません。財産費の14%は、山の立木を売らぬから、分収金、森林組合への歩合金など支払う必要がないため。産業経済費は1千400万組んでいますが、耕地災害復旧470万、新農村の建設費で472万と国からの補助に関連があるので着手できないのです。

長井　よく解りました。私はこの機会にぜひ申しあげておきたいのですが、役場に入るとどうもこう無愛想で冷たい感じですが……

渡辺　役場窓口を町民の皆さんに便利なようにしたいと考えています。長井さんにかぎらず、お気付きはどしどし待っています。

渡辺助役

昔の文化センター乗福寺

遺跡顕彰会が発足

その昔大内文化の中心であった乗福寺も、大内氏が滅亡したあとは、次第にさびれてしまった。とくに近年は、世間からも忘れられがちであった。

しかしこの地方ではもっとも古い寺院であり、大内氏や大内文化を研究するためには、ぜひとも保存しなければならぬ史蹟であると史蹟顕彰会が結成された。史談会の有志が中心メンバーになっている。顕彰会では第一次事業としてもとのがらん（伽藍）の発掘―いまの乗福寺は焼けたあとに建てた小さいもの―や、所蔵している文化財を世に出すことなどを計画して、20万円の募金を始めた。

かっては勅願寺

乗福寺は鎌倉末期、大内重弘によって開かれた。残

右側通行を実施して満10年になるが、なかなか守られていない。違反者は中年以上の男子や家庭の主婦に多く、戦前の習慣がぬけないようだ。だから山口市など歩いていると、右側と左側通行がバラバラに行われているので、それでなくても狭い道路が、いっそうひどくなっている。狭い道路も問題だが、通行者の側にも問題がある。そのうえ、交通事故が起っても、左側を歩いていると、それだけ通行者の方が負い目になる。最近とくに事故が多いが、事故にあって泣寝入り

まず車の色と型

トラックかタクシーか、車の色は何色か。これならすぐ見分けられる。そのつぎに、横や後ろに書いてある持主の名前。その車のナンバーが白か黒か。数字の二ケタか三タケまで記憶すれば申し分ない。ひき逃げなどすぐ解る。

事故にあっても、運が悪かったとあきらめる必要はないので、死亡で30万、重傷10万円、軽傷3万円まで保険金で払う制度がある。不足した分は事故を起した側に請求することができる泣き寝入りは禁物である。

まだいる〝左側の通行者〟

便利帳

▽農繁期は峠を越しましたが、まだ麦まきが残っています。**アキス**や**押売**りに対し油断はできません。この春県下で200軒あまりも、農家の被害があったのですから。一目で留守とわかるような戸締りの仕方はまずいですね。押売りは最初から「いらない」とはっきり断わることです。

▽**さつまいも**には、ビタミンCがリンゴの6倍ふくまれています。煮たり焼いたりしても80%ぐらい残るので便利です。ビタミンAもたくさん含んでいます。**柿**や**みかん**もビタミンAとCを多く含み、小さい柿一つで一日の必要なビタミンCをまかなうことができます。

▽**イモヅル**はよい家畜の飼料です。畑に一日ぐらい拡げて乾かし、納屋か軒下に竹ざおを渡して乾します。**えんどう**、**そら豆**の種まきは早すぎると寒害を受けやすく適期の選び方が大切です。肥料は基肥に重点をおき、加里、燐酸を充分にほどこし、酸性に弱いので石灰をまきます。

▽**生わら**がたんぱやあぜに残っていると、イモチや白葉枯、紋枯病の原因になります。ご注意を!!

▽気候の変り目には、子どものからだが準備が整っていないので、かぜなどひきやすい状態になっています。外から帰ったとき**ウガイ**するのが効果的です。ウガイの水は、あまり塩からくない塩水か番茶で充分です。でないとかえって害があります。

▽世界的に長生きの国デンマークでは日本の80倍もの**牛乳**を飲んでいます。牛乳は、発育ざかりの幼児や青少年に、ぜひとも飲ませたい栄養食品です。

私たち町民生活の　あらゆる面と関係がある公民館活動は　大変に間口が広いのです。それを3人の主事がたりない予算で切り廻しているのが現状です。今年度は焦点をしぼって部落の分館活動に重点を置いてきました。つまり**共同の場で共通の意志をもって問題点を処理してゆく実行団体**に部落を育てあげようというのです。

公館活動に重点を置く

部落全部てきめた目標に，たくましく取組むところがふえてきました。こうした部落がふえれば，町造りはいっそう前進します。

青年をはげますお母さんたち（**中矢田公民館**）

因習と低生産の壁がある

兼業か生産の積極化か

農業経営の基礎が弱いのですから、生活を合理化して、ムダをなくす、〃生活の知恵〃が必要になってきます。労働がはげしいから時間をうみだす。生活費を効果的に使う、この2点に生活の合理化があります。そしてこの合理化が、私たちの個人家庭の日常に役立つもの（安くて栄養がとれる料理とか、家族計画とか）と、私たちの社会生活として共同処理してゆくもの（**環境衛生とか結婚改善とか**）とに分れます。**どちらも必要で**ずれにせよ、今日のままのやり方では、私たちがジリ貧になってゆくことは、あまりにもはっきりしています。最初にかかげた表が、それを裏書きしているからです。この面でも、公民館活動が背負っている、大きな仕事があります。各部落にこれからどしどしできる公民分館の、なにかとお世話やお手伝いをする仕事がふえます。事実3人の対策も立てねばなりません。職業教育を行って、何か特技を身につけて独立せねば、平均8反を切れる本町の耕作面積では、財産分割が共倒れを意味する場合が多いからです。

そして兼業化の方向をとる場合には、小鯖鯖地の晴耕会のように、主婦が農業を勉強する必要もできます。従来のやり方をどこかで改善して、合理的な生活形態と、主婦が負担少なく農業ができる方法を、あみだされてはならないでしょう。よく

農家の収入と支出と家計費　（一戸当平均）

（単位円）	0.5町未満		0.5～1.0町		1.0町～1.5町	
	総額	現金	総額	現金	総額	現金
収入	109,739	39,373	233,460	138,881	353,625	247,227
支出	44,396	32,847	104,479	72,034	132,918	98,294
家計費	275,438	178,184	288,576	164,398	340,100	190,722

農業だけでは赤字

まず、頭に入れておきたいのは、1町5反以下の農業は、ほかの収入を合算しないかぎり赤字になりやすいということです。農業だけでは、よほど生活をきりつめないかぎりむつかしいのです。

上の表を見るとよくわかります。総額というのは、何もかも金に換算しての計算で、現金は実際に出したり入ったりした金です。5反以下では、総額で約20万の赤字がでています。5反～1町は約16万、1～1.5町は約12万の不足です。したがってこの金額をどこかでうめなければなりません。家族のだれかが働きに出るとか、畜産や果樹などに力を入れるとか、どちらかを選ばねばならぬわけです。この表は、農林省の統計事務所が、県下の農家で、一般的と思われるものをぬきだして平均した統計の中から、結論をならべたものです。そうとうくわしい内訳がとってあります。いかがでしょう。皆さんのお宅の数字と比較してみてください。農業経営だけでは普通の場合赤字になるところに**問題点**があります。

特色ある分館

大内町で特色ある分館活動を拾ってみると、まず**仁保**から、丸山のグループ活動がある。グループの数が11あって、それぞれ活動しているから頼もしい。一貫野は、9月号広報でも紹介したが、農研団体を主体に、実行力をそなえている。集会には、夫婦そろって出ることをきめた、部落の約束も面白い。みながいっしょに研究するという雰囲気はここ独特のものだ。

大内では管内分館がある。農休日をよく守り、この日を活用して農事研究にいそしんでいる。結婚改善の模範的な実施部落でもあり、今年春の大火事に学んで防火施設にも熱心。このほかに、有名な中矢田、上矢田の共同炊事がある。御堀と氷上の子供会もなかなかよく運営されている。この2部落の公民分館主催で、子供の相撲大会は、11月中旬開かれる。

小鯖では、鯖山上の食生活研究グループが、うまい運営だ。実際に成果をあげているが、なにごとにも研究熱心な部落である。1区の分館は、視聴覚を中心に、部落の改善にのり出している。日は浅いが、功妙なやり方をして、**成績がよい。鯖地は時間を守ることを心がけてい**

源平騎馬合戦。国定忠治と義経がいっしょに出た。

文化財は年ごとに失われてゆく

大内町内には，県重要文化財の指定を受けた，御堀西谷の観音像がある。国の重要美術品としては興隆寺の銅鐘がある。しかし指定を受ける直前のもあり，祖先から遺された文化財を大切に保存してゆかぬと，年々失われてゆくという，悲しい状態にある。古い時代のよさをかみしめつつ，私たちの現在の文化がつちかわれてゆくだろう。

藤原仏の立派なもの

西谷の観音像は藤原時代の特徴をよく備えている。町内にも，乗福寺の阿難像や禅昌寺開基上人像，玄塔院の釈迦像など代表的なものがあるが，この観音像ほど時代が古くない。地名をとって，西谷（御堀ニシノタニ）観音像と呼ばれる。ひのき造り，管理者は氷上の中野正氏。県重要文化財指定は，昭和30年1月であった。（**写真(1)**）

仁保上郷で石ぶろ発見

嘉村義忠さん所有の畑にある。発見というと大げさだが，ハゼ脚が山のように積んであって，毎年秋のとり入れどきでないと写真にとれない。やっと今年秋に念願達して写真におさめた。製作年代はさほど古くなく，老人で実際に使った人もある。丁寧に石を組んで，丈夫に作ってあった。写真は，嘉村義忠さんと山下実さん。（**写真(2)**）

石垣だけが昔を語る

10月31日，坂倉道義，江藤茂，教委社教係高木武夫の3氏によって，小鯖鯖山の一里塚調査が行われた。84才になる地元のお婆さんは，子供のころ見たと説明したが，問題の石はついに発見されなかった。ちょうどトンネルの真上あたり，郡境界の近くに，かっての関所あとを発見して一同大喜びだった。（**写真(3)**）

西谷観音像（大内御堀）　石ぶろの入口（仁保岩倉）　佐波郡との境界石（約150年前のもの）

新築の公民館で打合せ（仁保高畠）

部

集いの楽しさが向上の足がかり

＝励ましといたわりが自然にわく＝

しかしまだ充分ではありません。私たちが楽しい社会生活を営むためには、もっと気持が一つにとけ合う必要があります。おたがい手を取り合って学ぶ機会が多いと、どんなに楽しいことでしょう。自然にはげましといたわりの心が湧いて、やがてそれが、尊敬と信頼に変ってゆけば、なによりの無形の財産です。部落が一つの気持にとけ合い自主的な目標を持つようになれば、そこからたくましい実行力をもった団体〃部落〃が誕生するわけです。公民館活動が重点をおいている部落の理想的な姿もこうしたところにあります。

公民館の組織

大内町の公民館は、大内小学の敷地内に、中央公民館が1つ、三つの地区にそれぞれ支館があります。中央と支館兼務で3人の主事が仕事しています。この支館の下に、各部落分館があります。中央公民館には、地区の支館運営から出た委員で、運営審議会を構成し、意見を出してもらっています。そしてまたこの委員は、文化、産業、厚生、保健、体育からなる専門部会を構成しています。それぞれの部会で専門的に問題を掘りさげるわけです。最近厚生部会は結婚改善を話合いました

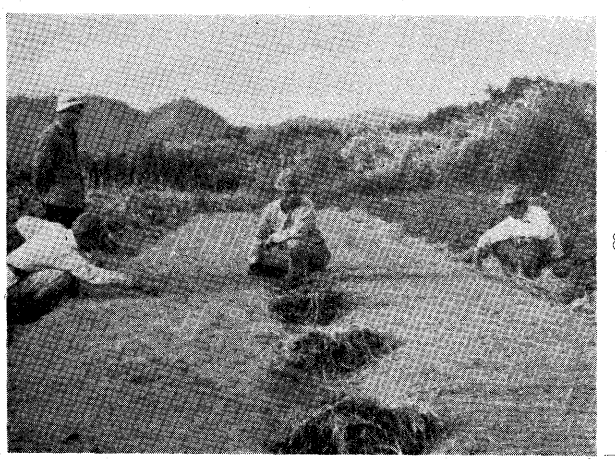
この子供たちのためにも

10月26日、小鯖小運動会は全部生徒たちが運営して、行事を終った。呼び出しのマイクも生徒がやった。生徒代表が指揮をとり、完全に自主的に行われたこの運動会は、父兄の間でも評番がよかった。この子供たちが大きく育ったころの私たちの部落は、きっと自主的によく運営されることだろう。それにしても、現在の部落を少しでもよくして、協同的な温かい雰囲気の伝統を作っておくこと、これが子供たちへの、現在から将来にわたる、私たちの大きな遺産になるだろう。

青年と婦人の学級

青年学級は、3地区ともそれぞれ開設してある。働きつつ学ぶ勤労青年のための学級で仁保80名、大内53名、小鯖45名の学級生がいる。一年間に300～350時間の講議内容をもち、農業や一般教養、家事と、それぞれ選たくして学んでいる。小鯖青年学級は、とりわけ農事研究が盛んで、まとめられつつある科学試験の結果は、改良普及員も優秀だとほめている。

婦人学級も、3地区それぞれ開設され、よく利用されている。仁保地区では一般教養で30～40時間、延千人近く集めている。料理が40～50時間、延500人ぐらい。小鯖は分館活動の中で必要なものを、中央でやってゆく方法で、年に12回ぐらい、1地区四名ぐらいを指定して延500人が参加している。この人たちが部落にかえり伝えるための講座を開設するから、延で2千人ぐらいが対象となる。大内では中央講座が年10回16部落で年4回、延2千800人の参加者を記録しただけでなく、特色ある分館として、選び出してみた。



青年学級生が育てた〃たまねぎの苗床〃
―小鯖鯖地―

来年の4月には、全国的に市町村の長と議員の選挙、県議選までくわえて、激しい戦いが展開される。それに参議院選挙が6月に行われる予定で、ここ数年見なかったほどの選挙季節となる。そのため、選挙の前しょう戦はすでに始まっているといわれ、悪質な買収も横行しかけている。町の選管では、500枚にのぼる調査表を回収し、興味ある結果をまとめることができた。以下、買収の実態と、アンケート結果とを……

ある選挙参謀の言葉

朝日新聞にのっていた、ある選挙参謀の言葉を紹介しよう。

「選挙は〃金〃と〃顔〃である。金については、自分の手から渡した札束が、どれだけ生きて使われたかを間違いなく突きとめておかねばならない。わたしは選挙が始まると、いつも10名ばかりの県会議員や市会議員に、その人が受持つ町村の数に応じて、30～50万円ぐらいの金を渡し受持区域の顔役にワタリをつけさせることにしている。それと同時に、その町村内に住んでいるわたしの腹心に命じて、金をやった県会議員や市会議員が、だれに連絡をとったかを調べさせる。これだけではまだ足らない。両方から「だれそれに話がついた」という報告が届いたら、ワタリのついた人へ直接連絡員をさしむけて、具体的にどんな形で話がついたかを探らせる。昔はこんなことはなかったが、このごろはこうでもしないと、せっかく渡した金がなかなか下まで降りないで、途中でそっくり消えてしまうことが多い。」

選挙違反の中で最も悪質な買収の告白である。候補者から一番下までゆきつくのに、大体3～4段階を経ているが、その間に金も次第に少くなって最後には半分も残らない。

「この供応も決して大げさなものではなく、イロリばたに5人10人と集めては、牛肉のカンズメにするめを焼く程度のさかなで酒を飲みながら〃今度の選挙で○○さんが当選したら、この町の道路もよくなるだろう〃というようなことを、それとなく話をさせる。」

名目で人を集めて一杯飲ませる

直接有権者に渡す金は、このごろの厳しい取締りと、公明選挙運動による有権者の自覚とで、次第にへってきている。だから、何かの名目で人を集めては、一杯飲ませるというやり方を使うことが多い。つまり〃供応〃で買収犯につぐ悪質な犯罪である。前の選挙参謀の言葉を引用すると……

来年4月なのに…

選挙戦は始まっている

アンケートで12%が買収を告白

投票を頼むといわない

この場合〃決して○○さんに投票してくれ〃などと言わぬことにしてくれるという。それでも集った人たちには以心伝心でわかる。明らかに供応であり、利害誘導犯であるが〃投票〃の言葉を使わぬことで巧みに法網をくぐろうとするわけである。

しかし投票日が近づいて、相手候補がこれこれの手を打ったと情報が伝ってくると、いたたまれなくなって奥の手を使いだす。典型的な買収となる。前の選挙参謀の言葉がこれを裏書きしている。

「そんな時、わたしはよく明け方をねらわせる。起きたばかりのおかみさんがかまどで火をたいている時刻に、野良仕事の出がけに立寄った風を装わせる。そして――選挙の日当だよ――とすばやく握らせる。一人単位なら100円～200円、一戸単位で500円から千円ぐらいの相場でピースか光の空箱に入れて、さりげなく置いてこさせる場合もある。時には本物の新聞配達や行商人を買収して手伝わせることもある。

新聞ラジオで政治を学ぶが70%

調査表は500枚を回収

10月末3地区に対するぬきとり調査をやった結果、521枚の調査表を回収することができた。面白いことに、男女ともほとんど同じ結果があらわれた。100分比に計算して、ほんの2～3%の差しか出なかった。少くとも男女の有権者の特ちょうや違いといったものは発見することができなかった。

(1)**政治経済**をどんな方法で学ぶかの項目では全体として58%、新聞ラジオが圧倒的に多く、約70%を示していた。人の話を聞くのが27%あった。町が重要な問題に対して、力強い呼びかけの足らぬことが痛感された。

(2)**町の行政**に対してどんな態度をとるか

関心があるから自分に出来ることには積極的に協力するが24%で、意外に少なかった。関心はあるが、有志や役員にまかせるというのが45%、あまり関心ないが27%あった。町が重要な問題に対して、力強い呼びかけの足らぬことが痛感された。

(3)**候補の演説**を聞きにいったことがあるか。

58%が候補の演説聞く

この項目では全体として58%、よく聞いているようだが、内容を分けると、案外な数字がでてくる。どの選挙でもよく聞きに行くのは、12%でちょっとさびしい。特定の選挙だけ聞きにゆくというのは22%、とくに聞きにゆくというほどではないが26%をしめている。だから58%の内容は、決して%が高いとはいえない。聞きにいったことがない―は35%を占めているが、いそがしいから、遠いから、つまらぬから、といった理由である。

(4)**町長、町会議員**の選挙で、候補者を選ぶのにどんな方法をとるか

誰にも相談せず自分で決めると答えたもの31%自分で決めるが人の意見を参考にする―51%と一番多かった。この数字でゆくと、明春は最も理想的な選挙が行われそうだ。町議は従来の地区別選出をやめて、初の全町一区選挙になる。それだけに、新たな試金石でもある。

(5)**衆議院議員を党と人とどちらに**重点を置いて選ぶか。

党が38%、人と答えたもの37%であった。いちがいにいえないが23%あった。しかし今年5月の総選挙で、自分の支持する政党に属している理由で投票した人が41%あるから、人を重点に置くのは、支持する政党を前提に置いての考えだと想像される。もちろん純粋に〃人を採点して〃政党を問題にせぬ投票もあることだろう。見方によれば浮動票と見られぬこともない。別に理由なく投票したのが26%もあった。

党と人どちらが重点か

話合い運動はやったがよい

公民館が主体となって進めた、公明選挙の話合い運動についてだが、66%がやった方がよいと答えた。大いにやれは19%、ある程度と消極派が20%やり方次第で―と批判的に答えたもの27%となっている。解らないが21%あった。ともかく話合い運動によせる期待は少いものではなかった。泥沼に落ち込んだ現在の選挙を、少しでも改善しようという私たち有権者の〃抵抗〃が、話合い運動に希望をかけているといえないだろうか。

買収は、行われていると指摘したものが12%あった。しかし、行われていないと言い切ったのは25%しかなかった。行われているかどうか不明である―が59%ある。裏でこっそり行われていることに関して、事実を指摘できぬまでも疑わしいと思いつつ書いた結果が、59%になければ幸いである。12%はやはり問題になる数字である。

ている。部落活動が盛んになるにつれて講座を部落で開く機会も多くなるであろうし、この参加人員は、急激に増加すると見られている。青年学級、婦人学級とも、講師に頼らず自分たちで自主的に研究するというところまで育ってきている。この3年間で、始めは講師の話を聞くだけだったものが自分たちの周囲から、問題を見付けては討議するところまでのびてきた。だから講師が欠席しても、運営にはちっとも困らない。身近かな問題点をみんなで考え合う――そんな学級に育ってきた。

大内町広報

昭和33年12月10日
第42号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

歳末たすけあい

県下で生活保護を受けている人は3万2千、保護の一歩手前は15万人とみられています。ポケットの底や引出しの片すみで、ほこりをかぶった一円でも結構です。真心をよりあわせこの人たちと手をとりあった正月を迎えようではありませんか

33年さようなら

努めても努めても貧しかった大内町広報も、この号が33年の最後になりました。広報におよせくださった皆様方のご協力を心から感謝しつつ、さようなら昭和33年

税金

固定資産税（第3期）
25日までですから、なるべく早目に

町政の動き

青果生産組合年内に初総会

ウラン鉱区の申請すでに23件

▽大内町青果物生産組合の集荷場は、もう工事を始め、組合の設立総会も年末26日に開かれることになった。▽時代の花形ウランの鉱区申請は現在までに23件に達している。ウラン鉱区のある町村の実態調査のため、町議一行が11月下旬鳥取、岡山県を視察した。▽3件の新農事業が、6日に入札を終り、事業を開始した。▽統合中学校第二期工事は順調で、23日落成式を行う。▽仁保防犯組合が13日に結成される。

明春2月に完成

青果物の共同集荷所は11月27日起工式を行った。むねあげは年内で12月26日の予定である。約60坪の建物は工費164万円で、内訳は国の補助70万、町の補助50万、農協の負担3組合で30万、生産者負担14万円となっている。組合の出資は一口千円であるが、生産者負担金にあてることになっている。この建物は、川向い青果市場と隣接しているが、直接の関係はない。

生産者の団結がネライ

この青果物生産組合には、現在170名の組合員がいる。生産団地の代表者が集まって、運営を協議しこれからを開拓してゆくことになる。団地は小鯖で鯖山（尾中信次）上郷（村田利治）下郷（畑井好永）の3団地。大内地区で上千坊（荒瀬勇）下千坊（岡本義男）殿河内（江藤勝介）矢田（宮原定一）長野（柳新治）の5団地。仁保地区で深野（倉光悌一）東園（藤井晃養）丸山（池田峯雄）の3団地になっている。これから組織がまとまり、生産者の団結が進むにつれて、生産団地は増加することだろう。＝（一）内団地代表者

地区別組合員数は大内92、小鯖40、仁保36名で、やはり大内地区が一番人数が多い。従来生産者の団結がなかったため、一時的な出荷過剰には、ずいぶんと不利な目にあってきた。このたびできる集荷場で、地元市場の適正量を調節し、あまったぶんは他の市場へ送って価格のプール計算を行うことが研究されている。近郊そ菜供給地が、より高度の生産と出荷体制をもとうとする必然的な発展コースだといえるだろう。今月26日、大内町青果物生産組合（仮称）は誕生する。

新農事業で菅内の水路など

新農村建設事業にあてはまり、12月上旬に入札を終ったものが3件ある。(1)菅内西いで水路＝受益面積12町、延長240メートル、工費25万 (2)菅内大墓頭首工＝受益5町歩、工費28万 (3)氷上下中原の暗きょと水路＝受益12町、水路は72メートル、工費30万。このたびの3件は、すべて大内地区であった。

統合中学23日に落成式

第二期工事の完成を目前にひかえ、連日統合中学では最後の仕上げが行われている。予定どおり完成するので、落成式は23日同中学の新校舎前で行われることになった。

仁保地区の防犯組合の発足

すでに小鯖地区では昨年から結成され実績をあげているが、いよいよ仁保も13日発足する。駐在員や婦人会、青年団や警防団と、各種団体が力をあわせ防犯組合の結成に努力してきた。

大内町内にもウラン鉱があるといったら、びっくりする人もあるかもしれない。この広報では、ウラン鉱区のことをはじめてふれるが、すでに23件の鉱区申請が出ている。申請者はウラン鉱業株式会社と原子燃料公社などで、おおよその区域は、防府市小野（元小野村）から檜畑、一貫野、山の反対側にあたる仁保中郷を通って仁保上郷へ、さらには徳地町へと続いている。町議会の議員は11月末3日間にわたり、先進地の鳥取と岡山県を視察した。大内町で採掘が始まったとき、どういう処置をとったがよいかを学ぶためであった。鳥取県三朝町と、隣接している岡山県上斉原村が視察地で、この土地の町村行政を見学するのが目的であった。

しかし鉱区があるからといってウラン鉱の品位が高いかどうかはまだ解っていない。しかも鉱石の運び出す場所で鉱産税がかけられるから、その場所も問題になる。大内町としてはもちろん鉱産税が入ることを希望するけれども、すべては原子燃料公社の技術的な判断にまたなければならない。

ウランは防府から大内・徳地にかけて

この鉱区には町有林も相当入っているけれども、地下資源であるため、石炭と同じく地上の所有者には収入にならない。岡山県の上斉原村は戸数300の奥深い山村であるが、昭和35年から向う10年採掘を行う計画で、年間かなりな金額の鉱産税が財政をうるおすという。

町財政に別の財源が大きく加わるなら、なるほど結構な話であるが、どこでもそう問屋がおろすかどうか解らない。ともかくウラン鉱の存在は、もし含有量が高いとしたら、将来の大内町政に大きな影響力をもつことだろう。

牧風版

運動会の仮装行列

仁保地区の運動会は，11月16日仁保小で開かれた。各部落から多数の町民が参加し，一日のリクリエーションを終った。仮装行列は毎年名物の一つになっているが，それぞれ苦心がにじんでいた。宝船に乗った七福神をカメラにおさめたがどれも甲乙をつけにくいできばえであった。

本職から料理のコツを

これは小鯖毛割の婦人会の話。おひがんの中日を農休日にして，24名の婦人たちは，洋食の作り方や食べ方を勉強した。80近いおばあさんまで参加したのだから，食べ方の指導がらして大変だったらしい。本職のコックさんから，親切に手ほどきしてもらったと。

鹿児島―北海道を歩く

原爆禁止を訴えて，北海道まで歩こうという元気な老人が，20日町役場を訪れた。鹿児島県枕崎市緑町の丸尾晃秀さんで，今年70才になるという。「ひとたび原水爆戦になれば，全人類は滅亡します。禁止のために全国民が立上ることを願って，1万キロの平和行進を起したのです」と語っていた。来年3月に札幌につく予定というから，冬に向ってこの行進も，さぞかし大変だろう。

たのしいな落葉拾い

大内保育園の幼児たちは12月3日，手をつないで落ち葉拾いにでかけた。いちょうの葉を一枚一枚集めては，大切そうに持っていた。小春びよりのうららかな午後のひととき，水上河原にそった川上手の小道で，幼児たちのはしゃぐ声がとても楽しそうだった。

▽青果物生産組合の組合員になりたい方は、団地の代表者（トップ記事にあります）のところへお申込みください。12月20日が期限です。出資一口千円のうち、500円を払うことが必要です

▽陸海空の自衛官を募集しています。陸士は7千名、海士は250、空士は750名です来年3月1日現在で満18～25才までの人。中学卒以上の学力で受付は明年1月14日まで。くわしいことは役場総務課庶務係へ。

▽お正月用の門松には、ぜひ枝木を使いましょう。たった一本の心木でも、たまりたまればバカになりません。

▽ねずみのえさを、今月上旬に役場から配りました。このえさを使うときには、ねずみの食料になる他のものを、全部かたづけないことには、ねずみは食べません。またねずみがどこで死んでいるかわかりませんから、年末の大掃除は、ぜひやらなければなりません。

▽富山県民の理解と協力で第13回団体は、いままでになく立派なものだったそうです。心のこもった世話ぶりには頭がさがったと聞きました。たくさんの選手を送った山口県民として、ほんとにうれしい話です。

▽不動産の売買や相続、それから贈与、保存登記などをとる場合には、登録税（登記簿にのせるための税金）がかかります。この税金は、賃貸価格に一定の倍率をかけて計算しますが、来年1月1日から、この倍率がいままでより2割があがるのです。登記は年内の方が安くできます。

私たちの農業をささえる

農委・共済組合・土地改良

三つの団体

↑気を落さずしっかりがんばってと、思わずさけびたくなりますね。

三つの団体は、それぞれの面で私たちの農業をささえています。役場の施設課や産業課も、もちろん耕地の災害復旧や産業の発展に努力していますが、この三つの団体は、**その団体でなければできない特殊な使命を負って仕事をしています。**ともすれば、こうした団体の無用論がでますが、私たち農民がもっと自主性を持てば、きっと〝再認識〟していただけるでしょう。

改良区は法に基いてできた

3地区にそれぞれある土地改良区は、〝土地改良法〟という法律に基いて作られています。区はいぜんとして三つありますが、事務だけを一カ所でまとめてやっています。その方が能率もあがるし、補助金の申請にも便利だからです。元来この土地改良区は、土地改良事業をやる場合に受益者が集まって、いろいろ相談をしたり、補助金の申請などをしたりするためのものです。その事業がすむと当然解散すればいいわけですが、受益者の集まりの規模が、実は問題なのです。小さい集まりだと、事務に従事する人をやとうと、不経済になります。事業がすんでは解散すると、事業に永続性がないので、補助金の獲得もまずいことになります。

つまりは共同の事務処理

部落や団地でやってもすむものを、なるべく能率的な事務処理体制にもってきてあるわけです。そこで大内町では、資金をあつめたり、借入れたり、補助金を申請したり、工事の設計や見積りをしたりする〝共同の事務処理場〟つまり〝大内町土地改良事務所〟をもっています。

やって受益する人たちの負担する経費でもありますので、33年度は町から60万円の事務費補助金をもらって、ふか金はとりませんでした。土地改良区には各地区30名の総代がいますが、この人たちが部落や団地の希望をとりまとめたり決まったことを伝える役目をもっています。どんなに事務処理の体制を立派に作っても、受益農家が団結してこれこれの事業をやろうと、**自主的なもりあがり**がなければ、とても事業は進みません。いろいろ利害の相反することを調和させて、ともかくやろうと団結にまでもってゆくこと……ここに土地改良区という私たちが自主的に作っている団体の、大きな存在意義があるわけです。

耕地と用排水の整備

皆さんよくご存知のことですが、土地改良区の仕事には大きくわけて二つあります。耕地の整備と、用排水の設備です。土と水の条件をよくするのが目的で、耕地には農道、区劃整理、暗きょ、客土などがあります。水の条件には水路、ため池、頭首工などがあります。だから改良区の仕事は、農業経営をより合理化し将来の経営を施設の面ではかどるようにしようというのです。私たちの農業経営はよく労働の生産性が低いといわれます。労働能率がよくなるように、生産条件を改善してゆこうというのです。

共済 生産の現実面 土改 将来の改善

農委は経営条件を法律的な面で調整

共済組合の仕事は、毎年の作がらをささえてゆくので、改良区の仕事に比較して消極的ではありますが、それだけ現実的なものになります。生産つまりは経営を、年度年度でささえるのが共済の仕事、将来を開拓してゆくのが土地改良区の仕事ともいえます。今日の楽でない農業経営からのがれるためには、この二つの組合の仕事がどちらも必要になってきます。

農委もひと役、三本の矢

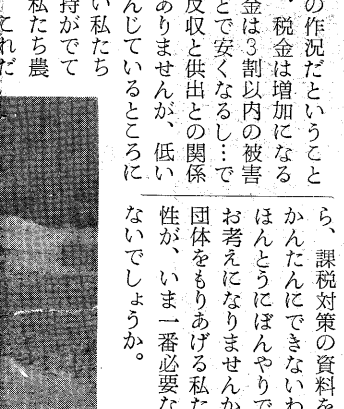
しかし、この二つの組合だけでもまだ充分でありません。法律的な面で、私たちの経営をまもってゆく団体が必要になります。それが農業委員会です。農地に関するゴタゴタをとりまとめたり、課税問題をあつかったり、農業労働賃金やカゲ切り、自作農創設の問題など、他の団体でやったのでは〝権威〟がありません。法的に基礎づけられた農業委員会ができます。しかもこの三つの団体は全部私たちが自主的に選んだ代表によって運営されます。選挙が適正であるかぎり、私たちの意志はいつも正しく伝えられるわけです。だからこの三つの歯車が、気持よく廻っているなら、私たちの経営は、それだけ安定しているといえます。しかし、気持よく廻すためには、〝私たちの自主的なもりあがり〟がなければ廻せません。

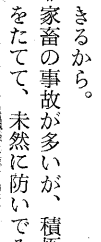
来年の7月に改選

農業委員の数は、農家人口により○人～×人までと法律できまっています。その範囲で町議会が人数をきめるので、21～30人で共済組合から1名と、議会で推せんし、町長が専任した委員（5人以内）が加わり、合計少なくとも26人の委員になります。改選すると、農業委員会は**部会制**をとることになります。農地部会（小作地の契約などを審議する）はかならず置かなければなりませんが、農政部会（仮りの名前）も置かれることでしょう。この部会制をしくと、部会長に権限があり、委員会の長には権限がありません。産業部会などが設けられると、役場の産業課の仕事と非常に似てきますが、農民の自主性がより多く反影される長所があります。

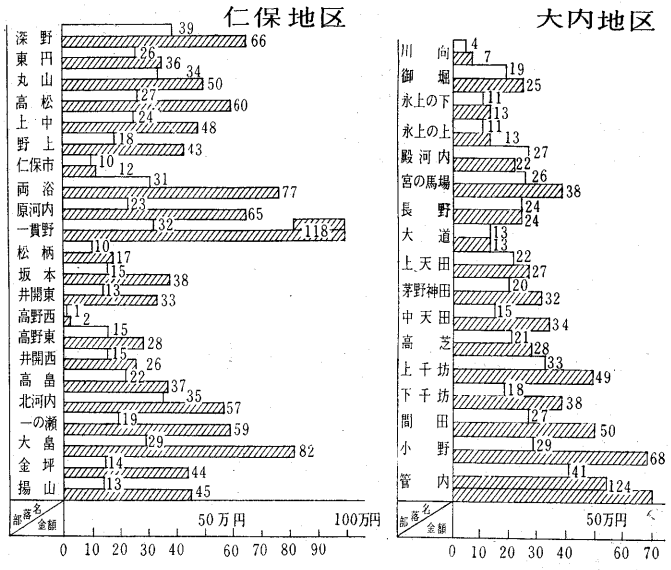
見積りが高い!! 7割が6俵半

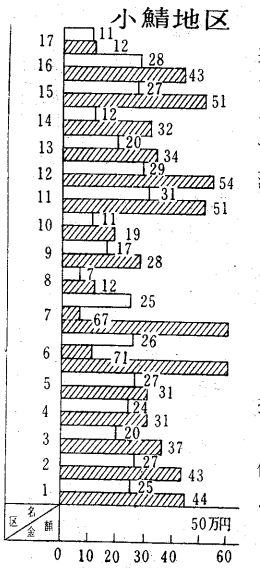
7割というのは大内町の全水田の7割です。⅔の水田がこの収穫で所得税の見積りをされているのです。かなり豊作の年でもこの数字は少し無理なようです。一方共済組合の規準反収では（左の記事を参照）実収よりだいぶ低くなっています。だから、規準反収を合計したものに比較すると、全国の作況はいつも豊作民の間で、これだけ気を落さずしっかりがんばってと、思わずさけびたくなりますね。





120%の作況だということになると、税金は増加になり、共済金は3割以内の被害がほとんどで安くなるし…です。規準反収と供出との関係はなにもありませんが、低い数字に甘んじているところに用心ぶかい私たち農民の気持がでています。私たち農ら、課税対策の資料を作るのもかんたんにできないわけです。ほんとうにぼんやりできないとお考えになりませんか。三つの団体をもりあげる私たちの自主性が、いま一番必要なときではないでしょうか。





このグラフは，今日までの掛金と共済金とを，部落別に合計してだしたものです。災害の多い部落には，それだけ共済金がたくさんでていますが，掛金よりも共済金の少ない部落は一つもありません。昭和24年から31年までの8年間の共済金を合計しますと，2,402万円になります。掛金の方の合計は，1,197万円でちょうど半分ぐらいになります。国が保険金の6割を負担するのですからふえるのが当然といえば当然ですがこうして合計してみるとまったくバカになりません。

共済金 24～31年まで

2400万円

共済の組織と活動目標

共済組合の役員には、地区から2名あて6名の理事と、地区から1名あて3名の監事がいます。総代は全部で56名です。役員会できめたことを総代にはかって、大切なことがらをきめてゆきます。総代と別に、評価員と連絡員を兼ねた人が56名います。部落評価はこの人たちによって行われます。現在の組合員数は2千162名ほどいます。

今年から3年間に共済組合では、もっと私たち農民に支持される団体になろうと、重点的な活動目標をたてました。力強い農民の支援があればこそ、堂々と発言もでき、また強い運動もできるからです。

今年度の目標は、つぎのとおりです。

(1)＝共済制度が、どんな目的で作られ、どんな効果を産んでいるかを、よく理解していただこう。

(2)＝適正な評価をやって、はっきり主張できるだけの資料的なとりまとめをやってゆこう。正しい、自信ある評価だけが、私たち農民の声を、最後までつらぬきとおせるよりどころであるから。

(3)＝掛金やふか金を、完全に払っていただこう。速く事務処理をすることによって、共済金の早期支払いを交渉する基礎ができるから。

(4)＝家畜の事故が多いが、積極的に防止対策をたてて、未然に防いでみよう。

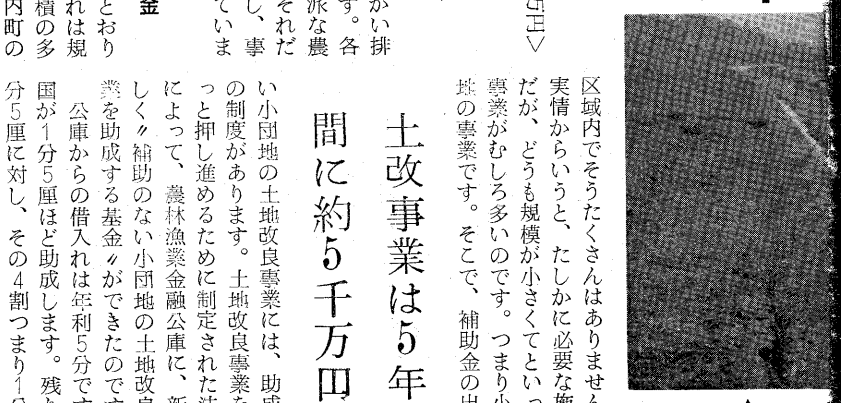
お知らせ＝無断で田畑を宅地その他に転用すると、罰せられます。知事の許可を受けてからでないと、とんだことになりますから。

自作農創設で県下一

自作農の創設資金といえば農業委員会というふうに、自作農を育てる仕事は農委の大きな使命の一つになっています。そして大内町の状況は、質量ともに県下一を誇っています。件数からいうと112件、融資は1千500万ほど受けています。自作農を育てるには、実際の経営が安定してゆかねばならぬので、〝**経済安定計画書**〟を出していただくことになっています。この計画書に従って、いろいろ助言や指導が行われます。なかなか骨の折れる仕事でもあります。技術的な面では県の改良課が指導に当るわけですが、普及員と農業委員会がたえず連絡をとって、計画倒れにならぬよう注意しています。融資までならかんたんですが一戸の農家として安定した経営までもってゆく使命があるのです。

国も自作農創設資金を、今年度予算的にふやしていますが、将来ますますふえてゆく傾向にあります。農業委員会が、役員改選によって新らしく部会制をしくようになると、こうした農業経営の個々に立入った指導や助言がいっそう充実してくると考えられます。

土改事業は5年間に約5千万円



↑今年一月に完成した伊賀水路（仁保土井）延長△538▽メートル　工費△114▽万円

区域内でそうたくさんはありません。実情からいうと、たしかに必要な施設だが、どうも規模が小さくてといった事業がむしろ多いのです。つまり小団地の事業です。そこで、補助金の出ない小団地の土地改良事業には、助成金の制度があります。土地改良事業をもっと押し進めるために制定された法律によって、農林漁業金融公庫に、新らしく〃補助のない小団地の土地改良事業を助成する基金〃ができたのです。

公庫からの借入れは年利5分ですが国が1分5厘ほど助成します。残り3分5厘に対し、その4割つまり1分4厘を町が補給しますので、結局2分1厘の利息で金が借れます。補助金はありませんがせめての安い金利になります。

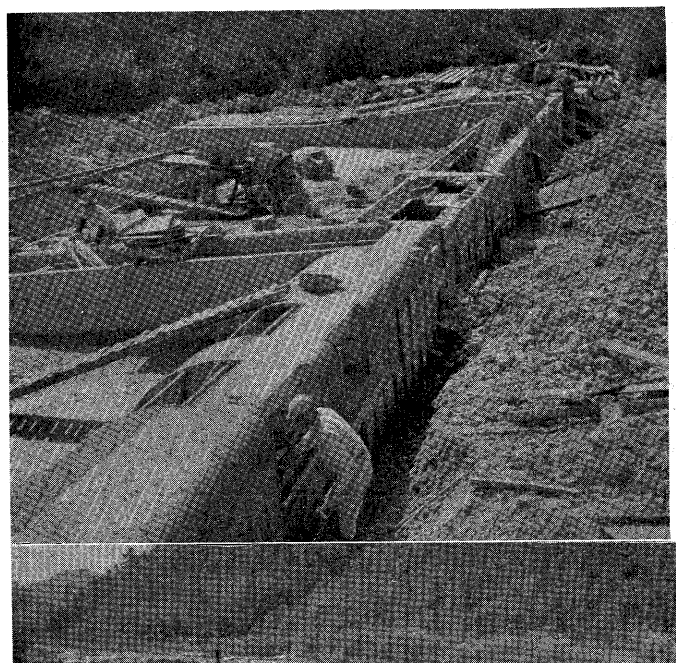
土地改良区と事務所の組織

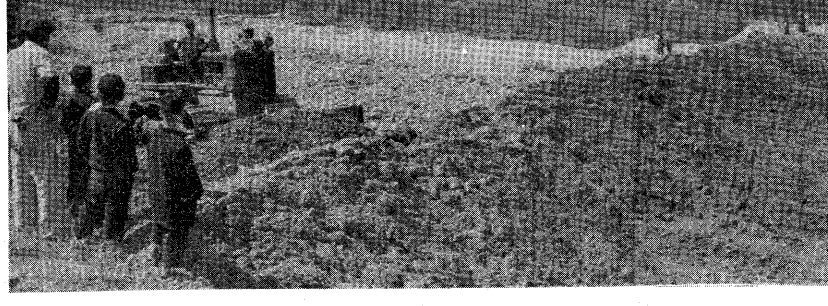
5年間に5千万円もの大きな事業をなしとげてきた私たちの改良区が、どんな組織になっているか、カンタンにとりまとめてみましょう。総代は各地区30名あて選出してあります。だから合計90名の総代がいるわけです。共済組合の総代56名より34名多い人数ですね、受益面積が3町程度の事業が多いので、どうしてもとりまとめ役の総代がたくさん必要になります。

理事は小鯖7名、仁保7名、大内8名合計22名の理事がそれぞれの改良区にいます。この中から各地区2名あて計6名の理事を出して、土地改良事務所の運営をしています。監事は各改良区に3名あていますが、各1名を選出して、合計3名の監事が事務所の監査に当ります。

きりした解釈と決定が一ら推せんされた人が各1名、一米価の決定にも影響してきま字が出るのですか

石田頭首工（仁保深野）の工事前と完成直前の写真。災害復旧で、31年9月にできた。←





安い掛金の建物共済

建物共済に、農協がやるものと共済組合がやるものがあります。これは制度の考え方によっても違いますが、それぞれ利点があります。共済組合の方は、かけ捨てだが安いという長所、農協のは契約の終りごろに火事にあったら、自分の貯金をおろすようなものだがそうした災害にかからぬ場合は、自然に貯金ができるという長所があります。

例えば30万の建物共済（火災）で、掛け金が一年810円です。いま1万6千200円ほど農協の定期にあずけたら、毎年の掛金を払い続けて10年後に、1万8千457円ほど残ります。つまり1万6千円ほどいま掛金を積めば、30万円10年間保証され、2千円ほどおつりがくるのです。そのままにすれば、もちろん保証は無限に続きます。火事を主体に考えたらこの方が有利です。しかし貯金本位に考えたら、なかなか貯めようといってできないのが貯金ですから、農協の方に長所があります。

火事も、そう度々かかるものではありませんから、この長短は軽々しくきめられませんが経済的にゆとりの少ない家庭では、共済組合の建物共済も有利なのではないでしょうか

☆ 共済組合に対する皆さん方の不平と不満……それに回答してもらいました ☆

加入したい者だけがはいるようにしたら、もっとしっくりゆくと思う。任意加入制度になぜできないか。

おたがい農業をやる者が、連帯保証をしながら助けあい運動をやってゆくのが、共済制度の趣旨です。国は保険金だけで年間115億程度の負担をしていますが、全国の農民を対象にすればこそこれだけの補助金的な支出ができるわけです。もし任意制度にすれば、連帯保証の力が弱まって、高い掛金を払うようになります。そのうえ、国からの支出も、**政策的な根拠**が弱くなるので、わずかしか期待できなくなるでしょう。新潟県のある村で共済組合の解散決議をしたら、「あらゆる農業災害に対して、自力で解決するだけの財政力と組織を当然もっていると解釈するから」と県からいわれて困ったことがあるそうです。つまり一種のオドシですが、農業関係のいろいろな補助金にまで影響すると困ります。

それよりも、この制度の**悪い点**を、私たちの研究と協力によって、改善していった方がよくはないでしょうか。この制度を、私たちのものにこなしてゆくだけの団結力があれば、そこに「なっとくのゆく合理性」もでてこようというわけです。よく農民と政治が問題になりますが、制度を通じて相互扶助の連帯感を養うのも、私たち農民が政治力を結集してゆく一つの道ではないでしょうか。

共済金が非常に遅れる。家畜共済でも、事故があったあとすぐつぎを購入しなければならんのに、もっと早くする方法はないか。それに掛金は早く納めねばならない。

運営上非常にこまりますので、組合としても早く支払いできるように、要望しつづけてきました。この共済金には、国が6割を負担しますので、**国の査定**を受けなければなりません。各組合から出た書類が連合会にまとまり、その連合会が農林省に書類を出して、はじめて査定を受ける準備がそろうわけです。しかもその資料は、水稲の場合農林省の出先である統計事務所の数字に基くわけです。水稲は、農林省に資料がそろうのが1月15日ごろになるので、共済金支払いは2月末に、麦は早くて12月末になります。家畜もやはり書類は農林省にゆきますから、査定まで三月かかります。

こんなわけで、事務的には解決がむつかしいのですが、制度そのものを改善しようという、私たちの団結した意欲が全国的に巾をもてば、新らしい事態が生れてくると思われます。こうした農民の不満は、以前から出ていたし、また当然出るはずのものであります。

隣の家と比較して、同じぐらいの不作なのに、非常に共済金が少ない。どうしたわけだろう。

評価する場合は、まず部落評価を行い、つぎに組合評価を行って、適正な評価を決めることになっています。従って評価は適正に行われているはずですから、お尋ねは**規準反収**の問題であろうと思われます。この三つのどれでもなくて、実際に被害がなかったのかもしれませんね。被害はいつあるかもしれないしその場合の保証もあるわけですがこの制度は農民の相互扶助を大きな目的としているので、それだけ相互扶助に尽力されたことになります。組合としても不都合のないよう調査いたしますから、どうぞ具体的な話を申しでてください。

掛金をかけるばかりで、共済金をもらったことがない。掛け捨てという感じがするが……

これには三つの場合が考えられます。(1)規準反収が低かったか（3割以内の不作は共済金がもらえないので、規準反収が低い場合は、がいして3割以内にとどまる）(2)評価が不適正な場合　(3)被害申請が出てない場合の三つが考えられています。しかしこの三つのどれでもなくて、実際に被害がなかったのかもしれませんね。被害はいつあるかもしれないしその場合の保証もあるわけですがこの制度は農民の相互扶助を大きな目的としているので、それだけ相互扶助に尽力されたことになります。組合としても不都合のないよう調査いたしますから、どうぞ具体的な話を申しでてください。

大内町の規準反収が低すぎるのは被害査定の場合非常な損をします。規準反収は国の指示反収をもとにしてだしますが、この指示反収が低いところに問題があります。これは、最近7年間の最高と最低の年をのぞいた5年間の平均でだします。この数字は農林省の出先である統計調査事務所が作ります。ところが〃統調〃の調べた植付面積と、実植付面積との差が大きいので割算するとどうしても反当収量が低くなるという問題がおきてきます。事実を示して、〃なっとくできる農林行政〃ができるように、私たちに自主性と積極性が必要なときではないでしょうか。

米が10俵も少なくて、共済金はわずかしかもらえない。

耕作面積の全部にわたって、軽い被害のときは、共済金は少ないわけです。全部が3割以内の減収なら、保証もありません。かりに2反が完全な収穫皆無の場合は、同じ米10俵少なくても、違ってきます。一軒の農家の収入減は、どちらも全く同じことですが、残念ながら共済制度はまだ**そこまで合理的**になっていません。

それといま一つは、金額的に少ない点をご指摘のようですが、この金額を高い率にもってゆくことはもちろんできます。しかし掛金との関係があるので、どの共済金額を選ぶかを、毎年**総代会**で決めるのです。かといって実被害の5割以上の率はとれませんけれども。この地方の被害率からいって、このあたりが一番有利だろうという考えで、自主的に決めております。現在〃米〃は石当り3千円ですが、掛金は被害の危険率に応じて部落別に3段階に別れています。60円、45円、39円と、皆さんご存知のとおりです。

共済額をあげることは被害率の少ない農家との関係があって、なかなかむつかしい問題です。

防除薬剤もうんと使って損害防止に努力した者は共済金がもらえず、ほっておいて被害を受けた者がもらうというのはおかしい。

肥培管理は、評価のさい当然考えにいれます。しかし個々の例では矛盾することもあるので、防除だけを対象にすることもできません。防除共済〃の制度も、考えられています。

組合で評価したものが、連合会でへらされるそうだがなぜか。

連合会自体でぬきとり調査をやって農林省の統調の数字にまけない資料を作るのです。ですから適正な評価でなければ、へらされます。今年の麦もへらされかけたのですが、どう考えてもこのみこめない数字だったので、役職員一体になって談判をして原案を訂正するところまでゆきました。だから、組合評価はぜったいに適正なものであれば、強く主張できます。

便利帳

▽火事の多い季節です。火事のときの連絡方法など決めておくと便利です。とかくあわててドジをふむことも多いですから。それと外出やおやすみのとき、風呂場とかまどの下を。

▽伐採した赤松材は、この冬に浅く土地をかいてやると、下に落ちた種子が発芽しやすくなります。そして発芽はできだけ多く。

▽進学希望者はとかく自分の力を考えないで一流の学校へゆきたがるようです。高等学校の普通課程にずいぶん無理をして入学しても卒業後は⅓が無職になっています。実業課程を出た者は85%以上の者が就職しています。

▽懐中物にご用心!!　買物など、年の暮はあわただしいですから。あきすもぐっとふえます。それから押売りも。

▽お宅のお子さんの、冬休み中の生活設計はできましたか。お正月を中にはさんで、とかくうれしいうれしいですぎがちですから。勉強と遊びの時間を計画どおりにしませんと、なまけぐせがつくかもしれません。

▽年末には交通事故もぐっと。不具になったら一生つらい目を見ます。道路はかならず右側を。このごろは自動車が警音器をならさぬので、横断には眼を皿のようにせねば。

▽安いと思って買うと、よく不良品をつかまされます。毒々しい色の菓子、さびたかん詰、着色した乾物、白すぎるものなど、危険です。新鮮なものを自分で料理するのが、一番安心です。

カゼと肺炎の患者年間7000人

冬に向うので、私たちの健康問題をカンタンにまとめました。

▽7千人というのは、32年度一年間の患者数ですが、毎年このくらいの患者数があるのです。なんだかウソみたいですね。

▽しかもこれは医者にかかった患者数ですから家庭で処理した件数は、はいりません。5千人がカゼで、気管支炎や肺炎が2千人近くになっているのです。しかし治療費はもちろん肺炎の方が高くなっています。

▽カゼで国保から出した金（給付）が96万円、肺炎と気管支炎で109万円に達しています。だから治療費は実際にはその倍額の192万212万となるわけです。**早目になおさぬと**肺炎にしてしまったら、治療代も高くつきます。

▽11月下旬3地区で行われた乳児検診でも、赤ちゃんに対するカゼの注意や着物のきせ方など、保健婦が指導しました。参加数は小鯖20人、仁保45人、大内40人でした。

共同で麦まき。昨年は不作で2俵のできだった。

共同耕作田は30年の歴史

視察旅行費にも個人負担はない

上矢田婦人会

婦人会上矢田支部では、もう33年前から共同耕作田を経営している。昭和初めの不況時代に始められた耕作田は、戦中戦後をくぐりぬけて、今日でも支部運営費の全部をまかなってくれる。以下伝統に輝く上矢田支部の訪問記である。

この耕作田は、荒地の開墾（落）である。子供の日、老人の日の行事もすべて運営できる。会員60名は野村ユキさんの80才をはじめ、農繁期最後の年中行事である。〃私たちが運営するんだ〃というプライドと自主性によって耕作田の長い歴史は育ってきたのだろう。

しかし伝統の悩みも

この支部では、耕作田の利益によって年1回視察旅行をやっている。この近辺では宮島、小倉、下関と、まず行かないところはない。婦人会支部の旅行としては豪華版である。しかし…悩みがないわけではない。共同耕作田の作業にかなり時間をくって、婦人たちの学ぶ時間が少くなっている。それでなくてもいそがしい農作業の合い間だから〃ここまで高めた〃点でも立派なことであるが、いま以上に充実した運営を考えると、悩みになる。現在の耕作田作業を、努めて合理的能率的に切りあげて、そこから時間を産みだしてゆくという課題に直面しているわけだ。

もっと私たち自身を高め、もっと私たちの家庭そのものを改善してゆかねば…と、幾人かの婦人は、より広い視野と実行力をもとうとしていることをほのめかした。33年間うけつがれた耕作田は支部の団結と部落への奉仕には、なるほど美しい伝統を産んだが、自分たち自身の〃主婦の座〃は、どれほど合理化され、どれほど近代化されたかという疑問がわいたのであろう。婦人たちのひとみは、実生活を前進させる意欲にもえていた。こうした婦人たちの自意識が、近い将来に上矢田支部を、より充実したものへと脱皮させてゆくことだろう。

部落の経費までも

婦人会はもちろん個人から会費をとらなくてすむが、部落の会合費もこの利益からである。〃私たちが運営するんだ〃というプライドと自主性によって耕作田の長い歴史は育ってきたのだろう。

「婦人が力をあわせて進めば、男は自然についてくるよ。」

事実、男も加わって、120人ぐらいが、3日がかりの大仕事だった。開墾によって3反の水田ができ、以後婦人会支部の運営費も、このなかでまかなうことができた。活動の財源は33年前にどっしりと基礎をきずいた。

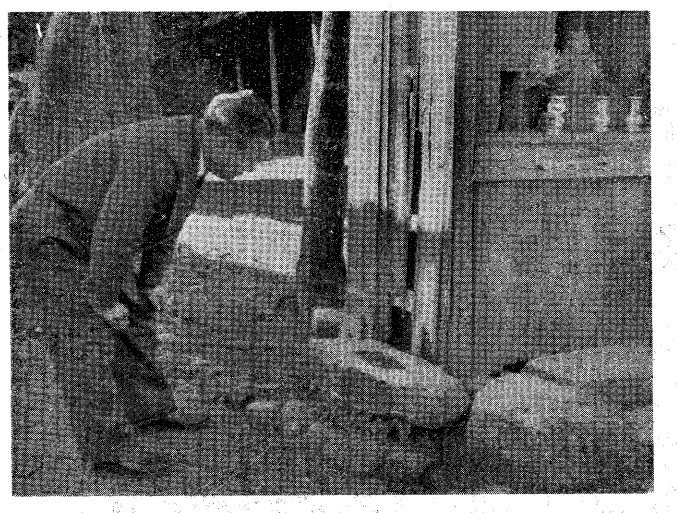
氷上に残っている一里塚の土台石

大内地区氷上に、昔使った一里塚の土台石が発見された。場所は氷上妙見社の鳥居の前の小路を、少し入った地蔵堂のそばで、横60センチ、タテ40センチの自然石に、木製の杭をたてた穴が四角に掘ってある。徳川時代通行した街道と現在の交通路は、まったく違っているが、かつては一里ごとに建てられた道標として、旅人の目標であった。てくる以外に方法のなかった交通不便な時代では茶店と同じく旅人のなぐさめであったろう。山口方面の一里は、西門前辻を起点としていたといわれる。

☆

一里塚は、秀吉の時代に初まったらしい。従来一里塚は信長にはじまるといわれたが、〃豊太閤名護屋下向記〃には「文禄元年に河辺より名護屋まで一里塚をきずく、一里は36町なり」と出ている。一里塚は家康にいたってさらに広く設けられ、慶長九年（一六〇四年）には全国的に一里塚を設置した。小鯖上鯖山の一里塚は、石がたしかにあったのだが、いまは失われてわからない。篠竹が茂り、ただあのあたりとだけ指摘できる。

地蔵堂のわきに、土台石はぽつねんと置いてある。



「部落の話しあい」のなかから・・・・

公明選挙の話しあい運動で、集会のもち方や討議の方法など、新しい形式が普及しはじめた。従来私たちの集会は、ムダな面が多かったようだ。集会の合理性と楽しさを教えてくれた点で、〃話しあい〃は大きな意義をもとうとしている。これをこなすことによって、私たちの集会はムダな時間をつぶさずおたがいの意見を平等にまとめることができよう。

私たちが同志とはかって公明選挙連盟を作ってもう2年になるが、考えてみると連盟の活動はむつかしい。公明であろうと団結を固くすればするほど、ひとりよがりの偏狭な団体を作ってゆく気持もしていた。しかしいま私は部落の話しあいに、大きな期待をよせている。私たち連盟員はそれぞれ自分の部落の話しあいに参加して、一つ一つの具体的な事例について、自由な意見を交換したいと願っている。いっしょに考えるふんいきのなかで政治をきれいにしたい願いは、自然に結びつくだろうから。そしてその結びつきは、連盟員をもっともっと増加させてくれるだろうから。話が横道にそれると政治や議会の話題も飛びだす。そんをとき〃雑談〃にしてしまわない真面目さがあれば、身辺の話題から関連的に政治を見つめる私たちの〃認識〃は一段と地につくのではあるまいか。（小鯖、益成七三―公明選挙連盟代表）

勤労所得者に冷飯

合併以来、大内町政はなかなかよくのびたと思っている。民主的な町長の実行力と、勤勉で進歩的な町会議員とのチームワークもよかった。総括的には立派な町行政であったが、残念ながら陽の当らぬ谷間もあった。勤労所得者が冷飯を食っていることである、立地条件から大内町には勤労所得者が多い。ところが〃源泉徴集〃で、私たちの税金は一銭のムダなくしぼられる。それはまあよいとしても、農業所得者と比較したとき、とくに勤労所得者に見返る恩典は何一つなかった。農業への助成と補助金はあっても、私たちに対しては全く不感症であった。もっと政策面で具体的に示してほしい。現状では、不公平のそしりをまぬがれないのではないか。（本人の希望により匿名）

お答え＝勤労所得者の源泉徴集分は590万円で町民税の45%をしめているにもかかわらず、お説のとおり特定の施策はありません。しかし勤労者の大多数は兼業農家であり、間接的には補助や助成を受けます。しかしそれでよいというのでなく、なにかの形で施策を考えねばならぬと研究中です。

ただ同額の所得で両者を比較した場合農家の方がはるかに手取りが少ないところに施策の必要が起ってくるし、問題点もあるわけです。具体的な方法で、なにかご意見があれば、ぜひ聞かしてください。

大内町広報

昭和34年1月13日
第43号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

新年おめでとうございます

ことしも、よりよい大内町が育ってゆくよう、視野を広くもって研究しまた一生けん命やってゆきます。どうかどしどしご意見などをお聞かせください。

大内町長他職員一同
大内町議会議員一同

皆さんの広報

大内町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土を少しでも住みよくする、町造りの願いと誇りが、いつも紙面一杯にみなぎっているかぎり〃大内町〃はすくすくとのびてゆくでしょう。

税金

1月 町民税―第四期
2月 固定資産―第四期
納期をお忘れなく早目に

いよいよ1959年

―― 町政の重点的な課題は七つ ――

私たちの家庭で、年の初めに1年の方針をたてるように、ことしの町政はどこに重点的な課題を求めているだろうか。私たち全部が見つめ協力する課題として、とくに大きなもの七つを拾った。

1，問田川小鯖川の改修

改修は1億3千万円の予算であるけれども，33年度は500万円であった。34年度は，姫山橋の上下流600メートル，1000万円を予定している。小鯖川では災害復旧と関連した工事が，沖田橋上流で500メートル1300万円の予算で行われる。直接河川の改修ではないが，**沖田橋**はやはり34年度720万円で，県の手により改修される。

2，中学の屋内体操場

第2期工事を終った統合中学では，ことし屋内体操場の建設にかかる。約300坪で，昭和34年度内には完成する。

3，幼児施設を再検討

中学統合によりあくことになる小鯖小学校舎の利用と関連して，小鯖地域の幼児施設の検討が必要になった。これは同時に仁保にも関連を持つことになるので全町的な視野に立って基本的なあり方を追求することになる。

4，耕地の断面を調査

特別に大きく特産物が育っていない大内町の現状では，米麦作をさらに前進させる方法として，耕地の断面を調査する計画を立てている。各地区3カ所ぐらいやり，5年計画の第1年に当るわけだが，これで施肥の合理化を科学的に検討しようというネライがある。

5，健康を楽しむ町に

私たち全町民が健康を楽しめるようにと，国保では保健医学をもっと徹底するよう計画している。家族計画の普及はもちろん乳幼児のモデル部落を作ったり，幼児教育の講座を度々開いたりと計画している。

6，町民税の適正化

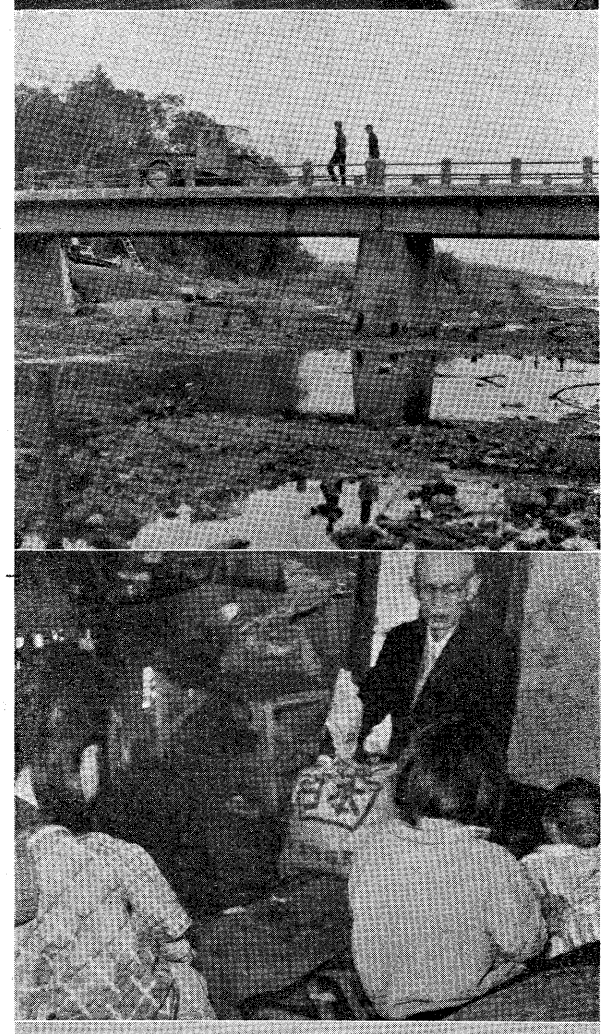
町民税を根本的に再検討する必要性は従来からあった。4年間の結果を再検討して，適正課税とできるかぎり税率を引下げる検討を重ねてゆくのも，大きな課題の一つになっている。

7，山―防間県道の改修

33年度からとりあげられ，34年度に山口市から改修にかかるが，改修はまだいとぐちについたばかり。もっと私たち町民の世論をあわせ，力強く運動を起してゆくのも，見のがせぬ重要課題であろう。県道改修期成同盟でも，従来どおり猛運動を続けてゆく

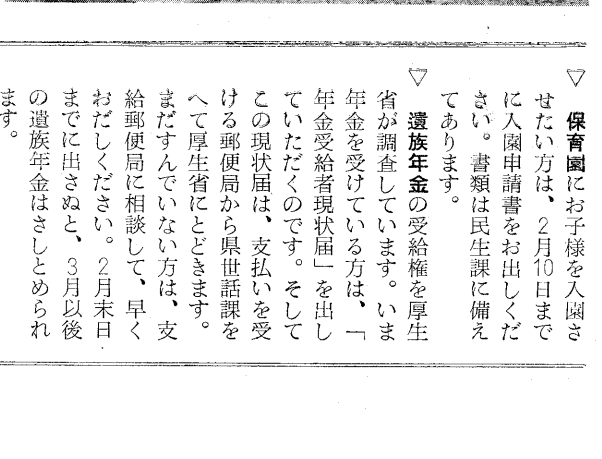
こけしが日本一に

大内菅内の中村治さんの工場では，連日こけし人形〃大内わらべ〃の製作に追われている。昨年末京都で行われた全国農村民工芸品コンクールで出品された850点のこけし人形の中から第一位に選ばれて〃大内わらべ〃はすごい人気。各地からの注文が舞いこんだ。胴は人絹粉末を1万ボルトの電圧で木材に固着させ，頭は実際に髪もゆっているという新鮮なアイデアが，従来のこけしのスタイルを破った点を買われたもの。



出初式に七色のにじ

小型ながら全部機動化したことしの出初式は，なかなかの壮観であった。それぞれのポンプで，水の吸込み口に5色のインクを流せば，放出される水は鮮やかに五色のいろどりを画く。それにも増して，折から照りつける朝日に，七色のにじは，消防団の日ごろの修練と地味な苦労をたたえてくれた。



特別版

やぶ小路橋が完成

大内の上矢田―神田―菅内を結ぶ重要路線にかかる橋〃篏小路橋〃は，130万円で完成した。将来問田川改修が進み河巾が広くなったときには，橋脚を高め，長さもつぎたせるよう設計してある。

才末の贈り物

才末助けあい運動で続々集った贈り物を，町内では民生委員を通じてそれぞれ配分した。餅つきの音があちこちから聞えてもくる暮の27日，受ける方も感謝の涙なら，贈る方も同情の涙であった。これで，才末によせられた皆さん方の温かい気持は，もっとも有意義に使われた。

隣人愛は手をつないで

歳末助けあい

歳末助けあいでは，真心こめた贈り物が，米6石6斗，金1,823円，雑穀5斗，衣類19点と集った。町内の困っている家庭，養老院や育児施設

末帰還者留守宅へそれぞれ贈られた。

東園の被災者にも

12月10日東園の大火事は3軒を焼きつくし，昨年春の菅内火災に匹敵するほどであった。被災部落ではその日から駐在員を中心に災害対策本部を設け，部落総出で温かい手をさしのべた。さらに仁保地区に呼かけた救援物資は続々と集って，つぎの額に達した。

義援米　3石2升
〃金 8,400円　衣類7点

12月27日，真心こもる物資は駐在員栗林圭一さんのもとへとどいた。

仁保地区の皆さん，ほんにありがとうございました。苦しいときにこそ，人の情は身にしみると，被災者ともども手をとりあって泣きました。さいわい春も間近か，きっと早く立上ります。

災害対策本部一同

出初式に40名の勤続者を表彰

ことしの消防出初式は，1月7日氷上河原で行われた。全部のポンプが動力化され，サイレンと同時に放出する水は，鮮やかににじを画いて見物の眼を楽しませた。この式場で10年以上の勤続者が大内町長から表彰された。氏名つぎのとおり（敬称略）

大内＝長尾勝雄，徳永豊，安部保彦，吉本輝男，永久清美，原田太，山村美早穂，吉光淳，上田忠，山本義明，小田昭久，木本圭二，重富亘，松原進，高津茂夫，佐々木定夫，田中博之，中原一久，筒井吾一，中野常一　**仁保**＝藤井忠，松田清，石川治男，岡枝常夫，田河三徳，石原清輝，伊藤知光，石本次男，藤岡登，西村精栄，金子辰己，**小鯖**＝山本基一，山本隆敏，和西稔，田中延義，徳本誠，徳本正，原田勲，三浦恵治，藤本敏

団長表彰　仁保分団第7班（丸山）長である藤村勉さんは，班をよく統率し，消防技術の向上に努力した点で団長表彰を受けた。第7班は昨年山口市で行われた，消防競技にも参加している。

▽**保育園**にお子様を入園させたい方は，2月10日までに入園申請書をお出しください。書類は民生課に備えてあります。

▽**遺族年金**の受給権を厚生省が調査しています。いま年金を受けている方は，「年金受給者現状届」を出していただくのです。そしてこの現状届は，支払いを受ける郵便局から県世話課をへて厚生省にとどきます。まだすんでいない方は，支給郵便局に相談して，早くおだしください。2月末日までに出さぬと，3月以後の遺族年金はさしとめられます。

▽**農業改良資金**の申請はお急ぎください。下半期分の受付けを12月20日からはじめています。このたびの資金は，技術導入資金に3千400万円，施設資金に4千600万円のわくがあります。農協へ申請書を出すのは，すぐにやらぬと間に合いません。

▽**未熟児**（産れたときの目方が2.5キロ以下の赤ちゃんのことです）に対して法律が改正されました。体重が2.5キロ以下の赤ちゃんは，出生届と同時に未熟児の届けをすることになりました。1.8キロ以下で入院を必要とする場合は8割ほど国の補助があります。

▽**準軍属**であった人たちの障害年金が請求できるようになりました。業務上負傷したり疾病にかかり，恩給法の6項症以上にあたる方たちです。徴用者，国民勤労報国隊，女子てい身隊，満州開拓青年義勇隊などの人たちです。くわしくは民生課へ。

▽年が改まって、急に寒さがきびしくなりました。**インフルエンザ**やジフテリヤ普通のカゼ、百日咳と各種の冬の伝染病が、私たちをねらっています。早寝早起きとじゅうぶんな睡眠、心を配った栄養とで、抵抗力を強めてゆくのが、なんといっても最良の予防法でしょう。皮膚やのどを丈夫にするため、乾布まさつや外出から帰ったときのウガイもなかなか効果的です。

▽ご存知の方もあるでしょうが、新らしく「**簡易てがみ**」を郵政省が売出しました。びんせんも封筒もいらない重宝なもので、これまでのものよりずっと使いよくなっています。封を切るとき便利なように、切取りミシンも入っています。値段は一枚12円。

▽寒い日の夜など、**チリなべ**はいかがです。温まるにはもってこいです。6人前の材料が、イワシ400グラム春菊500グラム、とうふ一丁

便利帳

だいだいの汁が大さじ5はい、こんぶ少々。

作り方＝いわしは頭と内臓をとりのけ、濃い食塩水で洗って生臭味を除き、水気をふいて丸のまま2～3切に切ります。そして熱湯をくぐらせしもふりにします。

なべにこんぶを敷いて水を入れ、吸物ぐらいに塩味をつけて沸かします。やっこに切ったとうふと前のいわしを入れ、春菊を落したら終りです。これで煮えたら、ポン酢をつけて食べるわけです。材料も安くあがりますし、そろって温かい夕飯を楽しめるでしょう。ためしてみませんか。

電話でとても時間が節約

＝仁保＝〝有線放送〟は評番がよい

「おい、お前のきょうの弁当のおかず、何じゃった？」

家庭にいながら、どこの家とも通話ができるのだから、子供は面白がって利用する。有線放送をはじめると、どこでも3月ぐらいはひどく混雑するという。交換嬢は息が切れるほど、ひっきりなしに応答をくりかえしていた。重労働である。

一戸平均5千円の負担

この有線放送は、農協が事業主体になって、約600万円かかった。国からの補助金は116万円で、245万円を加入各戸で負担、残りは農協の負担となっている。だから一戸平均5千円あまりとなる。現在仁保地区の約半分―上郷、一貫野、松柄、高野、牧川などで行われている。なかなかに評番がよいので農協では仁保地区全部にやりたいと、意気込んでいた。

維持費は一戸当り110円

ラジオの聴取料みたいに、各家庭で月々110円ほど負担することになっている。この金を積み立てて設備費の消却にあてる。5年間ほどかかる。通話は朝6時半から夜9時までが無料で、これ以外は10円ほど料金が必要である。24時間いつでも利用できる点は、郵便局とまったく変りない。

これじや職員の苦労も大変だろうと想像した。もっとも、夜12時をすぎての通話もあまりないだろうし、病人がでなければ「ハイヤーを呼べ」ぐらいだろうから。放送時間が1日に3時間15分、朝昼晩と、細かく割ってある。この時間には通話ができないから、不便といえばいえるが、そうぜいたくもいえまい。電報電話の仲つぎもやってくれる。一通話が10円だが、半分は郵便局にとられるという。放送も大変に有益だし、電話がきくので、とても時間が助かると有線放送への期待は大きかった。それだけ関係者の人知れぬ苦労も大きいに違いない。

型わく松材も町有林手入れとひきかえにした

コンクリートのあぜは安くできる

長野の泉会が立派に成功

泉会と命名した由来を聞いたら、泉の水がいつまでも新鮮であるように、会員の心も体も若くありたいから……と会長は答えた。しかし実際は、発足した31年1月ごろ、山口で上映していた映画に〝泉への道〟というのがあって、これからヒントを得たんだと、種明しをしてくれた。ともあれ泉会は、農研団体として着実に成長して、もはや満3年を迎えた。会員13名のさやかな団体である。

早期のためあぜを改良

泉会では、昨年大きく早期栽培をとりあげた。6俵半の収穫だったが、ことしは8俵の目標を立てている。4町5反が昨年早期に切りかえられたが、実際にやってみて、この切りかえになんの障害がともなった。つまり、水を引く関係で、どの田も早期にというわけにいかない。コンクリートあぜは、こうした理由から計画された。地盤までコンクリートを入れておけば、水をもらして隣りの田から苦情が出る心配もない。

耕地面積も広くなった

いままで60センチもあったあぜが、厚さ15センチのコンクリートにかわったのだから、田の面積も広くなる。水もちもよくなる。……とまあこんな理由で会員たちは、ことしの早期までに450メートルやると計画していた。すでに150メートルは工事を終っている。このコンクリートあぜは、1メートルが約120円の材料費であがる。自家労力だから、手間代はいっていないが、1人役で約7メートルの工事ができる。泉会では、共有のパネル（型ワク）を作って、きょうもせっせとセメンをこねている場合、この二つのどちらに原因にしているかを、考えてみればよいわけです。遺伝は簡単にはなおりにくいでしょうし、環境は比較的調整しやすいでしょう。成人の環境と違って、幼児の環境はほとんど母親と家族にかぎられますから。

内気で困る

どうもうちの子は内気であるといった場合、家庭内ではヤンチャで、外に出て内気であるのと、内外ともに内気なのとあります。前の方は、母親がかわいがりすぎるため、甘えて自立心がなくなっているのです。後の例では、遺伝

三つ子の魂は百まで

両親の反省こそ必要

昨年の暮のことでした。山口市にある児童相談所から児童心理を専門に研究している講師を招いて、3地区でそれぞれ研究会を開きました。幼児をもつおかあさんたちが、全部で120名ばかりも集って、話を聞いたり質問をしたりしました。幼児といえば2～6才まで、当日出席できなかった方も多いので、とりまとめてみました。

成人と違う幼児の世界

賢こいおかあさんほど、かえって間違うことがあるようです。成人のヒナ型を子供に求めて、早くききわけのいい子供を育てようとか、変におとなびた子供にしようとか考えるようです。幼児は幼児独自の世界をもっていますからそれを尊重してやらぬと、いじけた子供になる危険もでてきます。とくにおとなの合理的な考えを、そのまま無理強いすると、子供には解ったようで解らぬ場合が多いようです。どうもうちの子は理屈が多い、わけのわからん理屈をいう―などといった場合、親身はもっとも合理的な考え方を、ひごろ子供にたたき込んでいると自負しているときに起りがちです。子供には、とくに幼児には、それなりの独自な精神生活があると認識するところから、幼児の教育ははじまるともいえます。そして幼児の世界は、幼児の考え方や感じ方を、ひごろ愛情深く見つめることによって自然と理解できるでしょう。

環境と遺傳

幼児には、幼児特有のそうした感じ方があるにせよ、やはり親から相当大きく素質を受けついでいます。つまり遺伝的な素質です。親のもつ欠点とそっくりなものを幼児に発見して、苦笑なさる場合もあるでしょう。と同時に、人間としての知恵を、学び取ってゆくのは環境ですから、おかあさん方が、幼児を見つめてやるときに、自分に都合の悪いことをさけるためにうそをつくことがあります。しかし幼児のうそは、幼児自身うそとほんとうの区別がつかぬ場合もあるので、気にしない方がよいのです。親の理屈でそのうそを解明しようとすると、幼児の空想の世界は、はかなくこわれてしまいます。うそをつくこと自体より、「なぜうそをついたか」の原因を親として反省した方が、より幼児の世界にとけこめるでしょう。

そして、うそをつく罪悪感をちっとも感じていないのですから、成人のうそと同じに扱うとかわいそうです。

よくうそをいう

小学校の3・4年ごろになりますと、自分に都合の悪いことをさけるためにうそをつくことがあります。しかし幼児のうそは、幼児自身うそとほんとうの区別がつかぬ場合もあるので、気にしない方がよいのです。親の理屈でそのうそを解明しようとすると、幼児の空想の世界は、はかなくこわれてしまいます。うそをつくこと自体より、「なぜうそをついたか」の原因を親として反省した方が、より幼児の世界にとけこめるでしょう。

そして、うそをつく罪悪感をちっとも感じていないのですから、成人のうそと同じに扱うとかわいそうです。

▷かげぎり◁

戦時中には、かげぎりが守られた。食糧増産が叫ばれただけに、誰も反対できなかった。しかし終戦以後、かげぎりはすたれてしまった。まだ農村にいくぶん好景気があったころは、そんな話はケチ臭いことのように、考えられがちであった。だが、かげぎりはたしかに心要だ。二番露が落ち、日照が不足すれば、作物がどんなになるか、おたがいよく知っている。心に思って、義理や遠慮からいいにくいのだろうが、部落全部でとりあげてやってみたらどうだろう。みんなの手によって、作物をかわいがる行事が行われたら、そこには感情のもつれもない。農休日はできたが、かげぎりの行事も、もう顔を出してもよい。（とく名希望）

☆ひえに泣かされる☆

いくらとっても、ヒエはあとからあとから生えてくる。かんがい水といっしょに運ばれて、恐らく4～5年間は死なないと思われる雑草の種は、くる年ごとに私を苦しめる。下流の者ほど、毎年のようにヒエに苦しまねばならぬ。元来雑草の種子は実が熟さないときでも、じゅうぶんに発芽力を持っている。そのうえ殻が固いときているから、道路に投げあげて、自動車のタイヤにふませたとて、別にいたみもしない。雨が降れば水とともにみぞに集りやがて流れに乗って私たちの田へ襲ってくる。抜いたヒエを田のあぜに放っておいて、自分の田に入らねばという気持が私には悲しい。おたがい農民の道義としても、ぜひ焼くか、堆肥に入れるようお願いする。

（大内　岡村英男）

※兵庫の米作り※

国内留学で、私は兵庫県の農業を視察する機会をつかんだ。兵庫といっても加東郡の一帯だが、大内町よりすぐれた一面を見て私は思わずうなった。環境的に似ている点は、兼業農家が非常に多かったことだ。4～5反が非常に多い。しかしこれらの農家が、少くとも6俵半の反収をあげているのには感心した。7俵から多いところで10俵をとっている。土質はむしろこのあたりより劣っていた。私はこの原因の一つを堆肥に感じた。反当600貫も入れている。金肥は700円見当であった。兼業農家でありながら、農業は農業として、採算をとっているこの加東郡一帯に、私は大内町農業のこれからを画いてみた。そういえば、ほとんど瓦ぶきの農家であったことも、印象的であった。

（大内菅内　椿　保夫）

大内町広報

昭和34年2月15日
第44号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

国保20周年のお祝い

国民健康保険が行われるようになって、今年で20年になります。大内町ではまだ3年そこそこですが、記念の祝賀が18（仁）19（大）20（小）日と3地区で行われます。表彰や映画、福引きもあります。時間は午後7時、場所は各小学校で。ぜひおそろいでおいでください。

広報紙が特選に

「広報がくると奪いあうようにして読んでいる。」と小鯖の人がバスの中で話してくれました。今後とも、私たち町民と町政を結ぶ大切な〝かけ橋〟として、一歩一歩高めてまいります。県のコンクールでは特選でした。

固定資産税（第4期）

納期は2月末です。

町政の動き

町議選は全町一区で

仁保妙見にラジウム温泉

2月4日の議会で、町議の改選を大選挙区で行うと決定した。町議の定員も従来より4名減の22名になった。仁保妙見にラジウム泉があることが確認され、町では近く本格的な調査をする。小鯖幼稚園は、町立で4月から発足することになった。役場では例年のように、新年度予算の組立てを急いでいる。以上が、町政最近の主な動きであった。

4月の町議選挙から、地区別の選出はなくなった。大内町が合併によって誕生したという特別事情で地区別選出を行ったが、このたびから、全町民の信頼と期待をこめた町議選になる。しかも定員は4名減の22名になった。

○…仁保妙見にラジウム泉がみつかった。元来昨年のカンバツ対策として小鯖毛割の地下水を調査したところから、発見のいきさつが始まる。毛割で岩盤にボーリングをしてみたときのこと、山大高橋教授が「水成岩なら問題ないが火成岩だと、何か鉱物質が含まれることが多い。かんがい用水でも、一応科学的な検査をしてみてはどうか。」ということだった。とくに大内町ではウラン鉱の鉱区申請も多いので仁保妙見の湯面を調査してみた。

○…妙見の田中保人さん宅の井戸を調べたら、ラジウム含有量が普通の倍以上あった。数字でいうと100億分の三〇、五キュリー（キュリーはラジウムの測定単位）で、法律で決められたラジウム泉にがい当することが明らかになった。

○…湯面は、昔は湯免と書いていたらしい。湯が出て、作物ができないから、税金を免除していたのが、いつの間にか免が面になったといういい伝えがある。宮野温泉の系統に属し、近く本格的な調査が始まる。

小鯖小そばに町立の幼稚園

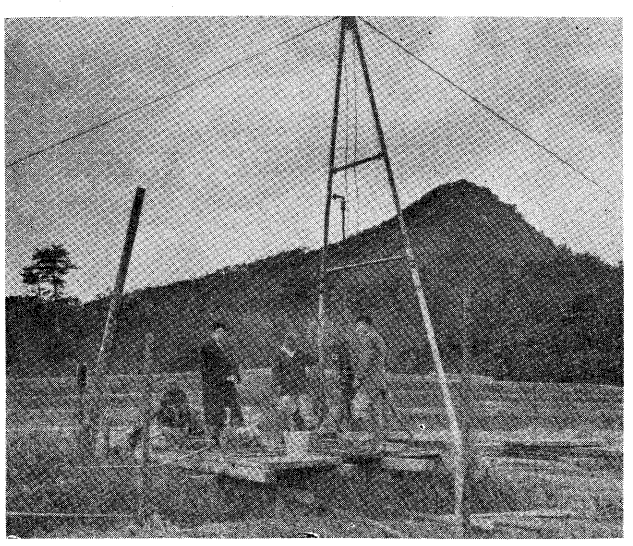
小鯖小学校の建物を利用しこれを改造して、町立幼稚園は4月から開園する。収容数は80～100名程度になる予定。講堂寄りの4教室を改造して施設にあてることになっている。大内保育園に遠く小鯖から通う不便が従来あったが、仁保のみのり幼稚園とともに地区の中心部に一つあての施設ができ、幼児収容施設はひとまず完成した。

豫算は骨組みだけ

今年は町長の改選期でもあるので、役場で編成を急いでいる新年度予算は原則として経常費を主体にしている。新町長の公約と施策をとり入れて、充実した内容は、5月以降追加更正予算としてきまる。

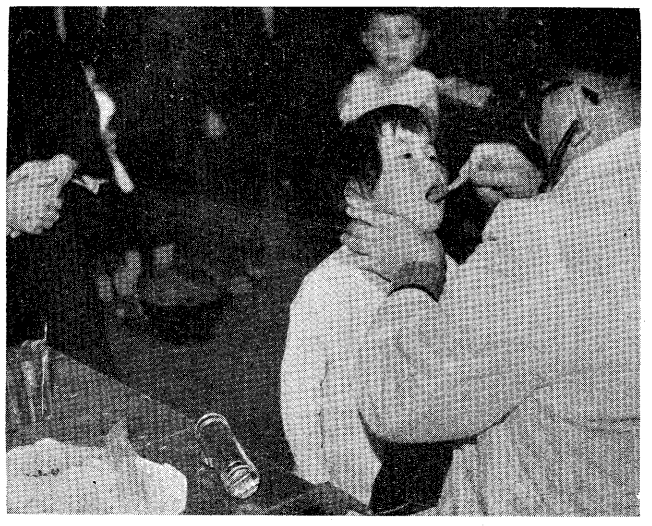
橋のかけかえ6件

3月いっぱいに完成予定の橋はつぎのとおり。▽揚山橋（揚山林道にかかっている）▽木戸山2号橋 ▽こうぞ原橋（浅地）▽高畠橋 ▽高野橋 ▽栄橋（小鯖籔の尻）木橋ではすぐいたむので、全部鉄筋コンクリートに改造する。



かんがい用の地下水を探す小鯖毛割のボーリング

向うの山は〆めんぼう山



お医者さんは少しコワイ（小鯖小で）

←入学児の身体検査

新入児童の身体検査は，2月5日までに各小学校とも終った。今年は290名で，昨年より17名少ない。大内町の出産率は，家族計画の普及で最近相当低くなったが，それが6年周のずれで，ちょっぴり現われてきたわけである。

→成人おめでとう

真心のこもった赤飯に，成人者は舌つづみをうった。簡素で厳粛な成人式にと，よく他の市町村では呼かけているが，大内町ではその必要はなかった。それぞれ個性にあった服装で，99%まで男女とも洋服であった。今年は254名の若者が式に参加した。

質素できりっとした洋服ばかり（仁保小で）

光田議員7日に町会葬

昨年夏から療養中であった町議光田悦助氏は、2月3日不帰の客となった。葬儀は、光田悦助氏が町議在職中であったので、7日大内菅内の仁平寺で盛大に町議会葬を行った。光田氏は旧大内村議として2期つとめ、新町となって1期つとめたので、合計12年間地方自治発展に努力した。とくに町議会では経済委員長として、4千ヘクタールもある町有林の管理と育成、その他産業の発展に心をくだき、誠実な人柄は多くの尊敬と信頼を集めていた。

昭和33年産麦共済金支払状況（単位千円）

評価班名	部落名	支払共済金	金額率%
仁保一	揚山	九、九	
	金坪	七、八	
	大畠	四、三	
	の瀬	七、五	
二	北河内	七四	一四、二
	高畠	四七	一〇、八
	高野東	二六	一〇、九
三	井西	二六	七、八
	東柄	二九	一〇、六
	松井	九	一五、四
四	坂本	一三	七、四
	河内	二五	九、六
	原	二五	四、二
	貫野内	一	一、一
五	両浴	一八	六、八
	仁保市	五	三、五
	高野西	一	〇、六
六	野上	二九	九、五
	土井	四五	一、一
	高松	四六	八、八
七	丸山	八九	二、二
	東円	一五九	一、二
	深野	二九	四〇、四
大内一	菅内	六五	七、九
	小野	一二二	一、七
	間田	七三	一、〇
二	高芝	四六	九、五
	茅野神田	二九	一、七
	上矢田	二七	四、八
三	殿河内	九三	一一、六
	長野	七一	一三、九
	宮の馬場	五五	七、九
	大道	八一	二〇、五
四	氷上の上	七	三、一
	〃下	三二	一一、七
	上千坊	一四六	一三、五
	中矢田	四〇	九、七
五	御堀	二	〇、五
	川向	三	八、九
	下千坊	八五	一五、二
小鯖一	二区	一六	二、七
	三	四	〇、八
	四	九九	一、〇
	五	一四	二、六
二	一	一三	二、六
	二	一九	四、九
	三	七	一、五
三	六	四〇	七、八
	七	二九	七、七
	八	一二	三、三
四	九	二六	六、六
	一〇	一五	二、九
	一一	一四	一、〇
五	一二	一五	三、二
	一三	一六	四、一
	一七	一四	二、一
合計		二、二四五	一〇、一
一七		五六	

昭和33年12月26日仁保、大内、小鯖各農協個人別予金口座へ振り込みました。
（昭和33年麦以前の掛金未納の方の共済金は掛金納入後に振り込み支払いたします。

お知らせ

▽町民税や所得税の減免に必要な水稲麦の**災害証明**は、共済掛金を納入ずみの方に発行すると、共済組合ではいっています。

▽**稲の花**は、風が媒介するので、3年たてば品種の特性がなくなります。2月10～20日に各農協では、部落に出向いて種モミ交換をいたします。率は種モミ1キロについて玄米1キロ。

▽**申告所得税**の確定申告と第3期分の納税は、3月15日（日）が期限です。

▽**引揚者**給付金（引揚後死亡した人の場合―遺族給付金）は、昨年末で257世帯（受給額面1千万円）を処理しました。まだ給付金を受ける資格のある人で、手続きを終えてない人も、かなりあるようです。引揚証明在外証明などの書類がない人も、請求の方法がありますので民生課へご相談ください。

▽法律改正で、とくに注意していただきたい点が二つあります。

(1) 出生、死亡、転出転入や他の社会保険（職場の健康保険など）へ**加入または脱退**した場合、10日以内に国保係へ受診証をそえて届出なければ、罰せられることがあります。支所でも結構です。

(2) 患者の移送費は、歩行が困難とか、ほんとに急を要する場合に限られます。調査をして、**正当と認めた**ものにだけ支給されることになりました。事前にご連絡いただくのが一番事務上好都合ですが、間にあわぬときは、すぐに申請書を出していただかぬと、調査困難のため支給できぬ場合もあります。

▽**狩猟**シーズンなので、**鉄砲**を使うことが多くなりました。家庭で、火薬や猟銃の置場所に注意していらっしゃいますか。毎年のように、思わぬことから不具者になる子供があります。

▽お宅では〃**家族会議**〃を開いていらっしゃるでしょうか。農家でも冬の間は比較的ヒマですから、家族全体で家の運営を話しあうこともできましょう。夕食後とか、日曜日の午後などいかがでしょう。家族全部で意見をいい、反省しあって気持がとけあえば、お子さんたちもきっと大喜びでしょう。

▽**早期栽培**用の稲は、北海道や東北地方でつくられた品種が適していますが、原産地のものがよいか、暖かい土地で種をとったのがよいかが、よく問題になります。苗代や本田で成長や収量にちがいがあるかどうかということですが、いままでの成績では差はありません。だから、高い運賃を出して取寄せる必要もないわけです。代表的な品種は、わだ、農林17号、たかねにしき、平和もち、など。

▽県下の農村方面で、ふとんや綿の**行商人**がふえてきました。目方をごまかして売っているようですから、ご注意を。

▽冬は日が短かく、**鶏**も運動不足がちになります。餌を食べる時間も短かいので食欲も不振になります。そこで、朝は薄明るくなったらすぐ餌を与え、夕方は少し早目にやり、さらに日暮れに小麦など10～20グラム与えると効果的です。つまり餌をとる時間を長く少しあてやるわけです。

便利帳

〝北の稲〟南で栄える

もはや稲の不時栽培時代

県下で今年の早期は5千ヘクタール

農試で10アール(反)当り700キロ

西日本の稲作は大きく変ろうとしている。早期栽培は、昨年県下で2千700ヘクタール（町歩）、今年は5千ヘクタールにせまっている。地力を養い、肥料を改善しても、なかなか破れなかった〃10アール（反当り）600キロ（4石）のカベ〃は、今日ではそれほど困難でなくなった。事実、県農試でも、昨年「とわだ」を植えて、10アール当り700キロ（約12俵）の成績をあげている。「栽培体系をすっかり変えてしまえば西日本の稲作は飛躍的に進歩する」と叫ぶ大分農試場長鷹田博士の理論を、県農試和田技師に解説してもらった。鷹田理論の紹介と、小鯖4Hの秋落対策の研究などを、カンタンにとりまとめてみた。

稲の成長を、普通〃栄養成長〃と〃生殖成長〃とに分けて説明する。幼穂形成期は、この二つの成長の中間にあって、成長の区分をしている。…学校の植物学の教科書みたいだが、鷹田理論はここから発足する。従来の西日本の稲は、高温で日照が長い期間には栄養成長をとげ、低温で日照が短かくなるにつれて、生殖成長を完成していった。8月に穂ばらみになり、10月収穫にこぎつけた理由もここにあった。元来どの稲にも、こうした成長の特性はあったが、品種により強弱がある。北と南の稲の特性を比較しながら、鷹田理論は気候によって稲の特性が相当違うことをつきとめた。

つまり、西日本の稲は、日照が長く高温である場合、生殖成長にいりにくい性質を備えている。それが稲の生理からいっても自然であるし、長い間風土に培われて育った一般的な型であった。どんなに早く植えても、一つの決った気候の制約に従ってでなければ、生殖成長に入れない欠点をもっていた。9月の台風をよけることもできないし、真夏にみのらすことも不可能であった。

ところが、北国の稲になると、この特性がかなり違ってくる。急に寒くなり、冬を迎えてしまう北国（東北、北海道）では、高温のもとでも生殖成長にはいるような品種でなければ育たない。栄養成長から、短かい生殖成長になったのではみのらないからである。早期栽培のやり方は、この特性を利用することで、実用化できた。農薬が非常に進歩して、〃めい虫〃を駆除できるようになったのも、早期がひろがってゆく大きな原因になった。なぜなら従来の稲作は、〃めい虫〃被害を最少限度にくいとめるため、植付けを遅くする方法をとっていたから。

鷹田博士は、南洋の稲と、北国の稲とを比較研究することで、この革命的な理論をうみだした。西日本で一番進んだ稲作をやっている佐賀でも23～24年ごろから収量は頭うちであった。650キロが限界とされていたが、いまこのカベは楽々破れる期待がもてるようになった。早期とならんで、晩期栽培も理論的には可能だが、まだ問題がいくつか残されている。早、晩期とも適当な品種の発見と育成がこれからの最大の課題であろう。

東北の稲は常夏のパキスタンにまで進出

平口サイと珪カル 秋落水田に効果的

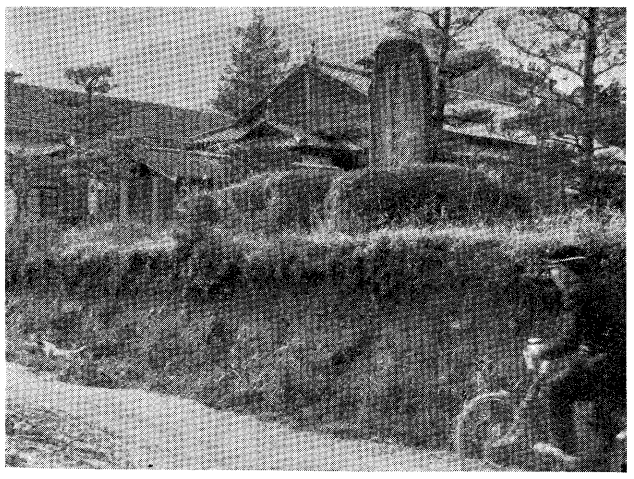
小鯖の耕地面積500ヘクタールのうち、約3割が秋落田である。この面積は大きい。小鯖4Hクラブが、含鉄資材（平口サイや珪カルなど）を使って、秋落田の収量をふやす実験をやったが、興味ある結果が出た。揚床水苗代で、田植は6月22日、刈取りは9月30日。株間25×25センチ（約8寸）で、坪当り56株であった標準区を100%として計算した場合珪カル160キロを入れた地区は114%であった。客土を8千キロ入れた地区は108%、平口サイを600キロ入れたのは、115%にも達した。つまり、珪カルや平口サイを使ったところでは、15%の増加が可能であることを証明している。どの試験区も、硫安40、よう燐20、塩加12キロを使っている。元肥と追肥の関係は、つぎのようであった。

	合計（反当）	元肥	追肥
硫安	40キロ	20	回 1 回 2
よう燐	20	20	10 10
塩加	12	8	4

※珪カル（珪酸苦土石灰）は30キロ入約160円、平口サイは30キロ入が約130円。

これまでも小鯖地区ではボーキサイトなど使用されていたが、割合いに効果は少ないと見られていた。だから含鉄資材を使うことには消極的であったが、いまではこの考えが相当変ってきたようだ。小鯖農協へ申込みを受けた数量は、現在100トン以上にも達した。

小鯖4Hが行ったいま一つの実験は、〃窒素の適量試験〃であった。5区に分け、それぞれ窒素の量をかえたが昨年秋の成績では硫安50キロの地区が最高であった。異常天候でもあったし、正確なことはいえないが、硫安55キロまでは使って効果があるだろうと、クラブ員はいっている。硫安20キロ使った地区（よう燐20、塩加12キロ、他の実験区もよう燐、塩加の量は同じ）に対して、50キロ使った実験区は、26%の増収を示した。実験区の土質は、秋落地帯ではなく砂と粘土の中間にある壌土であった。場所は上郷と境で、収量はこの2地区の平均を出してある。硫安40キロの区は、20キロの区に対し、20%の増収であった。



小鯖支所のそばにある翁の石碑

稲の品種改良をした先覚者

郷土の誇り〃伊藤音市翁〃

明治の末、伊藤音市翁の名声は全国の農民の間にとどろいた。つぎつぎと稲の品種改良を行い、県下はもとより、全国に作付面積は広まった。県下で7千ヘクタール（町歩）収穫13万5千石であったといわれる。遠く朝鮮でも栽培され、アメリカのカルホルニヤでも試作して好結果を得たという。

○…しかし翁の品種がここまで愛用されたかげには、設備もととのわぬ明治のはじめ、想像以上の苦労があったようだ。こんな話が伝っている。あるとき近所の人数名とつれだって、防府天満宮に参詣したというが、研究熱心な翁の一面を物語っている。音市翁は、その意味で研究の〃鬼〃であった。

○…明治18年に音撰（早稲）を創り出し、22年には中稲の穀良都を白玉種より選出している。光明錦、江戸市、神玉恵玉、音市、とつぎつぎに発表している。観業博覧会の総裁賞、農商務大臣の表彰は30回以上にわたった。大正天皇の大嘗祭のときである。翁はもうこの世の人ではなかったが、悠基（ユキ）主基（スキ）の祭田に〃穀良都〃が稲種として選ばれた。

○…音市翁は安政2年12月に上小鯖伊藤伝蔵氏の2男に生れ、明治45年1月、稲の品種改良に捧げた尊い生涯を、病のためにとじた。58才であった。これらの品種も、いまは過去のものとなったが、尊い一生は、後代に語り伝えてもよい郷土の誇りである。

☆どの人にどんな仕事を☆

地方選挙を二カ月後にひかえて、最近よるとさわると選挙話に花が咲く。誰それが潜行運動をしているとか、もう××票固めたとか、誰某の地盤に×が喰込んだというたぐいである。まるで一人一人が選挙参謀になったように、情報が取沙汰されている。しかしよく考えてみるとこうしたことは〃選挙〃の本質的なことではないと気付いて、さびしい気持がした。「どの人にどんな仕事を」という具体的な検討をまるでしていなかったのである。高見の見物をきめこんでも、選ぶ私たちに主体性がなかったら、日本の民主主義は育たない……と夕飯の卓をかこんで、家族一同と話しあったことであった。あと二カ月、有権者一人一人の検討によって、大内町にふさわしい立派な町議と町長が選出されることを、私もまた見守る一人だ。「どの人にどんな仕事を」の人がふえれば選挙は公明になるだろう。（公明選挙連盟代表者　益成七三）

選挙の**事前運動**で、もう検挙された人がいます。事前運動は全面的に禁止されていますが、〃立候補の準備〃は認められています。

▽選挙事務所を借る内交渉　▽出納責任者や運動員労務者の内交渉　▽応援演説の依頼　▽演説会場を借入れる内交渉　▽看板やポスターを作ること　▽誰を候補に決めるかを話し合うせんこうや推せん会……以上は、認められていますが、その巾はいたって狭いものです。

また四年目がやってきた。町長、町議選で、うっとりする公約をあれこれ聞かされる時期でもある。運動員は目的のために手段を選ばぬ殺気立った動きをするし、候補は候補で、都合の悪いことにはノーコメントである。何となくざわつきそわそわした時期が過ぎると、私たち選挙する側にも、深刻な反省期がやってくる。美しい言葉で飾られた公約に対するものが、何一つこないのだ。

「あとは信頼してまかしてくれろ」とでもいうのだろうか。つんぼさじきに置かれて、私たち有権者は何ともいえずさびしいのである。やってみてできない公約は、またそれでいい。いまどう処理し、どう努力しているかを、そのときどきで報告できないものか。つんぼさじきにおかれる公約ならば、始めから耳をかすのではなかったに……と、選挙のくる度ごとに唇をかんでいる。話しあってみると私の考えに共鳴する婦人も多かったので一言（小鯖　八反田　中川波子40）

☆つんぼさじきは困る☆

大内町広報

昭和34年3月12日
第45号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

春の緑化運動

約700年の昔、奈良東大寺の建立用材は、佐波川上流から伐り出されました。山口県の山々も、昔は秀れた天然の美林があったようです。しかし近年はひどく荒れています。生産性の低い雑木林や地味のやせた山が、大内町にもかなりあります。

もうすぐ入学期

早寝早起きの習慣はつきましたか。自分の名前を読んだり書いたりできますか……などとうかがわなくても、もうちゃんと準備をしていらっしゃるでしょう。もうすぐ入学期です。

遠く故郷を離れている人に

大内町広報を送ってさしあげたら、喜ばれることでしょう。どうぞお申出ください。

町政の動き

32年度決算議会で承認

尾曽越林道の完成は3月末

3月6日の町議会では、32年度の歳入歳出決算を承認した。この年度に町財政に入った金は、1億2千28万円であった。このなかから、実際に支出した金額は、1億1千722万円で、差引き306万円が、翌年度（つまり昭和33年度）にくり越された。これはあまった金額ではなく、事業の関係から、支出の必要がなかった金額である。特別会計（国保）では1千357万が町財政に入り、このうち1千222万円を支出した。差引いた額から43万円を基本財産にくり入れ、残り92万円が、33年度にくり越されている。

○…御堀で発見されたラジウム泉の予定地は、昔の乗福寺の境内にある。かって乗福寺の僧たちが入湯して、その効能がたしかであったらしい伝えが残っている。

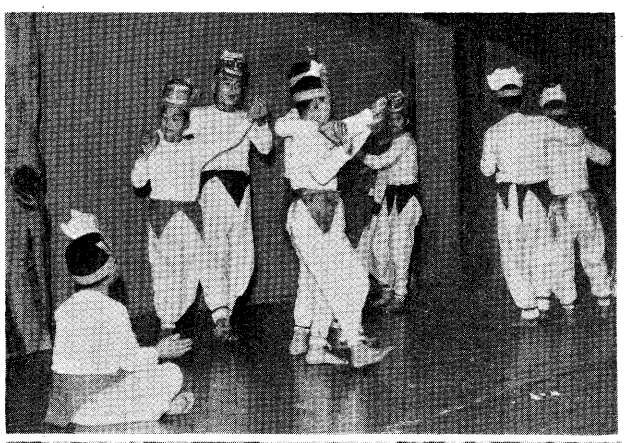
新予算の審議は12日から

○…新年度の大内町予算は、いよいよ12日から審議を開始する。それぞれ伝統と管理方法を異にした3地区の林野を総合した立場で考える**林野条例**は、特別委員会をつくり、すでに6回の会合を重ね、審議時間も合計50時間にのぼった。6日の議会でも最終的な段階にいたらなかったが、これからも審議は続行される。

※新予算の項目別の内訳は来月号の広報でお報らせします。

問田川の工事も進む

○…延長800メートル、工費320万円をかけて、尾曽越林道はいま完成を急いでいる。もとの小さい林道と別個に、新しい道路を、山の中復の土砂をくずしては形づくっている。仁保川合流点から上の問田川改修県工事本年度分も連日はかどっている。井久保橋（井開田市営バス車庫の近く32メートル）は、災害復旧耕地事業として、82万の予算で進めている。問田川も井久保も3月末に完成。



わが子を見守るおかあさんたちの眼。　学芸会はどの学校も超満員の盛況（大内小で）

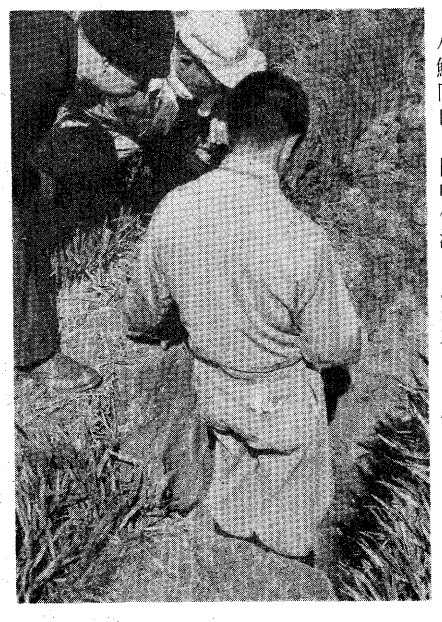
耕地の断面調査始まる

5年計画で施肥の合理化

山口県の肥料代は、全国平均より反当600円ほど高い。収穫がそれほど多いわけでもないのだから、結局はムダな肥料を使っていることになる。耕地の断面を調査するのも、施肥の合理化をはかるためで、今後5年間に全町の田を一筆ごとに調査する。

調査内容は多方面から

土の生産力を科学的に調べて、ムダのない肥料の使い方をしようというので、調査は多方面にわたっている。深耕が必要かどうか、客土が必要かどうかはもちろんのこと、地下水が高いか低いか、稲の根がどのくらいの深さに分布しているかも調べる。そのほか、土自身に含まれている微量要素（鉄とかマンガンとか）や、肥料が流れ去ってゆく状況も問題になる。従来土の表面だけを調べて、それで判定を下していたが、それでは非科学的であるため、タテに深い穴を掘り、構造から根本的に観察しようというのがねらい。表土の性質はもちろん、各層の土の性質を分析しその構造と性質にもっとも合った施肥を、各農家が自主的にやれるように、調査結果はくわしくまとめられることになっている。いま施肥合理化の運動は、科学的な基礎のうえに進められようとしている。



小鯖向山、田中俊治さんの水田、底に水がわいている

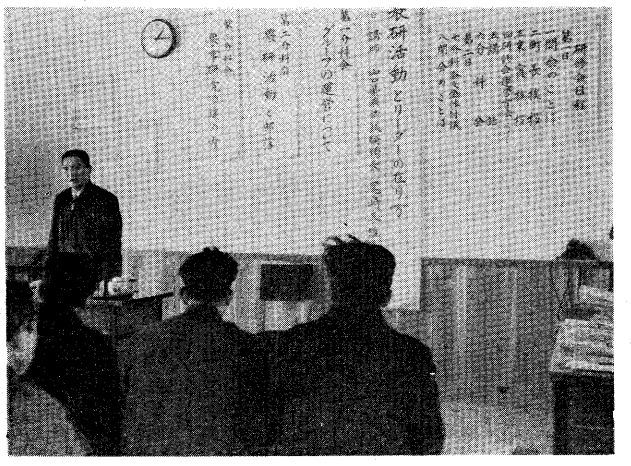
穴堀り全町で1千600

今年は第1年目で、大内2、仁保3、小鯖3と合計8カ所を調査する。しかし一貫野のように筆数の多いところは、350の穴を掘ることになるという。上矢田で約170の穴。それで全町で8カ所だが、穴の数は1千600にのぼる。深さ約1メートル、人間が楽に入れるぐらいの大きさである。1月中旬実施部落から4名あて、合計32名の人たちが講習を受け、2月14日から調査を開始した。実況はいま天然色のスライドにとっている。

これからは横の連絡も

農研グループの集い研修館で

○…農事研究グループは、この数年大きく育ってきた。いま大内町で38を数え、会員は800名に達する。2月12日役場横の研修館で行われた集いには、22グループ45人が参加した。それぞれグループの指導的立場にある人たちで、今後の運営を話しあった。



講演は農事試験場長　尾崎三雄氏

○…グループは従来誤解された傾きがあった。大内管内のように、部落ぐるみ研究団体を組織しているところは、問題が起らない。部落の有志で組織しているグループは、グループ員だけの技術向上を考える団体だと思われがちであった。部落全体の水準を引上げるとなると、そこに技術向上のテンポがのろくなり、グループ員の意欲が、沈退するという、反面の欠点も出てくる。部落とのつながりもよく考え、何よりもグループが相互に横の連絡をとって、全町的な視野から活動しようと申し合せたことは、この研修会の、大きな収穫の一つであった。

○…グループの環境（部落）とのつながり、研究の態度やり方――こうしたものを総合して、私たちの人間関係を改善してゆこうと、話しあったことは、さらに大きな収穫であった。グループは単なる研究団体としてより、農業改良の意欲的な実践団体の形をとり始めた。

稲作多収穫の表彰

この研修会で、多収穫の表彰も行われたが、受賞者はつぎのとおり（敬称略）

早期＝一等　伊藤静雄（毛割―銀河1号）以下二等　岩田恒雄（一貫野―農17）白上繁（氷上―たかねにしき）**普通作**＝一等　梅田唯一（深野―金南風）以下二等　末村勇二（石帛―金南）伊藤正朔（一貫野―金邦）岡忠生（一貫野―金南）全部反当10俵以上

▽ **伝染病**がふえています。1月以降の発生はつぎのとおり。セキリ（上小鯖、仁保中郷、鯖山、向山が各1名。長野は2名）腸チブス（仁保中郷1）ジフテリヤ（仁保中郷1）しょうこう熱（氷上1）
飲食にご注意ください。

▽ **光田町議**の遺族から、町の社会福祉事業に、1万円ほど寄付されました。

▽ 共済組合では、任期が満了した56名の**総代**全部の改選を行います。各部落を一選挙区とし1名あての総代を選ぶことになっており任期は3年です。組合では日常の業務状況なども総代に充分知っていただく意味も含めて、部落連絡員を兼任してもらう予定です。承諾書の提出期限は4月15日です。

▽ 家庭の事情で、どうしても全日制の高等学校へ行けない人のため、山口高等学校に**通信教育**の制度があります。一般の高等学校と全く同一の資格で、卒業証書ももらえます。案内書は直接山高へご請求ください。

▽ 陸海空の**自衛官**を募集しています。受付は3月1～4月15日。試験期日は4月下旬～5月上旬。くわしくは役場総務課庶務係へ。

▽ 春は**火事**の一番多い時期です。昨年県下で600件あまりの火事がありました。火の始末はくれぐれもご用心ください。

▽ **訂正**＝前号で妙見の湯面を昔は〃湯免〃とかき、作物ができないから税を免除したというのは誤りでした。作物はよくできるが、保養地として残したために免除したのです。訂正します。

町有林を分析する

大内町は山持ちだから、町財政は豊かだという楽観論がある。一方、毎年あれだけの山を伐採しているから、もうたいして残っていないと、悲観論もある。実情をくわしく知っていただくため、町有林の現情を、その歴史をたどって分析してみた。

旧藩時代、大内町の山々は柴草がいっぱいおい茂っていた。稲作に必要な肥料を、〃百姓〃は山の柴草に求めたからであった。その柴草採草地も、各村の入会（いりあい）関係があって、仁保が篠目にいくとか宮野が仁保に来るとか、ずいぶんと複雑な採取状況であったようだ。しかし天保12年の〃風土注進案〃によると、仁保上郷村以外は柴草不足で困っていた。

×

この柴草採草地に対し、農民は入会権を持っていたが、土地の所有権はなかった。明治14年これら入会原野は官有地に編入されてしまった。農民の間には数百年間の権利をむしりとられたと怒る声もあふれた。そのうえ採草の料金もとられ、採草年限も決められた。払下げを望む声は年毎に高まり、明治30年ごろから、この運動は組織的になった。明治35年6月、農商務大臣もついに許可をだし、旧3村には、1千250町歩（これは台帳面積、実側推定約6千町歩）のいわゆる〃**下戻**（かれい）**林野**〃が生れた。

▼

だが……まだ問題があった。村は下戻林野を、県の方針に従って村有地とし、造林をはかったが、猛烈な反対にあってしまった。稲作に必要な肥料資源がなくなるからであった。県は造林をやかましくせめたてるし、間に立って村当局が困りはてた時代がしばらく続いた。

いわゆる〃**部分造林**〃は村当局が考えだした苦肉の策であったといわれる。部落もよりの適当な村有林を一伐期または50年限度で貸し、造林から生れる収益を、村と部落で分けてとる案であった。部落に収益の幾割かを渡すことで、造林が進む計画であった。大正に入って部分林契約は各村とも盛んに行われたが、分収率も造林内容によってそれぞれ異った。

農民が柴草を重要視しなくなったという客観情勢の変化が造林の進行を助けている。肥料資源を失うと猛烈に反対した明治末期から、大正に入るにつれて、販売肥料の普及度が高まったからである。明治40年代には反当150貫いれていた柴草は、大正10年にはわずか12貫にへっている。（当時の県平均）まだ化学肥料は少なかったが、魚粕、大豆粕、油粕が、安い値段で全国にゆきわたった。その後過燐酸石灰、石灰窒素、硫安が出廻るにつれて、労力のかかる柴草を軽視する傾向は強まった。

×

戦前それほどの価値をもたなかった村有林も、敗戦で国外の木材資源を失った点、搬出方法の機械化で、大きくクローズアップされてきた。杭木、パルプ材、建築材として需用がふえたこと、ちょうど明治末期の造林伐期がきていることで、それだけ旧村の、いまは町の財政をうるおしている。しかし戦中戦後の過伐がたたって、幼令材が非常に多い。適当な伐期にある山は363町歩、適伐未満は1千819町歩に達している。とくに施業がしてない雑木の天然生林は、362町歩にもおよぶが、これからの林種転換が必要である。

▼

町有林の経営形態を分類すると、直営林が約2千70町歩、部分林が1千120町歩ある、貸付地は227町歩、官県行造林393町　採草地その他157町歩。直営林は52％部分林28％貸付地6％官県行造林10％の比率である。地区別に大内15仁保63小鯖22％で圧倒的に仁保が多い。町有林総面積3千967町は、大内町山林総面積1万1千歩の約35％に当る。

尾曾越林道　こんなにも土砂をくずした。犬鳴，平佐，芦谷，日の下，黒岩，尾曽越と，合併後7000メートルの林道ができた。

合併後6千万円を町財政へ

30年の合併から今日まで、約4年間に8千306万円の立木代金が町の収入になっている。しかし部落への分収金、森林組合の手数料、造林の人夫賃や保護料など生産を経続してゆくための投資がある。この合計2千240万を引いて約6千66万円が町財政を助けている。つまり1年間1千500万程度のプラスである。

合併以後山を育てるための努力を数字で拾うと、新植は212町歩、天然下種（赤松など）は148町歩、せき悪林改良69町歩、つる切り刈払いなど一般管理をほどこしたものが454町歩になっている。昭和32～40年までの、森林施業基本計画に従って、毎年生産が永久に継続するための努力が払われてきた。

▼

さて……長い間の林野管理に当然のことながら旧3村はそれぞれ違った方法をとっていた。小鯖の直営林の過半が、部落に保護料として収益の2割を払うことになっていた。仁保では18人の造林監視人に年ごとに手当を出していた。全町にある貸付地の81％は大内が占め、直接的な公有財産としての価値を失っていたことなど、どうして統一的な管理にまとめるか。それぞれ育ってきた習慣には、旧村を場として生れる必然の理由と事情があったにせよ、いまや大内町としての統一的な管理のあり方を生みだすときがやってきた

☆ 今日の仁保町有林を育てた川尻翁 ☆

默々と育てた28年

明治35年、仁保村は国有林の払下げを受けた。しかし造林をして、年々の水害を防ぐという条件がついていた。明治37年、川尻翁は農会の書記として、造林を担当した。以来28年間、川尻翁の一生は、旧仁保村の造林にささげられた。翁の一生は天下に名をしられるというほどの一生ではなかった。縁の下の力持ちさながらに、默々と木を植え默々と育てた一生であった。

しかし今日、町有林が町財政に大きな比重を占め、現実に私たちの町民生活がうるおっているのは、翁のたっとい一生のおかげともいえるだろう。

人工造林200ヘクタール

毎年少しあて造林して、昭和2年人工造林は200ヘクタール（町歩）に達した。昭和17年以来主伐を行い、多額の収入に人はいまさらながら驚いたのであった。昭和の初め、天然造林も部落の協力によって2千260ヘクタールに達し、今日の財政的な基礎をきずいた。面白い話が伝わっているが、青年たちをつれて翁が山へ植林にいったとき、青年が怠けて仕事をしない。翁一人ばんでどじょすくいを踊る芸しかりもせず默々と植えていたので、青年も顔負けして仕事に精出したという。不言実行の人であり、山を育てる第一線の勇者であった。山が育つにつれ、水害も昔ほどには受けなくなった。

藝達者で人情味も豊か

人情味も豊かで、これほど無私な人も珍らしかった」と、深野の須子孫一さんは昔を懐古する。酔えば裸になって相撲甚句を歌い、赤いじゅばんでどじょすくいを踊る芸達者であった。第一線の監督として、有能であり誠実であった翁は、晩年農会長や役場の助役をつとめた。翁は明治元年、上郷北河内の黒石で徳松長男として生れ、昭和12年8月の24日、病で世を去った。年70才。いま孫に当る武夫氏が家をついでいる。造林にささげた川尻翁の一生も、また郷土の誇りの一つである。すくすくのびた町有林の現状を、地下の翁は微笑してながめているであろう。

この碑は昭和24年，仁保支所のそばに建てられた。

戦時中にはよく〃かげぎり〃が守られた。ところが戦後10年以上たつのに、大木は太りたいほど繁って、この習慣はすたれてしまったかに見える。山田なぞ、東西南北をとわず、水田に2メートルの距離もないところへ、植樹してある有様である。だから、かげぎりも必要だが、それと一方、植樹に関する申し合せも必要だと考えるのだが……さきごろ、農業委員会の意見を聞いてみたところ、新生運動の一つとして取りあげ、早急に部落に呼かけるとの返辞であった。しかしいまにいたるも、何の呼かけもない。机上だけの計画にすぎなかったのだろうか。

小さいことのようであるが、町全体の運動としても、ぜひ押し進めてほしい。長期にしかもくりかえし呼かけが必要かもしれぬが、こんなことぐらいができぬようでは、私たちの町造りに人の和をよせ集めることもできまい。いま暗い気持でいる。

（本人の希望により　とく名）

答　34年度には、従来からあった〃かげぎり〃の習慣を、復活してゆきたいと考えております。作物の生育を守るためのよい習慣を、私たちの間にいま一度育ててゆこうと計画しています。決して机上だけの計画ではなく、着々と進めております。従来改善してゆく必要もありますがいづれにせよ復活してゆこうという基本の線は、変りません。部落単位に、新生運動の一環として、実行の日を決めていただくよう呼かけます。川切りとか山の道作りとか、部落にあるよい習慣とあわせて、私たちの生活のなかに育てたいものです。農委が提唱したところ、町の新生運動推進協議会も賛成したので、取りあげる声は次第に高まっています。近く実施できましょう。

この運動とあわせ山間の荒れた農地や、こう配のゆるい山地に、飼料牧草を導入しょうという計画もねっています。家畜の飼料を積極的に改善するわけです。従来不合理であったかげぎりは、より

＊＊＊＊

かげぎりの復活

＊＊＊＊

便利帳

▽ぼつぼつ**羊のお産**がはじまるころとなりました。産み落したら、直ちに仔が被っている膜をとり除いてやらぬと、窒息することがあります。お産をすると体温が下るので、温かいミソ汁かフスマを入れたお湯を、欲しいだけ飲ませてやります。もったいないようですが、ビールも効果的です。

▽**スギ、ヒノキ**の苗木は、14～15年たてば次第に茂ってきて、下枝が1メートルぐらい枯れ上ってきます。このとき第1回の枝打ちが必要です。枝打ちは胸の高さの直径20センチ、枝下4メートルの節のない材をとるよう考えて行えばよいのです。というのはこれが建築材として最低の要求だからです。大きい材をとるのには、8メートル以下の枝をとります。

▽**酒**はカロリーの高い飲物ですが、70％が熱量として体内で利用されます。お酒を常用し食事も普通にやっていると、熱量のとりすぎで、肥満症になります。お酒を一合飲んだとき、軽くご飯をへらしてよいわけです。酒といっしょに魚肉、野菜など蛋白質、ビタン類をとりますと、肝臓保護に役立ちます。

▽**ガン患者**が年々ふえています。適当な治療をしないと、早くて1年、おそくて4～5年のうちに命取りとなるから、やっかいです。現在ガンの発生を予防することは、全然できないという実情ですから、早く発見する必要があります。40才以上の方は、毎年1回は健康診断を受けるようになさると理想的です。

大内町広報

昭和34年4月11日
第46号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

選挙違反

選挙がつぎつぎに行われますが、こんどこそこの言葉を聞かずにすごしたいものですね。運動するうえの注意は、3ページにかなりくわしくのせました。投票する人も、よく読んでいただけば、候補者の違反した場合などすぐ解ります。

国民年金

戦後とくに苦しい状態におかれてきた老人や身体障害者、母子世帯などの、生活の安定をはかろうとする国民年金制度は法案が国会を通過しました。金額もまだ不充分ですが、「福祉国家」の名にそむかぬよう、立派に育てたいものです。この制度は老令、障害、母子の3種類があり、今年の11月から実施されます。

日ましに進む 問田川改修

町政の動き

34年度の当初予算6千300万

3月21日から始まった新年度予算を審議する議会は、約一週間連日の強行軍だった。この議会で、昨秋から未解決であった林野条例の改正、町民税賦課徴収条例の改正、陳情請願を一括して審議するなど、町政前進のためのみのりも多かった。このほか小鯖幼稚園の開設、一貫野分校の廃止、など見のがせぬ動きであった。

姫山の下は面目一新

問田川改修は5年計画の第1年を33年度に始めたばかりであるが、仕事は日ましにはかどっている。姫山のふもと、仁保川との合流点近くは高い護岸をきずき、以前とは全く面目も一新した。

町民税賦課徴収条例の改正は、町民税の税率の引下げであった。(くわしくは2面へ)

この改正によって、町民税はいままでより約200万円の減収になった。**林野条例**の改正は、全町有林の管理と、部分林の分収に、全町的な統一と公平さを出そうとする目的であった。昨年秋から前後8回延時間65時間をかけて、この審議は大内町議会始まって以来の長い審議を重ねた。(くわしくは4面へ)

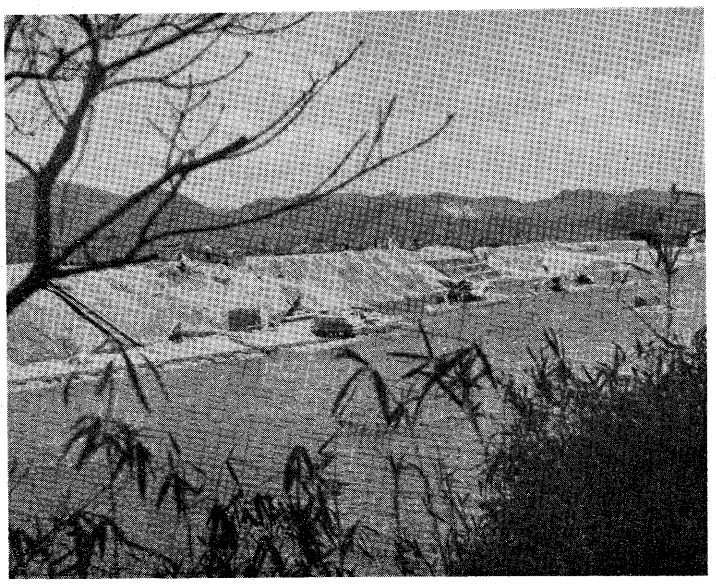
陳情請願でいままでに出たものを一括して審議にかけたが、総数23件、それぞれ採決するかしないかを、決定した。(くわしくはこのページ下段の記事を)

そのほか、小鯖幼稚園は4月18日に開園の運びになり一貫野分校は4月から、仁保小学校に統合と決った。廃校式は3月30日だった。

新予算はおもに骨格だけ

34年度の当初予算は、6千286万円と決った。今年は町長改選の年でもあり、後任者が誰であっても、当然必要な経費とか、新年度早々必要になる経費をおもに見ている。だから、昨年度の当初予算と比較しても、約3千万円ほど少なくなっている。実質的な当初予算は、町長改選後、つまり5月以後に肉付けされることになる。こうした予算の性格もあって、34年度の当初予算は、例年に比較すると議会の審議も、真剣ではあったが火花を散らすというほどでなかった。

おわび 新年度予算は骨格予算の性格をもち、今後当然増額が予定されますので、内容を解説する紙面をとくに設けませんでした。肉付け予算がきまってからグラフなどで分析いたします。



問田川の改修現場、姫山下から対岸を望む

奉祝行事は郷土藝能

4月10日午後1時から奉祝行事として郷土芸能大会を、大内小学校で開いた。主催は町の史談会で、神楽舞（小鯖）驚（さぎ）流狂言（大内）浄るり（仁保）など、長く伝承された郷土の芸能の招介があった。

陳情請願23件を審議

<部分林の設定>が大部分

予算議会とあわせて審議された陳情、請願は、全部で23件あった。部分林設定を希望するものなど町有林の関係が15件で一番多かった。土木関係で、橋、道路、溜池に関するもの4件、教育関係では通学費の補助、民生関係では寄生虫駆除を目的とする施設補助の請願、そのほか農協の有線放送事業の補助などがあった。

林業関係

◎部分林を設定する請願はつぎのように決定した。

1岩倉採草地＝採択

2石坂砂防指定地＝不採択。砂防作業を行う特殊事情がある。この部落には採草しない採草地が他にも多い。

3三が谷採草地＝一部採択。不採択の部分は上部の町有の立木搬出に支障があるという理由。

4平谷次郎垂と追手迫＝採草地は採択。成林地である部分は不採択。

5平谷町有林＝成林地多いなどの理由で不採択。代りに隣接地である長谷を認めた。

6塩川、柳カ谷、田床＝採択。

7上小鯖猿ヵ岳＝採択。

8柳カ宇土＝せき悪林改良費の負担をすることで採択

9東松柄＝不採択。営林地の立木を搬出するのに複雑化するため。

10大谷川入口採草地＝採択。やぶの状態であるので、部分林施業が適当。

このほか林業関係で、＜西並山くらま浴の伐採による部分林の損害防止＞＜部分林契約の残り期間が短かく、善処してほしい＞菅内、小野、問田、千坊の代表＞＜大内町木炭生産者組合に対する補助金交付＞はそれぞれ採択された。大内森林組合から出た＜町有林の管理をよくし、更新に努力してほしい＞要望も、できるかぎり伐採地の更新に努力すると回答した。

土木関係

1市渡瀬橋（妙見と丸山の間）を永久橋にしてほしい。＝時期がまだ早いと思われるので不採択。

2県道秋穂―山口線（菅内～鋳銭司間）破壊に適当な方策をたててほしい＝すでに県に陳情ずみだが、路面整備をはやく実施するよう、県に要望する必要がある。この理由で採択。

3江良溜池の水もり調査費は町で負担してほしい＝調査費は全額町で負担するのが適当だとの理由で、採択。

教育関係

1大内畑、奥山地区の遠距離通学費を補助してほしい＝小学生4キロ、中学生6キロ以上のものは、全町通学費補助を考慮することにした。採択。

2一貫野分校の廃止にともないバス通学の費用を補助してほしい。＝採択。従来の分校廃止にともなう補助のワクを、少し拡大して採択した。各分校の就学年数（その分校に通った年数）に応じて、6年間補助することになった。6年後は、1の補助を適用する。

民生関係 大富地区に改良便所を設備するのに補助してほしい＝採択。全町を対象にしてはとの意見もあったが、集団的にやらぬと効果が少ない点から、この陳情は採択された。

産業関係 農協の営農指導事業に対する補助＝農協と、指導要素に考え方の一致を見た上で補助を出す。採択。

大内町養鶏組合に対する補助＝採択

仁保農協有線放送に対する補助＝採択

火事のとき、役場へとだけおっしゃると、交換手には解りませんから、電話がすぐ通じません。「火事」と大声にどなってくだされば、最優先に通じます。役場の電話はよく話中が多いので、普通の掛け方をすると、消えたころにしか通じません。

小児マヒの予防ワクチンは、山口日赤で受付けています。1人分2千円です。割当が少なく、希望数がふえていますので、少しでも早目になさらぬと。この注射は、3回に分けて行います。

34年度の**犬**の登録と、狂犬病予防注射を、つぎの日に行います。

仁保＝4月13日 上郷10～10・30 支所11～14・30

下郷15～16

小鯖＝4月14日 稔畑公民館11～10・30 上小鯖11～12 支所13～16

大内＝4月15日 小野公民館9～10 長野公10・30～11・30 役場12・30～14・30 御堀公15～16時

大雨降れば中止。登録は毎年やりかえるので、料金は300円、注射料（年二回）180円です。つぎの注射からは1頭280円になるので、ぜひこのたびおすましください。**不用犬**の買上げもしますが印判がいります。

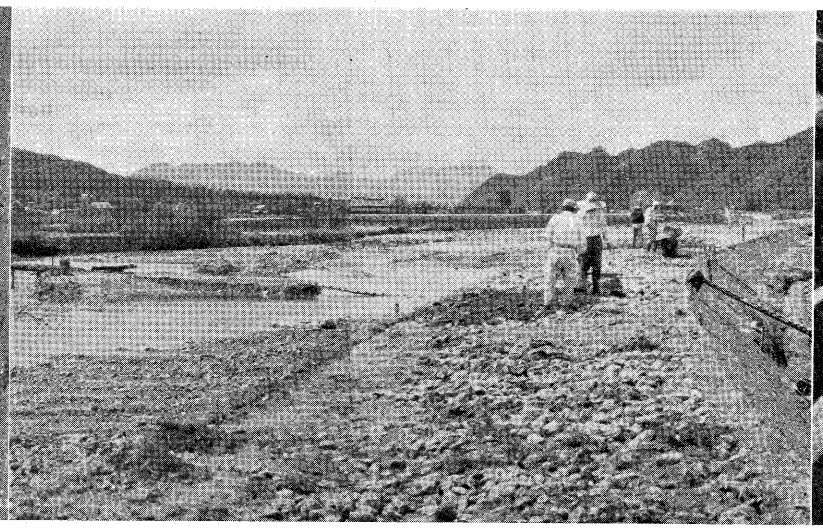
3月の県議会で、昨年6月にできた「土地改良事業の利子補給」が少し改正になりました。補助のない土改事業のうち、区画整理、ため池の新設と改修、開田開畑の5つは**無利子資金**が借られます。利子は県と市町村が負担します。

▷ 歳入 （単位・万円）

町税	3922万
▷町民税 1163 ▷固定資産税 2205 ▷軽自動 55 ▷たばこ消費税 253 ▷電気ガス税 195 ▷木引税 40	
地方交付税	1100
（国からの交付金，昨年より 200万ほど増）	
財産の収入	718
▷財産収入 18 ▷財産の売却代金（立木） 700	
分担金と負担金	27
（土木事業や耕地災害復旧の地元負担金）	
使用料と手数料	219
▷女子学園授業料など使用料 157 ▷戸籍の手数料など 63	
国庫支出金	115
▷税計費や自衛官募集など国の負担金 21 ▷国からの補助金 93	
県の支出金	137
▷県議選事務費 19 ▷県からの補助金 102（保健衛生へ36 産業経済へ 61 など） ▷恩給や県税徴収の委託金 15	
寄付金	25
（これは消防への寄付金）	
合計	6286万

▷ 歳出 （単位・万円）

議会費	126
役場費	2060
（▷駐在員報酬など 48 ▷職員給料など 1012 ▷ふ養手当，勤労手当など 447 ▷旅費 42 ▷文具費など 256 ▷交際費 70 ▷各種負担金，恩給組合の納付金など167）	
警察消防費	198（▷国負報酬 56 ▷動力ポンプなど備品 95）
土木費	201（▷道路修繕116 ▷橋 41 地図印刷費など 41）
教育費	1488
1 教育委員会 240（▷委員と職員へ 102 ▷旅費と手当 70 ▷負担金36）	
2 小学校 472（▷理科教材など備品 130 ▷通信，修繕，燃料など 144 ▷学芸会，卒業式へ 40 ▷校舎修繕50）	
3 中学校 249（▷教材など 153）	
4 幼稚園 61	
5 社会教育 313 （▷公民館 160 ▷女子学園 111 ▷青年学級 19	
6 統合中学建設費……153（主に備品）	
社会および労働施設…163（▷保育園137）	
保健衛生費…… 107（▷伝染病院 55）	
産業経済費……524（▷農委 148 ▷農業費 205 ▷林業費 65 ▷耕地事業105）	
財産費…333（▷造林費 188 ▷管理費137）	
選挙費……97	
公債費……542（▷元金のしょうかん 235 ▷利子 307）	
諸支出金……422（▷徴税費 87 ▷国保へ繰出し 260 ▷雑支出 57）	
予備費……22	
合計……6286万	



拍手に送られて

式を終えて母校を去る卒業生を在校生は拍手で送った。大内中学の卒業式は3月14日、仁保中学は3月13日に行われた。卒業生は大中で203名、仁中で104名、合計307名が巣立っていった。

この日式に参列したのは、おかあさんたちが多かったが、すくすくのびたわが子の姿に、眼をうるませていた。大内中では、まだ雨天体操場ができぬため、屋上にゴザを敷いて行ったが、風がきつく寒い卒業式であった。

（上の写真は大内中）

川幅もぐんと広く

仁保川改修は、県の工事であるが、昨年秋からめざましくはかどっている。かっての仁保川を知る人は、今日このごろの姿に、きっとびっくりすることだろう。

ブルトーザーがうなりを立てて川床の砂利を押しあげてゆく。それをオート3輪が積んでは、土手を一気に登ってゆく。土井から深野にかけて、川幅は倍も広くなり全く昔の面影もない。土手も高く丈夫に、芝付けを急いでいる。

威厳と美しさと

美しさと気品のあふれたこの仏像は、県の指定文化財になっている。藤原期の仏像の特ちょうをよく備えており、ふっくらと肉付きよく、大きな眼、ひきしまった口元が、印象的である。古いばかりでなく、作品的価値も高いといわれている。冠は弘仁期＝藤原上代蟇哦（さが）天皇時代＝といわれ地方では珍らしい逸品であると。藤原期の仏像は、仁保の玄答（げんとう）院や源久寺にもある。この仏像は普通西谷観音といわれるが、正式には氷上山西谷聖観音像という。

面白い話題などおよせください

町民税200万円ほど安くなる

賦課徴収条例の一部を改正

町税の賦課徴収条例のなかで、**町民税の税率が**、4月1日から改正されました。33年度まで採用していた税率は、31年度に改正したものですが、今年度からは税率が低くなってどんな現状か、また私たちの町民税が具体例でどのくらい安くなるか、をまとめました。

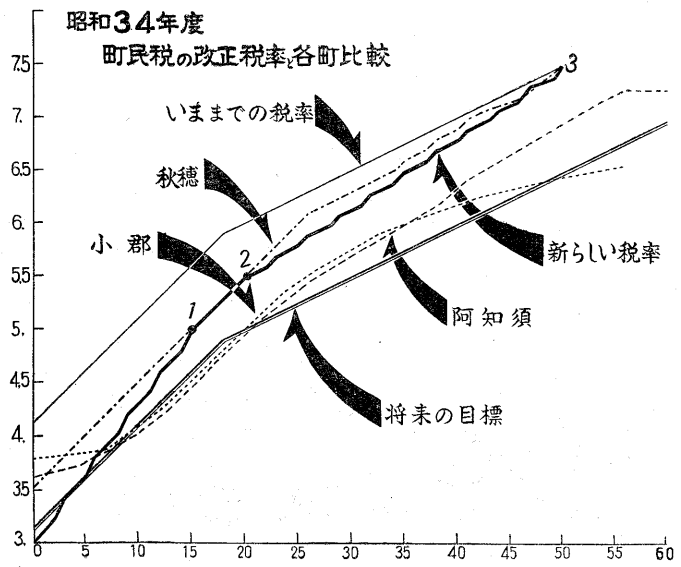
町民税全体では約200万円ほど、安くなりました。大内町の税率が、他の市町村と比較して

左のグラフには、大内町のいままでの税率、新らしい税率がのっています。これでみると、大内町の税率は、郡内で一番高かったのです。

合併後の大内町が、町としてのまとまりを持つためには、いろいろと建設的な投資を必要としました。税率を低くすることはできますが、より多く事業をするには金がかかる、それには税金収入を多くする必要があるといった関係から、33年度までの税率は採用されていました。

理想的には、税金は安いに越したことはありません。グラフのなかに、将来の目標という線があります。ここまでくれば、もう郡内で一番安い税率になります。合併後4年たって一応第1期の建設が終りましたから、新らしい税率の採用となりましたが、まだ将来の目標まで一足飛びにゆけません。第2期の建設事業が残っているからです。

山口市の税率は、やはり上のグラフで解ります。課税所得（この解説は下段の記事をお読みください。）15万円以下は（つまり1まで）秋穂町と同じ率になっています。だから大内町の方が安いわけです。課税所得20万円以上は（つまり2から上）大内町と山口市は全く同じ税率になっています。いままではともかく、これからは山口市より税金が高くはありません



固定資産の率は従来と同じ

改正したのは町民税の税率ですので、固定資産税の税率は、33年度と変りません。しかし具体的な一つ一つの税金では、少し変化があります。というのは自治庁がしめす評価基準に従って、家屋と土地（とくに農地を優先して）の評価をいま行っているからです。いままでも固定資産評価については、納得しにくい点もあったかもしれませんが、納得のゆく評価にこれから近ずけてゆくわけです。税率が変らなくても、もとになる評価が変れば税金もやはり違ってきます。

八土地台帳法〉という法律によって、土地の評価は10年に一ぺん更正しなければなりません。大内町の場合は、市街地と違って、激しい動きはありませんが、それでも長い年月には状況が変ります。農地でいえば、農道ができたとか堆肥を多く入れて美田になったとかです。家屋でいうと、古くなって、それだけ財産価値がへってきます。

公平な評価へ

こうした変化を、現在の状況でとらえて、もっとも公平な評価に目下やり直しをしつつあります。

固定資産税は土地・家屋台帳にのっている賃貸価格に、きまった評価倍率をかけて計算しますが、田で2千2百倍、畑で2千4百倍宅地で1千8百倍、原野で4千7百倍が、現在大内町の固定資産税に使用している評価倍率です。

固定資産**台帳**はいつでも税務課でお眼にかけられます。

（えつ覧料1回50円）

33年度の私たちの医療費は**円**に落着くように努力していまのとおりです。1人当り医療費は患者の負担分（国保の負担分でも同じ）で、医者にはこの倍額を支払うわけです。

1人当り医療費	月平均
呼吸器系疾患（主としてカゼ）	633人　167円
胃腸病	275〃　471〃
歯科（入歯を除く）	208〃　276〃
高血圧	73〃　560〃
結核	68〃　1,650〃

約2千万円、この半額を国保から出しました。これが約1千万円で、国からの補助金は400万円ありました。だから残額600万円が私たちの保険税となり、1人当り約600円、1世帯当り2千600円になります。

ところが、**昨年10月**から医療費が値上げになったので、34年度は国保の負担が1千200万円を越すと思われます。国の補助を引いても、残りは約750万、一人当り750円になります。1世帯では3千200円ぐらいになりますが、これを事務費の節約などでなんとかなるべくへして、**1世帯当り3千**

医療費に出る金が少なければ当然保険税も安くなります。しかし現在では、医療費は少しあかし病気をてふえています。だから病気を早期に治療して病気をこじらせないようにすれば、保険税も安くなります。

国保税一割引上げ

町財政から毎年260万円ほど国保財政に繰入れていますが、もしこの金がなかったら、1世帯当り約1千300円の増額となるわけです。とくに医療費の高い病気の、患者数や1人当り平均医療費の状況はつぎのとおりです。1人当り医療費は患者の負担分（国保の負担分でも同じ）で、医者にはこの倍額を支払うわけです。

新税率で計算すると

5万円きざみに10～45万円まで、所得別に計算してみました。改正前の税額は33年度の税金、改正税額は34年度、つまり今年の税金です。

所得額	課税所得*	改正税率	改正税額	改正前税率	改正前税額
10万円	1万円	3.1 %	310円	4.2 %	420円
15〃	6〃	3.8	2,280	4.7	2,820
20〃	11〃	4.4	4,840	5.2	5,720
25〃	16〃	5.1	8,160	6.7	9,120
30〃	21〃	5.5	11,550	6.0	12,600
35〃	26〃	5.9	15,340	6.3	16,380
40〃	31〃	6.2	19,220	6.5	20,150
45〃	36〃	6.5	23,400	6.8	24,480

※ **課税所得**＝所得から一率に基礎控除が9万円ほど引いてあります。課税所得といえばいつでも所得額から9万円引きの額と考えていただけばよいのです。

上のグラフで

5万円きざみに書いてあるのが課税所得です。ご自分の課税所得に当るところにタテの線を引き、新らしい税率と交わる点を横に引けば**税率**がでます。課税所得に税率を掛けたものが、あなたの町民税額になります。実際には扶養親族（配偶者未成年者、老年者、不具者など）1人当り500円を、税額からさし引くことができます。

給与所得の場合は、勤労控除がありますので、少し違ってきます。下のような計算になります。給与所得が30万円の人の場合を例にとって計算します。

$$30万円-\left(30万\times\frac{25}{100}\right)-9万円=135,000円\cdots\cdots課税所得$$

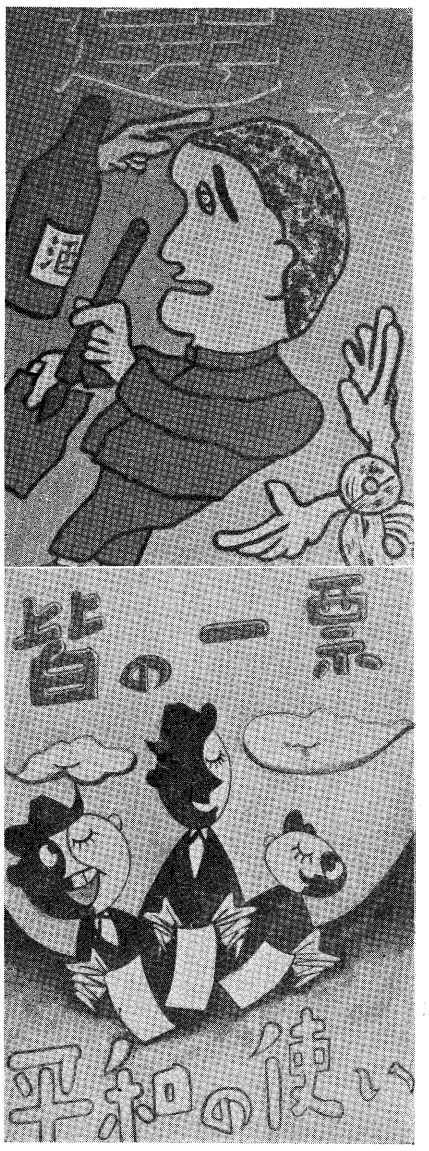
$$改正前\quad 135,000\times\frac{5.4}{100}=7,290円\cdots算出税額(A)$$

$$現在\quad 135,000\times\frac{4.7}{100}=6,340円\cdots\quad〃$$

(A)－(ふ養親族の人数×500円)＝町民税額

もうすぐ県議・町長・町議選

4年間の私たちの生活に大きな影響を与える選挙が近ずいています



（上―仁中　岩田俊雄君　下―大内中　藤田真吾君）

県議選は4月23日、**町長町議**選挙は4月30日に行われます。投票所は従来通りの場所に設けられ、変更はありません。**投票時間**はどの投票所も、午前7時～午後6時までです。投票用紙は、町長選挙の方を黒インクで印刷してあります。町議選挙は赤いインクで刷った紙です。

投票の順序は、町議用紙（赤）を箱に入れ、つぎに町長用紙（黒）を入れます。

訂正　先日配布した〃選挙のしおり〃の中の、選挙運動用取扱局は、大内郵便局だけが指定されました。仁保郵便局は取扱いしません。

電柱にポスターは、はれません。中国配電や電々公社が電柱の使用を許さないからです。

有権者は8千781名　選挙管理委員会へ、地区別有権者数を尋ねる質問がたくさんあります。下の表は昨年12月20日に確定した〃基本選挙人名簿〃の有権者です。

	男	女	計
大内	1,578	1,938	3,516
小鯖	967	1,147	2,114
仁保	1,530	1,621	3,151
計	4,075	4,706	8,781

補充選挙人名簿を調整する日程

調整現在日	県議選挙　町村選挙 4月10日　4月22日
申請期間	4月11日から　4月23日から 4月13日まで　4月24日まで
調整期限	4月15日　4月25日
じゅう覧および異議申立期間	4月16日から　4月26日 4月18日まで
異議決定期限	4月19日　4月27日
確定日	4月20日　4月28日

もし選挙人名簿にもれていたら…

申請上の要点

大部分の人は、昨年9月15日現在で作った〃基本選挙人名簿〃にのっていますから、重ねて申請の必要はありません。このたび申請していただく方は、昨年の9月15日には選挙権がなかった人で、その後満20才に達したとか、他町村から転入してきた人などです。

しかし、33年12月20日までに満20才に達した人は、基本名簿にすでに登録してあります。補充名簿にのせる基準日は、別表のとおり県議選で4月10日、町長町議選は4月22日です。

申請は左記の申請期間にお居をもっている人
(3)基本選挙人名簿にもれている人（基本選挙人名簿は、昨年9月15日に作成しました。）

註＝長期の入院患者は、現在大内町にいなくても該当者が多いので、ご注意ください。

申請は左記の申請期間に間違いのないよう。確定日までに申請するのではありません。申請期間をすぎたら、規程によって、受付けできません。

補充人名簿に受付はつぎのとおりです。
(1)年令満20才に達した人
(2)引続き大内町に3月以上住

申請期間　4月11日から4月13日まで
調整期限　4月15日
じゅう覧および異議申立期間　4月16日から4月18日まで
異議決定期限　4月19日
確定日　4月20日

資格　大内町に住所をもっている人

大内町長・町議選挙の日程表

月日		備考
4・21	選挙期日の告示	
	立候補届出開始……	受付ける期間 4月21・22日 前8時30分～後5時まで
	不在者投票の開始	4月21日から4月29日まで
	選挙運動支出金額の制限額の告示	町長約九万円　町議約二万円
4・22	補充選挙人名簿調製期日現在日	この日を基準として資格を決定
	立候補届出期限	**午後5時まで**
4・23	補充選挙人名簿申請開始	公営施設以外は告示より選挙期日の前日まで開催出来る
	公営施設使用個人演説開始	
	補充選挙人名簿の申請期限	町長選挙のみ、会場は大内、仁保、小鯖で各一回開く
4・25	立会演説会……〃	〃
4・26	開票立会人届出期限	〃
4・27	立会演説会	
	補充立候補届出期限……	
4・28	候補者氏名掲示	
	開票立会人のくじを行う日	
	不在者投票の期限	
	投票日……	午後1時
4・29	選挙会	午前7時～午後6時まで
4・30		午後8時の予定

立札・ちょうちん・たすきなど

分類	立札 規格（以内）	ちょうちん	看板	たすき腕章		書きこめることがら	その他
	タテ273cm 横73cm	高85cm 直径45cm	タテ273cm 横73cm	制限なし			
選挙事務所	○	1個	○	×	たれ幕やプラッカードなど	選挙事務所の表示	選挙当日も掲示できる
自動車	○	1個	○	×	〃	選挙の種類，候補の氏名所属政党	取付けたままの回覧はよい
候補者	×	×	×	○	はちまき，帯など	制限なし	つけたままの回覧はよい
演説会場（立会演説を除く）	○	1個	○	×	たれ幕，プラッカードなど	制限なし	演説会や街頭演説をやっているときにかぎる

選挙運動の制限

分類		県議	町長	町議	その他の制限
選挙事務所		1	1	1	
自動車	台	1	1	×	・町長選は小型自動車か軽自動
	乗車人員	4	4	×	・候補者と運転手は除く。 ・乗用者腕章がいる。
拡声機	ひとそろい	1	1	1	・表示板がいる。個人演説会場では別に一組もってもよい。
はがき	枚	3千	1千	3百	・私製はがきでもよい。ただし選挙用と表示しなければならぬ
ポスター	枚	8百	3百	3百	・規格…タブロイド型 ・検印が必要
新聞広告	どれか一つの新聞に，有料で1回だけ。配布したり掲示したりに制限がある（法149の2）寸法…横9.6cmタテ2段組以来内				
立会演説会	任意制	○	○	×	・条例できめる。
個人演説会 公営施設使用		○	○	○	・候補者1人につき1回は無料
個人演説会 開く回数		制限なし	〃	〃	・公営以外の施設を使う場合もふくむ
その他の演説会		できる	〃	〃	・映画，芝居の幕合利用はすべてよい
街頭演説	標旗	1本	1	1	・標旗がないとできぬ
	運動員	15人	15	15	・自動車用腕章をつけた者も運動できる
	腕章	11枚	11	15	・労務提供者も運動員とみる

☆　こんどこそ〝公明選挙〟で選びたい　☆

予算議会。後ろは傍聴者

世間には、「公明選挙」などということは、いくらやかましく言っても、あまり効果はない。選挙粛正のためには、徹底的に検挙することが最も効果的であるという人もある。私も検挙が最も有効な手段の一つであるということには異論はないが、公明選挙をとなえることが効果がないようなことをいうのはいかがなものであろうか。人を罰せずして目的を達することができればなお良いではないか。私は弁護士という仕事の関係上、実際に選挙運動にたづさわる人々に会って話す機会が度々あるのであるが、いわゆる買収をした方の人々の中にも、「公明選挙をとなえている連中は、実際に選挙運動をやったこともないくせに何をいうか」と言いながら、一段と声をおとし、実は公明選挙をやかましく宣伝されると、実に運動がやりにくいという者もある。また受取る方でも内心あまり公明正大でもないと思っている。だから公明選挙をやかましくとなえられると両方ともあまりいい気持はしない。お互に家内や子供には内密にしていている。そこで婦人会や青年団でやかましくいったり、子供が公明選挙と書いたお清書を学校から持って帰ったりすると、にがい顔をする。これだけでも公明選挙運動が大いに効果があったのだと私は思っている。

最近は有権者の数が多くなったので、その一人一人に現金を渡すというようなことはまれである。せいぜい酒かご馳走である。現金は市町村、部落、組合その他の団体の有力者の手にとどまる場合が多い。樽入りの酒をもらって、各戸からどんぶりを持って行って二合づつ分けたということは、笑えない喜劇である。心ある者や民主政治の教育を受けた者のすることではない（大竹武七郎　弁護士）

喜びも悲しみもうちあけて

今年の母の集いは、3月8日大内小学校で開かれた。例年と変りなくたくさんのおかあさんたちが、終日喜びと悲しみをうちあけあつた。

×

もはや母の集いは、大内町では年中行事になった。今年で4年目になるが、発言者の数も少しあてふえている。人前でしゃべることにすら抵抗を感じていたおかあさんたちが、進んで、生活の喜びと悲しみをうちあけるようになった。「やはり水のしみるように根強くしみ通っていっているのです」と、あるおかあさんは微笑して語ってくれた。

×

それで、今年の母の集いにどんな感想をもちましたかと参加した幾十人かの人たちに尋ねてみたら、つぎのような結果がでた。

▽助言者と司会者の事前の連絡がよく取れていなかったようだ。だから分科会の運営が少しモタモタした。

▽総合対議の時間が短かかった。自分の考えと比較して何かを学びとれるほどの説明時間、対議時間がほしかった。

▽司会が4年間を通じて、概して同じ人だから、新鮮味がなかった。問題の引き出し方も同じであった。

▽もっと運営を、前の年の反省と計画の上に考えてほしかった。反省会はまだのようだが……

×

ともあれ、母の立場は、なかなかと多忙であり、苦労も多い。家庭生活を考え、子どもの教育に頭を悩まし、生活の科学化のため慣習と戦ってゆく主婦たちは、心にたまったものをはきだして、この日の集いを終った。若干の批判的な感想があるにせよ、「よかったですよ」と主婦たちは異口同音に語っていた。こうして深く考えては自分を磨きあげてゆく母の姿が、この写真ににじみでてはいないだろうか。おかあさんたちは、この集いから常に何かをつかみとってゆくだろう。

その名は〝中の原生改〟

鳥取県境に近い岡山県のある農村の例。中の原生活改善クラブは主婦10人で組織している。小さなグループだが、その中の一人小椋（おぐら）秀子さんは、3月11日農林省主催第7回農家生活改善発表大会で岡山県代表として発表した。

冬は2メートル以上雪がつもり水田は3、4俵の収穫とあって、炭焼と牛の飼育で生活を補っている。秀子さん（30才）の家では、炊事もせんたくも、台所から30メートルに離れた谷川まで往復していた。30年8月生活改善クラブができたとき、もう少し暇がほしいというのがみなの願いであった。

そこで毎日時間表に記入してみたら、秀子さんの場合、家事と食事に6時間43分、家畜の世話に3時間25分もかかることがわかってきた。炊事はイロリで時間をくい水くみは大変ときている。だが改善するには資金が必要だ。それをどこからひねり出すか。秀子さんは夫に相談して子牛の飼育で資金を生みだすことにした。つまり秀子さんが自分で生み出す元気があればやってみろ、というわけだった。

3年計画で主婦の自由時間を生んだ

3年計画をたてた秀子さんは3年計画で、カマド設置、台所改築、水道設置などを決めた。他のクラブ員も牛の飼育で改善資金を出そうと、農改普及員を招いては勉強した。飼料の作り方の講習を受け、これまで遊ばせていた畑の裏作に、レッドクローバー、オーチャードなど飼料作物を作った。なれない仕事の忙しさに、牛の背をなでながら泣いたこともあったという。

しかしいま、台所をつくり、水道を引き、少しあて能率化していった結果は、なんといままでより5時間の時間を浮かせたのだ。一回に3時間かかった牛の切わらは同じ時間でカッターなら半月分だ。本もゆっくり読むし、子供の話相手にもなってやらねばとクラブ員たちは張り切っていると。

町有林

条例改正の要点は二つ

いま一つの問題は貸付地の地上権であった

それぞれ旧村に育った習慣には、旧村を場として生れる必然の理由と事情があったにせよ、的なあり方を求めるには、ずいぶんと長い時間が必要であった。そしていま、町林野条例の改正はできあがった。意見の一致を見ることがむつかしかったのは分収率と貸付地の問題であったとはいえ、なんらかの形で是正されることが、絶えず要求されてきた。これに対して町執行部は以前にはさかのぼらない方針を強く持ってきたので、これに代る方策が議会と執行部で検討された。その結果、前述の合併委員会に未報告の部分林約60町歩の内、部落の取り分、8分相当の**42町歩を基礎として**、各地区の世帯数、税額と、地方交付税算出上のその地区の経常費の割合や財産の持分などを勘案して配合の割合を決定した。この結果が、各地区の直営林を売却のさい、その100分の5をその地区に支払うことによって均こうがとられるという制度がきめられた。

その一　看守料5/100を各地区に支払うようにしたこと

直営林を売却したさい、一伐期にかぎり、その純収入の100分の5相当額をその地区に支払う規定である。これがきめられた理由はつぎのとおりであった。

合併に当っては、各村の財産を合併委員会にくわしく報告しいわゆる裸合併をしたのであったが、旧大内村では、部分林の内、村2分、部落8分の契約60歩だけが、未報告のまま、合併になった。たとえこの契約が、長野東山の山林問題解決にともなう、当時止むを得ない処置であったとはいえ、なんらかの形で是正されることが、絶えず要求されてきた。これに対して町執行部は以前にはさかのぼらない方針を強く持ってきたので、これに代る方策が議会と執行部で検討された。その結果、前述の合併委員会に未報告の部分林約60町歩の内、部落の取り分、8分相当の**42町歩を基礎として**、各地区の世帯数、税額と、地方交付税算出上のその地区の経常費の割合や財産の持分などを勘案して配合の割合を決定した。この結果が、各地区の直営林を売却のさい、その100分の5をその地区に支払うことによって均こうがとられるという制度がきめられた。

その二　山林地上権の設定契約を変更したこと

町有財産使用について、昭和23年以前に契約されたものは、昭和23年8月から10年間の間に議会の再同意を得なければならないという自治法の改正が昭和23年7月に実施された。町有財産使用についての契約には、町有林の部分林契約、町有林の地上権設定などがある。旧3村とも、再同意の手続を行わないまま合併となり、ついに10カ年の満期直前、つまり昭和33年7月末を迎えた。町は再同意を議会に提案し、部分林契約は同意が得られたが、**地上権設定にともなう契約は**同意が得られなかった。これは、町有林は造林のために貸付けたものであること、99年という長期にわたる契約（町財産条例では50年を限度とする）は妥当でないと云う理由に基いていた。

しかし契約は否決されても、23年以前に切ったものは、適正伐期令級に達するまでは有効であり、23年以後に切ったものは無効になった。がなにかの形で新契約を結び、既得権をある程度認めるべきである。しかも23年以後に切ったものは23年以前のものと均こう上幾分の分収を町が取るべきである。

以上のことから、町執行部提案と対立し、ついに**特別委員会**に付託され、会を重ねること6回、全員協議会にもはかられたが、意見の一致を見なかった。そして本議会で、最後の努力が払われたが、ついに議員修正として提案された。

大内地区議員全員が反対したが、多数で修正案はつぎのとおり可決された。

1　23年以前に伐採されたもの。適正伐期令＋2令級

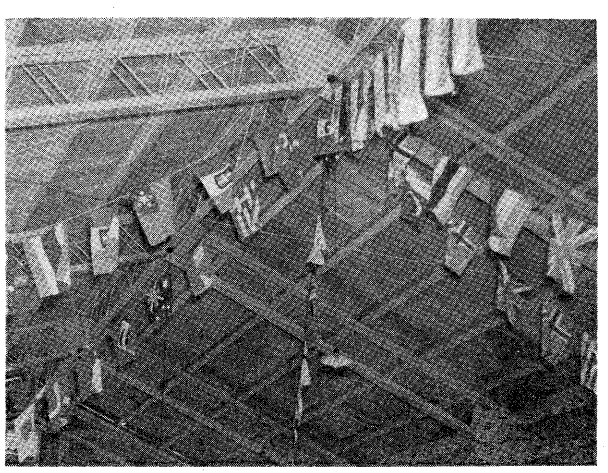
2　23年以後33年8月までに伐採したもの。適正伐期令＋1令級。町1、民9の分収林。

3　33年8月現在のもの、期限は2、と同じ、町2民8の分収林。

33年度に処分した町有林の立木

33年度に処分した町有林は、総額2千586万円に達した。面積は120町歩、薪炭材を除いた用材の石数は2万2千400石にのぼった。しかしこのなかから、部分林の場合分収金を引くから344万円がへった。森林組合の手数料が127万円、搬出道路の負担金16万などを引いて、純粋に町財政に入った金額は2千80万円であった。町財政では、税金は経常的な支出にあて、立木処分費を特別財源にあててきた。予算のなかに使用された内訳を拾ってみると、つぎのような数字になる。土木費350万、教育400万、産業費320万財産管理に2百50万、国保へ260万、公債費（町債のしょう還金など）500万　合計2千80万円になる。大内町財政にとって、立木代金は大きな比重を占めている。

町有林を処分する場合は、町議会にこれこれの山を処分する、と議案として提出しなければならない。そして、議会が承認したのちに売買の交渉ができ、売買価格について、もう一度議会にはかる。そこで議会の承認があれば、始めて業者と契約ができるという仕組みになっている。



便利帳

▽**海外移住**をしてみようかという人は、どうぞ産業課へお申出ください。それぞれの事情や希望をうかがって、計画をたて、よい機会を待てるようにしておきますから。（移住についてくわしい紹介は5月号広報にのせます。）

▽**洋子ちゃん殺し**は、私たちの記憶に生々しく残っています。全くちょっとの油断もできない有様です。すでに充分注意していらっしゃるのでしょうが、見知らぬ者から、菓子をあげるとか映画を見せるとかで誘われても、絶対についてゆかぬようにしたいものですね。帰宅時間をきっちりきめて、守る習慣にしておくと安心です。先日も大内氷上で小さい子供の被害が起りかけました。

▽　内職公社が近くできることになりました。全国で山口県が最初に始めたものですが、内職を世話したり、材料を安く供給する目的をもっています。まだくわしい活動内容をお伝えできませんが、ご希望の方は、民生課へお申出ください。

▽　軽鉄骨で組立てた川向いの青果物集荷所は、**火事にも**安心です。東園の栗林新一さんも火災後ブロック建築で家をたてました。

↑
青果物集荷所の天井。焼けない納屋などにいかがです。

大内町広報

昭和34年5月21日
第47号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

参院戦は6月2日

この日は火曜日です。この前の県議選でも、大内町の投票率は87%と、割合いによい成績を示しています。遠くにゆかれる方は不在者投票をどうぞ。入場券をなくしてもいくらでも投票できますから。投票は、全国区と地方区と1名あてです

皆さんの広報

町政上の問題点をほりさげて、皆さんとともに考えあう広報紙にしたいと努力しています。お気付の点をどしどしお便りください。決してムダにはいたしません

税金

5月　軽自動車税
6月　町民税（第一期）
どうぞお忘れなく、早目に

町政の動き

全町を興奮のるつぼに巻きこんだ町長・町議選のさわがしさも、潮の引くように去って、いま眼に青葉、町政もいよいよ第二の建設期に入った。これまでの4年間が、合併町としての融和とまとまりを努めた期間とするなら、これからの町政は行政内容を充実させる重い責任を負った時期ともいえるだろう。

正副議長と常任委きまる

町政いよいよ第二の建設期

町長は前任者須子勝平氏がふたたび選ばれ、就任の抱負をつぎのように語った。

○…第一期の4年間は、伝統と慣習を幾分異にする旧3村が、合併町としての一体性に、とけ込む時期であった。これからの4年間は、従来の惰性と悪い点を改善し、積極的な建設策を採用してゆきたい。

議長に赤岸信一氏

22名の町議が投票した結果新議長は上小鯖の赤岸信一氏と決定した。副議長は仁保上郷の末宗秋作氏が選ばれた。総務、文厚、経済、土木の四常任委員会委員は、左の写真のように決った。

赤岸議長

須子町長

委員数は総務5名、文厚5名、経済6名、土木5名となっている。委員長は総務が田中俊輔氏（大内）文厚が中野正氏（大内）経済が藤本金土氏（小鯖）土木が中川廿七氏（仁保）と決った。議員の地区別は、大内9名、仁保6名小鯖7名であった。

妙見の温泉試くつは秋

仁保妙見の**ラジウム**泉は、温泉試掘願をすでに出してある。7月の県温泉審議会で許可がでる予定であり、この秋11月には、本格的な試掘を始める準備を進めている。この試掘で温泉がふきだしても、この利用や施設について町はタッチする方針を持っていない。

大内中のグラウンド整備

大内中学のグラウンドは、コンクリート階段と周辺の芝はりを急いでいる。階段により400人ぐらいの人が、腰かけて見れるようになる。国体を山口市に誘致しようという運動が最近活潑だが、そのときには大内中のグラウンドや校舎も、分会場の一つに有力視されている。

その他、山口—防府間県道の改修や幅員拡張が、今年度は本格的になる見込である。

火災現場の指揮を反省

7日—消防幹部集会

消防団の幹部（分団長、班長など）32名の集会は、5月7日研修館で開かれた。消防団の現場活動について多く意見が出た。とくに夜間、火災現場での幹部の指揮について話しあい、改善してゆくことになった。

大内の長野部落が最近設備したホースの乾燥塔を見学した。この乾燥塔は2万2千円ほどかかった。33年度の火災は9件、15世帯全半焼、損害は約1千300万円であった。

原田　繁忠氏　(59)
文厚委員　下小鯖　新

原田　淳二氏　(43)
文厚委員　長野　新

山根　三代人氏　(45)
文厚委員　仁保中郷　新

藤本　金土氏　(44)
経済委員長　上小鯖　再

小林　市助氏　(57)
経済副委員長　御堀　再

貞永　浩氏　(45)
経済委員　上小鯖　再

西村　静氏　(37)
経済委員　仁保中郷　再

末宗　秋作氏　(66)
副議長　仁保上郷　再

田中　俊輔氏　(57)
総務委員長　御堀　再

松原　清氏　(58)
総務副委員長　長野　新

清川　忠雄氏　(76)
総務委員　下小鯖　再

小野　正広氏　(37)
総務委員　下小鯖　新

中野　正氏　(43)
文厚委員長　御堀　再

重村　信一氏　(60)
文厚副委員長　矢田　新

堀山　益雄氏　(39)
経済委員　仁保中郷　再

高橋　要助氏　(63)
経済委員　御堀　新

中川　廿七氏　(60)
土木委員長　仁保中郷　再

伊坂　政男氏　(55)
土木副委員長　御堀　新

田中　喜熊氏　(55)
土木委員　仁保中郷　再

徳本　他人氏　(54)
土木委員　下小鯖　再

青木　宇一氏　(57)
土木委員　御堀　新

（写真は総務、文厚、経済、土木委員の順にならべてあります。）

町長・町議選94%の投票率

県議選は少し悪く87%

さすがに町長・町議選は、94%のよい投票率であった。とくによかったのは小鯖地区で、95%を突破した。県議選では、投票率87%弱と落ちているが、しかし小鯖地区はほとんど90%という好成績であった。これを男女別でみると、町長・町議選は差がほとんどなく男子有権者がわずかによかった。県議選では男子88%強、婦人85%強であった。昭和30年の4月30日に行われた、大内町長選挙でも、92%弱の投票率であったから、数字は前回よりも向上している。県議選も4年前の同じ日に行われたが、78%と9%近く低い投票率であった。昨年5月の衆議院議員選挙でも85%であったから、このたびの県議選投票率は、町長・町議選を除いて最高の投票率となった。このたびの投票率は地区別につぎのとおり。

◇ 町長・町議選挙（%）

内鯖保均	92.15	女〃〃〃	92.42	計〃〃〃 92.30
大小仁平	男〃〃〃 96.09		94.38	95.17
	94.69		95.15	94.92
	94.04		93.82	**93.92**

◇ 県議選挙（%）

内鯖保均	88.53	女〃〃〃	82.74	計〃〃〃 85.32
大小仁平	男〃〃〃 90.59		89.20	89.84
	86.24		85.43	85.82
	88.17		85.22	**86.59**

4月30日夜の興奮。400名近くも集った。
町議選の当落が発表された瞬間!!

参議院の役割

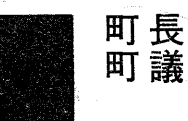
もうとっくにご存知のことかもしれませんが……

○…衆議院があれば参議院はいらないという方があります。現在は衆参の二院制ですが、一院制の方がさっぱりしてよいというのです。しかし一院制では、一党一派の多数決が濫用され、国民の意志から離れた政治が行われる危険があります。

○…だから参議院は、衆議院のゆきすぎをとめるブレーキの役目があるともいえます。参議院の構成は定員250名（全国区100名、地方区150名）で議員の任期は6年ですが、3年ごとに半数を改選することになっています。このたびは、全国区52名—2名は補欠、地方区75名の改選が行われるわけです。

○…法律案は原則として両院が可決したときに法律となります。衆議院が通過し参議院が反対したときも、衆議院が出席議員の⅔以上の多数で再び可決すればそれで法律となります。

○…これと違った例では、憲法を改正する場合、衆議院が全員賛成しても、参議院で⅔以上の賛成がなければできません。衆議院が解散していて、国に緊急の必要があるときは、参議院だけで国会の代理をすることもできます。そして参議院には、解散がありません。立法や予算の審議を慎重にしようという目的からです。国民の主権を6年間もあずけっぱなしにする改選には、冷静な判断が必要だとお考えになりませんか。参議院議員の通常選挙は昭和22年に第1回が行われ、今年で5回目です。



▽ 農林漁業資金のうちで、**造林融資**の貸付条件が、変りました。利息は非補助の場合4分5厘、補助の場合年6分5厘で有利です。据置期間も10年ほどのびました。一件当り最低10万円ですが、何人か一組でもできます。くわしいことは森林組合か林業改良指導員へ

▽ 乳牛の病気が多いので、**家畜共済**の掛金を、一部国が補助することになりました。農家負担は、和牛でいままでとほとんど同じ、乳牛で少し上る程度です。従来とかく遅れていた保険金支払いは、県が立替え払いすることに決りました

▽ **無角和種**を増やすため、県では毎年500頭を無料交配することにしました。阿武郡の特産であるこの牛も、全県下でわずかに7千頭、到底需要に応じきれませんので、登録牛程度以上の黒毛和種の雌に無角和種を交配して無角をふやしてゆこうというのです。有角が生れて、黒毛和種より安い価格で取引きされる場合、県が価格差を補償します

▽ **大内町広報**は今年の全国コンクールで一位でした

▽ 昨年11月に山口県**進駐軍被害者**遺族会が結成されました。進駐軍によって負傷や死亡した人の遺族が、補償を獲得するための団体です。連絡先は、山口市大字朝田1千600番地

▽ 山の仕事で、せき髄を折って一生不具になる事故がたくさんでています。**労災保険**に事業主が入っておれば、ケガや病気の療養費、不具になったときの障害補償費ももらえます。ご相談は労働基準監督署か県の林業改良指導員へ

おとうさん安らかに…

木の香も新らしく、完成したばかりの仁保招魂社を、9人の遺児たちは、真心こめて掃除した。遺児といっても、もう終戦後14年、仁保中学に在学中の9人も、来年3月には卒業する。戦争の与えた傷はなかなかいえないが、仁保井開田の西、見晴らしのよい丘に建った招魂社は、これからさき遺族の人たちの、慰めと祈りの場所として、末永く維持されてゆくだろう。「おとうさん安らかに…」と深い祈りをこめる遺児たちのそばに山つつじが美しく咲いていた

この一瞬

4月30日。町長、町議選の開票を始めた一瞬。事務に従事する者も、開票を見守る人たちの顔にも、異常な緊張が流れた。

全町一区の町議選は22議席を29人が争い最高403票、最低24票当選者の最低は246票だった。町長選では、当選の須子候補が3千146票、他の2候補は2千571票、2千374票と、かなり接近してせりあった。

面白い話題など、およせください

手を打ってむすんで

むすんで、また開いての童謡をうたいながら、小鯖幼稚園の園児たちは、たのしく踊っていた。現在75名の園児が、そろいの水色の園服を着て通っているが、これを世話する保母さんは3名、園長は小鯖小学末永校長が兼務している。

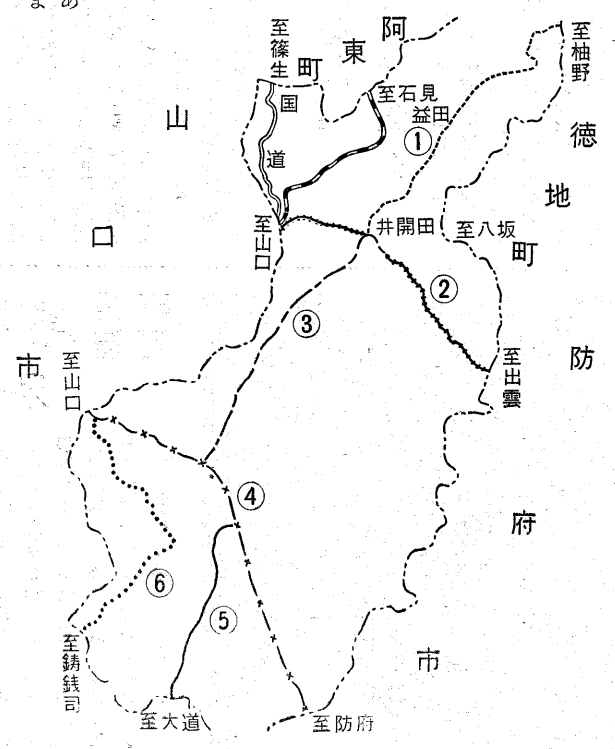
まだ開園当初なので、始めて幼児を手離したおかあさんたちが、ちょくちょくと見学にくるようだ。わが子の姿を見守ってはほほえんでいるおかあさんが8人、この写真をとる日にも窓の外からのぞいていた。

町道の総延長150キロ

国道が1本、県道が6本

農道、林道、里道といった道路の名称がいろいろありますが、**道路法**という法律には、国道、県道、市町村道の3種類しかありません。国道（1・2級の別があります）と県道の管理は県の責任で、町道はもちろん町が補修しなければなりません。ところで大内町では、国道（2級、9号線）1本と、県道が6本ほど通じています。つぎの表と左下の略図でご覧ください。

国道	9号線		山口―岩見益田―津和野
県道	④防	府―山口線	11K　山口―防府
	⑥秋	穂―山口〃	8.5　菅内―鋳銭司―秋穂
	⑤大	内―大道〃	5.8　鯖地―千切―大道
	①柚ノ木―大内〃		9.4　井開田―揚山―
	②山	口―鹿野〃	8　山口―仁保市―坂本―堀
	③大	内―鹿野〃	9　上矢田―井開田―松柄



すと、山口―下関間を往復するぐらいの距離に当ります。大内町から防府を経て広島にゆく距離もこのくらいです。町道は全部で145線、このなかに一等路線が42線、二等路線が103線ほどあります。**一等路線**というのは、とくに重要な路線で、通常幅員3.6メートル以上の道路です。二等路線というのは、幅員2メートル以上になっています。

町道は、大内町の経済、交通、文化のうえに重要な使命をもっていると、町長が認めたものです。町長が認めないものは、幅員が合格しても町道とは申しません。この町道のなかには、橋も、用排水用の暗きょも道路に附属する側溝、並木、さくなども全部はいります。一、二等路線を地区別にわると

町道の延長		147,423 m
道路の合計		146,193 〃
橋（111橋）		1,230 〃
一等路線	仁保	30,580 〃
	大内	13,841 〃
	小鯖	29,713 〃
二等路線	仁保	29,886 〃
	大内	26,374 〃
	小鯖	15,799 〃

二等の補修は6割町費

6割町費といえば、つまり4割は地元負担になります。同じ町道でも二等路線は割が悪いわけです。一等路線は全額町費負担です。町道の管理は町長が行うことになっていますけれども、つまりは私たち全町民の道路です。私たちの経済も文化も、ある意味ではこの町道によって守られているともいえます。町道が立派に管理されているとき、大内町の文化も高いのだといえましょう。

路面補修に力強い地元の協力

なにしろうねうねと長い町道ですから、全部人をやとって維持するとなると大変です。それぞれ地元の協力によって維持しているというのが現状です。町の条例に基づいて、毎年維持管理の**委託費**を部落に出していますが、非常に僅かなものです。

一、二等路線とも、路面の補修や側溝さらえには、町がもっている2台の3輪車を出して、奉仕作業的な地元の労力に頼っている現状です。

しかしこうでもしなければ、延々広島に続くほど長い道路の維持は、実際のところできないのです。よほど税金を高くすれば別ですけれども……

町道の補修は、こうした各部落の、道路を愛護する気持によって支えられています。とくに難儀するところは、小鯖で稔畑、仁保で一貫野、大内で菅内などです。毎日通うバスで傷む率も大きいし、受持区域も長いからです。

木橋もなるべく永久橋へ

問田川・小鯖川で木橋は中村橋（大内・問田）馬橋（小鯖・石畠）の二つが、仁保川では、高野橋法雲院橋、倉橋が残っております。これらの橋を永久橋ににかけかえる計画は少しあて進んでいます。

町道は全部で145線

町道の総延長はざっと150キロもあります。約35里ですが例を拾いま

係から

山口市に交渉しましたが、市でも頭を痛めていました。早急な解決は無理なようです。入れてこまるつぼには、立札を立てるなどいかがでしょうか。不用になった肥料溜は土を入れるかして、使えないようになさってください。何日、どこの業者がどこで…といった具体的な事実をしめして衛生係へご一報ください。係りとしても対策を考えています。

山口市の糞尿対策の不徹底にもこまったものだ。せっかく腐らすために入れているうえに、新らしいのをつぎつぎに入れる。入れるだけならまだしも、容量以上にそそぐもんだから、田にあふれ、道路にも流れでる。殺菌殺虫してない糞尿だから、不潔でもあるが、なにより稲ができないのには閉口する。業者の責任ともいえるが市としての対策が、ゾサンであろう。（とく名希望）

この不潔なんとかならぬか

全国の身体障害者は78万人ほどいる。ところが、生れながらの不具者は約10万人で、ほとんどが病気か事故、または戦傷である。身体障害者福祉法が施行されて、私たちのみじめな世界も、幾分光をあびることになったものの、まだとてもお話にならない。狭い就職の門が、いつも私たちをさいなむのである。いまだ自由であった体が、不具になったとたん、私たちはほんとに〃暗然〃とした。その暗やみの中から、一生懸命にはいあがろうとしている私たちに、ぜひ全町民の方々の理解とご協力をいただきたい。

身体障害者に光を

西ドイツの首都ボンで、国立の大学病院に入院している男の事務員は全部不具者であったという、松山善三氏の言葉を借りやましいと思った。（三浦円乗―大内町身体障害者更生会長）

便利帳

▽大内と仁保の**女子学園**では、生徒の実習をかねて、和洋服の仕立てを受付けています。値段は、あわせ長着、あわせ羽織、ウール茶羽織、男物丹前、長じゅばん、カッターなどが、150円以内。スモックやスカート男児のズボン、婦人用ブラウスは100円程度。綿入れねんねこ、女物コート、大人のズボンは200円と大変安く引受けています。

▽**牧草**類には、概して冬型が多く、夏には枯れてしまいます。そこで管理方法が問題ですが、開花や結実をできるだけさせぬようにすることが大切です。再三の刈取りが困難なら、開花直前に刈れば結構です。5月以降の刈取りには施肥を、7月上旬以降は刈取りはしない、なども必要なことがらです。

▽もうすぐ農繁期。生活の設計はおすみになりましたか。あまりにも青い麦を刈っているので、なぜかとたずねると、「気がもてませんから…」隣近所と、作業のはかどりを競走してのことでした。

家族の衣類の整理はすみましたか。忙しさのなかで、イライラしながらつくろいをしたり、子供のほころびを気にしながら作業するのは、誰でもいやなものですね。

山口市二島の**二葉クラブ**では、農閑期に一晩集って、一人が一日の献立てを立て**カロリー**計算や金額も計算するそうです。30人のクラブ員で30日分の献立てができ、必要材料はとりまとめて共同で安く購入するのだそうです。

大内町広報

昭和34年6月17日
第48号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

この号は 二つのテーマーで

一面を米の増産、二面を私たちの健康と、大きくとりあつかってみました。いろいろの質問や希望などおよせくださるのを、心からお待ちしています

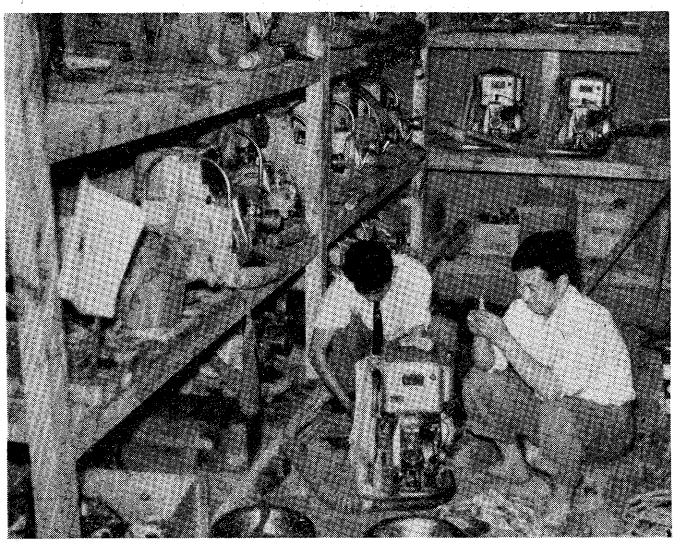
全町民の広報

今年も全国コンクールで一位になりました。しかし、この広報紙が、全町民のものとなるためには、まだまだわしい道を登らねばなりません。皆様のご支援にすがり、理想をかかげて進みます

税金

町（県）民税 第一期納期は6月末。どうぞ早目にお納めください

7月は固定資産—第二期



株数調べて収穫を予想 →

仁保丸山で，池田尚さんと岡部きよ子さん，花代さんの3人が，早期の株数調査をやっていた。稲の現在の個性を知って，それに合った育て方をしようというネライである。収穫もほぼ予想できると。若苗のときから短所を消し長所をのばすことが叫ばれだした。

← 動散は私たちの共有財産

常設は50台。機械ものだけに係りは苦労する。プラグそうじにペンチなど使って，ネジを丸くつぶすとこまるそうだ。プラグは右ネジだが，反対に廻してねじ切った力もちもあるんだと。倉庫で，係りは調節に余念なかった。

米増産のコツを、普及員にきました

県では米の3割増産運動を起しています。限られた面積から、より大きい収穫をあげるのは、だれしも夢みることですが、実際にいまどうした技術面が不足しているのか。普及員から見た増産のコツを、町産業課職員との一問一答でとりまとめ、特集といたしました。

普 平年作とろうというのか、9俵散布しなければならない。とか10俵もとれという多収穫を考えるのか、そのへんを整理して、お答えしたい。10アール（反）当り10俵以上を望むなら、いままでのやり方から全然頭の切りかえをやらねばと思っている。主題をどちらにするか。

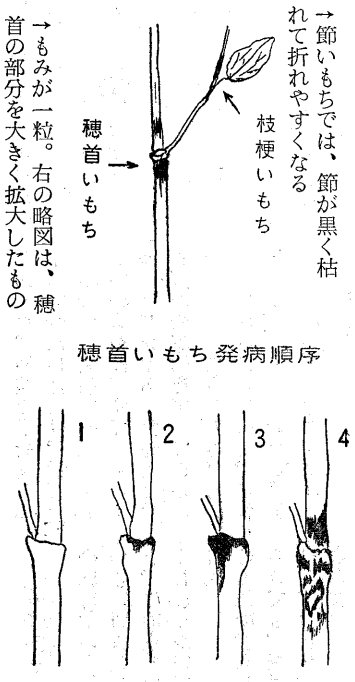
産 30～33年の収量そのものが平年作じゃないだろうか。だから、大内町の農民は、もっと高い技術と方法を要求していると思う。今年の気象状況から説明してほしい。

普 雨量は平年並、台風は3回ぐらい上陸すると聞いている。病害虫は非常に多く、昨年より5割増加の予想である。

産 そこで、どんな病害虫がでるだろうか。

普 早期でいえば、昨年大被害を受けた紋枯が危い。今年出るとは限らないけれども、早期と紋枯とは切っても切離せない。防除の方法は、6月下旬～7月上旬に、間をおいて2回のモンゼットがよい。今年新らしく出廻るアソジンもよいが、どちらもかならず10アール当り3キロほど

産 左の略図は1～4まで、穂首いもちの発病順序を示している。1 健全な状態 2 発病の初期 3 病はんがやや進んでいる 4 こうなると白穂になってゆく



→節いもちでは、節が黒く枯れて折れやすくなる

→もみが一粒。右の略図は、穂首の部分を大きく拡大したもの

普 早期は、いままでの普通作とまったく違う。低温時に植付け、高温時に収穫するんだから。元肥にうんとやってあれば、6月20日（つゆの末期）からじわじわきいてくる。田の条件を問わず、元肥にやってあれば、成績はその方がいい。極端な水もり田では追肥をやった方がいいというのもあるがまれである。追肥をやるときには、役場の産業課なり普及員、農協技術員と相談してやってもらった方が無難だと思う。

産 早期の除草で、株張りのため根をいためる心配があるが……

普 早期の株張りはよくない。結局低温だから株が張るわけだ。

早期は普通作とまったく違う

普 早期はまだ確立された技術でないから、普通作と同じに考えると、とんだ目に合う。早期では、苗の活着をよくするため、7～10日ごとに3回の除草はどうしても必要だ。

産 24Dをやる時期は？

普 気温25度以上なら、6月15日以降ならいつ使ってもよいと思う。それから防除であるが、しんとう性の薬剤は普通作の田植時とかちあって危険である。許可のいらないデープテレックス乳剤の500倍液なら問題はない。粉剤ならEPN（イーピーエヌ）がある。

産 早期に便利な薬剤があるとか…

普 新らしい乾燥剤ができた。刈取の2～4日前に散布する。水分17％以下にならぬと稲の脱穀はできぬがこの薬で14～16％となる。雨にぬれても効果は変らぬ。刈取、脱穀、うすひきがそのままできる。値段は10アール当り300～400円で手ごろでもある。気温24度以上という条件があるが、早期なら大丈夫だ。わらは牛馬飼料には結論がでていないが、堆肥には問題ない。

増収のガンは坪当りの株数と水

産 じゃ普通作で一番増収のガンになっていることは？

普 坪当り70～80株にふやしていくことと、水の使い方だ。

産 〃土用ぼし〃を説明してほしい

普 普通栽培の水は、田植後15～20日間あればよい。田植後一週間の水は、それがないと稲の一生涯とりかえしがつかない。15～20日というのは、まあまあしめり程度でよい。あとは幼穂形成期（穂のもとを作るころ）まで水は全然なくてもよい。それ以後の水は大切にしなくてはならぬ。花盛りの水はとくに大切で、落水はできるだけ遅くした方がよい。水を張っておくのでなく、しめりがある程度でよい。

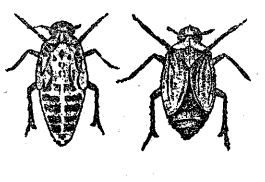
産 秋天候の悪い年は米が多いのと関連があるか。

普 大いにある。しめりが遅くまで続いているということだ。刈取前10日ぐらいまで水をやる必要がある。この技術は、7月によくほすことに秘けつがある。ほさずに、落水時期を早くして麦田を乾かすことを考えるのは、まったく逆の話だ。穂首いもちと小粒きんかく病の出る田は落水を遅くする必要がある。

産 四石以上とる秘けつは？

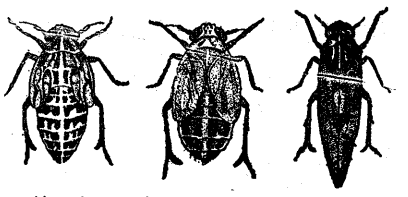
普 若苗30～35日、坪当り70～80株で、1株を4本ぐらい。田植後20日目の選択も大切だ。こうすると、もちろん病気になる危険性もあるが、それを防ぎつつ育てるわけだ。

トビイロウンカ（秋ウンカ）



（5・6月が乾きがちで，梅雨が遅れる年は，夏から発生が多い）

セジロウンカ（夏ウンカ）



（5・6月が高温で，温度が相当高いと夏場に発生が多い）

株当り平均10頭ぐらいのときが防除の適期。8,9月は少くとも10日に1回は稲を見廻わる必要がある

▽ 農委では、**農家労仂賃金**の標準を決定しました。

刈取	男女	1日	400円
麦		〃	350〃
苗植		〃わ 1	400〃
田		1日	1〃
除草	8寸の正常植	1日 10アール	400〃
	機械1回	1日 10アール	500〃
		1日	350〃
馬使い		1日	150〃
		1日	500〃

一日			400
いく	れんげ	10アール	1,800
使	麦	〃	1,200
牛	れんげ	〃	1,600
つく	麦	〃	1,300
（牛馬）			
つく			500
（耕うん機）	馬牛	1日	400
賃借料	普通脱穀機	1時間	200
	自脱	〃	300

つくは土地条件で、違ってきます。牛馬の賃借は、飼料借主負担。脱穀機は運転者の日当をふくみません。

▽ **ホリドール**など有機りん製剤の被害が、昨年から今年にかけて相当にでています。共同防除以外には、絶対に使われないことになっています。つい先日、家畜の被害がありました。防除して一週間は、附近一帯の草を飼料に使えません。

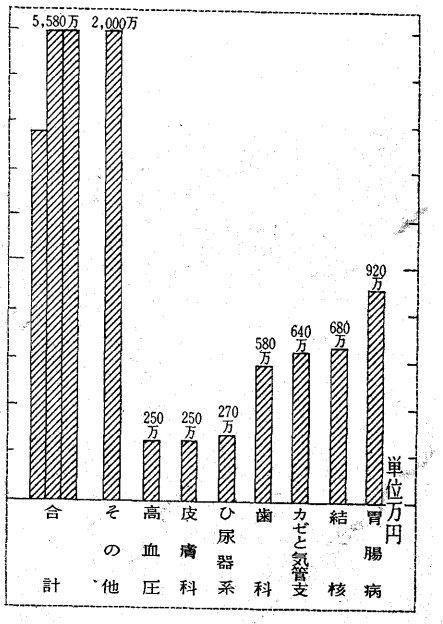
▽ 施肥合理化のために**土壌調査**は今年も引続いて行います。33年以降5年計画で全町にわたり実施する計画です。新種を選定するための採種田、それに種もみ交換会も、例年どおり行います。展示田、確認田も引続きやる予定ですが、土壌調査を家施したところは結果に従って、展示田を作ります。**水稲多収穫**品評会の経費や、共同苗代の補助金も予算に組み込みます。

（2面下段へ続く）

お知らせ

国保3年間の医療費は5600万円

全町に国保事業をはじめて満3年、病院や開業医に支払った医療費は5千600万円にものぼった。国保財政の基礎が固く、制度として喜ばれていても、この金額には問題がないだろうか。国保事業はいま、病気以前の問題と取組んで私たちの健康を積極的に守る方向を目ざしている。



5千600万円は、全部私たちのふところから出たのではない。このなかには国からの補助金が1千65万円ほどある。町の一般会計から43万円、保険税が1千645万円あるから、私たちが直接医師に支払った金は、2千753万円であった。

一人当り5千500円

3年間の医療費の総額を、加入者数で割ると、一人当り5千500円の医療費になった。このなかで国と町の補助を引き一人当り4千340円が私たちのふところから直接出た金額になった。3年間に4千円あまりならたいした金額ではなさそうだが、このとおりにはいかない。国保でいくと医療の1点単価が10円だが、国保でないと15円以上になる。だから5千500円の医療費は国保でないと最低8千円以上になる。国保をやっているために一人当り4千円は節約になる。しかし国保でやる5千500円とて決して少ない金額ではない。平均以下の家庭が半数ある反面、残り半数の家庭では、それだけふくれているから。

件数ではカゼが筆頭

さて、上のグラフは病気別の医療費を示しているが、これを件数別にならべると、つぎのとおりになる。

胃腸病	9,884件
結核	2,445〃
カゼと気管支系	15,098〃
ふ歯科	1,890〃
圧尿器系	4,218〃
他皮膚科	2,615〃
高血圧	22,184〃
その他	66,605〃
合計	

件数の多い病気と、私たちの日常の食生活や労働条件を比較して、もう一度考えてみる必要はないだろうか。残念ながらこの数字は、私たちの現状を冷静に語ってくれるようだ。

保険税をさげる工夫は

生身の体だから、病気はとうていさけられぬにしても、前の病気別の件数は、二つに大別できるようだ。つまり、私たちのこれからの工夫と改善によって〝健康な生活〟が営まれれば、ぐいと縮少される部分と、どうしてもさけられぬ病気の治療の部分とにである。大病した人の治療費を拾ってみると、肉しゅで数カ月入院、12万かかった人があった。結核で手術後3年半して全治した人は、10万円かかった。結核で一家2名治療中の家庭は、すでに7万使った。ガンであった婦人は、6万の治療代を使ってこの世を去った。こうしたさけられぬ治療代はあるにせよ、これらば病気にならなくてすむよとても早期発見によって、うんと少ない経費ですんだのではないだろうか。

病気しても軽く、できるなら、私たちの国保事業は、病気以前の問題と取り組んでいる。それは保険税をさげる方向にも通じ、健康で明るい町通じるだろう。

激しい労働のカロリー補給を米に頼るから胃腸病が多いーと保健所はいう（5月12日，小鯖鳴滝で）

ご存知でしょうが

◇旅行中の病気やケガは、くわしい領収証を国保係へ出すと、半額支払います。内訳がくわしく書いてないといけません。

◇被保険者証を忘れて全額とられても、国保では半額みません。お忘れにならぬよう。

◇患者のタクシー代など係へすぐ連絡を。退院後は調査困難で支払いません。

◇出産と死亡は千円支給されます。整理上届けを早目に。

◇被保険者の資格は、いつも正しい状態ですか。異動のあった時は、10日以内に届けぬと罰せられます。

結婚後入籍していなかった

1年前から国保のある町へとついだあるお嫁さんの例。国保の資格を失った届けは出ていたが、被保険者証の提出を怠っていた。これは日限の切ってない汽車の切符みたいなもの、資格はなくても被保険者証を出せば、医者は治療してくれる。しかし医者からの代金請求でいとも簡単にわかってしまう。このお嫁さん、先方の籍に入ってないので、国保の資格がないと思ったそうだが、同居人ということでいくらでも加入できる。お里にかえっては、被保険者証をかり、山口の医者で治療していたという。こみ入った事情があったにせよ、やはり不正使用となる。

被保険者証の不正な使用
発見された三つの具体例

他の保険と二重に加入

この例では、はじめに国保の被保険者証を医者に出した。その後他の社会保険の手続きがすみ、医者に見せたところ、両方使えるとは**いない**。なるほど治療代がいらぬと二重加入ほど便利なものはないけれども、受診のらん費が起り結局は保険税が、ぐんと高くなってゆくからである。こうなると国保の正しい運営がゆがめられてゆく。しかし資格を失った届けと同時に被保険者証を出していただけば、同時に氏名が消されるから二重に使って、不正使用にがい当することもなかったわけである。

転出しても国保を利用

ある家の使用人であった若い女性の例。使用人をやめて山口市に転出した。ところが医者にかかっていると、転出した日の翌日から、国保の利用はできないかどが国保の対象になる。治療の期間を中心にするか病の日を中心にするかの問題になる。この女性の場合、後者の日を理由に考えたかもしれない。しかし国保の規約では、転出した**翌日から**資格を失うことになっている。大内町の住民で、国保加入者であることと、治療の現状とをいつも結びつけて考えなければ、この制度そのものが、維持できないからである。病気になりそうになったら、国保のない市町村から、たった一日ほど転入して、発病後1年間の治療を続けられたとしたら、私たちの国保は財政的にすぐつぶれてしまう。

▽…今年の4月1日から、不正使用の場合、お医者の費用の5倍（つまり実際の額の10倍）以内で**罰金**を取ることになった。それぞれに事情はあったが、具体例を三つ…△

医者がいったという。ここに間違いの原因がひそんでいた。社会保険と国保で半分あて消すと、結局治療代はタダになる、医者がいったことがあながちうそともいえないので、二重加入を認めているところもあるが、大内町では**認めて**

不正使用になるか疑問の場合は、国保係へご相談ください。

〝幼児教育は必要だ〟と
おかあさん学級が誕生

大内、仁保、小鯖と、3地区それぞれにおかあさん学級が誕生した。6月にはじまり明年3月には終るという、10カ月間の予定。昭和32年生れの赤ちゃんをもつおかあさんを対象にしているが、現在のところ約50％の加入率になっている。大内38（88）小鯖27（50）仁保40（80）―（　）内は32年生れの総数。

幼児教育は、厳密には生れるとすぐからはじめるべきだとよくいわれるが、この学級に参加したおかあさんたちは「幼児教育の大切なことが、いまこそ身にしみてわかってきた。」

と口をそろえていっている。

講師には、県立児童相談所の幼児心理担当の先生や、小児科の医者、日赤山口支部の看護婦さんなどを予定している。

なるべく身近かな問題からとりあげて、学級で学んだ内容が、日常の家庭生活に生かされるように、運営方針が立ててある。32年生れのおかあさんでなくとも、もちろんさしつかえないが、この学級は今後毎年続けてゆく計画なので、明年3月以降は当然33年生れの幼児をもつおかあさんが対象になる。病気しやすい幼児を、最初から健やかに育てようという、国保事業の積極性が、この学級を誕生させた動機になっている。

40％が家族計画を実行

保健婦の手もとに集った家族計画のアンケートは、分類の結果40％が実行していた。20代の婦人では、⅛がこの計画を実行していた。25才を境に必要性は変るから、20代を前半後半と割るなら、25才以後の実行者は50％以上に達した。30代では、実行する人が実行しない人の2倍にもなっていた。家族計画用の器具は、とりまとめて国保係りであっせんすると、**市価の6割**ぐらいの値段で入手することができる。

★未熟児の母の悩み★

明彦と文彦がそろいもそろって未熟児で生れたときは、楽天家の私も、はたと当惑した。2キロ300と450だったからいま思えばほんとに夢中で育ててきたといえる。夫と二人っきりでなるべく手のかからぬ育て方をせねばとは思った。離乳は4月半からはじめた。冬だったが、極力薄着にして、ガーゼとネルの上着だけにした。パンビタン液をのませ、チョコラDも少しやった。食事は4時間ごとを確実に守った。こうしたことぐらいで、とりたてて育児の秘けつなどというものもない。

変ったことがあったら、成長の記録として、育児日記に記した。判断のつかぬことも書きとめて、後日の反省の資料にした。こうして平凡に育てたにすぎぬが、いま明彦と文彦はそろって丈夫に育ち、オルゴールを静かに聞いているときなど、「ここまできた」と母としての喜びを感じている。しかし幼児教育となると、まだまだこれからもうっかりできない。大内町におかあさん学級ができて、ほんとによかった。悩みを同じくするおかあさんたちの集いの、雰囲気の楽しさをいまから想像している。

（農試住宅　**吉山チエ子**）

明彦、文彦ちゃんは、山口保健所管内で、未熟児では一位の成長。県の審査でも、最優秀の折紙がついている。

お知らせ

▽　**麥作**も、水稲同様採種田試作田を設けます。

▽　今年は**飼料作物**を、どの農家もぜひ作られるようおすすめします。種子は農協でお世話いたします。この展示田も、各地区3カ所ぐらい設ける計画です。

▽　**乳和牛**を新らしく飼う方には、昨年同様3分以内の利子補給をします。ただし共同購入の牛にかぎり。肥牛は2年の利子補給。育成牛と生産牛は1年すえ置き3年しょう還で毎年3分の利子補給。乳牛も同じ。以前借りた方は、2回は借れません。

▽　**動散**も機械ですから、時には故障します。重大な故障のときは、役場へ申してください。ホリドールなど使用したときは、石灰を入れて中和したら、安全です。部品がなくなったら返品のさい係りへおっしゃってください。動散の油はかならず混合油でないといけません。利用率をあげるために、仕事がすんだら、すぐ返していただきたいです。もちろん、借りた人の責任で、いつでも使える状態にして。

▽　上の病気別グラフを見ても、人数の少ない割に、**結核**の医療費は胃腸病のつぎになっています。結核の健康診断一般の部を7月からはじめます。仁保はレントゲンを6日から、大内と小鯖は未定です。駐在員を通じてお知らせしますから、ぜひご参加ください。

▽　国保の**申請**や届けが、とかく遅れて、事務整理にこまっています。事情で遅れるときは、あかじめ電話を。

大内町広報

昭和34年7月13日
第49号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

農業委員の改選

7月28日が投票日です。選挙に関するくわしいことは、この号の4ページにまとめました。立候補される方や選挙運動をなさる方に、ぜひ眼を通していただきたい選管のお知らせも、のっています

ぜひこの夏を 健やかに

どんなに工夫された食品や高価な栄養剤、化粧品にもまして、あなたの健康を守り、疲れた顔を明るくしてくれるもの…それは「**ひるね**」です

税金

7月 固定資産税 2期
8月 町民税 2期

どちらも月末が納期です。お忘れなく、早目に

第1期分申告所得税

7月31日まで

議会では、いまこんなことが問題になっています

最近の町議会で、とくにこれから検討が必要だと叫ばれていることを拾いました。議会と執行部が心をあわせ、慎重に審議しなければならぬ問題ばかりです。それだけ町行政の根本にふれることなので、全町民でいっしょに考えあう問題としてあつかいました。

町財政の問題点

(1) 財源をどこに求めるか

もちろん財源は大内町の場合山以外にないわけです。昭和40年までの伐採計画を合併後4年間に建設計画の財源にするためくりあげ採伐しました。これから後半はその残りしか伐伐ができないことになります。しかしまだ官県行造林（伐った場合分収金が町に入る）があるし、保安林などの制限林を解除してもらえば財源ができます。ただすぐ現金化できぬので、これからの財源には、よほど事前の計画と見通しが必要になります。

(2) 財源の使用方法を慎重に

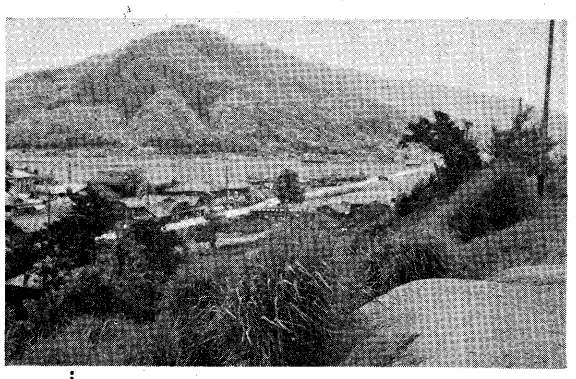
職員の給与を是正する問題が出ていますが、もっと急ぐ事業費の財源に廻せという意見があります。これは人事院勧告によって公務員の給与の不均衡を直すので、これをやめると、職員の間に不公平が起るからこれは当然やるべきだという意見もあります。財源をめぐっての意見が分れていますが、町財政も苦しいのです。

財源は町自体で管理する

財産処分は、森林組合に頼らず、町自体でやろうという意見です。森林組合も努力してくれるが、4千町歩の町有林をもつ町としては、もっと財産管理に自主性と努力を傾けるべきで、森林組合にいままで支払ってきた手数料（売上げの5分）も造林地の育成に投資したいとの意見です。森林組合は森林法にもとづいてできた団体ですし、現在経済団体としてより多分に森林行政的な分野を多く持っていますから、民有林の育成は当然森林組合と手をつないでゆこう……ざっとこんな意見です。

4年で永久橋にかけかえ

町内にはあちこち木造橋が残っています。これを4年間に全部永久橋にかけかえよという意見です。橋の数が多く、4年間にやるとなると大変な財源が必要となります。災害の恐らく何千年の昔から、流れるにまかせたままの仁保川は、豪雨のたびに住民を苦しめたに違いない。過去何百年かの歴史をたどっても、たくさんの実例を、あげることができる。大正時代、仁保村東南部の山林1千町歩の⅓ははげ山であった。各支流から運んできた土砂は、本流にうずたかく積って災害が起るのが当然ともいえる姿であった。はげ山といえば、支流坂本川の流域の山はとくにひどかった。坂本川を準用河川（改修費を国庫が



大正時代はこの緑の山々も見渡すかぎりはげ山の連続だったという

昔は豪雨のたびに被害
宿願の仁保川改修なる

これで東南部のはげ山は、年とともに緑化していった。昭和12年ごろ当時県会議員であった嘉村道亮氏も大いに努力し、待望の坂本川準用河川編入は実現した。しかし仁保川の根本的な改修は、戦争が激しくなるにつれて、のびのびとなり、戦後を迎えた。昭和26年——2回の台風に見舞われ、みじめな被害を受けてしまった。年寄りたちも知らぬというぐらいの、いたましい状態であった。被害額1億5千万円にも達したこの状態を、根本的に改革しようと、時の村長須子勝平氏（現町長）は寝食を忘れたという。1億2千万円にのぼる河川改修はついに26年度から開始され、以後8年間、去る6月23日、仁保中学校の校庭で工事の落成式があった。

長い間頭痛の種であった仁保川改修には、実に50年もの悲願がこもっている。

もつ）に入れることと、仁保川の根本的な改修が、旧仁保村政の、最も大きな課題であった。

一方砂防工事は昭和2年から県工事で着々進められ、昭和12年まで10年間に、あらましを終った。

能率的でいつも親切な役場へ

いま一つ残っている問題は〈**機構改革**〉です。これには二つの立場があります。一つは役場内の事務を、もっと私たち町民に親しみやすいもの、同時に能率的なものにかえてゆこうというのです。いま一つは、行政をとりおこなう全町の体制を、もう一度再検討してかかる問題です。これは大きな問題ですが、合併後四年たったいま、町政の内容を充実してゆくために、必要だと叫ばれている問題です。一例をあげると駐在員制度です。いろんな通達が駐在員におしかけて、行政のしわがここに寄っているという見方も、無理ではありません。曲りなりにすます行政でなく、ほんとに私たちの生活をよりよくしてゆく〈**自治行政**〉ですから、本格的に解決にのりだそうというわけです。

役場内の組織を変えたり、事務を能率的に改善してゆくのは、今年の10月から行うのを目標に、検討を重ねています。

産業振興に重点がほしい

現在町の産業振興には、いろいろ補助政策がもってあるが、少い財源を、あれこれと使ったんでは、効果が少ないだろうという意見です。もっと重要産業を興すには、いくつかの重点を決めるべきだという考えです。この問題と関連して、△開拓地の指導をやるべきだ▽△中小企業を放任しすぎる▽の意見も出ました

義務教育が最優先

もっと義務教育（つまり小中学校教育）を重視すべきだという意見です。仁保中学、大内中学とも普通教室がさしあたり不足して困っています。特別教室はもちろん足りません。あらゆる教育を重視して、教育を盛んにするのは賛成だが、現在義務教育が困った状態におかれているから、ほかの教育施設は再検討した方がよくはないか、というわけです。

産業振興に重点がほしい

現在町の産業振興には、いろいろ補助政策がもってあるが、少い財源を、あれこれと使ったんでは、効果が少ないだろうという意見です。もっと重要産業を興すには、いくつかの重点を決めるべきだという考えです。この問題と関連して、△開拓地の指導をやるべきだ▽△中小企業を放任しすぎる▽の意見も出ました

義務教育が最優先

もっと義務教育（つまり小中学校教育）を重視すべきだという意見です。仁保中学、大内中学とも普通教室がさしあたり不足して困っています。特別教室はもちろん足りません。あらゆる教育を重視して、教育を盛んにするのは賛成だが、現在義務教育が困った状態におかれているから、ほかの教育施設は再検討した方がよくはないか、というわけです。

ことを考えると、永持ちしない木造橋は危険きわまりないのですが、そこに悩みがあります。少くともっと計画的にやって、危くなってからやることのないようにという意見もあります。

この写真は2枚とも，去る4月10日，皇太子のご成婚を祝った行事からとった。

小鯖八幡宮の大神楽 →

始まったのは鎌倉時代というが，はっきりしない。シシの頭もみごとなものである。シシが2人，ほかに小天狗とおかめとひょっとこの5人で舞う。

← 室町期より続くさぎ流狂言

無形文化財に指定されている。舞台は大内小学の講堂，狂言だから，……でおじゃる　といった古い言葉がでる。空っとぼけたおかしさがその時代をしのばせる。

▽ **県民夏季大学**が、山口市湯田の鉄道保健指導所で開かれます。8月20日21日の2日間で、無料です。△農山漁村新生運動について▽△みんなの健康▽△これからの生活改善▽といった内容です。申込みは7月31日までに、役場の衛生係へ

▽ **夏の健康**をまもる運動が7月いっぱいくりひろげられています。伝染病や小児マヒの危険率が高い時期だからです。私たちの手近かなことですぐ実行できるのは、〃**手洗い**〃です。糞便で手が汚れ、それが食品にうつる場合が非常に多いのです。ほんとうは、用便後には石けんで手を洗った方が安全です。手洗器も流水式にした方が確実です。

▽ **自衛官**の募集中です。受付は7月20日まで。試験は7月26～8月9日までの間に行われます。陸海空士とも募集しています。志願手続きや志願票の記入方法については、役場庶務係へご照会ください。

お知らせ

▽ スポーツ行事が盛んに行われる時期になりました。町の**体育指導員**がつぎのように決定しました。山根次郎（仁保）三浦明（小鯖）田中正二（大内）石田雅彦山賀宏子以上5名の方々です。終りの2名は学校の先生で、おもに実技を指導していただきます。

▽ 毎年7千人の**結核新患者**が県下で出ています。健康診断を受ける率は、全国最高である宮城県の半分以下で、全国平均より下になっています。県下では和木村が70％で1位、大内町はわずかに12％で、県下で29番目という成績です。

みんなでもりたてる住みよい町

二つの問題をとりあげてみました。一つは福祉事業の問題、いま一つは子供会や青少年保護の問題です。刑務所や少年院を出た人たちが、いろいろ生活上の相談をし二度と罪を犯すことのないよう、世話をしてゆく保護司という仕事がありますね。この7月で、保護司法が行われて、ちょうど10年目に当ります。つまり保護司さんが誕生して、10年たったわけです。そこで、司法保護事業の招介をしようということでしたが、大内町の場合は貧しさのために罪を犯した例がほとんどですから、どうしても民生委員の仕事と関連があります。それならいっそ福祉事業全体を招介したらということになりました。

★

子供会や青少年保護の問題は、ちょうど**夏休み前**なので、いい機会だからです。40日も学校と直接の関係なく子供たちが置かれますが、家庭や部落でも、子供たちが自主的に〝よい子〟の活動を行ってほしいと考えておられることでしょう。夏は青少年の犯罪とくに性犯罪の一番ふえる時期でもあります。こういった理由で、編集を企画いたしました。

★

社会福祉といえば、限られた少数の人が「陽の当らぬ地味な仕事だ」とつぶやきながら、コツコツやってきたのが現状でした。まじめな人格者が、よくやってくれるから、よけいなおせっかいをすまいという気持も、たしかにあったようです。そこで考えられたのが大内町の社会福祉協議会です。協議会の字が示すように、社会福祉団体（民生委員会、保護司会、遺族会、白菊会、引揚者更生会、身体障害者更生会、傷い軍人会など）が全部はいっています。社会福祉団体ばかりでなく、農協や消防団、森林組合なども加入して、全町の全団体の協議会ともいえます

★

福祉団体以外の団体まで加入するのは、ちょっと変なようですけれど、これには理由があります。ほんとうは、全町民が参加し、全町民の理解を協力によって、うんと効果をあげるのが理想です。しかし協議するとしても、全部が参加するのは不可能ですし、さて代表者を選ぶとなると、またむつかしいのです。とどのつまりこんなことになりました。それぞれ団体の長は、町民の代表として、私たちの福祉問題を協議する良識をもっていると考えたわけです。

★

社会福祉協議会は、発足してから満3年たちました。地味な福祉活動もしみとおってはゆきましたが、十分ではありません。全町民の理解と協力がもりあがらなければ、こうした根気のいる仕事は、おいそれと効果が出ません。やはり、みんなで住みよい町をもりたてていく気持がまとまらなければどうにもならないのです。

そして――社会福祉協議会の会員は私たち全町民であり、住みよい町造りのために、これこれ実行するんだという段階になったら大内町はもっともっとのびてゆくでしょう。

★

こうした社会福祉――住みよい町造りの気運がもっともりあがれば、子供会、青少年保護、老人をいたわる集いも、うんと活発になることでしょう。私たちの住みよさは、住宅や道路や、税金といったどのことにも関連がありますが、おたがい町民がいたわりあい万一不運に泣く人たちも助けあって、住みよい町をもりたてようではありませんか。子供会や青少年保護と福祉事業とは、直接の関係はありませんが、住みよい町造りの祈りをこめて編集いたしました

福祉事業――たしかにコツコツと地味な仕事だが…

福祉三法と呼ばれる、三つの法律があります。生活保護法、身体障害者福祉更生法、児童福祉法をさしています。労働関係の法律で労働三法と呼ばれるものに、労働基準法、労働組合法などがあるのとちょっと似ています。

この秋には、更生年金法が発足して、小額ながら年金支給を行います。年寄りと母子世帯、それに身体障害者が、無拠出（自分の所得を積み立てないで）で、支給の対象になります。これで、法律的に生活を援助してゆく幅が、以前より幾分ふえてきました。

いま町内で生活保護法の適用を受けている世帯は42戸155人ほどあります。身体障害者は、大人と子供あわせて160人、人口100人につき1人の割でいます。児童福祉法によって施設に入っている児童は、現在のところ23名います。不具者の児童や親に見捨てられた児童たちです。

局部的には小さくても

こうして対象の人数を拾ってゆくと、それほど多いとはいえませんん。しかし、表面だけのことと均5人の家族がいるとしたら、750人の人が生活のうえにも、理解とはげましの面でも深いつながりをもってきます。

民生委員の宅へは、生活の相談が……というより何とかしてほしい依頼が、いつもあるそうです。米を2升貸してほしいというのはしょっちゅうだと、ある民生委員のお話でした。つまり、生活保護（または医療保護）の対象になる世帯数は42でも、生活がおびやかされている世帯数は、少くとも四倍か五倍にのぼるのではないかと推定されます。

以上は福祉三法の関係で考えたものですが、この法律の適用を受けないで、福祉団体に属している人たちの数は、もっともっと大きくなります。ほとんどが母子世帯の白菊会の人たち、引揚者、遺家族、あるいは刑法上の罪を受けて現在保護司が相談相手になっている人たちの家族、と数えたててくると、この世帯や人数は、急激にふくれてきます。氷山のように表面に出た姿は小さくても、真実の姿ははるかに大きなものとなるのですから……この大きなものを、保護司といった人たちだけでは、とうていあつかえません。生活を建て直し、ともすればめいる気持を引き立せた、手をとりあって生きてゆくことは、限られた人たちの精力の許るす範囲でないのです

小さなことにも深い根が

町内のある保護司さんの話です。少年院を出た少年をあずかっていたところ、ほかの少年が誘いにくるのです。ちょっとした事件がもちあがり、少年院を出た少年が一番の悪役になりました。実際は、ほかの少年が悪かったのに、「前歴が前歴だから、とうとう誘惑しおって……」とののしられたそうです。「小さなことにも、深い根があり長い期間愛情深く見つめていかなければなりません。」と、保護司さんはしみじみ語っていました。

社福協議会の事業と予算

それでは最後に、社会福祉協議会の実情についてまとめてみましょう。今年度の行事は、(1)養老院〃秋楽園〃――を慰問しました。大内町からの収容者は10人でした。ほかの9名はとても元気で、幸せな毎日だといっていました。民生課長が持参したささやかなアメ玉に、子供のように喜んでいました。どうぞ慰問において下さい。(2)赤十字運動町民慰安会を開催（3）子供会を育てる、生活に困っている家庭の入学児童を援助する（4）農繁期の託児所、つゆあけの環境衛生（5）成人の日や文化の日を中心とした行事に協力

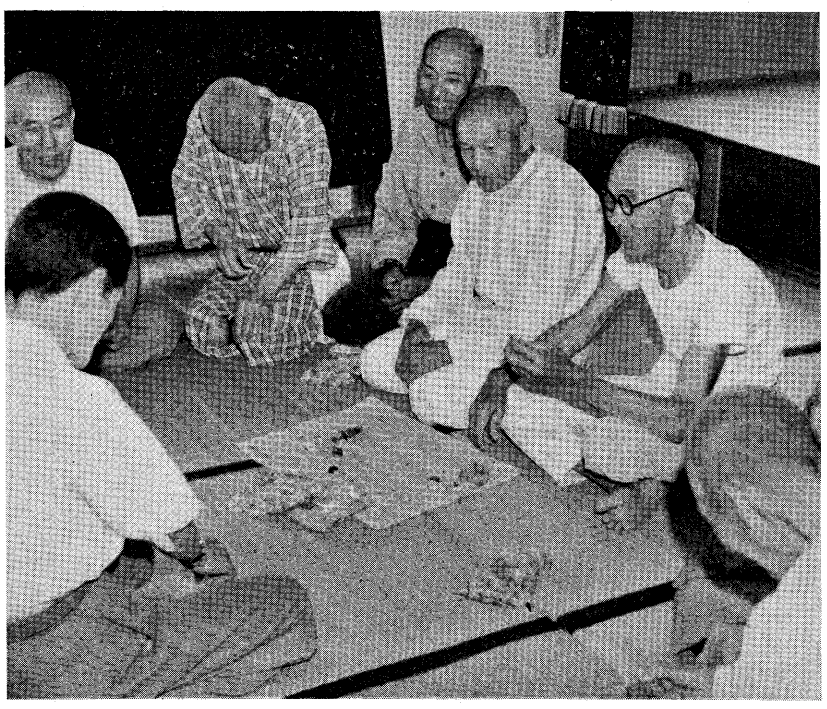
この行事の内容は、住みよい町造りのための、広い幅をもっています。そして、非常に社会教育と接近しています。私たちの〃結びつき〃が、全町民の住みよい町造りにつながることを、これらの行事は願っているようです。こうした視野に立って考えられた計画だといえましょう。社会福祉協議会は、今年度19万円の事業予算をもっています。不足ながら、以上の行事をやってゆこうというのです

全町的なひろがりの中に

福祉団体が集って協議会を構成しているのは、ただ単に横の連絡をはかるだけでなく、私たち全町民の理解と支持のうえに、大きな効果を出そうというネライがたしかにありました。全町的なひろがりの中で、私たちの福祉を進めるための具体的な方法を考えるとなると、これからの福祉事業は、うんと大きな、しかしやりがいのある

幸せな毎日です

7月3日、秋穂町にある郡立の養老院〃秋楽園〃――を慰問しました。大内町からの収容者は10



水泳事故の9割は遊び中に

9割が遊びの最中ですが、8割までは泳ぐ条件のよくないところで起っています。できれば部落で、危険の少ないところを選んでいただけたらと存じます。川底もきれいになると、ガラス片で足をきることも少なくなります。急救用の縄や竹ざおなど用意しておくのも、万一のとき役に立ちます。ツベルクリン反応が陽転した子ども、病気で医者が止めている子どもはいけません。

7月2日小中学校の先生を集めて、水泳講習会が下矢田の氷上河原で。

夏休み中の子どもの遊びや学習計画など

これは学校から、各家庭の保護者の方へのお知らせです。小中学校をまとめて作りましたので、適当にご選択ください。暑くて勉強もできにくいでしょうが、子どもたちの体に無理な影響のないようにと作られたのが夏休みですから、健康本位で、計画的にご指導ください。夏休みの計画は学校でも子どもたちに作らせました。これが休みとなるとなかなかうまくいきませんが、できれば10日か1週間に一度ぐらい、家族会議を開いて反省し、つぎの1週間の計画を話しあわれたらいかがでしょう。

1、計画されたものは、休みになるまでにそれをもとに家族中で話しあい、その計画を家族中の者が承知していることがたいせつです。

2、学習の計画はあまり無理のない計画を立て、一学期に不十分だったものや、練習不足のものをある程度取り入れておくようにする。この場合一日に多くやるというよりは、毎日少しあて学習する方が効果的です

3、夏休みにはその学年相応で、しかも子どもが喜んでやる研究を、一つでよいからねばり強く完成させることが必要です。これ

なかなか長続きしない

町内の子ども会を見渡してみると、なかなか長続きしないのが実情のようです。リーダー（普通中学生ですが）に人を得ているところは、そのリーダーが関係している期間は活ばつですが、それも何年と続きません。一時部落の親たちが肝入りで作っても、押つけた子ども会にはとかくお説教が多くて、子どもたちにはさっぱり面白くないということにもなりかねません。いろいろと事情があったのでしょうが、いま町内の子ども会で、とくにどこと指させるところがないのです。

寺でやっている子ども会は、どこも盛んです。宗教的な雰囲気での子ども会は、それはそれとして意義や効果も多いのですが、寺としての宗教的な立場に限界もあるわけで、いまここでいっている子ども会とは違います。

自主的活動の面白味

子どもたちは、子どもたちだけの社会を構成して、その中で自主的な活動をやりたがっています。おとなの計画や押しつけが入ってくると、子どもたちの社会の夢はこわれて、自主的活動の面白味がさっぱりなくなるのです。そして団体活動を通して、ものを創ってゆく喜びだの、協同してやる喜びだのを、自然と学びとってゆきます。だから子どもたちは、子どもも会によって、社会性を養い、子どもたちの夢を通して、将来の自分たちの姿を画いているともいえましょう。どんなに勉強がよくできても、家庭と、学校というわくに入った生活環境だけしか知らない子どもは、温室育ちでそれだけ社会性がとぼしいともいえるのではないでしょうか。

部落の親の眼

「うちの子にかぎって……」と親が子どもを買かぶって親の知らない面が大きくなり、やがて不良化していった例もあります。一人の親がみるより、部落中の親がみんなして、どの子もよく育つよう温かく見守る方が、子どものいろいろな面がよく解ります。

「どの子ども会どうだった。」こんな話はどこの家庭でも、かげぐちとしてささやかれていますけれども、実際にその子どもをよい方に導くためには、なにも役立っていないのが現状です。そこには遠慮があるのですけれど、こうしたことが平気で話せる雰囲気を作るためにも、子ども会は大きな役割を果してくれます。部落中の親のこうした壁を取り去らなければ子ども会自体が、育ってゆかないからでもあります。

子どもたちも部落の行事に参加する、親たちも子どもたちの行事に参加するといった交流が、子どもたちに自主的な活動の喜びを与え、親たちに一人一人の子どもの持ち味や長所を教えるチャンスになるのではないでしょうか。

青年の有志が発起して

こうした方向の芽ばえが、いま小鯖に生れかけています。学校、PTAの部落委員、公民分館、それに青年の有志が手をつないで、子ども会をもりたてようというのです。子どもたちが喜ぶ人形劇や幻灯、童話や狂言といったものを自分たちでやって廻ろうと、10人ばっかりの青年が集まっています。部落の親たちが子どもを集めて「さあ、やりなさい。」と子ども会をすすめても、おいそれとできるものではありません。だからこれらの青年が、献身的に誘い水になって歩こうというのです。

小鯖稔畑の子ども会は、以前からよく運営されています。昨年の暮にはつれだって夜警をして歩きましたし、今年ははえ蚊をく除する仕事もやって歩きました。親からいわれたからやったのでなく、自分たちで相談し、方法をきめてやったのです。町造りは子どもたちの中からも……という一つの実例です。この子ども会のメンバーは、もう自主的な活動の喜びを知っているのだといえましょう。

愛の鐘を鳴らそう

青少年の不良化を防ぐために、いま県下で〝愛の鐘〟運動が行われています。例えば10時に鐘をならすと、みんな家路につくようにすすめ、習慣化していくのです。

夏休みから始める子ども会の，打合せは7月2日，小鯖小学の校長室で開かれた。さっそく人形劇の練習にかかったところを。

生活保護でAさんは再起

初めは、愛し愛された夫婦であったはずです。Aさんが不治と思われる難病にかかって苦しい生活が続きました。妻は働きながら生活をたてていましたが、たえかねたものか子ども連れて逃げたのです。

その心の痛手と病気の体をひきずって、私の近所に帰ってきたのは、そうです昨年菜の花の咲いていたころでした。気の毒なAさんにも生活保護の手がのびました。ちょうど運よく1カ月たったころ、日赤病院にベットの空きがありました。療養した結果とても治るまいといわれた難病が、治ったのです。

再び健康に近い体をとりもどして退院したAさんは、現在働き場所も見つかり、元気にやっています。働くだけの健康がとりもどせると同時に、生活保護は打切りましたが、Aさんはもう保護の必要ないほど、立派に再起したのです。この間でしたよ、私のところへあいさつに来たときのAさんの顔、そりゃもうとっても明るいもんでした。（実話――ある民生委員の談話より）

4、家庭生活や社会生活を理解させるために最初からきまった家庭の手伝いや、部落の仕事や行事などに参加することなど、計画の中に入れて実行させたらどうでしょう。

5、確実に実行させるには、毎日のようすを○や×を書き入れるような表を、計画にともなって作ると子どもによく解ります。

福祉団体の代表者が語る
運営の悩みとこれからの夢

社会福祉協議会
民生委員会

荒瀬貞雄氏

福祉団体は、それぞれ発足した理由と目的を持っていますので、福祉事業はなんでもというわけにゆきません。おたがいの自発的な意欲だとか計画だとかが、自然な形で福祉事業につながっていくように、調整役が協議会の仕事だと思っています。だから理想をいえば、全町民の人が会員になっていただきたいです。三隅町は会費なしの会員制度です。下関は会費をとっています。会費をとるとらぬは別問題で、こうして有志の人たちが自発的に団結した福祉協議会は、非常に仕事がやりやすいんですね。現在残念なのは、不時の災害が起きたときに助け合いがもっと円滑にいったらなあということで。いままで予算がなかったし、思うようにいきませんでしたよ。それから貧しい家庭の子も義務教育だけは卑屈な思いをしないでやらしたいですね。旅行などの場合もあります。教課書代もPTA会費も出せない子供が相当あるんです。いや……福祉協議会の話が、だんだん民生委員の話に近ずきましたが、どの民生委員さんもよくやってくださいます。ほんとに……（荒瀬さんは民生委と社協の会長）

身体障害者
福祉更生会

重宗徳一氏

私たちはおたがい厳しい生活線上にあります。例外も少しはありますが、ほとんど客観的に見て、十分な生活とは思えませんね。そこで、国県とくに町において、身体障害者が世間の同情だけを頼りにしなくてもすむようにと願っています。もっと私たちの福祉が強化されるよう努力を続けてはいますが、なかなか実現できぬのが、現在の大きな悩みです。町の国保で身体障害者を特別な取扱いにすることも実現に努力したいです。それから……赤貧洗うような生活であってもですよ、時に沈みがちになる夫をはげまし、生活にうるおいとユーモアを忘れないよう妻が心がけます。母子世帯で子供が3、4人いるのがほとんど。生活にはみんな苦労しています。

「おたがいに働きましょう、働きましょう。」

この文句が私たちの合言葉になっているのです。休みなしに働いていますから、総会に顔をそろえることもむつかしいのです。それにね……集まった夫はどんなに慰められるかわかりません。婦人の身障者もいますが、男子が多いので、まあ女房の教育講座といいますか、こんなことにも力を入れてみます。

白菊会

藤井ヨシ子氏

一八〇世帯が加入していま千円無利子で貸りています。合の自動車賃も会の運営費からみます。福祉協議会から2万4一人一回2千円、2カ月の約束でとても喜ばれるんです。子供の修学旅行や学資金だといいましてね。みんなで一日貸切バスの旅行でもできたら……働くばかりで楽しみがないんですよ。

運営上一番困るのは、なんといっても資金です。会員から毎年100～200円の会費、有志の寄付金とあわせて、かろうじて運営しています。会員の中には、会費を納めるのが容易でない人もたくさんあるんですよ。町から毎年1万円程度補助をもらうことに決って喜んでいます。外地の私たちの財産は、相手国に没収のうえ日本のばい償金にあてられることになりましたが、この補償は憲法からいっても当然で、かならず解決してみせると、会員一同堅く団結しています。

保護司会

田中俊輔氏

会というより一人一人の保護司の仕事が大変ですね。いま、3人の少年をあずかっています。貧しさゆえに悪いことをしたのが、従来の例からいうと多いのです。ですから私たちの仕事はどうしても民生委員さんの仕事と関連があります。いままでにも民生委員と懇談の機会をもちました

中山益恵氏

が、今年はもっと密接に手をつなごう、と考えています。青少年不良化の一つ一つの実例について、8月には研究会を開く計画です。社会を明るくするために、小さなともしびをかかげるのが私たちの念願です。

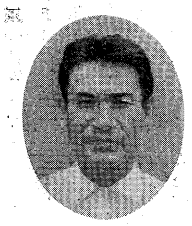
傷い軍人会

身体障害者の人たちにも共通しますが、不具者になるとどうしても神経質になったりひがんだりいたします。集いを楽しくして、慰めあうことに努力しています。職業補導や診断手続き、県連の負担金など相当に費用もかさみますが、町からの補助と会費でやりくりしています。白衣の募金者を街頭からなくしたい――そんなことも考えています。

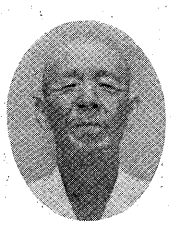
藤村薫氏

遺族会

遺族補償も不十分ながら、行われました。しかしまだ規準にあてはまらぬ気の毒な家庭も県下に6千世帯ぐらいあります。こうした法の不備を改めるためにもまだまだ仕事がたくさん残っています。それから、遺児――もう大きくなって遺族青少年といいますが不良化することのないよう努力してゆきたいと存じます。そのため、遺族会の婦人部活動をもっと盛んにしょうと……目下の計画です。父親がいなくて子どもが不良化したという例も世間にはありますが、遺族の中からはそんな青少年を出したくないのです。



千々松虎雄氏（仁保）



山崎　実氏（大内）

清水善達氏（小鯖）

引揚者厚生会

農民のための農政を主張する代弁者

改選後は部会制をしく

農業委員の改選が行われるのを機会に、委員会の仕事を分析してみました。まず仕事の内容をよく知っていただき、この仕事を果たせるだけの能力と手腕を持った人が当選すれば、私たちはそれだけよい代弁者を得たことになります。

まず農地問題の調整

農地の問題は、農業委員会の専属的な権限として、国から委されています。だれもが公平にそして安心して農業が営めるように、調整してゆく仕事があります。売買、小作農地の転用、すべて農業委員会の許可を受けねばできません。この場合、農家の利益を守り、農業発展の方向にそうかどうかが、委員会の判断の基準になります。

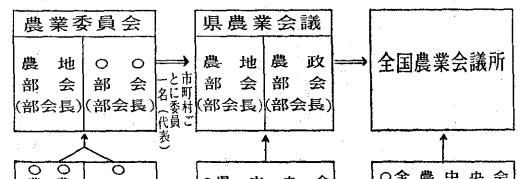
農地の耕作について、いろいろゴタゴタが起った場合、農業委員会はもちろんこの調停をしなければなりません。

自作農の維持と創設も

なにか思わぬ天災にあって大切な農地を売るようなことが起ると、自作農が減ってゆきます。天災でなくて、耕作者が病気にかかる場合もありましょう。なにかの事情で経済がゆきづまり、農地を売るはめになったとき、維持資金を貸すのも、委員会の仕事です。新らしく農地を買って自作農としての経営基礎をいっそう丈夫にする場合も、必要資金を世話するのが、委員会の仕事になっています。大内町は、県下で一番この資金の貸付けが多いのです。

農民の側で農政を見る

なにを作っても売れる時代から、いまは〝豊作貧乏〟のときとなりました。食糧の絶対数が不足している時代はともかく、今日のように世界的な農産物過じょうとなっては増産することだけが、収入をふやす道でもなくなってきました。それだけいま農業の危い時期です。私たちの経営ひいては農村の発展をさまたげるのがなんであるかを調べ、その原因をとりのぞいてゆくよう努力するのも、委員会の仕事です。農民の自由な意志で、今日の農業行政の適不適をながめてみると、100%満足いくことはないはずです。農民の側で農政を見るには、公選によって選んだ委員が最適であり、また私たちの代弁者にふさわしい仕事ともいえましょう。



農業発展の意見を出す

必要な意見は公表することができます。農地の開発や保全、土地の総合的な利用計画についても、農業委員会としての意見が出せます。もっと農業を高度化するためには、どうしたらいいか――そのための計画や意見を出してゆくわけです。しかも私たちの代弁者として、いろいろな農業行政の相談役になって意見をのべることもあります。

農業委員会が出した答申や意見は、農業行政のうえにも尊重しなければならぬことになっています。政策を受ける側の声が、代弁者〝農委〟を通じて発表されたことになるわけですから。――以上四つが農業委員会の仕事の内容です。

経済変動にも負けない 高度な経営にきりかえる

×

大きな理想は、こうした経営自体の高度化にありますが、具体的な方法としては、農業行政を、私たちの実情にあうようにこそ、民主的な農政だといえましょう。

×

戦後13年たって、ほかの産業の発展はめざましいものがありますが、私たちの実情にそうかそわないかを考え、不備な点を主張してこそ、民主的な農政だといえましょう。

×

農業委員会といえば、農地問題だというふうに、従来とかくこれだけを結びつけて考えられがちでした。事実、農地問題は農業委員会だけが取扱う仕事でもあり、大切な仕事なのですが、農委のもつもう一つの大きな任務があります。農村振興問題です。農地と農村振興が大きな二本の柱で、この仕事がなめらかに運ぶために農政問題と取組んでいます。そして農業経営全体を、ちょっとやそっとの経済変動にもまけない丈夫なものにきりかえてゆくのが任務です。改選によって部会制をしき、農地部会と○○部会（例えば農政部会など）ができると、問題がはっきり分れますから、農委の活躍は目ざましくなってくることでしょう。委員の数も選挙以外の委員を加えて30名内外になりますから、部会制にして割っても委員数は十分にあるわけです。

×

大きな理想は、こうした経営自体の高度化にありますが、具体的な方法としては、農業行政を、私たちの実情にあうように見守り、意見を出し、場合によっては私たちの代弁者として働く機関だといえます。所得税の見積りに対して、交渉の根拠を毎年調査してきているのも、こうした理由からです。私たちの農政上の主張に根拠を作り、資料を集め、代表して意見を発表してもらう機関ともいえます。またそれだけの権限を与えられている団体です。農業行政が、大きな理想は、こうした経営自体の高度化にありますが、具体的な方法としては、農業行政を、私たちの実情にあうようにこそ、民主的な農政だといえましょう。

×

戦後13年たって、ほかの産業の発展はめざましいものがありますが、私たちの実情にそうかそわないかを考え、不備な点を主張してこそ、民主的な農政だといえましょう。

×

農民のための農政をやってもらうよう訴える、農民の自主的な代表機関の委員を選ぶ日が近ずきます。農業委員の改選は、ほかのどの選挙にも負けないくらい大切な選挙だとお考えになりませんか。

農業委員の選挙日程

7月~~20日~~ 21	(1)選挙期日の告示
	(2)不在者投票の開始
	(3)選挙立会人の届出開始
	(4)立候補届出の受付を始める
	(5)公営施設を使用して個人演説会を開く申出の受付開始
〃 ~~22~~ 23日	公営施設使用の個人演説会開始
〃 ~~24~~ 25日	立候補の届出期限
〃 ~~25~~ 26日	選挙（開票）立会人届出期限
〃 ~~26~~ 27日	(1)補充立候補の届出期限
	(2)選挙立会人のくじを行う。もしくは補充者の選任
〃 ~~27~~ 28日	(1)立候補辞退の届出期限
	(2)不在者投票はこの日まで
〃 ~~28~~ 29日	(1)**投票日**（午前7～午後6時）
	(2)選挙会（開票）午後8時30分
〃 ~~29~~ 30日	(1)当選の告知
	(2)当選証書を渡す
8月~~12~~日	選挙の効力に関する異議申立期限

農業委員の改選は7月28日

＝やり方は町議の場合とほぼ同じ＝

農業委員の選挙は、大体町会議員の選挙に準じて行われます。選挙運動の面では、相当に規則がゆるやかになっています。必要なことがらを、簡単にまとめました。

選挙する人の資格は

つぎの条件にあった人でないと挙資格選がありません。

(1)10アール以上の農地を耕作して農業を経営する人。同居している親族や配偶者もふくむ。

(2)年間大体90日以上の耕作をする人。

(3)大内町内に住所をもっている人（註）居住期間は別になしが、60日以上耕作する条件がある。

(4)年令満20才以上の男女（国籍はどこでもよい）

このたび使用する選挙人名簿は昨年12月1日現在で作ってあります。この名簿は、農業委員会法によって作りますが、毎年12月1日現在で作り、翌年3月5日に確定することになっています。この選挙には、地方選挙の場合と違って補充名簿がありません。昨年12月に申告もれした人、その後新らしく選挙権を得られた人も、選挙権がないのです。

立候補の届出

立候補制であるので、当然届出が必要です。

(1)立候補届の受付は、7月~~24~~日の午後5時までです。町議の場合と同じく、自薦と推薦2種の届け様式があり、用紙は選管にあります。

(2)選挙事務所の設置届設ける数は一カ所で、候補者か、推薦届出者以外は、設けることができません。

(3)事務所を異動したときは、異動届を選管に出さねばなりません。選挙当日、投票所より300メートル以内は、事務所を設置できません。

(4)つぎの職業の人は立候補の制限を受けています。

裁判官、警察官、公安委員、選管の委員および職員、自衛隊員、一般職の国家公務員、投開票管理者、選挙長など。（規則がめんどうなのでくわしくは選管へ照会ください）

▽**投票所**は従来どおりです

▽農業委員の**定数**は、まだきまっていませんが、法律改正で人口現在の数より増加することになっています。

▽禁止される運動、されない運動の**細かい点**については、選管へおたずねください。

禁止されている運動

イ戸別訪問
ロ連呼行為
ハ新聞、雑誌を不法利用して当選をはかったり妨害する行為
ニ夜間の街頭演説―午後9時より翌朝6時まで
ホ特定の建物や施設での演説―公共団体の建物やバス、診療所などの療養施設。
ヘ立候補制限の人は運動できぬ

禁止されない運動

1休けい所を設けること
2気勢を張る行為
3自動車の使用
4文書や図画（ポスター）の枚数、規格、色彩は自由
5従ってポスターの検印も不要
6運動員の人員制限はない
7運動用の腕章や標旗、表示板などは不要
8個人演説。―公営の施設を利用する場合は、開催の2日前までに、開催申出書を提出する必要がある。これは一回かぎり無料になる。

不在投票は地方選挙と同じ

本庁と仁保、小鯖支所で、7月29日～8月2日まで、毎日午前8時30分～午後5時まで取扱います。

便利帳

▽**牛尿**一升乳一升という言葉があります。尿一升を牧草の刈取ごとに追肥すれば乳一升を生産する牧草がとれるという意味です。新鮮な尿には有害なものがまだ含まれているので、夏で2～3日、冬は少くとも一週間はおく必要があります。そしてそのままでは濃すぎるので、3倍以上に薄める方が無難です。馬羊などはもっと5倍ぐらいが必要です。薄める前に**過燐酸石灰**を3%くらい加えると、3要素のつりあいもとれてきます。こうすれば、化学肥料以上に、効目があります。牧草に対して10アール（1反）当り、薄めたもので750～1千キログラムが適当です。

▽**めん類**のおいしい季節です。めん類は腹もちが悪いというので、あとで茶漬けを食べたりします。でんぷんのとりすぎです。大皿にいろいろの薬味といっしょに盛って、各人でとって食べると、手間もはぶけ、栄養もかたよりません。**薬味**は、ソーセージ、もやし、玉子、玉ねぎ、きゅうりとう多種多様にした支那式が、どなたにも喜ばれます。

▽最近**殺虫剤**の種類が多く選ぶのに迷うほどです。できれば薬剤だけに頼らず、はえや蚊の発生源をなくした方が賢こいやり方です。とってもとってもあとから出てきますから。ダイアヂノン、マラソン、**DDVP**ディルドリンといった薬がありますが、ききめ**早い**のは**DDVP**、ききめの**残る**点ではダイアジノンが最も長くディルドリンがこれにつぎます。ほかのものはほとんど残りません。

大内町広報

昭和34年8月14日
第50号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

暑中お見舞申しあげます

としよりは60年ぶりの豊作と喜んでいますが、それだけにまた大変な暑さです。この夏をどうぞお元気でおすごしになるようにと、一同心から祈っております。

大内町長他職員一同
大内町議会議員一同

道路を広く

7月10日から8月上旬まで、〃道路をまもる月間〃でした。道路はよく文化のバロメーターだといわれます。私たちの文化を運んでくる道は、邪魔者なくせいいっぱい広く使われているでしょうか。

税金

8月は**町民税**　2期納期は月末です。どうぞお忘れなく、早目に

町政の動き

議会の投票で森組から脱退ときまる

第一回の追加予算は3千400万円

心配した台風6号も運よく針路をかえ、全町の人がほっと胸をなでました。

ほんとに幸運でした。議会は最近、といっても7月の、13 14 17 18の四日間開催され、町が森林組合から脱退したこと、追加予算3千400万円を承認したことなどが、おもなことがらでした。選挙になるかと思われた農業委員の改選は、ちょうど定員で、あっけなく無投票に終りました。

町の内外に、大きな町有林をもっている大内町は、各森林組合の組合員でありました。組合を脱退するかどうかの理由については、前号の広報で申しあげました。つまり、町有林は町独自でやり、森林組合に支払う分収金も、町有林の育成に、積極的に投下してゆこうというのです。森林組合が、町有林を世話した歴史は古く、久しい間のしきたりになっていましたから、脱退については、ずいぶんと突込んだ質問のやりとりがありました。

これからは町独自で

その長短をどういうふうにきめるかが、一番大きな問題でした。町が独自でやっていって、林野行政上にマイナスが生れはしないか、また予期したほどの効果があがるかといった問題もねられました。そしてついに議員の投票で賛否をきめることになり、13対7で原案どおり脱退を決議しました。大内町は、小鯖、大内、仁保の組合と、阿東町、旭村の森林組合から脱退して、組合員としての資格を捨てることになりました。

町長改選後初の**追加予算**は、はじめが骨格予算であっただけに、金額のぐんとふくれたものとなりました。3千400万円の内訳について、このページ左下の横書きの部分に解説いたしました。

その他、おもなことがらといえば、〃大内町の印鑑条例〃が決ったこと、町有林の立木処分を議会が承認したことでした。印鑑条例は、私たちの印鑑証明を発行するのに必要な条例です。（いままでとやり方の違った点は、どうぞ下段のお知らせをご覧ください）

町有林の立木処分は、3地区と阿東町にまたがって、約1千130ヘクタール（反）金額にして、1千685万円の見積りでした。この処分林はこのたびの追加予算の財産売払代1千699万円に見合うもので、すでにきまった予算700万円と合算して、今年度の立木処分予定は、総額で約2千400万円に達したわけです。以上が、最近の町議会でのおもなことがらです。

農委は下旬に発足の予定

議会で決めた農委の定数は16名でした。この16名に、議会が推せんし町長が任命する学識経験者と、農協や共済組合の代表が加わって農業委員会が構成されます。

議会の推せんしたのは、中野正（議員―大内）田中喜熊（議員―仁保）岡本喜作（小鯖）3名の方でした。農協など農業団体の代表が決定しないため初会合は開いていませんが、下旬には発足の予定です。立候補で当選した委員はつぎのとおり。（敬称略）

荒瀬勇、岩本新一、野村竹一、小林俊明、栗林孫弐、乙石隆次、石川政義、小林隆次、西村静、袖岡里見山本繁正、山本敏幸、小林楽伊藤基弐、富永英良、原田元介

追加の内容（万単位）

歳入では▷立木売払代1700　▷統合中学の雨天体操場へ国からの補助 400，町の起債370　▷前年度からの繰越し450
以上が財源のおもなもの

歳出では

▷**土木関係**…… 600
道路の新設と橋のかけかえる325　問田川改修，沖田橋，県道山口―防府線改修の地元負たん180　3輪の更新 45

▷**教育費**……1740
統合中学雨天体操場など1540　小中学校の設備改善と教材 100　成人式や敬老会など各種行事 45

▷**産業経済**…… 328
グループ育成や撒粉機など農業費で135　林道の災害復旧など林業費 100　土地改良事業の補助 60

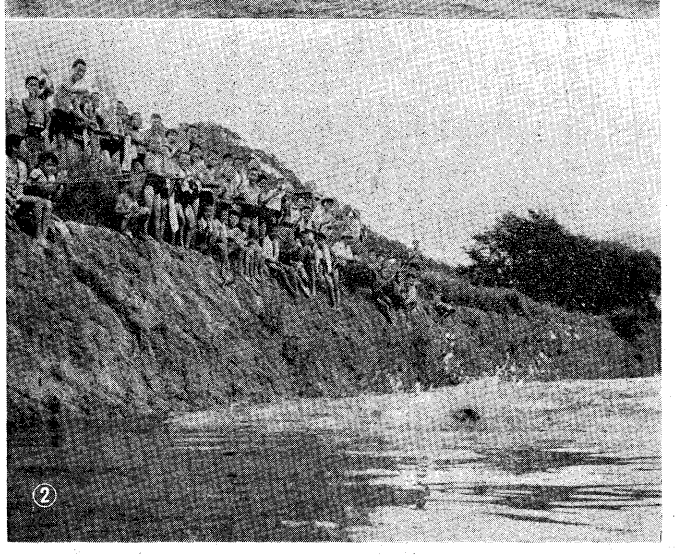
▷**財産管理**…… 557
造林費（部分林造林の補助や人工造林の人夫賃）53　鉄道利用債（山口線ディーゼル車増発のため負担）60　部分林の分収金や保護料など 310　直営林の看守料 50

▷**社会および労仂施設**……53
遺族会，白菊会など各種福祉団体への補助 40

▷**予備費**……34

夏と水と…子ども

夏になって、子どもが一番好むのは水遊びです。水遊びは、暑さを忘れるにはなによりのものですが、しかし親としては心配の種です。町内の三つの小学校では、かなづちの子どもを一人もないようにしようと、7月いっぱい水泳講習をやりました。泳げるようになっておれば、親としても、まあまあ安心できます。下の写真①は、大内小の、水泳後の整備体操。②は小鯖小の、リレー。土手でやんやと応援しています。ともに氷上河原で写しました。



農業をナマの姿でとらえる

いま全国的に台帳を作成

前号の広報紙で、農業委員の仕事をあれこれと申しましたが、農家の実情がよくわかっていないと、効果的な活動もまたできません。そこで、農業のナマの姿を台帳に書きこむ仕事が、いま全国的にくりひろげられています。全国的にまとめれば、日本の農業政策を正しい方向に引きもどす役目をはたしてくれるでしょう。大内町内だけをとりまとめても、私たちの環境の実情にもっとも即した政策を打出す基礎資料になります。

○…この調査は、戸別ごとに行います。だから、私たちの農業経営の、ありのままの姿がつかめます。全国的には2年がかりで、今年まず300万戸を対象にしています。そして、大内町では今年行うことになりました。

○…この台帳は、大きくは国の、小さくは町の農業政策に大きな影響を与えますが、それぼかりではありません。台帳の一枚一枚が、それぞれの家の経営内容を記録していますから、具体的にどうしたら経営がよくなるかということも教えてくれます。つまり、一軒一軒の農家の、現在の欠点、将来にわたって改善の可能な点をも、ちゃんと教えてくれます。だからこそこの台帳は、私たちの経営自身のためにも、うんと役立つ資料だといえましょう。

○…そして、個々の経営の長短をとりまとめると、大内町農業を、どうしたら振興できるかという、具体的な計画も生れてきます。とかく過去の農業政策が、ああでもないこうでもないと、中心のない場当り的な面が多かったのを、少くともこれから、いくぶんか是正してゆけます。

○…さて、調査する項目はというと、つぎのようなことがらです。

1 労働力　兼業の種類
2 土地利用度　立地条件
3 農業用の施設
4 肥料・飼料・農薬
5 作物の種類　生産数量

以上ですが、いままでの調査と違い、土地がその農家を中心にしてどのような分布にあるか、距離農道、土地の条件、かん排水、災害条件はといったことです。

○…調査員は部落内の人を農業委員会がお願いします。調査員が各農家を訪問して、直接おたずねし、調査表に記入します。この台帳は**税金の資料には絶対使われぬ**ことになっています。台帳そのものも利用できないしくみにできています。農業委員会の会長の許可がなければ見ることもできません。どうぞ心配なく。

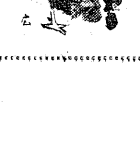
お知らせ

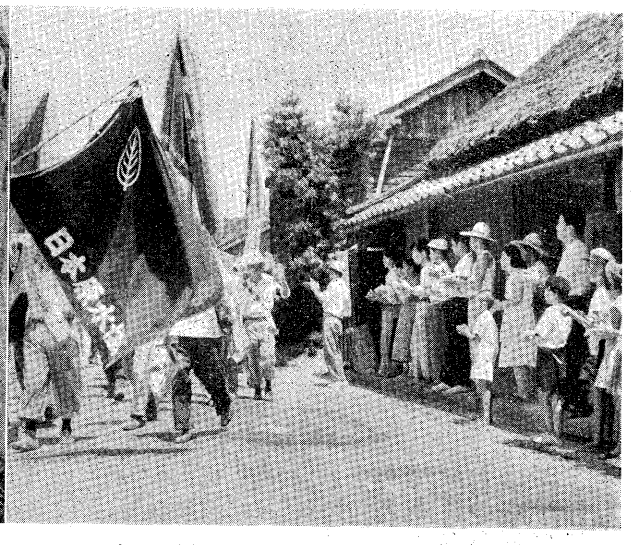
▽**郵便**を配達する人が、一番こまるのは年賀状です。門札は出ていないし、同姓は多いし、迷子がたくさんでてきます。大内局では、届け先を正確にするため、区内の全世帯に調査票を配っています。ぜひご協力をと、大内局では呼かけています。

▽氷上出身の中野喜一さんは、いま中部ブラジルのピウン植民地で成果をあげています。こんど第二農場を建設するので、郷里の**独身青年**を2人呼寄せたいといってきました。将来山口村を建設したい念願だそうです。18～23才までの、多少農業に経験ある次、三男という条件がついています。ご照会は、町産業課へ。

▽**秋そ菜の品評会**を、10月下旬川向いの集荷所で行います。主催は町とそ菜生産組合です。いままでと違った点は、個人の総合得点になったことで、よい品をいく品種も出した方が有利。最高点の人には優勝カップが渡されます。もちろん出品は組合員でなくてもよいのです。

▽**印鑑証明**のやり方が変りました。いままで大内町では、本籍地と住居との2本建を認めていました。だから大内町に本籍があり、よそに出ていた人の印鑑証明も、受付けていたのです。本籍と住所がいっしょの人は問題ありません。このやり方だと本籍地と住民登録地と二カ所で、違った印の印鑑証明を受けようと思えば受けられたわけで、間違いが起る危険性があったのです。今後は、町内に居住していない人の印鑑証明はいたしません。





炎天下を広島へ

原水爆禁止を叫ぶ平和行進が、大内町を通過したのは7月28日でした。遠く鹿児島や沖縄の代表、それに福岡、大分、長崎の代表も加わって、一行は山口から防府市に向いました。須子町長も73才の老齢にめげず、氷上から八反田まで4キロを歩きました。他県から参加した人たちは、「町長が汗をふきふき行進に参加してくれたのは、なによりもうれしかった。」と語っていました。行進が小鯖八反田についたとき、地元の人たちは、盛んな拍手で、この遠来の客をねぎらったのです。

面白い話題などおよせください

水稲二期作の実験

小鯖毛割の伊藤静雄さんは、以前供米一番乗りを続けてきた人です。農業熱心な伊藤さんは、8月8日、台風6号がもたらした雨の中で、½ヘクタールほど田植えをしました。すいかの跡地ですから完全な二期作とはいえませんが、二期作の実験を試みたのです。伊藤さんは、1ヘクタール240キロ以上確実にとってみせると、自信たっぷりです。

夏の夜を楽しく盆踊り

大内地区の青年団と婦人会がいっしょになって7月29日から3日間盆踊りの集いを開きました。会場である公民館そばの広場は、ご覧のとおりかなりな人出で、とくにむし暑かったこの夏の夜を、楽しくすごしました。

最近では盆踊りも、部落によってはやらないところもあります。地区全体の青年層と婦人層が楽しくいっしょに踊って、このふんいきの楽しさは、また格別でした。

小鯖の毛割で、真白い雀を見たと、同部落の木村義海さんからお便りがありました。飛び方もなき方も、雀と同じだそうです。

11月からもらえる福祉年金…対象は町内で600名

大きな会社や役所などに働く人には、老後の生活を保障する〝恩給〟がありますし。しかし国民全体からみれば、恩給をもらう人の数は非常にわずかなものです。だから、私たちのだれもが老後のことを心配しなくてすむようにとはじめられたのがこの制度です。**全国民の恩給**―だともいえます。

老後の生活ばかりでなく、大きなけがをして、働けなくなった場合もこまります。夫が死亡して、幼い子をかかえたおかあさんたちも生活が苦しい場合が多いのです。そこで…：この年金制度は、老令と障害と母子の3種類にわかれています。

掛金をかけるのとかけないのと

すべての国民が金をだしあい、国からも掛金の半額をだして、その金をもとに運営するのがこの年金制度です。しかしこの制度がはじまって年金がもらえるのはだいぶん将来のことになるので、掛金をかけずにもらえる年金制度も一方に作っておかぬと、現在苦しんでいる人たちの役に立ちません。老令、母子、障害の3種類で、掛金のとかけないのとがあるわけです。

必要な条件は

そして11月からもらえるのは、掛金をかけない年金(無拠出制)です。

老令　(1)今年の11月1日以前に夫と死別した20才以上のおかあさんで新制中学終了前（15才以下）の子どもを養っている人。

(2)労働基準法などにより遺族補償をもらっているときや、25才以上の子と生計を同じにしているとき、所得13万以上のときはもらえません。

もらえる金額は、老令と母子が毎月千円あて、障害が1千500円です。母子で子どもが二人以上あるときは、一人につき月200円が加算されます。

三つの年金にがい当する方には明年の3月に、11～2月までの4月分が郵便局でもらえます。

母子　(1)今年の11月1日以前に夫と死別した20才以上のおかあさんで新制中学終了前（15才以下）の子どもを養っている人。

(2)労働基準法などにより障害補償をもらっているとき、障害程度がよくなったときはもらえません。

手続き書類の受付は9月から

この年金をもらうためには、戸籍や住民登録の〝とう本〟なども必要になります。役場の民生課では受付日を決めて支所に出向きます。受付けは9月1日からはじめますので〝がい当するかどうか疑問の方〟は、民生課へ至急お問合せください。

この掛金をかけないでもらう年金制度にあてはまる方は、大体600名ぐらいと民生課ではふんでいます。

障害は条件がきびしいのでがい当が少なく、母子も40名程度の予想です。したがって、ほとんどが老令年金になります。せっかくの制度を知らずにもれるとたいへんですから、どうぞ隣近所知らせあってくださるようお願いします。掛金をかけない年金（無拠出制）は受ける人の資格が変らないかぎりいつまでも続いてゆきます。**掛金をかける**年金制度は、昭和36年4月から発足します。

税貯蓄 納 組合へすでに42%が加入

▷…昨年度に補助した金は50万円…◁

わずかな金額でも、少しあつめると、ほんとにバカになりません。町から納税貯蓄組合にだしている補助金も、ちょうどいい例です。組合を作り、完納した場合には徴収金額の100分の3と、納税者1人当り20円の合計額が補助金としてでます。

これが積り積って、大きい組合には3万円、小人数の組合でも5千円にはなりますから、まったくもってバカにはなりません。それぞれの部落で、ちょっと胸算用されたら、あらましの金額がでてくるでしょう。この補助金を、視察旅行や部落の花見などに使っているところもあります。

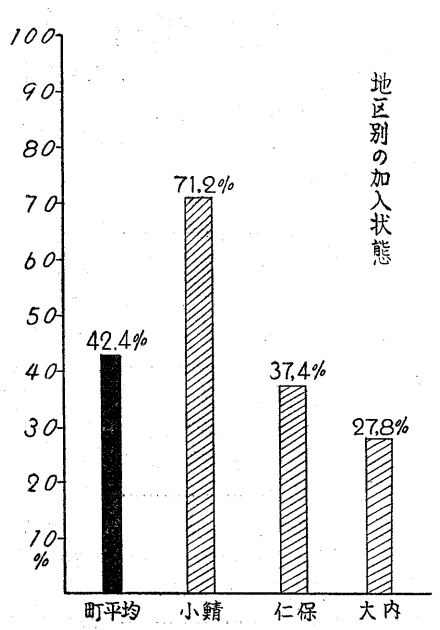
小鯖が一番好成績

下のグラフを見ればすぐわかりますが、小鯖は現在71%で、一番高い加入率です。最近になって普及しはじめた仁保と大内は、それぞれ37.28%と低い率になっています。しかしまだ日が浅いのですから、これからぐんぐんふえることでしょう。

地区別の納税者と、組合加入者との比較を、数字でだすと、

	納税者	組合加入数
小鯖	851	581
仁保	1116	418
大内	1234	344

▷特別徴集　807



やってみると案外に楽

納税貯蓄組合の評判はなかなかいいようです。私たちのすうたばこも、一年合計すると相当な金額になるように、少しあて計画貯蓄すれば、日常の経費も計画的に使えて便利だという声もききました。過年度の滞納も納税計画の中に織込み消化してゆけるしくみになっています。

現在できている組合を地区別にならべると、

大内＝小野、問田、上矢田、矢田市、宮の馬場、上殿河内、下殿河内、御堀西の谷、菅内大道、高芝、大内商工会

仁保＝北河内、仁保商工会、原河内、高松、東園、井開田東井開田西、揚山、土井、大畠一の瀬、金坪、大向、和田殿河内、丸山、井久保

小鯖＝1～17区まで全部落、小鯖農協

※小鯖が全部落加入して、上のグラフの71%は変なようですが、未加入な方がまだ各部落にあるわけです。

組合を作る**機運**がありましたら、税務課へご連絡ください。いろいろご相談に応じるため、係りをいつでも派遣します。

※特別徴集というのは、俸給生活者で、俸給から直接税金をさしひかれる人たち。この人たちは**法律で**納税組合員になれません。

便利帳

▽ **水泳事故**は大内町ではまだでていません。県下では7月末までに30人が死んでいます。このうち15才以下の子どもが28人もいます。危険な場所で泳ぐと、なぜ危いかを、子どもたちに教えておくのも、必要でしょう。万一おぼれかかったとき、子どもたちだけで救助するのも、事故を重ねることになりがちです。

▽ **造林用の苗木**が、この炎天で弱っています。このままでゆくとかんばつの害が予想されます。突然苗木に水を与えると、細胞膜がはれつして、かえって害を起します。陽が沈んでから日の出前に灌水することです。歩道に水をたたえる側方灌水も安全です。床面には浸水しないようにした方が効果的です。灌水を一度はじめたら、雨が降るまで続けてやらぬと、かえって害がでます。

▽ 夏の**食生活**では、脂肪や多くのビタミンが不足しがちです。ビタミンcもとくに必要です。冷たくした新鮮なサラダ、冷やっこなど思わずはしを取りたくなります。食品は大き目に切り少しから い方がいいようです。カラシ、ワサビなどの香辛料を上手に使ったり、とりあわせにトマト、パセリ、チソなどを使って美しく盛り合せることも効果があります。

▽ **しろうとのど自慢**で、自分の声をためしてみたい方は、いい機会があります。9月17日、農試の展示会場でNHKの演芸会公開録音があるのです。はがきに住所、氏名、職業、曲目を書き、農試展示会演芸係へお申込みください。

大内町広報

昭和34年9月15日
第51号

山口県吉敷郡大内町
発行者 鹿辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

県産品の愛用運動

終戦後の県内工業の発達はめざましいものでした。しかし中小企業は貧弱で、家具58%、酒類35%、小農具で60%も県外から移入しています。安くてよい品なら、県産品を愛用しようという運動がおこっております。

災害のときの税金

災害減免法が、納税者に少し有利になりました。風水害や火災などで、住宅や家財の二分の一以上の損害があれば、年所得50万以下の人は金額負除になります。すでに納めた金ももどします。その他比較的軽い損害でも、雑損こう除があります。税務署へ相談するのがめんどうなら、町の税務課へでも。

町政の動き

事務の一本化をはかり機構を改革

9月7日8日と14日に開かれた町議会で、中心的な議題は役場内の事務機構の改革でした。……「**役場はなんとなく不親切だ**」「**内部が複雑で、ぽつといつたらいやにむつかしいところだつた**」……という声も従来かなりありました。だから、私たちが普通の用事で役場にいったとき、一番便利な機構にと、各課にまたがった事務を一本化し、能率を工夫したのです。

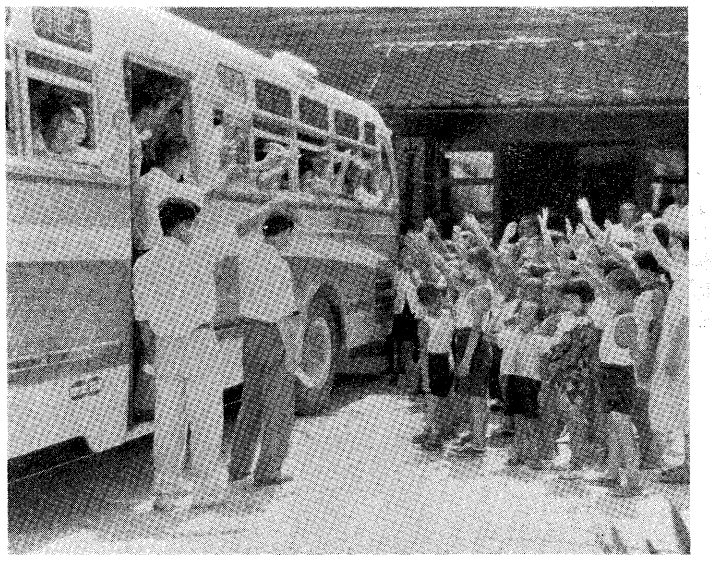
なにしろ面積が大きい

面積の小さい自治体だったら、交通通信網の発達した今日ですから、かんたんです。140平方キロの面積をかかえ、支所をもふくめて事務の一本化をはかるとなると、問題は複雑になります。理想的には現在の事務を再編成し、浮いた人員を町政の重点的な施策に編入することも考えられます。こうした点から、支所の再編成には、意見の一致がなかなかとむつかしかったのです。

能率化とサービスと

もっと私たち町民の親しめる、サービスのゆきとどいた役場でありたいという点と、事務を一本化し能率化してゆく点とは、支所の場合矛盾してきます。人員をふやしていけば問題ありませんが、そうでなければ、どうしても支所の縮少によって人員を浮かさなければ、一本化ができません。支所はこの二つの相反するねらいの中間に立ったわけです。

しかし合併町として実績をあげてゆくためには、いまより少ない人数で能率化した事務をやるか、いまの人員でいままでより効果的な町の発展策を実行してゆくかのどちらかを選ぶ必要があります。



町民課10月から発足

理想的なあり方からするとこのたびの機構改革は、じゅうぶんなものではありませんでした。しかし、役場本庁の事務を能率化することと、本来支所が背負っている矛盾との妥協点を求めた結果、ともかく第一次の改革はできました。従来各課にまたがり、私たち住民の利用度がもっとも多い事務をまとめて、新らしく町民課は10月1日から発足します。町民課には、町民、福祉、保険衛生、の三つの係をおきます。事務の内容を分類しますと、

町民係＝戸籍、印鑑証明、住民登録、埋火葬許可、配給国保資格異動、葬祭助産費支給、建築申請、外人登録

福祉係＝遺家族、公営住宅、

↑民生委や社福協理事が7月末岩国の若竹寮（児童収容施設）を視察。

民生委など養老院慰問

9月10日民生委員や社会福祉協議会の理事が、15日は3地区の婦人会員が、秋穂町の郡立養老院を慰問しました。

8月末には大内と仁保の女子学園生徒が、吉敷の愛児園を慰問するなど、このところ温い行事が続いています。9月12日小鯖と大内、13日仁保で敬老の行事がありました。

予算の追加更正623万

議会の承認した追加予算は623万円でした。おもなものは災害土木の復旧費411万、中学校費134万（大内小と小鯖小古校舎の一部を大内中仁中に移築―教室不足のため）統合中学建設費400万減（雨天体操場の鉄筋が鉄骨に変ったため）事務改善費97万（事務用備品を購入）雑支出47万（八反田と仁保駅の自転車置場、仁保有線放送の2期工事補助）以上の差引合計623万円でした。

保険衛生係＝伝染病予防、狂犬病、国保、環境衛生、住民の保健

このほか、産業課が経済課にかわり、農政と振興の2係になりました。議会事務局も従来職員の兼務であったものが、このたび独立しました。

予算の追加更正623万

議会の承認した追加予算は623万円でした。おもなものは災害土木の復旧費411万、中学校費134万（大内小と小鯖小古校舎の一部を大内中仁中に移築―教室不足のため）統合中学建設費400万減（雨天体操場の鉄筋が鉄骨に変ったため）事務改善費97万（事務用備品を購入）雑支出47万（八反田と仁保駅の自転車置場、仁保有線放送の2期工事補助）以上の差引合計623万円でした。

民生委など養老院慰問

9月10日民生委員や社会福祉協議会の理事が、15日は3地区の婦人会員が、秋穂町の郡立養老院を慰問しました。

8月末には大内と仁保の女子学園生徒が、吉敷の愛児園を慰問するなど、このところ温い行事が続いています。9月12日小鯖と大内、13日仁保で敬老の行事がありました。

↑「納税組合をつくる場合はじめの事務的なことは全部役場でやる」と税務課長がいったら「かゆいところへ手がとどくもんだのう。」長野部落で――

世話人のいないのが原因

納税組合たしかに有利だが

大内町の納税貯蓄組合は、少しあてのびています。小鯖が一番成績がよく70%であるが、町全体の平均はまだ40%であることを、この前の広報でおしらせしました。

いったいどんなところに、納税貯蓄組合が、普及しない原因があるかを、しらべてみました。

組合を結成すると、わずかな金でもきちんきちん積みたてるから比較的納めやすい点、3%の報償金があるから組合員の納税額を合計したらばかにならぬ点など、長所といえましょう。事実、「納税組合ねえ……いいことはいいけれど……」という声は町内あちこちできいています。

しかし一番のあい路は、世話する人がいないことです。去る9月4日大内長野部落では、34世帯の組合員で、組合が結成されました。この方たちの年間納税額は51万円。報償金などを計算すると、1万6千円ほどが払いもどしになります。

駐在員が一役買う

好都合なことに、長野部落では、駐在員の栗林さんが、よしやってやろうと一役買って出たのです。それでなくてもいそがしい駐在員が、納税組合の世話をすることは、珍らしいことかもしれません。しかし、月にして半日ぐらい、それも雨の日でことたりるのですから、みなで話しあって解決はつかないでしょうか。

全町を結成したら78万円

大内町の町民税のうち、53%は源泉徴収で直接はいります。残り47%は金額にして約500万円、それに固定資産2千100万円と合計して全町を結成したら、78万円の報償金になります。秋芳町岩永（4面で紹介）のように、部落全体の組織の一つとしていけば、世話する人を選ぶのに、それほど困難でないかもしれません。やってみるとなかなかよい制度なので、上矢田の納税組合では、もっと組合加入数をふやそうと、組合長さんがたいへん乗気だそうです。

町の農業基本政策

＊――――＊

8月28日に開かれた町の農業委員会では、大内町農業の基本的なあり方と政策を話しあいました。こんな大きな問題ですから、そう簡単に結論はでません。自民党社会党がいま検討を重ねている長期農業政策の内容を調査して、大内町的なあり方を究めてゆくという考え方にたっています。28日には自社両党の長期農業政策の本質的な差異を検討するところからはじめられました。

私たちも農業委員といっしょに考える意味で、カンタンに紹介しましょう。自民党は、今日までの米作重点主義から有畜農業への転換をとなえ、社会党も有畜化と国民食生活の改善を主張しています。生産構造についての両党の見解は、本質的に違っていません。経営については、両党はかなり違っています。自民党は〝標準的規模農家〟を保護育成することを主張しています。社会党は経営規模を拡大する方法として、生産共同化の線を、強く押しだしています。現在大規模の専業農家は、生活も安定していますが、戦後急激にふえた零細規模農家は、農業だけでは生活が苦しく、発展の見込みもなく弱っています。つまり適正規模になろうとしてなり得ない条件にしばられているのが現状です。自民党案は、開拓や干拓、あるいは他産業に人口を移動させつつ経営規模を大きくしてゆくという、国内移民政策的なものを考えているようです。これがどの程度可能かどうか問題がのこります。戦後機械化の発展はめざましく小経営では〝機械貧乏〟という言葉すら生れています。これを生産共同化にきりかえて、経営に対する過剰投資をおさえるのが社会党の案です。両党の長短を、私たち農民の実生活のなかから具体的に検討しようと、町の農業委員会は努力しています。

▽ **自衛官**の第3次募集をやっています。受付期間は10月10日まで、試験は10月18日～11月8日の間に行われます。志願票は役場総務課庶務係にあります。

▽ **ないしょの銃や刀**は残っていませんか。猟銃や空気銃でも公安委員会の許可がいります。刀剣類や火縄銃は、文化財保護委に登録しなければなりません。これらのものは、暴力行為などに使用されますので、許可や登録で悪用を防ぐわけです。9月末日が届出の期限となっています。

▽ 最近の**交通事故**には、老人の被害者が目立ってふえました。年とともに注意力がにぶり、運動神経が衰えるからでしょうか。老人の左側通行も、事故の原因になっています。やはり昔からの習慣でしょう。

▽ **狩猟免許**は、講習会を受けてからでないと、もらえません。狩猟講習は9月10日～10月10日までの間に県が行います。猟友会の支部長へおたずねください。

▽ **県の道路の修理**が、このごろ意外にはかどっています。これは宝くじのおかげです。西日本宝くじと全国自治宝くじの、県下売上予定は今年8千500万円、このうち3千万円あまりを道路修理にあてる計画です。

▽ **水稲早期栽培**は、今年県下で4千300ヘクタール（町）にのびました。大内町でも、もう250ヘクタールにひろがりました。来年度は7千37年度には1万ヘクタールと、県では計画をたてています。今年の早期の収穫は、立派な成績でした。

春からの選挙をふりかえる

まだ暑さのきびしい8月の20日、中央公民館で、公明選挙推進の懇談会を開きました。今年は県議、町議、町長、参院選と四年ぶりにやってきた選挙の当り年でした。春からの選挙をふりかえって、これから公明選挙運動を押し進めてゆくうえの意見統一をはかろうというわけです。8月7日、公明選挙運動をもりあげたということも大きな理由の一つになって、町選管は**自治庁から全国表彰を受け**ました。同志の人たちは「いや、まだほんの序の口で……」とはにかみながら、これからの対策を夕暮れまで検討し、横のつながりをうんと強化しようと誓いあったのです。

▷…懇談会…◁

この春、選挙が始まる前のことでした。公明選挙を推進する同志が、やはり懇談会を開いて、五つの呼びかけを申し合せました。つぎのとおりです。

1、金のかからぬ選挙にしよう
2、候補の意見をよく聞き、こちらの意見も伝えよう
3、堅実な私生活をいとなむ人を選ぼう
4、公約をたしかめよう
5、しこりを残さぬ選挙にしよう

少しでも選挙が公明になることを願っての呼びかけでしたが実際に選挙を体験してみると、いろいろな矛盾や不備がありました。出席者が机の配置に従って6×6式討議（6人あて1チームになって討議します。昨年春広報で紹介しました）を行い結論を出してみました。大きくわけて、二つに区別できます。

▽選ぶ人の自覚が足らぬから、もっとふだんからPRをやり、選挙のたいせつな意義を認識してもらおう。

▽違反者を厳罰にするとか、運動員を制限するとか、公職選挙法そのものを、合理的に改正する運動をおこそう。

公明選挙を考える場合、立候補者を中心に考えるか、選ぶ側の認識の高まりを中心に考えるかの違いがここに出ています。（選挙法の改正は、現行の内容と比較する必要上、このページの左肩にまとめました。）

どちらもむつかしい

選挙法の改正は、私たちが直接手を下すのではないので、どうしても抜け道の多いものになります。選挙民の自覚が、国民的な世論にまで高まって、選挙を公明にすることも、なかなかけわしい道です。推進委員の人たちが、深いため息をついたのも無理ありません。

〝部落推薦〟はどうもおかしい

一番話題になったのは、〝部落推薦〟でした。町議選挙の場合です。法律改正や国民全体の認識の問題と違って、身近かな問題なら、私たちの努力で改善してゆきやすいからでしょう。

部落推薦にもいろいろの解釈がありました。

▽戦時中のよくさん議員とまったく同じだ。全員の信任投票もせずに、数名の重だった人たちが相談して、勝手にきめてしまう。多数集った席で部落推薦したいがどうかと相談はするが、だれも表面だって反対はしない。異議なければとカンタンに決める。他の人が立候補すれば、部落の平和をみだすと猛烈に反対する。

推薦の礼賛論も

部落推薦も方法によれば悪くないという肯定論も、もちろんありました。

▽推薦の方法が民主的であればそうむきになる必要もないのではないか。部落の全有権者に無記名投票をしてもらって、最高位の信任を得た人に出てもらったら、それでいいはずだ。推薦の形をとらぬと、立候補する人も気抜けがするし、だれか出るだろうと無関心でいれば、いろんな候補が金で食い荒して、かえって選挙を不明朗にする。これも一理あります。しかし皆でよく話しあった結果、つぎのようにまとまりました。

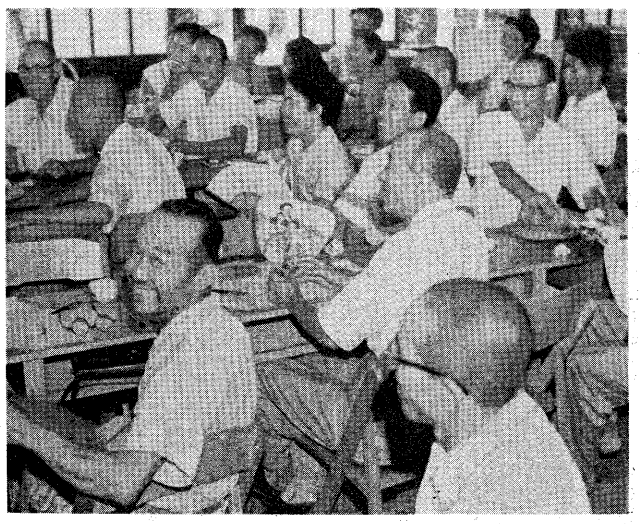
×

地区的、部落的な考えがくずれつつあると、カンタンに結論は下せませんが、吾々の町議選の結果は興味ある数字を示しました。

大選挙区からみた
地区別議員の得票数

	立候補	得票数	議席	当日有権者
仁	9	2,616	6	2,972
大	11	3,006	9	3,285
小	9	2,367	7	2,009

建制と結びつけて考えられる具体例があるかもしれない。部落推薦と呼ぶものの中にも、それぞれ違った内容がある。部落の推薦といって利益代表ではないのだから、この言葉をやめ、有志推薦としたらどうだろう。



大笑い　「いっそ金をくう選挙にしたら，ばからしくてでんじゃろう」「ばかをいえ。改選前に金をとろうと，政治はもっと悪くなる。」

〝私ならこう改正する〟選挙法をめぐる質疑

懇談会ででた意見のうち、公職選挙法に関係あるものを、まとめました。いくらいい意見でも、現行の法律の規定をはずれては、実行できないからです。選挙法に関連する部分の回答は、当日助言者として出席した、県選管の中山修氏にお願いしました。

▽町長と町議の投票日がだぶらぬようにしたい。運動員がいりまじっていろいろおもしろくないしこりを残している。

答　ごもっとも。このたびは特例で全国いっせいにやったが、別々にやろうと思えばできる。町長が病死したとかリコールとかで、全国的にはだんだんだぶりはなくなってきている。別々にやる場合、費用は倍必要になる。（大内町では20万円の倍40万円。）

▽運動員は1候補15人と制限してあるが、実際は守られていない。また制限いっぱいの人数を毎日動かしたら、とても法定選挙費用でたらぬはずだ。いっそ制限なしにしたら。

答＝たれがだれを応援してもいいはずで、制限する方が悪いという考えもある。無制限にするのは、二つの面で困難がある。金との関連で、金権候補がでる危険と、司法関係で取締りができない点である。検察庁の方では、運動員の制限をもっと強化してほしいという希望もでている。ただ法律上いっている運動員と、自発的に無報しゅうで応援している運動員の区別が、外部からはしにくい。選管が渡す腕章はかっちり15枚であるけれども。

▽違犯者を厳罰にしてほしい。罰則をきびしくすればだんだん選挙も公明になると思う。

答＝A候補の味方がB候補にゆきBの違反をやっても、これはおとり罪だからBは助かる。罰則をきめても裏々といくから、現在ではどうにもならぬ。裁判の方でも、選挙に関するものは100日以内にやると決めてあるが、実際には2年3年とかかる。途中で恩しゃになれば罪にならぬ。徳地町の町議で前回違反したものが、恩しゃで出てきてまた町議に当選。その選挙がまた違反にとわれた。やはり、立候補者の自覚にまたなければならない。それと、国民世論としてころまで、はげしい抗議を出してみたい。法律的には、うまくぬけられるようできている。選挙違反は、泥棒やすりなどと違ってはれんちな罪でないというおたがいの気持が、そうとう違反者を甘やかしている。

おたがいの政治をけがした道徳的責任を、もっと私たちが追求するようにするのが一番の近道ではないだろうか、一朝一夕にできないことである。

話しあいのひろがりに期待

私たちの台所と結んで、政治をひごろから話しあわねばだめだ、というのがこの日の結論でした。すぐ眼に見える効果はなくとも、この方向が一番確実な方向だと話しあいました。私たち選挙民の眼がこえてくれば選挙ももう少し変った姿になるだろうという期待です。

なにも選挙と結んで固苦しい話しあいの場でなく、どんな話題も真剣につきつめれば〝政治と国民生活〟につながるから、自由に楽しく〝話しあいの場〟をもとうと申しあわせました。この場合に一番困るのは、集会に出席しない人たちがあることです。おもしろくないからかもしれません。議事の進め方のふんいきを楽しく保つ工夫だのまだ欠点が多いと指摘した人もあります。

推進組織を拡げよう

一番強く叫ばれたのは、推進組織をうんと強化しようということでした。部落ごとに推進組織を作ろうと出席者全員の意見が一致しました。

高い投票率が質的にもいいとはいえないけれど…

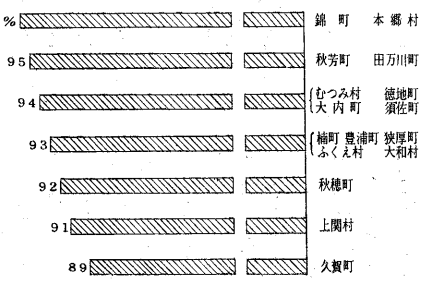
病人まで無理につれだして、投票率の%をあげるようなことは、最近はほとんどなくなりました。小学生が、テストで95点をとったといって喜ぶ同じように、選挙の投票率で誇らしげに鼻をうごめかしたことも7,8年前はあったようです。無理につくられた投票率の高さは無意味ですけれども、自然な高さには、選挙の自覚がそれだけ高く、従って質的にも高いと一応見ることができましょう。

そこでこの春行われた県議選の全国的な結果を調べてみました。山口県は全国で27番目で、びりから数えて18番目でした。

全国平均 79.48
山口県 82.14
大内町 86.59

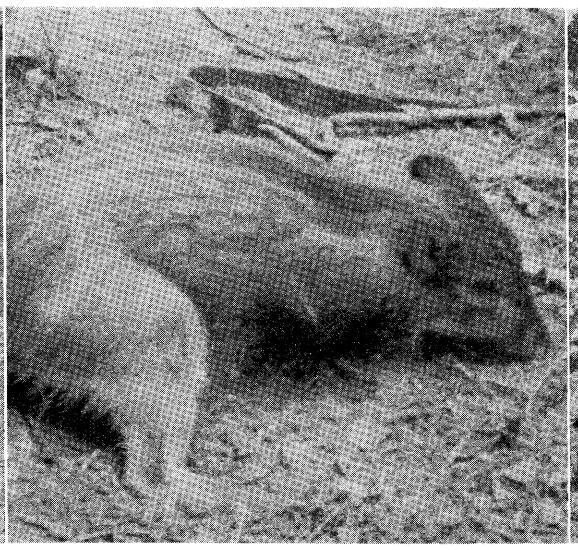
中国5県の間では、島根県が一番高く、ほとんど90%でした。中国5県は全部80%以上で、比較的好成績でした。しかし80%を割ったのは、全国で10県しかありませんでしたから、総体的によい投票率であったといえましょう。やはり身近かな選挙ほど投票率はいいのですからはっきりいえません。参院地方区の県内投票率は、大内町64%、町村平均の70%、県全体の平均65%より低い率でした。これではいい投票率とはいえません。

つぎのグラフで



左のグラフは、この春県下で行われた**町村議員選挙**の投票率です。大内町は94%とかなり高い率ですが、それでも県下で7番目です。94%のところが大内、徳地、むつみ、須佐と4町村ありますが、大内町はその中で3番目です。町村議員選挙の投票率を全国的にみますと中国5県は島根が95%、他は全部94%です。つまり大内町は県平均の%と同じであり、中国地方平均とも合っております。95%に達した県は熊本、佐賀、鳥取、福島、山梨、兵庫の6県です。

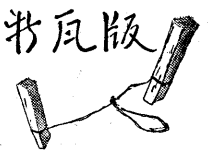
参考までに春からの選挙で違反検挙された**県下の状況**をのべますと買収が284妨害6さぎ投票8事前運動120戸別訪問40ポスタなどの違反11その他10件というありさまです。



2年半でこんなに

仁保上郷高畠の須藤治助さんは、2年半ほど前に台湾桐の苗を植えつけました。ぐんぐん太って、現在では根元の直径が20センチもあります。水はけのよい風当りの弱い土地に植えると効果的です。植穴を大きく最初に肥料をたっぷりやることが必要で、須藤さんは10～12本当り石灰窒素を1袋も使ったそうです。このぶんなら、5年で立派な桐材になります。須藤さんはこの桐苗を、山口市宮野の県林業試験場でわけてもらったのです。

面白い話題などおよせください



いのししとわな

あちこちでいのししの被害が大きいようです。成績のよいのししのわなが、なかなかありませんが、上の写真に出ている村上式は効果があると、役場の林務課で保証しています。

わなは地中にかくれていて、板をふむと、板の廻りのワイヤーがバネの力でしまります。それで、いのししの脚をぐいとしめつけるわけです。値段は送料ともで1千500円です。

牧草で飼える豚

体の色が赤みがかった褐色なので、赤豚と呼んでいます。正式にはジュロックジャージーという名前です。仁保上郷北河内の兼村晴定さんたち25軒が飼っています。仁保地区で子豚もふくめて、ざっと70頭はいるでしょう。従来の豚と違って、牧草やくず葉で飼えるのが特色です。草で飼うと太らないように思えますが、一年で70～100キロになるそうです。上の写真の子豚は、生後20日たったものです。

全町で1万2千羽

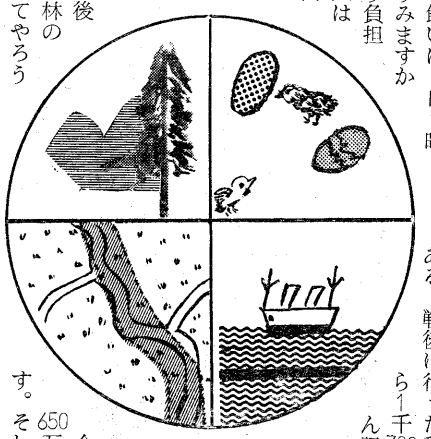
養鶏組合

卵の出荷は発足時の10倍

しかし昨年と比較して、鶏の飼育数は8割ぐらい増加していますから、技術向上を心がければ、平均飼育数、従って総羽数もまだまだふえる見込みです。組合が日を決めて集卵し、共同購入の飼料も届けるので、組合員はたいへん手間がはぶけます。

最近ふえた鋼鉄製の鶏かご

100羽飼うとして面積を出しますと、バタリ式なら4坪、平面で飼う場合は10坪、鋼鉄製の鶏かごなら6坪ですみます。この鋼鉄製かごは、非常に衛生的であることと、いたちなど盗難のおそれがない点で、重宝がられています。組合にはいま2千ケースつまり2千羽分ほど入荷しています。1ケースが135円です。100羽飼いは1日1時間半ぐらいの労力ですみますから、副業としてもそう負担にはなりません。収入は月5千円、年に6万円といったところです。



30年間借れる造林融資

やぶ退治にもってこいの長期融資があります。木材の需要が年々増加し、たくさん増産しないと間にあわぬことから、政策的にとられた方法です。期間が長く、自家労力や資材を除いた現金出費の80％以内で貸してくれます。人工植林でも補植でも、天然下種補整や下刈でもかまいません。利息と期限はつぎのとおりです。

	利子(年)	据置期間	償還期限
造林補助をうけない場合	4.5分	20年	10年
〃うけた場合	6.5分	15年	15年

※取扱いは森林組合が希望者をまとめて10万円以上になれば借れます。くわしくは町の林務課か森組へ。

≡やぶ退治はまだまだ≡

山林面積の5%，500ヘクタールも

夏山手入れは、町内各地とも盛んでした。しかし、なにしろ広い山林なので、やぶはまだ方々に残っています。民有6千、町有4千ヘクタールのうち、5％に当る500ヘクタールが、やぶのままに放置されております。やぶといっても竹やぶばかりでなく、雑木、こう竹、かずら、しださなどのやぶもあわせて呼んでいます。何年おいてもちっとも金にならぬ無価値林をこう呼んでいますが、これが500ヘクタール（町）もあるのです。

前大内森林組合長であった江藤常一翁は、このやぶ退治にいどんだ先覚者でした。岩だらけの山のしだやぶと戦って、赤松一年生植林に成功したのも江藤翁でした。江藤翁は、おしくもこの春なくなりました。

遺骨は山に分散してとめよ

江藤翁は、つぎのような遺言を残したのです。

「苦労してやぶ退治した山々に、わしの骨を分散してとめてくれ。」一生をかけて山林をいつくしんだ江藤翁にとって、山と別れることは、なによりつらかったのでしょう。

そして死んだ後までも、赤松林の成長を見守ってやろうという気持にも受けとれます。

土地改良事業昨年より300万増

3地区の土地改良壱業の投資額は、昨年度360万円でした今年は金額がふえて、650万円にのぼっています。そして来年度の計画は、ただいま土地改良壱務所で受付けています。

×

昨年度360万円の壱業費を、地区別に出すと、大内180万、小鯖98万、仁保82万円になります。こうした投資の結果、全町で農道が2千600メートル、水路が2千メートルほど改修されました。

小鯖は農道に重点があり、仁保は水路にほとんど投資しています。地区の地形的な特性がこんなところにも現れています。大内地区は、農道と水路がちょうど半々です。しかし今年度の計画は、3地区とも農道、水路、ため池、客土と、内容に富んでいます。

国県が32万、町が55万円補助

では昨年度360万円の工壱費をどんなふうに調達していったか調べてみましょう。町の補助55万円は、国県からの補助がないのにだけついています。大内地区の揚水や頭首工や水路に、約32万円の国県補助がついていますが、これには町補助はありません。工壱の規模が、国県補助の基準にあったからで、みんな20万円以上の工壱です。

×

さて、今年度の計画の内容を、もう少し具体的にふみ込んでみましょう。

農道〔小鯖〕―柊（16万）樋ノ口（12）椿（5）
〔小鯖〕―鯖山下（23）毛割（10）向山（5）
〔大内〕―御堀（55）中矢田（44）殿河内（60）長野（30）矢田（35）小野（20
〔仁保〕―殿河内（5）金坪（6）松柄（25）深野（13）丸山（18）

水路〔小鯖〕―鯖地（12）鯖山（6）
〔大内〕―菅内（92）神田（12）
〔仁保〕―下井手（30）

ため池〔小鯖〕―千坊（34）松尾（7）
〔大内〕―氷上（10）奥小野（10）
〔仁保〕―殿河内（9）日のいで（9）

土客　仁保―野上（20）妙見（10）

頭首工　仁保―上郷（15）

橋　仁保―坂本（25）

※（　）内は予定壱業費　万単位

南米の移民壱情を視察した県の佐竹農林部長と久幸農政課長が、8月27日大内小学講堂であちらの話をいたしました。中学生や女子学園生徒、婦人会員などを前に、珍らしいお話でしたが、移民と直接結びつけずに、見聞を広める意味で気軽に読んでいただけたらと思ってまとめました。ちょうどいただいていた光永信熊（下千坊）さんの〃あまみ大島〃便りもあわせました。

×

アマゾン河はばかでっかい。日本の南北より長く、河幅は岩国から名古屋までであるという。中にある三角州が九州ぐらいもあると。人口は6千500万だが、面積は日本の23倍。そして約40％があきめくらである。農業規模は大きく、それぞれ専業にわかれ、たとえばトマト3万本といった具合である。日本人は約50万、10％5万が山口県人である。戦後に行った移民は、山口県から1千700世帯。土地はたいへん肥えていて、米など10ヘクタールから50俵とれる。陸稲だし、値段も日本ほどしないが、無肥料でこれだけとれる。果物もほとんどできるが梅だけはできない。バナナもたくさんある。てんぷらにするのまである。ミカンは2年目から花が咲く。早くならすと木がだめになるから、花をとるのに苦労している。そして1本の木に三通りの実がなる。青いのと、よくうれたのと、その中間とである。アマゾン流域というと猛獣毒蛇がいると予想するが、そんなものはいない。密林というもんではなく、日本人の開拓もぐんぐんはかどっている。

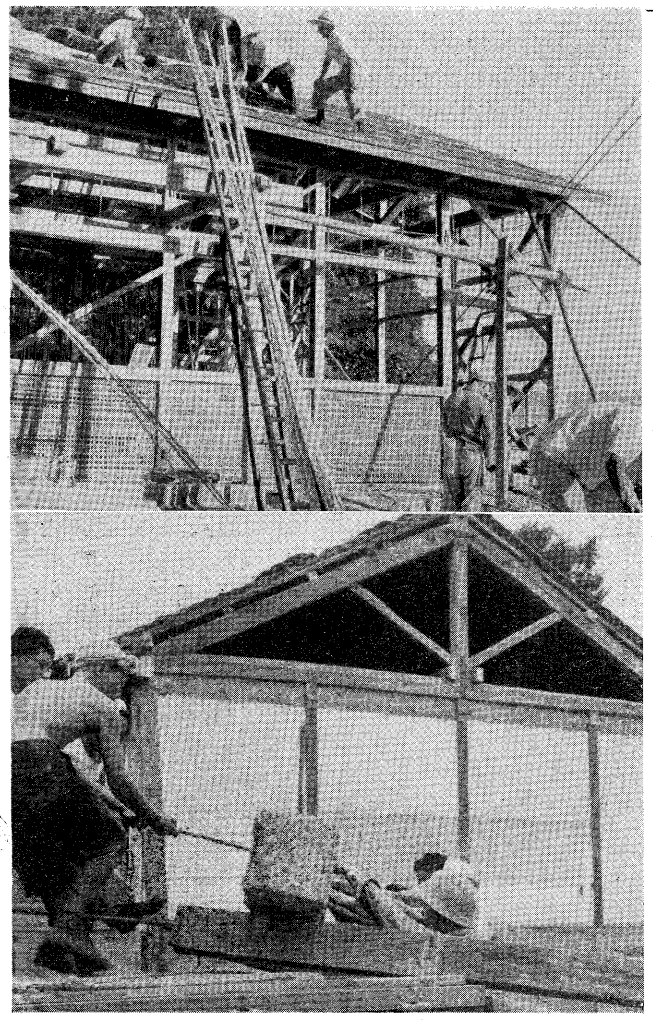
▷ブラジルとあまみ大島◁

衣類は冬物が不要（あまみ大島）

亜熱帯だから、当然稲は2期作ができる。平均10俵以上取っているが、それでも標準施肥量の¼入れない。草はえるにまかせて、いたってカンタンな栽培らしい。果物もたくさんとれるし、衣食住が気候の関係で楽だから、工夫や努力が足りない。内地の人が見たら、はがゆいほどのんびりしている。農民は砂糖きびの栽培に重点を置いているが、平年作で1ヘクタール3万円、3年植えかえなしです。あまみ大島での〃5反百姓〃は内地の2町に匹敵するという。ゆるい傾斜地を開拓すれば、現在の5倍以上の土地が利用できると。

古い校舎が部落公民館に

大内小の古校舎を利用して、町内に四つの部落公民館が誕生します。四つは大内の川向いと茅野神田、仁保の松柄小鯖の4区（平佐、千切）です。このうち4区と川向いは部落の一致協力した奉仕作業で、今月末には完成します。部落作りで県下に有名な秋芳町岩永の紹介と、二部落の建設の歩みとで記事をまとめました。



上は川向いの部落公民館　下は校舎の土台石をトラックにつむ4区の人たち

ご紹介するのは、**秋芳町岩永**（前の岩永村）の本郷部落です。この部落長（岩永ではこう呼んでいます）である後藤信行さんが、以前大内町にやってきて、部落公民館長の集会で話したのです。そのときの話の要点です。

いい古された言葉ですが、「部落作りは人作りである」と後藤さんも強調しました。どんなに立派な部落公民館を作っても、人の和がとれて、全体のふんいきが、いい部落に育てあげようとまとまらなければ、なにをしてもむだだという意味でしょう。

さて、この本郷部落では、部落長と7部長がいます。農業、畜産林業、厚生、教育、納税、調査の7部にわかれています。41戸の部落を7班に分けて班長もいます。だから役員は61名、どの家も1人は役員がいるわけです。

役場からの通達や、農協からの連絡も、部落のそれぞれの分担で処理します。部落の自主性でどう処理し実行するかが決められるのです。駐在員という制度はありません。部落で一人前の判断と実行力をもった人は全部役員となり、それぞれ分担の仕事を、長い眼で見つめ研究してゆくのです。発言も思いつきでなく、部落の長期計画につながるものがでてきます。各部がその成果をきそうようになれば、真剣味がまします。人作りはいい部落に育てあげる真剣さの中でねられてゆくでしょう。町や村作りに長期の建設計画があるように、部落にも協力してなしとげていく高い目標があることを、本郷部落の人たちは認識したのです

〃〃〃昔は上海いまは立派な川向い〃

大内村時代から、川向い部落は〃上海〃と呼ばれてきました。人の移動がはげしく、なにをやろうとしても歩調がそろわぬ部落でした。それがどうでしょう。公民館建設では、みなの呼吸がぴたりあったのです。川向い部落に永住する意志の全然ない人たちも、進んで協力しはじめたのです。小鯖の4区と同じく、現金支出をおさえるために、労力奉仕は相当にはげしいのです。瓦運び、土こね、竹割と、経費をしぼった結果は、約15万円の支出ですみそうです。

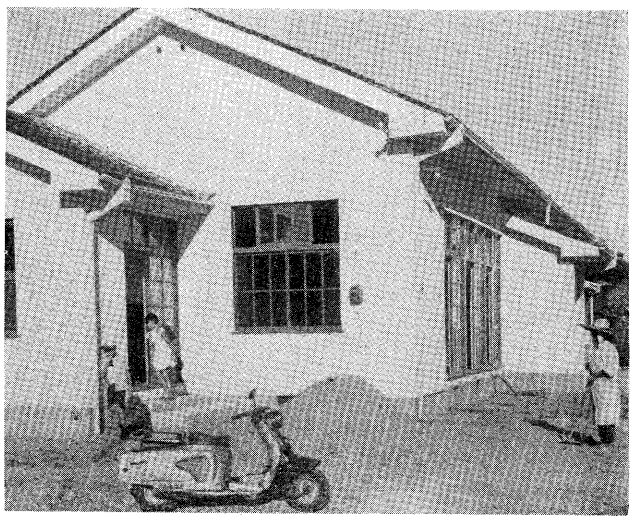
公民館ができあがったら、まっさきに〃老人を慰める会〃をやる計画です。つぎには子供会も予定してあります。みなが尊い汗を流した作業の模様は、8ミリにおさめてあるそうです。

農事研究の場として

小鯖の4区で、部落公民館を作ろうと思い立ったのは、昨年の秋でした。これまで毎月1～2回農事研究会を部落全員が参加してやってきましたが、これからは立派な会場ができたわけです。公民館を作ろうという源動力も農事研究会から生れました。炊事場も便所もついて30坪の建物。山に木のある人は用材を、ない人は労力を提供して極力現金支出をおさえ、大体20万円ぐらいですみそうです。13日の棟上げには、婦人たちがささやきあっていました。

「これからはここで料理講習もやろうね。」

るり学園に集まる真心



山口市から払下げを受けた古い校舎の材料を利用

精神薄弱児を教育する施設〃るり学園〃は、山口市や大内町の人々からよせられた真心のおかげで、20日に落成式を行なうことになりました。260坪の敷地に55坪の教室や宿泊設備が整い、県設グラウンドの入口にある白い建物はできたばかりなので、美しく輝いています。外観はできても内部の整備はまだまだで、村上園長は頭を痛めていました。

地元川向いも協力

「これだけの建物が、全部寄付でできたんですよ。」

村上園長は自衛隊員、大工左官、電気器具店などの温い協力も語ってくれました。製材所の協力も、地元川向い部落の寄付金や整地作業も、一つ一つが集って、こんなにも立派にと、村上園長は涙を流さんばかりでした。

こんなエピソードもあります。野田学園に通っている菅内千坊部落の溝内恵美香さん藤井光栄さんたちが、つきつぎと友だちをさそって、学園のガラスふきを奉仕したそうです。とかく世間から忘れられがちな精薄児によせられるはげましは、いま大きく実を結ぼうとしています。近く福祉法人にきりかわる予定です

東園の一里塚

東園小学校裏手の道路を、丸山部落に約300メートルいったところで、古い一里塚が発見されました。現在の道路から約30メートル山の方にあがった雑木やぶの中で、墓場の入口のところです。この一里塚は、その昔秋穂と高森とを結ぶ道路上にあったのです。そのころの道路は、東園から坂本↓石坂と通じていましたから現在の道とはだいぶ違います。そして道幅は60センチぐらいのものでしたから、いま考えるとおかしいぐらいです。

一里塚は、昔てくてくと歩いた旅人にとって、よいいこいの場所だったでしょう。いまも昔を語る年老いた松が2、本、塚石をまもるようにして立っています。この塚が作られたのは、大体徳川の中期だと想像されていますが、こうして完全に保存されているのは、珍らしいのです。

明治の中ごろまで、この塚のそばに6尺（かごかき）が住んでいたといまも語り伝えています。

6尺というのは変な呼び方ですが、昔のかごの棒は12尺、二人でかくので半分の6尺と名付けたわけで。

かごかきは5尺8寸の身長を持ち、あごからまゆげまで6寸ある者を採用したそうです。6寸ないと、変事にかついだまま後がふりむけないからです。職業的に面長の人が要求されたのです。

一里塚のそばに旅行の神をまつるこうしん塚もある。

文化団体の動き

素義三和会が主催した，西日本の浄曲競演大会は，８月20日から３日間，たいへん盛会でした，今年は昨年より規模も大きくなり，大内町の義太夫の伝統を西日本にとどろかせました。

小鯖青年団の有志（主として演劇サークルの人たち）が，この夏休みに子どもたちのよい遊び相手になろうという試みは，７月広報で紹介しました。各部落を歩いて人形劇や狂言，童話をやり，子どもたちからやんやのかっさいを得ました。まだ小さい芽ですが，各部落の大人たちの中にも〃子どもを部落全体で見守ろう〃という動きが出ているそうです

町の青年団は，８月16日阿知須で開かれた郡の体育大会でがんばりました。優勝は1500（佐々木博正君―両浴）砲丸投（河野稔―間田）走高（梅田伸子さん―深野）すもう（仁保チーム）でした。

町の野球大会は，３地区の代表チームの争いで仁保チームが優勝。

史談会では，８月例会を15日稔畑広昌寺で開きました。山大農学部長日野博士も出席して，稔畑にある珍らしい植物について研究を進めました。梨の原樹だとか花しょうぶの自生地についてでした。９月例会は12日，大内菅内の仁平寺で開きました。日本庭園の伝統と鑑賞のしかたについて，スライドを使って勉強しました。10月は農繁期なので，例会は休みです。

便利帳

▽**はえ取紙**が誤って食卓や着物についたとき、布に種油をつけてこすると、カンタンに取れます。下小鯖の三好啓策さんからこんなお便りがありました。

▽県民の2割が、**栄養欠陥**をもっているそうです。一番多いのはビタミンB_1の欠乏で、足が重くてだるいのはこのためです。つぎに多いのは貧血でした。主食にかたよった食事をとるためカルシュウムやビタミンが不足してくるのです。

▽黒のビニールなど800円かけると、便利な**太陽ぶろ**ができます。この夏には65度ぐらいにあがったそうです。ワクはありあわせの板でかこみ、厚手のビニールを中に入れるだけです。ポンプは動力があれば申しぶんありませんが、押上式でも、谷水を高い位置から引いても工夫できます。早間田のビニール販売店で、ちゃんと加工してくれるそうです。―小鯖八反田の伊藤さんからのお便りでした。

▽**中性染剤**が最近たくさん出廻っています。用途によっていろいろ特徴があり、説明書を読んで選ぶと便利です。野菜の殺菌や殺虫に効果的ですから、寄生虫く除にもたいへん役立ちます。もう使っておられるかもしれませんが……

▽**肥料袋は**、８月１日から重量を簡素化しました。従来は一カマス10貫を換算して37キロあまり入れていたのを、20 30 40 50キロと、カンタンになりました。お宅の田畑も一筆ごとにメートル法の面積に換算すると、計算が速くできます。一覧表にしてはっておくのはいかがでしょう。

大内町広報

昭和34年10月15日
第52号

山口県吉敷郡大内町
発行者　渡辺敏雄
編集者　坂倉正義
印刷所　山口市道場門前　中央印刷社

目をたいせつに

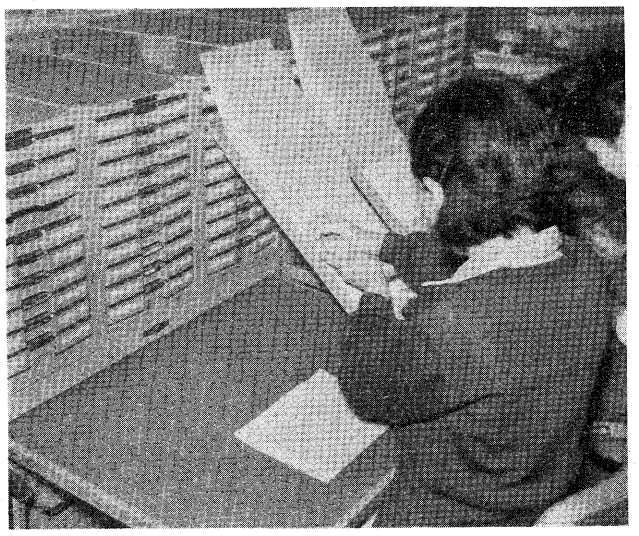
わが国の失明者10万のうち、¼が5才までに失明しています。一本のタオルを大勢で使うとき、一人でも患者がおれば全部に伝染します。トラホームにかかりやすい年令は、乳児から小学生までです。

古ナンバーを整理中

運輸省では、234輪の古いナンバー（山××号）を整理中です。山口市朝倉の陸運事務所で、はじめに平仮名のついたナンバーと、なるべく早く交換なさってください

税金

10月　町民税3期
11月　所得税2期分
どうぞ早目にお納めください。

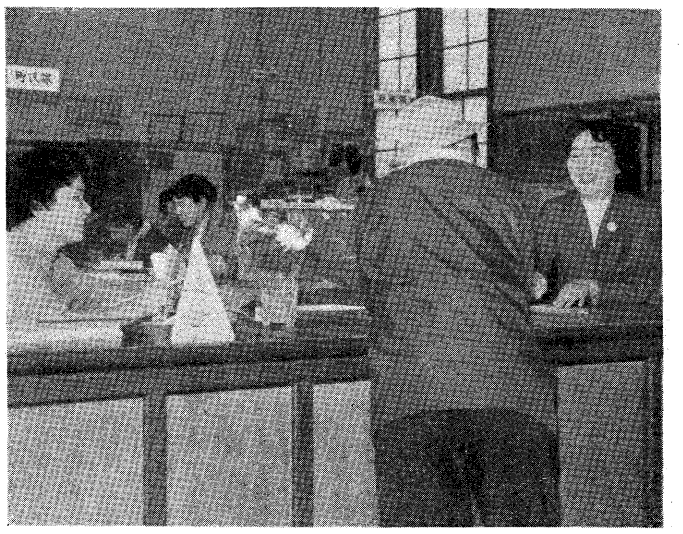


まず〝町民係〟の受付へ →

役場の正面入口のすぐそばに，町民係の受付ができました。普通の用事なら，ここでたせます。どんなことでも気軽にご質問ください。二人の女子職員が応待しています。場内の課や係の配置に不案内な方も，どうぞこの受付でおたずねください。

← これがビジブルレコーダー

全部金属でできたケースの中に，めくりやすいようとじたカードが入っております。一つの引出しの中に，約300人分のカードが入ります。住民登録，配給，国保の仕事は従来別々の台帳をもっていたのを，このレコーダーのおかげで，一本化できました。それだけ事務は能率がよくなったわけです。



役場すっかり配置がえ、能率増進と親切がネライ

従来の民生課に、戸籍・配給の仕事が入って、町民課ができました。**普通の用事は全部ここで用をたせる**ようになりました。そのほか、産業課が経済課と改名、振興と農政の二係を置き、長期の産業計画をたてやすい組織にした点、4千町歩の町有林を管理する林務課の増員が大きい改正でした。

役場に来た人が、以前のことを考えて、すっかり面くらうことがあります。場内の配置は、近日中に掲示板ができますが、左下の図面のとおりです。各課と係の仕事の分担については、2ページにくわしくのせました。仕事上のことは別として簡単な案内なら、どうぞ町民課町民係（入口の受付）におたずねください。

施設課は、以前土木と耕地に分れていたのを、仕事の性質を主体に管理と工務係に分類しました。以前なかった議会事務局（町議会のいろいろな仕事をする）も10月1日から発足しました。

支所事務は従前どおり

支所での仕事は、以前と変りなく受付けています。職員数はへりましたけれど、内容的には変っていません。ただ戸籍の謄抄本は、原簿を本庁に集めたため、少し時間がかかります。この点だけ、前日の午後3時までに申込んでいただき、翌日の午前中にお渡しするように変更になりました。だから、早目に申込んでいただけばよいわけです。もちろんとくにお急ぎの場合は便宜をはかります。仁保地区は今地区有線がありますから、これで申込んでいただき、こられたときにはすぐ右から左へお渡しできるようになっています。考えようによれば、以前ほど書込みの待時間がなく、便利になったともいえます。小鯖でも、なるべく電話を利用された方が便利です。

仁保支所では、うんとゆとりのできた内部を改造して、公民館の集会室を新たにつくりました。

より親切な機構に

新らしい機構で効果をあげるにはなれるまでまだ少し時日がかかるでしょう。しかし、私たち町民により親切であることを願って作った機構ですから仕事のうえでも応待のうえでも、どしどし悪い点をご指摘ください。こうした日常の〃愛される役場〃からの呼びかけが、私たち町民の信頼と共感をよび、やがては協力のきずなになってゆくことを、職員は肝に銘じています。

仁保で県道改修の期成同盟

統中の雨天体操場も着工

9月28日、仁保地区で県道改修の期成同盟会ができました。仁保地区内の県道、ゆの木―大内線と山口―鹿野線の改修を促進しようという目的です。ゆの木―大内線は、井開田―揚山峠―柚野に至る道路、山口―鹿野線は、仁保地峠（仁保駅のそば）―井開田―徳地町二の宮に通じています。この日支所の2階に、町の執行部の関係者、議会の土木経済委員、地元の関係者の代表が集まり、協議した結果、期成同盟会は結成の運びになりました。会長は中川廿七氏です。この二つの県道は、県会の議決でも〃逐次改修するもの〃となっていますが、なかなか実現しないため、強い運動を起そうというわけです。問田川改修や山口―防府間県道改修の期成同盟と同じような働きをするものです。

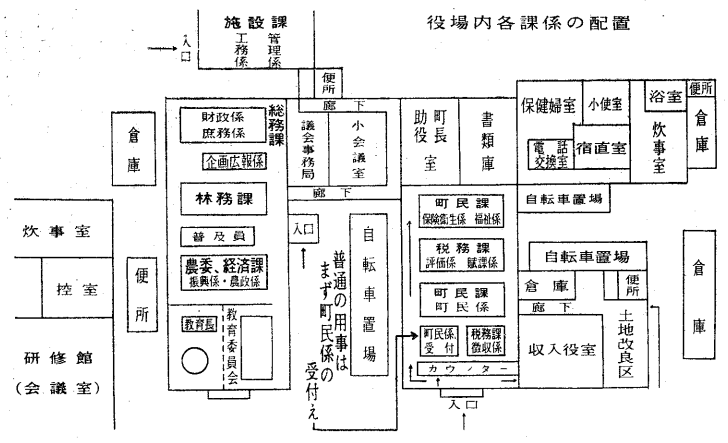
統合中学の雨天体場は9月30日着工しました。鉄骨2百45坪防府市の三協興業株式会社が1千75万円で請負ました。完成は明年2月20の予定です。

そのほか**国道9号線**―（山口―篠目―津和野―）は幅員拡張が困難なため新道は別の方向をとり、近く廃道となります。大内町内にある廃道部分は、もし町道になると維持管理が面倒で、ぜひ県道として残すようにと、ただいま運動しています。

新生運動の新委員

10月1日から新生運動協議会の新委員がつぎのとおりきまりました。敬称略―赤岸信一、田中俊輔、藤本金土、中野正、中川廿七、岡田誠一、原田三雄、坂倉道義、山根次郎、田中喜熊、野村竹一、貞永浩、山田仁八、嘉村道亮、徳本啓介、波多野源治、高橋要助、清川忠雄、篠原品槌、荒瀬貞雄、吉野敏雄、岡本房子、末永文子、秋川実、田中芳人、藤井晃養、岡本義男、山本繁正、小野正広、古屋寿吉、益山益雄、田中実、政崎章次、木村かね、町執行部から3名―以上37名。

役場内各課係の配置



共同募金は名古屋の被害者へも

気の毒な伊勢湾の被災者にも共同募金は重点的に配分されます。共同募金は昨年全国で11億8千万円を集め、約500万の人たちに温かい贈り物をしました。今年県下で1千260万**大内町**では約16万円の目標です。赤い羽根募金で知られ、すでに13年その歴史をもつ共同募金は、社会福祉を進めるうえに大きな力をもつようになりました。

大内町で現在集っているのは約50％で、これは農繁期のため遅れているものと思われます。共同募金の金はつぎのような事業に使います。

▽罪を犯した人々の更正をはかる更生事業
▽養老院や貧困者、未亡人、授産所など生活保護事業
▽保育所や母子寮、盲ろうあ児施設、肢体不自由児など児童福祉事業
▼災害の緊急授護
▽無料巡回診療や児童遊園
▽社会福祉事業を行うための調査や研究。仕事に従事する人の養成

伊勢湾台風の水地獄を生き抜いて、やっと集団避難した人たちの座談会が、朝日新聞にのっていました。そのなかの一人である早川多七さん（66）は、つぎのようにのべています。

「わたしのメイが嫁にいっている先は蟹江の在だが、4人が死んで30日にはそのほかの身内7人も一緒に焼いた。自分の身内を自分の手で焼かなければならないこの気持は、おそらくだれにもわからんじゃろう。」（げっそりやつれた早川さん。涙をぽたぽた落す。）

▽**国保**で患者の移送費の支払い方法が変りました。町内の医者が、バスなどではとても無理だと認めないかぎり支払いできません。町内の医者に移送費申請書がとどけてありますから、それに記入していただくことになります。生命に関する火急の場合は例外として認められます。

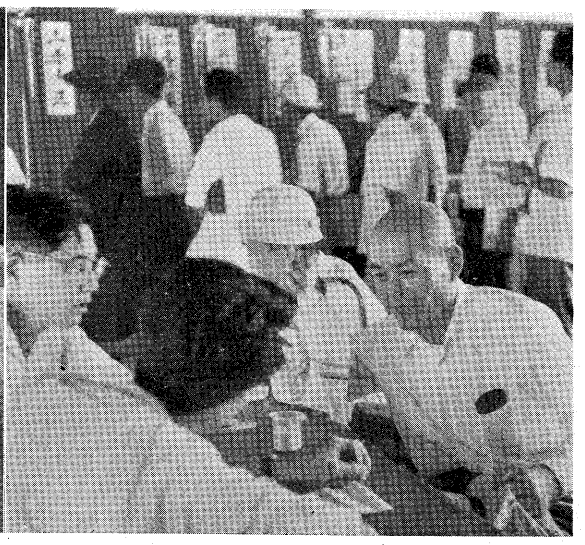
▽**史談会**の10月例会は、25日午後1時から、仁保玄塔院で開きます。大内中杉山先生の「古代都市の発達」という講演もあります。

▽**収入**が見積りほどない場合には、第2期分の予定納税額を、へすことができます。11月1日現在で所得を見積り11月1～15日までに、「更正の請求」を税務署に出せばよいのです。用紙は税務署の〃窓口〃にあります。

▽最近東京都内の飲食店で**メチール**を含んだ焼ちゅうが発見されました。先日もヤミ酒で2人ほど死亡しましたが、メチールは眼をやられますから、ご用心。色がすんでいても、値段の安いのは危険で、工業用アルコールに活性炭素を入れて色や臭みを取り、適当に水でうすめたのもあります。

▽第3回山口県**広報写真コンクール**の作品を募集しています。題材は1社会（働く人、青少年児童の健全育成、集団就職、交通安全、防犯、養老院など福祉施設）2農林漁業（特産、畜産緑化、漁港、土地改良、農業）3建設、運輸、交通（ダム、道路、橋、住宅、郡市の建設、砂防）4文化（有形無形文化財、史跡、名

（続きは2ページの下段←）



展示会今年もにぎやか

例年行われる県農業試験場の展示会は、今年もたいへんにぎやかでした。展示会がはじまって、ちょうど10周年になりますので、今年は場内の配置や内容に、一段と工夫がこらしてありました。初日が台風で邪魔されて、4日間の入りは、ざっと7万人といったところでした。稲作展示室で、農試の技術者にいろいろ質問している熱心な姿が、とくに印象的でした。

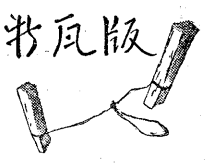
婦人会や青年団、それに大内地区内の部落公民館が、それぞれ活動資金のたしにしようと開いた売店は、予定どおりの収入をあげてまずまずといったところです。

面白い話題などおよせください。

名古屋へ台風見舞

気の毒な名古屋地方の子どもを慰めようと大内小のよい子たちが見舞品を集めました。衣類や米、金といったものが、大きなダンボールの箱に10箱も集まりました。

この行いは、学校の先生がすすめたものではなく、生徒たちの自発的な意志でまとまりました。真心をこめたかずかずの見舞品は、きっと被災地の子どもたちを喜ばすことでしょう。



さあー早くしてよ

10月11日に開かれた東園小の運動会の写真です。町内各小中学校の運動会は、小鯖小を除いて全部10月中旬までに終りました。

今年は豊作にめぐまれ、おまけに雨天の日もなく、運動会にはうってつけの条件でした。家族の人たちが、ごちそうを持参して、秋晴れの陽ざしの下でやんやと応援するほほえましい風景が、この日の東園小学校でもくりひろげられていました。出会ったところで同じ番号を拾った二人が2人3脚をやる競技で…さあー早くしてよ！

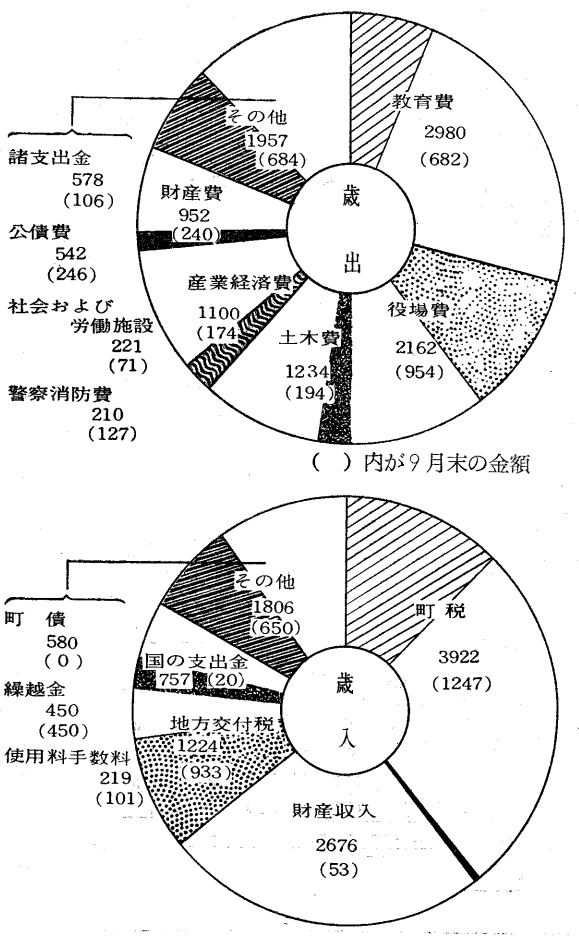
9月末の支出3千万(28%)

町税の収入はまだ予定の32%

9月末の財政状態を、歳入と歳出にわけて、グラフにしました。全体の予算額を100%とし、それぞれの金額に応じて割ってあります。同じワクの中で濃くしてある部分が、9月末までに収入あるいは支出となったものです。町税は3千922万のうち1千247万円、つまり32%の収入です。ほんとうは50%ほしいところですけれども、納入が遅れています。役場の仕事の進行に影響しますから、なるべく早く収入になった方がよいのです。町税は歳入の約40%をしめており、金額的にも大きいので、この納入状態は町政の執行にうんと影響します。つぎに大きいのは財産収入です。2千676万にのぼり、全体の26%をしめています。9月末まではまだ山を売る時期でないので、収入状態も小さくなっています。繰越金というのは、名前のとおり前年度の予算から繰越した金で、当然100%の収入になるわけです。前年度節約して残った金額が、全体の約5%あったということです。

歳出の方では、全体の29%をしめる教育費がまだ1/8出してない状態です。統合中学の工事も9月30日が着工であって、工事費が支出されてないのも大きな理由です。つぎに、全体の21%をしめる役場費（運営に要する経費、人件費など）総額2千162万円、このうち44%が支出になっています。歳入の充実とあいまって土木費（1千234万）や産業経営費（1千百万）財産を管理育てるための財産費（952万）といった大きな金額の支出がこれからはじまります。全体の予算額1億358万に対して、9月末の歳入は、2千902万円、歳出は2千927万円です。

34年度予算9月末の状況 （単位万円）



（　）内が9月末の金額

役場の機構図 昭和34年10月1日実施

- 町長
  - 助役
    - 総務課（鯨田豊）
      - 企画広報係：広報活動と総合企画調整，出先機関に関すること。
      - 庶務係（平田一枝）：通達や掲示，議会の仕事，議会の招集，町区域地番，消防，選挙，統計，自衛隊
      - 財政係（岡山正雄）：予算，町債の借入，地方交付税の事務，物品の購入，貸借修理
    - 税務課（江藤武馬）
      - 賦課係（山崎忠治）：諸税の調査，賦課
      - 徴収係（美和悟）：諸税の徴収，納税思想の普及，納税貯蓄組合
      - 評価係（池田秋二）：土地家屋，償却資産の評価。土地家屋台帳，名寄帳字図，地代家賃
    - 町民課（岡本利男）（補，大島慶太）
      - 町民係（伊藤保）：受付，戸籍，住民登録印鑑登録，配給，国保の異動，助産葬祭費支給，外人登録
      - 福祉係（大島慶太）：災害救助，未亡人対策，女性問題，遺家族，国民年金，公営住宅，共同募金
      - 保険衛生係（来栖俊一）：国民健康保険，住民の保険衛生伝染病予防，狂犬病予防，野犬取締
    - 経済課（井上富緒）
      - 農政係（福永卓治）：主食の増産と買入，農業経営の合理化と病害虫防除，農林金融，土地改良
      - 振興係（鰐石一男）：家畜の増殖改良，特産，商工鉱業，観光度量衡，狩猟，有害鳥獣の駆除，移民
    - 施設課（松田政一）
      - 管理係（大田秀穂）：道路，橋，河川，悪用水路，道路の占有官公有地払下貸付，水防，火葬，土木関係用地買収，災害復旧，道路敷登記
      - 工務係（山根理明）：工事の設計監督と検査
    - 林務課（末村勇二）
      - 林務係（山本賢治）：造林，林道，砂防その他林務行政
    - 仁保支所（石川潔）
    - 小鯖支所（片岡一夫）
      - 戸籍関係の届出の受付（離婚を除く）謄抄本交付の受付，住民登録，印鑑証明，配給，転出入
      - 出納事務，税務事務
      - 本庁との連絡
  - 収入役
    - 収入役室：現金の出納と保管
- 町議会
  - 議会事務局（岡田寿）：町議会活動のため調査と連絡。議事録。
- 農業委員会
  - 農委事務局（杉山秀雄）：農業委員会　〃
- 教育委員会
  - 教委事務局
    - 総務・施設・統計係（高橋豊）：教育機関の設置，管理や廃止，児童生徒の就学転学，校舎施設の整備
    - 学校・社会教育係（高木武夫）：体育，文化財保護，教科書その他教材の取扱い
    - 公民館：青少年婦人教育，公民館の各種活動，視聴覚教育。

お知らせ

▽ **進駐軍**の不法行為で、死亡した人の遺族やけがをされた方は、見舞金を受取った場合でもすぐご連絡を。山口市八幡馬場、山口調達事務所へハガキ手紙どちらでも結構です。

▽ **公給領収証**で県に入った税金は、県道改修の重要な財源になります。どうぞご協力ください。

▽ ラジオの**雑音**の原因をたしかめてみましたか。螢光灯を点滅して雑音が出るかどうかお試しください。

▽ **警察官**へ協して、損害を受けた場合には補償がもらえます。こんな解り切ったことがきまっていなかったのですが、殺人、傷害、強盗、せっ盗、放火、婦女暴行の現行犯があり、警察官がいない場合、犯人たい捕や被害者の救助で損害を受けたら、死亡で37～60万まで遺族に支給されます。もちろんケガや病気にもそれぞれ補償があります。

▽ **にせ**の税官吏の被害が東京大阪で出ています。税額が不足しているからと金を貰い、領収証はあとで届けるというやり方です。はっきり身分証明書をたしかめるのが安心です。

▽ **銃砲刀剣**類の届出期間が10月末日まで延長されました。未届けの方は、至急駐在所へ。

▽ **にせ**の税官吏の被害が東京大阪で出ています。税額が不足しているからと金を貰い、領収証はあとで届けるというやり方です。はっきり身分証明書をたしかめるのが安心です。

勝、観光、著名行事）5保健（環境食品衛生、はえ、かの駆除、体育、検診）6鉱工業（鉱業地帯の風景工場生産活動、採鉱）◎白黒四ツ切、締切11月30日、推薦1名1万円、特選2名3千円、入選12名1千円、送り先＝県学事広報課内、広報写真コンクール係

農研グループ 発展型と そうでない型と

農事研究グループは，ここ23年の間にたくさんできました。最初は数人の気の合った同志的グループでしたが，部落全部にしみわたって，現在では部落公民館の産業部といったところも多いのです。それだけ，今日までの農研グループは技術の普及という大きな功績をはたしましたが，これからの発展段階ではいろいろ問題になる点がで ました

グループの研究は楽しい―仁保で

数人の人たちが，なにか目的をもって始めた研究活動には，問題点を解決しようという意欲が盛んでした。その同志的な結合が，部落全体にひろがるにつれて，問題点を解決しようという意欲は少し微温的になったようです。

農研グループが排他的でなかったため，研究活動がそれだけ幅広くひろがったことは事実です。大内町の農業技術の水準はある高さに達したともいえましょう。技術が集団化され，一定の水準をもつことができた点で今日までの農研グループの功績を，大きく評価せねばならぬでしょう。

しかし本来微温的であって，現実に直面している問題解決という切実な意欲がとぼしかったので，研究集会を重ねるにつれて，形式的に流れる傾向もでてきました。

農研グループのあり方について，忠告してくださった方もあります。また，現状のままでは意味がないと，批判的な意見をはいた人もあります。研究の場が，学習活動の反覆になって，なにか廻りくどいもの

方向のない生産性は悲劇

以前の同志的な結合である小グループが，いまも健在である部落は，着々成果を納めています。一方では部落（あるいは小団地）の技術的な進歩を考え，一歩一歩の解決―販売―消費と一連の計画性に裏付けされてないと，むだに終ることも考えられます。こうした全体計画を実現可能なものにねり直してゆくことも町の経済課が考えてゆく重要な課題です。そして一つ一つのグループの問題でなく，全町の農研グループの有機的な結合と交流が，実際的に力を発揮する段階が必要な時代になりました。この段階で，全体計画の推進と支えにグループが大きな役割を果したとき，方向のない生産性向上がもたらす悲劇から，はじめて私たちはのがれることができるでしょう。

人間的なものと，技術的な知識と経験の二面を要求されるリーダーの養成は，町の経済課がこれから考えてゆく重要な課題でもあります。

さらにまた経営上の実際的な問題点の一つ一つの解決が，全町的な生産―出荷―販売―消費と一連の計画性に裏付けされてないと，むだに終ることも考えられます。こうした全体計画を実現可能なものにねり直してゆくことも町の経済課が考えてゆく重要な課題です。そして一つ一つのグループの問題でなく，全町の農研グループの有機的な結合と交流が，実際的に力を発揮する段階が必要な時代になりました。この段階で，全体計画の推進と支えにグループが大きな役割を果したとき，方向のない生産性向上がもたらす悲劇から，はじめて私たちはのがれることができるでしょう。

施肥がぐんと科学的に

今年も水田の断面を調査

昨年33年度から始めた水田土壌の断面調査は，大きな成果を納めています。5年間かかり38年度に終る予定でしたが，効果が大きいので，町の経済課ではなるべく速く完成しようと計画しています。昨年の250ヘクタールに対し，今年秋は400～500ヘクタールにもと意気込んでいます。

三つのすぐれた長所

昨年やった結果で，三つの長所がはっきりしました。施肥，耕土培養，深耕―この三つの方法が従来よりうんと科学的になったことです。これを具体的な例で申しあげましょう。

○…小鯖鯖地では耕土の深いところで客土をして，無益な労力を使っていたことが解りました。問題は深耕すれば解決することで，断面を知らなかったからです。深耕が解決した例です。

○…仁保の高野ではいままで地盤がいいといっていたが，盤が固すぎて出来ないことがありました。これは盤を破ることで解決できると思われます。

○…仁保の一貫野では，砂地で客土の必要が痛感されました。同時に含鉄資材を入れることもたいせつだと解り，入れて大きな効果をあげています。

○…上田と思っていた田が，さっぱりできないので調べたら下層はグリばかりでした。肥料を何回にもわけてやり，流失を最少限度にとめて効果をあげた例もあります。

×

以上の例でも解るように，この土壌断面調査は，作物栽培の基本にもなります。大きな効果をあげ

ておりますので，今年実施希望の部落は早目に経済課への方お申出ください。

調査班の講習は11月の中旬

11月の麦まきが終ったら，調査班の講習を行います。**調査班**というのは，約20ヘクタールで一つの班を作り，耕作者の中から3～4名程度の調査員をつくるのです。講習会は2日の予定で，2名ほど参加していただく予定です。今年調査する地区で，ぜったい忘れてならぬのは，田の**中心部の作土の深さ**を，麦まき前にはかることです。田をすくともう解りません。耕土の深さは，作物のできときり離せないからです。

断面調査は1筆に1点の穴を深さ1メートル。田の中心部では人間が中に入れる程度です。

麦…倍の増収は困難でない

1ヘクタール（町）麦を作るなら，50アール（5反）で同じ収穫をあげた方が，たしかに有利です。空いている土地に肥飼料作物の栽培もできますから。

×

麦は外国の農産物とのせり合いが非常に高いので，これからの麦作は，全然作らぬか，生産費をうんと安くするか，生産費もかけてすごく増収するかの3段階に分れましょう。生産費をさげる場合の例は，麦の**生産費の50%が労働費**であるという事実です。大内町では，この労働費がほとんど中耕と除草にかけられています。ところが，中耕は麦作ではあまり効果がないものとされています。有効な除草剤があれば，この問題も一応解決するわけです。

仁保の1/8が除草剤を使用

仁保の農家の1/8が，除草剤シマジンやアイピーシー（10アール当り180～200円）を使い効果をあげています。（使い方については普及員か経済課にご相談ください。粘土質のところは，土を細かくくだかぬと，効果が半分になります。ふんむ器でかけます。）

増収の例では，うねたてとか平まきとか，水田のままに簡単に麦をまき，播種面積をもふやす方法が研究されています。乾燥する土質なら，この方法も採用できるはずです。

※　麦の種まきを早くすると，バイラス病，黄枯病にかかりやすいので，ご用心ください。ビールは，ぜひ11月10日以後に。

麦作に関するいろいろな問題を高瀬，柴崎両普及員に論じてもらいました。麦は安いし，ひきにあわないという声も多いのですが，現状ではどんな経営法が有利か，どんな技術を活用したらよいか，といったことで，簡単に結論をまとめてみました。もうすぐ麦の種まき期，どうぞ活用ください。

昔からの習慣で作る麦

習慣になってしまって，稲の収穫が終ったら麦という具合になっている傾きがあるようです。というのは，稲より麦作の方が，肥料のになったのかもしれません。問題の解決と取組まないから，一定水準以上に発展してゆけぬ頭打ちの状態になったのでしょう。

▽農業費を分類してみました△

34年度の町の予算書のなかで農業費に関する分類をしてみました。つぎのような項目で分類してみたのです。

▽米麦作　▽畜産　▽そさい　▽農機具　▽経営や技術に関係あるもの　▽調査的なもの

×

米麦作は約20万円でした。水稲多収穫品評会（2）早期栽培苗代（5）米麦採種圃試作圃，展示圃（5）種子交換（5）早期栽培（2）――（　）内は万単位，予算額

×

畜産は約44万円でした。内訳は，吉山畜産共進会（5）乳和牛批判会（5）養鶏組合施設補助（10）飼料作物展示圃（3）乳和牛導入の利子補給（20）など。

×

そさいは約4万円でした。青果物品評会と一般そ菜展示圃の経費です。

×

農機具と農業用施設の関係で，50万円です。内訳は，動力撒粉機（32）農機具導入利子補給（3）サイロのかたわく補助（8）糞尿だめ設置補助（8）など

×

農業**経営**とか**技術**に関する額が百万円です。営農技術員の嘱託費（21）技術研修のため先進地派遣の補助（7）農研グループ補助(20)普及事務所の負担金（7）31年災害の借入金利子の補給（46）――など

×

調査的なものでは，生産物の流通対策を考えて調査費に2万円，中小企業の振興対策を考える調査費2万円があります。その他農業共済組合へ補助（5）があります。

麦芽出し乾燥種・牛の流感

麦の芽出しまきは，成熟期をいくらか早め，収量も芽出ししない場合よりふえます。風呂で熱消毒した種を荒むしろにくるみます。この方法はたいていの農家で実行していますが，このままだと芽がふそろいになります。時々じょろで水をかけかきまぜては空気を補給してやるのがコツです。根が出ずに芽だけ白くのぞく程度がよいのです。天候不順のときは，この芽出し種を日かげで乾燥すると，15～20日ぐらい有効です。湿気が多い土地にまく場合は，発芽がよくありませんから，こんな場合には土をかけずに堆肥で覆うてやると効果的です。

×

牛の流感が，9月の末から発生しています。10月に入っただんだん拡がる傾向です。流感にはワクチンがききません。発熱して，よだれを流します。なんといっても早期治療が一番で，毎日注意していただくのが理想的です。大内町では31年以来流感が発生しなかったのですが，今年は油断できません。流感といえば39～41度の熱を出す例が多いのに熱があまりなく，鼻水鼻乾きの症状がありま す。頭や胸などの表面に神経性のふるえがあり，反すうが止って，食物をたべなくなります。歩行困難にもなります。こんなときにはきゅう舎を温め，栄養をとらせ，経過を見て早めに獣医に連絡する必要があります。水分が不足しますので，水をじゅうぶんとらせることも忘れてはなりません。ほっておくと，のどがまひして食物をのみこむのもできなくなりますのでたかが〝流感〟だといって軽く見るわけにはいきません。

（共済組合，杉山獣医より）

▽**押売り**の犯人が、どうも苦手だと、警察で告白したことがあります。番犬のいる家、〃押売りがきたらすぐ警察へ〃のはり札がしてある家です。部落の入口に立札が立ててあっても、やはり入りにくいそうです。押売りがきたら、早くことわってその場を離れることが、被害予防の秘けつだと山口署の防犯係では説明しています。

▽衣食住とも**冬の準備**がいそがしくなりました。寒くなると厚着になりがちですが、子どもは運動がはげしいので、なるべく薄着の方が健康によいのです。ひふを丈夫にして体の抵抗力をつけることにもなります。

▽**秋さば**のおいしい時期です。このくん製は、安い値段のときなどに作っておくと、たいへん便利です。三枚におろし塩にして一晩おき、これを天火で一度焼くかむし焼で15分、つぎにフライパンにもみがらかおがくずを入れてくゆらせ、このうえにさばを乗せてふたをします。

▽**マタケ**の伐採時期になりました。34年が一番たけのこの発生力が強く、よいたけのこが出るので、この年令の竹の立派なものだけを残して伐ります。よい土地では10アール（一町）当り700～千本（坪当り3本）やせた土地では千200～千500本（坪当り4～5本）が適当でしょう。伐採時期は10～12月初めですが、なるべく早く伐って、残した竹に陽を当てる方が、よいのです。竹がうんと丈夫になります。

ご家庭での工夫をどうぞお寄せください。

便利帳

家と家でなく太郎と花子の結婚にしたい

悪いとわかっていながら守れないもの――公明選挙と結婚改善――とカゲ口をたたかれながら、結婚改善は県下で少しあてのびています。その方向は、正しい結婚観をうちたてようという動きが強く、町内で10人の適令期男女に公民館主事がアンケートした結果もそうでした。

だれがということでなく、10人の意見を総合してご招介しましょう。本質的には、みんな同一の意見だったのですから……

○…簡素で厳粛な式をあげたい。1人前300円以内ですまし、あまったら新婚旅行にゆきたい。家でやるのはとかく時間がのび、簡素が失礼になる場合もあるから、止めたい。

○…家柄などは考えることもばからしい。とおりあいはどうでもよろしい。家と家の結婚でなく、太郎と花子のそれにしたい。嫁を物として見ないでほしい。

○…嫁としゅうとはどうか歩み寄ってほしい。2年ぐらい別居できたらそれもよいと思う。

まとめれば、以上のような意見でした。この意見が、適令期男女のすべての意見だとはいえないまでも、一つの強い傾向を物語っていることは否定できません。適令期男女の気持のなかには、新らしい生活を設計してゆく意欲と合理性が、すっかり整理されているようです。式で終るのでなく、式でスタートするのだから、生活設計から式の経費を考えるべきだという意見もでていました。

令期の男女ばかりでなく、農村の人たち全部にゆきわたらなければ、とても改善などできないという意見に落ついたのです。

10月5日小郡町の公民館では、吉佐と山口地区の懇談会が開かれました。ここで宇部市小野地区の具体例が招介されました。小野地区は新生運動の盛んなところです。婦人会が一手に引受けて、公営結婚をやっております。後継者を作るという意気込みで婦人会の尊い奉仕が続いているそうです。時間で切って酒の制限はしてないとのこと。平均して一人当り2合あまりはかかるそうです。

小野地区の具体例で、興味深かったのは、地区内の結婚が非常に多いことです。やはりおたがいよく理解しあうことが第一条件ですから、自然と近くの人を選ぶようになります。婚域（結婚する区域）が昔は広かったけれども、それだけ一度あったのみで決めただとか、全然顔を見ずに決っただとかの例が多かったのです。よく気心を知り、恋愛感情もわくようにというのでは、どうしても近距離になります。優生学的にいうと、なるべく婚域の広い方がよいのですけれど。婚域が次第にせまくなるのは大内町でもいえることで、結婚の紹介や相談とも関連して今後に残された問題です。

ただまとめるだけでなく

先日、長門市で結婚改善についての懇談会が開かれました。新生運動の一つとして、長門地区の関係者が集ったのです。ここでの結論は意味ぶかいものでした。

○…結婚相談所はただまとめるというだけの仕事だし、公民館結婚は経費節約と、やたら節約をふりまわす。今日の農村を眺めたとき、もっと本質的なものがありはしないか。結婚前の男女の、悩みを聞いて、よく相談にのり、幸福な結婚ができるようはげましてゆくことが必要なのではないか。そして「うちでも家族会議を開いています」という話を、ときどき耳にします。家族の人数がふえればふえるほど、それぞれの人の心を調整する必要があるのではないでしょうか。

まあ農繁期もあがって、ゆっくりしてからという声も聞きますが、忙しいときほどかえっておたがいの心が通じかねるものです。思わぬ不満をもつようなことがあると、第一働いてもおもしろくありません。

×

現状では結婚後もなやみがある。その相談にものり、スタートした結婚が、豊かにみのるのを見守るだけの努力が必要なのではないか。正しい結婚観はそう簡単にうちたてることはできないが、少くともこの本質的なものに肉迫してゆくのが、農村の結婚改善の正しいあり方ではなかろうか。

だいたいこんな結論でした。だから、結婚相談所もいいが、結婚の苦情相談所や離婚相談所も作ろうじゃないかと、ちょっと脱線しかけました。ともかく、正しい結婚観が、適夕食後の10分か20分、あるいは朝食事前のちょっとの時間を、家族会議にあててはいかがでしょう。仕事の内容や各人の持場など打合せておくと、一日のだいたいの作業計画がたちます。月一回か二回の家族会議も、忙しいときほど毎日開いて、一日を能率よく無理なくすごすことができるのではないでしょうか。

×

ある仮説では

県立図書館の石川卓美氏は、つぎのような仮説をたてています。――藩政時代に本百姓（自作自営）と、門男（もうど、小作貧農）の区別があった。家系を重んじる気持から〃きっすい〃という差別的なことばがここからできたのではあるまいか。はじめは本百姓が豊かで、門男は貧しかったに違いないが、もう幕末になると20～30アール（23反）の本百姓と、2ヘクタール（町）の門男があるといった例もでている。このようにかっての経済状態が逆転した場合もあるが、それでも本百姓と門男の区別はしっかりしていた。――だとするとこれは、農民の間の家系を差別することばであったのでしょうか。それなら、もはや今日通用してはおかしいといえましょう。

↑10月14日大内高芝の高木さん宅で

てやるのが効果的のようです。子どもも、小学生からは会議の一員として加えると、自分の意見を発表する習慣を養います。みんなが自分の心をうち割って話す、それに家族中が拍手したりはげましたり、また慰めたり……こんな家庭は、みんなの心があってきっといつもほがらかです。

心をよせあえば家庭はほがらか

農家でなくても家族会議は、いろいろと長所があります。おとうさんがどなりつける。子どもはちゃんと理由があるのに、ふくれ面をするというようなことが、度重なると不良化への道を歩まないともかぎりません。だれもが家族中の気持や仕事の負担を理解しあってこそ、ほがらかな家庭ができるのではないでしょうか。

×

家族会議の司会は、交替しあって

公民館は新生運動を進める足場

先日、こんな話をききました。

「公民館は社会教育的な活動をするところであり、新生運動は農山村を豊かにしょうという呼かけなんだ。」

公民館の活動と新生運動とが、てんでバラバラに解釈されているようです。新生運動といえば、この数年新の字のついたことばが、やたらと私たちの周囲では使われました。新生活運動、新農村建設、新市町村建設といったぐわいです。新生活運動は、生活上の因習を捨てて合理的な生活をしょうと、社会教育面を担当した文部省の提唱でした。農村の振興を考える農林省からは新農村、自治体の行政効果をあげようと、自治庁は、新市町村建設をかかげたわけです。山口県の新生運動は、これら三つの運動のすべてを含んでいます。だから……私たちの個人生活もふくめて地域社会を豊かに明るく育てようという新生運動には、私たちが協力して少しあて高めてゆく大きな目標があります。公民館が、私たちの切実な願いをとりまとめて行う各種の行事や講習も、新生運動がめざす大きな目標に近ずく一つの手段です。だからこそ、新生運動を進めるための足場だといえるのではないでしょうか。

生産や衛生などの問題とならんで、公民館活動もまた、豊かな町造りをめざす新生運動につながっています。

〃忙しい母親たち〃の座談会から

Aさんの話

「女の子とは、かならずいっしょにお風呂に入ります。このときだけが、母と娘がただ二人きりでいるときです。どんなことも、このとき話します。体をふれあって秘密のないひとときです。そうですね、一日のうちで10分か20分。これで私と娘は、なんでも通じ、なんでもわかる気がしているのですよ。」

Bさんの話。

「子どもが学校にゆくとき、どんなことがあっても外まで送ります。夜は2時3時に休むことだってあるんですよ。朝の7時に出る子どもを送りだすのは、たしかに体にこたえます。でもいったん起きて、それから2時間ほど眠るにしても、とにかく子どもの顔をみることにしているんです。」

Cさんの話。（美容院の経営者）

「私のところは小さい子どもなので、お客がドライヤーに入ったとき、5分の時間をみつけて奥にいきます。そして子どもとジャンケンをするんです。この5分が日によっては10回もあるけれども、日によっては1回しかないんです。でも子どもは満足しています。」

5分10分を、努力と工夫で生みだしているおかあさんたちの愛情が、短かいことばの端々ににじんでいます。（雑誌教会教育―東京家庭裁判所調停員大浜英子先生の手記より）

大内町広報

昭和34年11月15日
第53号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市通場門前 中央印刷社

旅行中も国保がきく

大内町の国保の受診証が、旅行中でも使用できる病院が全国に300ぐらいあります。郷里を離れた学生さんも利用できます。町民課へお電話をいただきますと、具体的な病院名を申しあげます。せつかくの制度をどうぞご活用ください。

皆さんの広報

ご意見を参考にしては読みごたえのある広報にと、少しあて変えています。わたくしたちの広報をよくするためのご意見を、どしどしおよせください。

税金

11月 所得税 第2期
12月 固定資産 第3期
（納期12月25日まで）
早めにお納めください。

経済委員会が真剣に考えていること…

産業基金制度・粘土地帯の深耕・らく農の協同経営

ごく最近、町議会の経済委員が数回会合して、大内町の産業を発展させる根本的な問題を追求しました。まだ正式に議会にはかったものでないので、決ったことがらとはいえませんが、わたくしたちのこれからを、いっしょに考えていただく意味でとりまとめました。

産業基金制度や粘土地帯の深耕、それかららく農の振興は、それぞれ資金的な解決が先立つ問題で、そう簡単に実現できないかもしれませんが、ゆきづまっているわたくしたちの農業を打開する突破口として考えられているものです。知恵をあわせ力をあわせて、思いきった政策をぐんぐん進めねばならぬところまで、情勢は追い込まれてきています。

再生産の資金を保証

50アールから1ヘクタール程度の、小規模経営農家の再生産資金を保証しようという考え方です。これには産業基金を作って損失を保証する制度を作るのも一つの方法です。町と農協が協力して、この資金を作る案もあります。再生産資金であってはっきりと経済上の効果を見なければなりませんから、厳密に個々の農家の経営診断もやる必要があります。国が保証する農業改良資金制度もまだ活用されない面があり、この産業基金制度とあわせて、これからのわたくしたちの研究課題です。県下を対象にできている農業信用の保証制度もありますが、農家の経済力だけを基準に貸出す傾向があり、小規模経営農家の赤字を救う面からは、はがゆいという批判もあったのです。

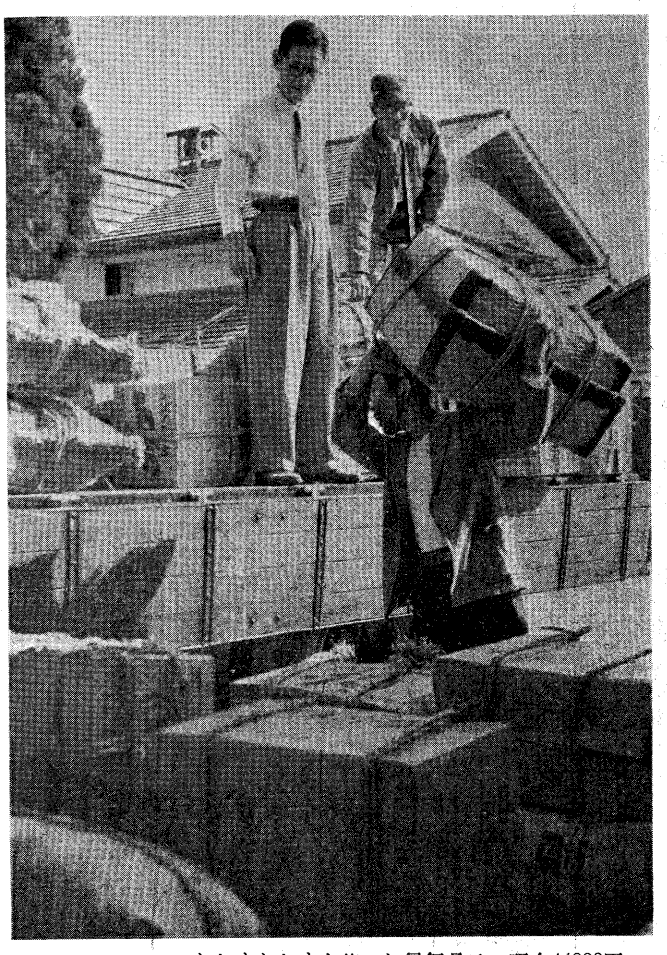
収穫がのびぬ上位田

賃貸価格のうえでの上位田の収穫が、ここ数年来のび悩んでいます。この意味での上位田といえばたいてい粘土地帯ですが深耕によって収穫をあげようという考え方です。このためフォイルトラクターを各地区1台あて購入して、機械力で深耕を解決しようと計画しています。大内町の水田面積の約⅓が粘土地帯にあたり、土地改良事業として行う予定になっています。フォイルトラクターは以前仁保の高野でも試験いたしました。後部に円盤のついた小型トラクターで、なかなか能率的です。砂地でも地盤がよければ深耕した方がよいので、利用価値は粘土地帯だけにかぎりません。

畜産の振興に重点

町の産業政策は、これから〃畜産〃に重点を置こうとしています。国民の食生活の変化がやがて畜産の全盛時代を招こうとしているからでもあります。各地区1カ所あて、適地があれば町有林を開放して、和牛放牧場を作ろうと計画しています。

らく農組合も、販売が三つのルートに分れていますが、生産面の技術的な研究だけでも統合しようと考えています。いまらく農で一番問題になっている生産費の引きさげは、協同経営で解決しようという試みがありますモデルケースを育てようと調査中です。集団畜舎で、協同管理、協同経営になります。いってみれば合資会社です。こうしたやり方で、借入金の返済や必要経費をさしひいて、月5千円の純益を実際に出している例も、全国的にいくつかあるのです。らく農経営では、飼育管理の手間をなるべくはぶき、自給飼料で出費を極力おさえてゆくのが安全であるわけです。これを、らく農協同経営でモデル的に実験してみようというのです。経営面積1ヘクタール内外で、労力的に適当な規模だと考えられています。頭数で20～30頭です。



災害地へ　われもわれもと集つた見舞品は，現金46000円，白米14俵，衣類11250点，学用品500点に達しました。わたくしたちのささやかな真心をこめて，見舞品は10月20日役場を発送いたしました。

結核の新患者が毎年7千

山口県下で、毎年7千人もの結核新患者が出ています。化学療法の発達で、死亡率はたしかにへってきましたが、発生率は安心できない状態です。よく結核は「**栄養病**」だといわれますが、栄養がじゅうぶんであればまず防げます。（この広報紙2面の国民栄養調査の記事とあわせてお読みください）栄養となると経済との関係が密接で、生活保護や医療保護を受けている人が非常に多いのです。栄養の不足しがちな低所得の人たちの発生率が高いことを示しています。そのうえかなり重病になるまでほっておくので、長期間入院しなければならぬようになります。現在県下で3万1千690世帯が、貧困のため生活保護をうけていますが、この生活保護費の約7割が医療保護費になっており、その大部分が結核と精神障害の治療につぎこまれています。金額的にいうと総生活保護費の45％が医療保護費に使われており月平均4千900万円に達しています。だから結核を防ぐためには、日常のわたくしたちの食生活の工夫と、健康診断で早期に発生することがきめ手になります。発見が早いほど、治療費は安くすみますから。

だが受診率は35％

せつかくの健康診断も、受診率は高くありません。学校や職場、それに市町村で行う一般健康診断をあわせて、やつと平均が35％です。市町村の場合は、11％にしかならぬ貧弱な数字です。これでは、早期発見もなにもあつたものではありません。県下の結核患者は現在4万4千人、入院治療中のものが4千400人と、約1割です。残りは家庭にいるわけです。患者の管理を確実にしなければなりませんが設備も整わぬところでじゅうぶんなこともできません。だからわたくしたちは、いつも危険にさらされているともいえます。一方では患者の管理を徹底して感染防止に努め、一方では健康診断と予防接種による早期発見が、これからの対策になるわけです。山口保健所管内は県下で下関と宇部についで患者数が多く4千300人います。そして山口県の結核死亡率は、全国平均の3.9より高く、5.3％です。

では大内町の実情は

一般の健康診断で、大内町の受診率は15％です。県平均の11％より少しよいのですが、まだまだといつたところです。健康診断の結果、精密検査を必要とする人が今年70名でした。そして11人が結核だと診断されました。結核は自覚症状がない場合がほとんどで、どうしても診断が必要です。万一結核にかかつても、結核予防法で、½を国が負担し、残りを国保と患者で半分あて負担します。つまり治療費の¼が患者負担です。

近く世界農林業センサス

1960年の世界農林業センサスが，近く実施されます。この調査は，10年に1回，国際連合食糧農業機構（F・O・A）のの提唱で，世界の100以上の国が参加して行うものです。わが国の統計調査では，最大の規模をもつております。

むつかしくいうと，統計法という法律で，調査員や調査を受ける各世帯に調査報告の義務があります。

×

食糧増産を中心とする農業だけでは，所得をふやすことも困難になつてきつつあります。農業のみで生活の安定ができず，兼業農家もふえています。しかもいぜん農業所得は他産業に比較して低い産業です。だから，日本の農業政策の進路を定め，農業生産力の発展，農民生活の向上をはかる基礎資料をまとめ世界的な農業経済の動きのなかで考えるわけです。農業といえども一国の経済のなかだけで考えるというわけにゆきません。世界的な資料としても，たいせつな調査です。

×

調査内容はほぼつぎのとおりです。▷農家調査…経営耕地面積，生産量，家族構成，家畜，農用機械，所得，肥料

▷林家調査…所有者別山林面積，部落の共有，社寺有，組合林

調査の時期

▷34年12月1日現在で農家林家を区分する準備調査があります。

▷35年2月1日　本調査

調査員……県知事の任命した調査員が各世帯を巡回します。調査内容にあることがらを，あらかじめ検討しておいて，即答できるよう準備していただきたいのです。

この調査と同じころ農業委員会が実施する**農家台帳調査**があります。農林業センサスとたいへん似通つているため，同じ調査だと感違いされるかたがあるかもしれません。しかし調査の主旨や期日がいくぶん違つておりますので，調査員が各世帯を訪問したさい，ごめんどうながら改めて報告していただきたいのです。

お知らせ

▽ **自衛官**を募集中です。昭和10年3月2日～17年3月1日の間に生れ，中卒以上の学力ある人。受付は11月20～1月14日まで。初任給6千400円で衣食住の負担はもちろん不要です。くわしいことは役場総務課へ。

▽ **三浦史話**が，年末に発刊されます。相模の三浦氏の末裔平子重経が，鎌倉時代のはじめ仁保庄に下つて，今年で760年になります。この期間の文書が一貫して保存せられ，地方史の研究に貴重な資料となつております。子孫の三浦三郎氏が，三浦文書に基ずいて編集したもので，約300ページ，予約実費400円です。申込は役場教委内，史談会事務所へ

▽ **刑務官**の採用試験が，12月6日に山口市で行われます。資格は昭5年4月～15年4月までに生れた男子（高校卒，または来春卒見込は17年4月1日までの出生者）申込みは，広島市霞町人事院広島地方事務所

▽ **県文化史**と文化史年表の希望者は県学事広報課へ。年表は上代から現代まで，代金300郵48円。文化史は明治から現代まで。代金400郵不要。あしかけ8年をかけて，今年4月に発行しました。

▽ **精神衛生法**ができて，今年で満9年になります。この法律は，精神病の予防や精神障害者の福祉をはかるために生れました。いらいらする，おこりっぽい，沈み込む，なんとなく家庭生活や社会生活がうまくいかない……これらはみんな精神衛生につながる問題です。

野菜でさえも必要量の6

農村だから、野菜のとり方はじゅうぶんなようですが案外に足らないのです。昨年の国民栄養調査が物語っています。

このたび昭和33年度の国民栄養調査の結果が発表されました。いままでより畜産食品が増加した点、食用油やくだもの類の増加した点が、とくにめだっています。量から質へ少しあて転換していることがわかります。この増加とあわせて、加工食品（かんづめ、ソーセージ類）とし好品がふえています。

×

ところが、動物性の蛋白質はまだ少なく、ビタミン類も不足しています。穀類にかたよって、副食の工夫が足りないと指摘しています。栄養のとり方は少しあて向上しているけれども、もっとバランスのとれた科学的な食事にしたい……と調査結果は訴えているのです。

栄養素の不足で、体に障害を示しているものが、国民の24％、つまり4人に1人という高い率になっています。山口県では、下関、萩、大嶺秋芳の四地区が調査対象でしたが、内容的には県内も全国も同じ結果を示しました。とくにすぐれた成績は出なかったのです。そして、消費世帯と生産世帯とに分けて調査した内容も、ほとんど違っておりません。

生産世帯が悪く、消費世帯はまあまあだという結果も、出ませんでした。穀類いも類、砂糖、野菜、漬物は生産世帯のとり方が多く、油脂、みかん類、海藻、し好品類は消費世帯の方が多かったのです。黄緑野菜類は、生産世帯の方がとり方が多いとはいえ、1日一人当り52グラムで必要量の⅓～¼といったありさまです。その他の野菜類でも130グラム内外で、必要量の⅔やっとという、実情です。両者をあわせても200グラムにたりない状態です。みかん類やトマトは消費世帯の半量、卵類でも半量でした。肉類は⅙内外、魚類もやや少なくなっています。畜産物で乳や乳製品のとり方も少ないのです。

×

食費にいくら金がかかってもというのであれば、べつに苦労はいりません。しかし、そうした経済上の問題ばかりでなく、まだまだ工夫の余地があると、公民館の婦人学級では栄養講座を山口保健所の指導で、毎月1回開くことにしています。

栄養講座をすでに2回

今月末に3回目を開く予定です。各地区ごとにやっていますが、大内と仁保は地区単位、小鯖はやり方をかえて部落を指定しています。月に1回、6カ月かかって終了する予定です。たりない栄養をわたくしたちの周囲にあるものを工夫して、どう料理したら、おいしく安く食べられるかを実習するのです。小さな芽生えですが、栄養改善の具体的な動きは、大内町でも動きはじめました。

小鯖では1区がモデルケースとして講座を続けています。主婦の8割が参加して、とても熱心です。地区単位の仁保と大内では、50～60名ぐらい参加しています。この講座では料理の工夫ばかりでなく、必要な栄養をとるためには、年間どの野菜をどのくらいの量作らねばならぬか、も研究いたします。栄養の問題から逆にわたくしたちの生活設計を考えてゆこうというわけです。

出席している婦人たち全部が、もうカロリ計算ができるようになったということです。毎日毎日の食事に必要な栄養素とカロリーの検討がくわえられるところまできました。山口保健所が仁保の婦人学級で調べたなかで、具体的に注意したいといっている点は、つぎのとおりです。

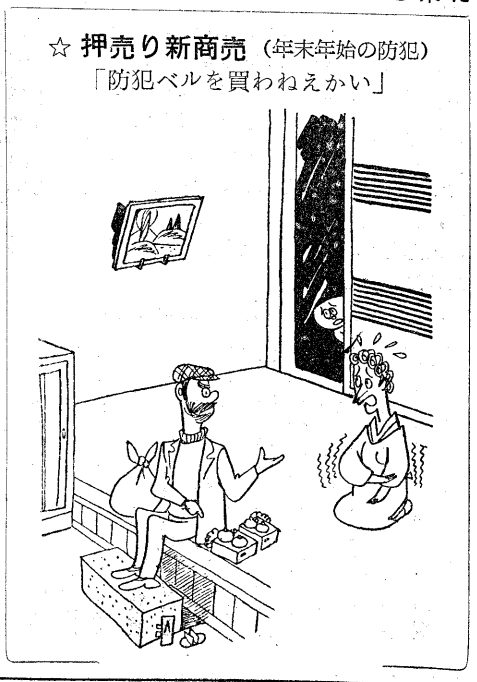
「色のついた野菜を作ってほしい。売るよりもまず自家用に食べることを。豆のとり方が少ない。豆製品はもっとあると思ったが、意外だった。煮豆などはとんど食べていない。みそなどかなり使われていると思ったが少なかった。それに海藻類も予想したほどなかったのは残念であった。」

この婦人学級の栄養講座では、六つの基礎食品の歌をうたっておりま す。NHKの三つの歌のふしでうたえばよいのです。表とにらめっこしてて、ひたいにしわをよせなくてすむだけ便利です。六つの基礎食品の歌を紹介しましょう。

1、お魚野菜と数ある食品、栄養のうえからわけましょう。
いつでも緑や黄の野菜、これにビタミンAがじゅうぶん。
2、だいこん、白菜、キャベツやきゆうり、Cのもとです第2類。
肉類お魚、豆類、卵。蛋白源の第3類。
3、米麦いも類、ぱんそばうどん、力のもとです第4類。
魚の骨や牛乳海藻、カルシウム源の第5類
4、菌類食品、日光浴は、せむしを防ぐビタミンD。
ふだんの献立て六つをたくみに、みんなおいしく作りましょう。

×

山口保健所が仁保の婦人学級で調べたなかで、具体的に注意した



小鯖八幡の大神楽、萩にゆく

――県民俗芸能大会――

11月8日、萩市の中央公民館で山口県民俗芸能大会が開かれました。古くから伝承され、文化財としての価値も高い七つの民俗芸能が出場しました。

小鯖八幡宮に伝わる大神楽も、この一つとして参加したのです。民俗芸能の中には、能、狂言、神楽、田楽、舞踊、歌舞伎、人形芝居、民謡などがあります。わたくしたちの生活に深く根をおろしている古い文化の姿をさぐり、祖先の遺した無型文化財を、永く守り育ててゆく気風をかもすために計画された行事でした。

大神樂は18人でやる

笛が7人、かね4人、太鼓2人獅子2人、鼻舞（獅子の鼻の前で舞う小天狗）1人、お玉（おかめの面をかぶる）1人、ひょうげじい（ひょっとこ面）1人で、18人もの協同で舞う神楽です。

これだけの人数をそろえるのでなかなか大がかりなものです。平安中期に宇佐八幡からまねいた小鯖八幡宮は歴史も古く、現在の様式は江戸中期ごろだが、実際の起源は室町以前だろうといわれています。

紙くず一つなかった

公民館運動会

公民館が主催する町民運動会は今年もにぎやかに3地区で開かれました。大内は1日、小鯖は3日仁保は8日でした。公民館でわたくしたちが集会する場合と同じように、運動会のあと紙くず一つないように始末しようと、最初に申しあわせたことが、今年は立派に守られました。小鯖は雨天のため途中で中止して実現しませんでしたが、大内と仁保は実行できました。翌日登校した子どもたちも、きれいだなと喜んだそうです。

悲しみは、いつまでも深い →

11月6日、今年の慰霊祭は仁保井開田の招魂社で開かれました。小鯖大内から5台の貸切りバスをつらねて遺家族が参加し、おごそかに盛大なお祭りでした。遺児の靖国神社参拝の作文には、だれもが涙をしぼりました。

×

おとうさん。わたくしの家はおとうさんのおられない寂しさを除いてはどうにか幸せです。おかあさんも苦をとられたが元気です。おにいさんもわたしたちのために、いっしょうけんめいに働いてくださいます。おねえさんも今年から病院に勤めました。家のなかは貧しいながらも幸せです。わたしたちの願いは、兄妹が力をあわせて、おかあさんをおとうさんに合わせてあげることです。いままでの14年間、ちょっとつらいことや苦しいことがあれば、おとうさんが生きていてくれたらとなんど思ったかしれません。そう思うと、おとうさんのおられる家庭がうらやましくなります。でも……なんど考えてもしかたがないことです。もうこんな戦争という恐ろしいことが起らないようにすることは、きっとできると考えております。

（仁保中3年、栗林俊子さんの朗読の一節）

便利帳

▽ **家畜**の新しい尿には、植物の根に有害な有機酸などを含んでいます。夏なら2～3日、冬でも一週間おいて、3～5倍にうすめる必要があります。使う前にうすめるよりも、貯蔵中にうすめると窒素の損失を防ぎます。またうすめるとき、過燐酸石灰を全量の3％ぐらい加えると、尿のなかの3要素のつりあいがよくとれます。

▽ **ビタミンA**の一日の必要量は、人参50グラムのなかにたっぷりあります。同じ量をさつまいもでとろうとすると、一日に20キロ以上も食べねばなりません。人参のなかのカロチンをビタミンAに変えるためには、油といっしょに料理することが必要です。金時人参の赤い色はビタミンAとは関係がなく、朱色と黄色をあわせたのがよいのです。

▽ **家庭経済**を合理化するには、出納簿を使用目的や品名で集計し検討すると有効です。月別集計を出して、結果を分析してみることも手近かな方法でしょう。集計してみると、思わぬムダが多いことにびっくりされるでしょう。

▽ 寒い冬には**体操**が体の調子を整えてくれます。寒さがきびしくなるにつれ、体を動かすことが少なく、血のめぐりも悪くなりがちです。体のあちこちの関節が秋の過労でこわばるのが神経痛の原因だといわれています。毎朝ラジオ体操を家族そろってするのも有効ですが、それ以外のときでもふしぶしの痛いところの曲げのばしは、きき目があります。

大内町広報

昭和34年12月18日
第54号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

さようなら昭和34年

ことしも、もうすぐ終ろうとしています。一年のたつのはほんとに速いものです。町政のうえでも、未解決の問題を、昭和35年で取組まねばなりません。いろいろとご協力をいただきほんとうにありがとうございました。

私たちの広報

広報も、もう54号に達しました。今日までずいぶんとまずい編集であったと反省しています。新年からは、みなさまがたのご協力をよりあわせ、もっと私たちの生産と生活に結びついて編集したいと念願しております。どうぞお便りもどしどしお願いいたします。

どんな方法で町造りを
自由に意見をだしあいました

豊かな町造りを、政治、経済、文化とすべての分野で押し進めてゆくための話しあいを、17日研修館で行いました

大内町新生運動推進協議会の委員が、この日研修館に集ったのです。町造りを進めるのに、どういう方針をとるかということが、大きなテーマーでした。町造りは、政治、経済文化の各分野にまたがって、幅も広く奥行きも深い難問題です。町が自治行政のうえで解決してゆくものも、また私たちの家庭で、改善してゆく生活や因習の問題も含んでおります。この幅広いものを取捨選択して私たちの実行計画を作り、いろいろ悪い点を反省してゆくのが、新生運動推進協議会の役目です。協議会は農協や森組、青年団婦人会、和牛らく農、養鶏といった生産団体、執行部、議会などの代表者で組織しています。

あれもこれもしたい

住みよい豊かな大内町を造るために、どんな点を改善してゆくかを、基本的な立場で事務局がまとめてみました。ところが、あれもこれもしたいことだらけで、〃したいという希望〃をまとめたようなものになってしまいました。さてこれを実行することになると、大きく二つの分類ができます。一つは町の行政のなかで処理し、財政的な裏付けがないと実現できないもの。もう一つは、部落や私たち町民個々の家庭で、やろうと思えばやれることがらです。新生運動には、私たちの自覚で押し進めてゆく部分もあるが、財政的な裏付けがないと、どうにもこうにもならぬ部分もあります。これが、いまの大内町の新生運動の背負っている大きな悩みです。しかし、私たちに与えられている宿命のなかからなものを、知恵をしぼって解決してゆく以外に方法はありません。〃したいことだらけの希望〃のなかからなにを実行するかを検討してゆく——のが、新生運動推進協議会のこれからのつとめになります。

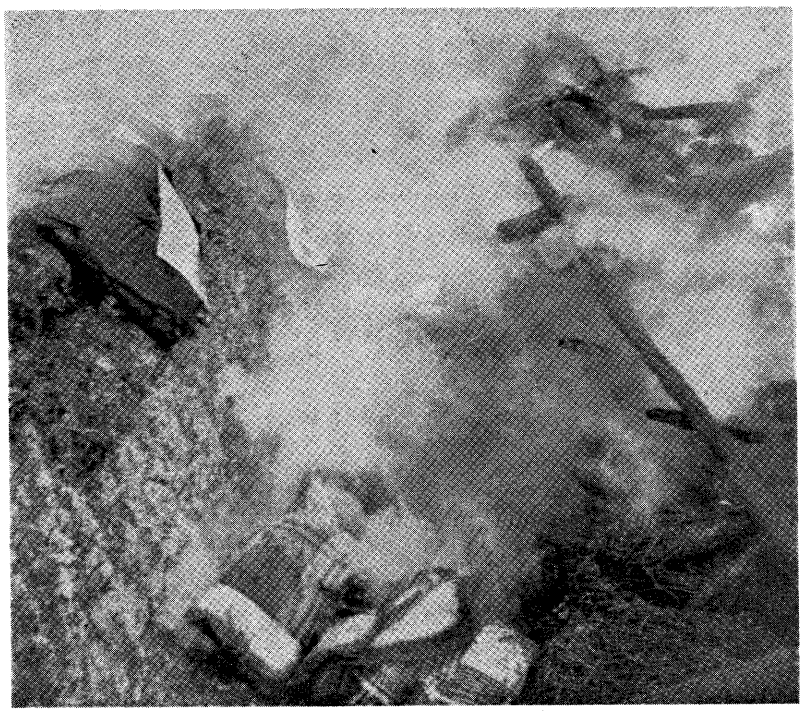
一月から、二つの部会はさらに研究を進めてゆきます。少ない財源をどうしたら有効に使えるか、私たちの収入をふやし、生活水準を高め、不平と不満の少ない社会生活を営んでゆけるかを——です。

財源なくてやれるもの

町造りは部落や私たちの家庭で、自覚があればやれる部面もたくさんあります。生活の因習を捨て、ムダをはぶいてゆくことも、私たちの生活を合理化することになります。それが共同化に通じ、経営の科学化に通じて、財政上のなにかの措置と結びついたとき、炎は大きく燃えあがるでしょう。油のない燈心に火はつけられぬということわざがありますが、油のある燈心は、私たちが日常生活のなかで、知恵をあわせ、協力をよりあわせてゆくもののなかにあるのではないでしょか。油のある燈心は、これからの大内町の新生運動を進める大きな筋金になっております。

毎年1千500万しか出ない

大内町の財政で、毎年なにかの事業に投資できる金は、約1千500万円です。現在の行政内容を維持してゆく人件費や管理費などでどうしてもこれ以上出しにくいわけです。だとすると、この財源をどうすれば有効に使えるかの問題になります。子どもたちの教育を考えて、学校の古い校舎を改築するのも一つの方法です。産業振興に使って、一農家当りの平均収入をふやすことを考えるのも必要です。有線放送が全地区にわたるよう、補助金として使うのも方法でしょう。いずれにせよ足りない財源を、どうしたら有効に使えるか町造りの方針を、取捨選択して重点的にきめてゆくのが、これからの仕事です。そこで17日の会合では、36名の委員を二つに分けて、部会を作りました。一部は産業の振興と治山治水計画。二部は交通・通信の整備、社会福祉、教育、消防、保健衛生、部落組織——となっています。担当を分けて研究しあおうというわけです。



とかく年末は火事・アキス・交通事故

冬の間は、一年で一番火事の多い季節です。とくに年末ともなると。下の写真は12月6日大内茅野神田であった火事の現場写真です。家財を全部焼きつくして、精米機と自転車の残骸だけが残っていました。火事はなにもかも灰にしてしまうので、ほんとに恐ろしいことです。

アキスも、年末にはぐんとふえます。アキスにかぎらず強盗、殺人もふえますが、昨年暮県下の犯罪は、なんと1千24件もありした。歳末大売出しなどには、きまって各地からテキ屋が入りこみ、タタキ売りや五目ならべなどをはじめます。これらはたいていインチキです。またかっぱらいやスリの横行するときでもあります。

交通事故も、気持があわただしくなるせいでしょう。いたましい事故がいつものなん倍と起ります。あれもこれもしてと、せきたてられる気持はわかりますが、不具になったりあの世ゆきとなったら、たったの数秒でとりかえしがつきません。どうぞ年末の通行はごゆっくりと。

▶生産性向上が第一の条件◀

他の産業の近代化と合理化が進んでいるのに、農業だけがひどく立遅れています。大内町でも、約3割の農家が脱落寸前にあるといわれています。生活はますます近代化して、支出もふえてゆきますから、農業も生産様式の転換や生産性向上で、近代化してゆく必要があります。どうしたら合理的に収入がふえるかを追求してみました。農林金融、農研グループを支える青少年の育成、潜在失業者をも含めて二三男対策、土地改良、畜産、果樹林業と、各分野にわたっています。とくに重視しているのは畜産です。今日まで大内町農業の主流であった米麦作は、耕作の基本条件を整備して、より合理的に改善してゆきますがこれだけではとても追つきません。林業もたいせつな収入源ですから、決してなおざりにできませんが、新らしく畜産を興して、肉と卵と乳をうんと生産しようというのです。国民の食生活の変化が、畜産の将来を約束しています。和牛を役牛の域から脱して完全な副業として肉肥牛の生産体制をつくることや、乳の生産費を安くするため、酪農共同経営のモデルを育てることなどを計画しています

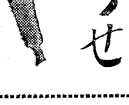
基本的構想の三つのやま

推進協議会で検討した町造りの基本的な構想には、三つの重点があります。それは産業振興と、公民館活動と、部落組織の再編成です。左右の記事で考え方をまとめました。

▶部落組織の再編成と公民館◀

従来は役場、農協、森組、共済と、各団体がそれぞれ部落に世話人をもっていました。団体とのタテのつながりはあっても、それぞれの世話人が部落内で横につながるということは、あまりなかったのです。このバラバラの状態を部落という自治組織のなかで統一していただこうというのが、部落再編成のねらいです。役場の仕事でいえば、駐在員にばかり負担がかかって、そのために行政も不徹底になるきらいがたしかにありました。すべての団体と部落のつながりを一本化し、部落全員の責任で消化してゆく体制をつくろうというわけです。そして、部落が、部落造りの主体制をもって、あれこれと改善の要求を出せば、団体も従来のやり方に反省を加えてゆくことになります。公民館活動は、主体制をもった部落造りのお手伝いをする方向に、きりかわろうとしています。従来の青年、婦人学級は、参加者が固定してしまって、とくに部落作りとの関連で運営を考えにくくなってきました。移動公民館的な活動で、直接部落に飛び込み、生産と生活に直結した一つ一つの問題の解決に、お手伝いするのです。目前に困っている問題の解決と取組むのです。

お知らせ



▽ **成人記念論文**を県の教育委員会が募集しています。共通課題は〃選挙権を得て〃選択課題は、◇私はこのように働いている。◇こんなことを社会からなくしたい◇明るい農村をつくるには◇成人となっての自覚——。共通は800字以内、選択は4千字以内で、両方書かなくてはなりません。くわしいことは町の教委へ。

▽ **伊勢湾台風**の復旧に、国からの融資が500億円ほど増額になりましたが、そのうち250億は郵便貯金の増加でまかなうことになっております。このぶんだけ全国から余計に貯金していただこうと、郵便局では努力しています。定額（6月以上）貯金は、6月ごとに6分の復利です。半歳すぎたらいつでもだせます。

▽ **門松**は山林資源を守る立場から、ぜひ枝松にお願いしたいものです。わずかでも、全国にまとめるとお話にならぬほど大きな数字になります。

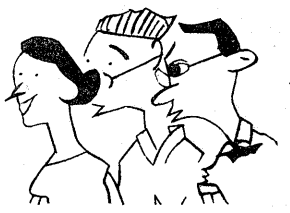
▽ **川にごみ**を捨てると、災害の原因を作ります。門松と同じ例ですが、ゴミのうえに土砂がたまり、とうとう大きな障害物をつくるからです。川にごみを捨てることは、ぜひやめていただきたいのです。

▽ **ねずみ**駆除の運動を山口県の環境衛生推進協議会が、明年2月県下いっせいに行います。捕えたねずみ一匹について抽せん券が一枚あて出ることになっています。大内町では、現在駆除をやっている最中ですから、ねずみのシッポを町民課の衛生係か支所へおだしいただくと、券と交換いたします。

新年から……話しあいのグループはいかが

県の選管は、話しあい運動のモデル地区に大内町を指定しました。そこで、先進地の様子を全国的に拾ってみました。

選管が指定したモデル地区であるからといって、公明選挙だけの話しあいをする必要はありません。私たちの生活に関するどんな話題でもかまはないのです。



前におつめんさんせ—

全国的に拾った、話しあいの例を紹介する前に、まず私たちの集会の模様を反省してみましょう。改善の必要な点がたくさんありそうです。

定刻をとっくにすぎて、だいぶ時間がたちました。やっとみなさんが集りました。ところが、前の方には5、6人、あとの人は出入口のところにゴチャゴチャ座っています。〃あとからくる人が座れないから前におつめください。〃貴重な時間を会場整理に使うことはありませんか。前におつめんさんせ—になる原因はつぎのようなことがらでしょう。

出しゃばりと思われたくない。日ごろ使いもしない言葉で会合するから窮屈だ。手洗いにも立ちにくい。途中で帰りにくい。どうせ面白くない会合だし、どうせお偉方たちだけで相談してきめてしもう会合だろうから、うしろで雑談していた方が面白い。

この原因をなくさねば、いつまでも前におつめんさんせ—になります。

一部の人の発言に左右される

よく発言することは決して悪いことではありませんが、発言しない人たちをそのままにしておくとうまくゆきません。よく発言なさる方々にだけ集ってもらい、〃どうしたら発言しない方々により多く発言してもらえるか〃を相談なさったらいかがでしょう。

発言しない人たちには、つぎのような理由があるようです。—発言になれていない。弁のよい人に圧倒される。いっても仕方がないとあきらめている。へたな発言をして笑われたり、悪口をいわれる心配がある。—といったことではないでしょうか。

司会がまずいと面白くない

苦労に思う司会の役も、やると楽しみになります。司会の勉強はむつかしいものではありませんし、大内町でも司会のうまい人をたくさん養成しなければなりません。

運動の実った型はいろいろ

私たちの日常を、話しあいによって改善してゆくのですから、どんな型であってもよいわけです。静岡県の稲取町では、12のグループにわかれた婦人社会学級で効果をあげました。新潟県佐渡が島畑野村の新田グループは、(戸数11戸の部落)家計簿や農休日、労働の分担で話しあいを進めました。愛媛県の川瀬村では〃家族計画の母親グループ〃が効果をあげました。ここまでは自分のくらしを見つめて、いつも一つの希望がもてるようになった。

▽話題の貧しかった私たちが単なるうわさでなく、地についた生活問題を考え、政治、社会へと眼をむけるようになった。

▽おたがいの考え方の相違点を知ったし、一人一人の発言がたいせつにされることによって、自分の責任を知った。

知恵を交換するグループはこうして、しっかりと生活に結びついたのです。

これで川瀬の婦人は話題が違うといわれるほど実りました。石川県能登部町の〃知恵を交換するグループ〃も、わずか8名の小さな集りです。そして、毎日のくらしをふりかえり、少しでも豊かな生活をすることがねらいだったのです。山形県楯引村の生活学級は、全村の女性を対象に、大がかりな話しあいで効果をあげました。実った型はいろいろです。

石川県能登部町の知恵を交換するグループは、面白い動機で発足しました。ある日雑談をしていました。娘の半えり一枚を探すのに親子で3時間もかかった話、大事な書類がみえなくなって、主人から〃あほう〃とどなられた話など……それぞれ、それなら私もそんなことがあったということから、なんとか考えようということになったのです。わずか8名が発足した〃知恵を交換するグループ〃は、つぎのように話しあいを進めました。

自信のもてる生活がしたい

知恵を交換するグループ

私どもはどうしてこうさがしものをするのだろうというテーマーでは、もの忘れを防ぐ黒板だの、分類箱や札はりの方法を実行しました。ところが分類箱は不成功に終りました。ある人は分類箱がみつからずに新らしく買ったりしたのです。生活の基本的な態度、方法というものから根本的に考えなおさなければ……とグループ員の考えが変ってきます。家庭内の子どものしつけも分類につながります。農繁期に備える方法、明るい家庭をつくりあげるには、生活そのものを話しあいのなかで見つめる態度が生れてきました。愛媛県の川瀬村では〃家族計画の母親グループ〃が効果をあげました。ここまでは自分のくらしを見つめて、いつも一つの希望がもてるようになった。

▽話題の貧しかった私たちが単なるうわさでなく、地についた生活問題を考え、政治、社会へと眼をむけるようになった。

▽おたがいの考え方の相違点を知ったし、一人一人の発言がたいせつにされることによって、自分の責任を知った。

知恵を交換するグループはこうして、しっかりと生活に結びついたのです。

四つの県で先進地を視察

酪農と水田共同作業を主体に

11月下旬、議会の経済委員と農業委員会の委員が、四つの県の先進地を視察しました。九州で熊本県の天草、宮崎県の荘内町、佐賀県鳥栖市と嘉瀬町、中国地方では、広島県の高屋町でした。このたびのねらいは、酪農と水田の共同作業の視察でしたが、12月8日視察の反省会を開いた結果、嘉瀬町と高屋町とが、大内町の参考になるという結論が出ました。

大内町にとって参考になるということになったのは惣明牧場(広島県高屋町)と、北島酪農組合(佐賀県嘉瀬町)でした。この二つの内容をご紹介いたしましょう。

北島酪農組合は、水田地帯の酪農をやっていて、平均170アール(1町7反)の耕作をやっています。組合員35名、耕作510アール(51町)で、平均反収を8俵半ほどあげています。乳牛は42頭ほどいて、一部を共同管理にしています。電気さく乳機は3台あり、共同でさく乳しています。平均170アールの耕作面積をもちながら、なぜ酪農をそのうえやるのかという疑問がわきますが、回答はこうでした。

「農民にとって、年に2回米がとれたらどんなにいいだろう。しかし2毛作するのは、私どもの地理的条件でむつかしいので麦作の収穫に匹敵するものを探してみた。佐賀にグリコの製菓工場もでき、乳販売の見通しもついたので始めた。」

とまあ、こんな回答でした。

収入は永久に平行線

米、麦作を主体にして、1年1回の収穫では、経済的に恵まれないという考え方と、もう一つの理由があったのです。

農家個々の収入の問題で、3ヘクタールの人も1ヘクタールの人も、同じに農繁期をむかえいつまでも同じ経営で、つまり永久に平行線だというわけなのです。この平行線を破るためにも、酪農による収入増加をはかる必要があったのです。この北島酪農の特徴は、青年の考え方を尊重していることです。若い者を主体に、将来は共同管理にもってゆきたいとのことでした。共同経営による水田と酪農の組織化に大きな夢をかけていました。

惣明牧場は山の中

佐賀の北島酪農と違って、広島県高屋町の惣明牧場は、山の中にありました。27戸がやっていました。牧場は部落から600メートル離れた区有林のなかにありました。発足の最初は生活改善です。わらぶきを瓦ぶきにかえようということで、現在どの家も瓦になっていました。台所改善も全戸終っています。共同炊事も計画したけれど実現できなくて、非常に残念だと部落の代表の話でした。昭和32年共同栽培で茶、しいたけ、養鶏、果樹を始めたそうです。みんな成績が悪く、現在養鶏だけが残っています。放牧場の肥料には鶏糞が非常によくきき、酪農やるならぜひ養鶏と結んだ方がよいとのことでした。250アール(2町5反)の放牧場に乳牛9頭、肥牛3頭がいました。

冬は家、春夏は山に

山は共同畜舎ですが、11月寒くなると各戸に牛をおろします。共同経営ですが、飼っていると愛着がわき、その牛ばかりかわいがるそうです。さく乳もほかの人になれぬので、1月交代の飼育だそうです。山を活用するとなると、これから大内町にも、とり入れる場所がありそうです。農作業の方ですが、とくに割当てをせず、手のすいた人が出ています。農作業は共同で、面積の大小は問題にしていないとのことです。不平が出そうですが、それも現在はないそうです。若夫婦の家が不平を持っていたが、主人が結核で入院している間、いっさい部落で面倒みたら涙を流して心から感謝したと聞きました。だから、惣明牧場のある部落では、生活全体の共同化をやっており、一部落が一家みたいなものでした。違うといえば田の面積の差による収入の大小があるだけです。佐賀と広島、まったく違った運営でした。

養鶏農協の糸つづり機

川向いの養鶏農協では，12月2日飼料倉庫やふ卵室の落成式を行いました。約100坪，186万円に内部設備の粉砕機など34万円，合計220万円をかけました。発足以来10倍の売りあげをみせている養鶏農協に，こんど新らしく設備したものに飼料袋の口をぬう糸つづり機があります。

便利帳

▽**しいたけ**用原木の伐採は、春芽の出るまでですがいまごろが一番よい時期です。原木はくぬぎとならがよく、くりでも結構です。死節(枝の枯れ落ちたあと)には雑菌がついていますので、この部分を切落します。雑菌の打込時期は、切口に小さいひびが、三つ四つ入ったころです。伏込み場所は、6乾4湿、日のちらちら入るところです。くわしくは経済課へ。

▽**稲の種子更新**は、大内町で全体の1割ぐらいしか行われていないようです。種籾の純粋度は3年しかもちませんから、毎年町内の⅓を更新してゆくのが理想的です。4年目には採種ほでとれたよい種籾にとりかえることが必要です。採種ほの種でないと、友人や親戚からもらった種籾でも、種子としては古くなっています。

▽　すっかり冬になりましたが、**家畜の防寒**対策はできましたか。家畜にもっとも害を与えるのは、畜舎の隙間風です。風向きを考えてむしろやワラ束を張ったりするのです。床の乾燥にも工夫し、清潔な敷ワラをたっぷりやるのも必要です。とくに寒い夜は、乾草など与えると、家畜が空腹を感じなくてもすみます。**乳牛**は乳首にひびが入るとしぼるのを嫌います。乳房炎になるおそれもありますので搾乳の後は清潔な布で水気をふきとり、ワセリンなどぬると理想的です。**鶏**は寒さに弱く零度以下になると産卵も衰えます。牛馬以上に防寒対策が必要です。

▽カルシュウムのとり方が少いと、骨や歯が弱くなりひよわな体になります。甘いものばかり食べて野菜をとらぬと、体の細胞のカルシュウムが不足します。血液が酸性になり、いらいらしてきます。怒りっぽいのもカルシュウムの不足の場合が多いのです。牛乳、山羊乳、煮干など骨ごと食べる小魚、海そう、豆腐などに多く含んでいます。

▽高血圧症の人は、新鮮な野菜や果物をとる必要があります。この中に含むヴィタミンC、D、Kは、血管を強めます。高血圧にありがちな便泌も防ぎます。脂肪は調理用として、1日10グラム以上とらぬようにし、食塩も制限した方がよいのです。水をたくさんとると、血液の量がふえて心臓の負担がまし、血圧も当然高くなります。

▽腹痛、食欲がない、むねやけ、げり、便泌、めまいなどはかい虫が原因で起ることがあります。貧血、いきぎれ、どうき、むくみは十二指腸虫が原因です。人糞を肥料にするときは、改良便所などで完全に腐ったものを使えば安心です。寄生虫の卵は夏で三カ月冬で六カ月たてば、ほとんど完全に死にます。

▽ひび、あかぎれなどを防ぐには、手足をいつもきれいに洗い、水分がなくなるまでじゅうぶんふきます。そのあとに、ワセリンやコールドクリームを塗ってまさつします。ビタミンAの多い食品とるのも効果があります。しもやけは、血のめぐりをよくすると予防できます。

保健メモ

医療費年ごとにふえる

国保の医療費が，1年ましにふえています。ということは，½を負担する私たちの医療費もふえてきているわけです。どんなところに原因があるかをいろいろな角度から調べてみました。

12月9日研修館で行つた予防注射。郡→内で秋穂町と大内町だけ，注射が無料です。注射もジフテリヤと百日せきの混合になると，1人100円ぐらいかかります。

一位は胃腸病・つぎが歯と結核

33年度で一番多く医療費を使っているのは、胃腸病でした。約360万円です。農繁期など、はげしい労働が高いカロリーを要求しますが、それを主食だけでとる悪い習慣が、まだかなり残っているからでしょう。私たちの日常の食生活をあわせて、反省させられました。胃腸病のつぎが歯の医療費、ついで結核の順でした。歯が355万、結核は247万円の医療費がかかっています。

大内中44%がむし歯

胃腸病について歯の医療費が多いのは、いれ歯などの経費がはいるのも原因の一つです。ところが、老人層ばかりでなく、小中学生にも治療を必要とする児童生徒が多いのです。小中学生のむし歯と近視は、全国的な問題になっていますが、大内町もその例外ではありません。大内中で全体の44%、ほとんど半数近くが、〃治療を必要とする〃になっています。歯の場合はとくに早期治療が必要で、むし歯の初期なら、時間もわずかですみます。

患者数は仁保が多い

つぎに、患者のたくさんである部落を、病気別に分類してみましょう。胃腸病では、井開田西、北河内、揚山、高畠深野、下千坊の順になっています。高血圧では長野、北河内、上千坊、深野の順序です。神経痛は、松柄、北河内井間田東、小鯖11区の順でした。なぜ患者が多いのかは、新らしい部落造りの問題点として、みんなで考えあうことがらではないでしょうか。

病気は、もちろんどの部落からもでておりますが、患者の数が多いとなると、労働と食生活の面から、根本的に反省を加える必要があるのではないでしょうか。全体としてみると、大内、小鯖よりも仁保地区の方が、患者数は多いのです。

3位以下の病気は

すでにのべた胃腸病、歯、結核が、病気の横綱と大関に当ります。それ以下の医療費を、金額の順にならべてみましょう。

扁とう腺，肺炎気管支炎	129万
ケガ	100
皮膚病	95
神経痛	83
ガンと血肉しゅ	82
精神病	78
高血圧	75

受診回数ふやし早めに治療

もちろん国民健康保険は、私たちの健康を保ち生命を守るための制度です。だから医療費が年ごとにふえてゆくのは、それだけ利用度が高いわけで、むしろ喜ばしい傾向ともいえます。倹約だといって、ろくに栄養もとらずに若死した人があったとしたらどうでしょう。国保財政を健全にしようと医療をがまんして、とどのつまり助かる命を捨ててしまうのと同じではないでしょうか。国保財政は赤字になっても、私たち利用者が健康を喜びあう方が、本来の趣旨にそいます。

しかし、実に困ったことですが、医療費がふえればそれだけ保険税があがります。この制度が、元来組合員おたがいの助けあいですから、無病息災な人には、「高いこと」が不満の種になります。

せめてもの対策は

36年度から、法律によって国保事業で入院の経費（食費など）を見ることになっています。そうすると、1人当り約100円、一世帯当りで約500円見当保険税はいまより上ってきます。制度の目的にそい、また私たちの税負担を、少しでも少くするせめてもの対策は〃**早期受診**〃です。どんなに回数を多くしても、早めに治療すれば、医療費はきっと安くなります。月によって患者の増減が大きいのは、私たちが相当にこじらせて治療することを示してはいないでしょうか。早期受診は、結局私たちの家計のプラスでもあります。

保健婦が仕事を通じて見たり聞いたりしたなかで〃こんなふうに改善したらなあ〃といったことが、たくさんあります。とくに不合理性のめだつものを拾ってみました。

×

カゼをひきやすい子どもを調べるとたいてい老人が大事にしすぎるといった面がでてくる。若いお嫁さんは皮膚を丈夫にするため、薄着で育てようとしても、としよりが「それはいけない」とやめさせる。そんな子どもにかぎって肺炎など起している。もっと日常の習慣のなかで薄着を徹底させるといい。……ほんとは朝起きて、一度素裸にして着がえをさせるといいのだが……

×

厚着・かけぶとん・妊婦の労働
――保健婦のみた改善点――

かけぶとんの考え方がどうもおかしい。敷ぶとんを厚くして、かけぶとんを軽くした方が、病人も楽だろうに。敷ぶとんを二枚重ねるのは、ぜいたくなんだ――という説明を聞かされた。それに、わらぶとんは、もう死ぬときをまっている病人が使うもんだといういい伝えがあるそうだ。マットレスは快適でも値段が高い。わらぶとんは農村にぜひすすめたいものだ。床下からの冷えを防いで、かけぶとんを毛布などくわえた軽いものにしたら……たしかに病人はよろこぶ。

×

産前産後の労働が早すぎるようだ。受胎調節の指導をするとよくわかる。子宮がさがって、ペッサリーがよくかからない。下腹に力を入れる労働（かつぎ荷など）をして、腹圧のためやわらかい子宮がさがってしまったと考えられる。七カ月ぐらいからのかつぎ荷は、どうも感心しない。産後ももちろんだ。それと――妊婦の栄養のとり方がまだ不足している。戦時中に産れた子どもは、がいして背が低い。やはり栄養不足のせいだ。

×

伝染病もあとをたたぬ。手洗鉢式のものはどうもいけない。流水で洗っても4割は菌が残るぐらいだからなおさらだ。

平生町を除いて、どの町も昨年より医療費があがっています。大内町は2番目ですが、1位の阿東町は給食がある点、3位の美東町は歯科の入歯を国保で取扱っていない点で、ほとんど大内町と同じになります。国保の医療費がふえれば、きまった割合いでもらう国の補助も、それだけふえます。しかし、保険税の方も高くなります。大内町の国保事業に国が補助する金額を、1人当りにすると約400円になります。保険税の1人当り630円に比較すると国の補助も決してバカになりません。保険税に国の補助をたした額と1人当り医療費の差額は、町の一般会計からうめています。

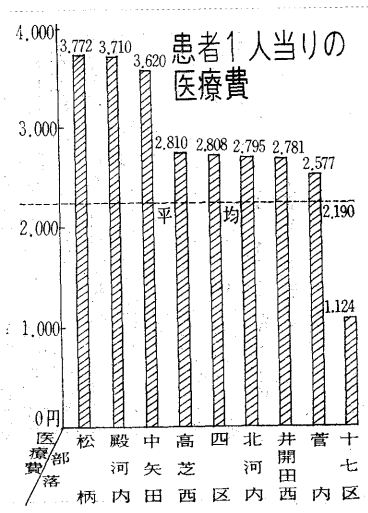
国の補助1人当り400円 ↓

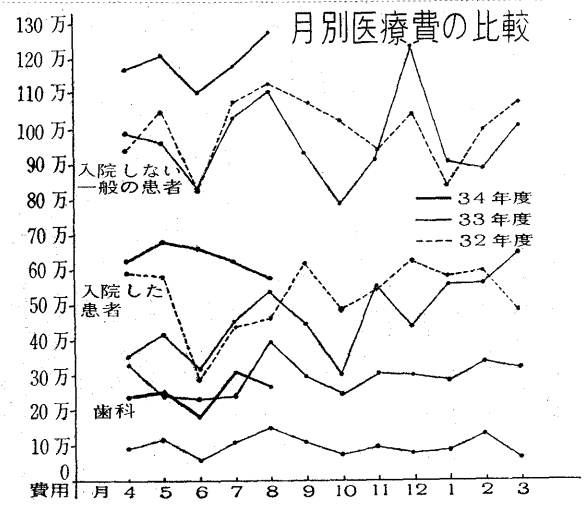
↓ 患者は7，11月が多い

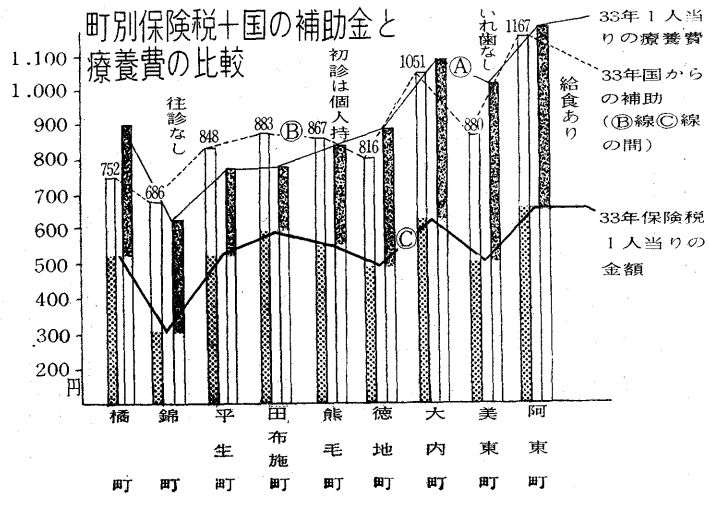
このグラフは、入院しない患者、入院した患者、それに歯の治療をした患者の三つに分類しました。ごらんのとおり7.11月は患者がふえております。農繁期をよけて、前後が多いのです。いそがしさにまぎれ、知らず知らずのうちに病気が重くなっているのでなければよいが、と心配しています。歯の方は33年度から入歯を取扱っているので、ぐんと金額がふえました。治療の必要な患者がおしかけたからでしょう。それで34年度は横ばいの状態です。歯以外で、今年度の医療費は（太い線、8月まで34年度）、33年度をこえています。

患者1人当りの医療費を、部落別に計算してみました。高い順から八つ、それに低い小鯖17区を参考に入れて作ったのがこのグラフです。このグラフで想像すると、高い部落には重病患者がいるか、または病人が多いかのどちらかです。病人が多い場合は、なぜ多いかを、部落の公民館活動のなかで検討したらいかがでしょう。この金額は、年間1人当りの医療費で、実際には½を個人が負担します。だからこの平均額は右の表の1人当りの金額の倍になっています。入院の場合は食費や諸経費がこのほかに必要です

↓ 医療費の多い部落は







▽火事の原因を調べると、15%をたき火が占め、しかも最高の率です。たき火による火事の内容は、ほとんどが後始末の不じゅうぶんか、子どものたき火です。たき火の上を飛んで遊んでいて、大やけどをして死亡した例も毎年出ています。

▽中学や高校を来春卒業するお子さんのいる家庭では**進学と就職**に頭を痛めておられるでしょう。進学や就職は、子どもの希望と能力を考えて決めるのが理想的です。両親の虚栄心から、子どもの嫌がる方向を無理強いして、不幸を招いた例もたくさんあります。そこで、学校の担当の先生とよく相談されるのがよいでしょう。子どものことを、担当の先生は長い間観察して理解していますから。決定するには、どこまでも本人とよく話しあって納得のうえできめ、まっしぐらに進めるように家族みんながはげましていく……こんなふうにありたいものですね。

▽**酒をのみ**、たばこを吸う少年がふえています。警察で補導した少年は年々ふえる一方で、昨年県下で1千300人に達しています。警察で発見した数だけでこれはどですから、常習的な少年は少くともこの5倍には達するでしょう。精神的にも肉体的にも、発育途中の少年に与える害は、はかりしれません。喫煙が習慣になり、たばこ代ほしさに罪をおかす少年も少くないのです。

▽**冬休み**はとかく夜ふかしの悪いくせが。前もって約束時間をきめておくのも方法です。

郡婦人会の研究発表が、11月下旬大内町で開かれました。

真剣な発言ばかりで、参加者一同深い感銘を受けました。

こんみり聞いた生活の工夫と体験

役場横の研修館は、郡内各地からつめかけた婦人、それに町内の婦人とでびっしりでした。13人の発表者のなかに、地元大内町から8人がでて、なかなか活潑でした。とくに仁保の婦人会からたくさん発表者がでました。はじめて人の前に立った婦人が、原稿を見ながら一生懸命にしゃべっているほほえましい姿もありました。

×

どの話にも、日常生活で工夫した苦心がにじんでいました。どの婦人もが毎日悩み、考えあぐんでいる実際の問題にふれているので、共感の渦が会場全体を包んで、みんなしみじみと聞いていました。ただ、この日の発表テーマーが、家庭の電化、貯蓄の工夫、会の運営方法——といった三つの問題にしぼられていたのと、発表時間が1人10分と制約を受けたため、自由な意見発表が聞けなかったのは、まったくのところ残念でした。

こんな会合ならたびたび

「ほんとによかった。こんな会合ならたびたびでたい。」散会後、てんでに話しあっていました。これほど効果的だった発表の内容を、かいつまんでご紹介しましょう。紙面の都合で、町内の発表者は割愛しました。町内だけの集会でまた発表していただくこともできるでしょうから。

必要に迫られ電化

私たち親子3人が満州から引揚げてきたとき——みじめだった。いそうろうする場所とてなかったんだから。主人は行商、私はささやかな食料品の店。なんとかして自分の家や土地を持ちたいと願って、根かぎり働き節約を重ねた。里からもらったボロで衣料の厚生をした。散髪も私の手でやった。あのころのボロの厚生がいまは私の趣味となった。ほろ苦い感じである。あのころ——毎日野菜を入れた雑炊だった。働きつくすということばが浮んでくる。そ↘

↖んなことばはないかもしれぬが、私には実感がわく。親子3人くるもくる日もがんばった。

私たちには夢があったからだ。人並みの生活がしたかった。自分の家というものを持ちたかった。28年過労がたたってか私が病に倒れた。炊事、洗濯、子どもの世話、それにおつとめで、店、これだけがどっと主人の肩にかぶさった。主人までが倒れたら、一家心中しかない。思い切って電気洗濯機を入れた。ところがである。店番のかたわら洗濯ができるので、主人は山のような洗濯物の山をみるみるやっつけていった。とうとう汚れていない冬物までだしてやる始末。床の中で見ていた私は吹きだしてしまった。私が回復すると交代に主人が胃腸病で倒れた。幸い20日ぐらいで回復したが、このとき思い切ってミキサーを買ったのも、たいへん役に立った。その後ゆとりができしだい電気製品をふやしてきた。いまでは子どもの勉強を見てやることもできる。わが家の電化の歴史は、皮肉なことに家族の病気とともに発達した。しかし必要に迫られてこそ、これだけ買いそろえたんだと自分を慰めている。（秋穂　近本節子さん38才）

請負仕事で活動資金

小郡婦人会の柳井田支部だが、会員の協力で、活動資金を合理的にひねりだしている。会員の個人負担をかけなくてすむようになった。新聞の集金手数料（3%）簡易保険の集金（7%）小郡町の国保の保険税の三つがおもなものである。月に約10万円の集金をする。小さな手数料だが、会員が役割りを分担しあって、年間6万円の活動資金をうみだそうとしている。毎月の料理講習会、バスでの視察旅行もこの資金からだす。もっと若やいだ気持で体を動かそうとはじめたバレーボール、ともかくおたがいだれの前でも意見発表ができなければとはじめたおしゃべり会もある。

（間田清子さん　41）

10円貯金でフロを作る

私のところは半農半漁、55名の婦人会員がいる。31年7月ごろ、おふろが壊れて不自由な思いをしていた。一家7人、生活も楽でなく、修繕費もおいそれとでない。1日10円の積立てを思いたって会員にはかったら、大賛成だった。それぞれの家で不自由な点を、この積立てで解決しようと、主婦たちはささやかな夢をもった。で、月日のたつのは速いもの、この夏で満3年を迎えた。2口20円加入していた私の手もとには2万3千円の金が入った。3年目に達した願いだ。涙がこぼれてしかたなかった。貯蓄のありがたさを知った会員は、2回目にもどっと申込んだ。

（大海　堀川アキノさん　44）

相続放棄は3月以内に

農家で父親が死亡し、長男だけが農業用不動産を相続する例が多いですね。兄弟で分割をして、まったくの零細農になってしまうのを防ぐわけですが、3月以内に権利放棄の手続きをしないと、さきでめんどうです。3月以内にちゃんと書面で家庭裁判所に申し出る必要があります。ほっておくと、兄弟全部に権利がつきます。収入印紙50円と通信用切手10円2枚、それに相続関係のわかる戸籍のとう（抄）本を同封して、送ります。

通信文は—私はたれ某の財産相続を希望しない—とだけ書けばよいのです。これで家庭裁判所からは、本人の意志でやるのかどうかの紹介状が来ます。返辞を出せば、相続放棄はすむわけです。**養子縁組み**の場合、大部分の人がうっかりしていますが、お嫁さんとの婚姻届のみやって、養父母との養子縁組届けをしないと、相続権がありません。妻にはあっても、養子にはありません。役場へ養子縁組届けを出すだけでよいのです。

太郎さん、両手をあげて……→

12月12日の夜、場所は八反田の公民館です。7月号の広報で紹介した小鯖の演劇グループが、八反田の子ども会と楽しく遊んでいるところです。太郎さん、××して……という遊戯の一種ですが、さても うれしそうな子どもたちの表情ではありませんか。人形芝居や狂言舞踊に合唱ともりたくさん。約3時間を親たちも参加して、それはそれは楽しい一晩でした。

▷ もっといい教育にと——小中学校の先生の悩み ◁

12月1日　小鯖小学校で、町内の小中学校の教育研究会がありました。小中学校の校長教頭が集って、学校を管理してゆくうえの問題や教室での教え方、校外活動について、いろいろと意見の交換をやったのです。子どもの教育については、もう学校の先生にまかしてあるのだからというのでは、ほんとうの教育にはなりません。学校の先生がどんなに悩みをもっているかを、家庭の両親にも知っていただこうと、紙面をさきました。

×

この日の意見には、二つの**大きな流れ**がありました。純粋に学校教育上の問題として考えるものと、家庭とのつながりで解決してゆく問題との二つです。まず学校教育上の問題では、▽山口県では文化性の高いといわれる山口、防府にはさまれ、進学率などいつも都市の学校と比較される。しかし農村という地域社会にあった教育も一面考えてゆかねばならない。成績や学力だけを考えてゆくわけにゆかぬので、仕事も多いし責任も大きい。▽基礎の学力をしっかりつけたいが、施設の面で悩みがある。たとえば理科教室の実験施設など。▽学校行事が多いので、学力をつける点からどうしても時間数がたらない。行事のやり方に問題がある。▽義務教育だから、小中学校の教育は一貫して考えねばならない。かといって進学の点から、中学高校の一貫性をなおざりにできない。小高の間にあって中学教育としての一貫性をだしてゆくのはむつかしい。——以上のようなことがらでした。

×

家庭とのつながりで解決する問題では、▽児童、生徒のことば使いが悪い。これでは自分の考えを発表するのがおっくうになる。引っこみ思案にもなるし、将来の進学就職にも大きく影響すると考えられる。学校で指導して家庭でこわしてはいないだろうか。ときには家族会議で、また部落公民館のこども会で、練習してみてはどうだろうか。▽（教育委員から出た問題）家庭で教師の批評をあれこれやると、こどもたちから教師が信頼されなくて、教育上困る。

×

小鯖小学校でいま試みている校外活動の発表は、たいへん好評でした。全部落に子ども会を作り、子どもの自主性と協力性をのばしてゆこうというのです。部落の親が、部落全部の子どもを見つめてゆくことで、子どもを守るよい環境を作りあげる機運にもしようという理想です。そして、子どもたちが集団的な協力のなかで、自主的な行動に移るのを、親たちの協力がさらに進めてゆけます。部落の子どもと親との交流が、学校教育と結びつく場合、三位一体の効果は大きいでしょう。

大内町広報

昭和35年1月16日
第55号

山口県吉敷郡大内町
発行者　藤辺敏雄
編集者　坂倉正義
印刷所　山口市道場門前　中央印刷社

ねずみとり運動

県内に約1千万匹のねずみがおり、年間10億円以上の被害を与えています。2月1～29日までが運動期間で、一匹に一枚のねずみくじを、町民課衛生係、各支所で交換します。テレビ、電気冷蔵庫など、賞品があります

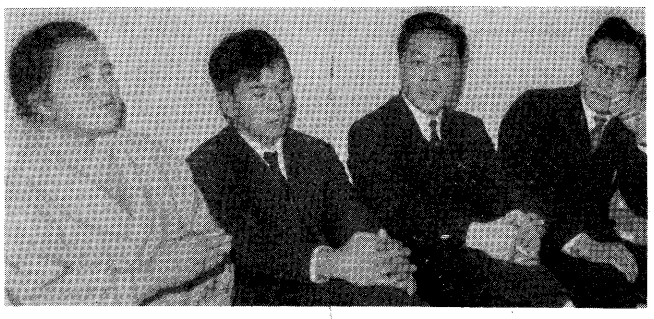
広報が全国表彰

昭和34年度の全国広報コンクールで、町村部の一位をとった大内町広報は、1月28日名古屋市の全国大会で表彰を受けます。皆さんの卒直な意見をいただいて、町広報はさらに改善してゆきます

税金

1月　固定資産税―4期
2月　町民税―4期

納税が遅れています。ぜひ早目に。



長期の総合計画を立ててほしい

――35年の町政を語る座談会――

私たちのためのよりよい町政にしてゆくために遠慮のない意見をききました。

助役　ご多忙のなかを出席いただいて、ありがとうございました。勤労者の代表として高見沢さん、農村青年の代表として田中さんと山本さん、婦人の代表で清水さんにおいでを願いました。みなさんが町政をどういうように見ておられるか、厳密に反省しようと思いまして、日ごろ町政に深い関係のない方々においでを願ったようなわけです。高見沢さん、どうぞ。

高見沢　大内町は行政的に見て、非常にやりやすい環境ですね。いままでもささがけたことをどんどんやってきた。条件の整ったところだけに、質的にも高い行政を要求されますね。これからは、知恵をあわせてよほどがっちりしたものでないと、満足できません。

助役　産業施策にしても、普遍的なものはともかくできました。これからは総合的な企画性をのばしてゆかねばと思っています。

田中　そうですね。私たちが求めているのは、レベルの高いというか、長期の見透しをもった総合計画です。

助役　しかし町だけの計画では、立派な町造りはできません。新生運動の推進協議会も、全町民の力をよりあわせようとして作ったものです。大いに活用していただきたいのです。

だいぶよくなった町政

清水　総合的に見て、町政はよくなっていると思います。しかし、まだ網の目からもれた人がかなりいますね。一方では洗濯機をはじめ電気器具をちゃんとそろえてやっている。一方では、開拓地にいってみますと、障子がない畳がないという状態なんです。

田中　その話ですがね、新生運動が大内町の人口1万5千人の、何割に適合しているかが心配になります。レベル以下では、いいたくてもなにもいいだせない多くの人があるのではないでしょうか。浮ついた計画や運動でないようにと、ちょっと苦言を申し入れます。（一同笑い）

助役　ご指摘のとおり問題として残ります。ただ、教育が町政のすべてではないのですから、足りない町財政で、最大の効果をあげてゆきますが、いろいろな分野に不満な点が残ります。義務教育の分野の重要性は解りますけれども、町政のどの分野にも、不自由の均一化といいますか、足りないなかにバランスを失わないようにしたいのです。

高見沢　いまの話と直接関係はありませんが、大内町の主婦は山間部の主婦と違って、実に気苦労が多いと思うんです。主人は勤めにでていますしね。ほとんどの人はサラリーマンと農家との二重生活です。そこで公民館活動も、たくさんの人を一括して対象にするのでなく、対象をわけて浸透していったらと思います。おかあさんの集りとか、おばあさんでもやれる料理講習会とかですよ。

助役　生活のムダを徹底してはぶくことも必要ですね。同感です。

出席者

右上の写真右から

田中　嵩久㈫さん（向山）
　小鯖農村青壮年連盟員
高見沢孝之㈱さん（氷上）
　県改良課勤務、生活改善担当
山本　勤㈰さん（牧川）
　仁保農村青壮年連盟員
　仁保酪農組合員
清水　久子㈤さん（高松）
　主婦、町民生委員

義務教育の家庭負担が高すぎる

総花的補助でなく基礎条件の整備を

山本　生活保護を受けなくても、下地を作ってもらうことが必要です。町としてもそういう指導をしてほしいです。

助役　町の補助が、施策の本当の目的を達すればよいけれども、効果的なテコ入れにならぬ懸念が多いのです。かといって、無為無策じゃもちろんいけません。授産的な事業も、これから開拓してゆきます。

山本　貧富の差は大きいですが、ともかくどんな家庭でも、これだけやっておれば安心して生活が営めるという、そういう基礎的なものを整備してほしいです。予算をばらまいてお茶をにごす……というわけじゃないのでしょうが……（一同笑い）全体の水準があがるといった、そういう投資をしてください。

助役　総花的じゃ力が弱いというわけですね。

複雑な住民構成

助役　産業関係の施策にしても、なにかを重点にとりあげたらいいじゃないかと、私たちも考えております。それがやれるならいいけれど、重点をとっても中途半端なものになるんです。極端なことをいえば技葉末節なことにしかならん。これは町の財政力の弱さが原因ですけれど、もう一つの原因は住民構成が複雑なことです。専業農家が少なく、ほとんどが兼業です。農業から見ると、住民の8割が関係しているが、収入から見ると勤労所得の方が大きいので↘

帰人の話題は教育費

清水　集って話に花が咲くとき、きまってでるのは教育費のやりくりです。いわば共通の悩みといいましょうか。義務教育でも案外に高くつき、貧乏人にはたいへんです。

助役　義務教育は、原則として父兄に負担をかけてはいけません。ところが、昨年12月の広報にものせましたが、山口防府間にはさまれて、進学率がいつも問題になるところですから、きまったワクだけではやれないわけです。教育の水準も高いものを要求するというのは、兼業農家が、将来子どもたちをサラリーマン的にのばしたい気持があるからでしょう。

清水　町議会でも、もっと実情にあわせて、長い眼でこの問題をみてほしいと思います。やれる家庭はいいのですけれど、やれない家庭が気の毒です。

助役　ご指摘のとおり問題として残ります。ただ、教育が町政のすべてではないのですから、足りない町財政で、最大の効果をあげてゆきますが、いろいろな分野に不満な点が残ります。義務教育の分野の重要性は解りますけれども、町政のどの分野にも、不自由の均一化といいますか、足りないなかにバランスを失わないようにしたいのです。

農業人口の再配分も悩み

共同化で活路を開きたい

山本　若い者はどんどん都会にあこがれるし、農業の将来に悲観したこともあります。百姓を嫌う気持も解りますが、町として放置するわけにはいかないでしょう。

助役　農業経営の共同化に、ことしから本格的に取組みます。自作農の経営ではたしかにゆきずまってきました。酪農の共同化から手がけ、ほかに及ぼしたいと念願しております。これから、農業人口の再配分という困難な問題がでてきますが、頭痛鉢巻です。専業と兼業の農家形体は、これからうんと変ってきますね。

高見沢　経済的階層の同じもので共同化をはかるわけでしょう。

助役　困難だけれど、これだけが活路です。農村もこれから多事多難ですが、全町のご協力をよりあわせて、任期いっぱいがんばります。どうもありがとう存じます。

≪出初式≫

ことしはたいへんに暖かい出初めの日でした。例年なら、寒さで身がひき締まる氷上河原なのに、少々あっけないくらいでした。全部小型ながら動力消防にかわり放水は頼もしいかぎり。しかし、ポンプ操法については、もっと猛訓練をしなければ、いざというとき危険だと、反省がでています。

お知らせ

事務の訓練所があります。授業料は無料で寄宿舎もあり、資格もとれます。手続きは、公共職業安定所へ。応募の締切りは1月30日まで。

▽　**産業開発青年隊員**を募集しています。広島県にある訓練所で1年間一般教養と建設技能を身につけた後、南米青年開発隊員として南米に移住するのです。18～25才まで。高校卒程度。締切りは2月25日まで。くわしくは、県土木建築部監理課へどうぞ。

▽　**林業講習生**を募集しています。高校卒で、講習期間は2年です。卒業生は短大卒と同資格です。全寮制度で、授業料は年額6千円程度です。願書は2月25～3月10日まで。林業講習所は宮野にあります。くわしくは町の林務課へ。

▽　**三和会**の義太夫語りぞめは、24日正午から大内小で。

▽　**青年学級**の申込みは、各地区の公民館へ。一般教養科、職業科、家政科の三つに分れています。町内に住む25才以下の青年男女ならだれでも結構です。職業の補導も考えていますから、希望の職種をどしどし申してください。申込み期限は2月20日までです。

▽　美祢市にある県種畜場では、35年度の**畜産、酪農練習生**を募集しています。願書の期限は3月10日です。養成期間は1年で、月手当1千200円。くわしくは経済課へ。

▽　**職業訓練所**で、訓練生を募集しています。県内8カ所に、建築、ラジオ、テレビ、ミシン、理容美容、自動車整備、木造船、機械、

農林業センサス 2月1日

世界農林業センサスの**本調査**が2月1日から行われます。昨年12月のはじめに予備調査をしましたから、あらましご存知でしょう。世界農林業センサスは、100以上もの世界の国々が、いっせいに行う世界的な統計調査です。10年目ごとに1回調査します。この前は昭和25年に行われました。つぎに行われる昭和45年のセンサスまで、日本の農林行政に必要な基礎的統計資料となるのですから、実にたいせつな調査だといえます。

×

日本の農業生産力は、農地改革以後次第と高まってきてはおりますが、農業以外の産業に比較すると、農業所得ののび方がきわめて少ないのです。兼業農家も次第に増加しています。経営の面からみても、適地適産を奨励した結果、果樹や酪農などの商業的農業がうんと発達しましたが、さて価格となると、安定しているとはいえません。単なる増産政策だけでなく、生産の調整や消費の増加、流通の改革といった、**強力な政策**を実施しなければならぬところまできています。

私たち農家が、安心して農業を行えるようなガッチリした政策が、ほんとうに必要な時期がきました。農政はいま転換期にたっているといえますが、その基礎資料を提供するものが、この農業センサスなのです。

×

このセンサスは、日本の農業の現状を明らかにして、国内的には農林行政の基礎的な統計となり、国際的には世界の農業の進歩の方向を教えてくれます。世界経済との関連で考えない日本の農林行政というものはありえませんから、たしかにたいせつな統計ですが、もう一つネライがあります。最近、新農山漁村建設計画など、長期の総合計画が要望されてきました。このセンサスは、**大内町的**にも利用できる資料をつくる意味で、重要なネライがあります。センサスは、統計法による指定統計として行われますので、調査結果を他人にもらしたり、統計以外の目的（税金など）に使用することはぜったいございません。

×

このたびの調査は、農業の部分だけだと、1戸平均40～50分ですみます。調査を担当する人が訪問したら、どうぞご協力ください。

ことし実現したい 大内町の農林業技術

8月上旬植えでも5俵とる

畜産

飼料計画がなく、多分に投機的

×

新年早々、農業改良普及員と、経済課林務課の職員が会合しました。昨年1年をふりかえり、新35年に期待する座談会を開いたのです。結論を簡単にとりまとめてみました。

×

一番残念だったこと

苗代から本田にかけての共同防除を、もう少し徹底してやればよかったということです。ゆうれい病のように2化めい虫以外のものが、本田の植付け初期に多かったことは、なんとしても残念なことでした。苗代防除は比較的やられているようですが、本田防除はどうもすっきりしないのです。防除器具が部落にあるからという安心もあるでしょうが、稲作自体が、早中晩期とほとんど周年的な栽培になってきて、虫の発生が変ってしまったことも原因のようです。その意味では、共同防除がやりにくくなってきました。やはり集団的な栽培体制を作らぬと、一枚一枚の田が勝手に植付け時期を決めた場合、防除ですぐゆきづまることが解りました。

ことし平坦地の早期収量が大きくなかったことは問題でした。紋枯が原因でしたが、10ヘクタール当り8俵とった水田は、紋枯にかかっていませんでした。普通作も技術が進み早期と変りないようになったのは興味ある事実です。

早期はあと作の関係で

だからといって早期の必要性がへるわけではありません。普通作の収量があがったのは事実ですが災害がこの数年ないからいいようなものの、災害をよけるという特性と、あと作利用の点でいぜん大きな価値があります。最近、大内町の秋落ち防止の技術は、うんと進んできました。早期で秋落ちを防ぐネライは大幅にへってきましたけれど、あと作利用の点では、はっきりと早期の利点がありますす。

早期の利点と同じように、晩期の長所もいま一度検討されてもよいようです。大内町で早中期はかなり研究されましたが、晩期も早期と同じく作付けの点から検討の余地があるからです。畜産との関連で、7月中旬仁保一貫野でとうもろこしのあと作に植えたのや、8月上旬毛割の伊藤さんがすいかのあと作に植えて、5俵の収穫をあげました。これからの酪農経営にぜひとり入れねばならぬ問題でしょう。早中晩期といっても、問題は水利慣行です。水路を完全にすることも必要ですが、やはり同じ栽培体系を集団的にやるのが必要です。同時に、交換分合の問題も起ってきます。

土質悪い一貫野が増収

交換分合とあわせて、深耕の問題があります。一番土地が悪く浅いといわれた一貫野が、皮肉にも一番増収しているのです。土地がよいといわれる地帯の収穫がのびないのは、たしかに深耕不足にあるといわれています。

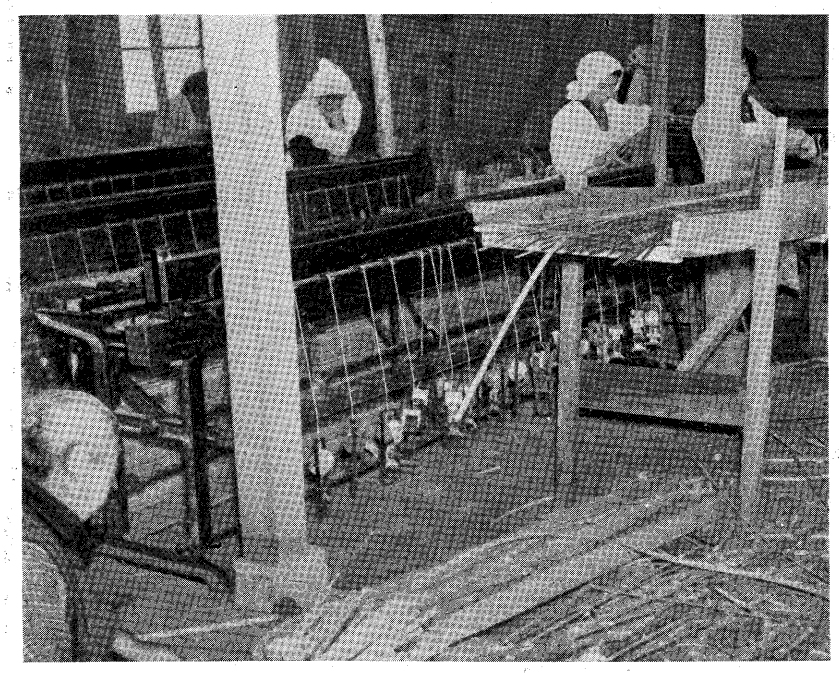
畜産ですが、飼料計画をまったく無視して家畜をふやす傾向があります。永続性をぜんぜん考えずに、投機的な畜産だといわれてもしかたがありません。輪換畑やサイロの準備もたりません。最近肥料設計は進んできましたが、同じ重要度をもつ畜産の飼料設計は、はなはださびしい状態です。現在の飼料は、ほとんど購入しているといってもさしつかえありません。乳価の半分は自給飼料でまかなうのが理想です。県の畜産課の西島技師は、1頭に1本のサイロはぜったい必要だといっています。とかく一度にたくさん作って、なくなってからさわぐというのが、私たちの悶のいつわらぬ実情のようです。経済課も、飼料作物をつくる運動を、ことしは大々的にやるといっています。

そさいでは、白菜が昨年下関市場で人気をとりました。せっかくとった名声を、ぜひ今年も続けたいと計画しています。大内町そさいの欠点は、近郊そさいと送りそさいの中間で、どっちつかずの体制にあることです。果樹とあわせて、品種と品質の統一、出荷の統一が、また35年の大きな課題となっています。

共同化が最大の課題

岡山県では、山の採草地をとことん利用、45度までは可能だといっています。大内町でも、昔の柴草採草地とは違いますが、山の利用地を新年から積極的に探すことにしています。畜産とかみあわせた採草地ということになります。だから林道も、厳密には〃農林道〃ということになります。にできた竹すだれの工場で、年1万束の竹を処理するようになっ

竹の販売は有利になりました。しいたけ栽培も、揚山岩倉部落に3千石の原木を払下げ、共同栽培ではじめることになっています。共同経営による新らしい運営を、林産関係ばかりでなく、農業全般にどうしてひろげるかが、昭和35年における最大の課題になっています。



← 竹すだれ工場動く

井開田にできた輸出用の竹すだれ工場は昨年12月中旬から作業を進めています。1日に約30束の竹を処理するので、ねこの手も借りたいほどのいそがしさです。竹は普値160円で取引きするので、いままでより有利に販売できます。この値段だと、竹林経営の方が、松ひのきの造林に転換するより年々の収入があるので事情がよくなります。すべてアメリカ向けで、毎日14名の婦人がいそがしく働いています。このうち3名の婦人は生活保護者で、立直るため連日真剣にとり組んでいます。

▷ 牛の肥育促進剤ミートモアー ◁

ミートモアーという肥育促進剤ができました。薬品ですから、使い方を誤まるとおもしろくありません。この薬品は、体の成長をうながす甲状腺の、働きをおさえる作用をもっています。だから、牛に与えると、上にのびるのをおさえて、体重を増す働きをするわけです。体重だけでなく肉質もよくする働きがあって、県内でもかなり使われだしました。

ミートモアーは2～3才の**去勢牛**に、もっともよくききます。100～120日ぐらいの短かい期間に肥やす場合効果があります。終りの50～80日ごろ与えるのがよいのです。**与える量は**1日1頭当り20～30グラムがよく、10グラム以下では効果がありません。ミートモアーの中には、甲状腺をおさえる成分はわづか17％で、残りはカルシュウム剤です。カルシュウムは1日1頭当り20グラムあればよいのでミートモアーを1日20グラム与えた場合はわずか3グラム程度追加してやればよいわけです。しかも栄養分としてなにも含まれていませんので、飼料はやはり質のよいものを、普通に与えねばなりません。ミートモアーと同じ働きのある薬品で、**牛用ウラジール**というのも売りだされています。去勢牛を、短かい期間に育てようとされる方はきっとよい効果をあげることができるでしょう。ミートモアーの値段は1キロ約1千400円です。

▷ 乳価安定をめざす政策的な動き ◁

農林省は、酪農を発展させるための総合対策をねっています。政策的な動きとなって近くあらわれるものを、さぐってみました。

牛乳乳製品が、これから国民栄養の大きな幹となり、国民の食生活の改善、ひいては体位向上にうんと役立つように……このため政策的にも乳価を安定させねばならぬ状況となっています。(1)牛乳乳製品の**消費**をぐんとふやす (2)牛乳経済圏を設けて、流通がよどみなくゆくようにする (3)生産者と乳業者の取引が安定し、また公正なものでなければならない (4)製造、処理、販売の段階を合理化して安い製品を供給するようにする。

以上が政策的な動きのあらましです。(1)では、学校給食用にもむけて、次第に国産品にきりかえることになります。父兄の負担は現在の水準にとどめ、国が差額を補助するわけです。(2)は、無計画にやって生産者がばかを見ることがないようにするためです。**経済圏**ごとの需給計画ができます。(3)は、とかく乳業大資本に生産者が泣かされたにがい経験をこれからなくそうとしています。(4)は、大資本はともかく、各種の加工設備を新設して、中小乳業者の共同施設もふやそうというのです。長期低利資金のあっせんも当然必要になります。酪農は政策的にも保護される体制ができつつあります。

▽中小企業の**退職金共済**制度は昨年の11月1日に発足しました。すでに県下で12事業場174人が加入しています。従業員のはげみともなり、ひいては企業が発展する要素になるというので、次第に加入がふえております。くわしくは労政事務所へご照会ください。

便利帳

▽衣類の**しみぬき**は、なるべく早くした方が効果的です。しょうゆ、さとう、みそ汁などは水か湯で洗いますが、中性洗剤を使えばなお完全です。果汁、梅干などは石けん水で洗い、そのあとをアンモニアでふきます。酒類はぬれているうちならきり吹きで水をかけておけばしみになりません。あとがついたら、アンモニアでふき湯で洗います。墨汁なら石けん水、青インキは中性洗剤のぬるま湯で。

▽冬の**粗飼料**も与え方で乳量や肉付に影響します。ワラはあまり小切りにすると消化が悪くなります。短かいワラは濃厚飼料といっしょに飲こんで、反すうしにくくなるからです。エンシレージは、健康でないものや、幼い家畜、妊娠している家畜には与えぬ方が無難です。普通のものでも、体重の3％ぐらいにとどめた方が理想的です。

▽寒くなって**ガス中毒**の危険がふえました。ときどき部屋の空気を入れかえることです。火鉢やコタツに入れる木炭は、室外で完全に赤くなるまでおこした方が安全です。中毒になったら新鮮な空気のところで、服をゆるめ、眠らぬようにして、医師に連絡を。

老の学級芽ばえる

最近老人学級が町内のあちこちに芽ばえました。50才以上の婦人で組織する〝しゅうとめ学級〟の模様もあわせて活動内容をご紹介しましょう。

1月13日，大内地区の人たちには役場内の小会議室で証書を渡した。

大内地区の氷上や上矢田部落にある老人学級は、もう1年も前から発足しています。兄貴株といったところです。新らしいところでは、仁保地区の深野部落で昨年11月に、小鯖2区の老人学級は、12月に発足をしました。氷上や上矢田では、男女はとんど同数ですが、新らしくできたところでは、まだ婦人の方が多く、いわば〝おばあさん学級〟といった状態です。これから男性の入会もすすめてゆくそうです。

部落的な老人の集いと別に、地区全体をあわせた集いが二つほどあります。仁保の老人学級と、大内の〝しゅうとめ学級〟です。昨年12月3日、仁保の老人学級は、仁保中で集会を持ちました。60名が参加し、なかなかにぎやかでした。大内のしゅうとめ学級は、昨年7月に発足しましたから、かれこれ半歳の歴史をもっています。体操をやり、映画を見て、話題を交換する……といった運営方法をとっています。

もっと勉強したい

地区全体をまとめた学級でも部落の小さな集いでも、共通しているのは〝もっと勉強したい〟という意気ごみです。同じ年代のものが集って、共通の話題を親身に語りあう――そうしたことからでもうなずけます。

としより扱いされるのはいやなんでもいいから相談を受けたい

だから、老人学級やしゅうとめ学級に属する人たちは、としより扱いされることをきらいます。老人学級というのは名前が悪いから、〝寿学級〟といったらどうだろうかという意見が出てもうなずけます。

しゅうとめ学級で、おかあさんたちが、いつもくりかえしていることばがあります。

「なんでもいいから、相談してほしい……」

親身に相談を受けることは、とてもうれしいのです。

脱皮のための学級

老人の集いでは、体操がとても喜ばれます。肉体的にも、としより臭くなりたくないし、精神的にもうんと若がえりたいというのが、参加している人たちの大きな念願のようです。

事実、としよりの明るい家庭はそれだけ家全体が明るく感じられます。としよりの若々しい家庭はなんだか家全体が、ぴちぴちしているようです。としよりは、精神的にも肉体的にも脱皮することによって家庭のふん囲気のなかで、はっきり〝老人の地位〟を獲得しようと努めているといえないでしょうか。同じことが、しゅうとめの場合でもいえそうです。

対立的な考えでなく

よめとしゅうとめは、よく対立的なものとして扱われます。しかし、しゅうとめ学級の母親たちは〝おたがいの感情をかしこく整理してゆこう〟と考えて学級で学んでいます。およめさんも賢こくなってほしい、しかしそれにもまして、しゅうとめが賢こくなければ……という考え方です。

老人やしゅうとめ学級の芽ばえは、各家庭の理解と応援があればことしもっともっと盛んになるでしょう。

若がえりに体操

とかく春さきになって、急に野良仕事をすると、体のあちこちが痛んできます。冬の間じっとしていたため、筋肉ののびちぢみがうまくいかぬためです。

十数年間毎日ラヂオ体操をやっている70才のおじいさんの話だと、神経痛やコリなど全く感じなくなったそうです。40代の人におとらぬ元気さです。

どんなに体操が私たちの体にたいせつなものかがわかります。体操する場合のコツは仕事のときの姿勢を反対に引きのばすようにすればよいのです。前かがみ仕事は、脊をうしろに曲げるとかです。心臓に遠い手、足、首などからはじめ、血のめぐりをよくし、全身の筋肉がやわらかくなるようにすれば効果的です。毎朝家族そろってのラジオ体操は一番手軽でしょう。なにもラジオ体操でなくても、自分で工夫したもので結構です。

国民年金の証書すでに7割渡しずみ

1月11日から3日間にわたって、163名の方に老令年金証書を渡しました。昨年12月中旬に273名の方へ年金証書を渡しましたから、合計436名に渡しずみとなりました。昨年12月末の請求者616名のうち、約7割の方が受取ったわけです。このたびは障害年金の証書は1件もありませんでした。しかし3月から郵便局で受けるのですから、2月末までには、遅れた方たちにも証書が渡ります。母子と障害の年金は、がい当者がそうたくさんふえませんが、老令となるとつぎつぎにがい当しそうです。

満70才になったらすぐに

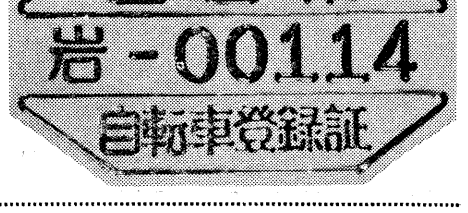
11月1日以後満70才に達した人は、すぐ請求を町民課へおだしください。つぎのような制限があります。▽本人の所得が13万円以下の人　▽ふ養義務者の所得税が33年度で2万3千600円以下の人　▽配偶者のある人は、その配偶者に33年度の所得税がかからぬ人……以上です。

住所の変更、印鑑や証書のふん失、受給者が死亡……といった場合、すぐ係へご連絡ください。証書に記入してあることを訂正したり、再交付しなければなりませんから。

1月から自転車の登録がえ

自転車の新らしい登録制度が、1月20日から発足します。登録証の取付けは、指定をうけた自転車店で行います。大内町では弘重（大内）長井（小鯖）山根（仁保）の3店になっています。下のカットは登録証の実物大で黄色いアルミの標識です。大内と仁保地区は日時が指定されていますので、なるべくこの日をご利用ください。

実物大の登録証↘



大内＝2月2日、役場前と川向い青果市場前
仁保＝2月1日、大富小と東園小。時間はどちらも前9～後5時まで。登録のさい甲乙2枚のカードを作り、甲票は山口警察署で保管します。登録カードがないと、売買いや質入れができません。だから盗まれたり、拾った自転車の持主も早くわかります。前回登録した方も、登録カードをもってぜひおいでください。原動機付自転車も登録の対象になっております。

椹畑婦人会が話しあいの勉強

1月の13日、小鯖椹畑の婦人会員がぜんぶ集って、話しあいの勉強をやりました。婦人会員が59名も集ったのですから、なかなかに活発でした。時間厳守で、午後2時に開会し2時間半を対議して、4時半には散会という立派な運営でした。6×3式討議（6人あて3分間）を重ねて、家庭の経済と子どものしつけについて意見を交換しました。この二つのテーマに、関心が一番深かったからです。

×

あらかじめ検討した13のテーマから、多数決で選んだのです。つぎのようなテーマでした。▽子どものしつけに対する、よめとしゅうとめのやり方の違い　▽家庭の経済（主として家計簿を中心に）▽有線放送　▽子どもの家庭教育　▽青年の指導　▽婦人会の共同活動　▽会合のもち方　▽よめとしゅうとめのあり方　▽婦人と公明選挙　▽子どものしつけ　▽結婚改善▽反抗期の子どもの指導　▽栄養料理……このなかから、家庭の経済と子どものしつけが選ばれたのです。おかあさんたちが、どんなことに関心が深いかを少し重復していますが13のテーマで知ることができます。この日県から中山・山田の両主事が参加して指導し、公民館の徳本主事、選管の清水委員長と事務局の奥田主事も参加し助言しました。

問　うそをよくいうが、どうしたらよいか。

答　なぜうそをいうか、原因をたしかめてみることがたいせつです。しかられるためにうそをいう場合もあります。劣等感をかくすためにいうときもあります。悪質ならいまのうちに対策が必要です。

問　依頼心の強い子どもはどうしたらいいか。

答　あまり世話をやきすぎたんじゃないでしょうか。子どもにできることは、できるだけ自分でさせ、成功の喜びを味わわせるようにしたいものです。精神的な激励ばかりでは直せません。もちろん急には直りませんが。

問　親のいいつけをきかぬ。

答　ここどが多くはありませんか。用事をいいつけるのも勉強している時をさけた方が賢明です。時間的に少しばかり遅れても、許すぐらいの気持が必要でしょう

問　おく病でこまる。

答　ことばだけの指示ではだめです。友だちとの関係や遊び方をととのえてやるのが必要でしょう。

問　兄弟げんかをよくする。

答　親がえこひいきしていないか反省することです。けんかの原因を見抜くこと、子どもの意見をよく聞くことが必要でしょう。兄弟を比較してしかるのは感心しません。

問　なまけぐせのついた子どもは、どうしたらいいか。

答　ぜひ直すようにしないといけません。子どもの能力よりあまり高いものを要求すると、こうなる場合があります。しかるのは効果がありません。気ながに指導してゆくのがたいせつです

成人者を代表した3人の意見

なんちゅうても、このごろの若い者は…こんな批判も多いのですが、これはまた、ごくまじめな意見です。

ことしの成人式は、小鯖小学校で行いました。286名の祝福された成人者の顔は、とっても明るいものでした。この日、成人者を代表して意見発表を行なった、古屋博樹君（小鯖）山根康夫君（大内）、斉藤秀子さん（大内、農試内農業講習所）の意見をまとめました。どの意見も、自分の人生を真剣に見つめた内容でしたが残念ながらこれは要約です。では……

×

スポーツ、セックス、シネマだけでは

社会人として一人前に認められることになりました。酒を飲んでも、度を過さぬかぎりは、だれもなんともいいません。たばこもすえます。

これから、恋愛や結婚と取組む年令に達したともいえます。が、なによりたいせつなのは、選挙権をえたことです。主権者の一人になったわけです。面目ない話だけれど、若い人の棄権率が、いままで多すぎる感じがします。政治をばかにしているせいもあるでしょう。若い者が、スポーツとセックスとシネマに興味を持っているだけでは、日本は衰退こそすれ、興隆は望めません。日本をよくするも悪くするも政治であり、政治を決定するのは選挙のときの一票によることを考えて、民主社会の責任ある一員として行動します。今日の政界のありさまは、私どもがあまりにも政治に無関心にすぎた結果でしょう。毎年生れる150万もの新有権者が、けがれない眼をむけるなら、わが国の政治も少しは新風が吹きこまれるはずです。若者たちの力をあわせて日本をよりよく建設したいと存じます。

（古屋博樹君―小鯖）

×

過去は大海の水の一滴

成人になったのは、父や母、そのほか多く人の援助があったからこそです。長いようで短かかったこの20年間、私たち自身にもさまざまなことがありました。第二次世界大戦で、親兄弟を失った気の毒な方も、このなかに数多くおられることでしょう。20歳の人生で体験し育負った運命は、もうそれだけ大きく違いました。私も、先輩のはげましで、努力を重ねてきましたが、過去をふりかえると、大海の水を一滴飲んだことにしかすぎませんでした。日本の文化、科学、経済――を、これからを

私たちがひきついでゆかなければなりません。そのためには、教養を深め、うんと勉強することが必要だと決意を新たにします。選挙権をえた私たちは、立派な人を選びます。自分自身の信念を堅く持って、よい家庭を作り、やがてよりよい町、住みよい日本を育ててゆこうと存じております。それが、私たちの任務の一つだと考えております。

私たちは急に、きょう成人式でおとなになったわけではありません。これからも、ご注意なりご指導なりをくださいますように、お願いいたします。一日一日を、一月一月を、そして一年一年を、自己反省に務めて、じっくりと人生をふみしめてゆく覚悟でありますから。

（山根康夫君―大内）

×

豚に真珠でないように

国をあげて私たち成人者を祝福してくださって、深く感謝します。成人になったといっても、なんだかくすぐったいし、それでいてわきあがる新らしい気持を感じます。成人になって急に体が大きくなったり、えらくなってもいません。むしろ未成年者の中には、私より肉体的にも精神的にもすぐれた人がたくさんいます。しかし成人者になって、選挙権をえたこと――これが私のわきあがる新らしい気持の中心にでんとすわっています。自覚とよろこびを感じます。

いまの社会は、あまりにも自己本位にすぎ、自己主張がすぎると思います。そして自己本位の政治は、売収から始まっているようにも思えます。

キリストがいった「豚に真珠を投げようともうれしがらず、かえってふみにじる…」このことばをかみしめ、とおとい選挙権を足もとにふみにじることのないようにしたいと存じます。混乱した政治のはてに、暗く冷たい独裁専制の政治がやってきては、それこそたまりません。

（斉藤秀子―大内）

学校短信

▽小鯖小では、1月13日に出火のさいの生徒の退避訓練と消火演習をやりました。地元の消防団が協力しました。

▽ことし卒業する中学生の就職や進学のことで、家庭と学校の相談日がきまりました。大内中は2月1日、仁保中は10日。

▽**女子学園**の入園希望者は、2月の末までに、仁保と大内の学園にお申込みください。本科（2年制）研究科（1年制）専修科（1年生）

良いしつけと健康が一番

新入学児童を持たれる家庭へ

新入学児童を持たれる家庭では「学用品や学習上の準備で、なにかと忙しいことでしょう。これから3月末まで、どんなことを注意していただくかを、まとめました。

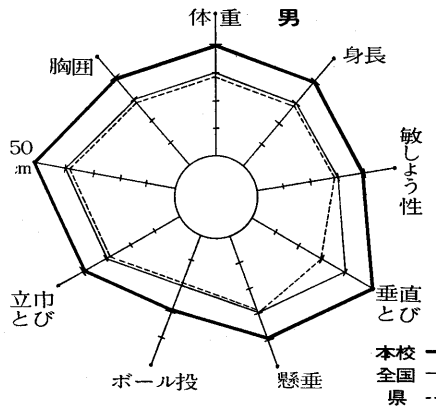
まず**健康な体**です。学校という団体のなかで生活すると、いままで訓練ができていないので、精神的にも肉体的にも疲れてきます。だから病気のない体がなにより必要です。新入児童の**身体検査**は、つぎの日程で行います。27日小鯖小、28日大内小、29日仁保小、30日東園小、2月3日大富小です。時間は全部午後1時からとなっています。ぜひおいでください。

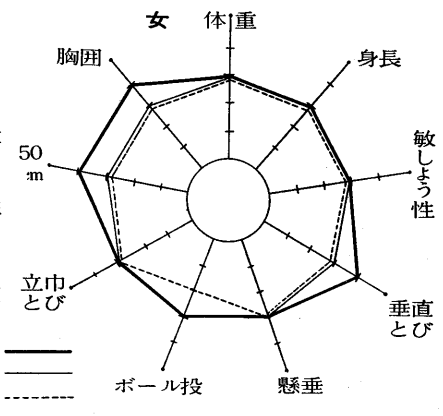
人学前に教える必要はありません。家庭で手を入れると、学校の授業を、「自分はもう知っている」というので、**うわの空**で聞く危険性があります。1から10までの数を物とあわせて数えられれば、それだけで結構です。名前もどうにかひらかなで書けるようにしておけば、自分の持物と人のとの区別がつきます。1年生ですでに新聞を読んでいる子どもが入学したとき、天才だと学校ですから、通学時間の制限もあります。早寝早起きの習慣をいまつけておくことが必要です。毎朝何回も起されしかられながら学校にいくようでは、楽しい学校生活になるどころか、次第にいやがるようになります。学習にも実が入らなくなります。このほか、**朝の用便**、はみがき、あいさつなどのように、人間の基本生活としてたいせつなものが習慣になるようご家庭で指導していただくことです。学用品など普通のもので結構です。少しでも子どもの喜びそうなものを思うのは親心ですが、友だちに見せて自慢するようでは、次第に高慢な態度になってきて、かえってマイナスの結果をまねきがちです。

そんなことよりも、学校生活にたいせつなのはしつけの方です。

▷ 大内中の体位と運動能力，国県の平均しのぐ ◁

左のグラフは、大内中学の3年生の体位と運動能力を示したものです。123年ともできあがっていますが、参考として3年生のをとりあげました。男子は、さすがに発育がよく、国県の平均より一廻り大きくなっています。理想的には、この図型が**ほぼ円形**になるのがよいのです。国の平均もいびつになっていますが、これからのばしてゆく課題です。男女発育の姿が違うので、このグラフの男女の型を比較することはできません。





おもしろいことに、男子は3年生が一番いい体位を示しています。しかし女子では3年より2年、2年より1年生と、下学年の方がよくなっています。もちろん、それぞれの学年における全国と県の平均と比較して、上廻る率が大きいというわけです。

しかし一人一人の生徒では問題がないのではありません。**寄生虫**で見ると、昨年6月に行った検査では、全体の9.4%が、つまり10人に1人の割で寄生虫がいました。昨年11月に行なった検査では、8.2%と率はさがっていましたが、まだまだです。そのほかの問題としては、扁桃腺肥大が10人に1人の割合い、近視が6人に1人の割合いでいることです。17%という高率の近視は、家庭での照明など工夫してゆく必要がありそうです。女子がとくに多く、男子31名に対し、女子59名とほとんど倍になっています。

大内町広報

昭和35年3月15日
第56号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

春の道路愛護旬間

15～24日までです。34年度県は道路関係へ15億円かけましたが、とても追いつきません。町道の補修も貧弱です。道路愛護には私たち全町民の温かい協力が、ぜひとも必要なのです。

町広報が特賞

昭和31年以来県のコンクールで特選を続けてきた大内町広報は、2月11日県広報大会で特賞をもらいました。平素のご協力に心からお礼申しあげます。まったくうれしいことでした。

税金

3月 なし
4月 **軽自動車税**
固定資産—第一期
どうぞお忘れなく

町政の動き

部落づくりの組織を再編成

駐在員制度をやめ、4月からは部落長

35年度から、駐在員の制度をやめ、部落づくりに効果的な方法で**再編成**することになりました。大内町の**屋内体操場**が落成したこと、**町議会議員**が2日間にわたり町内の施設や状況を視察したことが、主な動きでした。**新年度予算**は12日から、審議を重ねています。

仕事を中心に分類

これまでは役場、農協、森組など各団体が、それぞれ部落に連絡網を持っていました。団体と部落とのたての関係はよくいっていましたが、同じ部落内の横の関係となると、案外にバラバラでした。

これでは、部落づくりの強い足なみがそろうはずはありません。団体運営上生じた連絡網であって部落づくりのための連絡網とはいえなかったのです。そこで、4月から発足する部落組織には、部落の仕事を中心にして、つぎのように分類する方法を取りました。

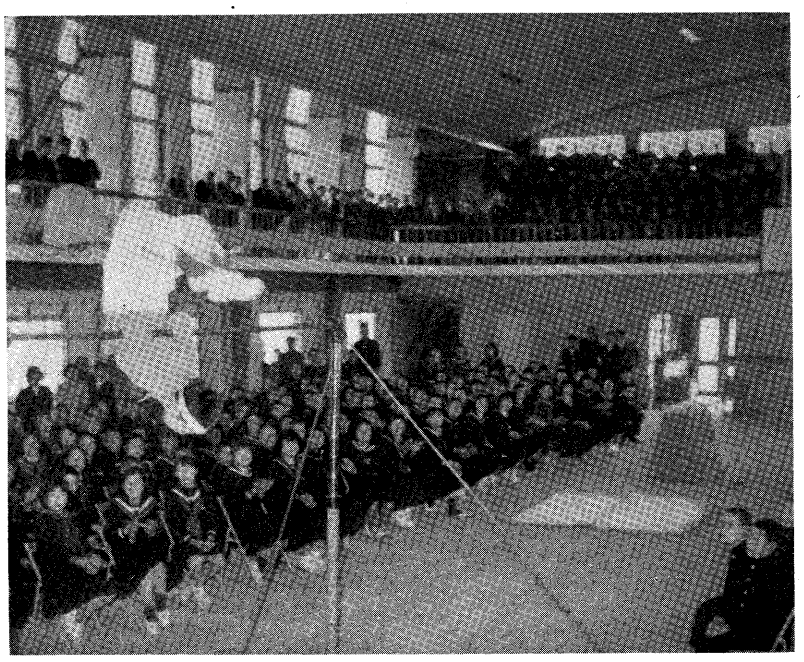
総務＝土木、納税、そのほか一般の行政。部落の会計など。
文厚＝学校、教委、公民館、婦人会、青年団、図保、衛生、社会福祉
産業＝役場経済課、農委、農協、森組、共済、そのほか経済団体

だから経済関係の連絡や通知は全部産業部に集まります。各団体が連絡し、協調して、部落への働きかけを単純化してゆくわけです

あくまで自主的な組織

総務、文厚、産業という分類はいかにもお役所式で、親しみがないといった批評もあるでしょう。この名前はどうでも結構です。それに部の分類も、部落の実情に応じてふえてもかまいません。全町的に、連絡先の一覧表ができれば問題はないのです。あくまでも自主的に、どうしたら部落づくりがうまくいくかを検討した組織であってほしいわけです。部落づくりには、公民館活動も大きい役割をもっています。むしろ活動そのものが部落づくりだともいえます。部落長は、同時に公民分館長をかねた方が理想的ではないでしょうか。（これも部落の事情で一率にはいきません。）

従来の単なる連絡網的なものでなく、数人また数十人の世話人たちで、部落づくりをもっと計画的に見つめていただこう、各団体はその意欲的な団結に奉仕しようというのが、再編成の大きなネライです。（くわしい内容は、3月7日駐在員集会で申しあげました）



大中の屋体10日に落成

大内中学校の屋内体操場は、昨年10月着工しましたが、立派に完成し、去る10日落成式をあげました。総工費は1千70万円、面積は延247坪です。両側と後部が2階になっており、1階ならば1千人、2階もあわせて1千500人を収容できます。これからは、町内の大きな集会にも使われますが、収容しきれぬということは、まずないでしょう。

もともと屋内体操場ですから体操はもちろん、バレー・コートとバスケットコートにも使用できます。映画もできます。鉄棒も4基取付けられ、なかなか立派な設備です。この日は、全校をあげて大よろこびの日でした。音楽部生徒の合唱、体操部生徒の各種体操の実演は、来賓や参加者に深い感銘を与えました。

3地区を貸切りバスで

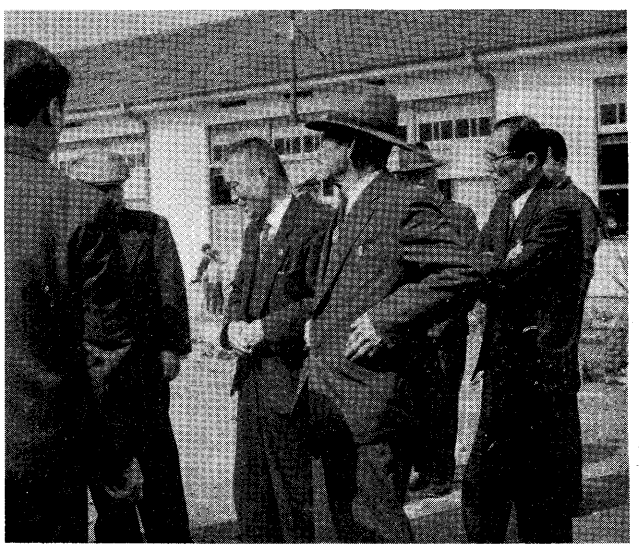
2月24・25の両日、町議会の議員が全員参加して、町内の視察を行いました。郷土の実情を、すみずみまで、実地に見分しておくためです。執行部からも各課長らが、説明役として同行しました。橋、道路、町有林、学校の建物、駐在所など町有の建物、町が助成している団体の施設を主として視察いたしました。実情をはあくして、これからの議会の審議に、役立てようというのです。

新年度予算は、1月26日から町長が検討してきましたが、2月いっぱいで大体終りました。これで執行部の原案ができたわけです。議会の審議は12日から開始され、約一週間、20日ごろには本決りとなる予定です。総額9千300万円の見込です。**新年度予算の特色は、**

①農業経営のゆきづまり打開のため経営の共同化を重視した。
②積極的な経営改善に必要な資金の利子補給をきめた。
③鯖山で5カ年計画の公営住宅建設にふみ切った。
④消防自動車の購入をきめ、消防体制を充実させたこと……です。

山根君佐賀で優秀賞

大内地区の山根宏茂君は、西日本ブロック青少年クラブ活動の実績発表大会に、4Hクラブ県代表として参加、最優秀賞を獲得しました。



議会議員の町内視察。町内くまなく見るのは骨が折れました。—仁保小学校の新校舎のそばで—

雨の日でも平気

待望の屋内体操場ができたんですから、もう雨降りでも心配はいりません。ご覧のとおり2階の席も巾広くとってありますし、これからは、町内のどんな大きな集会でも、楽々と収容できるようになりました。屋内体操場の落成を契機に、大内中の保健体育は、もっと立派に管理されてゆくことでしょう。

つぎの福祉年金は5月6日

このつぎ福祉年金を郵便局からだせるのは、5月6日以後です。9月も6日以後になります。3月は役場から職員が出張してお手伝いしましたが、5月からご自分で書いていただくようになります。**上の凸版**で、本人がもらう人は「委任らん」の記入が不要です。局で記入すると混雑するので、事前に部落長を通じてお配りし、**家で記入**してもらうやり方をとる予定です。

こうしておけば、郵便局の事務も長びかず、待たされる時間も少ないわけです。上の書式を参考にして、どうぞ前もって記入してください。

福祉年金請求書兼受領証書

証書記号	書号	山い				支払期月	35年 5月			
証番書号										
請求金額		金		万	千	百	十	円		
					4	0	0	0		

国民年金証書を提示して、上記のとおり請求します。

上記の金額を受領しました。

昭和35年 5月 6日

住所 吉敷郡大内町大字矢田10番地
氏名 甲野乙吉代理人 甲野一郎 ㊞イ

委任欄 上記の金額を受け取ることを下記の者に委任します。
受給者（住所）吉敷郡大内町大字矢田10番地
（氏名）甲野乙吉 ㊞ロ
代理人（氏名）甲野一郎
備考

支

→**右の凸版**は、郵便局に備えつけてある福祉年金の請求書兼受領書です。代理人が受けとる場合の、書き方の見本としてだしました。㊞の**イ**は代理人の印、**ロ**は受給者の印です。

お知らせ

▽**教育講演会を、3月20日大内中体育館で開催いたします。**午後1～4時半までで映画（伴淳のおじいさんなど）もあります。講師は国学院大の増田教授で「日本教育の現況と今後のあり方」ぜひおでかけください

▽社会福祉事業にと、殿河内の江藤庄助さんが金一封を**寄付**されました。なくなった夫人の供養ということで。

▽原爆でなくなった人たちの**慰霊祭**が、3月20日度鯖の禅昌寺で行われます。主催は、県原爆被害者団体協議会。

▽役場の**臨時職員**を募集します。高校卒以上の学力をもち、町内に居住する人。3月末までに総務課庶務係へ、履歴書をそえてお申込みください。（1月以降すでに履歴書の出ている人は不要）試験は4月上旬。

▽**宅地建物取引の登録業者**が県下に117人おります。住宅や宅地の売買、交換、貸借のあっせんなどを事業にしています。この取引員は県の試験に合格し、登録業者になっています。店にはお客の見やすい場所へ、県の登録票や県で定めた値段表が、かかげてあります。

▽**密蜂**をかっている方は、法律により役場を通じて県知事に届けでることになっています。くわしくは経済課へ。

▽**印鑑証明**を代理者がとりにくる例があります。かならず本人が取るようにしないと、同一家族内でも問題を起しかけた例がありますからご用心。

▽**生カキにご用心。10～12日にセキリ8名発生。**

腹をかかえて笑いころげた

話あい運動のモデル地区として、県下でただ一つ大内町が指定されましたが、町内では、小鯖稔畑、大内菅内、仁保丸山、がモデル地区として選ばれました。残念ながら、仁保丸山部落の取材はできませんでしたが、稔畑と菅内の話しあいに参加して、活ぱつな模様を知ることができました。

菅内の婦人会が集ったのは、3月1日でした。テーマは「支部長になることをなぜいやがるか」で、つぎのような意見が各グループからでました。

①多人数からこごとを聞くのがつらい②かげでなにかといわれるから③手間がないから④人前で発言するのははずかしいから⑤責任が重いから⑥教養が浅いから⑦支部長だけに仕事が重すぎる⑧家庭の理解がない⑨会の金の使い方で、遠慮がある⑩会員が協力してくれぬから

以上でした。それで、菅内では、選挙で当選したら、ぜったいにやらねばならぬという約束で選挙するのだそうです。どんな理由があっても断わることはできないのです。これではまるで押しつけです。しかし、

なぜ婦人会支部長になりたがらぬか

いまのままではそうでもしなければ選出できなかったのです。そこで、一つ一つ話しあいで理解しようと努めたのです。まず「こごとをなくすにはどうするか」のテーマーで

①小さいことでも皆に相談したらどうだろう②かげでいう人には、話しあいのとき発表することをすすめる③皆にはかってきまったこごとをいわない④選出した以上協力してゆきたい

これが実行できれば、なるほどこごとはなくなるでしょう。一つの問題に出た意見を、いくつかに分類して、分類の項目ごとに話しあいを進めてゆきました。6人ごとのグループですから、だれもがうんとしゃべり、腹のなかのもやもやを、すっかりはきだしました

菅内の集い。こんな楽しい集会は，はじめてだったと。

集会運営のコツも身についた

写真でおわかりのように、小鯖の稔畑も大内の菅内も、主婦たちの話しあいでした。仁保の丸山の場合は全部落でしたが、稔畑も菅内も主婦たちのグループにやっと根をおろしたのです。2枚の写真でどの婦人もにこにこ笑っています。それほど、集会は楽しくて、なごやかだったわけです。

その原因は、ただ集ってただしゃべるというのでなく、集会運営のコツが、いくつか考えられたからです。全員が時間厳守を誓って、定刻には遠慮なくはじめました。6人あてグループにわけ、各グループのまとまった意見をだしあいました。だれてくると、リクレーションを入れて、腹をかかえて笑いました。そしてまたグループ討議で、人前では発表しにくいことをグループの名前におきかえながら遠慮なく検討を進めてゆきました。こうした集会運営のコツが、23回会を重ねて主婦たちの集いにもよく理解できたからです。

県の選管が大内町を話しあい運動のモデル地区として指定しましたけれど、この話しあいには、とくに選挙をとりあつかった話題はでていません。しかし、こうして話しあいによって、主婦の視野が巾広く社会のすべてにそそがれるようになったときには、公明選挙も、はっきりした自覚のうえに、認識されることでしょう。集ることが楽しくておたがいの意見を深めあえる点で、話しあいの根はたしかにおりました。

地域の問題点と取り組む

稔畑と菅内の主婦たちが、地域の問題点と取り組んだ内容は、簡単に左右の記事で紹介しました。いくら集会が楽しいからといって、日常生活で一番悩みに考えている問題と結びつかなくては、話しあいを続ける意義そのものがなくなってしまいます。

だれもが考えあぐねている問題を協同で解決し、協同で実行してゆこうという意欲が紹介した二つの地区では生れはじめました。問題点と取り組むという意欲が、これからきっとすばらしい実を結ぶことでしょう。話しあい運動を実行するのに、県の選管から中山、藤井主事に出席願い、運営方法についていろいろ指導を受けました。ありあわせのしゃもじや盆を順々に渡し司会者がガラガラガラといっている間中廻ります。どかんーといったとき、その物を持っている人が、グループの司会者になるわけで、こんな他愛ないことでも、集会でやると、結構楽しいことでした。集会を楽しくする方法をいくつも覚えたことは、たしかに収穫でした。いかがでしょうそれぞれの部落でも実行なさっては。

＃よい子のしつけ＃

稔畑の婦人会が集会を開いたのは、2月20日でした。この日のテーマは〝家庭での子どものしつけ〟についてでした。つぎのような、さまざまの悩みがでてきました。

①兄弟げんかをする②勉強するのに、依頼心が多すぎる③後始末が悪い④口ごたえをする⑤他人のものをほしがる⑥ぐちっぽく変屈でこまる⑦親にはよく、老人には反抗する⑧末っ子がわがままだ⑨勉強に落着きがない⑩子どもがどうも内気だ⑪おやつのしつけをしたい⑫ことば使いが悪い⑬老人が子どもに甘くてこまる

以上でしたが、大内の菅内と同じように、6×6式の討議で、検討を続けました。さて、これらの問題を、家庭内でどう処理するか、についての意見は、つぎのようでした。

母親から姑への希望①子どものいたずらは大目に見てほしい②いつでもおやつをやることがいけない③母親がしつけをやる場合に、としよりがかばうから、子どもがいうことを聞かぬようになる④老人もある程度しかってくれ⑤子どもに、おもちゃをもっと買与えたい。嫁は買いたいが姑は買いたがらない場合もある⑥としよりと母親が仲良くしてくれないとこまる……こうしたことですが、もっと建設的に話しあわぬと、批判ばかりでは、話しあった自己満足しか残らぬと反省がでました。

そこで、嫁と姑の感情のもつれが子どもの教育にも影響するから、もっと家族全部で話しあいを実行し、日常の家庭生活の話しあいのなかに理解を深めようということになったのです。

記帳で目覚めた主婦たち

豊北町の寺地部落

ふとした動機から、部落中の主婦が家計簿をつけはじめ、たいへん効果をあげているところがあります。家計簿グループが、どうして発足し、現状はどうなっているかを、ご紹介しましょう。

家計簿グループがあるのは、豊北町竜部の寺地部落です。この地区は米麦を主に作っている地帯で、経済的にもあまり恵まれていません。戦後生活程度が向上したのと、高校へ進学者がふえて、ともすれば出費の多いのにグチをこぼしあう状態でした。

グループの集会で、ある主婦が一カ月の生活費をしめて発表しました。どうせ入る金はきまっているのにと、たかをくくっていた主婦たちも、この発表は大きなショックでした。

やはりまだムダがある

端ぎれの大安売りを買って、いまだにタンスの底に眠っているもの、意外に多い医療費など、一つ一つがみんな思いあたることばかりでした。皆が考えました。どうせつけてもつけなくてもではなかったことを、はっきり知ったのです。新生家計簿の記帳グループは、こうして誕生しました。

「老眼鏡をかけ、鉛筆をなめなめ思案していると、子どもたちも集ってきてあれこれそばから知恵をかしてくれます。見積りにはおとうさんに一役買ってもらったりして、どうにか一ケ月がすぎました。」

月例会でも勉強

月例会には、家計簿をかならず持寄り、集計の仕方や現物（野菜など）の見積りも研究しあいました。成功談や失敗談をひろうすることも、もちろんです。12月には、1年間の集計をやってみました。そして、大きい買物について、たいへん役に立ったものには○を、欲しいと思って買ったものでも案外に役立たなかったものには△をつけてみました。当然ですが、△の多い家と、○の多い家とができました。なぜそうなったかを反省しあって、品物を買うときの予備知識ができました。12月の反省会で一番問題になったのはつけ落しでした。飯台や出入口にメモ用紙をつけたり、小黒板を取付けたりで防ぎました。こうして、一年間の必要経費がはっきりしたので、総収入から家計費仕向けを考えてもらうことにしました。少ない収入のなかで、家計費の**絶対経費**だけは、どうしても必要ですから。子どもたちにも予算生活を実行してもらい、完全に計画的消費生活を行ったのです。

どこかに収入源がほしい

予算生活をしてみると、どうしても必要な家計費と収入とが、なかなかつりあわぬことが悩みの種です。どこかで収入をもちたい……とこの寺地部落の主婦たちは養鶏をはじめました。主婦にもでき、養鶏組合で出荷体制も整っているし、大根・白菜などなっぱ類の自給もできるという理由からです。

こんな効果があった

この家計簿グループで効果のあったことは、

(1)ゆきあたりばったりの生活から、数字を眺めての生活に変ったことです。それだけ生活に計画性がでて、堅実になりました。

(2)生活の問題を中心にして考え、逆に生産はこれこれ必要だと、経営に対する目標と夢がわきました。

(3)若妻グループが、この家計簿グループを動機にして誕生しました。記帳というのはややこしい、いっそお嫁さんにやってもらった方がいいという理由もあったのです。

(4)わが家の経済10カ年計画というものを作りました。生活から逆に生産を考えて、こうありたいという経営の目標も立てたました。これは同時に、部落全般の、（つまり私たちが協同して実現する）計画にもつながって、部落づくりへの意欲を盛んにしました。

(5)そのほか、生活上の問題点（医療費が多すぎるとか、食費がカロリーの割に高いとか）がつかめ、対策を考えることができました。

税金相談室

私たちに直接関係のある税金が、どんな基準で課税されるかを、簡単にまとめました。疑問の点は税務署までおいでにならなくても、役場の税務課でご説明いたします。

×

問＝父がとしよりで、死んだら**相続税**がたくさんかかると心配している。不動産も多いし、どのくらいのものだろうか。

答＝基礎控除が150万円、相続人1人につき30万の控除があります。おかあさんと兄弟3人でしたら、30×4＝120万、合計270万円がお宅の控除額です。相続権を放棄しても、控除はあります。税額は累進課税で、財産の多いほど増えますが、約1割です。

問＝財産の種数別に、どの程度税務署が見積るのか。

答＝家屋は賃貸価格の2千850倍、家財はこの6割あるとします。家が100万円の人は、60万円の家財があるというわけです。山地は8千500倍立木状況を別に見ます。時価の8割程度です。農地は田4千100畑五千300、宅地は4千倍です。この計算で出た金額から控除額を引いた残りの約1割が税額です。以前にくらべると、かなり安くなっています。

問＝山を売った代金を、息子にやったといったら、山林所得のほかに**贈与税**までとられて、えらく損をしたという話を聞いたが……

答＝最初の1年間は同一人に対して20万円まで控除があります。2年目3年目は10万円あてです。一人の人に対して、3年間に40万円は無税で贈ることができます。だから子供3人に計画的に贈与すれば、3年間120万円は無税で贈れます。贈与税がないと、相続税も結局は不要になりますから、関連してお考えいただくと、おわかり願えましょう。累進課税ですが、約1割の税金です。やりもしない金をやったと嘘をつくと、払わなくてもいい税金をかけることにもなります。

問＝**山林所得**に対する税金がよくわからぬ。すぎ・ひのきなど売った場合は……

答＝すぎ・ひのきに対しては二とおりの課税方法があります。①本人の希望で、売買価格の68％を所得とみる方法（造林費がたくさんかかりますから）②昭和21年3月、財産税当時の評価額の25倍したものを、売買価格から引いた残りを所得と見る方法――①と②のどちらをとられても結構です。財産税当時の評価額の25倍で、今日の資産再評価を行うのです。これを引かないと財産税を支払った人には、2重の課税になるからです。

問＝天然造林と人工造林は所得の見積りが違うわけか、天然造林の例を教えてほしい。

答＝人工造林の場合は、いま申しあげた①②どちらをとってもよいが、天然造林は②の方法しか認めていません。財産税当時のそれぞれの山の評価額は、税務署でも役場でもわかります。それを25倍したものと基礎控除15万円を引いた残りの額の約1割が税金です。山林業者はほとんど法人になっていますので、売買価格は帳簿で正確にわかります。嘘をいってもすぐばれます。

（この続き、4月号へ）

緑化の歩みこの一年

年間成長量の2倍を毎年伐採しているというのが県下の実情です。これではいつたいどうなるでしょう。

採量には間違いないのですから、うう結論はでていません。しかし、従来のものも、外国樹種もあわせて、大内町内の成長量と伐採量がつり合うように努力してゆくことは、私たちの大きな目標です。

さて、3月中旬までの緑化は町民有あわせ約500㌶ルでした。町有220㌶、民有260㌶の見込です。民有林は、人工造林60、天然造林50、下刈手入れ150㌶が内訳です。

森林資源は次第に減少

なにしろ伐採量が大きいのですから、植林やぶ育の方にも、うんと馬力をかけないといけないわけです。県下の針葉樹は、約50万立方メートルの年間成長量があるとされていますが、伐採量は108万立方メートルです。約213％、倍以上です。広葉樹の方は35万立方メートルの成長量に対して、50万立方メートルの伐採量ですから、146％になります、針葉樹に比較して低いとはいえ、やはり5割ほど上廻っています。

大内町でもこの数字の例外ではありません。町民有あわせて、約1万ヘクタール（町）ありますけれども、今年度の伐採量は、約二万三千立方メートル、成長量は約二万立方メートルと推定できます

県の平均186％（針広葉樹合計の平均）と比較して成績はいい方で県下で6番目ぐらいのところです。でもやはり成長量を上廻る伐

役場前を山口に向う仁保駅のこせのパレード　自転車隊は沿道の拍手のなかを、防府―東京へ

沖縄かえせ・仁保駅のこせ

需用は毎年一割ふえる

各種の産業の発展、住宅難の解消といった理由で、用材の需用量は将来も毎年10％程度増加するものとみられています。だから、針広葉樹とも、成長量の速いものが要求されます。速いほど、伐採量と成長量の差が、ちぢまるわけです。林業試験場で研究している、北米原産のテーダ松、イタリヤポプラなど、まだ大内町が適地とい

ことし新しい森林計画

4月入ったら、新らしく大内町の森林基本計画がねられます。60日間の予定で、県から係官がやってきて調査します。一筆ごと林相ごとの調査ですから、かなり厳密なものです。具体的なやり方については、別に町の方からお知らせいたします。

ご存知でしょうが、**森林計画**は(1)森林基本計画 (2)森林区施業計画 (3)森林区実施計画の三つに分れています。基本計画は農林大臣が編成するもので、5年間の計画です。造林、保育、伐採、林道、保安施設など、森林を育て治山治水にも支障のないよう、基本的な計画をたてます。(2)は県知事の編成で、計画期間は同じ5年間です。具体的なやり方を、くわしくきめます。(3)も県知事の編成ですが1年間の計画です。すべて、森林が荒れず資源をふやしてゆくための計画です。この森林計画の制度は、昭和26年森林法が定められてからで、大内町でもこれまで2回森林計画をねり直した計算になります。県下の民有林を五つの基本計画区に区分しているので5年に一度はかならず計画を立てる年がやってきます。

34年度の山火事は13件

この一年間に発生した町内の山火事は全部で13件ありました。若い山だったせいもあり、損害は44万円でした。仁保地区が一番多くつぎが大内、小鯖の順でした。ほとんどが、たき火の不始末でありました。県下の状況は、被害約1千万円。原因はたき火4割、たばこ2割、つぎが火入れの不始末となっています。

3月は緑の羽根

例年のとおり緑化運動が行われています。この運動を進めるための募金を、〃緑の羽根〃でお願いしています。県の目標300万、本町は3万7千円です。この募金の半額は、大内中の環境緑化、仁保招魂社境内緑化に使う計画です。募金には婦人会や中学生が奉仕しています。今日まで民有林緑化の実績は260ヘクタール（町）でしたが4月にかけて、ぐんぐんふえます。

3月8日，小鯖の境・柊部落が，部分林の手入れを行いました。字壁石（防府に向って鯖地の左手の高い山）の現地は，けわしく，たいへんな苦労でした。

便利帳

▽**はしか**が3月から5月にかけて流行します。はじめはかぜと同じようなので放っておくと、肺炎や腎炎などを併発して、命とりになることもあります。子どもの抵抗力を弱らせますからなおっても過労にならぬよう注意がたいせつです。

▽**ほうれん草**は栄養価の高い食品ですが、食べすぎは害になると心配する人があります。中に含まれる修酸の害も、毎日1㎏以上も食べているとき心配な程度です。アク抜きの目的でゆでれば、大部分の修酸はなくなります。

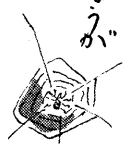
▽**非常電話**を警察にかけるには、「事件です。警察へ」と交換手にいえばすぐつないでくれます。「山口警察署につないでください」では、遅くなります。

▽　夫が死亡したり離婚して妻が子どもをつれて**実家に復籍**すると、妻の姓はもとにもどりますが、子どもは夫の姓のままです。子どもが学令期に達して、あわてて改姓を手続きする例が毎年あります。家庭裁判所へ手続きする書類は、①子および母の戸籍とう本 ②父親の同意書も、あった方がよい。印紙が50円、呼出費用として切手約40円ほど必要です。家庭裁判所から審判書（許可書）がきたら、役場の戸籍係で、子どもを母の籍に入れる手続きができます。以上は、離婚届けだけで別れたときで、家庭裁判所で離婚調停が成立したときには問題ありません

▽　毎年春休みには、少年の**不良化**がめだちます。夜間の外出や喫煙などに、つねひごろからご注意ください。

▽**わずか10秒か**20秒を急いで、一生を棒にふる例が、交通事故にたくさんあります。昨年県下で死亡は210人けがは3千600人にものぼっています。右側通行と、道路横断を斜めにしないといった平凡なことが、案外守られていません。

▽**3月はサギ**の多い月。昨年県下の被害は4千400万円に達しています。急用ができたからちょっと借してくれという寸借サギ、留守宅をねらうサギ、大島つむぎの原産地と名乗って人絹を売りつけるチバ師など、手口はあれこれあります。身分証明書など、インチキなものが多いのです。人相やことばのなまり、自動車の色、番号を覚えておくと、検挙のたいせつな手がかりになります。



▽**軍人恩給**と扶助料は7月末、**引揚者**給付金は5月16日以後請求権がなくなります。請求がすまない方、請求はしたが書類が返ってきた方は、ひとまず町民課福祉係へご相談ください。

▽**高校に進学**したくても、経済上の事情でかなわぬ人のため、奨学金制度があります。日本育英会、県奨学会、県遺族会奨学金、母子福祉資金などで、月約千円程度です。学校の先生へご相談ください。

▽**山の仕事**には、頭のケガが多いので、4月1日から保護帽をかぶらなければならなくなりました。また労災保険にも、万一を考えて当然加入することになっています。

▽山口高校の**通信教育**の出願は4月20日までです。

四つの文化財 指定の可能性が強い

大内町内の四つの文化財が、国または県の重要文化財に指定されようとしています。まだはっきりきまったわけではないのですが、可能性は強いのです。文化財の紹介を試みました。

鼻舞（小天狗）が獅子頭と対になって舞い，ひょんげじいとおたまが周囲を廻る

☆

四つの文化財は、仁保の源久寺に二つ、玄塔院に一つ、いま一つは小鯖宮河内部落に伝わる無形文化財としての大神楽です。

源久寺は、平子重経が鎌倉から下り、恩賞としてもらった仁保庄に落着いたとき建てた寺です。重経は、頼朝が石橋山に挙兵したとき味方となり、天下統一に協力をしました。戦国時代の地方の状況を調べるのに唯一の資料だと全国的に有名な三浦文書は平子（三浦家）に伝った古文書です。源久寺には、平子重経の木像と本尊の阿弥陀像があります。重経像はカヤの一材製で、自分で彫ったと伝えられております。阿弥陀像は藤原期の仏像の特徴をよく伝え、多分鎌倉初期だろうと、文部省技官の鑑定でした。国の重要文化財指定が有力です。

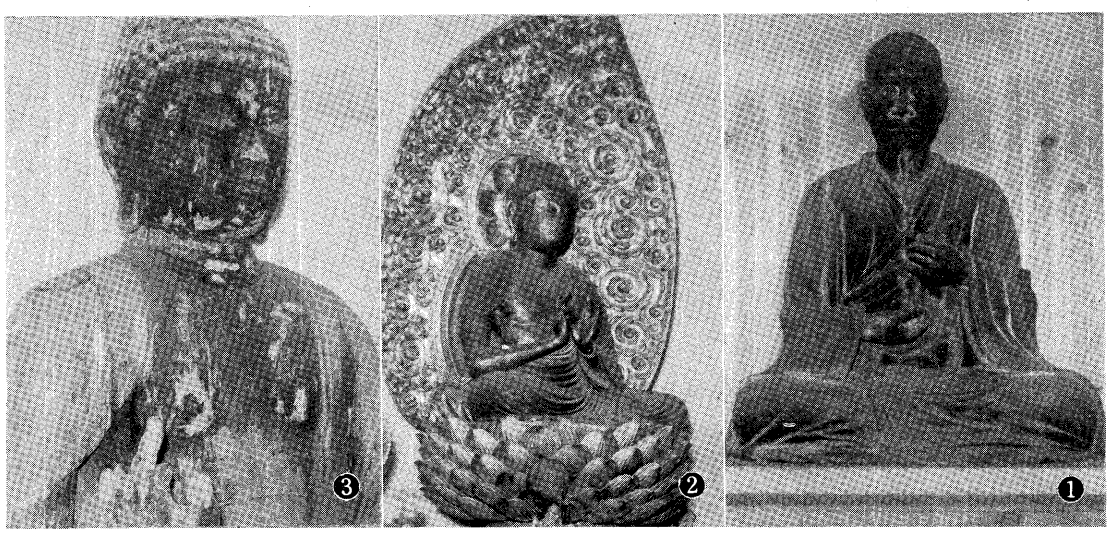
玄塔院のは大仏像で、奈良の大仏と同じようなかっこうです。丈六の大仏（長さ約3m）といわれ、すごく大きいものです。ひのきでできています。惜しいことに写真で見るように、手の先がかけています。時代は多分平安後期だろうと。県の文化財指定が有力です。

質素で美しい大神楽

上小鯖の宮河内部落に長く伝えられた大神楽は、昔も今も八幡宮の春秋の例祭に舞われます。人数は27人で、獅子が2人、獅子の前を舞う鼻舞（身軽い子どもがなる）1人おかめの面をかぶった〃おたまと、ひょっとこ面をかぶった〃ひょんげじい〃が各1人の合計5人です。はやし方の笛は篠竹で作った横笛ですが人数は7人、大太鼓小太鼓各1人、かね大小に各2人、合計13人がはやし方の人数です。ですから、交代を合計すると27人になるのです。

この大神楽には、昔を伝える文書が元禄4年のものしか現存していません。しかし、舞の様式の古さ、質素で力強い舞いぶり、諸道具の様式などから、伊勢神楽の正統を伝えるものとされています。

そろいの黒のはかま、白の上衣、白足袋までそろえてはやし方が奏でる中に、素ぼくに舞い踊る大神楽が県の無形文化財として指定される日も遠くはなさそうです。4月にはテレビ放送にものります。


①は平子重経の木像、眼には水晶が入れてあります。
②が、源久寺の本尊阿弥陀像。高さ約50センチ。仏像と台座は年代が違います。
③は玄塔院の大仏像。座った姿で下から天井まで。

生れつき無能だというのはあんまりかわいそう

わりと熱心に勉強するのに、どうも効果があがらない——お子さんについて、こんな歎きをもっている方が、案外に多いようです。そして、「個人差があるから」とか、「生れながらの能なしだから」といった**あきらめ**を持っている方も多いようです。しかし、特殊な子どもを除けば、それほど能力に差があるものではありません。

×

差の出る大きな原因は、勉強のしかたにもあるようです。平素からの勉強不足なら、当然のことですが、しかし、周囲が励まそうとして、刺激を与え、結果的には劣等感を植えつけてしまった場合も考えられます。精神が集中できないと、机に向っているばかりで、効果はまずあがりません。集中してやっているが能率があがらぬという場合は、一つにこって、むきになりすぎている場合に多いようです。こういう例を大きく大別しますと、**心理的なものと学習設計のうまいへた**に分けられましょう。

家庭環境や友人関係で大きく左右される心理的なものは、少しあてよくしてゆくようにすれば、次第に改善されましょう。

×

さて、その学習設計ですが、教科の組合せも効果があります。算数や数学、理科のようにものごとを中心にする教科と、社会、国語、英語のように**記憶する**ことを中心にする教科とがあります。音楽、図工、体育などは**実習**を中心にした教課だといえましょう。

ところで、朝から晩まで考えることを中心とする教科ばかり勉強していると、思考力がにぶって、頭脳はうんと疲労します。効果もあがらないわけです。考える学習を一時間やれば、つぎは記憶する学習、つぎは実習で体得する学習というふうに組合せをやると、効果的です。

長く机についていると、かえって非能率な勉強になります。小学ならば2時間、中高生で3時間に20分ぐらい軽い運動や**レクレーション**をすれば、頭のきりかえもできましょう。

漢字や英語の単語など、記憶するものは、朝、ひる、晩と短時間あて回数を多くすれば、記憶はよりたしかになります。そして基本的なものを徹底的に記憶する方法をとらぬと応用がきかなくなります。やはり学習効果は付け焼刃でなく、長期の計画を実行する以外に方法はなさそうです。

×

▷……検察官の仕事に国民の気持を反映させる検察審査会……◁

これは実話です……

青物商の山野一夫さんは、同業の信用もあつく、近所の奥さん連の気うけもよかった。いつものとおり、自転車で得意先を廻って帰る途中、突然背後から迫った暴走するトラックにはねられ、転倒して気を失った。警察からの連絡で、愛児を背負った妻みよ子さんが病院にかけつけたとき、山野さんは意識不明で寝台にころがっていた。眼と鼻だけを除いて、すっぽり頭を包帯につつまれて……

数日後——山野さんは眼をあけ、声も出るようになった。しかし脳をしたたかにやられて愛妻みよ子さんの話にも空虚な眼をむけるだけだった。だから検察官の取調も、「わからん」の一点張りで、手のほどこしようもなかった。一方、暴走トラックの運転手の申立てはこうだった。「なにしろ横道から自転車で飛びだしたんで、トラックの急停車も間にあいませんや。」不可抗力だと主張した。通行人も少ない広い道路のこととて、証人もえられぬまま、検察官は運転手を不起訴にした。同業の金田さんは、不遇の山野さんに対する同情と、検察官の不起訴処分に対する不満から、検察審査会に審査の申立てをさせてみた。さっそく審査会が開かれた。金田さんの尽力で新しい証人も現われ、横道から飛び出したものでないこともわかった。運転手のウソはみごとはがれてしまった。審査会は起訴すべきものとして、検察官に申入れ、裁判の結果は過失傷害罪で有罪の判決が下った。

×

以上の実話で、検察審査会の仕事がおわかりいただけたでしょうか。大内町の場合、山口地方裁判所の管轄である5市11町村（阿武、吉敷、佐波、美祢、厚狭、防府市山口市、小野田市、美祢市、宇部市）からでた審査員で構成される審査会に属しています。大内町で**現職の人**は、鯖山の宝迫栄人さん、清水善達さんの2人です。選挙人名簿の中から、くじで選出します。いままで審査員であった人、補助員であった人、現職の人で、〃検察審査会**クラブ**〃が結成されていますが、大内町ではほかに、仁保の岩田博さんと堀山栄さん、大内の増野良介さんと溝部衛さんと合計6人です。審査員は11人、半歳あて改選です。

×

検察官とて人間です。間違いがないとは保障できません。検察官のもつ強い権力で、私たち国民の自由と権利が圧迫されてもかないません。検察官の仕事を国民のなっとくのいくものにするのが、検察審査会の大きな職務です。なにか問題があったら、町内6人のクラブ員にこっそり相談してごらんなさい。

大内町広報

昭和35年4月15日
第57号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

農林振興資金の制度がかわる

4月1日から改正。融資額が1億7千万円にふえ、制度全体が簡単になりました。つぎの広報へ解説をのせますが、お急ぎの方はどうぞ直接経済課へ。

家庭と学校の連絡

ちょっとした連絡が、案外に子どもを生かすことがあります。子どもに関係した家庭の事情や悪いくせ、育ってきた模様など、包みかくしなく連絡すれば、学校の教育にも非常に参考になります。

税金

4月 固定資産税
軽自動車税

5月 納期は4月30日まで なし

部落長などずらりきまる

最近の町政で、大きな動きが三つあります。これから部落造りを進める組織が整のい部落長などがきまったこと、東園小の廃校問題、35年度予算の決定、といったところです。

役場臨時職員の採用試験

部落長や総務、文厚、産業の各部長は全部でそろいました。しかし部落によっていろいろの形があります。改正前の駐在員制度のように、一人でなにもかもますところや、部落長が総務部長をかねるところもあります。たくさんの役がらをきめた部落もありますが、役場としては、総務、文厚、産業の三つに仕事を分類してゆくわけです。役がらがこれより多くても少くても、部落運営上好都合だからきまったことで、ちっともさしつかえありません。あくまで部落の自主性で部落造りを計画的に進めてゆけばよいのです。

名前が変っただけではない

先日、こんな話をききました。駐在員が、部落長という名前に変っただけで、いままでどおりなんだと——。これは少し違います。これまでの駐在員制度は、役場の出先きといった性格が非常に強かったのです。それぞれに個性と持ち味をもった部落活動に対し、全町を一つにくくった通達をしていたのではくとおり一ぺんのものになります。部落の欠点も長所も知りぬいた人たちが、衆知を集めて協力しあえる組織を、と考えた結果誕生したのです。

部落長と部落の公民分館長は、なるべく兼ねていただくようお願いしましたが専任の部落が四つほどありました。なにか事情があったのでしょう。残りの53部落は兼任でした。公民館活動は、そっくり部落造りであるという考え方から、部落のすべてに通ずる視野で、日常生活を見つめていただこうというわけです。

各課で年間の予定表いそぐ

いま役場の各課では、部落に関係深い年間の仕事の予定を組んでいます。予定を各部落にも前もって知っていただき、連絡をよくとり、順序よく仕事をしてゆくためです。でないと、有線のない地区では、とかく必要なときに間にあわなくなりますから。第一回の**部落長集会**は26日大内と小鯖、27日仁保支所で開きます。

東園小を37年度までに廃校

東園小学校は、昨年新入児童が少なかったので、1、2年生が複式授業になりました。この複式学級をめぐって、小規模な学校の教育に対する不安から、廃校問題が起りました。昨年暮からわきおこり3学期末が迫るにつれて、いっそう希望は高まりました。しかし、学校の伝統と長い歴史からすれば、そう簡単に愛着を断つことはできません。当然、存廃の意見は分れて対立しました。35年度から複式学級児童の定数が35名に引下げられたので、複式はまぬがれましたが、小規模学校経営の解消は根強く主張され、問題をいっそう複雑にしました。

3月5日、議会の文厚委員と、教育委員会委員との合同委員会が開かれ、ついに最終的な決定をしました。つまり、37年度までに、廃校するという方針をたてたのです。これで、町内の小学校教育はゆく基本方針がはっきりしました。

しかし、東園校区でこの問題が解決つたわけではありませんでした。地元との懇談会や、有線放送を利用しての座談会と、3月はじめから4月にかけて、ひっきりなしに校区の父兄の考えをまとめるための努力が、辛棒強く続けられました。廃校を主張する側から、学校が廃止にならねば、子どもの転校を認めてほしいという要求もでました。しかし、転校を認めたのでは、実質的に廃止したことになりますので、これも了解をとる必要がありました。仁保地区出身の議員は、地元の了解をとるため、いく度も出向きました。こうして東園小の入学式には、新入児童が父兄とともに、全部そろうところまで、一応の解決点をみました。

この問題には、町の教育委員会や執行部の臨機の処置がたらなかったことも、原因の一つです。そのほか、いろんな事情もありますが、やはり廃校という場合には、教育行政のうえからも、地元の母校に対する愛着のうえからも、簡単にふみきれないものがあります。そのうえ校区にも問題があるでしょう。ともあれ、東園小については、校区の父兄によく理解していただき、出来るだけ発展的な解消へと努力いたします。

そのほかのおもな行事

4月4日、役場臨時職員の採用試験には、44名も応募がありました。

16日、小鯖八幡宮の境内で、無形文化財〃大神楽〃のテレビ撮影を行う予定です。ラジオ山口テレビの電波にのります。丸山の環境衛生も、近くテレビ放送することにきまりました。

同じ16日に、郡内役場職員野球大会で優勝した大内町チームは、富田中学校庭で、平生町チームと対戦をします。

17日（日）には、山口地区武道振興大会が、大内中雨天体操場で行われます。剣道、柔道、弓道の3種目です。大内中の生徒も、山口市の中学生も競技に参加します。

15日、マッシュルーム講習会が研修館で行われますが、内容の紹介はつぎの号へのせます。

4月8日大内小学校
1年生の教室で。

35年度の予算は＝総額9300万円＝

35年度の予算は、3月19日の議会で本ぎまりとなりました。まず**歳入**の面ではつぎのとおりです。（数字は記憶しにくいので、10万以下を4捨5入してあります。）

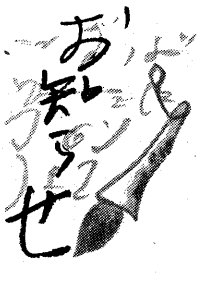
税	3900万
町民税	1120〃
固定資産税	2260〃
税付加交付金	1250〃
財産収入	2150〃
分担金と負担金	170〃
使用料と手数料	220〃
国からの支出金	820〃
県から〃	160〃
町債	550〃

歳出では、つぎのようになります。

会場費	160万
防災費	2300〃
木材費	400〃
育英費	740〃
施設費	1640〃
衛生費	940〃
経済費	100〃
産業費	1010〃
消防費	850〃
教育費	560万
債務償還	480〃
予備費	50〃

以上が、今年度大内町の行政をやってゆくのに必要な経費です。しかし新らしい必要が起るたびに、追加してゆきますので、まだまだふえる予定です。歳入はこの号で終りますが、歳出面の内容は、**つぎの広報**でおしらせいたします。

町民税は昨年より43万円ほど減っています。固定資産税は逆に54万円ふえています。町民税は固定資産の約半分です。行政上不足する経費として国がくれる〃地方交付税〃は、町民税より100万大きいだけで、ほぼ同額です。財産収入は、ほとんど立木の売上げ代金ですが、大体固定資産税と同じ額を見込んでいます。分担金や負担金には、工事などの地元負担金も入っています。使用料と手数料には町有の建物の使用料や、戸籍のとう抄本の手数料など入ります。国庫の支出金には、土木や耕地事業の補助、消防、教育、保育園への補助が入っています。県からの支出金には、伝染病や結核の予防に34万円、農業委員会の補助97万円がふくまれています。町債は公営住宅の建設費、町有林の造林費などを行うのに不足する金を、国から借金するわけです。



▽ **食糧配給店**の登録がえは5、11月と、年2回ほどできます。5月は15、16、17の3日間です（もちろん住所をかえるときはいつでも）登録がえを希望される方は、この3日間の間に、印判と食糧通帳をもって、町民課の受付へおいでください。買った代金が、まだ未払いになっていると、登録がえはできません。

▽ 以前にもこのらんに出しましたが、**住民登録、配給国保**の移動を届け出ていただくときには、印判と食糧通帳と、国保の被保険者証をお忘れなく。この三つがそろわぬと、なんども役場へ往復するようになります

▽ **公文書の本籍や住所**を書くとき、「山口県吉敷郡大内町大字御堀300番地」のように、大字をお忘れないように。普通使っている小字は必要ありません。「大内町御堀字問田300番地」は誤りです。大内町の大字は、つぎの八つです。

御堀、矢田、長野、仁保上郷、仁保中郷、仁保下郷、上小鯖、下小鯖

▽ **長野八幡宮**の歴史と神仰を研究したパンフレットができています。著者は殿河内の江藤茂氏。ガリ版30ページあまりで、代金は送とも50円。希望者は、郵券封入で、直接江藤さんへお申込みください。

▽ **徳山市立動物園**が開園しました。徳山駅から約1.5㌔直通バスで6分です。動物の数は130種、500点ほど。大人40円、中学30円、小学20円です。30人以上の団体は2割引き、設備のととのった立派な動物園です。

税問答

前号に続いて、税問答をまとめました。内容についてのご質問は、どうぞご遠慮なく役場の税務課へ。

×

問＝**町民税**だが、どんな基準で課税するのか。

答＝前の年の所得を対象にして計算します。その所得から基礎控除を引き（35年度は9万円）、残った金額に累進の税率をかけ、税金のもとになる金額をだします。それから扶養控除を1人当り500円ほど引いたものが、町民税の所得割額です。これに均等割額200円を加えたものが、町民税の税額です。

問＝扶養控除をくわしく説明してほしい。

答＝5種類ほどあります。未成年者（20歳以下）、老年（65歳以上）、不具、配偶者、寡婦です。これらの人を同一家族内で養っていれば当然扶養控除ができます。しかし、寡婦は、年収13万円以下の人で、未成年の扶養家族がいる人に限ります。もっとも、遺族年金をもらっている寡婦は、扶養家族はいなくてもよいことになっています。

問＝県民税を払ったおぼえがないが、やはりかかっているのだろうか。

答＝町民税の令書といっしょに書いてありますので、そう思われたのも、無理ありません。県民税は、県から町へ割当がきます。それを町民税↘の所得割額の合計で割りますと、率がでます。34年度は八分でした。全町の納税者の所得割額を合計したもので割ってでた数字を、逆に一人一人にかけると、県民税の額がでてきます。8分といえば$\frac{8}{100}$、所得割額1万円の人は800円ほどになります。これに県民税の均等割100円を加えて900円が税額というわけです。

問＝**固定資産**の見積りは、時価のどのくらいか。

答＝適正な特価ということになっていますが、時価のほぼ6割程度です。税率は$\frac{1.4}{100}$ですから、この二つをかけあわせて、時価の大体8分強になります。つまり300万円の不動産をもっている方は、1年に2万5千円ばかり固定資産税がかかります。評価は3年ごとに更新しますが、このつぎは36年度に行います。

問＝軽自動車税で、エンジンの容積と税額の関係を、なんどきいても忘れるのだが…

答＝町へ納める軽自動車税はつぎのようになっています。

60cc以上	500円
90　〃	800〃
125　〃	1000〃
250　〃	1500〃
350　〃	2500〃
農耕トラクター	1000〃

農耕用のトラクターは、陸上運送するものにかぎり、課税します。自動車税は県税ですから、もちろん県税事務所へ納めることになります。

問＝タバコ消費税ということばを聞くんだが、実際にはどうしてとるのだろうか。

答＝専売公社が、小売店に渡すとき、もう税金がかけてあります。約1割です。公社がとりまとめて町へくれます。電気税も中配がとる料金の中にかけてあります。

かけた金でかけただけの効果を

＝町内の建設工事の反省会＝

昭和34年度に行った町内の建設工事の反省会は、3月26日役場横の研修館で開かれました。参加したのは町内の土建業者、議会から土木と経済の委員、施設課の職員、それに県の出先である土木出張所の所長や土地改良事務所の職員などでした。

×

つまり、この反省会は、業者、議会議員、施設課、県の出先、と四者で行ったわけです。懇談会ふうに自由な討議をやりましたが、紙面の関係で、それぞれの立場の発言としてまとめました。

議会議員から（土木、経済委員）▽もっと工事に責任をもって、最後まで立派にやりとげてほしい。頭首工を作ったら、石垣の間から水がもって、利用者はたいへん難儀する。ヒューム管を埋める工事では、管の間から水が漏って、排水にえらく苦労したことがある。ヒューム管を埋めるだけの工事でなしに、関係者の利便も考えてほしい。でないと、業者としても、つぎの工事をやるときに、地元の協力がえられず、損をするだろう。▽工事中には、責任者が責任をもって回答できる人をつけてほしい。地元から苦情がでた場合でも、〃おれたちは命ぜられたとおりにやっているんだ〃の一点張りになる。▼県の出先に対して＝県工事に限らず町内業者を使ってほしい。大きな工事でも、下請けにだすと、結局は町内の業者ぐらいの規模の者がやることになる。分割するなりして、極力町内の業者を活用していただきたい。▼町内の業者に対し＝労務者には、なるべく町内の人を使ってほしい。それだけ町内に金が落ちることになる。▽業者は、工事の進行にあわせて、よく地元の人にも施行のしかたを説明し、理解と協力が自然に集まるよう協力してほしい。

施設課から　▽直接工事を監督する立場から見ると、34年度の工事は、大体よくできたと思っている。しかし、ひが眼かもしれぬが、県が発注する工事と比較し、少し粗雑であるようだ。町が発注する工事も、貴重な税金を使っての工事だから、どうか丁寧にやってほしい。▽工事中の連絡はできだかに応じて熱心にとってもらったが、現場にいつも責任者をおくようにしてほしい。職員が打ち合せにいって、らちのあかないこともあった。

業者側から　▽私たち業者にもいろいろと苦労はある。それを乗り越えて、さらによい工事をやる覚悟でいる。今日の反省会も、そうした勉強の場になると思う。▽努めて地元の人を労務に使おうと考えているが、自分の田だとか利害の深いところでは、むしょうに力を入れて、能率があがらぬ。かといって、ほかのところをやってくれともいえないし、たいへんこまる。▽工事はやってみぬとわからないことが多く、悩みの種だ。岩盤がでると、用意した杉丸太は不要になる。▽地元の希望にもなるべくそいたいが、まとまった姿で表現されねば、協力しにくい。甲の家はこういう、乙の家は真反対のことをいうというのでは、どっちについてよいかわからぬ。部落全体のまとまった意見をだしてほしい。

県の出先きから　▽（議員の要望に対し）発注に当っては、できるだけ地元業者を活用できるように検討する。▽（沖田橋の例で農道との接続点に3輪2台分の土砂を出す親切がほしいという議員の意見に対し）工事そのものに限定して考えている。親切とか便利とかいっても、なかなか限界がきめにくいので工事に限って考えているわけだ。

しいたけの共同栽培

仁保上郷揚山のしいたけ栽培は，14軒の共同経営で，今年からはじめました。種菌40万個も3月いっぱいに打込みました。共同の乾燥庫を，秋には建てる予定です。いま40万㎏の原木をもっていますけれども，毎年ふやしてゆくので，すばらしい量になるでしょう。木炭のゆきづまりをしいたけの共同経営で打開しようという計画から，この事業は発足したのです。

4月に入り山火事2件

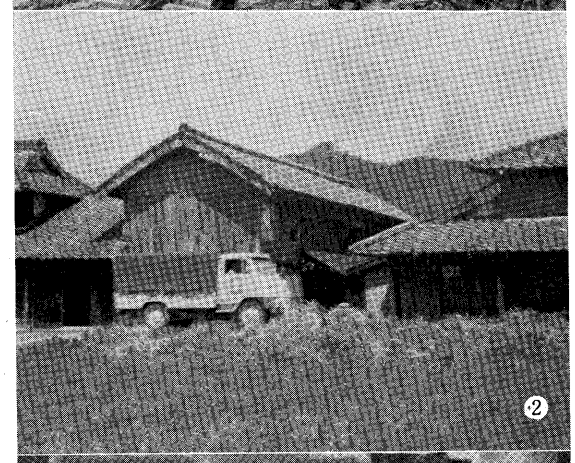
4月4日には大内地区氷上の山林が，翌5日には上小鯖の猿田のうえの山林から出火しました。氷上のは，頭のおかしい山口市の婦人のたき火から出火したもので，とんだ貧乏くじでした。今年はとくに乾燥がはげしく，おまけに両日とも風が強かったので，意外に大きな被害となりました。山でのたき火には，くれぐれもご注意ください。

（②は氷上の山火事）

東仙寺の十一面観音

東仙寺は仁保坂本の山のいただきにあります。3月下旬から4月上旬にかけて，本尊十一面観音のご開帳が，20年ぶりに行われました。遠く鎌倉初期，山伏によって建立されたと伝えられる由緒ある寺も，現在は無住で部落の人も維持にこまっています。しかし本尊の十一面観音は傑作で近く文化財申請をしようと，教委で準備を進めています。

①


②

③

▷〝赤豚〟共販と自給飼料がカギ◁

3月30日、赤豚飼育者の研究会が，仁保クラブで開かれました。この日県の係官も出席して，赤豚の将来につき，気付きをのべました。最近赤豚の飼育は非常な勢いでのびていますが，よりいっそう発展するための参考資料にと，係官の意見を要約しました。

×

1　子豚が高く売れるので，子豚を主体に飼育しているようだ。しかしそれではすぐゆきづまる。肉豚を考えぬと永続性がない。

2　業者と肉の取り引きをやっているが，バラバラでは中間の搾取が大きい。農協などでまとめて，**共同販売**体勢を作った方が有利。

3　肥育の有効なときを考えて売る必要がある。90～120キロが一番有利だろう。肉の価格が一番高い。肥らしてかえって損をする。

4　草だけでかえるというが，草を食う豚はまだたくさんの種類がある。草を食うということと，順調に肥ることとは一致しない。やはり人間の体と同じに，各種の栄養素を考えて〃生物〃として育てる必要がある。しかし，ヨークシャと違って，不便な山間部でも飼育できる長所はある。

5　豚の生産費の70～80％は飼料費だから，自給飼料が，成否のカギだ。それと生後2カ月で去勢しないと，肉が臭いし質が落ちる。

▷早期栽培でうんと収穫するコツ◁

水稲の早期栽培は，年々県下に普及し，すばらしい勢いでふえました。今年は8千㌃にも及ぼうとしています。大内町でも，約250㌃が早期だと推定できます。さて，多収穫のコツですが，苗代に長いあいだ置きすぎると田植えして間もなく小さい穂がでて，結局は収量を落とします。田植えに適当な苗は，苗代に種をまいてから，およそ35日です。

本田の肥料は，10アール当り成分量で，窒素7.5㎏，燐酸4.5㎏，加里7㎏が標準です。このほか堆肥が750㎏ぐらい必要です。早期は大体基肥に重点を置いた方が安全といえます。しかし水もれの激しいところでは，穂肥として窒素の追肥も効果的ですので，普及員にご相談ください。

しろかきは，苗が小さいので丁寧にして，深植えをさけなければなりません。早期で多収穫ができやすいのは，穂数の多いことが原因ですから，3平方㍍当り，70～80株，1株4～5本植えの密植にする必要がありましょう。

幼穂形成期ごろになりますと，紋枯病が発生しはじめますので，有機ひ素剤の散布が必要です。最近はい縮病やしま葉枯病の発生も多くなりました。これも有機燐製剤で害虫を駆除せねばなりません。穂がでて30～35日ごろが，刈り取りには好都合です。

大内町広報

昭和35年5月15日
第58号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

妙見のラジュウム泉

成分の分析がまとまりました。神経痛やリュウマチ、胃かいよう、十二指腸かいよう、すべて慢性のものに効果的です。急性にはかえって逆効果です。県下で3位のラジュウム泉で、宮野温泉よりも、はるかに効き目があります。

農林振興資金の解説は次号へ

紙面がたらないのと、町内の借入れ状況のとりまとめが意外に手間取るので、解説を次号にゆずりました。この号へとお約束していましたが、謹んでおわびします。

税金

5月　なし
6月　**町民税**(第一期)
どうぞお忘れなく。

防除は部落の自主体制で

5月末までに器具も払い下げ

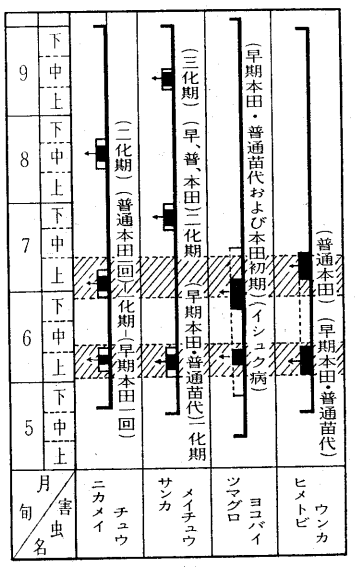
4月22日，上小鯖の田中正雄さんは，一家をあげて南米へ移住した。

水稲の病虫害防除は、栽培上ぜひ必要なものと理解されてきました。薬剤や器具の知識も常識的なものとなりました。そこで部落の自主体制にきりかえました

自主体制にきりかえるといっても、防除器具を部落で共有しているところが、約半数といった状態です。だから、いま役場で管理している動力散粉器具を、全部払い下げてそれぞれ部落で所有していただくわけです。払い下げで全部の部落にゆきわたる計画になっています。

器具の設置基準は、少くとも20ヘクタールに1台です。1台が1日に5ヘクタールはやりますから、集団的にすますことができます。病虫害の発生のお知らせは、つとめて役場の方からいたします。従来よりも、もっと重点的に力をそそぎます。

ことしの防除で一番必要なのは、**集団的な防除**です。部落というより、もっと大きな団地的考え方で、日をきめて短時間に防除する必要があります。従来の実績からみても小規模な防除で、どんなにムダな薬剤を消費したかしれません。



ことしも心配な イシュク病

各害虫ごとの、防除の要点をまとめました。

ニカメイチュウ＝早期と普通栽培のまじった地帯では、発生型が乱れています。防除形式も、6月5～10日、6月25日～7月5日の2回に分けられるようになりました。とくに早期の防除を徹底的にやらぬと、まわりの〈普通、晩植〉に大きく影響します。

サンカメイチュウ＝近年発生がふえています。普通栽培中性種に、穂のでない茎がたくさん見られます。サンカは〈普通苗代〉末期の防除が必要で防除期は6月1～10日。

ツマグロヨコバイ＝早期栽培田のイシュク病は目立ってふえています。とくに本田の初期に、れんげやまわりの青草を刈り取った場合、集中攻撃を受けやすいようです。普通栽培においても、苗代末期および本田初期に当たる6月中旬から7月上旬までが、問題となります。

ヒメトビウンカ＝これが媒介するシマハガレ（ユウレイ病）は、近年急激にふえています。早期栽培では、坪当り発生株率が40％を越えるものも少なくありません。これにかかると、株枯れするか出穂しないので、減収率は大きいです。早期で発病すると、普通田にも次第に波及するので早期本田と普通苗代末期の防除がたいせつです。それに普通栽培本田の後期感染（二次感染＝7月10～15日）は、みのらぬ穂となりやすく、思いがけぬ減収となることがあります。

有機燐製剤を使うときには薬剤などを、ぜひ指定した保管場所へもっていってください。袋を焼き捨てることも、届けをだしていただくことも従来と変りありません。昨年郡内で1名死亡者がでています。毒薬ですから、やはり慎重に扱いませんと。中毒になった人も郡内で5名ほどありました。有機燐製剤の中毒には、パム（岡山医大で発見）が特効薬として準備してあります。中毒して効くのなら、予防薬にもなるだろうという方がありますが、残念ながら予防には効きません。中毒症状を起したら、すぐ役場か、支所へご連絡ください。

× ×

とくに学童がキケン

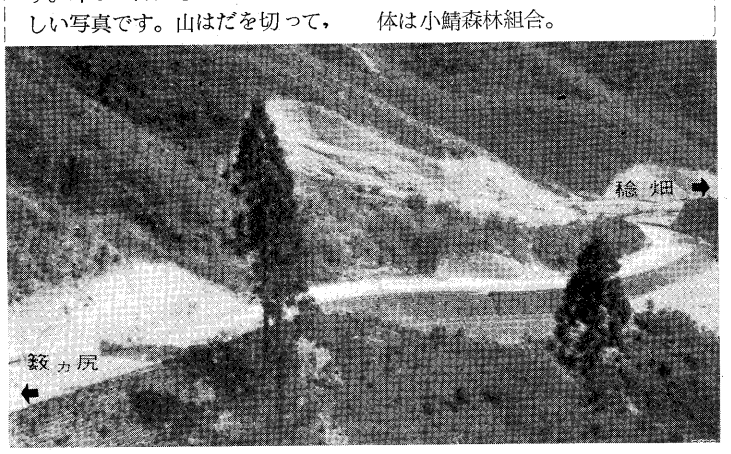
早期の本田と普通作の苗代とで、もう6月上旬には防除を始めます。赤旗で防除地域を示すことにはなっていますが、**学童**をもたれる家庭ではじゅうぶんご注意ください。遊びあるくはんいの広い場合は、なおさらです。

仁保の小中学校にテレビ

昨年度から町の直営林を売った場合、その5分を看守料として地区の管理組合に渡すことになっています。仁保地区の看守料管理組合では、大富、東園、仁保小中の四つの学校に、4月30日テレビを贈りました。仁保地区の共有財産から、子どもたちへの贈り物ができたわけ。

うねうねと1500メートル

稔畑から藪カ尻へ，うねうねと1500メートルの林道が続いています。峠のいただきから写した珍らしい写真です。山はだを切って，新らしく道をつける工事は，難工事でした。小鯖時代に 630メートル，昭和33年度農山漁村振興事業として820メートル完成。 事業主体は小鯖森林組合。



筆頭は役場費の2千300万円

つぎは教育費の1千600万円

前号のつづきで、新年度予算の歳出面をお知らせします。大きな項目（款）ごとの金額は万単位で、前号の広報紙にのせました。一番大きいのは、**役場費**です。2千300万円のうち、職員の給料が約1千万円、消耗品や燃料、通信運搬などの需用費が270万、職員の恩給や健康保険それに部落の交付金をあわせたものが約300万あります。

役場費について大きいのは、**教育費**の1千650万です。小学校へ500万、中学へ350万、公民館へ190万、女子学園と幼稚園へ90万あてがが、大きい金額です。

つぎに、私たちに直接関係深い**産業経済費**は約1千万円。このうち農委が159万、農業の改善と進歩をはかる農業費が290万、林業費が280万、耕地災害の復旧費などが250万です。

ことしは**社会施設費**が、例年よりも大きくふくれています。前年度164万だったのが、940万とふくれたのは、公営住宅の建設費が約700万入っているからです。保育園費で20万、傷い軍人や引揚者、遺族などを対象にする社会福祉費で40万ほど昨年度よりふえています。昨年よりふえたといえば**警察消防費**の400万も200万ほどの増です。消防自動車と可搬式ポンプ3台を購入する費用250万がふくまれているからです。

土木費は740万円です。道路や橋の修理と新設に480万組んであります。橋が120万、道路が360万です。災害土木の復旧費は220万ほど。

財産費の850万も大きい金額です。町有財産を管理し育てるための費用です。造林費に370万みています。部分林の分収金は260万、直営林の看守料60万、保護料30万など、建物をふくめた財産の管理に、450万円かかります。

以上のほかに、大きい金額では、**公債費**の560万。これは町が借りている借金の利子と償還金です。なかなかばかになりません。**諸支出金**で480万組んでありますが、徴税費の80万、国保会計へ出す繰出金の240万、有線放送の補助金50万がおもなものです。**予備費**は85万、前号の50万は誤りです。（この予算内容は、いろんな角度から分析したグラフなどで、解説を続けてゆきます。つぎの広報からです。）

▽ 納税貯蓄**標語**を国税庁が募集しています。7月末締切り。宛名は、東京都千代田区霞カ関3の2、国税庁徴収部管理課納税貯蓄組合係。賞金は1等5千円、官製はがき1枚5編以内。

▽ 日本短波放送では、広島と小倉の中央卸売市場の**青果物相場**を毎週6日間（月～土）放送しています。時間は午後5時から5分間、地方青果物相場の時間。当日の種類別、産地別、品種別の価格を安値、高値、中値の順に通報します。

▽ **失業保険**の取扱いが、4月1日から変りました。保険料の率が千分の16から14にさがりました。職業訓練施設に入所している人々はその訓練の終る日まで、保険金の支給を延長することができます。また就職支度金の制度ができ、保険金の支給を受けている人が、給付日数の半分以上残して就職したときにもらえます。2/3以上残したとき50日分、半分以上は30日分です。

▽ **テレビ**の寄贈が3台ありました。大内小へは、大正3年卒の藤井繁雄さん外23名から。小鯖小へは、小野元義（毛割）さんから。大内保育園には、杉山寅男（上矢田）さんからでした。

▽ 上小鯖松尾の曲り角に、青年団員の努力が実を結んで、立派な**防犯外灯**ができました。青年諸君の呼びかけに、地元部落長さんたちも協力し、みんなで力をあわせました。工費は約1万円かかったと。

▽ **セキリが大流行**です。4月までで昨年1年間を10名も、うわ廻っています。食事の前にはぜひ手洗いを。

祝問答

訂正　前号に、軽自動車税の税額をのせました。そのうち×cc以上とあったのは、全部×cc以下の誤りです。訂正いたします。

×

問＝こともした町民税が安くなると聞いている。どのくらいさがるか。

答＝昨年度にくらべ、総額で約86万円ほど安くなります。34年度は33年度より200万さげたので、この2年間に合計280万ほど低くなりました。税務課では連日35年度の計算をしていますが、今書の発送は6月20日の予定です。

問＝どうせ納めるものなら、**納税組合**を作って、報償金をもらったらと、部落で話し↘あっている。どのくらいもらえるか。

答＝完納した場合に、総額の3％です。別に納税者一人に対し20円ほどあります。僅かなようですが、合計するとばかになりません。菅内部落では、2万7千円の報償金がありました。

問＝あちこち納税組合ができたが、組合の納税額はどのくらいに達するか。できたところ、できないところの比率は

答＝全町の40％が、納税組合を設立しています。この納税額が1千500万円。電気ガス税やたばこ消費税、木引税などを全部ひっくるめて、町の収入になる税金は4千万円ほどです。特徴（給料から源泉↖ガス税とたばこ、木引税の合計が500万。これで差引きしますと1千300万ほどが、組合を設立していない納税額になるわけです。

問＝国税の関係だが、もっと安い納め方があったような気がする。3年前の話だが残念だ。

答＝どうぞ事前に町の税務課へご相談ください。不正をする意味でなければ、喜んでお役に立ちます。

問＝家屋や土地などの資産を売った場合、この所得は毎年発生するものでないから、有利な取扱いを受けると聞いたが……

答＝そうです。家屋の場合、以前買ったときの金額、改築費、売るための経費を、売った代金から引き、さらに15万円を引きます。これで残った金の半分を、他の所得と合算して税額を出します。土地の場合もこれに準じて計算すれば↙で徴収する）が700万、電気ばよいのです。

問＝家屋や土地の交換の場合はどうなるか。金額が同じくらいなら、かからぬか。

答＝居住用の土地建物を売る前後一年以内は、同金額ならもちろんかかりません。売った不動産が高く、買ったのが安いときには、差額だけ譲渡所得がかかります。しかし2割以内の差なら、問題ありません。

問＝**登録税**について説明してほしい。税率もあわせて。

答＝売買のさい必要なのは所有権移転の登記で、不動産価格の千分の50です。相続で所有権をとる場合は千分の6、贈与や遺言による所有権移転は千分の25です。新築家屋の保存登記は千分の6ですが、32年4月1日～37年3月31日までに建てた住宅は千分の1です。この税金は原則として収入印紙をはって納めます。

（税問答は来月も続けます。どうぞ質問をどしどし。）

金部の壷甲一万円

菅内で行なわれている公民館結婚の模様をご紹介しましょう。式をあげる費用も、ひろう宴も、全部あわせて1万円どまりというから安くあがります。倹約すればざっと6千円でもすみます。

→結婚式となると、どこも同じ見物人の山

とかく結婚式となると、5～10万の費用を使って、おっくうになります。菅内部落では、部落全部の申し合わせで、結婚式を公民館式ときめて以来、たいへん喜ばれています。費用も安いし、時間も節約でき、式としての一応の形式はとどこおりなくすむからです。

では、**式の順序**を紹介しましょう。(1)むこ側とよめ側と正面の左右にならんで、一同敬礼したら、式は終ります。この間ざっと30分、なかなかのスピードぶりです。

式がすめば、すぐにひろう宴です。菅内の部落の一員としておよめさんを迎えるのだという考えで、班の主婦たちが丹精こめた料理がならびます。道具も公民館に備え付けがあるので、簡単です。料理は300円まで。150円でやったことも、あるそうです。酒は一人100円、高くても一人合計400円ですみます。ひろう宴の経費は、普通よめとむこで4分6分の分担をしますから、8千円みればあまります。それに式をあげる費用が2千円もみればじゅうぶんで、1万円用意すれば、おつりがくるという勘定です。

写真でみるように、一人前

↑**これで一人前。折もりっぱ**

300円といっても、手間代が入らぬ実費ですから、質量ともに、貧弱なものではありません。もっと簡略なやり方もありましょうが、菅内では以上の方法で、部落内の意見が一致しています

〃〃〃〃〃〃〃〃 みなかみ25号に達す

仁保上郷の大富公民館で発行している俳句の同人誌〃みなかみ〃は、25号に達しました。会費は1月10円です。

紅椿ふと思いだしとおき夢
北窓に観音堂の桜かな
恋づかやぼとと椿のおつる音

高倉の本家になる鳴滝荒神

××6月の28日に開帳×

小鯖鳴滝の泰雲寺境内にある三宝荒神は、山口市平川高倉荒神の本家に当たります。鳴滝から高倉へ分神したのです。このゆいしょある鳴滝三宝荒神が、人に知られぬまま、埋れてしまうのは惜しいと、地元の有志で結成した顕彰会では、6月28日盛大にご開帳をすることになりました。

昔は鳴滝三宝荒神にも、たくさんお参りする人があったと、いまもいい伝えています。数十年前まではお祭りも残っていました。時代がたつにつれて、分神した平川の方が盛んになって本家の鳴滝がすたれてしまったのです。元来かまどの神である三宝荒神は、いま日活躍しています。

ではお百姓の神様になっています。ことしこそ立派なご開帳にしようと、会長小林徳治さんらの有志は、連

マッシュは集団栽培が条件

マッシュルームは、年2回栽培できて、大部分がカンヅメ加工による輸出品です。いたみやすいので、加工工場（小郡を予定）まで速く運ぶ必要があります。栽培はぜひとも集団的にやらぬと、手間の点で追つきません。約10坪の菌舎を建てて、その中で栽培するのです。延36坪の苗床がこの中でとれますが、1坪で30キロ、36坪2作2千キロが**年間の収量**です。単価は規格品1キロ当たり90円、格外50円です。建物（菌舎）は、依頼したら、山口A型を18万五千円で建ててくれます。県が利子補給する資金を、借入れるのも方法です。契約と同時に3万5千円払込む必要があります。もちろん、建物の廃物など活用しても、既存のものを改造しても結構ですが、マッシュルームの生育に好都合な条件を整えてやればよいわけです。化学肥料を使ったたい肥の熱で育てるのですから、残った〃たい肥〃は、速効性のりっぱな肥料になって一石二鳥です。普通のきゅうたい肥もこの栽培に役立ちます。（おたずねは経済課へ）

←**簡素でも、式は厳粛。新郎新婦かための杯**

←**小鯖の向山から、婦人会員がわざわざ視察に**

↑**これで一人前。折もりっぱ**

300円といっても、手間代が入らぬ実費ですから、質量ともに、貧弱なものではありません。もっと簡略なやり方もありましょうが、菅内では以上の方法で、部落内の意見が一致しています

〃〃〃〃〃〃〃〃 みなかみ25号に達す

仁保上郷の大富公民館で発行している俳句の同人誌〃みなかみ〃は、25号に達しました。会費は1月10円です。

紅椿ふと思いだしとおき夢
北窓に観音堂の桜かな
恋づかやぼとと椿のおつる音

▽**中年以後の男性に**糖尿病がふえています。尿の量と回数がふえ、のどがかわき大食するわりにやせてきます。甘味を好み、からだがだるく力が入らない……といった場合は、まず医師に診てもらった方が安全でしょう。尿の糖分検査を受ければ、すぐ判別できます。

▽ビタミンCは、**疲労回復**に役立ちます。みかん類やさつまいもに多く含まれています。野菜では、ピーマンや緑色野菜から、たくさんとれます。

▽**飲み残し**のビールで、食器を洗えばよく落ちます。洗たくものにも、効果的です。髪を洗っても、よく落ち、そのうえつやのよい柔らかな毛になります。気の抜けたビールでも、活用法はあるものです。

▽大根の**から味ぬき**は、熱湯に10秒ほどつけることです。長くつけるほどから味はとれますが、ビタミンがなくなります。大根の葉も熱湯で消毒して、つけものや油いためなどに利用されるのはいかがでしょう。栄養価の高いものですから。

▽**きずあと**が残らぬためには、タマゴの白味が役立ちます。大きなきずなら、なおってから白味を使うといいでしょう。かすりきずにも、もちろん効果があります。

▽これから夏に向うと、**便所にうじ**がわいてこまります。ところが、八つ手の葉を入れると、きれいに死んでします。適当に小さくちぎって、便器の上からふっておくだけでよいのです。ぜひどうぞ。

ご存知でしょうが

大内町広報

昭和35年6月15日
第59号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

広報ことしも特選

いつもはげましていただいている大内町広報はことしも全国コンクール町村の部で、第一位となりました。3回日本一をとったわけです。3回特選を続けたので、規定により特賞となりました。未熟ながら、これからもがんばります。

監査委員かわる

合併以来、町の監査委員として、いろいろと苦労を重ねた岡田昌数氏は5月13日退任しました。後任は、小鯖鯖山の清水善達氏（前町議）です。

税　金

6月　町民税（第一期）
7月　固定資産（第二期）
　　所得税の予定納税（第一期）も7月末までです

公営住宅の着工と嘉村翁の町葬

町政の動き

公営住宅は、5年間に100戸を建設の予定です。ブルドーザーの整地がすみ、入札を待つばかりとなりました。郷土の大先輩嘉村道亮翁の町葬を、5月22日仁保小で営みました。近くお手もとに届く町民税令書は、昨年より3％税率を低くしてあります。

いま、小鯖鯖山の飛行場跡地では、公営住宅用の整地が、終りました。住宅は一戸当り12坪たらずで、約40万円の建設費がかかります。ですから、5年間に100戸といえば、総額で約4千万円。町としては、かなり大きな事業になります。ことし35年からはじまって昭和40年に完成の計画です。

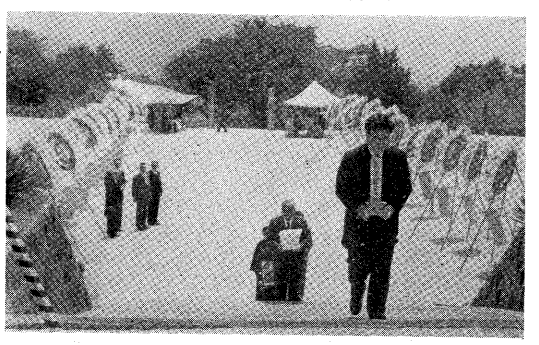
12坪弱といえば、小さい家屋ですが、それでも部屋は三つあり、風呂もついています。家賃は2千円の予定です。この公営住宅にはいりたい人を、8月に募集いたします。（募集のこまかい規定は来月号の広報で。）しかし、実際に住めるようになるのは、年末になりそうです。

大内町として、集団的に住宅を建設するといえば、鯖山飛行場あとしかありませんが、これがまたいへん難工事で、請負った中野建設（防府）は犠牲的に工事を進めました。なにしろ大きな石がごろごろ出てくるのですから。

前例のない立派な葬儀

若い者が顔負けするほど元気であった嘉村道亮翁も、急性腹膜炎のため、突然5月18日になくなりました。郷土の大先輩でもあり、合併のさいの功労者でもありますので、5月22日仁保小学校講堂で町葬（仁保農協組合長在職中であったため、農協葬と合同）を営みました。仏式で、午後2時から行いましたが、会葬者は来賓をふくめ約500名、かってないほど立派な葬儀でした。

嘉村翁は長く仁保村長を勤め、山口県森林組合連合会の副会長や県議会議員としても活躍いたしました。78才の一生を通じて、いつも郷土の発展に尽力し、功績は大きなものでした。ほんとに惜しんでも惜しみたりない方を失いました。



式場に入る遺骨

赤ちゃんコンクールを，5月17日に行い，全町から54人の参加者がありました。白石拓郎ちゃん（御堀）ら最優秀の特選が6人，優秀賞が19人，未熟児で努力賞が2人ほどありました。年々成績が向上しております。

町民税は昨年より少し安くなる

昨年度は、町民税を総額で約200万円引き下げました。ことしも3％税率をさげ、実際額より約80万円ほど下っています。税率はるい進ですから、所得によって違いますが、24万円までの所得（課税所得15万円）は、山口市より少し安くなっています。固定資産税の方は、昨年度と変りありません。今書はもうすぐお手もとに届きます。（疑問な点がありましたら、すぐ税務課へご連絡ください。）

税収入の総額が、3千920万円です。行政費のほかにも潜在的事業費に当たるものが1千193万、その他が1千272万あります。消費的経費のなかにも、**潜在的事業費**とみれるものがあるので、完全な消費的とはいえません。潜在の字が示すように、教育費や財産管理費、農業費などがこれに入ります。橋とか建物のように、はっきりした投資の姿をとりませんが、その仕事の発展を考えてやっているから、やや消極的な意味で、事業費といえるわけです。

一般財源（災害復旧の補助とか、特殊な工事の補助金との違い、制限がなくどれに使ってもよい金）は、ことしの予算で7千43万円ありますが、町税のほかに立木代が1千736万、交付税1千250万が主なものです。この一般財源のなかから、**消費的な経費**を引きますと、事業投資のできる金額でだしてみますと、2千756万円です。行政費のほかにも潜在的事業費に当たるものが1千193万、その他が1千272万あります。消費的経費のなかにも、**潜在的事業費**とみれる残ります。このなかから、公債の元利償還金に564万、特別会計（国保）の方へ240万、その他へ64万必要ですので、差引きして、純粋に事業投入の可能な金額は954万円、約1千万円です。消費的経費のなかの、潜在的事業費1千193万円をたしますと。2千174万円になります。しかし**新規事業**に投入できる額は、1千万円しかないということになります。ですから、なにか新らしい事業を起せば、起債（借金）が必要です。町財政のなかで、起債はいま4千400万円あります。

（つぎの号へ）

全国大会で内田さん表彰

5月下旬、栃木県日光で行われた環境衛生全国大会で、仁保丸山の内田惣一さんは、厚生大臣表彰を受けました。丸山は環境衛生のモデル地区でもあり、部落民が団結して押し進めたはえ蚊く除は、大きな効果をあげました。とくにビニールたい肥舎では、全国的にも有名な〝丸山式〟を創りだしたのです。こうした涙ぐましい努力を代表して、内田惣一さんは功労賞を受けました。

税収入は全予算額の42パーセント

事業に投入できる額は約1千万

水防競技で第3位

5月30日、防府市新橋で、山口吉佐地区の水防競技が行われましたが、大内町チームは第3位を獲得しました。水防競技といっても豪雨のさいに使う土俵作りで、大内町消防団としては、はじめての入賞でした。競技には、町内消防団から選抜した選手が参加しました。

部落長は全部で56名

決定した部落長の名前はつぎのとおり（**敬称略**）

大内＝洗川力（大内畑）藤井松雄（菅内）藤田繁雄（小野）明山誠演（間田）荒瀬貞雄（下千）西村彦一（上千）品川一市（高芝）乙石隆次（中矢田）溝部富蔵（神田）竹重茂（上矢）溝部豊稔（大道）金原数一（長野）永地信一（宮の馬）倉住宗之（殿河）山崎実（氷上）和田八十一（御堀）藤本敬蔵（川向）秋川房太郎（深野）**仁保**＝山本達雄（揚山）池田雋一（金坪）嘉村宗熊（大畠）池田源治（一の瀬）坂井武好（北河内）山本秀夫（高畠）大川団治（井西）山下巽男（高野東）山根照子（高野西）岡村辰夫（井東）増野登（坂本）山岡一衛（松柄）岩田豊作（一貫野）大谷虎熊（原河内）藤井庄一（両谷）松田清七（市）山本敏行（野上）池田信一（土井）山本啓次（高松）内田惣一（丸山）藤井重幸（東園）**小鯖**＝（数字は区名）1光本良助　2末富定市　3山内守衛　4和西稔　5伊藤欣哉　6清水善達　7宝迫栄人　8杉山敏雄　9渡辺義信　10益成七三　11小山教助　12松永康毅　13小林実　14山本喜三　15徳本正　16徳本鶴雄　17柴崎浩

▽ことしの森林**伐採調整資金**のお申込みは、6月いっぱいに願います。各森林組合へどうぞ。

▽陸海空**自衛官**の幹部候補生を募集しています。6月1日～7月10日まで。陸空は各100名、海上80名、医科歯科、薬剤は、陸海空で140名。くわしくは、山口市自衛隊山口地方連絡部へ。

▽県の内職公共職業補導所では、**内職者**を求めています。①毛糸刺しゅう、②千草糸ハンドバック側編み、③毛糸編みベビーセット。どれも委託加工なので、資金はほとんどいりません。月に3～4千円になります。
①は一時間当たりの工賃18～35円。年中仕事があり、7日間の**講習**。②は2日間③は5日間の講習を受けてはじめます。

▽岡山県の**い草かり**労働者を募集しています。7月の中旬で約一週間、日給800円18～40才までの男子。食費、先方もち。くわしくは、役場総務課庶務係へ。

▽毎年10月中旬、オーストラリヤのメルボルンで、**ユニセフ・フェア**（母子福祉事業）が開かれます。世界各地からの参加作品を、展示したあと競買にし、ユニセフに寄贈することになっています。日本の民芸品はとくに喜ばれています。出品ご希望の方は、教委へ。

▽旧軍人恩給と遺族扶助料が、7月末で**時効**にかかります。この日以後は、請求しても無効です。まだ請求していない方は、すぐおやりください。役場町民課もしくは県世話課へ。

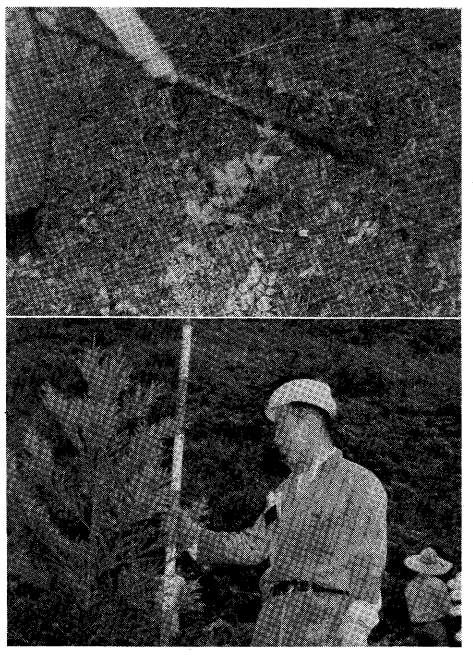
すごい効果〃夏山手入れ〃

つゆの間、草木はいっせいにのびます。一年中で一番成長のはげしいときです。だから、夏山手入れも、つゆの間が効果的ですが、農繁期とダブつて、そうもいきません。しかし、田植えが終つてからでも、効果は大きいのです。手入れをするとしないで成長は見違えます。

6月13日、町有林大滝（揚山の上）では、すぎの3年生を、雨の合い間をぬつて手入れ

町有林の夏山手入れは、ことし120㌶の予定です。夏山手入れは効果が大きいので、町有林の管理のうえでも、決して無視することはできません。120㌶のうち、直営林が60㌶、部分林が60㌶の予定です。つゆが一番効果があがるのですから、直営林ではすでに手入れをはじめています。

町有林のうち直営林は、ことし327万円かけて、155㌶ほど手入れを行います。内訳を申しますと、植栽が67㌶（すぎ2㌶、松65㌶）。天然下種補整が、松で16㌶。補植が、すぎで10㌶。保育、つまり夏山手入れが、すぎ38㌶、ひのき10㌶、松14㌶です。町有林を育てるうえでも、夏山手入れは植栽とならんで、大きな比重をしめています。もちろん、肥料もすでにほどこしました。



→1㍍の柄をつけた、下刈り用のかま。腰がつかれず便利。

→3年生のすぎが、人の背たけよりのびている。（大滝で）

一の瀬で夏山を共同管理

仁保上郷の一の瀬は、〃林業を発展さす濃密地帯〃に、33年県から指定を受けました。濃密といえばむつかしい表現ですが、この部落のどの農家もが、進んだ経営と管理をやるようにとの指定です。指定を機会に、一の瀬では林業研究会が発足しました。会員32名で農繁期を除いて、毎月の例会をもっています。この林業研究会の会長は、同部落の山根茂夫さんで、熱心に世話しています。昨年は、夏山手入れの重要性に気付いて、会員の山を、共同で手入れしました。あとで人役を計算して、清算するわけです。延100人役、15㌶を手入れしました。約一週間かかったと。手間はあっても山が少ない人、山はあっても手間のない人があるので、この共同作業は非常に効果をあげました。全部の山がきれいにできたのです。山根さんは34年度の山口県緑化運動のコンクールに薪炭林の改良林をだして、一等に入賞しました。一の瀬部落の夏山の手入れは、ことしも立派にできるでしょう。

濃密地帯の指定は、昨34年度は小鯖の千切平佐が受けました。ことしは、仁保丸山部落の指定を県に希望しています。丸山は共有林が多いので、共有林の経営案を県に委託して立案中です。

統一し制度を簡素化した
県農林漁業振興対策資金

合理化の意欲さかん

曲り角の農業といわれるように、経営合理化を進める意欲が県下全般に高まっています。この振興資金に対する需要も、従って急激にふえています。融資額も、34年度は31年度の3倍にのびています。

この4月から、振興資金の制度が、大きく改正になりましたが、融資決定の事務をスピード化したこと、制度全体を簡素化したことが従来と異なっています。つまり、いろいろな資金を統一して、利用しやすいやり方になっています。この振興資金のほかに、「農業改良資金」「農林漁業資金」「有畜農家創設資金」「自作農創設資金」がありますが、こうした資金制度と振興資金がダブらぬように、対象からはずしてあります。

従来は借りたくて借れぬ

これまでは、信用程度の高い人だけがこの振興資金制度を利用していました。借りたくて借れない人が、かなりあったのです。ことしから町は県農業信用協会へ80万円基金をだしました。これで1千600万円のわくが、とれました。借りれる範囲を大きく拡げようというわけです。

年3回ほど受付ける

4、8、12月の3回ほど受付けます。まず役場の経済課へ、借入れ希望を申込んでいただき、同時に農協へ「事業計画書」と「申請書」をだします。これで手続きは終りです。農協へ提出したものは、町の〃融資審査委員会〃へ廻ります。ここで決定したら、農協に通知し、農協は希望農家に知らせるという順序になります。借入れがきまったら県と町とが、〃利子補給〃をいたします。

個人負担はそれぞれ違う

普通6分です。落葉果樹の苗木導入、家畜導入、病虫害防除、林道の改良復旧などは6分以内で、償還は1～10年以内です。ことしは第一回の申込みを、6月いっぱい受付けます（部落の産業部長さんに内容を説明してあります）

雨の日の平和行進　原水爆禁止を叫ぶ6月2日の行進に，町長も役場前で激励を送った。

税向答あれこれ

☆

問　記帳に熱心な人の話を聞いて私も簿記の勉強がしたくなった。青色申告も、これからやってみたいと考えている。

答　7月4日から8月26日まで、NHKで簡易簿記の実務を放送しています。土日曜はありませんが午後7時15～30分までです。テキストは、東京都千代田区内幸町2の12　日本放送出版協会へお申込みください。定価25円送料8円です。取引きの複雑な個人商店向きの〃複式簿記〃の講座は、9月から12月23日まで放送されます。

青色申告ですが、県の新生運動会でだしている家計簿も、通用いたします。家の光の家計簿よりも簡単です。

×

問　納税証明をつけよといわれたが、どんな場合に必要なのだろうか。

答　銀行や金融公庫から金を借りるとき、入札の資格をとるとき、育英資金をとるときなど、この納税証明の必要が起ってきます。この証明にはことしから手数料がかかります。1件で30円です。手数料は請求書に印紙をはって納めますが、消印をしてはいけません。

問　印紙はどこで売っているのか。納税証明とだけいえば、それでいいのか。

答　印紙は、税務署にはありません。印紙販売店で売っています。証明事項は、所得金額の証明、納税額の証明、未納税額がないことの証明、滞納処分を受けたことのない証明です。証明手数料は1項目について30円ですから、以上の項目がいくつかあれば、その項目数ほど、30円あて必要になります。

問　証明書を受けるのに、特別の資格はいらぬか。

答　本人か、本人の委任状をもった人にかぎられます。証明は項目ごとに別の用紙で請求しなければなりません。三つの項目ならば3枚の請求書がいるわけです。収入印紙は請求書にはりまます。

問　税務署にいけばよいといっても、どの係りへいくのか。

答　所得金額証明は、個人の場合は所得税係り、法人の場合は法人税係りへ。その他の証明は管理係りで受付けています。

×

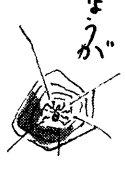
問　予定納税基準額の通知書が、家にまいこんだ。ところが、商売をやめようと思っているので、この基準で納めたら、払い過ぎになる。どうしたらいいか。

答　昨年の所得の実績を基にして計算していますので、ことしの予定に当らぬ例もあるようです。扶養家族が病気をしていたり、仕事が思わしくないとかの理由もありましょう。税務署あて、減額承認申請をだせばよいのです。

問　減額承認申請をもっとくわしく説明してほしい。

答　用紙は税務署にあります。ことし低くなる理由をはっきり書いて、6月いっぱいに税務署にだせばよいのです。（ご愛読いただいた税問答あれこれ、この号で終ります）

ご存知でしょうが



▽　ラジオやテレビに**雑音**が入っておこまりの方は、中配散宿所、ラジオ商へご連絡ください。電波法で、受信に障害を与える機具を持っている人は、雑音をとり除く義務があります。雑音防止器は100～500円程度のものです。

▽　小学校の児童は、95％が**虫歯**をもっており、一人平均7本もあります。食物のカスを口の中に残さぬことが最大の予防法です。毎食後3分以内に歯をみがけばとても効果があります。早く発見し、早く治療すれば簡単です。バランスのとれた食事も、歯そのものを丈夫にしてくれます。

▽　けばけばした**鮮やかな色**の菓子を、とかく子どもはほしがります。しかし、有害な色素が使ってあることが多いようです。

▽　病気に対する抵抗力からいえば、大人にくらべて子どもはうんと少ないといえます。小さいときから**手洗いの習慣**をつけておきますと、食物といっしょにバイ菌をのみこむことが、かなり防げます。とくにことしは伝染病が多いですから。

▽　**新鮮な卵**が、一年中で一番安く出廻っている良い季節です。しろみはほとんど蛋白質、きみは脂肪分が多くふくまれています。きみの脂肪には、私たちの体に欠くことのできぬ脂肪酸が多く、ビタミン**A**、ビタミン**D**もふくみます。牛乳とともに、卵は理想的な栄養食品です。ただ酸性が強いので、野菜や果物ととりあわせると申しぶんありません。少くとも一日一人半個は必要です。

大内町広報

昭和35年7月15日
第60号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

お見舞申しあげます

突然の豪雨で、とんだ被害を受けました。水田の流失や埋没も多く、復旧もたいへんだと存じます。心からお見舞申しあげます。どうぞ、お力落しのないように。

国民年金の調査

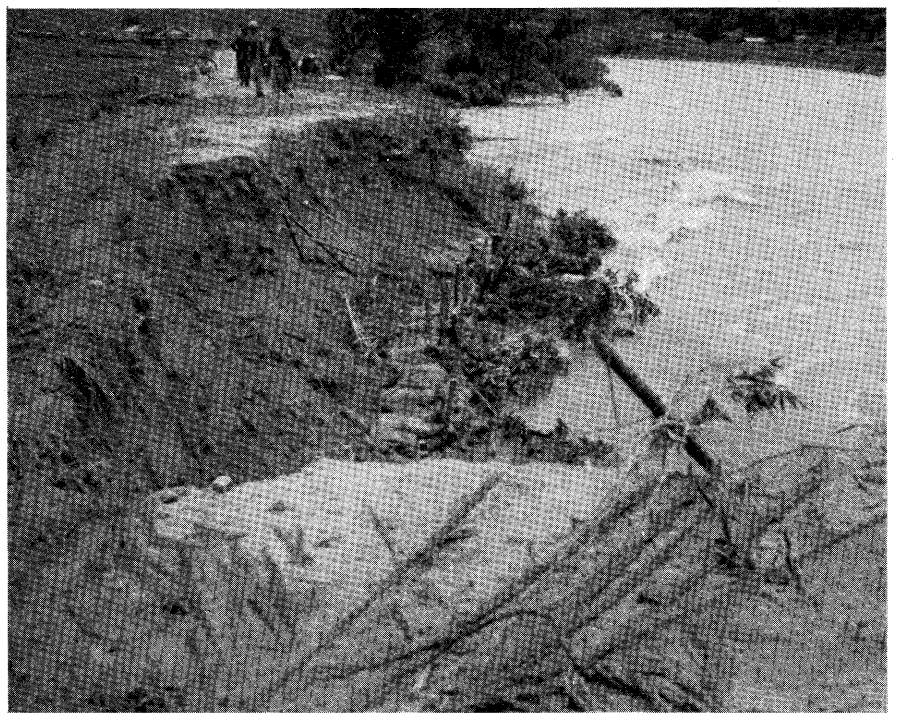
掛金のいる（拠出制）国民年金の、世帯ごとの調査を、いま行っています。国民年金は、この秋10月から発足しますが、その準備のためです。つぎの広報に、解説をのせます。

税金

7月＝固定資産税
〃＝申告所得税＝第一期
8月町、県民税
どうぞお忘れなく。

26年以来の集中豪雨・損害は約1億

災害対策を審議する臨時町議会は、12日開きました。復旧を一日も早く着手するため、今年度の復旧予算約680万円を満場一致できめました。



災害農地に利子補給

農地の被害は、流失が4㌶、埋没20㌶と推定しています。冠水にいたっては、237㌶もあると見込んでいます。大なり小なり、すべての農地が被害をうけたわけですがこのなかで、3万円以下の被害農地は、14㌶と推定できます。これら被災地の復旧に、町としてつぎのような方策をきめました。

▽復旧に必要な事業額の、8割を融資して、年8分の利子を補給。

▽期間は1年据置き、10年以下の償還（被災面積の大きい農家では23年でもどすことはなかなかできにくいから）

▽受益者1人当りの被災額5千円以上を対象とし、これ以下は資格がない。

×

以上が、農地に対する対策ですが、これで年間約20万円ほど、**利子補給**額が必要になります。

大内町での、耕地関係だけの被害は、約5千930万と推定しています。このうち、耕地災害として補助対象になるものが、約4千900万ほど。残りが非補助の耕地災害です。補助対象になる耕地災害で、なんといっても大きいのは、頭首工の71ヵ所です。3千500万に達し仁保が2千500万（64ヵ所）大内が1千万（7ヵ所）に達します。農地では、52ヵ所4.4㌶933万円です。

×

災害耕地の応急復旧費の2割、小額災害の2割を**補助する**ため、合計100万円を予算に計上してあります。

県道など、重要路線の応急修理に着手

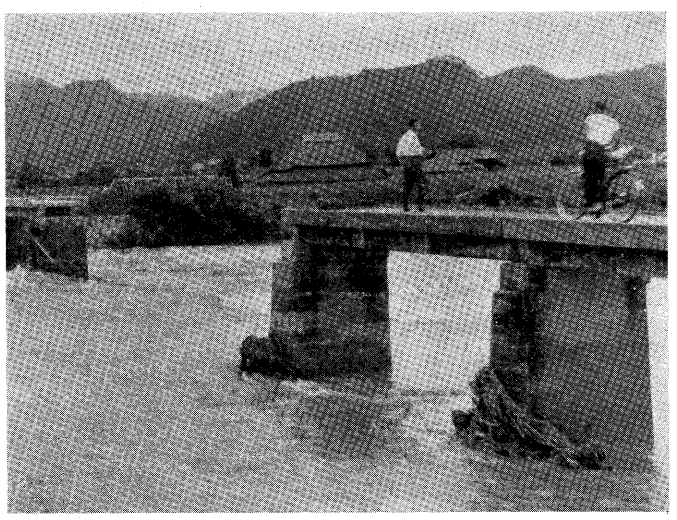
7日夜から8日朝にかけて、約250ミリの雨が、仁保に降りそそぎました。大内、小鯖の170ミリと比較しても、当然被害額の差が想像できます。重要な交通幹線が、大内、小鯖ではともかく支障ないのに、仁保では井開田―山口が宮野廻りだけ開通しているありさまです。上郷の台の木ゆきも、大内経由山口行きもストップしています。一貫野も、並山峠までの折返しになっています。重要幹線の応急修理には、すでに着手しています。遅くとも月末までには、全線開通の見込みです。しかし、応急の修理ですから、完全な復旧にはあと何年とかかります。

土木関係で1千800万

直接に国や県の責任に属する工事を**除いて**、町が復旧する被害が約1千800万円ほどあります。このうち国からの補助対象になるものは、河川で988万、道路で325万、橋で456万、合計1千769万あります。このなかで、約1千200万の国庫補助を期待しています。だから補助がなく町単独で復旧せねばならぬ小規模被害もふくめて、約700万を町が調達するようになります。もちろん工事を一度にやるわけではないので、本年度は必要経費200万円を、土木関係に見ています。このほか、関連土木費70万円と、応急土木費100万円がありますが、字がしめすとおり、復旧工事と直接の関係はありません。橋のかけかえのさいの臨時橋、道路補修のさいのつけかえなど、工事に関連して必要な金であり、応急土木費も間にあわせ工事の費用だからです。

林道ほとんど全滅

全町にわたって、林道幹線はずたずたに切れました。現状では、林道の役目をはたすものはありません。尾曽越林道も、大きな被害を受けました。木戸山、平谷、犬鳴、渡樋ヵ河内、日の下など、軒なみに流失や崩壊がありました。林道関係の復旧費は、本年度約230万円と推定しています。



流れ去つた御堀橋　永久橋だとて，水流がはげしければ油断はできない。コンクリートの橋脚を3個流して，御堀橋は完全に中断されてしまった。

県道が切断

矢田―井開田間県道は、2ヵ所で切断。これは土井の近く、伊賀頭首工そばの状況。

完全復旧費は総額9千万円

このたびの災害を、完全に復旧するには、約9千万円かかる見込みです。このうち5千800万円は、**国からの補助**を受けられる予定です。耕地関係の被害は5千930万円にのぼりますが、このうち3千230万円は、国から補助が出る見込みです。残り2千700万円は、受益者の負担ですから直接町の財政との関係はありません。（ただし、応急復旧費の2割、小額災害の2割にあたる補助100万円は町財政からの支出です。）金額はたしかに大きいのですが、直接に町が財源を考えなければならぬものは、水防に使った経費、教育や土木施設の復旧、林道などの修理費など、1千万円あまりになります。

1千万円のうち500万円を起債（国からの借金）でまかなおうとしています。一度に工事をはじめるわけではないので、特別に急ぐ必要があるものだけを拾って、本年度の復旧費を、約680万円としたわけです。

7月1日の定例議会で、本年度の第一回**追加更正予算**を850万承認しましたが、7月7日の災害で復旧費をまたみることになったので、1千500万ほど、年度はじめの予算はふくれてきました。それで、当初9千300万円であった予算は、現在1億8百万あまりとなりました。災害復旧費にあてる財源は、やはり山林に頼るしかなく、約600万円の立木代金を予定しています。しかし災害の実情が、より明らかとなり、応急工事が進むにつれてこの復旧費も、またふくれてくる可能性は強いのです。

第一回の追加更正850万円のなかで、大きいものを拾ってみましょう。土木費に190万、教育費に112万、社会および労働施設に92万、保健衛生費に32万、産業経済費に332万、諸支出金で82万といったところです。これを、**内容別**に申しますと、土木費1百90万は二反田橋の改修工事に15万、黒石下橋改良工事費に32万、失対事業の地元負担金（鯖山でやっている県道拡張工事など）に103万がおもなもの。教育費では、大富東園、大内小の建物の改築など24万、大内中の改築や修繕に16万など。社会および労働施設の92万は、公営住宅の工事費の追加84万がおもなものです。ことしは伝染病が多いので、患者費用の負担金で30万円、渡樋ヵ河内ほか2件の林道で266万、森林組合の技術員手当の補助22万円、井開田市営バス車庫増築に33万などがあり、合計（850）万円です

▽**統計図表**の作品を、全国統計協会連合会が募集しています。小、中、高、一般の4部にわかれ、それぞれ課題が違います。用紙の大きさは小学生が新聞1ページ。そのほかは、新聞2ページ分です。9月15日までに、県庁内、統計協会へ。くわしくは、総務課庶務へ

▽**青少年奉仕研修団**を県新生運動協会が募集しています。8月1～14日まで2週間、社会奉仕の活動を続けつつ、一般教養や産業などの講議、視察をやります。座談会、キャンプも行います。申込みは経済課へ。

▽第5回**青年移動講座**が、やはり新生運動協会の主催で、8月3～5日までであります。農村での新生運動を進める若いにない手の養成が目的です。希望あれば、7月25日までに経済課へ

▽**農村青年建設隊員**を募集しています。これは適任者を町が推せんすることになっており、7月25日までに経済課へお申出ください。

相模原市で、8月10日から60日間訓練を続ける計画です。主として技能訓練を行います。全国からの応募も多く、中央選考は、東京の日本青年館で8月8・9の2日間行います。

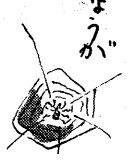
▽**喜村道亮氏**のご遺族から町の社会福祉事業に、金5万円ご寄付いただきました

▽**軍人恩給**や扶助料の請求権は7月いっぱいで時効になります。不服申立て中の方も、時効を中断する意味で、請求手続きが必要。

▽公民館小鯖**支館長**坂倉道義氏は村史の編集多忙で辞任。後任は片岡一夫支所長

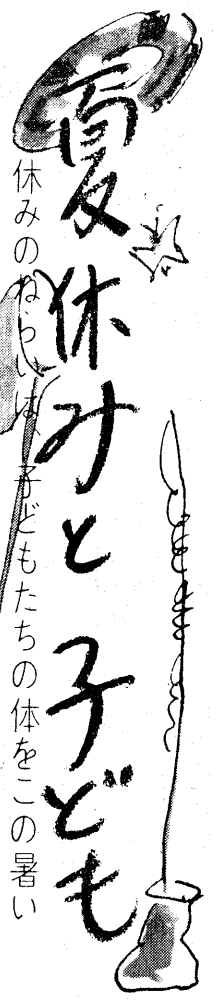
▽子どもの間で、**危険な遊び**が流行しています。5月25日、山口市竜王町の火事は、子ども3人がマッチを買って火遊びをしたのが原因でした。中学生が紙火薬を万年筆のキャップにつめて遊んでいたら、爆発で片眼がつぶれたという話もあります。

▽子どもの**偏食**は、案外に母親のすき、きらいに影響されるようです。おかあさんは、自分のきらいなものを料理したくありませんので、自然と子どもも食べなくなります。健康な体を育てるには、偏食しないことが、第一の条件です。



▽**えきり**の潜伏期は、短かいもので数時間、普通1～2日で急に発病します。最初は急に元気がなくなり、高い熱をだし、はき気やひきつけを起したりします。脈も呼吸も早くなります。なにはともあれ、カンチョウして、医者に急ぐことです。

▽**ビタミンA**が不足しますと、成長がとまり、病気にかかりやすく、肌あれや鳥目になったりします。欧米では、乳、バター、卵、肝臓などを食べますから、たっぷりビタミンAがとれます。私ども日本人は、こうした食品をとるにこしたことはありませんが、緑や黄色の野菜から取っているのが実情です。それで、**必要量**の⅛しかとっていないありさまです。にんじん、ほうれん草、かぼちゃ、さつまいもには、ビタミンAにかわるカロチンがたくさんあります。油といっしょに料理すると効果的です。



子どもたちは、長い楽しい夏休みを、待ちかねています。しかしなんといっても暑いまっさかりです。体も弱るし、伝染病も多い時期ですから、親としては、それ相当に苦労や心配の種もあります。

そこで――体を健康に保つ秘訣は、わかりきったことですけれども、規則正しい生活でしょう。とかく安心してつまり日曜の連続のような気分で、生活が乱れがちになります。二学期になって、学校ぎらいになったりするのも、休み中の生活が原因になる場合が多いようです。早寝、早起きはもちろんのこと、一日の生活で、いくつかのけじめをはっきりとつけてゆくことが、たいせつなのではないでしょうか。

遅れをとりもどす

勉強の遅れたものを、夏休み中にとりもどすのが、一番理想的です。でないと、二学期以降に、ますます遅れる結果になります。しかし、悪い成績のものを、ただ口でやれやれといっても、かえっていやになるばかりですから、長所をよりのばしつつ、計画的に少しあてやってゆく必要がありましょう。その意味では、それぞれのお子さんは、長い夏休みの計画表を学校で作っているはずです。これはお子さんだけが作ったものですから、実際の家庭生活、家族の意見が入っていません。それだけ、実行するうえの、たしかな計画とはいえません。学校で要求するものと、実際の家庭生活にたっての

個性や意見を生かして

なにかを学習させたいと思っても、いやなことは、なかなか続きません。数日は続いても、一カ月とは続きかねるでしょう。

そこで、子どもの意見をよく聞き、また個性を見つめて、身を打込んでできる学習や研究をさせることが根本といえるようです。

休みを利用して存分好きな研究をさせれば、やがては研究的な態度が芽ばえ、いろいろな学習方法も身につくようになります。そして、これを通じて、ほかの学習への意欲や自信もつけることになります。

たとえば、採集ずきな子どもには、思いきって採集させ、それを科学的立場に立って整理させるというのは、いかがでしょう。また体の弱い子どもには、どうしたら健康になれるか……などです。

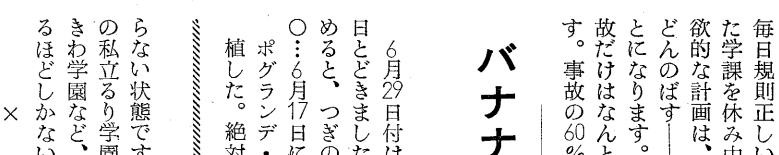
以上のことがらをまとめますと毎日規則正しい学習を続け、遅れた学課を休み中にとりもどし、意欲的な計画は、個性に応じてどんどんのばす――とまあ、こんなことになります。そのほか、水泳事故だけはなんとか防ぎたいものです。事故の60%は小学生です。

夏休み中サイレンは六時に鳴ります。これを合図にすぐに家へ帰りましょう。

効果的なすごし方とのくみあわせがうまくいかぬと、子どもたちにとって、案外につまらぬ夏休みになるかもしれません。家族の理解と協力が、たしかに必要です。

「家内は、なんどもこの子を殺して自分も、と思ったらしい。私も電車がホームに入ってきたとき、ころんで死んでくれたらと思ったことが、なん度かあった。申しわけない親であった――。」

精薄児をもつ親の一人Wさんはさめざめと泣きながら、こう語ったそうです。全国で100万人以上、山口県でも1万6千人の精薄児がいると、県教委では調査していま



す。精薄児を持つ親は、想像できぬほど苦労し悩みますが、親のいる子どもは、まだいいのです。孤児であるとか、親がいてもてんで子どもに愛情を感じないとなると社会的な問題につながります。

少年犯罪の60%は精薄児だという結果すら、でているのですから。こうした精薄児が、県下で千人以上いますが、施設収容は200名にたらない状態です。大内町川向いの私立るり学園、宇部の県立ときわ学園など、5本の指で数えるほどしかないのです。

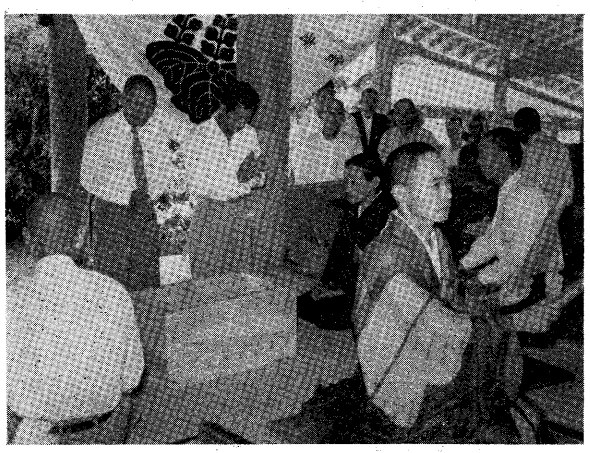
×

町の社会福祉協議会委員、議会の文厚委員、民生委員の一行は7月5日、宇部市のときわ学園などを視察しました。

社協委員ら、ときわ学園を視察

鳴滝荒神の開帳

6月28日のご開帳は，町外から，参拝者も多く，鳴滝三宝荒神の奉讃会では，たいへんに喜んでいます。泰雲寺境内の宝物庫に安置してありますが，やがて後ろの荒神山に昔のとおりやしろを造ろうという計画です。この日の参拝者は，ざっと400人ありました。



みなかみ7月号から

仁保上郷の大富公民館で発行している文芸同人誌〃みなかみ〃は毎月規則正して発刊しています。俳句、短歌、詩、随筆など。一部わずかに10円ですが、郵送の場合8円加算する必要があります。父きとくしろかきの牛追いあぐる篤農の汗にくちたるきゃはんかな

バナナ1本2円、牛1頭1万円

＝ブラジルの田中さんから便り＝

6月29日付けの便りが、7月12日とどきました。内容をとりまとめると、つぎのとおりです。

○…6月17日に、ブラジルのカンポグランデ・バルゼア地区に入植した。絶対に希望がもてる。現地人も日本人に好感をもっており、農産物の高い割合いに、生活費は安くつく。土地も安く気候もよく、なんでもできる。

○…卵が1個15円、きゅうり1本20円、ナス8円、なっぱ1キロ15円。内地でありふれた野菜が温室物と同じ値。しかも一年中できる。バナナ1本2円、砂糖1キロ40円、肉1キロ70円、牛馬1頭が1万円。

○…こちらにきて、つまらなかったと思うものは1人もいない。米の収穫は1俵最高60俵、最低25俵だが、みんな無肥料でとっている。ブラジル語の勉強のきらいでない健康な人は、県の海外協会と話しあって、どしどしきてほしい。

不満があれば…泣き寝入りは禁物

税金が高すぎて、税務署に異議を申し立てたが、聞いてくれなかった。――こんな経験をおもちの方も、かなりあるかもしれません。高い高いと、内心不満をもちながら、思っているだけの方は、もっと多いでしょう。税務署員とて人間です。間違いや解釈の誤りがないとはいえません。――たしかに、泣き寝入りは禁物なんです。〃**協議団**〃という組織があって、納税者の権利を保護してくれます。納税者と税務署とのふん争を、第三者的な立場で、公平に解決する仕事をしております。かといって手数料をとってどうこうという、〃あっせん業〃でもありません。

×

税務機構のなかに、〃協議団〃としておいてあるので、〃なーんだ、同じ穴のむじなじゃないか〃と、とかく思われがちでした。しかし、過去10年間に裁いた事件の半数以上が納税者に有利に解決しています。協議団を利用するには、税務署に対して「**再調査の請求**」の手続が必要です。不満の理由をくわしく書き、証拠となる資料をつけることが必要です。税務署が、いい分を認めるかどうかの決定通知書を3月以内に納税者へ届けないと、自動的に協議団が審査する対象になります。協議団の所在地は、**山口市八幡馬場**です。

＜税の知識＞

災害にあつて所得税を軽くするには

災害の後始末で、なにかとたいへんなことでしょう。税金のことを考えると、頭が痛くなるのが、実感かもしれません。税金を安くするのに、二つの方法があります。(1)災害減免法と(2)所得税法による場合です。

×

(1) **災害減免法**による場合

住宅や家財に、その価格の⅓以上の被害がなければ、適用を受けません。この適用を受ける例も、このたびの災害でありますけれども、大部分の方は、所得税法による場合でしょう。災害減免法による場合は申請を、2月以内に税務署にださないと、無効になります。

×

(2) **所得税法**による場合

このたびの災害で（火事や盗難でもいいのですが）年額所得の1割以上被害があった場合、1割を上廻る金額を所得から引いて計算します。3割あった場合は、2割ほど引き、結局8割に対し、所得税をかけるわけです。徴収をのばす方法もあります。

×

損害が1割に達しなかった人は、残念ながらいまの法律では、税の引下げができません

（ご質問は税務署か役場税務へ）

大内町広報

昭和35年8月15日
第61号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

10月に国勢調査

10年に一度の国勢調査が、10月1日現在で行われます。もう9月の末には、各部落から出た64名の調査員が、お宅を訪問します。国の実態をまとめる、たいせつな調査です。どうぞよろしく。

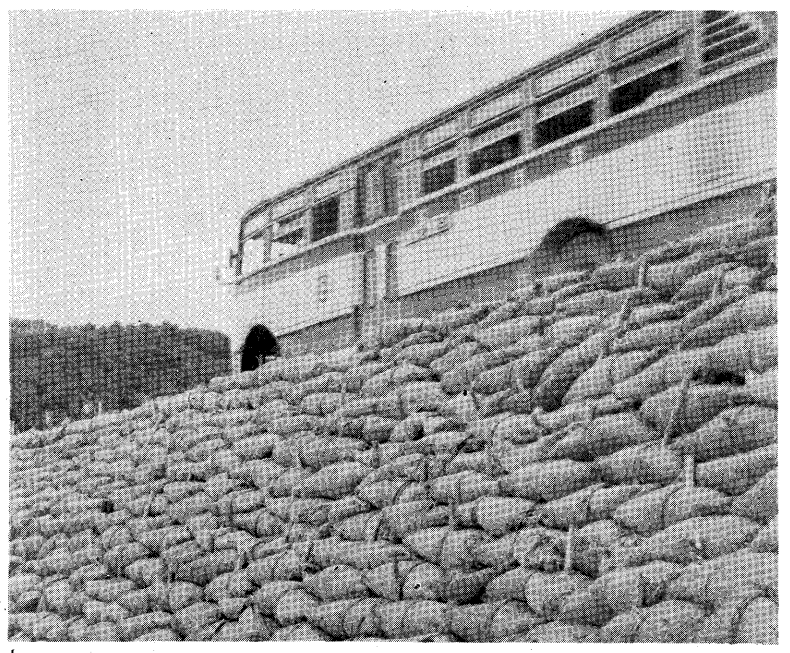
一雨まさに千両

8月13日から14日にかけて降った雨は、町全域をうるおしました。仁保は10日にも降り、心配ない状態でしたが、大内、小鯖地区にとっては、まさに一雨千両、ほんとによい雨でした。

税金

8月 町民税
9月 なし

どうぞお忘れなく、なるべく早目にいるのです。



前号に写真をのせた、仁保の土井、伊賀頭首工そばの県道。応急の修理。

災害復旧二次査定終る

7月の集中豪雨で受けた被害の復旧は、順調に進んでいます。まだ応急復旧だけですが、9月に入れば、本格的な復旧工事も始まります。

土木・耕地の災害復旧工事の査定は、8月3 4 5の3日間で終りました。

○…査定は、町の施設課で設計したものが、適切に計算されているか、国が指示する基準にあっているかどうかなどを、建設省や農林省が、いわば検査するわけです。この検査に合格すれば、国からの補助もつき、工事にとりかかる準備も整えられます。

× ×

土木、耕地とも、査定のすんだものが12件ほどあります。

耕地災害は約1千万

このたびのは緊急査定で、すぐ復旧にかからねばならぬものをとりあげています。65%を国が負担し、残り35%が受益者負担です。もちろん高率の補助を受けるよう運動していますが、いまのところわかりません。

12件は、タメ池の復旧で千切（上小鯖）頭首工で、開作（殿河内）矢田（殿河内）伊賀（仁保・土井）影裏（大皇）八庄（大皇）川原（坂本）小峠（坂本）岡林（一の瀬）渡樋ノ口（揚山）です。橋では鈴木（仁保・石坂）で、合計12カ所になります。

これは第一次の緊急査定で、8月20日ごろには第二次査定があります。

土木関係では、やはり第一次査定を通過したものが、12カ所あります。決定した金額は、705万円です。河川4、道路3、橋が5件です。

河川では、仁保一の瀬の白水川が3カ所、岩倉川（やはり仁保上郷）が1カ所、合計4カ所です。道路は、叶木1号線、並山線、名古脇線、合計3カ所です。橋は、岩倉下橋、名古脇上橋、両浴橋――以上仁保、御堀橋、中村橋――以上大内。合計5件です。

県町道のこわれたところは間にあわせの復旧工事がしてあります。重要な橋、仮橋としての工事は全部終っています。ですから、交通関係で、ともかく支障ないところまできてはいますが、本格的な工事はこれからです。

このたびの雨で、重要な交通路線が一面に洗われ、路面はひどい状態になっています。これも次第によくしてゆく計画をたてています。

土木関係の第二次査定は、台風シーズンの9月を目前にひかえ、また新らしい災害がでるかもしれず、10月にもち越すことになっています。

（徳地町升谷の復旧は、工事がはかどるよう徳地町に交渉中です。まもなく、解決がつく予定です。）

小鯖で部落造りを話あう

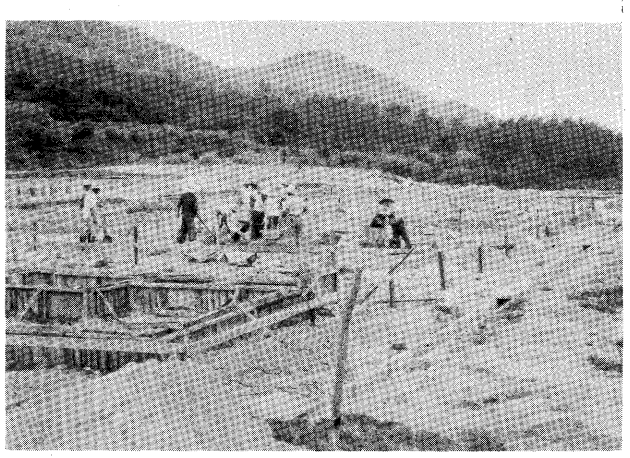
8月8日、小鯖地区の各部落長は、公民館で自主的な会合をもちました。それぞれ部落の、部落造りを話しあって、運営に役立てようというネライでした。うだるような暑さのなかで、熱心な討議を続けました。

各部落の運営を、予算を中心にして、それぞれ発表してゆきましたが、部落予算として完全にまとめている部落、従来からの会計方法をそのまま受けついでいる部落がありました。財源も部落によってまちまちであり、部分林の分収金をたくさんもっている金持ち部落もありました。ともかく、部落運営を予算の面でも、一本化し統一し、ムダのない、計画性のある使い方に改めることに、意見は一致したのです。

一戸当りの支出 年間600～1千円

月50円あて各戸の負担をつなぐ部落と、必要のつど、寄付を集める部落とありましたが、まず年間の一戸当り負担は、600～1千円といったところでした。

このほかにでた問題は、4月から部落機構が新らしくなって伝達がうまくいくかどうか、運営上こまる問題はないか、消防団員が半数にへり、部落の自治消防をどう運営するか、納税組合の報償金の使い方、といったことがらでした。部落造りへの自主性と積極性は、小鯖地区でも次第に高まっていると思われるほど、この日の討議は、真剣そのもの。こんご定期的に会合をもつと申しあわせました。



もうすぐできる

小鯖の上鯖山，もと飛行場あとに建設中の公営住宅は，7月22日起工式を行いました。もう排水工事も，家屋の基礎固めもすみ，やがては木造12坪の建物が20戸，つぎつぎとできあがります。入居条件については，9月広報でお知らせします。

家族にそれぞれ月給を払う

吉田町（愛媛）の農業法人

少し前の話ですが、私たち町議会の経済委員は、愛媛県吉田町の、立間農業法人を視察したことがあります。

最近、〃農業法人〃ということばが新聞紙上にもときどきでてきます。農業法人は有利かどうか、大内町でやるとしてできるかどうか。こういったことが視察の主な目的でした。

農民が会社を作る――なんだか変に聞えますが、これほどカンタンに作れる会社もありません。私どもが想像をしていたのは、田畑を全部一つにまとめ、利益を分配するやり方ではないかということだったのです。ところが案に相違して、現在の耕作の姿そのままで、会社にして数で割った月給です。10万円の所得の人には、10万円を月割りの月給にして渡します。

ですから、自分の利益は全部自分のものになります。いってみれば〃収益配分方式〃です。

立間農協には5百30戸の農家が属していますが、このうち黒字農家が⅓、赤字農家が⅓、残りの⅓がトントン経営だと聞きました。農協の貯蓄額は現在2億5千万円です。農業法人を創ったとき、組合員の借金は1億2千万円ありました。それを全部農協がだいて発足したのです

ここまでもってくるには、西山組合長個人も、もちろん偉らかったのですが、果樹研究青年同志会や農協婦人部の後押しがあったのです。この立間農協のあるところは伊予みかんの栽培が盛んであり、農業法人の組織を活用して、より高度な経営を目ざしています。

農業法人のこれからの普及については、山口県農業会議が、農業振興特別指導地に大内町を指定しています。協同化、法人化の具体的な研究と普及を、これから努力してゆくことになっています。

立間農協が行った農業法人は西日本各地に大きな波紋をよびました。しかし、ここにはまだ農業そのものの生産構造を変えるほどの、大きな進歩と飛躍はでていません。やりやすく、法人に再組織したにすぎません。

（経済委員会の視察報告より）

▽ **福祉年金手帳を、**一部の方には7月にお返えししました。ことしの9月から、来年5月までにもらえる金額の記入を、全部終りましたから、まだの方、なるべく早く役場でお受取りください。

▽ 全町の**武道、野球、排球**大会を、8月21日前8時30分から、大内中学で開きます。野球と排球は、各地区から2チームあて。雨天の場合は、武道だけ。

▽ 映画などの入場券には、**入場税**が1～3割までかかっています。この税金は、県に配付され、県財政をいくぶんかうるおします。県がやっている事業の財源になるわけで、どうか入場のさいは半券をもらうのをお忘れなく。もらわぬと、タライ廻しにして、結局は業者が脱税するからです。

▽ **NHKの特別番組「中南米を行く」**は、農業移民でゆこうという人には参考になるでしょう。テレビ＝アマゾンをゆく（9月6日）ドミニカ・キューバ（9月13日）

▽ **人権**についての法律相談所が8月27日防府市公会堂で開かれます。前9時～12時まで。無料。家庭のこと土地や家屋でこまっていること、村八分的な取りあつかいを受けたとか、なんでもご相談ください。山口法務局の主催です。

訂正＝6月広報紙で、保育園にテレビを寄贈した方の名前をのせました。上矢田の杉山寅雄さんは、電気商の杉山武夫さんの間違いでした。訂正いたします。

▽県立防府職業訓練所で、**理容、美容**の訓練生を募集しています。40才未満、新中程度の学力。男女を問いません。締切9月5日、訓練期間は1年。

▽夏、**食欲**が衰えるのは、主にビタミンB_1の欠乏症です。新鮮な野菜や果物が効果的です。脂肪分の多いものや動物性たんぱく質も、夏やせを防ぎます。

▽**花火**でケガをする人が、毎年あとをたちません。花火をほぐして、作りかえたりすると、とんでもないことになります。

▽暑い日ざかりを、家畜を外にだしておくと、よく**日射病**にかかります。家畜の運動は、朝夕涼しい間が適当です。運動場もなく手間もない場合、せめて日陰にでも。

▽**ヌカとフスマ**は、家畜の飼料としてよく使われています。最近は歩どまりを高めるために、ヌカやフスマの質が落ち、ほとんど、カスになってきています。そのうえ酸性飼料ですから、乳牛でも一日に1.9キロ、多くて2.6キロ以上与えぬ方がよいのです。

30キロ、1千127円で売った小麦の副産物のフスマが30キロ当り700円以上しています。**値段**も安くありません。どうも私たちは、麦ヌカやフスマの価値を過信しているようです。あくまでいもや青刈りが主体で、油かすや穀実をうまく利用しその補助のヌカ、フスマというのが、一番いいようです。

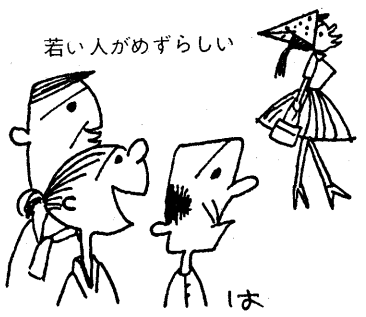
▽**さしみ**とヒヤッコ、せきりにかかりやすい食品。

掛金のいる年金 そして10月から

×

外国では、20年も前からやっている国民年金制度がやっと日本でもはじまります。規則はめんどうですがあらましを拾いました。

×

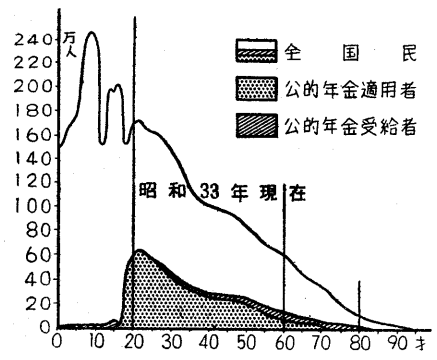


昔は、生活能力のない人、病気にかかり医療を受けることのできぬ人に、国家が積極的に救済を与えることはありませんでした。一部の金持階級の慈善心にまかした程度のものでした。しかし、いま福祉国家を目指している日本ではこうした人を、当然社会全体の責任として守ってゆかなければなりません。

恩給は、官吏や軍人だけのものでした。大多数の国民は、恩給の外に置かれていました。いわば、全国民の恩給ともいえるのが、この国民年金制度です。

それに、家族制度がこわれて、老人の座が不安定になってきたことも、理由の一つです。老人も国民の平均寿命がのびにつれて、ふえます。平和に楽しく暮らしたい老後が、不安であっては、明るく文化的な国家もなにもあったものではありません。

65才以上の老令人口は、昭和10年には319万人であったのが、昭和30年には、もう472万人になっています。昭和70年には、1千230万人になり、100人のうち12人は老人になるのです。若い人はふえないのに、〃としより〃はふえる。これでは若い人の負担が大きすぎましょう。また、深刻な社会問題も起りましょう。そこで、いまから、としよりを扶養できる社会的な組織、つまり国民年金制度をつくって備えようというわけです。もちろん老人だけでなく、身体障害者や母子世帯も、家族制度がこわれつつある現在では、人の世話になるにしても身についた年金が必要で、やはりこの制度にあります。



資格者は強制的に加入

強制加入というと、なにか抵抗を感じますが、社会保険の制度をとっているので、法律できめた条件にあう人は、全部加入しなければなりません。つまり、きまった額の保険料を納めてゆくようになります。しかし元来が〃全国民の恩給〃というネライですから、そうした公的な制度に、いま加入している人は、加入できません。二重どりになるからです。

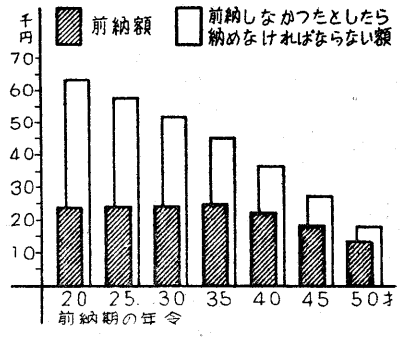
日本国内に住居をもつ、20才以上60才までの日本国民が対象です。しかし、いま60才の人に、すぐ年金支給はできません。来年4月で、50才以下の人がいまの対象になり、50～55才までの人は、希望があれば、知事に申請して加入できます。夫が恩給や年金制度にすでに入っていても、その妻は、この制度に加入することができます。夫の死後、扶助料とあわせ、二重にとれます。

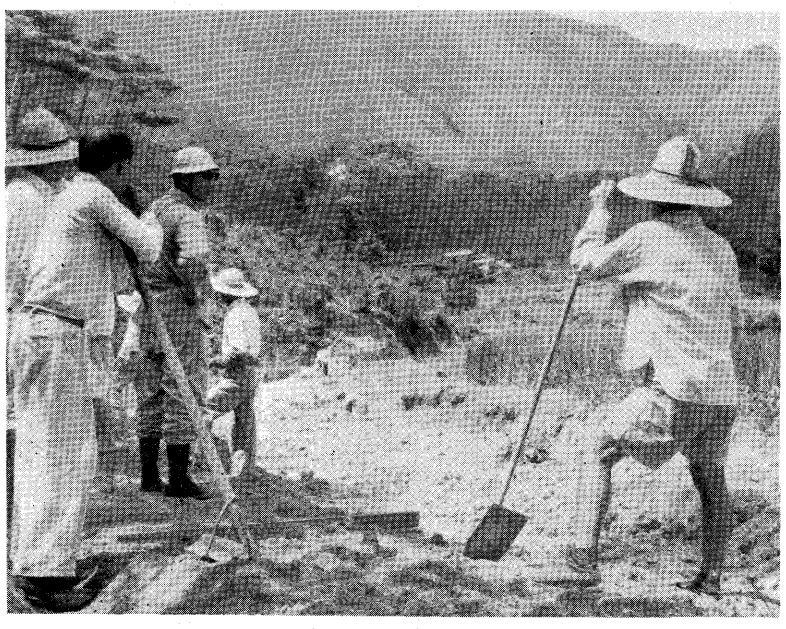
保険料は月100～150円

保険料は、20～35才までは、月100円。35才以上は、月150円となっています。納め方は、役場で売る〃**国民年金印紙**〃を、国民年金手帳にはり、役場で検印をつけばよいのです。

年金ごとに、この保険料を納める期間が違うことです。60才に達した人が年1万4千400円、25年の人は2万4千円、40年完納すれば、年4万2千円の支給を受けます。

この制度には、老令年金のほか障害、母子、遺児、寡婦年金があります。つぎの広報紙でお知らせします。加入届けは、9月初め各世帯に配ります。この加入届けは、10月から発足ですから、9月の20日すぎにとりまとめを行います。障害、遺児、母子、寡婦の年金も、納めた期間に応じて、年金額が違いますし、そのような状態になったとき支給が始まります。





上鯖山の林道造り。後方のブルは、畜舎の地ならし。

採算のあう農業経営へ

大内町内の〝新らしい動き〟

〃曲り角〃の農業を、なんとか打開したいという声が、町内あちこちで聞かれます。まだ芽生えた程度ですが、新しい生産様式を目指して努力している町内の実例を、お知らせしましょう。

生産費を安くする

貿易が自由化するといっても、農産物の関係が最後まで残るといわれています。外国の安い農産物を輸入すると、日本農業はひとたまりもなくつぶれてしまうからです。平均して、約半分の値段で輸入できます。私たちの農産物がこれに対抗するためには、現在の半値で売って、しかも利益があるような、生産体制を作ればよいわけです。経営の共同化の動きが、大内町内にもあります。投下資本を大きくし、生産の能率をあげるのが目的です。

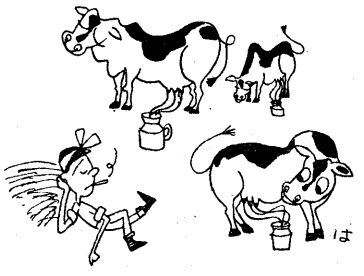
まだ規模は小さい

理想的には、かなりまとまった人数の共同化がいいのですが、大内町の例では、まだそこまでいっていません。都市近郊農村で、兼業農家が多く（大内町では、農業所得より勤労所得の方が高い。）それぞれの農業経営がまちまちであるため、〃共同化〃となると条件がそろわなくなります。こうしたやりにくい条件はありますが、これからの農業は、それぞれの能力を活用して、職能的に分化し、資本力も大きく、生産構造も能率的であるのが、一番理想的ではないでしょうか。品質のいいものを安く、多量にできるからです。

乳牛、豚、しいたけ

いまある共同化は、仁保一貫野と小鯖鯖山の乳牛、仁保高畠の養豚、仁保揚山のしいたけです。一貫野は4人の共同化で、融資額は300万円、鯖山は3人で7百万円です。高畠の養豚は、4人で200万円。揚山のしいたけは、15人90万円です。人数が少ない欠点はありますが、一人で、なんでも屋より、技術や資本の面で有効です。だから、いまの大内町の共同化は、小グループの共同化で、地域生産構造そのものを近代化していくところまで、いっていないといえましょう。

このほかに、仁保の東園、丸山の〃桃共同出荷〃もあります。町そさい組合の共同出荷では、九州、下関、防府への出荷を共同化しています。



ごく最近、仁保高野では、宮崎大学の教授を招いて、リンゴの経営診断をやりました。近代化への新らしい動きといえましょう。仁保の赤豚は、現在600頭にまでのびました。西日本の生産地としてクローズアップされようとしています。マッシュルームも、上小鯖5区に1、仁保妙見に2菌舎できました。

カンバツ対策に補助

3万円以上の工事をする場合に、補助ができます。

▽河のしめきりをやるとき、県から15/100補助、町からも同額補助。

▽揚水器を設備するとき、県から10/100町からも同額。

▽水源調査のとき、（この場合は経費2万円以上）県から30/100以内。町からも同じ額の補助。しかし、もう雨が降りましたから、カンバツの心配もありますまい

大内町広報

昭和35年9月8日
第62号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

不在投票24日まで

知事選の不在者投票は午前8時30分～午後5時まで、本庁の選管と、両支所でできます。不在投票の理由を説明する証明書（市町村長や、医師、会社事業主などが発行）持参で、おいでください

9月中旬に敬老会

毎年行なっている敬老会は、ことしも盛大にやる予定です。仁保はクラブで、17日に。大内と小鯖は、大内中学の講堂で19日です。どうぞ、気軽におでかけください。せいいっぱいの趣好をこらして、ゆっくり一日を楽しんでいただきます。時間は朝9時30分から。

税金

9月 国保税だけ

知事選挙は9月25日

山口県知事をきめる選挙が、もう目前に迫りました。いつものことですが〃知らずにやっても〃選挙違反の罪は、のがれることができません。選挙運動に関する注意を、とりまとめました。

期間＝原則として、立候補してから選挙の期日の前日まで。

×

禁止される選挙運動

▽全面的に禁止されるもの
(イ)選管委員と職員 (ロ)裁判官 (ハ)検察官 (ニ)会計検査官 (ホ)公安委員会の委員 (ヘ)警察官 (ト)収税官吏および地方公共団体の徴税の吏員 (チ)一般職の国家公務員（非常勤を除く） (リ)教育公務員（国も地方も）

▽地域的な制限を受けるもの
(イ)一般職の地方公務員（徴税、教育公務員を除く）は、その属する公共団体の区域外で選挙運動をすることができます。

※ このほかに、私立学校の教員は教育公務員ではありませんが、地位を利用する選挙運動はできません。

▽未成年者、選挙犯罪者

▽戸別訪問は禁止
個々の家庭を、投票依頼で訪問することはできません。個人の宅のほか、会社工場なども、戸別のなかに入ります。〃訪問〃というのはその家庭に入らなくても、軒下で面接する場合もいうので、不在でも、面会拒絶されても、訪問となります。

▽戸別訪問の類似も禁止
(イ)選挙運動のため、戸別に演説会の開催などを知らせる
(ロ)戸別に、特定の候補者の氏名や政党、政治団体の名前をふれあるく行ない

▼個々の面接はよい
街頭などで、たまたまゆき違った知人、バスや電車などで出あった知人に、投票を依頼するのは、さしつかえありません。

▼電話による運動も自由
一人一人を呼びだして、投票を依頼することは、禁止されていません。

※ 大内町内の**有線放送電話**は、一対一の通話がもれるので、電話とは認められません。

▽署名運動の禁止
方法はどうであろうと、署名運動は、全面的に禁止です。署名簿の回覧であっても、街頭での署名を求めてもです。

▽飲食物の提供も禁止
原則として、どんな名儀でも禁止です。湯茶と茶菓子程度なら許可になります。

〃連呼行為〃もいけない

「×××にお願いします」などと、短時間に、一定の文句を連続反覆するときは、連呼行為になります。しかし、演説会場や街頭演説の場所では、できます。

▽気勢をはる行為
隊伍を組んで往来するとか、自動車や自転車を連らねて、行進するとかいった場合です。これも禁止です。

▽文書、図書の回覧禁止
回覧板や、文書、図画、看板、などを多数の人に回覧する行ないをいいます。

× ×

以上が、選挙運動として禁止されていることのあらましですがくわしいことは、どうぞ選管へ

補充名簿の届出は12日まで

昨年9月に作った基本名簿にもれている人。昨年6月16日～ことし6月7日までに、転入した人。昨年12月20日以後、満20才になった人（昭15年9月8日以前出生）がこのたびの補充名簿にのります。**届出は12日まで**です。以後は無効ですから、ご注意を。

知事選の日程表

8月31日	▷不在者投票の開始
9月2日	▷個人演説会の開始
7日	▷補充選挙人名簿の調整現在日
10日	▷立候補の届出期限
12日	▷補充選挙人名簿の申請期限
18日	▷候補者の氏名などを掲示
22日	▷開票立会人の届出期限 ▷補充選挙人名簿の確定期日
23日	▷開票立会人のくじもしくは補充の選任 ▷選挙公報の配布期限
24日	▷不在者投票の期限
25日	▷投票日 開票日

地区別の有権者数

昨年12月20日に確定した名簿で，有権者の総数は8672名（男4054 女4618）です。

大内	3480	（男	1595	女 1885）
仁保	3119	（〃	1510	〃 1609）
小鯖	2073	（〃	949	〃 1124）

▽**国家公務員**の中級試験の申込みは、10月1～20日まで、広島市霞町、人事院広島地方事務所へ。短大卒程度の試験で、男女、学歴をといません。行政、法律、経済、電気、通信、機械、土木、建築、化学など。

▽10月1日現在の県人口はいく人か……この**懸賞**へ応募する方は、県統計課人口予想係へ。締切り10月1日（当日消印有効）賞金3千円。

▽**自衛官**の第3次募集は10月10日まで。試験は10月16日～11月16日までの間。陸海空士それぞれ募集しています。身長155センチ、体重47キロ以上の男子です。案内書は、総務課庶務係りへ

▽**造林補助金**は、実際にかかった事業費の4割以内となっています。4割確実にくれるとはかぎりません。造林補助は、やぶ退治を優先し、拡大造林の方が、再造林より優先します。県外から購入した苗木には、補助金が出ませんが、優良母樹からの苗かどうかわからぬからです。

▽気象庁研修所の高等部**学生を募集**しています。申込期間は9月15～10月5日。高校卒か、明年卒業予定の男子。問い合わせは、広島市霞町、人事院広島地方事務所。高等部学生は、将来中堅幹部の技術職員として気象業務に従事します。

▽新らしい、〃**建築基準条例**〃が、県会できまりました。大衆の集まる場所の便所は改良式にするとか、アパートは2m以上の道路に面して建てるなどです。

向山の婦人が家計簿を研究

小鯖の2区（向山、樋ノ口部落）は、予算生活を進めるモデル地区の指定を受け、明36年から、各戸で家計簿をつける話しあいを進めています。農繁期前に1回、8月23日に1回、家計簿をつけるには、どうしようかと、いろいろ話ムダを発見し、生産費を追求し一家のなかで、数字に基づいた、発言権をえようと、猛勉強。なにしろ、記録するということには、弱い婦人たちが、せっかくモデルになったからには、半歳先に備えて、いまから準備です。日々の記帳を整理して、家計費の に花をさかせました。

炎天下の町体育大会

野球は仁保金坪

バレーは小鯖1区

町大育大会は、8月21日、大内中のグラウンドと体育館で行われました。この日は、とてもむし暑く、文字どおり炎天下の熱戦でした。3地区から、それぞれ代表が決勝を争いましたが、つぎのような結果となりました。

野球＝1位（仁保金坪）
2位（小鯖上鯖山）

バレーボール
1位 小鯖1区
2位 小鯖6区

剣道
▽一般の部
団体1位 大内Bチーム
〃2位 〃A〃
個人1位 佐々木勝幸 大内
2位 吉野昭雄 仁保
3位 佐々木美鶴 大内
▽中学の部
団体1位 仁保中Aチーム
2位 大内中 〃
個人1位 大来節男 仁保
2位 岩本則政 大内
3位 山下敏治 〃

柔道（団体戦なし）
一般個人
1位 清水昭宏 仁保
2位 山根康博 〃
3位 渡辺久人 小鯖
中学個人
1位 重宗弘久 大内
2位 山根真茂 〃

3種目の競技で町体育大会を開いたのは、ことしが最初でした。役員も熱心に世話しました。それにも増して、参加した人たちのはげしい熱意が、大会を有意義に終らせました。女子バレーも、ことしはじめてでした。しかし、技術も予想以上で終始熱戦の連続でした。来年はピンポンなど、競技種目を増してほしい、柔剣道は、べつに切り離してやってはどうかなどの意見がでていました。この研究課題です。

この日大内中の体育館で行われた，柔剣道競技の一コマ。なにしろ暑いので，がまん大会のように，汗だく。

▽約6千人を収容できる山口**県体育館**が、山口市清水にできました。バスケットやバレーボール、バドミントンもできます。演劇、講演、音楽会などにも、これから広く利用されます。

▽台風時期です。7月に豪雨があり、1億円の被害を与えているので、ほんとにもうたくさんですが、こないとはいいきれません。なんといっても**平素からの**訓練が、いざというとき役立ちます。台風になって、子どもたちがあの谷川を通らねばよいが……と心配してもはじまりません。

▽**盗難自転車**の¼は、未登録であることを、ご存知でしょうか。盗難にあったもののうち、27%が所有者の手もとにかえりました。このうちの約8割は、登録車です。登録しない自転車がまだだいぶあるようです。登録番号があれば、盗難にかかっても、速やく発見できます。

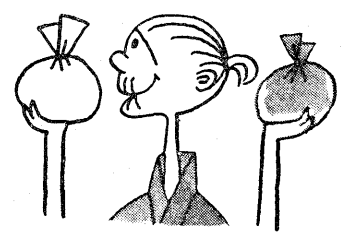
▽**種子**のよしあしは、稲の収量に大きく影響します。自家採種を続けますと、3年目ごろから悪化し、うんと減収します。県採種は産の種子は、こうした理由で出ています。自分の家でとる場合でも、一般米より早目に刈るのがよく、この方が発芽の勢いも強いです。脱穀は、千歯こぎが理想的ですが、動力の場合は、毎分300回転が適当です。

▽新らしい道路交通法で、通行の**優先順位**がかわりました。乗用車といっしょに走れる自動二輪車が一段低くなり、カミナリ族も、スピードがだせなくなりました。

国民年金と福祉年金の制度の違いは……

掛金の必要な年金と、必要でない年金と、二つの制度があって、区別しにくいと存じますので、比較してみました。

福祉年金は、13万以下の所得者でなければ、もらうことができます。



掛金のいらぬ福祉年金には、老令、障害、母子の三年金があります。掛金のいる国民年金には、三つのほかに、遺児と寡婦の年金が加わって、合計五つになります。老令は福祉年金で70歳、国民年金で65歳にならぬと、受給できません。国民年金の、障害、母子、遺児の三年金は、加入して3年ほど保険料を払えば、受ける資格があります。福祉年金の場合は、掛金がいらぬので、条件がきびしくなっていますし、国民年金の方は、制限がゆるくなっています。

任意加入の人の例で

掛金の必要な国民年金の方が支給額が多いのは当然ですが、金額でだすとつぎのように違います。福祉年金では70歳からですので、5年ほど遅れてもらいます。金額は年1万2千円です。国民年金では、いま55歳の人が10年加入して（10年以下は受給できない）年9千600円、70歳で1万4千400円もらいます。65～70歳までの5年間に4万8千万もらいますが、このうち1万8千万は掛金です。しかし差引き3万円ほど、福祉年金より有利になります。これは現在50～55歳の人（任意加入）を対象にして数字をだしたのであって、もっと若い人たちの場合、金額の差はさらに大きくなります。

障害、母子の年金でも、やはり国民年金の方が、うんと有利です。

どちらも近く制度を改正

国民年金では……死亡一時金がでる見込みです。3年以上かけた場合で、その金額はまだわかりません。カ婦の一時金も、でる見込みです。夫が老令年金の受給に必要な条件を満たしながら65歳未満で死んだ場合、10年以上つれそった妻に支給されます。現在では妻が60歳になって5年、夫への支給額の½ということになっていますがこれを一時金でだそうというわけです。

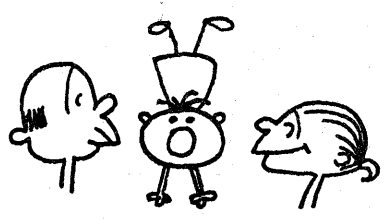
福祉年金では……所得の制限13万が拡大され、所得税がかからぬ範囲になる見込みです。扶養義務者の所得50万以下となっているのも、70万に引き上げる予定です。

準母子世帯へも

福祉年金のなかで、母子年金の受給は、18才未満の子をかかえているときとなっていましたが、成人に達しても、子どもの所得がないときは受給できるように改正される見込みです。また、準母子世帯でも（妹の子どもやおばあさんと孫であっても）支給する見込みです。生別の母子世帯にも、支給できるよう、検討しています。老令年金の支給も、生きていた月まで、遺族へ支給する方法が研究されています。

7月に行った国民年金の**世帯調査**で、つぎのような結果がまとまりました。（回収率は92%）社会保険として、強制的に加入していただく人が3千400名、任意適用（はいってもはいらなくてもよい）者が、800名でした。この800名のうち、加入を希望した人は250名。有利な、保険料前納を希望した人は、約300名でした。

紙面の都合で、またアウトラインの説明になりました。しかし、加入するとたしかに便利な年金です。



おしらせ

▽9月には、福祉年金の支給があります。9月6日からです。

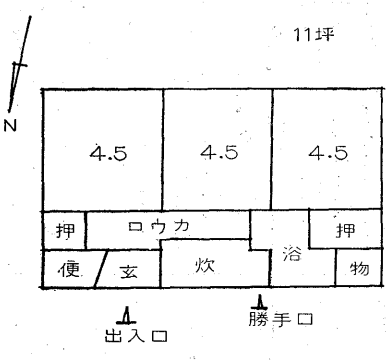
▽新らしく70才に達した方は、福祉年金のなかの、老令年金の請求書をおだしください。町民課へ届けでていただけば、係りの方で処理いたします。

▽10月1日からはじまる国民年金に、前号とこの号と解説をのせました。ご質問は町民課へ。

家賃は2千200円の予想。敷金として3月分前納する条件があるので約6千円、入居のときに必要。住宅にこまっている人で、月の所得が1万6千円～3万2千円までの方、独身者は入居できません。

鯖山の公営住宅

申込みは、9月20～10月10日まで、20日間。町外の居住者でも応募資格があります。それぞれの家に風呂もつき、水道もあります。県道山口―防府線にそって、国鉄バス上鯖山停留所まで、徒歩で5分です。申込みは、町民課へ。



吉佐の婦人会長、暑さにめげず

リクリエーションに，会津盤悌山のおどりを習う

まだ暑さも、ものすごかった8月の23.22日、小鯖鯖山の禅昌寺で、吉佐婦人会長の、研修会が開かれました。約50名の会長が参加しました。吉敷郡、佐波郡、それに山口市と防府市をふくめたので、こんな多人数となったのです。もちろん、それぞれの市町村の、社会教育課長や主事も参加いたしました。

分科会で討議したテーマーは、

▽婦人会の立場で、青少年の育成をどう処理していくか。

▽地域婦人会、組織は、どのようにしたのが、一番合理的であろうか。また運営で反省する点はないか。

▽婦人学級の効果的な運営方法と、婦人会との連けい。

▽因習をうち破ることと、同和教育を、具体的にどうとり入れていくか。……

暑さにめげず、有意義な二日間の研修を終りました。

▷ 農業の共同化を進めるための融資 ◁

最近、県下のあちこちで、農業経営全般の共同化がふえてきました。先祖伝来のやり方で10年1日のように米作りばかりしていたのでは、とても暮らしを高めることはできないという、働く農民の知恵が、団結しはじめたのでしょう。県では農業共同化推進要綱をきめ、農林業共同化のための、**資金融通特別措置**を定めました。なんといっても、共同化した方が、仕事のムダがなく、もらけもふえます。べつに、△これこれしなければ、融資できない▽という、むつかしい規則はないので、どんな組織で、どういうやり方で……と、共同経営にたずさわる人たちの話しあいで、きめていただくのです。

この共同化資金は、△農林漁業振興対策資金▽のなかで融通することになっています。二三の特色があります。運転資金も、貸しだしの対象にしている点、必要な資金を一組みにして借す点などです。牛は有畜農家創設資金で、畜舎は農林漁業資金でというのでは、畜舎は建ったが、牛が買えないといった変なことになりますから。

前号の広報紙で紹介した、上鯖山の**酪農グループ**は、水田経営も全部共同化し、このごろ耕うん機と自動脱穀機を使って、全作業を分業化しました。それぞれの家にあったスキも、電動モーターも不要になったのです。

ことしの間にはあわないが

仁保深野の藤井静さんは，左の写真のようなハゼを工夫しました。早期の米は，急に乾燥すると，どうしても胴割れ米がでますので，少しあて乾燥したらどうだろうか，と考えたのです。3段式で稲もたくさんかかりますが，通風の点が心配なので，日当りの側だけの2段式の方が……と普及員の意見です。来年ひとついかがです。

昭和35年10月19日
第63号

大内町広報

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

慰霊祭は10月30日

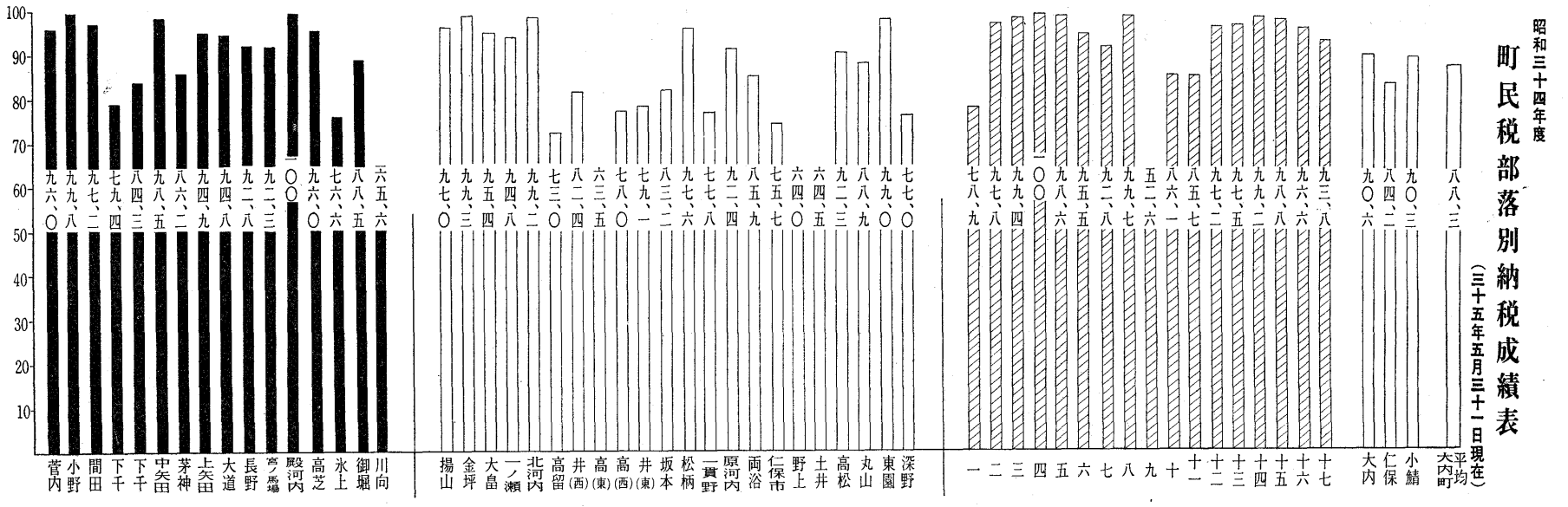
会場は大内中学校。仏式で行ないます。ことしは、全町民の慰霊祭にしたいと存じますので、遺族であるなしにかかわらず、ご出席をお待しています。みんなして、戦歿者のご冥福を祈りましょう。午前式典、午後演芸

木材規格 来年からメートル法

来年の1月1日から、木材規格もいよいよメートル法に変ります。2年間、特殊な事情があってゆうよしていたのです。つぎの広報で、解説いたします。

税金

10月 町民税 第三期
11月 所得税の予定納税



34年度の納税89%

いぜん苦しい町の台所

未納が11%といつても、私たちの台所と同じに、出る金は多く入る金は少なく、いぜん苦しいのが町財政です。小中学校の老朽校舎の改築だけでも、約1億の財源が必要な状態で、これから先が心配です。

納税組合を作っては

いつも思わぬ出費があって、なかなか税金には廻りかねるのが実情です。そこで、計画的に税金を積みたてていただく納税組合が、完納するためには一番便利なやり方です。昭和36年4月から、全町にこの納税組合ができるようにと、町では方針をもっています。あと半歳しかありません。納税組合の現状を、町全体でとりまとめてみました。

現在の組合員数は1千572人です。部落内のほとんどが加入している組合は、**小鯖 17 仁保 13 大内 7**です。

部落内の一部が加入している組合がこのほかに五つあります。まだ部落全体をとりまとめての組織には、なっていないわけです。

納税組合で、計画納税をしている額を地区別に見ますと

小鯖 740万 仁保 622万 大内 635万

です。

特徴（勤労者の源泉徴収）など、納税組合に関係のない税額を引いてみると、100%納税組合ができたときには、2千900万円が町の台所に入る計算です。現在は約2千万円ですから、納税組合で計画納税している額は、69%になります。あと半歳内に、31%ほど広げてゆきたいということです。

できない理由は

つぎのような理由があるようです。

1 自分の税額を人に知られたくない。
2 集金がめんどうだ
3 組合長になる者がいない
4 現在までの滞納もいっしょに払うとなると、やはりこまる。

×

▽人に知られたくない——その気持はわかります。しかし、おたがいの課税が公平であるかを、なっとくするにはむしろ知れてもいいのではないでしょうか。税が高いという前に、公平であるかどうかの問題があります。

▽大きな部落じゃ、集金といってもたいへんです。毎月集金日をきめ、小班ごとに集金し、もし当日不在のときは月末までに集金人の宅に持参するようにとりきめたところもあります。集金人が毎月輪番になれば、手数もおたがいさまです。

▽組合長の仕事は、そうめんどうではありません。毎月小班で集金した金を農協か郵便局に預金するだけです。納期がきたら、役場から農協や郵便局へ徴収にいきます。

▽滞納のある方は、36年4月から3年間に、その年の税額とあわせて預金いただくような方法をとっています。1年にというのでは、おっくうでしょうが、3年間にですから、計画的にやれば消化できるのではないでしょうか。

結成は一月からが便利

1月に結成すると、旧年度の町民税4期分（1月）固定資産税4期分（2月）と重なりますが、その年だけです。翌年からは、その心配はありません。この住民税固定資産税の4期分を滞納として、その年度の月割りでかけると、少し月割額があがるわけです。この方が簡便かもしれません。納税組合に対する補助金は、現在60万円ですが、全町結成した場合は、100万円になります。

※グラフで仁保の高留は高畠の誤り。
〃他町村〃は他町村の住民で町に固定資産ある人

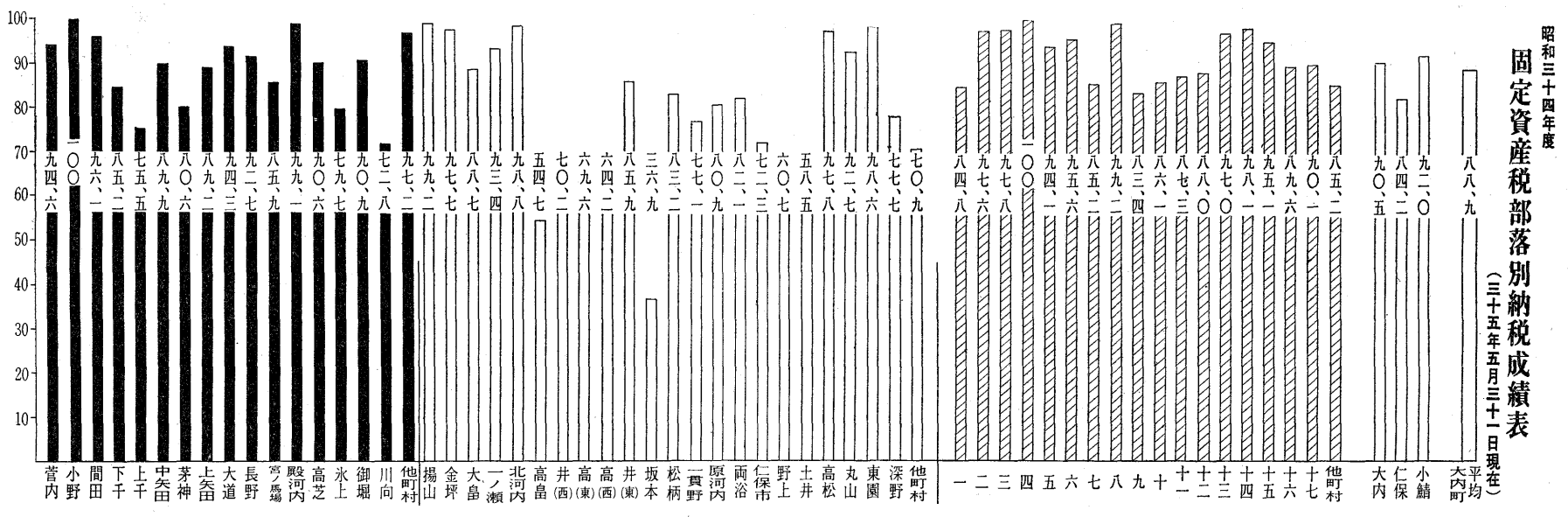
▽国民金融公庫山口支所では、10月10日から、年末貸付けの取り扱いを始めました。零細業者の新規申込みをとくに希望しています。第一次は、10月末日まで、第二次11月1日～11月20日となっていますから、早目にお申込みください。11月20日をすぎると、お貸しできない場合も、起るそうです。とくに緊急な〃運転資金〃を重視すると

▽前総務課長 鯨田豊氏は9月22日病のため亡くなりました。亡父の供養にと長女礼子さんから金五千円を町の社会福祉事業に寄付いただきました。ご趣旨にそって、役立てます

▽犯罪現場には、いろいろの証拠が残っています。足あとや指紋はもちろん、たばこの吸がら一つ、髪の毛一本でも、立派な証拠になります。戸障子やタンスのあけぐあいだけでも、犯人を探す資料になります。どうぞ犯罪現場は、そのままに

▽山口県広報写真コンクールの募集中です。題材は、働く人、子どもの世界、農村、漁村、建設、郷土自慢健康、工場のある風景の8課題。応募資格の制限はありません。締切11月20日、発表12月下旬。知事賞には副賞1万円。サイズ四切以上（白黒）送り先は、県庁学事広報課コンクール係

▽10月20日から、秋の交通安全週間です。最近交通事故はうなぎ上りに多くなりました。新らしい交通法規では違反5万円以下の罰金3年以下の徴役



▽秋さばの出まわる時期になりました。ことしは肉類もたいへん高く、魚の利用が経済的でしょう。冬にむかって**体を温める**のには、たんぱく、脂肪、ビタミンの多い野菜類をとり、澱粉はひかえめにするのが、よいようです。

▽**脱脂粉乳**は、乳から脂肪分を除いたものですが、カルシュウムやビタミンB_2を多く含んでいる、安い食品です。ちかごろはインスタントミルクが出廻っていますので、とかすのが楽になりました。しかし湿気を吸うととけにくくなります。

▽**薬**は湿気や光線、高い温度で変化します。台所や窓ぎわは危険です。オキシフルやヨードチンキ、アンモニア水などは揮発しやすいので、センを堅くする必要があります。飲み薬とけがに使うつけ薬は、別々の箱に入れた方が無難です。

▽納屋のすみの汚ない所によく**漬物おけ**が置いてあります。おけがはえの発生場所になっていることもあります。ねずみも出入しますし、やはりビニールで、かっちり覆いをした方が、衛生的で安全です。漬物にしても、蛔虫の卵はなかなか死にませんから、最初に野菜はもちろん、容器まで中性洗剤で洗う必要があります。

▽**低血圧**とは、最高血圧が百ミリ以下の場合をさします。大部分は、生れつき血圧の低い人です。ときに、だるい、貧血、めまいなどを起すこともありますが、気づかぬことも多く、特別に治療の必要もありません。

県民4人に1人は栄養欠陥

食物が豊富になつたのに、かえつて栄養調査では欠陥が指摘されています。豊富になつたため、栄養本位から、好み本位の食生活に変つたのかもしれません。

県民の27%が栄養欠陥だといえば、ウソみたいですね。

カロリーをはじめ、蛋白質、脂肪、ミネラル、ビタミン、どの栄養素も不足しているありさまです。32年度は、まだ5人に1人でした。それが33年度では4人に1人となってしまいました。

いつでも食えるという安心感もあるのでしょうが、とかく好きな食品だけに傾いていたのではないでしょうか。

ここ数年来、ビタミン以外の栄養素は、年々わずかあてでも増加しています。しかしビタミンでは、不足の状態がほとんど変りないのです。ビタミンB_1については、むしろ逆に減る傾向にあります。

栄養欠陥のなかで、足がだるい、ふくらはぎが痛いなどビタミンB_1欠亡症がもっとも多数でした。この解決は、強化食品によるのが、いまのところ一番便利です。

ビタミンB_2の不足は、乳や卵のとり方が少ないことを示しています。ビタミンAの不足は、有色野菜の計画栽培がなされていないのが原因のようです。油脂類のとり方も、増えてはいますが不足しています。県平均で症状ある人は27%ですが、生産者消費者の平均であって、生産者の場合は、32%に増えています。3人に1人という状態です。六つの基礎食品が、毎日の献立てのなかにおりこんであれば、大丈夫です。

カゼと高血圧が多い

いまのは県内の話ですが、大内町でも、ほぼ同じような例がたくさんあります。立場をかえて、国保の台帳から推察してみましょう。

栄養欠陥が直接病気につながるとはいえませんが、少なくとも原因にはなると考え方です。多い病気を拾ってみますと感冒、高血圧、神経痛、胃腸病です。感冒は、インフルエンザで、細菌が直接の原因ですが、体の抵抗力の弱いことも大きな理由と受けとれます。どれも、バランスを失った栄養のとり方をしているためと相像できます。白米をたくさんたべるし当然白米によくあう食塩をとるように、白米のたべすぎ——いそがしいので、かまずに押しこむ——胃腸病の原因ではないでしょうか。神経痛は、きまった動作で長時間労働していて、あとでコリをほぐさないところに原因がありそうです。

町内の実情を調べると、有色野菜の計画的栽培は、ほとんど行われていないようです。なすびのときはなすびばかりで、大根のときは大根ばかりといった食生活が多いですね。

大根も葉っぱはビタミンAの豊富な資源ですが、これを捨てて、根だけを食べています。ただバターと違って植物性ですから、3倍とらなければなりませんが、手近にあるだけ、利用しやすい面があります。保健婦が冬行った調査でビタミンCが不足していたことがあります。大根白菜など、ほとんど煮て食べるからと思われます。

国保の台帳から、7月以上の病人を拾ってみたら、現在800人ほどありました。このなかにはケガもあり、すべての病気をふくんでいますから、栄養欠陥とすぐ結びつけられませんが、やはり恐ろしくなる数字です。診断、薬、治療—これは病気をなおす必要な手段ですが、バランスのとれた日々の献立てで、病気以前の、抵抗力をつけてゆくのも一つの方法ではないでしょうか。

↑大内小で。各校とも、楽しみだつた秋の運動会、もうおわりました。

入居者を募集中

小鯖の鯖山飛行場跡に建設中の公営住宅は、着々はかどっています。中央に大きな道路を通じ、真夜中でもタクシーを横付けできます。ちょっと見ると、狭っ苦しいようですが、これでも規準の宅地面積より広くとっています。

木の香も新らしい新居で、水道もあり空気は清く、住居としては理想的です。つぎの規定で、人居者を募集しています。

▽住宅の面積は約12坪、四畳半の畳敷2室、板張り1室、風呂付き。

▽家賃二二〇〇円（電灯料と水道料は自己負担）

▽**入居資格**＝家賃および敷金（家賃の3月分）を支払う能力があり、毎月の収入からふ養親族一人につき千円控除した余りが、1万3千200円～3万2千円以下の現在住宅にこまっている人。独身者は入居できません。

▽**申込**みは、10月末日まで、町民課にある規定用紙でお申込みください。やはりすごく不足していますね。

海そう、油脂などひどく不足

つぎの表を見ると、それぞれの食品のとっている内訳がわかります。目標のところと、生産者か消費者、県平均と見くらべてみますと、たりないところがすぐわかります。

もちろん食生活は、それぞれの家庭で違っているので、どこもこのようだというのではありません。理想的にいっている家庭ももちろんあるはずです。左の表は、大人一日の必要量を、目標であらわし、単位がグラムになっていますから、現状と比較することはできます。

表によれば、緑黄野菜、乳類いも類、海そう、油脂が不足していることがわかります。足りない部面は、やはりすごく不足していますね。

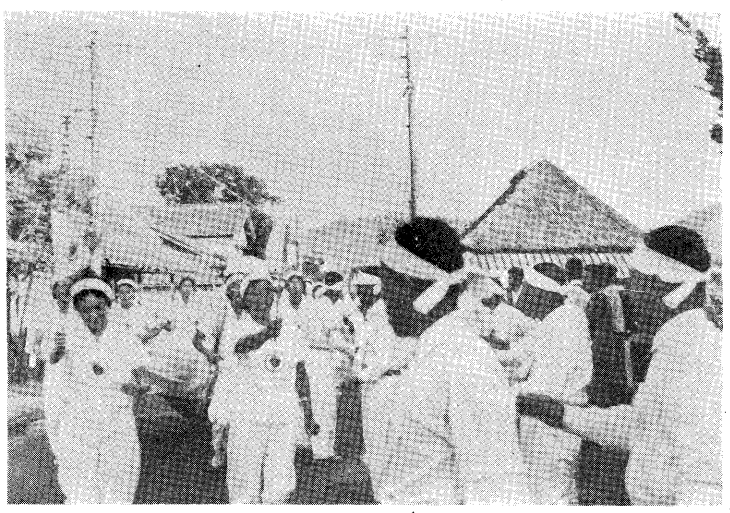
これだけ不足　昭和33年度（単位　グラム）

	黄緑色野菜	その他の野菜	いものやさい果物	大豆との製品	魚介肉鳥獣卵	乳類	穀類	いも類	海そう	油脂
山口県平均	79.7	191.8	68.2	136.7	12.8	440.1	44.3	5.8	5.3	
生産者	94.1	198.1	64.8	101.5	3.8	516.2	46.7	3.1	7.2	
消費者	76.4	182.4	67.4	142.4	13.7	417.8	39.8	6.3	4.7	
その他	78.6	258.8	79.5	153.1	28.2	448.0	60.3	6.7	8.9	
目標	200	200	70	130	180	450	100	10	10	

死亡へっても患者はふえる　結核

かって亡国病と恐れられた結核も、医学の進歩で、死亡率はうんと低くなりました。全国的にも、死亡率は6番目です。

ところが、患者数はちっとも減っていません。国の実態調査では、451万人と推定され、このうち約67%の304万人が、治療を必要とする状態です。山口県でも、毎年7千人の新患者が出ていると推定しています。これを大内町にとると、以前からの患者が43名、昨年1年で発見した患者が20名、ことしの8月まで9名と、死亡率はへっても、患者数は次第にふえています。開放性の結核患者がいるため私たちの周囲は、自動車や汽車のなかでも、いつも結核菌がばらまかれている状態です。30才までの人のツベルクリン反応が、農山村でも70%陽性に変わることからしても、知れます。だから、毎年1回は健康診断を受けX線検査をした方が安全です。保健所の出張検診を利用すれば、料金もいりません。そして早く発見すれば、治療も簡単ですから。



←国体旗リレー婦人会も参加

ことしの国民体育大会は、熊本で行われます。昨年の開催地東京から九州熊本まで、国体旗はコースにそった市町村の住民の手でリレーされてきました。10月8日、大内町の分担は、鯖山美由伎松から川向いまで、山口三田尻間の県道を八コースにわけて、つぎつぎとリレーしてゆきました。青年団や中学生にまじって婦人会からも、21名の選手が、トレニングパンツも勇ましく参加しました。町長議長も、役場前——氷上を走りました。

大内町広報

昭和35年11月15日
第64号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

20日が投票日

名簿のじゅう覧は13～16日まで。異議の申し立てもこの期間に。不在投票は19日後5時まで。最高裁判官の国民審査は青色の紙。やめさせたい裁判官がいれば、印刷してある名前の上に、×印をつけるだけです。

山口で大神楽公開

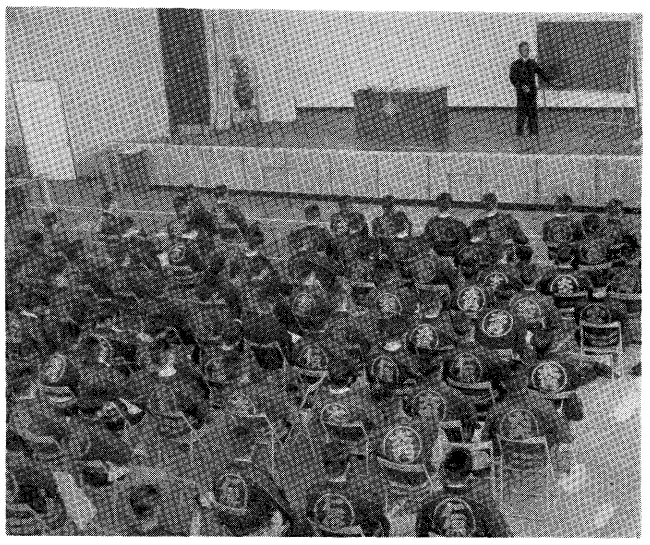
11月3日文化の日に、県体育館で小鯖大神楽の公開をしました。大内氏が山口に居をかまえて約600年。〃山口開府600年祭〃の行事に、無形文化財の指定を受けた県下の民俗芸能と競演したもの。

税金

11月 個人事業税 後期
12月 固定資産税第3期
納期は12月25日まで

←大中でおごそかに

遺族のひとみは，戦病死した父や子夫や弟の面影をしのんで，うるんでいました。ことしの慰霊祭は，全町の遺族を集めて大内中学の体育館で，10月30日おごそかに行ないました。亡くなった方への悲しみは深く，傷あとはいつまでも消えません。この写真も，それをしめしてはいないでしょうか。



→いざ火事のときは

とっさの処置をどうするか。消防研修会を，慰霊祭の翌日，場所も同じ大内中の体育館で開きました。以前460名ほどの消防団も，いまは人員をしぼって245名。それだけ消防の技能も向上しなくてはならぬので，県消防学校の先生を講師に招きたっぷり1日かかっての研修でした。

来年5月をめざし有線いよいよ本格的

すでに有線を施設した仁保地区とならんで、大内と小鯖地区にも作ろうという動きが本格的になっています。全町に有線が施設される日も、もう夢ではありません。

先立つもの――金です。施設費を、約2千200万円と見込んでいます。大内と小鯖農協が事業主体となって施工する計画です。町がこれに対し700万円程度補助し、残金を対象戸数で割ると、1戸当たり**1万1千円**の負担額になります。具体的には、大内町有線農協連合会を作り、この農協への出資金をしていただくことになります。一時金は7千円の予定で、残り4千円は、月々180円あての聴取料の一部から償還する方法です。

農協へ出資というと、農家以外の方には縁がないようですが、組合員外の人も出資して、有線放送の仕事に参加していただくわけです。有線が設備されたら、どんな**利点**があるかを、仁保地区の実情から考えてみました。

(1) 足を運ばなければ用が達せなかったことを、**いながら**にできる
(2) 足を運ぶにしても、在宅をたしかめてからゆける。時間経済
(3) 役場や農協その他の団体へ照会したり質問したりも、カンタンにできる。
(4) **急病**のとき、往診に出た医者ともすぐ連絡がとれる。
(5) 泥棒でも押売りでも、すぐ連絡がつくので、**防犯**には効果的
(6) 急な**災害**の場合でも、臨機の処置がとりやすい。いちいち車や徒歩で連絡していたのでは、機会を失う。
(7) **学校**の先生から家庭の父兄へそのときどきに必要な連絡ができる。それだけ家庭と学校は、密接な関係にたてる。
(8) 印刷した広報紙では、どうしても**急場**の間にあわない。必要なおしらせを必要なときに、全町いっせいにできる。
(9) 各地区内はもちろん、全町の通話ができるので、町内で遠距離通話は、非常に便利になる。

だいたい以上のような長所があります。施設した家としない家とがあっては、〃いつ、どこの、だれとでも通話できる〃長所がなくなりますから、有線放送の効果は半減します。農協でも、部落巡回の話し合いを行なって、有線実施の機運はいよいよ高まっています。一致した足なみがそろえば、明年3月には機械設備も終り、全町通話と放送は5月の予定です。

国民年金のなかにとり入れることになりました。どこかの職場で、恩給や厚生年金に達する以前に辞めても、その勤務年数ぶんに当たる額を、国民年金にたして、支給する方法です。ですから、1人当り年4万2千円の国民年金を上廻る支給者も出てきます。（この解説はつぎの号へ）

町の体育協会が発足

スポーツを通じて、私たち町民の親ぼくをはかり、丈夫な体をもつようにしようと、体協が発足しました。六つの部があります。(1)陸上競技 (2)野球 (3)武道 (4)排球 (5)卓球 (6)相撲です。

六つの部には、それぞれ部長副部長、幹事がいます。これで6種目の全町的な競技が行なわれるわけです。3地区には支部を置き、やはり六つの部があります。事務局長には、公民館主事の徳本頼政氏を、支部長には原田三雄（大内）古屋豊槌（小鯖）山根次郎（仁保）の三氏が就任しました。

小原学長の講演21日

東京の玉川学園大学の小原国芳学長が、11月21日大内中で講演します。午前中は中学生を対象に、午後1～4時が一般。〃現在の世相のなかで、教育のあり方と対策〃が題。めったにない機会です。

国民年金の申込み80％
まだ30％台の〈任意加入〉

制度として、どうしても加入していただく方の現在数は、まだ80％です。10月1日発足でしたが、農繁期などの事情もあったのでしょう。まだ20％が未加入の状態です。

任意加入にあたる方 (1)公的な年金制度に現在加入している人の配偶者。 (2)現在50～55歳までの人 (3)遺族年金や扶助料をもらっている人）で現在加入しているのは総数の30％です。加入してもしなくてもよいのですから、この％が低いということはできません。しかし、加入できないと感違いしていたのであったら、いまからでも加入できます。

来年の4月から、**通年制度**を、

≫森林のプロット調査≪

プロットは〈標準値〉の意味です。森林の一部分をぬきだして、材積をくわしく調べ、それで全体を推察する〈標準の数値〉を求めてゆくわけです。

県の森林計画をたてる一つの手段として、**9月から**実施しています。白ペンキを塗った6.5㌢角の柱を、ご覧になったことがあるでしょう。調査地であるという標識です。面積は、10アール（約1反）～5アールぐらい実測し、それをもとに全森林の材積を推定します。

大内町で、プロット調査のためぬきだした森林は5百30カ所です。仁保270、大内78、小鯖が182カ所です。指定地区をもとに、造林保育、林道、治山、伐採、木材の需給といった〈総合計画〉をたててゆきます。そして調査は**5年おき**に、成長量や森林の変化を主として調べます。

標識があるからといって、普通の森林と違う制約があるわけではありません。伐採でも造林でも同じことです。ただ、この標識が長く保存されるよう、ご協力をお願いしたいのです。調査の年月が長いのですから。

田中鉄道師10月17日に遷化

鯖山禅昌寺の、前の住職、田中鉄道師は、10月17日亡くなりました。90歳という高令でした。仏門に入ってから約80年、北は北海道から、南は台湾朝鮮にまで布教の足あとを遺し、宗門の長老として深い尊敬を集めていました。仏教に関する著書も、たくさんあります。

元気盛んなころの老師は、法話がたくみで、大内町内でも、そのころの印象深かったことが、あちこちで語られています。

老師が禅昌寺住職になったのは、大正13年のことでした。昭和4年以後長く多々良中学の校長を勤めました。惜しまれつつ去った老師の葬儀は、11月20日、午後1時から禅昌寺でしめやかに行われます。

▽ 各種の技能試験を、とりまとめました。**配管、建具左官**の指定試験は36年1月8日。希望者は、11月末日までに、山口職業安定所の方へ。**高圧ガス**作業主任者の試験は、11月25日までに県商工課へ願書を。試験は12月11日。ガスの種類や容器で、受験の種類が違います。**建設業**の機械を操作する技術試験は、明年1月。1・2級とわかれ、大学卒3年、短大卒5年の実務経験が必要です。照会は県土木建築部監理課へ。

各種の技能検定試験につき、カンタンなことなら役場総務庶務係りへどうぞ。

▽ **自衛官**の第4次募集中。陸海空士とも、36年1月10日まで受付け。試験は1月17日～2月1日までの間。カンタンな筆記試験と身体検査を、1日で終ります。くわしくは役場総務課庶務係りへ。

▽ **住宅展**と県住の入居者募集と。明るく楽しい住居はどうして工夫するかという展示会です。11月23～27日まで、山口市清水の県体育館と、すぐそばの熊野団地で。モデル住宅は、展示後に分譲します。

県住の方は、10市11団地に新築するものへの申込みです。抽せんで決めます。申込みは県庁建築課へ。入居の資格などは、役場総務庶務係りでわかります。

▽ **海外移住**を希望される方は、経済課の振興係へ。一身上の秘密もかならず厳守しますから、安心しておいでください。県下で明年123月に、約200人を南米へお世話する計画です。

▽郵便物の**あて名**が不正確で、迷い子になるのが全国で1日に19万通もあるそうです。大内町では同姓の家も多いので、家族や同居者全員の表札を出しておくと間違いが防げます。とくに年末ともなると……

▽最近県下のある警察に、**貯米器**専門に100俵以上米を盗んだ犯人がつかまりました。俵だと、すぐわかりますが、貯米器から少しあてぬくのは、気付かれぬそうです。あけてびっくり…にならぬうち、ご用心。

▽県下40万人の**腹**に、寄生虫がいると推定されています。かい虫では、腹痛、食慾不振、むねやけ、下痢、便秘、めまい、けいれんなど。つぼのなかに、10日間ごとに1～2握りの石灰窒素を投込めば、卵は死にます。検便料は保健所で、1回10円です。(団体は割引)

▽県下で34年度中に、約2千件の**人権**問題の相談を受けました。このうち、実際に人権を犯されたとして調査中のものが、約300件。あとは法律相談として、その場で解決しました。山口県では、山口地方法務局(山口局二二九五番)に人権擁護課があって、秘密無料で相談に応じています。大内町の人権擁護委員は、重宗武夫氏と清水了三氏です。

▽子どもには、生理的に**おやつ**が必要です。体の割合に多くの栄養をとらねばなりませんが、おとなと同じように3度の食事だけでとることができません。その不足を補うのが〃おやつ〃で、決してぜいたくだとはいえません。

どう考えても…これは不合理

男性AB さん女性CD さんの、とく名座談会。ひょうたんから駒(コマ)は生れぬので、現実をえぐってもらいました

司会　私たち町民生活のなかで、どう考えても不合理だという面がありますね。もちろん役場の仕事に関するものでも、なっとくできないことを、放談していただこうと存じまして…

C(27歳)　ことしは、運動会のお弁当作りにあきあきました。あれだけどんどんでは、運動会という行事形式が多すぎて、主婦にシワ寄せになるんですね。

B(52歳)　体育という面では、検討の余地がありますね。運動会がダブルのは、家族の構成でも違いますが……

A(75歳)　農村の弊害として、一度きめてしまうと、なかなか取りやめることができない。整理とか統合が、非常にむつかしいのですね。だから、一地区に3度も運動会があるようになる。

B　なにか昔のことをのけようとすれば、変人あつかいにされますね。行事を無批判に受け入れている。人からなにかいわれることがこわくて、生活の合理性を主張する気持は、はるかかなたにある感じです。

C　年とった人が、運動量からいっても苦しい種目に参加しています。来年からは、もっと合理的にね。それから運動会に寄附があるんですけれど。ある程度計算して招待を出すと聞いていますが…

A　私のところは部落で出し、個人からはいっさい出しません。

発言すればすぐ役がつく

C　うすひきのとき、機械を扱う二人に、一杯のませるんです。このごろ早期があるので、2へんも3べんもやるようになります。

A　耕うん機でやってもらうときいっさいやるまいと部落で話しあい、従ってやっていません。

D(39歳)　すんだとき、ちょうどヒルごろなら、出しています。それ以外なら、やりません。

C　役場職員の勤務がルーズな気がしますがね。早帰りとか……

司会　地方公務員は、年に20日ほど、休暇がとれますね。休暇を受ける台帳に、ちゃんと記入して、許可をえてから、帰るんです。ですから疑わしいときには、役場に照会していただきたいんです。それぞれの課で、課長が勤務を見ていますから、この場合の誤解以外に考えられませんが…

C　たぶん、その場合でしょう。

B　話がかわりますが、部落でいろいろ建設的なことをいいたいと思っても、すぐ役があたる。当ると、職業的にはこまる人もあるわけです。だから、意見が出ないという、悪循環です。

C　婦人会は順番ですから、いいたいことはいえます。

A　行事や集会が多すぎますね。私の場合、農業経営が非能率ということもあるが…

B　だれが出ても、やりやすい状態にしませんとね。

D　有線はその点、便利になりますよ。すごく時間経済です。それはふれの段階で、合議することにはなりませんから、集会も必要ですね。

B　しかし集会のときは発言が少ない。ともかくきまったあとで、ボソボソ不平が多いんです。だから集会に権威がない。実行につながる迫力が生れないんですね。

D　私のところは多数決できめたら、なっとくします。いっても、いう方が悪いんです。

部落造りは話しあいから

B　会議のもち方というか、全体の意志をきめて、それをどしどし実行に移す部落がのびますね。

A　役に当っても、喜んでやれるような雰囲気、体制ですね。

C　その点、多数決の原理が、まだ無視されている感じです。

B　いや、それは、人からあれこれ蔭口をいってもらいたくない臆病さもあります。勇気です。

D　部落の集会で、ふれるときに議題がわかっていると、欠席する人も賛否だけはいっておくことができますね。

B　そうして、集会のとりきめがすぐ実行にうつされるようになればですね。

C　いままで一番かけていたと思うのは、生活の必要性から自然に生れる合理性。それが一軒一軒考えられ、やがて最大公約数にまとまってゆく過程でしょう。最初の段階からそれが無視されて、最後の花々しいところだけに力を入れて…いろんな行事がなにか空々しい感じです。

A　部落造りの地ならしも、結局はそこからでしょうね。

一人一人の意見を尊重

C　ですから、確実には、一人一人の意見が尊重されない——というか、尊重しあわない状態です。

B　尊重しあえる会議の形式が必要になりますね。だれもがみんな発言する、つまり〃話しあい〃ですね。これがもっと盛んにならねば。

A　発言に対し、質問したり、ほりさげたりしないでうやむやにきめるから、違った意見が多いんですね。これじゃ実行にこぎつけられません。部落が有機体としてのびてゆくため、話しあいによる体質改善を考える——これも一つの新生運動ですね。

司会　どうもご苦労さまでした。

ことしの町民運動会は、3地区それぞれにぎやかでした。大内は11月の3日、小鯖は6日、仁保は13日と、日曜祭日を利用いたしました。

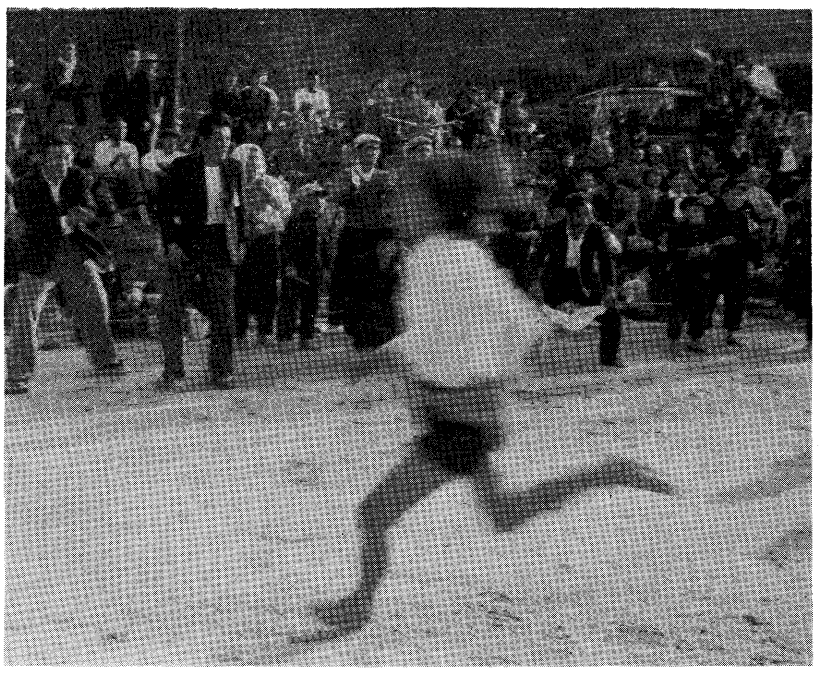
町民運動会の**特色**は、あと仕末が立派だったことです。各部落とも、チリ一つ残さなかったので、あとで役員がほうきを握る必要がないほどでした。入場式も整然としていました。もうこれらは、私たち町民の運動会として、よい習慣になったようです。

やり方は、3地区とも少しあて違っていました。なにしろ自主的に計画したのですから、違うのが当然ともいえます。**大内**では、競技を性別と年令別で、区分しました。20代女、30代男といった方法です。これで、体力的に無理な競技に参加しなくてすむわけです。

仁保では、この地区出身の役場職員が全員参加して、なにかとお世話申しあげました。ひごろ見られないなごやかな気持が、町民と職員との間に流れていました。

小鯖では、婦人会が〃きせかえ競走〃をやりましたが、この題が「公明選挙」でした。べつにプログラム委員が考え出したわけではありません。婦人会独自の企画です。16区のたぬきなど、婦人たちの意志を象徴して印象的でした。

部落対抗の得点では、大内で1位氷上、2位小野、3位御堀。仁保で、1位北河内、2位野上、3位原河内。小鯖で上位3部落は、15・6区でした。雨にもあわず、老若大はしゃぎの運動会でした。



☆

老若いっしょに　大はしやぎ　→

部落対抗のリレーにやんやの声援

(11月6日小鯖の町民運動会で)

ありません。婦人会独自の企画です。16区のたぬきなど、婦人たちの意志を象徴して印象的でした。

部落対抗の得点では、大内で1位氷上、2位小野、3位御堀。仁保で、1位北河内、2位野上、3位原河内。小鯖で上位3部落は、15・6区でした。雨にもあわず、老若大はしゃぎの運動会でした。

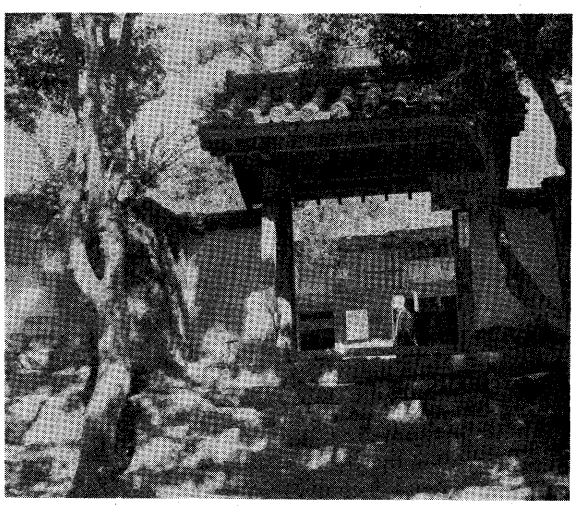
＜町内あちこちの小話＞

▽**松たけ泥棒**3人組を逮捕!!　現行犯で。現行犯でないとダメです。だから捕えるのがむつかしい。少し古く10月の話。西村静議員の手がらです。変なのが山にのぼる——てっきり…と有線で駐在所へ。こんなとき有線は便利です。××駐在さんというと逃げるので名前を呼んで、待ぶせたところで御用。先日現場検証で高い山にのぼってとるところを実演?　いやはや疲れましたと西村議員。ナバは没収、罰金1人5千円。それにしても、高いナバ代——と犯人ぼやくこと。

▽**がんぴとり**——これもこまったものです。山で火をたき、そのまま逃げるので、火事の原因にもなります。4㌔で700円ぐらいするらしいです。1日8㌔もとれば、農業やるよりましですね。生花用の松や花、手当り次第取ってゆく。これも被害です。がんぴは紙幣の材料になり、高価に売れるそうで……

▽**思ったより安く思ったより高く**。安い方は北海道、経済課の職員が乳牛を27頭買いにいったら、登録成牛が1頭平均15万円でした。高いのは小郡の家畜市場——11月8日。生後5～6月のメスが、5万～5万5千。オスで4万～5万らぐいと。じりじり上りで。

乗福寺の寺宝展



山門に通ずる石段には、まだ青いもみじが深く影を落していました。10月の22・23日、大内氏のぼだい寺であった御堀乗福寺で、寺の宝物展を開いたときのことです。大内氏が山口を開いた〃開府六百年祭〃に応じて、ゆいしょある乗福寺でも行事をもったのです。23日の茶会は、趣好をこらし、遠近から押しよせた文化愛好者を喜ばせました。

天目茶碗や古文書、昔の寺あとから発掘した瓦や土器の破片。寺宝展で一般に公開したのは、このたびがはじめてでした。

大内町広報

昭和35年12月15日
第65号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

いよいよ年末

ことしも多難な1年でした。7月には、1億円近い水害を受けるし、豊作とはいっても、夏のひでりの影響は消えませんでした。しかしもう年の瀬。いやなこと、悲しいことを忘れて、新らしい年への期待と覚悟をかためるときではないでしょうか。どうぞよいお年を

全国で10位の火災県

山火事では、全国で3番目です。どうも、ありがたくないことで。

昨年度の被害総額は、3億2千万円にのぼっています。それに、ことしは昨年より200件もふえていますし。年の瀬を迎えご用心。

税金

固定資産税（第三期）納期は12月25日まで。

曲り角農業と有線放送

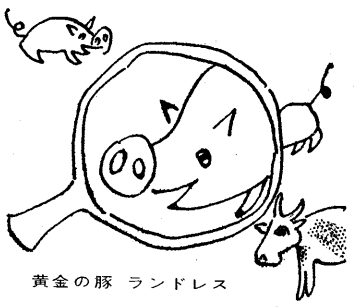
〃曲り角農業〃は、あわただしくゆれています。で、大内町内ではどうか。**一つの断面を**、えぐってみました。

米麦作だけではやっていけない——そんなことは、だれでも知っています。そんならなにをとりあげるか、そして資金は？——となると、問題は深刻です。畜産を共同経営でやってみよう——というのが、大内町の農政のいま目ざしている方向です。つまり①経営規模を大きくしやすい ②共同でやれば資金の解決がやさしい ③技術的にも専門の分担ができて、高い技術がもてる——のが長所です。

議会の経済委員一行は、12月上旬静岡、山梨県を視察しました。固苦しい話をさけて、経済委員がなにを感じてきたか……そのお話をしましょう。視察したのは、山梨県甲府の県立畜産飼育場と、函南村丹那、静岡県の榛原町の3地域でした。

ランドレスによだれ流す

山梨県の畜産飼育場でかっているアメリカ・ランドレスは、さすが評判の豚でした。肉質がよく、加工にも適し、発育も速いし、単価の高い肉のとり味が多いという結構ずくめです。気候の点で大内町にむくかどうかが疑問です。これから調べないとわかりません。この豚は、山梨水害のとき、妹姉都市であるアメリカアイオワ州の州都モイン市から甲府へ送られたもので、県外には出さぬことにしています。原産デンマークでも、すでに国外輸出禁止になっており、アメリカに渡ったアメリカ・ランドレスしか輸入する方法がないわけです。須子町長の世話で、近く大内町にも、入れる見通しがつきました。オス、メス2頭と飛行機料金とで軽く120万はかかります。


黄金の豚 ランドレス

静岡県の榛原町——（全国でも優秀な種豚の産地）ここでもランドレスをほしがっていました。いま飼っているのはヨークシャ。（小鯖へ入れた23頭は、ここのもの）ちっとも臭くなく、道を歩かせても、右といえば右に曲るそうです。よく訓練してあるのです。

よろいを着た牛がいない

山梨県函南村丹那（丹那トンネルのあるところ）は、全国的に有名な乳牛の産地。北海道へもここの種牛が渡るそうで。1戸平均7頭、年収120万円はざら。大内町にくらべたらうんと山の奥で、山の草を利用しているそうです。それだけ、地の理の悪条件をのりこえているわけで。委員一行がもらした嘆声

「よろいをきた牛がいない——」

ごりごりの糞をつけた牛なぞ、一頭もいなかったのです。

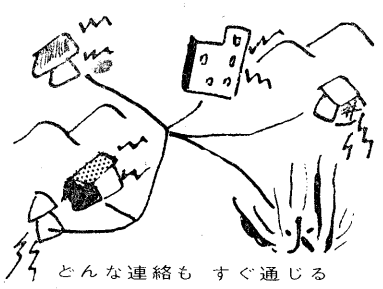
先進地は20年30年の経験のうえに、高い技術を持っているが、これを共同経営の専門的分化でなるべく速く追つきたい。そして市場競走できる優良品種を…が結論でした。

衆院選の投票率は、男83%、女79%でした。地区別には、大内82%、小鯖83%、仁保80%大内町の平均投票率は81%。

10 11の2ヵ月で現金の盗難5万円

10月3日～11月21日までの盗難が、町内で22件ありました。現金では小学校荒しの3万円を筆頭に5万4千円の被害。変ったところでは、ネギ苗2千本、仁保八幡宮の銅製品（時価3万円、被害は回復）があります。

松たけ、自転車、現金、モータ


どんな連絡も すぐ通じる

それぞれの家庭で事情もちがい、7千円の出資金も決してばかにならぬのですが、有線放送の申込みは順調に進んでおります。

小鯖では、対象戸数が624戸あり、そのうち600戸の申込みが終りました。96%の申込み率となります。すでに上小鯖地区では杭打ちして、実測を開始しました。

大内では、12月10日現在の申込み数が800戸。ただいま進行中です。理想的には1千戸を目標にしたのですが、やはり住民構成が複雑であり、とんとん調子には進みかねています。それでも、大内農協の組合員が700名で組合員外の申込みが約100名あったわけです。

18日に総会

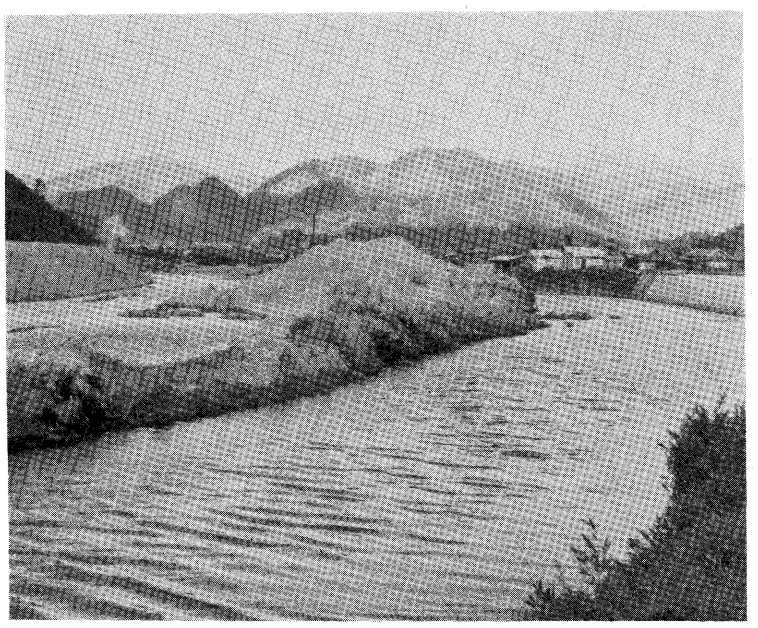
大内、小鯖、仁保の三農協では、12月18日に、それぞれ総会を開くことになっています。この総会で、組合員の意志をたしかめ、〃有線農協〃設立へ乗りだすわけです。

有線農協と、農協の二字がついていても、仕事は有線放送に関することだけですし、なかでも〃電話連絡〃が、仁保の例からいっても、大きな比重を占めるでしょう。

学校や医師との連絡や、お店へ品物を註文する場合だの、専業兼業の農家であろうと、全然農業をしないお宅であろうと、有線電話はきっと役立ちます。

なによりも町造りに

しかし、なによりも大きな役割は、放送を民主的に運営することによって、私たちみんなの考えが、日一日と脱皮できることではないでしょうか。これから農村が激しく変ろうとするとき、私たちの意欲をよせあうための〃話しあい〃に、有線は大きな効果を発きするでしょう。



国民年金

は大きく分けて，掛金のいるもの（拠出制）と，掛金なしでもらうもの（無拠出制）に分かれます。そして掛金のいるものに (1)強制的に加入するものと (2)任意に加入するものとがあります。強制加入は先月の80%からいま96%に，任意加入は30%から35%へと，加入率が少しあてふえてきました。

台帳はいつも変わる

掛金のいらない（無拠出制）場合は、一定の規準にあった人たちなので、それほど異動はありません。しかし、掛金のいる（拠出制）国民年金では、台帳がいつもくるくると変わってゆきます。Aさんが新らしく職業につき、その職場に公的な年金制度があるときには、当然Aさんは国民年金に加入する権利がなくなります。Aさんの奥さんは、強制加入から、任意加入に移るわけです。Bさんが、職場をやめた場合、Aさんの例と逆に、Bさん夫婦は強制加入の対象になります。

ですから、台帳は、人の異動ごとに、くるくる変わります。そのつど連絡していただかぬと、台帳の整理に、たいへんこまります。年があけたら、有線の設備も本格的になりますから、異動のつど役場町民課社会福祉係りへぜひご連絡を。

いつも台帳を整理して、事務上の手違いでご迷惑をかけないようにいたしますから。

近く改正の予定

はっきり決ったわけではありません。検討中なので、そのうち制度を改正できる見込みです。

▽生別の母子世帯や準母子世帯（おばあさんと孫など）にも、無拠出制（掛金のいらぬ）年金が交付できそうです。

▽長期の内科疾患——といえば、結核とか精神病とか——の人にも、やはり無拠出制の障害年金の交付を検討しています。外傷でかなりひどい人たちにだけ、現在交付していますが、長期の内科疾患も療養の期間中は、身体障害と同じ意味に解釈するからで。

↑問田川以前の3倍

改修工事は、連日進んでいます。これだけ広くなったのだから、もう大雨にも大丈夫です。手前がもとの川幅、中の島の土砂はとりのぞき、川幅は以前の3倍になります。

▽ あなたの**人権**を犯されたことはありませんか。金銭をゆすられたり、リンチを受けたり、理由なくやめさせられたりです。いろんな場合がありましょうが、疑わしいときでも、山口地方法務局人権擁護課へ。

▽ 保健婦専門学院の第二期生を20名**募集**しています。修業8カ月間。願書受付1月20～2月20日。入学は4月。くわしくは、役場総務庶務係りへ。

▽ 公立高校の**通学区域**が変りました。普通科・商業科・家庭科とも、大内地区は山口と防府のどちらにも通学できます。小鯖地区で、機械科、工業化学科は、徳山と宇部のどちらにも。

▽ **ねずみ**1匹と抽せん券1枚の交換。ことしも〃ねずみくじ〃があります。期間は12月1日～1月31日。町民課の保健衛生係りで、25～30円（そのうち10円町が補助）の駆除薬をお世話しています。

▽ 刃物を**追放**しようと、全国的な運動が高まってきました。けがをさせた方もさせられた方も、とりかえしがつきません。いかがでしょう、それぞれの家庭で注意していただいては。普通には、持っているかどうかわかりにくいものです。最近は少年の暴力事件が急激にふえているので心配です

▽ **自衛官**の第4次募集中。陸海空士とも、36年1月10日まで受付け。試験は1月17日～2月1日までの間カンタンな筆記試験と身体検査を、1日で終ります。くわしくは役場総務課庶務係りへ。

ぼくたちのこれから

青年4人に、登場してもらいました。赤裸々な発言のなかから、私たちがいっしょに考えるテーマをさがしてみようというわけで

司会　いまの悩みは？

篠原　農家の次三男問題が叫ばれてから久しいが、いまもって対策がないんです。自衛隊はあるけれども、一生の就職とはいえない。求人が殺到してというのは、来春の新卒のことです。中小企業も景気はいいというけれども、使われている者にとっては、全然無関係なことです。だから、一生生活してゆけるところへ就職したい。25過ぎたら、いい会社へもなかなか入れません。どうしたらいいか。ジレンマを持っています。

司会　曲がり角農業に対して、どんな考え方をしていますか。

椿　農業人口を6割減すことは、実際できるかどうか。初めは減っても、そして社会保障は次第に充実してゆくといわれていますが、半信半疑です。大内町も兼業農家が多いのですが、勤めだけに頼ることができるでしょうか。いまなら、職を離れても、食べることだけはできるんです。

伊藤　米麦だけで食うには、どうしても1人当たり1㌶必要です。

兼業の人をやとわなくなる

司会　終戦後の堕性が、まだ続いているから、まぎらわしいのですね。生活はどんどん向上しているから、所得もふやさねば、人並みな生活はできませんからね。もちろん、国県町の農林行政のあり方も、これから大いに検討せねば…

緒方　私のところは養子です。主人が勤めに出て、私が農業するのが、安定していていいと思います

椿　ある程度年とって辞めるというときには、農業をやる。若いとき勤め、年とったら農業という、町内にたくさんあるケースが、これからどうなるだろうか。

伊藤　企業が、だんだん兼業的な人をやとわなくなる。技術的にも高度化してゆくので、研究心の強い、能力的にも高い人を要求してくると思う。たしかにぼくたちは終戦後の堕性でものを考えてはいけないんだね。農業自体も、企業化し、間口狭く、うんと奥行きの深い経営になると思う。兼業というもっとも非能率な型体が、どのくらい続くか疑問だ。

篠原　工業生産も、いつかゆきづまるときがくるような気がする。いまは平和だけれど……兼業という変形は、一面戦後の堕性であるが、一面〃まさか〃という事態への不安があるのではないか。

緒方　私は、つつましく農業をやります。進歩的じゃないけれど、私のとれる安全な道ですから。

伊藤　だから養子は、どこもたいてい月給取りだ。現段階では、低い農業の生産性を、うまくカバーできるからですね。

篠原　6割減すというのは、結局は兼業の整理にあると思う。その場合、兼業をやるために生活が維持できるケースと、やってもやらなくても、ときには荷やっかいなというケースと、二通りできるのじゃないか。ともかく、6割は眉つばにしても、進行してゆく。

伊藤　私のところは耕地が1.4㌶ほどある。4人労働で年収40万。1人当たり10万だから、月6千円の給料取りと同じだ。これじゃなんとしてもなさけない。牧草をうえ畜産にうんと力を入れてみたい。肉牛とか豚とか。畜産がこれから一番いいと思います。

司会　個人の規模では、技術も資本も貧弱になるので、やれば共同経営ですね。

椿　えらそうなことをいったが、私もいまのところ勤めを続け、女房をもらう前に、乳牛を飼いたいです。

長いものに巻かれろ式

司会　どうです。町政に対する註文でも、みなさんの自己批判でもいいが。

篠原　青年団の運営がやりにくいですね。苦しくなると逃避的になるとか、無気力の面がある。それと、長いものに巻かれろ式の、非常に年寄り臭い面があるんです。私をもふくめて、これから脱皮したいと思います。

緒方　それと、すぐ利益と結びつけて考えようとする癖ね。

伊藤　青年団は、奉仕団体であるということが、まだよく理解されていないためだろう。団員の親ごさんも、部落の人も、そういうふうに考えていない。

椿　利益になればやるという風潮で、ゆきづまった感じだ。利益になるかならないか、面白いか。そういうふうに打診する。

伊藤　それを打開してゆくのが、一つの新生運動だと考えます。青年活動に対する施設なども、まだ不充分です。

椿　長門部がわの町村で、立派な施設のあるところもあるが、ヒモつきで、選挙に利用されている。金は出してもらわんけれど、ヒモつきの青年団でない点は、むしろいい。

司会　諸君と部落のつながりは？

緒方　道であいさつする程度。あることはあるけれど、集まりが悪いのです。だから部落の集会をもったにない。

篠原　部落の婦人会と座談会をもち、いい意見が出ました。しかし実行にうつせない。やはり戸主とも話さねば……これから幅広い話しあいを進めます。

出席者

伊藤満君(23)　仁保
緒方恵美子さん(19)　小鯖
篠原友弘君(25)　〃
椿保夫君(21)　大内

50万円農家をめざす

炭焼きから〝しいたけ〟づくりへ

「炭焼きも、だんだんきゅうくつになったなあ。早く転換せねば……」

仁保上郷の奥、揚山、岩倉あたりの炭焼き仲間のあいだで、こんなささやきがかわされていました。無理もありません。炭材にする原木代が、パルプと杭木に押されて年々高くなってくるのです。近代産業にはさまれた〃原始産業〃は、まず材料代からして、採算のあわぬものになりかけたのです。かといって、いままでやったこともないのに、かんたんに転換できません。

12名共同の組合組織

嘉村愛真さんら12名が共同出資して仁保しいたけ組合を作ったのは、炭焼きと同じく山の仕事であり、資源を山に求めねばゆき場がない悩みからでもあったのでしょう。

連帯保証で70万円ほど農協から借りました。振興資金から170万円ほど。だから合計240万円。やはり、事業をやりまとまった収益をあげようとすれば、どうしても資金が必要になります。共同経営をすすめる意味から、町も町有林の原木を適正価格で払下げました。ことし春打込んだ原木は約30万㎥（8万貫）。森の培養駒を、40万個ほど打ちました。菌糸の廻りもよく、もう来春から走り子がとれる状態です。このごろ連日、寝せ込み場から立て込み場（採取場）へ、800㎏のワイヤを張って運搬をしています。

この組合の理想は、組合員1人当り1万本のほだ木を持つことです。1万本といっても、大きさで違いますが、目方にして約8万㎏（2万貫）。組合の総量は約100万㎏です。ですから、目標まであと70万㎏を補充しなければなりません。これから伐り、種打ちする方が多いわけです。

平均1ヘクタールの耕地をもつ

組合員の年令は28～43歳。若い者だけの集まりとはいえません。しいたけの経営からあがる利益は、全部平等に割り、組合員の労力提供も、そのために平等。しかし、家族はいるにしてもそれぞれ1㌶の耕作地をもち、耕作条件もよくないとなると、組合員もたいへんいそがしいのです。組合がいま目標としている規模で、1人当り年間25～30万円の収益（3年さきから）があがります。それに1㌶の耕地からあがる収益をたして、年間収入50万円の農家にすることが、組合員の大きなねがいです。

12月5日……山坂こえてけわしい栽培場へ現地ルポしたときの印象ですが……〃共同で苦楽をわけあう楽しみ〃が、しっかりと組合員の心にわいているようでした。

心と心を結びあって山峡（かい）での作業の呼び声は、それほどに張りがあったのです。

このひとみ真剣

この春寝せ込んだ原木の状況を調べる，組合員の眼は真剣でした。原木の上にかけた〽笠木〽をとり，鎌でたたいたり，少しむいてみたり。

しかし，ありがたいことに，ことしの夏の日照りの影響もさほどこたえず，まずまず。心配な顔，ホッと安心の顔，交錯するのをパチリ

▷ **値引き**販売もよしわるしです。倉庫や店の片隅にある，古いものや変質したものが，とかく年末には出てきます。餅とり粉といってその実貝殻の粉であった場合もあるのです。毒々しい色素はとくにご注意を。

▷ 名田島向山では，**月掛貯金**を実行しています。営業費に3，納税に1，家計費に5，まさかの用意に1の割合いで，農協に預けておき，月々月給として受取るわけです。家計費は14月分みていますので，うまくやりくりすれば，2月分のボーナスも出るしかけです。これを実行するためには，家族会議を開いて，全員で収入と支出を相談しあうので，ムダ使いがなくなったということです。家族全員が，わが家の経済の向上を心がけると，家族会議の話題も当然豊富になるでしょう。財布が主婦の手ににぎられ，農家の婦人の地位も向上したそうです。

▷ **流感**の季節です。患者のたん，つば，鼻汁などよごれた紙ぎれ布ぎれなどは，焼き捨てるのが無難です。これといった予防のきめ手はありませんが，栄養に注意し，睡眠不足，過労，ふせっせいをさけ，身体の抵抗力をつけておくのが一番です。それとウガイをたびたびやることです。ご存知でしょうが……

大内町広報

昭和36年1月15日
第66号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

ことしもまた 実りある年に

あけまして、おめでとうございます。町政のうえでも、いろいろ難問題をかかえていますが、力をあわせて解決に努力いたします。住みよい豊かな、そして明るい町造りにいそしむことを、年頭にあたり、お約束します

大内町長ほか職員一同
大内町議会議員一同

どうぞご意見を

この号では、12面のほとんどを、町政の重要問題の座談会にいたしました。違ったご意見の方もあると存じます。どうぞご遠慮なく、企画広報係りへ、お便りを。

税金

1月 町民税（第四期）
2月 固定資産税（第四期）

早めにお納めください。

座談会 転換期の農業をどのようにするか

生活程度はどしどしあがっていくのに、農産物の質と量とは昔のままんま。これじゃたまらぬと、尻に火がついた感じて、農業の転換を真剣に話しあう姿が、あちこちて見られはじめました。

ことし、大内町の農業はどう転換しようとしているか。町議会議長と常任委員長4人、それに町長の6人が集まって、座談会を開きました。

司会（赤岸）新春早々の寒さのなかを、どうもご苦労さま。昭和36年の町政で、なんといっても大きな問題は、転換期の農業を、本町ではどうのりきるかだと思う。まず経済委員長の藤本さんどうぞ。

藤本 昨年いろいろ協議を重ね、重点産業として〝畜産〟をとりあげた。酪農と和牛、豚と鶏だが、それぞれに長短がある。共同経営で生産コストを極力きりさげる方向に変りはないのだが、この新らしい経営方式で、近県にかっこうの先進地がない。九州全部にあたってみたが、やはり見当らぬ。

中川 なにがいいといっても、やはり町内でも、立地条件がそれぞれ違っている。〝適地適作〟といった、環境の好条件にたっての選択でないと、豚がいいからおれも豚じや、うまくいかないね。適地適作のうえに立って、総合した生産規模というか、市場との関連がある取引規模もたいせつだ。

司会 昨年白菜など、まとまりすぎて値下がりした。（笑声）だから、市場の動向を調査して、計画性ある生産調節とでもいうのかなあ。

町長 役場の仕事では、地域的な基礎条件をそれぞれ調べて、やがて経営の科学性というか近代性が個々の共同経営のなかでも、全町的な生産出荷体制のなかでも、一貫性をもって動くようにと、考えている。いまのところ、これを手がけているような状態で……

中野 全部賛成だ。やれ指導するとか、転換期の深刻さを強調するとかいっても、われわれ農民から見れば、やはり観念的な空虚なものを感じるんだね。だから、前へ押し進めるためには、これをやったら確実にもうかるというものでなければ……ことしの白菜でもそうだ。作れ作れといって、いざとなると、あと始末ができない。

藤本 いまからは、貯蔵と加工のきく生産物でないと、いけないということだね。

町長 水をさすようだが、貯蔵と加工がきけば、値段の安定性はいくらかましだが、さあ不足したというとき、貯蔵がきかないからこそ、うまい汁がすえる。（笑声）

田中 目先きの市場調査でなく、長期間のデータをとって、やはり計画性だね、その甲論乙ばくには私は加入しない。（笑声）

中野 半歳野菜は、まだいくぶん調節がきく。そこへいくと乳牛なんどは、大きな資本をかけて、すぐやめるわけにいかぬ。だから、乳価が5円を割り、卵価が6円を割ったら、割ったぶんほど保証するんだったら、だれでもやる。自信をもってやれるね。

田中 その保証は、理想論で、だれだって保証するわけにいかぬ。

藤本 少し近視眼的だよ。そうすれば、産業が飛躍的に発展することはなずけるが……

中川 損をしたとき、町有林をいくら売っても追つかぬ。（笑声）

町長 徳川の農民政策以来、ずっとわれわれを去勢し続けてきたなかで、より温室的な環境を作りあげてゆくことになりはしないか。いま必要なのは、立ちあがると決意する自主性だ。やはり乳価安定法のように、政治的な団結と感覚のなかで、戦いとるべきだろう。

藤本 卵価が下がったときに、はじめればいいわけだ。高いときに飛びついて……

町長 さがったときにやめる。（笑声）これじゃもうからんね。

司会 これから農業は、共同化企業化の方向をとりながら、ますます近代化してゆく。だから、全国の生産指数や市場の動向を見て、経営規模のなかに、具体的に導入してゆく方法を検討する、いわば農事センターだな。専門的にとり組む機構が必要じゃないか。（みんなうなずく）

町長 まだそこまではっきりした体制ではないが、経済課のなかでそれにつながる動きをしている。

藤本 経営にまでおよぶ農事センターもぜひ必要なものだが、いま一つは資金の導入だ。町と農協で500万ぐらい出資して、町独自の融資保証制度をはじめたらと、提案している。

司会 各農協の預貯金が、約2億円ある。この金が、直接農業生産力の質的量的発展のために使われていないのは不合理だ。都市に貸出され、われわれの資金がまならぬ状態だ。

藤本 預けた金は6分2厘、借るときは1割2分。高すぎる。

中川 資金を必要としない層は金をあずけ、必要とする層は、なかなか借してもらえぬ。経済企画庁の発表じゃないが、農村でも貧富の谷間は、だんだんひろがっている。

中野 それはね、借る方の側にも罪がないとはいえない。生産資金といいながら、税金のたしになったり、家の修理になったり、生産と無関係だ。（笑声）というのも経営に自信がないからだ。

司会 そこで必要なのは農事センター（笑声）と話は堂々めぐりするが、農協の面で町長どうぞ

農協の合併もぜひ実現したい

中野 特殊と総合、どちらを育てるかと、もう論議しているひまはない。問題は転換期のさなかだということだよ。農協の脱皮がなければ、農事センターだけでは、どうにもならぬ。

藤本 3農協が合併すれば、経済委員会で提案している基金制度（町独自の融資保証制度）も実現しやすくなる。

司会 どうもかけ足で申しわけないが、有線放送や新生運動の問題もひかえておる。いろいろ町民の方の賛否両論を聞き、他日また会合をもちたい。

（座談会の続き、二面へ）

経営につながる農事センターが必要

中川 かなり普及を見た赤豚も、あまり将来性がないということは一般に認識されているようだ。ランドレスを入れたい希望が高まっている。

藤本 その場合、血統を乱さぬようにせねば。大内町を、全国的なランドレス供給地にしようと考えているのだから。あいのこを作ったら……

中川 ランドセルだ。（笑声）

中野 この豚なら間違いない。

藤本 子豚1頭20万円でも、羽が生えて飛ぶだろう。全国でほしがっているんだから。

司会 田中さん、養鶏をよくご研究だが、これの見透しは？

田中 養鶏はだね、これはちょっと違うんだ。（笑声）3年ごとに周期がくる。どんどん飼育がふえているようだが、卵価が下がるとやめるのがいる。だいたい3年で投下資本を消却するから、あとはもうけだ。乳牛と違う点は輸送がきく点だ。

藤本 卵価が下がったときに、はじめればいいわけだ。高いときに飛びついて……

町長 さがったときにやめる。（笑声）これじゃもうからんね。

司会 これから農業は、共同化企業化の方向をとりながら、ますます近代化してゆく。だから、全国の生産指数や市場の動向を見て、経営規模のなかに、具体的に導入してゆく方法を検討する、いわば農事センターだな。専門的にとり組む機構が必要じゃないか。（みんなうなずく）

町長 まだそこまではっきりした体制ではないが、経済課のなかでそれにつながる動きをしている。

藤本 経営にまでおよぶ農事センターもぜひ必要なものだが、いま一つは資金の導入だ。町と農協で500万ぐらい出資して、町独自の融資保証制度をはじめたらと、提案している。

司会 各農協の預貯金が、約2億円ある。この金が、直接農業生産力の質的量的発展のために使われていないのは不合理だ。都市に貸出され、われわれの資金がまならぬ状態だ。

藤本 預けた金は6分2厘、借るときは1割2分。高すぎる。

中川 資金を必要としない層は金をあずけ、必要とする層は、なかなか借してもらえぬ。経済企画庁の発表じゃないが、農村でも貧富の谷間は、だんだんひろがっている。

中野 それはね、借る方の側にも罪がないとはいえない。生産資金といいながら、税金のたしになったり、家の修理になったり、生産と無関係だ。（笑声）というのも経営に自信がないからだ。

司会 そこで必要なのは農事センター（笑声）と話は堂々めぐりするが、農協の面で町長どうぞ

農協の合併もぜひ実現したい

中野 特殊と総合、どちらを育てるかと、もう論議しているひまはない。問題は転換期のさなかだということだよ。農協の脱皮がなければ、農事センターだけでは、どうにもならぬ。

藤本 3農協が合併すれば、経済委員会で提案している基金制度（町独自の融資保証制度）も実現しやすくなる。

司会 どうもかけ足で申しわけないが、有線放送や新生運動の問題もひかえておる。いろいろ町民の方の賛否両論を聞き、他日また会合をもちたい。

（座談会の続き、二面へ）

総合農協は強いが、非常に消極的で、農民のためという感じが薄いんだね。よく話しあって、組織化された大きなものに、まとめあげてゆくときがきているよ。

田中 養鶏農協は、飼料から卵の販売まで一貫してよく面倒をみているよ。組織としては、うまく運営している。このあいだも、組合員で資金がないからと、国民金融公庫で200万ほど借りた。

中川 総合農協に吸収して、その養鶏部という形にすればよい。

出席者

▽赤岸信一さん……司会（大内町議会の議長）
▽中川廿七さん（議会の土木委員会委員長）
▽藤本金土さん（経済委員会の委員長）
▽田中俊輔さん（総務委員会の委員長）
▽中野 正さん（文厚委員会の委員長）
▽須子町長

▽ 1月10日の出初式の日、**消防団員**の永年勤続で表彰を受けた人はつぎのとおりです。10年勤続者＝**大内**―溝部五郎、溝部勝人、藤井忠男、原田勲、久保田昌治、中野重雄、藤本正十、中野実、安永博、岡田棟七、岡田勝、小林文雄、**仁保**―田中博、久保希、山県薫、伊藤幸尚、長沼徳治、**小鯖**―古屋静男、美好清人、白坂政男、古谷健

15年勤続者＝大内―竹重和典、松原正則、仁保―山根清、山本勝、石本次男、伊藤正朔、岡邦男、（以上敬称略）

▽ **職業訓練生**を募集中。原則として中学卒であれば、年令をとわず入所資格があります。募集期間は1月末まで。試験は2月8日職業安定所で。機械科（柳井）ブロック建築科とラジオテレビ科（徳山）洋裁科（岩国）理容美容科（防府）木造建築科（宇部）自動車整備科（小野田）木造船科と無線通信科（豊北）

受験料、授業料は不要。くわしくは、公共職業安定所へ。かんたんなことなら、役場総務庶務係りへ。

▽ **交通違反**の罰則が、強まりました。12月20日から新らしい交通法に代ったからです。酔っぱらい運転をすると、6月以下の体刑5万円以下の罰金になります。酔っぱらい運転のうえに、スピード違反や無免許をやると、2倍に罰を強めることができます。酔っぱらいの程度は、熱かんの酒一合ビールなら1本半を5分以内にのみ、30分してからの酔いです。

▽ **家事相談室**が、全国のどこの家庭裁判所にもあります。家庭の問題で――未成年の養子をもらうのだが、夫が酒乱で離婚したいが――といった相談を受けています。昭和34年中に、全国で23万件もありました。

▽ **新聞配達**の少年たちは、毎朝5時にとび起きます。この少年たちのにが手は、(郵便外務員の人たちもそうですが)番犬がつないでないことです。ときにかみつかれますからね。それから――つぎにこまること――風の日雨の日に、新聞を入れるすき間がないとき、なにかのうえに置くと、飛んだりぬれたりでおこごとをいただくことなのです。新聞受けがあれば、問題は起りませんが……

▽ **お年玉はがき**の抽せんは1月15日です。お年玉の受取り期間は、1月20日～7月19日までです。

▽ とくにこれから寒さがきびしくなります。**家畜**の冷えこみを防ぐには、踏み込みをしたり湿ったわらを、のけるか、日に干して再使用するようになさったら。人間と同じで、家畜も運動した日としない日で、飼料の量を調節する必要があります。日光浴もぜひ。

▽ 冬の**室内**の適温は、摂氏18～20度。湿度は60～70度が適当です。温度が高くても湿度が低いと、うすら寒く感じて、カゼを引きやすいです。できれば室内に湿度計もあると便利です。

さて人とんのつながりの面では

(座談会続き)

お説教を聞くために有線放送の出資はしていないこと

司会　有線放送には、町費から700万補助することになっているし、この運営もことしの大きな課題だね。

町長　この施設で、行政上の連絡はツーといえばカーになるが、伝達しっぱなしはこまるね。やはり反響を見、結果を検討して、反省しつつまた訴えることをね。

中川　そうした交流がたえまなく行われていれば、行政がいつも生きて流動する感じで住民に受け入れられるね。

藤本　押し売り的なのは、一番不愉快だな。一段高いところでお説教をするようなの。

町長　その意味で、有線放送を、私は話しあいの機関だと思っている。

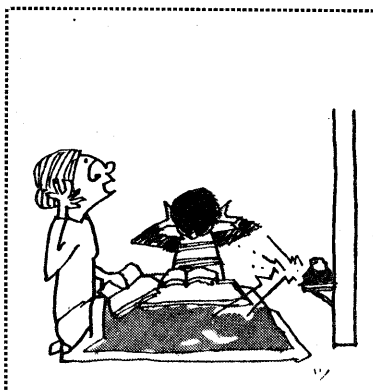
田中　この有線放送は、大内町でいままでにない大きな事業だよ。それだけに運用がたいせつだ。便利な電話がつくぐらいにしか考えていない人が案外多いように思うんだが…PRの不足じゃないかな(笑声)

中野　個人の便利のためだけなら、あれだけの金をかける必要はないしね。

司会　今晩はどこそこで集会があるというときにも、それがどういう状況にあるかとか、どんな結論が出たかとかね、新聞がもつほどのそういう機動性を発きできれば、ある意味でちょっとした革命だよ。

藤本　いつもそういうきびきびした動きをしていれば、町造りの一体性に、はじめて力を与えるね。

田中　施設は単なる施設だから、運営だ。施設ができたらすぐにもそうなるという錯覚はこわいね。



中川　へたをするとね、狂人に刃物(笑声)をもたしたようなことで……

町長　みなさんのお知恵や批判をいただきながら、立派に育てたい。

新生運動はチンプンカンプンであること

司会　つぎに新生運動の面では？　明るく楽しい町造りをわれわれの立ちあがる自主性で解決しようという運動につき……

藤本　機構が悪いね。学識経験者とかたくさん集めているが、船頭が多すぎる。

町長　これは名のように審議会であって、運動そのものの推進機関じゃないんだから。

田中　それにしてもだな、広すぎてまとまらぬのじゃないか。やはり専門的に分化すべきと思うがね。わかったようなわからぬようなというのがこの新生運動だ。人に聞くとみんなそういうよ。

中野　ちんぷんかんぷんか。(笑声)

中川　むつかしいところだがね、あまり推進本部みたいなのが、みんなあとに続け式にやると、ファショ的になるしね。第一そんなもんじゃもりあがりがない。

町長　生産機構や生活の習慣にまで合理性をしみとおらせようとすれば、そうとう自発的な頑張るエネルギーがなければならない。その点で、忍耐強く、地道でも、つけ焼刃でないエネルギーが生れるのを待っているわけだ。

中野　なにしろ巾が広い。町造りといえばあれもこれも入るが、欲ばりすぎているよ。農業もだんだん専門化していくのに。この運動も、専門委員で、もっと追込んでやらなきゃ。

藤本　みなが集って大きなテーマを、それもいつも研究しているものでもなく、資料が豊富にあるわけでもないのに常議論を戦かわしている。これじゃ結論が出ないのがあたりまえだ。

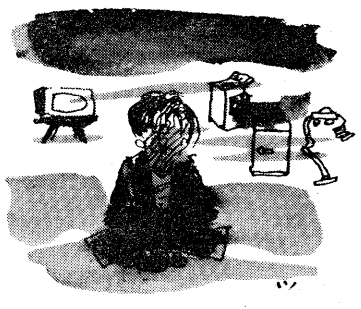
町長　で、ことしから、運動の重点をうんとしぼって、ときどきの経過や実績を、いっしょに考えながら検討し進めていく――つまり方向をしぼることにしている。(賛成)

公民館活動は、靴のうえからかくようなはがゆさがあること

司会　やりにくい面もあるだろうが、どうも活動が生活と結びついていないようだ。

藤本　それはね、運営のきまりにしばられているからだ。法的なものをふくめてね。

中川　公民館というと、結婚と台所の改善、青年婦人の学級。



の悲喜劇だ。大内町のあり方と公民館活動が、どうも結びついていない感じだが……。

田中　活動にたずさわる人が町の執行部とつながりがないからだ。三隅町は密接だよ。あらゆる会合とチャンスを利用して、町政や生活の問題点を徹底して呼びかけている。体制のなかに、意気込みがこもっている。

藤本　教育長が公民館長を兼務しているのが問題だ。教育行政だけのつながりでないように、機構的にも解決してやりたい。

田中　公民館という名前をやめた方がいいんだよ。

町長　いろいろお説があったが、もっと地についたものにしようと、昨年末から、課長や公民館主事を集めて、協議している。

中野　昨年4月から、部落組織を改め、できれば部落長と公民分館長を、同一人で兼ねたがよいという方針も、以上のような理由によるものと思うんだ。ところが、この組織が、なんのことはないペーパープランで、実際に動いていない。部落造りすなわち公民館活動の解釈からすれば部落集会所でもいい。

町長　お説のとおりだと思う。公民館活動は一面封建性との戦いであるし、民主的な意識で、合理性にみちた町造りを進めていく点では、考え方は新生運動とまったく同じだ。公民館という館の活動でなくて、部落造りが町造りに通ずる、その活動の総称だと解している。

司会　どうも、長時間ご苦労さま。

漫画は、中村女子高校教官の富永恒光さん

投書

道路用地にとられた所有地に、年々固定資産税をかけている。か空の土地の税負担をやっているわけで不合理と思う。町は事務改善をやって能率をあげ、長く未処理のままである登記事務をやると聞いているが、いまもってやっていない。どうするか。(愛町生)

お答え

固定資産税は、土地台帳によって課税しています。ところが、登記がすまないと、この台帳は変えようがないわけです。登記といっても、町道であれば役場、土地改良事業なら土地改良区が、それぞれ責任をもって処理することになっています。これ以外の、たとえば部落の小さい農道とかは、個人で登記を、やっていただくことになります。しかし、役場や土地改良区の責任で処理する登記も、まだすんでいないところが、かなりあります。事務改善後に、急ぐ登記から処理してゆく計画でしたが、登記事務はなかなかめんどうなもので、どういう方法で(たとえば外部に委託するとか)やろうかと検討中です。

道路用地に年々税金をかけている

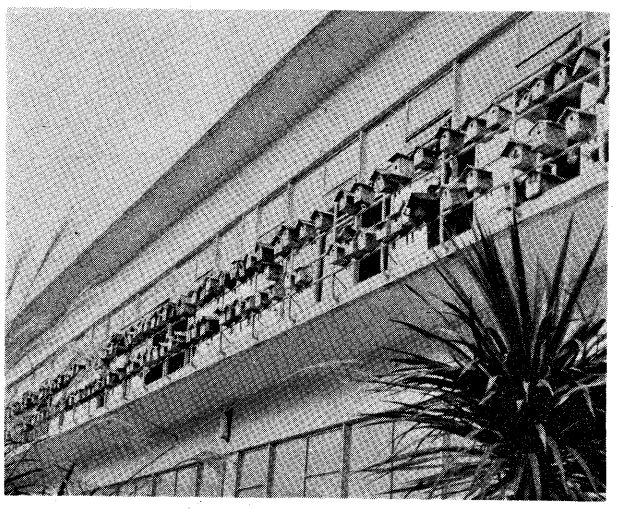
しかし、登記事務が未処理のために、道路敷の課税をうけている場合も多いのですから、つぎのような方法をとることにしました。

①ことしから5年間(つまり昭和40年度まで)②固定資産税減免の申請書を③部落長や産業部長の証明書をつけ④××道路、土地の地番、つぶれたおおよその面積を記入して、

町長あてに提出していただけば、審査会で調査します。間違いなければ、課税額から差引きいたします。

少しでも町政を、みなさまのご満足いくものにするため、投書は大歓迎です。**住所、氏名**をはっきりかき、役場企画広報係りへ。お待ちします。

8年続いた愛鳥運動は6億匹，12億円の薬剤費を節約



6月5日午後、ふ化後16日目に、両親とにぎやかに鳴きあいながら巣立っていった。ぼくは小鳥のゆくえをながめながら、冬、寒くなったら、このアパートにもう一度帰っておいで、といって送った。ぼくの一生で、一番うれしかった年である――大内中3年生の重宗和憲君は、昨年の感想文にこのように記しています。27年9月小鯖中学ではじまった愛鳥運動は、合併後大内中学となってからも受けつがれ、もう8年の歴史を歩みました。生徒たちは、愛鳥運動が、害虫駆除で郷土の農林業に役立っていることに誇りをもち、あわせて日々自分たちの情操を磨いています。もう立派な伝統となったのです。

×　×　×

8年間の実績を、厚生省や農林省の発表を基礎として計算すると、12億3千万円にもなります。もちろん、鳥がふ化せず、全部薬剤で駆除した場合の計算です。しかし大きな金額です。ふ化したひなが5年間生きていたとして計算し、そのひなの繁殖は入れてないのですから、内輪に見積っての数字です。

×　×

愛鳥運動は、卒業生から在校生へと、年々うけつがれて、観察や記録、そして道徳教育の面でも、大きな教育効果をあげましたが、生徒たちの願いは、もっと町内の大人たちがこの運動に理解をもってほしいことです。それに、防府や山口からやってくる小鳥取りのおじさんたちにもこまります。せっかくふ化して、巣立ちを指折りかぞえて待っているのを、むざんにも持ち逃げするんですから。農林大臣表彰に輝やく大内中の愛鳥運動も、町ぐるみの運動となるには、まだまだ時間が必要なようです。

大内町広報

昭和36年2月15日
第67号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

300円あてすでに2回

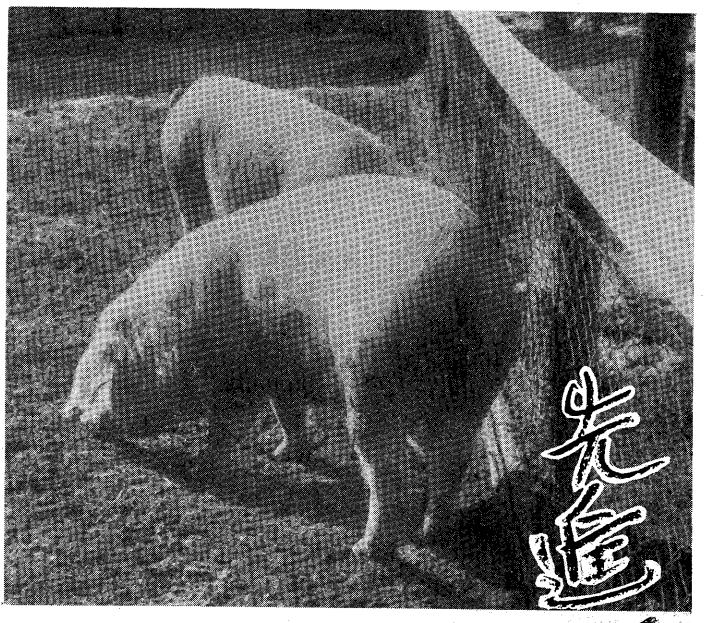
貧者の一灯とつつましく書いて、社会福祉に金を送ってくる方があります。上矢田の**竹重節**さんの供養にと、遺族の方から1万円ご寄付をいただきました。ともに、紙上をかりてお礼を申しあげます。

税金

固定資産税　2月末まで

申告所得税の確定申告は、3月15日までとなっています。申告のしかたがよくわからない方のご便宜をはかって、山口税務署から係りがつぎの日程で出張します。

役場（大内・小鯖を対象）3月6日7日前9～後5時。仁保支所―3月8日前9～後5時まで。



2月上旬，農業委員会が行なった四つの先進地視察から，私たちの参考になる点を拾いました。

（山梨県の県立種畜場にいるヨーランドレスのメス）→

先進地に学べ

四つの視察地は、大野原町（香川県三豊郡）藍住町（徳島県板野郡）北阿満町（兵庫県三原郡―淡路島）三橋町（福岡県山門郡）でした。それぞれの町には、町造りの歴史と伝統がありましたが、私たちの大内町に参考になる――という立場から、しぼって報告いたしましょう。

香川の**大野原町**では、農協の食肉処理施設が視察の対象でした。大内町をこれから畜産の町に育ててゆくための参考に選びました。ところが、食肉の販売権はありましたが、とさつ権を取っていませんでした。業者の圧力で、まだ取れないということでした。販売権だけでは、肉屋の出店みたいなもので、うまみはありません。〈とさつ権だけは、ぜひ取りなさいよ〉と、熱心にすすめてくれました。大野原町で参考になったのは〈低温倉庫〉でした。低温なので米の品質が変らず、販売に有利です。建設に1千万円かかったと。野菜（たまねぎやじゃがいも）の貯蔵にも、もちろん有効です。米だけを貯蔵すれば、1万4千俵入るそうで。

徳島県の**藍住町**では、農事センターを視察しました。会議室や資料室、畜産用の薬品や治療器具の部屋、畜衡器（目方をはかる）、生活改善の展示や実習室など、総合研究センターとしての設備は立派なものでした。運営は町が主体になってやっていましたが、〈ややもすると農協が離れる傾向にある〉と、気になることばを聞きました。

すぐれた施設だけでは

かりに大内町で、行政団体である町と、経済団体である農協との間が、車の両輪のように、協力しあう状態でなかったら…立派な農事センターも、単なる見学施設だけに終るのではないでしょうか。藍住町がうまくいっていないというのでなく、〈農協が離れる傾向にある〉ことから、〈農協と町政〉の問題で、一つの教訓をもらったわけです。この二つの団体の調整がうまくいかぬと、大内町農業の近代化もまた、うまくいかぬでしょうから。

こわい因習の壁

兵庫県淡路島は、花とみかんと乳の島でした。**北阿満町**の農協の農業会館と酪農が、視察の目的でした。ここで感じたことは、〈因習の壁〉のこわさでした。酪農に古い伝統と歴史をもち、それだけに〈てんぐ〉が多く、経営の近代化をさまたげていました。大内町と同じようで、一つの教訓をもらったわけです。この二つの団体の調整がうまくいかぬと、大内町農業の近代化もまた、うまくいかぬでしょうから。

こわい因習の壁

兵庫県淡路島は、花とみかんと乳の島でした。**北阿満町**の農協の農業会館と酪農が、視察の目的でした。ここで感じたことは、〈因習の壁〉のこわさでした。酪農に古い伝統と歴史をもち、それだけに〈てんぐ〉が多く、経営の近代化をさまたげていました。大内町と同じように、繁殖障害が多いのです。だから、牛乳販売だけではあまりもうけにならず、半数は〈種をつけて売る〉方法でカバーしていました。自給飼料の畑も少なく、昔ながらのやり方を、十年一日続けてといったかっこうで。農協が耕うん機を12台もち、約50％の田畑は、農協の職員が請負いでやっていました。もみすり機もカッターも、農協が共同作業用にもっていました。

農業会館は、まったくのなんでも屋で、〈結婚から葬儀屋まで〉あります。共同利用の施設が、ちゃんとそろった全面的なサービス会館で、よく利用されていましたが、〈島〉という特殊な環境にもよるようです。農協が、職員7名を使い、自動給餌器も備えて、一万羽養鶏で成績をあげていました。因習の壁と取組む農協の努力は――たしかにたいへんでした。

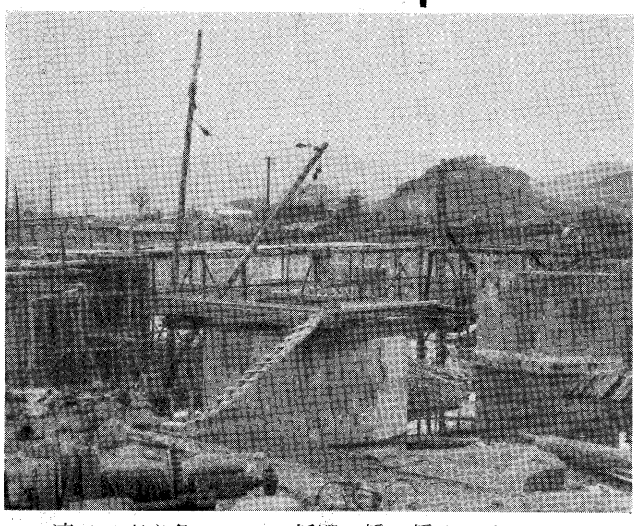
しかし、はげしい意気込みで努力しているのですから、淡路島全体の農業がどしどし近代化してゆくのにならって北阿満もまた、きっと体質改善に成功するでしょう。

福岡県の**三橋町**では、畜産センターの視察が目的でした米麦生産を主体にしたところで、従来はワラ工品が盛んでした。その結果土質が低下し穀倉地帯といわれながら、生産も急激に落ちたのです。畜産センターを作った動機はここにあったのです。昨年はじめたばかりで、豚が60頭ぐらいのものでした、酪農はいいけれど、金がかかるし、豚ならとりつきやすいから、ということでした。

町政と農協が、まるで車の両輪

三橋町では、農協と町政の運営が、ぴったりと一つになってまるで車の両輪といった感じを受けました。町が計画し、農協が実行に移すという分担です。畜産センターを、516万の事業費で建設していました。国から200万の補助をもらい、316万を農協が出資し、もちろん農協が運営していました。町はこの農協の出資分に対し、3年間に130万円の補助を出すそうで。

さて、農協の豚貸付けですが子豚を農家に貸し、肉豚として販売したときに、償還するしくみです。これなら農家の資本もいらず、とっつきやすいわけです。家畜共済制度も自主的に作っていて、1頭当り300円納めればよいのです鶏も、中びなの育すうを、こと6千羽やりました。明年は1万羽の計画です。育すうはよく失敗するので、農協が安全なところまで育て、農家にわけるのです。受け入れやすい形にして普及をはかるという〈かゆいところに手のとどく町政――そして農協の運営〉でした。畜産センターはやがて農事総合センターにし生活の合理性を高め、就職の世話までも……三橋町長のあすの夢でした。



連日工事を急いでいる新鰐石橋の橋脚工事。いまの橋より100メートルほど下流に。幅も以前の倍に。

≪町の行政で≫　最近のおもな動き

2月も中旬を迎え、町では**36年度予算**の仕上げを急いでいます。2月いっぱいで、原案ができますが、議会の承認が必要ですから、やはり本決りは3月中旬になります。

36年度予算の特徴は、三つあります。一つは学校施設の改善です。なにしろ必要な改築を、一度にやると1億円もの金を必要とするのですから、貧弱な財政では毎年少しあてやる以外に手がありません。36年度には大内小学校の講堂改築が、一番大きい金額をしめています。近代的な工法をとり入れて、すばらしい建物ができるでしょう。

つぎに、曲がり角農業の体質改善をはかるため、重点産業の助成を、とりあげようとしています。そのほか、4月には完成する予定の、全町有線放送施設へ、補助金を出すのも新予算の特徴です。いまのところ、総額1億2千万円に達する見込みです。

×

山口―防府間県道が、2年ぐらいの間に、すっかり生れ変ろうとしています。鯖山トンネルの手前をごらんになった方は、〈なるほど〉とうなづかれるでしょう。幅員も広く、なるべく曲り角のないように、新路線は工夫されます。小鯖の柊までは直線コースなので、現状の幅員拡張でいく予定です。大内地区内は、どこを通るか、まだ決定してはいません。2年先きに国体をひかえ、県道工事は急ピッチに進むでしょう。鰐石橋のかけかえも、連日はかどっています。

県内の重要路線山口―防府間県道を、やがてゆくゆくは国道に編入する運動を起すのも、近い将来の私たちの課題でしょう。

小学校への新入学や、高校の受験――3月から4月にかけては、どこのご家庭でもいそがしいでしょう。そこで、必要なことがらを

×

はえば立ての親心。ああもこうもしたいです。入学前には教えることがたくさんあるとどこのご家庭でも考えがちです。隣りの×子ちゃんは200まで数えられるとか、ひらがな全部読めると聞くと、やはり心配です。

新入学には生活の習慣　受験は気分転換と栄養

×

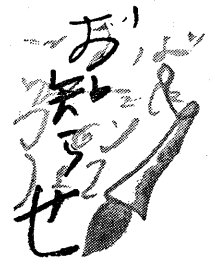
ところが、暗記でおぼえたものは、子どもの実力じゃないわけで。十までの数が、自由にたし引きでき、自分の名前がかければ結構です。それよりも、生活の習慣がしゃんとついていることの方が必要です。早寝早起き、朝の洗面。着がえも自分でやるでしょうか。朝の用便の習慣も。自分のことを自分でちゃんとやる習慣――その自主性さえできていれば、もう安心です。

×

受験生は、気分がいらいらし、緊張していますので、微妙な心理状態です。―ぜひ××高校に合格して―などと親が負担をかけると子どもによって受けとり方が違います。さわがずに微笑をもって答える子ども、いやいやそうしようかという子ども、能力がともなわないで、劣等感をもち、はては抵抗にまで変ってゆく子どもなど……。

×

とかく勉強時間が長くなるので、気分転換を。それに神経活動も過度になるので、グルタミン酸を（新鮮な動物性食品に多い）。そして子どもの心理の流れにさおさしながら、寛大な気持で見守ってやることが必要ではないでしょうか。



▽**はかり**の定期検査があります。長さも重さも体積も全部ひっくるめて、商業用はかりはこの検査を受けぬと、処罰されます。手数料をいただき、尺貫法の目盛りを消す作業も、いたします。3月27日後1～4時―小鯖支所　28日前9～後4時―大内　29日前9～後4時―仁保

▽**映写技術者**の試験が、3月中旬行われます。願書の期限は2月28日。くわしくは役場総務課消防係りへ。危険物取扱主任者の試験もご連絡する都合がありますから、同係りへご一報を。

▽36年度の**畜産、酪農**練習生を、県立種畜場が募集しています。願書の提出は3月10日まで。期間は1年。月1千200円あて支給。くわしくは経済課振興係りへ。

▽**盗難自転車**の大半は、無登録です。どうぞ、近くの登録指定店へ。登録してあれば、もし盗難にあっても速やくわかります。

▽**勤労者大会**を開こうじゃないか――と、有志の間で話が出ています。郷土の行政を、勤労者の立場で、より住みよくしてゆくことを相談する会合です。大会をどう持つかを検討する代表者会議は、2月25日後1時から、役場横の研修館で。各職場を代表して、どうぞ

▽**産業開発**青年隊員を、建設省が募集しています。応募は2月25日まで。ブラジル住移の技能者を養成するのです。照会は総務庶務。

▽**傷病恩給**の請求は、3月末まで。もしやと思う方で照会は町民課福祉係りへ。

ここにも部落造りの芽が

部落造りを進めるやり方は、それぞれの部落の実情で違いましょうが、深野区では、1月28日、生産組合が発足しました。

生産組合――名前のように、深野区の農業生産を、時代の動きにマッチしたものに改善してゆくことを目的にしています。部落という生活共同体を、むかしから維持してきた伝統やしきたり――それを深野区の部落自治行政として考えると、一方に部落公民館があります。文化や生活の改善と向上を担当しています。

しかしこれだけでは、今日の曲り角農業を、時代にそった経営に変えてゆくには、やはり無力だということになったのです。だから生産組合は、作業や経営の共同化はもちろんですが、こと農民経済に関係することなら、すべての実験やあと押しをしてゆこうというのです。

人口は全部で380人、このうち農業生産人口は280人にも達するという、農業的色彩の強い部落です。生産組合の財政は、約70㌫にもおよぶ部分林の分収金が引き受けてくれます。町有林を部落でよく管理し、でてくる収益を、共同の前進のために使いたい――こうした願いから〈生産組合〉は生れました。単純に分けるなら、文化と生活は公民館へ、部落の自治行政は深野区へ、経営の近代化は生産組合でというわけです。

ところで、三つの団体があってはたしてうまく調整できるかという疑問がわきます。その心配はいりません。三つの団体の長は一人が兼務していますし、役員や世話人14人が、合議して結論を出すからです。約280万円かけて、延々3㌔メートルにおよぶ渡植カ河内（通称泉山）林道は、もうすぐ改修と新設を終ります。部分林がみな林道がかりになってきて、手入れに、いっそう力も入ろうというもの。

生産組合発会式の日、ほとんどの家庭から夫婦がそろって参加し部落造りの機運は大きく高まっていました。ここにも新らしい部落造りの芽は育っています。

なし畑の岩をとる須子祐士さん夫婦。×印は渡植カ河内林道で、遠く一貫野近くまで通じる。

仁保八幡の車おどり

萩の弘法寺河原や岩国の錦川河原に、歌舞伎が掛りはじめたころは、毛利英雲公（重衡）の時代でした。英雲公の強国政策が、防長二州に少しあて実績を見せはじめ、農民生活にいくぶんのゆとりを作ったのです。それを私たちの大内町で考えてみましょう。

江戸中期の仁保川のはんらんと山くずれ、その後に新田の開発が行われたのが、英雲公の時代でした。仁保では、木炭と銅、ろうが産物であったのです。防長二州の三白政策（米、塩、ろう）が、仁保の環境のなかで、ようやく花を開きはじめたのです。仁保じょうるりが栄えた背後には、毎年輪番としての責任をもたせました。これが同時に仁保じょうるりを長く盛んにさせた大きな原因であるようです。車おどりのしんは、祭礼おどりという〈三浦別れの段〉です。

車おどりができ、伝った理由は、恐らくつぎの理由からではないでしょうか。第一に仁保八幡が、三浦氏の創建によること、つぎに当時も仁保にはいなかった旧領主三浦氏をしのぶ意味もあったのでしょうか。仁保に、三浦氏縁故のものが多く住んでいたことも、長く伝える理由の一つであったでしょう。

この車おどりが、いつごろからあったか。起源を明らかにできませんが、行われていたことを証明する文書はあるのです。文化九年の記入があります。

明治、大正、昭和と、伝統の車おどりは引きつがれましたが、やがてすたれました。経費が高く、輪番に当る班が映画にきりかえたのです。時勢の移り変りの悲しさでもあります。しかし、この車おどりを、なんとか再興したいと心ある人たちのあいだで話は進んでいます。（資料の提供は、長野の江藤茂さん）

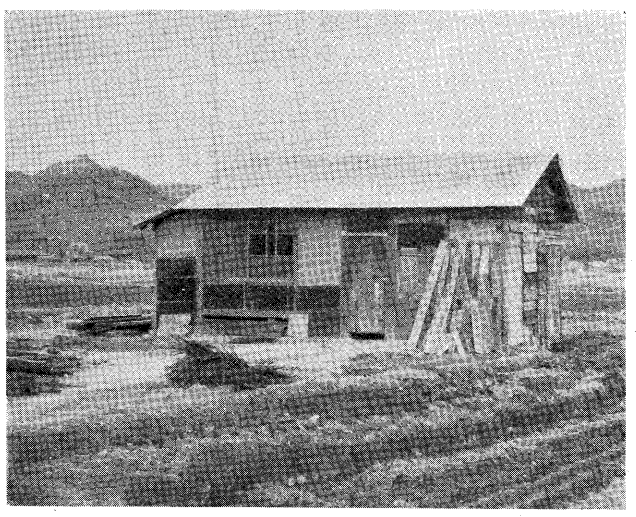
こうした経済的な基盤があったと、相像できるのではないでしょうか。歌舞伎でも同じことがいえましょう。経済的繁栄の裏付けで、日常生活への浸透度がそれだけ深ければ今日に伝わる仁保じょうるりの伝統も、いくぶんなずけるのではないでしょうか。

さて、話をもとにもどしまして、岩国の錦川河原や、萩の弘法寺河原の歌舞伎が、仁保に伝って仁保八幡の車おどりになったと想像できるわけです。この歌舞伎を伝えるために、氏子を九つの班にわけて、毎年輪番としての責任をもたせました。これが同時に仁保じょうるりを長く盛んにさせた大きな原因であるようです。車おどりのしんは、祭礼おどりという〈三浦別れの段〉です。

車おどりができ、伝った理由は、恐らくつぎの理由からではないでしょうか。第一に仁保八幡が、三浦氏の創建によること、つぎに当時も仁保にはいなかった旧領主三浦氏をしのぶ意味もあったのでしょうか。仁保に、三浦氏縁故のものが多く住んでいたことも、長く伝える理由の一つであったでしょう。

この車おどりが、いつごろからあったか。起源を明らかにできませんが、行われていたことを証明する文書はあるのです。文化九年の記入があります。

明治、大正、昭和と、伝統の車おどりは引きつがれましたが、やがてすたれました。経費が高く、輪番に当る班が映画にきりかえたのです。時勢の移り変りの悲しさでもあります。しかし、この車おどりを、なんとか再興したいと心ある人たちのあいだで話は進んでいます。（資料の提供は、長野の江藤茂さん）



母子世帯のAさんは、母と子の二人きり。新制中学を卒業した娘さんは、やっと働き場が見つかりましたが、住居はとても人の住めたものじゃない。民生委員のNさんが、〈なんとかして〉と走り廻り、県も、部落も、〈それじゃ〉と隣人愛を寄せあいました。写真のとおり、それはもう貧素な家ですけれども、材料代や大工さんへの費用など、母子福祉資金の借り入れ約2万円ですんだのです。

部落の人たちの、奉仕的な作業が続いて、住める最少限度のものを、作りました。Aさん親子は、この住居をもとに、毎日元気で働らいています。もう生活扶助も辞退しました。隣人愛の結合は、こうして大きな実りを見せてくれました。Aさん親子が、不幸だった過去を振りきれる日も、もう遠くはありません。

……ついに実を結んだ隣人愛

……上千坊―母子世帯へ家を贈る

ほかの年金の通算と死亡一時金

＝国民年金の一部を改正＝

国民年金に、通算制度ができました。国民年金以外の、公的な年金制度に入っていて、必要な期間ほど加入できなかったとすると（まあ、たとえば20年で恩給になるのに、18年でやめたとか）どちらからも年金がもらえぬわけです。

かといって、公的な年金制度にいま加入している人は、国民年金に加入できません。そこで、この通算制度が登場するのです。Aさんが、甲職場で10年勤めてやめ、国民年金を5年かけて、乙職場にまた勤務したとします。甲乙の職場に公的な年金制度があり、勤務年数が20年以上の場合は、もらう資格があります。20年にならなくても、国民年金の期間を入れて25年以上なら、これまた資格があります。

で、通算制度ができると、退職一時金はなくなります。その一時金を積立てて、さきで65歳以上になったとき支給するのです。

しかし、つぎの方々は、通算制度から**除外**されます。(1)ことしの4月1日で50歳以上の方　(2)明年の3月末日までに退職する男子　(3)昭和41年の3月末日までに退職する女子。

女子の場合を長くゆうよしてあるのは、結婚前の勤めなどで、一時金をもらった方が有利なこともあるからだそうです。

夫が公的年金に加入している人の**妻**は、いま任意加入ですが、夫がその年金制度を退職するまでの期間も、さきで認めるようになりました。（20年加入していたら最低25年国民年金を納めねばならぬので、5年ほど国民年金を納めたらよいわけ。納めた期間分の国民年金をくれます）

かけ捨てだと評番の悪かった国民年金にも、**死亡一時金**の制度ができました。3～5年は5千円。5～10年は7千円。35年以上は5万2千円と、掛けた期間に応じて高くなります。

明治39年4月1日～44年3月31日までに生れた人（50～55歳）はことし3月31日で、国民年金加入の資格がなくなります。

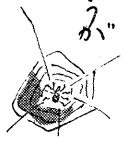
▽塩からい漬物や干物などをたくさん食べる結果、**塩分過剰**のため動脈が硬化します。米麦の食べすぎや、脂肪分とくに動物性の脂肪のとりすぎも、高血圧や心臓病の原因になるということです。

▽油類は、私たちの活動力の熱源として、一番大きな役割をもちます。しかし、**天ぷら**などは消化時間が長くかかるし、胃の弱い人や幼児にむきません。質のよい油を使ったマヨネーズ料理は消化吸収もよいので、老人や病弱の方におすすめします。

▽大内町では、**春植造林**を二月にしたのが、一番効果的なようです。どうぞ、なるべく早くされたら。植穴にはゴミを入れないよう、根を曲げないようにして植え、しっかり踏みつけ、根元に落葉をかけて乾燥を防ぐのが心要です。

▽**冬の赤ちゃん**は、厚着をさせないことです。だいたい大人より一枚多くと申しますが、肌着はガーゼなど汗をよく吸いとるものにして小まめにかえるのがよいようです。赤ちゃんは、体温調節を自分でやれませんから、内と外、朝晩日中と注意が必要です。それからは、部屋の炭火――これは外で赤くして使わぬと、一酸化炭素の中毒がコワイです。

▽虫歯と**リユウマチ**は兄弟だということで。歯そうのうろうなどで、ばい菌が血液にまじって全身に廻り、リュウマチや心臓病の原因になるそうです。歯をだいじにしましょう。



大内町広報

昭和36年3月15日
第68号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

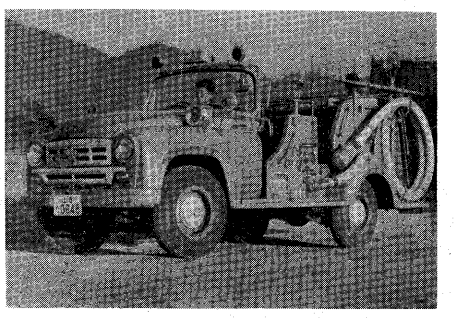
山火事すでに3件も

乾燥して、危険な季節が、またやってきましたまだ大きな山火事はありませんが、ことしになってもう3件ありました。これからは、〃たき火〃が一番こわいですね。

おたしかめください お宅の固定資産税

固定資産税の台帳を見ていただくのは、普通3月1～20日までです。ことしは事情で遅れ、4月1～20日の予定です。どうぞ、おたしかめください。支所でもやれますから。ひにちが変ったとき、また部落の方へおしらせいたします。

待望の消防車くる。東園小は3月末で廃校



←いつも役場のそばに

日産の消防四輪車が、2月22日とどきました。昨年末にできあがる予定でしたが、伊勢湾台風で、名古屋の自動車工場がこわれ、注文が日産に殺到したためです。しかしご迷惑をかけました。これからは、道のいいところなら、うんと機動力を発揮します。

日産の中型消防車で、値段は175万円。大内農協横の車庫に、いつも配置してあります。現在本部員は16名、このうち運転免許を持った者が5名います。

× ×

仁保の**東園小学校**が、この3月で廃校になります。廃校に同意を求める議案が、2月4日の臨時町議会に提出され、議会は賛成したからです。

東園小は、80年の歴史をもち、東園、丸山、深野地区で生れ、いまも住んでいる人たちは、ほとんど卒業生です。母校が廃校になることで、なんともいえない複雑な気持でしょう。

しかし、終戦後日本の出生率が年々低くなってきた影響は、この東園小にも押しよせ、生徒数がぐんぐん減ってきたのです。だから複式（二つの学年を一つにして）授業がいきおいふえます。もう3年もしたら、全学級が複式にもなりかねない状態です。複式といえば、一方の学年が話をきいているとき、一方が自習をするわけで、やはり教育効果は、さがるのが普通です。やがては全校複式になるのを、どこで打ち切って、適正な規模をもっている小学校に統合するかの問題でした。

教育委員会では、廃校の理由がよく父兄に徹底するように、説明会や各戸に廃校理由をくわしく書いた書面を送りました。しかしまだ徹底しないらしく、3月に入って廃校をなっとくしない陳情も出ました。行政のうえで、住民が理解しあってゆくことのむつかしさを、廃校問題は教えてくれました

東園は大内小校区に

東園部落は、がんらい仁保小学校の区域でしたが、部落の強い要望もあって、大内小学校区に編入しました。ですから、大内小を出たら、大内中学へ通学するわけです。丸山は、仁保小学校区のままです。

× ×

36年度の予算審議は、3月11～17日まで、ぶっ通しで行います。昨年の大水害が影響して、耕地や河川の災害復旧費、それに大内小の講堂建設をふくむ教育費の増額これが新年度予算の柱です。

大内女子学園は、3月で廃止になりますから、新年度予算には計上していません。最近の学園生は、設立当初の趣旨と違い、中学卒はほとんどありませんでした。廃止するかわりに、青年学級家庭科の学級で、洋和裁を教える方針をきめました。

いま着々工事が進んでいる大内・小鯖の**有線放送**へ、町から施設補助金として出る金は、ことし約100万円の見込。仁保の有線放送への補助金は、35年度と同様50万円の見込。全町放送の時期は、いまのところ7月1日の予定です。

養豚組合ができた

豚を飼っている人たちで、組合を作りました。組合長は山崎寛さん（大内氷上）副組合長は山本正直さん（大内）と村田利治さん（上小鯖）です。現在袋豚（はらんでいる豚）は250頭いますが、1年あて倍にし、37年には肉豚1万頭を、生産する計画です。肉質の統一をし、共同出荷もやり、将来は人口受精もやりたい——組合員のこれからは、なかなか多忙です。甘しょやかぶ、甘らんなど、できるだけ自家栽培して、購入飼料をへそうと、組合員は申しあわせています。

山口—防府間**県道の新路線**のうち、鰐石橋—小鯖柊間のコースはまだきまっていません。農試横を通過するコースは、すでに実測を終り、現在は御堀と氷上の山の手コースを測量しています。

法改正で軍恩も通算

昨年7月の法改正で、文官と軍人恩給の通算ができます。また勤務年数はあるのに、裁定でダメだった人も、軍恩の通算が、できます。該当の方も多いはず。どうぞ町民課福祉係りへ、ご照会を。

患者負担7月から15%高

ご存知のとおり、お医者さんの要求が通って、保険の単価があがります。当然大内町の国保も、影響を受けます。7月1日から、患者負担が、約15%あがる見込みです。国民健康保険税も普通は、あがるわけですが、都合のいいことに、大内町の国保組合には、35年度の繰越金が、250万円ぐらいあります。このたびの単価引上げや、保険給付の内容をよくすることで約250万ぐらい運営上必要ですが、ちょうどそのくらいあるのです。

4月1日から、入院患者の給食も国保の適用をいたします。いままでは、全額患者負担でした。それから葬祭費（なくなったり、出産したり）はいままでの千円を、2千円に引きあげました。

2月4日に臨時町議会

東園小の廃校に同意を求める議案以外で、おもなものはつぎのとおりです。▽役場職員の定数をふやす＝現在の86名を95名に、9名ほどふやしました。95名のなかに選管や教委事務局、学校、幼稚園保育園など、町から給料を払う人

小鯖毛割のため池で、放水訓練。

は、全部ふくまれます。

▽役場職員の給与が約一割あがった＝生活物価の上昇で、人事院は昨年8月8日、給与引上げの勧告を政府にしていました。地方公務員も、それにならったもの。

▽特別職の給与が、約二割五分あがった＝これも職員の場合と同じ理由です。7千円～1万円ほどあがりました。

▽議員や各種委員の手当てや日当があがった＝議会議員は月額4千円になりました。各種委員も、それぞれ少しあて増額しました。

新らしく消防自動車が入ったので、2月下旬町内のため池や防火用水を調べてみました。

ところが、自動車が入ったからといって、**喜んでばかりもいられない**事情が、いろいろわかってきたのです。

消防車が利用できる＜ため池や防火用水＞は、全部地図に記入しました。連絡があったとき、どこの水源を利用するかは、車の中で判断できるわけです。しかし、なかなかまならぬもので、(1)道があっても水源がないところ (2)水源はあるが、車が入る道がないところ、の二種類がありました。

(1)道があって、水源がない

防火用水は、全町にわたって不足していました。まず合格は大内の菅内だけ。かんがい用水路も、この火事の多い季節に水を落していますから、火事になればとても恐ろしいことです。大内で中矢田と上矢田、氷上の山手、仁保で妙見、仁保駅、小鯖の境など、いざというとき手がつけられないでしょう。車も役にたたぬわけです。

(2)水源はあるが道がない

水源から300メートル以内は、車から引けます。コンパスを地図にあててみて、それ以外の家があるのです。水源と道との距離を結んで、300メートル以上なら、消防の道はないともいえましょう。大内で千坊の中心部、間田の山の手、神田。仁保で東園の山の手（開拓地はため池がきく）上郷の金坪など。小鯖で船カ峠。小さい水源はあっても、車で利用できないものは、＜ない＞と見ました。可搬式ならいい場合もあります。

× ×

有線放送が全町につけば、さあ火事というとき、たしかに連絡は早くつきます。しかし自動車ですから、到着時間がかかります。本部を基点として、井開田まで20分後、鯖山まで15分後、川向いまで8分後です。サイレンを聞き、定員6名が服装をかためて発車するまでの5分間も、この時間に入っています。

だが、この時間で、車がついたとき、ため池から引く水は、とどいているでしょうか。たいていはだいじょうぶでしょうが、部落で実験をなさったら。引く水が、車の到着より遅れたら、その時間についたも同じですから。

× ×

防火用水に**水量をペンキで**××㍑と書いて置くと便利です。車がついて計算——では、はがゆいです。車は吸管2本で1分間に2千700㍑放水します。1㍍立方の水は千㍑あります。2㍍立方で約3千㍑。1分あまりしかもちません。

町内のため池や防火用水を全部調べました

▽役場職員の**採用試験**を、3月末か4月はじめに行ないます。男女とも25歳までの方、初任給8千円。14名採用。希望者は、3月25日までに、本庁または支所へ履歴書を。ほかに1名、身体障害者を採用しますが、事務経験がないといけません（年令とわず）

▽**自衛官**を募集しております。受付けは、4月15日まで。試験は4月1日～5月10日。陸海空士とも、18～25歳までの男子。くわしくは役場総務庶務係りへ

▽**恩給を担保**に、国民金融公庫が低利で融資します。利息は月5厘（1万円で月50円）金額は恩給や扶助料の二年半分までですが、事業資金は最高20万、消費資金は10万円が限度です。

▽**就職にはひっぱりだこ**の産業開発青年隊が、隊員を募集しています。締切り4月3日、人員25名。18～23歳までの未婚の男子。高校卒程度の学力。期間約1年間。申込みは、役場か職業安定所へ。

▽**測量士**と測量士補の試験が5月27.28日行われます。受付け3月25日まで。年令性別、学歴、経験を問いません。三角、多角、地形、地図、写真などの測量が試験科目。提出書類の請求は県庁土木建築部監理課へ、郵券つき返信封筒同封で。

▽**大内文化**を訪ねて、防長観光の貸切りバスが、3月26日やってきます。徳山や下松方面の観光客です。乗福寺や永上妙見社、それに大内人形の製作所などを視察します。説明役は、史談会理事の江藤茂さん。

もうけたいと心で園芸はだめ

3月4日、畜産指導者で全国的に有名な松丸志摩三氏の講演が、女子学園でありました。その要約です。

ちかごろ大企業が、1億2億という大資本を投じて、養豚や養鶏をはじめています。それだけ畜産の将来が明るいからです。国民の食生活はどしどし変化していっているし、大企業だけの生産でまかなうほど、消費量は小さくないから、心配することはありません。むしろそれだけ確かだともいえましょう。

いままでの農業経営では、よく多角経営がさけばれましたが、これからは、専門化した経営でなければ、恐らく成り立たないでしょう。技術も生産の量と質も、資本も小さくなって、取り引きの対象にならぬからです。

最近神奈川県であった話――キューピーマヨネーズがある養鶏組合と契約しようとしたところ、会社は1日40万㌔はしいというのです。それだけはないからと交渉したが、やはりご破算になったそうで。

だから畜産といっても、あれこれとやるのではなく、豚、鶏、和牛、乳牛のどれかを、一すじにやれば、それだけ専門化してゆけます。共同化で力をあわせれば、いろんな点で個人が大刀打ちできない組織もできましょう。

豚がいいから豚――といってとびついたところで、しょせん成功はできないようです。そこが生命あるものを飼育して企業化することのむつかしさでしょう。〃自分が好きな動物を飼う〃ことが、成功する絶対の条件だということでした。

乳牛一頭で年間3万キロの青草

牛にとくに必要なのは△たんぱく▽と△でんぷん▽で、たんぱくが少ないとき、毛が長くぼさぼさになります。白眼が青味がかってくるそうです。たんぱくが多すぎると眼が赤くなり、毛色も極度に光ってくるそうです。どっちでもないのがよい飼い方です。たんぱくとでんぷんの比は1対6だと。

酪農で成功するのに**必要な条件**が五つあります。その一つは、牛を見る眼――というと変ですが、牛の能力を見抜く眼力、栄養状態を見分ける眼力です。その二は年間3万㌔の青草をくわせることだそうで。三番目は、乳代の⅓か¼の濃厚飼料をくわせる。四番目は、飼料の計算をやる（たんぱくとでんぷんの比が、乳1斗出すとき1対6、1斗5升のとき1対5.5です。）四番目は、飼料は長いままやる（牛は上あごがなく下あごで食べるから、小さく切ると、口に入りにくいのです）

昔は牛も野生動物

いまでも、オーストラリヤでは牛の畜舎はないそうです。昔は野生動物だったのですから、できるだけ戸外で飼い、よく運動をさせる――これが五番目。以上で、酪農に成功する五つの秘けつを申しあげました。お宅の飼い方と比較してどうでしょう。

このようにして飼うと、年間35石の乳が出ます。35石以下なら、酪農家じゃないそうで。

養鶏は、自給飼料でやれないし飼料を買うとなると、やはり規模が大きくないと、採算がむつかしい。現在では3千羽が目標になっている――そうです。

この講演の結論は、つぎのようなものでした。

「これからの農業は、共同経営でなければやれない時代が、当然やってきます。企業だから、複式簿記をつけ入る人も必要だし、各人の能力や持ち味も生かさねば……準備と研究をして、おかかりなさい。」

↑共同化にふみきった鯖山牧場では、ブルドーザーで山を開懇し、採草地を、このように。

林業もまた〝転換期〟

＝協議会での話題あれこれ＝

☆ どうしたら継続的にもうかる林業になるだろうか ☆

あすの5千円より、いまの千円だ――と、林業推進協議会の席上、ある委員がさけびました。とかく目前の農作業に追われて、30年40年さきの林業にまで、手が廻らぬという意味です。林業の経営設計だとか、計画ぶ育だとかいわれても、実際に私たちの日常は、いそがしさに追いまくられています。

しかし、林業もたいせつな資源――といえば、わかっとる、とおっしゃるでしょう。

2月28日に役場横の研修館で開かれた林業協議会の話題のなかから、おもしろい話題のいくつかを拾ってみました。たいせつな資源であることを、よーくわかっていて、なぜ実行できないかにもつながる問題のいくつかを――。

×　×

昨年の農業センサスの結果では、1㌶以下の所有者が、全体の約38％でした。1～2㌶～5㌶が20％あて。80％は5㌶以下の所有者です。

民有でも分収契約

これを人数で出すと、1㌶以下584人、1～2㌶が313人、2～5㌶が364人、5～20㌶までが258人でした。

だから、大きい面積を持つ人と、少ない人との差が、大きすぎるのです。山が荒れる原因の一つがここにもあるようです。大面積の山林所有者が、田畑もたくさんもっておれば、山にまで手がとどかぬのは当りまえです。

この労力の不均衡をならすため、民有林でも、分収契約を結んだらどうだろうという話題も出ました。ただの口約束だけでなく、地上権も設定して、町有林分収と同じように、売ったとき歩合いでわけるのです。自家燃料をとることも兼ねて、山に労力が入りいままでよりもっとよい山になるのではないでしょうか。

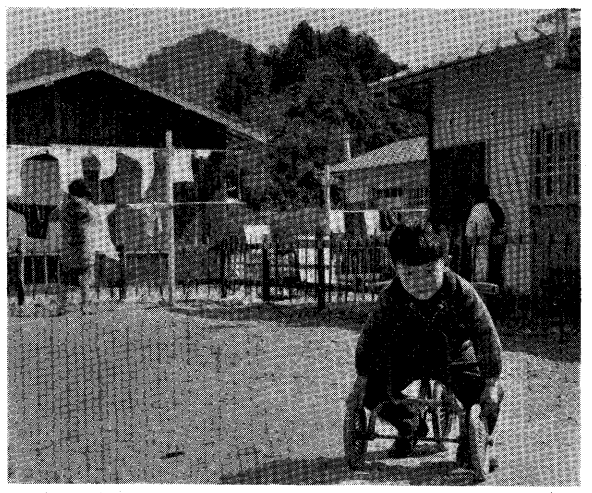
生産組合を作ったら――という案も出ました。造林融資を受け、これを基金に作業を進め、日当は即金でちゃんと払うのです。これならすぐ金になるので、分収契約より労力を効果的に集めることができるかもしれません。

なにより林種の転換

雑木山の10アールを計算してみると、1年に600円、しかありません。パルプ材に20年で20石。石を600円で計算してです。杉だと10アール当り40年後に30石となり16万円は軽くあがり、1年4千円。それに間伐収入もあります。じゃーどうしたら林種転換が着々できるか。……こうした話題も、にぎやかに出ました。

▽鯖山町営住宅で△

かわいい坊やが一人，自転車で遊んでいました。空気はいいし，国鉄バスの停留所もできたし……20世帯の人たちの暮らしには，落着きと秩序が感じられました。



一粒の麦落ちて死なずば

いてついた夜を遅くまで、小鯖青年団の有志は、各部落を廻りました。重い映写機をかついで、部落の青年男女、その親たちと、これからのあり方を語りあったのです。

2月10日から3月5日まで、時期とすれば、決していい時期ではありませんでした。やがて春がくれば集りはいっそうおっくうになるだろうと、農閉期を利用しての、PR活動でした。

×　×

青年団の呼かけは、(1)小鯖時間をなくそう。(2)家族会議を進めよう。(3)友愛精神を高めてゆこう。(4)もっともっと勉強する意欲を高めよう。(5)グループ活動を育ててゆこう。以上五つでした。曲り角農業で転換期の農村青年が、これからをどう切り開いていこうとしているかを推察できます。家にあっては、わが家の経営と取組み、友人と結んでは、郷土のこれからを協力して、一家全員が楽しく暮らせるふんいきを作ってほしい願いにも通じます。

「青年は、理想をもっていますす。それはわかるといいながら親の方からその理想を否定して……そんなことはできない…という。理想に近づけるよう、理解と協力をいただきたい。」

青年たちは、こんなことを説いて廻ったのです。だから、個々の家庭では、家族会議を開いて、一家全員が楽しく暮らせるふんいきを作ってほしい願いにも通じます。

青年団なんて、いまの時代にや盲腸みたいなもの（あってもなくてもよい）でしょう――とぶしつけな質問をあびながら、青年団の幹部諸君は、辛棒強くPRを続けました。巡回の中途から、いままで会ったこともない青年が数人、協力を申し出て巡回のたびに参加し、最後まで同行してくれたそうです。

謙虚な叫びは、やはり人と人を結びつけ、そこに新らしい関係を産もうとしています。これからの新しい芽生えを期待しましょう。

▽収穫の少ない山田にすぎやひのきを植える場合、農業委員会の**転用許可**が必要です。無断転用の取締りが最近やかましく、転用当時の状態に復旧せよ――となるとたいへんな手間です。法律はときによって融通のきかないもので、親の死に目に会いたいと、自動車で時速100㌔出せないのと同じです。

▽**40歳をすぎると**約2割の人が高血圧になると、いわれています。高血圧には、本態性と症候性の2種があります。本態性は、高血圧の90％をしめており、本人が気付かずにいる場合がほとんどです。症候性は、腎臓、心臓、血管、脳や内分泌に病気があるとき、その症状の一つとして出ます。本態性の場合は、全体の食事の量をへらし、塩からいもの、水分、香辛料、脂肪をひかえます。牛乳、卵、野菜、くだものを、ぜひ献立のなかに。味付けはうすめに、編食をしない――といったことです。

▽ポリエチレンの**袋入りジュース**のうち、形の復雑なものは、殺菌が不完全で、危険です。子どもは、かえって危険なものを、形がおもしろいからと好むのですが……きまった型のものしか製造が許可されていませんから、復雑なものは、まずたいてい違反品です。

▽もうすぐ**新入学**。お子さんは、自分で自由に脱いだり着たりできますか。通学には、できるだけランドセルがいいでしょう。片手に荷物を持っていたために、事故を起している子どもが案外にふえてきています。

大内町広報

昭和36年4月25日
第69号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

赤岸議長 惜しまれつつ辞任

町議会議長として、献身的に努力していた赤岸議長は、一身上の都合でやむをえない事情があり このたび惜しまれつつ、議員の職をやめることになりました。これからは一町民として町政の発展に奉仕したいとのことです。

新議長に田中俊輔氏

4月21日の臨時町議会で、議長、各常任委員の改選をやりました。新議長には田中俊輔氏が就任しました。

税金

4月固定資産 1期

▽軽自動車税は、4月徴集の予定でしたが、税率の関係で、6月に延期しました。

みなさまの税をもとに 一億二六〇〇万円 新年度予算を分解

×

予算書は、きめられた項目のなかに、必要な金額をならべただけですから、これこれきまりましたというのも、ずいぶんと不親切な話です。せめてもと、みなさまの質問をもとに、分解してみました。

×

▽町民税は、町の収入全体（歳入）のなん%に当るか

町民のみなさまが納める税金は大きくわけて、固定資産税と町民税です。その町民税は、約9%で1割をちょっと切れます。

▽町民税で、サラリーマンが納める%と、農家が納める%を。

農家の納めるのは41%、勤労者の町民税は50%、その他が9%です。金額的には、勤労者の方が約2割多いわけです。

▽それじゃ、固定資産税と町民税、つまり町民のふところから出ているものが、歳入のなん%に当るか。

固定資産税は約2千200万、町民税は約1千万円です。過年度の滞納くりこしがありますし、たばこ消費税や電気ガス税、木材引取り税、軽自動車税の合計が800万ありますので、税収の総額は約4千万円になります。そこでご質問の固定資産税と町民税の歳入にしめる%は、滞納くりこしも入れて、27%になります。

▽町民税を納めている農家は、なん戸あるか。勤労者ではなん戸か

戸数で出すのは、ちょっとこまります。一軒の家で、農業所得と勤労所得があわせて入る場合もあるので、人数でお答えいたしましょう。農業で1千730人です。勤労者で1千455人、その他が645人になります。

▽地方交付税と国庫支出金、どちらも国から出るが、どんなちがいがあるか。

地方交付税は、その団体の普通の行政をやるために必要な経費（基準財政需要額といいます）が、歳入（基準財政収入額といいます）にたりないとき、国が補ってくれる金額のことです。もっとくだきますと、行政をやるには、このぐらいの金が必要だが、その必要量にたりない。たらぬところをうめてくれるというわけです。その計算を、基準財政の需要額と収入額でやるのです。めんどうな基準があって、町道1m当りいくら、学校生徒1人当りいくら、住民1人当りいくらと、掛算をして必要な経費を出すわけです。

国庫支出金は、国の事務を委任されて（選挙や統計、戸籍などたくさんあります）やる経費や法律によって自治団体が行った事業（たとえば災害復旧）の経費を、国が補助する場合に支出される金です。

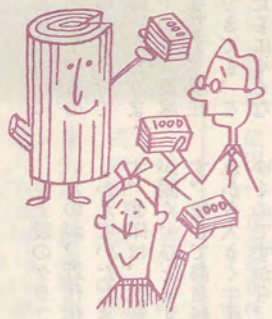
▽雑収入が540万といえば、少くない。内容を説明してほしい。

雑収入の92%、500万円は、みなさまが国民年金の掛金として、国に納める金額で、そのまま国庫に入ります。取次ぎだけです。こんな金がふくまれているので、予算総額がいくらと、まるで全部が直接行政費と考えるのは、買いかぶりになります。

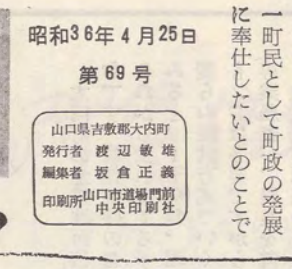
▽町債が760万円ある。なんのための借金か。

大内小の講堂に260万円、土木の災害復旧に150万円、町有林の植林費用350万円です。36年3月末の町債は4千900万円あります。

安い利息でも、長期間かるとかなりな額になります。借らないに越したことはありません。



国や県からもらう金を除いたら、山の売上げと税金が頼みの綱



ああもこうもしたいが、ない袖はふれぬ

教育費が筆頭で、全体の26%

▽教育費が一番多いそうだが、歳出のなん%をしめるか。そのうち設備費はなん%か。

教育費は総額3千260万円です。全体の26%をしめています。三分の一とまではいきませんが、大きい金額です。町財政からすると、この負担が大きいので、どうしても産業経済費の方へ、しわよせがゆきます。教育費のうち、約1千900万円、60%は設備費です。約1億円と推定される老朽校舎の改修を、これから毎年少しあてやってゆきますので…といって老朽ではいまから10年とはもちません。山口市のように、地元の寄付金をたくさんとらないかぎり、やりくりはたいへんです。

▽産業経済費のなかで、曲り角農業の打開につながる対策費の%は？

産業経済費のなかには、耕地災害復旧や林業費も入ってきて、ふくれています。産業経済費のなかの農業費が、農業の発展や構造改善の対策をたてる費目で、約4百万円みています。曲り角農業の対策費として見られるのは、そのうち約60%、231万円です。内容は、振興資金の利子補給に150万、輪換畑の普及に8万、牧野を造ってゆく事業に74万円。ことしの予算にはまだ組んでありませんが、農業信用保証協会へ80万円出資ずみです。追加予算で、この費目はふくれます。

老朽校舎が多くて頭が痛い

▽財産収入で、3千200万とあるが、直接町財政に使える金は

分収金をさしひいて、2千700万円が収入です。

▽公債費が600万円ある。借金の元利返済と思うが、町債の760万と合計して、予算の11%だ。これからもふえるか。

借金という意味からすれば、予算が実質的にへるのと同じです。これから、毎年少しあてへしてゆく予定です。

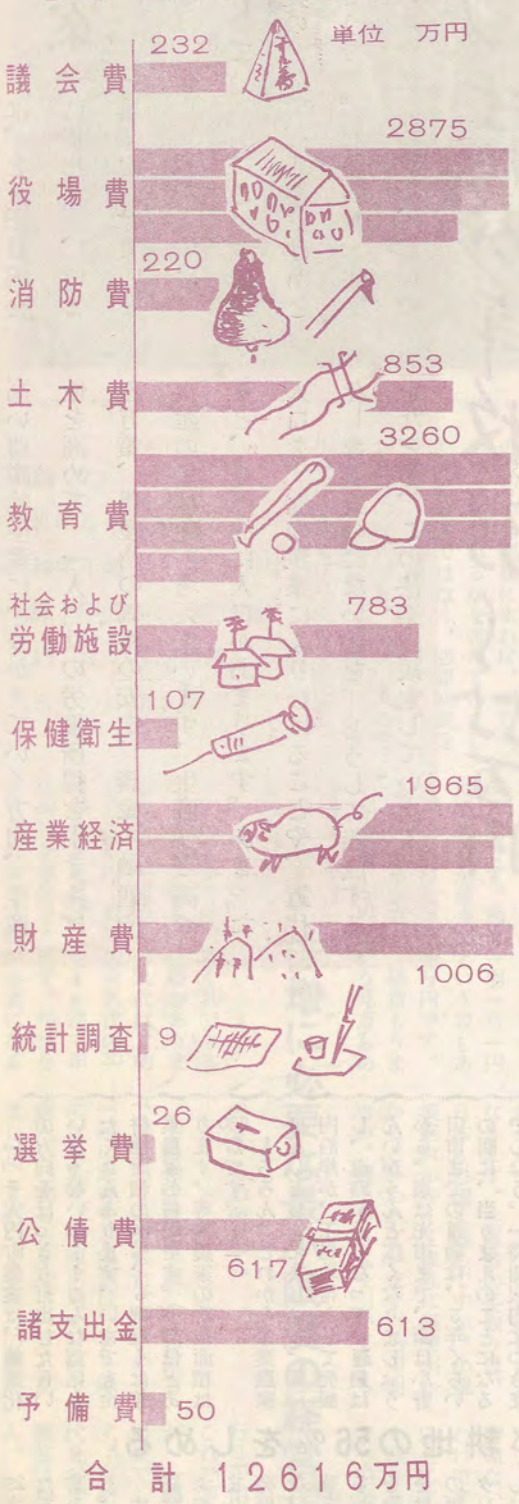
▽山を伐りすぎると思うが、手入れはいいのか。

毎年植林、天然更新を努力しています。もっと伐採面積をへした方が理想ですが、財政が苦しくて

伐りっぱなしなら世話はないが

36年度予算（歳出）

単位 万円

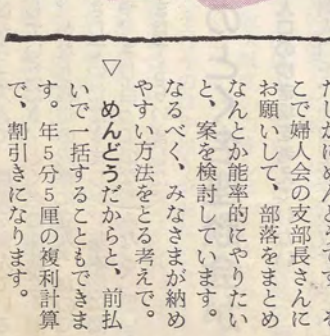


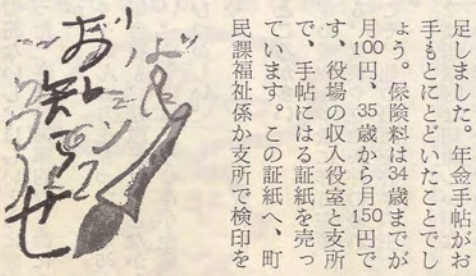
合計 12616万円

歳入

▷町税	3941万円
▷地方交付税	2000〃
▷財産収入	3244〃
▷分担金および負担金	372〃
▷使用料および手数料	259〃
▷国庫支出金	1137〃
▷県支出金	334〃
▷寄附金	26〃
▷雑収入	543〃
▷町債	760〃

特別会計（国民健康保険事業）は歳入歳出もこのページにのせていません。つぎの号の広報紙までお待ち願います。





▽4月は**自動車税**を納める月です。山口銀行の本支店か、もよりの郵便局でも納付できます。

▽**豚**の飼料になる醤油粕には、よくハエが発生をします。それから漬物も、ハエの大きな発生源です。漬物おけに、ビニールでおおいをすると防げます。

▽**大掃除**はおすみですか。いっせいにやると効果が多いので、四月いっぱいを環境衛生の月にしています。わかりきったことで、なかなかできないのは、見えないところの大掃除です。しかし、どぶや流し、天井、床下、倉庫、ごみ捨て場などをやらぬと、大掃除の効果は半減するでしょう。はえ、蚊、のみ、ねずみは、わが世の春を歌うでしょうから。

▽**国民年金**が、4月から発足しました。年金手帖がお手もとにとどいたことでしょう。保険料は34歳までが月100円、35歳から月150円です。役場の収入役室と支所で、手帖には証紙を売っています。この証紙へ、町民課福祉係か支所で検印を押せば、それで保険料を払ったことになるのです。

▽**わざわざ**役場か支所まで検印を受けにこられるのはたしかにめんどうです。そこで婦人会の支部長さんにお願いして、部落をまとめなんとか能率的にやりたいと、案を検討しています。なるべく、みなさまが納めやすい方法をとる考えで。

▽**めんどう**だからと、前払いで一括することもできます。年5分5厘の複利計算で、割引きになります。

農業基本法案

サラリーマン　農業所得は一人当りわずかに6～10万　労働が年收35～55万円

は、2月18日国会に提出され、いま審議を続けています。農業生産の伸びは、年4.3%であるのに、工業生産は17%も伸びています。この調子でいくと、日本の産業のなかで、農業だけがとり残されてしまいそうです。だから基本法案では、国民食生活の変化にあわせて、需用の高い農産物生産にきりかえていく方向、生産性を高めて、一人当りの労働所得を引きあげる方策、農産物の価格の安定、資金の融通や生産の機械化を考えています。生産性を高めると、必然的に人口があまります。あまった人口を、他の産業にふりむけることや、近代化した農業のにない手を、どうして養成するかなども、この法案に規定しています。

×

基本法案は、生産様式の遅れた非能率な日本農業の体質改善を考えていますが、国全体をみての政策ですから、大内町農業の現状に、ぴったりあうとはいえません。基本法案のネライをくみながら、大内町農業の現状分をせきしてみます。

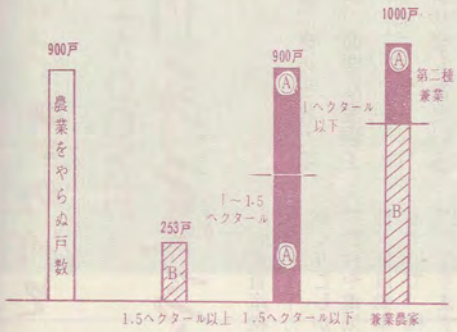
×

大内町の全耕地面積は、約2千㌶です。耕作条件の悪いところでこれから荒れはてる予想を一割とみると、1千800㌶。現在とあまり変らぬ経営方式でいくと、少くとも2㌶は必要ですから、約900戸の専業農家が、農業を営なめます。

ところが現在の農家数は、兼業専業をあわせて約2千200戸ほどあります。2千200戸から、900戸を引いた残りの1千300戸に、これから変ってゆく農家構成の問題点がひめられています。耕作少なく、非常に高度化した経営（たとえば養鶏だけの専門とか）の農家がふえれば、900戸の農家数は、もう少し水増しできるでしょう。

×

ところが、限られた耕地面積に兼専業の農家がひしめいているのですから、適正既模の農家を育てるとなると、大きな障害があります。経営面積1.5㌶以下の専業農家が、約900戸もあるからです。現在まではともかく経営できても、これからますます成りたちにくくなるでしょう。このほかに、兼業農家のなかで、第一種兼業（継続的な仕事でなく、日やといとか臨時の手伝いに従事している方）の農家が、約300戸あります。合計1千200戸、つまり全農家の55%が、経営なり生産方法なりを変えなければならない状態に直面しているわけです。つぎのグラフで、いま申し上あげた事情がいっそうはっきりするでしょう。



左上段のグラフで、Ⓐ印のついたのが、近代化した農業に切りかえていただきたい農家数です。Ⓑ印は、比較的経営の基礎が固く、ひとまず安定しています。総じて農業経営全般が、これから大きく生産様式を変えてゆくのですから、現状のままでいい経営はほとんどありませんが、大きく二種類にわけられるでしょう。

1ヘクタール前後は赤字経営

つぎに、所得の面から、農業と勤労所得を比較してみましょう。1㌶の所得は、普通の経営で（水田ばかりでなく）17～18万といったところでしょう。ところで生活費は、月に2万円はかかります。この差額6～7万円は、表面は赤字ですが、山林の労働や売却で、またほかの臨時収入で、うめているのが実情のようです。

農業と事業所得の分類
（昭和35年度）

①	18～24万以下	494人
②	24～29 〃	363〃
③	29～39 〃	461〃
④	39～ 以上	163〃

①+②=850人　③+④=624人

左上の表は、農業と事業所得の分類ですから、厳密な数字にはなりません。しかし事業所得は、実際のところわずかですので、ほとんど農業所得とみなすことができるでしょう。①②③④の合計は1千474人。兼専業あわせて2千200戸から引いて、約700戸が18万円以下の年収になります。

給与所得の分類
（昭和35年度）

23万以下	154人
23～30万以下	220〃
30～35 〃	225〃
35～45 〃	373〃
45～55 〃	284〃

→右の分類で、23万円以下の所得が154人と少ないのは、所得税を払う人を対象にしたからです。若い人たちで、勤めて一年未満の人や、所得税を支払う額に達しない人々が、これ以外にたくさんいます。さてこの表で35～55万円の所得層は657名。全体の約45%に当ります。月に割れば約3万～4万5千円、しかも所得倍増の線でふえてゆきます。一㌶農家は普通20万以下で家族労働2.5人役を、必要とします。一人当り年収6万、月5千円にしかなりません。悲しいけれど実情です。

一人当りの耕地30アール

潜在失業が多すぎる

農家の総人口は1万1千400人です。このうち、主として農業に従事する人が4千人、補助や臨時の手伝いが、約2千600人。合計6千600人で、農作業を行っています。全耕地面積を割ると一人当り30アール（3反）にしかなりません。大内町の場合、兼業農家が多いので、厳密な数字が追求しにくい欠点はありますが、補助や臨時の手伝い2千600人を、農業外の方向にむけても、まだ一人当りの耕作面積は50アールにしかなりません。これだけの労働力を投げ込まなければ、経営できないところに、大きな問題があるようです。所得があがらぬ原因もあるようです。経営規模は小さいが、労働力の点で、どうしても手離せないことを、この2千600人はしめしていないでしょうか。現在までの農業技術も、こうした過剰人口のうえに、組まれていました。だから技術も、いままでどおりでは、曲り角農業の解決にならぬわけです。

毎年高校卒業生は、90%以上農業外に就職しています。それだけ現実には、農業人口がへり兼業化の方向をとっています。これほど農業所得が低くては、兼業化もまた当然といえます。

しかし、すでに成人に達し、年令的に転業もむつかしい人たちの中にこそ問題はあります。

兼業が耕地の56%をしめる

いっそ大内町農業は、兼業化の方向をはっきり打出したらいいじゃないか……こんな意見もたくさんあります。いまでも全耕地面積の56%、6割近くは兼業農家の耕地です。980㌶ほどあります。専業農家の耕地面積は880㌶です。

もちろん、これから兼業農家はどしどしふえましょう。瀬戸内沿岸が、工場地帯として発展し、道路がよくなって、通勤はんいがうんと広くなりましょうから。東は光市まで、西は小野田市までの通勤は、5年くらいの間に、当りまえのことになるでしょう。一時間以内につきますから。

だから、兼業化がはかれる農家はいいとして、はかれない農家はどうなるか、という問題が残ります。約900戸の専業農家の平均耕作面積は、1㌶に足りません。このなかで、年令的に（25才以上）転業がむかしい人たちは、やはり苦しくても農業を続けることになりましょう。

生産を機械化し、能率化し経営を拡大し、所得をうんとふやし……ということになりましょう。農業以外の産業が発展するにつれて、割のあわない非能率な経営をしている兼業農家で耕地を手離す人たちがでてくるでしょう。それを吸収しつつ、生産の近代化をはかる——という農家構成の再編成は、口でいえばカンタンですが、たいへんむつかしい仕事です。しかも比較的短かい期間に〃もうかる農業〃にしようと思えば、畜産を大幅にとり入れて、少ない耕地面積でも所得をふやす以外に、方法はなさそうです。その対策を3ページで考えてみました。

3人のとく名座談会から

3地区から一人あて、農業を営んでいる方に参加していただき、とく名の座談会を開きました。かなり経営の内幕に立入ったのでとく名にさしていただきました。基本法に関する疑問や、さし当ってのなやみなど、思いきりぶちまけてもらいました。

農業人口のゆき場を考えていない

○過剰人口を、他の産業に吸収するというがオートメーション化が進んで、それほど労力を必要とするか疑わしい。農業自体の近代化によって、たしかに過剰人口がはみだすが、そのゆき場については理解できぬ。

×その過剰人口も、腕に覚えたものがないから、単純労務ないし、ほしいときに呼び集めるといった、産業予備軍的なものになりはしないか。

△まだじゅうぶん体力をもっている25～45歳までの年令層も、転職となるとなかなかむつかしい。ゆき場はどうせ中小企業だがそれでもむつかしい。

※

主産地になれぬところが多い

○基本法には、特定の産物を多量に作る主産地を育てるとある。気候や立地条件の優れた点を利用してこそ、他の追随を許さぬ主産地もできよう。

×その点、大内町では悲観的な結論しか出ない。主産地としての伝統もないし、われわれの力で畜産と果樹をのばしても、短かい年月ではできない。

△そうした好条件に恵まれた特定の地域以外は、従来の経営方式の、規模拡大がさし当っての方法になるのではないか。

※

価格保証できぬか

○価格の安定も、市況にあらわれたとき対策を講ずるだけだろう。農産物は工業生産と違い、ストックがむつかしい。

×乳製品には価格保証を考え、生乳には考えぬという。乳業資本だけをよう護するか。

△畜産価格安定事業団ができるそうだが、運営をよくやってもらわにゃ。豚肉でもいま50円。多年の経験者でやっと手たたきのありさまだ。卵も戦後最低という。

選択的拡大は、にげ道か

○需用の多いものに、生産をきりかえ、さらに生産規模を能率化することを、選択的拡大と名付けている。しかしこれには保証がない。方向づけをやった責任がない。うまくいかねば、間違ったというだけか。

基本法になげかける〝四つの疑問〟

ご農業の所得倍増のやり方は

とく名座談会に出席した大内地区のAさんが、経営の赤裸々な内幕を、つぎのように語ってくれました。

―私のとこは、60アールの耕地しかありません。うち5アールが畑です。夫婦と子どもが二人、専業農家です。昨年の収入は飯米を除いて米代6万、麦2万、野菜の粗収入が14万でした。だから合計22万の収入が、どうにかとれました。22万に対し、所得の見積もりは26万でしたから、腹を立てて、ことしから青色申告にしています。食費が月3千円、ほかの諸経費（祝ぬき）が3千円です。これでないと赤字になって、とてもやれません。おはずかしい内容ですが、これがありのままなんです。製子4人して1日100円の食費で1人当り25円です。米代は計算に入っていませんがそれにしてもギリギリです。ほかの諸経費の3千円のなかに、教育費、衣料費、電気代保険、交際費が入ります。一日たった100円で……。

×

女性のAさんは、涙ぐみながら、生活の苦しさを打明けました。1畝以下の専業農家のつらさが、にじんでいます。

もっと楽な、もっともうかる農業にするためには、どういう規模で、なにをという経営方式と、資金の問題にしぼられるのではないでしょうか。

×

せまい紙面を利用して、所得倍増のやり方を追求してみました。所得倍増といっても、1人当り6～10万の倍増ですから、生活費から見ると、必要な最少限の収入ということになりましょう。しかもそれすら、大きな資金と、機械化と協同化がなければ、とてもできそうにありません。ではごいっしょに考えてみましょう。

×

昭和30年に行った仁保下郷の交換分合は、機械化を前提としたものではありませんでした。土地改良をせずに、所有権だけの移転でした。ずいぶんといろんな意見が出ましたが、なんとか実施でき、いまではよかったと感謝されています。もはや今日では、交換分合は所有権の移転、区劃整理、土地改良、機械化できる設計を、全部ふくんで呼ばれているようです。

千戸を対象に5億の資金が必要

いままで、いろんな資金が農業経営に貸付けられてきましたが、これからは〃近代化資金〃という呼び名に変ってきます。農業近代化をはかるための設備資金という意味です。出し方はいままでと同じで、とくに総合的な出し方をするわけではありません。まだまだ細かい対策はできていないようです。

ことし山口県で準備している農林業融資は、総額約7億円（一万の年収に対し5百万の投資）

国からの補助5億、県財政からの支出2億）です。かなり大幅に用意しているようでも、一つの自治体に割ると、1千万～1千500万程度です。これでは焼石に水です。

と申しますのは、いま経営改善をせまられている農家千戸を対象に考えても、約5億円の資金が最少限必要だからです。

酪農では普通5倍の投資（100

豚やにわとりで、約2倍の投資が必要といわれています。20万円農家が、もう20万収入をふやすためには、酪農で100万円の投資がいります。毎年5千万円の融資をしても、酪農なら50戸、豚にわとりで100戸が対象です。

そこで所得倍増のための必要資金を、1戸当り50万円と平均を見て、千戸で5億円、年に1億の融資でも5年かかります。

現状は年約2千万

資本貸出しの現状は、改良資金で約500万、振興資金で1千200万、自作農創設で300万、合計約2千万円ほどです。資金の問題だけでも、少し掘りさげると、いろんな問題が出てきます。みなさまの声を忠実にうかがいつつ、またこの広報紙にまとめましょう。

×

むつかしい問題ですが、交換分合や機械化、協同化は、どれも相互に関連があり、総合的にやらぬと、行づまりそうです。愛媛県では、県が先頭にたって交換分合を進めています。一枚50アール、コンクリートけいはんでです。これなら、大型トラクターも入りますし、機械化して能率もあがります。能率がよければ、非能率な地帯の何倍にも生きるわけです。さらにそれを協同化で購入すれば投資のしょう却が、早くできましょう。

島根県大東町では、青年団や婦人会の人たちを大阪視察に送り、大都会のすさまじい消費の姿や、生産能率の高い工場の見学をしてもらったそうです。生産と販売の機構がなければ、商品にならぬことを知ってもらったうえで、取引きの最低単位である10万羽養鶏にふみきったのです。毎日貨車送りするためには10万羽がどうしても必要であり、まとまらぬと、商品の操作ができぬからです。

この広報紙を、私たちみなが考えあう場として、号を追ってもっと分析し、資料もそろえます。やがてできる予定の農事センターが〃ほんとに生きた仕事〃をするためにも、気持をよせあう場が必要でしょうから。

サァサ　先物買いに損はないよ。(小声で)
来年になったらどうかしらないがね

仁保中学の工作室の前。卒業式の日、県外就職する17名の卒業生は、記念樹を植えました。私たちと同じに強くのびろ…と

年収60万を標準に

大内町農業の現状からみて、どのくらいの規模にすれば、60万円の年収になれるかを考えてみました。粗収入ではなく、必要経費を差引きしての純益60万円です。しかしこの収入でも、平均5.2人の労働力から計算すると、年収1人当り24万、月2万円にすぎません。

(1)**鶏**なら　1000羽

(2)**乳牛**なら6～7頭

(3)**和牛**年間10～14（肥育牛）

(4)**豚**　年間60頭の肥育豚

▷約1㌶の水田経営もふくめての計算で。

倍増に必要な最小限度の経営規模

(1)の養鶏では、一羽当り年収を400円みています。これで40万円の純益、水田経営をあわせて60万円です。鶏は一羽一日一円に見る方が確実だという説もあり、これだと年収36万円です。よほど技術が高く、経営もうまい場合に、450円という見方もあります。360～450のはんいでしょう。

×

(2)の乳牛では、さく乳できる牛を6～7頭もつ必要がありましょう。一頭当りの乳代は、約12万5千円。飼料代を乳代の30％でおさえれば、5～6頭で年収60万を確保できます。40％をこす場合は、8頭が必要になるのも、その例です。

×

(3)の和牛は、半歳ごとの肥育で計算してみました。ですから一回に肥育する頭数は5～7頭になります。一頭平均6万円で購入し、売るとき10～12万と見ました。これで4～6万の利がありますが、うち飼料代が2～3万はかかります。結局一頭から2～3万。で、5～7×2で10頭ないし14頭の頭数を出したわけです。飼料の自給度を60％以上にすると、収入はもっとよくなります。採算のよしあしはすべて飼料の自給度にあります

×

(4)の豚は、肥育豚一頭1万2千円に売っての計算です。これで72万の粗収入がありますが、一頭当り6千円のエサ代が必要でしょう。半分が飼料代です。自給飼料を工夫して、飼料代をおさえていかぬと、40万の純益はむつかしいかもしれません。

近代化をはかるため解決したい〃三つの注文〃

就職あっせんも考える段階

○　大内町で一番多い経営は、70アール～1.2ぐらいまでだ。ところが、この規模の農家が一番苦しい。規模が中途半端だからだ。そこで適正規模農家を育てるとなると1㌶にへらさぬとやれない。

×　25才以上はむつかしいにしても、若い人や学校卒業者も含めて、就職あっせんの施設が、現在の段階じゃ必要ではないか。

△　仮りに町民センターといったところで、もっと積極的にやってもいいのではないだろうか。組織的に、計画的に、この問題をほりさげてほしい。

先駆者利じゅんの育成はこまる

○　資金的にもやれる人が協同で経営したのを、モデルと称しているだけじゃこまる。それはモデルじゃなくて、やれる人がやっただけなんだ。

×　やろうにもやれない人たちは、取り残され、ボヤボヤしているからダメだというのも、能のない政策だ。

△　一般的に非能率な経営だから、先駆者には、かなり高い成功率がある。しかし、それだけを育てるのでは、安易な道を歩む町政だと、そしりを受けるだろう。

○　能率化と協同化はぜひやらねばならぬけれど、へたにやると、仕事がなくなる。一年中仕事があるように、段階的に規模を拡大しないと、非常に弱体化した協同化になる。兼業形態の協同化なら別問題だが。

資金がなかなか借れぬ

○　組織的な金融機関で農協ほど高い利息をとるところはない。それに貸付額の限度が低くて、生活費のたしにしかならぬ。生産資金としてはふじゅうぶんだ。農民の蓄積が、農業再生産に投資されずに、全国で3千億円も農業外に融資されているそうだが、なっとくがいかない。

×　地方団体も、われわれの生産資金の調達に、最大限度の力をしぼったかどうか。疑わしく思っている。短期間に生産の転換と拡大を行うのはやはり資金だから、もっと行政措置の中でも重視してほしい。

△　それに借り方がやけにめんどうだ。借りるのがいやになる。これは、合理的な方法にかえていかぬと、資金は用意したがさっぱり借り手がない、などとナンセンスなことになりかねない。

資金がなくては、ただだもう夢みるだけ

先進地に学びいますぐ町でとりあげたいこと

＝農業委員14名の意見＝

四つの先進地を視察した農業委員の意見を要約しました

×

▽　なんでも屋主義では、これからの農業は発展しない。先進地は大きなもの一つに徹底している。主産地形成に、行政の面からも力を入れよ。

▽　町と農協が、しっかり手を握って仕事をしてほしい。これが、あらゆる施策の根本でなければならないと思う。（西村　静）

▽　北阿万では、大農機具を共同利用にしている。小規模経営では機械設備が、どうしても過剰投資になりやすい。共同利用で、優れた機具を入れたい。（鍔石一男）

▽　有線放送も近く完成するし、農協と町とは、一体になって仕事してほしい。畜産の協同経営を、うんとのばしたい。（山本敏幸）

▽　畜産は将来3倍にものびるそうだが、私たちの食ぜんにもぜひ畜肉をのせてゆきたい。食肉処理施設を作ったらどうだ。私たちの食生活も豊かになる。（荒瀬勇）

▽　四つの先進地とも共通した点がある。小規模農家が立上るための畜産が盛んになっている。そして農協と町とが、指導や販路や金融面でてこ入れをしている。それから各種団体を、もっと強力に町が一本化する体制が必要なのではないか。組織が弱いようだが……（原田元介）

▽　安い乳や肉がくえるように、いわばサービスセンター的なものを作ってほしい。（小林隆次）

▽　行政機関は、どうぞ結論が出るまで指導してほしい、と思っている。中途半端な指導や、思いつきなどには閉口する。どうぞ結論がでるまで……（小林俊明）

▽　私たちがきょう会議した内容なども、よく徹底するようにPRを考える。みんなの頭の切りかえで、自然に盛り上るのでなくちゃ立派な事業はできぬ（岩本新一）

▽　交換分合がぜひ必要だ。あわせて土地条件の整備。農業労力を軽減してゆく方法と、真剣に取組みたい。（古屋豊樹）

▽　青年男女は農業を好まぬ。家父長的な家族構成のなかで、ただ働きしている感じがするからだろう。法人化し、小規模でも企業として賃金を支払うことにしたらどうだろう。（小林　宗）

▽　と殺場が、小規模でもいいから町にほしい。食肉を生産するのだから、安く食いたい。（栗林孫弐）

▽　農業構造の改善だなんぞいっても、一般の農家は、まだ関心がうすいようだ。実情を知り、考え実行に移す農民になれるよう、PRを真剣に考えてほしい。広報紙だけでは、じゅうぶんでない。（岡本儀作）

▽　以前米作できず、いもを食っていたところが、今日畜産地帯として発展している。苦しさを越えて、今日をきずいている。昔の米作地帯は、逆に貧しくなってきつつある。大内町の専業農家も米作に頼りすぎ、基盤が弱い。畜産で強くしたい。（貞永　浩）

ここを視察した人たちは、農事センターの運営に、ショックを受けたようです。これなら、のびてゆくだろう、成功するだろうと、つぼにはまった施策のうまさを見ることができたからです。町のあらゆる団体が、町政のレールに、有機的なつながりを持っていました。とくに農協と役場の提携は、実にみごとだったと、いまも視察した人たちが、タメ息まじりに語るほどです。そこには人の和があり、ムダを許さぬチームワークの美しさがあり、いつも前にふみ出している大胆さがあったからです。

×

農事センターでは、育すうを

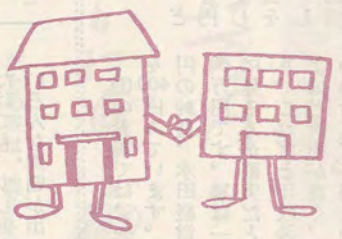
役場と農協が、がっちりと手を握り、農事センターの運営には、なにかしら底力があった。

福岡県山門郡三橋町

やって、実費で農家にわけていました。種豚も実費で各農家に利用されていました。養豚といい、養鶏といい、いまの規模はむしろ大内町より貧弱でした。

農政の基本政策で、役場と農協は完全に一致しており、役場の立案が、そっくり農協の実施段階に移れるよう、考えられていました。その場合、立案と実行のみぞを、より効果的にうめるため、この農事センターは工夫され、活動していました。

どうしたら、各農家がとり入れやすいだろうか——と、農民の立場にたって取組んでいました。



まったくうらやましいほどの協力一致

三橋町には特殊な産業もなく、立地条件がそう恵まれているわけでもありません。しかし、このシステム、このチームワークの恐ろしさを視察団は知ったのです。同時に、これからの大内町にとって、大きな教訓でした。

×

豚の貸付生産のやり方は、つぎのような方法です。

▽　農民が豚を農協から借りるとき、評価委員会がどのくらいの値か評価します。その評価額が、農協からの借金となって、残るわけです。

しかし、豚が販売できれば、当然その借金はなくなります。利息は年9分（共同経営なら8分5厘）で、半分を町が補助します。豚には一頭につき掛金300円の町単独の家畜共済があり、とどのつまり農民は資本なしでやれる仕組みです。

見渡すかぎりの玉ねぎ畑。酪農と玉ねぎに徹底し、生産から販売まで一貫していた。

兵庫県三原郡南淡町北阿万

三原郡の南淡町というと、ぴんときません。淡路島の南にある町です。そこの北阿万農協の運営を視察しました。

耕地面積は、平均わずかに50アール。こんな狭い面積をよく活用し、昭和35年度の平均粗収入は、43万円になっています。

北阿万の特産は玉ねぎと乳。玉ねぎは全国的に有名な産地です。見渡すかぎり玉ねぎばかりで、中に点々と乾燥小屋がありました。普通の木小屋みたいな粗末なもので、四方から風が入り、つるしてある玉ねぎが乾燥する、といった具合いです。

統一した品種を、集団的に栽培しています。貯蔵施設があるので、一年中を通じて出荷できます。選別して、品質を高め、農協が共同出荷をしています。だから、消費地でも、北阿万の玉ねぎといえば、信用も高く値もよいわけです。種まきから、販売のときの、代金プール計算にいたるまで、ほんとにみごとなチームワークでした。

これまでになるには、苦しい道もあったでしょうが、立派な伝統ができあがったのです。ここまでこなければ。小規模の産物を、あれこれと作るのでは、いつまでたっても〝商品〟はできない——と視察団の人たちは、思わずタメ息をもらしたそうです。そばで仕事している農家の主婦にきいたところ、たまねぎ畑は、全部薬剤処理がしてありました。主産地経営として、徹底していました。

乳牛の子も、先進地乳牛だというので、九州方面へ値よく売れると聞きました。

乳牛とたまねぎ。この二つにふんばって、わずか平均50アールの北阿万は、高い経営を続けており、これからもっと

もっと高度になってゆくことでしょう。

×

乾燥小屋で風乾した玉ねぎは、低温倉庫にもってゆき、芽が出ないように、処理します。遅く出荷するものは、こうして時期を待ち、毎月平均して売ってゆくのです。こうなると、他地方の玉ねぎが、品質では、とても追つきません。

役場と農協が、がっちりと手を握り、農事センターの運営には、なにかしら底力があった。

福岡県山門郡三橋町

むかしから畜産の盛んな町です。町内に家畜市場もあり、肉牛や豚の飼育者が多いところです。にわとりは現在3万羽を突破しています。1戸平均30羽ほど。ところが廃鶏は、むかしながらのやり方で、安く商人に売り、肉もほとんど食べなかったのです。こんな不経済な……と食肉処理の共同施設を作って、鶏をどしどし解体しました。

その結果、農家は安い鶏肉をいつでも食ぜんにのせることができるようになりました。肉類の消費は、当然増加する一方です。約32坪の施設には、冷凍室や、燻製室もあります。冷凍すれば、廃鶏のないときでも供給できますし、燻製すれば農繁期の食生活にも、かなり助かります。ずいぶんと、農家から感謝されているようです。

この施設は、廃鶏処理に重点を置いていたので、と殺権は獲得していません。とりたかったが、業者の反対でとれなかったのです。

×

大内町でも、これから畜産が盛んになり、鶏や豚がふえればこうした施設がどうしても必要になりましょう。農家が自分で生産したものを、販売にいたるまで一貫して処理加工し、収入をふやすことも必要でしょう。

また、自分たちが生産したものを、一度売って、高い値段で買わなければならぬというのもばからしい話です。

と殺権は、と殺場を設け、牛馬、豚、山羊などをと殺解体しますと、一頭ごとに税金がかかります。

二束三文に売って高く買う。そんなバカな

食肉処理施設ができてトリの肉が安くなりよく食べだした。

香川県三豊郡大野原町

大野原町にも、総鉄筋コンクリートの低温倉庫がありました。1万4千俵の米を入れることができます。〝フレオンガス直接ぼうちょう強制通風冷却式〟という、ややこしい名前の設備です。もちろん野菜も貯蔵でき、ここで出荷時期や量の調節をやるわけです。1千万円かけたそうです。

徳島といえば阿波の国。阿波のバカ踊りも有名なら、藍の産地としても聞えています。徳川時代に栄えた伝統はいまに残り農民は非常に商才にたけております。自然、目先きをきかせて作物の選択をやり、淡路の北阿万とはまったく違った経営方式です。一方が徹底した一本化なら、こちらは才にまかせての〝なんでも屋〟といったような。

×

徳島市に接した、近郊農村地帯で、いろんな点が、大内町と似ています。視察の対象は、農事センターでしたが、大内町にとっては、あまり参考になりませんでした。設備は、展示室や実験室、生活改善のモデル展示室、家畜の診察室と、なかなか整っていますが、経営行為とのつながりがないのです。考えたり実験したりで、技術研修の場にはなります。しかし、農家の経営に立入って、相談相手になり、実際に収入がふえるようにお世話する点がないのです。

×

これは、農協の運営が、うまくいっているためかもしれません。賢こい農民の集りですから農事センターで、そこまで立入るとなると、議論百出で、やりきれたものではないのかもしれません。だが、この〝なんでも屋農業〟の種別を見てみましょう。米、麦、ばれいしょ、甘しょ、菜種、たばこ、花、果樹、飼料作物、そさい、藍、雑穀。びっくりするほどたくさんあります。農家戸数1千300戸、耕地の平均80アール。戸数の40％は50アール以下の農家で、副業に強く頼っています。この状態のなかから、多才な農民を、一つの方向にまとめ、名柄の通った特産地に育てあげてゆく夢——それが農事センターにかけてあるのかもしれません。

×

フォードソン・トラクターを町が購入し、耕地の深耕で10アール米5斗の増収をあげていました。深耕と砕土が10アール1千800円の使用料です。これが動機となって、隣接地域に6台も大型のトラクターが入ったそうです。

大型トラクターで深耕し、10アール当り5斗の増収をしていた

徳島県板野郡藍住町

大内町広報

昭和36年6月1日
第70号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

御堀―柊間の県道新線は未定

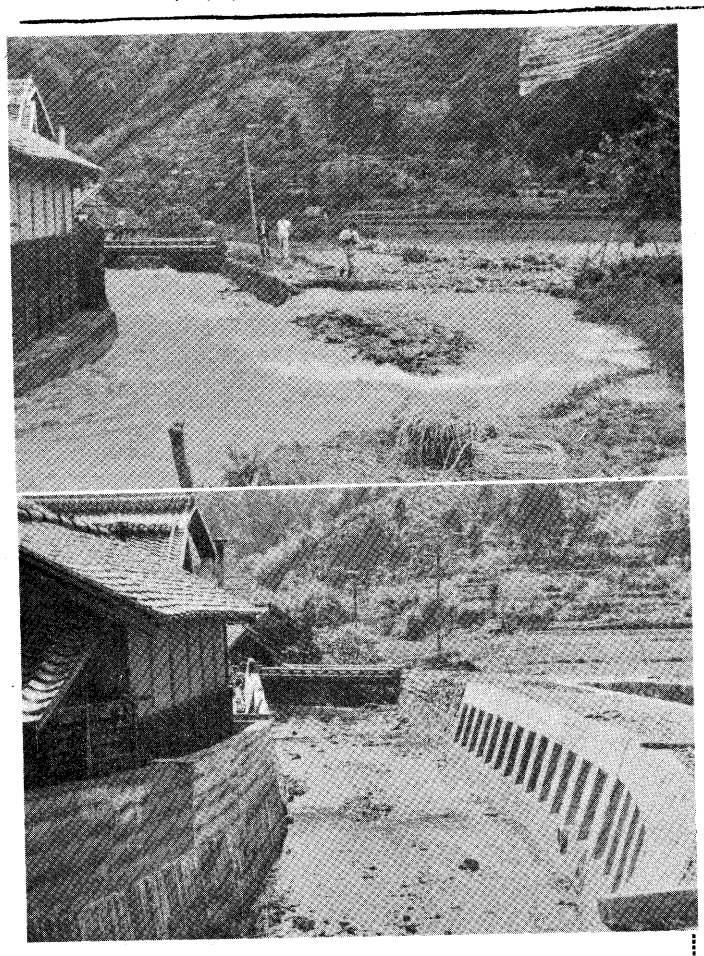
山の手線と中央線の、どちらに決ったかと、しきりにおたずねがあります。たぶん来月の末になるでしょう。どちらでもない第三の新線を測量するようになるかもしれません。いぜん、コントンとしています。

急いでも数秒の違い

歩行者が車のすぐ前やすぐうしろを横断したために起った事故が、全体の58％をしめています。反対方向からくる車にはねられるのです。また、かけ足だとつまずいて転ぶこともありますし……こんなとき運転者もよけにくいそうです。

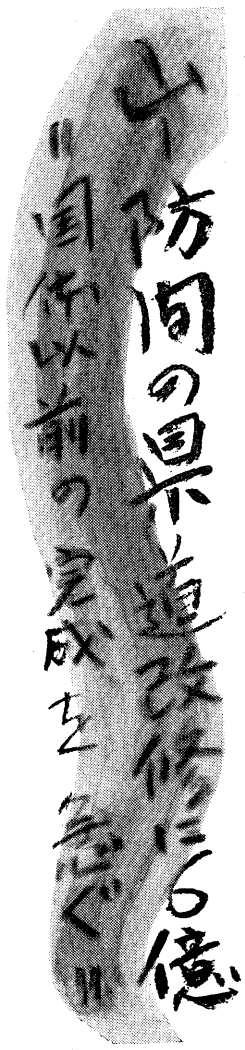
町の税金

6月　町民税（第一期）
　　軽自動車税



白水川の復旧――ほら，こんなに

昨年7月の豪雨で，ひどい災害をうけた白水川（仁保上郷一の瀬）の復旧状況です。上の写真が，災害のとき。同じ場所でいまの状況と，新旧を比較してみました。左の家は，山根公吾さん宅。コンクリートへいをこんなに高くしたんだから，もう大丈夫。



災害復旧35年度と同額で1000万

山口―防府間県道の、幅員拡張工事が、最近急速に進んでいます。もともと県下の重要路線であり、拡張もいつかはやらねばならなかったのですが、昭和38年度の国民体育大会の開催地に山口県が指定され、計画は急速に具体化してきました。どうせやるものなら、国体に間にあわせたいというところでしょう。

この総工費は5億9千万円に達し、鯖山トンネルの工事費は入っていません。新らしくトンネルを掘るか、現在のものを拡張してすますか、決定していないからです。それにしても約6億、大きな工事です。

地元負担が約2千万円

これだけの工事をすると、地元負担が、約5％かかります。6億の5％といえば、さっと3千万円です。これは山口―防府間の全部の長さに対してかかるので、大内町がしめる部分の長さからすると、約⅓、つまり2千万円ぐらいの町負担になりそうです。

これだけの金を、一時に出せといわれても、町財政としてはこまります。そこで、10年ぐらいの年賦ででも、毎年少しあて県に納めてすむよう要望することになっております。なるほど、道路が広くなると、地元の受益もありますが、2千万円という金高は、楽な負担ではありません。

×　×

35年度、上鯖山―下鯖山間が、ポツンポツンと、約1千㍍ほど拡張できました。36年度には、柊―下鯖山間をやる予定になっています。すでに八反田―下鯖山間の工事は始まっています。

いま、新鰐石橋の工事が進んでいるのを、ご存知の方も多いはず。橋は7月にはできるでしょうが、取付け道路ができねば通行できません。川向い地区は、ほとんど完成しています。しかし、山口市の上清水―新鰐石橋間が、家の立退きをしたりで、これはたいへんな工事です。従って、新鰐石橋の通行は、明年3月になる見込みです。

×　国体に間にあわせるといえば、38年の3月まで、あと2年たらず。急ピッチに工事がはかどって、大内町の幹線道路も、見違えるように立派になるでしょう。バスの運行もわざわざ除行しなくてすむし当然速くなります。朝夕、通勤の方々にとっては、ずいぶんと条件がよくなります。

御堀―柊間を、もっと直線コースになるよう新路線をきめる仕事も、間もなく決るでしょう。

×　×

35年度に復旧したもの

まず35年度にきであがった災害復旧工事から、申しあげましょう。

34年の災害で、▽仁保―名古脇線　岩倉上橋　黒石下橋　▽小鯖―河原一号線　畠田線　35年度災害で、▽仁保―岩倉川2件　名古脇線　並山線4件　名古脇上橋　平谷川　名古脇川　八王子橋　▽大内―中村橋　▽小鯖―鳴滝川　叶木1号線

事業費は、34年災害の分が130万、35年災害の分が590万。

これに、白水川などの災害関連事業（直接災害を受けなくても、放っておくと災害にかかるおそれのあるところを改修する事業）に300万円。合計1千20万円かけました。このうち70％は国が補助をだし町が250万円起債でまかなったので、やりくりつきました。

×　×

36年度の復旧予定は、つぎのとおりです。

34年災害＝▽小鯖―宮川2件。（約60万円）

35年災害＝▽仁保―白水川　岩倉下橋　金坪川　犬鳴川　名古脇川下　▽大内―御堀橋　▽小鯖―叶木川

35年災害の復旧費は約400万円、仁保上郷白水川などの災害関連事業の継続が約700万。しめて、1千160万円の予算を見ています。

×　×

災害復旧というわけではありませんが、やはり災害を防ぐ意味で、**問田川改修**はことしも引続いて行ないます。

いま改修がすんでいるのは出合い―永代橋の下流約100㍍のところ。36年度は、これを延長して永代橋まで、右岸（川上から見た右）を改修します。工費約2千100万、7月着工の予定。右岸は県道なので、交通を考え早くやるわけです。

たれでも自由に参加できる
――家政学級へどうぞ――

大内女子学園は廃止になりましたが、新らしく家政学級が発足しました。女子学園と同じような運営です。公民館の学級活動なので、年令をとわず、だれでも参加できる特色をもっています。

普通科と自由科にわかれ、系統的に時間を追って学習を続けてゆくのが普通科です。いわば女子学園的な運営方法をとっています。自由科は夜間で、すきなとき、自由に参加できます。どちらも教材費だけ負担すればよく、授業料はいりません。

つぎのような時間割でやっています。いかがでしょう、参加されては。

×　×

大内地区　和裁（月火）洋裁（水木）家事（金）茶（日曜午前）花（日午後）―以上普通科。自由科―和洋合同で毎週月水金の夜、5789の4カ月講座、場所中央公民館

小鯖地区―和裁（第一週第二週の土日）洋裁（第三第四週の土日）―小鯖小学作法室　茶華道（毎週金曜夜）―小鯖公民館で。

×

家政学級へ参加される手続きは、大内と小鯖の公民館へどうぞ。

青年学級や婦人学級も、5月から各地区別に開講しました。申込みは、いまからでも間にあいます。

公民館主事をふやす

地区ごとの公民館に、専任主事がいなくては、不便だ……といった不満が、従来たくさんありました。ことしから専任主事がきまりました。

○大内支館（館長―原田三雄氏、非常勤）
　主事　宮原　正悟
　書記　長沼　節子
○小鯖支館（館長―片岡支所長兼任）
　主事　重宗　敬三
○仁保支館（館長―石川支所長兼任）
　主事　中川　義夫

これで小鯖地区にも専任の主事がきまったわけで、地区担当主事の責任と仕事の分野が、はっきりといたしました。

＜ことしの国保予算＞

（単位万円）

歳入	▷加入者が，保険税としてだすもの	722
	▷国からの補助	649
	▷役場の一般会計から，国保に廻す金	260
	▷積立金の利息や県の補助金	17
	（合計	1648）
歳出	▷事務費	164
	▷加入しているみなさまの医療費	1248
	▷保健婦の給料や予防施設に	139
	▷保険税をつなぐ報償金（42万）5週年記念（23万）積立と予備費（37万）	102
	（合計	1648）

医療費のなかには、葬祭費（お産のとき千円、おとむらいのとき2千円）でお渡しする金の合計36万円が入っています。ことしから、入院の給食を始めたのと、葬祭費のおとむらいの場合を千円引きあげて2千円にしたので、280万円ほど不足するはずになっていました。35年度使わずにすんだ金250万があったので実際には30万ほどふえたわけです。早目に治療していただき、医療費が少しでも節約できれば、37年度は保険税をあげなくてすみます。

×　×

▽ことしの慰霊祭から、大内小鯖の英霊も、仁保招魂社に**あわせ祭る**ことになりました。遺族の方は、よく承知のことですが、一般にまだよく知られていないので……

▽**耕地関係**の災害復旧で、10万円以上のものは国の補助で完了しました。1戸当たりの負担が5千円～10万までの工事は、町が利子を補給するか、補助事業として取りあげることになっています。近く36年度に行う復旧工事の調査をします。

▽**土壌断面調査**は、640㌘ほど終りました。調査対象である1千670㌘のうち、すでに⅓程度できたわけです。施肥合理化のため、断面調査はことしも続いて行ないます。

▽住宅金融公庫広島支店では、36年度の増築資金の借入れ申込みを受付けています。申込の受付けは、もよりの公庫指定金融機関でやります。約2～9坪の増築で、標準建設費の70％以内を貸付けます。年利5分5厘。模様がえだと、標準建設費の35％以内。担保は、すでにある部分をふくめた建物全部に抵当権を設けます。

▽一般個人住宅申込者の**抽せん結果**がきまりました。B組の申込者で、イ43平方㍍（約13坪）以下は237番および順次10を加えるロ53平方㍍（約16坪）以下は、7番および順次12を加える。ハ53～67平方㍍（約20坪）以下は、2番および順次15を加える―簡易耐火または耐火構造のぶん。

先進地に学び、いますぐ町でとりあげたいこと

＝農業委員14名の意見＝

四つの先進地を視察した農業委員の意見を要約しました

×

▽ なんでも屋主義では、これからの農業は発展しない。先進地は大きなもの一つに徹底している。主産地形成に、行政の面からも力を入れよ。（山本繁正）

▽ 町と農協が、しっかり手を握って仕事をしてほしい。これが、あらゆる施策の根本でなければならないと思う。（西村　静）

▽ 北阿万では、大農機具を共同利用にしている。小規模経営では機械設備が、どうしても過剰投資になりやすい。共同利用で、優れた機具を入れたい。（鍔石一男）

▽ 有線放送も近く完成するし、農協と町とは、一体になって仕事してほしい。畜産の協同経営を、うんとのばしたい。（山本敏幸）

▽ 畜産は将来3倍にものびるそうだが、私たちの食ぜんにもぜひ畜肉をのせてゆきたい。食肉処理施設を作ったらどうだ。私たちの食生活も豊かになる。（荒瀬勇）

▽ 四つの先進地とも共通した点がある。小規模農家が立上るための畜産が盛んになっている。そして農協と町とが、指導や販路や金融面でてこ入れをしている。それから各種団体を、もっと強力に町が一本化する体制が必要なのではないか。組織が弱いようだが……（原田元介）

▽ 安い乳や肉がくえるように、いわばサービスセンター的なものを作ってほしい。（小林隆次）

▽ 行政機関は、どうぞ結論が出るまで指導してほしい、と思っている。中途半端な指導や、思いつきなどには閉口する。どうぞ結論がでるまで……（小林俊明）

▽ 私たちがきょう会議した内容なども、よく徹底するようにPRを考える。みんなの頭の切りかえで、自然に盛り上るのでなくちゃ立派な事業はできぬ（岩本新一）

▽ 交換分合がぜひ必要だ。あわせて土地条件の整備。農業労力を軽減してゆく方法と、真剣に取組みたい。（古屋豊槌）

▽ 青年男女は農業を好まぬ。家父長的な家族構成のなかで、ただ働きしている感じがするからだろう。法人化し、小規模でも企業として賃金を支払うことにしたらどうだろう。（小林　宗）

▽ と殺場が、小規模でもいいから町にほしい。食肉を生産するのだから、安く食いたい。（栗林孫弐）

▽ 農業構造の改善だなんぞいっても、一般の農家は、まだ関心がうすいようだ。実情を知り、考え実行に移す農民になれるよう、PRを真剣に考えてほしい。広報紙だけでは、じゅうぶんでない。（岡本儀作）

▽ 以前米作できず、いもを食っていたところが、今日畜産地帯として発展している。苦しさを越えて、今日をきずいている。昔の米作地帯は、逆に貧しくなってきつつある。大内町の専業農家も米作に頼りすぎ、基盤が弱い。畜産で強くしたい。（貞永　浩）

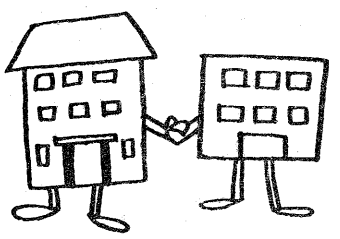
ここを視察した人たちは、農事センターの運営に、ショックを受けたようです。これなら、のびてゆくだろう、成功するだろうと、つぼにはまった施策のうまさを見ることができたからです。町のあらゆる団体が、町政のレールに、有機的なつながりを持っていました。とくに農協と役場の提携は、実にみごとだったと、いまも視察した人たちが、タメ息まじりに語るほどです。そこには人の和があり、ムダを許さぬチームワークの美しさがあり、いっも前にふみ出している大胆さがあったからです。

×

農事センターでは、育すうを

役場と農協が、がっちりと手を握り、農事センターの運営には、なにかしら底力があった。

福岡県山門郡三橋町



まったくうらやましいほどの協力一致

やって、実費で農家にわけていました。種豚も実費で各農家に利用されていました。養豚といい、養鶏といい、いまの規模はむしろ大内町より貧弱でした。

農政の基本政策で、役場と農協は完全に一致しており、役場の立案が、そっくり農協の実施段階に移れるよう、考えられていました。その場合、立案と実行のみぞを、より効果的にうめるため、この農事センターは工夫され、活動していました。

どうしたら、各農家がとり入れやすいだろうか――と、農民の立場にたって取組んでいました。

三橋町には特殊な産業もなく、立地条件がそう恵まれているわけでもありません。

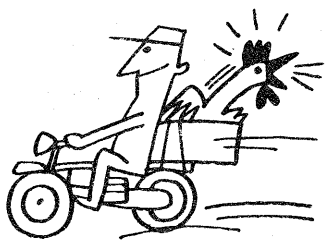
しかし、このシステム、このチームワークの恐ろしさを視察団は知ったのです。同時に、これからの大内町にとって、大きな教訓でした。

×

豚の貸付生産のやり方は、つぎのような方法です。

▽ 農民が豚を農協から借りるとき、評価委員会がどのくらいの値か評価します。その評価額が、農協からの借金となって、残るわけです。

しかし、豚が販売できれば、当然その借金はなくなります。利息は年9分（共同経営なら8分5厘）で、半分を町が補助します。豚には一頭につき掛金300円の町単独の家畜共済があり、とどのつまり農民は資本なしでやれる仕組みです。



二束三文に売って高く買う。
そんなバカな

むかしから畜産の盛んな町です。町内に家畜市場もあり、肉牛や豚の飼育者が多いところです。にわとりは現在3万羽を突破しています。1戸平均30羽ほど。ところが廃鶏は、むかしながらのやり方で、安く商人に売り、肉もほとんど食べなかったのです。こんな不経済な……と食肉処理の共同施設を作って、鶏をどしどし解体しました。

その結果、農家は安い鶏肉をいつでも食ぜんにのせることができるようになりました。肉類の消費は、当然増加する一方です。約32坪の施設には、冷凍室や、燻製室もあります。冷凍すれば、廃鶏のないときでも供給できますし、燻製すれば農繁期の食生活にも、かなり助かります。ずいぶんと、農家から感謝されているようです。

この施設は、廃鶏処理に重点を置いていたので、と殺権は獲得していません。とりたかったが、業者の反対でとれなかったのです。

×

大内町でも、これから畜産が盛んになり、鶏や豚がふえればこうした施設がどうしても必要になりましょう。農家が自分で生産したものを、販売にいたるまで一貫して処理加工し、収入をふやすことも必要でしょう。

また、自分たちが生産したものを、一度売って、高い値段で買わなければならぬというのもばからしい話です。

と殺権は、と殺場を設け、牛馬、豚、山羊などをと殺解体しやすい時期や量の調節をやるわけです。1千万円かけたそうで。

食肉処理施設ができてトリの肉が安くなりよく食べだした。

香川県三豊郡大野原町

大野原町にも、総鉄筋コンクリートの低温倉庫がありました。1万4千俵の米を入れることができます。〃フレオンガス直接ぼうちょう強制通風冷却式〃という、ややこしい名前の設備です。もちろん野菜も貯蔵でき、ここで出荷時期や量の調節をやるわけです。1千万円かけたそうで。

てもいいという許可を、県知事からもらったときの、いわば資格です。公衆衛生上の制約もきびしく、資本もかなりかかりますので、鶏の理くつにはゆきません。

で、近い将来大内町が畜産町に育ったときの問題です。大野原町も近くと殺権をとることでしょう。

×

大野原町にも、総鉄筋コンクリートの低温倉庫がありました。1万4千俵の米を入れることができます。〃フレオンガス直接ぼうちょう強制通風冷却式〃という、ややこしい名前の設備です。もちろん野菜も貯蔵でき、ここで出荷時期や量の調節をやるわけです。1千万円かけたそうで。

見渡すかぎりの玉ねぎ畑。酪農と玉ねぎに徹底し、生産から販売まで一貫していた。

兵庫県三原郡南淡町北阿万

三原郡の南淡町というと、ぴんときません。淡路島の南にある町です。そこの北阿万農協の運営を視察しました。

耕地面積は、平均わずかに50アール。こんな狭い面積をよく活用し、昭和35年度の平均粗収入は、43万円になっています。

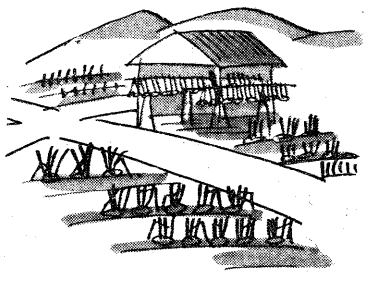
北阿万の特産は玉ねぎと乳。玉ねぎは全国的に有名な産地です。見渡すかぎり玉ねぎばかりで、中に点々と乾燥小屋がありました。普通の木小屋みたいな粗末なもので、四方から風が入り、つるしてある玉ねぎが乾燥する、といった具合いです。

統一した品種を、集団的に栽培しています。貯蔵施設があるので、一年中を通じて出荷できます。選別して、品質を高め、農協が共同出荷をしています。だから、消費地でも、北阿万の玉ねぎといえば、信用も高く値もよいわけです。種まきから、販売のときの、代金プール計算にいたるまで、ほんとにみごとなチームワークでした。

これまでになるには、苦しい道もあったでしょうが、立派な伝統ができあがったのです。ここまでこなければ。小規模の産物を、あれこれと作るのでは、いっまでたっても〃商品〃はできない――と視察団の人たちは、思わずタメ息をもらしたそうです。そばで仕事している農家の主婦にきいたところ、たまねぎ畑は、全部薬剤処理がしてありました。主産地経営として、徹底していました。

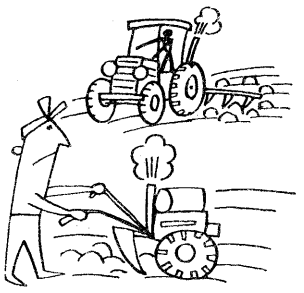
乳牛の子も、先進地乳牛だというので、九州方面へ値よく売れると聞きました。

乳牛とたまねぎ。この二つにふんばって、わずか平均50アールの北阿万は、高い経営を続けており、これからもっともっと高度になってゆくことでしょう。



×

乾燥小屋で風乾した玉ねぎは、低温倉庫にもってゆき、芽が出ないように、処理します。遅く出荷するものは、こうして時期を待ち、毎月平均して売ってゆくのです。こうなると、他地方の玉ねぎが、品質では、とても追つきません。



お世話する点がないのです。

×

これは、農協の運営が、うまくいっているためかもしれません。賢こい農民の集りですから農事センターで、そこまで立入るとなると、議論百出で、やりきれたものではないのかもしれません。だが、この〃なんでも屋農業〃の種別を見てみましょう。米、麦、ばれいしょ、甘しょ、菜種、たばこ、花、果樹、飼料作物、そさい、藍、雑穀。びっくりするほどたくさんあります。農家戸数1千300戸、耕地の平均80アール。戸数の40％は50アール以下の農家で、副業に強く頼っています。この状態のなかから、多才な農民を、一つの方向にまとめ、名柄の通った特産地に育てあげてゆく夢――それが農事センターにかけてあるのかもしれません。

×

徳島といえば阿波の国。阿波のバカ踊りも有名なら、藍の産地としても聞えています。徳川時代に栄えた伝統はいまに残り農民は非常に商才にたけております。自然、目先きをきかせて作物の選択をやり、淡路の北阿万とはまったく違った経営方式です。一方が徹底した一本化なら、こちらは才にまかせてのなんでも屋〃といったような。

×

徳島市に接した、近郊農村地帯で、いろんな点が、大内町と似ています。視察の対象は、農事センターでしたが、大内町にとっては、あまり参考になりませんでした。設備は、展示室や実験室、生活改善のモデル展示室、家畜の診察室と、なかなか整っていますが、経営行為とのつながりがないのです。考えたり実験したりで、技術研修の場にはなります。しかし、農家の経営に立入って、相談相手になり、実際に収入がふえるように

大型トラクターで深耕し、10アール当り5斗の増収をしていた

徳島県板野郡藍住町

これは〝ある部落の協同化の試案〟です

農業基本法と大内町農業との結びつきを探った前号の広報紙には、いろんな反響がありました。協同化の必要なことはわかっていても、さて実際にやるとなると、どうやっていいかわからぬ、もっと具体的にふれてくれというおしかりも受けました。ごもっともです。そうした前号の反省のうえに、もう一度、大内町農業のこれからを、２３ページで考えてみました。

部落といっても、戸数わずか９軒の、小さな集団です。なんとかして、もっと豊かな生活がしたいと、もう２年も前から、協同化の話はくすぶっていたのです。

しかし協同化すれば、ぜったいにうまくいくとか、こういう結果に落着くということになると、なかなかに自信がもてなかったわけです。この９軒の農家のうち、計算上黒字が出ているのは、たった２軒しかありません。ほかの７軒は赤字経営です。

＊

だから、どこかに活路を求めねば、じり貧の一途をたどるばかりだと、協同化によせる期待は、だんだん強まってきました。いったいどんな結果が出るか、試案を作ってみようじゃないかというところまできました。農業委員会や経済課の職員が、頭をしぼって考えたのが、この試案です。

＊

もちろん、協同化はこの部落の地形や土地条件、労力、資本、技術のすべてを考慮したものでなければ意味がありません。どこにも通用する試案など、どだい始めからあるものではありません。しかし、どうしてこの試案ができあがっていったかという過程を見ていただけば、〝実情に根ざしている試案〟ということで、ご参考にもなろうと考えたのです。

＊

同じ規模の農家が集っているなら、やりやすい点もありますが、小は28アールから152アールまでわかれています。従って所得も、４万２千円から33万円までと開いています。これで協同化したとき、低い所得の人があがり、高い所得の人があべこべに低くなるのではまず成り立たないでしょう。

＊

その点では、やりにくい第一の障害があります。しかしこの障害を乗りこえなければ、ほかの地区の参考になる試案にもならぬわけです。その意味で、この部落の協同化は、大内町の縮図みたいなものです。では、この部落の最高所得者も満足する試案、つまりどの家も33万以上の所得に引きあげる方法は？　そこから、この試案づくりのむつかしさが始まったのです。

＊

米麦だけでは、現在以上にはもうからないし、そ菜も不安定だし山を牧野にしようにも、傾斜が急でむつかしい。水田をそのままにして酪農を始めれば、飼料の面で頭数にかぎられる。豚も飼料的にむつかしい。タバコはいいが、とてものこと、これだけで全農家の所得引上げはできかねる。

――とまあ、八方ふさがりの状態でした。

＊

が、ともかく、ああでもないこうでもない、と思案を重ねたあげく、たどりついたのが〝酪農〟でした。残念ながら、この部落の場合は、酪農以外に所得倍増の方法を見つけることができませんでした。それにしても、資本はどのくらいか。第一、飼料畑をどうするか。そんな具体的なことがらを、関連のうえに、解決していったのです。で、その解決の過程として現在の経営の分析から、入ることにしましょう。

分析してみると　いろいろ不合理な点が

労力があまる

この部落の世帯員は、全部で43名です。このうち農作業に従事している人は、男女あわせて16人。この16人が、年間３千800日ほど従事しています。３千800といえば多いようですが、割ってみると１人当り237日。もちろん雨の日もありますから、農作業を年300日として計算すると、１人当り60日ほど労力はあまっている計算です。これを協同化したら、それこそたいへんです。島根県に視察にいったとき、農民が牛をつないで、くわでこつこつ耕していました。

――牛がいるのに、なぜ牛を使わないのです？

――ごもっとも。牛を使うとこの仕事は２日でできる。人力なら10日はかかる。速くすましてパチンコにでもいったら、かえって損だから……

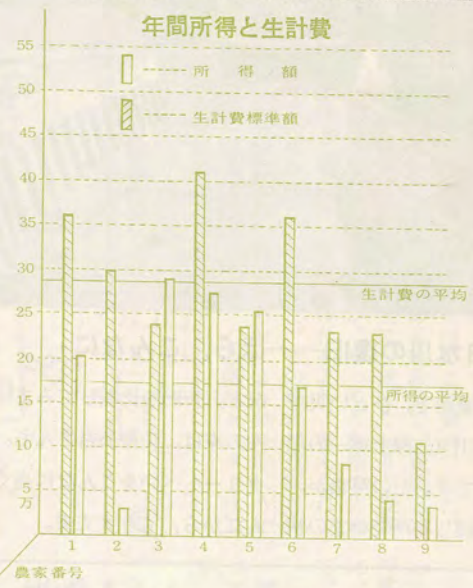
この笑い話と同じに、耕うん機でも入れて能率化していけば、ますます労力はあまってしまいます。

タバコはいいもうけ

タバコは10アール当り粗収入が９万円。一日の労働賃として出すと約１千100円にもなります。悪くありません。この部落は、優良産地として専売公社から認定されているので、増反ができますが、それでも120アールが限度のようです。いま25アール作っていますから、95アールふやせます。しかし、約60万の純益ですからこれも９軒で割ると、一軒当り７万円弱となって、あまりこれこれということになりません。

１日の労賃100～500円

農作業に従事した１日当りの所得は最低118円。最高477円です。この最高もタバコなどが入るから500円弱となるので普通300～400円といったところです。しかも従事しない日数まで入れると、この金額はもっともっと低くなります。年間の従事日数をふやし（それだけ仕事がないといけない）そのうえ１日当りの労賃が高い仕事を選ばなければ、とてもとても成り立つ話ではないのです。最高所得33万の人もこの協同化に参加する気持になるためには、少くとも平均40万の所得がないとむりでしょう。40×９＝360万円の所得を、どこから産みだすかで、とうとう酪農にゆきついたのです。しかし、ただ協同化すれば、それで成功するというわけにはゆきません。助けあい、はげましあってゆく気持のとけあいこそ、なにより第一に必要でしょうから。



←つぎのグラフは、９軒の農家の年間所得と、生活費との不つりあいをしめしたもの。結局この差額は、山を売るとか、貸労働収入でうめるとか直接農業経営外からもってきているわけです。

黒字農家はわずか２軒

グラフで、３番と５番の農家が黒字になっています。経営面積をぬきだしてみましょう。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	85アール 28 152 143 122 97 63 43 35

１町以上の農家は③④⑤番です。④番は家族数が多く、家庭的にも事情があって赤字になっています。これでみると、１町以上が⅓、残り⅔は１町以下です。だから、経営面積をうんとふやしていけばある程度解決策にはなりますが、もともと耕地の少ないところ、だれかが農業をやめないかぎり、耕地がふえるあてはありません。

これなら年収35～50万にゆける

さて左下のグラフを見ていただきましょう。従事１日当りの賃金と、年間１日当りの賃金とを、９軒の農家別に、グラフにしてみました。各農家の年間平均１日当り賃金はわずかに195円です。農業に従事した日の賃金で出すと、平均350円です。これを労働科学研究所がいっている、必要な標準収入と比較すると約500円もの開きがあります。これをどう引上げるかの問題です。

自由に掛算もできますが、いざ借るとなると、おっくうですね。もどすときのことを考えると、資本は多いほどいいなど、のんきなこともいえません。で、非常に質素なやり方を考えてみました。飼料も乳牛も、少しあてふやしてゆき、４年のちに、必要な所得が産れるように、設計してみました。畜舎も、丸太を伐って、次第に建て増ししてゆけるよう工夫しました。

そして、管理はもちろん、協同畜舎、協同管理です。

自家消費だけなら２㌶

酪農をやるとして、牧野の求めようがないため、思い切って水田を転換することにしました。全耕地7.7㌶のうち２㌶あてればじゅうぶんです。43人で48石、６俵できの計算で。タバコの協同栽培で1.2㌶とりますから、残りは4.5㌶。自家用のそ菜園を年間１人１アールとみて、43人分、約50アールみました。だから、いよいよの残りは4㌶。表にしますと、つぎのようになります。

(1)	年間を通じて使われる面積	4㌶
(2)	２回ほど飼料作物が作れると面積（タバコのある地）	1.2㌶
(3)	裏作だけ飼料が作れる面積（自家消費の水田あと地）	2㌶

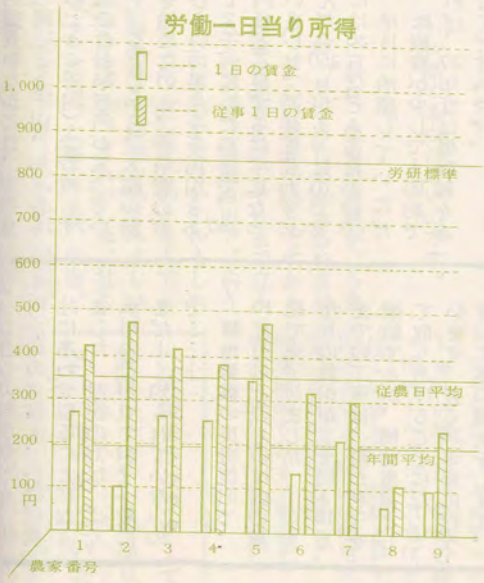
普通、乳牛飼料は一頭につき10アールを当てますから、(1)だけで40頭はかえるわけです。少々のできふできがあっても(2)(3)をあてにすれば、まったく大丈夫というところ。

×

出資金はいかほど

紙のうえの計算で、これこれ資本があったらというならこれに運営費の30万円をたし、その80％を借り入れますから、365万の共同化資金が入ります。このうち55万円は、１年据置きで３年償還、310万円は３年据置き５年償還ですから、収入のなかからじゅうぶん返済してゆけます。

80％かりて、残り20％が自己資金ですが、金額にして91万あまり。１戸平均11万円になります。



畜舎（最低50～60坪）建設費	60万
牛の買入（１頭当り17万）17×15	＝255万
施設と尿槽	10万
水ヒん	20万
イ	25万
給う輪車	25万
タ	
耕三	32万
草刈機，さく乳機，ターロ，配電，カッサイ建設費	
合計	427万

一年の労働わずか171日

以上の労働が、16人の人たちの協同で、つぎのように。

5頭以上だと１頭当り管理時間　370時間	
370×40＝14,800時	
１日８時間で割り	1,850日
（これが乳牛）	
タバコ10アール50人役	
1.2㌶	600日
２㌶の自家消費田（耕うん機使い10アール14日。共同作業場で、一括作業した場合です）	280日
	2,730日
16人　年300日	4,800
あまり	2,070日

まずまず所得倍増

乳牛一頭当りの年間純益は７万６千800円です。（これは償還も差引いた金額です）

76,800×40頭＝307万2,000円	
タバコの収益（1.2㌶分）59万8,000円	
	367万
水田を飼料畑に提供している所有者に（10アール１万円の借賃）	
5㌶	50万円
	317万
（平均年収）	
317万÷９戸＝35万2,200円	
（これで，最高の水田提供者は1.5㌶15万円を加えるので，なる	約50万円と

これで35万～50万の、収入確保の設計書ができました。部落の平均年収17万円に比較すると、まず所得倍増です。

日本農業が大きく転換しようとするとき、大内町の農業もまた例外ではなさそうです。そこで、これからをどうしてゆくか――3人の専業農家の方に集ってもらって、遠慮のないところを、はきだしてもらいました。いろいろと違った意見の方もいらっしゃると存じます。そうした意見を大きくよりあわせて、よりよい方向と方法を見出したい――そんな願いから、町の農業委員会がこの座談会を企画いたしました。どうぞ、いろんな意見をおよせくださるようお待ちします。とく名座談会なので○◇△で氏名を表現しました。では〝これからを、どうするか〟

これからの農業をどうするか　3人の匿名座談会

協同化はやりたいが、人の和がとれるか

○　これからはぜひ協同経営にもってゆきたい。その気持はやまやまだが、人の和がとれるかどうか。これが一番心配だ。

◇　私のとこもやりたい。しかし、ほとんどが兼業農家でサラリーマンだ。いまいわれているような協同経営はてんでできない。生活のしかたがまったく違うから…近いところで、同じ規模や経営形態の農家はないから、遠くの農家と結ばねばならぬ。これがまたカンタンなようで、そうはいかない。

△　大内町の場合、二つのケースがあるわけだ。規模の小さい専業がかたまっているところと、兼業のなかにポツンと専業があるところとね。それぞれ協同化といっても、方法も違うし、問題もあるわけだ。

○　私のとこなど、全部専業だが、経営規模が、ドレミファだ。

△　なに？　それは。

○　高低がある。（笑声）規模の小さい人は、足もとに火がついているし、すぐにもやりたい。まだやれる人はさわがない。だから、なかなか機運が熟さない。

◇　同じ年配の人が集まらぬと、協同化はむつかしいね。としよりはどうしても消極的になる。これまでもすんだから、これからもなんとか……とても理論じゃ押せない。

関連法案を見ねば、農基法も信頼できぬ

◇　協同化のいいということ

協業は会社経営よりむつかしい

△　協同化にしても、兼業の中の専業と、専業ばかりじゃゆき方が違う。

◇　私のところは、ほとんど兼業だから、一つの農事会社みたいなのを作りたいと思っている。専業が兼業の協同化の中心になってゆくんだ。会社が委託の形で、耕作権をもってゆく。これで大型機械が入れば、ざっと5町程度かなあ。能率化してくるし、専業が運営者だから、一人でやりやすい。兼業は、飯米がほしいのだから、配当は現物でということだ。

○　私のところは、専業ばかりで、表面協同化しやすい条件はそろっているようだが、やはり問題はある。労働力の個人差をどうするかという点もある。ある人が10で、他の人が7だとしても、労働賃としては同等にみなければならぬ。

△　しかし、酪農をやる同合には、労働の個人差はなくなるよ。それに機械化したら、機械の能力に依存する場合が多いから、それは比較的問題にしなくていい。できだか制でできると思う。

◇　いまの大工場が、熟練工を必要としない方向を目指しているようにね。

○　まだある。所得の高い人も低い人も、現在より収入がふえるのでなければ、協同化はなりたたない。ワクのなかの再配分じゃまずできない。

あまった労力のやり場が問題

△　これで計画どおりゆけば、つまり水揚げ47万円です。これに対し、支出はつぎのようになっています。

成鶏飼料代	219,971円
育すう飼料代	49,573
器具	5,434
薬品	5,130
設備費	2,590
ひな代	22,170
利益	**165,214**
合計	470,082

年間16万円の利益は、婦人が1人、1日4時間ほど従事して生みだしています。

これからの養鶏事業は、大規模飼育でなければとてもやれないというので、最近では一万羽養鶏がとなえられています。大規模飼育でないと採算があわないとなれば資本にかぎりがある人たちはついてゆけません。将来の方向を、種鶏卵に向けるべきだとして、養鶏農協も、力を入れています。技術でゆける種鶏の方向だけが、大資本に対抗できる、ただ一つの方法であろうというわけで。

へたをすると、〝あほうのとり飼い〟になりかねない養鶏事業で種鶏の採算は、とくにいいようです。種鶏は白痢病にかかると種卵がとれませんから、技術的にむつかしくて…という批評がありますが、やってみればそれほどでもないそうです。なにしろ食用卵の倍から3倍の価格で売れますし、130羽で16万円の年収をあげることもできるわけです。

実際に130羽ほど種鶏採卵をやっている人の、年間の収益を見せていただきました。普通1羽当りの年間利益が、5百円ぐらいであるのに、この場合は1千2百70円になりました。まず収入の方から見てみましょう。

種鶏なら130羽で年収16万円

種卵代	240,152円
鶏卵代	192,934
とうたの鶏代	15,896
おすの売上げ	1,600
鶏糞	19,500
合計	470,082

間もなく発足する農業の〈近代化資金制度〉

近代化資金の利息は、最高7分5厘です。農業のように資金回転の悪い事業に7分5厘など高すぎるという声は、あちこちにあります。たしかにそうですが、ことしはこれでいくようです。しかし、県が利子補給をし、市町村や農協もこれに協力して、**平均6分以内**に落つきそうです。

☘

国の制度としては、農業用施設（農舎、農機具、果樹、乳牛など）の改良や購入資金にかぎられています。しかし、山口県の**実情にそうように**、営農資金、共同生活改善施設、林業用の機械器具、肉豚の購入資金などもふくめて、活用の幅を広げています。借入れる限度は、個人の最高100万円（特定の人については200万）協同経営でやる場合には1千万円になる予定です。

☘

36年度の県予算では、融資額が8億3千万円となっています。35年度に融資した額の2倍に当たります。しかし、この融資制度は、だれでも利用できるわけでなく、市町村の新生計画に組み入れてあるとか、特産地として認めたとか、畜産の承認地とかで、市町村の重点事業に優先して融資することになっています。これからの農業は、小さな規模の生産出荷販売ではどうにもなりませんから、近県の動き、県全体の動き、大内町のこれからの構想――すべて考慮したうえで、細かく設計書を作る必要があります。

☘

この融資の債務保証は、新らしく設立予定の**農業信用基金協会**が行ないます。いままであった農業信用協会と別個に設ける予定になっています。この基金協会の債務保証に必要な基金は、国と県が半分を負担、残り半分を市町村と農協などが、負担することになります。

☘

農業近代化資金の償還期間は、据置期間もふくめて最高15年、据置期間は5年が最高になる見通しです。なにしろ、法律で新らしくきまることなので、はっきり決定してから、改めてくわしくお報らせすることにいたしましょう。

↑②ちまきたべたべ……川向いの〝るり学園〟で，こどもたちの合唱。

↑⑤みんな見ててよ。うまくやるからね。

こどもの日

→①ほらネ、おかあちゃんたちだって、いっしょうけんめいやれば……

↑③うちの孫が出ているよ、とおばあさん。思ったよりよくやれる、と満足げなおかあさん。

←④おもしろかったけど、長いのはタイクツだね。でも、あくびをかくすエチケットは知っているよ。

ことしのこどもの日、町内の各部落では、それぞれこどもの集いをもちました。こどもたちがすくすく育つように祈りと願いをこめて、もはや年中行事としての根を降ろしました。

この写真は、②を川向いの〝**るり学園**〟（精神薄弱児の教育施設、大内町内にも該当することもさんが15名ほどいます。）――で、①③④⑤を上小鯖2区のこども会でとりました。

×

2区のこども会は、すこし特色をもっています。

――こどもたちの遊戯を見たり歌を聞いたりするのは、けっこう楽しいけれど、これじゃ親を楽しませるための行事みたいだといわれましてね。それじゃ、ひとつおかあさんたちが、なにかやって見せよう、ということになったのです。こどもたちに、なにかおやりといっても、親が卒先しなきゃやりませんからね。勉強でも同じですよ。――

こうして、母親たちの合奏や合唱が、もう数年前から続いています。この母親たちの真剣さが、こどもたちの教育に、きっとなにかをもたらすでしょう。

×

るり学園で――精薄児の教育は、まったくもってたいへんなことです。集注力が弱いので、すぐ横を向くし、あきっぽいし、疲れやすく……いやはや、とてもとても。

あちこちの……こんな話

水田と山では、とうとう山が勝つということ

大内奥山の栗林健一さんから聞いた話。水田の1㌃を40年間の平均でみると、ざっと23万円だと。土地のいい山林1㌃にすぎ3千本植え、7分どまりで40年後に2千本。1本当り5千円で、この代金が1千万円。すると年平均25万円で、水田よりよいわけ。ただしです。一度にうると税金がボックリ。これはおもしろくない。それから、40年待てばの話で、すぐすぐというわけにいきません。肥えた山をお持ちの方に通用する話。

ことしの1月1日からメートル法になって、材積計算が1立方㍍になりました。あなたの山は40リューベありますといったところで、どうもピンときません。1立方㍍は255才ですから

255才×40＝10200才

10200÷70＝143万6半5斗

――こうすればと、栗林さんの親切な気付きです。

養豚の協同経営があちこちにできたこと

仁保高畠では、300頭を目標にして、4軒の協同です。現在種豚を50頭ほど入れています。1戸当たり30～40万の年収をめざして、着々。

大内の小野では、野村竹一さんら6名の協同、たえず種豚を10頭は確保して、200～250頭の生産を目論んでいます。平均して20万程度の年収になるでしょう。

このほか、大内の宮の馬場では、山根宏茂さんら3人が計画中。仁保上郷金坪の内田[illegible]

松柄で、和牛生産の話が起っていること

松柄は仁保の奥の奥。徳地町八坂に接した不便なところです。松村四郎さんや山岡一衛さんら7人が、山を利用して和牛を生産したいと、計画をねっています。将来は50頭ぐらいにしたいと。乳牛の育成も、山を利用すればできそうですし、こといっぱい考えをまとめ、たぶん発足は来春からになるでしょう。一頭当たり5万の利益をあげれば1戸当たり30万は確保できるでしょう。

一貫野も鯖山も、経営はまず順調であること

酪農の協同経営で、各地から視察者が続いている一貫野と鯖山牧場。いまのところ経営は順調で、関係者は安堵しています。鯖山は1石4斗を一貫野は8斗の乳を連日出しています。

稔畑で、しいたけの不時栽培がはじまったこと

小鯖の稔畑で、池田幸人さんら3人が計画、すでに発足しています。いつも5万5千本ぐらいの原木をもち、1人年収30万ぐらいを目標に。温室は20坪、水槽は3基。

衾業6人で耕うん機

ある部落。それぞれ勤めをもっている人たち6人が、共同で買いました。機械なら、朝夕勤めの余暇に使って、疲れないし……兼業農家協業

大内町広報

昭和36年7月10日
第71号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

この広報紙は7月10日本庁より支所へ発送

豪雨でまたも被害

7月5・6日の豪雨で一貫野バス道路が不通になるし、大内中グラウンドの東側が壊れるなど、河川、橋、農地と各種の被害が続出しました。一番大きい被害は、渡樋カ河内林道があちこち崩壊したことでした。

小被害がせめても

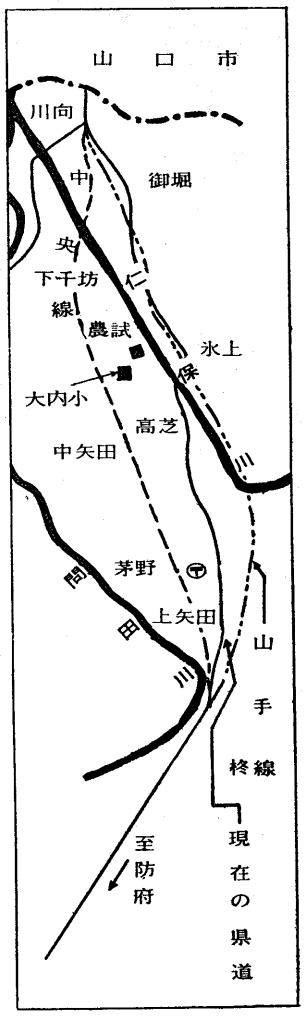
5・6日の豪雨でいたんだものは、提防2、道路7、河川2、床下浸水30戸、農用施設2、林道1、作物の流失や冠水が5秒など。せめても、この程度の被害ですんだことは、幸いでした。

納税

固定資産税（第二期）
所得税（第一期）
ともに納期は7月末です

新設の県道は中央線（農試南側）に決まる

あとの管理やさしく工事費安いという理由で



中央線というのは、かりに名付けた名前です。大内地区の中央部をつっ切って通るからです。山手線というのも、かりの名前で、現在の県道より北に、山の手を通過するから名付けたことでした。このほかに中間線、これは山手線と中央線の中間で、ほとんど現在の県道にそった路線でした。

県はこの3路線を測量し、経費や施設後の長短を検討した結果、中央線が一番適当であるという、結論を出しました。

各路線の利害得失は

6月30日、町議会の協議会で県道路課長が説明したところによると、三つの路線の比較は、つぎのようでした。

①距離でいえば、中央線が一番短かい。

②現在の道路より0.5～1㍍高くなるが、これを中間線でやると、交通障害が大きくてまず不可能。

③人家が近くにあると、拡張土盛りが、たいへんな工事になるが、その点中央線では人家が軒家しかかからない。ほとんど田の中の埋立て工事である。

④山手線では、壊す土を埋立てて使って便利なようだが半分盛り土、半分削りとりで舗装すると、舗装の寿命が短かくて、結果的には維持に金がかかる。

⑤山手線、中間線、中央線を比較したとき、工費では中央線が二千万円安い。

⑥中間線は、現在の永上橋のところの暗きょが改修するとなると難工事であるし。費もうんとかかるし。

×

以上の理由から、県は中央線をやる結論を出して、町に協力を求めてきました。

ところが、道路が南と北とどちらを通るかで、沿道の人たちの利害は違ってきます。とくに地元の意向や希望を代弁する町議会議員の立場は、非常に苦しいものがあったようです。県道改修促進の協力委員会（関係部落の代表で構成）は、どちらに決っても協力すると決議していましたしこの県道改修6億円の地元負担約2千万円をどうするかの審議も含めて、いきおい決定は町議会に委かされた形になっていました。

難行の末中央線へ

新路線が御堀―柊間であるため、利害関係は大内地区の議員の間が、一番深刻でありました。かといって工事の実施が迫っているので、討論を重ねているわけにもまいりません。それぞれの利害をこえて、中央線を了解し、工事実現に全面的に協力をすると議会では申し合わせました。

×

新線完成後も現在の県道は、県道としていままでどおり管理してもらうことになっています。それと、仁保道路も上矢田から新県道への連絡道として延長されることになりました。新線工事は1億円あまりの予算で、間もなく着工する計画です。

これまでの集会に見られなかった怒りが，会場全体を包んでいた。

この田も，路肩の杭までもうすぐ埋立てる。道幅はいままでの倍以上になる。（小鯖八反田で）

交換機遅れ、有線の発足のびる

6月から発足予定であった有線放送は、交換機の到着が遅れ、まだ発足できません。発注した電気メーカーの広島支店が、安請合いしたのが原因のようです。もちろん、全国的な有線放送ばやりで、注文が殺到したためもあるでしょう。

大内農協へは、7月1日にやっと残りの交換機が届き、発足を15日からと決めています。小鯖農協へは、残念ながら8月中旬でないとこないようで、発足はどうしても9月1日になる予定です。

大内、小鯖とも、立派な放送室ができました。録音室、交換室、宿直室とそろって、広さもじゅうぶんです。大内は役場の宿直室と農協倉庫との間に、小鯖は事務所裏の農業倉庫の2階を改造して設備しました。

当初の予定どおり、3地区の農協の機材や人員を集めて〃有線放送農協の連合体〃を作ると、運営の面で効果的ですが、その発足は、急いでもおそらく10月1日以後になるでしょう。

申込み多く土改が悲鳴

町の一般財源から、土地改良区へは毎年60万円ほど補助しています。35年度は、それぞれの工事に補助を出して、60万円のうちが少しあまりました。ところがことしは、申込みが多く、すでに補助額を突破した状態で、土地改良区の関係者は悲鳴をあげています。

昨年は工事が20件で、350万円かけました。ことしは30件に達し、工事額も588万円になっています。内訳を申しますと、大内土改が8件297万、仁保土改が10件168万、小鯖土改が12件124万です。

仁保土地改良区総代の改選

は、定数のため無投票。当選決定は7月15日。

要求に不賛成な政党は支持しない

「私は政友会の高橋総裁以来の、自民党のコチコチであるが、米価値上げに同調せぬ政党は、いっさい支持しない。」

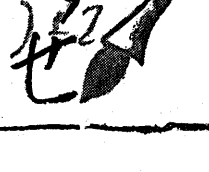
上小鯖の伊藤正一さんが、日ごろ温厚な人柄に似ず、声をふりしぼって叫びました。

7月5日の朝です。大内町の米価値上げ農民大会は、農試のグラウンドで、約1千500名参加のもとに開かれました。値上りムードのなかに取り残されようとする農民の怒りが爆発したのです。

小鯖の伊藤正一さん（元小鯖村議長）に続いて、大内の中野正さん（現町議）仁保の山本重正さん（一貫野協同牧場代表）が演壇に立って、〃全国的な農民の団結で要求米価をかち取ろう〃と呼びかけました。かって団結することを知らなかった私たち農民が、統一要求の旗じるしの下に結合できたことは、過去何百年間の農民生活になかった。新らしい局面の展開であると、意見発表者の一人が叫んだとき、期せずして会場全体からわれるような拍手がわきましたらの怒りが爆発したのです。

大会の決議で、基本米価を、正味150㌔当り平均1万1千914円以上に要望する――ときまりました。1俵当りで計算すると、4千765円以上ということになります。

そして、大会宣言では――我々は、今日まで一人一人の不平不満をまとめて、統一要求をしなかった。だが、国をあげての所得倍増ムードの中で、農業基本法が成立し、町の人たちに負けない所得倍増の生活を、国の責任において進めるという。将来はともかく、全農業所得の53％をしめる米価の決定は、我々のきょうの生活に重大な影響を持つ。生産費を償なう最低の要求米価を実現するため、全国農民とともに立つ――ことを決めました。



▽ **町史談会**では、8月に機関誌を発行の予定。実費（100円以内）でわけます。申込みは町教委内史談会へ。

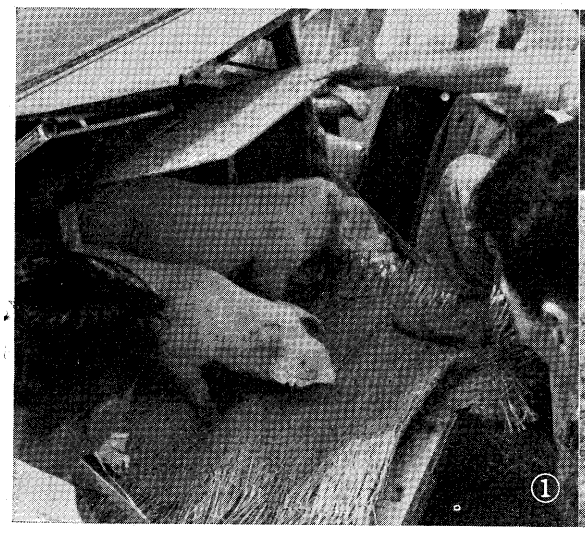
▽ **国家公務員**の初級試験の申込みは、7月10～8月10日まで。高校卒程度。郵政税務、電気、機械、土木、建築、化学、農業、農業土木、林業の職種になっています。初任給8千300円のほか手当。照会は役場総務課庶務係りへ。

▽ 中小企業**振興資金**を利用される方は、経済課振興係りへ。経営合理化のための近代化設備と、共同の施設に貸出すことになっています。ことしの予算は、県下で6千万円。金額は、近代化設備で10～300万、共同施設は20万以上です。無利息で一年据置き。四年償還。

▽ **小企業**対策特別基金というのがあります。一般の金融機関から融資を受けにくい方を対象にしています。企業診断をやり、その結果をまって、県が直接融資します。農林業以外で、従業員10人以下（商業やサービス業は3人以下）のもの。年利6分、20万以内、2年償還。ことしは県下で約1千万円ほど。

▽ 中小企業で、長期**運転資金**の必要な方には、〃長期安定資金融資保証制度〃があります。20万円以下の小口融資の必要な方には、〃特別小口融資保証制度〃があります。ご照会は、経済課の振興係りか、県の中小企業課へ。

▽ **所得税**が、年間3千円以上の人は、納期が法的に決っています。7月が予定納税第一期の納期です。


①

②

③

◆ このページは読みやすさの実験をするため、左から右へ、つまり横組と同じ方向に組んであります。

ことしも荒神祭

る日も、遠くないでしょう。

とならんで多くの信仰を集め滝三宝荒神が、平河高倉荒神す。かって近在にひびいた鳴約20坪、80万円かかる予想で設計図はすでにできており、きりしていませんが、社殿のんでいます。敷地もまだはっで、いま新社殿を作る話が進

三宝荒神の総代約70名の間人波が続きました。

したが、町内各地から参詣の少なく、田植えも遅れていま夏祭りを催しました。雨量が月28日、鳴滝の三宝荒神では例年のとおり、ことしも6

とっておき

豪雨がなきゃいいが…

ます。

ったく豪雨には毎年悩まされさっそく役に立ちました。また日の豪雨に見舞われ、訓練はと思ったやさき、7月5・6ています。こなけりゃいいが部日本で、豪雨被害が続々出施しました。すでに近畿や中

提防に集って、水防訓練を実と班長が、大内殿河内の向原6月29日、町消防団の幹部

はるばる米国から

だろうと農林の畜産技師の話飼育者はきっとよだれを流すかり親豚に成長して、県下の県農林展示会ごろには、すっ関係者はひと安心。9月末のず、案外に元気であったのでに当たります。長旅にもめげ県農林の畜産研究室が、飼育究用として輸入したもので、ス2頭ほどとどきました。研仔豚（生後60日）がオスとメ6月28日、ランドレースの

公民館だより

協議会を，７月中旬に開きます。視聴覚は，16ミリ映写機の取扱技術者と社会教育の関係者が対象になっています。部落公民館の方は部落の公民館長（また文厚部長）が集って，連絡や協議をする集いです。

▷ 子ども会ごとのソフトボール大会など

７月下旬か８月上旬の予定です。チームは部落こども会ごとに編成し，子ども会の交換会も行事のなかに組み入れます。あわせて，部落子ども会の育成に関係している方々の協議会も，地区別に開く計画です。

▷ 夏物の仕立ては，安い青年学級へ

大内青年学級の家政部では，夏物仕立てを安く引受けています。ふだん着だとか，修理やぬいかえなど，どうぞお気軽にお申込みください。実習を兼ねてですから，うんと安あがりです。

▷ 大富地区のブユ退治が成功

夏の農作業には，例年ブユでいじめられてきました。いままで，しかたがないと，大富地区でも，あきらめていたのです。だから，竹の筒にボロ縄を入れて，このくすぶる煙でどうにかしのいでいたわけで。今年から，岡田公民館長を中心にして，ブユの駆除に乗りだしたのですが，すっかり退治ができました。ブユの吸傷が残らないと，肌をだいじにする若い女性も大喜び。まるで夢物語りだと地区全員の人が，感謝しあっています。協力すれば，なにごとでもできるという自信を，ブユ退治は残したようです。

▷ 青年，婦人学級を再会

農繁休業をしていた青年学級と婦人学級を７月から各地区いっせいに再会しています。どうぞ，おさそいあわせのうえ。

▷ 部落公民館と視聴覚の集い

視聴覚教育の研究会と，部落公民館の連絡

7月2日の集いには、63名ほど参加しました

〝ご苦労さん〟に疲れもふっとぶ

＝働らく少年たちの集い＝

全町で約90名の少年少女が、学業のかたわら働らいています。ほとんど新聞配達です。

7月2日の集いには、63名ほど参加しました

〝ご苦労さん〟に疲れもふっとぶ

＝働らく少年たちの集い＝

には親切な人がいて、家にでをゆさぶるのでしょう。なかが、働らく少年少女たちの魂解していてくれるという気持れしいそうです。それだけ理ぎらわれるのが、なによりうだとき、〝ご苦労さん〟とねだから、新聞をほうり込んなりな根気も必要でしょう。で、それも毎日となると、かまで、登校前の時間を惜しん小学校５６年から中学３年へんなようです。

寒い日もあり、なかなかたいですが、雨の日もあり、冬の面的には健康的な仕事のようで家ごとに配って歩く――表達物を受取りにゆき、自転車りました。朝早く起きて、配所の手伝いが残り５％ほどあ配達で、ヤクルトの配達や近ほとんど95％までが新聞の集会でした。

育ってほしい願いから生れた生活にめげず、明るく健康にした。働らく少年少女たちが町民課などが協議して開きま協議会、教育委員会、役場のこの集いは、町の社会福祉

ないでしょう。そして、ぬれぬれるのでは、泣くにも泣けかいしても、家についてから途中を、どんなに細かく心づと、一番こまります。配達のに、新聞受けが設備してない雨降りでもぬれないところ

新聞受けがあったらなあ

り小さい心を痛めています。単純な仕事のようでも、やはとがあると報告しています。少年は、犬にかみつかれたることもにが手です。１名の多いようです。犬にほえられと、こどをいただくこともるだの、とどくのが遅いなどその反面、雨で新聞がぬれました。

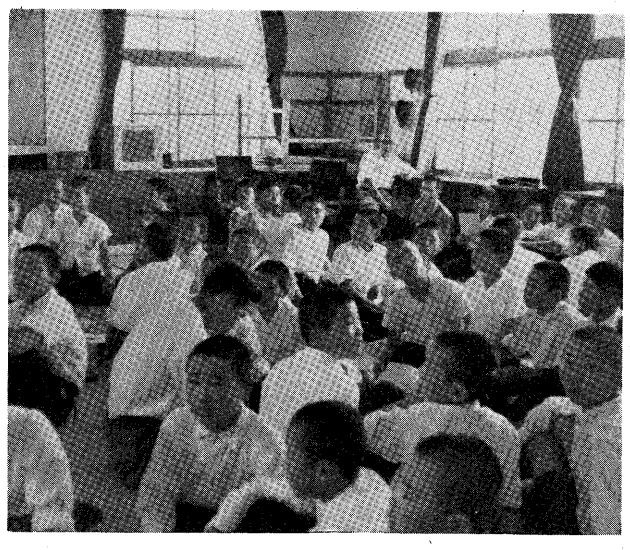
ということばで表現していまう。「とっても、うれしい」をもって、もらえるのでしょ少年少女たちは、感謝と誇りかなものであっても、働らく思えば、よしどんなにささや果に対するねぎらいの贈物とがあるそうで。仕事した結きたトマトなどを、くれるこ

蓄し、残りの半分で学用品な買ってもらうもの。半分を貯その中から学用品や日用品をを、そっくり家族に渡して、からでしょう。もらった賃金のありがたい味が、よくわかるのむつかしさと、手にした金ん。この若さで、働らくことにはなれないのかもしれませを、気軽にはたいてしまう気れだけ苦労して手にした賃金全員が貯蓄していました。そ手に入れた賃金を、ほとんど

雨の日も風の日も働らいて

ほとんどが賃金を貯蓄

に備えつけたらいかがでしょ〝と書いた新聞受けを、各戸ないようです。〝ご苦労さま鯖も、だいたい30～40％が、まだ備えつけてないとか。小大内地区では、20～30％が部落だけは全戸あるそうで。聞受けがないそうです。高畠仁保では90～95％まで、新ごとは受けるし。た新聞を配達するなと、おこう。



行った。

10人づつグループになって、いろんな討議を

しい。（新聞によって違い

▽ もっと配達料をあげてほしい。

わしく封筒のうえに書いて金になるんだと、内容をく

▽ こういうわけで、この賃みますと、

て、少年たちの声をまとめてにゆきませんが、賃金についてこにもあてはまるというわけの支払い方法が違うので、どの新聞販売店によって、賃金ていました。

ても、ほとんど全員が貯蓄し蓄か、半分貯蓄かの差はあっわけられるようです。全額貯大きくわけて、この二種類にどを計画的に買っているものどの新聞もというわけでは

の話をして激励しました。村上るり学園長も、苦学時代と激励の拍手を贈りました。いじけず明るく育ってほしいれら働らく少年少女たちが、

この日集った関係者は、こした目標があるのでしょう。計を助けるという、はっきりの少年少女たちには、もう家人たちが、15％いました。こちで、父母のどちらかがない

この日集った少年少女のう

15％が片親

してほしい。

▽ きまった支払い日に、渡ないようで）

便利帳

▽ **小学校**では、75％の子ど病があります。

やロイマチ。腎臓病、心臓からくる病気には、神経痛

▽ **むし歯**や歯そうのうろう

ろに原因があるようで。がきを、なまけているとこいません。夜寝る前の歯みす。治療もほとんどされてもが歯の病気をもっていま

割までへせます。

で歯の中の細菌を、3～6ればウガイだけでも。これとされています。できなけ分間、歯をみがくのがよいには、食後3分間以内に3係があるわけです。理想的計87％の患者は、入歯と関一部入歯の人が23％も。合64％が総入歯の人でした。患者を800人ほど調べたら、

▽ ある学者が、**食道ガン**のがつけてあります。きには、わかるように臭い中に200分の1以上もれたとを慎重にしませんと。空気り火薬と同じに、取り扱いんが、爆発するので、やはん。だから毒性はありませ一酸化炭素も含んでいませもなく、都市ガスのように

▽ **プロパン**ガスは、色も臭ードは急行なみです。す。平均時速90㌔で、スピ日から電車が走っておりま

▽ **下関―小郡**間は、6月1す。

たんな形のものにかぎりまとか、タルマ型とか、かん止されています。ボール型きれいに洗えないので、禁のを子どもは喜びますが、器は、おもしろい形をしたした。ポリエチレン製の容クリームで2千300個ありま年1年間に7千本、アイス返品した清涼飲料水が、昨

▽ **違反品**として、捨てたり

大内町広報

昭和36年8月8日
第72号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 坂倉正義
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

大内小から 中部水害へ見舞

大内小学の児童会では長野県愛知県など中部日本の水害地へ、このほど見舞品を送りました。現金7千300円、見舞の手紙78通、そのほか鉛筆や消ゴムなどです。水害地の児童も、きっとよろこびましょう。

平和行進 町を通過

原水爆を禁止し、世界の平和を守る行進は、7月28・29・30と大内町を通過しました。昨年と違い、阿東町から仁保―山口―大道へと炎天下の徒歩行進をしたからです。須子町長は3日とも行進団を迎え、激励しました。

税金

8月 町民税第二期
9月 なし
早めにお納めください

ことしも7月豪雨の被害

〝さいわい少なくて一千二〇〇万円〟

1億の被害を受けた昨年の7月豪雨にくらべれば、さいわい軽くて、1千827万円の被害にとどまりました。

このたびの豪雨は、小鯖から仁保にかけて、山間部をぬって、多雨地帯となったために、大内地区では被害が軽くなっています。山地の崩壊や林道被害などが、1千250万円にのぼっていることからでもわかります。

被害を仕分けてみますと、つぎのとおりです。

土木関係 283万

▽河川では並山川、白水川、上小鯖川（鯖山）
▽道路では並山線
▽橋では深野小橋（仁保下郷）小河内橋、御堀仮橋

このなかで、大きい被害に対しては、公共土木災害復旧工事としての処置を、とっています。

耕地関係 200万

被害のあったのは、全部頭首工で、仁保一の瀬、丸山、大内千坊の各頭首工です。

8月4日行った県の査定で仁保上郷一の瀬頭首工は、部分被害として査定を通過いたしました。

山林関係 1千250万

▽山地の崩壊は一貫野、樋カ河内、並山、東山
▽林道は樋カ河内

山林関係では、林道の応急復旧を急ぐとともに、災害復旧の手続きをとっています。山地崩壊の緊急工事の査定は8月2日行なわれ、8～9割方は通過する見通しがつきました。

東山の谷どめ（えんていの小規模なもの）樋カ河内のえんていニカ所、一貫野と一の瀬のえんていが、査定を通過するだろうと予定しています

農業関係 90万

流失が8.3㌶、埋没0.5㌶（一貫野）冠水6.5㌶―御堀、問田上矢田といったところ。

8月4日行った県の査定で

このほか大内中学の校庭の一部が崩壊しましたが、すでに復旧は終りました。

もう50ミリ降ったら

このたびの豪雨は山間部に多く、低地部に少なかったため、山の被害の大きい割に、ほかの被害を比較的少なくくいとめることができました。そして雨量が、ぎりぎりの線で止ったことが、なによりさいわいなことでした。もう50ミリも降ったなら、5千万円の被害は覚悟すべきであったと、関係者は胸をなでおろしています。

山の被害のうち、樋カ河内林道は、とくにみじめでした。山を伐って56年したところは、根も枯れて山はだにしまりがなく、被害を受けやすいということを、よく証明してくれました。あふれだした水は、土砂をふきだし、谷をうめ、林道もずたずたに切ってしまったのです。

左の2枚の写真が、そのすさまじさを、物語ってくれるでしょう。

↑ **道路もまっ二つ**

芝張りして，立派にできあがっていた道路も，山崩れのために完全に押し流されてしまった。護岸の石垣からやり直すので，かなり大きな復旧工事になる。

→ **巨石がごろごろ**

橋が山くずれでつぶされ、別のところに川ができた。たち切られた道のあとには、巨大な石が、じゃがいものおばけみたいにごろごろ。水の強さに胆をつぶすといったところ。（2枚の写真 どちらも樋カ河内）

災害復旧など追加予算1400万

7月定例議会

条例の一部改正や 選管委員の選任

第二回の定例町議会は、7月27日開かれました。おもなことがらは

(1)追加更正予算1千400万円が決ったこと。
(2)町税賦課徴収条例の一部が改正になったこと。
(3)町の河川管理条例が決ったこと。
(4)大内小など、校舎新改築工事の請負契約を議会が認めたこと。
(5)選挙管理委員の改選を行なったこと……でした。

×

(1)…第1回の追加更正予算1千432万円が決って、総予算額は1億4千49万円になりました。おもな財源は、国の支出金が約400万円（これは公共土木災害復旧の補助金）と、前年度からの繰越金約800万円です。

これに対し、支出のおもなものは、土木費へ約800万、教育費へ約100万、産業経済費へ約300万といったところです。土木費のうち災害復旧費が約90％しめていますが、このなかにはこのたびの7月災害の復旧費は入っていません。3435・36年の災害復旧費ばかりです。

産業経済費300万のうち、200万円は、林道の災害復旧費です。このたびの水害の応急復旧費として、とりあえず計上しました。

×

(2)…町税賦課徴収条例の改正というと、むつかしく聞えますが、要点を拾いましょう。

◇65歳以上の方、未亡人、不具者の方など、いままで年収13万以下は課税しなかったのを、15万円以下と改めました。2万円ほど規準があがったわけです。

◇特別徴収（つまり源泉徴収）を、勤務先が変っても、転勤先の職場の長に、続いて依頼することができるようになりました。

◇町民税の税率は0.2％ほど昨年より低くなっています。勤労所得の人は、給与があがっているので税額も多少ふえるという内容が、くわしく現定してあります。禁止し、制限してある行ないをするときは、町長はすぐこれをとりしまることができます。土砂などを採取するときは、もちろん町長の許可を受けなければなりません。いままでも私たちが守ってきたことを、条例としてくわしく規定したのが〃河川管理条例〃です。どうかなと思われるときは、どうぞ施設課の方へご照会ください。

×

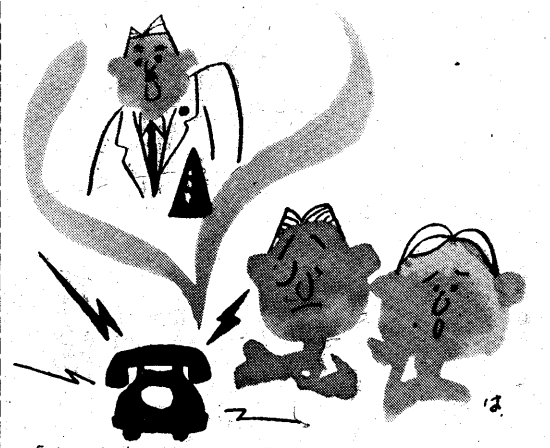
(3)…河川の管理条例では、公共の福祉を守るため、このように管理するという内容が、くわしく現定してありますが、禁止し、制限してある行ないをするときは、町長はすぐこれをとりしまることができます。土砂などを採取するときは、もちろん町長の許可を受けなければなりません。いままでも私たちが守ってきたことを、条例としてくわしく規定したのが〃河川管理条例〃です。どうかなと思われるときは、どうぞ施設課の方へご照会ください。

×

(4)…大内小屋内体操場改築工事は1千85万円で株式会社巴組鉄工所大阪支店に、仁保中音楽室の新築（139万）と講堂の模様がえ（103万）は、山口建設と契約することを承認しました。

(5)…選管委員の改選を議会で行ない、全員再選でした。

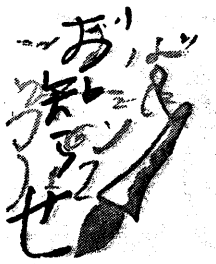
農業近代化資金の法案はまだ成立しませんが、成立するまでの前後措置要綱がきまりました。近く、各部落の産業部長集会を開いて、内容をご説明申しあげます。資金借入れの計画書は8月～9月上旬にかけてとりまとめます。農業改良資金（施設資金）農林業振興対策資金、農林漁業資金、有畜農家創設資金などが一本化したのが近代化資金です。



「オレたちがたくさん聞いていると思えば，議員さんも発言にはりあいがあろうて……」

▽**恩給お立替**の看板を出している町の金融業者は、月3～6分という高利です。国民金融公庫では、月5厘で借してくれます。事業資金でなく消費的な資金でも20万円（年額の2年半まで年額6万のときは15万円）まで借します。保証人も妻でよく、以前にくらべるとうんと借りやすくなっています。公庫は、山口市中河原 電（山口）一四八七

▽県道の敷地や河川改修の敷地で、小作地がある場合は、工事以前に、農業委員会へ**解約の申請**をおだしください。でないと、工事ができません。



▽**海外移住地**の説明会を、8月22日研修館で開催します。時間は午前中。実際に移住を考える方々が対象です。最近の海外移住は、過剰人口のはけ場としてでなく、日本にいるよりもっと大きな繁栄と幸福をつかんでいただく方向に変っています。それだけに、優秀な人材を送ろうと心がけています。そのことが、移住国を発展させ、日本の貿易拡大にも役立つからです。

▽**酪農講習会**を、8月21日研修館で開きます。前9時～後3時まで。講師は、県畜産課の小田・西島技師。これからの酪農の進め方を中心に。主催は酪農組合。

▽小鯖小**桜陰分校**が廃止されてすでに2年半。分校あとを記念する石碑の除幕式は、8月1日盛大に行われました。

▽**養豚**の講習会を、8月28日前9時から研修館で。講師は県経済連山県技師。主に飼育管理について。

▽**夏のつけもの**は、塩からく、おもしもいくらか重くして、十分水があがるようにした方がよいようです。注意しないと、カビが浮いたりします。保存用には、上の部分のヌカがしめりをおびてきたころ、セロハンをぴったり押しつけて、押しぶたをします。

▽**よくごはん**がすっぱくなる季節です。水を少な目に火力をいくぶん強くして、カラッと炊きあげるのがコツです。

▽新鮮な**夏野菜**が豊富にあります。食用洗剤でよく洗えば、衛生的にたべられます。できるだけ新鮮なままでお召しあがりください。練りみそやマヨネーズなどご存知でしょうが

用意しておくと、簡単に食卓にのせられます。

▽**花火**の紙をときほぐして火薬をとりだし、カンやびん、万年筆のキャップに入れて遊ぶ例が、よくあります。花火をポケットに入れてすもうしたため爆発した例すらあるんですから。子どもたちだけの花火遊びは危険がともないがちです。

▽夏の**おべんとう**で、ご存知でしょうが、二三。弁当箱は熱湯をかけるか湯を通すと、入れたものが長もちします。生野菜や水っぽいものは腐りやすいようです。みそ漬は廻りのごはんがくさりやすいようです。冷蔵庫に入れておいたものでも、朝熱を通すと、保ちがよくなります。

▽昨年山口県下で、**水の犠牲者**が53人。しかも７８月の二月間でです。死亡した人の７割は15歳以下の少年や幼児です。

ことしこそは，水の犠牲を一人も出したくありませんね—8月2日氷上河原で

親の眼のとどかぬところで

おもしろいから盗った

これは、13歳の少女二人が起した事件。家庭もよく、すごく仲よしで、両方の家庭で安心しきっていたのです。二人つれだって山口市のある百貨店にゆき、「これを」と買物を指さすけれど、子どもと見て店員が注意を払わない。あとからきた大人の方は応待するけれど、ぽつんと置いてけぼりを喰っていたのです。そのうちに、一人が筆入れをカバンに入れても、店員はなにも気付かない。もう一人もそれならと同じものをとりました。盗っても見つからない安心感から、次第と大胆になって、風呂敷を使うまでになりました。こうしたことは、しょせんいつかは見つかることですが、見つかっても、双方の親はほんとうにしませんでした。持物に気をつけていたら、この事件は、もっと早くに発見できたかもしれません。私たちの身近かに起った最近の例をとりあげました。

「なんですって？　かりそめにも私の子が……」

額に青すじを立てて立腹されても、事件は実際に起きているのだから、どう否定しようもないわけです。警察ざたにならない小さな事件でも、親が聞いたら、びっくり仰天卒倒もしかねないことが、たくさんころがっているようです。

若い女性を刺したい

親の眼のとどかぬところで……といって、親はいつも子どものそぶりを見つめています。どんなことでも見逃すまいと観察を怠っていませんがやはり眼のとどかぬところがあるようです。職業の関係とか、夫婦仲が悪いとかで、わずかどこかに見落しがあったのでしょうか。親が子と話しあう時間が少ないとか、片親で一人ぼっちのときが多かったとかで、不幸な悪の芽が、じっと頭をもたげていたようです。

刺した道具がジャックナイフであったら、生命にかかわったかもしれません。しかしこの場合、小学６年生が、木綿針で、勤め帰りの若い女性の尻を刺したという事件でした。世間的には立派な家庭で通っていました。しかし、この小学生がなにを動機に、こんな行いにでたのでしょう。

エログロの週間紙が一冊家にあって、それをかくれて読んでいました。

「畜生！　刺してやれ」

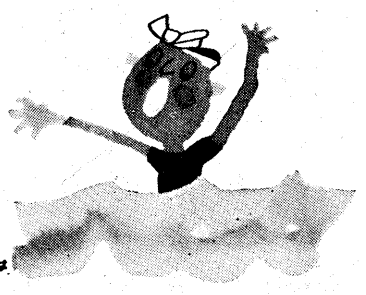
と、ヌード写真を見て叫んだそうです。大人にとってはそれほどでもない刺戟も、小学６年では、強すぎたでしょう。若い女性に残酷さを加えることで、湧いた慾情を転化し、心を安定させようと考えたのでしょうか。それと自覚はしていなくても……

遊び道具の弓矢の、矢の方のさきに木綿針をつけて、暮れ方の田舎道にひそんだときから、不幸ははじまったのです。しかも発端は、たった一冊のエログロ週刊紙から……

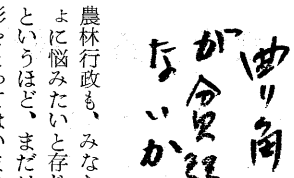
おもしろいから盗った

これは、13歳の少女二人が起した事件。家庭もよく、すごく仲よしで、両方の家庭で安心しきっていたのです。二人つれだって山口市のある百貨店にゆき、「これを」と買物を指さすけれど、子どもと見て店員が注意を払わない。あとからきた大人の方は応待するけれど、ぽつんと置いてけぼりを喰っていたのです。そのうちに、一人が筆入れをカバンに入れても、店員はなにも気付かない。もう一人もそれならと同じものをとりました。盗っても見つからない安心感から、次第と大胆になって、風呂敷を使うまでになりました。こうしたことは、しょせんいつかは見つかることですが、見つかっても、双方の親はほんとうにしませんでした。持物に気をつけていたら、この事件は、もっと早くに発見できたかもしれません。私たちの身近かに起った最近の例をとりあげました。

ある投書から…農業近代化を真剣に考えている。私の知恵と体力を傾けて、意欲的に取り組む覚悟をしている。しかし小さな個人の力で、どうなるものでもない。ひたひたと水かさが増してきて、膝から腰と浸っていくような気がする現在、町の農林行政もまた、新らしい施策を打ち出すときであろう。農業基本法に対する批判と解釈は、最近二回にわたる町広報の特集号でよく拝見もし、同感もした。だが、そのつぎにくる新らしい施策を伺いたい。町の農林行政もまた、われわれといっしょに悩みのたうち、新らしい方向を探す努力をしてくれるという——そうした信頼感のうえに立って、あえていう。（上小鯖の一青年　とく名希望）



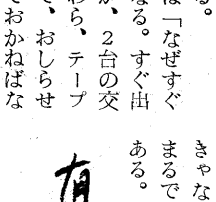
だんだん水がふえてくるぞ　手は打ってあるのか



農林行政も、みなさまといっしょに悩みたいと存じます。施策というほど、まだはっきりした形をとってはいませんが、遅くとも明年４月から、農業センターの発足をしたいと、構想を練っています。いままでの生産構造を、もっと近代的な能率よいものに高めてゆくためには、個々の経営内容の改善にもタッチしてゆけるような、総合的な技術指導でないとだめだと痛感しているからです。技術が切り売りされていた時代はすぎ去りました。農協の指導部事業も一本によりあわせて、従来のバラバラの形をなくすよう、農協に呼びかけることにしております。いまの農協指導部でやっている普通作や特産の技術指導のほかに、畜産技術指導者や獣医師を入れて、畜産面にも力こぶを入れてゆきたいと、方針をたてています。町の経済課でもできない、農協の指導部でもできない技術指導の一本化を、新らしくできる農業センターにかけています。畜産物や特産物の生産計画から、共販出荷の計画にいたるまで、農協の扱う現品以外の仕事は、全部をこの農事センターで、お世話する方針です。

【お答え】

おことばにあるとおり、町の



有線放送の楽屋裏

こんな女性を奥さんにもったら……よく働らいて気がきいて……フウッと溜息がでるほど、有線放送の楽屋裏、いや失礼交換室はいそがしい。普通20回線を担当するのも眼が廻るのに、ここでは1人40回線、2人で80回線を処理している。

だのに、聴取者は「なぜすぐ出ないんだ」とどなる。すぐ出ない交換もこまるが、2台の交換を処理するかたわら、テープレコーダーを廻して、おしらせ時間の録音もとっておかねばならぬ。「いったい手が何本あると思っているんです？」といえば、これは普通の売りことばに買いことば。そうはいわない。「お待たせしてスミません」

×　×

ときどき電話（有線でなく大内局の）がなる。交換のかたわら、受話器をひょいとつまみあげる。

「ああ、モシモシ。友人の家でいっぱい…いえ、その…病気している友人の家を訪問して、奴によくきく薬をいっぱい飲ましてやろうと思うんですが、女房に遅くなるというてくれんですか。」

苦しくまたややこしい。こんな電話も、取りついで、ご主人からコレコレと有線で伝言しなきゃならぬ。このいそがしさ、まるでなにかの〝習練道場〟である。しかも、いつも親切と微笑を忘れてならぬのだから。

×　×

1通話3分以内というとりきめはあるのだが、おしゃべりはどうも女性の方に多いらしい。くだらぬことをペチャクチャであるのかないのか、それは聞きもらしたが、通話時間が長ければ、それだけ独占している勘定だから、当然通話の能率は悪くなる。〝早く出ない交換は〟、聴取者の側にも、半分の罪があると見た。

いやはや、眼が廻るとは　このことか

「一人前になるまで、4へんや5へんは、悲しくて泣くことがあるだろうよ。聴取者の方には月々200円払っているという頭があるから……」

指導にきていた仁保農協の有線放送の、広中主任がさとしたら、ここ大内農協の交換嬢たちは、コックリうなずいた。

——おやなんてまあ、しおらしい。

公民館便り

〇…全町の球技大会（排球、野球、卓球）は、8月20日大内中学のグラウンドで行ないます。3地区それぞれから、優勝と準優勝の2チームが参加して、6チームの争いとなります。

〇…夏季体育講座を、部落からのお申込みがあれば、いつでも開けるよう準備しています。期間は8月20日ごろまでの予定で、申込みは各地区の公民支館へ。講師を派遣します。

〇…小鯖の婦人学級では、7月24日生産学習というのを開きました。5区の伊藤逸夫さんの水田を対象に、実際に現場で稲作管理の勉強をしたのです。約120名もの婦人が、この学習に参加しました。指導講師は、山口地区普及事務所の高瀬普及員。

大内町広報

昭和36年9月25日
第73号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

広報の坂倉氏 惜しまれて転職

町広報の編集に、長年献身的に努力してきた、坂倉正義氏が、この度都合によって、東京武蔵野成蹊大学事務局の方に、転職しました。

これからも郷土発展のため、協力したいとのこと。

貯蓄も倍増 明るいくらし

郵便貯金は、国民の身近かな貯蓄方法の一つであります。

郵政省は、関係各省と協賛で〝家庭を郷土を明るく築く郵便貯金増強運動〟を9月1日～10月30日まで推進しています。みんなで貯蓄しましょう

税金

10月 町民税第三期
早めにお納め下さい。

年収50万の農家へ――いまの問題点をえぐる

養鶏農協を中心にして、最近の大内町養鶏の発展はめざましい。しかし最大のガンは、なんといっても、一養鶏家当りの飼育数が少ないことです。つぎの表を見ていただきましょう。

50羽以下	232戸	4,796羽
50～100羽	76〃	5,309〃
101～200羽	53〃	7,459〃
201～500羽	28〃	8,396〃
501以上	12〃	8,274〃
	401戸	34,234〃

全体の飼育農家数（養鶏農協に加入している人たち）の6割近くが、50羽以下という小羽数の飼育であることです。200羽以上の飼育者は、全体の10％にしか当たりません。しかもその10％の人たちの飼育数と、残り90％の人たちの飼っている数が、あまり違わないのですから、問題があります。

養鶏家として、まとまった収入をあげてゆくためには、採卵で少くとも千羽、種鶏で少くとも500羽を、養鶏組合では目標にしています。経営を合理化し、技術を高度化して、この程度の規模を確保してゆかねば、とてものこと、養鶏事業の近代化はできぬと、方針をきめているのです。

×

かといって、羽数をふやしましようという呼びかけだけでは、そうかんたんにふえそうにもありません。少くとも、確実な運営方法で、やりやすい（というかとっつきやすい）方法を考えねば、空念仏に終りかねません。養鶏農協がいま提唱しているやり方は、団地養鶏です。ことばだけではピンときませんが、仁保下郷とか上小鯖とか、まとまった地域で、資本と労力を集め、一つの場所に立派な設備をつくるのです。そこで大体2万羽（1万4千羽を採卵、6千羽を種卵）ぐらいの集中飼育をやって、合理的な経営をやろうという計画です。養鶏の近代化を、こうした方法で考えています。いわば一種の養鶏会社ですし、資金導入は、近代化資金を活用する方針です。

×

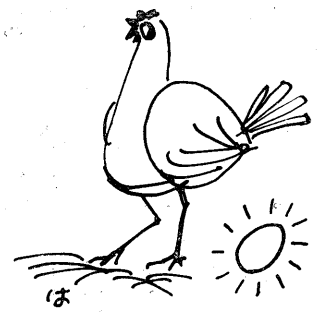
母屋のさしかけ式の、小羽数養鶏は、この方法によってのみ、近代化した、能率的な飼育方法にきりかえることができるだろうと、8月下旬の総会ではかったところ満場一致で賛成をえました。

こうした近代経営にきりかえる説明会を、養鶏農協では9月中旬から、部落ごとにはじめました。

昭和37年には、ぜひとも新らしい経営方法で、〝団地養鶏〟を一つは誕生させたい意気込みですしまたできそうです。

役場の経済課としても、養鶏農協を中心とした養鶏家の新らしい動きに対して、もちろん側面的な援助を惜しみません。

計画では、昭和45年度に30万羽の鶏を飼育することになっていますが、現在の状況では、むつかしいことでもありません。10万羽個人、20万羽を団地で飼育の計画です。36年度も、すでに計画羽数を上廻っているのですから。



果樹も、大内町の果樹組合が、ちゃんと結成されています。ただ適地がそうふんだんにないので栽培者の数が限定される欠点があります。果樹組合の推定では、桃が10ぁ、ぶどうが15ぁ程度が限度じゃないかと、ふんでいます。

×

桃＝現在7ぁぐらいでしょう。不正確なことをいうようですが、植えてさっぱりならぬ桃園まで、計算に入れるわけにゆきませんから。毎年30アールぐらいふえていますが、反面脱落者も非常に多いのです。技術的な水準も、大いに検討の余地があります。むしろ、将来性は、ぶどうの方にあるというのが、関係者の一致した見方です。

×

ぶどう＝現在約4ぁ。1～1.5ぁあて毎年ふえる見込みです。水田や荒畑をつぶしていくので、増加もやはり限定されます。15ぁが限界だろうかと、見込んでいます。しかし、柿に比較すると、適地も多く、品質も秀れているので、そう大規模ではないが、特産としてはっきり育ってゆく可能性が大きいのです。

×

総じて果樹全体は、技術的には酪農よりむしろむつかしく、将来技術員を設置してほしいと、果樹組合からの要望もあります。

×

暖地リンゴなども現在産物としてありますが、これからは桃とぶどうにまとまり、大体限度でしょう何といっても将来は桃とぶどうで、やがてはぶどうが、大内町の果樹の生産第一位を占めてゆくという見通しです。

桃もぶどうも、現在の販路は非常にせまく、防府や山口で結構はける程度の生産量しかありませんが、将来の課題としては、〝送り〟としての市場開拓の問題が残ります。しかし栽培面積に限界があるので、花々しい脚光をあびた特産になるとは考えられません。適地をもち、高い栽培技術を、習得した農家が、その〝適地適産〟の優位性を活用して、果樹農家として育ってゆくことが予想されます。全農家数に比較して数こそ少なくても、50万円所得をもった果樹農家が、かなりできることでしょう。

×

適地適産をもてない大多数の農家の方向は、むしろ酪農や豚の方向であるようです。自給飼料の活用によって、かなり土地条件に制約されずに規模をひろげてゆけるからです。適地適産を考えずにひた押しに押した果樹栽培が、労働力を計算に入れずに維持したとしても、やがては低い生産性ゆえに大きな壁にぶち当ることもあるでしょう。

×

果樹であれば、なんでもいいという時期も過ぎましたが、いい品質のものを、安く多量に生産するという条件で、果樹栽培も一つの曲り角にきているようです。

輸送条件が、以前に比較すると較べものにならぬくらい発展し、割合と短時間に各地の果物が入手できるようになりました。品種と品質を統一し、共通のレッテルで、重点的に市場を確保してゆく――大内町の果樹も、またこの例外ではありません。そのチャンピオンが、ぶどうと桃。とまあこういうわけです。

大内町のそさい組合には、226名の組合員がいます。さすが山口市と防府市にはさまれた近郊そさいの供給地、市場の水揚げだけで、年間7千万円……というと、立派に聞えます。1組合員当り30万円の水揚げですから。しかしこれが曲者。生産するには資材もビニールなどたくさん必要だし、単価が安くては量でこなすといっても限度があろうというもの。

×

事実、そさいの収益は、あまりいいものではありません。4年に1回ぐらい、うまく当るとバカ当りに当ることがあります。そんなときは笑いがとまらない――その気持を味わうために、少々利益は少なくても、波に当たる味が忘られずに、習慣的に作っていく面があるようです。

×

採算がそれほどよくなくても、自家労力の活用で、少しでも収益になればという点が、あったようです。米作で一応の経営を考え約⅓ほど、そさいで投機的にやってみる――それほどよくなくても労力を捨てたと考えれば、実質的な出血はほとんどない――といったところでしょうか。

×

そのうえ、もう一つやっかいな問題があります。遠隔地なら送りそさいとしての出荷統制が整然とできるのに、近郊であるため、なかなか統一ができぬことです。どっと荷が出たり、市場を通さずに個人売りして、建値をくずしたりです。そうしたてんやわんやの状況のなかから、そさい組合は、はっきりした将来計画をねりはじめました。もうそうした状態になってきたからです。

×

大内町でできるそさいのうち量をまとめて、送りそさいとしても有利に販売できるものを、三つ選定しました。イチゴ、トマト、白菜です。5年計画で、イチゴは30ぁ。トマト20ぁ。白菜は25ぁを見込んでいます。イチゴは大内地区と鯖山で現在8ぁほど面積があります。トマトは三地区各地に約15ぁ。これを20ぁにすることは、むつかしいことではありません。白菜もすでに実績がありますから面積の方は心配いりません。

×

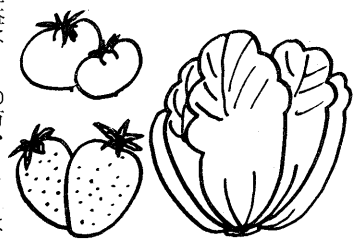
この三つの品目については、そさい組合で、共同出荷をやる計画です。送り先は北九州と関門方面です。白菜は、昨年やっと、北九州と関門へ出荷しました。

×

計画栽培しても、万一品物が多すぎると値はさがります。その対策として、農協連萩加工場や防府特産会社では、量が多いなら取引きをしようということになりました。⅓ぐらいは、最低値の契約でも、取引き場を持っていた方が安全なようです。

×

イチゴの場合、10アール当りの純益は6～10万、トマトは8万といったところでしょう。白菜は、昨年種の発芽率がばかによくて、生産過剰でした。だから昨年にかぎって、10アール当り1～1.5万円ぐらいにしかなりませんでした。そさいの場合でも、生産品目をなるべく少なくし、量をまとめて連続出荷し銘柄をよく通しておくこと以外に方法はなさそうです。近郊そさいと送りそさいの両道かけて、そさい組合も、計画栽培と共同出荷体制をがっちり作ろうと、新らしい動きを見せています。



酪農と豚は二面の方へ ←

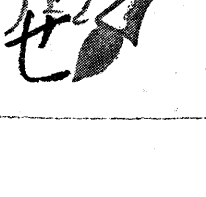
軍人恩給について

▽ 恩給法が一部改正され、元軍人、準軍人、軍属等で旧恩給法に規定する年限（12年～13年）に足らない者が加算に依って、新たに受給（扶助料含む）されることになりました。

▽ 恩給請求の事務が、案外複雑なので、具体的な諸準備が出来ましたなら（10月の予定）説明会を開催しますので、予め在職履歴等の資料を準備しておいて下さい。

引揚者給付金について

▽ 今年5月16日限りとなっていた引揚者給付金の請求は、来年の5月16日まで一年間延期され、更に終戦前の引揚者にも給付金が、支給されることになりました



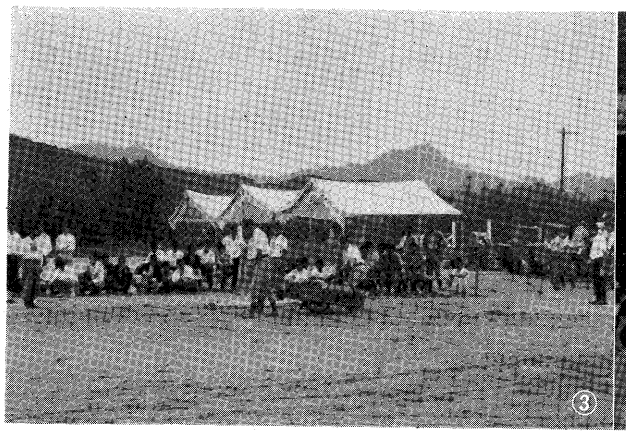
▽ 今回新たに給付金の対象となる引揚者は、南洋群島・フィリッピン、蘭領東印度諸島、マレイなどに在住していた者で、大戦中に政府や陸海軍等の命令によって、強制的に引揚げさせられた者であります。該当者は早く手続きをして下さい。

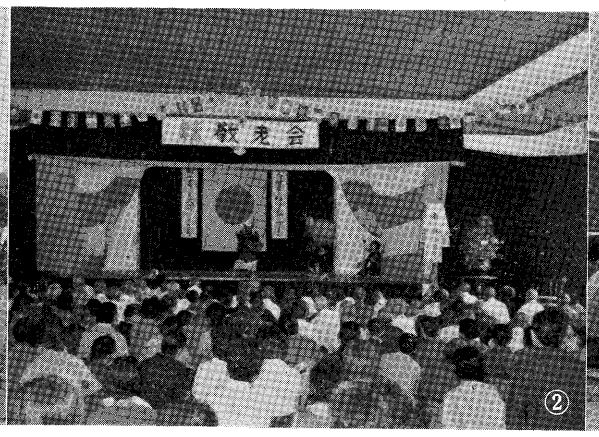
台風18号（第2室戸）水害義捐金品の取扱について

△ 今次の台風により、本州の全域にわたって、甚大な被害が発生し、罹災者の状況は、まことに同情に堪えないものがあります。

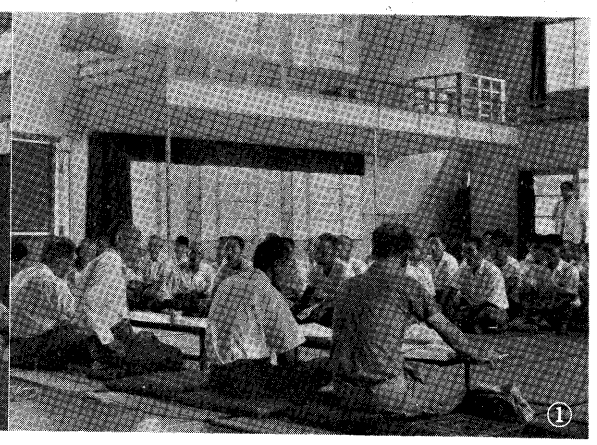
▽ 日本赤十字社では、従前の例に鑑み、一般からの義捐金品を、取扱っています寄託希望者は、町民課福祉係へ御申出ください。

義捐品 10月16日まで
義捐金 11月10日まで


③



②


①

町政をきく会

みなさんの部落や家庭はおもしろくいっていますか町政について、ききたいことと言いたいことがあれば、こんな会でももってはいかがでしょう。

仁保大富公民館では12日地区の方が100人も集まって開かれました町長を初め各課長、町会議員も出席しました。やっぱり問題は身近いものから、みんな真剣な表情　写真①

来年も、またどうぞ

老人の日の行事は、今年は各地区（小鯖、大内は13日、仁保は15日）で、老人を正面に婦人、青年、子供もたくさん集まって、有意義に敬老の日を過ごした。各地区共学校、婦人会、青年団の余興に腹を抱えての大爆笑…お元気で何時までも。写真②小鯖会場で

もうこれで大丈夫…

町内消防ポンプは、各分団とも、地区の方々の協力で一応整備されました。

これからは非常になえて平素からの訓練と、5日仁保、6日小鯖、7日大内地区で、消防基本操法の訓練を行い、22日大内中で、競技大会を開きましたもうこれで大丈夫とは…でも火気には常に御注意

優勝　小鯖第三消防班
二等　仁保第七消防班
三等　仁保第一消防班

写真③競技大会

米で食わず乳で食う

なによりも実例で申しあげた方が、よくおわかり願えるでしょう。Aさんは、れっきとした大内町の住民です。

水田を150アール、畑を60アール作っています。乳をしぼっている牛が、いま3頭ほどいます。耕作面積のうち、畑33アールを飼料畑にしています。家族労働は3人です。

×

Aさんの乳牛は、1頭当たり年間20石の乳を出します。3頭で60石。1升当たり50円で、年間30万円、20石といえば最低の乳量です。お世辞にもいいとはいえません。

ところが、Aさんの自慢は、飼料の自給度が高いことです。約90％を自給します。だから30万円の乳代のうち、27万円が（労力も入っていますが）手取りとして懐に入ります。

100万円確実の設計書

Aさんの牛は、濃厚飼料ばかり食わしていないので、種つけは順調です。Aさんは乳で生計をたてようと考えて、年収100万円の設計書を作りました。

×

5年計画で現在の3頭を10頭にふやそうとしているのです。水田を30～40アール作りあとは全部飼料畑にするつもりです。1頭から、わずか20石の乳量でも、10頭おれば200石になります。これで、現在の乳価なら100万円の粗収入はあがります。自給度90％だから、90万円の収入となります。

×

10頭おれば、5頭ぐらいメスが産れます。1頭3万円として3×5＝15万円。90万円と合計して、まずまず100万円農家になる道はかたいと、Aさんはほくそえんでいるのです。

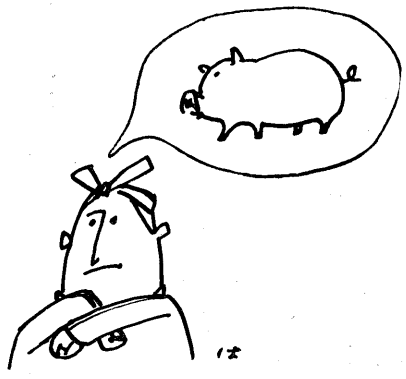
ば

×

現在でも、Aさんは朝8時から、夕刻5時までで、仕事を打切ります。無理しても、労働は毎日無限に続いてゆくからです。さっと切りあげて、明日への英気を養わねば、水田150アールと30万円。乳牛3頭で27万円。どちらをとるかを考えたとき、Aさんは乳牛にふみ切る決心をしました。米で食わず乳で食え——と。

50万円農家を5年間に400戸

いま、町の経済課で立てている計画では、酪農で年収50万円の農家を、400戸にしたいということです。しかも5年間に否のわかれ道でしょう。


ば

50アールをいも畑に

飼料自給度を高めるため、ことし50アールいもを植えた人があります。将来を考える人たちは、飼料問題から、取り組んでいます。岐阜1号を植えますと、つるが根元まで食えますし、便利です。経済課でも、反当4千キロ以上生産するよう、栽培者の方たちに呼びかけています。

いもが4千キロなら、つるは8千キロあります。1.5㍍のうね幅にして、いもづるはしよっちゅう刈り取るようにします。これで、だいたい10頭分の飼料を（濃厚飼料を除いて）自給するわけです。養豚組合では、自給率70％の飼育にもってゆく計画で準備を進めています。

そして、甘しよだけでは不足なので、ばれいしよと甘しよの組合せで、年間の飼育計画をたてるよう、飼い方の標準をたてつつあります。

2年さき3日に貨車1台

三地区をあわせ、大内町の養豚組合ができています。全町で、いま1千500ぐらい豚がいる見込みです。太ったら売るので、数はしよっちゅう増減しています。豚でもやはり数がまとならぬと、取引きの対象にならぬので、養豚組合では年次計画をたてました。2年さき、昭和38年度には、種牝豚を400頭にする計画です。

これですと、1頭が年2回出産し、少なくとも15頭の子豚を産みます。だから年間最低6千頭、月500頭を出荷できるわけです。貨車1台に50～60頭ですから、3日に1台貨車送りできる勘定です。もちろん現在の飼育頭数からはじいた計算です。机上の掛算ではありません。

成功のカギは飼料の自給度

購入飼料でやると、うんと金がかかります。第一、買入れる資金もたくさんいります。だから、飼料自給度を高めないと、いまのままの飼い方では、脱落する人が相当でるのではないかと、関係者は心配しています。せめて10頭に10アールの飼料畑は必要でしょう。

たくさん飼っている人たちは、約8割を購入飼料でやっているようです。1頭を太らすのに、普通飼料代は、全部購入で1万円はかかるようです。それを2割自給しても8千円はかかります。子豚の購入費が3～4千円。100㎏で売っても、約1万5千円ぐらいのもの、差引き3千円ぐらいしかもうかりません。しかも労賃がこのなかに入っているわけで。

飼料の自給度が高いほど、手取りは多くなるという。かんたんな理由が、実際に行われるか行われないかが、養豚の成否のわかれ道でしょう。1頭3万円として3×5＝15万円。90万円と合計して、まずまず100万円農家になる道はかたいと、Aさんはほくそえんでいるのです。

×

現在でも、Aさんは朝8時から、夕刻5時までで、仕事を打切ります。無理しても、労働は毎日無限に続いてゆくからです。さっと切りあげて、明日への英気を養わねば、水田150アールと30万円。乳牛3頭で27万円。どちらをとるかを考えたとき、Aさんは乳牛にふみ切る決心をしました。米で食わず乳で食え——と。

50万円農家を5年間に400戸

いま、町の経済課で立てている計画では、酪農で年収50万円の農家を、400戸にしたいということです。しかも5年間に

2年さき3日に貨車1台

三地区をあわせ、大内町の養豚組合ができています。全町で、いま1千500ぐらい豚がいる見込みです。太ったら売るので、数はしよっちゅう増減しています。豚でもやはり数がまとならぬと、取引きの対象にならぬので、養豚組合では年次計画をたてました。2年さき、昭和38年度には、種牝豚を400頭にする計画です。

これですと、1頭が年2回出産し、少なくとも15頭の子豚を産みます。だから年間最低6千頭、月500頭を出荷できるわけです。貨車1台に50～60頭ですから、3日に1台貨車送りできる勘定です。もちろん現在の飼育頭数からはじいた計算です。机上の掛算ではありません。

成功のカギは飼料の自給度

購入飼料でやると、うんと金がかかります。第一、買入れる資金もたくさんいります。だから、飼料自給度を高めないと、いまのままの飼い方では、脱落する人が相当でるのではないかと、関係者は心配しています。せめて10頭に10アールの飼料畑は必要でしょう。

たくさん飼っている人たちは、約8割を購入飼料でやっているようです。1頭を太らすのに、普通飼料代は、全部購入で1万円はかかるようです。それを2割自給しても8千円はかかります。子豚の購入費が3～4千円。100㎏で売っても、約1万5千円ぐらいのもの、差引き3千円ぐらいしかもうかりません。しかも労賃がこのなかに入っているわけで。

飼料の自給度が高いほど、手取りは多くなるという。かんたんな理由が、実際に行われるか行われないかが、養豚の成

ランドレースにも期待

全国に誇る優秀豚ランドレースは、農業試験場の畜舎で、順調に成育しています。飼料自給度の高い飼育方法が、しっかりといまの間に根を降ろしたら、それだけ養豚業の将来性は、大きく展開するでしょう。さらには、ランドレース飼育の基盤が、しっかりとできるわけで。

山間の谷合いに、不利な条件の耕地をたくさん持つ大内町で、工夫をこらしながら、自給飼料の方法と実績を積み重ねてゆくことはむしろ逆に不利を有利に転化してゆくことではないでしょうか。

酪農と同様、飼料自給70％が、大内町養豚の明日をにぎる、大きなカギであるといっても、過言ではなさそうです。養豚組合も、町の経済課も、この点を一番大きく重視しています。

お知らせ

▽坂倉道義氏労作「旧吉敷郡小鯖村方言」発刊申込は本人または教委へ一部100円

▽**調製された**基本選挙人名簿は、広く有権者の縦覧に供しています。脱漏や不備な箇所は、異議申立期間中に、申立しないと理由の如何を問わず、受理されないことになっています。縦覧および異議申立期間は**11月5日から15日間**

▽**料理店**　カフエー・バー・旅館・飲食店等を利用した場合には、必らず公給領収証を受取ることになっています。

県では10月1日～31日までの1ケ月間を公給領収証受領交付強調月間と定めて、この制度の適正な運営をはかる運動を進めていますこの運動に、協力しましょう

▽**共済組合から**

今年は早期、準早期作に**ユーレイ病**（縞萎縮）という悪い病気が、山間部に多発しました。**明年の苗代の防除・種子の取替等**は今から計画して下さい。

▽**普通作の災害検見**は、これまで3回行いました。特に病害によるものが多く、防除の不十分な処に、多発しています。9月15日の台風により、稲の倒伏したものが相当ありますが、倒伏が直ちに減収にはならないので、**基準反収の3割以上の減収**が見込まれるものを申告して立札を是非立てておいて下さい。

▽**家畜共済の引受検査を**、大内、小鯖地区は14日に終り、仁保地区は11月上旬に行う計画にしています。未加入の方は何時でも引受けします。申込み下さい。

▽**建物共済も**、充分研究の上、是非加入下さい。

▽**未収金**の整理をしています。**本年の収穫期**に是非

大内町広報

昭和36年10月15日
第74号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

教育長、熊野氏退任

合併以来、町の教育長として、小鯖地区桜陰、稔畑両分校の本校への統合、統合中学校の設立、仁保地区一貫野分校の本校への統合、東園校の廃校等本町の教育行政に、努力を重ねた熊野弥作氏は、9月30日任期満了により退任しました。

教育委員に

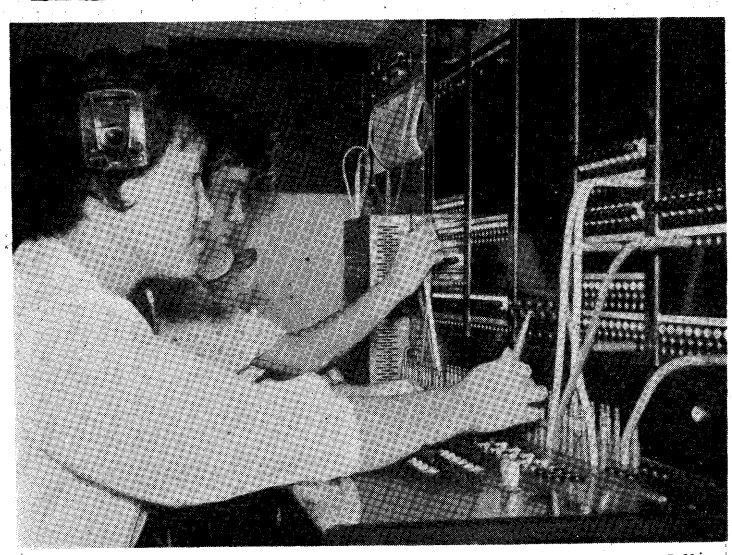
渡辺ハルコ氏選任

9月30日の臨時町議会で、教育委員後任として小鯖渡辺ハルコ氏(55)が選任されました。

これによって、新教育委員長に岡田誠一氏、新教育長に藤本頼雄氏が、それぞれ就任しました。

税金

10月 町民税第三期
どうぞお忘れなく。



小鯖地区の有線放送も愈々10月1日から本放送を始めました。「私達はまだ不馴れ，それにめずらしいのか，便利なのか，いつも汗だくですの」とは交換嬢の話，お互いにゆずり合って明るい，楽しい有線放送に致しましょう。大内町有線放送連合会も10月1日より発足し三地区中継の架線工事を計画中完成は今年末の予定。

稲作の新らしい課題

史上最高の豊作が予想された本年の稲作も大内町においては早、中期稲作は意外の減収となっていますが？……

この減収の原因は、総合的な因子によるものと思われますが、栽培上の表面だった、障害の要因を2、3取り上げて見ましょう。

1 早植傾向と縞葉枯病（ユウレイ病）「virus」

稲の縞葉枯病の発生は、地区によって、品種、施肥量等によっても、多少の相違がみられます、最も著しいのは、栽培型の違う発生相の差異です。勿論いまの段階では、早期栽培が拡大な面積に集まったり、或は平坦部の1地区全体に中期栽培が行なわれると云う状態ではなく、大部が普通栽培田中に点々と早植田が、散在している現状では、早植稲に「ヒメトビウンカ」に限らず、いろいろの病害虫が集中するのは、当然のことであります。

この病害虫の、発生様相を初期、中期、後期の3つの病徴に、わけて考えて見ると、早期栽培では、6月中旬頃から、連続的に（ユウレイ）黄変症状、（ユウレイ）枯死症状、穂の出すくみ或は、奇型症状、と次々に新しい病徴が累加され、多発生の場合は7月6半旬（25日以降）には完全に枯死ないし、出穂不可能の症状となってしまう。今年の場合は初期感染、特に本田の極初期感染の傾向が強いように思われます。この初期感染の問題は7月2半期（10日）頃の植付作業、その他の天候の関係等で、防除に欠陥があったものと考えられます。

2 栄養と稲の生理及び病害

最近の水稲施肥には、無軌道的な傾向もありますが、病害発生の要因は、概ね多肥の場合が、かかり易いことは当然で、「virus」（バイラス）系統の病害では、その逆のことが云えます。1度（バイラス）が感染すると栄養が減退しているもの程、その病状は大きく現われます。したがって、これ等の初期病徴を多く見られる場合には、総合的に栄養を高めて、行くことによって、病害度を軽減することが出来ますから、栄養の補給をする必要があります。

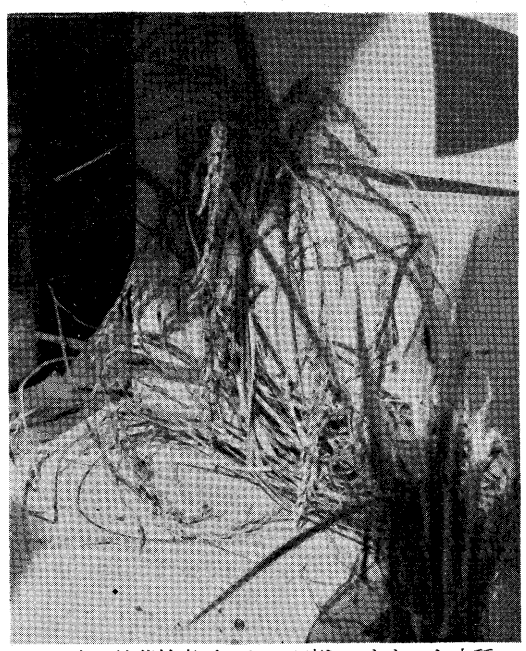
3 高温障害と諸要因との相関

今年の高温は例外で、水稲においても、発育段階の不快指数は相当に、高かったと思われます。水稲の生育適温は、30℃～32℃とされています。この適温度の限界を越えると、生育機能は低下します、特に灌漑水の流動が、不可能な場合は、今年のように高温時には、水温も熱湯に近いまでに上昇する。こうしたときは如何な水稲でも、栄養の吸収はおろか、生きているのが1ぱいであるから、今年の早、中期作の減収も、こうしたことにもあったと思われます。

水温及び水温の上昇即ち高温障害は生育不振ばかりでなく、根の機能をとめ、腐敗させるので赤枯病（生理病）の誘発となって、現われてきます。又生育能力の低下によって（バイラス）の発生を見るようになり、生育機能は、全く破壊されたものと考えられます。この要因の一助として、除草剤の関係もありましょう。

水稲除草剤の多くは、水稲生育を一時的には、抑制するから、生育の停滞抑制、若しくは栄養不良状態の場合（バイラス）徴候が急激に発病進展するものと考えられます。一旦発病したら、周囲の環境から、挽回することは、非常にむつかしいので今年のような、天候のときは、除草剤の使用についても、慎重に考える必要があります。

以上のような要因が、重復したので今年の早、中期作は、予想外の減収を来たしたものと思われますので今後この病害対策につい真剣に考え来年の稲作に備えましょう。



写真は縞葉枯病（ユウレイ病）にかかった水稲

固定資産新評価始まる

現在の固定資産の評価のうち土地については、旧賃貸価格を基として、これにある率を乗じて、評価格を出しています。

この評価方式では、実際はいけないのですが、他に比較的安易な方法がないので、止むを得ず現在もそのままとなっています。全国的にもこの方法で評価している市町村が、約80％あり残りの約20％が、自治省の示す評価基準によって、評価している現状でありまます。

この評価基準は、昭和27年に示されていますが、何故この方法を採用しないかと云う訳を調査した

結果

1 評価職員の不足
2 所要経費の財源難
3 評価基準がむつかしい。
4 評価格に変動があった場合税負担に及ぼす影響が大きい。

以上の点があげられています。

又関係諸税を通じ、評価の統一として、固定資産税、相続税、贈与税、登録税、不動産取得税等の課税の対照となる、評価格が、各々異っているので、これも統一しなければならないことも当然なことです。

一昨年中央に、固定資産評価制度調査会が設置されて、過去2年間調査審議し、本年の3月に所要の答申を行なっています。

自治省ではこの答申に基いて

1 新評価格を昭和39年2月までに決定すること。
2 新評価基準により総べての土地を評価すること。

又家屋についても同じ。

以上のことを県を通じて、各市町村に指示して来ました。

大内町においても、本指示により次のように処理することに決定しました。

1 昭和36年10月より昭和37年8月までに、農地及び宅地の標準地を選定し評価する。
2 昭和37年9月より昭和38年10月までに、全農地及び全宅地を評価する。
3 これと平行して家屋及び山林原野も評価する。

近くこの大事業に、着手しみなさん方の土地、家屋に立入ることになりますので、予め承知の上、この評価事業に協力下さるよう、特にお願い致します。

健康優良家庭表彰

大内町が、国民健康保険をはじめてから今年の4月でちょうど5年になります。

そのあいだには、医療費の値上げや、保険金の給付範囲がひろげられ（今まで治療によっては、認められていなかった医療費、つまり、入院したときの給食料や、入歯の半額や、葬祭費の支給など）それに、みなさん方の病気も多く、お医者さんにかかられる回数も、次第に多くなっている等、いろいろなことがらによって、保険税も年々ふえてきました。しかし数多くの、むつかしい問題も、みなさん方の理解と、協力によって、着々とその成果を、おさめている次第であります。

ここに満5年を迎えるに当り、家族のみなさんが健康で、一度もお医者さんにかかられたことがなく、しかも保険税は年々完納されている、優良な健康家庭を、来る10月28日に表彰することにしました。表彰家庭に対しては、心からおよろこび申し上ます。

町民のみなさん方も、この上とも健康に注意して、明るい町造りにはげみましょう。

表彰される家庭

▽仁保地区

両浴	6.5年	西 真一
仁保市	〃	松田フミノ
野上	4.5年	神崎 キク
仁保市	〃	岡村ハツノ
両浴	3.5年	末永 初枝
泉園	〃	本間 英行
一貫野	〃	山本 昇
高畠	〃	山根 正助
北河内	2.5年	篠原 秀子
一貫野	〃	伊藤 実一
〃	〃	吉岡 栄熊
大畠	〃	山本 薫一

▽大内地区

小野	5年	栗山 甫
殿河内	〃	倉住 英一
〃	〃	重富 宇一
川向	〃	吉野千代子
氷上下	4年	林 世伎子
間田	〃	原田 義昭
御堀	〃	小林 チヨ
間田	3年	増野 隆
管内	2年	藤井ヨシ子
間田	〃	品川 四郎
下千坊	〃	中原 福一
〃	〃	石井 聡
氷上上	〃	杉本 亀治
川向	〃	徳永 本介

▽小鯖地区

5区	5年	宮本 政一
1区	2年	原田 定行
6区	〃	山根 一正
9区	〃	原田トミノ
13区	〃	前田 信一

▽県の**消防ポンプ**競技大会は10月8日山口で行なわれ大内町から出場した小鯖第三消防班は第七位でした。

▽**吉山畜産共進会**は10月9日小郡で、本町の入賞者は〔乳牛〕3等、嘉村宗熊（仁保）山本三郎（仁保）内田新典（大内）〔和牛〕3等 山本藤八（小鯖）西村昇（小鯖）〔馬〕2等 此村富助（仁保）〔豚〕2等 山本永一（仁保）

▽**自衛官**第3次募集中、年令18才～25才迄、学力中卒以上の者、志望者は10月31日までに町総務課へ

▽**大内町優良児**の第二次審査は10月17日、最優秀児8名は28日表彰。

▽**県主催の食生活改善研究**発表大会に、小鯖（上鯖山）四葉グループ杉山善子さんが代表で発表しました。

▽**共済組合から**

1 **今年の水稲**の災害調査を10月13日に締切りました主な災害は早期栽培の（縞萎縮病（ユウレイ病）及び晩稲の台風による倒伏でした、総計で約300町歩です。
2 **来年産麦**の細目書を、11月中頃、お手許へお届けします、洩れなく申告して下さい。
3 **11月に入る**と仁保地区の家畜共済の引受及び、健康検査を行ないます。
4 **掛金210円で**、共済金10万円の低額建物共済があります。是非御加入下さい。
5 **共済掛金**の未納の方は収穫が終ったら、農協の方へ払い込んで下さい。特に過年度滞納のある方は是非この期にお願い致します。

発足した農業近代化資金制度とは

いままで農業を振興させるための資金として農林業振興対策資金、農業改良資金、有畜農家創設資金、農林漁業資金等がありましたがこれらの制度資金を或る程度統一して農家が借り易い方法を取ったのがこの資金です。しかしこの制度資金にたいする「農業近代化資金助成法案および農業信用基金法案」は前の国会が審議未了になりました関係でこれの暫定措置として、この要項が出されましたので、法案が決定された場合幾分変更があるかもしれませんからその点御留意下さい。

一、この資金の貸付の相手方は農業を営むもの及びその組織する団体（四Hクラブ・農事研究会）および農業協同組合、農業共済組合、森林組合とこれらの連合会です。

二、この資金を取扱う金融機関は各地区の貸付業務を行う農業協同組合、山口県信用農業協同組合連合会、農業共済組合とその連合会、森林組合とその連合会です。大内町では原則として各地区の農協が取扱いを致します。

三、貸付の条件

㈠、資金の種類、貸付利率等は（別表）の通りです。

㈡、貸付の限度は原則としてこの融資の対象となる事業に要する経費の八割以内であって、現金支出の範囲内です。

㈢、貸付金の最高額は、この資金の融資残高につき次の金額を超えない額です。

(イ) 農林業を営む個人及び(ロ)、(ハ)以外の団体は100万円まで

(ロ) 農業を営む会社（合名、合資有限）または法人以外の団体で農民5人以上によって構成されるもの（個人の類似法人を除く）は1千万円まで

(ハ) 農業協同組合・農業組同連合会および農業共済組合ならびに農業共済組合連合会・森林組合ならびに森林組合連合会は5千万円までです。

㈣、1事業あたりの最低融資額は、5万円ですので事業額は6万2千500円以上と云うことになります。

四、償還方法は原則として毎年元金均等償かんです。

五、利子補給は、毎年1月から12月の間を計算して金融機関に補給致します。

六、借入手続き

別表にある事業を実施するため、この資金を必要とする場合は、つぎの書類を地区農協え提出して下さい。書類の様式は、各農協にあります。

(イ) 借入申込書

この申込書には、借入金額、償還方法、事業の内容（共同経営資金、セット資金等で長期計画を必要とする場合は、計画書を別書として申込書に添付すること）資金計画、還償財源等記を入して下さい。

(ロ) 経営の概要書

借入申込書に経営の概要書を添付して下さい、（概要書も農協にあります）この概要書は個人と団体（農林業者が組織する団体）の場合は様式が異っておりますので調製の場合は注意して下さい。

七、この資金を申込まれるときは次の点を充分留意して下さい。

(イ) 地区の農業発展に適合しているかどうか。

(ロ) この事業を実施した場合、従来の農業経営より著しく改善する見込みがあるか、どうか。

(ハ) 事業を実施するには、近代化資金を借受けることが適当であるかどうか。

(ニ) 自立農家の方向に計画が樹立されているかどうか。

八、別表の見方は次のとおりです。

(イ) 資金は1から20に分類されて申込みもこの分類にしたがって申込んで下さい。

(ロ) 償還期間の年数には据置期間の年数も含まれています、例えば種類の一番の場合、据置期間3年、償還期間7年が最も長い貸付期間です。

(ハ) 貸付利率は借受者が支払う年利息です。

(ニ) 助成率は貸付の原資にこの助成率を差引いた率が貸付利率です

(ホ) 資金の種類の内1、2、4、5、6、7は同時に（セット資金）借入れることが出来ます、その場合据置期間、償還期間は、加重平均で計算し、1年未満の端数は切上げます。

以上が本資金の概要ですが実際に借入れされる場合は、農協または町経済課へお問合せ下さい。

別表

農業近代化資金の種類	償還期間	据置期間	貸付利率（年率）	助成率 利子補給率	助成率 補助率	備考
1　農舎。畜舎。堆肥舎。温室。サイロ堆肥盤。貯溜槽。果樹棚。牧柵。索道排水施設。かん水施設。農畜産物貯蔵施設。孵卵育雛施設又はきのこ栽培施設の改良造成又は取得に必要な資金。	10年（条例第2条第1項条2号から4号までに掲げるもの（以下この表に於て「組合等」という）に貸付られる場合にあっては15年	3年	個人利用　6分5厘 共同利用　5分5厘（組合等に貸付られる場合にあっては7分5厘）	2分（組合等に貸付られる場合にあっては1分）	5厘（組合等に貸付られる場合にあっては補助しない）	個人利用の農舎については別に定める者に貸付る場合に限る
2　葉たばこ乾燥室。農畜産物処理加工施設。農業生産資材製造施設又は家畜診療施設の改良造成又は取得に必要な資金。	10年（組合等に貸付られる場合にあっては15年）	3年	共同利用　5分5厘（組合等に貸付られる場合にあっては7分5厘）	2分（組合等に貸付られる場合にあっては1分）	5厘（組合等に貸付られる場合にあっては補助しない）	家畜診療施設にあっては組合等に貸付られるものに限る
3　生活改善共同施設の改良造成又は取得に必要な資金	10年	3年	共同利用　5分5厘	——	1分5厘	
4　原動機。揚排水機具。耕耘整地用機具。育成管理用機具。収穫調整用機具。農畜産物処理加工用機具。畜産用機具又は運搬用機具の取得に必要な資金	7年（組合等に貸付られる場合にあっては10年）	2年	個人利用　6分5厘 共同利用　5分5厘（組合等に貸付られる場合にあっては7分5厘）	2分（組合等に貸付られる場合にあっては1分）	5厘（組合等に貸付られる場合にあっては補助しない）	
5　肥料用機具又は病害虫防除用機具の取得に必要な資金	7年（組合等に貸付られる場合にあっては10年）	2年	共同利用　5分5厘（組合等に貸付られる場合にあっては7分5厘）	2分（組合等に貸付られる場合にあっては1分）	5厘（組合等に貸付られる場合にあっては補助しない）	
6　果樹。茶樹。オリーブ樹又はホップの植栽に必要な資金	10年	3年	個人利用　6分5厘 共同利用　5分5厘	2分	5厘	
7　乳牛，繁殖用牛又は種豚の購入に必要な資金	5年	2年	6分5厘	2分（補助率が1分5厘の場合は利子補給を行わない）	5厘（知事が特に必要と認めたときは1分5厘）	別に定める基準に適合するものに限る
8　肉用素牛，肉豚又はにわとりの購入に必要な資金	3年	1年	7分	——	1分2厘5毛	
9　耕地防風林の造成に必要な資金	10年	2年	5分5厘	4分	——	
10　事業費が12万5千円を越えない規模の農地又は牧野の改良又は造成に必要な資金	10年	2年	5分（飼料畑樹園地開園区画整理溜池開畑の場合にあっては2分）	4分5厘	——（飼料畑樹園地開園区画整理溜池開畑の地合にあっては1分5厘）	
11　わさび田の改良又は造成に必要な資金	10年	2年	5分	——	2分2厘5毛	
12　水田又は畑地を果樹園に転換した場合における営農資金	10年	5年	5分5厘	——	2分	柑橘栽培地の農業者が水田又は畑地を果樹園に転換した場合の未収益期間における果樹経営資金とする
13　自立経営に必要な土地購入資金	10年	3年	5分	——	2分2厘5毛	1　自作農維持創設資金の貸付金の限度を越えて自作地及び小作地を取得するのに必要な資金 2　未墾地を取得するに必要な資金
14　林業用機械機具の取得に必要な資金	7年	2年	個人利用　6分5厘 共同利用　5分5厘	2分	5厘	
15　竹林の改良又は造成に必要な資金	10年	3年	6分5厘	——	1分5厘	
16　林道の改良造成又は復旧に必要な資金	10年	3年	6分	——	1分7厘5毛	農林業資金の貸付対象とならないものに限る
17　知事が特に必要と認めた産物の共同施設の改良造成又は取得に必要な資金	10年	3年	5分	2分	5厘	山口県特産振興対策要綱に基き知事の認定を受けた産地経営計画に計上された施設及び山口県畜産振興対策要綱に基き主産地形成事業を行う地域内の施設に限る
18　協業経営に要する施設の改良造成又は取得に必要な資金	10年	3年	5分（据置期間中は2分以上とする事がある）	2分	5厘（据置期間中は5厘以上2分以内とする事がある）	山口県農林業共同化資金取得要領に基き知事の選定を受けたものに限る
19　協業経営に必要な営農資金	貸付決定の都度決定	貸付決定の都度決定	5分（据置期間中は2分以上5分以内とすることがある）	——	1分5厘（据置期間中は1分5厘以上3分以内とすることがある）	山口県農林業共同化資金取得要領に基き知事の選定を受けたものに限る
20　前各号に掲げるものの他農業の近代化のため知事が特に必要と認める資金	貸付決定の都度決定	貸付決定の都度決定	貸付決定の都度決定	——	貸付決定の都度決定	

大内町広報

昭和36年11月15日
第75号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

仁保中から
災害地へ見舞金

仁保中学校の生徒会では、大阪府や兵庫県など第二室戸台風災害地へ、このほど見舞金3千248円を送りました。災害地の児童や生徒たちも、きっとよろこびましょう。

町が知事表彰2つ

昭和36年度母子衛生事業優良団体と昭和36年度乳児一斉検診成績優良町として、10月25日山口県母子衛生大会で表彰を受けました。みなさん方のご協力に、心からお礼申しあげます。

税金

11月　町税なし
　　所得税の予定納税（第二期）
12月　固定資産税第三期

災害復旧と給水施設など
809万4千円追加

臨時町議会

第6回臨時町議会は10月17日開かれました。おもなことがらは
(1)追加更正予算809万円が決ったこと。
(2)大内小講堂改築費に充てるため、起債事項の変更を決めたこと。
(3)吉敷郡公平委員会委員の選任に同意したこと。
(4)米国シアトル市、須子正治氏から、ランドレース仔豚2頭の寄付採納を決めたこと。
(5)町有林売買契約を認めたこと。などでした。

×

決った追加更正予算809万4千円のおもな財源は
〔地方交付税〕444万9千円
〔分担金及び支出金〕66万円
〔国庫支出金〕120万9千円
〔県支出金〕7万6千円
〔町　債〕170万円です。

×

これに対し、支出は
〔議会費〕36万円＝旅費、その他
〔役場費〕43万5千円＝職員給賃金、需用費など
〔消防費〕21万円＝消防団費、その他
〔土木費〕210万6千円＝道路維持修繕費、橋梁維持修繕費、復旧費など
〔教育費〕181万1千円＝職員給新営改築費、幼稚園費など
〔社会及び労働施設費〕10万8千円＝賃金、事務費など
〔産業経済費〕162万円＝需用費事業費など
〔諸支出金〕114万9千＝調査費新営改築費など
〔予備費〕29万1千円―
となっています。

事業費が全体の80％

この中から主なものをひろって見ると、土木費の事業請負費、小高野橋外4件の42万円、復旧費の深野小橋外13件の49万5千円、県営工事地元負担金の河川と砂防災害の111万4千円、教育費の仁保小給水施設費の53万3千円、大内中給水施設費の75万円、産業経済費では耕地事業費35年災害小峠橋梁外2件と36年災害松原頭首工外1件の158万6千円、諸支出金は調査費46万9千円、新営改築費の仁保中郷駐在所移築費の60万円などとなっています。

これで本年度の予算総額は、1億4千924万円になりました。これからも必要がおきるたびに、追加して行きますから、まだまだふえる予定です。

養豚施策の惑星
〝ランドレース〟

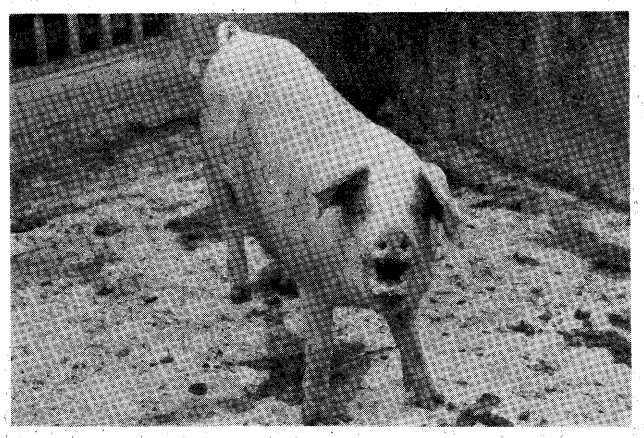
遙々地球の裏からシエット機で大内町に来た、豚族のニユフエース〝ランドレース〟は米国シアトル市在住（大内町仁保出身）の須子正治氏が、郷土の畜産発展のためにと贈られたものです。

この〝ランドレース〟は、4月生れの雌雄の2頭で、特徴は、毛色が白く、鼻は長く真すぐで、耳は垂れ下り皮肢は薄い、胴伸びがよく後軀が充実している、肉質は赤肉割合が多く、皮下脂肪は薄くて技肉の歩留りが高く、加工用に適している。産子数は比較的多く哺育も上手といはれ、性質はおとなしく発育も非常によいという結構ずくめの豚です。

6月28日到着以来、県農業試験の畜産研究室で、試験飼育していますが。順調に成育しているので来春は一世が生れると思いますがくわしい試育成績は後報します。

たださへ輸入のむつかしい、世界的優良豚〝ランドレース〟の寄贈は、これからの大内町養豚施策の惑星として、養豚家にとっても極めて明るい希望といえましょう。

町は須子正治氏の厚志に改めて感謝の意を表している。



農業試験場で試育の〝ランドレース〟

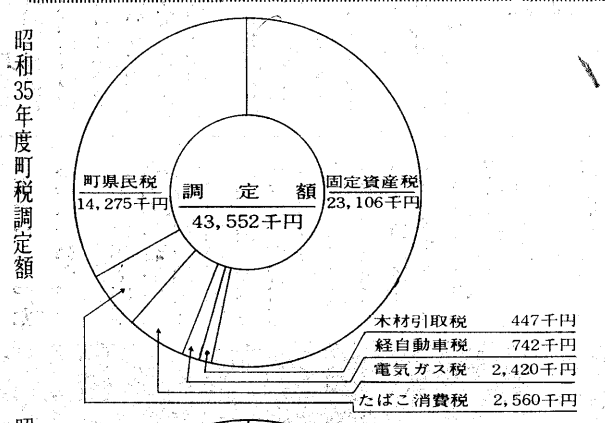
納税成績年々よくなる
35年度の収納は93％

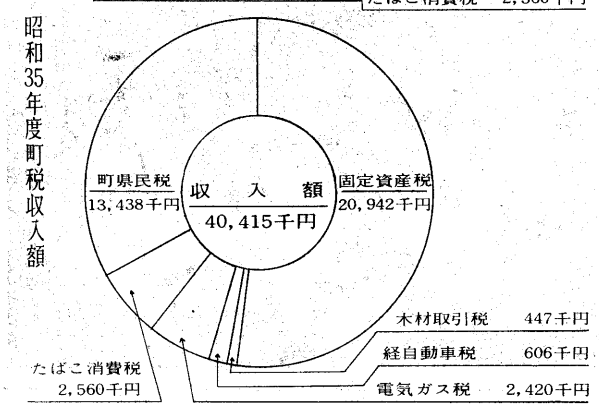
昭和35年度の納税のとりまとめができました。これを見ると未納が7％あります。34年度に比らべると4％減りました。でも繰越しは313万もある、これでは町の台所も苦しい、いくら倹約してもやらねばいけない事業がたくさんあります、小学校の老朽校舎の改築、災害の復旧、産業振興のしごとなど、まだ財源はいくらでも必要です。いつも出費に追はれて、税金には廻りかねる、と云うのが実情ですが、町民の自覚と納税組合の結成によって、納税成績も年々よくなってくると思はれます。

×

今年は納税貯蓄組合法が定められてから、丁度10年目です、この機会に組合員の倍増運動を、全国的に実施しています。町には現在小鯖25、仁保29、大内18の納税蓄貯組合が結成され、組合員数は1千850名となっていますことしこそ全町に組合を結成し、部落も全体がまとまって組合を組織し一日も早く完納のできるよう、町民の理解と協力を特にお願いします。

尚詳しいことは、町税務課にお問合せ下さい。





のりやすちゃんら8名
大内町健康優良児きまる

写真前列右より　吉本陽一ちゃん、柳智哲ちゃん
大賀章裕ちゃん、古屋妙子ちゃん
後列右より　佐々木浩ちゃん、佐々木幸子ちゃん
倉橋里見ちゃん、池田紀代美ちゃん

どこの家庭でも、どこのお母さんでも、子供の育成については、何時も熱心に考えていられる。

特に最近は、乳児の保育について、若いお母さん方は、強い関心をもって、わが子の発育と保健に努力をしていられます。

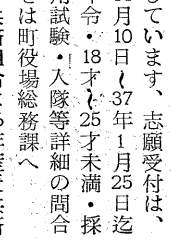
大内町では、去る9月に、乳児の一斉検診を実施しました、これは乳児の発育状況をしらべて、これを全国的に比較して、これからの保健指導に、役立たせるためのものです。

×

皆さん方の協力で、受診されたものは140名、検診の結果、発育状態のすぐれているもの28名を選びそのうちからさらに第二次の審査をして、本年度の大内町最優秀児を決め、これを10月28日表彰しました。表彰を受けられた、お母さん方の努力に感謝し、心からおよろこび申しあげます。

表彰の赤ちやん次のとおり

〔一等賞〕柳　智哲（大内長野）
〔二等賞〕大賀章裕（小鯖鯖地）
　　吉本陽一（大内御堀）
〔三等賞〕倉橋里見（大内茅野神田）佐々木幸子（大内氷上）佐々木浩（大内長野）池田紀代美（仁保高野東）
〔努力賞未熟児〕古屋妙子（小鯖八反田）



お知らせ

▽**山口赤十字病院**では、毎月第3木曜日に、乳幼児の股関節脱臼の無料診断に応じています。乳幼児のお母さん方は、せいぜいご利用のこと。

▽**国民健康保険**財政強化実行運動が、いま全国に展開されています。これは医療費の値上によって、来年からは保険税を増額しなければならない、そこでみんなの負担をかるくして、安心して治療のできるよう、国庫の補助金を増額せよ、という運動ですから、署名や資金カンパなどにすすんでご協力下さい。

▽**納税貯蓄体験記**の懸賞を募集しています、これは納税貯蓄組合法が施行されて10周年記念に、国税庁がおこなうものです。納税貯蓄組合または、納税貯蓄についての体験記を、2千字以内にまとめてお出し下さい

締切は11月30日、送り先は国税庁管理課、発表は37年1月中旬、詳細は税務課へ

▽**陸・海・空自衛官**を募集しています、志願受付は、11月10日～37年1月25日迄年令・18才～25才未満・採用試験・入隊等詳細の問合せは町役場総務課へ

▽**共済組合**は36年産麦共済金の支払を、11月20日頃から、小鯖・大内・仁保の順に、部落へ出張し支払ます該当者には通知いたします

▽**36年産水稲共済金**の支払は、掛金が入らないと出来ませんので、未納のある方は早く納入のこと。

▽**37年度産麦**の細目書の提出の時期がきました、わからない点は連絡員、又は組合に問合せ、洩れなく申告のこと。

便利帳

▽**栗の栽培**が、ここ2・3年盛かんにおこっています　栗は粗放栽培つまり、植えたままで、細かい栽培管理をしないので、土壌のよいところ、天牛等害虫のすくない環境のよい、適地を選ぶことが大切です。粗放栽培の果樹でも、十分なる施肥、簡単な剪定、僅かづつの深耕、有機物の施用、害虫の駆除等は必要です、品種は銀寄・銀鈴・岸根を選んで下さい。栗は他の品種の交配でないと、みのりが悪いから、混植を考えなければなりません。

▽**落葉果樹**の植付準備を急ぎましょう。植付の適期は11月下旬から12月上旬ですこれより遅れると、来春の成績がおちます。苗木は品種が確実で、良く伸びて充実したものを選ぶことが必要です。入手した苗木は、数時間水に浸したり、日陰に仮植するとかして、細根を乾かさぬように、植付時の肥料傷みのないように、特に注意しましょう。

▽**来年は**ぜひ予算生活をしましょう。一般に豊作といわれていますが、物価の値上りも考えて、わが家の収入に合った来年度の予算をたて、むつかしくても、農業生産に必要な経費や税金などと、毎月の生活費のわくを決めて、明るい、豊かな生活を計画しましょう。

▽**寒くなると流感**にかかりやすくなります。外から帰った時はうがいをし、汗を出したときは、ぬれた肌着はとりかえましょう。ただのかぜだとゆだんしてはいけません、乳幼児は肺炎を起します、小中学生はインフルエンザの集団発生することが多いので、十分に注意しましょう。

よい子の育成には？
先生方も真剣な話し合い
大内町教育振興大会

10月24日大内小学校で、大内町教育振興大会が開かれました。これには町内の小・中学校の先生や社会教育関係の人が集まって、3つの分科会を開き、いろいろな意見を出し協議をしました。子供の教育は学校の先生にまかしてあるんだ、というのでは、ほんとうの教育にはなりません、学校の先生は、どんなに考えているか、家庭ではどうしたらよいのか、親たちにも知っていただこうと思います

×

第一分科会では〝今の時代にはどのような家庭であることが望ましいか〟という問題でした。

家庭とはなにか、望ましい家庭とはどんなのかといったことからはじまった、近頃は小中学校とも家庭は余りに学校にたよりすぎている、何でもことさへ起これば学校へもちこむ傾向がある、これは家庭がよりよい環境と雰囲気のなかで、子供を育てようとする努力がたらないからでせう。特に学校として、家庭に望みたいことは広い視野にたって、よく子供を理解し、のびのびとした希望をもつ子供に、育ててもらいたい。

×

第2分科会では〝地域の子供会をどのように育成したらよいか〟ということであった。

子供会はどこまでも自発的に組織させ、親たちは子供会を理解し、学校は子供会を励まし、大切にする、部落児童会（小学校）部落生徒会（中学校）を一本化するようにする、また社会教育の立場から、出来るだけ子供会に出席して、子供と親しくなり、温かい目で見守ってやる、また子供会の指導者（リーダ格を中心）養成など学校側も社教側も一体となって、子供会を励まし、大切に育て有意な社会人の育成につとめる、これがため、先進地の視察も必要である。

×

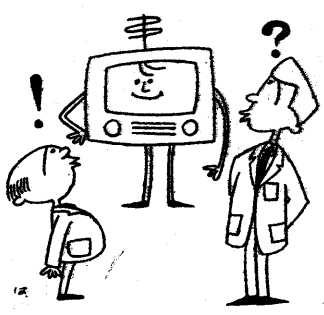
第3分科会では〝マスコミの力をどのように人間形成上に利用したらよいか〟ということ。

マスコミの媒介である、テレビ・ラジオ・映画・新聞など教育におよぼす影響は大きい、最近は特にテレビが普及し、これからの活用については学校も、家庭も真剣に考えなければならない。

学校における学習については、社会科、英語科の教科はどれを見せてもよい。理科、国語科、音楽科などでは、事後指導が必要であるる、そのほか全般にテレビによって智識は豊富になるが、その反面ものごとを順序だてるとか、深く考えるとかいう、実践力などは欠げてくる、そこで学校ではこれらを補う教育が必要である。

家庭では、番組をせんたくしてそれを見せる、見せればそれに対して必ず批判させる習慣をつける、また、感想を聞いたり、メモをとらせることが必要である。要は家庭環境、子供の発達段階、性質、健康状態などをよく考へ、事後指導を適切におこなう。これがためお互が全体責任者として、認識を新らたにし、マスコミに対する正しい判断力を養っておくことが必要である。また町内の有線放送については、学校の要望を取り入れた内容のものを、放送してもらいたいなどでした。

学校の先生がどんなに考えても親たちがどんなに悩んでも、社教がどんなにしてやっても、それがまちまちではどうにもならぬ、三位一体となってはじめて大きな効果があげられるということです。



電波にのった〝話し合い〟活動

昭和34年～35年と「話し合い」運動のモデル地区として、県の選挙管理委員会の指導をうけた大内管内部落の話し合いが、このたび電波にのって全国放送になった。10月14日夜日本放送は、現地集録のため、管内部落へ「これからの結婚改善はどうしたらよいか」と云う話し合いだった。部落の人が真剣に話し合う、地方色も豊かな、生の声を、毎週金曜日の午後10時30分から放送しています、ダイヤルを「ラジオ山口」に廻して聞いて見ましょう。そうして皆んな話し合いましょう。

日本放送の現地録音風景

各地から視察団

ここのところ大内町の行政や施設など、県外からの視察団がふえてきた、役場の関係者もよりよい説明と応待に大童です。

校長・教頭らも研修会

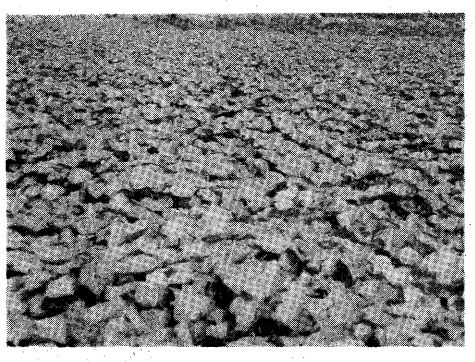
11月4日午後から1泊して、小鯖の禅昌寺で、町内の校長、教頭それに教委の関係者を交えて、研修会をもちました。日本古来の芸道である、茶道の手ほどきから、住職の法話、心身修練の座禅など先生も熱心な生徒になって、1日を有意に過ごしました。

校舎など竣工

10月21日午後1時30分から仁保中で、新築校舎の落成式を行ないました。本年度これまでに完成したものは、仁保中の工作室図書室、音楽室の新築、講堂模様替（拡張）など95坪、397万円大内中の普通教室、工作室、宿直室など138坪、478万円です。これで両中学校とも、一応支障のないまでに整備されました。

盛況だった体育祭

町民の体育の振興と親睦とをかけた体育祭は11月3日大内、11月5日仁保と小鯖が、各地区毎に行つた。3日の大内地区は朝からの天候が気遣かわれたが幸にも時雨程度で済んだ。5日の仁保、小鯖地区は共に絶好の体育日和りで盛況だつた。特に小鯖では自衛隊のパレードもあつて賑わつた。各地区共に、参加者が非常に多く、終始なごやかに競技がすすめられみんなで楽しい一日を過ごした。



◇つるは1000貫◇

近頃養豚経営は，残飯がなければやれないとか自給飼料に困るとか，何にかゆきつまったような話を，あちこちできくが，残飯養豚のご本尊，氷上の山崎さんは，自給飼料として，さつまいもの栽培をしています。これによると……

品種は岐阜1号，5月のはじめ種いものめだしをして，20日頃基肥をした4.5尺～5.0尺の畦に1.5尺おきに植付ける，6月の中頃になれば，1回目のつる刈りができる。つる刈りは中を1.5尺程度残して，みぞにのびたものを刈る。刈り取った後は肥料をやっておくと次の伸びが早い，こうして秋までに3回～5回刈るので反当り1000貫はらくだ。秋には終りのつるを刈りいもを堀る，これが反当り800貫はある。肥料を2・3回やるので，味は一寸落ちるが飼料なら大丈夫で一鳥2石ということ

〔写真〕上はりっぱなつる畑　下は堀り出された芋

◇いもは800貫◇

芽ばえた〝4葉グループ〟

このグループは、小鯖地区上鯖山部落で、4つの小部落（峠下、街道筋、船ケ頭、向掛）が仲よく、あたかも4葉のように、健康生活のために、部落の食生活の改善と野菜の計画栽培に取り組んでいる婦人グループです。

去る10月6日山口で開かれた、山口県食生活改善研究発表大会に、山口保健所管内のグループ代表として、この4葉グループの杉山善子さんは〝わたしの部落における食改善〟というテーマで研究発表をしました。この発表は、特に学習活動から問題をひきだし、これを実践にうつし、更には部落ぐるみの活動に発展してゆく、というもので非常な好評をうけました。

どうきは…
…健康調査

このグループが現在部落の食生活改善と野菜の計画栽培に発展したどうきは、保健婦を中心に行つた、健康調査によるものです、この部落の罹病率は、小鯖地区内では相当に高かつた。これではと公民館で協議して、早速に手がけたのが、栄養実態調査でその結果は、食生活が健康に大きな影響のあることがよくわかった。

そこで昨年は、さしあたりその対策として公民館は、部落の人々に食生活と健康に対する関心と認識を高かめるため、先づ栄養講座を開設して、婦人の学習活動からはじまり、ここに4葉の種はまかれた。さいわいこの種は、実生活に最も関心の深い健康問題であり、一家の主婦として必要なことでもあり、更には関係者の適切な指導助言も加わり、この度の発表会という刺激をうけて、ようやく芽生えをみせてきた。

今年は大内町の綜合社会教育の推進目標である、健康生活と家庭経済の確立という線にそって、グループの活動目標を健康生活の増進、食生活の改善におき、研究問題としては栄養改善と野菜の計画栽培、という学習と実践活動にとりくんでいる。

こうして伸びはじめた、4葉グループのこれからの成長は、なみなみならぬ努力が必要です。グループの人はこういっている……〝よりよい部落環境（部落全体の理解と協力）の中で部落ぐるみの活動として、人間関係をつくりつつ、あせらず、せかず、1つ1つを積み重ねて目標に向つてゆきたい〟と……

「4葉グループの料理実習」

大内町広報

昭和36年12月15日
第76号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

原田覚氏栄転

後任に中川才介氏

過去8年間、仁保小学校長として、地区の人から親しまれ、子どもの情操教育と学校の整備に尽された原田覚氏は、12月1日阿知須小学校長に栄転された。後任は吉佐教育事務所の中川才介氏、みなさんによろしくと。

〃さようなら〃 36年

ことしも何かと多難な1年でした。7・8月の水害はさけたものの、史上最高の豊作といわれた稲作も夢、いまもその影響は消えません。しかしもう年の瀬。いやなこと、悲しいことは忘れて、新らしい年への期待と覚悟をかためるときです。どうぞよいお年を。

税金

12月 固定資産税第3期納期12月は25日まで

☆…集中豪雨に流された並山つり道…☆

7・8月の集中豪雨で受けた被害は、まだ応急復旧だけですが、1月に入れば緊急なものから、本格的な復旧工事を始めます。

災害復旧（土木）査定終る

申請額の91%

土木関係の災害復旧工事の査定は、12月1・2・4日の3日間で終りました。

○…査定は、町の施設課で設計したものが、適切に計算されているかどうか、国が示す基準にあっているかどうかを、建設省から係官がきて、いわば検査をするもので、この検査に合格すると、国の補助も受けられ、工事にとりかかる準備も整へられるわけです。

×

土木関係で、このたび査定のすんだものは、河川1、道路2、橋梁2合計5ヵ所で、決定金額の合計は、268万円です。

河川では、上鯖山護岸、道路2は、並山つり道と並山線護岸、橋梁2は小河内橋々台および護岸と深野小橋です。

こわれたところは、間にあわせの応急工事がしてありますから、これからは緊急なものから順次に復旧工事にかかる計画です。

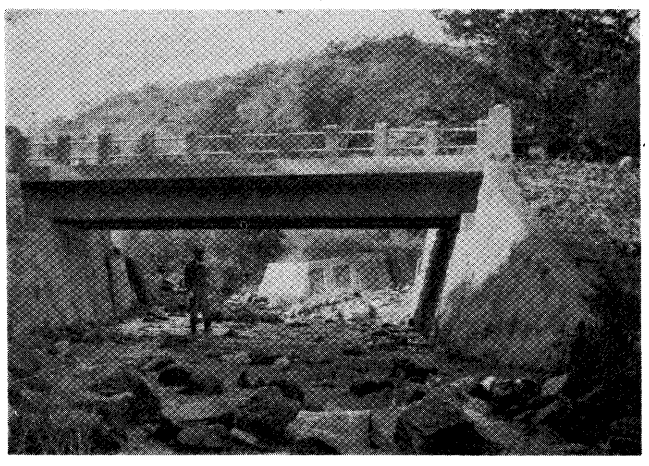
×

このほか耕地関係で、既に査定が終っているものに、仁保地区の松原頭首工、久保下頭首工の2カ所合計36万7千円があります。これも近く復旧工事にかかる予定です。さいわい今年は、災害がすくなくすんだので、財源があれば過年度の復旧や、補修整備にあてるつもりで、これらの計画もすすめています。

☆…りっぱにかけかわった永長橋…☆

仁保地区で，2つの橋が竣工しました。これは一ノ野永長橋と浅地2号橋で，いづれも鉄筋コンクリートの立派な橋です。

昭和31年にかけられた木橋のため，最近老朽のため折損危険になったので，工事費90万円（永長橋70万円，浅地2号橋20万円）かけて10月着工，11月20日そろってでき上りました。これで両橋とも，水害や折損の心配はなくなりました。



組合員の倍増運動!!

伸びなやむ納税貯蓄組合

ことしは、納税貯蓄組合法が施行されてから、満10周年にあたります。国や県では、いろいろ記念行事を行うと共に、納税貯蓄組合員の倍増運動をすすめています。

大内町でも、全町に納税貯蓄組合の結成、全町加入の方針をきめて、36年度中に達成する運動をすすめ、みなさん方の理解と協力をお願しているわけです。

そこで町内の納税貯蓄組合の状況はどうであるか、とりまとめてみました。

現在の組合員数は1千846人で、組合数は小鯖25、仁保29、大内28が結成されています。部落別の加入状況を下表で見ると、全町70%となっています。これを見てもわかるように部落の全部、またはほとんどが加入している組合、部落内の一部が加入している組合など、まだ部落全体をとりまとめた組合に、なっているものは少くないようです。

35年度、納税組合が計画納税をした額を地区別に見ますと、

小鯖700万 仁保670万 大内670万です。

普通徴収（町民、固定資産、軽自動車税など）で、納税組合未加入者が年間に納める税金は、約800万円です。その内未納となって翌年度へ繰越される額が、約300万円もありますもし全町に納税組合が結成されて、計画納税ができるようになると、町の各種事業も順調にすすみ、滞納のない明るい町になって、学校、道路なども早く整備されるようになります。

また町は、これまで納税組合に対する補助金を納税額の3/100と、組合員1人当り20円を合せて、一律に支払っていました。（此の額は約75万円です）37年度からは次のような補助方法に取り替えるよう計画をしています。

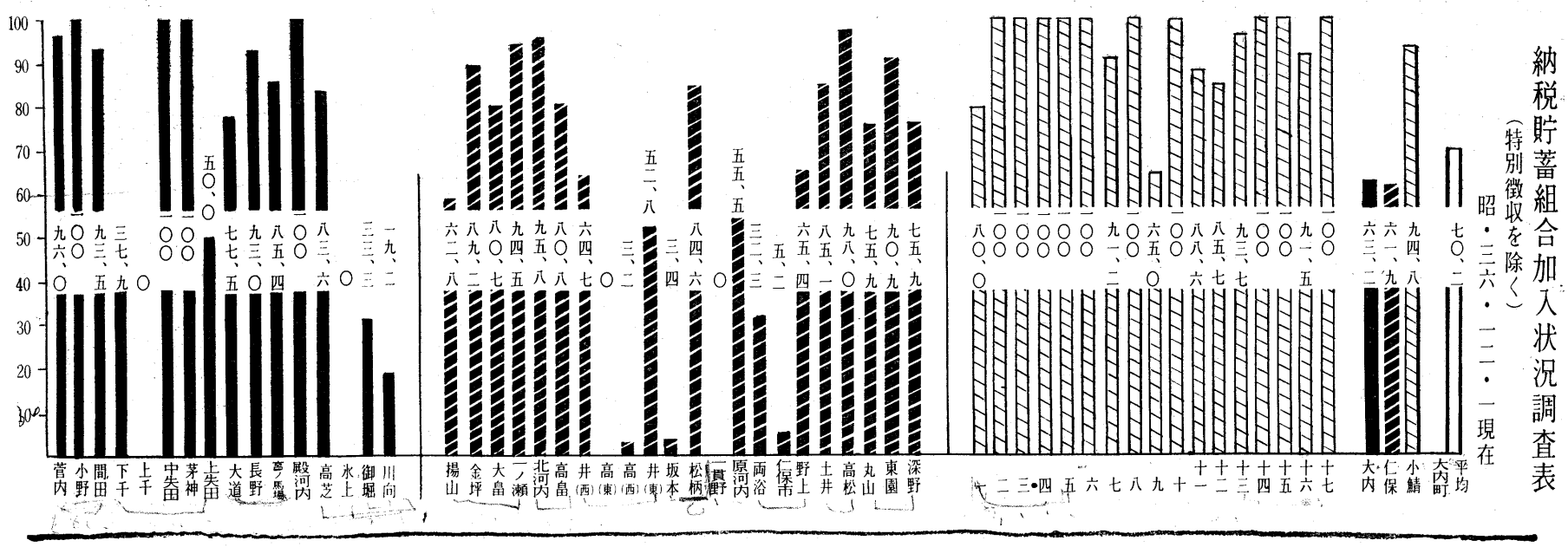
加入率＼補助率	100%	90%	85%
100%	5%	4%	3%
90%	4%	3%	2%
85%	3%	2%	1%

このように、町民と税金は、切り離すことのできない身近な又切実な問題であります。最近は、〃取られる税金から納めなければならない税金〃といった考え方に変りつつあります。いろいろな事情によって、納税組合の結成や、組合への加入が遅れていると思いますが、是非この際思い切って御協力下さるようお願いします。結成も加入も、1月からが便利です。町税務課も最善の援助をします。何時でも問い合せください。

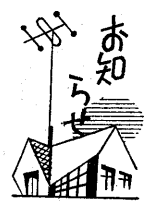
納税貯蓄組合加入状況調査表

（特別徴収を除く）

昭・二六・一二・一現在



お知らせ



▽ **工業統計調査**が実施されます。これは物品を製造卸売する事業所を、対象に調査するもので、期間は来年1月末まで。

▽ **成人の日記念**「はたちの声」を募集しています。家庭や職場、社会に於ける明かるい、建設的な意見、具体的な方策などを。期日は1月5日まで、くわしい問い合せは、教委へ。

▽ **来年の成人式**は、1月15日午前9時30分から、仁保中学校講堂で行ないます。成人になられたみなさん多数ご出席ください、お待ちいたします。

▽ **消防団出初式**は、1月9日午前8時30分より、農業試験場グランドで行ないます放水訓練は、氷上橋上の河原で実施します。一般の方も多数参観ください。

▽ 大内、小鯖の公民館では**家政学級生徒**を募集しています。くわしいことは、公民館に問い合せのうえ多数応募ください。

▽ 県では〃**新年を迎え、あなたの声を知事へ**〃の募集をしています。建設的な要望、意見を自由にお出しください。用紙は「はがき」に住所・職業・年令・氏名（都合ではとく名でよい）男女別を書いて、県庁県政課、声の係あて、期間は1月1日から15日まで。

▽ **ねずみくじ券**を出した、ねずみ駆除運動が、実施されています。駆除薬は町の方で無料配布していますから、ご利用のうえ協力ください。捕獲優秀部落賞、個人（世帯）補獲賞などもあります。期間は12月1日から来年1月31日まで。

▽ **農業近代化資金**助成法が国会を通過しました。暫定措置による取扱を一時中止します。受付を始めるときはお知らせします。

▽**県では、国体を迎えるに先だって、「健民運動」**を進めることになりました。健民運動とは県民が、公徳心の昂揚、文化水準の向上環境美化など一連の運動をおし進めて、美しい郷土をつくり、よりよい県民性を養ない、みんなで明るい豊かな生活を、築いていこうというものです。

▽**年末年始**には、留守宅をねらうあきす、夜寝ている時に侵入する忍び込み、玄関荒し、また街では混雑につけこむスリや、かっぱらいも多いときです。訪問者や集金人を装っての、押し売り、物もらい、さぎ事件も起りやすいので、十分気を付けましょう。

▽**ハンター待望**の狩猟シーズンがきました。狩猟は銃を使うだけに、十分注意しましょう。たまの有無を確める。狩猟のほかは、必ずたまをぬく。射撃のほかは引きがねにさわらない。銃口は人の方に向けないなど日ごろから心がけましょう。空気銃も許可がないと所持できません、届出ください。

▽**落葉果樹**は秋が訪れ、気温が低くなると、自然に落葉して冬を迎へます。

この落葉には、今年発生した病菌がついたまま越冬し、来春の病気発生源となりますので、落葉は集めて焼くか、30センチ以上の深さに埋めることが必要です

▽**夜間の戸締り**、火気には特に注意しましょう。

揺れた医療問題 苦しくなる国保の運営

医療問題が医師会からもちだされたのは、昨年の8月のことでした。それから中央で交渉が始められたが互いに譲らず、難行を続けて本年2月19日一斉休診の実力行使となり、事態はいよいよ悪化し保険医の総辞退という最悪の段階にまで発展し、一般からの批判も受け、遂に譲歩することによって総辞退も回避され、一応解決点に達したものの、7月1日から医療費の12.5%値上げ、更に12月1日から2.3%引き上げられた。

その主なものをひろって、前回のものと比較してみると、表のようになります。そこで、大内町の今までの受診結果を検討してみると、月々の医療費が約120万円、年間にすると1千440万円となり、1人当り約1千600円、これに対し保険税は1人当り約830円、国の負担が2割で約640円合計して1千470円ですから、130円の不足となるわけですが、町全体からみると実際には約20%の値上げになります。

区分	甲表						乙表	
	初診料	再診料	往診料	投薬料	注射料	入院料	義歯（1本～4本）	
						（皮下）（日赤）		
改正前	180円	50	120	17	23	570	1000	改正前
改正後	200円	60	160	19	27	700	1100	改正後
改正前	50円	25	125	29	67	—	—	改正前
改正後	56円	28	167	32	107	—	—	改正後

このままですと、36年度の決算もえらくなります。37年度には200円程度保険税の増額をしなければなりません。いま全国で国庫補助金増額運動をしていますが、安心して病気を治すためには、早期受診をして医療費を軽減することが大切です。また町の国保をよりよい運営にするためには、先づ健康で、病気を少なくすることです。お互いに健康に気をつけて、明るい町をつくるようにしましょう。

新瓦版

大内町招魂社奉賛会結成

11月30日午前10時より、仁保農協階上に町内の有志が集まり、招魂社奉賛会を結成し、招魂社で奉告祭を行なった。選出された役員は、会長御旗治介、副会長和田八十一、赤岸信一、監事貞永浩、向原秀雄、ほか委員60名、また名誉会田長須子勝平、顧問中俊輔、相談役溝部恵一を決めた。

大内小学体育館完成近し

総坪数171坪、工事費1千120万円をかけて、去る7月1日に着工、工事を急いでいる、大内小学校体育館の完成も間近く、いま最後の仕上をしています。

人権擁護相談所を開設

12月6日小鯖支所で、無料人権擁護相談所を開設した。当日扱かったのは8件、いずれも喜こんで帰られる、日頃は山口地方法務局へ。

一貫野農研が知事表彰

仁保一貫野農事研究会は、水稲栽培の研究、肥牛の増産など、地域産業の振興につくした功労者として、11月22日知事表彰を受けた

大内中学に優良賞

文部省国立自然教育園主催の、第10回野鳥保護に関する懸賞「野鳥観察記録」で大内中学校の「愛鳥9年の歩み」が優良賞を受けた

農研の連絡協議会発足

12月8日上小鯖の農研会員は、これからは横の連絡をとって研修しようと連絡協議会を結成した。

歳末たすけあいに協力

町でも、歳末たすけあいのためみなさんにお願いしています。期日は12月20日です。ご協力ください。

改善された国民年金 恵まれる母子家庭

国民年金制度が設けられたときは、いろいろの批判があり、改善を望む意見も多かったようです。この度いろいろの要望をとり入れて、次のように改正され、今年4月1日にさかのぼって実施されることになりました。

では、どんなことが改正されたか要点をお知らせします。

◆拠出年金について

▽老令年金の繰り上げ支給

老令年金の支給は65才からですが、受給資格期間満了者で60才以上の希望者には、割引きされた額が支給されます。

▽特別老令年金

保険料免除など、納付期間が足りないため老令福祉年金しか支給されない者に対し、60才～70才までの5年間、特別の老令年金が支給されます。この年金は、70才に達した時には老令福祉年金に切りかえられます。

▽年金制度期間の通算

いろいろの公的年金制度の期間と通算して、一定期間（20年または25年）あれば、老令年金が支給されます。

▽準母子年金の創設

夫が死亡した時の母子年金の他に、生計の中心者である男子が死亡したため、祖母と孫、あるいは姉と弟妹が残るというような準母子世帯に対し、母子年金の例によって支給されます。

▽年金の資格期間の短縮

障害、母子、遺児の各年金の受ける資格期間は、最低3年でしたが、1年以上継続して保険料を納付すれば良いことになりました。

▽遺児年金の額の引き上げ

今まで支給されていた8千200円～1万500円が、これから1万2千円～2万1千円と、大巾に引き上げられます。

▽死亡一時金の支給

掛け捨てにならぬよう3年以上保険料を納付した者の遺族に、納付期間に応じ、5千円～5万2千円までの一時金が支給されます。

◆福祉年金について

▽拠出年金と同様、準母子福祉年金が支給されます。

▽支給制限の緩和

所得額13万円にこども1人につき1万5千円を加算した額以上のときは、1年間の支給停止が、この加算額が一人につき3万円に引き上げられた。

25才以上の子と同居し、生計を同じくしても、母子福祉年金が支給される。以上のようになっています。

このほか保険料は月々納めることになっていますが、「毎月納めるのは面倒だ、前もって一度に納めたい」という方に、前納制度があります。保険料を前納すると、割引きされるので大変得です。例えば、20才の人が毎月納めていくと、60才までに6万3千円納めなければなりませんが、これを一度に納めると、2万3千540円ですみますから、3万9千460円も割引きされるわけです。保険料を前納する場合は2つの方法がありますから役場町民課の方へ御相談下さい

◆母子家庭の子どもに対し扶養手当を支給するという児童扶養手当法ができ、来年1月1日から実施されることになりました。そこで、この法の主な点をお知らせしましょう。

▽**手当を受ける条件**

。父母が婚姻を解消した後、父と生計を別にしているとき。

。父が死亡したり、疾病もしくは生死がわからないとき。

。父が引続き、1年以上家庭を捨ててかえりみないとき。

。父が法令によって、1年以上拘禁されているとき。

。母が婚姻（事実婚を含む）によらないで、懐胎した子どもなど

義務教育終了前のものを、母やその他のものが扶養しているとき。この場合は、母親などが公的年金や遺族補償費を受けているとき、里親に委託されている子どもや施設の子ども、義父にとになっていますが、「毎月納めるのは面倒だ、前もって一度に納めたい」という方に、前納制度があります。保険料を前納すると、割引きされるので大変得です。例えば、20才の人が毎月納めていくと、60才までに6万3千円納めなければなりませんが、これを一度に納めると、2万3千540円ですみますから、3万9千460円も割引きされるわけです。保険料を前納する場合は2つの方法がありますから役場町民課の方へ御相談下さい。

▽**支給される額**

。子ども1人のときは、月800円、2人では1千200円、3人以上のときは1千200円に1人につき200円を加算する。

▽**支払の期日**

。来年1・2・3月分を3月、4月分は5月、5・6・7・8月分を9月、9・10・11・12月分を翌年の1月に支給される。

以上となっていますが、この手当は、母子家庭からの申請がなければ支給できませんので、大内町では、児童委員に該当者の調査を依頼していますが、受給資格があると思われる家庭は、児童委員もしくは町役場町民課に相談して、申請の手続をしてください。

公民館の窓

前進する公民館

会教育研究と視聴覚教育研究との2つの指定を受けています。

そこで町は、各地区に部落の課題を中心に、部落総合活動の研究をする、モデル部落を設けて、これが推進に努力しています。その1つとして仁保大富公民館があります。

ここは、視聴覚教材を効果的に利用して、部落ぐるみの学習をして、むつかしいといわれる部落活動を、活発におしすすめていこうというのです。

この部落は、地形の関係から農業経営の形態もかわっています。そこで起こる日常の問題として、農家の家事一切が、としよりの手にかかっていることです。留守をするとしよりに課せられた仕事は子どものしつけ、食生活のこと、環境衛生など多すぎる、これではとしよりも学習しなければ、というわけでとしより会ができて特にわかり易いしかもお面白みのある映画、スライドその他の教材をつかって、学習に効果をあげています。このほか生産牛の管理、人工受精などの研究にも成果があがっています。こうした部落活動の成果を、副分館長の岡田義夫さんは、11月28日秋芳町で開かれた、県の大会で発表し一般からも、高く評価されました。

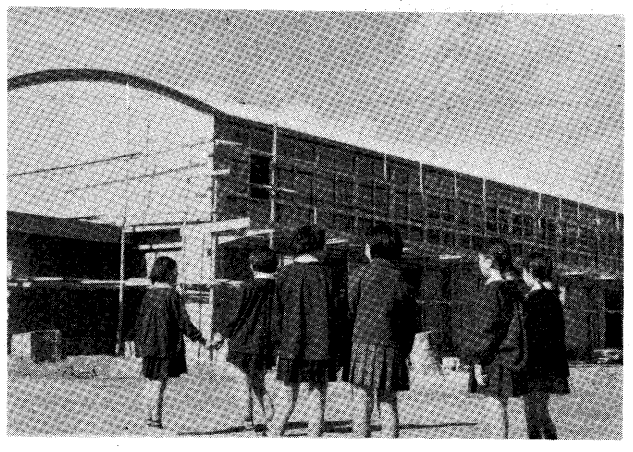
岡田さんは、最初はどうなるものかと考えていたが、現実の問題と教材の利用方法が適切であれば、もっとも効果のあがる学習ができるという確信がえられた。研究をすすめるためには運営組織の充実と教材の利用法を十分工夫することが大切で、これからの部落活動にはこうしたことを検討して、すすめてゆきたいと抱負を話していました。

本をよみ、ラジオ・テレビを聴視し、学級・講座・研修会で研究したり、講習会・クラブ活動で技術を交換するなど、新らしい世代に生きるため、農業経営の改善と文化生活の向上をめざして、いろいろの工夫と改善が目立ってきた。

×

大内町は、昭和36年度県の総合社

≪一日も早くでき上がればよいなあ……≫と遊びをやめて，完成間近い体育館をみつめる子どもたち



大内町広報

昭和37年1月23日
第77号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

新年おめでとうございます

ことしも、よりよい大内町が育ってゆくよう、力いっぱい努力します。この広報紙が全町民と私達を結び、共通の広場を形づくってゆくよう、皆さん方の建設的ご意見をお待ちいたします。

大内町長他職員一同
大内町議会議員一同

「県旗」の図案募集

県では、県政90周年を記念して「山口県旗」の図案を募集しています。応募資格などに制限はありません、図案は山口県を象徴するにふさわしいもの、大きさはB5版の画紙にたて14センチ、よこ20センチ、地色をふくめ3色以内で水彩用絵具かポスターカラー、多数ご応募ください。

税金

1月　町民税―第4期

新春座談会 ことしの町政はどのようにして……

金融引き締め政策で、ことしの金づまりは相当きびしくなると思われます。これが町財政や一般農家におよぼす影響も大きく、町もこれが対策を検討しています。

新らしい年を迎へ、これからの町政をどのようにしてゆくか、町議会議長、副議長、常任委員長4人とそれに町長、助役、教育長が集まって、座談会を開きました。

◇仁保小の屋体が急務◇

司会　（田中議長）　新春早々寒さのなか、どうもご苦労さま。財政5ケ年計画はまことに堅実にできているが、37年度の町財政は苦しいようです。苦しい中を何とか切り盛りして、町の発展のため、努力するのが、われわれの仕事であります。これだけはぜひ取りあげてほしい重点事項について、話し合いたい。なんといってもことしは、仁保小屋体は、ぜひやらねばならないと思うが、その点教育長のお考えは……

教育長　38年3月末までには、ぜひ完成したい、しかし着工は金融事情が安定すると思われる、後半期でもかまわない。

司会　やすい時期に着工したらどうか。その点文厚委員長の中野さんご意見をどうぞ

中野　みなさんが待っていられるので予算措置ができれば、早急に着工したらよいと思う。（同感）

助役　仁保小屋体をやれば、町の事業投入可能額の約半分がいる、残額をそのほかの事業の何に使うか、思いきった選択が必要になってくる。

司会　財政は苦しいが、本当に困っている、緊急なものからとりあげたい。

中野　給食センターも、本年中には何とか立案したい。

貞永　給食センターは、もう1年研究する、完全なセンターでなければ駄目、とにかく本年は仁保小屋体に全力をあげたい。（同感）

◇橋梁は全部コンクリートで◇

司会　つぎは、土木関係について土木委員長の中川さんどうぞ

中川　橋梁は、できるだけ早く、全部コンクリート橋にすることが必要と思う。

町長　合併当時からの問題で、遂次、コンクリートの永久橋にして維持修繕費の節減をしている。

司会　県道、柚木―大内線、大内―鹿野線、山口―鹿野線の改修については……

中川　地元が熱心に運動して、県議会も採択しているので、早急に実現するよう要望したい。（同感）

藤本　管内線も改修しないと、バスが大型化するので運行がむつかしくなると思うが。

中川　産業の開発と関連して、土木事業を優先する必要があると思うがどうか。（笑声）

藤本　鋳銭司に通ずる、山口―秋穂線はどうなっているか。

町長　やることになっている、近く山口市とも話し合う。

司会　いつも問題になる、町道の改修、修繕については……

中川　全面改修はむづかしい、必要に応じて局部的な改修をやることがいいと思う。

貞永　廃校によって、通学バスを通している、町道の改修に重点をおき、維持修繕は地元と契約するなどの方策を考えてほしい。

中川　ダンプカー、ベルトコンベヤーを町で購入してはどうか。

町長　検討してみる。

―座談会の続きは二面へ―

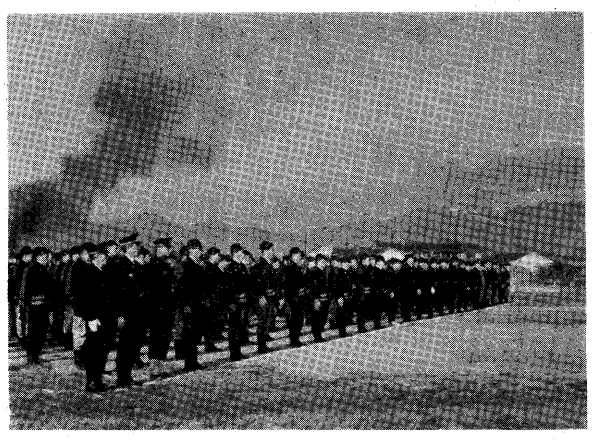
山口市より合併の正式申入れ!!

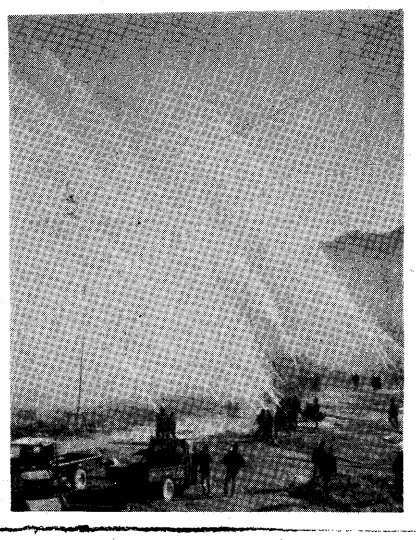
かねてから、予測されたことであるが、1月22日山口市長より、合併について正式に申入れがあった。

本町としては、将来を決する重大な問題なので、町執行部、町議会とも協議し、合併の是非については、民意を尊重した結論を出すため、これから慎重に検討することにした。

消防団出初式

大内町消防団出初式は、1月9日午前9時から、県農業試験場グランドで盛大に挙行された。この式では消防功労者、功績者、優良者、協力者、永年勤続者などの表彰があり、式後は町長の観閲が行われ、消防団員244名、消防車をはじめ、21台の動力消防ポンプの機動化した、堂々たる行進は壮観であった。





氷上河原の放水演習は、おりからの陽光に照らされ鮮やかに7色のにじを画いて、橋上より見物する人々の眼を楽しませた。表彰者の氏名はつぎのとおり

〔永年勤続者〕（15年）小鯖＝山根一寿、田中一精、山本基一、山本隆敏、和西稔、大内＝楳本義明、木本圭二、仁保＝松村清、山本宗武、石川治男、岡村常雄、松田清、石原清輝、藤村勉（10年）小鯖＝山根勇二、原田直人、古屋裕敏、河村輝昭、大内＝川口英人、広川市三郎、大前英雄、中村慎二郎、仁保＝山下豊、山本勤、三好元幸、藤本昭治、池田峯男

〔消防功労者〕　大内＝町消防団長、来栖幸

〔消防功績者〕　仁保＝本部消防班長山根政幸

〔成績優良者〕　小鯖＝第3消防班長、徳本正

〔消防協力者〕　大内＝杉山農機有限会社社長杉山由恵

窓

（白菊）

てり出され　神々しさも
いやまして
かがり火かげみ

談笑の朝

正月や節分に、社頭のかがり火に、あたたまると、長が生きをするとか、夏病をしないとか謂われている。火は神聖なものであり、強い力のものである。社頭のかがり火の意義は、神聖な強い力で、心身の不浄を清めて、神域に入る意であり、社頭を下るときは、神の高く、尊い御魂の思頼（ふゆ）神の慈悲心を、ただに載いて帰るのではなく、心身によく浸透させて帰るの意義である。

（白菊寄稿）

▽**公的年金受給者**（軍人恩給やそのほかの年金）および若年停止となっている人で、昭和36年4月1日で、満55才以下の人は、これから国民年金に認意加入できることになりました。加入希望者は町民課又は各支所に申し出ください。

▽**基本選挙人名簿有権者数**　昭36、12、20確定

区分	男	女	計
大内	1,617	1,922	3,539
保仁	1,484	1,601	3,085
鯖小	949	1,135	2,084
計合	4,050	4,658	8,708

▽**昭和37年度高等看護学**並に准看護婦生徒を募集しています。試験は1月中旬から3月上旬までに実施されますので、応募希望者は急いで、願書をお出しください。詳しい問い合せは、町民課衛生係え。

▽**新らしい有権者**（昭和36年中満20才に達したものおよび、昭和37年中に満20才に達する青年男女）を対象として「新有権者感想文」募集をしています　内容は民主政治特に選挙に対する自覚など標題は自由、200字詰原稿用紙10枚以内、締切37年2月5日、ふるって応募ください。

▽**高校や大学など**、進学をひかえた受験生にとってはこれからがいよいよきびしい勉強の季節となりました。受験生は、青年期という、心理的にも生理的にも動揺しやすい時期にある上に、受験勉強の重荷が加わるので、父母や家庭のものは、受験生の不安定をなくするため家庭内の気分をなごやかに、精神衛生に十分注意しましょう。

▽**あぶないこどもの火あそび**、これがために大火を引きおこしたり、やけどのために生れもつかない姿になった例はたくさんです。こどもたちはマッチが好きです、危険なマッチを持たせないよう注意しましょう。

▽**火鉢やこたつに**、木炭やれん炭、豆炭などを使うことが多いようですが、これらは十分おこったようでも一酸化炭素を出しやすいので、ときどき窓や障子をあけて、よごれた空気を新鮮な空気と入れかえるようにしましょう。

▽**冬はなま野菜が少ない**ため、ビタミンCが不足しがちです。ビタミンCが不足するとかぜをひきやすく、気管支炎が長びいたり、肺炎になったりします。そこでビタミンCをたくさん含んでいるミカン、大根おろしなど1日に1度かならず食べましょう。

▽**モミガラ炭は**、苗代の保温などに使いますが、原形のままで炭になるのが上手な焼き方です。最も簡単な方法はバケツ又は石油かんの古いものに小さな穴をうち抜いて、古土管など利用して煙突を立てて焼くのがよいでしょう。大部分焼けたころ山をくずしてかきまぜ、全体を消しましょう。

ぜひ農業センターととりくむ

司会　つぎに産業関係の問題について、経済委員長の藤本さんどうぞ。

藤本　町民のふところ具合をよくするための、根本的施策をたてなければ駄目、本町は畜産を取り入れた、農業経営でなければならない。これを成長さすには、町と農協が一体化し、営農指導、畜産技術、流通対策の部門を設けた、農業センターが必要である。現在飼育している〝ランドレース〟にしても考えるべきだ。

町長　〝ランドレース〟の飼育については検討中である。

中野　農業センターについての、決定方式は今のところ出せぬと思うが町は専業農家（第一種兼業を含む）の協業化を指導すべきだ。

田中（喜）　農業センターは、どんなものを、とり入れてゆくかが問題である。

助役　問題はむつかしい、町でもそれを検討している。

田中（喜）　町内の現状は、各種団体はばらばらである、少くなくとも大内町全般を含めたものでないと駄目だ。

司会　農協側から見たお考えを、副議長の貞永さんどうぞ

貞永　地区別に分れて、指導することはいけない。将来は大内町も一本化した営農指導のため、農業センターをつくりたい。農協の合併もやらねばならない。（同感）

田中（喜）　町でも、町内のすべての団体と話し合い、町民の声を聞いて検討してもらいたい。

司会　農業センターについては、まだ問題があるので、課題としてこれからも研究してゆきたい。

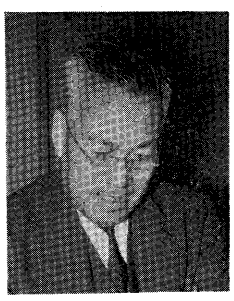
中川　町の財源は山にある、林業指導にも重点をおき、県の林業事務所を、大内町に設置するよう、県に要望したい。（同感）

藤本　京都の北山林業など、よい参考になる、林業指導も根本的に検討する必要がある。

機構改革も

司会　町の財政、機構の問題について、総務委員長の田中さんどうぞ。

田中（喜）　健全財政とは、金をつかわぬ黒字財政だけをいうのではない、苦しくても必要であれば何にかの施策を講じ、積極的にやるべきである。役場内の機構についても、横の連繋を緊密にするための機構の改革は必要と思う。



藤本　支所を廃止した場合の、地区の行政、また町民相談室、企画室などの設置についてどう考えているか。

助役　いろいろむつかしい面もあるので、しっかり研究してみる。

総務課長　機構改革、事務改善、人事などの問題は、これからも検討して善処したい。

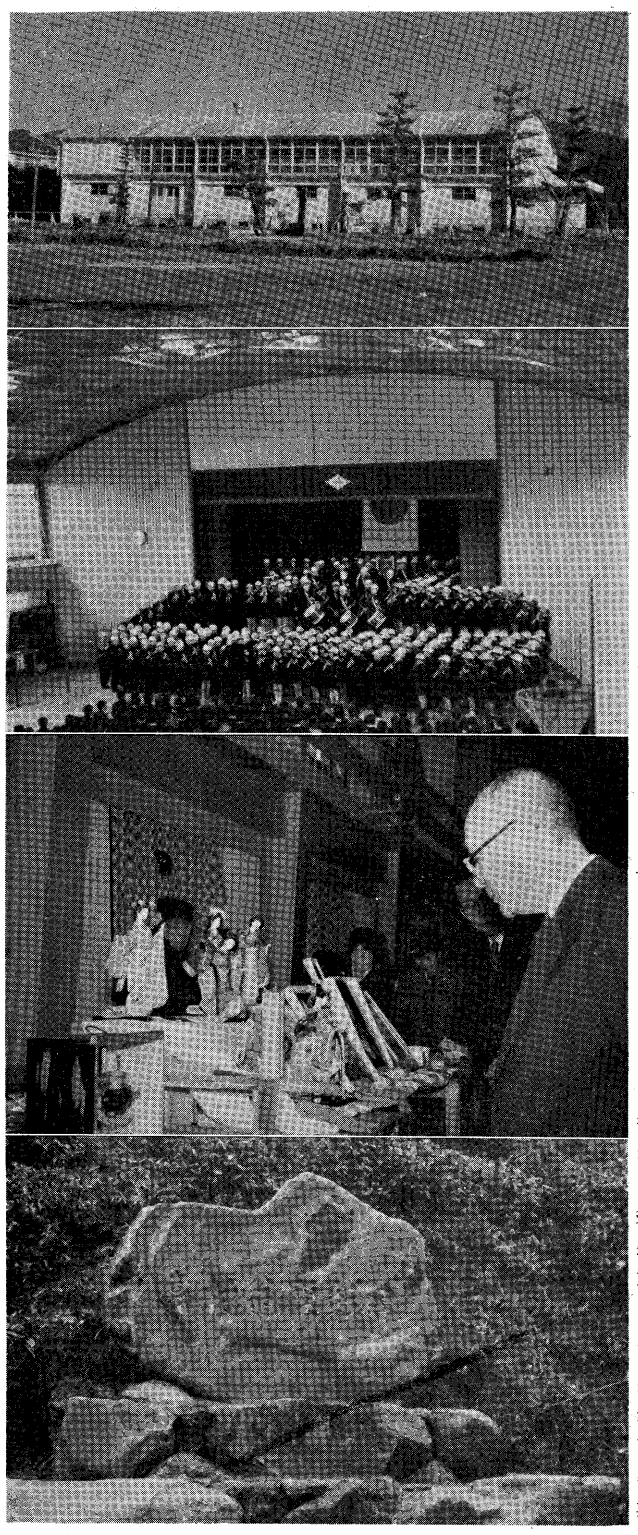
司会　よりよい大内町の、飛躍的発展のため、ことしも大いに頑張りましょう。長時間どうもありがとう。

出席者

▽田中俊輔さん……司会
（大内町議会の議長）
▽中川廿七さん
（議会の土木委員長）
▽藤本金土さん
（議会の経済委員長）
▽田中喜熊さん
（議会の総務委員長）
▽中野正さん
（議会の文厚委員長）
▽須子町長
▽渡辺助役
▽藤本教育長

成人の日を迎えて

ことしの成人式は1月15日午前9時30分から仁保中で挙行した。成人の日にふさわしい，数々の記念行事を催してはげまし，これから社会人として門出する268人に記念品を贈って，みんなで祝福しました。



体育館落成

大内小体育館が完成し，2月26日落成式をあげました。総工費1,241万円，面積は延172坪，ダイヤモンドシエル，鉄骨，1部鉄筋平屋建の立派なものです。この日は式についで，音楽部の合唱，鼓笛隊の演奏，体操の実演など，全校をあげてお祝いしました。

鼓笛隊が誕生

大内小に，立派な鼓笛隊が誕生しました。5，6年生を主体に，総勢300名の立派なもので，体育館落成の日に初演奏をして，一般に感銘をあたえた。〝こんな立派なものが，短かい期間にでき上ったのも，先生の熱心な指導とこどもの意気，それに父兄の理解と援助があったからです。音楽統一の基盤として，これからは全校音楽的に発展させたい〟とは校長の感想……

婦人会の総会

12月24日大内中で，大内町婦人会の総会が開かれた各地区からの活発な意見発表，余興，暮しの工夫展など多彩な催しのあと「幸福な条件」と題し加賀尾秀忍先生の講演があり，本当に有意気な1日を終りました。

嘉村翁顕彰碑建立

郷土の大先輩，嘉村道亮翁生前の功績をたたえ，これを長く記念するため顕彰碑が建立され，12月17日関係者多数参列し，盛大に除幕式を挙行しました。

公民館の窓

楽しい「長壽会」

温かい人間関係をつくるために、日頃から自己の健康をまもり、じっと周囲をみつめて、自己の研修にはげむ老人グループ「長寿会」がある。

この会は大内地区氷上部落にあるもので、会と共に5年間、歩みをともにされた世話役の1人、中北サダさんにようすをきいてみました。

5年前、姑学級として私達55才以上の女子がはじめました。1年過ぎて、男子にも呼びかけましたところ、〝渡しに舟〟と男子は60才以上が会員になって、新らしく「長寿会」と名をつけ発足しました。それからは健康診断、講演会、レクリエーションなど楽しみながら勉強するという本当に次回が待たれる、楽しい会になってきました。それに毎年忘年会を開いて、楽しんでいます。会の〝目的〟はどこまでも人間づくりで、比較的外に出ることの少くない老人も、できるだけ話し合いに機会をもち、社会におくれず、若い人に伍して行くにはどうしても私達自身研修の場が必要であります。いま会員は45人で、はじめから無理をせず、会員に好かれる会の運営をと努力してきました。また、部落の役員、婦人会、こども会などこぞって後援してくださるので、こんなに成長しました。今後も地味ながら老人にはなくてはならない会として、ますます発展させたいと……。12月10日この会の5周年を記念して、部落ぐるみの楽しい1日を、多彩な行事で過ごしました。

老いても自己の研修を忘れることなく、人間つくりにはげまれる「長寿会」はこれからもますます進展することでしょう。

農業委員選挙人名簿の縦覧

1月20日～2月3日　ぜひご覧ください

町選挙管理委員会は、さる12月1日現在で調製した、農業委員選挙人名簿の縦覧を大内町役場および小鯖、仁保各支所で行います。特に今年は農業委員の選挙もあり、この名簿は基本選挙人名簿と異なり、脱漏すると後で登載することができませんので、選挙資格のある方は、ぜひ縦覧して名前の脱落や書誤りなどないかお調べください。若し誤りを発見したときは、縦覧期間中に文書で、異議の申立をしてください。

大内町広報

昭和37年2月15日
第78号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

町議会が表彰うける

明るい民主政治と町民の福祉増進のために努力している大内町議会が、2月2日全国町村議会議長会から「優良町議会」として表彰をうけました なお伝達式は2月26日県庁で行なわれます。

所得税の確定申告

昭和36年度所得税確定申告指導日がつぎのように決まりました。

2月27日　仁保支所
　　小鯖支所
2月28日　本　庁

午前9時から午後4時までです。当日はぜひおいでください。27、28両日お差支えの方は、3月10日から15日までに山口税務署の方え。

税　金

2月　固定資産税4期分

山口市の合併申入れに
委員会を設け調査研究

昭和30年大内、小鯖、仁保の旧3村が合併するさい、山口市との合併について話しはあったが、市側に受け入れ準備がなかったので一時見合せになっていました。

1月22日山口市長、山口市議会議長が本町を訪ね、山口市と大内町の合併について、正式申入れがありました。その趣旨は

以前合併問題のあった当時と情勢は別に変ってはいないが、市政は当時より落ちついて、前向きの姿勢でゆくことが出来るようになった。現在の山口市をこれから大きく発展させるにはどうしても、地理的にも経済的にも、緊密な関係にある大内町と合併して、その大きな行政力でやってゆくことが必要です。これまでも伝染病棟の共立、商工会議所の合同運営もあり、市の水源地、県設の競技場なども大内町内にあり、今後椹野川の綜合開発をはじめ、両市町住民の協力一体化は、輝かしい将来を約束し福祉増進にも期待されることと思います。前回のように山口市と合併しようかというご意志があれば、いろいろ事情もあろうが時期としては、来年の山口国体の開催までに合併してもらいたい。いづれにしても合併は民主的と申しますか、町民のみなさんのご意見が支配するので、これから充分に調査研究していただきたい。ということでした。

そこで、大内町では1月26日町議会全員協議会を開いて、この申し入れについて検討協議しましたが「合併するか、どうか」はこれから、いろいろな面より調査し比較検討しなければ判断できないということで、これから調査研究をはじめることを決め、直ちに町議会全員と町執行部で組織する「大内町建設特別調査委員会」を設置しました。

この委員会は、4つの専門部に分かれ、各部毎に調査項目を決めて、これを主体に山口市勢の実態を詳細に調査することを第1段階とし、3月末までに一応の調査を終ることにしています。この調査と併行して、大内町自体の建設計画をたて、その後においてこれらを比較分析し、再検討を加え十分な資料を得たうえで、町民のみなさん方とご相談することにしていますが、何づれにしても大内町の将来を決める重大な問題だけに、町としても慎重なうえにも慎重を期していますので、町民のみなさん方も充分ご理解のうえ、慎重な態度でご協力くださるよう特にお願い致します

なおどんなことを調査するか、項目をあげて参考にいたします。

調査項目

▽総務部関係
本庁、支所の機構並に職員配置
職員の給与体制と身分保障
報酬関係調査
部落機構
旧合併地域の行政の実態
同地域の財産の管理運用
施設の実態
予算外事務負担関係
負債の関係
才入才出額並に住民一人当り額
市の経営並に財政計画
合併地域の消防関係
所得額の調査方法
所得の階層及び種類別調査
市民税率
固定資産の評価の関係
都市計画税の賦課方法
納税貯蓄組合の実態
固定資産再評価進歩状況
滞納処理の方法
交通々信関係
水道施設

▽経済部関係
農業基盤整備事業の実施状況
農民に対する課税の還元状況
耕地災害復旧並に土地改良事業の状況
農業施策と他産業施策との比較
農業用施設の内容調査
農業団体に関する調査
僻地農業施策の調査
最近合併地域の農民意見聴取
市有林の現況当に経営計画、経営区分、林相、植伐の状況
住民との権利、義務関係
財産区特別林野の状況
県官行造林の状況
林野行政
森林組合　種苗組組合の状況
林業指導面について
林野、治山、特産物関係

▽文厚部関係
社会教育施設並に施策
社会教育費の住民負担
義務教育施設の老朽度
教材、教具の設備状況
教育施設の地元負担
教育団体の実態
義務教育の市費支辨職員実態
給食関係の施設並に運営
通学費の調査
廃校処理の状況
義務教育外の教育施設並に運営
生活困窮者の対策
社会福祉施設並に施策
失業対策
保健衛生施設並に施策
国保の運営
公営住宅関係
戸籍、住民登録事務について

▽土木部関係
市道路網および市道現況
市道の維持管理方法および財源
内訳
道路工手有無および実態
道路補修専用車および機械器具の現況
道路敷用地の登記完否
報償費の有無
林道の新設改良および管理の実態
橋梁の現況（永久、木造の別）
橋梁維持管理の方法および財源内訳
報償費の有無
市管理河川の現況（特に延最）
河川の維持管理および管理費の財源内訳
水防事務について
災害の発生状況（過去五カ年間）
過年度災害の残事業
災害復旧事業費に対する市負担分の内訳
単独災害の採択並に復旧方法および財源内訳
防災事業の種類、事業費、財源内訳

患者輸送車お目見え

これまでは患者輸送に不自由していましたが，2月1日山口市，大内町共立伝染病棟組合では，伝染病患者輸送車としてトヨペットマスターライン1台を購入しました。この車の価格は95万円，うち国庫補助63万円で残額の32万円を組合が負担しました。車の特徴は，患者用のベット付きで，後部から自由に取りはずしができます。自宅の病床から輸送車まで，担架代りに使用し，そのまま車に乗せて輸送するようになっています。

また付添の方も患者と同乗でき，寝具や身廻り品も一しよに積み込むよう，大へん便利にできています。病棟組合では，伝染病患者以外の一般患者でも，臥床したまま輸送しなければならない場合にはできるだけ便宜を図りたい意向です。

なおこの車を利用することは個人の依頼ではできませんから，必要を生じた場合には町役場衛生係の方えお申し出ください。

固定資産の評価すすむ

固定資産の評価については、まえにもお知らせしましたように、昭和39年度からは、国の示した新らしい評価基準によらなければなりません。

そこで大内町でも、11月1日から各地区毎に、作業班を編成し、標準田、標準畑について

1　日照、通風、土壌などの自然条件
2　通作距離、集荷地までの距離などの経済条件
3　農地の面積、形状などの災害条件などの最も標準的なものの基本調査を実施しています。現在大内地区は殿河内、宮ノ馬場、長野、大道、上矢田、中矢田、高芝茅野神田、小野、閤田を小鯖地区1区、6区、7区、8区、9区、10区、11区、12区、13区を仁保地区は揚山、金坪、両浴、野上、土井、仁保市、丸山の作業をすましましたが、これから残っている部落を引きつづき実施することにしています、また農地以外の土地についても、調査することになっていますので、みなさん方のご協力を特にお願いいたします。

なお農地の調査にあたってみると、台帳地目と現況が異っているものが相当あります、これは所有者から法務局へ申告の手続をとって、台帳地目と現況地目が一致しているようにしてください。

土地調査の作業風景（大内地区）

大内町の世帯と人口の動態

年　度	世　帯	人　口		
		男	女	計
30.10. 1	3,025	7,461	7,615	15,076
33.10. 1	3,105	7,600	7,502	15,102
36.10. 1	3,091	7,140	7,441	14,581
37. 1.31	3,113	7,131	7,410	14,541

▽**昭和20年8月15日**から昭和27年4月27日までに、占領軍の不法行為で、けがをしたり、命をなくした方には、見舞金が支給されていましたが、法の改正で新らしく給付金制度になり、これから3カ年間に支給されることになりました。今までにこんなことがあるということ知らず、届出をしておられない方は、町役場町民課え申出ください。

▽**児童扶養手当の**支給は、申請のあった翌月から支給されることになっていますが、この法ができたとき（昭和35年12月現在）すでに受給権のある方は3月末日までに、申請されないと、1、2、3月分の手当が受けられません。4月以降は翌月分から支給されます。

▽**世帯主の結核性疾病**についての治療費は、7割を給付していますが、結核性疾病と診断されるまえから。治療されていた分に対する差額の2割が給付されますので、該当の方は役場または各支所の方え問い合せください

▽**個人事業税**（県税）の申告期限は3月20日までです申告をしないと、事業専従者控除、雑損控除、雑損失などの諸控除の適用をうけることが出来ませんので、期限までにぜひ申告してください。

▽**公明選挙連盟では**、明るい、正しい、きれいな選挙のできる意味を盛った「公明選挙の歌」を一般から募集しています。形式は自由ですがわかりやすい、したしみやすいもの（例えばラジオ歌謡のようなもの）締切は2月末、入賞2篇と佳作10篇に賞金、発表は3月下旬多数応募ください。

▽ **新入学のこどもさん**のある家庭では、入学後少しでもよい成績をと、いろいろ心配されていることでしょうが、無理な学習はさせないように、自分のなまえが書けて、数は10まで確実に数えられればよいでしょう先づ健康な体で、自分の身近なことが、自分でできるように、しつけておくことが大切です。

▽ **青少年をすこやかに**育てましょう。青少年の不良化や家出、交通事故など、悲しいいたましい問題はあとをたちません。私たちは、いつもわが子に関心をもちすこやかに育てるために、もっと、親と子の話し合いをもち、親は子の立場に立って考え、子は親に近かずこうとする努力があってこそ、明るい家庭ができ、こどももすこやかに育ちます

▽ **危険な40代「成人病」**の予防、現在年令階級別の死因順位では、40才～49才までの年令層で、がんを主とする悪性新生物で死亡するのが1位です、とくに高血圧症は食生活に関係が深く冬から春さきにかけて、悪くなることが多いようで、これは、冬中は新鮮な野菜が少なく、塩辛い漬物や塩蔵物を食べすぎ、ビタミンCの欠乏からです。

▽ **秋落ち田の手当**はいまがよい。秋落ちの原因はいろいろあるが、大部分は土壌的欠陥で、耕土が浅いと肥持ちが悪く、地力が少ないと後期に肥切れになりやすい。対策としては砂質土では、客土、耕土培養をし、老朽田は硫酸根肥料の使用をやめ、鉄分を含んだ赤土肥鉄土、ボーキサイド、平ロサイなどを入れ鉄分を補給すること。

隠れた文化財

釈迦如来座像と二天王像

仁保地区高畠皇徳寺西隣の，釈迦堂のうちにある仏像で，温客せまる作品，この釈迦如来座像は，藤原末期（約750年前）の地方工匠の手で作られたものと推定され，脇師の二天王像も同じ時代のものと思われる作者，由来などは文献がないので明らかでないが，元禄２年に堂宇を再建して，これを安置した，更に大正７年に現在の釈迦堂に改築したようである，これらについては専門家に調査を依頼してある，伝説によると上の方から，流れてきたものを附近のものが拾って，堂宇を建て安置したとの１説もある。

釈迦如来座像

二天王像

町民税も申告制度

課税は前年の所得をもとに

地方税法の1部が改正され、昭和37年度から住民税(町・県民税)も所得税と同じように、所得額を申告しなければならないようになります、そこでどのように変るかその主なものをあげてみましょう

課税法式が統合

これまでは、5つの課税方式がありましたが、改正によってつぎの2つに統合されました。

これの1つは、所得税と同じ方法の前年の所得の合計額から雑損控除、医療費控除、社会保険料控除、生命保険料控除、扶養控除、基礎控除を差し引いた額を課税標準とする方法（これを本文方式という）といま1つは、総所得額から基礎控除のみを差し引いて、税額を算出し、これから扶養控除、専従者控除などの控除をする方法（これを但し書方式）とに限定されました。

1 総所得金額の範囲及び算定の方法

専従者控除については、所得税の例に準じて扱うことになりました（但し書方式では、青色および白色申告ともに一定額の税額控除になる）

2 所得控除

所得税の所得控除とは、いくらか異ったものになった（但し書方式では勤労控除のみがいくらか上廻った）

3 税率

今までの合算課税が、1部あらためられ、退職所得又は山林所得については、それぞれ分けて課税するようになり、山林所得は所得税と同じ、5分5乗方式によることになった。

4 税額の計算

資産所得については合算課税（世帯単位）変動及び臨時所得については、平均課税の方法によることになった。

5 税額控除

扶養控除のほか、専従者控除が法定化され、寡婦、老年者、身体障害者、勤労学生などの控除を任意にすることが認められることになった。

6 申告制度

申告義務を給与所得者以外の全部のものに課し、控除などの適用は申告を条件とし、申告の制度が強化された。（申告書を提出しない場合は、基礎控除のみで、ほかの控除は認められないことになった）

以上が改正のあらましで、大内町は但し書方式を採用する予定です、町税務課では、この制度について検討をし、近く各戸にもくわしい「昭和37年度町、県民税の申告の仕方」を配布します。申告書の提出は3月20日までになっていますので、お忘れなくみんな申告してください、なお不明の点は町税務課の方え問い合せください。

お子さんを小児マヒから守りましょう

小児マヒの生ワクチンの、無料服用をつぎのように実施します。

3月5日仁保小、6日大富小、7日小鯖小、8日大内小で、いづれも午後1時から4時までです

服用するものは、昭和36年11月30日以前に生れた者から小学校在学児童全員（但し昨年生ワクチンを服用し、予防接種を3回終ったものは除きます）2月末までに申込書をくばりますが、昨年もれた方その後転入された方は、役場または各支所に申出てください、申込書は服用当日持参ください。

1 定められた期日に、必ず被保険者証を出せるように、医者のところにあるもの、学生で寄宿先にあるものなどは取り寄せておくこと

2 検印時の人員が、4月1日現在員となって、保険税の賦課対象人員となりますから、検印のとき異動のある方（出生、死亡転出、転入、そのほか社会保険加入または脱退）は異動届を出していただきますので、印鑑を持参のこと。

3 定められた日に検印できないときは、役場または各支所の方え持参のうえ、なるべく早く検印を済ませること

4 検印のため被保険者証を提出中に、医者にかかられる方に対しては 証明書を発行しますので申出のこと。

尚検印がないため、資格はあっても診察や治療が受けられないということのないようみんなこぞって受けられるようお願します。

国民健康保険では被保険者証を検認します

いま大内町国保の被保険者証の有効期限は、昭和37年3月31日までで、それ以後は無効になりますから、期限延長のため検印を、3月上旬部落に係員が出向いて実施しますので、次のことに注意して準備しておいてください。

「たばこ」は町内の小売店で

たばこを買うと、その価格の11/100が税金として、専売公社がたばこ小売人に売り渡すとき、税金を合せて徴収し、1カ月をまとめて、その翌月10日までに、たばこ小売店のある市町の収入役へ送金してくることになっています、これがたばこ消費税といって、大内町では1年間に約250万円ありますしかしこれを他の市町に比べてみると、人口の割合からして、そう多い方ではありません、それにはいろいろ理由がありますが、その1つに、大内町の勤め人の多くが山口市または防府市といったように町外に勤務地をもっていられるためと思われます。そこで大内町の愛煙家のみなさんは、たばこだけはぜひ町内の小売店で求められるよう、特にご理解とご協力をお願い致します。

ランドレース種豚の種付利用について

昨年6月はるばるアメリカから輸入した、ランドレース（シアトル市在住の須子正治氏の寄付による）は県農業試験場畜産研究室に依託し、試験飼育していましたが漸く成豚になりました。

そこで町では、養豚の改良と増殖を図るために、2月1日から氷上の中野正さんに町有種牡豚管理を依託して、一般養豚家が飼育中のヨクシャー豚への種付を実施することにしました。これには規定があって、種付の相手方、1代雑種豚の取り扱い方、種付料、分娩報告書の提出など決めてありますので、ご希望の方は町経済課、各支所に問い合せのうえ、申請書で申込みください。

公民館の窓

成人病週間にこんな行事を

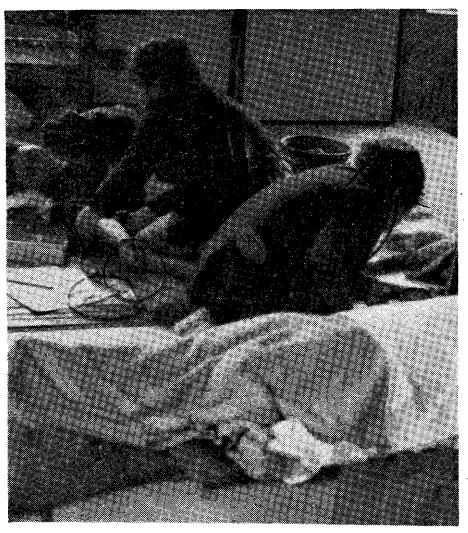
〈綜合社会教育指定大富公民館を訪ねて〉

2月5日第2回目の血圧測定と健康生活、映画による子どものしつけや社会学習、話し合い、おとしよりのかくし芸などして、大いに笑い身も心もまづ健康ということでした。

この日集まられたおとしよりは60余名血圧測定をされた方は50名、そのうちには検尿までした、要注意の方も相当あった、これも前回と比較して効果はあがっているが、なかには前回の記録を忘れた方もあり、これではとこの地区の「としより会」に健康手帳をこしらえることになったこのたびの測定結果では、全体的に高くなっている、その原因についても、保健婦たちと話し合いなかなか熱心に学習していられた。健康生活についての体験発表もあったが、中でも平岡政信さんは成人病追放の「高血圧の予防と治療について」こう話された、…愛媛県の山本某先生の発表で、学名「クコ」という植物、その芽を煎じて服用すれば血圧降下の特効薬で、それに強精作用もあり一般健康増進にはぜひ「クコ」の服用をすすめたい現在この植物を栽培している佐波川流域には野生もあるとのこと…

つぎにもう1つ、「がん」の予防と治療について、村田保一さんは「がん」治療に「サルタケ」が妙薬ということこれは山口県某学校長の発表であるが服用しての効果など熱心に説明させた、このように成人病の研究ではくろうとも及ばぬほど…

こうしたお互いの健康生活のために努力される「としより会」その蔭に働らかれる公民館役員、婦人会員など部落こぞっての協力があるところから、社会教育も綜合化されてゆくことであろう。



「としより会」の血圧測定

〝自分たちの健康は、自分たちで管理しなくては〟…常に自分の健康状態を知り、いつも健康生活をと心がけ、いろいろの体験や健康法を話し合い、こどもの家庭でのしつけ、家族全体の食生活までも学習して、その日その日の生活に無理のないようにと願いながら、楽しくすごしていられる「としより会」がある。

大内町広報

昭和37年3月15日
第79号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

国民年金も受賞

きょ出制国民年金制度が実施されてから、周到な計画とみなさん方の協力によって、円滑な事務処理と、保険料の収納に成果をあげたので、去る2月13日厚生省年金局長より表彰をうけました。みなさんご協力に感謝します。

おたしかめください お宅の固定資産税

固定資産税の課税台帳を見ていただくのは、こととしは、3月10日から3月29日までになっています。仁保、小鯖地区は、各支所でやっています。お宅の台帳に間違いはないか、どうぞおたしかめください。

総額一億三八〇〇万円 新年度当初予算きまる

昭和37年度の当初予算が、3月3日の町議会で決まりました。

予算書は、きめられた項目に必要な数字（金額）をならべたものですから、ちょっと見ただけではわかりにくいので、これをもすこが、これで充分とはいえません、しくだいてみましょう（数字は記憶しやすいように、10万以下を4捨5入しました）

税収入は全体の33％

まづ歳入の面では

税収入総額が4千220万円、これは昨年の4千470万円に比べて、250万円減っています。それは町民税の賦課方法がかわったために減額されたものです。町民税は1千240万円、固定資産税2千380万円、そのほかあわせて600万円で、税収入は総予算の33％になります。

行政上不足する経費を国がくれる、地方交付税は、固定資産税より200万円大きいだけ、財産収入はほとんど立木の売上げ代金です。分担金と負担金には、工事などで地元が負担する金も入れてあります。町有の建物使用料、保育料、戸籍や住民登録などの手数料は、使用料および手数料に入れています。国庫支出金には、土木事業の補助、消防、教育などの補助金が入っています。県の支出金には、農業建設補助、耕地事業補助、農委、保健衛生などの補助金が含まれています。町債には、土木災害の復旧、仁保小屋体の改築、町有林の造林などを行なうのに不足する金を、国から借り入れするものです。これら全部をひっくるめての総額が1億3千800万円、これを昨年度当初予算に比べると、約1千200万円ふえています。

× × ×

これに対して**歳出**の面では

教育費が、筆頭で全体の1/4

歳出で一番大きいのは、教育費の3千320万円、これは全体の約四分の一、そのうちの約1千600万円が設備費です。現在の町財政からすると、この負担は大きいものですが、それといって老朽校舎をほっておくわけにもいきません。

つぎに大きいのは役場費で、このうち人件費に2千690万円いります。これも大きい金額ですが、現情から止むを得ない経費です。

産業経済費は、1千610万円です

新規事業に投入できる額は2千600万円

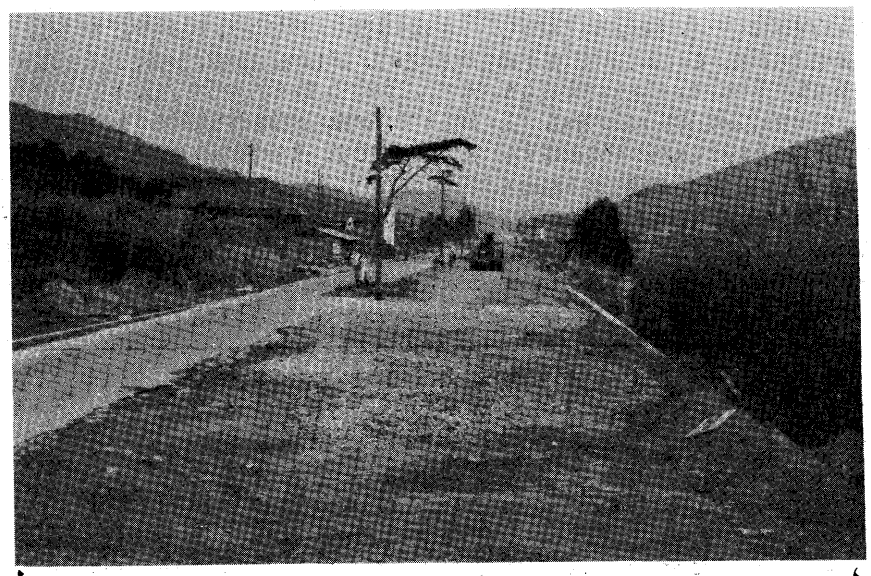
ことしの予算で一般財源は1億300万円（町民税4千220万円、交付税2千600万円、立木代金など3千280万円）あります。この財源のうちから経常費（行政をやるために必要な人件費、物件費など）6千680万円を引くと3千620万円が残ります。このうちから公債の元利償還金、そのほかの1千40万円を差引きして残った2千580万円、これが純粋な事業に投入できる金額といえます。しかしこのほかに、特定使途（災害復旧や特殊な工事補助、特定の事業補助など）3千500万円あるので、実際には6千万円ぐらいの事業を起こせば、財源のないときは起債（借金）よるほかに手がないわけです。現在町には起債が5千440万円ほどあります。

以上が、37年度当初予算のあらましです。このほかに、約2千50万円の国保がありますが、つぎの広報でお知らせします。

37年度当初予算

（総額 13,800万円）

歳入	町税	4,220万円
	地方交付税	2,600 〃
	財産収入	3,630 〃
	分担金および負担金	230 〃
	使用料および手数料	300 〃
	国庫支出金	1,040 〃
	県支出金	620 〃
	雑収入	40 〃
	町債	1,120 〃
歳出	費	380万円
	費	3,260 〃
	費	130 〃
	費	1,890 〃
	費	3,200 〃
	費	330 〃
	設費	100 〃
	費	1,610 〃
	費	1,170 〃
	費	660 〃
	金	810 〃
	費	50 〃
	施設および生産施設費	
	会場防木育成費	
	健康衛生費	
	産業経済債	
	会計支出	
	保健予備	
	財産公債費	
	諸予備	
	議会費	
	役場消防費	
	土木費	
	教育費	



（道街鯖小むすす事工張拡）

防―山間の県道

改修工事は急速に進んでいます

県道防府―山口線の改修工事は進んでいます。

35年度上鯖山地区からはじめられた巾員拡張工事も、36年度には、下鯖山―八反田橋まで延長され、現在は鯖地、境地区の拡張にかかっています。また八反田、鳴滝地区では、家屋の移転中です。拡張されたところは、上鯖山より遂次舗装されて、巾12mの立派な道路は、日を追って北へ北へと伸び、いま小鯖街道は全線に亘って工事がすすめられ、幹線道路として変りつつあります。

なお、柊～御堀間の新設路線では36年度中に用地買収を完了する予定で、目下土地所有者と相談をし、協力をお願いしていますがこれが解決すれば、37年度は4月から全区間に一せいに着工することになりますので明年の山口国体までには完成することでしょう。

農業構造改善事業とは

町が一般地域の計画指定をうけた

農業基本法ができて、これからの農業が進むべき方向が示され、この趣旨にそって、農地保有制度を合理化し、新らしい技術、新らしい機械や施設を導入して、農業生産の選択的拡大をすすめることによって、他産業との所得格差をちじめ、農業生活の向上を図るために行われるのが「農業構造改善事業」です。

パイロット地域と一般地域

この事業は、全国約3千100市町村を対象に、36年度から10ケ年間で完成することになっています。

事業は、パイロット地域と一般地域とに分かれています。パイロット地域というのは、市町村のなかで一部（旧村単位とか大字単位）に実施するもので、指定された地域に重点的に行ない、これを農業改善事業の「サンプル」にするといった性格のもので、これは36年度だけでなくなります。

一般地域というのは、1市町村全域に亘って、事業を実施するものです。

この事業の経費は

この事業は、調査と事業計画をたてるのに1ケ年、事業実施は3ケ年継続で完成することになっています。事業費は、1地域（耕地面積2千町歩）平均1億1千万円で、そのうち9千万円が補助事業です。残り2千万円が融資でやる事業ということです。9千万円の補助事業費のうち、4千500万円が国庫補助、4千500万円が融資になります。融資は事業費の約80％程度ですから事業を行なう団体や個人の負担は1千900万円になります。

この事業の内容は

この事業は、畜産、果樹、そさい園芸、養蚕、穀しゅくなど、その地域の条件に応じて適地適産のかたちで、それぞれの主産地をつくっていくという方向に進むのが目的ですから、今までとはかわって、目標とする作目を1つか、2つにしぼって、それを重点的に実施していくことになります。

例えば、大内町では米と酪農、あるいはこれに養鶏をくわえてやるということが、みんなの意見で決まれば、この3つが対象として取りあげられ、これに必要な施設や土地条件の整備などが実施されるわけです。それはどんなことかというと、草地を造って自給飼料を増産する、集団飼育や共同経営の施設をつくる、水稲栽培の労力をはぶくため、ほ場の整理、大型農機具の利用、農地の集団化、道路や水路の改修などして増収を図るといったようなことです。

大内町は、36年度一般地域の計画指定を受けて、いま準備中ですこれから農家のみなさん方から意見をきいて、立派な計画をたて、新年度実施にもっていきたいと考えています。この事業をやったからいますぐに、大内町の農業が生れ変ったものになるとは考えられませんが、将来のためにある程度の方向づけはされるでしょう。

▽ **農業改良普及所**は、これまで山口市と一緒でしたが新年度からは、大内町だけ独立して設置される予定です。くわしいことは確定次第お知らせします。

▽ **青年学級家政部生徒募集**をしています。公民館では大内、小鯖、仁保の各地区毎に開講する、青年学級家政部の生徒を、3月中学校および高校卒業者、または一般婦人から広く募集しています。希望の方は3月25日までに申込みください。なお、学級案内は地区婦人会役員、青年団、公民館にありますので問い合せください。

▽ **春季道路愛護週間**を、3月21日から30日まで実施します。この期間には、とくに道路や側溝の清掃、砂利道の修理、補修材料の補給障害物の除去、標識の修理や是正などを行ないますので、みなさん方のご協力をお願いいたします。

▽ **乳児相談日**を、つぎのように決めて、これからも毎月続けて実施しますから、多数おいでください。

第2水曜日9時30分から11時まで大内町研修館

第3水曜日13時から15時まで小鯖支所

第4水曜日13時から15時まで仁保支所

当日が祭日やそのほかの都合で実施できないときは、変更のお知らせをします。

▽ **在外私有財産の返還**補償については、近く解決する見通しになりました。ところが、この請求手続を3月31日までにしないと、その権利が無効になりますのでお知らせいたします。くわしいことは、引揚団体または町役場の方へ問い合わせください。

▽**奨学金制度**は、すぐれている学徒でありながら、経済的な理由で、修学が困難なものに学資を貸し、教育が受けられるように援助する制度で、これには、山口県奨学会、日本育英会、母子福祉資金などがあります奨学金の貸付を受けたい方は、現在おられる学校、または町役場か福祉事務所の方で取り扱っていますのでその方へ問い合せください

▽春さきは、空気が乾そうして、**火事のもっとも多いシーズン**です。外出のときや夜寝るまえには必ず火のもとをたしかめましょう。

また、山火事が起りやすいときですから、山の仕事をする人は、たき火やたばこの吸がらには特に気をつけましょう。

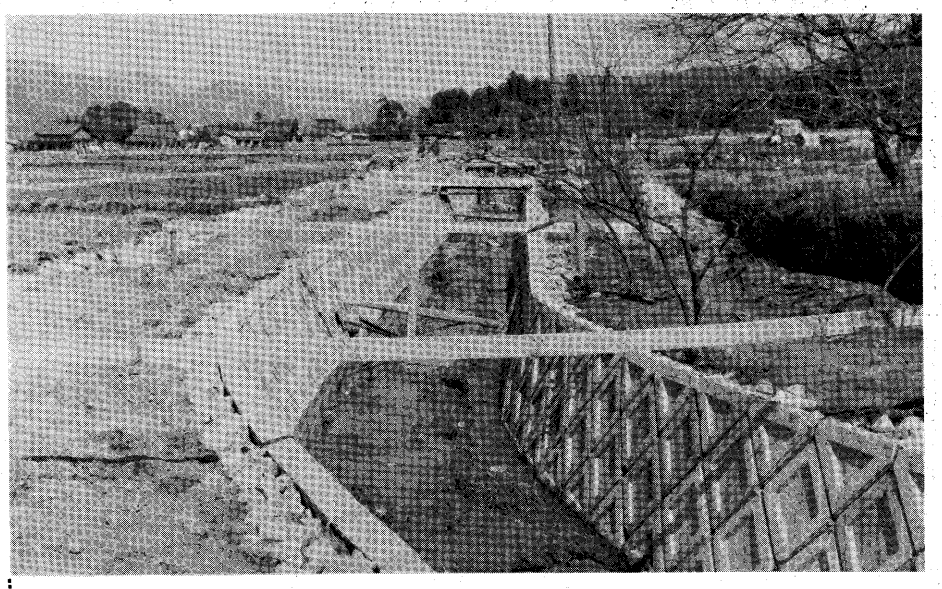
▽**畦畔の雑草焼き**のことを昔から、あせ焼きとか、土手焼といって、年中行事の一つになっています。

便利帳

畦畔の雑草焼きは、家畜にあたえるよい草を採るだけでなく、田畑の作物に害をあたえる害虫や病菌が、草むらで冬越しするため、これを焼きはらう作業です。春先きの風のない天気の日を見はからって、忘れず実施したいものです。火入れにあたっては、充分気を配って行ないましょう。

▽**春先きに多い目の病気**に「ものもらい」がありますが、これはマツ毛の根もとにできる一種のできものです。その部分が赤くはれ、痛みが強く、結膜も充血して、おすと痛を感じます。

これを、こするとつぎつぎとうつって、なおりがおそいので、決してこすってはいけません。サルファ剤を内服し、目には軟こうをつけほう酸水で冷やし、眼帯をしておくと早くなおります。



（きれいに出来かわる排水路　仁保下郷地区）

農地をまもる——立派な排水路

仁保下郷丸山地区に行くと，排水路の工事をしているのが見受けられる。これは「県営仁保下郷地区農地保全事業」といって，昭和35年度から3ケ年計画で，総工費1,515万円をかけて幹線，支線，承水路の排水路あわせて3,018m′を改修する事業です。この事業の目的は，戦後仁保下郷地区には開拓団が入植して開こんしたため，この開拓畑地から降雨期には，土砂が流出して，既設農地に流れこみ，その被害は豪雨時とくにひどく，従来の排水路を改修してこの被害をなくすためです

この事業費の負担割合は，国庫50%，県25%，地元25%で，第1年度は幹線，支線，承水路あわせて1,249mを工費545万円で完了し，いま第2年度として，幹線，支線あわせて958mを工費675万円で実施中です。残りを第3年度として昭和37年度に行こない，全事業を完成することになっています。この事業が完成した後は，水田，畑地など，26町歩がこれまでのような災害や被害からのがれ，労力の節減や肥培管理も容易になり，相当の増産が見込まれるということです。

有権者総数六、一一五人
農委の選挙人名簿確定

新らしい、農業委員会委員選挙人名簿が確定しました。昨年12月1日現在で申告されたものによって選挙人名簿をつくり、1月20日から2月3日まで、間違いや落ちてはいないかを、みなさんに確めていただき、3月5日でいよいよ確定したわけです。

それによると、有権者総数は前回に比べ305人（男175人・女130人）減っています。この名簿は本年8月に行なわれる、農業委員会委員選挙につかわれるものです。

各投票区ごとの有権者数は、つぎのとおりです（参考までに）

投票区	男	女	計
矢田	284	366	650
小野	232	321	603
長野	270	336	606
御堀	136	154	290
中央	422	503	925
東部	134	129	263
西部	200	237	437
仁保第一	194	196	390
〃 第二	134	147	381
〃 第三	148	164	312
〃 第四	92	91	183
〃 第五	59	60	119
〃 第六	152	156	308
〃 第七	111	132	243
〃 第八	244	161	505
計	2,862	3,253	6,115

新入学の子どもさんのある家庭へ

ことし、4月から小学校へ入学される、子どもさんをおもちの家庭では、何かにつけていろいろご心配が多いことと思います。

ことにしつけの面は、家庭をはなれまったく新らしい学校という社会で生活することになりますので、非常に大切になってきます。

自分のことは自分で

しつけで、特に注意しなければならない点をあげてみますと、まず第一は、自分の身のまわりのことは、自分でできるようにしておくことです。たとえば着物をぬいだり、着たりすること、学習用具をランドセルに自由に出し入れができることなどがあげられます。

つぎには、学校という時間的にしばられた生活に早く馴れさすために、きまり正しい生活をさせるようにします。ことに早起き早ねの励行をさせるとともに、家を出るときや帰ったときは、必ずあいさつをさせるようにします。近所のお友だちと遊ぶときも、およそ時間をきめて、家に帰らせるようにします。

必ず左側を通行

家庭で一番心配なことは、学校への行き帰りに起こる、交通事故だと思いますが、このことについては「右側を歩きなさい」などと口で云って聞かせるより、平素から家庭の人と外に出たとき、必ず右を通るようにさせることが大切です。学校へ通う道は、もっとも安全な道を選び、その道を安全に通ることを、教えておくこともまた必要なことです。

健康な体で

それよりもっともたいせつなことは、からだに病気はないかということです。すでに発育状況の検査を受けられたと思いますが、もし病気があるようでしたら、入学までに完全に治療しておくことです。

「もう幾日すると小学校へ行ける」と入学を楽しみにまっている子どもさんのために、あたたかい心をもって育ててやりましょう。

無理な学習をさせないよう

入学後は、少しでもよい成績を、心配になります。しかし入学すれば、数も文字も、本を読むこともなにも知らないものとして、最初の段階から教えることになっていますので、あまり心配する必要はありません。ただ大切なことは、自分のなまえが書けたり、よめたりでき、数は10までが確実にどこからでも数えられるということです。

あなたの生活を守る
国民年金制度のあらまし

「みんなに年金を」という目的でつくられた国民年金制度が、完全に実施されてから、早くも2年目をむかえました。

これまで、この制度について、たびたびおしらせしてきましたがここで、もう一度おさらいにやさしく説明いたします。

国民年金は、みなさんから毎月掛金を納めていただきますが、それに国からも、みなさんが納められた掛金の半額を納めます。こうして集められた金が、つぎの場合にみなさんに支給されることになっています。

1、65才になれば（希望によっては60才から）＝**老令年金**

2、おもいけがをしたら＝**障害年金**

3　夫が死亡し母子家庭になったときは＝**母子年金**

4、祖母と孫、姉と弟妹といった準母子家庭になったら＝**準母子年金**

5、夫が老令年金をもらえるだけの掛金をかけていながら、年金をもらわずに死亡したときは＝**寡婦年金**

6、両親が死亡し、遺児になったら＝**遺児年金**

7、3年以上掛金をかけた人が何の年金ももらわず死亡したときは＝**死亡一時金**がもらえます。

つぎに、この国民年金制度に加入しなければいけない人は、明治44年4月2日以降に生れた満20才以上のもので、つぎにあげる人を除いては、必ず加入しなければなりません。

1、会社や役所などで、ほかの年金制度に入っている人

2、厚生年金や恩給などのほか年金を受けている人

3、1、2に該当する人の配偶者

4、学生

などとなっていますが、会社や役所などで、ほかの年金制度に入っている人以外は、希望によって任意加入することができます。いづれも、手続は簡単で役場または支所へ申込まれるだけで結構ですどうぞ「みんなに国民年金を」！

公民館の窓

尻きれトンボの
家計簿記帳はごめん!!

人間生活は、物資的な満足だけで幸福になれるというわけのものではなく，そこには精神的，感情的に人生を豊かにうるおすものが必要であることはいうまでもないことです。

しかし、このごろほど、生活が近代化され、消費の実態は複雑になりそれに条件もあって、家計もそう簡単にはゆかなくなり、「生活設計」が必要になってきます。

わが家の家計を——家計簿学級で

「わが家の生活設計は家計簿から」と年頭の経済運動かのように、あらゆる機関、団体がくりかえしたことであるが、それでも，どのグループを見てもわずか半年たらずで、大方のものが落伍してしまい，年末の決算もできて新生活の設計資料となるものは，ほんの数えるほどしかありません。

これではと、今年のはじめから大内地区の主婦達が立ちあがり，家計簿学級を開設して、いままでの欠陥であった実生活への結びつきと指導面の問題とにとりくみ反省しながら、綜合性と自主性のある実践活動を進めています。

これには、公民館，普及所，農協などが一体となって協力し，意慾のある主婦を対象に1部落から3名を単位に編成し，内容的には，初心者経験者とも課題別のグループで研究し，その学習と実践目標をつぎのよう決めている。

▽身近な家庭生活を話し合い，お互に困った問題をグループにもち出して解決する。

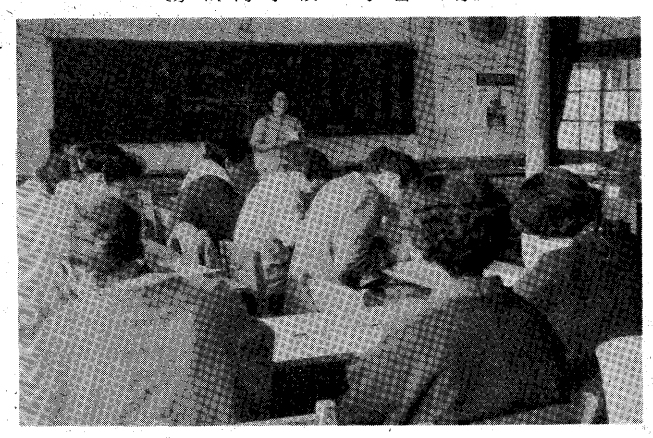
▽家計について，グループ同志で比較検討し，もっとも合理的な方法を発見する。

▽予算生活をすることによって農家の食生活を改善する。

▽家計簿からみた生活の工夫台所改善をする

こうして学級を知識の交換と話し合いの場として，明るい豊かな家庭づくりの基礎としています。どうか尻切れトンボにならぬよう発展を願いたいものです。

（家計簿学級の学習風景）



大内町広報

昭和37年4月15日
第80号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

大内警察官派出所
4月1日から発足

これまで、大内警察官駐在所であったのが、4月1日から派出所に名称をかえ、係官も2人制になってつぎの2人が勤務となりました。

巡査部長　吉岡保雄
巡　査　藤井敏男

これからもよろしくと。

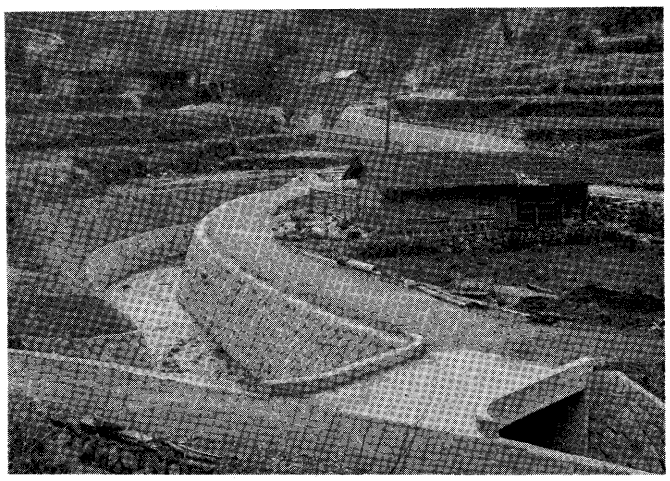
中学校卒業
就職者激励会

3月17日中学校を卒業と同時に就職する者の、激励会を開催しました。

ことしの就職者は男26人、女21人でこのうち県外就職者が男女あわせて24人でした。多くの人から励ましのことばをうけ若い胸に大きな希望をいだいて出発しました。

税　金

4月　固定資産税第1期
〃　軽自動車税全期



もう大丈夫～白水川復旧

災害復旧　約1,100万

36年度の災害復旧は，34年災＝小鯖一宮川川2件（60万円），35年災＝仁保一白水川（災害関連事業11件を含む）など4件(約900万円）36年災＝仁保一深野小橋など2件（約140万円）合計1,100万円このうち補助金が約700万円，町費約400万円（約200万起債）となっています。

これとは別に，やはり災害を防ぐ意味で県工事として，間田川改修は引続き行なわれています。永代橋を含む下流 約200mの右岸を改修し県道もよくなります。また災害関連工事として，小鯖川，小河内川，浅地川（浅地，中屋両地区），牧川川の河川改修工事も引続き行なわれます。

一票の価値

有権者だといっても、限られた候補者の一人に一票を投ずるだけである。自分が希望する人が立候補するとは限らず、またどの候補者も気に喰わないかも知れず、あれこれ考えてその一人に投票しても当選するかどうかわからない。かりに当選しても、自分の思うように動くかどうかもわからない。

住民には代表者を選ぶ意思と責任はあるが、実際に政治を動かす意思と責任を持っている者は、代表者である。

代表者は一度選ばれた以上は、当時の言動にかかわりがあろうがなかろうが、いわば何を考え、何をしようが、次の選挙までは住民には手が出せない。住民による政治の実際は、少数による代表者による政治にほかならない。今日の複雑な自治行政に住民全体が、かかわっていたのでは、堪ったものではない。

町村の行政でも片手間に片ずくものではない。その運営には、大きな能力と、工夫と、努力を必要とする責任の重い社会的職能である。

全住民に代って、これを遂行する代表者を選ぶのが選挙である。だからこそ選挙は重要であり、選挙を通ずる住民の責任は、少しも軽くはならない。

それぞれの一票としては、とりとめがなく、頼りがないようで、その集積により、政治の運営が方向づけられる。

投票の一瞬はまさに自分達の運命を決する一瞬である。

整地作業中のブルトーザー

小さな構造改善

氷上の長谷賢治さんは、夫婦で1町2反の水田と育成牛3頭飼育の農家です。水田の大部分が山田のために、労力がかかって困っていた。そこでこの春思い切って、耕地整理を計画し、これまで3反6畝で17枚もあったものを、ブルを使ってわずか一週間で5枚に整地し、これにあわせて溜池もできた。農道も150米拡張改修されています整地作業・深耕などすんだ山田のあちこちの手なおしを終えて、当の長谷さんは、

〃こんな山田に大金をかけて、耕地整理をしても今すぐ増産にはならないでしょう、しかし2・3年も立てばどれだけが増収はあると思いますが、それにもましてこれまでかけていた労力は相当節減され、この労力をほかに廻すことによって、この経費も2・3年もたたぬうちにかえりますよ、決して損ではないと思います。これも小さな構造改善でしょ〃とは……

→ **招魂社でおごそかに**

ことしの慰霊祭は、全町の遺族を集めて仁保高野の大内町招魂社で、4月12日おごそかに盛大なお祭を行ないました。亡くなられた方への悲しみも深く、傷あとはいつまでも消えません。

昭和37年度国民健康保険事業の当初予算について説明いたしましょう。まず**才入**の面ではつぎのとおりです。（数字は1万円以下4捨5入してあります。）

国民健康保険税	818万円
財産収入	11万円
国庫支出金	907万円
県支出金	9万円
繰入金	260万円
繰越金	50万円
計	2,055万円

保険税は、昨年に比べほぼ同額でふえていません。この税額は、1人当り平均955円、1戸当り平均3千780円になるわけです。賦課方法はこれからきまります。

財産収入は、積立準備金利子です。国庫支出金は、療養給付費、事務費など国の負担金・交付金・補助金です。県支出金は、保健婦など県の補助金です。

繰入金は、町の一般会計から繰入するもので、この額は、1人当り平均270円になります。もしこの繰入金がないと、それだけ保険税がふえるわけです。繰越金は、36年度分です。

現在大内町国保被保険者は、約8千900人、1人当り平均約2千300円になるわけです。これに対し**才出**はつぎのとおりです。

役場費	224万円
保険給付費	1,567万円
健康施設費	162万円
支出金	72万円
諸備費	30万円
予計	2,055万円

まず、役場費には、職員給・需用費・会議費などです。

保険給付費が総額の約70％で、療養給付費・財産費・葬祭費などがふくまれています。この給付費から保険税の818万円を差引くと、約750万円不足します。これらはすべて国庫支出金・繰入金でまかなわれるわけです。保健施設費は、保健婦職員給・需用費などです。

諸支出金は納税組合補助金・積立金などです。このほかに予備費があります。

これが、ことし大内町国保を運営するのに必要な経費です。昨年から医療費の値上などあって、国保運営もなかなかむつかしくなりました。健全な運営をやってゆくにはまず健康であることです。そのつぎが保険税を完納することです。みんなこぞって明るい、住みよい町をつくりましょう。

農業構造改善事業
推進体制ととのえ調査計画に入る

本町が、農業構造改善事業の36年度計画地域として、指定をうけたことは前号でお知らせしたとおりですが、これに伴って、町ではつぎのような体制で、調査計画をすすめています。

新らしく、農業構造改善事業事務局を、農業改良普及所（もとの農業共済組合）の階上に設け、事務局長には渡辺助役をすえ、10人の職員が勤務しています。職員は町経済課より7人、各農協生産部職員3人です。

この事務局のほかに「農業構造改善事業推進協議会」という協議会もでき、これから計画をすすめてゆくために、事務局と一体になってやってゆくわけです。

この計画を進めてゆくうえにはいろいろとみなさん方のご意見をきいたり、調査をお願いすることになりますが、調査の取りまとめなどは、部落の産業部長さんに、推進委員になっていただき、お世話を願うことになりますが、この事業が本当に、大内町の農家のみなさんのためになるよう、努力してゆきたいと思いますので、どうぞ格別のご協力をお願いします。

▽ **印紙税法の改正要点**

記載金額5万円以下免税
〃　5万円〃10万円　10円
〃　10〃30〃　30円
〃　30〃50〃　50円
〃　50〃100万円　100円
〃　100万円〃500万円　200円
〃　500万円〃千万円　500円
〃　千万円超　千円

▽ **飼い犬の登録と狂犬病予防注射**を、ことしから徹底的に行なうことになりました。町役場ではつぎの日に各地区を廻りますので、犬を飼っていられる方は、必らず登録と予防注射をすましてください。

4月24日（仁保地区）
午前＝深野・仁保市
午後＝仁保支所・大富

4月25日（小鯖地区）
午前＝稔畑・八幡宮前
午後＝小鯖支所・鯖山上

4月26日（大内地区）
午前＝小野・長野
午後＝役場・御堀

▽ **建築物の着工・除却には**必ず届出を済ましてから、最近届出なしに、相当建築物が異動していますが、これは住宅対策推進資料になるもので、着工は届出をすましてからにしましょう。床面積が10平方米（約3坪）以下はいりません。届出については役場施設課の方へ問い合せください。

▽ **定例乳児相談日**（水曜）
5月9日＝大内研修館
5月16日＝小鯖支所
5月23日＝仁保支所
どうぞ、おさそいで多数おいでください。

▽ **民生委員下野やよいさん**が3月19日病気で亡くなられました。亡婦の供用にと夫下野貞一氏から金一封を町の社会福祉事業に寄付をいただきました。ご趣旨にそって役立てます。

▽**冬もの衣類のしまつ**
暖くなると、冬の衣類ともお別れです。冬もの衣類の手入は、早目に忙しくならぬうちにしましょう。洗たくやつくろいの必要なものクリーニング屋に頼むものなど、特にシミ抜きは念入りに、またたんすや、こうりにしまってある衣類も取り出して、暖かい日に外に出して、じゅうぶん風をあててからしまいましょう。

▽**春さきに大掃除を…**暖かさとともに、はえやか、のみ、ねずみなどが活動をはじめます。冬の間にできなかった大掃除を、早目にしておきましょう。たたみ裏はよく日にあて、ごみをたたき出し、床には新らしい新聞紙をつかい、床下にはDDT・リンをまきます。天井裏など平素手のとどかぬ場所、くみとり式便所などはとくに重点をおいて、これから出る害虫を徹底的に退治しましょう。

▽**花を植えましょう**
いつも庭先には、美しい花が咲き乱れ、部屋にはきれいな花を飾ることは、花を作る人だけがもつこの上ない楽しみです。あき地の多い農村では、ちょっとした心掛で出来ることです。春まきの草花は3月彼岸から5月頃までが植えどき花一ぱい美くしい環境をつくりましょう。

▽**寄生虫を駆除しましょう**
日本人は、4人に1人の割合で、体の中に寄生虫を持っています。最も多いのは蛔虫、これにつぎ12指腸虫などで、とくに農村地区に多いようです。その予防にはつぎの3つがあります。
1 糞便中の寄生虫卵を殺す
2 野菜などの感染を防ぐ。
3 駆虫を行なう。

かあちゃんにつれられ入学（8日大内小）

新入学一年生＝家庭の心得

家庭学習や登下校に注意

ことしから小学校1年生え、子どもさんをあげられた家庭では、何かにつけて学校でのことと思います。

ことに学習の面では、少しでもよい成績をと、帰るのを待ちかまえて、勉強させられる家庭もかなり多いよう見受けますが入学当初は、学校の生活をうまく切りぬけるだけで相当つかれていますので、家庭学習させる場合には、少し休ませてからさせないと能率があがりません。無理をすれば、かえって勉強ぎらいの子どもにすることさえあります。

学習は、きょう1日学校であったことが、どれだけわかっているかをたずね、わかっていない面をよくわかるように教えてやる程度でじゅうぶんです。ひらがなや数字を書くようなことがあった場合は、書かせてみて書き順のまちがっているものは正しい書き方になおさせます。

学習も大切ですが、友だちとの関係もよく聞いて、その行動については、いつも注意し、粗暴であったり、内向的である場合は、早く受持ちの先生とよく相談して、対策を立てて指導するようにします。

新たに小学校1年生が入学すると、どこでも交通事故が急にふえてきます。これは1年生が登下校になれていないかを物語るもので、かわいい子どもさんを交通事故から守るには、まず上学年の子どもといっしょに、集団で登下校させることがよいのですが、下校時は上学年と時刻がちがうのでこの場合は、なかなか困難のようです。

こうした子どもさんを見守るのは町を行くおとな全員の責任でもあります。顔見知りであるなしにかかわらず、正しい交通をしない子どもを見かけた場合は親切に教えてやることです。

家庭では、平素からよい習慣と正しい指導をし、そうして今日もまた明日も元気で、よろこんで学校に行く子どもを温く見守りましょう。

便利になる有線放送

町内一本化も間近い

昨年10月1日発足した「大内町有線放送電話連合会」は町内3地区を統合して、放送と電話事業を行ない、これと併行して3地区を結ぶ電話中継線の施設工事を計画し、このほど広島の山根電気通信商会と工事施工契約を結び、工費270万円をかけて、4月末までに完成することになりました。

これが完成すれば、町内の有線放送電話も1本化となり、これまでのように、大内・小鯖・仁保の各放送所から地区毎に放送されていたものが1本になり、電話もみなさんの宅から、町内の加入者であれば直接に、しかも即時通話ができることになり、大変に便利になるわけです。

大内町有線放送電話連合会の施設は、3地区合せて総工費4千300万円、加入者は2千500戸になっています。

この事業は、主体が放送であって、電話の方は、放送しないときを利用して通話をしてもよいということで、これは法令に基いて、この事業をやっているから、放送時間を短かくして、通話時間をのばすようなことはできません。

またこの事業は、放送法、電信法などいろいろの法の適用をうけていますから、とくにつぎのことには注意していただきます。この施設をこわしたり、設備や機能に障害をおこすようなことをして通信をさまたげてはなりません。もしこんなことをしたときは、5年以下の懲役または、50万円以下の罰金をとられることになります。

この施設は、加入者町民のみなさん方のものです。とくに保護を加え、運用の効果をはかり、施設のもつ力をじゅうぶんに発揮させて、明るい町、住みよい町づくりに利用できることをねがいます。

新らしき農業に一役

農業改良普及所できる

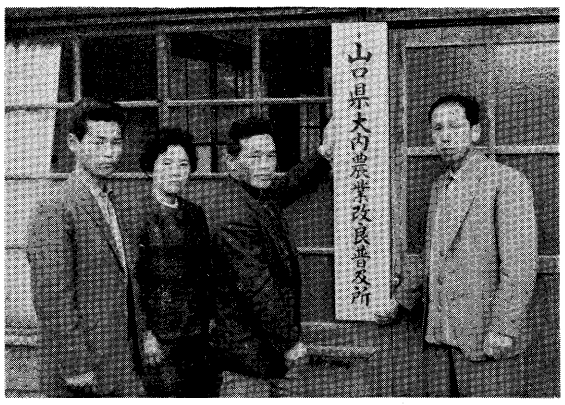
4月1日から大内町だけを受持つ新らしい大内農業改良普及所ができた。ここに勤務するものはつぎの所長以下5人です。

所長　秋本　正
農業改良普及員　中村定男
〃　龍山稔美
〃　木村　勲
生活改良普及員　佐々木澄子

曲りかどにきた農業対策として農林行政も新らしい施策を打ち出し、農業基本法に基づく農業構造改善事業の計画指定地域となった本町に普及所の設置されたことはまた大きな関係があるわけです。

町では農協、そのほか関係機関と協力し、新らしい農業経営に生れ変る努力をしています。

普及所も、普及員も専業農家であり、兼業農家でもあり、更には協業組織、協業経営の構成員でもあるといった性格をもったものであります。どうぞ気やすくご相談ください。



（表札も新らしい普及所）

腸チフス　パラチフス　予防注射実施について

ことしもつぎの要領で、予防注射を実施しますから、お忘れなくぜひおいでください。

1、満3才から満4才までの幼児は3回行います。

2、満4才から60才までの方はつぎの実施日に1回行います

3、実施日

▽**大内地区**
5月11・18・25日午後2時から4時まで大内町研修館。

▽**小鯖地区**
5月8・17・24日午後1時30分から3時30分まで小鯖支所

▽**仁保地区**
5月7日午後1時30分から2時30分まで、東円公民館
5月10日午後1時30分から3時30分まで、仁保支所
4月30日午後1時30分から2時30分まで、大富公民館
◎仁保地区の2・3回はその都度おしらせします。

心やすく気軽るに　ことしも家政学級へ

昨年大内女子学園の廃止に伴い、これにかわって新らしく発足した家政学級も、体質改善を行ないつつどうにか1年を経過3月25日第1回の閉講式を行ない、平素の学習活動を実習や展示会で発表し、生徒・婦人会役員・保護者を交えて懇談会も開き、学級運営や学習内容について意見の交換をした。

情操教育の一環として実施している、日本古来の芸道である茶華道作法、生徒たちの着付きのあるお手前や給仕の態度に、お母さんたちも〃あんなに立派にできるのか〃とさも満足そうで、一般の参加者もほろりとさせられる。また和洋裁、手芸品などの作品展についても、実生活と結びついたものが多く、とくに野良着の工夫などには、一般婦人の労作もあり、開放された婦人学級としての特色がよくあらわれていた。

食生活研究グループは「生野菜を食べましょう」というテーマで、栄養生野菜料理のデモストレーションを行い、大いに若い女性の腕をふるった。料理はこれからの食生活に正しい考え方をもち、これを実行してゆくことを強調したもので、この家政学級がよき花嫁を育てる学習の場として成長するでしょう。

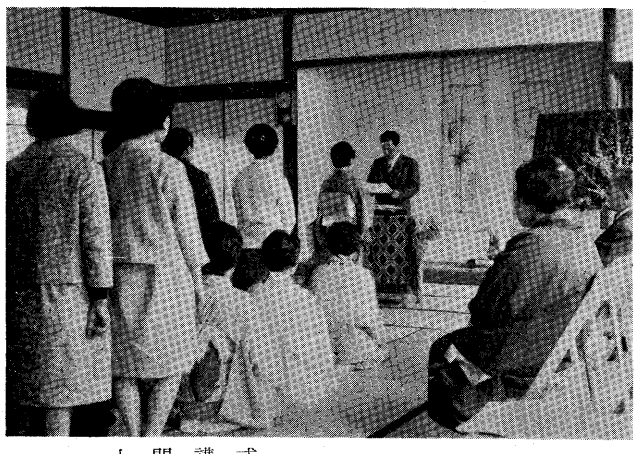
家政学級は、誰でもすきなとき、すきなものを習ったり、作ったり気軽にできる学習の場であることが特色で、この1年間一般婦人として、最もよく学級を利用され、学級運営にも協力された。小鯖の山下ミツさん(68)は〃全くもったいないことですよ…こんな年寄りにも親切に教えていただき、気兼なしに学習ができ、今では孫たちのものや近所隣りから頼まれるほど、としよりには格好な内職の場で、楽しく仕事は出来る小使にもなるまことに有難いことですよ〃

60の手習でもあるまいが、老いたものにも、それなりに役立つこの学級のよさが、ここでもはっきりとうかがえた。

また、こんなに熱心な青年2人（大内安部宗治君・小鯖田中良明君）がある。いづれも茶華道を学習し、年間出席率も80％以上という優秀な成績である。

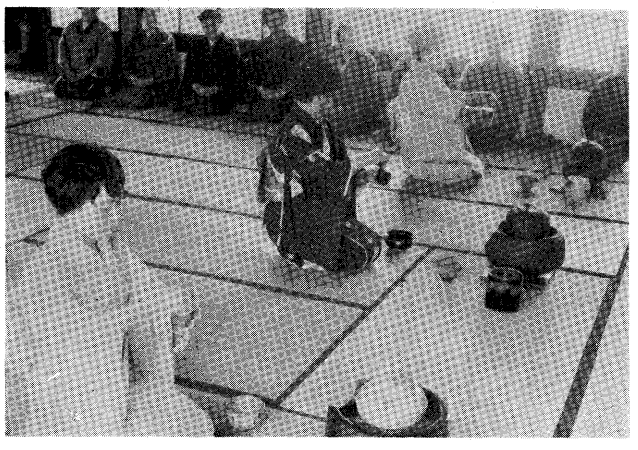
こうして家政学級も、より多くの人々に利用され、真に皆んなの学習の場とし育ってゆくことを願いたいものである。

37年度も各地区に開設されることになっています。心安く、楽しい共同学習の場として、ぜひご利用ください。



上　閉講式

下　茶道作法の実習



大内町広報

昭和37年5月15日
第81号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

買収供応追放月間

参議院議員選挙をひかえ、買収供応など悪質な選挙犯罪を徹底的に追放し、公明な選挙を行なうため、5月を「買収供応追放月間」と定め、全国的にこの運動を展開していますからどうぞご協力ください。

氷上こども会受賞

5月5日こどもの日、氷上こども会が、山口県教育長から表彰をうけました。日ごろからみんな仲よく親切で、社会のためにつくしたからです。ほんとうに、うれしいことです。これからも頑張ってもらいたいものです

税金

5月　なし
6月　町県民税第1期

部落長集会（4月30日）

新しい部落長きまる

部落づくりは自主的に

部落づくりの組織を再編成してから3年目を迎えて、どうやら部落運営が軌道にのった部落も多くなってきましたが、部落によっては、駐在員制度そのままで、駐在員が、部落長という名前に変っただけで、いままでどおり——。

これでは改正前とすこしも進んでいません。たくさんの役がらがあったり、一人がなにもかもやってすますところなど、ずいぶんまちまちだったのでこれを改めて、役場の方では部落長のほかに総務文厚、産業の3つの仕事に分けて部落運営上もっともよい方法を決めたわけです。しかしかならずこうしなければいけないというものではなくて、部落の自主性で部落づくりを計画的にすすめてもらうことをねがっているわけです。

また部落づくりには、公民館活動も大きな役割をもっています。むしろ活動そのものが部落づくりともいえます。部落長は、同時に公民分館長を兼ねていただき、それぞれの部落にある個性と持ち味を生かした部落活動をおしすすめてもらいたいものです。

第1回　部落長集会

4月30日大内町研修館に、本年度第1回の部落長集会を開きました。これには町内の各部落長が出席し、町政全般に亘って事情説明やお知らせ、おたのみなどいろいろと審議されたわけですが、そのうちから主だったものをひろってみますと

問＝部落交付金の増額を考えるべきではないか—。

答＝現状で満足とは思われないがむつかしい。

問＝部落公民館に課税しているがどうか。

答＝台帳だけではよくわからない場合がある。もし課税してあれば減免申請してもらいたい。

問＝山口市との合併問題について差支えなければ現在までの状況を発表してもらいたい。

答＝現在までの経過を印刷配布し説明を加え、今後町民の意志を十分に聞く機会をつくる。

問＝役場に申請書や回答を求めた場合にその処理が長日に亘るがどうか。

答＝年度がわりのときで迷惑をかけたことと思うが今後は早く処理するよう努力する。

などでした（くわしい内容は部落集会で部落長からおききください）

決定した部落長の名前はつぎのとおり（敬称略）

大内＝笹原博（大内畑）安部正幸（菅内）野村竹一（小野）明山誠演（間田）林勇（下千）中山静雄（上千）高木喜一（高芝）村中亨（中矢田）藤田基男（茅野神田）下田滋（上矢田）俣賀助一（大道）中川敏之（長野）山根又一（宮の馬）江藤敏（殿河内）村田征夫（氷上）小林市助（御堀）蔦川静雄（川向）秋川房太郎（深野）

仁保＝山根鉄夫（揚山）山下幸男（金坪）佐川哲夫（大畠）丸末和幸（一之瀬）山下重太（北河内）山根薫（高畠）山根清一（井西）岡本利幸（高野東）大原信男（高野西）岡村好人（井東）中岡岩夫（坂本）松村宏（松柄）伊藤実一（一ノ野）石川治男（原河内）堅野勝己（西谷）高力義夫（仁保市）田村忠嗣（野上）松田貞助（土井）岩田博（高松）岡田フサコ（丸山）大谷幹夫（東円）**小鯖**＝（数字は区名）重宗徳一1　山本基一2　山内守衛3　矢野孝助4　伊藤道広5　稲野幸佳6　甲良史郎7　中川主計8　石田百合松9　益成七三10　竹吉恒雄11　藤本敏12　小林徳治13　渡辺栄14　池田幸人15　岡村虎雄16　柴崎浩17

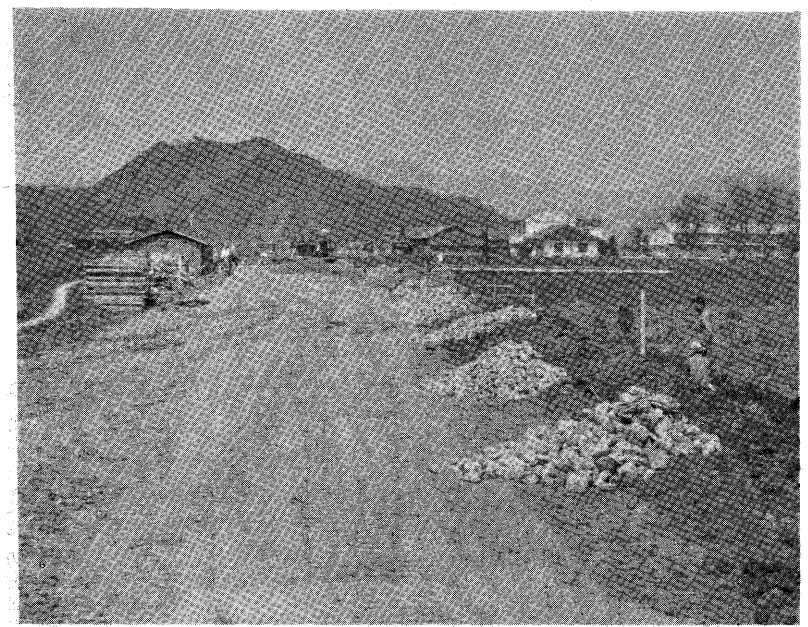
仁保小の屋体　近く着工

地区のみなさん方の、待望久しい仁保小学校の、屋内体操場の建築がきまり、本年度予算にあげられていましたが、総工費約1千500万円、面積172坪（大体大内小と同じ）、工法は近代的な「特許ダイヤモンドシエル」で大阪の巴組鉄工所にその設計を依頼しています。いよいよ6月着工し、本年一ぱいに完成予定です。みなさんとともに落成の日を待つことにしましょう。

防—山間県道改修急ピッチ

防府—山口間県道改修も、国体に間にあわせるといえば、38年5月ごろまでにはほぼ完成しなければ、そこで35年度から上鯖山からポツンポツンと拡張工事をすすめていましたが、36年度には下鯖山—柊間の拡張をすすめるとともに一方新鰐石橋とその取付け道の川向地区は完成しました。

愈々37年度は大内地区の中央新路線柊—御堀間の新設に着工しました。地区の皆さんの御協力をお願いします。



新設路線の工事はすすむ　（大内小南側）

受彰の来栖団長（上）と竿頭綬をつけた団旗（下）

婦人会総会おわる

ことしの婦人会総会が各地区毎（4月19日大内、4月30日小鯖、5月2日仁保）に開かれ、午前中はいづれも事業計画、会計報告、役員の改選などを行なった。

午後は講演会、映写会、展示会演芸会を開いて、教養につとめるとともに楽しい1日を過ごした。

なお、16年間の長期に亘り、小鯖婦人会長として、本会はもとより、大内町連合婦人会のために尽力された木村かねさんが、このたび退かれました。

新らしい役員はつぎのとおり。

大内＝会長岡本房子、副会長波多野ハツミ　小鯖＝会長重宗イソ、副会長杉山善子、同小林テル子　仁保＝会長末永ふみ子、副会長山根フミ（敬称略）

町消防団受賞　県消防大会開く

第11回山口県消防大会が、5月2日萩市で、県下の消防関係者約2千500名、消防自動車約60台が参加して盛大に行なわれましたが、大内町消防団も、団長以下32名が参加しました。

当日早朝から、萩第1中学校に集合し、陸上自衛隊の音楽隊を先頭に堂々市中パレードを行ない、大会場の明倫小学校に到り、まづ県下の消防殉職者の慰霊祭を、厳そかに挙行した後、消防大会に入る、この大会で、大内町消防団は日本消防協会長表彰（竿頭綬）をうけ、消防団長来栖幸氏は、山口県消防協会総裁表彰（功労章）を受けました。

大内町の消防団は、合併後5ケ年計画をたてて、消防施設、消防器材の充実を図るとともに、消防団員の訓練、技能の熟達に精進した賜です。これからも、非常に備えて平素からの訓練に励み、町民の信頼にこたえたいものです。

役員改選

午後4時から、役場前のバス停留所の両側に、屋根つきの待合所を設けました。これは可愛い園児の交通安全と風雨の日にもこまらぬようにとの願いからです。一般の方は園児を優先し、そのほかはどうぞご利用ください。

▽**国体マークの使用について注意**　昭和38年第18回国体を山口県で開催にともない、国体マーク（規準にはずれても類似したものを含む）をみだりに商品、商業広告又は宣伝に利用してはなりません。もしこのマークを商業上の販売又は広告宣伝に利用しょうとする者は、申請書を提出してその許可を受けてからにしてください。

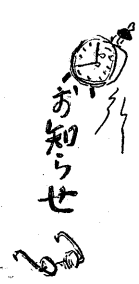
なお、詳しい問い合せは山口県国体事務局又は町役場の方へ。

▽**福祉年金受給者**の所得状況届の受付を、つぎの日割で行ないますので、受給者は洩れなく、年金証書と印ばんを持っておいでください。もし届出がないときはこれからさき1年間は受けることができません。

5月22日　本庁（研修館）
5月23日　小鯖支所
5月24日　仁保支所
時間は9時～16時まで

▽**町（県）民税**の賦課期がきましたが、税法の1部改正によって、町民税の税率は昨年と同じでも、高額所得者は、県民税がふえることになります。税率、課税方法などは、次号でくわしく説明いたします。

▽　日赤では、**5月一ぱいを日赤運動**として全国に展開しています。みなさん方の美しい心で、日赤募金にご協力をお願いいたします。



▽**大内町保育園では**、父兄の協力で、役場前のバス停留所の両側に、屋根つきの待合所を設けました。これは可愛い園児の交通安全と風雨の日にもこまらぬようにとの願いからです。一般の方は園児を優先し、そのほかはどうぞご利用ください。

▽ **青少年をすこやかに**　5月一ぱい、青少年保護育成運動がくりひろげられています。この運動はねらいは、みんなの子どもを、みんなで明るくすこやかにのばしていこうというものです。それがためには、温かい家庭が第一で、そのうえよい友だちをもち、健全な社会をつくり、ゆたかな環境の中で、青少年を育てていきたいものです。

▽ **病害虫の防除は共同で**、そろそろ田植えがはじまり稲の病害虫対策を考える時期となりました。病害虫の防除は、各農家バラバラでは労力もかかり、農薬の場合は危険もともないます。また1軒でも防除をおろそかにすると、そこが病害虫の温床となって、防除した田まであらされることがあります。防除計画をたて、共同防除を実施しましょう

▽ **農薬に十分注意しましょう**　これからの田や果樹園には毒性の強い農薬が撒布されます。そこで農薬を撒布した場所には、必らず赤旗を立てるか、赤い布を張って危険のしるしをはっきりします。またこの時期は子どもをあぜ道であそばせないように注意し、果樹、野菜なども、中性洗剤でよく洗ってから食べるようにしましょう。

▽ **農繁期のたべもの**、農繁期の労働は、ほかの仕事に比べてはるかにはげしいものです。農繁期がすぎてから、よく休に故障が起るのは、農繁期中の食事が粗食で栄養量が下り、そのうえ加労になるからです。農繁期中は、ふだんの約1倍半のカロリとたん白質、ビタミンをとらないと体力が消耗します。そこで副食物にはとくに注意し、油を多く使い、魚肉、卵、乳、豆類を多く食べましょう

便利帳

長太郎さん白寿の祝い

元気な長太郎さん（上）と白寿の祝賀式（下）

最近はずいぶん長生きをする人が多くなったようです。〃10年1昔〃というから、10昔まえにこの世に産ぶ声をあげてから100年、いまも元気で余生を過ごしていられる人を紹介いたしましょう。

仁保揚山部落の村田長太郎さんがその人、元治元年6月7日生れだからちょうど100才、3才にして生母に別れ、5才のとき継母とも別れ、6才のとき火事で焼け出されるという不遇な環境に育てられ幼少の頃から体は弱い方だった。それがどうしてこんなに長命か不思議に思われたので聞いてみると

1 無理な仕事はしなかった。

2 いつも腹8分、食物はおいしくきめて食べた

3 気持はいつも楽に、取りこし苦労をしなかった。

なるほど、これでなければどうとうなずけた。近頃は新聞もラジオも見たり聞いたりしないとか、それでも記憶力のよいのに驚いた。コエマツで明りを取ったこと、はじめて学校に行きだしたこと、西南の役、日清戦争の講和の話など数々の昔話しを話してくれました。

現在子どもさん（これがもう老人）孫さん、曽孫さんとで何人かと尋ねたら、〃数えてないが50、60人もいるでしょう〃と本当に楽しそうでした。

5月8日部落あげての白寿の祝賀式もありましたが、町内ではじめてのこと、みなさんとともにお祝し、いついつまでもお元気でいられることを願いたいものです。

拠出制国民年金の給付がはじまりました

昨年4月からはじまった拠出制（掛金のいるもの）国民年金も、ことしの5月1日から、つぎの4つの年金について年金給付がはじまりました。ではどんな場合に年金をどれだけ受けることができるかといいますと

1 障害年金＝障害者になったときこれまでの保険料（掛金）をきちんと納めていれば

▽1級障害（両手の指をみんな失くした程度）の場合は3万円

▽2級障害（片手の指をみんな失くした程度）の場合は2万円

2 母子年金＝父が死亡し、母子家庭になったとき、母がこれまでの保険料（掛金）をきちんと納めていれば、子（18才未満）一人の場合は1万9千200円

3 準母子年金＝男子が死亡し、祖母又は姉が孫・弟妹（18才未満）を養っているとき、祖母又は姉がこれまでの保険料（掛金）をきちんと納めていれば、母子年金と同額

4 遺児年金＝両親が死亡し、遺児（18才未満）になったとき、後に死亡した親が、これまでの保険料（掛金）をきちんと納めていれば、遺児1人の場合は1万2千円・・・

となっています。これからはこの年金の受給者が次第にふえてきますご不審な点は、役場町民課へ

「生ワク」投与おわる

一昨年、九州、山口県下で猛威をふるった小児マヒも、生ワクチンの投与によって昨年はその発生数も少くなっています。その実績によって、本年も発生期をまえに、小児マヒ予防対策をたて、前年に引き続き中学1年生以下の少幼児を対象として、3月1型、4月2・3型の生ワクチンの投与を実施し、5月15日を最後に一応の計画を終えることになりました。

大内町でも、このおそろしい小児マヒに対する関心は強く、投与対象となっている2千500名以下の子どもさんにも投与希望があり、各会場とも生ワクチンの関係から、ご希望にそえず、係員はことばりに苦労するほどのうれしい悲鳴でした。

どうか今年は1人も発生しないように祈っている次第です。

なお36年11月以降生れの子どもさんに対しては、今秋更めて投与されることになっていますのでご利用ください。

生ワクチン投与風景4月20日（大内地区）

「シマハカレ病」を防除しましょう

昨年は、町内の水稲に縞葉枯病がひどく発生して、随分減収になった地区なり、農家が多かったようですが、今年はどうでしょうか。

この縞葉枯病は「ヒメトビウンカ」という虫だけがうつすのですから、稲をこの虫からまもってやることが一番大切なことになるわけにす。しかしこのことは大変むつかしいことなのです。それといってほっておくと今年は昨年以上の被害を受けることは間違いありません。

そこで町でも、これが対策を検討していますが、その方法としてこの虫の一斉集団防除を実施することが、一番よいと思われます。それがためには、時期をのがさず防除することが必要です。

既に苗代もつくられ、今年の稲作も愈々はじまりました部落でもいろいろ計画を立てられているようですが、まだ話のない部落は早く相談して「シマハガレ病」防除対策をきめられることが大事です。

参議院議員選挙とその在り方

衆議院議員の総員を改選する選挙を衆議院議員の総選挙といいます。これに対し参議院議員は任期6年ですが、3年ごとに議員の半数を改選することになっていますその選挙のことを参議院議員の通常選挙と申します

参議院議員選挙は全国区と地方区の2つの選挙区で同時に行なわれます。選挙人は全国区から立候補した人の中から一人と地方区から立候補した人から一人を選んで投票します。

つまり一人の選挙人が、全国区と地方区とで2票を投ずるわけです。

全国区というのは世界でも珍らしいもので日本独特のものといってよいでしょう。これは著名で、そして国家的な大人材がこれによって、多く出てくるだろうと、非常に期待されたものです。ところが必ずしも、期待どうり成功したとは云えない意見も出ています。勿論国家的な大物もいますが、むしろ職能的組織を背景にして出ている人が多くなっています。中には全国区で立っていながら一地方だけで十分な票を集め他の地方ではわずかしか得票がない例もあります。全国区の制度はいろいろ批判の対象になる予感もします

次に**地方区**というのは、都道府県を選挙区として、それに定員を割当てるもので、多い県は8人から6人、4人、少ない県は2人となっています。

全国区100人、地方区150人、全体で250人が参議院議員の総員です。通常選挙ではその半数すなわち全国区50人、地方区75人、計125人を改選します。参議院は俗に国会の第二院といわれ、衆議院を第一院といっています。これをを二院制といいます。

国会の仕事は地方議会に比べ重要なので特に二院制にしてあるのです。国の法律や予算を決議し国の政治の根本方針を決定する最高の機関であります。これらは直に国民生活に関係をもちます。その大事なことを受持つ国会ですから、その審議は慎重を期さねばなりません。ところが一院だけですと、どうかすると審議が十分でない恐れもあります。行過ぎがあったり、行き足らない点があったりしても衆議院で一度決議されると、それで法律となり、予算となって確定するということでは、ちょっと心もとないところがあります。そこでもう一院を置いて、全然別の議員が別の場所で同一の議案を審議します。原則として議案は衆・参両院を通過しなければ国会を通過したとはいえません。つまり二院制をとっている理由は議事の慎重を期するためです。

よく選挙のたびごとに「人か政策か」「人物か政党か」と云うことが起っています。参議院の選挙ですと、政党・会派・無所属を問わず、いわゆる利害を越えて、良識の高い立派な国家的な人物がたくさんはいってほしいことは誰しも考えることでしょう。

小鯖婦人学級の政治学習

婦人が政治に関心をもつことこそ公明選挙推進に一役買うことではなかろうか。いままでも政治教育は公明選挙のバロメーターとして公民館の話し合い活動に折込んで相当効果をあげているものと思います。こうした学習は気ながく続けることが大切であると思います。この意味において小鯖婦人学級では政治と生活のつながりを身につけ婦人としての自主性の上に立ってこそ公明選挙の実をあげようと第一回の講座は「民主憲法」と「民主政治」ということで山口大学の岡田先生を招き熱心に学習した講義を終えてから『選挙の公明をはかるために』というテーマで過去の選挙で身近に感じた次の事柄を話し合った。

1 候補者を選ぶため自分自身が正しく判断するには

2 情実や、因縁に支配されないために

3 候補者の政見を必ず聞くこと

4 候補者に金を使わせないためには

公明選挙推進協議会発足

この協議会は、これまであった公明選挙推進連盟を母体として、全国的な組織に応じて生れたものです。公明選挙ということを単に言葉のうえでなく、生活の上にも深く根を入れ、常時啓発を行なって、政治意識を高め、平素から話し合い活動をすすめ、すべての選挙には、棄権防止はもとより、悪質な買収、供応を追放して、明るい理想選挙の実現を図るものです。

5月12日この協議会を開いてこれからの計画、参議院議員選挙対策などを検討した、決まった委員はつぎのとおり（敬称略）

大内＝明山誠演（会長）西山よし子、**楳**本義明

小鯖＝益成七三（副会長）矢野孝助、重宗イソ

仁保＝末永ふみ子（副会長）藤井惣吾、倉本永生

大内町広報

昭和37年6月15日
第82号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

選挙違反

7月1日は、参議院議員の選挙が行なわれますが、これまでは、なにの選挙でもこの言葉を聞かずにはすまないようですくわしい注意は3ページにのせてあります。よく読んでいただき、投票する人も、候補者も、運動員もそろって、きれいな選挙をしましょう。

棄権防止

これまでの選挙では、参院選の投票率が一番低い。そこで、参院のあり方を一般に理解してもらい、棄権を防止するために、全国的に投票総参加運動を展開し、有権者のみなさんのご協力をお願いしています。町選管では、この運動で成績優秀な部落を表彰します。

税金

6月町(県)民税第1期分

農業構造改善事業の基礎調査として、全町の農家を対象として、「農家の意向調査」を行なつた。その結果を見ると、まだ農業構造改善事業の意義が、よく理解できない関係もあつてか、突進んだ意向が具体的にでていないことは残念です。しかし農家の方々が、最近の曲り角にきた農業を何らかの方策によつて、農業経営を合理化し、所得倍増をはかり飛躍的成長をした他産業に追随しようとする威大なる努力が傾けられていることがうかがえます。では、これを集計表によつて検討してみましょう。

近代化の意欲向上
農家の意向調査
農業構造改善事業で

農家の意向を、アンケートによって蒐集しました。全町農家2千218戸に対し、回答のあったものが1千717戸（77.4%）で、その主な項目をあげてみましょう。

① 現在の農業生産物は、何といっても米麦が第1位、この項に回答のあった1千519戸のうちで、1千460戸（96.1%）は、その米麦を生産販売している。またこのうちで、
- 米麦を中心に経営しているもの798戸（54.9%）
- 米麦を中心にほかを合せ経営しているもの544戸（36.8%）
- 米麦以外の農産物中心に経営しているもの118戸（8.3%）

となっています。

② 大内町の農業で、これから重点的にのばすもの（農業構造改善事業の基幹作目）は何か。

作目 ＼ 回答別	米麦	畜産 酪農	畜産 養鶏	畜産 肥育牛	畜産 その他	そさい	その他	合計
いちばんにとりあげたいもの	戸 998	戸 143	戸 78	戸 31	戸 66	戸 52	戸 60	戸 1428
	%		%			%	%	%
比率	69.8		22.2			3.6	4.4	100
つぎに取りあげたいもの	戸 116	戸 98	戸 71	戸 129	戸 200	戸 156	戸 43	戸 813
	%		%			%	%	%
比率	14.2		61.5			19.1	5.2	100

③ 構造改善の基幹となる作目を拡大してゆくためには、まづ何を改善したらよいか。（これは項目を限定したので、いくらか問題もあった。）

区分	農道の整備	かんがい排水路整備	農地の団地化	農地の集積	農業の動力化	畜舎の建設	作業場の建設	経営の共同化	合計
いちばんにのぞむもの	戸 531	戸 273	戸 221	戸 103	戸 144	戸 23	戸 69	戸 1,364	
	%	%	%	%	%	%	%	%	
比率%	38.9	20.3	16.2	7.5	10.5	1.6	5.0	100	
つぎにのぞむもの	戸 225	戸 251	戸 158	戸 134	戸 200	戸 71	戸 143	戸 1,182	
	%	%	%	%	%	%	%	%	
比率%	19.0	21.3	13.4	11.3	16.9	6.0	12.1	100	

④ 経営の共同化について、どのような方法をのぞむか。回答のあった955戸（55.6%）のうちで、
- 基幹作目部門の共同をのぞむものが503戸（52.8%）
- 部門共同をのぞむものが295戸（30.8%）
- 全面共同をのぞむものが157戸（16.4%）

これでもわかるように、施設の共同利用から出荷、販売に至る1連の共同体制をのぞんでいるもので、近代化の意欲の向上がうかがえる。

⑤ 現在の農業で一番改善したいことは何か。

この問題も、前項と似通った点もあるが、ことに省力対策が目立っている。

区分	3反未満	3～5反	5～10反	10～15反	15反以上	計
省力対策 農作業を機械化する	5	12	39	44	16	116
省力対策 水稲直きまきに切替える	6	6	22	36	14	84
省力対策 省力化の方法を考えたい	2	6	12	24	13	57
農道整備が第一	5	6	45	33	15	104
耕地整理を行なう	1	3	12	20	4	40
共同化によって合理化する	4	5	34	26	5	74
合計	23	38	164	183	67	475

⑥ 農地の信託制度ができた場合に、これを利用するか。

この問題は、農家自体がまだ未経験であるため、はっきりした回答はなかった。

以上が、基礎調査のうちの主なもので、これらをあらゆる角度から分析検討して、町内農家のみなさん方の希望を入れた、りっぱな計画を立てるわけです。

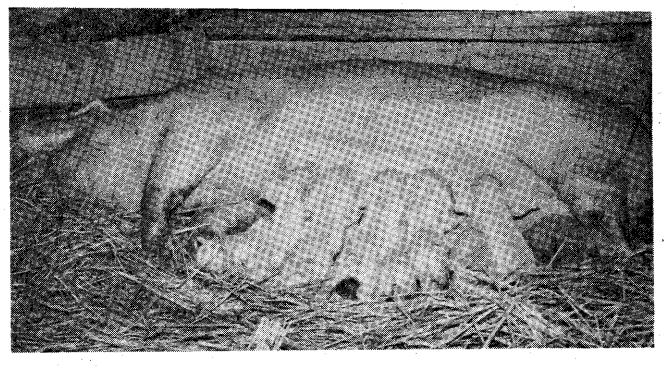
→あいさつをする 兼行山口市長

＜山口地区保護司会総会＞

5月25日午前9時30分から，大内町研修館で，山口地区の保護司会総会が開かれた。この日は，地区内の保護司53名が出席し，横川検事正の講演をきき，社会を明るくする運動や非行青少年の保護などについて話し合った。

＜町有ランドレース初産＞

昨年6月28日，はるばる米国からきた優良豚「ランドレース」は，農業試験場で試験飼育中でしたが，ことしの2月初め，氷上の中野正さんに管理を依託し，種付をしましたところ，5月29日9頭の仔豚を分娩，そろって牝とは，あっぱれ……。



←親豚の乳につく9頭の仔豚

グループつくり育て
上小鯖農研
直まき栽培を研究

農業の近代化をはかるために、土地の改良や機械の導入、技術の改善などひた向きの研究がつづけられています。ここ上小鯖農研グループは、ことしの新らしい研究として、水稲の直まき栽培にとりかかった。

戦後いろいろの面から研究されて、実際にはかなり普及の傾向にあった、水田の直まき栽培は

1 **雑草防除に多くの労力がかかる。**
2 **病害発生が多い**
3 **収穫が一般に低い。**

などの理由から昭和26年以降は次第に減ってきた。ところが、最近になって農村の労働事情が変わって、労力不足や労働賃金高のため省力栽培を前提とした、経営の合理化が強く要求されるようになった。

このような情勢の変化と除草剤の発達から、機械化栽培の実用化によって、戦後の直まき栽培とは一歩前進した、新らしい型の方法が考えられ、再び農家の関心を集めてきた。しかし、県でもまだ研究段階で、多くの問題が残されている。

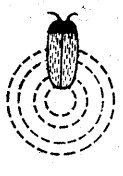
そこで、ことしはさしあたって共同作業班を編成し、技術面については全面的に、普及所の指導のもとに、研究田1.5ヘクタールの作業と管理を学習活動として、一貫した研究体系のもとにはじめた

この上小鯖農研グループ員15人がとりくんだ3つの課題

1 **栽培技術上の問題点の研究**
2 **省力と労働関係（生産コストなど）**
3 **共同作業と人間関係**

この問題が解決することによって、これからの直まき栽培の普及だけでなく、構造改善や共同化までも大きく発展することでしょう

写真は直まき栽培の講習会（5月21日江良部落）



お知らせ

- 7月6日～7月13日 水田地帯（裏作合理化）
- 7月20日～7月27日 山林地帯（営農林）

▽ 陸・海・空**自衛官の第2次募集**をしています。志願受付は6月1日～8月31日まで、年令は18才以上25才未満の者、採用試験、入隊などくわしい問い合せは町役場総務課へ。

▽ 税務署は、これまで農家に対し、**農繁期用酒の特配**を実施してきましたが、いろいろの事情から、ことしは取扱わないことになりました。

▽ 市場に出荷する**仔豚の「豚コレラ」予防注射**を、毎月（7月から）29日に実施しますから、飼育者は3日前までに、その数を農協または町経済課の方へ申し込みください。

▽ 労働省では、こんご、**技能士に対し、技能検定**を実施することになりました。第1次試験の受付は、6月1日から6月20日まで。第2次試験の受付は9月22日から11月30日まで、検定職種・試験日・受験資格など詳しい問い合せは町民課の方へ。

▽ **国民健康保険税**を、6月から徴収します。ことしも婦人会に徴収が依頼してありますのでよろしくお願いします。尚納税手帳が、近くお手許に届きますので、不審の点があれば町民課の方へ問い合せください。

▽ 県では、**農村青年の実践活動**をはかるため、山口県農村青年研修要領を決め、これが促進につとめています。近く実施されるものはつぎのとおりです。研修希望者は町経済課へご連絡ください。

町(県)民税の課税方法

地方税法の改正

国税が減って＝県民税がふえる

税法の改正によって，町（県）民税の課税方法が，今までのとかわって，ことしから，本分方式とただし書き方式の２通りに，限定されました。（地方税法第314条の２）

県民税は全国統一されて，本分方式をとっていますが，市町村民税はどちらでも選択制になっていますので，町では，ただし書き方式をとっています。全国の統計からみると，約80%がこのただし書き方式を採用しています。

そこで，この課税方式を実例をあげて説明いたします。

（註）青は青色申告者，白は白色申告者です。一般は白で，青は所得税で認められたもののみです。

① 事業所得者

(イ) 家族　所得者　50，農。妻，45，農。長男23，農。長女(7)学。二男14学。
(ロ) 収入金額　700,000円　　白色申告
(ハ) 必要経費　200,000円
(ニ) 雑損失額　保険等で補償された額を差し引いた残額　50,000円
(ホ) 医療費（扶養者を含む）　70,000円
(ヘ) 国民保険 8,000円　　年金掛金 6,000円
(ト) 生命保険　所得者が契約のもの25,000円

△ **本分方式（県民税）**

収入　必要経費　専従者
700,000円－200,000円－100,000円（白１人 50,000円／青 〃 80,000円）

所得　雑損控除
＝400,000円－{50,000円－(400,000円×1/10)}－

医療費控除　　国保年金
{70,000円－(400,000×5/100)}　－8,000円－6,000円

生命保険控除　　（扶養）
－（25,000円÷２＋7,500円）　－100,000円（１人目

（基礎）　課税所得金額
70,000円２人目30,000円）90,000円＝116,000円

（税率）　（専従）
116,000円×3/100＝2,320円－(480円(白２人)－

（扶養）　（県民所得割）
480円（1人）＝1,360円

240（均等割）（県民税額）
1,360円＋100円＝1,460円になります。

△ **ただし書き方式（町の町民税）**

収入　経費　所得金額　基礎
700,000円－200,000円＝500,000円－90,000円

課税所得金額
＝410,000円

410,000円×税率＝27,100円（算出税額）
27,100円－2,000円（専従２人）－1,000円
（扶養２人）＝24,100円＋200円（均等）
＝24,300円（町民税額）になります。

そこで，24,300円＋1,460円＝25,760円 これが町（県）民税額というわけです。しかしこれは，単純な家庭に対するもので，同じ家庭に所得者が数人もいるとか，山林そのほかの所得があるとか，障害者，扶養者などいろいろの事情によってかわってきます。それは省略いたします。

② 給与所得者

受給金額450,000円の場合は

△ **本分方式**

450,000円－10,000円＝440,000円このうち 400,000円は２割，残り40,000円は１割を控除しますので，
450,000円－(10,000円＋80,000円＋4,000円)＝356,000円（所得金額）になり，これからの計算は同じです。

△ **ただし書き方式**

本分方式のほかに，受給金額の5/100を別に控除します（最高20,000円）ので，
450,000円×5/100＝22,500円ですからこのうち，20,000円だけ控除ですから，
450,000円－(10,000円－80,000円－4,000円－20,000円)
＝336,000円（所得金額）になり，これからの計算は同じです。

③ 山林，退職所得

つぎに，改正された点で，注目すべきところは，山林所得退職所得の分離課税と山林所得の税額算出方法が，５分５乗に変ったことです。この計算方法はつぎの通りです。

例　農業所得　200,000円，山林所得　500,000円の場合

(イ) 改正前
（200,000円＋500,000円）×税率＝52,500円税額

(ロ) 改正後
（200,000円×税率）＋（500,000円÷５×税率×５）
27,700円　算出税額

以上のように，税額が半減しました。

④ 町民税の所得割の税率

課税所得金額	税率	控除額
３万円以下の金額	3.0%	０円
３万円をこえる金額	3.5〃	150〃
5 〃	4.0〃	400〃
8 〃	4.5〃	800〃
10 〃	5.2〃	1,500〃
15 〃	5.8〃	2,400〃
20 〃	7.1〃	5,000〃
25 〃	8.1〃	7,500〃
30 〃	9.1〃	10,500〃
35 〃	9.3〃	11,200〃
40 〃	11.0〃	18,000〃
45 〃	12.0〃	22,500〃
50万円以上の全額	7.5〃	0

⑤ 税額の算出例

課税所得金額　税率　控除額　算出税額

92,500円 × 4.8/100 － 800円＝ 3,362円
142,500〃 × 5.2/100 －1,500〃＝ 5,910〃
475,000〃 × 12/100 －22,500〃＝34,500〃

⑥ 税源の配分割合

△ 給与所得者の場合（夫婦・子３人）

受給額		50万円		70万円	
36年度	所得税	1.87%	2.11%	4.7%	5.23%
	県民税	0.24〃		0.53〃	
37年度	所得税	1.26%	1.69〃	3.81〃	4.62〃
	県民税	0.43〃		0.81〃	

△ 事業所得者の場合（夫婦・子３人）

事業所得		50万円		70万円	
36年度	所得税	3.81%	4.27%	6.91%	7.68%
	県民税	0.46〃		0.77〃	
37年度	所得税	2.87〃	3.64〃	6.02〃	7.13〃
	県民税	0.77〃		1.11〃	

以上のように，所得税で引き下げ，県民税で引き上げていますので，昨年と同じ税率をもって賦課した町民税が，県民税と一本で課税しているために，町民税が引き上げられたように考えられますが，各税を通して約0.5%の減税になっていることが，この説明でおわかりと思います。

⑦ 町税納期前納付の規定

町税のうち，町民税および固定資産税を納期のこない分を納期分と合わせて前納する場合には，１カ月に付き，納付額の1/100の報償金が出ることになっています。この規定を例をあげて説明しますと，

△ 固定資産税（年税１万円を第１期に全納しれ場合）
納期＝４月，７月，12月と翌年２月ですから，月数計算は２期が３カ月，３期が８カ月，４期が10カ月，合計21カ月になります。年間税額が１万円ですから１期分が1/4の2,500円です。2,500円×1/100×21カ月＝525円これが，納期前納付報償金です。

△ 町民税（年間１万円を第１期に全納した場合）
納期＝６月，８月，10月，翌年１月ですから，月数計算は２期が２カ月，３期が４カ月，４期が７カ月，合計13カ月になります。年間納税額が１万円ですから，１期分が1/4の2,500円です。2,500円×1/100×13カ月＝325円…これが納期前納付報償金です。

以上は，前納報償金について説明いたしました。

所得階層に依る税額（簡易税額表抜すい）

課税所得	税額	課税所得	税額	課税所得	税額	課税所得	税額
5,000	150	120,000	4,740	235,000	11,680	400,000	26,000
10,000	300	125,000	5,000	240,000	12,040	410,000	27,100
15,000	450	130,000	5,260	245,000	12,390	420,000	28,200
20,000	600	135,000	5,520	250,000	12,750	430,000	29,300
25,000	750	140,000	5,780	255,000	13,150	440,000	30,400
30,000	900	145,000	6,040	260,000	13,560	450,000	31,500
35,000	1,070	150,000	6,300	265,000	13,960	460,000	32,700
40,000	1,250	155,000	6,590	270,000	14,370	470,000	33,900
45,000	1,420	160,000	6,880	275,000	14,770	480,000	35,100
50,000	1,600	165,000	7,170	280,000	15,180	490,000	36,300
55,000	1,800	170,000	7,460	285,000	15,580	500,000	37,500
60,000	2,000	175,000	7,750	290,000	15,990	510,000	38,250
65,000	2,200	180,000	8,040	295,000	16,390	520,000	39,000
70,000	2,400	185,000	8,330	300,000	16,800	530,000	39,750
75,000	2,600	190,000	8,620	310,000	17,700	540,000	40,500
80,000	2,800	195,000	8,910	320,000	18,620	550,000	41,250
85,000	3,020	200,000	9,200	330,000	19,530	560,000	42,000
90,000	3,250	205,000	9,550	340,000	20,440	570,000	42,750
95,000	3,470	210,000	9,910	350,000	21,350	580,000	43,500
100,000	3,700	215,000	10,260	360,000	22,280	590,000	44,250
105,000	3,960	220,000	10,620	370,000	23,210	600,000	45,000
110,000	4,220	225,000	10,970	380,000	24,140	610,000	45,750
115,000	4,480	230,000	11,330	390,000	25,070	620,000	46,500

山林所得のある方はその所得を５で除してその答に対する税額を出してそれを５倍して下さい。

衛生メモ　＜病気と食品＞

こわい日本脳炎

これから流行する日本脳炎は，皆さんの周囲にいる蚊によって媒介されます。患者の大部分はこどもで，典型的な症状としては，高熱と共に脳神経症状が強く，殊に意識障害が強いのが特徴です。

予防は蚊を徹底的に駆除することが第一で，次に予防注射をすること（現在ワクチンの接種が行なわれています）

なお炎天下の無帽遊戯，過労，睡眠不足などが誘因となるのでこれらをさけることが必要です。

日本脳炎に対する特殊療法というものはなく，治っても後遺症が残るのでお互に罹らないよう注意しましょう。

大切な手洗い

赤痢や小児マヒなどの病原菌は私達の腸から便を通して色々の物に附着し，それが口から入って発病するわけです。一番危険なのは便所に行った時，手に附着することです。特に水様性の便ですと，「チリ紙」を7，8枚は通すといわれ，このときの手洗いは一番大切です。この手洗いも次のように洗い方により黴菌のとれ方が違ってきます。

（黴菌を100として）
汲置水で洗うと　36%残る
流水　〃　12%残る
流水と石けん〃　0　残らない

梅雨と食品のふ敗

梅雨ともなれば，食物の腐敗が心配の種です。腐敗は細菌の繁殖によって起こるので，日常食品の取扱いにとくと注意しましょう。

普通市販品を対象として，家庭における保存の良否をあげてみましょう。

日常食品の腐敗の早い遅いを示す表

食品名	保存できる時間	備考
米食	7分 12～16	弁当箱，軟かい米飯，麦飯等は2～3時間早くなる。
めん類（ゆでたもの）	6～10	原料材質により異る
ぱん類（食ぱん）	24～48	糸ひきぱんとなる
あえ物	4～8	腐敗が早い。
あげ物	8～12	腐敗しても外からわかりにくい
煮物	6～18	品物も煮方で著しく異なる。
焼物	6～18	万べんなく外から火を通す事。
豆腐	4～8	保存水をかえるとよい。
生の魚（室温）	4～8	最も腐敗が早い
生（冷蔵庫）	24～36	夏は10°c内外
かん詰（開かん後）	6～8	器に移した方がよい
折り詰	6～20	その日のうちに食べ鯛等は水を通しておく。

数字は，安全に保存出来る時間，従って腐敗の始まるときでもある。

ふりむくな選挙のときの義理と金

参院選＝本舞台
わかりやすい選挙法

◎選挙違反を監視しましょう

参院選挙が始まりました。この選挙が選挙法を守って、明るく、正しく行なわれるようにと公明選挙推進協議会等の民間団体を中心として、ひろく国民運動として推しすすめられています。

有権者の皆さん、こんどの選挙こそは、正しく明るいものにし立派な代表を選び出して日本をもっとすばらしい国にしましょう。この事はもう何年も繰り返し繰り返し叫ばれている国民全体の声ですが、残念なことに選挙の実態は私等の理想には、ほど遠い感じがします。

国民の意志が正しく反映されなければならない選挙にあたって、選挙のルールを守らず、違反の、あの手この手で、有権者の判断を迷わし、票を集める等の行為は、最も悪質なものであり、有権者を無視するものであり、民主々義を破壊するものであります。

選挙を正しく明るいものにするため、多くの努力をしてきたのですが、候補者の方も、なんとか当選したいと、一生懸命なのですから一票でも多く得ようと思い違反となるのです。私等有権者が違反行為をきびしく批判し、私等の手で違反を締め出さなければなりません。そして有権者の一人一人が選挙を監視し、国民としての良識ある批判を示して待望の明るい選挙への道を開きましょう。

選挙期間中の運動

選挙の日が公示されると、立候補の届出が行なわれ、天下晴れて運動が開始されることになりますしかしこの選挙運動を放任したのでは金持や特別の地位にある人だけが有利なり不合理になりますので、選挙法で運動が公正に行なわれるように制限しています。

①文書による選挙運動

1　選挙運動の為に配ることの出来る文書は、選挙用の通常葉書だけで、他は一切禁止されています。これ以外の葉書、チラシ等を使うことは出来ません。

2　選挙運動用ポスターも枚数と大きさに制限があります。このポスターは都道府県選挙管理委員会の検印・証紙が必要です。（但し選挙事務所を表示するに掲げるポスター演説会場街頭演説の場所で用いるポスター運動用自動車等にとりつけるポスターは別です）

3　候補者、選挙運動員、候補者の家族の氏名等を記載して、時候見舞状とか、これに類した挨拶状とかを選挙区内に配ったり掲示したりすると違反になります。

②言論による選挙運動

1　特定の候補者に投票を依頼したり、投票しないで下さいとか頼むことは禁止されています。

2　街頭演説は夜9時から翌朝6時までは出来ません。

③その他

1　それでは、候補者と運動員以外の一般有権者は一切運動は出来ないのかと云う疑問をもたれると思います。なるほど文書による運動など金のかかる運動は殆んど出来ないことになっていますがそれ以外の運動、例えば、町で偶然出合ったり、バスで乗合せた親しい知人に対して投票を頼んだりするのは自由です。

この外にも、自分の推す候補者の事務所へ行って、選挙用はがきを貰って知人に出したり、個人演説会や街頭演説会に参加したりすることも出来ます（但し未成年者は出来ませんし、公務員には一定の制限があります）

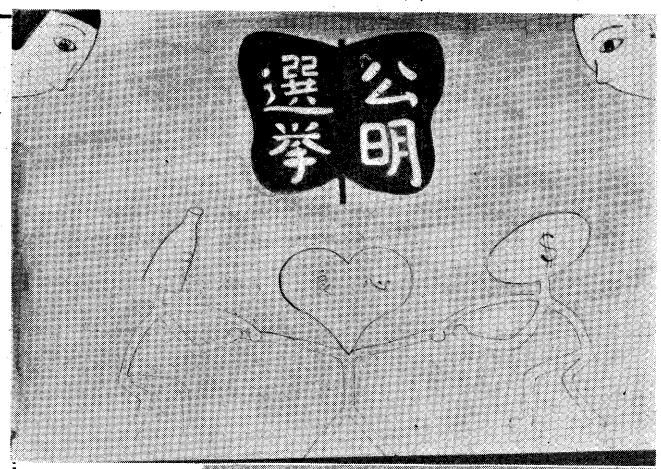
2　誰でも選挙運動に関し飲食物をふるまってはいけない事になっていますので、すすめられてもこれに応じないことです。（但しお茶うけ程度の湯茶及お菓子せんべい程度は例外です。

3　候補者は選挙に関して、自分の選挙区内の面識もない選挙人等の葬式等に花輪や香典を贈ったりしてはいけないことになっています。

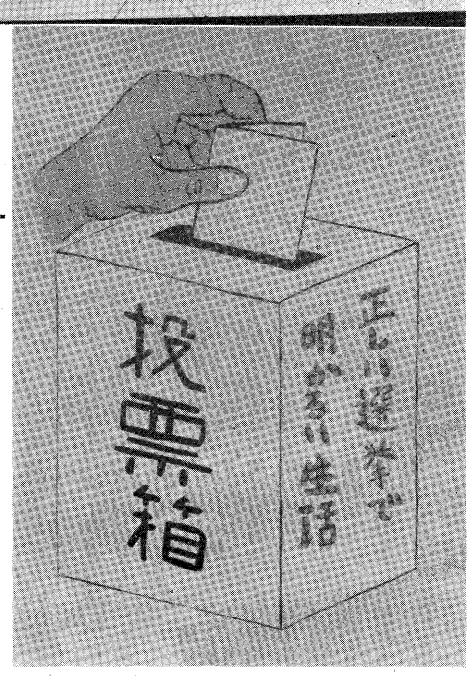
4　選挙運動の制限とは性質が違いますが、選挙運動のために買収を行なったり、候補者に関し悪質なデマを飛ばしたり、候補者、選挙人、運動員をおどしたり、演説、集会、交通等の妨害をして選挙の自由をさまたげると犯罪となり、処罰を受けます。

選挙費用

選挙には多額の経費がかかります。これを放置すると金持が当選し、有能な人でも金がなければ代議士に当選しないことになりますこのようなことを防ぐため、選挙運動に使うことが出来る費用の最高額が選挙区ごとに定められています。これを法定運動費用といいこの額をこえて支出すると出納責任者は処罰され候補者の当選も無効になります。



下大内小6年　荒瀬澄枝さん
上大内中3年　石川淑子さん



めざめた一票政治の夜明け

棄権はあなたの主権が消える

投票日以後の選挙運動

投票が済んだあと当選人は勿論落選者も自分に好意を示してくれた選挙人に対し、お礼の挨拶をしたいのが人情です、祝賀会等や文書（自筆の信書等はよい）を配ったり、掲示したりすることは禁じられています。

大内町公明選挙推進協議会

わすれずに　不在者投票

7月1日、参院議員選挙が行なわれます。投票は投票日に、自から投票所に行って、投票するのがたてまえです。しかし投票当日止む得ない用事や天災などで、投票できない人のために、不在者投票ができることになっています。貴重な選挙権を捨てることなくつぎのような場合は、選管に申出ください。

1　出張などで、大内町の区域外で、職務に従事中の者。

2　用事や事故のため、大内町外に旅行中か滞在中の者。

3　病気やけが、お産のため歩行が困難な者。

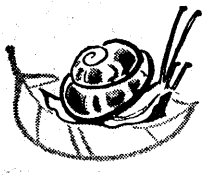
不在者投票の日時場所

1日時　6月7日～6月30日まで毎日前8時30分～後5時まで

2場所

大内町役場選管事務局および仁保、小鯖支所。

投票には、現場所属長または、滞在地市町村長の理由証明書が必要ですからお忘れなく持参してください。



男性優劣鑑別法

公明選挙コント入選

鶴丸九州児作

公子さんは、恋人の明夫君と一年余りも交際しているのだが、明夫君の正体を、なかなかつかめないので彼氏の求婚には色よい返事はあたえずに、デートばかりをくりかえしていたのである。おとなしい青年だということだけは、よくわかっているのだが、正義感に燃えた性格なのか、優柔不断の持ち主か、その最も大事な点が曖昧としているのである。両親は、今どき珍らしくおとなしい青年だから、結婚に踏切ったらどうかと、励めてくれるのだが、右の点がどうもはっきりしないので、公子さんは、結婚に二の足を踏んでいるのである。公子さんは、男性優劣鑑別法として、近く迫ってきた「参議院選挙」を利用したのである。

ある日、公子さんは真剣な表情をして明夫君に言ったものである。

「私頼まれたのよ。ぜひ汚野汚平さんに清き一票を投じてよ」

汚野汚平とは、世上風評芳しからざる参議員候補者である。

「あんたは私利私欲に走る男にこの清き一票は、あげられませんよ」

「あんたは私の言ったことは何んでも聞いて下さったのに…」

「これだけはどうにも……」

「私おこるわ」

「おこられてもしかたありませんわ」

「結婚を断わられても？」

「……」

「あなたは私が嫌いなのね？」

「いいえ、断然スキです」

「それなら、汚野さんに入れてよ…」

「僕は、もう投票する候補者は決まっているのです」

「では、もうあなたとはお別れするわ」

「残念ですがいた仕方ありません」と、明夫君が見るも哀れなしおれかたをしたとき公子さんは大きな声を出した。

「まあ、頼もしいわ。男性鑑別法はこれにかぎるわ」……と。

明夫君が、男性優劣鑑別法で、合格したことはもちろんである

昭和37年7月1日執行参院選事務日程（抜すい）

月　日	曜	処　理　事　項
6月7日	木	選挙期日の公示 立候補届出受付開始 投票所の告示 開票の場所及び日時の告示 補充選挙人名簿申請方法の告示 公営施設使用の個人演説会開催申出開始 不在者投票の開始
6月9日	土	公営施設使用の個人演説会開始
6月11日	月	補充選挙人名簿調製現在期日
6月12日	火	補充選挙人名簿登録申請受理開始
6月15日	金	開票立会人となるべき者のくじを行なう場所及び日時の告示地方区投票記載所候補者氏名等の指示掲載順序のくじを行なう日時場所の告示
6月16日	土	立候補届出期限
6月18日	月	補充選挙人名簿登録申請期限
6月19日	火	補充選挙人名簿調製開始
6月24日	日	補充選挙人名簿調整期限 全国区候補者氏名等の掲示
6月25日	月	補充選挙人名簿縦覧及び異議申立開始
6月26日	火	補充選挙人名簿縦覧及び異議申立期限
6月27日	水	補充選挙人名簿異議申立決定期限
6月28日	木	補充選挙人名簿確定の期日 開票立会人の届出期限 補充選挙人名簿確定人員報告
6月29日	金	開票立会人のくじ若しくは補充選任 地方区投票記載所候補者氏名等の掲示掲載順序のくじ 選挙公報配布期限
6月30日	土	投票所入場券交付期限　投票所の設置 不在者投票期限
7月1日	日	投票日　開票（即日）

もれたら大変!!

補充選挙人名簿

こんどの参院選には、昨年9月15日現在で調製した、基本選挙人名簿のほかに、新らしく補充選挙人名簿を調製して、これとあわせて用います。

この補充選挙人名簿に登録する要件は

1　基本選挙人名簿に洩れている者

2　その後大内町に転入して、3ケ月以上になる者（昭和37年3月11日以前から町内居住の者）

3　昭和37年6月11日で、満20才に達した者（昭和17年6月12日以前に出生した者）

申請期間

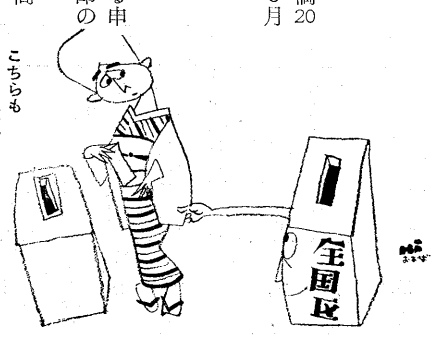
6月12日～6月18日まで

申請方法

町役場および各支所にある申請書に所要事項を記入捺印のうえ提出する。

従覧および異議の申立期間

6月25日～6月26日まで



▽ **水稲へ硅酸石灰をぜひ**
水稲は多量の硅酸を吸収する作物です。硅酸が欠乏するとイモチ病、ゴマハガシ病の発生が多くなり、みのりが悪く、またたおれやすくなります。一般に秋落ちのする地帯は施用効果が高いようです。施用量は反当り112キロ～225キロが適当です、元肥のときが植付後2週間までに施すとよいようです。

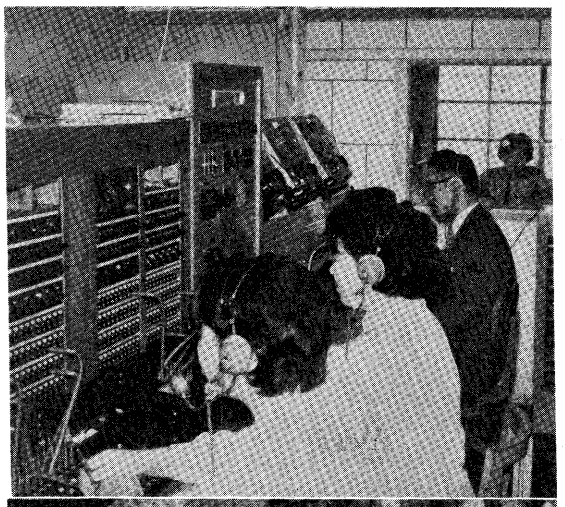
▽ **ねらわれるハデな服装**
季節の変わりは服装からといわれていますが、とりわけ変り目の早いのは、若い女性の服装です。初夏の訪れとともに、女性の服装もうす着になって、あでやかさを増してきます。
このようなことが原因してか、毎年春から夏にかけては性犯罪が急に多くなります。自分の身を守るためにも、刺激的な服装はさけたいものです。

便利帳

▽ **つゆどきは栄養と休息が**必要です。これからは、温度が高く、湿気の多い季節になります。そのうえ農繁期の過労のために、必要なのは栄養と休息ということです。午前中疲れたときには、1時間でも、30分でも昼寝をすることです。またビタミンの要求量は10倍にもなりますので、副食物にたんぱく質や脂肪類が不足しないよう注意しましょう

▽ **野菜の上手なゆで方**
緑黄野菜をゆでるには、まず、たっぷり水を用意します。材料をおおうだけの熱湯の中に、塩1つまみを入れ、いつも茎から入れるようにします。ふたをしないでゆでることが大切です。
例えば、ホーレン草、みつばのようなものは、できるだけ短時間に強火でさっとゆで冷水にもどすこと。

青少年健全育成めざす



大内町有線放送電話連合会では、町内3地区を結ぶ電話中継線の、施設工事を完了し、町内加入者2千450戸に対して、只今試験放送中で、近く通話業務を開始します。
写真は、左側が交換機、中央の少し高いのは増巾器といって、声を大きくする機械、右側の長いのが、リモート・コントロール装置で、放送や録音を調整する機械です。

仁保婦人会は、5月24日乳幼児検診を行ないつぎの入選者をきめた。表彰は7月上旬入選者
〔男子〕岡田祥照（両浴）堀田覚児（野上）河村和弘（両浴）伊藤斉（高畠）岡村慎二郎（北河内）
〔女子〕熊野明美（大畠）溝部裕子（井東）藤林礼子（丸山）棋村久子（高野）岩本やよい（原河内）
努力賞　内田　晃（金坪）（写真は検診風景）

37年度社会教育の方針

37年度の、社会教育の方針が、つぎのように決まりました。これが町ぐるみの活動として展開されるよう、町民全体の協力をねがいます。

㈠ **社会教育の基本方針**
健康明朗で文化的な、町民生活と郷土社会の建設特に、青少年の健全育成をめざして、進みゆく時代に即応する社会教育を進めるため公民館を中核とした総合的活動の展開をはかる。

㈡ **努力点**
① 総合社会教育の進化徹底をはかる。
施策としては昨年度に引きつづき、**健康生活の確立、家庭経済の確立**を2大目標として諸活動を総合的に展開する。
これがため、昨年に引き続きつぎの研究部落を指定し、実践活動をおしすすめることになった。

◎指定部落　小鯖上鯖山公民館
○研究課題　健康生活の確立
○実践活動　食生活の改善と予防衛生（特にやさいの計画栽培）

◎指定部落　仁保大富公民館
○研究課題　総合性を高める部落活動
○実践活動　健康経済教育を高めるため、部落ぐるみで推進する（特に視聴覚教材の利用）

◎指定学級　大内婦人家計簿学級
○研究課題　家庭経済の確立
○実践活動　家計簿の記帳訓練（特に生活環境毎に学習班を編成し共通事項の研究）

以上であるが、ことしは青少年の健全育成と健民運動など、の山口国体を中心とした活動を

② すすめることにした。
青少年の健全育成
広く青少年に教育の機会を与えて、青年団体の組織を拡充強化し、その自主的活動を促進するとともに、青少年をとりまく社会環境の充実刷新をはかる。
○子ども会、BSなどの育成
○子ども会育成会の結成と活動の促進
○青年活動、青年学級の振興
③ 未組織対象の社会教育の徹底
○部落公民館活動の推進部落の総合性を高めるため、活動目標および研究課題の設定と指導。
○グループ活動の育成
町民一人残らず、何れかのグループに入り、学習活動に参加する。
○広報、有線などの効果的利用
④ 健民運動の推進
国体開催の意義を普及し、協力体制を確立し、これを機会に、豊かな郷土づくりをめざした、健民運動を強力に展開する。

綜合社会教育の展開

小鯖婦人会　家計簿の研究

＜嫁いで20年　はじめて知るわが家の家計＞

小鯖婦人会は、34年度から貯蓄推進運動にあわせて、わが家の家計（やりくり世帯）の分析を課題として、家計簿記帳学習をはじめた。最初は婦人学級や部落活動、グループ活動の中に取り入れて、まづ記帳訓練からはじめ、1年目は休まずにつける、2年目は分類記帳ができるようになり、愈々3年目で費用別記帳ができるようになり、はじめてわが家の家計の診断ができるようになりました。
嫁いで20年、はじめてわが家の収支の実態を知って驚くやら、考えさすやら。文化的な明るい生活をするには、どうしても家計簿による、計画的な家計が必要であることを深く感じたわけです。
しかし、わが家計のうちで、やりくりするだけでなく、他人の家計も見て、参考にすることは大変大事なことです。そこで、小鯖婦人会も早速に去年の家計を展示して、それぞれの批判をうけることにしました。
つぎの表は、県下の農家平均家計支出です。これを参考に小鯖婦人会で展示された図表とを対象して、わが家の家計簿を検討してください。
図表①について、佐々木普及員よりの講評は、

1 支出計額は、家族構成の消費単位から考えて、やや上額で、費目別の使い方が問題です。

2 労働をするもとは健康体で、それを作る食物費が、必要額と思われる49%（年額18万9千円）必要なところ17%は少ない。

3 被服費が24%、これは10%程度ですむのではないか。

4 文化交際費（教養費を含んでいるものと思う）が、これが7%におさえられないか。

5 交通通信費が多いようだが、内容的に再検討する必要がある

6 住居費の内容も検討してみる必要がある。家具、家財用途なら減らしてもよい。

図表②については略します。これを検討した場合、2・3年後には、子どもの教育費がかさむことになるので、余分支出を切り替えて、食物費や教育準備金に当てることが必要です。

問題点と（対策）
実例をみて、総体的にはつぎのことが云えます。

1 家計支出高が少ない。
（収入の道を計り、自家仕向の生産高をあげる）

2 食物費が少ない、ことに副食費の割合が、非常に少ない。
（自家仕向の計算を明らかにして、卵、乳、大豆、やさいの自家消費を増し、嗜好品をきりつめる）

3 被服費が多い。
（衣服設計をたて、友愛セールや、更生に気をつける）

4 住居費、光熱費が多い。
（日常かつ管理を十分にし、家具購入計画をたてる）

5 臨時、交際、雑費が多い
（冠婚葬祭、その他日常のつき合いを簡素化し、準備金の積立をする）

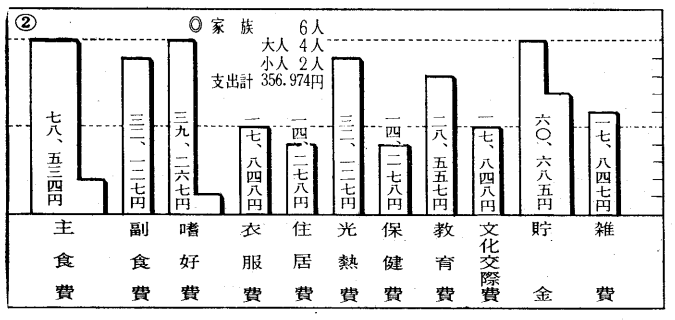
家計簿の記帳、決算はわが家のくらしの、もっともよい信号機です。明かるい、豊かな家庭を、家計簿から築きましょう。

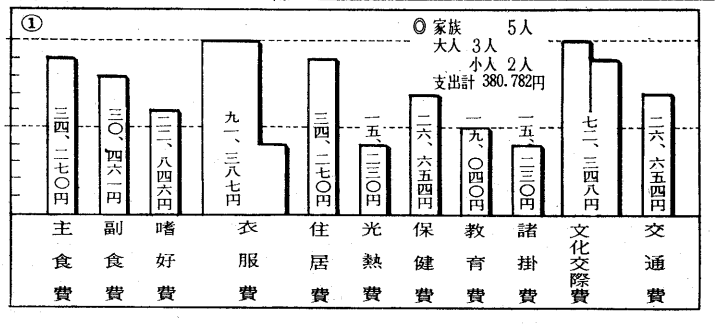
35年度山口県農家平均家計支出
（平均耕作7反5畝　人員5.6人）

主食費	19%	70,082円
副食費	16%	60,259
嗜好費	8%	28,256
衣服費	11%	38,470
住居費	10%	36,009
光熱費	5%	18,470
保健費	4%	15,905
教育費	4%	15,583
教養娯楽費	4%	15,145
交際費	5%	18,613
交通通信費	2%	8,074
雑費	8%	27,428
臨時費	4%	13,294
合計		365,588
減価償却額		(+)14,525
賄支給引		(−) 215
差		379,898

農繁期の共同炊事（中矢田部落）

昭和28年からはじめたというから，ことしで10年目，毎年忙がしい2期秋に部落揃って共同炊事，ことしも6月6日からはじまった共同炊事場の公民館をのぞいてみると，普及員の佐々木さんの指導で，枝さんと高橋さんが，おいしそうな副食の分配中でした。世話役の柳良惣一さんの苦労も大きいが，それでこそお母さん達も，十分に休まれ，食事には心配なく働けるわけです。（写真は炊事場）





大内町広報

昭和37年7月15日
第83号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

教委が受賞

昭和36年度の地方教育費の調査および、地方教育行政調査の実施において、格別の努力をし、優秀な成績をおさめたのでこのたび文部大臣の表彰をうけました。

わすれずに夏山手入

緑化運動の一環としてことしも、7月16日から1ケ月間、夏山手入運動が実施されます。町でも夏山手入れに一般はもとより、学校、青少年団、婦人会の参加協力をとくにお願いしています。

税金

7月　固定資産税　2期納期は月末です。お忘れなくどうぞ早目に。
第1期分申告所得税。
7月31日まで

参院選76%の投票率
前回に比べ14%と上まわる

（参院選の開票風景）

7月1日行なわれた参院選は、76%の投票率で予想以上のよい成績でした。これまでの例からして、参院選はほかのどの選挙に比べても、投票率がわるかった。今回は全国あげての「投票総参加運動」に呼応して、町でも公明選挙推進協議会が、この運動を強力に推進し、町内を巡回して有権者に呼びかけるとともに公民館の行なう常時啓発によって、参院の役割が一般に理解され、政治に関する意慾の向上もあって、農繁期にもかかわらず、今回の好成績をあげえたものと思います。とくに小鯖地区の1部は、植付最中にありながらも格別の成績は特筆するものです。

これで一応選挙は終ったわけですが、期待するとおりの選挙であったかどうか、それはこれからの政治にあるでしょう。公明選挙のねらいは、単に選挙のときだけでなく、これからの毎日を政治と生活と選挙とに結びつけて行くことであります。

町民の政治に対する意向を打診するために、投票成績、得票結果をつぎにあげます。

投票成績優秀部落
（各地区別第3位まで）

大内地区		
	高	83.9%
	芝	83.7%
	小野	83.7%
	菅	83.1%
	内	83.1%
仁保地区		
	井開	86.6%
	田西	86.2%
	高	85.6%
	松畠	85.6%
小鯖地区		
	1	82.6%
	区	82.6%
	17	82.1%
	区	82.1%
	16	80.9%
	区	80.9%

有権者数	8,630		
投票者数	6,590	棄権者数	2,040

大内町における党派別得票数

	（全国区）	（地方区）
自由民主党	3,302	3,552
日本社会党	1,285	1,927
民主社会党	172	461
日本共産党	110	230
諸派	293	0
無所属	928	75
計	6,090	6,245

米価運動におもう

今年の米価要求運動は、全国的に見ても昨年以上の盛り上りを示しました。終戦後、全国の農民が一丸となって要求運動を盛り上げたのは昨年の米価要求運動が始めてです。昭和27年に全国にさきがけ、山口県ではかなり大がかりな運動が組み立てられましたが、ついに全国的段階まで発展せず、かえって山口県での運動指導者に迷惑をかける結果に終りました。それから約10年の後に、今度は全国的なものとして農業団体は一体となって展開することが出来るまでに強まって来ました。

農業基本法が出来て、農業従事者と他産業従事者との所得の格差を無くするんだと、国の農業政策の方向は打ち出されましたが、この春農林省が発表しました「グリンレポート」によりましても、他産業従事者との所得の格差は大きくなっています。農業基本法の中で、あるいは関連法の中で我々の立場から見て、最も重大な点が1つ落ちています。それは農産物の価格対策です。近代化資金により農業の構造を改善さすとか、成長部門と云われている果樹、畜産部門へ選択的に拡大せよと云われても、国に5年、10年後の青写真はなく勿論価格の補償のない中で進められようとする、構造改善事業にも多くの問題が残されている訳です。今日の米価運動も、こうした国の農業施策の中で弱い面を取り上げて、お互農民が農業団体を通じて生産費および所得の補償出来る価格を要求しているのです。

今日の運動では、具体的には米価だけにしぼっていますが、米の価格だけ守ればよいと云うのではありません。豚、牛乳、青果その他の農産物についても、これから生産費を償なう価格の確立に米価運動以上の努力を続けなければなりません。一方農産物の生産費を引き下げる努力（コストダウン）も懸命に払わなければならないことも当然です。

我々の要求米価は、農民としてつつましい生活の中からの最低の要求であると考えますが、外部から米価を見た場合高米価だという人もありますが、こうした立場の意見はつぎのようなものです。

1　食管特別会計の赤字が多くなるということ。
2　米価と選択的拡大の関係。
3　米価引き上げは上層農民にのみ恩恵であること。
4　毎年豊作であるのに米価の引き上げは筋がとおらぬ。

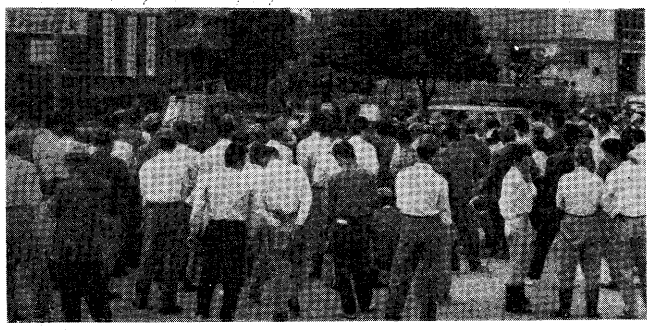
以上が米価を抑制する意見です。この広報が、みなさんのお手許にとどくころは、すでに米価も決定していることと思います。弘たちの要求基本米価一二、七六八円総合米価農家手取り一三、五〇〇円がどれだけ実現できるか。

葉書陳情、農民大会、陳情団の上京と部落の中から始められた要求運動も今日では運動の中心が国会周辺にしぼられて来ました。

今年の米価を動かすものは何でしょう。それは農民自らの力でしょう。大内町の場合、昨年も今年も山口県の他地区にさきがけて強力な米価要求運動が進められて来ました。中でも町議会、町当局の全面的協力を戴き、米価要求運動は大内町全体が一丸となって進めることの出来ましたことを農家の皆様と共に喜びたいと思います。

しかし、残念ながら昨年は要求を貫徹することが出来ませんでした。我々の運動に何かぬけているものがありはしませんか。中央でこうした話がありました。「百姓というのは砂を振るようなものだ。握っている時は固っているが指を聞けばばらばらになってしまう」と、この言葉は昨年の運動の中でぬけているもの、そのものずばりとつかれたお話だと思います。今年の要求運動はこの砂にセメントを加えた運動にしなければならないと思います。このセメントとは何か、今年の米価決定のあとで静かに反省して見なければならない重要な点だと思います。

（基本米価獲得協議会寄稿）



（写真 ㊤ パレード・㊦ 農民大会）

水稲病害虫の見とおし
＝「二・四―D」の使用法＝

6月23日、農業試験場より病害虫発生予報第3号が出されましたが、それによると大体次の様に予報されています。

1　葉イモチ病

本田初期および中期に多発生すると思われるので充分な警戒が必要です。

2　黄化萎縮病

本田初期に発生すると思われるので、苗代発生地域などでは、特に注意を要します。

3　縞葉枯病

地帯により7月中旬より発生が増加すると思われます。

4　紋枯病

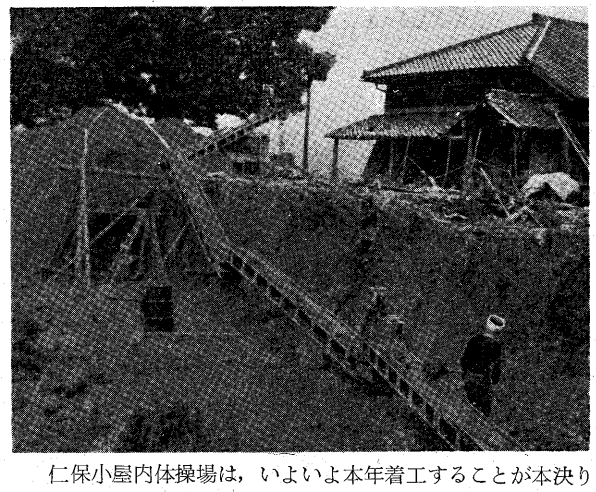
発生時期はやや遅く、平年並の発生と思われます。

以上ですが、この外当地では「クロカメムシ」「タテハマキ」などが、既に相当発生していますしまた梅雨が長ければ早期稲の穂イモチ病、普通稲の葉イモチ病、紋枯病、アワヨトウ等も多発が予想されますから、早期発見適期防除を行なうことが特に大事です。

なお除草剤「二・四―D」の使用時期となりましたが、使用時期を遅れないことが大事で、大体田植後、25日頃を目安としますが、遅くとも出穂の35日前頃には、終るようにしましょう。

また撒布液調整に際しては、調合容器で充分混合の上撒霧機に入れるようにしないと、除草効果が不安定になりがちです。

（写真は切取作業現場）



仁保小昼内体操場は，いよいよ本年着工することが本決りとなり，すでに切取作業がはじまっていますが，7月13日現地において起工式を行ない，巴組によって本工事に着工し，年中に竣工の予定です。

▽**申告所得税第1期分**の納期は、7月31日までです。すでに、予定納税基準額の通知書は、みなさんのお手許に届いていると思われますが、納付書も7月中頃までには、税務署から送付されるので、早目に準備を。

▽**町の体育協会では**、つぎの体育行事を行ないます。

7月20日～29日　各地区別球技大会
8月5日　全町球技大会
8月12日　郡体協球技大会
8月1日～16日　武道暑中講習会・町武道大会
8月19日　郡体陸上競技

▽県政に**県民の建設的な意見を反映**させ、民主政治の実績をあげるため、7月20日～8月15日まで〝知事あて暑中見舞〟をつぎの要領で受付します。多数お出しください。内容、県政に対する建設的な切実な意見要望、あてさき、山口県県政課気付、山口県知事橋本正之、用紙、官製はがき、要旨は明瞭簡潔に。

▽**梅雨あけ清掃**、衛生害虫駆除重点月間が、7月10日から8月9日まで実施されます。梅雨期で不潔になった生活環境を、清潔に整頓するほか各種の病因媒介のもとになる、はえ・ごきぶり・蚊などの衛生害虫の駆除を致しましょう。

前号1部訂正　町（県）民税課税方法

（扶養）　（県民税所得割）

480円（2人）＝1,360円＋100円＝1,460円を
240円（1人）－1,600円＋100円＝1,700円に

従って中央列の最上部の24,300円＋1,460円＝25,760円を，24,300円＋1,700＝26,000円にそれぞれ訂正します。

農民のための農政を主張する代弁者

農業委員の改選が行なわれますが、農民の立場にたって、農民の利益のために公平に仕事の出来る　能力と手腕を持った人が当選すれば、私たちはそれだけ、よい代弁者を得たことになります。

大内町の農業委員は、選挙による委員（定数は16人）と。これに農協、共済の理事の代表と学識経験者が加わって、委員会が構成されます。

農業委員会といえば、農地問題だというふうに、従来とかくこれだけを結びつけて考えられがちでした。事実、農地問題は農業委員会だけが取扱う大切な仕事なのですが農委のもつもう1つの大きな任務があります。農地と農村振興が大きな2本の柱で、この仕事がなめらかに運ぶために農政問題と取り組んでいます。そして農業経営全体を、ちょっとやそっとの経済変動にもまけない丈夫なものにきりかえてゆくのが任務です。

×

大きな理想は、こうした経営自体の高度化にありますが、具体的な方法としては、農業行政を、私たちの実情にあるように見守り、意見を出し、場合によっては私たちの代弁者として働く機関だといえます。所得税の見積りに対し、交渉の根拠を毎年調査してきているのも、こうした理由からです。私たちの農政上の主張に根拠をつくり、資料を集め、代表として意見を発表してもらう機関ともいえます。またそれだけの権限を与えられている団体です。農業行政が私たちの実情にそうか、そわないかを考え、不備な点を主張してこそ、民主的な農政といえましょう

×

今の農業は他の産業に比べて、所得の格差はますます開いてきています。これを是正し農業従事者も、他の仕事に働く人と同じように、所得が上がるためにつくられたものが農業基本法です。しかしこれだけで農民が豊かになるとは考えられません。農業基本法を中心に、具体的な方策がうちたてられ、強力な施策がすすめられてこそ農業人が初めて豊かになれる筈です。今こうしたいろいろの問題を、農民の立場から検討して、よりよい意見を出してゆくのが農業委員会です。

農業委員会が出した答申や意見は、農業行政のうえに尊重し、政策を受ける側の声が、代弁者〝農委〟を通じて発表されることになるわけです。

×

農民のための農政をやってもらうよう訴える、農民の自主的な代表機関の委員を選ぶ日が近ずきました。農業委員の改選は、ほかの選挙にも負けない大切な選挙であります。

農業委員の選挙は7月29日

改選される委員は16名

農業委員の選挙は、大体町会議員の選挙に準じて行なわれます。選挙運動の面では、相当に規則がゆるやかになっています。必要なことがらを簡単にまとめました。（禁止される運動、されない運動の細かい点については、選管へおたずねください）

選挙する人の資格は

つぎの条件にあった人でないと選挙資格がありません。

(1) 10アール以上の農地を耕作もしくは、農業を経営する人（同居している親族や配偶者も含む）

(2) 年間大体60日以上耕作をする人。

(3) 大内町内に住所をもっている人。

（註）居住期間は別にないが60日以上耕作する条件がある。

(4) 年令満20才以上の男女（国籍はどこでもよい）

このたび使用する選挙人名簿は、昨年12月1日現在で作ってあります。この名簿は、農業委員会法によって作りますが毎年12月1日現在で作り、翌年3月5日に確定することになっています。この選挙には、地方選挙の場合と違って補充名簿がありません。昨年12月に申告もれした人、その後新らしく選挙権を得られた人も、選挙権がないのです。

立候補の届出

立候補制があるので、当然届出が必要です。

(1) 立候補の受付は、7月25日の午後5時までです。町議の場合と同じく、自薦と推薦2種の届け様式があり、用紙は選管にあります。

(2) 選挙事務所の設置届

設ける数は一カ所で、候補者か、推薦届出者以外は、設けることができません。

(3) 事務所を異動したときは、異動届を選管に出さねばなりません。選挙当日、投票所より300メートル以内は、事務所を設置できません。

(4) つぎの職業の人は立候補の制限を受けています。

裁判官、警察官、公安委員選管の委員および職員、自衛隊員、一般職の国家公務員、投開票管理者、選挙長など。

（規則がめんどうなのでくわしくは選管へ照会ください）

禁止されている運動

イ 戸別訪問。

ロ 連呼行為。

ハ 新聞、雑誌を不法利用して当選をはかったり妨害する行為。

ニ 夜間の街頭演説（午後9時より翌朝6時まで）。

ホ 特定の建物や施設での演説（公共団体の建物やバス、診療所などの療養施設）。

ヘ 立候補制限の人は運動できぬ

禁止されない運動

1 休けい所を設けること

2 気勢を張る行為

3 自動車の使用

4 文書や図画（ポスター）の枚数、規格、色彩は自由

5 従ってポスターの検印も不要

6 運動員の人員制限はない

7 運動用の腕章や標旗、表示板などは不要

8 個人演説―公営の施設を利用する場合は、開催の2日前までに、開催申出書を提出する必要がある。これは一回かぎり無料になる。

不在投票は地方選挙と同じ

本庁と仁保、小鯖支所で、7月21～28日まで、毎日午前8時30分～午後5時まで取扱います。

農業委員の選挙日程

7月21日	(1)	選挙期日の公示
	(2)	投票所の公示
	(3)	不在者投票の開始
	(4)	立候補受付開始
	(5)	選挙立会人の届出開始
	(6)	公営施設使用の個人演説会開催申出開始
〃 23日	(1)	公営施設使用の個人演説会開始
〃 25日	(1)	立候補届出期限
〃 26日	(1)	選挙（開票）立会人届出期限
〃 27日	(1)	補充立候補届出期限
	(2)	選挙立会人のくじを行なうまたは補充者の選任
〃 28日	(1)	立候補辞退の届出期限
	(2)	不在者投票期限
〃 29日	(1)	投票日（午前7時―午後6時）
	(2)	選挙会（開票）午後8時
〃 30日	(1)	当選の告知
	(2)	当選証書の附与

＜最も新しい人工吸呼法＞

梅雨あけとも暑さもまし、これからは水による事故がふえてきます。こんな場合に必要な人工呼吸法を、誰も心得ておきましょう。

① 仮死者を腹ばいに寝かせます。

② ひじを十分に曲げさせ、左右の手を重ねさせ、その上に顔を横向かせに置かせます。

③ 人工呼吸者は仮死者の頭を両膝の間にはさむようにして膝をつきます。このとき片膝を立てたほうがらくならそうしますし、両膝をついてもよろしい。

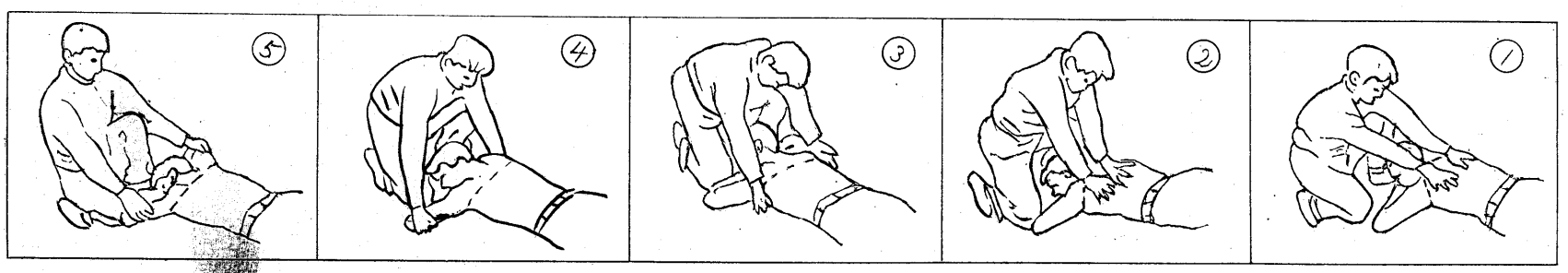
④ 両手指をひろげ左右の親指は軽くふれあう位で、手首の位置は仮死者のわきの下を結ぶ線上にあるようにして、手のひらを仮死者の背におきます。

⑤ 静かに術者はひじをのばしたまま上半身を起こし体重を仮死者の背にかけます。大体ひじが地面に直角になるくらいまで。

⑥ 静かに元の位置にもどり、体重の圧を除きます。

⑦ 仮死者のひじに両手をかけ、これを上方に術者自身体をそらせつつ引き上げます。抵抗を感じたところで元に戻します。（頭の重さが抵抗の原因、つまり頭を浮かせるほど引き上げるのではありません。）

⑨ 以上の動作を一分間12回、つまり1回5秒のわりで続行します。体重をかけすぎて肋骨を折らないよう、地面に直角までを限度とします。人口呼吸をはじめる前に口中を点検し舌を引き出しておく必要のあるなしを確かめないと、奥へ引っこんだ舌でのどがふさがっていることがあります。その場合は引き出して左図のように固定してから行ないます。



公民館の窓

子ども会の活動を促進

各地区に育成会結成

いままでの子ども会活動は、学校の校外活動の1部であったり、PTA・婦人会・部落の世話人たちの苦労のみで進められているもので、全体的に子ども会を育てるいわゆる地域ぐるみの指導と援助体勢がなく、この道がはばまれていた。

昨年末からこの問題を前進させるため部落長（分館長）を中核として、学校・公民館・PTA・婦人会・青年団・児童福祉等関係者で地域子ども会育成のため研究会を開き、既に大内地区は当日育成会の結成をみるまでに至った。その後、仁保・小鯖地区においても各々研究がすすめられ、つぎの日程により地区別に子ども会、育成会、世話人集会がもたれ結成会が開かれ、夏季子ども会活動について研究協議せられることになっています。

7月12日　仁保地区
7月16日　大内・小鯖地区

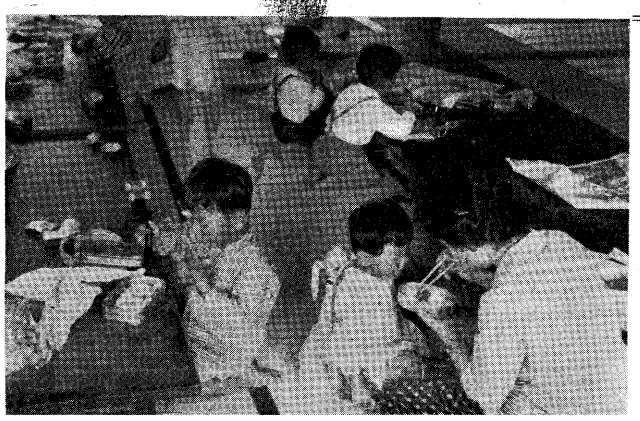
この会で、取りあげられる問題は……

◎ 地域ぐるみで子ども会を育てるにはどうしたらよいか。

◎ 地区および部落育成会の夏季行事と子ども会の野外活動その他の行事について

◎ 健民運動を子ども会としてどのようにすすめるか。

などの諸問題で、町の社会教育の重点目標である「青少年の健全育成」の中心活動ともいう。子ども会も1歩前進の姿勢となったもので、これからの活動が期待されるわけです。



仁保では季節託児所

仁保婦人会は，ことしも6月15日から26日まで託児所を開設しました。農家では，猫の手もかりたい植付期に，家庭では1番手を取る満1才から5才までの幼児をあずかってもらって大助かり，会長さんをはじめ世話される方々の苦労も大したもの毎日15人～20人の子守りも楽じゃぁないです。

大内町広報

昭和37年8月15日
第85号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

部落説明会つづく

山口市との合併問題について、各地区毎に部落説明会を行なっていますが、これも盆前には終ります。その後は委員会を開いて、皆さん方のご意見や質問などを綜合的に検討したうえで、つぎのご相談を致します。このうえともご研究ください

これから台風シーズン

8月8日から9日にかけて降った雨は、町全域をうるおし、もうことしは水の心配は一応なさそう。これまでの台風は全部それたが、これからが要注意。ことしも豊作であってほしいものです。

税金

8月　町民税第2期分
9月　なし
早めにお納めください

わたしたち農民の代弁者
農業委員きまる

7月29日執行の大内町農業委員会委員の選挙は、選挙による委員定数16名に対して、立候補者16名のため無投票当選と決定したが、その後7名の選任委員も決まり、新らしい委員による農業委員会が発足したわけです。

農地問題はもとより、農村振興のために農政問題と取り組み、農業経営と私たち農民の実情があうように常に見守り、農民のための農政を主張する代弁者として、町がこれから取り組まんとしている農業構造改善事業にも、格別の努力をお願いしたいものです。

委員はつぎのとおり（敬称略）

▽選挙によるもの（無投票）

荒瀬　勇	38才	無所属	大内
岡本義作	66〃	〃	小鯖
栢野幸佳	36〃	〃	〃
藤井治義	35〃	〃	仁保
岩本新一	47〃	〃	大内
田中嵩久	34〃	〃	小鯖
乙石隆次	49〃	〃	大内
原田元介	40才	無所属	小鯖
西村　静	40〃	〃	仁保
小林俊明	43〃	〃	大内
山本敏幸	41〃	〃	仁保
栗林孫弐	70〃	〃	大内
小林隆次	45〃	〃	仁保

▽農業協同組合および農業共済組合が推薦したもの

貞永　浩	47才	無所属	小鯖
山根次郎	60〃	〃	仁保
岡本清一	63〃	〃	大内
古屋豊槌	65〃	〃	小鯖

▽議会が推薦した学識経験を有するもの

山根茂夫	50〃	〃	〃
山本繁正	32〃	〃	〃
椿　政人	54〃	〃	大内
田中喜熊	59才	無所属	仁保
中野　正	47〃	〃	大内
小林　宗	47〃	〃	小鯖

―福祉年金―
公的年金との併給

国民年金法の1部改正があり、従来から改善の要望が寄せられていた、公的年金と福祉年金の併給が、つぎの要領で10月分から実施されます。

併給の基準となる額

これまでは、福祉年金の額より低額の公的年金（恩給・年金・扶助料など）の受給者に対してのみ福祉年金の額の限度で、公的年金との併給が行なわれていましたがこの併給の基準額が年2万4千円に引き上げられることになりました。また公的年金が恩給法による増加恩給・傷病年金・公務扶助料などで、旧軍人軍属やその遺族に支給されるいわゆる「戦争公務にもとづくもの」であるときは、併給基準額が7万円になりました。

併給の調整

公的年金と福祉年金の両方を加えた額が、2万4千円をこえない場合は全額併給されます。

公的年金と福祉年金の両方を加えた額が、2万4千円をこえた場合は、2万4千円をこえる額だけ福祉年金が支給停止になります。

また、福祉年金が2万4千円より高額であり、しかも公的年金よりも高額な場合は、福祉年金と公的年金の差額の福祉年金が支給されます。（母子または準母子福祉年金を受ける場合に生ずるもの）

戦争公務にもとづく公的年金

併給の基準額が、7万円とされる公的年金の主なものは

1　旧軍人、軍属として公務により受けた負傷または疾病。
2　旧軍人などの遺族がうけている公務扶助料や特別公務扶助料
3　援護法により旧軍人、軍属がうけている障害年金。
4　旧軍人・軍属などの公務死によって、これらのものの遺族がうけている遺族年金またはこれに準ずる遺族給与金。

以上のもので、併給される額が7万円をこえた場合は、そのこえた額だけ福祉年金が支給停止になります。なお公務扶助料を受給している場合は、先順位者が2人ある場合は、基準額に扶養加給の4千800円を加えた額の2分1の額が各人分の年金受給額として計算される。以上が年金併給のあらましで、これが取扱についてのくわしいことは次号（お知らせ）で。

炎天下の球技大会
野球は大内御堀
バレーボール仁保丸山

町球技大会は、8月5日に大内中のグランドと体育館で行なわれました。この日は、とても天気のよい暑い、文字通りの炎天下の熱戦でした。3地区からそれぞれ代表が決勝を争いましたが、つぎのような成績で、本大会を盛況のうちにおわりました。

野球
1位（大内御堀）
2位（仁保原河内）
3位（仁保揚山）

卓球
団体（男子）1位（大内）
　　2位（仁保）
団体（女子）1位（大内）
　　2位（小鯖）
個人（男子）1位来栖有為（大内）
　　2位鰐石由明（小鯖）
　　3位河添英男（大内）
個人（女子）1位 和田東恵（大内）
　　2位徳田すま子（小鯖）
　　3位藤原道代（大内）

バレーボール婦人会
1位（仁保丸山）
2位（大内大道）
3位（小鯖毛割）

一般婦人
1位（大内混成）
2位（小鯖東鯖）

土地改良区総代26日に選挙

大内
小鯖

大内・小鯖の土地改良区総代選挙が、8月26日に行なわれます。選挙する総代の定数は大内・小鯖ともそれぞれ30名、選挙区は、旧大内村、旧小鯖村をそれぞれ1選挙区、投票所は大内選挙区が大内町研修館、小鯖選挙区は、小鯖支所。

投票時間は、午前8時から午後4時まで。

立候補（立候補制度で制限がある）は町選管の方へ。

選挙人名簿は、土地改良区で調製したもの（8月5日現在）じゅう覧および異議申立は、土地改良区の方で受理します。選挙運動の規定は別にありません。

なお、わからないことは、土地改良区または町選管へお問い合せください。

ことしも豊作か!!
8・9月が稲作に大事なとき

大内町の稲は、8月中に穂を出し、9月に大体実るものが多い。そこで、これからの2カ月は作柄を決める大事な時期になります。

この期間の管理のねらいどころは、よい穂を出し、その穂がよく実るようにしてやることです。そのためには、稲がまず健康で、生理機能が盛んでなければなりません。一方では病害虫から稲をしっかり守ってやることです。このことを具体的にわかり易く説明すると、次のようなことです。

1、排水

幼穂型成期から穂ぞろい期までの間は水を最も必要とする時期ですから、常時灌水を原則としますが、根痛みを起し易い田はかけ流しや水の交換をして、地温の低下や土中への酸素の導入をはかるようにします。また穂ぞろい以降は3、4日に1日位落水して田干を行なう程度の灌水を出穂後30日近くまで続けます。

2　穂肥と実肥

穂肥は、出穂前25日～30日実肥は出穂後10日～15日頃施こすのが標準ですが、これらの施肥はこの時期に可成り肥切れの徴候が見え、しかも稲が健康状態の場合に高い効果が現われるものですが、そうでない場合は減収になる場合も少なくありませんから、この辺の判断が大事です。

3　病害中の防除

穂イモチ病には特に警戒を要します。穂ぞろい期に薬剤撒布を行なうことがもっとも効果があるようです。

紋枯病も、例年のように発生する見込みですから、これも穂ぞろい期を重点に防除をします

夏ウンカ、秋ウンカには常に気をつけ、油断は禁物ですとくに台風後は細心の注意が必要です。

2化メイ虫は、盆過ぎ頃からが防除の適期と思いますので、期を失せず薬剤撒布をすることです。

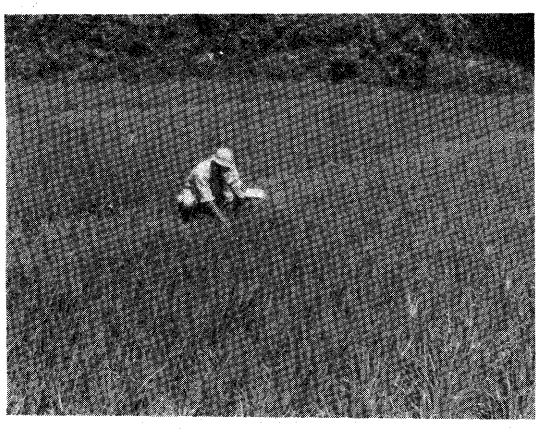
4　その他

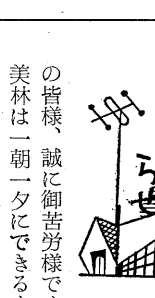
出穂前後の大事なときに、とかく台風が来るものと予想されるので、このときは深水にして倒伏を防ぐことと、その後の処置には万全の方法が必要です。

（大内農業改良普及所）

研究される水稲直まき栽培

町では，農業改良普及所と共同で水稲直まき栽培の委託確認圃をもうけ，これが研究に乗り出していますこれは，大内地区問田河江時太さんの圃場です。6月11日種まき，品種，ヤマビコ，条間33センチ，株間15センチ（播種機使用）で，8月5日現在平均1株茎数33本，草丈61cm　（写真は委託確認圃場の作況）





▽**昭和37年度の保母試験が**
つぎの要領で行なわれますご希望の方は8月20日までに町役場町民課へ申込みください。
実施期日　9月4・5日筆記試験，9月6・7日実技試験，資格　1、高校卒業者　2、児童福祉施設で3年以上保育に従事しているもの
そのほかくわしいことは町民課へ問い合せください。

▽**大内町体育振興会**小鯖支部長古屋豊槌さんがこんど引かれました。古屋さんは旧小鯖村当時から体育の振興に貢献され、今日の大内町体協の基礎をつくられた方です。なお後任には小林徳治さんがなられました。

▽**森林撫育競技会実施**
炎天下、夏山手入中の町民の皆様、誠に御苦労様です美林は一朝一夕にできるものではありません。皆様の育てられた山林を評価し、これを一般に公開し町内全山林の生産力増強をはかるために、撫育競技会をつぎの要領で実施いたしますので多数参加ください。

1　応募資格
町内居住の森林所有者

2　応募林分
(イ)すぎ、ひのきの間伐
3反歩以上
(ロ)赤松幼全林の保育
3反歩以上
(ハ)薪炭林の改良
3反歩以上
(ニ)竹林の改良
1反歩以上

3　実施期間
36年10月より37年9月末終了予定のもの

4　応募方法
山林所在地、地番、面積、種別、樹種、樹令を調べて各地区森林組合へ申込むこと。

便利帳

▽ これからは**台風シーズン**です。懐中電灯、マッチ、ローソクの準備はいいですね。それから大切なのは火の用心。

▽ お子さんの外出のときには、**かならず帽子を**……日射病にかからなくても、健康上には悪いのです。

▽ 水稲病害虫防除の最盛期です。**パラチオン剤の使用**について細心の注意が大切です。人だけでなく、牛馬の青草などにもご用心ください。

▽ **水の犠牲者**を出したくありませんね。事故数はタメ池が1位、つぎに川、海は3番目です。ことしこそ1人も出しませんように……

▽ 8月21日は**食品衛生の日**　7月から10月までは、1年中で食中毒が最も多く発生するときです。食中毒の主な原因となった食品は、魚やその加工品です。そこでこの食中毒を予防するには「清潔」「低温」「迅速」これが必要です。

▽ 毎月1日は**県民交通安全の日**です。「死者289人、負傷者5千229人」これは昨年1年間に山口県下で起った交通事故による死傷者の数です。毎月1日を「県民交通安全の日」として定め、交通事故防止に努めることになっています。

▽ **2学期はじめは**、とかく子どもたちが疲れます。夏休み中不規則に暮すと、通学が重荷になるからです。夜おそくまで無理な勉強をさせるのもこたえます。食事にはとくに用心が大切。

▽ **夏に食欲が**衰えるのは、主にビタミンB1の欠乏症です。新鮮な野菜や果物が効果的です。脂肪分の多いものや動物性たんぱく質は夏やせを防ぎます。

油断は禁物

子どもを水難から守りましょう

大内地区子ども会育成会は結成して日も浅いが、早速この問題をとりあげ子どもを水難より守る運動を展開、その一環として去る7月25日大内公民館で大内、小鯖駐在所の吉岡、福富両氏を講師として人工呼吸法の講習を開き、実技訓練や子どもの水泳心得など大人の立場で色々話し合った。

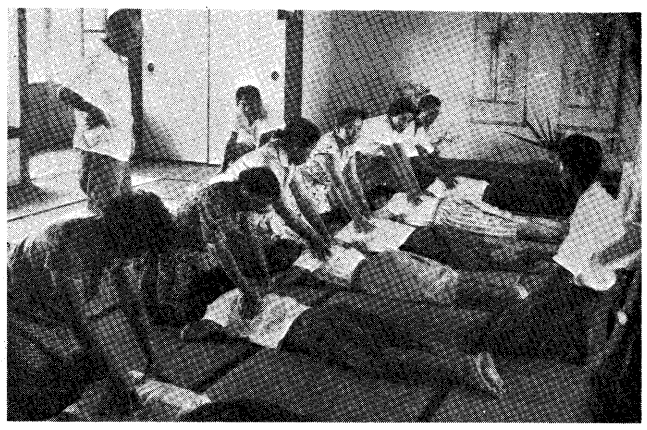
会長の村田さんは自ら指導を受けながら

「暑くなれば子どもたちは水を恋しがり毎日のように川に出かけて行きます。今年も子どもたちの悲しい水のぎせいはあとを断たないようですが、この問題は子を持つ親も社会もみんな感心を持ち、只子ども会の世話人、PTAの役員まかせではいけないと思います。そのためにこうした運動を展開し今年こそ悲しい水のぎせいを出さないようにと、子ども会で水泳場所の選定や水泳心得の徹底など気を配ることがたくさんある。また人口呼吸にしても、理論や方法については一応知っているつもりでも、いざその場になると自信がない。それには平素の訓練が必要でしょう。今日の実習を家庭や部落に持ち帰り、何度も練習して一人でも多く実技のできる人を養成し、有事の場合にそなえたいものです」と話された。

少年の非行化の問題で、家庭や社会の環境などにも話は発展してほんとうに有意義な講習会であった。

少年の非行化問題は人ごとではない。よい子と思うわが子の身辺にも悪魔はつめをといでいる。夏休みにはすきがある。油断は大敵です。

人工呼吸法の実技



普通、青年団活動は農繁期には休業となるが、ここ小鯖青年団ではその農繁期にこんな活動をして注目をあびている。

このところ人手不足は農村のあいことばである。青年たちも自らが経営主で兼業をしているものもあり、小鯖でも、この問題は深刻である。

こんなときこそ団活動のスローガンである友愛、奉仕の精神を活動にあらわすときだと、団員同志の家庭を中心に手間不足解消を思い立ち、早速実践して家庭からよろこばれたという、まことに時期を得たほほえましい実践活動である。

手をつなぐ若人たち

団長の鰐石くんはこのことについて、「これからの青年団活動はただ年中行事を一般的に行なう行事青年団でなく、現実の生活より問題をひき出しこれといかにとり組むかということが大切で、そのためにはおたがい青年は手をつないで今後も青年らしい活動をすすめたいと思う」と語っていた。

引揚者給付金がよくなった

～支給法一部改正～

引揚者給付金等支給法の一部を改正する法律が、今回戦傷病者、戦歿者遺族援護法等の一部を改正する法律として公布されこれが施行について通達があったので、改正された主な事項についてお知らせいたします。

改正された主な事項

1　生後6カ月未満の乳児であった引揚者については、外地居住期間が6カ月未満であっても引揚給付金を支給する。（改正前は、終戦時まで外地に6カ月以上生活の本拠を有していた者にのみ支給することを原則としていた。）

2　日本国政府の命令または要請により、外地に生活の本拠を有するに至った者と厚生大臣が認めるものについては、外地居住期間が6カ月未満のものであっても、引揚給付金または遺族給付金を支給する。（改正前は前項と同じ）

3　引揚後、昭和32年3月31日以前に20才以上25才未満で死亡した者の遺族に対し、遺族給付金を支給する。（改正前は引揚後昭和32年3月31日以前に死亡した者で、死亡当時25才以上であった者のみ）

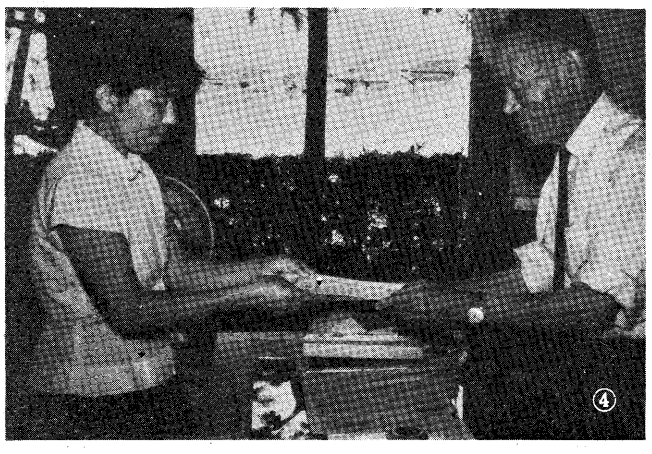
4　引揚者給付金または遺族給付金を受ける権利の時効期限を一年延長し、時効定結の日を昭和38年5月16日とした。（改正前は、時効定結の日は昭和37年5月16日）

なお、該当すると思われる方は、町役場福祉係へ相談のうえ申請の手続をしてください。

①

②

③



④

原水爆許すまじ

原水爆の恐怖を世界から追放しようと，ことしも8月6日東京，広島で大会が開かれた。この大会に日本国民の悲願を訴えるため，全国各地から国民平和大行進が続けられ7月28日大内町に到着，原水爆禁止山口地区協議会長の須子町長の激励を受け，防府に向う。（写真①）

子ども会を育成する青年たち

子ども会の健全な発展を目ざして，各部落子ども会ごとに育成会が発足したのもことしのこと，ここ仁保原河内青年グループも，この夏休みを利用して子ども会を発展させようと大張切，映画会や話し合いも楽しそう（写真②）

訓練は平素から

7月4日は，降雨のなかで実物そのままの水防訓練をした町消防団は，こんどはうだるような暑さの中で，8月6・8日仁保・大内で消防の基本訓練，確実と迅速を要求する消防は，こうした平素の訓練があってこそ，……本当にご苦労なことです。（写真③）

初の母子年金受給

きょ出制国民年金制度ができてから，町で初めての母子年金受給者に6日証書が渡された。この日の支給者は，大内上千坊中原久恵さんと，仁保北河内小林洋子さんの2人いづれも夫をことしの5月1日以降に失った未亡人，年額は基本額が19,200円

（写真④）

ぜひ受検しましょう

町民健康検診

○日時と場所

8月22日　仁保地区巡回

9.00～9.15　仁保市末宗商店前
9.30～9.45　仁保支所
10.00～10.15　高畠　藤井保助宅前
10.30～10.45　北河内　坂井商店前
11.00～11.15　一の瀬　池田義広宅前
11.30～11.45　大富公民館
12.00～12.15　揚山停留所前
13.30～13.45　井開田　岡本商店前
14.15～14.40　一貫野公民館
15.15～15.30　丸山　岡部商店前
15.45～16.00　深野農協前
16.15～16.30　大内地区宮ノ馬場　佐々木肥料店前

8月23日　小鯖地区巡回

9.00～9.15　11区公民館
9.30～9.45　10区西村宅前
10.00～10.15　13区公民館
10.30～10.45　12区公民館
11.00～11.15　3区片岡一夫宅前
11.30～11.45　4区野中商店前
12.00～12.15　2区田中宅前
13.15～14.00　小鯖支所
14.15～14.30　7区宝迫商店前
14.45～15.00　6区町営住宅前
15.15～15.30　6区重宗健二宅前
15.45～16.00　9区鳴滝公民館

8月24日　大内地区巡回

9.00～9.15　川向山本商店前
9.30～9.45　下千坊重富宅前
10.00～10.15　問田清水商店前
10.30～10.45　問田河野三十宅前
11.00～11.15　小野宗安宅前
11.30～11.45　管内林商店前
13.00～13.30　大内町役場
13.45～14.00　上矢田来栖ミシン前
14.45～15.15　小鯖稔畑公民館
15.45～16.00　氷上高木宅前
16.15～16.30　御堀藤井製材所前

みんな揃つておいでください。

大内町広報

昭和37年 9月15日
第86号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

社会福祉事業へ寄付

前大内農業協同組合長山田仁八氏が、9月1日亡くなられました。亡父の供用にと長男武氏から金1万円を、町の社会福祉事業に寄付いただきました。ご趣旨にそって役立てます。紙上をかりてお礼申しあげます。

県民手帳の申込み

ことしも、県統計協会が「山口県民手帳」を発行します。ポケット型、特製ビニール表紙（名刺定期券入れ付）…240頁…定価は80円です。ご希望の方は10月15日までに部落長の方へ申込みください。

税　金

9月　なし
10月　町県民税第3期

町政の動き

心配した9月台風もこずに、ことしもどうやら豊作型、何んだか幸運続きのようだが、まだまだ安心は禁物です。ところで町議会は8月28日に開いて追加予算623万円を承認した。山口市との合併問題も、地区別に集会を開いて検討しています。農業構造改善事業が37年度実施にかわって、これの計画を立てるために大拍車、防府―山口間県道改修工事も急ピッチ。

町財政の再検討

第2回追加予算623万円

町道補修費230万円

8月28日の町議会では、623万円の追加更正予算が議決され、これで前回の分を合せて総額1億4千900万円となったわけです。追加の内訳について、このページの右下に解説いたしました。

そのほか主なことでは、町有財産（旧一貫野分校々舎1部）の処分、寄附採納（須子正治から米国産ランドレース仔豚2頭、見積価格30万円）についてなど、また委員会附託になっていた、請願および陳情の12件のうち8件の採択を決めました。

また町議会前に全員協議会を開いて、町財政の今後の見透しについて再検討をした。

わからぬ調査内容
問題点は将来の発展性

山口市との合併問題について、各地区毎に部落説明会を開いていましたが、これも一応終了したので、このことについて、町民一般の意向や意見を取りまとめるために8月30日大内地区、31日小鯖地区、9月1日仁保地区で、部落長と団体代表者の協議会を開き、その後における部落や団体の事情、意見などをきき、これからの対策について協議しました。その結果―問題が大きいだけに、一度やそこらの説明ではよくわからないということで、早急に決めることなく部落毎、団体毎に研究し、まづ町民に実情をしってもらうこと、これがため、これまでの調査説明事項についても、更に内容をほりさげ、町財政の今後の見透し、合併後における発展性、合併条件などの問題点を再検討することになった。町民のみなさんも、問題がむつかしいために解りにくい点も多々あることと思いますが、ただ解らぬままにムードをつくることなく、正しい判断のもとに、慎重に研究されることを願いたいものです。

実施計画に慎重

ことしの2月、大内町が農業構造改善事業の指定をうけてから、計画樹立に必要な本町の農業経営の分析を行ない、基本調査を完了したことはお知らせのとおりです

ところで、この事業は38年度実施に移る計画であったのが、諸般の事情によって37年度から実施することになり、各部落、農業団体などの意向をきいて、基幹作目を牛乳と鶏卵に限定し、その線にそって基本的な構想を取りまとめ、計画の概要を樹立して農林省とも協議をして来ました。

しかし、この事業そのものの企画が大きく、実施事業にも相当の制約があるために、実施地区はもとより、実施計画の樹立にあたっても慎重に検討しています。

追加予算の内容（単位 万円）

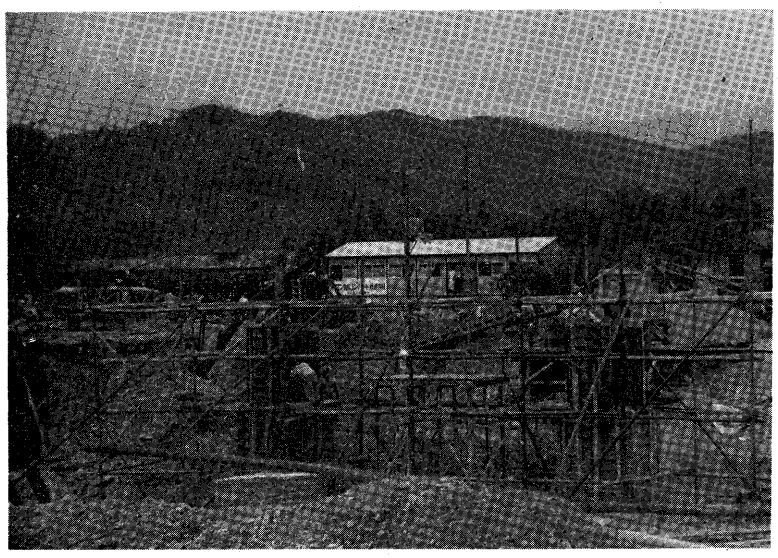
歳入では

- ▷町税……9
- ▷地方交付税……342
- ▷国庫支出金減……(50)
- ▷繰越金……129
- ▷雑収入……22
- ▷町　債……170

以上が財源のおもなもの

歳出では

- ▷役場費……136
  一般職員の夏季手当追加27，技術嘱託給24，臨時職員給その他43，諸費42
- ▷土木費……262
  道路維持修繕費230，　道路新設改良橋梁維持修繕費32　災害土木費80（工事請負の更正分）
- ▷教育費……149
  仁保小屋体改築工事追加分など
- ▷そのほか産業経済費20，社会労働施設費16，財産費7，選挙費5，諸出金23



▷ **御堀橋に着工** ◁　防府――山口間県道改修工事も山口国体をあと1年にひかえて急ピッチ。大内地区内の新設路も全線が通り盛土が進んでいる。仁保川を渡る御堀橋も橋脚工事がはじまり護岸では橋げたがつくられている。

国民年金

公的年金と併給

裁定申請手つづきについて

国民年金法の1部改正があり、公的年金と福祉年金が併給されることについての説明は、前号で詳しくお知らせしましたが、いよいよ10月1日からこれが裁定手続をすることになっています。これが手続きについて説明いたします。

併給調整による場合

福祉年金と公的年金（つまり恩給、年金、扶助料など）の支給される額の基準は、合せて2万4千円で、この場合は、公的年金証書と印鑑を要します。

戦争公務による場合

福祉年金と戦争公務に基くものの併給額の基準は、合せて7万円で、この場合は公的年金証書とこれの写し、戦争公務によるものであることの申立書、これの証明資料など添付書類と印鑑を要します

なお、ことし10月に、ベースアップされる公的年金については、その後の新証書を必要とします。

いづれの場合も、手続上めんどうなので、これに該当すると思われる方は、裁定申請について町役場町民課の方でおたずねください。

軍人恩給（戦時加算）
第2次請求は10月1日から

元軍人、軍属であった者が、戦時加算により軍人恩給が受給されることになっていますが、これが第2次請求業務（大正2年から大正6年までに生まれた者）を、10月1日からはじめます。該当者は軍歴の書類、またはこれに必要な資料を整え、いまから申立の準備をしてください。問い合せは町役場町民課または各支所へ。

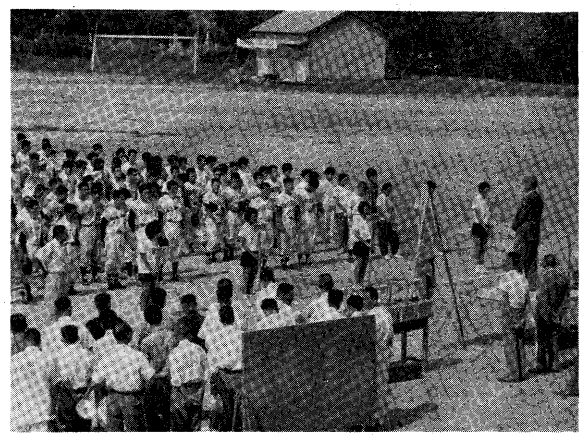
郡体育大会おわる

8月12日大内（球技）8月17日秋穂（陸上）

町の体協が誕生して2年目、しかし体育振興の歴史は古く一般町民の関心も高く、年々行なわれる行事の内容も進んできた。こととしはとくに、山口国体を明年にひかえ、そのムードを高めるために、夏季の各種大会もやがては国体につながるものとして、一環した統一と計画のもとに実施した去る8月12日・17日に大内町・秋穂町で開催された郡体も、県体予選をかねて実施され町からも多数の選手をおくり各選手とも最後まで奮斗しましたが、惜しくも小郡町に優勝をさらわれたものの町体育振興の真価を遺憾なく発揮したものといえます。優勝成績つぎのとおり

▽ 団体の部
卓球　一般女子チーム
庭球　一般男子チーム
剣道　一般チーム
相撲　一般チーム

▽ 個人（陸上）の部
砲丸投　河野　稔（大内）
三段跳　河野　稔（〃）
60米　池田裕子（小鯖）
100米　池田裕子（〃）
砲丸投　河村ときえ（〃）



（8月12日郡体（大内町）の開会式）

この結果、9月4日郡体協で県体出場選手の選考会があり、本町よりつぎのチーム、選手が郡代表として県体に出場することになりました。なお一層の奮斗を期待するとともにみなさんのご後援をとくにお願いしたいものです。

▽ 団体の部
卓球一般女子（会場・岩国）
長沼善子、和田東恵、佐々木公子
庭球一球男子（会場・下関）
内野監督外11名
剣道一般　（会場・蒜）
岩本監督外　5名
相撲一般　（会場・長門）
杉山勝己

▽ 個人の部
陸上、青年女子（会場・県設）
60・100米　池田裕子
砲丸投　河村ときえ

▽ 防衛庁では、**自衛官の第3次募集**をつぎの要領で実施しています。希望の方は多数応募ください。

1　応募資格。
18才～25才までの男子で中卒程度の学力ある者。

2　受付期間と場所。
9月1日～11月30日まで町役場、自衛隊山口地方連絡部。

3　採用予定時期
37年10月以降

▽ 第18回国体（山口国体）の**開会式に放鳩**を計画しています。県では、「山口国体鳩の会」を結成して、県下の鳩飼育状況を調べるとともに、飼育者に協賛をすすめています。町内鳩飼育者は飼育状況を町役場総務課の方へ連絡ください。なお児童、生徒の飼育者は別途学校へ。

▽ **農地の所有権を移転**したり、賃貸借や小作関係、農地の使用関係を結んだり、変更したりするときは、知事または農業委員会の許可がなければ、登記できないことになっています。農地の売買の場合、宅地に地目を変更して登記することが多いですが、これも知事の許可がいります。農地の移転は農委へ連絡ください。

▽ **調理師試験**が、つぎのとおり実施されますので多数ご応募ください。
日時　10月9日10時～16時
場所　山口県自治会館
課目　法規，衛生学，食品学，栄養学，調理論
願書　10月17日まで
なお詳しい問合は町民課へ

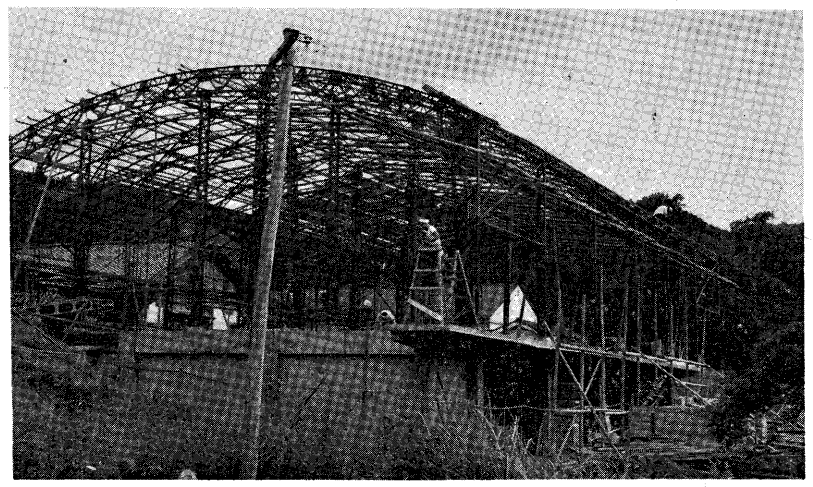
▽ 10月から「ユニセフミルク」の**無料配給**が行なわれます。対象者は**姙娠**4カ月から産後10カ月までの**姙産婦**です。ご希望の方は町役場また支所の方へ。

▽ **米寿を迎えた郵便貯金**　明治8年5月世界で第3番目に誕生した郵便貯金が、国民に親しまれ、愛されつづけて88年きました。現在貯金高は1兆4千億円、国民1人当りにして1万3千円になります。この金は大蔵省を通して、県や市町村に貸し出し、公共の施設建設に役立っています。郵便貯金のふえることは、みんなの繁栄を意味し、豊かな住みよい郷土をつくることにもなります。

▽ **水田のヒエ抜きは**、開花後15日以内に行なうのが適期です。ヒエの種の落ちるのを防ぎ、翌年の発生を少なくすることが大切です。こうした適期の抜き取りを3年ぐらいつづけると、ヒエの発生は大変少くなります。抜き取ったヒエは畦畔や河川に捨てないで、決めた場所で焼くことがまた大切なことです。

▽ **9月30日から電話料金**がかわります。これは市外通話が全国ダイヤル化されるためです。しかし交換手のつなぐ市外通話は、ばしめの3分までを基本通話料としこれを超える1分ごとに基本料金の⅓づつの料金がかかるというわけです。大内局、仁保局から各地への新料金はつぎのとおり

局名	時間と料金	3分まで 旧	3分まで 新	4分まで 旧	4分まで 新	5分まで 旧	5分まで 新
山口		10	9	20	12	20	15
仁保		10	9	20	12	20	15
防府		20	21	40	28	40	35
小郡	仁保より	25	21	〃 50	28	〃 50	35
	大内より	20		〃 40		〃 40	



▷仁保小屋体組立おわる◁

年内竣工とあって，ここ連日のように高野の丘に建設の槌音も高く響いている。近代的な工法「特許ダイヤモンドシエル」の偉観も1日と完成が近づいている。（8月27日写す）

忘れずに届出を（9月25日まで）

基本選挙人名簿を調整

来年1年間のいろいろ選挙に使用される、基本選挙人名簿を9月15日現在で調製します。来春は県議、町長、町議選と数多くの選挙が予定されていますが、この度調整する名簿は、来年中の選挙に使われる大切な名簿です。

毎年のことと思って面倒がらずに、必ず登録申請をしてください資格はあっても登録申請がなかったり、記載洩れになっていると、切角の投票もできない人が、これまでも案外多いので、つぎのこと承知のうえお忘れないように…

▽登録申請できる人

1 国籍　日本国民であること（帰化した人を含む）

2 年令　昭和17年21月21日以前に生まれた者（37年12月20日で満20才に達する者）昭和37年6月15日以前から引続いて大内町内に住んでいる者（37年9月15日現在で3カ月以上大内町内に住んでいる者）なお住所の認定は住民登録や配給台帳にこだわらず事実大内町内に住んでいることが要件です。

3 住所

4 その他

イ 出稼　家族を大内町内に残し単身で他市町村で働いている者（但し独身者は一概に判定できません）

ロ 患者　他の市町村の病院に入院中の者

ハ 学生　大内町内の下宿、寄宿舎で起居する者

▽登録申請できない人

前述の要件が整っていても、つぎの各項の1つに該当するはできません。

1 禁治産者

2 禁固以上の刑に処せられ、その執行が終るまでの者

3 選挙犯罪により、公民権の停止されている者

▽提出期日と場所

各部落長が取りまとめ9月25日までに仁保地区＝仁保支所　大内、小鯖地区＝町選管

なぜ国保は苦しいか
一向に減らない医療費

近年医療費は値上げされ、加えて病気や事故が多く、相当の人が医者にかかっています。これがため国保の保険給付費（保険から医者や皆さんに支払する費用）が多くなって、国保の運営が財政的に苦しいのが一般の現状です。町でも年々保険税を増額して好転の時機を待つとともに国に対しては補助金の増額を要求していますが。

しかし問題はそれだけで解決はできません。皆さん方お互に日常から病気にかからぬように、食生活や生活環境を改善し、いつも労働力を調整してゆくことが大切です。とかく農繁期になると、こうしたことが無視されて、粗食で無理に仕事をするといったことがありがちです。こんなことに気をつけて、もし病気になったならば、早期診断によって軽いうちになおすことがもっともよいことで、こうした平素の健康管理によって、医療費の削減を図ることがこれからの国保の運営を楽にする大きな力となるわけです。

つぎの表（第1～3表）は保険税と病類別の状況を調べたものです。36年度国保歳入は1千820万円（保険税720万円、繰入金260万円、国庫補助金840万円）で歳出は医療費1千450万円、事務費170万円、施設費150万円、諸費50万円です。これらを考えてみると、医療費を少なくすることがどれだけ大切であるかということがわかること思います。

もし現状がこのしも続けば、また保険税もあげなければならないわけです。町民こぞって健康で豊かな明るい生活をのぞみたいものです。

第1表　保険税と医療費との比較　（36年集計）

種別 ＼ 保険税階層	1,000円未満	2,000円	3,000円	4,000円	6,000円	10,000円	20,000円	30,000円	計
世帯数	149	579	424	379	492	180	26	4	2,233世帯
被保険者数	231	1,377	1,662	1,741	2,542	975	139	25	8,692人
受診件数	531	4,031	4,347	3,703	7,517	3,460	572	58	24,225件
受診率	2.3	2.9	2.6	2.1	3.0	3.6	4.1	2.3	2.7%
医療費（半額）	586	2,499	2,552	2,626	4,029	1,985	247	39	14,563千円
一人当り医療費	2,536	1,815	1,535	1,508	1,585	2,035	1,777	1,560	1,707円
一世帯当り	4,013	4,386	6,122	7,068	8,355	11,211	9,692	10,000	6,643円

第2表　種別罹病状況　（36年度集計）

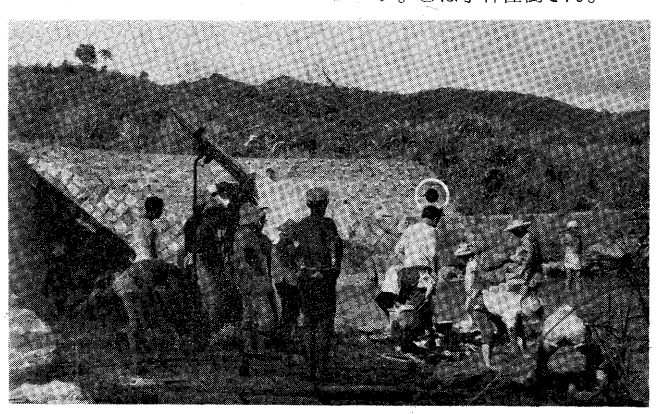
種類	咽喉疾患	歯科	胃腸病	皮膚病	風邪気管支炎	神経痛	高血圧	外傷	耳疾患	目疾患	関節炎	結核	その他
受診件数	3,838	3,589	2,764	2,377	2,079	1,395	1,365	1,207	872	827	736	636	6,303
比率	13.7	12.8	10.0	8.5	7.4	5.0	4.9	4.3	3.1	2.9	2.6	2.3	22.5

第3表　種別医療費の状況　（36年度集計）

種別	件数	日数	医療費	1件当り日数	1件当り医療費
		日	円	日	円
入院	605	8,266	8,282,037	13.7	13,843
入院外	20,063	65,368	16,455,005	3.3	820
歯科	3,512	13,118	4,319,957	3.7	1,229
療養費	41	—	169,535	—	4,135

↑ 8月18日大内町招魂社で盆踊大会を開きました。各地区から遺族，婦人会など多数の参加で盛大でした。

8月17日昼下り氷上河原に人だかり……松山善三監督の「ぶらり，ぶらぶら物語」のロケ。◉は小林桂樹さん。↓



エンバクとイタリアンライグラス
飼料作物の上手なつくり方

飼料作物こそ反収をきそうべきです。そのためにはまきどきを守り、適品種を選び、施肥を充分にすることが大切ですそこで秋まき飼料作物について、その播種と気をつけなければならないことをお知らせします。

1 エンバクについて

早まきエンバクは、適期が9月上旬ですからすでにまきおわりと思います。まだの方は1日も早くすることです。

早まきエンバクは10月～12月に取ることがねらいで、その期間に最高収量を上げるようにすることです。年内に収穫して、また来春再生を期待することは無理です。品種は入手しやすい前進、ビクトリーが良いでしょう。播種量は10a当り6kg。肥料は元肥に硫安30kg、過石30kg塩加10kg、堆肥、消石灰を追肥は10月頃硫安10kgを施します

年内に刈り取った跡地の利用を考えておくことは必要ですが、これにはイタリアンライグラスを10a当り3kgをエンバクと一緒にまいておくと、エンバクのあとで取れます。これと同じ方法でアカクローバーを10a当り1.5kgまいておくこともよいでしょう。

普通エンバクは埋草用または青刈用として、ぜひまいておかなければなりません。播種期は麦と同じで、早まきエンバクのあと地に春まきをしてもよいでしょう。

2、イタリアンライグラスについて

9月上旬に10a当り2kgをバラまきにする。元肥はエンバクと同じで、追肥は多めにし、10月中旬硫安20kg、塩加8kgすれば、年内にかなり収穫できなお3月と5月に刈り取りあとに必ず追肥をしておくことが大切です。また稲の立毛に中まきすることが出来ます。この場合は刈取り2週間前に10a当り3kgをまきます。アカクローバーを10a当り1.5kgをまぜてまくこともよいでしょう。水稲の中まきにする田は、排水が良く地力の高いところを選び稲を刈り取った後必ず、消石灰70kg、硫安10kg、熔燐30kg、塩加10kgを施こすことが大切です。（大内農業普及所）

大内町広報

昭和37年10月15日
第87号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

教育委員に 安藤哲夫氏再選

9月28日の定例町議会で、任期満了になった教育委員安藤哲夫氏（仁保井開田・医師・38才）を再選した。

どうぞご意見を

みなさんと広報をすこしでもよくするために、町政に対する建設的なご意見、明るい話題、ためになる話などみなさんのお気付きを遠慮なく、企画広報係まで。

税金

10月 町民税第3期
どうぞお忘れなく早目に納付ください。

36年度納税94％

いぜん減らない滞納760万

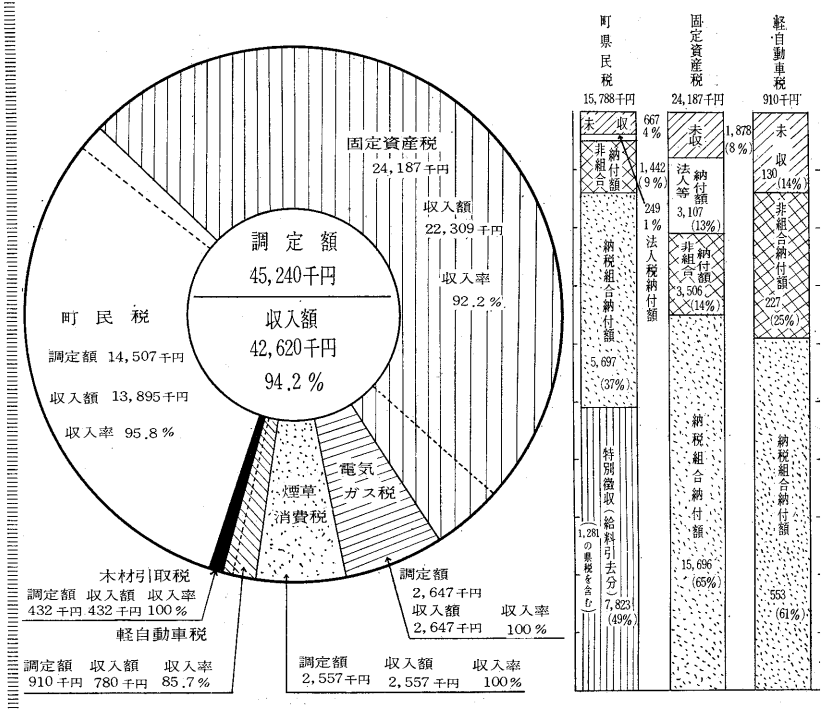
いつも思わぬ出資があって、なかなか税金には廻りかねるのが実情です。そこで、計画的に税金を積みたてていただく納税貯蓄組合が、完納するためには一番便利なやり方です。町は昭和36年度中に全町に納税組合結成を計画し、この方針をおしすすめて来ました。

そこで、昭和36年度の町税決算調べと税目別納付状況をあげてみました。

36年度における、町税納税者数は、2千600人（特徴の純勤労所得者200人を含む）で、このうち納税組合員数は1千780人、残りの530人が非組合員で、これは全体の20％にあたります。これらの人が納められる納税額が合計785万円、そのうちの260万円が36年度の滞納というわけです。このほかに約500万円の過年度滞納があるのであわせて760万円、これだけあれば道路をつけても橋をかけてもじゅうぶんの仕事が出来るわけ、それだけでも町の台所のやりくりもやりやすいということです。

ことしも豊作で、農家の収入もこの秋が最も多いと思いますが、町では近く滞納を一掃して、明るい町づくりを計画しています。どうか町民の方も、納めなければならない税金という考え方から、すすんで納税され、まだ納税組合の出来ていない部落には一日も早く納税組合を結成され、だれもが組合員となって計画納税のための貯蓄をはじめられるようお願いします。

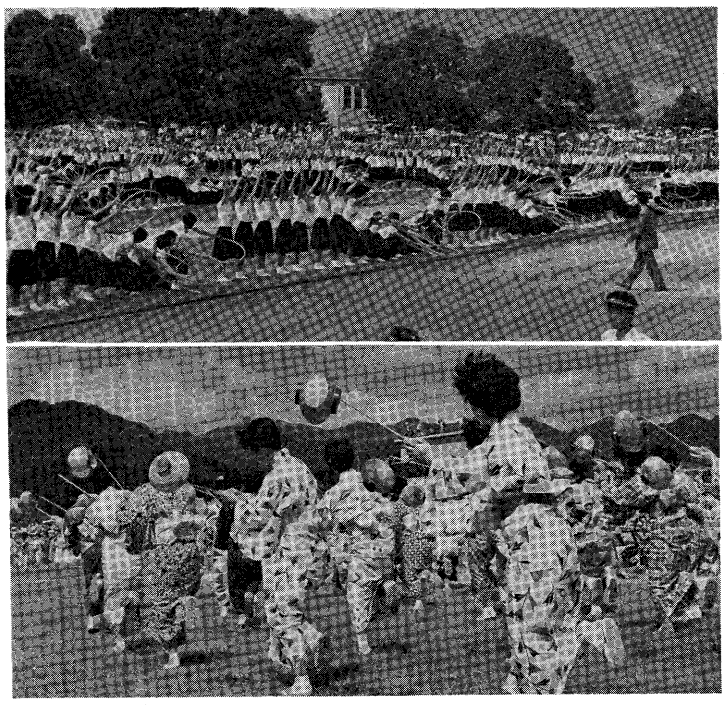
昭和36年度町税収納状況



昭和36年度町税決算調（現年度分）

お達者でいつまでも（老人の日） —大内会場—

ことしの敬老会は，9月15日（大内・小鯖）16日（仁保）各地区ごとに開催しました。婦人会・青年団・児童生徒もたくさん集って，心からお祝いをし，数々の余興で慰めました。なお，仁保地区では昼食の折詰めから，多数の食中毒患者を出しましたことは申し訳けないことで，あらためてお詫びいたします



㊤ 高女（線と円の造形）

㊦ 婦人（ちょうちん音頭）

秋空の下〝県体〟はれやかに

今年度秋季県体は〝国体形式〟で明年山口国体開催の県下市町村を会場に9月28日から盛大に行われた。主会場の県設競技場では、開会式で県体のすべてともいえる、3千300人の児童生徒の鼓笛隊パレード以下1万余人参加し、数々の公開演技を秋空の下に展開し、観客から惜しみない拍手を浴びた。

御堀に公営住宅建設　42年までに150戸

県住宅公社では，大内町御堀寺の奥(乗福寺の裏）に約11,000坪の敷地を造成し，住宅156戸（公営112戸，分譲44戸，建坪は何れも1戸当り18坪）の建設を計画し，42年までに完成する予定で，現在用地の買収をしています。

37年度分としては公営住宅5棟24戸の建設に近く着工するので，町では，これに通ずる道路（奥線）の退避場設置（延長150米）に着工し，10月末までには完成することにしている。

麦・ナタネの生産改善対策事業指定

大内町は、本年度麦・ナタネの生産改善パイロット地区として、仁保土井地区（麦・対象面積5町歩）小鯖上小鯖地区（麦・ナタネ対象面積10町歩）の指定をうけ、耕うん機、施肥播種機、刈り取り機、ナタネ脱粒機などの機械を国の補助（半額）で共同購入し、県の指導によって本格的な麦・ナタネの省力栽培を実施することになり、その成果が期待されています

公給領収証を 必ず受け取りましょう

県では10月1日から31日までの1カ月間を「公給領収証受領交付強調月間」と定めて、公給領収証制度の適正な運営を図る運動をおしすすめることになりました。

このため料理店・飲食店・カフエー・バー・旅館などを利用した場合には、必ず公給領収証を受け取ることを励行し、この運動に協力いたしましょう。

麦・ナタネの「平地まき」省力栽培は手順よく

動力耕うん機の導入により、これを使って省力をねらった麦、菜種の「平地まき栽培」が、町内でも各地で試みられてきました。その結果は、一般に雑草が多く、湿害気味で作況のよくないものがかなりありました。折角の省力をねらったやり方で、減収になってはどうにもなりません。省力と共に増収になることが望ましく、せめても減収にならないようにしたいものです。

そこで、省力をねらった「平地まき」をやる場合の留意しなければならぬことをあげてみましょう。

1、湿害を受けないようにする。
そのためには
イ、排水のよい圃場にやる。
ロ、排水のよい圃場でも排水溝の2～3本はつくる。

2、雑草に負けないようにする。
このためには
イ、は種するまでに雑草が繁茂しないようにする。これをふせぐ方法として、雑草の少ない圃場を選ぶこと、晩稲の跡地にやる。稲刈りの際に雑草が相当生えているときは、刈り取り後遠やかに10アール当り石灰窒素を1.5袋程度、朝つゆのあるうちにむらなくまくか、PCP水溶剤1.5kgを80立位の水に溶かして撒布し、草を枯らして置くこと。なお、石灰窒素を使った場合は、窒素肥料は使わないようにするロ、麦まき後に生える草を少なくする。この方法としては、は種後除草剤を上手に使うことが早道です。また耕うん機で中耕する方法もよいでしょう

以上のことを稲刈り時からよく考えて手順よくやって行けば、耕うん機使用による「平地まき」省力栽培もでき、収量においても増収が望めると思います。なおビール・大麦をこの栽培法でやる場合は、できすぎや肥料のおそぎきに注意し、倒伏しないようにすることが大事です。

（大内農業改良普及所）

▽ 今年度の体育行事の最後を飾る「**体育祭**」をつぎの日に、各地区毎に実施することになりました。各地区役員会では多彩な計画が練られています。みんな揃ってご参加ください。

実施予定日
11月3日 大内・小鯖地区
11月10日 仁保地区

▽ **保母さんとして**臨時に働きたい希望の方は役場の方へ登録してください。施設から申込みがあったときにあっせんします。くわしいことは町民課へお問い合せください。

▽ **3才児**（33年10月～34年9月生れ）の**健康診査**をつぎの日程で実施しますので該当者はもれなく受診ください。

大内地区 11月15日
小鯖地区 11月16日
仁保地区 11月27日

▽ 10月9日山口県**消防ポンプ操法競技大会**が山口市で開かれました。本町からは小鯖分団第3班（班長徳本正外4名）が参加し、基本操法可搬動力ポンプの部に出場し、出場班13のうち第4位でした。

▽ 第1回「**親と子の映画教室**」をつぎの日程で開設します。この映画を親と子が一緒になって鑑賞することによって、家庭における親子の関係を相互理解し、現在起りやすい青少年問題を自ら解決してゆく素材となり効果的なものです。多数ご参加ください。

10月25日夜仁保大富公民館
10月26日昼大内公民館
〃 〃 夜小鯖公民館
上映する映画
1、続6人姉妹
2、親の心と子のこころ

▽麦の種まきが近ずいてきました。麦作の第一歩は**種子の消毒**からということ、消毒には温湯消毒と薬剤消毒がありますが、これらは病害の種類で方法が違います。稈黒穂病は温湯消毒、斑葉病や腥黒穂病は薬剤消毒が必要です。

▽**戸締はしっかり念入りに**　秋は取り入れや、秋祭り・運動会・観光といったことから、外出時の留守をあてこむアキスや昼間の疲れをねらう忍びこみが、急にふえるのが毎年の例です。

▽**秋は結婚の季節**ですが、結婚には法律できめられた条件があります。
①結婚当事者が男は満18才女は満16才以上のこと。
②重婚でないこと。
③女の再婚は、離婚したり夫が死亡してから6カ月以上たたねばいけない。
④近親婚でないこと。
⑤未成年者は親の同意があること。

▽**子どもにはよい本を!!**　灯下読書に親しむよい気節ですが、近頃は子どもの好奇心をさそう不良雑誌が多くなり、青少年を刺激し、それらに起因する青少年の非行が増加しています。このような不良出版物を社会から締出し、子どもを守り、子どもを心身ともに健康に成長させるため、おとなたちからよい本を読むようにしむける義務があります。

▽わたしたちが使っている文房具や電気器具などに「JIS」（日本工業標準規格）のマークのあるのはご存じでしょうが、これと同じように「**JAS**」のマークがあります。これは日本農林物資規格の表示で、一口にいって安心して買える品物をあらわすものです。

11月30日……30年忌
郷土作家 嘉村礒多を偲ぶ

ことしは、大内町が生んだ作家嘉村礒多の30年忌にあたります。礒多は、昭和のはじめのマルクス主義文学運動の全盛期に、マルクス主義文学か新感覚派の流れをくむ文学流派でなければ、ほとんど文壇に出る機会があたえられなかった時代に、業苦と悔恨にみちた文学で登場し、既成文学の伝統を支えた唯一無二の作家であって、すでに文学史上ゆるぎない地位を確保しています。

極北作家と呼ばれ、ドストエフスキー的な近代自我の認識者とほめられた礒多を、作家広津和郎氏からは「大トルストイのそばにおいてもその光は消えない」とまで彼の文学を高く評価しています。

礒多の文学碑は、昭和32年彼の作品「故郷に帰りゆくこころ」「再び故郷に帰りゆくこころ」でちなみの深い、山口市宮野常栄寺に建てられています。故里仁保坂本川の清流に洗われた鏡石には、安部能成先生の筆で〝嘉村礒多文学碑〟の文字が刻まれ、河上徹太郎先生の「優れた凝視」から「抒情豊かな傑作を生んだ」とたたえた文が銅板にして入れてあります。

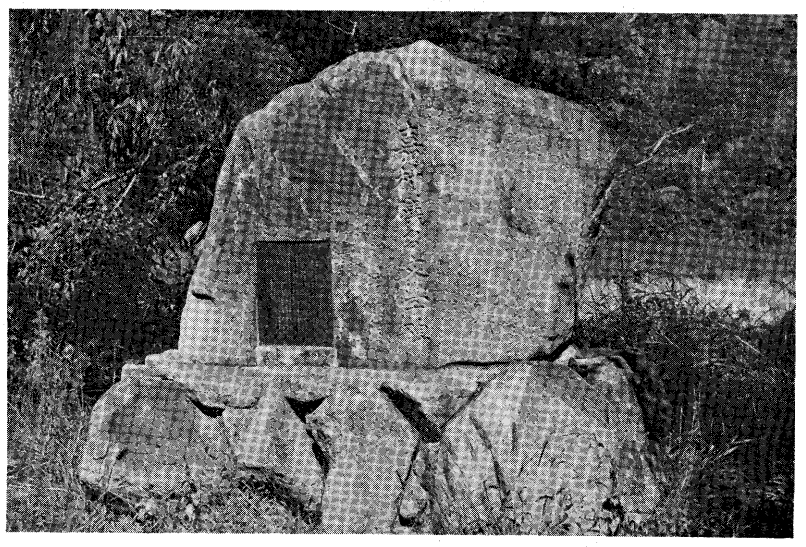
この礒多の命日である11月30日を中心として、30年忌記念事業が礒多文学顕彰会によって計画つぎのとおり実施されることになりました多数ご参加ください。

1、嘉村礒多追悼展覧会
11月26日から12月2日まで県立博物館で開催され、展示品は遺品・遺墨・著書・写真などの研究資料。

2、嘉村礒多をしのぶ会
11月28日午後1時30分から山口市の真証寺で、礒多の旧友・知己・文学愛好者などが集って開催する。

3、30年忌大法要
11月30日午前11時から、文学碑のある宮野常栄寺で営む。

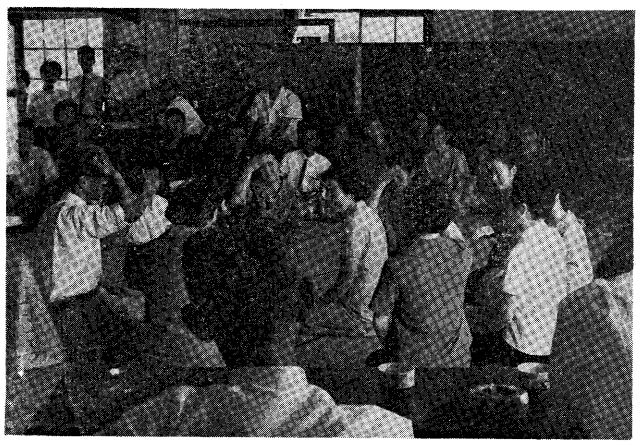
なおご参加の方は町教委までご連絡下さい。



児童健全育成は子ども会から

児童を健全に育てるには，まづ「子ども会の育成から」ということで，９月19日町内の民生児童委員・子ども会育成会の代表など，約60名が研修館に集り，小野田市の末田先生を招いて講習会を開きました。

（写真はレクリエーションの実習，お母さん方も熱演です。）



もう一度 基本選挙人名簿を確かめ下さい

9月15日現在で調整した、基本選挙人名簿をつぎの要領で一般有権者の縦覧に供します。来春は数多くの選挙が予定されていますので、この際もう一度みんなで確かめてください。

もし脱漏や誤載があったら文書で選管へ申立てください。

縦覧期間　11月5日～19日まで
〃〃場所　町役場受付および各支所
〃〃時間　毎日8時30分～17時まで

異議申立　右の期間に同じ。

すこやかに…お元気で
優良児7 健康家庭22
10月2日と22日に表彰

全町民が健康を楽しめるようにと、国保では保健医学をもっと徹底するよう計画している。家族計画の普及はもちろん、乳幼児の検診・妊婦検診・幼児教育のための若妻学級などを各地区ごとに開設して、毎月これの実施と指導に当っています。しかし町民全般の健康管理は前号でも述べたとおりまだまだといったところで、これから一層の努力を願いたいものです。

ことしも9月20日（大内）9月25日（仁保）9月26日（小鯖）の各地区ごとに乳児検診を行ないました（対象は昨年6月1日から本年5月末までに出生したもの）この検診で選ばれた17名の乳児を10月2日町に集めて診査した結果、ことしの優秀児としてつぎ7名が表彰された。

大内地区　亀永文子（御堀西）
溝部稔子（上矢田）
小鯖地区　西村礼子（7区）
吉村志津子（6区）

仁保地区　石川達也（井東）
堀田学児（野上）
未熟児努力賞内田　晃（金坪）

健康優良家庭を表彰

家族のみなさんが健康で、一度もお医者さんにかかられたことがなく、しかも保険税は毎年完納されている「健康優良家庭」を10月22日に表彰することになりましたが、表彰家庭に対して心からおよろこび申しあげます。

町民のみなさんも、このうえともに健康に留意して、明るい町づくりにはげみましょう。

表彰家庭はつぎのとおり

▽仁保地区
松田フミノ　7年　仁保市
西　真一　〃　両浴
三好　イト　5年　高松
久保チョウ　4年　〃
末永　初枝　〃　両浴
吉岡　栄熊　3年　一ノ野
篠原　秀子　〃　北河内
広中　由雄　2年　大畠
山本　辰熊　〃　一ノ瀬
川村万千男　〃　〃
柴崎　博　〃　深野
正岡　良子　〃　〃

▽大内地区
倉住　英一　6年　殿河内
林　世佐子　5年　氷上下
増野　隆　4年　問田
徳永　本介　3年　川向
松本　亀治　〃　氷上上
中原　福一　〃　上手坊
白銀　重雄　2年　小野
野村シズ子　〃　上矢田

▽小鯖地区
木村　義海　3年　12区
有富　彦一　2年　8区

以上

秋季狂犬病予防注射日程

10月24日（仁保地区）

9.00	～ 9.30	仁保農協下郷支部横
10.00	～ 10.30	丸山停留所前
11.00	～ 11.30	仁保市橋横
12.30	～ 13.30	仁保支所
14.00	～ 14.30	北河内坂井商店前
15.00	～ 15.30	仁保農協上郷支部横

10月25日（小鯖地区）

9.30	～ 10.00	稔畑公民館
10.50	～ 11.50	3区片岡一夫宅横
13.00	～ 14.00	小鯖支所
14.30	～ 15.00	7区公民館
15.30	～ 16.00	1区公民館

10月26日（大内地区）

9.30	～ 10.15	小野公民館
10.40	～ 11.40	長野公民館
13.00	～ 14.30	町役場
15.00	～ 16.00	御堀公民館

△当日は不用犬の買上もいたしますので連れて来て下さい。

伸びる青年活動
楽しむ放送劇グループ

近頃の青年活動にはいろいろの問題点がある。そのすべてが現実の中に立って、青年の立場や役割りを真剣に考えていないからで、この点今一度反省しなければならないとおもう。こうした問題の多い青年活動の中で、新らしい方向を見出し、地域社会に生きた活動をしているグループを紹介しましょう。

仁保青年学級放送劇グループがそれである。このグループの発足はことしの4月、ちょうど青年団運営が行きつまってから1年目のことであった。青年がいて青年活動がないことは青年の自主性のないことを意味するものである。何んとかして青年の思想を広く社会に訴え、青年自ら社会に対する役割の重大さを深く反省し、多様な青年の生活環境の中で出来得る範囲のものを実現したいと、同志相集い幾度か話し合って生まれたものである。

青年学級の学習活動から発展したこのグループは、青年の自主性を高める1つの方法として取り組んだ放送劇が、今では有線放送の番組の中で大きな役割を果すまでに成長している。

しかしグループの悩みは果てない、生活環境の異った中でまとまった練習（特に本番前）の出来にくいことやこうした青年活動に対する家庭の理解がなかったことなどがあったが、現実に有線放送でわが子、隣りの青年たちの声を聞いたとき、スピーカーを通して熱演する劇の中で、青年は何かを聞かされたとき、家庭も社会も青年活動の効果を認めたわけで、いまでは放送時間を待つようになってきた。これは放送という現実をもって対決した演劇という特殊性による共同学習の成果といえましょう。

リーダー格の末永君は〝これからは更に内容の充実を図り、現実の生活課題と取り組んでこの面からの町づくりに努力したい〟とグループの抱負を話しています。

（写真は本番前の練習をするグループ員たち）

大内町広報

昭和37年11月17日
第88号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

交通安全無事故月間

11月1日から30日までの1カ月間を交通安全無事故月間として、秋季交通安全運動で盛り上がった町民の交通安全意欲を、さらに向上させるとともに事故防止につとめることになっています。交通規則の遵守、安全運転、正しい歩行、路上遊戯の禁止などに注意し事故防止に万全を期しましょう。

忘れずに申請書を

町選管では、12月1日現在で新らしい農業委員選挙人名簿を調整します。昭和18年3月6日までに出生した方でつぎに該当する方は申請して下さい。

①1反歩以上農地耕作の経営者
②①と同居す配偶者および親族
③年間60日以上耕作に従事するもの

税金

11月　町税なし
所得税第二期

山口市 大内町 合併決議案を提出

◇11月末の町議会へ◇

合併問題もいよいよ終着点に達し、11月末予定の町議会に提案される運びになった。計画立案中の農業構造改善事業も、基本計画が本決りとなり、明年早々から着手する段取りになり、町予算も追加され1億6千万円に達しました。

町政の動き

合併は来年5月1日か

山口市との合併問題についてはその後も地区協議会・部落懇談会などを開いて十分検討してきました。また従来から問題となっている町財政の今後の見通し、合併後における発展性・合併の場合の条件、特別林野として町有林の取り扱いなどについては、10月6日3地区の代表者協議会を開いて、意見交換を行ない、これからの対策についても話し合いました。

7月にこの問題を町民のみなさんに話しかけてから、いろいろと検討を加えてきましたが、時なかばにして農繁期にさしかかり、部落集会など開催に困難もあったが町民にとってはこれ程大きな問題はない。ただ調査事項の説明を理解するだけでなく、綜合的な見地から比較検討して、これからを判断するむつかしい問題のために、十分審議された結果は、各地区とも「ほぼ賛成、または大勢止むを得まい」という諒解点に達したわけです。

11月13日このことについて特別委員会を開いて、各地区の情勢報告の後、町民大方の意志によって合併促進を再確認し、残された諸問題については山口市側と更に交渉をもち、成案されたものを3地区の部落長、各種団体代表者の集会において概況報告を行ない、来る11月末に予定の町議会に「合併決議案」として提出することになりました。

追加予算1千261万円 財産処分も決まる

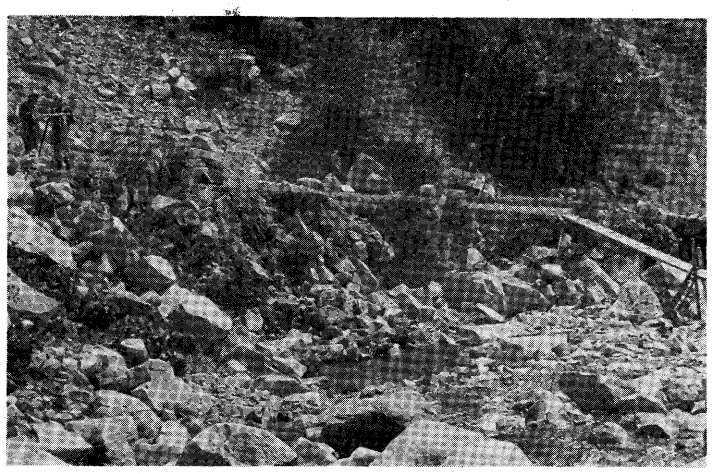
11月7日の町議会では、1千261万円の追加更正予算が議決され、これまでの分を合わせて、総額1億6千180万円になりました。追加予算の内訳は下方に解説します。

そのほか主なことでは、農業構造改善事業推進協議会条例、農業近代化資金助成審査会条例などの設定、町有財産（旧東円小学校に関する土地および建物、小鯖診療所に関する土地・建物、下千坊に所有する宅地、元大内・仁保・小鯖の隔離病舎に関する土地・建物）の処分、負担付の寄附を受けること、国保の予算更正（89万円）など、また委員会附託の請願および陳情など5件の採択を決めました。

また町議会前に開かれた全員協議会では、本年度実施になった農業構造改善事業計画について検討しました。

追加予算の内容（単位万円）

歳入	1,261
▷町税	590
▷地方交付税	114
▷公営企業および財産収入	285
▷国庫支出金	59
▷県支出金	103
▷寄附金	104
▷そのほか	6
歳出	1,261
▷議会費	51
▷役場費 職員手当そのほか	112
▷消防費	53
▷土木費 道路橋梁費，県営建設事業地元負担金など	462
▷教育費 教育委員会費，小学校費など	95
▷産業経済費 麦，なたね生産改善費，農業構造改善	256
▷公債費	100
▷そのほか社会および労働施設費，諸支出金	132



写真は7月災害の鳴桧滝畑線

災害復旧（土木）査定おわる

決定額541万円申請の129％

ことし7月13日の豪雨によって被害を受けた，土木関係の災害復旧工事の査定は，11月1・2日両日で終りました。

◦…査定とは，町の施設課で設計したものが，適切に計算されているか，国の指示する基準にあっているかどうかなどを，建設省の係官が検査するもので，この検査に合格すれば，国からの補助もつき，工事にとりかかれるわけです。

× × ×

この査定を通過したものが8件あります。決定した金額は，541万円で，河川3，道路4，橋梁1です。

河川では，桧畑川，鳴滝川――以上小鯖，並山川――仁保，道路では，松ケ谷線，籔ケ尻線，叶木1号線，鳴滝桧畑線――以上小鯖，橋梁は，金子山橋――小鯖となっています。さいわいことしは災害もすくなくすんだので，これから財源に余裕があれば，道路や橋梁の補修整備にあてることになるでしょう。このたびの査定をとおったものは，12月に入って着工することになり，過年度災害も1部を残してはほとんど復旧した。これからは災害のないよい町にしたいものです。

農業構造改善事業 基本計画本決り

事業実施は明年1月から

基本的な考え方

大内町における農業の実態は終戦後、基盤整備と農業技術の進歩によって、可成りの成長を見ており所得も増加してきました。しかし他産業に比較すると、その格差は年々開いてゆきます。

この根本原因は、経営規模の狭小、資本力の貧困、経営技術の未熟などによるものと考えられますが、この不利な条件を更に深刻化するものは、他産業の急速な発展によって、農業従事者の減少を来たすとともに、老令化、婦女子化を促進させ、ますます格差を大きくしています。

そこで、農業従事者の所得を他産業従事者の所得水準に近づかせるためには、従来の家族的小規模雑多経営形態から脱皮して、土地条件、市場条件に適合し、なお将来成長すると思われる作目に対し集中的な拡大の方向すなわち主産地形成を打ち出し、生産を拡大し所得の増加を図るものです。

計画の構想

本町の農業は米麦を主体とした耕種農業であるが、1戸平均水田0.81*ha*、畑0.06*ha*の小規模の零細経営で、副業として畜産・そ菜・果樹を取り入れるかまたは、山林収入により経営を維持しているために経営内容が零細複雑化している。そこで、経営拡大の方向としての作目を取り上げることにした。

地域における酪農主産地形成の目標

区分	飼養農家数	飼養頭数	牛乳販売量
現況 昭37・7・1	207戸	473頭	年間 800 *t*
目標	300戸	1,623頭	〃 4,500 *t*

牛乳についての主産地形成の構想

米を主幹とした副業的酪農から主畜経営の形態が見られるようになった。この経営形態をたどる農家は耕地が比較的大きく、経営主が経営者であり革新技術の修得も容易である。これらの経営者を主体とした地帯を主産地形成の重点地区とし、経営の拡大を図る。この地区の兼業農家については、裏作利用の提供者として、主畜農家の飼料基盤確立に協力する。

以上のことから企業的酪農発展の可能性が強く見出され、5～10頭の飼養規模で、1頭当り乳量を500㎏、1戸当り年間25～40 *t* として、米を含めて農家所得を69～100万円を目標とする。

鶏卵についての主産地形成の構想

養鶏については、大規模養鶏発展への革新技術の導入を必要とする。町内でも近年養鶏主産地の形態を確立しつつあって大羽数化、集団化、協業化の方向をとっている。

養鶏農家が構造改善の過程において、単純化の方向にすすみ、団地的に大規模企業養鶏農業とするものである。営農目標としては、1人当り、2千羽とし（産卵率67％）1羽当り200円の所得で、年間40万円を目標とする。

地域における養鶏主産地形成の目標

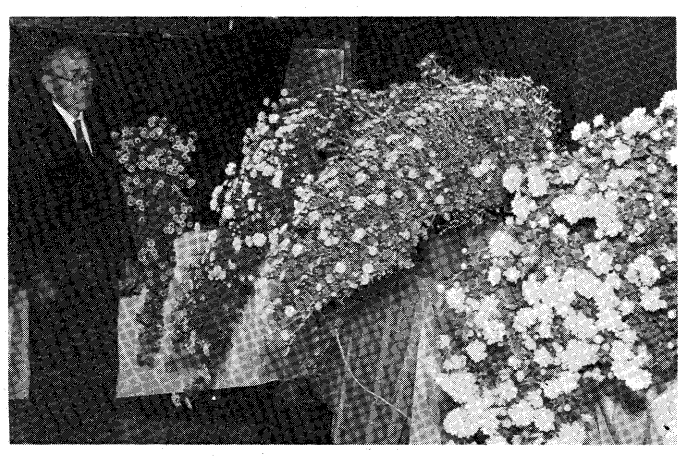
区分	飼養農家数	飼養羽数	鶏卵販売量	備考
現在（昭37.7.1）	1,143戸	35,000羽	280 *t*	少数飼養家を含む現況100羽以下102戸
目標	200戸	120,000羽	1,080 *t*	多羽数飼養家のみ

以下次号で

丸山公民館で菊花展

11月5・6・7日の3日間仁保丸山公民館で，菊花展を開きました。これには町内愛好者が平素から丹精こめて育てられた大輪，けんがい，木つけなど100余点の出品があり，何れもおとらぬ立派なものばかりでしたが審査の結果つぎの方が受賞されました。（成績は綜合得点優秀なもの）

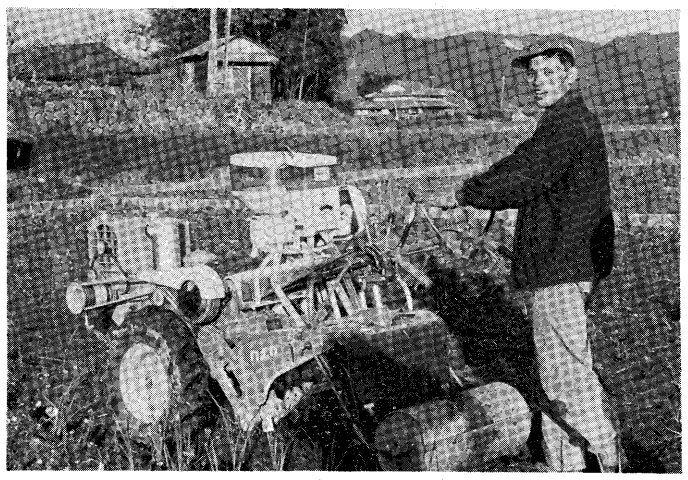
山口県国体実行委員長杯　大田ナツ子・山口県教育委員会楯　松原ツル子



▽農家の台所は、一家の健康を引き受ける主婦の大事な仕事場です。にもかかわらず**台所の照明**については改善されていません。とかく朝早く、夜も遅い農家では、とくに台所の照明が大切です。電球1灯ではうまくゆきません。そこで30ワット螢光灯で台所全般を照らすものと、20ワット程度の流し台や調理台上を照らすものを適当な位置に備えつけましょう。

▽**秋→冬→春は火災のシーズンです。**ことし1月から8月までに、県下ですでに560件の火災が発生し、1億9千500万円の財産が灰になっています。毎年秋から冬にかけて火災の多い季節です。火事の起る原因は、たばこ、焚火などが多く取り扱の不注意からです。また火遊び、放火によるものが目立って来ました。火気の点検、取り扱いには注意して、火災予防に心掛けましょう。

▽**乳幼児期に必要な歯の栄養**、乳歯は母の体内にある胎児のときからつくられ、永久歯はおもに幼児のときにつくられるものです。歯を丈夫にする成分はカルシュームです。抵抗力の強い歯をつくるために、**妊娠**中の婦人も授乳中のお母さん方、永久歯がつくられる時期にある幼児にも、カルシュームを多く含んだ小魚類牛乳、チーズ、バター、卵新鮮な野菜、果物などを十分食べるようにしましょう



麦，ナタネの生産改善パイロット地区（仁保土井。小鯖上小鯖）では耕うん機，施肥播種機を使って，本格的な省力栽培平地まきを実施しています。耕うん機に取り付けた施肥播種機は，耕やした後に2条の施肥と播種を同時に行ない覆土したものを最後にローラーが鎮圧してゆくという1石2鳥以上の省力的なものです。（**写真は作業実施，仁保地区**）

作付初期が大事な ビール麦の肥培管理

ここ1・2年に、ビール麦の増産が奨励されてきました。それは需要が増加したことと所得増大であるという2つの面からです。需要が多くなったといっても、価格がそれほどよいとはいえません。また商品作物ですから、品質のよいものが望まれるわけです。

そこで、ビール麦の栽培にあたっては、増収をはかること、やすくあがるように作ること、品質のよいものを作ることを目標にしなければなりません。このような観点から、初期の管理が一番大切になりますので主なことをあげてみましょう。

① 根をしっかりはらせるにはイ 排水をよくする

しないようにする。

ハ 徒長気味の場合は鎮圧をする。

3、雑草を防除するには、

イ 除草剤を上手に使う。発芽までに使用できなかった場合は麦の葉が2・3枚になった頃に、中耕、土入などを一度行なってから使用する。

ロ 中耕は早目にする。

除草剤を使わない場合は、早目に中耕する、テイラーや耕うん機で行なうのがよい。

ニ 除草剤を使った圃場は2月末頃までは、土をいらわないで作業をした方がよい。しかし除草効果が不十分の場合は1月中頃から中耕を行なう。

こうした点に気をつけて、栽培管理すれば省力で、良い品質の麦が増産されることになります。

（大内農業改良普及所）

国体派遣選手祝賀会

～11月10日大内中で～

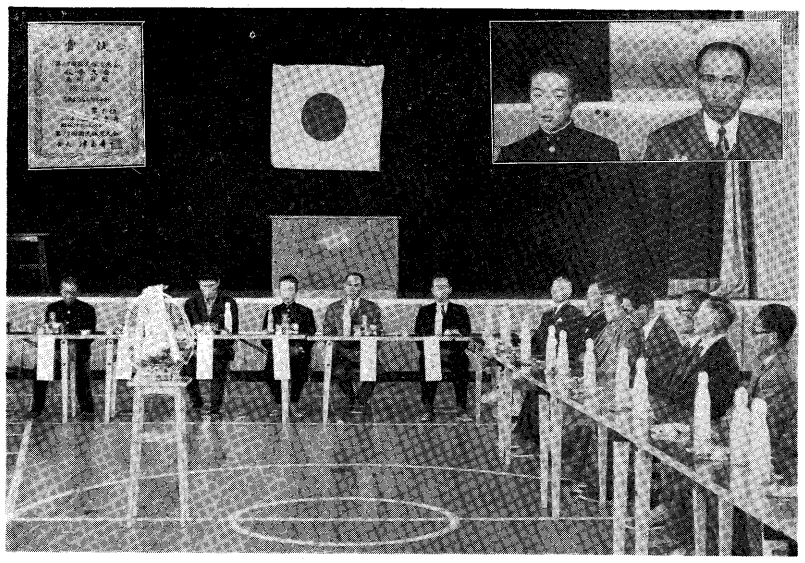
過ぐる10月21日より岡山県下で開催された、第17回国民体育大会に山口県選手団として派遣された本町出身選手を迎え、11月10日午後1時30分から大内中体育館において祝賀会を開催しました。

この会には、町内一般からも多数の参加を得て、派遣選手の労をねぎらい、選手からは競技の模様や岡山国体の情況をききました。

郷土の名誉を荷い秋空の下、吉備の野に大活躍した選手の奮斗こそ、町民挙げて賞讃すべきです。わけても高校馬術に出場の山根良彦君は、高校生貸与馬競技障害飛越において堂々優勝の栄冠をかち得ました。これは平素の練成と不屈の精神による勝利だと思います将来一層の奮斗を祈ります。

大内町出身派遣選手はつぎのとおり（敬称略）

岡村秀男	大内	馬術監督
山根良彦	小鯖	高校馬術
河野　稔	大内	陸上砲丸
板野愛人	小鯖	ライフル射撃
溝部　眸	大内	高校野球
末永哲義	仁保	高校山岳
松永耕二	小鯖	高校サッカー



写真は祝賀会
（左上・馬術に活躍の岡村秀男監督と山根良彦君）
（右上・山根良彦君のもらった賞状（第1位））

禅昌寺山、東山など 禁猟区になりました

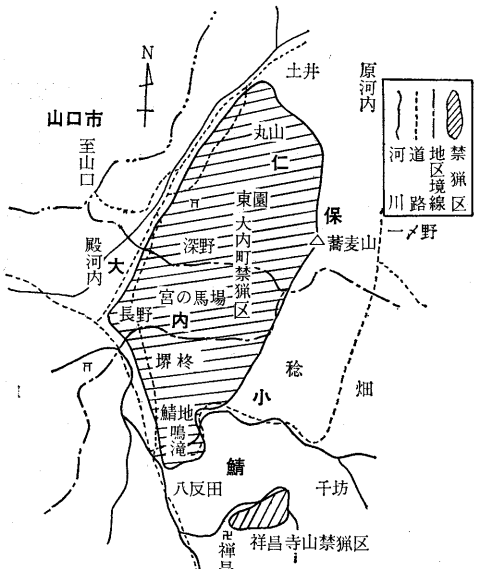
11月1日から狩猟が解禁になっていますが、野生鳥獣は年とともにへってきています。なかでも「きじ」などはほとんど絶滅の状態で、これら野生鳥類の大部は、農林作物の害虫を捕食して、これの駆除に役立っています。

そこでこれらの鳥類に対し安住の場所を与え、保護繁殖をはかるとともにあわせて農林作物の増産をはかるために、ことしからつぎのとおり大内町内に2カ所の禁猟区（**要図参照**）が設定されました。

猟友会の方はもとより、一般の方々も禁猟区内での狩猟は一切しないようにいたしましょう。

大内町禁猟区	
禅昌寺山禁猟区	自37年11月1日 至4011年11月31日
	自4737年1011月1日 至4011年11月31日

なお、これまで禁猟区であった長谷地区は、自然解除になります。



健康生活は栄養から

食生活改善と料理コンクール

去る10月16日小郡町公民館で、食生活改善発表大会および「スキムミルク」料理コンクールが開催され、大内町からもつぎの方々が参加されて体験発表や料理コンクールに熱演されました

私たちは、人体の原動力ともなる食生活に平素から工夫と研究を重ね、健康の増進に努力しましょう。

◎体験発表
緑黄野菜の計画栽培とその摂取について
上鯖山四葉グループ杉山善子

◎料理コンクール
主食部門 仁保 土井金子泰子
副食部門 仁保 井東溝部栄子
おやつ 仁保 野上末永文子
なお、料理コンクールで1位の金子泰子さん、末永文子さんは、県大会に出場されることになっています。

（×印は料理中の金子泰子さん）

第1回吉敷郡

社会教育振興大会

12月9日大内小で

12月9日大内小学校および大内公民館を会場に、吉敷郡社会教育振興大会が開かれます。この大会は吉敷郡教育研究会と吉佐教育事務所の主催するもので、従来は教育祭として毎年開いたものを、学校、社会合同研究会を更に前進させ、本年より各部門別に会を開き変りゆく社会情勢の中で、教育文化の振興と生活改善のため、現実の課題をもってこれを今後どのように発展さすかを研究する大会です。

ついては、この大会をよりよい盛大な意義あるものにしたいと思い、暮しの工夫展を同時に開催しますので、町内のみなさん方平素から日常生活の中で（衣・食・住・生産など）生活全般で少しでも工夫され研究された資料がありましたら出品下さるようお願いします。このことについては、公民館婦人会に連絡ください。

大会内容はつぎのとおりです。

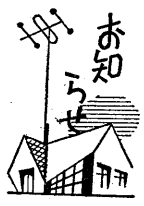
午前の部
1 開会式（功労者表彰）
2 実践活動事例発表（各町代表）
3 全体討議（テーマは青少年問題と健民運動の推進）

午後の部
1 レクリェーション交歓会
2 暮しの工夫展（9時～15時）

どうぞ多数参加下さい。

▽**近郊秋季武道大会**が11月25日小郡小学校で開催されます。参加希望者は20日までに公民館へ申込のこと。なお当日は昇段審査も実施されます。多数ご参加下さい。

▽**検察審査員は**国民の声を検察の面に反映させ、国民のためによりよい検察事務が行なわれるようにする重大な任務をもつもので、検察官のお目付役です。不起訴処分などで不審な点は検察審査会にお尋ね下さい。



▽**自衛官を募集**しています応募資格は入隊する月の1日現在で18才以上25才未満受付は町役場または、自衛隊地方連絡部、志願手続は志願票に必要事項記入のうえ提出する。給与は本給のほか諸手当を支給、くわしいことは町役場か自衛隊地方連絡部へ問い合わせください。

▽**作付状況申告書**と農業における副業実態調査表を、部落総務部長を通じて農家に配布しています。これは昭和38年度の町県民税課税の基礎資料となるものですから、記載上の注意事項をよくみて正確に記入し、11月30日までに提出下さい。

大内町広報

昭和37年12月13日
第89号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

共同募金ありがとう

町民のみなさんの深い理解と協力によって、ことしの共同募金は目標額15万5千円を完遂しました。このうち7万2千円が町の社会福祉事業資金として還元されました。

温かいみなさん方の心づくしに感謝いたします。

さようなら37年

ことしも、もうすぐ終ろうとしています。1年のたつのはほんとに早いものです。町政のうえでも、山口市との合併も決まり、残された諸問題と昭和38年は取組まねばなりません。いろいろとご協力いただき本当にありがとうございました。

税　金

12月固定資産税第三期分25日までに納付ください

町長のことば
大都市への足がかり
山口市 大内町 合併を議決
発　足　は　来年5月1日

山口市との合併問題については、今夏以来町民のみなさん方とご相談を重ねてきましたが、この問題では、いろいろのご意見もあり、ご不満の点もありました。しかし、今回山口市と合併することが将来の大内町域の発展する好機と判断いたしまして去る12月3日の臨時町議会に、合併議案を提出いたしましたところ、別稿のとおり満場一致をもって可決いたしました。町民のみなさん方のご理解に感謝いたしますとともに、今後のご協力を更にお願いいたします。

写真は12月3日の臨時町議会において
合併議案の提案理由を説明する須子町長

12月3日の臨時町議会に、山口市との合併議案が討議された。町長が「大内町と山口市は地理的、歴史的にも合併すべきで、合併により近代化促進を計るべきだ」と提案理由説明ののち討論、中野（大内）山根（仁保）藤本（小鯖）各議員の合併賛成の意見が述べられ採決に入り、総員賛成し、ここに永年の懸案であった合併が議決された時に10時45分であった。

この後引き続き、みのり幼稚園の寄附採納、町立仁保幼稚園の設置、大内町職員定数条例の一部改正、予算外義務負担などの提出議案を決めた。

では合併協定事項と合併協定に関する覚書をお報らせします。

合併協定事項

1　市名について
山口市とする。

2　合併区域について
山口市と大内町の区域全部とする。

3　合併の形式について
編入合併とする。（大内町を山口市に編入）

4　合併の時期について
昭和38年5月1日とする。

5　市役所及び出張所の位置について
市役所は現山口市役所の位置とし、出張所は山口市に既設のもののほか、大内出張所、仁保出張所及び小鯖出張所を、それぞれ現大内町役場、同仁保支所及び小鯖支所の位置に設置する

6　市議会議員の選挙区及び定数について
昭和38年5月1日在職する山口市議会議員の任期満了の日までまたはその任期の満了すべき日前に市議会議員がすべてなくなったときは、議員がすべてなくなった日まで、現大内町の区域を以って新たに選挙区を設け該当選挙区の定数を6人とする

7　農業委員会の委員の定数、任期及び選出の方法並びに委員会の運営について
農業委員会等に関する法律第3条第2項及び第34条第1項の規定を適用して、現山口市の区域に山口市農業委員会を、現大内町の区域に山口市大内地区農業委員会を置くものとし、合併後最初に行なわれる山口市農業委員会の委員の任期満了による一般選挙の時期に同法第3条第4項の規定を選用して、山口市大内地区農業委員会を廃止し、その区域を山口市農業委員会の区域に含ませ、選挙による委員は、その区域をもって新たに選挙区を設け、他の選挙区と均衡を失しないよう定数を定める。

8　財産、営造物、権利、義務の帰属処分について
大内町の財産、営造物、権利及び義務はすべて山口市と帰属するものとする。

9　町有林野の取扱いについて
町有林野はすべて山口市有林野条例（昭和28年山口市条例第23号）第2条の特別林野とし、大内・仁保及び小鯖の各地区にそれぞれ旧村の持分をもって特別林野区を設定する。
この特別林野は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第294条の財産区制度の存続する限り廃止しない。

10　職員の取扱いについて
大内町の職員は、全員山口市に引き継ぐものとし、勤続年数も通算する。

11　職員の定数について
山口市の定数に大内町から引き継いだ職員の合算数をもって新定数とする。

12　職員の給与について
大内町から引き継いだ職員は山口市の給与に関する条例その他関係諸規定により処理するものとする。

13　消防団の組織及び団員の取扱いについて
大内・仁保及び小鯖の各地区にそれぞれ山口市消防団大内分団、同仁保分団及び小鯖分団を設置し、団員は全員山口市に引き継ぐものとする。

14　市町村税の賦課徴収について
昭和38年度から昭和40年まで固定資産税の税率は地方税法（昭和25年法律第226号）第350条の標準税率により、市民税均等割（個人法人とも）の税率及び市民税所得割から控除する事業専従者に対する控除額は現町の率により賦課するものとする。

15　教育施設について
現町の計画（別表第1）を尊重して要望に副うよう努力する。

16　小鯖小学校屋内運動場の建設ならびに屋外運動場の拡張部分の整備について
昭和38年度予算に計上するよう措置する。

17　小鯖出張所の移転改築について
早期移転改築に努力する。

18　農業センターの設置について
農業センターの設置に努力する。

19　農業構造改善事業について
国の認証した事業計画どおり推進する。

20　道路、橋梁、河川の格付及び維持改良ならびにこれらの国県事業について
道路、橋梁、河川は要望のとおり格付し、維持改良は、現町の計画（別表第2）を尊重し要望に副うよう努力する。

また、国県事業に対する要望事項（別表第3）については、将来ともこれが促進について努力する。

21　法定委員の報酬について
山口市の規定によるものとする。

22　大字の設置について
合併の日から現大内町長野、御堀、矢田、仁保上郷、仁保中郷、仁保下郷、上小鯖及び下小鯖の地域をもって、それぞれ山口市大字大内長野、大内御堀、大内矢田、仁保上郷、仁保中郷仁保下郷、上小鯖及び下小鯖を設置するものとする。

23　1部事務組合等の取扱いについて
大内町において加入している組合及び団体については、すべて脱退するものとする。

合併協定に関する覚書

1　大内、仁保及び小鯖の各出張所職員の配置について
当分の間、所長のほか庶務、出納、税務、福祉、保険衛生、農委、林務、土木耕地、教育、公民館、使丁を各1名、戸籍、産業を各2名及び保健婦1名を標準として適正に配置する。

2　大内、仁保及び小鯖の各部落機構について
現行を維持する。

3　大内、仁保及び小鯖の各消防団の運営について
新たに現大内町の区域から副団長1名を選出し、当該副団長は、副団長本来の任務のほか、大内、仁保及び小鯖各分団の統轄に関し団長を補佐する。

4　特別林野の経理について
特別林野から生ずる収入は、当該地区の公共的費用以外には支出しない。

5　揚山、岩倉官林（仁保官林）の設置について
揚山、岩倉官林（仁保官林）が設置される場合には、揚山、岩倉官行造林の伐採跡地を国へ売却するものとし、その代金に相当する金額を仁保特別林野区へ交付する。

6　通学交通費補助について
通学交通費の補助については現状では困難であるが、将来考慮する。

7　教育関係職員について
養護婦ならびに事務職員を早期に配置する。

8　現大内町地域からの教育委員の選出について
合併後最初に到来する委員の任期満了の際考慮する。

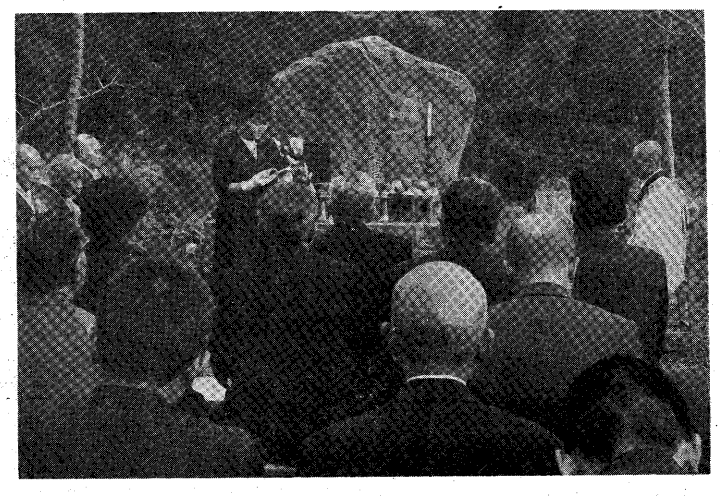
9　大内保育園の施設について
施設の充実に努力する。

10　共立中央養老院組合について
共立中央養老院組合には、山口市として引き続き加入するよう措置する。

11　農業構造改善事業について
農業構造改善事業の実施に伴う現町よりの継承事業の内、基盤整備事業については、現町の負担割合を市が引き継ぎ、畜産センターについても、補助を考慮する。
なお基盤整備事業による改修後の大道―宮の馬場線および船ケ頭線は、これを市道として格付する。

12　大内、仁保および小鯖各地区の土地改良事務について
土地改良事務については、所要の職員を大内出張所に配置して取扱うよう措置する。

13　バス路線について
運行上支障のないよう、特段の措置をする。



写真は立野昌代さんの「曇り日」の朗読

しめやかに追憶法要
郷土作家　嘉村礒多30年忌
追憶展・座談会も

11月30日は、礒多が37才の若さで没してちょうど30周年、同日午前11時から、礒多文学碑が建っている常栄寺（山口市宮野）で追悼法要がしめやかに行なわれた。参会者は、礒多30年忌記念行事実行委員会の兼行山口市長、須子大内町長ら関係者、礒多の義弟にあたる嘉村栄さん親族、級友一般など50人。

礒多と同郷の立野昌代さん（現在下関市向洋中学校教諭）が彼の波乱に満ちた人生を描写した作品「曇り日」を朗読、参会者の胸を打った。

これよりさき、11月27日から12月2日まで6日間、山口博物館では、礒多にゆかりのある写真37点、著書50冊、手紙11通、その他関係資料も多数陳列され礒多追憶展が開かれた。これまで未発表であった、小川ちとせと上京した後、「嘉村の家から除籍してほしい」と父親若松に宛てた手紙などは特に参観者の目をひいた。

また、11月28日には真証寺（山口市天神町）で礒多を偲ぶ座談会も開かれ、礒多の姉妹をはじめ青少年時代の級友、礒多文学の研究家など多数が集まって想い出話にふけた。

▽**工業統計調査**が12月31日現在で実施されます。近く調査員が製造事業所を調査しますのでご協力ください

▽**ユニセフミルクの配給**は12月より始まりました。配給を受けられるのは、37年6月1日以降出産された産婦、12月1日現在**妊娠**5カ月以上の**妊婦**です。

1月よりの配給日は（毎月）

大内地区＝第2水曜日
小鯖地区＝第3水曜日
仁保地区＝第4水曜日

配給日には必ず母子手帳と印鑑をご持参ください。

なお、当日は乳児相談を兼ねて行ないます。

▽**成人の日記念「はたちの声」**の論文募集しています

応募テーマは

◎私たちは山口国体とこのように取り組みたい。

◎私は選挙権をこのように行使したい。

資格は県内居住者で昭和38年1月15日の成人式に参加する青年（学生を含む）。400字詰原稿用紙6枚以内12月25日までに町教委へ。

▽**前民生委員前原孝雄氏**が10月30日亡くなられました亡夫の供養にと妻弘子さんから金5千円を、町の社会福祉事業に寄附いただきました。お礼申し上げます。

▽12月17日午前10時30分から**仁保小屋内運動場落成式**を現地で挙行します。

▽恒例の下関―大阪間**府県対抗駅伝競争**は12月18日～23日まで、本町通過は18日午後1時頃の予定

▽**ねずみ駆除期間（抽せん券つき）**が12月1日から来年1月31日まで、実施期間中ネズミをとったら町役場か各支所へ持参ください。ネズミ一匹につきくじ券1枚あげます。

新らしい民生児童委員決まる

民生（児童）委員は、常に地域社会の福祉増進のためにつぎのような仕事をしています。生活保護法、児童福祉法、老人対策、母子福祉法、身体障害者福祉法、精神薄弱者福祉法等に関する諸問題ならびに低所得者に対する世帯更生資金および医療費の貸付などで、相談事については、地区担当の民生（児童）委員に遠慮なく気安く御相談下さい。

改選の結果、新らしい民生（児童）委員はつぎのとおり（　）中は担当地域

▽**大内地区**

菅内　藤井ヨシコ（大内畑、菅内、小野）
問田　安富隆一（問田）
下千坊　荒瀬貞雄（下千坊）
高芝　高木美貞（高芝東、西）
中矢田　栁良きくえ（中矢田、上千坊）
茅野神田　南ミツヨ（上矢田、茅野神田）
大道　俣賀哲子（大道、長野）
殿河内　原田久枝（宮の馬場、殿河内）
氷上　松永房子（氷上、上下）
御堀　和田八十一（御堀東、西）
川向　楳本アキ（川向）

▽**小鯖地区**

一区　原　嘉子（1、2区）
三区　古屋則敏（3、4、5区）
七区　宝迫栄人（6、7区）
九区　渡辺ハル子（8、9区）
十一区　岡本義作（10、11区）
十二区　河村新一（12、13区）
十六区　徳本倪子（14、15、16、17区）

▽**仁保地区**

一の瀬　渡辺益人（仁保上郷4区）
高畠　山根テル子（高畠、北河内）
高野　西山根つね代（井開田西、高野東、西）
井開田東　溝部千鶴子（松柄、井開田東）
一ノ野　岡忠生（一ノ野）
原河内　末永直（坂本、原河内）
仁保市　吉富好子（仁保市、両浴）
野上　山賀ミツ子（野上、土井）
高松　清水久子（高松、丸山）
東園　栗林勇雄（東園、深野）

正しい、明るい公明選挙を
選挙運動のあらまし

〃選挙法を守りましょう〃と呼びかけ、そうだ選挙法を守らなければと思っても、選挙法にどのようなことがきめてあるかがわからなければ、折角の呼びかけも、また守ろうと思ったことも無駄になります。来春は統一して地方選挙が行なわれるので、選挙運動のあらましをお知らせします。

○選挙運動とは

(1)、特定の選挙において、(2)、特定の候補者を当選させるために(3)、選挙人に働きかける行為、ということができます。これが選挙運動の三要素といわれているものです。

(1)　特定の選挙とは、きまった選挙を対象としていうことで例えば来年四月に執行される県会議員および市町村長選挙等のことです

(2)　「特定の候補者」とは、立候補している者だけでなく、将来立候補しようと予定される者も含みます。しかし、選挙運動を行なうにもその準備が必要ですから、法律も立候補の準備のための行為は、これを認めています。それは大体次のようなものです。

(1)　選挙事務所借入の内交渉
(2)　出納責任者または選挙運動員就任の内交渉
(3)　労務者の雇入の内交渉
(4)　演説会場借入の内交渉
(5)　運動用葉書による推薦依頼の内交渉

（以上投票依頼のためにするものと認められるものを除く）

(6)　立札、看板、ポスター等をあらかじめ作ること
(7)　供託の手続をとること

右のような立候補準備行為は、直接選挙人を対象としないものであり、事務上の交渉または準備に属する行為で、そのこと自体が直ちに投票を獲得することを目的としないから、選挙運動とはいえない。ただ、注意を要するのは、これらの行為があわせて投票獲得の意図をもって行なわれるときは事前運動となることで、たとえばこれらの行為に名を借りて投票依頼行為に及ぶとか、非常に多数のものに対して各種の内交渉がなされる場合は、選挙運動となるものとされています。

○事前運動の事例

(1)　立候補の意志ありと認められる者が自分の氏名とともに他事を記載した文書を掲示するのは、事前運動と認められる場合があります。

(2)　立候補の意志ある現職議員が、選挙を見越して各種の挨拶状を郵送し、または新聞紙上に広告する等の行為は、時期、方法、内容、数等その態様いかんによっては事前運動となる場合があります。

(3)　何某後援会というようなものの結成や会合は、必ずしも事前運動ではないことはいうまでもないが、明らかにその者の当選を目的として後援会を組織し、会合を開く意図であることが判別される場合は事前運動となります。

(4)　立候補届出前に関係者が集まって選挙運動の事務打合わせをすることは、選挙運動の準備に止まる限り事前運動とはなりません。

(3)　「選挙人に働きかける行為」とは、特定の候補者の当選を容易にするために、選挙人に働きかける知能的行為であります。

○事前運動の禁止とは

立候補を決意したなら、直ちに選挙運動に着手したいのが人情である。しかし、選挙運動は常識より狭い点がある。ところが法律は立候補届出前の運動を厳禁している。これがいわゆる事前運動の禁止である。そしてどういう行為が選挙運動となり、どういう行為を立候の届出前にすれば事前運動禁止の違反になるかということは、専ら法律解釈の問題に委ねられているのです。

○準備行為として許されるもの

選挙運動は、立候補届出から投票日の前日までが原則で、立候補届出前の一切の選挙運動は、すべて事前運動として禁止されています。しかし、選挙運動を行なうにもその準備が必要ですから、法律

水稲直まき栽培の成績がまとまりました

水稲の直播栽培は今年の大きな話題でありましたが、その結果はどうだったでしょうか。

当町内の実施状況は、大体つぎの表の通りです。（町役場調査）

地区別	施工面積	施工農家数	備考
	反	戸	
仁保	40.0	35	内乾田直播 0.3ha
小鯖	93.2	42	内乾田直播 0.1ha
大内	25.5	13	
計	158.7	90	

このように可成り多くの人が試みられたわけですが、その成績は全般的にまだまだといったところで収量的には6俵内外といったところが多かった模様です。

そこで今年、町の試験圃が町内3カ所に設けられ、生育や収量、労力等の点について調査を行なってきましたので、その概要をお知らせしましょう。

圃場別	草丈(稈長) 8月4日	草丈(稈長) 成熟期	茎数(穂数) 8月4日	茎数(穂数) 成熟期	有効茎歩合	収量(10a当玄米)
	cm	cm	本	本	%	
仁保	60.6	85.2	1,725	1,150	66.7	410kg (2.7石)
小鯖	57.7	83.6	2,267	1,424	62.7	490kg (3.2石)
大内	61.4	76.7	1,992	1,260	63.2	409kg (2.7石)

註，田植　6月8日～11日　品種　やまびこ
刈取　10月13日～15日　茎数，穂数は坪当り
収量は坪刈調査による。

(1)　作業のやり方

つぎの表に出て来る大内、小鯖の分は、水田直播、仁保の分は乾田直播です。それぞれの作業のやり方は省略します。

(2)　稲の生育、収量

(3)　労力の状況

普通栽培と比較して、労働時間の可成り違った作業の種類と、おおよその増減時間は大体次表のようになりました

成績の概要は以上の通りですが問題としては、水田直播の場合は苗立ちが揃わなかったこと、そのために補植に多くの労力を要したこと。雑草が多く発生して稲の生育を阻害しがちであったこと、そのために除草労力が可成りかかったこと。分けつが多くなり過ぎて秋落等の現象を生じたこと。

また労力面では、総体的には、少しながら省力化しているようですが苗立ちが悪いと、補植に多くの時間を要して、省力にはならないおそれが多分に感じられますし能率的な除草方法を見出すことも労力を省く上で大切なことです。

これらの対策については後の機会に譲ることにしますが、一層工夫研究して、能率的な米作りをしたいものです。

作業の種類		差引	植補	管理等の水管	薬剤撒布	中耕除草	田植（播種）機	苗代一切	耕起整地
		時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
増減時間	仁保	(−)17	(±)0	(+)2	(−)2	(+)10	(−)20	(−)8	(+)1
	小鯖	(−)7.5	(+)25	(±)0	(−)4	(±)0	(−)21	(−)8	(+)0.5
	大内	(−)4.5	(+)12	(+)2	(+)2	(+)8	(−)21	(−)8	(+)0.5

註　①　10a当り
②　この外の作業は普通栽培とほとんど変らない。
③　時間は普通栽培の場合を基準にし、(+)は基準より多く要した時間、(−)は少くて済んだ時間を示す。

歳末たすけ合い　温かい愛の手を
恵まれない不幸な人々へ

歳末を間近に控え不幸な人、恵まれない人々に対し温かい愛の手をさしのべ、みんなそろって明るいお正月を迎えるために、今年も12月1日より末日まで1カ月間、社会福祉月間を設けて歳末助け合い運動が全国一斉に展開されます

本町においても昨年同様、物資持ち寄り運動を実施いたします。

昨年は町民の皆様の温い御同情と御協力により白米約20俵、現金2万6千443円、衣類15点の物資が集り、不幸な人々や施設に収容されている気の毒な人々の慰問が出来、地域の社会福祉が一段と増進されたことを深く感謝いたしますついては本年も昨年同様、この運動に対しなお一層の御協力をお願い申し上げます。

近日、部落役員の方がお願いに各戸を訪問されますので、よろしくお願いいたします。

○　物資持ち寄り期間
12月1日～12月20日

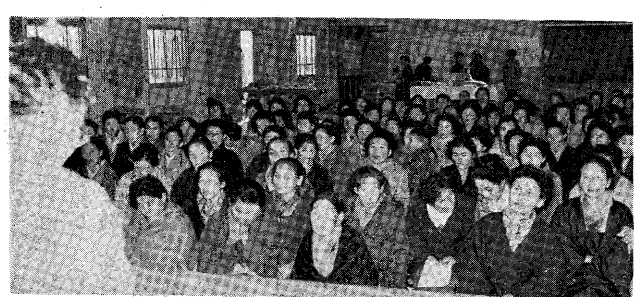
○　持ち寄り物資
白米、金銭、衣類等

本年の総決算
婦人会総会おわる
＜暮しの工夫展＞

大内町婦人会総会は12月3日、暮しの工夫展とともに大内中学校体育館で、3地区婦人会員多数参加して盛大に行なわれた。

この日、各地区から意見発表、生活体験発表がありましたが、それぞれの立場から何かしら希望を見出だそうとする気持がにじみ出て、生活のむつかしさにもめげず生きてゆく心の張りを感ずる発表で、一同しんみりと聞きました。

喜しの工夫展も昨年に比べて出品数もぐんと多く350点にも及び、我が家の家庭をあずかり健康、経済、愛情の面をまとめて「明るい豊かな生活」をするために、家庭の主婦として、母として妻として常日頃から工夫されている努力がその出品の一つ一つに強く感じられました。今後とも、我が家の生活状態をよく見つめたうえで、総合的な角度から眺めた生活設計を樹て、経済面、時間面、労働面などにも無駄のない社会生活にまで浸透させたいものです。



大内町広報

昭和38年1月1日
第90号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

新年おめでとうございます

ことしも、実りあるよい年に、町政のうえでもいろいろな問題をかかえていますが、力をあわせて解決に努力し、住みよい豊かな、そうして明るい町づくりにいそしむことをお約束します。

大内町長他職員一同
大内町議会議員一同

〝歳末助け合い運動〟ご協力ありがとう

町民の皆さまの温いご同情とご協力によって、白米約22俵、現金3万2千700円、衣類など50点が集まりました。早速町内の気の毒な方々、県内の福祉施設とその収容者に配分して、明るいお正月を迎えていただきましたご厚情に対しお礼を申しあげます。

税金

1月 町民税第四期

年頭のあいさつ

積極的なご支援を

町長 須子勝平

お慶び申しあげます。

ことしは、本町にとりましてとくに意義の深い年であります。と申しますのも昨年12月山口市に合併が決まり、本町がこれから新らしく大きくさらに発展する、第一歩を踏みだす年であるからであります。

昭和30年新大内町が発足してからここに9年目を迎えました。この間時勢の進展と相俟って、豊かな明るい新町建設は着実に進み、町勢は躍進の一途をたどってきました。これも合併以来町民の皆さまがともどもに手を取り合って、町づくりに積極的なご協力とご尽力を下さった賜と深く感謝しております。

昨年は、山口市との合併問題をはじめ、農業構造改善事業計画の推進、仁保小屋内運動場の改築、土木災害の復旧、道路、橋梁、河川の改修並に整備、そのほか各般にわたる懸案事業も順調な経過をもって、その実績を挙げることができました。

しかし、なおいくつかの問題や事業が残っています。これも本年度中に全力をあげて問題の解決を図り、出来得る限り事業も整備しておきたいと考えています。それでもなお、いろいろな仕事が残ってくると思いますが、これは合併までに十分検討して、山口市当局とも話し合ったうえで、引き継いでもらい、町民のみなさまにご迷惑のかからぬよう善処したしますいたしますとともに、あわせて町民の皆さまのご健康とご多幸を心から

私の在職も後数カ月になりましたが、本町発展のため最後まで努らお力を続ける決心であります。

どうか、本年も皆さまの積極的なご支援をいただきますようお願いします。

新らしい希望と決意

議長 田中俊輔

明るい希望にみちた、昭和38年のお正月を迎え、謹んでお慶び申し上げますと共に、町民皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、昨年は私共町民にとって終生忘れることの出来ない大事な年でありました。

一月早々山口市合併と云う、海に大事な問題がもち上り、町当局初め、議会側及町民の皆様と全町を挙げて、一年間真剣にこの問題と取り組み、検討を加えて参りましたが、賢明なる町民各位のご理解とご協力に依り、いよいよ合併にふみ切ることとなり、12月3日発展的に解消いたし、私共は新しの町議会に於て満場一致合併議案く山口市民としての誇りをもち、の成立を見て歴史的な大事業が立大山口市建設の構想実現のため新派に成就いたしました。しい希望と決意を以て大いに努力

更に本町の事業面に於きましてしなければならないと存じます。は、農業構造改善事業が決り、本なお本年は地方自治体の刷新を年度以降3年間に総額1億4千万図るべき統一地方選挙の行なわれる円を以て実施せられることになり年であります。又多年の懸案であった。防府―山あくまで公明選挙の趣旨に基いて口間県道の改修工事も前年度に引、真に我々の代表として信頼し得き続き実施せられることにより、る立派な人材を選び出し、伸びゆ待望の大内中央線の問題も一挙に く市政、県政の発展を希いたいも解決の運びとなり、問田川、小鯖のであります。川改修の継続事業も進捗し、教育更に本年秋の国体には、地元民施設に於ては県下に稀に見る仁保として、物心両面に互って能う限小学校の屋内運動場の新築完成なりの協力を申上げ、この機会に防ど、内外共に、多事多端な年であ長山口県の名声を遺憾なく発揮すりましたが、何れも皆様方の建設ると共に充分なる成果を挙げたいも的なご協力によって極めて順調にものと念願する次第であります。進捗いたしましたことは衷心感謝本年はあたかも〝兎〟の歳であいたしますと共に、町づくりの目ります。皆様と共に凡ゆる面に於覚しい発展をこの上なく喜ぶものて新しく、そして大いなる飛躍を であります。期待いたし、郷土の発展をお祈り いよいよ本年5月1日からは、申上げて年頭のごあいさつといたし永い歴史と伝統に輝いた大内町はします。

仁保高野の丘に立派な体育館

仁保小屋内運動場が完成しました。総事業費1,460万円，面積延260坪，特許ダイヤモンドシエル，鉄骨1部鉄筋平屋建の立派なものです。

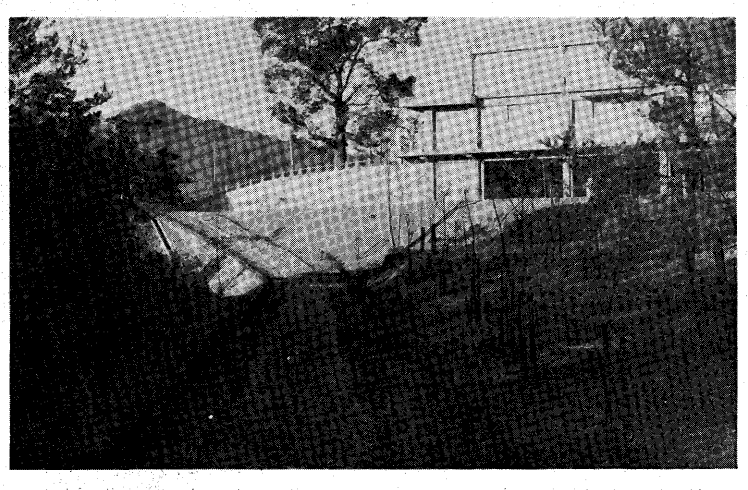
12月17日盛大に落成式をあげ，引きつづき児童の学習発表，お祝の餅まき自衛隊の音楽演奏，映画会など全校をあげて，お祝しました。

この日を楽しみに待ちわびた児童も先生も父兄も感激ひとしお……

仁保小・仁保中を結ぶ連絡道路と植樹

山口国体開催の記念事業（花一ぱい運動の一環）として、仁保小と仁保中を結ぶ連絡道路とその周辺に植樹をする工事が終りましたこの工事は延長262mの連絡道路につつじを850本、さくら50本、そのほか130を植樹したもので、見違えるような立派なものが12月6日にできあがりました。

この事業費は植樹、工事費などあわせて約50万円、その半分が県の助成です。この植樹が大きくなり、きれいな花が咲く春は、きっと皆さん方の目を楽しませることでしょう。



（写真は仁保小屋体附近の連絡道路と植樹）

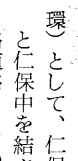
基本選挙人名簿が確定

有権者は八、六〇八人

新しい基本選挙人名簿が確定しました。昨年9月15日現在でみなさんが申告された申請書によって、基本選挙人名簿を調製し、11月5日から19日まで間違いや落ちはないかを確めていただき、12月20日に確定したものです。

それによると、有権者総数は前年に比べ100人（男68人、女32人）減っています。この名簿はこの春行なわれる統一地方選挙をはじめ、ことし中に行なわれる選挙につかわれるものです。地区ごとの有権者数はつぎのとおりです。

地区	男	女	計
大内	1,621	1,932	**3,553**
仁保	1,424	1,567	**2,991**
小鯖	937	1,127	**2,064**
合計	3,982	4,626	**8,608**



▽**山口県種鶏場**（防府市牟礼）**練習生**を募集中です。練習期間は4月から1年間願書の締切3月15日、詳しい問い合せは町役場経済課へ

▽道路運送車輌法の1部改正により、**農用小型トラクター**のうち、軽自動車として運行に供するものについては、保険標章および検査標章表示制度が適用され、この標章を表示しなければ運行することができなくなりました。くわしい問い合せは町役場経済課へ

▽これから3月までは、**植林をする最もよい時期です**立派な造林するには、まづよい苗木を選ぶことが大切です。

苗木には、それぞれ一定した規格があります。保証票の裏に記入してありますからよく確めてください。

▽**成人式は**、1月15日午前9時30分から、大内中学校屋内運動場で行ないます。ことし成人になられるのは240人（男114人、女126人）です。成人になられるみなさん多数ご出席ください、お待ちしています。

▽**消防団出初式は**、1月10日午前9時より、県農業試験場グランドで行ないます放水訓練は、氷上橋上の河原で実施します。一般の方多数ご参観ください。

▽昭和38年1月期の**福祉年金の支給**が、1月7日よりはじまります。受給者は指定された郵便局でお受け取りください。

▽**アメリカ派遣の農業労務者**を目下募集中です。資格は満20才以上30才までの男子で農業の経験があるもの（妻帯者でもよい）申込は1月中旬まで、合格者の渡米は3月～4月の予定、問い合せは役場経済課の方へ

1月15日は「成人の日」です。ことしも大内町で、240人が成人になられます。この成人者のうちから感想をおくっていただきました。

成人の日を迎えて

小鯖吉村智子

成人の日、私たちの番だといわれて、思わず指を折りなおしてみます。まだ子どもだと思っていたのに今日からは、いよいよ大人だなんて何かてれくさい気がしますが、それでもこれからは大人として、すべての言動に社会的な責任がつきまわるのだと思うと、うっかりしてはおれない気持です。

今までの私は、ときには子どもにされたり、大人にされたりしていました。私自身もその場その場に応じて、子どもだと云われれば〝それぐらいのことくらでも〟と思い、大人だと云われれば〝そんなこと云ったってまだ〟と都合のよいように考えてきました。そのためかすべてのことに責任を負うということに、少々欠けていたと思います。

しかし、今日からは天下晴れての大人、社会的にも個人的にも、一歩前進した気持です。成人になるということは、単に大人になったというだけではなくて、強壮な身体に豊かな教養と高い情操をもち、よりよい社会人となって民主々義国家日本を背負って立つにふさわしい人間になることだと思います。これがためには、成人者としての自覚と責任をひとしお強く感んずるものです。

これからは、いよいよ知性をみがき、身体を練り、世界の何処へ行っても恥しくないだけの認識をもち、国家社会の繁栄と向上とに協力できる、真の民主的日本人となるよう最善を尽したいと思います。

最後に日頃から私が愛誦している詩を一句

春の光のゆらめきて
緑にけむる野に満てば
結ばれ解ける吾が胸に
かささき花は開きけり
命にふるう若鳥の
あふるる思い唄うかな

私は選挙権をこのように行使したい

仁保池田純江

私は今年から、社会人の一人として、選挙権を得たことを喜び、一人一人が心がけ自覚と責任をもて行使には重大なる責任があると思います。そして胸の底から新しい時代を歩む、農村の一女子青年として自覚を持たなければなりません。今の大人の一部の人々は金や権力を利用して選挙にのぞみ、選挙が終れば必ず選挙違反がラジオや新聞で報道されると言う事はどうしてだろうか。

私は〝公明選挙〟と大きくポスターが出るがそれは何を意味し、誰が見るのかと思います。私達一人一人が心がけ自覚と責任をもてば選挙違反はなくなると思います。

今後私は社会情勢をみつめ、政治常識を高めるため、勉強し話し合い、青年としての自覚をもち、不正な選挙運動に負けず、正しい選挙をすることが、私の考える、公明選挙だと思います。

清い運動に清き一票をモットーとして、明るい選挙を実現するよう努力したいと思います。

私は選挙をこう思う

大内杉井文子

私も今年は、成人式を迎えようとしています。考えてみると自分としては、何となく自信がなく、はてこれでよいのであろうかと、我と我身を疑う事さえあります。

大人の世界に入り、これからは自らをじっと見つめ、強く成長しなければと心に期しています。

これまでは、家族が選挙のことなど話しているのを聞いて、ちょっとでも口出しすると〝選挙権がないのに〟と言われますが、私達にも一人一人の考えがあるはずなのにと思うのですが、これも成人すれば大人と対等な立場で話し合いが出来るのです。成人と選挙権これは初めて私達に与えられる権利です。

表ではテレビ、ラジオ、新聞等で公明な選挙を行なおうと報道していています。その裏では金力、暴力を振ってまで、当選を勝ち取りたい政治家さえいるのです。

こうした違反者は、私達選挙民の手でなくさねばなりません。

心ある人はひそかに私達に期待しているのです。汚れない公明な選挙、それは私達汚れを知らない若い世代に課せられた責務と思います。

土地を買収された方へ

防府―山口間県道改修によって道路用地として、土地の強制買収を受けられた方は、つぎの方法で所得税の減税または免税が受けられることになっています。

1　強制買収によって、一定金額を受け取ったが、その金額で代替資産をその年中に買受けた場合は課税が留保されます。

2　この場合、買替が翌年になるときは、翌年1月末日までに、買替資産の承認申請書を税務署長に提出すれば、一応課税が留保されます。

3　強制買収によって、一定金額を受け取って、代替資産を買受けないときは、通常の場合半額が軽減されます。この場合は翌年3月15日までの所得税確定申告書に、軽減を受けたい旨を記載して提出します。

いづれの場合も強制買収をしたことの県知事の証明書を添付するこのほかに、家屋の移転、営業補償料、農作物の補償料などの問題がありますが、くわしいことは税務署資産係へ問い合せください

註　住宅用団地として買収された土地は、本町の場合租税特別措置法の適用は受けられません。

なお、強制買収されたことの県知事の証明書は、町税務課でとりまとめ県に折衝しますので買収された名儀人を、1月15日までに申し出ください。

みんなが知って明るい選挙

選挙運動のあらまし（つづき）

前号では事前運動（立候保届出前の運動）について説明しましたが、本号では、立候補の届出から投票日までの、選挙運動期間中の主なものについて説明します。

▽選挙事務所の設置

選挙事務所は、1カ所設置することができます。但し、投票日には投票所を設けた場所の入口から300m以内には設置できない。

▽休憩所

一切禁止される

▽自動車の使用

1台使用することができる。

法の改正で、町村の選挙にも使用できるが、乗車人員、自動車の種類には制限がある。

▽拡声機

候補者一人に付き一揃

これには選管から交附される表示板を付ける。

▽戸別訪問の禁止

各戸を訪問して投票を依頼したりする行為は禁止される。

戸別とは必ずしも、選挙人の宅でなく、会社、工場等も入る。

一戸しか訪問しない場合でも、二カ所以上訪問する目的をもっていた場受は戸別訪問となる。

訪問とは家の中に入らなくても新聞、雑誌、ラジオ、ポスター等による公表は禁止される。

▽飲食物の提供

原則として禁止される。但し湯茶および、通常用いられる程度の菓子はよい。

また、選挙事務所で、選挙運動員、または労務者に一定の制限に従って、提供することはできる。

陣中見舞に来た人には、提供出来ない。

▽気勢を張る行為の禁止

選挙人の注意を引くために、チンドン屋や、自動車のパレード等で大衆を威圧する行為はいけない。

▽連呼行為の禁止

短期間に一定の文句を連続反覆して呼ばわることである。但し演説会場および街頭演説の場所はよい。

▽個々面接は禁止されない。

街頭で、たまたま行き合った知人、または乗物の中で出合った知人に投票を依頼する行為。

▽電話による運動は禁止されない。

自由である、但し有線放送電話は、この種の電話と区別される場合がある。

▽署名運動の禁止

選挙に関し、投票を得る目的、得さしめる目的、または得さしめない目的をもって選挙に署名運動をすることは一切できない。

▽人気投票の公表の禁止

新聞、雑誌、ラジオ、ポスター等による公表は禁止される。

▽買収

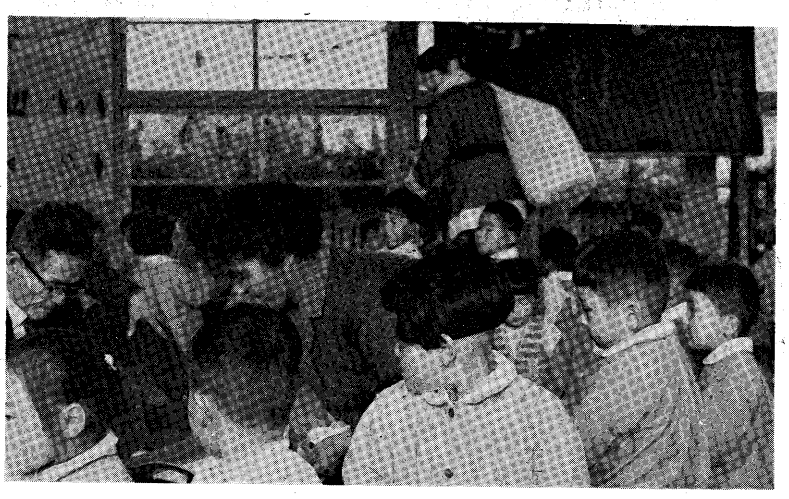
◇　民生委員と仁保じようるり養老院へ　◇

12月26日町の民生委員代表と仁保じょうるりの一行は，秋穂町の養老院を慰問，新築の講堂に70人の老人が集まって，じょうるりに耳をかたむけ，大内町出身者には慰問品も，背にかけられた〝毛布の袖なし〟におよろこび。

◇　第1回吉敷郡社会教育振興大会開く　◇

12月9日大内小学校屋内運動場に，郡内の社会教育関係者約350名が集まり，いろいろな社会問題について話し会いました。なお当日は〝明るい豊かな生活のために〟暮しの工夫展も開きました。

▷サンタのおじさん保育園へ◁　12月25日午後大内保育園にサンタのおじさんが大きな袋をかたに鈴を振りながらやってきました。可愛い園児たちは，お手をたたいて，童謡〝サンタのおくに〟をうたってお迎え，たくさんのプレゼントをいただいた園児たちはおおよろこび。ことしはサンタのおじさんに田中議長さんが。



農業祭を開く

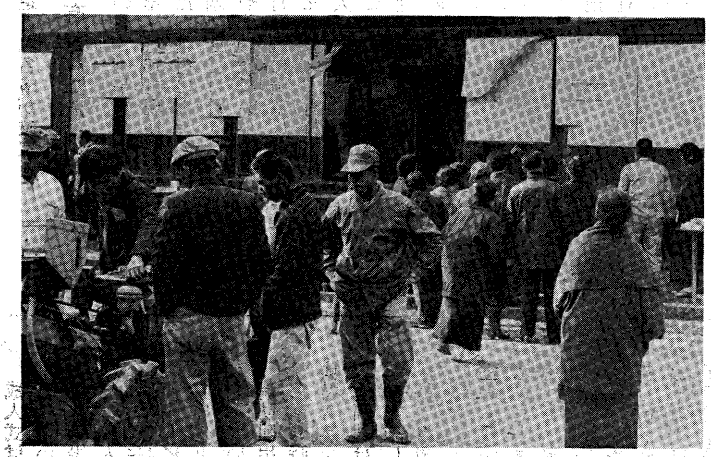
上郷農研連

（小鯖）

昭和36年に、小鯖上郷地域内の各農研が話し合って、上郷農研連絡協議会を結成し、100名を越す会員をようして、盛んな活動を続けています。

その内容は、各農研毎の研究会の開催、先進的農家の見学研修、共同耕作田の設置、作業班を編成して共同作業の実施、麦ナタネの機械利用による省力栽培実験地域などその活動は目ざましく成果も著しいものがあります。

去る12月8日上郷洞海寺において農業祭を開きましたが、この日は会員をはじめ近隣農家からも数多の方が参観され、機械利用による省力栽培の一貫作業の実施、共同作業の実績、共同耕作田の実績、水稲直まき栽培の研究実績などについての展示や説明を熱心に聴取し、技術競技や演劇なども行ない1日を終りました。



大内町広報

昭和38年2月11日
第91号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

社会福祉事業へ寄附

1月12日亡くなられた亡母の供養にと江藤茂氏（矢田江藤衣料品店）から児童服数点の寄附をいただきました。ご趣旨にそって町内の恵まれない家庭へ配ります。紙上をもってお礼申しあげます。

所得税確定申告の指導

昭和37年度所得税確定申告の指導日がつぎのとおり決まりました。

3月6日　仁保支所
　　小鯖支所
3月7日　町役場
午前9時～午後4時

なお、所得税申告者に対しては事業税（県税）住民税の指導もいたしますので関係書類を持参ください。

税金

2月　固定資産税4期分

出初式に勤続者 功労者を表彰
氷上河原で放水演習

大内町消防出そめ式は、1月10日午前9時から県農業試験場グランドで、3分団々員245人、ポンプ車1台、可搬式動力ポンプ20台が参加し、来賓をはじめ一般多数参列して盛大に行なわれました。

この式では、永年勤続者、消防功労者、消防協力者の表彰がありついで、徒歩隊、消防車隊に分かれて氷上河原に向い行進し、途中須子町長の観閲をうけた。この後氷上河原に21台のポンプの放列をしき、サイレンを合図に見事な一斉放水を行ない、吸水口に5色のインクを流せば、放水は鮮やかに白雪の山々を背景にくっきりと浮かび、その壮観さは参観者の目をみはらせ、地味ながらも、平素の訓練と苦労をたたえた。

表彰をうけた人はつぎのとおり（敬称を略す）

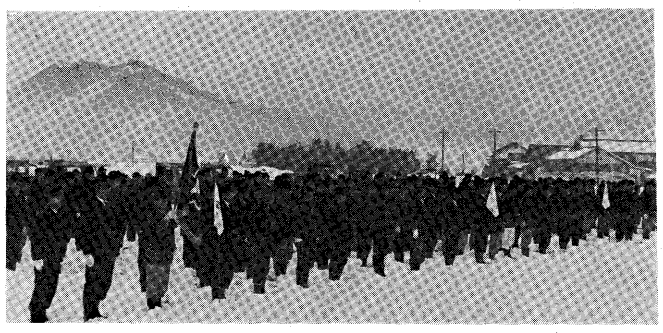
▽、永年勤続し退職した者（消防庁長官）
岡　邦夫（仁保中郷一貫野）
山田　実（仁保中郷井開田西）

▽　消防功績者（県消防協会長）
副団長渡辺益人（仁保）

▽　永年勤続者15年（県消防協会長）
団長来栖幸（大内）分団長江藤武馬（大内）末村勇二（小鯖）副分団長石川潔（仁保）団員岡村一夫、山田忠男、田中博之（以上大内）山根政幸、田辺次男、岡村辰夫、中川進、金子辰三、藤岡登池田宏（以上仁保）徳本正、山下恭人、小野裕治、伊藤逸夫、徳本誠、山本哲、西村昇、徳本俊治、小林好次、黒瀬幹雄（以上小鯖）

▽　永年勤続者10年（大内町長）
副団長渡辺益人（仁保）団員和田健介、河野寛、沖勝松原茂人、豊田政治（以上大内）北野幸作、千々松武夫、浅野間美登、岡村宏、久保上孝治溝部日出人、堀田時治、大田昌二（以上仁保）

▽　消防協力者（大内町長）
大内消防分団第5班消防後援会
仁保消防分団本部および第3班消防後援会長　山田末一
仁保消防分団第1班消防後援会



躍進する土地改良
急ぐ38年度の計画申込み

農業近代化の推進強化に伴い、農業構造の改善が強く打ち出されてきました。特に土地改良事業は最近著しく進展し、農業基盤の整備にその成果を挙げています。

本町の（旧3村当時を入れる）過去10カ年間における大内、仁保小鯖各土地改良区の事業実績は別表のようになっています。

この10年間の事業費総計は9千918万円、その内訳は借入金約3千万円、補助金（町補助を含む）約4千万円、負担金約3千万円となっています。これを事業別にみると昭和28年度災害復旧の頭首工は別とし、遂年毎に農道、水路、客土等の基盤整備事業に向けられ、農業近代化に前進しています。

37年から39年の3カ年間において実施される、農業構造改善事業の土地改良費（基盤整備費）も全部で約3千万円いることになっています。

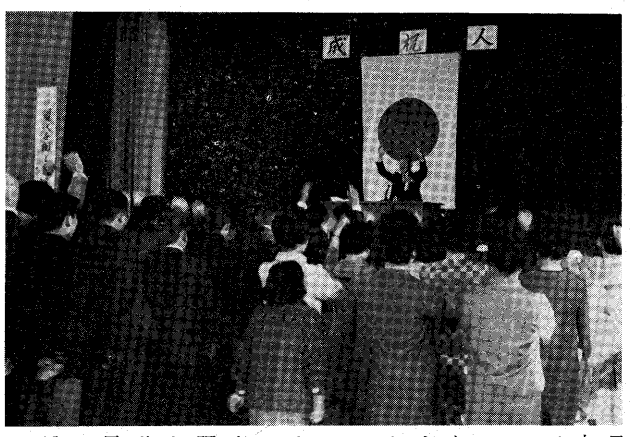
しかし、本町全般からみての土地改良事業はこれからです。みなさん方でもこの点についてはしかとご検討のことと思いますが、部落の方々とも相談のうえ、38年度一般土地改良事業計画を樹て急いで申込下さるように（期日2月末まで）各土地改良区ではお待ちしています。

1表　**大内，仁保，小鯖土地改良区事業費年度別表**（28年度―29年度）　（単位千円）

区別＼年度	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
大内土地改良区	件数 1	1	4	2	8	9	7	6	6	7	51
	1,600	2,686	2,104	473	2,854	1,883	1,705	1,080	1,170	3,051	18,606
仁保〃	件数42	10	4	3	2	8	6	8	7	13	103
	26,589	4,281	1,947	942	1,161	850	1,134	6,831	8,629	5,215	57,579
小鯖〃	件数 3	10	2	1	2	6	7	7	8	14	62
	3,665	4,684	456	311	1,367	1,105	1,037	1,005	1,179	8,186	22,996
計	**件数46**	**21**	**10**	**6**	**14**	**23**	**20**	**21**	**21**	**34**	**216**
	31,859	**11,651**	**4,517**	**1,326**	**5,382**	**3,838**	**3,876**	**8,916**	**10,978**	**16,452**	**99,181**

2表　**大内，仁保，小鯖土地改良区事業集計表**（28年度～37年度）

区別＼区分	農道	水路	頭首工	溜池	橋梁	堤防	客土	農地復旧	機械排水	暗渠排水	事業費
大内土地改良区	m 9,525	m 4,156	ケ 3	ケ 6			町 20.0		ケ 3	m 1	千円 18,606
仁保〃	m 6,794	m 11,004	ケ 27	ケ 4	ケ 4	ケ 2	町 50.5	ケ 5	ケ 2		千円 57,579
小鯖〃	m 9,474	m 2,914	ケ 1	ケ 8			町 50.0		ケ 2		千円 22,996
計	**m 25,793**	**m 18,074**	**ケ 31**	**ケ 18**	**ケ 4**	**ケ 2**	**町 120.5**	**ケ 5**	**ケ 7**	**m 1**	**千円 99,181**



成人の日の行事盛大に　1月15日

1月15日午前9時から大内中学校体育館で、成人の日記念行事が盛大に挙行された。

当日は、まづ成人式を行ない町長をはじめ来賓多数の祝辞を受け記念品を贈って、新らしく成人として社会に出る成人者を祝福激励した後吉村智子（小鯖）「成人の日を迎えて」宇高瑞代（大内）「成人の日に寄せて」の意見発表があり、ついで山口大学田村教授の「現代世相と青年のあり方」と題し記念講演があり、成人者一同も成人として自覚と責任を痛感した。

降雪のため交通も不便を感じ、寒さも格別であったが、成人者多数が出席されたこと、成人者の服装が例年にない簡素であったこと、総べての行動に落ち付きがあり真面目であったことなどは、これまでにないことで関係者も大へんよろこんでいました（**写真は成人式**）

近代化した集団養鶏場
～東円小跡に協業体で発足～

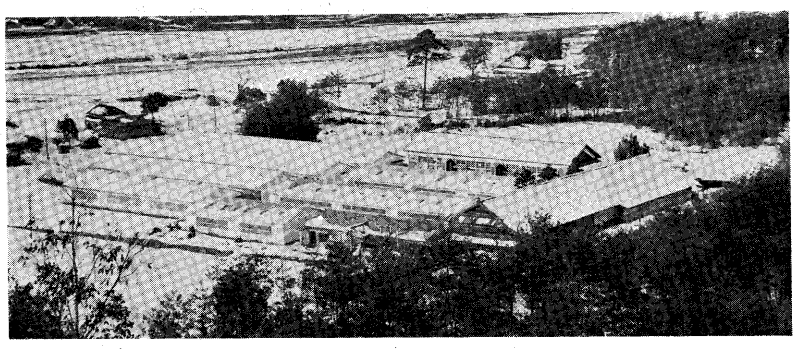
東円小学校がその歴史を閉じてから2年，いまこの学校跡に，全国でも類例をみない「新らしい企業感覚による有利な大羽数飼育」を目的とした協業体の近代化養鶏が進められています。

この団体は「東円集団養鶏場」（農事組合法による県下第1号）で，組合員16名，資金1,836万円（自己出資336万円，借入金1,500万円）で，昨年10月に発足したものです。かっては子どもたちが遊んだ運動場に，明るいクリーム色にぬられた鉄骨鶏舎7棟がたてられ，現在1,100羽の成鶏と，2,000羽の雛が飼育されていますが，今秋までに成鶏，雛ともに，13,000羽にする計画を進めています。

ここでは，組合員はそれぞれの仕事の責任と収益をあげ得た額によって，各人の所得差が生ずるシステムで，それだけに綿密な数字による管理が行なわれているわけです。この養鶏場に働く組合員の1人は「わたしたちは，みんな資産を担保にこの事業に入っています。

この事業は，恐らく町内だけでなく，県下，いや全国の農家から見守られていることと思います。ぜひとも成功して，新らしい道を開いて行きたいと全員が自信とファイトを燃やしているのです。」と話していました。

しかしその蔭には大内町養鶏組合が経営全般について指導していることは，何んといっても大きな力となっていることでしょう。　（**写真は集団養鶏場全景**）



▽　**県肢体障害者更生指導所**（山口市湯田）**職業訓練生**をつぎの要領で募集しています。

募集人員＝25名、資格＝肢体不自由者で介護を要しない義務教育を修了した者、訓練職種＝印刷、筆耕、彫刻、裁縫、洋裁、手芸など、募集期間＝2月28日まで、応募者は役場福祉係に詳細を問い合せ申し込み下さい

▽　**小児マヒ予防**「生ワク」の投与を、2月下旬から3月にかけて実施します。

「**生ワク**」**の型**＝Ⅰ型、Ⅱ型の2種混合

投与対象＝昭和24年から37年11月31日までに生れた者（36年夏に投与を受けた者を除く）

申出を要する者＝昭和26年7月1日から36年4月1日までに生れた者（36年夏に投与を受けた者を除く）

▽　県種畜場（美祢市伊佐）では**昭和38年度畜産、酪農練習生**を募集しています。

募集人員＝13名、入場願提出期限＝3月10日限り、入場月日＝4月1日、練習期間＝1カ年、そのほかくわしいことは町役場経済課へ

▽　**県営住宅**（大内町御堀団地）**入居者を募集**しています。入居希望者は、町役場施設課に問い合せのうえ、所定の手続に従って、3月11日までに申し込みください。

▽　**山口国体のPRや広報活動に使用する写真**を、広く一般から募集しています。題材は交通安全、教育、建設事業、郷土自慢、環境美化、観光、スポーツなど。サイズは白黒キャビネ締切2月28日、送り先県政課、発表3月上旬、くわしい問い合せは県政課へ。

▽**ねずみ退治は**冬間がいちばんよい。ねずみは3月頃から繁殖期がはじまるので5、6月が一番多くなりこの逆に1、2月は少くないねずみは飢えに案外弱いので、食べものを始末して、巣を作らせないよう物かげをよく掃除し、ねずみ取りや毒だんごは掃除をしない物かげに置くと効果的です

▽**プロパンガス**が、家庭燃料として広く使われるようになりましたが、取扱いにはつぎのことに注意して、火災や事故を防ぎましょう

・ガス容器は、直射日光が当らず、火気から離れた風通しのよいとこに置く。

・燃焼器のゴム管は十分点検して、古くなってひびの入ったものは取りかえる。

・火をつける時は、においに気をつけ、ガスもれを確しかめる。

・外出の時、寝る前には、容器の元バルブをしめる。

▽**新入学児童のしつけについては**、あれこれと準備に心配のことでしょう。

◎はっきりものを云う。

◎身なりを清潔にする。

◎自分のことは自分でする

◎規則立った生活ができる

◎道路を正しく歩ける。

こんなことが素直に自主的にできる子どもにしておくことが何より大切です。

▽**「かぜは万病のもと」**冬から春にかけての季節の変りめには、毎年必ず悪いかぜが流行します。

流感にかからぬよう、予防注射、ウガイ、マスクなどを励行しましょう。

△**春は火災シーズン**、春は風が強く、空気が乾燥しているために、特に火事が起りやすいわけ。これからは火気の取扱には細心の注意をいたしましょう。

もうすぐ　ぼくもわたしも1年生

立春ともなれば寒さも峠をこして、すぐ足もとに春はきている。

仁保小学校では町内にさきがけ、1月25日午後新入学児童の健康診断、積雪の中をお母さんに手をひかれてうれしそう、診断うける表情は真剣なもの、ランドセルしょっての登校ももうすぐ。**（写真は仁保小での健康診断）**

声くらべ 腕くらべ 子ども音楽会

――大内小で公開録音――

NHKと大内町教委主催の「声くらべ腕くらべ子ども音楽会」の公開録音が，1月20日午后1時から大内小学校体育館で開催された。

町内の幼稚園や小・中学校児童生徒をはじめ，山口市，小郡町，防府市からも多数のお友達が出場し，会場にもお友達や父兄，先生方が沢山つめかけて，大変な盛況でした。

出場する子ども達は，〝ぼくが，わたしが〟と声を張りあげ，腕を振るっての熱演に，しばしば会場をわかし大変に面白かったが，何んというか，こんなことがはじめてのためか，声はかすれ，腕はちぢんで「鐘」の鳴るのが少くなかったのがさびしい。最優秀として「鐘」をたくさん鳴らしたお友達はつぎの1組だけでした。**（写真上はテスト風景）**

「笛の重奏」（曲目母の歌）

大内小学校6年1組

田中　譲，来栖行秀，佐々木繁子，藤井小夜子，兼光美佐代。

農業構造改善事業

実施計画により2月に着工

大内町の農業構造の改善については、基本的な考え方、計画の構想などは11月号で説明いたしましたが、この構想で事業を達成した場合には、本町の農家経営類型（農業による自立経営農家の類型）をつぎのように予想します。

区分	現在	目標
米麦専業農家	301戸	263戸
水田酪農々家	207〃	277〃
水田養鶏農家	171〃	201〃
養鶏専業農家	2〃	2〃
一般農家	429〃	367〃

これを本町農業の将来の型として、これを推進するための具体的な事業として、別表の計画を樹立したわけです。

しかし、今後の問題として考えられることは、主産地化される過程において生産物の価格、資金の護達、労働力の確保など数多くの問題点が残るわけですが、他産業との所得格差を少なくして、農業が企業的に成り立つようにするには、この事業を推進する中で農家個々の経営内容を分析しながら自立化の方向を打ち出さねばなりません。

いよいよ2月上旬から事業にかかることになっています。町内のすべての機関もそれぞれの分野において最善の努力を尽し、相互協力によって、この事業を立派に完成させることこそ本町農業の画期的発展と思います。

農業構造改善事業実施計画

年度	区分	農業種目名	施行地区名	受益面積(面積/戸数)	事業量	事業費	国費	融資 公庫資金	融資 近代化資金	その他
昭和37年度事業	補助事業	農道	舟ケ頭	23ha 33戸	1,067m	5,658	2,829	2,360		569
		自給飼料調製貯蔵施設	鯖山	11戸	一式	676	338		270	60
		種鶏舎	〃	450戸	3棟764m²	4,180	2,090		1,600	490
		産物処理	向川	450戸	1棟 80m²	1,566	783		626	157
		卵ふ小	〃	451戸	1棟513m²	11,508	5,754		4,603	1,151
		計				23,588	11,794	2,260	7,099	2,435
	融資単独事業	鶏舎	丸山	3戸	3棟396m²	1,080			864	216
		乳牛導入	長野，鯖山	15戸	20頭	3,000			2,400	600
		小計	一貫野			4,080			3,264	816
	計					27,668	11,794	2,260	10,363	3,251
昭和38年度事業	補助事業	農道	深野	23ha 45戸	1,303m	6,600	3,300	2,640		660
		農道	長野	35ha 117戸	2,101m	10,860	5,430	4,340		1,090
		集乳所	長野山	18戸	1棟30m²	500	250		200	50
		自給飼料調製貯蔵施設	鯖	17戸	一式	676	338		270	68
		鶏舎		18戸	3棟 3,300m²	15,000	7,500		6,000	1,500
		穀類乾燥施設	井開田	854戸	一カ所	10,000	5,000		4,000	1,000
		小計				43,636	21,818	6,980	10,470	4,368
	融資単独事業	農道	深野	5ha	350m	900		720		180
		農道	一貫野	16ha 31戸	340m	2,020		816		204
		農舎	東		17棟	3,400			2,720	680
		畜乳舎	東		70頭	10,500			8,400	2,100
		鶏舎	西		15棟 1,980m²	5,400			4,320	1,080
		小計				21,220		1,536	15,440	4,244
	計					64,856	26,818	8,516	25,910	8,612
昭和39年度事業	補助事業	集乳所	深野	17戸	4棟30m²	500	250		200	50
		鶏舎		18戸	3棟 3,300m²	15,000	7,500		6,000	1,500
		穀類乾燥施設	長野	1,330戸	一カ所	15,000	7,500		6,000	1,500
		畜産セン夕一	長野	2,184戸	3棟	4,100	2,050		1,640	410
		小計				34,600	17,300		13,840	3,460
	融資単独事業	農道	長野	25ha 16戸	950m	2,850		2,200		570
		農道	一貫野	16ha 31戸	610m	1,830		1,464		366
		農舎	東		18 棟	3,600			2,880	720
		畜乳舎	東		40 頭	6,000			4,800	1,200
		鶏舎	西		1 棟	4,320			3,456	864
		小計				18,600		3,744	11,136	3,720
	計					53,200	17,300	3,744	34,976	7,180
合計						145,724	50,912	14,520	61,249	19,043

みんなが知って明るい選挙

選挙運動のあらまし（つづき）

腕章およびたすきの類。

(ニ) 選挙運動用ポスター（県議、市議1千200枚）を（県議市長、市議1千200枚）タブロイド型（長さ42センチ、巾30センチ）越えてはいけない。

これには選管の検印と表面に掲示責任者および印刷者の住所氏名の表示が必要です。このポスターの掲示箇所には制限があり、国、地方公共団体国有鉄道、専売公社、電々社の管理するものは貼ることができない。

(ホ) 新聞広告は、運動期間中2回を限り、いづれか1つの新聞に一定の寸法で、自己の選挙運動のための広告ができる。

▽言論による選挙運動

(1) 個人演説会

開催回数には制限はない。候補者以外の者および録音によるものもよい。演説の施設は公営とその他の施設とがあり、公営の場合は選管に申し出し、その他の場合は施設の管理者と交渉する。

(2) 街頭演説は、時間に制限があり午前6時から午后9時まで、演説中は選管の交付する標旗を掲げる。

(3) 立会演説は、選管が条例に基づいてやるもので任意制です。

以上3月に亘って、事前運動と選挙期間中の運動の主なものについて説明しましたが選挙にはこのほかに、いろいろなことが決めてあります。みんなが選挙法をよく知って明るい選挙をするように心掛けましょう。なお、選挙についての問い合せは是非選管の方へお願いします。

（写真は統一地方選挙公明化推進協議会の模様　1月18日　大内公民館）

大内町広報

昭和38年3月15日
第92号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

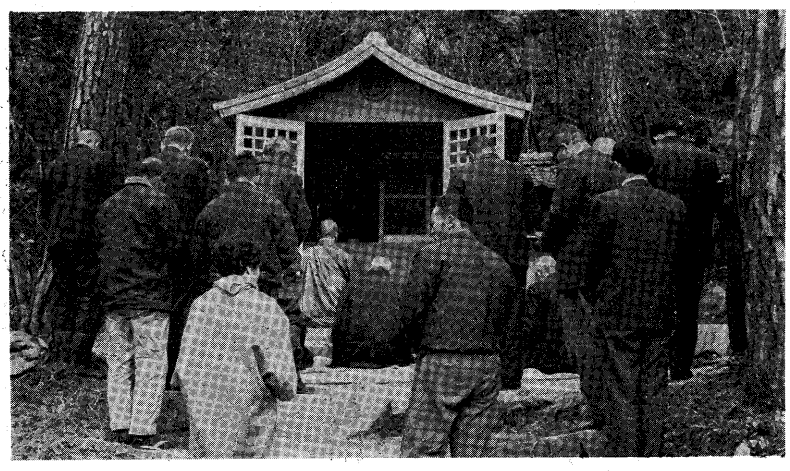
山口市 大内町の合併正式告示

山口市と大内町の合併は両議会において、本年5月1日と決まったが、2月25日自治大臣から正式に告示があり、これですべての手続きは終ったわけで、後は引き継き事務の整理ということです。

田中議長が辞任

町議会議長として、過去2年間献身的に努力された田中俊輔氏は、一身上の都合にでやむなく、議長をやめることになりました。これからは議員として最後まで奉仕したいとのこと。

なお、2月6日の臨時町議会で、新議長には末宗秋作氏が選任された。



（写真は鰐石十郎兵衛の法要）

農業構造改善事業に着手

昭和37年度実施分事業費総額2,761万円

本町の農業構造改善事業については、これまで構想、計画などをくわしく説明してきましたが、1月20日農林省との協議において計画を承認され、37年度事業実施分（次表のとおり）について、いよいよ着工することになり、3月5日小鯖舟ケ頭農道の起工式を現地で挙行した。

この農業構造改善事業は、合併後においても3年継続されるもので、今後一層の協力を願いたい。

事業種目	事業主体	施行場所	別	完成予定	備考
農道	小鯖土地改良区	小鯖舟ケ頭	補助	昭38.11	1,067m
自給資料調製貯蔵施設	鯖山利用組合	小鯖 鯖山	〃	昭38. 3	一式
畜舎(種鶏)	養鶏農協	〃	〃	昭38. 4	3棟762m²
畜産物処理所(廃鶏)	〃	大内川向	〃	昭38.10	1棟 80m²
ふ卵所	〃	〃	〃	昭38.10	1棟513m²
乳中導入	個人	全域	非補	昭38. 3	20頭導入
鶏舎	〃	仁保丸山 大内菅内	〃	昭38. 3	3棟396m²

鰐石十郎兵衛翁150年忌

—法要を営み遺徳を偲ぶ—

3月11日午後1時から江良山堤（上小鯖江良）の鰐石十郎兵衛翁を祭った社前で，親族，町内有志，田子など関係者多数集って， 翁の150年忌の法要を盛大に行ない，翁の遺徳を偲びその霊を慰さめた。

今から約200年前， 毎年のように大旱魃が続いて，農民は「年ぐ」も納められず，先祖伝来の田畑を捨てるという，実にあわれな状態でした。当時，上小鯖の庄屋をつとめていた鰐石十郎兵衛翁がこの状態を見て，江良山に溜池をつくることを思い立ち，萩の勘場（かんば）に行ってそのことを申し出たが，普通の庄屋の資格（昔の町村長）では受け入れられないので，しょんぼり帰って来たが，意を決して早速方々を開墾し，私費を投じていろいろな事業をして，ようやく大庄屋（昔の町村組合長）の資格を取り，再び萩に行って江良山に溜池をつくる許可をもらい，よろこんで帰って来ると，翁自ら監督をし艱難辛苦3年がかりで現在の江良山溜池を完成したのです。上流江良山の99谷をうけたこの溜池は，満水時における水面々積が1町8反歩と云い，受益面積は約80町歩，水量豊かな大溜池でこの溜池のために上小鯖は申すまでもなく大内，遠くは平川方面までもその恩恵に浴していると今も伝えられています。

文化13年3月12日80才で没した翁の業績の一端を記してその功を讃えます。

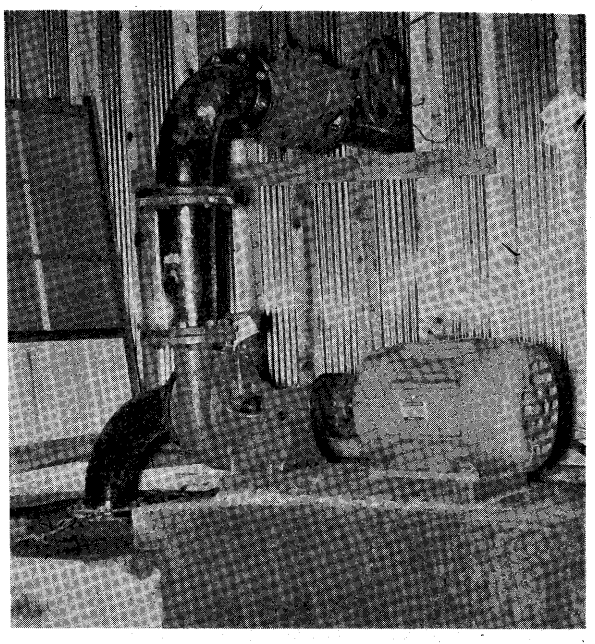
（写真は小鯖舟ケ頭農道の起工式のくわ入れ）

揚水施設が完成 （小野部落）

これでかんがい用水の心配も解消

この地区のかんがい用水は，溜池と菅内川の2つの水系によっていたが，植付時や旱ばつ時には用水不足も著しいので，これを防止するため，土地改良事業として機械揚水施設をした。

この事業は，昨年11月25日着工し，15馬力の揚水ポンプの設置と810米の送水管の施設を， 2月28日に完成したもので，これが事業費は181万円（内補助金90万5千円）です。 これにより受益面積約20町8反歩のかんがい用水には将来心配はなくなり，約62石（金額にして62万円）の増加生産が見込まれています。



（写真はできあがった揚水ポンプ室）

不在者投票とは

しあわせのために捨てるな尊い一票

選挙人で、つぎに掲げる事由で選挙当日、自ら投票所に行き、投票できない旨の証明あるものは前以って、不在者投票をすることができます。

△ **該当する事由**

① その属する投票区のある市町村の区域外において、職務または業務に従事中であること。

② 止むをえない用務または事故のため、その属する投票区のある市町村の区域外に、旅行中または滞在中であること。

③ 病気、負傷、**妊娠**、不具などで、歩行が著しく困難なものであること（指定病院に入院中のものを除く）

④ 交通至難の島、その他の地において、職務若しくは業務に従事中であること。

⑤ その属する投票区の区域の属する県議会議員の選挙区の区域外（即ち県外）に居住していること。

△ **不在者投票の期間と場所**

◎ 4月2日～4月16日まで（土曜日を含む）午前8時30分～午後5時まで

◎ 不在者投票記載所は、町選管事務局、小鯖、仁保各支所。

△ **不在者投票の請求と手続**

◎ 選挙当日に、その属する投票区の投票所で、投票できないことの証明書

◎ 証明書を発行する者

。①の場合＝官公庁および会社、工場の長

。②の場合＝①の外医師、助産婦、住所地の市町村長または、滞在地の市町村長

。③の場合＝医師、助産婦

。④の場合＝届出地、滞在地の市町村長

。⑤の場合＝届出地の市町村長。

以上のようになっていますが、選挙人が名簿に登録してある市町村でする場合は本人が直接に、その他地域外でする場合は、滞在地の市町村から証明書をもらい、郵便で投票用紙を請求し、投票は滞在地の市町村（選管委）で自らすることになっています。

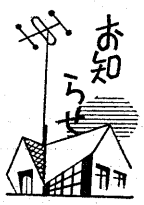
昭和28年4月17日城行山口県議選事務日程 （抜すい）

月日	曜	処理事項
4月2日	火	◦選挙期日の告示 ◦立候補（推薦）届出受理開始（選挙運動の開始） ◦投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名の告示 ◦開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名の告示 ◦不在者投票の開始（事由証明書が必要）
4月3日	水	◦補充選挙人名簿調製現在日
4月4日	木	◦公営施設使用の個人演説会開始（一回に限り無料）
4月7日	日	◦補充選挙人名簿登録申請期限
4月10日	水	◦立候補（推薦）届出期限
4月11日	木	◦補充選挙人名簿縦覧及び異議申出開始
4月13日	土	◦補充選挙人名簿縦覧及び異議申出期限
4月14日	日	◦開票立会人となるべき者の届出期限（選管委員長宛）
4月15日	月	◦補充選挙人名簿確定期日 ◦投票記載所候補者氏名等の掲示掲載順序のくじ ◦開票立会人のくじ，若しくは補充選任
4月17日	水	◦投票日（開票日票日）午前7時～午後6時（午後8時から）

投票日を除く執務時間は毎日午前8時30分から午後5時まで上記の届出はすべてこの時間中にしなければならない。

▽ このたび、農林漁業経営構造改善資金融通制度ができ、**農業構造改善事業推進資金、畜産経営拡大資金、農地および未開墾地取得資金**の貸付ができます。くわしいことは次号で。

▽ 3月8日死去された実母イクさんの供養にといって民生委員の和田八十一氏から、**町の社会福祉事業へと金2万円寄附**がありました紙上をもって、皆さんに知らせ、お礼申し上げるとともに、ご趣旨にそって役立てたいと思います。



▷ 犬の登録と狂犬病予防注射の日時と場所 ◁

4月1日（仁保地区）

9.00～ 9.30 深野農協支部前
10.00～10.30 丸山バス停止所
11.00～11.30 仁保市橋横
12.30～13.30 仁保所所
14.00～14.30 坂井商店横
15.00～15.30 上郷農協支部前

4月2日（小鯖地区）

9.30～10.00 稔畑公民館
10.50～11.50 3区八幡宮入口
13.00～14.00 小鯖支所
14.30～15.00 7区公民館
15.30～16.00 11区公民館

4月3日（大内地区）

9.00～10.15 小野公民館
10.40～11.40 長野公民館
13.00～14.30 町役場
15.00～16.00 御堀公民館

▽ 建設省では、**昭和38年度測量士、測量士補試験**をつぎの要領で実施します。希望者は多数応募ください。
受付＝3月1日～3月25日
試験日＝5月26日（日曜）
試験地＝広島、福岡
なお、申込手続などくわしい問い合わせは、県土木部管理課の方へ。

地方選挙はあなたが主役

明るい一票でしあわせなくらしを

今年は4年振りの地方選挙が行なわれることになっています。

県会議員選挙　4月17日
市会議員選挙　4月30日
（但し大内町地区は5月の予定）
市長選挙　7月の予定

大内町は5月1日から山口市に合併するので、大内町民としては最後の選挙、また山口市民となっては最初の選挙というわけであります。

そこで私共同志の者が集って〝どうして今年の選挙を有意義にするか〟ということについて話し合い、次のようなことに気を付け合おうではないかということになりました。

あなたの御協力を期待致します。

1、有権者は選挙法を知らねばならぬ
守らねばならぬ。
選挙法は、選挙の自由と投票の秘密を守って、正しい選挙をさせようとしている。

○広報、町内有線放送、新聞ラジオ等の説明に気をつけて下さい。
○選挙法を守らない運動員のあることは候補者をきづつけ且つ信頼を失います。

2、運動員、または推薦者は候補者の公約実行の保証者になってもらいたい。

○選挙後の政治活動を衆目でみつめましょう。
○〝嘘を言うな言わせるな〟
○運動員または推薦者の責任は選挙後も続く筈である。

3、候補者は〝どんな仕事をしよう〟とせられるのか十分検討しましょう

○運動員を通して意見を聞く
○または演説会などを通して
○または平素の〝動き〟を通して堅実な私生活の出来ない人に着実な公約実行が出来るとは思えない。

4、投票はあくまで候補者の公約をねらいましょう。

○縁故情実の投票が、1人1人に縁故情実の政治で返えろう筈がない。
○投票のお礼は仕事で返えして頂きましょう。

5、選挙どきの宴会、贈物などは十分気をつけましょう。

○一寸1杯　呼出し10日
うっかり10円　罰金千円
などの前例もあります。
○日常の交際と選挙とは、はっきりとけじめをつけることが大事です。

お互に有権者の人権を尊重し合い、選挙の自由と投票の秘密を守り合うところに正しい選挙が行なわれ民主主義政治の向上があります。今年の地方選挙および5月の市議会増員選挙に当っては、お互に冷静に対処して悔を残さない立派な選挙をすることにしましょう

選挙が近づくと……

事前運動の鳥がとんでくるから気をつけよう

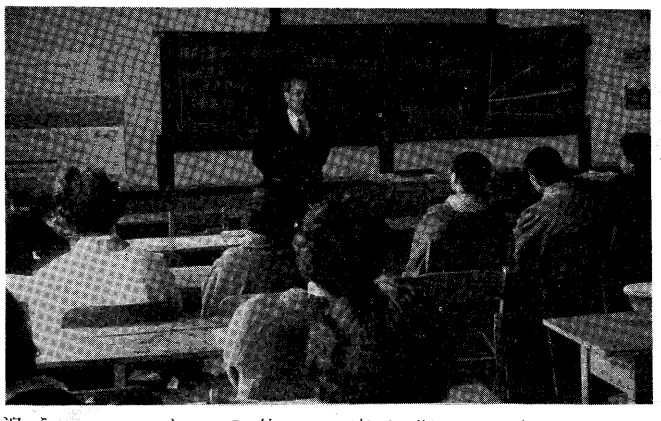
森吉正一

子どもにささがけ
お母さんたちの卒業式2つ

大内家計簿学級（2月23日）

昨年の1月からはじめたこの家計簿学級は、学習目標であった家計簿の完全記帳が、実践活動を通じて家庭経済の内容を、大まかながらつかみ得たことが最も効果であった。

特に農家経済の中で、消費面の不合理性をつかむことがこれまで困難であったものが、家計簿の完全記帳によって、費目分析を行ないその問題をつかむことができたことである。



この学級は文部省委嘱学級で主任講師として山大経済学部の名西先生の適切な指導が受けられたことは、学習内容の充実に大きな効果があった。

学級生（54名）が体験されたことが、これからの家庭経済に持ちこまれ明るい生活のできることを望みます。

仁保栄養学級（2月26日）

わたしたちの生活をふりかえってみると、目先のことに追われ、とかく食事の方はあり合わせですますというのが実状です。

このために農村部では栄養不足症状があらわれ、これが万病のもとになっています。これをなくして合理的な食生活をし、健康で明るい生活をしようというのがねらい。これからの家庭にきっとよい効果があるでしょう。

雪害から山林をたすけましょう

まず緑・わたしの町のあいことば

ことしの豪雪は、またも山林に甚大な損害を与えました。昨年漸く起した杉、桧などの植林木が、また折れたり倒伏したりして、山林所有者には、さぞご心痛のことと思いますが、これから適切な手入れをしてやれば、今後正常な成育に戻りますので、つぎのことを参考に早急に対策を致しましょう。

1、雪起し

積雪がとけて数日たっても木が正常な姿にたちなおらないものについては、縄あるいはカズラで引きおこして直立させ幼令木のものには添え木をしてやりますこの際添え木が若木を傷つけ、夏季にカズラの繁茂によって添え木もろとも倒すことのないよう添え木は丈夫なものを使い、下刈は早めに行なうようにします。

2、積雪による生理的被害

若木や苗木は積雪の下で生理的被害を受けています

長い積雪の影響で、遅出来型になり、無効分けつ、倒伏、病害が起り易いので次のことに注意する。

(1) 穂肥は早く、量は例年より少くな目に施す（2月末頃に相当量施された場合は穂肥はやめる。

(2) 無効分けつの抑圧や倒伏を防ぐため、特にビール麦には3月中旬頃に土入れを行なう

果樹の防除

ももやぶどうにも多くの病害虫がある。その防除如何によって収量が左右される。特に今頃は防除の重要な時期です（2表を参考）（大内農業改良普及所）

これからの農作業
計画をたて急ぐものから手ぎわよく

急ぐ苗代の準備から

(1) 跡作を考えて、作期や面積をきめておくこと（1表参考）

(2) 苗のよしあしは収量を大きく左右します。良い苗を作るには。苗代を十分とる（本田1反に対し、12坪位）
。周囲の畦草はよく焼いておく
。早くから耕きおこし、土を細かくして雑草を枯しておく。
。籾がらは早く焼いておく（苗代12坪に対し、約1石を準備する）
。種子は水選を行ない良いものを1反当り3升を用意し必ず水銀剤で消毒し、ウスプルンなら千倍液に12時間浸種する。
。必ず目出しを行なう（何れの方法でもよいが熱が高過ぎないように注意する）
。あまり厚まきしない（1坪当り3合程度にとどめる）
。籾がらは厚さを1糎位にする（厚ぎると害が出る）

麦作の施肥と管理

第1表

播種と収穫目標期	播種時期	田植時期	備考
8月20日まで	3月末	5月初旬	こしひかり，たかね錦（山間部は農林1号程度のもの）
8月末まで	4月初旬	5月5日～10日	こしひかり，たかね錦
9月10日まで	4月中旬	5月15日～20日	こしひかり，たかね錦

第2表

種類	3月 病害虫	防除法
もも	細菌性センコー病	防風施設の予備
もも	縮葉病 黒星病 ハマキムシ 花虫 ダニ イラガムシ	上旬に 砒酸鉛250倍用 石灰 硫黄合剤8倍液
ぶどう	各種病害虫	下旬に クロン400倍加用 石灰硫黄合剤40倍液

種類	4月 病害虫	防除法
もも	コスカシバ	捕刺殺，上旬に
もも	アブラムシ アマハキムシ ハハビチ ハモグリガ チョッキリゾーイシ 縮葉病	硫酸ニコチン800倍 又はエカチン1500倍 下旬に 下旬にDDT乳剤600倍 摘葉処分
ぶどう	サルハムシ オビヒメコバイ 紋羽病	下旬に DDT乳剤400倍 水銀剤灌性

▽国民年金△

該当する人は必ず加入を

国民年金は、20才以上に達したので、次にあげる以外の人は加入（強制加入）しなければなりません。

1、厚生年金や共済組合年金に加入している人
2、厚生年金や共済組合年金に加入している人の配偶者
3、すでに公的年金を受けることができる人
4、学生
（但し2～4までの人でも希望により加入することができる）

掛金は20才から100円、35才からは150円です。まだ加入していない人は町民課か各支所で加入手続きをして下さい。

小児マヒ予防生ワク（Ⅰ，Ⅱ型）投与おわる

昭和36年からはじめた，小児マヒ予防「生ワク」の投与は，ことしは3月4，5日町内各小・中学校で実施したが，投与をおえたものは，小・中学校の児童生徒が824名，幼児が263名計1,084名で，3月15日には全部を終ります。どうかことしも小児マヒが発生しないよう注意したいものです

大内町広報

昭和38年4月25日
第93号

山口県吉敷郡大内町
発行者 渡辺敏雄
編集者 総務課
印刷所 山口市道場門前 中央印刷社

さようなら大内町広報

合併まであと余日となりました。昭和30年大内町が発足して、そのとしの8月町広報創刊号を発行してからここに93号、みなさま方の絶大なるご協力をいただきほんとにありがとうございました。

市議（増員）選挙

合併してからすぐ行なわれる市議増員選挙は、5月6日に公示され5月16日投票が行なわれます。

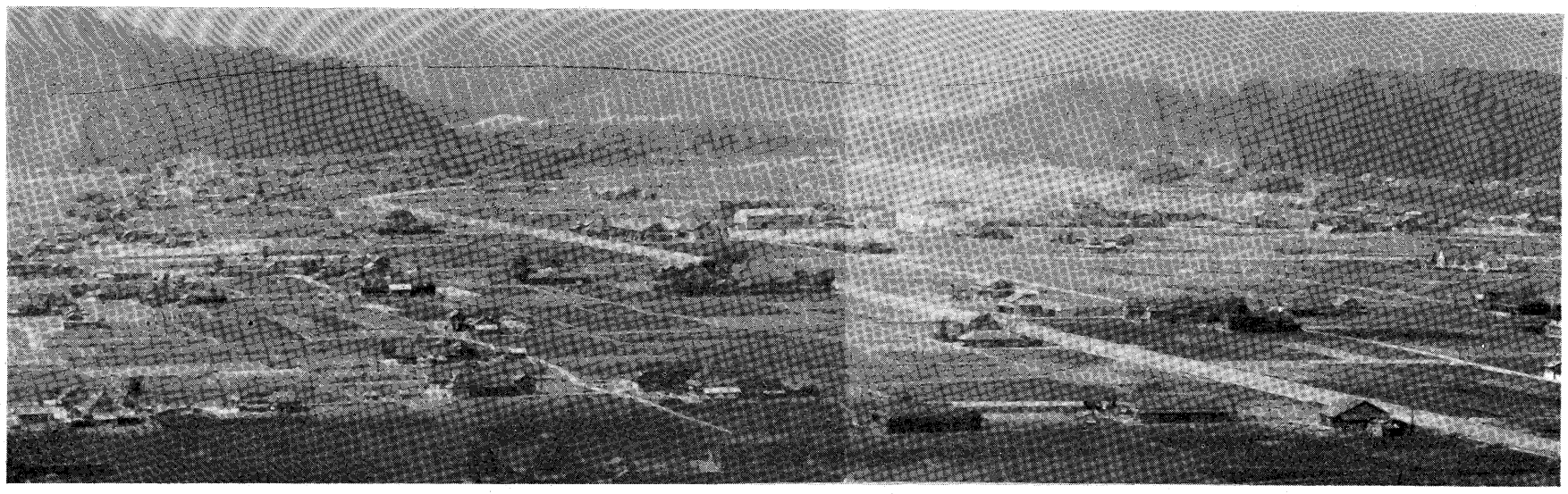
補充名簿の登録申請期間は5月9日～10日までです。

税金

4月　固定資産税第1期
〃　軽自動車税全期

伸びゆく大内町

（面貌山より写す）



おわかれのあいさつ

長い間のご協力に感謝

町長　須子勝平

町民のみなさま、5月1日を以って、山口市に合併することは、町民のみなさまの多年の願望が達成したわけで、誠にご同慶にたえません。

顧みますに、昭和30年大内、仁保、小鯖の旧3村が合併し、不肖私が町政をあづかって以来ここに8カ年、本町の発展と町民の福祉増進を念願し、最善の努力を続けて参りました。

この間、時勢の進展と相俟って豊かな、明るい新町の建設も着実に進み、町勢もまた飛躍的発展をみましたことは、町議会をはじめ町民みなさまの、絶大なるご支援とご協力によるものと、深く感謝とご協力によるものと、深く感謝

古くから、山口市と大内町は、風俗、習慣、産業、経済などすべての面において、密接な関係にありながら、今日まで合併し得なかったことが不思議で、このたびの合併も来るべきものが来たという感もいたします。

しかしながら、明治22年町村制施行以来ここに65年、幾多の変遷とともに、栄えに栄えて今月を迎えた大内町が、発展的に解消し、山口市に合併し、新らしく生まれかわる苦しみを、町民のみなさまとつぶさに味ったこの1年間、念願達成の喜びは、永遠に消えて行く大内町への惜別とともに、感慨無量のものがあります。

私が在職中、町民みなさまのために最善を尽してきましたが、いくつかの懸案事項を残したことは残念に思っています。しかしこれらについても山口市当局に交渉してありますので、合併後において

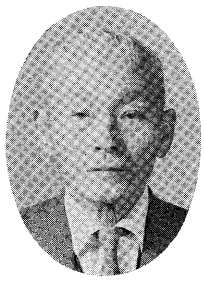
誠にご同慶に耐えません。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

山口市合併が旬日後に迫った今日、私は永遠に去り行く大内町への惜別と、山口市民となる喜びで感慨一入のものがあります。

ここに、大山口市の前途を祝福し、町民各位のご健勝を祈り、お別れの挨拶といたします。

みなさんの前途を祝福

議長　末宗秋作



大内町発足以来ここに満8カ年の歳月を経過致しました。その間町当局の熱心なる努力と、町民各位の愛町の熱意とにより遂年発展し、新町建設の実を着々と挙げてまいりましたが、更に一段と飛躍的な発展を遂げるため、5月1日を期して山口市と合併致すことになりました。

ご承知のとおり、山口市と大内町は従来から歴史的に、人情、風俗、習慣上のつながりに類似性をもち、地勢、交通、産業、経済の面においても密接な関係にありましたが、時代の進展に伴い、地方

自治体の行政力、財政力の強化が叫ばれるようになり、町民各位のご賛同を得て、山口市合併が実現致すことになったのであります。

しかし、長い伝統の中ではぐくまれた一つの自治体としての大内町を廃止することは、誠に容易ならぬことであって、ことに本町の如き広域にわたる純農村形態の町が、都市的形態の山口市に合併することは、農村部が冷遇され、あるいは僻地が取り残されはしないか、という懸念が多分にあったわけですが、山口市当局の理解のもとに不安な面については合併条件である程度救済されることになり町議会は満場一致を以って合併を決議したわけであります。

その間、町民各位におかれても熱心に検討をいただき、町100年の大計のため目前の利害を超越され時流の推移を明察されて、山口市合併にご賛同を得ましたことは、

かならず実現して載けるものと信じています。

町民のみなさま、長い間のご支援ご協力有難うございました。これからは山口市民としての喜びと希望をもって、大山口市建設のため精進されんことをお願いし、あわせて一層のご繁栄をお祈りし、お別れのことばといたします。

しめやかに慰霊祭

4月7日仁保小で

ことしの大内町合同戦歿者慰霊祭は、4月7日午前10時から仁保小屋内運動場（大内町招魂社で行なう予定を雨天のため会場を変更）でしめやかに挙行した。全町からつめかけた遺族で、さしもの会場もいっぱい。遺族のひとみは亡くなったわが子、わが夫、父、弟の面影をしのんで悲しみもひとしほ、傷あとはいつまでも消えずあらたな涙をしぼった。

午後は石川演芸団の演芸を催して、遺族の方々を慰めた。

（写真は祭文を朗読する須子町長）

（写真は県議選開票風景　4月17日夜）

県議選82.3%の投票率

前回より4%わるい

4月17日に行なわれた県議選は82%の投票率で予想の成績であった。

しかし、前回に比べると4%も下まわっています。表で示すとおり、各投票所毎に平均して80%位にあるというのは、公民館で行なう、常時啓発の成果で政治意識の昂揚にあると思います。加えて町公明選挙推進協議会が強力に進めた公明選挙の実を挙げ、違反事件のなかったことは特筆すべきでしょう。

これから5月には、合併後はじめての市議選、7月には農委選が予定されています。公明選挙は単に選挙のときだけでなく、毎日を政治と生活と選挙で結びつけることが大きなねらいです。

投票所別投票成績（4月17日県議選）

区分		男	女	計
		%	%	%
大内	野田	83.73	82.92	83.29
	野堀	87.22	86.24	86.67
	矢小	85.88	81.75	83.65
	御	70.74	74.16	72.56
	計	**81.88**	**81.55**	**81.70**
小鯖	部	85.91	83.56	84.75
	央部	84.76	85.02	84.91
	東中西	85.19	89.96	87.88
	計	**85.04**	**86.06**	**85.60**
仁保	一	76.61	74.21	85.40
	二	83.12	72.83	77.51
	三	84.14	85.33	84.77
	四	83.18	77.78	80.47
	五	88.89	82.35	85.50
	六	78.07	78.85	78.48
	七	82.09	79.49	81.16
	八	83.04	85.95	84.54
	計	**81.72**	**80.09**	**80.86**
合計		**82.57**	**82.16**	**82.35**

▽ **ねずみくじ**当せん番号つぎのとおり、お手許のくじ券をしらべ役場か支所で賞品をうけとりください。

金賞（電気掃除器）
148,275

銀賞（電気ヒーター）
130,373・133,737・123,866
109,198・108,351・106,825

銅賞（懐中電灯）下4ケタ
7,529・5,252・0,815
7,304・1,249・9,702

残念賞（電球）下3ケタ
299・688・757

▽ **引揚者給付金**の請求期限は、5月16日までです。まだ済んでいない方は至急に町役場か県社会課にお問い合せください。

▽ **秋吉台に国民宿舎**「若竹荘」ができました。大衆的な宿泊と休けい施設で、しかも安くてだれにも気軽に利用できます。申込は国民宿舎か秋芳町観光課へ。

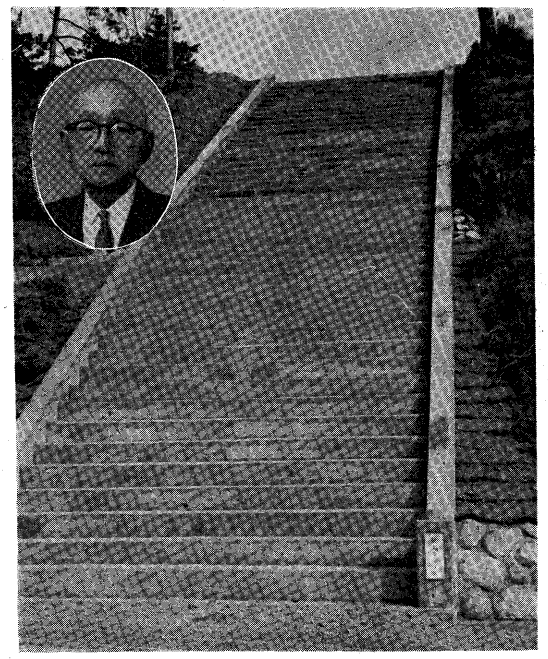
▽ **軍人恩給受給資格者**の申請については、これまで詳しくお知らせしてきましたが只今は大正2年生れから大正6年生れでの申請書を本年10月まで受付ています。資格者は至急申請下さい。

なお、大正2年生れでの方でこれまで申請が洩れている方もこの際申請ください。

▽ **拠出制国民年金**に未加入の方（満20才以上）および**老令年金**未請求者（満70才以上）の方も至急役場か支所の方に連絡して手続をすまして下さい。

招魂社の正面参道完成

遺族会長上田守三氏が寄進



（写真は完成した正面参道・円内は上田守三氏）

大内町内戦歿者の英霊が、ここ高野の招魂社に合祀されてから、正面参道階段の施工についてはいろいろと計画されていたが、経費の面で実現されず今日に到った。

ところが、上田守三氏が、昨年仁保地区の遺族会長に就任されるや、英霊の冥福を祈り、戦歿したわが子えのたむけとして、これが施工を計画され自費を投じて今回完成をみたものです。

氏は、平素から敬神念厚く、招魂社の守護には一方ならぬ努力をされ社会公共のためにもつくされる方で、このたびの寄進も氏のこうした篤志からのもので、これにより招魂社の壮厳も一そう、そなわってきました。紙上をかって町民のみなさんにお知らせします。とともにお礼を申し上げます。

町内小・中学校先生の異動

山下校長（大内小）の退職を含め21人

ことしも4月の県下教職員の異動で、町内の小・中学校の先生方が23人も異動された。その中には永らく町内の学校教育に努力され退職された山下校長（大内小）をはじめ、町内のみなさんにはなじみの深い先生ばかり、本当に別れるのはいやなもんです。

しかし、後任の先生方も本町教育のために、精いっぱい努力するのこと大安心です。

いづれも町役場を訪ねられて、「町内のみなさんに〃大切お世話になった〃〃これから公私共にお世話になります〃どうぞよろしくとのこと」お伝えいたします。

異動された先生はつぎのとおり

▽**転　入**

大富小井上哲良（厚東中）**仁保小**玉井克子（富海小）**同**沖田政樹（新任）**小鯖小**田村昌樹（秋穂小）**大内小**藤井秀一（大道小）**同**藤原宏堂（柚野小）**同**村田富久太（大歳小）**仁保中**吉武俊二（大島中）**大内中**緒方甫（大殿中）

▽**転　出**

大富小佐内小一（鋳銭司小）**仁保小**中川才介（大道小）**同**出元寿恵（大歳小）**同**原恵子（大殿小）**大内小**平川隆士（大殿小）**同**藤村俊雄（柚野中）**仁保中**福原博（徳佐高）**大内中**村田崇（大殿中）

▽**退　職**

山下茂登（**大内小**）　重枝芳雄（**小鯖小**）

農委の選挙人名簿確定

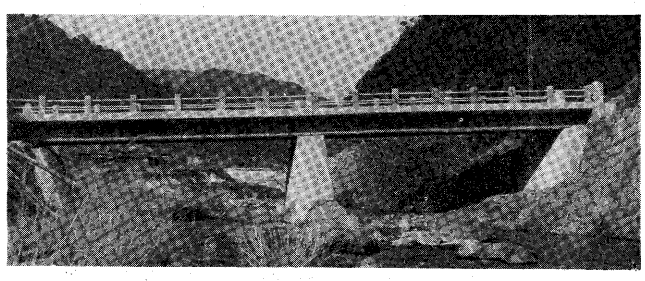
有権者総数 五、九六三人

昨年12月1日現在で調製し1月20日から15日間縦覧された農委選挙人名簿が3月5日に確定しました。それによる有権者数はつぎのとおりです。それは前年に比べて152人（男104人・女48人）減っています。

なお、この名簿は本年7月（予定）の農業委員の改選に用いられますが、そのほかの選挙人名簿とは違い補充名簿は作られません。

投票区		男	女	計
大内	小野野	266	329	595
	長田	256	299	555
	矢堀	275	357	632
	御計	133	158	291
	小計	930	1,143	2,073
仁保	第1	194	190	384
	第2	131	150	281
	第3	146	159	305
	第4	92	92	184
	第5	56	63	119
	第6	145	163	308
	第7	117	131	248
	第8	231	254	485
	小計	1,112	1,202	2,314
小鯖	西部	190	237	427
	中央部	398	495	893
	東	128	128	256
	小計	716	860	1,576
合計		2,758	3,205	5,963

▷**名古脇橋改修**◁　仁保川の上流にかかったこの立派な橋は，仁保地区一の瀬名古脇橋で，延長16m，巾2.5m工事費 629,0000円（地元立替3か年に償還）をかけ改修したもの3月末に完成し地元民も大よろこび



写真は立派に出来あがった名古脇橋

被保険者証や給付など

5月1日からかわる（国保）

5月1日から山口市に合併するので、これまで使用していた国民健康保険の被保険者証が新らしく変ります。（新らしい保険者証は月末までに配布します）

また、山口市では「はり、灸」の施術について、給付を行ないますのでご利用ください。このほか、保険料については

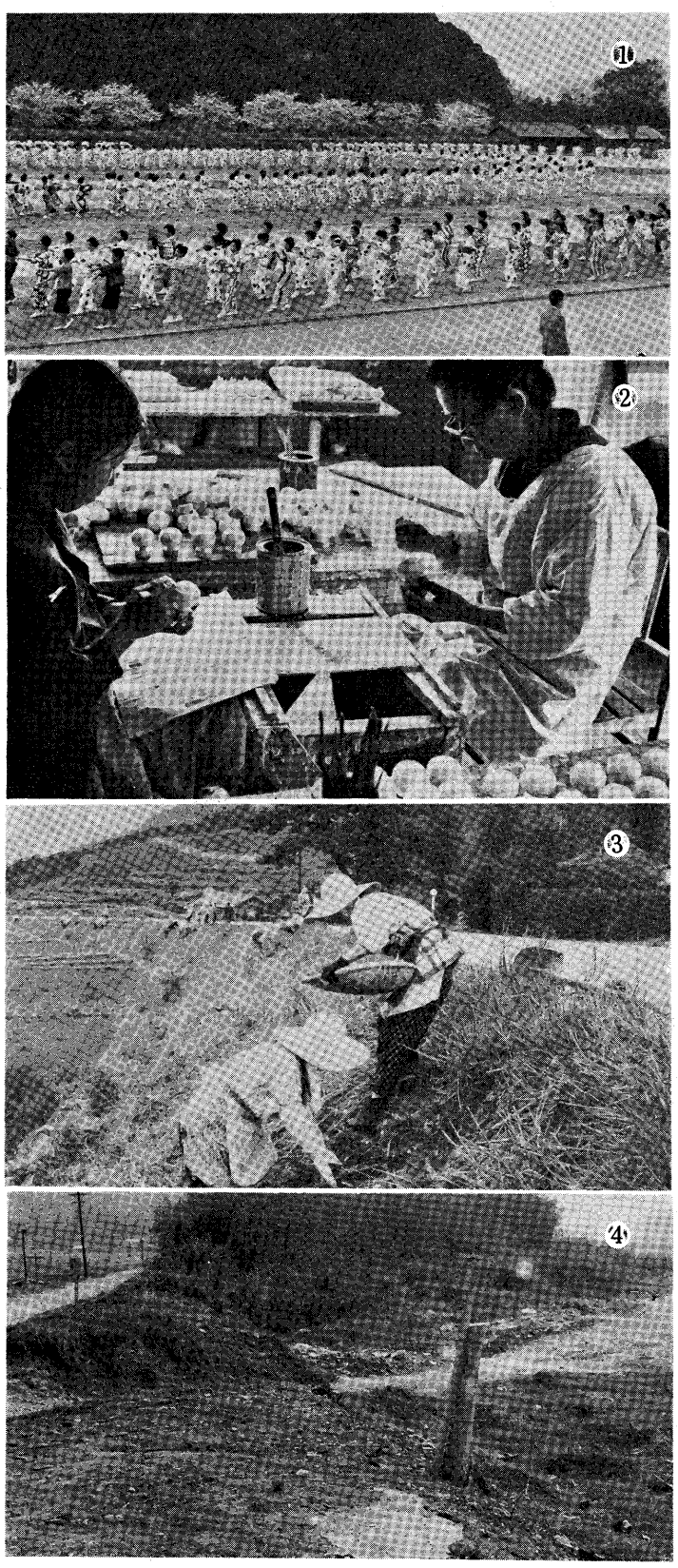
1　これまでの保険税が保険料になったこと。

2　納期が第1期（5月）～第10期（翌年2月）になったこと。

3　保険料の前期（5・6・7・8月分）は暫定賦課（昭和37年度賦課額の$\frac{4}{10}$）と、後期（9月分以降）において精算賦課になること。

なお、国保指定はり、灸施術担当者はつぎのとおり

田中和夫（中道場門前）
中原隆夫（東白石）
花村貞之（道祖町）
原田忠良（相良小路）
中川　洋（道場門前）
伊藤包彦（湯田元町）
佐々木スズ子（湯田泉町）
椙墅元生（湯田元町）
汐見九十九（湯田駅通り）
長尻治郎（嘉川上中野）
河村　誠（嘉川上高根）
貞頼一人（陶中河原）



マスゲームの練習

山口国体まで後6か月，それまでには農繁期もあり，真夏もあるとあって，開会式に行なうマスゲーム練習に婦人会も大童秋田，岡山に負けないようにと花見もよそに猛練習（**写真①**）

一役かった大内人形

ことしの秋の山口国体には，全国から多数の選手団をはじめ関係者が来県する。このよい時期をねらっての観光山口と郷土民芸など全国に紹介せんものとその一役をかった大内人形菅内の中村民芸社でも，あれこれと変った人形の大量注文その生産に大繁忙（**写真②**）

国体話題 あれこれ

秋には「カンナ」が咲く

4月21日～5月20日まで「花いっぱい運動強調期間」県民ひとりひとりが，花いっぱい運動の趣旨を理解して，自から花つくりを行ない，県下にくまなく花を咲かせ，秋の山口国体を花いっぱいで迎えようというのがねらい。4月19日美田枝松付近の道路わきに，鯖山上の婦人会員約50名の奉仕員で「カンナ」の球根2,000個 の植付が行われた（**写真③**）

町をきれいに

国体が来るのに，こんなきたないところがあっては町の恥，これではと3日もかけて清掃したの氷上橋たもとの川どて，こうきれいにされてはと目付役の立札も笑っている。みんなが心がけいつもきれいな町を

（**写真④**）